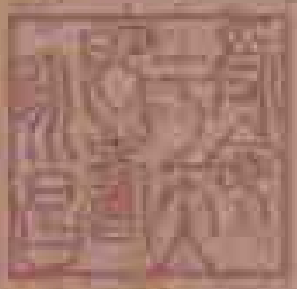
太平御覽

卷三百



2000
Z222
19
23

太平御览

第三卷

夏剑钦 劳伯林 校点

河北教育出版社

《太平御览》第三册

目　　录

第二〇三卷　职官部一……（1）

总叙官(1)

第二〇四卷　职官部二……（7）

丞相上(7)

第二〇五卷　职官部三……（14）

丞相下(14)

第二〇六卷　职官部四……（20）

总叙三师(20)　太师(20)

太傅(21)　太保(23)

太宰(24)　总叙三公(26)

第二〇七卷　职官部五……（28）

太尉(28)　司徒上(31)

第二〇八卷　职官部六……（35）

司徒下(35)　司空(38)

第二〇九卷　职官部七……（43）

大司马(43)

三公府掾属(46)

太尉长史(46)　太尉掾(46)

太尉从事中郎(47)　太尉主簿(47)

司徒长史(47)　司徒掾(48)

司徒属(48) 司徒从事中郎(49)
司徒咨议参军(49) 司徒主簿(49)
司空掾(49)
第二一〇卷 职官部八 …… (51)
录尚书(51) 尚书令(53)
第二一一卷 职官部九 …… (58)
左右仆射(58)
第二一二卷 职官部十 …… (65)
总叙尚书(65)
第二一三卷 职官部十一 …… (70)
左丞(70) 右丞(72)
左司郎中 左司员外郎(73)
右司郎中 右司员外郎(73)
令史(74)
第二一四卷 职官部十二 …… (75)
吏部尚书(75)
第二一五卷 职官部十三 …… (82)
吏部侍郎(82) 总叙尚书郎(84)
第二一六卷 职官部十四 …… (91)
吏部郎中(91) 吏部员外郎(95)
司封郎中 司封员外郎(95)
司勋郎中 司勋员外郎(95)
考功郎中(96) 考功员外郎(96)
第二一七卷 职官部十五 …… (98)
兵部尚书(98) 兵部侍郎(98)
兵部郎中 兵部员外郎(99)
职方郎中 职方员外郎(99)
驾部郎中 驾部员外郎(99)

库部郎中　库部员外郎(99)
户部尚书(100)　户部侍郎(100)
户部郎中(101)　户部员外郎(101)
度支尚书(102)　度支郎中(102)
度支员外郎(103)
金部郎中　金部员外郎(103)
仓部郎中(103)　仓部员外郎(103)
第二一八卷　职官部十六……(104)
刑部尚书(104)　刑部侍郎(104)
刑部郎中　刑部员外郎(105)
都官尚书(105)
比部郎中　比部员外郎(106)
司门郎中　司门员外郎(106)
礼部尚书(107)　礼部侍郎(107)
礼部郎中(108)　礼部员外郎(108)
祠部郎中　祠部员外郎(108)
主客郎中　主客员外郎(109)
膳部郎中　膳部员外郎(109)
工部尚书　工部侍郎(109)
工部郎中　工部员外郎(110)
屯田郎中　屯田员外郎(110)
虞部郎中　虞部员外郎(111)
水部郎中　水部员外郎(111)
第二一九卷　职官部十七……(112)
侍中(112)
第二二〇卷　职官部十八……(121)
中书令(121)　中书监(125)
中书侍郎(126)

第二二一卷 职官部十九……（129）
黄门侍郎(129) 给事中(133)
第二二二卷 职官部二十……（137）
中书舍人(137) 起居郎(142)
起居舍人(143)
第二二三卷 职官部二十一……（144）
谏议大夫(144) 补阙(148)
拾遗(149)
第二二四卷 职官部二十二……（153）
散骑常侍(153) 员外散骑常侍(155)
通直散骑常侍(156) 散骑侍郎(156)
员外散骑侍郎(158) 通直散骑侍郎(158)
第二二五卷 职官部二十三……（159）
御史大夫(159) 御史中丞上(164)
第二二六卷 职官部二十四……（166）
御史中丞下(166) 持书侍御史(171)
第二二七卷 职官部二十五……（174）
侍御史(174) 殿中侍御史(181)
监察御史(182)
第二二八卷 职官部二十六……（184）
叙卿(184) 太常卿(186)
第二二九卷 职官部二十七……（191）
太常少卿(191) 太常丞(192)
太常博士(192) 太祝(193)
协律郎(193) 太庙令(193)
陵令(194) 太乐令(194)
太医令(195) 廪牺令(195)
光禄卿(196) 光禄少卿(198)

太官令(198)
第二三〇卷 职官部二十八……(200)
卫尉卿(200) 武库令(201)
守宫令(202) 公车令(202)
宗正卿(203) 宗正少卿(204)
宗正丞(204) 太仆卿(204)
乘黄令(205) 厩令(206)
车府令(206)
第二三一卷 职官部二十九……(207)
大理卿(207) 大理少卿(213)
大理正(214) 大理丞(215)
廷尉监(215) 廷尉评(215)
第二三二卷 职官部三十……(217)
鸿胪卿(217) 鸿胪少卿(218)
典属国(219) 司农卿(219)
司农少卿(221) 上林苑令(221)
太仓令(222) 导官令(222)
太府卿(222) 太府少卿(223)
市令(223) 平准令(224)
左右藏令(224)
第二三三卷 职官部三十一……(225)
秘书监(225) 秘书少监(227)
秘书丞(228) 秘书郎(229)
第二三四卷 职官部三十二……(232)
著作郎(232) 著作佐郎(234)
校书郎(235) 正字(236)
第二三五卷 职官部三十三……(237)
太史令(237) 殿中监(241)

大长秋(241)
第二三六卷 职官部三十四……(243)
国子祭酒(243) 司业(245)
博士(245) 少府监(248)
将作监(250)
第二三七卷 职官部三十五……(252)
总叙将军(252) 左右卫将军(253)
左右金吾卫将军(255) 诸卫上将军(258)
第二三八卷 职官部三十六……(259)
大将军(259) 大将军(260)
车骑将军(261) 骠骑将军(261)
骁骑将军(263) 卫将军(263)
前将军(264) 后将军(265)
左将军(265) 右将军(266)
第二三九卷 职官部三十七……(267)
四征将军(267)
征东将军(267) 征西将军(267)
征南将军(268) 征北将军(268)
四镇将军(268)
镇东将军(268) 镇西将军(268)
镇南将军(269) 镇北将军(269)
四安将军(270)
安东将军(270) 安西将军(270)
安南将军(270) 安北将军(270)
四平将军(270)
平东将军(270) 平西将军(270)
平南将军(271) 平北将军(271)

杂号将军上(271)
镇军将军(271) 抚军将军(271)
征虏将军(271) 冠军将军(272)
辅国将军(272) 领军将军(273)
护军将军(273) 中军将军(274)
游击将军(274) 积射将军(274)
积弩将军(275) 强弩将军(275)
殿中将军(275) 员外将军(275)
直阁将军(275)
第二四〇卷 职官部三十八……(277)
杂号将军下(277)
建威将军(277) 奋威将军(277)
奋武将军(277) 振威将军(277)
扬威将军(277) 建武将军(278)
轻车将军(278) 伏波将军(278)
材官将军(278) 折冲将军(278)
虎威将军(278) 偏将军(279)
裨将军(279) 虎牙将军(279)
汉臣将军(279) 讨虏将军(280)
破虏将军(280) 建义将军(280)
刺奸将军(280) 辅威将军(280)
扬化将军(280) 安汉将军(280)
辅汉将军(281) 都护将军(281)
立义将军(281) 中坚将军(281)
厉威将军(281) 荡寇将军(281)
讨逆将军(281) 辅吴将军(281)
荡魏将军(282) 鹰扬将军(282)
牙门将军(282) 中将军(282)

中领军(282) 中护军(283)
北军中候(284) 朱衣直阁(284)
直寝(284) 直后(285)
直斋(285) 监军(285)
第二四一卷 职官部三十九……(286)
中郎将(286) 五官中郎将(287)
左中郎将(288) 右中郎将(288)
虎贲中郎将(288) 东中郎将(290)
西中郎将(291) 南中郎将(291)
北中郎将(291)
杂中郎将(291)
匈奴中郎将(291) 司金中郎将(291)
典农中郎将(292) 武卫中郎将(292)
建义中郎将(292) 奉车都尉(294)
都尉(293) 骑都尉(294)4
第二四二卷 职官部四十……(296)
诸校尉(296)
屯骑校尉(296) 越骑校尉(296)
步兵校尉(297) 长水校尉(298)
射声校尉(298) 中垒校尉(298)
胡骑校尉(299) 虎贲校尉(299)
城门校尉(299) 嫖姚校尉(299)
护羌校尉(299) 护乌桓校尉(299)
戊巳校尉(300) 南蛮校尉(300)
南夷校尉(300) 西夷校尉(300)
西域校尉(300) 宁蛮校尉(300)
三巴校尉(300) 忠义校尉(301)
怀义校尉(301) 折冲校尉(301)

中领军(282) 中护军(283)
北军中候(284) 朱衣直阁(284)
直寝(284) 直后(285)
直斋(285) 监军(285)
第二四一卷 职官部三十九……(286)
中郎将(286) 五官中郎将(287)
左中郎将(288) 右中郎将(288)
虎贲中郎将(288) 东中郎将(290)
西中郎将(291) 南中郎将(291)
北中郎将(291)
杂中郎将(291)
匈奴中郎将(291) 司金中郎将(291)
典农中郎将(292) 武卫中郎将(292)
建义中郎将(292) 奉车都尉(294)
都尉(293) 骑都尉(294)4
第二四二卷 职官部四十……(296)
诸校尉(296)
屯骑校尉(296) 越骑校尉(296)
步兵校尉(297) 长水校尉(298)
射声校尉(298) 中垒校尉(298)
胡骑校尉(299) 虎贲校尉(299)
城门校尉(299) 嫖姚校尉(299)
护羌校尉(299) 护乌桓校尉(299)
戊巳校尉(300) 南蛮校尉(300)
南夷校尉(300) 西夷校尉(300)
西域校尉(300) 宁蛮校尉(300)
三巴校尉(300) 忠义校尉(301)
怀义校尉(301) 折冲校尉(301)

太子仆(336) 太子典膳丞(337)
太子侍读(337) 太子门大夫(338)
太子左卫率(338) 右卫率(339)
前卫率(340) 后卫率(340)
左右内率府长史(340)
第二四八卷 职官部四十六……(341)
王师(341) 王傅(341)
王友(342) 王侍读(342)
王文学(343) 郡国相(343)
国郎中令(345) 国中尉(346)
国常侍(347) 国侍郎(347)
府长史(347) 府司马(349)
第二四九卷 职官部四十七……(351)
从事中郎(351) 府掾(352)
府属(353) 咨议参军(354)
公府舍人(354) 记室参军(354)
府参军(356)
第二五〇卷 职官部四十八……(360)
司隶校尉(360) 州牧(364)
第二五一卷 职官部四十九……(366)
都督(366) 总管(367)
都督护(370)
第二五二卷 职官部五十……(372)
尹(372) 少尹(377)
留守(378)
第二五三卷 职官部五十一……(380)
内史(380) 郡丞(381)
郡参军(383) 督邮(383)

第二五四卷 职官部五十二……(386)
刺史上(386)
第二五五卷 职官部五十三……(391)
刺史下(391)
第二五六卷 职官部五十四……(396)
良刺史上(396)
第二五七卷 职官部五十五……(402)
良刺史中(402)
第二五八卷 职官部五十六……(410)
良刺史下(410) 酷刺史(415)
第二五九卷 职官部五十七……(418)
太守(418)
第二六〇卷 职官部五十八……(426)
良太守上(426)
第二六一卷 职官部五十九……(435)
良太守中(435)
第二六二卷 职官部六十……(442)
良太守下(442) 酷太守(446)
第二六三卷 职官部六十一……(448)
别驾(448) 治中(451)
长史(453) 司马(453)
第二六四卷 职官部六十二……(455)
功曹参军(455) 司仓参军(462)
司户参军(462) 司兵参军(463)
司法参军(463) 五官掾(463)
第二六五卷 职官部六十三……(465)
州主簿(465) 从事(468)
中正(471)

第二六六卷 职官部六十四……（474）
令长(474)
第二六七卷 职官部六十五……（481）
良令长上(481)
第二六八卷 职官部六十六……（490）
良令长下(490)
第二六九卷 职官部六十七……（497）
酷令长(497) 县丞(498)
主簿(498) 县尉(499)
第二七〇卷 兵部一……（504）
叙兵上(504)
第二七一卷 兵部二……（512）
叙兵下(512)
第二七二卷 兵部三……（520）
将帅上(520)
第二七三卷 兵部四……（527）
将帅下(527)
第二七四卷 兵部五……（533）
命将(533) 易将(534) 老将(536)
第二七五卷 兵部六……（539）
良将上(539)
第二七六卷 兵部七……（546）
良将下(546)
第二七七卷 兵部八……（552）
儒将(552)
第二七八卷 兵部九……（559）
边将(559)

第二七九卷 兵部十……(566)
威名(566) 信义(569)
第二八〇卷 兵部十一……(574)
抚士上(574)
第二八一卷 兵部十二……(580)
抚士下(580)
第二八二卷 兵部十三……(585)
机略一(585)
第二八三卷 兵部十四……(591)
机略二(591)
第二八四卷 兵部十五……(596)
机略三(596)
第二八五卷 兵部十六……(602)
机略四(602)
第二八六卷 兵部十七……(608)
机略五(608)
第二八七卷 兵部十八……(614)
机略六(614)
第二八八卷 兵部十九……(620)
机略七(620)
第二八九卷 兵部二十……(626)
机略八(626)
第二九〇卷 兵部二十一……(634)
料敌上(634)
第二九一卷 兵部二十二……(642)
料敌下(642)
第二九二卷 兵部二十三……(650)
用间(650)

第二九三卷 兵部二十四……（656）
示缓(656) 务速(657)
第二九四卷 兵部二十五……（662）
示弱(662) 示强(665)
第二九五卷 兵部二十六……（670）
审察(670) 避锐(672) 安众(673)
第二九六卷 兵部二十七……（678）
法令(678)
第二九七卷 兵部二十八……（686）
训兵(686)
第二九八卷 兵部二十九……（692）
军制(692) 偏将(696)
第二九九卷 兵部三十……（698）
练士(698) 兵众(699) 队伍(702)
第三〇〇卷 兵部三十一……（704）
卒(704) 骑(707)
第三〇一卷 兵部三十二……（711）
阵(711)
第三〇二卷 兵部三十三……（718）
先锋(718) 殿(719) 乡导(721)
伏兵(722)
第三〇三卷 兵部三十四……（726）
征伐上(726)
第三〇四卷 兵部三十五……（733）
征伐中(733)
第三〇五卷 兵部三十六……（741）
征伐下(741)

第三〇六卷 兵部三十七……（748）
请征伐(748) 出师(750) 军行(753)
第三〇七卷 兵部三十八……（757）
会兵(757) 誓众(759) 麾兵(762)
飨士(764) 犒师(765)
第三〇八卷 兵部三十九……（767）
战上(767)
第三〇九卷 兵部四十……（775）
战中(775)
第三一〇卷 兵部四十一……（782）
战下(782) 战不顾亲(786)
战伤(788)
第三一一卷 兵部四十二……（790）
请战(790) 挑战(791) 决战上(794)
第三一二卷 兵部四十三……（798）
决战中(798)
第三一三卷 兵部四十四……（806）
决战下(806)
第三一四卷 兵部四十五……（814）
突围(814) 追奔(816) 乘势(819)
第三一五卷 兵部四十六……（824）
水战(824) 掩袭上(825)
第三一六卷 兵部四十七……（831）
掩袭下(831)
第三一七卷 兵部四十八……（839）
攻围上(839)
第三一八卷 兵部四十九……（845）
攻围下(845)

第三一九卷 兵部五十……（853）
拒守上(853)
第三二〇卷 兵部五十一……（860）
拒守下(860) 危急(863)
第三二一卷 兵部五十二……（866）
火攻(866) 水攻(870)
第三二二卷 兵部五十三……（875）
胜(875)
第三二三卷 兵部五十四……（882）
败(882)
第三二四卷 兵部五十五……（891）
招(891) 降(894) 诈降(898)
第三二五卷 兵部五十六……（900）
乞师(900) 救援(901) 擒获上(906)
第三二六卷 兵部五十七……（908）
擒获下(908) 虏掠(912)
第三二七卷 兵部五十八……（915）
献俘(915) 班师(917) 罢兵(919)
偃武(921)
第三二八卷 兵部五十九……（924）
从军(924) 羽书(925) 占候(926)
第三二九卷 兵部六十……（932）
征应(932) 神兵(936)
第三三〇卷 兵部六十一……（938）
警备(938)
第三三一卷 兵部六十二……（945）
斥候(945) 备边(947) 塞险(951)

第三三二卷 兵部六十三……（955）
据要(955) 漕运(957) 绝粮道(960)
第三三三卷 兵部六十四……（963）
屯田(963) 戍役(967)
第三三四卷 兵部六十五……（969）
辎重(969) 戎车(970) 战舰(971)
亭障(974)
第三三五卷 兵部六十六……（977）
营垒(977) 烽燧(980) 京观(983)
第三三六卷 兵部六十七……（984）
攻具上(984)
第三三七卷 兵部六十八……（991）
攻具下(991) 旅(994) 鹿角(994)
箭枪(996) 弋(996)
第三三八卷 兵部六十九……（998）
角(998) 金鼓(1000) 鞞(1002)
鞀(1002) 铙(1002) 铃(1003)
铎(1003) 刁斗(1004) 柝(1004)
第三三九卷 兵部七十 ……（1005）
叙兵器(1005) 牙(1010)
第三四〇卷 兵部七十一 ……（1013）
常(1013) 旂(1013) 旃(1014)
物(1014) 旗(1014) 旆(1018)
旒(1018) 旞(1019) 旌(1019)
第三四一卷 兵部七十二 ……（1021）
旆(1021) 帜(1021) 幡(1022)
旗(1024) 旄(1025) 旄(1025)
旄(1026) 幢(1027) 节(1027)

钺(1028)
第三四二卷 兵部七十三 …… (1031)
剑上(1031)
第三四三卷 兵部七十四 …… (1039)
剑中(1039)
第三四四卷 兵部七十五 …… (1048)
剑下(1048)
第三四五卷 兵部七十六 …… (1057)
刀上(1057)
第三四六卷 兵部七十七 …… (1066)
刀下(1066) 匕首(1072) 铗(1074)
铍(1075)
第三四七卷 兵部七十八 …… (1076)
弓(1076)
第三四八卷 兵部七十九 …… (1087)
弩(1087)
第三四九卷 兵部八十 …… (1094)
箭上(1094)
第三五〇卷 兵部八十一 …… (1101)
箭下(1101) 箭筒(1103) 步叉(1104)
橐鞬(1104) 射捍(1104) 弹(1105)
第三五一卷 兵部八十二 …… (1109)
戈(1109)
第三五二卷 兵部八十三 …… (1117)
戟上(1117)
第三五三卷 兵部八十四 …… (1124)
戟下(1124) 殳(1127) 矛(1129)
第三五四卷 兵部八十五 …… (1133)

槊(1133)　枪(1135)　铤(1136)
钩镶(1137)
第三五五卷　兵部八十六 …… (1139)
甲上(1139)
第三五六卷　兵部八十七 …… (1148)
甲下(1148)　兜鍪(1151)　盾上(1155)
第三五七卷　兵部八十八 …… (1157)
盾下(1157)　彭排(1161)　衔枚(1161)
棓(1163)　椎(1164)
第三五八卷　兵部八十九 …… (1165)
鞍(1165)　辔(1167)　鞚(1168)
勒(1169)　镳(1171)
第三五九卷　兵部九十 …… (1173)
羁(1173)　珂(1174)　鞯(1175)
障泥(1175)　防汗(1175)　当胸(1176)
鞘尾(1176)　鞭(1176)　柳(1182)

太平御览卷第二百三

职官部一

总叙官

《礼记》曰：有虞氏官五十，夏后氏官百，殷二百，周三百，天子立六官、三公、九卿、二十七大夫、八十一元士，以听天下之外治，以明章天下之男教。

又《王制》曰：天子百里之内以共官，千里之内以为御。谓此地之田税所给也。千里之外设方伯。五国以为属，属有长；十国以为连，连有帅；三十国以为卒，卒有正；二百一十国以为州，州有伯。八州八伯，五十六正，百六十八帅，三百三十六长。八伯各以其属，属于天子之老二人，分天下以为左右，曰二伯。

《春秋》曰：昭(四)[十七]年，郯子来朝，公与之宴。昭公问焉，曰："少皞氏以鸟名官，何故？"少皞金天氏，黄帝子，已姓之祖也。问何故以鸟为官也。郯子曰："吾祖也，我知之。昔黄帝氏以云纪，故为云师而云名。黄帝轩辕氏姬姓之祖也。黄帝受命有云瑞，故以云纪事。百官师长皆以云为名号也。炎帝氏以火纪，故为火师而火名。神农姜姓之祖也，有火瑞，故以火纪事名官也。共工氏以水纪，故为水师而水名。共工以诸侯霸九州者，在神农前、太昊后，亦受水瑞，以水名官也。太皞氏以龙纪，故为龙师而龙名。太皞伏羲氏，风姓之祖也，有龙瑞，故以龙名官也。我高祖少皞挚之立也，凤鸟适至，故纪于鸟，为鸟师而鸟名。……自颛顼以来，不能纪远，乃纪于近，为民之师而命以民事，则(为)不能故也。

又曰：国家之败，由官邪也。官之失德，宠赂彰也。

《尚书·尧典》曰：乃命羲和，钦若昊天，历象日月星辰，敬授人

时。羲氏和氏世掌天地四时之官，使敬顺天地以授人也。分命羲仲，宅嵎夷，曰旸谷。羲仲居治东方之官。宅，居也。东表之地称嵎夷。寅宾出日，平秩东作。使敬导出日，平均次序，东作之事以务农也。申命羲叔，宅南交。羲叔居治南方之官。南交言夏与春交。平秩南讹，敬致。讹，化也。平序南方化育之事。敬行其教，以致其功。分命和仲，宅西，曰昧谷。居治西方之官。寅饯纳日，平秩西成。饯，送也。西方万物成，平序其政，助成物也。申命和叔，宅朔方，曰幽都。平在朔易。都，谓所聚也。易谓岁，改易于北方，平均在察其政，以顺天常。允厘百工，庶绩咸熙。定四时成岁，以告时授事，则众功皆广。

又舜(典)曰：咨，四岳！有能奋庸熙帝之载，奋，起也。有能起发其功广尧之事也。使宅百揆，亮采惠畴？亮，信惠顺也。使居百揆之官，信立其功顺其事者，谁乎？佥曰："伯禹作司空。"禹入为天子，司空治水有功，言可用也。帝曰："俞，咨！禹，汝平水土，惟时懋哉！"称禹前功以命之，惟居是百揆勉行之。禹拜稽首，让于稷、契暨皋陶。帝曰："俞，汝往哉！"不许其让，使往宅百揆。

又曰：成王既黜殷命，灭淮夷，还归在丰，作《周官》。王曰：若昔大猷，顺古大道。制治于未乱，保邦于未危。曰唐虞稽古，建官惟百。内有百揆四岳，外有州牧侯伯。庶政惟和，万国咸宁。夏商官倍，亦克用乂。汤禹建官二百，亦能用治。言不及唐虞之清。今予小子祗勤于德，夙夜不逮。立太师、太傅、太保，兹惟三公。论道经邦，燮理阴阳。少师、少傅、少保，曰三孤。贰公弘化，寅亮天地，敬信天地之教。[弼予一人]。冢宰掌邦治，统百官，均四海。司徒掌邦教，敷五典，扰兆民。扰，安也。宗伯掌邦礼，治神人，和上下。司马掌邦政，统六师，平邦国。司寇掌邦禁，诘奸慝，刑暴乱。司空掌邦土，居四民，时地利。士农工商，使顺天时。六卿分职，各率其属，以倡九牧，阜成兆民。以倡导九州牧伯为政大成兆民之性命。

又曰：俊乂在官，俊德治能之士皆在官。百僚师师，百工惟时，僚工皆官也，师师相师法。百官皆是，言政无非。抚于五辰，庶绩其凝。言五官皆顺五行之时，众功皆成。

又曰：无旷庶官。天工，人其代之。位非其人为空官，言人代天理官，

不可以天官私非其才。

又曰：任官惟贤材，左右惟其人。臣为上为德，为下为民。言奉上布德，顺下训民，不可官所私，任非其人。

又曰：官不及私昵，惟其能。不加私昵，惟能是官。爵罔及恶德，惟其贤。非贤不爵。

《周礼》曰：惟王建国，辨方正位，体国经野，设官分职，以为民极。极，中也。令天下之人，各得其中。

又《周官》曰：宗伯以九仪之命，正邦国之位，一命受职，受职，治职事。再命受服，受服，受祭衣服为上士。三命受位，列位于王臣也，王之上士亦三命也。四命受器，受祭器为上大夫也。五命赐则，则，法也。六命赐官，此王六命之卿赐官者，使得自置其臣，治家如诸侯也。七命赐国，出就侯伯之国。八命作牧，谓侯伯有功德者，加命得专征伐于诸侯。九命作伯。上公有功德者，加命为二伯，得征伐五侯九伯也。郑司农云：长诸侯为方伯也。

《尚书大传》曰：古者天子三公，每一公三卿佐之，每一卿三大夫佐之，每一大夫三元士佐之，故有三公、九卿、二十七大夫、八十一元士。所与为天下者，若此而已。自公至元士凡百二十，此夏时之官也。

《家语》曰：古之御天下者，以六官总治焉。冢宰之官以成道，治官所以成道。司徒之官以成德，教官所以成德。宗伯之官以成仁，礼官所以成仁。司马之官以成圣，政官所以成圣。圣通官正，所以平通天下。司寇之官以成义，刑官所以成义。司空之官以成礼，事官所以成礼也。非事不立也。六官在手以为辔。

《东观汉记》曰：更始所置官爵多群小，长安为之语曰："灶下养，中郎将；烂羊胃，骑都尉；烂羊头，关内侯。"

《后汉书》曰：建武六年，诏曰："百姓遭难，户口耗少，而官吏尚繁。"于是司隶州牧条奏并省，有四百余县吏职减损，十置其一。

《汉(书)[旧]仪》曰：古法虽圣犹试，故设四科之辟。一科曰德行高妙，志节清白；二科曰学通行修，经中博士；三科曰明晓法令，足以决疑，能案章覆问文中御史；四科曰刚毅多略，遭事不惑，明足以照奸，勇足以决断，才任三辅。令皆试以其能，然后官之。

《后魏书》曰：天兴元年，置八部大夫、散骑常侍、待诏等官。其八部大夫，于皇城四维面置一人，以拟八坐，谓之八国。常侍侍直左右，出入王命。三年，置仙人博士官，典煮炼百药。天赐元年八月，初置六谒官，准古六卿，其秩五品。属官有大夫，秩六品。大夫属官有元士，秩七品。元士属官有署令长，秩八品。令长属官有署丞，秩九品。[九月]，又减五等之爵，始分为四，曰王、公、侯、子，除伯、男二号。初，帝欲法[古]纯质，每于制定官号，多不依周、汉旧名，或取诸身，或取诸物，或以民事，皆拟远古云鸟之义。诸曹走使谓之凫鸭，取飞之迅疾也。以伺察候占官谓之白鹭，亦取其延颈远望也。自余之官，义皆类此。神瑞元年春，置八大人官，大人下置三属官，总理万机，故世号八公。太常二年夏，置六部大人官，有天、地、东、西、南、北部，皆以诸公为之。大人置三属官。自太祖至高祖，其内外百官，屡有减置。或事出当时，不为常目，如万骑、飞鸿、常忠、直意将军之徒是也。

贾谊《新书》曰：王者，官人有六等：一曰师，二曰友，三曰大臣，四曰左右，五曰侍御，六曰厮役。知足以为源泉，行足以为仪表，问焉则应，求焉则得者，谓之师；智足以为砥砺，行足以为辅助，明于进贤，敢于退不肖，内相匡正，外相(杨)[扬]美，谓之友。智足以谋国事，行足以为民率，仁足以合上下之忻，国有法则退而守之，君有难则能死之者，大臣也。修身正行不愆于乡曲，言语谈说不怍于朝廷，智能不困于事业，服一介之使能合两君之忻，执戟居前能举君之过失，不难以死持之者，左右之臣也。不贪于财，不淫于色，事君不敢有二心，居则不敢泄君之谋，君有过失虽不能正谏，以其死持之而愁悴有忧色者，侍御之臣也。惟谀之行，惟言之听，以睚眦之间事君者，厮役也。

《通典》曰：唐开元中刊定职次，著之为格。盖尚书省，以统会众务、举持纲目；门下省以侍从献替，规驳非宜；中书省，以献纳制册，敷扬宣劳；秘书省以监录图书；殿中省以供修膳服；内侍省以承

旨奉引；尚书、门下、中书、秘书、殿中、内侍凡六省。御史台以肃清僚庶。九(等)[寺]，太常、光禄、卫尉、宗正、太仆、大理、鸿胪、司农、太府为九寺。五监，少府、将作、国子、军器、都水为五监。以分理群司，六军、左右羽林、左右龙武、左右神武为六军。十六卫，左右卫、左右骁、左右武、左右威、左右领军、左右金吾、左右监门、左右千牛为十六卫。以严其禁御。一詹事府、二春坊、有左右春坊，又有内坊掌阍内事。三寺、守令，率更、太仆等三寺。十率，左右卫、左右司御、左右清道、左右监门、左右内，凡十率府。俾又储宫、牧守、督护，分临畿服。京府置牧，余府州置都督、都护、太守。

《说苑》曰：应侯与贾子坐，闻有鼓琴之声。应侯曰："今之琴一何悲也？"贾子曰："夫张急调下，故使之悲耳！急张者，良材也，调下者，官卑也。取夫良才而官卑之，安能无悲乎？"应侯曰："善！"

仲长子《昌言》曰：官之有级，犹阶之有等，升阶越等，其步也乱。乱登朝级，败礼伤法。是以古人之初仕也，虽有贤才皆以级次进焉。贾生有言：治国取人，务在求能。故裁国之无利器，犹镂以铅刀而望其(巧)[切]，不亦疏乎！

杨泉《物理论》曰：吏者，理也，所以理万机、平百揆也。武士宰民物，犹使狼牧羊、鹰养雏也。是以人主务在审官择人。

《李重集杂奏议》曰：古之圣王建官垂制，所以体国经治，而功在简易。自帝王而下，世有增损。舜命九官，周分六职，秦采古制，汉仍秦旧，倚丞相，任九卿。虽置五曹尚书令仆之职，始于掌封奏以宣内外，事任尚轻；而郡守牧民官，故汉宣称"所与为治，惟良二千石"。其有殊效者，辄玺书勉励，或赐爵进秩，礼遇丰厚，得为治大体，所以远踪三代也。及至东京，虽渐优显，令仆出为郡守，钟离意、黄香、胡广是也。郡守入为三公，虞延、第五伦、鲍昱是也。自魏朝名守杜畿、满宠、田豫、胡质等郡，或二十年，或秩中二千石，假节犹不去郡，或还不易方。此亦古人"苟善其事，虽没世不徙官"之义也。汉魏以来，内官之贵于今最隆。太始以前，多以散官补台郎，亦(经)[径]补黄门中书郎，而今皆数等而后至，众职率亦如此。陵迟之俗未(及)[久]，笃尚之风未洽，百事等级遂多，迁补转徙如

流，能否无以著，黜陟不得彰，此为治之大弊也。汉法，官人不得真秩，京房为魏郡太守，以八百石居之。魏初用轻贫，先亦试守，不称，则继以左迁。然则俊才登进，无能降退，此则所谓有知必试而使人以器者也。臣以为今宜大并郡守等级，使同古者，明试守左迁之例，官人之理尽，则士必量能而受爵矣。

《桓温集·略表》曰：今天下分崩，丧乱殄瘁，虽道隆中兴，而户口凋寡，近方汉时不当一郡之民。民户既少，则势不多而当必同古制。百官备职，实非大易；随时之宜，且设官以理务。务寡则官省，官省以国治，则职显而人清。故光武初兴，多所并省；诸葛亮相蜀，简才并官。此皆达治之成规，今日之所先也。宜从权制，并官省职。愚谓门下三省、秘书、著作，通可减半。古以九卿综事，不专尚书，故重九棘也。今事归内台，则九卿为虚设之位，惟太常、廷尉职不可阙。其诸员外散官及军府参佐职无所掌者，皆并若车驾、郊庙、籍田之属。凡诸大事于礼宜置者，临时权兼，事讫则罢职。既并则官少而才精，职理则无害民而治道康矣。

太平御览卷第二百四

职官部二

丞相上

《尚书》曰：成汤居亳，初置二相，以伊尹、仲虺为之。

又《君奭》曰：我闻在昔，成汤既受命，则有伊尹格于皇天。又《说命》曰：高宗梦得说，使百工营，求诸野。说筑傅岩之野。爰立作相，置诸左右。命之曰："若金，用汝作砺；若济巨川，用汝作舟楫；若岁大旱，用汝作霖雨。启乃心，沃朕心。若药不瞑眩，厥疾弗瘳。"

《韩诗外传》曰：田饶事鲁哀公而不见察，田饶谓哀公曰："臣将去，(君)[若]黄鹄举矣。"哀公曰："何谓也？"饶曰："君独不见鸡乎？虽有五德，君犹日满而食之者何？以其所从来者近也。夫黄鹄一举千里，止君园池，食君鱼鳖，啄君(黍)[黍]粱，无此五德犹贵之，以其所从来者远也。臣将去，(君)[若]黄鹄举矣。"哀公曰："止！吾将书子之言也。"饶曰："臣闻食其食者，不毁其器；荫其树者，不折其枝。有臣不用，何书其言！"遂去，之燕，燕用为相。三年，燕政大治，哀公喟然太息，为之避寝。

《左传》曰：仲虺居薛，为汤左相。

又曰：齐桓公置射钩而使管仲相。

《国语》曰：季文子相宣公、成公，无衣帛之妾，无食粟之马。仲孙他谏曰："子为鲁上卿，相二君矣，妾无衣帛，马不食粟，人其以子为爱，且不华国乎！"文子曰："吾亦愿之。然吾观国人，其父兄之食粗衣恶[者犹多矣]，而我美妾与马，无乃非相人乎？且吾闻之以德

荣为华，不闻以妾与马。”文子以告孟献子，献子囚之七日。自是，子服之妾衣不过七升之布，马饩不过稂莠。饩，米也。稂，童粮。

《史记》曰：黄帝得六相而天地治，神明至。黄帝得蚩尤而明天道，得太常而察地利，得奢龙而辨东方，得祝融而辨南方，得风后而辨西方，得后土而辨北方，谓之六相。

又曰：尧举八凯，仓舒、隤敳、梼戭、大临、龙降、庭坚、仲容、叔达为八凯。即垂益禹皋陶之伦也。庭坚即皋陶也。使主后土，后土，地官也。以揆百事，莫不时叙，地平天成。揆，度。成，亦平也。举八元，伯奋、仲堪、叔献、季仲、伯虎、仲熊、叔豹、季狸，为八元也。使布五教于四方，内平外成。内诸夏，外夷狄。谓之十六相。亦曰十六族。

又曰：秦悼武王二年始置丞相，官樗里疾、甘茂为左右丞相。

又曰：郑以子产为相一年，竖子不戏狎，班白不提挈，童子不犁畔。二年，市不豫贾；三年，门不夜闭，道不拾遗；四年，田器不归；五年，土无尺籍，丧期不令而治。郑二十六年而死，丁壮号哭，老人儿啼：“子产去我死乎！民将安归？”

又曰：公仪休为鲁相，客有遗鱼者，不受。客曰：“闻君嗜鱼，何故不受？”相曰：“以嗜鱼故，今为相，能自给鱼，今受而鱼，谁复给我鱼？故不受。”食茹，拔其园葵而弃之；见布好而出其家妇，燔其机。云：“欲令农士工女安其所，岂可害其货乎！”

又曰：石奢，楚昭王相也，坚直廉士，无所避行。县道有杀人者，相追之，乃其父也。纵其父还，自系，使人言之于王曰：“杀人者臣之父也。夫以父立政不孝也，废法纵罪非忠也，臣罪当死。”王曰：“追而不及，不当伏罪。”奢曰：“不私其父非孝也，不奉主法非忠也。王赦罪上惠也，伏诛而死臣职也。”遂不受令，自刎而死。

又曰：五羖大夫之相秦也，劳不坐乘，暑不张盖，行国中不驱车乘、不操干戈，功名藏于府库，德行施于后世。五羖大夫死，国中男女流涕，童子不歌谣，舂者不相杵。

又曰：秦庄襄王薨，太子政立，尊吕不韦为相国，号称“仲父”。

又曰：二世亡，诛李斯，乃拜赵高为中丞相，事无大小皆决之。

又曰：赵高为丞相，欲为乱，恐群臣不听，乃先设验。持鹿献于二世，曰："马也。"二世笑曰："丞相误耶，谓鹿为马。"问左右，或默，或言马以阿顺赵高，或言鹿，高因阴中诸言鹿者以法。

又曰：韦丞相贤者，鲁人，以读书术为吏，至大鸿胪。有相工相之，当至丞相。有男四人，相之至第二子，名玄成，相工曰："此子贵，当封侯。"丞相曰："我为丞相，有长子，是安从得之？"后贤竟为丞相，病死。而长子有罪，论不得嗣，而立玄成。

又曰：魏相者，济阴人，以文吏至丞相。其人好武，令诸吏带剑前奏事。或有不带剑者，当入奏事，乃借剑而敢入。

又曰：匡衡为御史大夫，岁余，韦丞相死，代为丞相，封乐安侯。衡十年之间不出长安城门，至丞相，岂非遇时而合也。

《汉书》曰：陈平，阳武人；周勃，沛人。高帝即位，以勃为右丞相，以平为左丞相。帝问勃曰："一岁决狱，钱谷出入几何？"勃不知，汗出浃背。上问平，平曰："有主者。"上曰："主者谁？"曰："决狱责廷尉，钱谷责治粟内史。"上曰："君所主何事？"平曰："臣主佐天子，理阴阳，调四时，理万物，抚四夷。"上曰："善！"于是出，勃语平曰："君独不早教我乎？"

又曰：萧何，沛人。陈豨反，上自将。闻吕后用何计诛韩信，拜何相国。何病，惠帝自临视何疾，因问："君百岁后谁可代君？"对曰："知臣莫若主。"帝曰："曹参何如？"何曰："帝得之矣。臣虽死无恨矣。"

又曰：曹参，沛人。闻萧何薨，告舍人："趋治装，吾当入相。"使者果召参为相。择郡国长史，讷文辞谨厚者为丞相史。参日夜饮酒，宾客见参不事事，皆欲有言；至者，参辄饮以醇酒，醉而后去，终莫得开说。

又曰：萧何拜相国，益封五千户，卒五百人为卫。众人皆贺，邵平独吊，谓何曰："祸自此始也。"何乃让封，悉以家财佐军，上喜。

又曰：张苍免相，文帝以皇后弟窦广国贤有行，欲相之，恐天下

以吾私广国，久念不可。而高帝时，大臣余见无可者，乃以御史大夫申屠嘉为丞相。嘉为人廉直，门不受私谒。时太中大夫邓通方爱幸，赏赐累钜万，文帝常燕饮通家。是时，嘉入朝，而通居上旁，有怠慢之礼。嘉奏事毕，因言曰："陛下幸爱其臣，则富贵之至，于朝廷之礼，不可以不肃。"朝罢，嘉为檄召通，通至，诣丞相府，免冠，徒跣，顿首谢嘉。嘉坐自如，弗为礼，责曰："夫朝廷者，高皇帝之朝廷，通小臣，戏殿上，大不敬，当斩！"使吏令行斩之。如淳曰：嘉语其吏曰："今便行斩之。"上度丞相已困通，使使持节召通，而谢丞相："此吾弄臣，君释之。"

又曰：公孙弘，(颍)[颍]川人。武帝以弘为丞相，掌列侯，惟弘无爵。诏封平津乡侯，六百五十户。丞相封侯，自弘始也。弘食一肉，脱粟饭，故人宾客仰衣食，家无余财。

又曰：公孙贺，字子叔，北地人。引拜为丞相，不受印绶，泣涕曰："臣本边鄙鞍马骑射，不任宰相。"

又曰：车千秋，本姓田，为高寝郎，讼太子冤曰："子弄父兵，罪当笞。天子之子，过误杀人，何罪哉！臣尝梦见白头公教臣言。"于是上召见千秋，千秋体貌甚严，帝说之，曰："高庙神灵，使公教我，公当遂为吾辅相。"数月为丞相，封富民侯。千秋一言寤主，旬月至宰相，世未尝有。

又曰：蔡义，河内人。诏求能为韩诗者，征义。待诏，久不进见，义上疏曰："臣行能无所比，容貌不及众，而不弃人伦者，窃以闻于先师，自托于经术，愿赐清闲之燕，尽精思于前。"上召见，说诗，悦之，擢为光禄大夫，代杨敞为丞相。时年八十余，短小无须眉，貌类老妪，行步伛偻，常两吏扶乃能行。

又曰：邴吉为丞相，宽大好礼让，掾史有罪，辄予长休。吉终无所案验。客或谓吉："侯为汉相，奸吏成其私。"吉曰："夫以三公之府有案吏之名，吾窃陋焉。"后人代吉，公府不案吏，自吉始也。吉驭吏嗜酒，数逋荡，尝从吉出，醉呕丞相车茵上，西曹主吏白欲斥

之，吉曰："以醉饱之失去士，使此人将复何所容？西曹忍之。此不过污丞相茵耳。"遂不去也。

又曰：王商，字子威，涿郡人，为丞相有威重，长八尺余，身体鸿大，容貌过人。河平四年，单于来朝，引见白虎殿。丞相商坐未央庭中，单于前拜谒商，商起离席与言。单于仰视商貌，大畏之，迁延却退。天子闻而叹曰："此真汉相也！"

又曰：邴吉为丞相，常出，逢斗者，死伤横道，吉不问。又逢人逐牛，牛喘息吐舌。[吉]止驻，使骑吏问："逐牛行几里？"吏怪之。吉曰："人斗杀伤，长安令、京兆尹所当禁，吾备宰相，不亲小事。方春少阳用事，未可(以)[大]热，恐牛近行。此时气失节，三公典调阴阳，职所忧也。"

又曰：薛宣为丞相，相府辞讼，例不满万钱不为移书。后皆遵用薛侯故事，然官属讥其烦碎，无大体，不称贤相也。

又曰：韦贤，字长孺。为丞相，年七十余，乞罢归，赐第。丞相致仕，自贤始也。

又曰：田蚡为丞相，绌黄老刑名百家之言，延文学儒者数百人，儒由是兴。

又曰：丞相有病，皇帝法驾亲至问疾，及瘳视事，则赐以养牛上尊酒。如淳曰：律稻米一斗得酒一斗为上尊，稷米一斗得酒一斗为中尊，粟米一斗得酒一斗为下尊。师古曰：稷即粟也。中尊者宜为黍米，不当言稷。且作酒自有浇淳之异，为上中下耳，非必系于米也。

又曰：有天地大变，天下大过，皇帝使侍中持节，乘四白马，赐上尊酒十斛、牛一头。策告殃咎使者去半道，丞相追上病。使者还，未白事，尚书以丞相不起病闻。若丞相不胜任，使者策书驾骆马，即时布衣步出府，免为庶人。若丞相有他过，使者奉策书骓驺马，即时步出府，乘栈车牝马，归田里思过。

又曰：大司空朱博奏曰："帝王之道，不必相袭。高帝置御史大夫，次丞相，典政度，以职相参，历载二百，天下安宁。今更大司空

与丞相同。故事，选中二千石为御史大夫，任职者为丞相，位次有叙，所以尊圣德重国相也。今中二千石未更御史而为丞相，非所以重国政也。臣愿罢大司空，以御史大夫为百僚师。"哀帝从之。

又曰：相国、丞相皆秦官，金印紫绶，掌承天子，助理万机。秦有左右丞相，高帝更名相国，萧何、曹参并为之，哀帝更名大司徒。

《后汉书》曰：李通自为宰相，谢病不视事，连年乞骸骨。帝每优宠之，令以公位归第养疾。

《汉旧仪》曰：丞相车两黑辐骑者，戈绛，掾史见礼如师，白录不拜朝，示不臣也。听事阁，曰黄阁，无钟铃。

《汉杂事》曰：田蚡为丞相，中二千石拜谒，蚡不为礼。汲黯为主爵都尉，见蚡，未尝拜，揖之而已。

《汉旧仪》曰：丞相有病，皇帝法驾亲至问疾；薨，即移于第中，赐棺赗葬地；葬日，公卿以下会送。

应劭《汉官》曰：丞相有疾，御史大夫日一问起居，百官亦如之。

《魏志》曰：曹公初平十三年，汉罢三公官，置丞相、御史大夫。夏六月，以公为丞相。

又曰：钟繇，字元常。魏国初建为大理，迁相国。文帝在东宫，赐繇五熟釜，为之铭曰："於赫有魏，作汉藩辅。厥相惟钟，实干心膂。靖恭夙夜，匪遑安处。百僚师师，楷兹度矩。"

《蜀志》曰：诸葛亮率诸军攻祁山，魏明帝使张郃距亮。亮使马谡督诸军在前，马谡违亮节度，为所破，戮谡以谢众，上疏自贬，以右将军行丞相事。

《吴志》曰：张昭，字子布。初，孙权当置丞相，众议归昭，权曰："方今事职冗者，贵重非所以优也。"后孙劭卒，百僚复举昭，权曰："孤岂为子布爱乎？顾丞相事烦而此公性刚，所言不从，怨咎将至，非所以益之。"

又曰：顾雍为丞相，孙权常遣中书郎诣雍有所咨访。若合雍意，事可施行，雍即与相反复究而论之，为设酒食；如有不合，雍即

正色改容，默然不言，无所施设，即退告权。权曰："顾公欢悦，是事合宜也；其不言者，是意未平也。孤当重思之。"其见敬信如此。

又曰：万彧为右丞相，王蕃嘲彧曰："鱼潜于渊，出水吹沫，何则？物有本性，不可横处非分也。彧出自溪谷，羊质虎皮，虚受光赫之宠，跨越三九之位，犬马犹能识养，将何以报厚施乎？"彧曰："唐虞之朝无谬举之才，造父之门无驽蹇之质。蕃上诬明选，下讪桢干，亦何伤于日月？多见其不知量耳。"

又曰：顾雍，字元欢，吴郡人也。代孙邵为丞相平尚书事，其所选用文武将吏随能所任，心无适莫。时访逮民间及政职所宜，辄密以闻。若见纳用，则归之于上；不用，终不宣泄。权以此重之。

又曰：步骘，字子山。代陆逊为丞相，犹诲育门生，手不释书，被服居处有如儒生。然门内妻妾服饰奢绮，颇以此见讥。

又曰：陆凯迁丞相。孙皓性不好人视己，群臣侍见，睛莫敢迕。凯说皓曰："夫君臣，无不相识之道，若卒有不虞，不知所赴。"皓听凯自视。

《晋书》曰：东海王越为太(博)[傅]，问王尼何以独不拜？尼数越事，事非宰相，是以不拜。

又曰：山涛薨，魏舒领司徒，有顷即真。舒居位持重，为任职，不显人之(矩)[短]。咸推有宰相望。禄赐散之九族，家无余财。

《齐书》曰：褚渊，美仪貌，善容止，俯仰进退，盛有风则。每朝会，百僚远国莫不延首目送之。宋明帝常叹曰："褚渊能迟行缓步，便持此得宰相矣。

又曰：明帝顾命江佑兄弟及始安王遥光，尚书令徐孝嗣，领军萧坦之，更日帖敕，时呼为六贵，皆宰相也。"

《齐职仪》曰：相国绿綦绶衮冕服，汤以伊尹为宰相，仲虺为右相，高宗得傅说，立为相，魏襄王以公孙衍为相邦，赵孝成王以廉颇为相国。

太平御览卷第二百五

职官部三

丞相下

《唐书》曰：贞观二年，太宗谓侍臣曰："中书门下机要之司，擢才而居，任委实重，诏敕如有不便，皆须执论。比来惟觉阿旨顺情，遂无一言谏诤者，岂是道理！若惟署敕行文书而已，人谁不堪！何须拣择以相委付？自今以后，诏敕疑有不稳，必须执之。"

又曰：来恒及弟济，相次知政事，时以为荣。初，济父护儿在隋为猛将，而恒、济俱以学行见称。时虞世南子昶，既无才术，历将作少匠、工部侍郎，累居工作之司。济初升相位，许敬宗叹曰："士之登庸不系世业，履道则为衣冠，失绪则为匹庶。来护儿儿作宰相，虞世南男作木匠，忠贤文武固无种也。"

又曰：杜景俭为相，则天常以季秋内出梨花一枝示宰臣曰："是何祥也？"诸宰臣曰："陛下德及草木，故能秋木再花。虽周文德及行苇，无以过也。"景俭独曰："谨按《洪范五行传》：阴阳不相夺伦，渎之即为灾。又《春秋》云：冬无愆阳，夏无伏阴，春无凄风，秋无苦雨。今已秋矣，草木黄落而忽生此花，渎阴阳也。臣虑陛下，布教施令有亏礼典。又臣等忝为宰臣，助天理物，理而不和，臣之罪也。"于是再拜谢罪。则天曰："卿真宰相也。"

又曰：武太后尝召陆元方问以外事，对曰："臣备位宰相，有大事即奏，人间碎务，不敢以烦圣览。"

又曰：苏味道迁凤阁侍郎，同凤阁鸾台，三品。味道善敷奏，多

识台阁故事，然而前后居相位数载，竟不能有所发明，但脂韦其间，苟度取容而已。故时人号为模棱手，以为口实。

又曰：宇文融既居相位，欲以天下为己任，谓人曰："使吾居此数月，庶令海内无事矣。"于是荐宋璟为右丞相，裴耀卿为户部侍郎，许景先为工部侍郎，甚允朝廷之望。

又曰：牛仙客既居相位，独洁其身，惟诺而已。所有锡赉皆缄封，不敢费之。百司或有所咨决，辄对曰："但依令式即可。若不依文，非所知也。"

又曰：开元二十二年十一月制宰相兼官者，并两给俸禄。

又曰：杨绾，素以德行著闻，质性贞廉，车服俭朴，居庙堂未数日，人心自化。御史中丞崔宽，剑南西川节度使宁之弟，家富于财，有别墅在皇城之南，池馆台榭当时第一。宽即日潜遣毁坼。中书令郭子仪在邠州行营，闻绾拜相，座内音乐减散五分之四。京兆尹黎干以承恩，每出入，驺驭百余，亦即日减损车马，惟留十骑而已。其余望风变奢从俭者不可胜数，其镇俗移风若此。

又曰：肃宗时，天下事殷而宰相不减，三四员更直掌事。若休沐，各在第。有诏旨出入，非大事不欲历抵诸第。肃宗许令直事者一人，假署同列之名以进，遂为故事。

又曰：李峴为黄门侍郎，同中书门下平章事，宰臣不于政事堂邀客。时海内多务，宰相元载等见中官宣传恩诏至中书者，引之政事堂上，仍置榻坐焉。峴至，叱左右去其榻。

又曰：柳浑与张延赏同在相位，延赏怙权矜己而嫉浑守正，俾其所厚谓浑曰："相公旧德，但节言于庙堂，则重位可久。"答曰："为吾谢张相公：柳浑头可断也，言不可绝。"自是竟为延赏所挤，寻除右散骑常侍，罢知政事。

又曰：柳浑为相，而韩滉自浙西入觐，朝廷委政待之，至于调兵、食笼、盐铁、勾官吏赃罚、钳豪强，兼并上委仗焉。每奏事，或日旰，他相充位而已。公卿救过不能暇，无敢枝梧者。滉于省中榜吏

至死。浑虽滉所引，心恶其专政，正色让之曰："先相公狷察，为相不满岁而罢。今相公榜吏于省中至死，况省阁且非刑人之地，相公奈何蹈前非，行于今朝，专立威福？岂尊主卑臣之义也！"滉感悟，愧悔为弄威焉。

又曰：李晟之在凤翔也，谓宾介曰："魏征能直言极谏，致太宗于尧舜之上，真忠臣也，仆所慕之。"行军司马李叔度对曰："此搢绅儒者之事，非勋德所宜。"晟敛容曰："行军失言！传称：邦有道，危言危行。今休明之期，晟幸得备位将相，心有不可忍而不言，岂所谓有犯无隐知而不为者耶！是非在人主所择耳。"叔度惭而退。故晟为相，每当上所顾问，必极言匪躬尽大臣之节。性沉默，未尝泄于所亲。

又曰：阎立本为右相，与左相姜恪对掌枢密。恪既历任将军，立功塞外；立本惟善于图画，非宰辅之器。故时人以《千字文》为之语曰：左相宣威沙漠，右相驰誉丹青。

又曰：皇甫镈阴结权倖，以求宰相，崔群累疏其奸邪，尝因对面论语及天宝开元中事。群曰："安危在出令，存亡系所任。玄宗用姚崇、宋璟，张九龄、韩休，李元纮，杜暹则理，用李林甫、杨国忠则乱。人皆以天宝十五年禄山自范阳起兵，是理乱分时；臣以为开元二十年罢贤相张九龄，专任奸臣李林甫，理乱自此已分矣。用人得失，所系非小。"词意激切，左右为之感动。镈深衔之，而宪宗终用镈为宰相。

又曰：李绛为相，同列李吉甫便僻，善逢迎上意。绛梗直，多所规谏，故与吉甫不协。时议者以吉甫通于承璀，故绛尤恶之。绛性刚讦，每与吉甫争论，人多直绛。宪宗察绛忠正自立，故绛论奏多所允从。

又曰：贞元九年，诏宰相以旬秉笔决事。初，至德中，宰相迭秉笔处断，每十月一易，及贾耽、赵憬、陆贽、卢迈同平章政事，百寮有所关白，更相让不言。于是奏议请旬秉笔者出应之，其后又请每日

更秉其笔，迭以应事，皆从之。

又曰：李藩拜门下侍郎时，王锷领太原，用钱千万赂贵倖，求兼相。藩与权德舆在中书，有密旨曰："王锷可兼宰相，宜即拟来。"藩遂以笔涂兼相字，却奏上云"不可"。德舆失色曰："纵不可，宜别作奏，岂有以笔涂诏耶！"曰："势迫矣！出今日，便不可止。日又暮，何暇别作奏！"事果寝。

又曰：韩弘入朝，以宣武旧事，人多流言。其子公武以家财厚赂权幸及多言者，班列之中悉受其遗。俄而，父子俱卒，孤孙幼小。穆宗恐为厮养窃盗，乃令中使至其家，阅其宅簿以付家老，而簿上具有纳赂之所。惟于牛僧孺官侧朱书曰：某月日送牛侍郎物若干，不受，即付讫。穆宗按簿甚悦。居无何，议命相，帝首可僧孺之名。

又曰：李程为相，敬宗冲幼，好治宫室，畋游无度。欲于宫中营新殿，程谏曰："自古圣帝明王以慈俭化天下，陛下在谅暗之中不宜兴作，愿以瓦木回奉园陵。"上欣然从之。

又曰：文宗问宰相曰："天下何由太平，卿等有意于此乎？"牛僧孺奏曰："臣等待罪辅弼，无能康济，然思太平亦无象。今四夷不至交侵，百姓不至流散，上无淫虐，下无怨嗟，私室无强家，公议无壅滞，虽未及至理，亦谓小康。陛下若别求太平，非臣等所及。"既退，至中书，谓同列曰："吾辈为宰相，天子责成如是，安可久处兹地耶！"旬日间，三上章请退，不许。

又曰：韦处厚为相时，文宗勤于听政，然浮于决断，宰臣奏事得请，往往中变。处厚常独论奏曰："陛下不以臣等不肖，用为宰相，参议大政。凡有奏请，初蒙听纳，寻易圣怀。若出自宸衷，即示臣等不信；若出于横议，臣等何名鼎司。且裴度元勋宿德，历辅四朝，孜孜竭诚，人望所属，陛下固宜亲重，窦易直良，厚忠事先朝，陛下固当委信。微臣才薄，首蒙陛下擢用，非出他门。言既不从，臣宜先退。"即趋下再拜陈乞。上矍然曰："何至此耶？卿之志业，朕素自知，登庸作辅，百职斯举，纵朕有所失，安可遽辞以彰吾薄德！"处

厚谢之而去，出延英门，复令召还，谓曰："凡卿所欲言，并宜启谕。"处厚因对，彰善瘅恶，归之法制，凡数百言。又言裴度勋高望重，为人尽心切直，宜久任，可以壮国威。帝皆听纳。自是宰臣敷奏，人不敢横议。

又曰：文宗朝宰臣杨嗣复因对奏曰："使府判官，今人数猥多，徒有糜费，臣欲条疏。"上曰："莫限及才人否。"嗣复曰："有才人自别，但澄去滓弊者，菁华自出。"上曰："萧复为相，难言者必言，贞元之名相也，卿其志之。"

又曰：宋申锡为相，尤以公廉为己任，四方问遗，悉无受者。既被罪，为有司验劾，多获其四方受领所还问遗之状，朝野为之叹息。

又曰：宋申锡以障王事。申锡既被罪，怡然不以为意，自中书归私第，止于外厅，素服以俟命。其妻出，谓之曰："公为宰相，人臣位极于此，何负天子反乎？"申锡对曰："吾自书生被厚恩，擢相位，不能锄去奸乱，反为所罗网，夫人察申锡岂反者乎？"因相与泣下数行。

又曰：李德裕父吉甫，年五十一出镇淮南，五十四自淮南复相。今德裕自镇南复入相，一如父之年。

又曰：会昌元年，中书奏请依姚琦故事，宰臣每月修《时政记》送史馆，从之。

又曰：宣宗时，魏谟为相，奏曰："臣无夔契之才，骤叨夔契之任，将何以仰报鸿私？今边戍粗安，海内宁息，臣愚所切，陛下未立东宫，俾正人傅导以存副贰之重。"因泣下，上感而听之。先是，累朝人君不欲人言立储贰，若非人主己欲，臣下不敢献言。宣宗春秋高，嫡嗣未办，谟作相之日，率先启奏，人士重之。

又曰：曹確与毕诚俱以儒术进用，并居相位，廉洁贞苦，君子多之，称为曹毕。

又曰：萧遘与王铎并居相位，帝常召宰相，铎年高，升阶足跌，踣勾阵中，遘旁掖起。帝目之，喜曰："辅弼之臣和，予之幸也。"谓

遘曰："适见卿扶王铎子，喜卿善事长矣。"遘对曰："臣扶王铎，不独司长。臣应举岁，铎为主司，以臣中选门生也。"上笑曰："王铎选进士，朕选宰相，于卿无负矣！"遘谢之而退。

太平御览卷第二百六

职官部四

总叙三师　太师　太傅　太保　太宰　总叙三公

总叙三师

《六典》曰：三师，训导之官也。盖天子所师法，大抵无所统职，然非道德崇重则不居其位，无其人则阙之。

《尚书》云：成王黜殷，灭淮夷，归酆，作《周官》。立太师、太傅、太保，兹惟三公，论道经邦，燮理阴阳。孔安国曰："师，天子所师法；傅，傅相天子；保，保安天子于德义。"

《礼记》云：设四辅及三公，不必备，惟其人。语使能也。

《六典》云：汉承秦制，不置三公。汉末，以大司马、大司徒、大司空为三公。师傅之官，位在三公上。后汉因之，师、傅尊号曰上公，置府僚。魏、晋、江左皆然。后魏太师、太傅、太保尊号曰三师，后周又为三公。隋氏又为三师。

太　师

《毛诗》曰：尹氏太师，维周之氐，秉国之均，四方是维，天子是毗，俾民不迷。笺云：毗，辅也。言尹氏居太师之官，持国政之平，维制四方。

又曰：维师尚父，时惟鹰扬，谅彼武王，肆伐大商。

《大戴礼》曰：天子不论于先圣王之德，不知君国畜民之道，不见礼义之正，不察应事之理，不博古之典传，不闲威仪之数，礼乐无经，学业不法，凡是其属太师之任也。

《逸礼》曰：太公为太师，周公为太傅，召公为太保。

《史记》曰：周文王得吕尚于磻溪，以为师，谓之太公；武王嗣

位，号曰师尚父；成王即政，尊为太师。

《汉书音义》曰：师，训也。

应劭《汉官仪》曰：孝平皇帝元始元年，太后诏曰："太师光，今年老有疾，俊乂大臣，惟国之重。《书》曰：无遗老成，国之将兴。尊师重傅，其令太师无朝，十日一赐餐，赐以灵寿杖。黄门令为太师于省中施坐置几，太师入省用杖焉。"

《续汉书》曰：赵典笃学博闻，宜备国师，即太师也。

《献帝春秋》曰：董卓自号太师，御史中丞以下皆拜。皇甫嵩与卓争权，后嵩为中丞，见卓拜。卓曰："可以服未？"嵩曰："安知明公乃至于是。"卓曰："鸿鹄固有远志，但燕雀不知耳。"嵩曰："昔与明公俱为鸿鹄，但公今日变为凤凰。"卓笑曰："卿早服，何得不拜！"

《晋书·载记》曰：蜀李寿以安车束帛聘龚壮为太师，壮固辞，特听缟巾素带，居师友之位。

《宋书》曰：太师、太傅、太保、为三公，训护人主，导以德义，天子加拜，待以不臣之礼，非人则阙矣。汉制保傅在三公上，号曰上公，自后常然。

《隋书》曰：高祖受禅，李穆来朝，高祖降座礼之，拜太师，赞拜不名，真食成安县三千户。于是穆子孙虽在襁褓，拜仪同。其一门执象笏者百余人。穆之贵盛，当时无比。

《唐书》曰：太宗降手诏曰："朕观前代，明王圣主曷常无师傅哉？况朕踵百王之末，智不周物，其无师傅何以匡朕之不逮！《诗》不云乎：不愆不忘，率由旧章。宜依古道，置三师位也。"

《通典》曰：太师古官，殷纣时箕子，周武王时太公，成王时周公，并为太师。周公薨，毕公代之。秦及汉初并无，至平帝元始元年初置，以孔光居焉。金印紫绶，位在太傅上。

太　傅

《大戴礼》曰：傅，傅之德义也。天子无恩于父母，不惠于庶人，

无礼于大臣，不中于折狱，不哀于丧，不敬于祭，不信于诸侯，不议于戎事，不厚于德，不强于行，不从太师之言。凡是之属，太傅之任也。

《汉书》曰：王莽权日盛，孔光忧惧，不知所出，上书乞骸骨。莽白太后："帝幼小，宜师傅。"领宿卫，明年，徙为太师。莽为太傅，光常称疾，不敢与莽并。

《汉书音义》曰：傅，覆也。

《东观汉记》曰：诏云，行太尉事[卫尉]赵喜，三叶在位，为国元老，其以喜为太傅。

又曰：胡广为太傅，总录尚书事。时年八十而心力克壮，继母在堂，朝夕瞻省，傍无几杖，言不称老，达练事体，明解朝章，虽无謇直之风，屡有补缺之益。

又曰：卓茂，字子康。世祖即位，求茂谒见。年七十余，拜太傅，封宣德侯，赐几杖。

又曰：邓禹，字仲华，以元功拜太傅，进见东向，甚见尊宠。

《后汉书》曰：张禹迁为太傅，邓太后以殇帝初育，育，生也。欲令重臣居禁内，乃诏禹舍宫中，给帷帐床褥，太官朝夕进食，五日一归府。每朝见，特赞与三公绝席。

《续汉书》曰：太傅掌以善道，无常职。每帝即位，辄置一人录尚书事，薨，辄省之。

华峤《后汉书》曰：邓彪，字智伯，为太傅，赐爵关内侯。百官总己以听于彪，恩宠之异，莫与为比焉。

应劭《汉官》曰：太傅，古官也。周成王时，康叔为之。高后元年初，用王陵，金印紫绶。

又曰：和帝册故太尉邓彪曰："元功之族，三让弥高，今以彪为太傅。"

《魏志》曰：钟繇迁太傅。繇有膝疾，拜起不便。时华歆亦以高年疾病，朝见皆使载舆车，虎贲舁上殿就坐。是后三公有疾，遂以

为故事。

《晋书》曰：何曾为太傅，乞逊位，诏会朝剑履乘舆上殿，如汉相国萧何、田千秋，魏太傅钟繇故事。

《宋书》曰：晋宣帝为魏太傅，诛曹爽，后置左右长史、掾属、舍人各十人，事既非常，加又领兵，非准例也。

《齐职仪》曰：太傅，品秩冠服同太宰。成王即位，周公为太傅，迁太师，秦无其职。汉惠帝崩，吕后以丞相王陵为少帝太傅，位在三公上。

《后魏书》：淮阳王欣，大统中为太傅，文帝谓欣曰："王三为太傅，再为太师，自古人臣未闻此例。"欣逊谢而已。

《北齐书》曰：高归彦作乱冀州，诏段韶与东安王娄睿率众讨平之，迁太傅，赐女乐十人并归彦果园一千亩。

《后周书》曰：王盟为太傅。盟姿度弘雅，仁而泛爱，虽位居师傅，礼冠群后而谦恭自处，未尝以势位骄人。魏文帝甚尊重之。

贾谊《新书》曰：昔周文王使太公望傅太子发，嗜鮀大何反。鱼而公弗予。文王曰："发嗜鮀鱼，何为弗予？"太公曰："礼，鮀鱼不登乎俎豆，岂有非礼而可以养太子哉！"

《语林》曰：太傅府有三才：裴邈清才，潘阳仲大才，刘庆孙长才。

曹植《辅臣论》曰：盖精微听察，理析毫分，规矩可则，阿保不倾。群言系于口，而研核是非；典诰总乎心，而惟所用之者，钟太傅也。

王廙之《保傅箴》曰：保傅之贤明，宗国用宁；辅弼之不忠，祸及于躬。无曰父子无间，昔有潘崇；无曰至亲无二，或容江充。

太　保

《周礼》曰：保氏掌谏王恶。谏者，以礼义正之也。

《大戴礼》曰：天子处位不端，受业不敬，言语不序，声音不中

律，进退升降不以礼，俯仰周旋无节，凡此之属，太保之任也。

《尚书大传》曰：成王在丰，欲宅洛邑，使召公先相宅。六月乙未，王朝步自周则至于丰，惟太保先周公相宅。太保召公先周公视洛邑也。

应劭《汉官》曰：太保，古官也。保，养也。

《晋书》曰：王祥，字休征。泰始元年拜太保。三年，御史中丞侯史光上言："祥久以疾病缺废朝会，应免官。"诏曰："太保耆艾元老，高行清粹，朕所毗倚，以隆道弘治者也。前后逊让不从所执，此非有司所得议也。其寝光奏。"

《晋起居注》曰：太保卫瓘明允笃诚，有匪躬之志，其给千兵，骑百人。

《齐职仪》：殷太甲时，伊尹为太保。周成王时，召公为太保。

崔鸿《十六国春秋·蜀李雄录》曰：雄异母兄始，字伯敬，为太保，善抚士众，众多归之。时人为之语曰：欲养老，属太保。

《吕氏春秋》曰：荆文王得如黄之狗、宛路之矰，以田于云梦，三月不反，得丹阳之姬，期年不听朝。保申曰："先王卜，以臣为保吉，今王期年不听朝，王之罪当笞。王伏，臣将笞王。"王曰："不穀免于襁褓而齿于诸侯矣。愿请变更而无笞。"保申曰："臣承先王之令，不敢废也；王不受笞，是废先王之令也。臣宁抵罪于先王。"王曰："敬诺。"引席，王伏，保申束细箭五十，跪而加之于背，如此者再。谓曰："王起。"王乃变更，召保申杀如黄之狗，折宛路之矰，放丹阳之姬，兼国三十九，保申之力也。

太　宰

《周礼·天官上》曰：太宰之职，掌建邦之六典，佐王治邦国。

又曰：太宰以九两系邦国之民。两，耦合之。言系者以维持其情性，使不离散也。

《尚书·伊训》曰：百官总己，以听冢宰。伊尹乃明言烈祖之成

德，以训于王。汤有功烈之祖，故称为王，即太甲也。

又曰：冢宰统百官，均四海。

《家语》曰：官属不治，分职不明，法政不一，百事失纪曰乱。乱则饬冢宰。饬谓整摄。

《晋书》曰：武帝时，何曾屡上书逊位，诏以"司徒所掌烦务，不可以久劳耆艾，其进位太宰，朝会乘舆，剑履上殿，以汉萧何、魏钟繇故事。"

又曰：何曾为太宰，年老礼优，每召见，敕以常所饮食服物自随，令二子侍从。

又曰：太宰荣与王导同受顾命辅成帝时，帝幼冲，诏荣依安平献王孚故事，设床帐于殿上，帝亲迎拜。

又曰：安帝以太宰琅琊王德文不宜婴拂事务，以纡论道之重；可兖冕之服，绿綖绶，羽葆鼓吹。綖，音戾。盭，绿也。以线为质。又曰：盭，草名也，出琅琊平昌县。似艾，可染绶，因以为绶名也。

《晋公卿礼秩》曰：安平王孚，朗陵公何曾，汝南王亮，皆为太宰。

《齐职仪》曰：太宰品第一，金章紫绶，佩山玄玉。尧命羲和，使主阴阳之职。羲伯司天，即天官也。后稷伏事虞夏，敬授民时，尊稷为天官。夏衰，稷后不窋失官，由是废稷。殷以其官为冢宰。周公在丰为太宰，邵公又居之。秦汉魏无其职。晋武以从祖安平王孚为太宰，安平薨，省；咸宁四年又置。或谓本太师之职。避景皇讳，改为太宰。或谓太宰，周之卿位。晋武依周置职以尊安平，非避讳也。元兴中，恭帝为太宰，桓玄都督中外，博士徐豁议："太宰非武官不应都督。"遂从豁议。

《后周书》曰：文帝依《周礼》，建六官，遂置天官大冢宰卿一人，掌邦理，以建邦之六典佐皇帝，理邦国。

《通典》曰：太宰于殷为六太，于周为六卿，亦曰冢宰。周武王时，周公始居之，掌建邦之理。秦、汉、魏并不置。晋初，依《周礼》

备三公。三公之职，太师居首。景帝名师，故置太宰以代之，而以安平献王孚居焉。

仲长统《昌言》曰：冢宰，尧官也，《尚书》曰冢宰。一曰掌邦治官府以纪万民；二曰教典，以安邦国，以教官府，以扰万民；三曰礼典，以统百官，以和邦国，以谐万民；四曰政典，以平邦国，以正百官，以均万民；五曰刑典，以诘邦国，以任百官，以生万民。

魏温子升《为上党王穆让太宰表》曰：臣闻策蹇长途，终惭一日之致；悬缕层台，难任千钧之重。固知才弱不可自强，力微难以企及。智小谋大，恐贻折足之忧；才轻任重，惧有绝膑之悔。既虑铄金，固陈匪石。

总叙三公

《六典》曰：三公，论道之官也。盖以佐天子，理阴阳，平邦国，无所不统。故不以一职名其官。

《尚书》曰：惟兹三公，论道经邦，燮理阴阳。

《周礼》曰：三槐，三公位焉。

《公羊》曰：三公者何？天子之相。

《春秋汉含孳》曰：三公在天为三台，九卿为北斗。三公象五岳，九卿法河海，二十七大夫法山陵，八十一元士法谷阜，合为帝佐以匡纲纪。

《史记》曰：公孙弘，以《春秋》白衣为天子三公。汉初，因秦置丞相，而弘为之，则丞相为三公矣。

《汉书》曰：六符。孟康曰：泰阶三台也，凡六星也。六符，星之符验也。

《晋书》曰：文帝为晋王，何曾与高柔、郑冲俱为三公。将入见，曾独致拜尽敬，二人犹揖而已。

《晋官品令》曰：三公，绿綦绶也。綦，音戾。

《宋志》曰：三公黄阁，前史无其义，按《礼记》，士，辟与天子同，公侯、大夫则异。郑玄注云：士贱与君同，不嫌也。夫朱门洞启，当

阳之正色也。三公之与天子礼秩相亚，故黄其阁以示谦，不敢斥天子，宜是汉来制也。𥳑，音毕。

《通典》曰：隋置太尉、司徒、司空以为三公，参议国之大事。依北齐置府寮，无其人则缺。祭祀则太尉亚献，司徒奉俎，司空行扫除，其位多旷，行事则摄。

《天文录》曰：三台星，一名三能，一名天柱。三公之位也。在人曰三公，在天曰三台。

陶氏《职官要录》曰：三台，拟三公。黄帝以风后配上台，天老配中台，五圣配下台。

《韩子》曰：背私曰公。三象鼎足，数三，法三光。

《傅子》曰：三公者，佐天子理阴阳。

《环济要略》曰：三公者，象鼎三足，共承其上也。

《说苑》曰：三公，正天下，调阴阳，节风雨。

《古今通语》曰：异官同爵，共位别职，兴仁隆化、幽赞神明者，谓之大尉；和五教、理人伦，使风行俗平、万国咸宁者，谓之司徒；使国无枉理，法错刑清、事均民聚者，谓之司空。若仁义之路开，和平之气通，则五星顺行，庶绩咸熙。

李固《奏记》曰：汤问伊尹，公卿大夫其相何如？伊尹对曰：三公，智通大道，应变不穷者也。其言足以调阴阳、正四时、节风雨，非大罪不逊位。

太平御览卷第二百七

职官部五

太尉　司徒上

太　尉

《礼记·月令》曰：孟夏之月，命太尉赞杰俊。蔡邕《章句》曰：太尉，卿官。

《春秋运斗枢》曰：赤龙负图以出河，见尧与太尉舜等百二十臣集发藏大麓。

《春秋合诚图》曰：尧坐中舟，与太尉舜临观凤皇授图。

《史记》曰：孝惠帝六年，置太尉官。

《汉书》曰：太尉，秦官也，掌武事。

又曰：高祖言周勃重厚而少文，然安刘氏者必勃也。可为太尉。

《东观汉记》曰：刘彪，字智伯，为太尉，在位清白廉让以率下。

又曰：张辅，字孟侯。为太尉，父尚在。辅每迁转，乃一到雒，父来，适会正腊，公卿罢朝，俱贺岁，奉酒上辅父寿，极欣燕，莫不嘉其荣也。

《后汉书》曰：杨震，字伯起，尝客于湖外，不答州郡礼命数十年，众人谓之晚暮，而震励志逾笃。后有鹳雀衔三鲤鱼飞集讲堂前，都讲取鱼进曰："凡鲤者，卿大夫之服象也。数三者，法三台也。先生自此升矣。"后果位至太尉。

又曰：刘宽为太尉，灵帝颇好学艺，每引见宽，令讲经，宽尝于坐被酒睡伏。被，加也。为酒所加也。帝问："太尉醉耶？"宽仰对曰："臣不敢醉，但任重责大，忧心如醉。"

又曰：张禹为太尉，时连岁灾荒，府藏空虚。禹上疏求入三岁租税，以助郡国廪假。廪，给也。假，贷也。许之。

又曰：杨震代刘恺为太尉，帝舅大鸿胪耿宝荐中常侍李闰兄于震，震不从，宝乃自往候震曰："李常侍，国家所重，欲令公辟其兄，宝惟传上意耳。"言非己本心传在上之意。震曰："如朝廷欲令三府辟召，固宜有尚书敕。"遂拒不许，宝大恨而去。

又《宦者传》曰：曹嵩，灵帝时货赂中官及输西园钱一亿万，故位至太尉。

《续汉书·百官志》曰：太尉一人，掌方岳事物、功课，岁尽则奏其殿最而行赏罚。世祖即位为大司马。

又曰：太尉，郊庙掌亚献、大丧，告谥南郊。

又曰：王龚为太尉，在位恭慎。自非公事，不通州郡书记；其所辟命，皆海内长者。

谢承《后汉书》曰：郑弘为临淮太守，行春，有二白鹿随车夹毂而行，弘怪，问主簿黄国，鹿为吉凶，贺曰："闻三公车辐画作鹿，明府当为宰相。"弘后果为太尉。

又曰：陈蕃拜太尉，临朝叹曰："黄宪若在，不敢先佩印绶。"

又曰：郑弘，字巨君，为太尉，举将第五伦为司空，班位在下，每正朝见弘，曲躬自卑。帝知，遂置云母屏风分隔之，由此以为故事。

又曰：京兆朱宠，字仲威。为太尉，家贫，食脱粟饭，卧布被，朝廷赐锦被(粱)[粱]肉，皆不敢当。

华峤《后汉书》曰：安帝即位，太尉徐防以灾异寇贼策免就国。凡三公以灾免，自防始也。

袁山松《后汉书》曰：太尉刘虞让位于羊续。灵帝时为三公者，皆输礼钱千万，续举褊袍以示之曰："臣之所有，惟此而已。"遂不代虞。

张璠《汉记》曰：杨秉，字叔卿，为太尉，常曰："我有三不惑：酒、色、财也。"天下称为名公。

《汉书·百官表》曰：太尉，秦官，金印紫绶，掌武事，周勃、灌婴、周亚夫等为之。

又《百官表注》曰：太尉，古官也。自上安下曰尉，故官以为号。

应劭《汉官仪》曰：章帝诏曰："司空牟融典职六年，勤劳不怠，其以融为太尉，录尚书事。"

又曰：《冲帝册书》曰：太尉赵峻，贰掌枢衡，有匪石不贰之心。

又曰：三公，国之桢干，朝廷取正，以成断金。大司农李固，公族之苗，忠正不挠，有史鱼之风，其以固为太尉。

又曰：河间相张衡说明帝，以为司徒、司空府已荣，欲更治太尉府，府公南阳赵喜也。西曹掾安众郑均素好名节，以为朝廷新造北宫，整饬宫寺。今府本馆陶公主第舍，员职鲜少，自足相授喜，表陈之，即见听许。其冬，帝幸辟雍，历二府，光观壮丽，而太尉府独卑陋。显宗东顾叹息曰："屠牛纵酒，勿令乞儿为宰。"

《汉官典职》曰：太尉，孝文三年置，七年省。武帝建元二年置，五年复省，更名大司马。建武二十七年复置太尉。

《魏志》曰：文帝践祚，钟繇迁太尉。时华歆、王朗并先世名臣，帝罢朝，谓左右曰："此三公者，乃一代之伟人也，后日殆难继矣。"

又曰：华歆拜太尉。歆疾，乞退，让位于管宁，文帝不许。临当大会，乃遣散骑常侍缪袭奉诏谕旨曰："朕新莅庶事，一日万机，惧听断之不明，赖有德之臣，左右朕躬。君其力疾就会，以惠予一人。"将立几筵，命百官总己，以须君到，然后御坐。

又曰：邓艾，字士载。既平刘禅，诏曰："艾曜威奋武，深入虏庭，斩将搴旗，枭斩鲸鲵，使僭号之主稽首系颈，历世逋诛，一朝而平。兵不逾时，战不终日，云彻席卷，荡定巴蜀。虽白起破强楚，韩信克劲赵，吴汉擒子阳，亚夫灭七国，计功论美，不足比勋，其以艾为太尉，增邑二万户。"

（又）[晋书]曰：王祥，字休征，为太尉。司马文王进爵为王，祥与司徒何曾、司空荀颉并诣王。颉曰："相王尊重，今可相率而拜。"

祥曰："相国势位诚为尊贵，然乃是魏之宰相，吾等魏之三公，公王相去，一阶而已，班列大同，安有天子三司可辄拜人者耶！损魏朝之美，亏晋王之德，君子爱人以礼，吾不为也。"及入，荀颢遂拜，祥独长揖。文王谓祥曰："然后知君子见顾之重。"

《吴志》曰：孙皓诏曰："范慎勋德俱茂，朕所敬凭，宜登上公以副众望，可为太尉。"

《晋中兴书》曰：郗鉴为太尉，虽在公位，冲心愈约，劳谦日仄，诵玩坟索，自少及长，身无择行。家本书生，后因丧乱，解巾从戎，非其本愿，常怀慨然。咸康五年秋寝疾，上疏逊位，优诏不许。

又曰：桓温授侍中、太尉，固让不受。旬月之中，使者八至，轺轩相望于道，温遂亲职。

谢灵运《晋书》曰：秦有太尉掌兵，汉仍修之，或置或省。是故司马之官，主九伐之职。

《齐职仪》曰：魏文黄初二年，日蚀，奏免太尉贾诩。诏：天地灾害，责在朕躬，勿贬三公，遂为永制。

《五代史·后唐书》：庄宗御文明殿，册齐王张全义为守，太尉如常。仪礼毕，全义于尚书都省领事，宰臣群官在列，左谏议窦专不降阶，为御史所劾。专援引旧典以对。时宰臣不记故事，无能诘责，寝而不行。

《汝南先贤传》曰：陈蕃拜太尉，让曰："齐七政、训五兵，臣不如议郎王畅。"

《天文录》曰：三公星在北斗杓南，主宣德化，和阴阳，若今之太尉、司空之象也。

挚虞《册陇王太尉文》曰：朕惟君行为时表，亲则宗臣，论道经邦，保乂皇家，是用进登上台。

司徒上

《尚书·舜典》：帝曰："契！百姓不亲，五品不逊。五品，五常。逊，

顺也。汝作司徒而敬敷五教在宽。五常之教，务在宽也。

《礼记·王制》曰：司徒修六礼以节民性，明七教以兴民德，齐八政以防民淫，一道德以同俗，养耆老以致孝，恤孤独以逮不足，上贤以崇德，简不肖以黜恶。司徒，地官，卿掌邦教也。

又《月令》曰：孟夏之月，司徒行县鄙。蔡邕《月令章句》曰：司徒，教官也。

又曰：契为司徒而民成，谓知五教之礼也。

《毛诗·缁衣》曰：缁衣，美武公也。父子并为周司徒，善于其职，国人宜之，故美其德以明有国善善之功焉。

《周礼》曰：乃立地官司徒，使帅其属而掌邦教，以佐王安扰邦国。扰，亦安也。

又曰：大司徒之职，掌建邦之土地之图与其人民之数，以佐(三)[王]安扰邦国。以天下土地之图，周知九州之域广轮之数，辨其山林、川泽、丘陵、坟衍、原隰之名物。

又(曰)《地官》曰：大司徒之职，凡建邦国以土圭[之法]，土其地而制其域。土其地，犹言度其地也。

又曰：大司徒之职，以五礼防万民之伪，而教之中；礼所以节止民之侈伪，使其行得中。以六乐防万民之情，而教之和。乐所以荡正民情思，使其心应和也。

又《地官》曰：大司徒之职，以保息六养万民：一曰慈幼，保息，谓安之也。慈幼，谓爱幼少也。二曰养老，三曰振穷，四曰恤贫，五曰宽疾，六曰安富。安富，谓平其徭役，不专取。

《春秋传》曰：祝鸠氏，司徒也。

《尚书·大传》曰：百姓不亲，五品不训，则责司徒。

《韩诗外传》曰：君臣不正，人道不和，国多盗贼，人怨其上，则责之司徒。

《论语摘辅像》曰：仲尼为素王，颜渊为司徒。

《家语》曰：地宜不殖，则物不蓄，万民饥寒，教训不行，风俗淫

僻，人民流散，曰危。危则饬司徒。饬，谓整摄。

《汉书》曰：祝良，字仲子，东海人，为大司徒。鲍恢为长史，以事至东海，过其家，见良妻布衣徒跣，曳柴从田中归。恢告曰："我司徒史也，故来授书，欲见夫人。"妻曰："妾是也。若掾耶？"恢下拜之，叹息而归。

《东观汉记》曰：邓禹为司徒，讨赤眉不以时进，光武与书曰：司徒，尧也；赤眉，桀也。今长安饥民，孰不延望？

又曰：袁安为司徒，每朝会忧念王室，未尝不流涕。

又曰：郭丹为司徒，在朝，名清廉公正。

《后汉书》曰：蔡茂，字子礼。代戴涉为司徒，在职清俭匪懈。茂初在广汉，梦在大殿之极，上有三穗禾，茂跳取之，得其中穗，辄复失之。主簿郭贺离席庆曰："大殿者，官府之形像也。极而有禾，人臣之上禄也。取其中穗，中台之位也。于字禾失为秩，虽曰失之，乃以得禄秩也。衮职有缺，君其补之。"旬月而茂征焉，辟贺为掾。

又曰：光武即位高邑，使使者持节拜，邓禹为大司徒，策曰："前将军禹，深执忠孝，与朕谋谟帷幄，决胜千里。孔子曰：自吾有回，门人日亲。斩将破军，平定山西，功效尤著。百姓不亲，五品不训，汝作司徒，敬敷五教，五教在宽。今遣奉车骑都尉授印绶封为酇侯，邑万户，其敬之哉！"禹时年二十四。

又曰：范迁为司徒，有宅数亩，田不过一顷，复推与兄子。其妻常谓曰：君有四子而无立锥之地。

又曰：张湛称疾不朝，后大司徒戴涉被诛，涉字叔平，冀州清河人也。坐所举人盗金下狱。帝强起湛以代之。湛至朝堂，遗失溲便，溲，小便也。溲音所流反。因自陈疾笃，不能复任朝事。遂罢之。

又曰：冯勤迁司徒。先是，三公多见罪退，帝贤勤，欲令以善自终。因宴见从容戒之曰："朱浮，上不忠于君，下陵轹同列，竟以中伤至今。"朱浮为大司空，坐卖弄国恩免。又为陵轹同列，帝衔之，惜其功，不忍加

罪。死生吉凶未可知，岂不惜哉！人臣放逐受诛，虽复追加赏赐赙祭，不足以偿不訾之身。訾，量也。言无量可比之，贵重之极也。訾与资同。忠臣孝子，览照前代以为鉴诫，能尽忠于国，事君无二，则爵赏光乎当代，功名列于不朽，可不勉哉！"勤愈恭约尽忠，号称任职。

又曰：宣秉，字巨公，拜大司徒，所得俸禄以收养亲族，自无担石之储。

又曰：鲍昱代王敏为司徒，赐钱帛什器帷帐。

又曰：司徒公一人，掌人民事，凡教民孝悌、逊顺、谦俭、养生送死事，则议其制建其度。凡四方民事功课，岁尽则奉其殿最而行罚；凡郊祀之事，掌牲视濯。

谢承《后汉书》曰：刘宠为司徒，卧粗布被。

《汉官典职》曰：司徒，本丞相官，哀帝改为大司徒，主司徒众，驯五品，府与苍龙阙对。厌于尊者，不敢称府也。

《魏志》曰：华歆，字子鱼。拜司徒。歆素贫，禄赐以赈施亲戚故人，家无担石之储。公卿尝并赐没入生口，惟歆出而嫁之。帝叹息，下诏曰："司徒，国之俊老，所与和阴阳、理庶事也。今太官重膳，而司徒蔬食，甚无谓也。特赐御衣，及[为]其妻子男女皆作衣服。"

又曰：黄初元年，改相国为司徒，御史大夫为司空，奉常郎中令为大司农。

《魏名臣奏》曰：黄门杜恕奏曰：汉故事，人民病疾，责之司徒。

《蜀志》曰：许靖，字文休。及先主即尊号，策靖曰："朕获奉洪业，君临万国，夙宵徨徨，惧不能绥，百姓不亲，五品不逊。汝作司徒，其敬敷五教，五教在宽，君其勖哉！秉哉无怠，称朕意焉。"靖虽年逾七十，爱乐人物，纳诱后进，清谈不倦，丞相诸葛亮皆为之拜。

《吴录》曰：丁固为司徒，初为尚书，梦松树生其腹上，谓人曰："松字十八公也，后十年，吾当为公乎？"遂如梦焉。

太平御览卷第二百八

职官部六

司徒下　司空

司徒下

《晋书》曰：王浑，字玄冲，迁司徒仍加兵。浑以司徒文官主吏不持兵，持兵乃吏属；绛衣自以非是旧典，皆令皂服。论者美其谦而识体。

又曰：石苞为司徒，奏州郡农桑未有赏罚之制，宜遣掾属循行，皆当均其土，宜举其殿最然后黜陟焉。诏曰："农殖者，为政之本，有国之大务也。虽欲安民兴化，不先富而教之，其道无由而至。今四海多事，军国用广，加承征役之后，属有水旱之患，仓库不充，百姓无积。稼穑树艺，司徒掌之。今虽登论道，然经国立政惟时所急，故陶唐之世稷官为重。今司徒位当其任，有毁家纾国乾乾匪躬之志。其使司徒督察州郡播殖，其增置掾属十人，听取王官更练事业者。"苞在位称为忠勤，帝每委任焉。

又曰：何劭，曾之子也。永康初迁司徒。赵王伦篡位，及三王交争，劭以轩冕而游其间，无怨之者。

又曰：何曾，字颖考。以太保侍中领司徒，曾固让。诏曰："司徒，旧丞相之职，自古及今，总论人物，化治之本，以君弘道，故选于众而复盘桓，非所闻也。"

又曰：魏舒为司徒，不持激厉，不课人短。陈留周震为诸府所辟，书既下，公辄亡，金号震曰："杀公掾，舒辟之。"果无患。

又曰：王戎代王浑为司徒，高选长史西曹掾委任责成。戎形状短陋，而目明彻，威仪不足。常畜马舆，无日不出，亲类之亡无不吊

也。常以象牙算昼夜算计家财，远及田牧。性又至俭，不能善自奉养，财不出外，天下之人谓之膏肓之病。

又曰：山涛为司徒，固辞。敕断表，卧加章绶。［涛］曰："岂可以垂没之年污宦乎？"迳出归家。

又曰：魏舒，字阳元，为司徒，年过致仕，有逊让意而无居宅，乃渐以俸秩之余为第一所。舒素为人，先行而后言，故未曾语亲疏言当逊位。九年正月，整法服入殿，朝会罢，迳还。奉送章绶，内外莫有知舒此情者。

曹嘉之《晋纪》曰：王戎再至司徒，委事掾属，乘小马从便门出，见者不知是台司也。

《晋诸公赞》曰：司徒傅祗疾，逊位，不许，板舆上殿。

《晋中兴书》曰：刘隗从兄畴，字王乔，有重名。司空蔡谟每叹曰："若使刘王乔得南渡，司徒公之美选也。"

又曰：蔡谟，字道明，迁司徒。谟固让曰："若我作司徒，将为后代哂，义不敢拜。"诏数十下，谟章表十余上，陈以疾笃。帝临轩自朝至申而征不至。公卿以蔡公傲，无人臣之礼，奏送谟廷尉。谟率子弟诣阙稽颡，诏免为庶人。

《齐职仪》曰：司徒，品秩冠服同丞相，郊庙服冕同太尉。汉哀帝从朱博议，始置三司，改丞相为大司徒，以孔光为之。魏以华歆为之。

《北齐书》曰：孙腾。初，北境乱，腾亡一女。及贵，推访不得，疑其为人婢。及为司徒，婢诉良者皆免之，愿免千人，冀得其女。神武知之，大怒，遂解司徒。

《隋书》曰：王谊为大司徒，苏威立议，以为户口滋多，民田不赡，欲减功臣之地以给民。谊奏曰："百官者，历世勋贤，方蒙爵土，一旦削之，未见其可。如臣所虑，正恐朝臣功德不建，何患民田有不足？"上然之，竟寝威议。

《唐书》曰：大和四年，守司徒裴度上表辞册命，言臣此官已三

度受册，有靦颜目。从之。

《九州春秋》曰：灵帝卖官，廷尉崔烈入钱五百万以买司徒。烈子均亦有时名，烈问曰："吾作公，天下人谓何如？"对曰："大人少有高名，不谓不当为公。今登其位，海内嫌其铜臭。"烈举杖击之，均走。烈曰："子授父挞而走，可谓孝乎？"均曰："舜之事父，小杖则受，大杖而走，不陷父于不义。"烈曰："尔以吾为瞽叟耶？"

《华阳国志》曰：自建武之后，群儒修业开案图纬，汉之宰相当出坤乡。于是司徒李公屡登七政，太傅于坚奕代论道。

《荀氏家传》曰：组字大章，中宗为晋王时，将征为司徒，问太常贺循，循曰："组旧望清重，勤劳显著，迁训五品，以统人伦，实充人望。"诏以组为司徒。

《江氏家传》曰：江统字应元。时太傅从事中郎庾子嵩以风韵见重，亦雅敬君德，每云："当今可以居司徒、允民望者，江生其人也。"

《管子》曰：昔者，黄帝得祝融，辨南方，故使为司徒。

《符子》曰：鲁侯欲以孔子为司徒，将召三桓而议之，乃谓左丘明曰："寡人欲以孔丘为司徒，而授以鲁政焉。寡人将欲询诸三子。"左丘明曰："孔丘，圣人与！夫圣人在政，过者离位焉。君虽欲谋，其罪弗合乎？"鲁侯曰："吾子奚以知之？"丘明曰："周人有爱裘而好珍羞，欲为千金之裘而与狐谋其皮，欲具少牢之珍而与羊谋其羞。言未卒，狐相率逃于重丘之下，羊相呼藏于深林之中，故周人十年不制一裘，五年不具一牢。何者？周人之谋失之矣。今君欲以孔丘为司徒，召三桓而议之，亦(以)[与]狐谋裘与羊谋羞哉！"于是，鲁侯遂不与桓谋，而召孔丘为司徒。

《典略》曰：契为司徒，百姓和亲；夔主宾客，远人毕至。

蔡邕《申鼎铭序》曰：惟建宁四年春三月，进公登于王前廷，乃制诏曰："其以司空桥玄为司徒。"公拜稽首，三让，然后受命。

曹植《辅臣论》曰：辨博通幽，见传异度。德实充塞于内，知谋

从横于外。解疑释滞，剖散盘结者，主司徒。

荀勖答诏曰：咸宁四年，司徒何曾迁太宰，诏问勖："司徒处当得人，副远近之望并治事见才，谁可也？"勖表"三公具瞻之望，诚不可用，非其人。昔魏文帝用贾诩为公，孙权笑之；尚书令李胤忠亮高洁；应处台辅。"

宋谢庄《为北中郎谢兼司徒章》曰：臣闻燮理阴阳，黄亮天地，弗惟其官，无人则缺。司徒掌敷五典，职扰兆民，岂悟乾灵罔遗光遝，方阐不次之任？殊绝蕃岳，岂可权尸三事，假备六符，惭震周回，顾步交悸。

司 空

《尚书》曰：舜曰："咨，四岳！有能奋庸熙帝之载。"奋，明也。载，成也。佥曰："伯禹作司空。"帝曰："俞，咨！禹，女平水土，惟时懋哉！"帝曰：然，嗟！禹，女有平水灾之功。惟是勉之哉。遂委以政也。

又曰：司空掌邦土，居四民，时地利。冬官卿主国空亡以居士农工商四民，使顺天时，分地利也。

《礼记·王制》曰：司空执度度地。司空冬官卿掌邦事者也。度，丈尺也。量地远近，制邑井之处也。兴事任力。事谓筑邑宿市。

《春秋·昭四年》曰：爽鸠氏，司空也。

《续汉志》曰：司空为冬官，掌邦事。凡营城起邑、复沟洫、修坟防之事，则议其利，建其功。四方水土、功课，岁尽则奏其殿最而行赏罚。凡国有大造大疑，谏诤与太尉同。

《春秋元命苞》曰：危东六星，两两而比，曰司空。主水，金木守之，天下忧水。

《韩诗外诗》曰：山陵崩阤，川谷不通，五谷不殖，草木不茂，则责之司空。

《尚书大传》曰：沟渎拥遏，水为民害，田广不垦，则责之司空。

《尚书形德放》曰：禹长于地理水泉，九州得括象图，故尧以为

司空。

《家语》曰：度量不审，举事失理，都鄙不修，财物失所曰贫。贫则饬司空。饬谓整摄。

又曰：鲁定公以孔子为司空，乃别五土之性，五土：山林、川泽、丘陵、坟衍、原隰也。而物其所生之宜，咸得厥所。

《汉书》曰：成帝绥和元年，始更名御史大夫曰大司空。初改为司空，议者又以县道官有狱司空，故复加为大司空，亦所以别大小之文。

又曰：彭宣，字子佩，为大司空，而王莽为大司马专权。宣上书曰："三公鼎足承君，一足不任则覆，乱美质。臣老病，愿上印绶。"

又曰：何武字君卿，为司空，事后母不笃。诏以其举措烦碎，不合众心，孝声不闻，恶名流行，其上大司空印绶，遂册免之。

《东观汉记》曰：杜林代张纯为大司空，务于无为，第五伦为司空，奉公不挠，言事无所依违。

《后汉书》曰：王梁初为野王令，世祖议选大司空，而赤伏符曰："王梁主卫，作玄武。"帝以野王，卫之所徙；《史记》曰：卫文君自濮阳徙于野王。玄武，水神之名；司空，水土之官也。于是，擢拜梁为大司空。

又曰：窦融拜冀州牧，十余日，又迁大司空。融自以非旧臣，一旦入朝，在功臣之右。召会进见，容貌辞气卑恭已甚，帝以此愈亲厚之。

又曰：陈宠为司空，府故事以计吏至时，自以下皆属籍不通宾客，以防交关。宠去籍通客以明无所不受。论者大之。

又曰：张奋，字稚通，父纯。临终敕家丞曰："司空无功于时，猥蒙爵土，身死之后勿议传国。"奋兄根，少被病。光武诏奋嗣爵，奋称纯遗敕，固不肯受，帝以奋违诏敕收下狱。奋惶怖，乃袭。

又曰：第五伦，章帝立，征拜司空。奉公不挠，言议果决，后自陈老病，以二千石禄俸终厥身。

《续汉书》曰：张奋为司空时，岁灾旱，祈雨不应。乃上表，即时引见，复口陈时政之宜。帝召太尉、司徒幸洛阳狱录囚徒，大雨三

日。

华峤《后汉书》曰：第五伦虽峭直，然常以中兴已来，二主好吏化俗尚苛刻。政化之本，宜先以宽和。及为三公，值章帝长者多恕，屡有善政，伦上疏褒称盛美，因以劝成德风也。

又曰：伏恭为太仆，常临辟雍于行礼中，拜恭为司空，儒者以为荣。

袁宏《后汉纪》曰：第五伦为司空，有人与伦千里马者，伦虽不取，每三公有所选举，伦心不忘也，然亦终不用。

《汉官解诂》曰：下理坤道，上和乾光，谓之司空。

《魏志》曰：景初元年，司徒司空并缺，散骑侍郎孟康曰："夫宰相者，天下之所瞻效，诚宜得秉忠履正、本德伏义之士，足为海内所师表者。窃见司隶校尉崔林，禀自然之正性，体高雅之弘量。论其所长以比古之人，忠直不回，则史鱼之俦也；清俭守约，则季文之匹也。"遂为司空，封安阳亭侯。三公封列侯，自林始也。

又曰：徐邈拜司空，叹曰："三公，论道之官，无其人则缺，岂可以老病忝之哉！"固辞不受。

《晋书》曰：裴秀为司空，删定官制，损益多善。当禅代之际，总纳言之要；其所裁当礼无违者。又案《禹贡》山川地名古有今无者，皆随事注列，作《禹贡地域图》十八篇，事成奏上，藏于秘府。秀在位四年，为当世名公。

又曰：郑袤字林叔，为司空，天子临轩，遣就第拜授，袤谓使曰："魏以徐景山为司空。徐公曰：三公上应天心，苟非其人，实伤和气。"固辞，见许。

《晋起居注》曰：武帝太始七年，诏光禄大夫郑袤体行纯正，履道冲粹，退有清和之风，进有素丝之节，宜齐三阶之耀，补衮职之缺，明弼朕躬，匡其不逮，其以袤为司空。

《晋中兴书》：虞玩，字士瑶。王道、郗鉴、庾亮相继薨，迁玩为司空，给羽林四十人。玩比陈让，不听。既拜，叹息谓宾客曰："以

我为三公，是天下无人矣！”谈者以玩为知言。

《齐职仪》曰：司空，品秩、官服同太宰。舜以禹为司空。成王以毛公为司空。宋以武公之讳，改司空为莫敖。秦置御史大夫，省司空。

《后魏书》曰：伊馥拜司空。及为三公，清约自守，为政举大纲而已，不为苛碎。

《后周书》曰：冬官谓之大司空卿，掌邦事，以五材九范之徒，佐皇帝，富邦国，大祭祀，行洒扫，庙社四望则奉豕牲。

《唐书》曰：天宝十三载，册杨国忠为司空，其日雨土。

《五代史·唐书》曰：清泰二年，制以前同州节度使冯道为守司空。时议以自隋唐已来，三公无职事，自非亲王不恒置，于宰臣为加官，无单置者。道在相位时带司空，及罢镇，未命官，议者不练故事，率意行之。及制出，言议纷然。或云便可综中书门下事，或云须册开府。及就列，无故事，乃不就。朝堂叙班，台官两省官入就列，方入宰臣，退踵后先退。及晋天福中，以李鳞为司徒；周广顺初，以窦贞固为司徒，苏禹珪为司空，遂以为例。议者不复有云。

《华阳国志》曰：赵瑶字元珪，拜扶风太守。未之郡，司空张温谓曰：“第五伯鱼从蜀郡为司空，今扫吾第以待足下。”

《荀氏家传》曰：荀爽，字慈明。董卓征公，公到府三日，策拜司空。爽起岩穴，九十五日而为台司，世人号为白衣登三公。

又曰：[荀]颙为司空，文帝平蜀，议复五等表魏朝，使公定礼仪，中护军贾充正法律，尚书仆射裴秀议官制。公遂删定旧文，行正式为一代之典。书成，奏藏于秘府。其服色旗帜法驾之式，礼乐牺牲柴燎之典，袷禘迁毁配食之制，及于明堂辟雍之仪，皆公所议定，朝廷归其美。公既为台辅，德望清重，加以留心礼教，以年耆多疾，不(数)[便]朝见，诏使侍中任恺咨问政化所宜行否。

又曰：[荀]蕃字大坚，为司空。刘琨表于太子曰：“司空荀蕃，朝廷之旧臣，奕世忠勤，乃心皇家，具瞻之望，惟蕃而已。宜增位

号，授分陕之重，永令臣等有所凭准。

《白虎通》曰：司空主土，不言土而言空。空尚主之，况于实乎？

《环济要略》曰：冬官司空，掌邦事，营城郭都邑，立社稷宗庙，造宫宅器械，监百工。

《典略》曰：禹为司空，披九山，通九泽，决九川，定九州，使各以其职来贡。

《傅子》曰：荀仲豫称禹十二为司空。

《世论》曰：诸葛诞为镇东将军，都督扬州。司马文王秉政，征诞为司空。书至，诞曰："我当在王文舒后，今便为司空，不遣使者。出赍书，使以兵付乐綝，此必綝所为。"乃将左右数百人至扬州，州人欲闭门，诞叱之曰："卿非我故吏耶？"迳入，綝逃上楼，就斩之。

齐孔稚珪《为王敬则让司空表》曰：故李通豪赡以亲宠登用，王基才勇以声华入选。先帝擢臣以荣华，陛下申臣以富贵，遂得北带五州，东跨六郡，内亚三鼎，外齐四岳。蝉佩之映，则左右交晖；龟组之华，则纵横吐耀；轻轮徐动，则剑骑如云；飞盖暂停，则歌钟成列。拟金龙，吹郁其前；鸣翰凤，管叠其后。邓禹若不遭汉光则南阳之掾史，微臣若不逢明圣则孤城之戍客，岂可加以正台之席，登以论道之寄，启黄扉而燮五纬，蹑青帷而调四序。

梁刘孝仪《为临川王解司空表》曰：臣以庸薄，谬窃隆重，职班三事，任总六条。衣衮坐槐，既阙论道驼传憩棠，尤惭为政而俯司土地，仰燮阴阳。折挠之讥已彰，愆伏之咎爰著。今水螟不跃，旱魃为灾，山无荟蔚，云成烟火，陛下曲私，未垂策免，臣职是当，于何逃责？乞赍降兹台步，协此天人。

太平御览卷第二百九

职官部七

大司马

三公府掾属

太尉长史　太尉掾　太尉从事中郎　太尉主簿　司徒长史　司徒掾　司徒属　司徒从事中郎　司徒咨议参军　司徒主簿　司空掾

大司马

韦昭《辩释名》曰：大司马：马，武也，大总武事也。大司马掌军，古者兵车，一车四马，故以马名官。

《周礼·夏官》曰：大司马之职，掌建邦国之九法，以佐王平邦国。平，成也。制畿封国，以正邦国。封为立封立疆为界。设仪辨位，以等邦国。仪谓诸侯之仪也，别尊卑之位。进贤兴功，以作邦国。作，起也。起其劝善乐业之心，使不废也。建牧立监，以维邦国。牧，州牧也。监，监一国，谓君也。维，联结也。制军诘禁，以均邦国。诘，犹穷治也。均，犹正也。施贡分职，以任邦国。职，谓赋税也。任，犹事，事以其力之所堪也。简稽乡民，以同(封)邦国。简谓比数之以稽，犹训也。均守平则，以安邦国。均之者尊者守大，卑者守小也。则，法也。比小事大，以和邦国。比，犹亲也。使大国亲小国，小国事大国，相合和也。以九伐之法正邦国。诸侯有违王命，则出兵以征伐，所以正之。

《尚书》曰：司马掌邦政，统六师，平邦国也。

《毛诗》曰：圻父，圻父，司马也。予王之爪牙。

《春秋运斗枢》曰：黄帝与大司马容光观凤皇衔图置黄帝前。

《尚书中候》曰：稷为大司马，舜为太尉。

《尚书大传》曰：蛮夷猾夏，寇贼奸宄，则责之司马。

《韩诗外传》曰：故阴阳不和，四时不节，星辰失度，灾变非常，则责之司马。

《河图录运法》曰：黄帝坐玄扈阁上，与大司马容光、左右辅将周昌等百二十人观凤皇衔书。

《家语》曰：贤能而失官爵，功劳而失赏禄，士卒疾怨，兵弱不用曰不平。不平则伤司马。伤谓整摄。

《史记》曰：楚大司马景舍帅军伐蔡，蔡侯奉社稷而归之。楚发其赏，舍辞曰："发诚布令而敌退，是王威也；相攻而敌退，是将威也；战而敌退，是众威也。臣不宜以众威受赏。

《汉书》曰：元狩四年，上命大将军卫青、骠骑将军霍去病各兵五万，骑数十万出塞，斩首捕虏有功，乃置大司马。

又曰：董贤为大司马。是时，贤年二十二。虽为三公，常给事中，领尚书，百官因贤奏事。单于来朝宴见，群臣上前。单于怪贤年少，以问[译]，上令报曰："大司马年少，以大贤居位。"单于乃起拜，贺汉得贤臣。

又曰：孝元王皇后，成帝母也。家凡十侯、五大司马，外戚莫盛焉。

又曰：成帝绥和元年，赐大司马金印紫绶，置官属，禄比丞相。

《东观汉记》曰：更始欲以近亲巡行河北，大司徒赐言上(第一)[弟秀]可用。更始以上为大司马，遣之河北。

又曰：谶云："孙咸征狄，命以平狄将军。"孙咸行大司马事。

《后汉书》曰：世祖北击群贼，吴汉常将突骑五千为军锋，数先登陷阵。及河北平，汉与诸将奉图书上尊号。世祖即位，拜汉为大司马。

又曰：上疾瘳，召见阴兴，欲以代吴汉为大司马。兴叩头流涕固让，曰："臣不敢惜身，诚亏损圣德，不可苟冒。"至诚发中，感动左右，帝遂听之。

《汉官序》曰：三司之职，司马主兵，汉承秦曰太尉，武帝改曰大司马。无印绶，官兼加而已。世祖改曰太尉。

《吴志》曰：赤乌九年秋九月，以车骑朱然为左大司马，卫将军全琮为右大司马。

《晋书》曰：石苞，泰始之初拜大司马。旧参军于都督无敬，故孙楚抗衡于苞。苞以楚傲，更相表(理)[礼]。故参军有敬，自楚始也。

又曰：齐王冏之盛也，有一妇人诣大司马府求寄产，吏诘之，妇人曰："我截脐便去耳！"识者闻而恶之。

又曰：陈骞，咸宁初转大司马。骞因入朝言于帝曰："胡列、牵弘皆勇而无谋，强于自用，非绥边之材，将为国耻，愿陛下详之。"时弘为扬州刺史，不承顺骞命，帝以为不协相构，于是征弘。既至，复以为凉州刺史。骞窃叹息，以为必败，二人后果失羌戎之和，皆被寇丧没。征讨连岁，仅而得定，帝乃悔之。

《晋武帝太始官名》曰：大司马石苞，开通爽悟，秉意不碎。

《晋公卿礼秩》曰：司马，兵官也。魏氏大司马、大将军各自为官，在三司上；晋以石苞为大司马，次三司下。

《晋诸公赞》曰：义阳王为大司马时，父孚为太宰。父子居上公，中代以来未之有也。

《晋中兴书》曰：王猛少贫贱，鬻畚为事，常至洛阳货畚。有人于市贵买其畚云："家近在此，可随我取直。"猛随去，忽至深山，此人曰："且住，当先启道君。"须臾，猛进，见一公踞胡床，头白，侍从十许人，有一人引猛，云："大司马公可进。"猛因拜老公，公曰："王公何缘拜？"即十倍售畚直，遣人送猛出山。顾视，乃嵩高山也。

《齐职仪》曰：大司马，品第一，秩中二千石，金章紫绶，武冠绛朝服，佩山玄玉。其在少昊，则雎鸠氏之任；颛顼以司马主火；尧命羲叔为司马，夏官也。虞夏二代以司夏官，弃居其职。周成王以毕公高为司马。楚汉之际，曹参、周勃始居其职。

又曰：大司马府，旧为阙，王莽篡位，故贬去阙焉。

《后魏书》曰：安定王休领大司马，高祖亲行诸军，遇休以三盗人徇于六军，[将]斩之，有诏(救)[赦]之。休执曰："陛下将远亲

衡、霍，故亲御六师，跋涉野次。军行始尔，已有奸窃，如其不斩，何以息盗？"诏曰："大司马执宪诚如是，但因缘会朕，王者之体，亦时有非常之泽，虽违军法，可特原之。"乃奉诏。高祖谓司徒[冯]诞曰："大司马严而秉法，君不可不慎。"于是六军肃然。

《后周书》曰：夏官谓之大司马。卿掌邦政，以建邦国之九法。佐皇帝平邦国，大祭祀掌其宿卫，庙社列奉牺牲。

《管子》曰：昔黄帝得大封，辨乎四方，故使为司马。

又曰：凉风至，白露下，天子命左右司马全组甲、厉士众。

《傅子》曰：曹大司马之勇，贲育弗(加)[如]也。曹仁。

《博物志》曰：太公望为灌坛令，文王梦见妇人当道哭，问其故，曰："吾泰山之神，嫁为西海妇，灌坛令当吾道。"梦觉，召太公，三日，果疾风暴雨。文王乃拜太公为大司马。

《班彪上事》曰：元狩六年罢太尉，置司马。时议以北军中侯有千人，司马故加之为大司马，所以别小大司马之号也。

三公府掾属

太尉长史

应劭《汉官仪》曰：太尉、司徒、司空长史，秩比千石，号为毗佐三台，助和鼎味。

太尉掾

《汝南先贤传》曰：李宣字公休，为太尉黄琼所辟。时寒暑不和，琼见掾属曰："是太尉无德，愿诸掾有以匡之。"次乃宣，宣曰："明公被日月之衣，居上司之位，辅弼天子，处谏诤之职，未有对扬謇謇之言；其所旌命，不授岩谷之士，小掾私所以于邑。"

《广州先贤传》曰：邓盛字伯真，苍梧人，为太尉诸曹掾。彭城相左尚以赃[获]罪，三府掾属拷验，逾(科)[年]不竟。更选盛覆

拷，盛至狱，洗沐尚，解械赐席，乃谓尚曰："君受国重恩，而所坐事理如此，今遇君子不可以小人道相待。"尚感盛至意，对曰："今使君相于如此，尚独何心敢不以死相归乎？"即引笔具对。

《卫玠别传》曰：玠，字叔宝。陈留阮千里有令闻，当年太尉王君见而问曰："老庄与圣教同异？"阮曰："将无同。"太尉善其言而辟之为掾，世号曰"三语掾"。君见而嘲之曰："一言可辟，何假三？"阮曰："苟是天下民望，可无言而辟，复何假于一言！"

崔实《政论》曰：且三公，天子之股肱掾属，则三公之喉舌。天子当恭己南面于三公，三公亦委策掾属以答天子。

太尉从事中郎

《后魏书》曰：郭景尚，字思和，涉历书传，迁太尉从事中郎，善事权宠，世呼为"郭尖"。

干宝《司徒仪》曰：从事中郎之职，各掌其所治之曹而纪纲其事，维正大体，参辅谋议。

太尉主簿

《后魏书》曰：元庆智性贪鄙，为太尉主簿，事无大小，得物然后判，或十钱二十钱，得便取之，府中号曰十钱主簿。

《广州先贤传》曰：邓盛字伯直，为秭归令，闻母病，解印绶决去。太尉马公嘉其所履，服竟，辟之。初入府，为主簿。

司徒长史

《东观汉记》曰：吴梁为司徒长史，以清白方正称。

干宝《晋纪》曰：傅咸为司徒长史，多所执正。

《齐书》曰：到抃为司徒左长史。宋世，上数游会抃家，同从明帝射雉郊野，渴倦，抃得早青瓜，与上对剖食之。上怀其旧德，意眄良厚。至是一岁三迁。

《梁书》曰：褚球，字仲宝，为司徒左长史。加貂，自球始也。

干宝《司徒仪》曰：右长史，职掌检其法宪，明其分职。

司徒掾

《汉书》曰：武帝时，司徒奏州郡农桑未有赏罚制，宜遣掾属循行，诏遂使司徒督察州郡播殖，有所循者增掾属十人。

谢承《后汉书》曰：虞延辟司徒侯霸府，正旦，百官朝贺，上望见延在公府掾属中，驰小黄门问曰："故陈留督邮虞延非耶？"对曰："是。"遂前召见。

《汉杂事》曰：陈宠为司徒掾。先是，公府掾多不亲事，但以交接为务。宠常独亲事。

《魏书》曰：王粲，字仲宣，年十八，司徒掾辟迁黄门，不就。

《晋书》曰：魏舒为司徒时，陈留周震累为诸府所辟。辟书既下，公辄丧亡，金号震曰："杀公掾，莫有辟者。"舒固辟之，而竟无患，识者以此称其达命。

又曰：周馥迁司徒左曹掾，司徒王浑奏曰："馥理识清正，有才干，主定九品，检括精详，臣委任责成，褒贬允当，请补尚书郎。"许之。

干宝《司徒仪》曰：掾属之职，敦明教义，肃厉清风，非礼不言，非法不行，以训群吏，以贵朝望，各掌其所治之曹。

《钟离意别传》曰：司徒侯霸辟意署议曹掾，以诏书送徒三百余人到河北，遭遇隆冬盛寒，徒衣被单，手足不能复行。到弘农县，使令出见钱为徒作襦裤，令曰："不被诏。"意曰："使者奉诏命，宁私行耶？"出钱便上尚书，使者亦当上之。光武皇帝得上状，见霸曰："所使掾何仁恕为国用心乎？诚良吏也。"

司徒属

《东观汉记》曰：司徒侯霸辟闵仲叔，到与相见，劳问之，不及政

事。仲叔曰："始被明公辟，且喜且惧。及奉见明公，喜惧皆去。所望明公问属，何以为政，美俗成化，以仲叔为不足[问]耶？不当辟也！如以为任用而不使陈之，则为失人，是以喜惧皆去。"便辞而出。

《晋中兴书》曰：殷融，字洪远，司徒王导以为左西属。融饮酒善舞，终日啸咏，未尝以事务自婴。导甚相亲悦焉。

司徒从事中郎

《晋中兴书》曰：颍川荀组，字大章，司徒王浑表曰："左西属荀组，文义、贞素、清识见称，宜转从事中郎。"

《陶氏家传》曰：回字恭渊，为大司徒王导从事中郎，为人正直不挠。导亦以此重焉。每言曰："陶中郎有辅佐之才，真国器也。"

司徒咨议参军

《晋中兴书》曰：庐江何充，字次道，为司徒王导咨议参军。

《后魏书》曰：李系为主客郎，齐文襄王摄选，以系为司徒咨议参军，因谓之曰："自郎署此，所谓不次，以卿人才，故有此举耳。"

司徒主簿

《三国典略》曰：齐许，惇护之子也，性识敏速，达于从政。尝为司徒主簿，以能判，时人号为入铁主簿。

司空掾

《魏志》曰：国渊字子尼，太祖辟为司空掾属。每于公朝论议，常直言正色，退无私宴。

又曰：太祖为司空丞相，毛玠常为东曹掾，与崔琰并典选举，其所举用皆清正之士。虽时有盛名，而行不由本者，终莫得进，务以俭率人。由是天下之士，莫不以廉节自勋。虽贵宠之臣，舆服不敢

过度。太祖叹曰："用人如此，使天下自治，吾复何忧哉！"

《邴吉别传》曰：[邴]原，字根矩。魏武皇帝初，为司空辟，署议曹掾。请见，礼毕，上送至门中，原辞，直去不顾。上还，语左右："孤甚敬此人。与其辞，远送之，谓其尚顾而终不顾，此人诚高士也。"人谓曰："君宜谢公，公望君一日，辞不顾揖。"原勃然曰："夫何谢哉？夫揖让者，谓其敌耳。吾，人臣也；公，人君也。君尊臣卑，揖让何施？且孔子反命曰：宾不顾矣。吾何谢哉！"人以语上，上曰："快乎斯言也！夫有斯名而岂徒哉！"

太平御览卷第二百一十

职官部八

录尚书　尚书令

录尚书

《汉书》曰：张安世领尚书事，职典枢机，以谨慎周密自著。每言大政，已决辄移病出；闻有诏令，乃惊使吏之丞相府问焉。自朝廷大臣，莫知其与议也。

又曰：孔光字子夏，领尚书事，凡典枢机十余年，守法度，修政事，不希苟合。或问："温室省中树皆何木也？"光答以他语，其慎密也如此。

应劭《汉官[仪]》曰：章帝诏曰："司空牟融典职六年，勤劳不怠，其以融为太尉，录尚书事。"

又曰：和帝策书曰："故太尉邓彪，元公之族，三让弥高，海内归仁，为群贤首。其以彪为太傅，录尚书事，百官总己以听。"

又曰：灵帝策书曰："故太尉陈蕃，忠亮謇谔，有不吐茹之节。司徒胡广敦德允元，五世从政。今以蕃为太傅，与广参录尚书事。"

又曰：冲帝策书曰："太尉赵峻，二世掌典机衡，有匪石不二之心。大司农李固，公族之苗，忠直不回。余以峻为太傅，固为太尉，参录尚书事。"

《晋书》曰：元康元年，诛杨骏诏曰："司徒王浑秉德忠正，器量弘远，历位内外，文武勋庸，著在方策，宜参弼机衡以亮天工，其令录尚书事。"

又曰：贾充为太尉，录尚书事，及伐吴为大都督。吴平，遣侍中程咸犒劳，增邑八千户。

又曰：会稽王道子元显，并录尚书事。时谓道子为东录，元显为西录。

《晋中兴书》曰：泰和元年，诏会稽王体道冲虚，理识明允。阿衡孝文，有保乂之规；辅弼哀皇，尽翼亮之道。朕承洪绪，仍闻善诱，慎徽五教，仪形具瞻，登贤显亲，国之典也。其以为丞相，录尚书事。入朝不趋，赞拜不名，剑履上殿，给羽葆鼓吹班剑六十人。

又曰：元兴元年八月庚子，尚书下舍火。是时桓玄用事，出镇姑熟，名虽在外，实遥录尚书，故天火示不复用也。

又曰：明帝后庾氏为皇太后，九月癸卯，皇太后临朝称制，司徒王导录尚书事。

傅畅《晋故事》曰：何劭、王戎、张华、裴楷、杨济、和峤为愍怀太傅，通省尚书事。张华为光禄大夫，尚书七条事皆咨而后行。惠帝之世，太保卫瓘、太宰河间王颙、太傅东海王越，皆录三省尚书秘书事。

沈约《宋书》曰：高武永初三年，尚书令扬州刺史徐羡之为司空，录尚书事。

又曰：孝武帝即位，以大将军江夏王义恭为太尉，录尚书事。

又曰：诸公录尚书事，古制也。王肃解《尚书》"纳于大麓"曰："尧纳舜于尊显之官，使大录万机之政。"案：汉氏诸吏平尚书奏事，后霍光以大司马大将军平尚书事。

《齐书》曰：明帝为宣城王，录尚书事。废帝昭业思蒸鱼，太官以无录公命，不与。

《后魏书》曰："北海王祥，初迁大将军，录尚书事。祥之命，其夜暴风云电拔其庭中桐树，大十围，倒立本处。天威如此，识者知其不终。

《三国典略》曰：齐以并省，尚书令高阿那肱为录尚书事。那肱才伎庸劣，不涉文史，尚书郎中源师常白那肱云："龙见当雩。"那肱问曰："何处龙见？作何颜色？"师答曰："此是龙星，须雩祭也，非是

真有龙见。"那肱曰："汉儿多事，强知星宿。"

《唐书官品志》曰：录尚书一人，位在令上，掌与令同，但不纠察。令则纠弹见事，与御史中丞更相廉察。

陶氏《职官要录》曰：后汉章帝以太傅赵喜、太尉牟融并录尚书事。尚书有六名，自此始也。因斯以来，每帝幼即位，辄置太傅录尚书事。

尚书令

《六典》曰：尚书令，掌总领百官，仪形端揆，其属有六尚书：一曰吏部，二曰户部，三曰礼部，四曰兵部，五曰刑部，六曰工部。凡庶务皆会而决之。

《汉官仪》曰：尚书令主赞奏，总典纲纪，无所不统，秩千石；故公为之者，朝会不(阶)[陛]奏事，增秩二千石。天子所服五时衣赐尚书令。其三公、列卿、将[军]、大夫、五营校尉行复道中，遇尚书令、仆射、左右丞，皆回车豫避。卫士传[呼]，不得纡台官；台官过，乃得去。汉尚书称台，魏晋以来为省。

《汉书》曰：张安世，字子孺，少以父任为郎。用善书给事尚书，精力于职，休沐[未]尝出。上行幸河东，亡书三箧，诏问莫能知，惟安世识之，具作其事。后购求得书，以相校无所遗失。上奇其才，擢为尚书令。

《东观汉记》曰：陈忠为尚书令，数进忠言，辞旨弘丽，前后所奏，悉条于宫上阁以为故事。

又曰：侯霸为尚书令，深见任用；樊准为尚书令，明习汉家故事，周密畏慎；申屠刚为尚书令，謇謇多直言，无所屈挠。

《后汉书》曰：宋均拜尚书令，每有驳议，多合上旨。均尝删翦疑事，帝以为有奸，大怒。收郎缚格之。诸尚书惶恐，皆叩头谢罪。均顾厉色曰："盖忠臣执义，无有二心，若畏威失正，均虽死不易！"小黄门在傍，入具以闻。帝善其不挠，即令贷郎。

又曰：申屠刚迁尚书令。光武尝欲出游，刚以陇蜀未平，不宜宴安逸豫。谏不见听，遂以头轫乘舆轮，帝遂为止。

又曰：郭贺字乔卿，为尚书令，百姓歌之曰："厥德仁明郭乔卿，忠正朝廷上下平。"

又曰：侯霸拜尚书令，条撰善政有便于民者，除其烦苛。时令立春下宽大诏书，由霸始，建言多施用。

又曰：陈蕃出为豫章太守，性方峻，不接宾客。征为尚书令，送者不出郭门。

华峤《后汉书》曰：申屠刚为尚书令，时内外群官，多帝自迁举；加以法理严察，职事过苦，尚书近臣乃至棰扑牵曳于前。群臣莫敢言，惟刚每极谏。

张璠《汉记》曰：左雄为尚书令，在位者各肃清，时称曰："左伯豪为尚书令，天下皆慎选举。"伯豪，雄字也。

《汉官》曰：尚书令，秦官，铜印墨绶，与司隶校尉、御史中丞皆专席坐，京师号曰"三独坐"，言其尊重如此。

《魏志》曰：陈矫，字季弼，尚书令。魏明帝（卒）[尝]至尚书门，矫跪问："何之？"帝曰："欲案行文书耳。"矫对曰："此臣职分，非陛下所宜临也。若不称，则请就黜。"帝惭，回车。

又曰：荀彧自为尚书令，常以书陈事。临薨，皆焚毁，故奇策密谋不得尽闻。又非正道不用心，名重天下，莫不以为仪表，海内英俊咸宗焉。

《魏氏春秋》曰：荀攸字公达，为尚书令。从太祖征伐，常谋谟帷幄，时人及子弟莫知其所言。太祖每称之曰："公达外愚内智，外怯内勇，外弱内强，不伐善，无施劳，知可及，愚不可及，虽颜回、宁武子不能过。"文帝在东宫，太祖谓曰："荀公达，人之师表也。汝当尽礼敬之。"攸曾病，世子问疾，独拜床下，其见尊异如此。始，攸入尚书，太祖闻名，与语，大悦，谓荀彧、钟繇曰："公达非常人也，吾得与之计事，天下当何忧哉！"

《蜀志》曰：费祎代蒋琬为尚书令，于时战军多事，众务烦猥。祎识寤过人，每省读书记，粗举目暂视，究其意旨，其速数倍于人，终亦不忘。常以朝晡听事，其间接[纳]宾客，饮食嬉戏，加之博弈，每尽人之欢，事[亦不废]。后迁大将军，录尚书事。董允代祎为尚书令，旬日之中，事多停滞，允叹曰："人才力相悬若此，非吾所及。"

又曰：蒋琬，字公琰。诸葛亮每言："公琰托志忠雅，当与[吾]共赞王业也。"密表后主："臣若不幸，后事宜以付琬。"亮卒，琬为尚书令。时新丧元帅，远近危悚。琬出类拔萃，处群僚之右，既无戚容，又无喜色，神守举止，有如平常，由是众望渐服。

又曰：刘巴字子初，代法正为尚书令。躬履清俭，不治产业。又自以归附非素，惧见猜嫌，恭默守靖，退无私交，非公事不言。

又曰：吕乂字季阳，代董允为尚书令，庶事无留，门无停宾。又历职内外，治身俭约，谦静少言，为政不烦，号为清能。然持法刻深，好用文俗吏，故居大官，名声损于郡县(时)。

《晋书》曰：乐广为尚书令，所在无当时功誉，然为后人所思。

又曰：裴秀为尚书令。秀创制朝仪，广陈刑政，朝廷多遵用之，以为故事。在位四载，为当世名公。

又曰：李胤为尚书令，虽历职内外，而在公退食，(在)家[至]贫俭，儿病无以市药，上赐钱十万。

又曰：荀勖守尚书令，课试令史以下核其才能，有暗于文法不能决疑处事者，即时遣出。帝尝谓曰："魏武帝言荀文若之进善，不进不止；荀公达之退恶，不退不休。二令君之美亦望于君也。"

又曰：会稽王道子，尝集朝士，置酒于东府；尚书令谢石，因醉为委巷之歌。王恭正色曰："居端右之重，集藩王之第，而肆淫声，欲令群下何所取则！"石深衔之。

又曰：王彪之字叔虎，为尚书令，与谢安共掌朝政。安每称曰："朝之大事，众不能决者，咨之王公，无不得判。"

又曰：太熙元年，诏曰："夫总百揆之得失、管王政之开塞者，端

右之职也。是以自汉代以来，每选此官，必慎其人。议郎王戎可为尚书令。"

又曰：卫瓘字伯玉，拜尚书令，性严整，以法御下，视参佐尚书郎若掾属。

又曰：熊远启曰："伏见吏部以太尉荀组为尚书令，复领荆州牧，自三代以来，未闻以纳言之官而出领牧伯者。"

《晋中兴书》曰：卞壼为尚书令，司徒王导称疾不朝。壼奏导专任无敬，事寝不行，举朝惮壼。

又曰：万协迁尚书令，诏曰："尚书令协抗志高亮，才鉴博雅，朕甚嘉之。"

《晋书》曰：《百官表》注：尚书令一人，唐虞官也。是谓文昌天府，铜印墨绶，五时朝服，纳言帻，进贤两梁冠，佩水苍玉；官品第三；俸，月四十五斛；领都总摄诸曹，出纳王命。

《晋公卿礼秩》曰：尚书令拜受命皆策命，薨则于朝堂发哀，古之冢宰以在端右故也。

《晋故事》曰：贾充为尚书令，以目疾表置省事，于是遂置省事吏四人，品职章服与诸曹令史同。

《宋书》曰：王僧虔为尚书令，尝为飞白书题尚书壁曰："圆行方止，物之定质，修之不已则溢，高之不已则蹶，引之不已则遗，是故去之宜疾。"当时嗟赏，以比座右铭。

又曰：武帝践祚，王莹迁尚书令。时有猛兽入郭，上意不悦，以问群臣，皆莫能对。莹在御筵，乃敛板答曰："昔击石拊石，百兽率舞，陛下应箓御图，武象来格。"帝大悦，众咸服焉。

《齐书》曰：谢朏字敬冲，征为司徒尚书令。朏辞脚疾不堪，谒，(仍)[乃]角巾(自)[肩]舆诣云龙门。谢既见，乘小车就席。

《齐职仪》曰：秦汉之世，委政公卿。尚书之职，掌封奏令，赞文书；仆射主开闭，令不在，则仆射奏下其事。魏氏重内职，八座尚书任同六卿；舜举八元八凯，以隆唐朝。今号八座为元凯，谓贤能用

事，义如昔也。

《梁书》曰：何敬容为尚书令，贪吝为时所嗤。鄙其署名，敬字则大作苟、小为文，容字大为父、小为口。陆倕戏之曰："公家苟既奇，大父亦不小。"敬容遂不能答。

又曰：漏禁中语故嘲诮日至。尝有客姓吉，问卿与邴吉远近，曰："如明公之与萧何。"

《唐书》曰：太宗在藩，尝为尚书令。其后，人臣莫敢为，遂废其官。广德元年，代宗以亲贤有大勋，遂特拜尚书令。

又曰：广德二年冬，诏郭子仪于尚书省视尚书令事，命宰臣已下，特遣射生五百骑执戟翼从，自朝堂至于省，赐以教坊音乐。

《五代史·梁书》：开平三年，诏升尚书令为正一品。按《唐典》，尚书令正二品，至是以将授赵王镕此官，故升之。

《会稽先贤传》曰：沈勋征诣南宫，赐酒拜尚书令，持节临辟，雍名冠百僚。

《襄阳耆旧传》曰：刘季和曰："荀令君至人家，坐处三日香。"

徐广《车服仪制》曰：尚书令轺车，黑耳后户。

《通典》曰：大唐尚书令，朝服、鹭冕、八旒、七章、三梁冠。鹭，雉也，可为冠也。武德初，太宗为秦王时，尝居之，其后人臣莫敢当。故自龙朔二年，制废尚书令。

又曰：旧尚书令，有大厅当省之中，今谓之都堂。

《世说》曰：崇礼阁在东掖门内，路西即尚书省；崇礼门东、建礼门内，即是尚书令下舍之门。

太平御览卷第二百一十一

职官部九

左右仆射

《汉书·百官表》曰：仆射，秦官也。古者重武官，有主射以督课之。自侍中、尚书、博士及驺宰、永巷，皆有仆射。取所领之事以为号，若尚书，则名曰尚书仆射。

《东观汉记》曰：鲍永字君长，拜仆射，行将军事，将兵安集河东。永好文德，行军常皂襦，路称"鲍尚书兵"。

《后汉书》曰：郅寿为尚书仆射，是时，大将军窦宪以外戚之宠，威倾天下。宪常使门生赍书诣寿，有所请托，寿即送诏狱。前后上书陈宪骄恣，引王莽以诫国家。

又曰：郑崇字子游，为尚书仆射，数见谏净，上笑曰："我识郑尚书履声。"

《续汉书》曰：尚书仆射一人，六百石。令不在则奏下众事。

《魏志》曰：毛玠字孝先，为尚书仆射。时太子未定立，临淄王植有宠。玠谏曰："近袁绍以嫡庶不分，覆宗灭国；废立大事，非所宜闻。"会玠起更衣，太祖谓左右曰："国之司直，我之周昌。"

又曰：徐宣为左仆射，后加侍中。车驾幸许昌，宣总统留事。帝还，主者奏呈文书。诏曰："朕省与仆射何异？"竟不视。

又曰：文帝时，欲以贾诩为仆射。诩曰："尚书仆射，官之师长，天下所望。诩名不素重，非以服人；诩纵昧于荣利，奈国朝何？"

《魏略》曰：李丰字安国，为侍中仆射，在台阁，常多托疾。时台制满百日当解禄，丰未满百日蹔起，已而复卧，如是数岁。及太傅

宣王久病，曹爽摄政，丰依违二公间，故时人有谤书曰："曹爽之势热如汤，太傅父子冷如浆，李丰兄弟如游光。"其意以为丰虽外示清净，而内图事[机]有似游光。

《吴志》曰：诸葛恪既定山越，孙权使尚书仆射薛综劳军曰："故遣中台近官，迎致犒赐。"

《晋书》曰：荀颢代陈泰为仆射，吏部四辞而后受。

又曰：太康元年，以山涛清虚恬简，转为左仆射。

又曰：魏舒太康初拜右仆射，舒与卫瓘、山涛、张华等以六合混一，宜同古典，封禅东岳。前后累陈其事，帝谦让不许。

《晋起居注》曰：武帝太康四年，诏曰："吏部掌叙人伦，治化之本也，宜得忠正旧德。尚书右仆射魏舒，宽泰弘毅，潜通有才识，其以舒为左右仆射，领选曹。"

又曰：永昌元年诏曰："尚书分置左右仆射，所以广登贤俊，经始万机。护军周顗可左仆射，领军王遂可右仆射。"

又曰：尚书高阳王珪，忠允善政，思量弘济，莅官尽心，所居著称，其以珪为右仆射。"

又曰："太康元年诏曰：尚书置左右仆射，所以恢演治典，协宣庶政。"

谢灵运《晋书》曰：古者重武事，贵射御，取其捷御如仆，各置一人，尚书六人，谓之八座。参摄百揆，出纳王命，古元凯之任也。

干宝《晋纪》曰：武帝诏曰："散骑常侍、中军将军羊祜，秉德清劲，经纬文武，虽处腹心之任，不总枢机之重，非垂拱无为，委任责成之意也。以祜为尚书左仆射卫将军。"

《晋诸公赞》曰：司马珪少时有令望，早历显职，晋受禅为尚书左仆射，时年三十七，众论以为美。

《晋书百官注》曰：仆射一人，铜印、墨绶，五时朝服，纳言帻，进贤冠，佩水苍玉。官品第三，俸月四十五石。

《晋公卿礼秩》曰：尚书仆射，魏晋以来或置左右，或不置。

《晋中兴书》曰：顾和，康帝即位为尚书仆射，以母老固辞。诏敕特谕，暮出朝还，其优遇如此。

又曰：纪瞻字士远，为右仆射。肃祖尝内殿慨然忧天下曰："社稷之臣，欲无[复]十人如何？"因数之云："君便是一人。"瞻谢曰："臣不敢闻命。"肃祖曰："方欲[与君]善语，云何复崇谦让耶。"瞻以年在悬车，自陈告老。诏曰："岂朕德薄，不足以为治乎？"

又曰：王珣拜尚书左仆射，领吏部，时烈宗雅好典籍，深钦爱之，与殷仲堪、徐邈并以才学文章为上所昵。桓玄《答道子笺》云："王珣明悟疏彻风流之美，虽逼于同异，才用不尽，然君子在朝，所益自多也。"

又曰：刁协字玄亮，除左仆射，时中兴草创，制度未立，朝臣无练习旧仪者。惟协以久在中朝，加性聪朗，多谙故事，朝廷宪体、出入威仪、唱赞一皆禀于协，当时称为强记。

《宋书》曰：刘延孙为尚书左仆射。延孙疾病，不任拜起，上使乘船自清溪至平昌门，仍入尚书下舍。

又曰：汉制，御史中丞遇尚书令，仆、丞郎车，皆预相回避，台官过乃得去。今尚书令上朝及下，禁断行人，犹其制也。尚书，汉称台，魏晋已降，方号曰省。

又王弘为仆射，奏弹康乐侯谢灵运：淫其婴女、杀兴胡江洙，请免官削爵，付大理内台。旧体不得用，风声举弹，此事彰赫，暴之朝野，不敢拱默。武帝令免官而已。

又曰：王裕之，[字敬弘]，元嘉三年为尚书仆射，所署文案，初不省读。尝豫听讼，上问疑狱，敬弘不对。上变色问左右，何故不以讯牒副仆射，敬弘曰："臣乃得讯牒读之，正自不解。"上甚不悦。

《齐书》曰：王延之转左仆射。宗德既衰，太祖辅政，朝野之情，人怀彼此。延之与尚书令王僧虔中立无所去就，时人为之语曰："二王持平，不送不迎。"太祖以此善之。

又曰：张绪，帝欲用绪为右仆射，以问王俭，俭曰："绪少有清

望，诚美选也，南士由来少居此职。"褚彦回曰："俭少年，或未忆耳。江左用陆玩、顾和，皆南人也。"俭曰："晋昏衰政，不可为则。"

《齐职仪》曰：魏朝以尚书仆射毛玠领选曹，晋武以仆射领吏曹，后依拟至今，或领焉。

《南燕书》曰：慕容德以右仆射封嵩为左仆射，尚书韩谆为右仆射。时嵩、谆并年三十，又以嵩弟蝠为西中郎将，谆弟轨为中郎将，嵩等俱拜，帝临轩诏令四人同入，嵩等升殿方谢，帝顾曰："跃二龙于长衢，聘双骥于千里。"朝野荣之。

《后魏书》曰：郭祚为右仆射，时议定新令，诏祚与侍中、门下参议刊正。故事，令、仆射、中丞驺唱而入宫，至于驰道。及祚为仆射，以为非尽敬之宜，言于帝，纳之，下诏："御在太极，驺唱至止车门；御在朝堂，至司马门。"驺唱不入宫，自此始也。

又曰：赵善为尚书右仆射，性温恭有器局，虽位居端右而愈自谦退其职。务克举则曰："某官之力。"有罪责则曰："善之咎也。"时人称其有公辅之量。

又曰：元顺除吏部尚书右仆射，及上省登阶向榻，见榻甚故，问都令史徐仵，仵起曰："此榻曾经先王坐。"顺即哽塞，涕泗交流，久而不能言，遂令换之。

又曰：阳平王新成之子钦，字思若，累迁尚书右仆射。钦色黑，故时人号为黑面仆射。

《三国典略》曰：东魏以孙腾兼尚书左仆射，府库关钥，一以委之。

又曰：北齐王晋明，豪侈有气侠，留心经史，招引宾客。尝为尚书右仆射，百余日便谢病而退。告人云："废人饮酒，安能作刀笔吏，披故纸乎？"

《北齐书》曰：高隆之为尚书右仆射，时初给民田，贵势皆占良美，贫弱咸受瘠薄。隆之启高祖，悉更反易，乃得均平。

《后周书》曰：周惠达为右仆射，自关右草创，礼乐缺然，惠达与

礼乐官损益旧章，至是仪轨稍备。魏文帝因朝奏乐，顾谓惠达曰："此卿之功也。"

又曰：李远除尚书左仆射，远白太祖曰："远秦陇匹夫，才艺俱缺，平生念望不过一郡守耳。遭逢际会，得奉圣明，主贵臣迁，以至于此。今位居上列，爵迈通侯，受委方面，生杀在手，非直荣宠一时，亦足光华身世。但尚书仆射，任居端揆，今以赐授，适所以重其罪责。明主若欲全之，乞寝此授。"太祖曰："公勋德兼美，朝廷敬肃，选众而举，何足为辞！且孤之于公，义等骨肉，岂容于官位之间便致退让？深乖所望也。"远不得已，方拜职。

《陈书》曰：袁宪迁右仆射，参掌选事。先是，宪长兄简懿为左仆射，至是宪为右仆射，台省目简懿为大仆射，宪为小仆射，朝廷荣之。

《隋书》曰：杨素为右仆射，与高颎专掌朝政，后文帝渐疏忌素，诏曰："仆射，国之宰辅，不可躬亲细务，但三五日一度，向省平论大事。"外示崇重，实夺其权。

《唐书》曰：太宗谓房玄龄、杜如晦曰："为仆射，当须广开耳目，求访贤哲。有武艺谋略、才堪抚众者，任以边事；有经明德行，性理通悟者，任以侍臣；有明干清悫、处事公平者，任以剧务；有学通今古，识达政术者，任以理人。此乃宰相之弘益也。比闻听受辞讼，日不暇给，安能助朕求贤哉？"因敕：尚书细务属左右丞，惟枉屈大事合闻奏者关于仆射。

又曰：戴至德为仆射，时与刘仁轨更日受词讼。尝有老母经省陈词，至德已收牒省视，老母前曰："本谓是解事仆射，所以来诉；公乃是不解事仆射，请却付牒来也。"至德笑而还之，议者尤称其长者焉。

又曰：元和中，裴均为仆射，于尚书省都堂上事，其送印及呈孔目、唱案、授案，皆使尚书郎为之。（文）[又]三品已上官升阶列坐，四品、五品及郎官、御史拜于厅下，然后召御史中丞、左右丞升阶答

拜。初，开元中张说为右丞相，因制仪注自极尊大，自非中书门下及诸三品已上官，是日皆坐受拜。或征其所从来，答曰："圣历中王及善、豆卢钦望同日拜文昌左右丞，亦同此仪。当时以说方承恩宠，不敢复诘，因为故事，非旧典也。均交结权幸而得贵位，在班列尝逾位而立，御史中丞卢坦请退之，均不受。坦曰："姚南仲为仆射例如此。"曰："南仲何人？"坦曰："南仲，是守正而不交权幸者也。"寻罢坦为右庶子，时人归咎于均。

又曰：宝历中，左仆射李绛与御史中丞王璠相遇于道，璠车不为之却，因上言："故事云，左右仆射，师长庶僚，开元中以为左右丞相，其后虽去三事机务，犹总百司之权，表状之中不署其姓。尚书已下，每月合衙上日，百僚列班，宰相送上，中丞御史列位于庭。礼数之崇，中外特异，所以自武德贞观已来，圣君贤臣布政除弊，不革此礼，谓为合宜。苟有不安，寻亦合废。近年缘有才不当职、恩加特拜者，遂从权便，不用旧仪，酌于群情，事实非当。今或有仆射初除就中丞院门相见者，即与就参何殊？或中丞新授，亦无见仆射之处。又参贺处，或仆射先至，中丞后来，宪度乖宜，尊卑倒置。倘人才忝位，自合别授贤良；若朝命守官，岂得有亏法制！伏望下百僚，重详定事体，使永可遵行。"奉敕宜令左右常侍、谏议大夫、给事中、中书舍人详议闻奏。元和中，太常博士韦谦举奏削去旧仪，今绛上论于体甚当。然其时，璠党方盛，致绛改官，共寝其仪。

又曰：李程，大和中为左仆射、中谢，日奏曰："臣所忝官上礼，前后仪注不同。在元和、长庆中，仆射数人，上日不受四品已下官拜。近日再定仪注，四品已下官悉许受拜，王涯窦易直已行之于前。今御史云已闻奏太常寺，定取十五日上，臣进退未知所据。"时中丞李汉以为受四品已下拜太重，敕曰："仆射上仪近已详定，所缘拜礼皆约令文，已经施行，不合更改，宜准大和四年十一月十六日敕处分。"

《钟离意别传》曰：意为尚书仆射，其年匈奴来降，诏赐缣三百

疋，尚书侍郎暨鄯受诏，误以三千疋赐匈奴。诏大怒，鞭鄯欲死，意独排省阁入谏，明帝以合大义。恚损怒消，帝谓意曰："非钟离尚书，朕几降威于此郎。"

《世说》曰：周伯仁过江，积年恒大饮酒，尝经三日醒，时人谓为三日仆射。

《唐书官品志》曰：仆射为执法，置二，则为左右仆射，皆与令同。左纠弹而右不纠弹。

《唐新语》曰：自武德至长安四年已前，仆射并是正宰相，故太宗谓房玄龄等曰："公为宰相，当须大开耳目，求访贤哲。"即其事也。神龙初，豆卢钦望为仆射，不带同中书门下三品，不敢参议政事，后加知军国事。韦安石为仆射，东都留守，自后仆射不知政事。

太平御览卷第二百一十二

职官部十

总叙尚书

韦昭《辩释名》曰：尚，上也。言最在上，总领之也。辩云：尚，犹奉也。百官言事，当省案平处奉之，故曰尚书。尚食、尚方亦然。

《周礼》曰：司会，中大夫二人。注：司会主天下之大计，计官之长，若今之尚书。

《汉书·百官表》曰：成帝初，置尚书员五人。如淳曰：主天子书、主天子物皆曰尚，如主婿曰尚主者也。

《东观汉记》曰：章帝东巡过任城，乃幸郑均舍，敕赐尚书禄以终其身，故时人号为白衣尚书。

又曰：章帝赐尚书剑各一，手署姓名：韩棱，楚龙泉；郅寿，蜀汉文剑；陈宠，济南锻成。一室丙两刃，其余皆平剑。其时，论者以为棱渊深有谋，故得龙泉；寿明达有文章，故得蜀汉文剑；宠敦朴，有善于内，不见于外，故得锻成剑。皆因名而表意。

《后汉书》曰：杨乔为尚书，容仪伟丽，数上言政事。桓帝爱其才貌，诏妻以公主。乔固辞，不听。遂闭口不食，七日而死。

《续汉书·百官志》曰：尚书，秩六百硕。成帝建始四年，罢中书宦官，置尚书。员五人，一人为仆射，分为四曹，通掌图书、秘记、章奏，各有曹任常侍，主丞相、御史、公卿事。二千石曹主刺史郡国事，民曹主吏民上书事，客曹主外国夷狄事。而成帝又置三公曹，主断狱，共为五曹。世祖又分增三公为二曹，其一曹主岁尽课州郡事，改常侍曹为吏曹，主选举祠祀；民曹主缮治、攻作、盐池、苑囿；

客曹主护驾、羌胡朝贺；二千石曹主辞讼；中都官主水火盗贼。与三公为六曹。

又曰：李固上疏云："陛下之有尚书，犹天之有北斗，北斗为天喉舌，尚书为陛下喉舌。"

谢承《后汉书》曰：陈禁字子雅，拜尚书。公卿朝，日晏无诏。禁问台上："故事何时可罢？"对言："已食辄有诏罢，今已宴。"禁曰："宁可白耶！"尚书郎以上方宴乐，不敢白，禁使罢。公卿既罢，上问左右："今未有诏而罢朝，何也？"尚书直对曰："陈禁命罢。"上曰："勿复问也。"禁在台二年，尝病，令仆射数奏，久病满百日，请辄免。有诏赐金帛医药。

又曰：张陵字处仲，为尚书。首岁朝，梁冀带剑入省，陵叱冀令出，敕虎贲夺其剑，冀跪谢。陵劾之，诏以岁俸赎罪，百僚肃然。冀弟不疑曾举陵，后疾冀。不疑谓曰："昔举君所以自罚也。"陵曰："明府不以陵不肖，误见擢序（令）[陵]申公宪，非报私恩耳！"不疑有惭色。

又曰：翟酺字子广，为侍中。时尚书有缺，诏将军大夫六百石以上，试对政事、天文、道术，以高第者补之。由是，酺对第一，拜尚书。

又曰：魏朗字少英，入为尚书，再升紫微，謇谔禁省，不屈豪右，为百僚所服。以党事免。郎性矜严，闭门整法，长吏希见，动有礼序，室家相待如宾，子孙如事严君焉。

又曰：蔡邕字伯喈，以持书御史迁尚书，三月之间，周历三台。

又曰：钟离意，字子阿，明帝征为尚书。交阯太守坐赃伏法，以资物簿入大司农。诏颁赐群臣，意得珠玑，悉以委地而不拜。帝怪，问其故，对曰："臣闻孔子忍渴于盗泉之水，曾参回车于胜母之乡，恶其名也。赃秽之宝不敢拜。"帝笑曰："清乎，尚书！"赐钱三十万。

又曰：荀绲字伯条，拜尚书。绲性明亮，敏于众职，以勖群僚，

秉机平正，直而行之。是时，内外公卿大夫莫不敬惮焉。

又曰：韦彪上疏曰："欲急世所务，当先除其患，其源在尚书。尚书典枢机，天下事一决之，不可不察。"

《汉官解诂》曰：士之权贵不过尚书。

又曰：唐虞曰："纳言，周官为内史，机事所总，号令攸发。

《汉官仪》曰：尚书，唐虞官也。《书》曰："龙作纳言。"《诗》云："仲山甫，王之喉舌。"秦改称尚书，汉亦尊此官典机密也。

应劭《汉官》：汉明帝诏曰："尚书，盖古之纳言，出纳朕命，机事不密则害成，可不慎欤？"

张璠《汉记》曰：朱穆党事禁固，征拜尚书。正月，百官朝驾毕，虎贲当陛置弓于地，谓群僚曰："此天子弓，谁敢干越！"百僚皆回避，不敢当。穆乃呵之曰："天子弓当载之于肩首之上，乃敢置地，大不谨不敬！"即收虎贲付诏狱治罪。莫不肃然，服其忠烈。

《魏志》曰：陈群为尚书，制九品为官人之法，群所建也。

又曰：许混字子劭，清淳有鉴识，明帝时为尚书。

又曰：丁谧字彦静，曹爽宿与相亲，拔为散骑常侍，转为尚书。在台阁，数有所弹驳，以势屈于爽，爽亦敬之。时谤书谓台中有三狗：二狗崖柴不可当，一狗凭点作疽囊。三狗谓何、邓、丁也。点者，爽小字也。意言三狗皆欲啮人而谧尤疽囊也。

又曰：孔礼字德远，为尚书。明帝方修台署，节气不和，天下少谷。礼固争，因罢役，制曰敬纳谠言。

《魏略》曰：帝游宴在内，选女子知书可付信者六人为女尚书，使典省外奏事，处当书可云也。

《吴志》曰：尚书熊睦见孙皓酷虐，微有谏，皓使人以刃环撞杀之，身无完肌也。

《晋书》曰：杜预为尚书，损益万机，不可胜数，朝野服焉。号曰杜武库，言其无所不有。

又曰：山涛转尚书，表辞年老。诏曰："方今多事，嘉谋良图委

以老成也。"

又曰：刘颂为尚书，孙秀等推崇赵伦功宜加九锡，百僚莫敢异议。颂独曰："昔汉之锡魏、魏之锡晋，皆一时之用，非可通行。今宗庙乂安，虽嬖后被退，势臣受诛，用周勃诛诸吕而尊孝文，霍光废昌邑而奉孝宣，并无九锡之命。乱旧典而习权变，非先王之制。九锡之议，谓无所施。"

《晋康帝起居注》：诏曰："尚书，万事之本，朕所责成也。而廪秩俭薄，甚非治体。今虽军国多费，不为元凯借禄，其依令、仆给尚书各亲信五十人廪赐。"

《晋中兴书》曰：蔡谟为尚书，上疏曰："八座之任，非贤莫居。前后选用，名资有常。孔愉、诸葛恢，并以清节令才，素有名望。昔愉为御史中丞，臣尚为司徒长史；恢为会稽太守，臣为尚书郎；恢尹丹阳，臣守小郡。名辈不同，阶级殊悬。今猥以轻鄙，超逾等匹，上乱圣朝贯鱼之次，下违群士准平之论，岂惟微臣斯亡之诫，实贻圣政维尘之累。"

《宋书》曰：凡尚书官，大罪则免，小罪则出，出者百日无代人，听还本职。

《宋志》曰：今朝士诣三公，尚书丞郎诣令仆射尚书，并门外下车履，度门阃乃纳履。

《齐职仪》曰：尚书六人，品第三，秩六百户，进贤两梁冠，纳言帻，绛朝服，佩水苍玉，执笏负荷。

《梁书》曰：陆杲迁尚书，殿中曹郎拜日，八座丞、郎并到上省交礼，而杲至晚，不及时刻，坐免官也。

又曰：周舍问刘杳："尚书官著紫荷，相传云挈囊，竟何所出？"答曰："张安世传云：持囊簪笔事孝武帝数十年。注云：囊，橐也，近臣簪笔以待顾问也。"

《后魏书》曰：肃宗灵太后，曾宴于华林园，举觞谓群臣曰："袁尚书朕之杜预，欲以此杯敬属元凯，今为尽之。"侍座者莫不羡仰。

翻名位俱重当时，贤达咸推与之。

《隋书》曰：于仲文，上以尚书文簿繁杂，吏多奸计，令仲文勘录省中事，其所发擿甚多。上嘉其明断，厚加劳赏焉。

《唐新语》曰：玄宗欲以牛仙客为尚书，张九龄谏曰："不可。尚书古之纳言，有唐已来多用旧相居之。不然，历践内外清(贯)[贵]之地，妙有德望者充之。仙客本河湟一使典耳，拔升清流，齿班常伯，此官邪也。"

《益部耆旧传》曰：太尉李固荐杨淮累世服事台阁，既闲练旧典，且有干用，宜在机密，特拜尚书。固薨，免官。尚书令陈蕃表行状，复征为尚书。

《会稽典录》曰：郑弘拜尚书。《旧典》：科郎满，补县长令史为丞尉。弘奏以为台职尊而赏薄，人无乐者，请使郎补县令史为长。上从其议。自此为始。

《通典》曰：尚书，出纳王命，敷奏万机，盖王政之所由宣，选举之所由定，罪赏之所由正。斯乃文昌天府，众务泉薮，内外所折衷，远近所禀仰。故李固云："陛下之有尚书，犹天之有北斗，斟酌元气，运平四时，是为喉舌。"

郭子曰：王公有幸妾，姓雷，颇预政事、纳货，蔡公谓之雷尚书。

(传子)[又]曰：[傅]嘏字兰石，为尚书，大小无不总。

桓子《新论》曰：昔尧试舜于大麓。麓者，领录天下事，如今之尚书官矣。宜得大贤智，乃可使处议持平。

王昶《考课事》曰：尚书侍中考课：一曰掌建六材以考官人，二曰综理万机以考庶绩，三曰：进视惟允以考谠言，四曰出纳王命以考赋政，五曰罚法以考典刑。

应璩书曰：知杨生翻然遂登纳言，虽有所越，亦其宜也。傅说弃板筑而为殷相，吕望投渭竿而为周师，卓茂起闾里而为汉宰。若此翁者，乃奇耳。琐琐尚书，执宪之吏，曷以为异哉！

太平御览卷第二百一十三

职官部十一

左丞　右丞　左司郎中　左司员外郎　右司郎中
右司员外郎　令史

左　丞

《六典》曰：左右丞掌管辖省事，纠举宪章，以辨六官之仪制，而正其文法，分而视焉。

《汉官典职》曰：尚书左右丞，典台事，绳纠，无所不总。

《续汉书·百官志》曰：左丞掌录尚书，吏人上章，百官威仪。

《汉官仪》曰：汉制：八座、丞、郎初拜，并集都（座）[堂]交礼，迁，又解交。

《晋书·百官表志注》曰：左右丞，俸月三十斛，左丞主台内禁令、宗庙祠祀、朝仪射制、弹案选用署吏，稽近道文书，给假。

《晋书》曰：刘曦字长叔，为尚书左丞，正色在朝，三台清肃。

又曰：郗诜为尚书左丞，推奏吏部尚书崔洪，洪曰："举诜丞而还奏我，此谓挽弩自射。"诜曰："赵宣子任韩厥为司马，而厥以军法戮宣子；崔侯为国举才，我以才见举，惟官是视，各明至公，何故其言乃至于此？"洪闻而悦服之。

又曰：傅咸为尚书左丞。时尚书郭弈，咸故将也。累辞病疾不起，复不上朝。又自表妹葬，乞出临丧，诏书听许，咸举奏之。

又曰：郗弘始为尚书郎，转左右丞，在朝为百僚所惮，后坐泄事免。

《晋诸公赞》曰：许奇为尚书左丞，有准绳操。

又曰：傅咸字长虞，为左丞，台阁小大，望风自肃。

《晋中兴书》曰：荀蕤字令远，迁左丞。时桓温平蜀，朝廷欲以豫章封温，蕤谓太宗曰："若温复假王威平定河洛，修复山陵，将复何以加之？"遂止。

沈约《宋书》曰：何承天为中丞，与尚书左丞谢元素不相善，二人竞伺二台之违，累相纠奏。

《宋书·百官志》曰：晋宋之世，左丞主台内禁令、宗庙祠祀、朝仪礼制、选用署吏，纠诸不法，无所回避。

《三国典略》曰：北齐张耀尝为尚书左丞，文宣近出，令耀居守。文宣夜还，耀不开门，勒兵严备，火至，看面然后开迎。文宣笑曰："卿欲学郅君章也。"赐以锦袍，以其忠勤，深见亲待。

《梁书》曰：贺琛迁尚书左丞，并参礼仪事。琛前后居职，凡郊庙诸议，多所创定。每见高祖，与语，常移晷刻，故省中为之语曰："上殿不下有贺雅。"琛容止都雅，故时人呼之。

又曰：刘孺弟览除尚书左丞。性聪敏，尚书令史七百人，一见并记姓名。当官清正，无所私。姊夫御史中丞褚湮，从兄吏部郎李绰，在职颇通赃货，览劾奏，并免官。李绰怨之，常谓人曰："犬啮行路，览噬家人。"

《北史》曰：郎茂，炀帝即位为尚书左丞。时工部尚书宇文愷、右翊卫大将军于仲文竞河东银窟，茂奏劾："愷位已隆，禄赐优厚，拔葵去织，寂尔无闻，求利下交，曾无愧色。仲文大将[军]宿卫近臣，趋侍阶庭，朝夕闻道，虞芮之风，抑而不慕，分诛之利，知而必争，何以贻范庶僚、示人轨物？"愷与仲文竟坐得罪。

《隋书》曰：杨汪字元度。高祖尝谓谏议大夫王达曰："卿为我觅一好左丞。"达遂私于汪曰："我当荐君为左丞，若事果，当以良田相报也。"汪以达所言奏之，达竟以获罪。卒拜汪为尚书左丞。汪明习法令，果于剖断，当时号为称职。

《唐书》曰：赵涓，永泰初为监察御史。时禁中失火，焚室数十间，火起处与东宫稍近，代宗深疑之。涓为巡使，俾令即讯，涓周历

墙圃，按据迹状，乃上直中官遗火所致也。推鞫明审，颇尽事情。既奏，代宗称赏焉。德宗时在东宫，常感涓之究理详细。及刺衢州年考既深，又与观察使韩滉不相得，滉奏免涓官。德宗见其名，谓宰相曰："岂非永泰初御史赵涓乎？"对曰："然"。即日拜尚书左丞。

《唐新语》曰：杨昉为左丞，时宇文化及子孙理资荫朝廷，以事隔两朝，且其家亲族亦众多，为言者所司。理之至于左司，昉未详其案状，诉者以道理已成，无复凝滞，勃然逼昉。昉曰："适朝退未食，食毕当详案。"诉者曰："公云未食，亦知天下有累年羁旅诉者乎？"昉遽命案，立批之曰："父杀隋主，子诉隋资，生者犹配远方，死者无宜更叙。"时人深赏之。

《傅咸表》曰：左丞职轻事重，以贱制贵，所以难居。臣以暗劣，猥忝斯任，愧于不称，惧罪之及，夙夜惶恐，寝食无宁。

《卞壼弹尚书丞郎事》曰：旧丞、郎取急及属出，皆尚有对，使职局不废，而昨左右二丞及诸郎皆出，惟次直二郎在，设使有兵火警急，便为无复行事者。二丞顿行，无印可以封符疏。此之遑慢，莫斯之甚！

《傅咸答辛旷诗序》曰：尚书左丞弹八座以下，居万机之会。斯乃皇朝之司直，天台之管辖。余前为右丞，具知此职之要；后忝此任，俛从事，日慎一日。

右 丞

《续汉书·百官志》曰：尚书右丞一人，四百石，掌录文书、期会、假署印绶及笔墨诸材用。

《汉官仪》曰：尚书左右丞，秩各四百石，迁刺史。

《晋书百官表注》曰：右丞主台内库藏、廨舍、量物用多少及廪赐、民户、租布、刑狱、兵器，稽远道文书、章表、奏事。

《晋中兴书》曰：王国宝因酒坐怒右丞祖台之，攘袂唤呼，以盘盏乐器掷台之，复为有司所弹。烈宗诏曰："国宝纵肆情性，其不可

长；台之懦弱非监司体，其免官。”

沈约《宋书》曰：晋西朝八座丞、郎，朝晡诣都座朝；江左惟旦朝而已。八座丞郎初拜，并集都座交礼，迁又解交，汉旧制也。今惟八座解交，丞、郎不复解交。

《宋书·百官志》曰：右丞掌台内库藏，凡诸器物、廨舍、刑狱、兵器。

《唐书》曰：宇文节为尚书右丞，明习法令，以干局见称。时江夏王道宗，尝以私事托于节，遂奏之。太宗大悦，赐绢二百匹，仍劳之曰：“朕所以不置左右仆射者，正以卿在省耳。”

又曰：韦温为尚书右丞，吏部员外张文规父弘靖，长庆初在幽州为朱克融所囚，文规不时省赴。人士喧然，罪之。温居纲辖，首纠其事，出文规为安州刺史。

《五代史·后唐书》曰：梁开平二年，改左右丞为左右司侍郎，避庙讳也。至同(光)[元]年十月复旧为左右丞，长兴元年九月诏曰：“台辖之司，官资并设左右貂，素来相类，左右揆不至相悬。以此比方，岂宜分别。自此宜升尚书右丞官品，与左丞并为正四品。”

左司郎中　左司员外郎

《六典》曰：左、右司郎中、员外郎各掌付十有二司之事，以举正稽违，(者)[省]署符目焉。凡都省掌举诸司之纲纪与其百僚之程式，以正邦理，以宣邦教。

《隋书》曰：炀帝三年，尚书都司始置左右司，郎各一人，品同诸曹郎从五品。掌都省之职。

《唐职员令》曰：左右司郎中，掌副左右丞所管诸司事。署抄目，举稽失，知台内宿直。若本司郎中不在并行之。

右司郎中　右司员外郎

《隋书》曰：骨仪迁尚书右司郎。于时政渐乱浊，货赂公行，凡

当枢要之职，无问贵贱，并家累金宝。天下士大夫莫不变节，而仪励志守常，介然独立。

令 史

《汉官仪》曰：能通苍颉史篇，补兰台令史；满岁，补尚书令史；满岁，为尚书郎。出亦与郎同，宰百里，郎与令史分职受书。令史见仆射、尚书，执板拜；见丞、郎，执板揖。

《续汉书·百官志》曰：尚书令史十八人，人二百石。曹有三人主书，后增列曹三人，合二十一人。

华峤《后汉书》：韦彪上疏曰："有楚狱事繁，故置尚书令史以助郎。"

《晋书》曰：陈寿少仕蜀，在观阁为令史，又为郎。（官）[宦]人黄皓专弄朝政，大将军阎宇等皆曲躬事皓以营时务，寿独峻然，皓乃自禅与杖。

又曰：赵孟字长舒，入补尚书郎令史，善于清谈，有国士之风。其面有瘢点，诸事不决，皆言当问瘢面。

《齐职仪》曰：自魏晋宋齐，正令史、书令史皆有品秩，朱衣执板，进贤一梁冠。

杨楞伽《北齐邺都故事》曰：尚书郎判事，正令史侧坐，书令史过事。

《典略》曰：边让字文礼，陈留人，将军何进闻其名，欲以礼辟。恐不肯来，乃托以军事召之，到署令史。进以礼见之，让占对闲叙，声气如流。其时，坐席宾客有百数，皆高慕之。

太平御览卷第二百一十四

职官部十二

吏部尚书

《六典》曰：吏部尚书、侍郎之职，掌天下官吏选授、勋封、考课之政令。其属有四：一曰吏部，二曰司封，三曰司勋，四曰考功，总其职务而行其制命。凡中外百司之事，由于所属，皆质正焉。

《后汉书》曰：光武改常侍曹为吏部曹，主举选、斋祀事。

《魏志》曰：卢毓为侍中，在职三年，多所驳易。诏曰："官人秩才，圣帝所难，必须良佐，进可替否。侍中毓禀性贞固，心平体正，可谓明试有功、不懈于位者也。其以毓为吏部尚书。"使毓自选代，曰："得如卿者乃可。"毓举常侍郑冲，帝曰："文和，吾自知之，更举吾所未闻者。"乃举阮武、孙邕，帝于是用邕。

《吴志》[注]曰：李肃字伟恭，南阳人。少以才闻，善论议，臧否得中，甄奇录异，荐述后进，题目品藻，曲有条贯，[众人]以此服之。权擢为选曹尚书，选举号为得才。

又曰：暨艳字子休，为选曹尚书。性峭厉，好清议。当时郎署混浊，多非其人，欲区别贤愚，弹指百僚，核选三署，皆贬高就下，降损数等。其居位贪鄙、志节污卑者，皆以为军吏，置营府以处之。故怨愤声积，竞言艳用私情，爱憎不由公理，艳坐自杀。

又曰：陆喜字文仲，颇涉文籍，好人伦。孙皓时为选曹尚书。

又曰：薛综为选部尚书，固让顾谭曰："谭心精体密，贯道达微，才照人物，德服众望，诚非臣所可越先。"后遂代综。

《晋书》曰：山涛为吏部尚书。涛用人皆先密启，然后公奏。

又曰：邓攸为吏部尚书，当时清静，内外肃然。后牧马于家庭，妻息素食，不受一钱。

又曰：嵇绍字延祖，裴頠亦深器之。每曰："使延祖为吏部尚书，可使天下无复遗才矣。"

又曰：王戎为左仆射，领吏部尚书。自戎居选，未尝进一寒素，退一虚名，理一冤枉，杀一疽嫉，随其沉浮，门调户选。好营生，广收八方，园田水碓周遍天下。聚敛积实，不知纪极。

又曰：吴隐之与太常韩康伯邻居。康伯母，殷浩之姊，贤明妇人也。每闻隐之哭声，辍餐投杼为之悲泣，既而谓康伯曰："若居铨衡，当选此辈人。"及康伯为吏部尚书，隐之遂阶清级。

又曰：蔡克居选官，苟进之徒望风畏惮。初，克未仕时，河内山简尝与琅邪王衍书曰："蔡子尼，今之正人。"衍以书示众曰："山子以一字拔人，然未易可称。"后衍闻克在选官，曰："山子正人之言，验于今矣。"

《晋起居注》曰：太康四年八月诏曰："选曹铨管人才，宜得忠恪寡欲、抑华崇本者。尚书朱整、周慎，廉敬以道素自居，是其人也。其以整为吏部尚书。"

虞预《晋书》曰：卢钦字子若，少好学，为尚书仆射，领吏部。钦清实，选举称为廉平。

《晋阳秋》曰：陈群为吏部尚书，制九[品]格，登用皆由(于)中正考之簿(世)[册]，然后授任。

《晋书诸公赞》曰：李胤为吏部尚书，正身率职不挠，故能行其所见，遂刊定选例而著于今。

《宋书》曰：颜竣为吏部尚书，留心选举，自强不息，任遇既隆，奏无不可。后谢庄代竣，意多不行。竣容貌严毅；庄风姿甚美，宾客喧诉，常欢笑答之。时人语曰："颜竣嗔而与人官，谢庄笑而不与人官。"

又曰：蔡廓为吏部尚书。廓因傅隆问傅亮，选事若悉以见付不

论，不然不能拜。亮以语录尚书徐羡之，羡之曰："黄门已下悉以委蔡，自此已上宜共参同异。"廓曰："我不能为徐干木署纸尾。"遂不拜。干木，羡之小字也。选案录尚书与吏部尚书连名，故廓云纸尾。

又曰：王弘自领选，将加荣禄于人者，每先呵责谴辱之，然后施行。若美相盼、接语欣欢者，必无所谐。人问其故，答曰："王爵既加于人，又相抚劳，便成与主分功，此所谓奸以事君者也。若求者绝官叙之分，既无以为惠，又不微借颜色，即大成怨府，亦鄙薄所不任。"问者悦伏。

又曰：江湛为吏部尚书，家甚贫，不营财利，饷馈盈门，一无所受，无兼衣余食。尝为上所召，遇澣衣，称疾，经日衣成然后赴。

又曰：庾仲文，性好洁，为吏部尚书，用少府卿刘道锡为广州刺史，道锡至镇饷白檀牵车，常自乘焉。或以白文帝，帝见问曰："道锡饷卿小车，装饰甚丽，有之乎？"仲文惧，起谢。

又曰：庾炳之为吏部尚书，通货贿。吏部令史钱泰能弹琵琶，(王)[主]客令史周伯齐善歌，诣炳之宅咨事，因留宿。尚书旧制：令史咨事不得宿停外，虽有八座命亦不许。为所司奏，免官也。

又曰：少帝即位，以蔡廓为吏部尚书，不肯拜，乃以王惠代焉。惠被召即拜。未尝接客，人有与书求官者，得(转)[辄]聚置阁上，及去职，其封如初。时谈者以廓之不拜、惠之即拜，虽事异而意同也。

《齐书》曰：褚彦回迁吏部尚书，有人求官，密袖中将一饼金，因求清闲，出金示之曰："人无知者。"彦回曰："卿自应得官，无假此物。若必见与，不得不相启。"此人大惧，收金而去。彦回叙其事而不言其名，时人莫之知也。

又曰：褚炫为吏部尚书。炫居身清立，非吊问不杂交游，论者以为美。及在选部，门庭萧索，宾客罕至。出行，左右常捧一黄纸帽，风吹纸剥殆尽。

《南史》曰：初，谢朓告王敬则，敬则女为朓妻，常怀刀欲报朓，朓不敢相见。及当拜吏部，谦挹尤甚，尚书郎范缜嘲之曰："卿人才无断小选，但恨不可刑于寡妻。"朓有愧色。

《南史》曰：蔡征拜吏部尚书，启后主借鼓吹，后主谓所司曰："鼓吹军乐，有功乃授，蔡征不自量，揆素我朝章。然其父景历既有缔构之功，宜且如启。"拜讫，即追还。

《梁书》曰：萧子明为吏部尚书，性凝简，负才气。见九流宾客，不与交言，但举扇一挥而已。衣冠窃恨之。

又曰：谢览字景涤，朏之弟、瀹之子也。自祖至孙三代居选部，时以为荣。

又曰：王泰字仲通，为都官尚书，能接人士，士皆愿其居选官。顷之，为吏部尚书。衣冠倾属。

又曰：谢举字言扬，迁掌吏部。举祖庄宋代再典选，至举又三为此职，前代未有也。

崔鸿《十六国春秋》曰：永宁伯郭抚，字仲安，金城人也。初，为吏部尚书，与郎姚范清心虚求，搜扬俊乂，内外称之，以拟魏之崔、毛。

《后魏书》曰：崔玄伯迁吏部尚书，命有司制官爵、撰朝仪、协音乐、定律令、申科禁，玄伯总而裁之，以为永式。及置八部大夫，拟八座，玄伯通署三十六曹，如令、仆统事。

又曰：崔亮迁吏部尚书，时羽楚新害张(寻)[彝]之后，灵太后令武官得依资入选。官员既少，应选者多，前尚书李韶循常擢人，百姓大为嗟怨。亮乃奏为格制，不问士之贤愚，专以停解日月为断。虽复官须此人，停日后者终于不得；庸才下品，年月久者灼然先用。沉滞者皆称其能。

又曰：郭祚为吏部。祚持身洁清，重惜官位，至于铨授，假令得人，必徘徊久之然后下笔，[下笔]即云："此人便以贵矣。"由是颇劳滞，当时每招怨言。然所用者，皆量才称职，时人以此归之。

又曰：元顺为吏部尚书，时三公曹令史朱晖，素事录尚书、高阳王雍，雍欲以为廷尉评，频频托顺，顺不为用。雍遂下命用之，顺投[之]于地。雍闻之，大怒，昧爽坐都厅，召尚书及丞郎毕集，欲待顺至，于众挫之。顺日高方至，雍攘袂抚几而言曰："[身]天子之子，天子之弟，天子之叔，天子之相，四海之内，亲尊莫二，元顺何人，以身成命投弃于地！"顺须眉俱张，仰面看屋，愤气奔涌，长嘘而不言。久之，摇一白羽扇，徐而谓雍曰："高祖迁宅中土，创定九流，官方清浊，轨仪万古。而朱晖小人，身为省史，何令为廷尉清官！殿下既先皇同气，宜遵成旨，自有短垣而复逾之。"雍曰："身为丞相、录尚书，如何不[得]用一人为官？"顺曰："庖人虽不理庖，尸祝不得越樽俎而代之。未闻有别旨，令殿下参选事。"顺又厉声曰："殿下必如是，顺当依事[奏]闻！"雍遂笑而言曰："岂可以朱晖小人，便相忿恨。"遂起，呼顺入室，与之极饮。顺之亢毅不挠，皆此类也。

又曰：元修义迁吏部尚书，及在铨衡，惟事货贿，授官大小，皆有定价。时中散大夫高居者，有旨先叙，上党郡缺，遂求之。修义私已许人，抑居不与。居大言不逊。修义命左右台曳之。居对众大呼天唱贼。人问居曰："白日公庭，安得有贼？"居指修义曰："此座上者，违天子明诏，物多者得官，京师白劫，此非大贼乎？"修义失色。居行骂而出。

《三国典略》曰：东魏以杨愔典选，尝六十人为一甲。愔令其自叙讫，不省文簿，便次第呼之，呼误以"慕容"为"长孙"一人而已。有职人鲁漫汉，自言微贱不蒙记。愔曰："卿前在元子思坊乘驴遇见我，不下，以方麴障面，我何不识卿耶？"漫汉惊服。愔又谓之曰："名以定体，果自不虚。"令史唱名误以卢士深为士琛，深自言其名。愔曰："卢郎朗润，所以加玉。"

《北齐书》曰：段孝言为吏部尚书。孝言既无深鉴，又待物不平，抽擢之徒，非贿则旧。有将作丞崔成，忽于众中抗言曰："尚书，天下尚书，岂独段家尚书也！"孝言无辞以答，惟厉色遣下而已。

又曰：陈·孔奂为吏部尚书，太子叔宝欲以江总为太子詹事，令管记陆瑜言之于奂。奂谓瑜曰："江有潘、陆之才，而无园、绮之实，辅弼储后，窃有所难。"瑜具以白太子，太子深以为恨。乃自言于陈主，将许之，奂乃启曰："江总，文章之人，今太子文藻不少，无藉于总！如臣愚见，愿选敦重之才以居辅导。"陈主曰："即如卿言，谁当居此？"奂曰："尚书王廓，世有懿德，识性敦敏，可以居之。"太子时亦在侧，乃曰："廓，王泰之子，不可为太子詹事。"奂又启曰："宋朝范蔚宗即范泰之子，亦为太子詹事，前世不疑。"太子固争之，陈主卒以总，果共太子为长夜之饮，养良娣陈氏为女。太子微行游总家，陈主怒而免之。

《隋书》曰：牛弘为吏部尚书，其选举先德行而后文才，所进用多称职。吏部侍郎高世本鉴赏机晤，清慎绝伦，然爽俊有余，迹以轻薄。时宰多以此疑之，惟弘深识其真，推心委任。隋之选举，于斯为最。

又曰：牛弘拜吏部尚书，时高祖又令弘与杨素、苏威、薛道衡、许善心、虞世基、崔子发等并召诸儒论新礼，降杀轻重，弘所立议，众咸推服之。仁寿二年，献皇后崩，王公已下不能定其仪注，杨素谓弘曰："公旧学时贤所仰，今日之事决在于公。"弘了不辞让，斯须之间，仪注悉备，皆有故实。素叹曰："衣冠礼乐，尽在此矣，非吾所及也。"

又曰：韦世康拜吏部尚书，前后十余年间，多所进拔，朝廷称为廉平。尝因休暇而谓子弟曰："吾闻功遂身退，古人常道。今年将耳顺，志在悬车，汝辈以为云何？"子福嗣答曰："大人澡身浴德，名立宦成，盈满之诫，先哲所重，欲追踪二疏，伏奉尊命。"

《唐书》曰：韦思谦弱冠举进士，累补应城令。岁余调选，思谦在官，坐公事微殿，旧制多不进官。吏部尚书高季辅曰："自居选部，今始得此一人，岂以小疵而弃大德。"特进超授监察御史，由是知名。

又曰：李巽为吏部尚书，病极，郎官相率省疾。巽初不言其病，与之考校程课，商榷公利，至其夕而终。

《唐新语》曰：裴光廷为吏部，始制循资格以一贤愚。遵平辙者，喜其循常；负材用者，受其抑屈。宋璟固争不得。及光廷卒，有司定谥，以其用"循资格"非奖劝之道，谥为克平。

《先贤行状》曰：崔琰委授铨衡，总齐清议十有余年，文武群才多所明拔，朝廷归美，天下称平。

《袁子》曰：魏家置吏部尚书，专选天下百官。夫用人，人君之所司，不可以假人者也。使治乱之柄，制在一人之手，权重而人才难居此职，称此才者，未有一也。

《世说》曰：王浚冲、裴叔则，二人总角诣钟士季，须臾去。后客问钟曰："二童是谁？"钟曰："裴楷清通，王戎简要，后二十年，此二贤为吏部尚书。当尔时，天下无滞才。"

《世语》曰：安定梁鹄，善八分书，初为吏部尚书，太祖求为洛阳令，鹄以为北部尉。鹄避地荆州，太祖定荆州。太祖求鹄，鹄乞以书赎死，乃令书信幡、宫门题。

《语林》曰：袁贞为监运，范玄平作吏部尚书。大坐，语袁："卿此选还不失护军。"袁曰："卿何事人中作市井。"

《魏名臣奏》曰：羽林右监朱遗言："天下之任非吏部尚书所能独办，令长以下可专付吏部，守以上八座举。"

《傅咸集·表》曰：昔毛玠为吏部尚书，无敢好衣美食者。魏武叹曰："孤之法不如毛尚书令，使吏部用心如毛玠，风俗之易在不难矣。"

太平御览卷第二百一十五

职官部十三

吏部侍郎　总叙尚书郎

吏部侍郎

《隋书》曰：陆彦师为吏部侍郎。隋承周制，官无清浊。彦师在职，凡所任人，颇甄别于士庶。论者美之。

又曰：高孝基为吏部侍郎，房玄龄、杜如晦与选，孝基特加赏异。后以为知人。

又曰：炀帝以尚书六曹：吏部、礼部、兵部、刑部、民部、工部各置侍郎一人，以贰尚书之职。

《唐书》曰：高季辅为吏部侍郎，凡所铨叙，时称允当。从幸翠微宫，太宗赐金背镜一面，以表其清鉴焉。

又曰：天后以许子儒为天官侍郎，孺不以藻饰为意。其补官悉委令史勾直，时谓勾直曰平配。后崔玄暐为之，介然自守，绝于请谒。为职政者所忌，转文昌左丞，选司令史乃设斋自庆。武太后闻之，复拜为天官侍郎。

又曰：席豫为吏部侍郎，玄宗谓之曰："以卿前为考功，职事平允，故有此授。"豫典选六年，复有令誉。

又曰：房颖叔拜天官侍郎，自其高祖景伯至颖叔，四代咸居选部，时论荣之。

又曰：韦陟为吏部侍郎，常病选人冒名，接脚窃授。缺员既少，取士良难。正调者被挤，伪集者冒进。陟刚肠嫉恶，风彩严正，见选人疑其有瑕，按声盘诘，无不首伏。每岁皆赎得数百员阙，以待淹滞。常谓所亲曰："使陟知铨衡一二年，则无人可选矣。"

又曰：崔群征拜吏部侍郎，穆宗召见别殿，谓群曰："我升储位，知卿为羽翼。"群曰："先帝意元在陛下，顷者授陛下淮西节度使，臣奉命草制，且曰：'能辨南阳之牍，允符东海之贤。'若不知先帝深旨，臣岂敢轻言。

又曰：崔郾为兵部侍郎，本(官)[管]判吏部东铨事。文宗勤于政道，每苦选曹讹弊延英，谓宰臣曰："吏部殊不选才，安得摭实无滥，可厘革否?"李石对曰："令录可以商量，他官且宜循旧。"上曰："循旧如配官耳，贤不肖安能甄别?"乃召三铨，谓之曰："卿等比选令录，如何注拟?"郾对曰："资叙相当，问其为治之术，视可否而拟之。"帝曰："依资合得而才劣者何授?"对曰："与边远慢官。"帝曰："如以不肖之才治边，民则疾苦可知也。凡朝廷求理，远近皆须得人；苟非其才，人受其弊矣。"

又曰：杨纂除吏部侍郎，前后典选十余载，铨叙人伦，称为允当。然而抑文雅，进黠吏，观时任数，颇为时论所讥。

又曰：邓玄挺为吏部侍郎，既不称职，甚为时谈所鄙。又时患消渴病，选人因目为"邓渴"，榜于衢路。自有唐已来，掌选之失，未有如玄挺者。坐此左迁澧州刺史。

《唐新语》曰：裴行俭为吏部侍郎，赏拔苏味道、王勔，曰："二公后当相次掌钧衡之任。"卒如其言。

又曰：韦陟尝任吏部侍郎，有一致仕官，叙五品，陟判之曰："青坛展庆，曾不立班；朱绂承荣，无宜卧拜。"时人推其强直。

又曰：姜晦为吏部侍郎，性聪悟，识理体。旧制：吏曹舍宇悉布棘，以防令史与选人交通。及晦领选事，尽除之，大开铨门，示无所禁。私引致者，晦辄知之。召问，莫不首伏。初，朝廷以晦改革前规，咸以为不可。竟铨综得所，贿赂不行，举朝叹伏。

又曰：马载为吏部侍郎。时考功员外刘思立子宪为河内尉，思立今日亡，明日选人有索宪缺者，载深咨嗟，以为名教所不容，乃书其无行注于集。朝廷咸曰："真铨综流品之司，可谓振理风俗也。"

其人比出选门，为众目所视，众口所讦，趑趄失步。

总叙尚书郎

《汉书》曰：南宫二十五星，应台郎位，故明帝云："郎官上应列宿。"即此也。

又曰：主父偃诣阙上书，朝奏暮召。人见所言九事，其八事为律令，其一事谏匈奴，上谓曰："公等安在，何相见之晚？"乃拜偃为郎中。

又曰：韩信为项羽郎中，数干以策而弗用。

《东观汉记》曰：樊梵字文高，为郎。每尝直事，驻车待漏；虽在闲署，冠剑不解于身。每斋祠，恐失时，张灯俯伏。为郎二十三岁，未尝被奏，三署服其慎重。

又曰：黄香为尚书郎，尝独止宿台上，昼夜不离省闼。上闻，善之。

又曰：阳嘉二年，汝南童子谢廉、河南赵建，年十二，各通一经，以太学初缮，应化而至，皆除郎中。

又曰：黄香知古今记，群书无不涉猎，兼好图讖、天官、星气、钟律、历算，穷极道术。京师号曰："天下无双，江夏黄童。"京师贵戚慕其声名，更馈衣物，拜尚书郎。

《后汉书》曰：冯豹拜尚书郎，忠勤不懈，每事未报，常俯伏省阁，或从昏至明。肃宗闻而嘉之，使黄门持被覆豹，敕令勿惊，由是数加赏赐。

又曰：冯勤除为郎中、给事尚书，以图议军粮，在事精勤，遂见亲识。每引进，帝辄顾谓左右曰："佳乎吏也！"由是使典诸侯封事。勤善量功次轻重，国土远近，地势丰薄，不相逾越，莫不厌服焉。自是封爵之制，非勤不定。帝益以为能。

又曰：药崧天性朴忠，家贫。为郎，常独直台上，无被枕杜，杜、思渍反。调俎几也。《方言》云：蜀汉之郊曰杜。食糟糠。帝每夜入台，辄见

崧，问其故，甚嘉之。自此召太官赐尚书以下，朝夕餐给，帷被皂袍。

又曰：桓彬拜尚书郎，时中常侍曹节女婿冯方亦为郎，彬厉志操，与左丞刘歆、右丞杜希同好交善，未尝与方共酒食之会。方深怨之，遂彰言彬等为酒党。事下尚书令刘猛，猛雅善彬等，不举正其事；节大怒，劾奏猛，以为阿党，请收下诏狱，在朝者为之寒心。猛意气自若，旬日得出，免官禁锢。彬遂见废。

又曰：王译为尚书侍郎，台阁议奏常依义据法，为三台之表。

又曰：陈忠疏曰："尚书为王喉舌，而诸郎多文俗，鲜有雅才，每为诏文宣示内外，转相求请也。"

《续汉书》曰：胡广字伯始，举孝廉试为天下第一，旬日拜尚书郎。

又曰：徐防为尚书郎，性周密畏慎，在台阁典职十年，奏事三世，未尝有过。

谢承《后汉书》曰：尚书郎，旧典秩满迁令长。郑弘为仆射，奏以台职任尊而赏薄，人无乐者，请使郎补二千石，自此始也。

又曰：方储为郎中，章帝使文郎居左，武郎居右，储正位中，曰："臣文武兼备，在所施用。"上嘉其才，以繁乱丝付储使理，储拔佩刀而断之曰："反经任势，临事宜然。"

又曰：何汤拜郎中，守关阳门。候上微行夜还，汤闭门不纳，更从中东门入。明旦召诣太官赐食，诸门候皆夺俸。

华峤《后汉书》曰：馆陶公主为子求郎，不许，赐钱千万。明帝谓群臣曰："郎官上应列宿，非其人则民受其殃。"

又曰：窦攸笃学，退居，举孝廉为郎。世祖会百僚于灵台，得鼠如豹文，问群臣，攸曰："鼹鼠。"诏曰："何以知？"曰："见《尔雅》。"诏：书如攸言，赐帛三百，更敕诸王子从攸受《尔雅》。

又曰：明帝性褊察，尝以事怒郎乐崧，崧迳入床下。上怒甚，疾呼曰："郎出！郎出！"崧曰："天子穆穆，诸侯皇皇，未闻人君自起撞

郎。”上乃舍之。

《汉官仪》曰：尚书郎四人：一主匈奴单于营部，一主羌夷吏民，一主天下户口、土田垦作，一主钱帛、贡献、委输。

又曰：尚书郎主作文书起草，夜更直五日于建礼门内。

又曰：尚书郎给青缣白绫被，以锦被，帷帐，毡褥，通中枕。太官供食，汤官供饼餌、五熟果实，下天子一等级。尚书史二人、女侍史二人，皆选端正从直。女侍执香炉，烧薰，从入台，护衣。奏事明光殿。省[中]皆胡粉涂画古贤人、烈女。郎握兰含香，趋走丹墀奉事，黄门郎与对揖，天子五时赐服。若郎处曹二年，赐迁二千石刺史。

又曰：尚书郎，初上诣台称守，(尚书郎)满岁称尚书郎中，三年称侍郎。

《续汉书·百官志》曰：尚书郎三十六人，四百石。

《魏志》曰：明帝太和四年诏曰：“世之质文，随教而变。兵乱以来，经学废绝，后生进趣，不由谟典，岂朕训导未洽，将进用者不以德显乎？其郎吏学通一经，才任牧民，博士课试，擢其高第者亟用；其浮华不务道本者，皆罢退之。

又曰：贾诩字文和，武威姑臧人也。少时人莫知，惟汉阳阎忠异之，谓有良、平之计。察孝廉为郎。

《魏略》曰：韩宣字景然。为尚书郎，尝以职事当受罚，已缚束竟杖未行。文帝辇过，问：“是谁？”左右以实对。帝曰：“是子建所道韩宣耶！”特原之。

又曰：姜维字伯约，郡欲表维以为将。维家本衣冠，不愿为将，郡因表拜郎中。

《吴志》曰：张纯字元基，少厉操行，学博才秀，而切问捷对，容止可观，擢拜郎中。

又曰：士燮字威彦，苍梧广信人。少游学京师，事(颍)[颍]川刘子奇治《左氏春秋》，察孝廉补尚书郎。

又曰：孙皓降晋，赐号归命侯，诸子为王者皆拜郎中。

《晋书》曰：魏舒字阳元，为尚书郎，时选郎或有非其人，论者欲有沙汰之言。舒曰："吾即其人也。"乃幞被遥出，同僚素无清议者，咸有自愧之色，谈者莫不咏其高。

又曰：索靖，同郡张勃特表靖以才艺绝人，宜在台阁，不宜远出边塞。武帝纳之，擢为尚书郎。

又曰：乐广为尚书郎，与何晏、邓飏等谈讲，卫瓘见而奇之曰："常恐微言将绝，今复闻之。"命诸子造焉。谓曰："此人之水镜也。每见此人，莹然犹披云雾而睹青天也。"

又曰：索靖子綝，字巨秀，少有逸群之量。靖每曰："綝，廊庙之材，非简札之用，州、郡吏不足污吾儿也。"举秀才，除郎中，尝报兄仇，手杀三十七人，时人壮之。

又曰：吴隐之兄坦之，为袁真功曹。真败，将及祸，隐之诣桓温乞代兄命，温矜而释之，遂为温所知赏，拜奉朝请尚书郎中。

又曰：嵇含言于长沙王乂曰："昔魏武每有军事，增置掾属。尚书令陈矫以有军事，亦奏增郎。况今都官中骑三曹昼出督战，夜还理事，一人两役，内外废(之)[乏]。含谓之各有主师，委之大将，不宜复令台僚杂与其门。"乂从之，乃增郎及令史也。

又曰：贾充改为律令，以裴楷为定科郎。

《晋中兴书》曰：王彪之字叔虎，从伯遵谓曰："选官欲以汝达，可作诸王佐郎。"彪曰："位之多少既不足计，自当任之于时，至于超迁，是所不愿。"遂为郎。

又曰：王坦之字文度，选曹将拟为尚书郎。坦之闻曰："自过江，尚书郎正用第二人，何得以此见拟！"其子国宝好倾侧，妇父谢安恶之，除尚书郎。国宝以为中兴膏腴之族，惟作吏部，不作余曹郎，怨之，辞不拜。

《晋太康起居注》曰：故司空王基夙为先帝授任，基子冲尚书郎中虽在清途，犹未免楚挞。其以冲为治书侍御史。

《齐书》曰：陆惠晓除尚书殿中郎，邻族来相贺，惠晓举酒曰："陆惠晓年逾三十，妇父领选始作尚书郎，卿辈乃复以为庆耶？"

《梁书》：天监元年诏曰："自礼闱陵替，历兹永久。郎署备员，无取职事，糠秕文案，贵尚虚闲。空有趋墀之名，了无握兰之实。曹郎可依昔奏事。"自是始奏事。

又曰：王筠除尚书殿中郎。王氏过江以来未有居郎署者，或劝不就，筠曰："陆平原东南之秀，王文度独步江东，吾得比踪昔人，何所多恨。"乃欣然就职。

又曰：刘洽为尚书殿中郎，洽兄弟群从递居此职，时人荣之。

又曰：殿中郎缺，武帝曰："此曹旧用文学，且居雁行之首，宜详择其人。"以张缅为之。

《后魏书》曰：高允为郎，二十七年不徙官。时百官无禄，允恒使诸子樵采自给。初，尚书窦瑾坐事诛，瑾子遵亡在山泽，遵母焦没入县官，后焦以老得免。瑾之亲故莫有恤者。允愍焦年老，保护在家，积六年，遵始蒙赦。其笃行如此。

《三国典略》曰：齐主命百司各列勤惰，尚书郎皇甫亮三日不上，齐主亲诘其故。亮对曰："一日雨，一日病酒。"齐主以其言实，遂优容之，令杖胫三十。

《唐书》曰：韦虚舟家有礼则，父子兄弟更践郎省，时称郎官家。

又曰：赵晔字云卿，邓州穰人。早擅高名，在宦途五十年，累经贬谪，蹇顿备至，入仕三十年方霑省官。身在郎署，子尝徒步，官既散曹，俸禄单寡，衣食不充，以至亡殁。[服名]捡者为之叹息。

《三辅决录》曰：田凤字季宗，为尚书郎，容仪端正。入奏事，灵帝目送之，因题柱曰："堂堂乎张，京兆田郎！

又曰：陈重与其友雷义俱拜尚书郎，义以左黜。重见义去官，亦以病免。

《汝南先贤传》曰：陈蕃上书云：昔明帝时，公主为子求郎，不许，赐钱千万。左右问之，帝曰："郎，天官也，以当叙德，何可妄与

人耶!"今陛下以郎比一把菜,臣以为反侧也。

又曰:屈霸字子卿,拜尚书郎。当五侯之时,贵戚倾天下,在朝者莫不慎睫承风,子卿终不屈挠。

《王处冲别传》曰:处冲为尚书郎,外望简纵若有遗漏,然事要机辄执其中,中外之间亡所辨明。台阁益归重之。

《通典》曰:故事,叔父兄弟不许同省为郎官,格令不载,亦无正敕。贞观二年十一月,韦叔谨除刑部员外;三年四月,韦季武除主爵郎中;其年七月,韦叔谐除库部(都)[郎]中。太宗谓曰:"知卿兄弟近在尚书省,故授卿此官,欲成一家之美,无辞稍屈阶资也。"其后同省者甚多。近日非特恩除拜,即须相回避。

《抱朴子》曰:汉末有祢衡者,年二十三。孔文举齿过知命,身居九列,才学冠群,名位殊绝,始友衡于布衣,又荐之于朝,以为宜使起家作台郎。

《世语》曰:育龙中石苞鬻铁于长安,得见司马宣王,知焉,擢为郎。

又曰:曹爽解印绶,将出,主簿杨综止之。爽不从,有司奏综导爽反,宣王曰"各为其主[也]"。宥之为郎。

桓谭《新论》曰:余年十七为奉车郎中,卫殿中小苑西门。

《魏武集·选举令》曰:国家旧法选尚书郎,取年未五十者,使文笔真草,有才能谨慎,典曹治事,起草立义,又以草呈示令、仆,讫乃付令史书之耳。书讫,共省读内之。事本来台郎统之,令史不行知也。书之不好,令史坐之;至于谬误,读省者之责。若郎不能为文书,当御令史,是为牵牛不可以服箱,而当取辩于茧角也。

《魏名臣奏·驸马都尉甄毅奏》曰:汉时公卿皆奏事选尚书郎,试,然后得为之。其在职,自责所发书,诣天子前发省便处当,事轻重口自决定。或天子难问,据案处正,乃见郎之割断材伎。魏则不然。今尚书郎皆天下之选,材伎锋出,亦欲骋其能于万乘之前,宜如故事,令郎口自奏事,自处当。

《山涛启事》曰：雍州久无郎，前尚书傅祗坐事免官，在职日浅，其州人才无先之者，不审可复用否？

又曰：皇太子东宫，多用杂材为官属，宜令纯取清德。太子舍人夏侯孝若，有盛文德而不长理民，有益台阁，在东宫已久。（命）殿中郎缺，宜得才学，不审孝若可迁此否？

陆机《谢吴王表》曰：殿中以臣为郎中，命转中兵郎，复以颇涉文学，见转为殿中郎。

太平御览卷第二百一十六

职官部十四

吏部郎中　吏部员外郎　司封郎中　司封员外郎
司勋郎中　司勋员外郎　考功郎中　考功员外郎

吏部郎中

《六典》曰：吏部郎中掌考天下文吏之班秩阶品。

《魏志》曰：诸葛诞，字公休，为吏部郎。人有所嘱托，辄显其言而亟用之，后有当否，则公议其得失以为褒贬。自是群僚莫不慎其所举。

《魏志》曰：袁侃论议清当，柔而不犯，善与人同。当废兴之间，人所趋务者，常谦退不为也，时人以是称之。历选部郎，号为清平。

《魏氏春秋》曰：许允为吏部郎，选郡守。明帝疑其所用非次，召入将加罪。允妻阮氏跣出，谓曰："明主可以理夺，难以情求。"允领之而入。帝怒诘之，允对曰："某郡守虽限满，文书先至，年限在后；某守虽后，日限在前。"帝取事视，乃释遣出。望其衣败，曰："清吏也。"

《蜀志》曰：赵戬字叔茂，京兆长陵人。质而好学，言称诗书；爱鄙于人，不论疏密。辟公府，入为尚书选部郎。董卓欲以所私并充台阁，戬拒不听。卓怒召戬，欲杀之。观者皆为戬惧，而戬自若。及见卓，列辞正色，陈说是非，卓虽凶戾，屈而谢之。

《晋书》曰：山涛为吏部郎，文帝与书曰："足下在事，明雅迈时，念多所乏，今致钱二十万、丝百斤、谷二百斛。"

又曰：李重字茂曾，选尚书吏部郎，询朝众而斥华竞，存公平而塞私谒，是以群才罔不毕举。

又曰：吏部郎缺，文帝问人于钟会，会曰："裴楷清通，王戎简要，皆其选也。"于是以楷为吏部郎。

又曰：徐宁，少未知名，为兴县令。时廷尉桓彝称有人伦鉴识，护军庾亮每属之访一佳吏部郎。彝尝去职，至广陵寻亲旧；还遇风，停浦中，累日忧悒。因上岸，见一室宇，有似廨署，访之，云是兴县。彝乃造之，宁清惠博涉，相遇欣然，因留数夕。彝大赏之，结交而别。至都，谓庾亮曰："吾为卿得一佳吏部郎。"亮问所在，彝曰："人所应有不必有，人所应无不必无，徐宁真海岱清士。"因为叙之，即迁吏部郎。

又曰：杜锡字世嘏，补吏部郎，不敢用乡曲一人。

又曰：王戎少颖悟，二十四为吏部郎。

又曰：李胤为吏部，清慎选举。号为廉平。

荀绰《晋后略》曰：武含字景纬，官历中庶子，散骑常侍。以母在日诲云："汝修其志，仕当为尚书郎。"惧进叙有违前言，乃辞常侍为吏部郎。

《晋中兴书》曰：阮放与从弟孚齐名，为吏部郎，铨管之任，甚有称誉。性清约，不理产业，为郎不免饥乏。王导、庾亮以其名士，供给衣食，放由是得立。

又曰：毕卓字茂世，新蔡人。少亦放达，泰兴末为吏部郎，常饮酒废职。比舍郎酿[熟]，卓因醉夜至其瓮间取酒饮之。掌酒者不察，执而缚之。郎往视，乃毕吏部也，遽释其缚。卓遂引主人宴于瓮侧，(取)[致]醉而去。卓常谓人曰"右手持酒杯，左手持蟹螯，拍浮酒池中，便足了一生。"

《宋书》曰：王僧绰为吏部郎，参掌大选，究识流品，谙悉人物，拔才举能，咸得其分。

又曰：何尚之迁吏部郎，告休定省，倾朝廷送别于治渚。及至郡，叔度谓曰："闻汝来此，倾朝相送，可几客？"答曰："殆数百人。"叔度笑曰："此是送吏部郎耳，非关何彦德也。昔殷浩亦尝作豫章

定省，送别者甚众，及废徙东阳，船泊征虏亭积日，乃至亲旧无复相窥者。”

又曰：王微字景玄，吏部尚书。江湛举微为吏部郎，微与湛书曰：“君平生云：扬我名者杀我身。天爵且犹灭名，安用吏部郎哉！其举何陋，其事不经！非独搢绅者不道，仆妾皆笑之。”

又曰：王悦之为吏部郎，邻舍有会同者，遗悦之饼一瓯，辞不受，曰：“此费诚小，然少来不愿当之。”

又曰：袁淑为吏部郎，其秋大举北伐，淑侍坐，从容曰：“今当鸣銮中岳，席卷赵、魏，捡玉岱宗，今其时也。臣逢千载之会，愿上《封禅书》一篇。”太祖笑曰：“盛德之事，我何足以当之？”

《齐书》曰：陆慧晓迁吏部郎，尚书令王晏选门生补内外要局，慧晓为用数人而止，晏恨之。送女妓一人，欲与申好，慧晓不纳。吏曹都令史历政以来，咨执选事，慧晓任己独行，未尝与语。帝遣左右单景俊以事诮问，慧晓谓景俊曰：“六十之年，不复能咨都令史。为吏部郎也，上若谓身不堪，便当拂衣而退。”帝甚惮之。

又曰：谢朓迁尚书吏部郎中，上表三让，中书疑朓官未及让，以问沈约，曰：“宋元嘉中，范晔让吏部，朱循之让黄门，蔡兴宗让中书，并三表诏答，其事宛然。近代小官不让，遂成恒俗，恐此有乖让意。王蓝田、刘安西并贵重，初自不让，今岂可嘉此不让耶？孙兴公、孔觊并让记室，今岂可三署皆让耶？谢吏部今授超阶，让别有意，岂关官之大小？”

《梁书》曰：顾宪之字士思，为吏部郎。初，其祖凯之尝为吏部，于庭列植嘉树，谓人曰：“吾为宪之种耳！”至是，宪之果为此官。

又曰：王亮字奉叔，为吏部郎，铨序著称。及后为吏部尚书，拘资次而已，当代谓为不能。

《后魏书》曰：宋繇，沮渠蒙逊平酒泉，于繇室得书数千卷，盐米十斛而已。蒙逊叹曰：“孤不喜克李歆，欣得宋繇耳。”拜尚书吏部郎中，委以铨衡之任。

又曰：邓渊博览经书，长于《易筮》。太祖定中原，擢为吏部郎。渊明解制度，多识故事，与崔玄伯参定朝仪、律令、音乐，及军国文记、诏策多渊所为。

又曰：孝文帝欲创革旧制，选置百官，谓群臣曰："为朕举一吏部郎，给卿三日假。"寻曰："朕已得之矣。"乃征崔亮为之。亮字敬儒。自参选事，垂将二十年，廉慎明决。尚书曰："非崔郎中，选事不办。"

又曰：韦珩为吏部郎，性贪婪，鬻卖官吏，皆有定价。

《王蕴别传》曰：蕴字叔仁，为吏部郎。欲使时无屈滞，曾下鼓急出，日暝乃至。家去台数里，高褰车帷先后与语，不得进也。一官缺，求者十辈，蕴连状呈宰录曰："某人有地，某人有才。"不得者，甘心无怨。

《晋怀帝永嘉官名》曰：吏部郎太原温畿字元甫，世论以其为人夷旷似玉。

《郭子》曰：刘道真少时，渔钓草泽，善歌啸，闻之者莫不留连。有一老妪识其非人，甚乐其歌啸，乃杀豚进之，道真食豚尽，了不谢。妪见其不饱，又进一豚，又食半，余半还之。后道真为吏部郎，妪儿为小令史，道真乃超用之。儿不知所由，问母而后知之。于是赍牛酒以谢道真，道真笑曰："去！去！无可复相报者。"

《世说》曰：山涛举阮咸为吏部郎，白曰：清直寡欲，万物不能移也。

《山涛启事》曰：人才既自难知，中人已下情伪又难，吏部郎以碎事日夜相接，非但当正己而已，乃当能正人。议郎杜默，德履亦佳，太子庶子崔谅、中郎陈淮皆有意，正又其次，不审有可用者不？

《袁宏与谢仆射书》曰："闻见拟为吏部郎，不知审尔？果当至此，诚相遇之过。"

梁·陆倕《拜吏部郎表》曰：铨衡庶品，历选宾实。阮咸真素，屡荐未登；陆亮忠心，裁居败职。自非季重清识，李毅恬正，何以区分

管库，式鉴胥吏。

吏部员外郎

《六典》曰：吏部员外郎二人，一人掌判南曹，每岁选人有解状、簿书、资历、考课，必由之以覆其实，乃上三铨；其三铨进甲则署焉。一人掌判曹务，凡预太庙斋郎帖试，如贡举焉。

《唐书》曰：崔郾为吏部员外，奸吏不敢欺，孤寒无援者未尝留滞。铨叙之美，为时所称。

《五代史·后唐书》曰：萧顷迁吏部员外郎。先是，张濬由中书出为右仆射，曲为朱温判官高劭使祖荫求一子出身，官省寺，皆称无例。濬指挥甚急，吏徒惶惧，顷乃判状云："仆射未集，郎官未赴省，上指挥吏曹公事，且非南宫旧仪。"濬闻之，惭悚致谢，顷由是名振。

司封郎中　司封员外郎

《六典》曰：司封郎中员外郎，掌邦之封爵。凡有九等：一曰王，正一品，食邑一万户。二曰郡王，从一品，食邑五千户。三曰国公，从一品，食邑三千户。四曰郡公，正二品，食邑二千户。五曰县公，从二品，食邑一千五百户。六曰县侯，从三品，食邑一千户。七曰县伯，正四品，食邑七百户。八曰县子，正五品，食邑五百户。九曰县男，从五品，食邑三百户。

《职员令》曰：司封郎中掌封玺，皇宗诸亲、内外命妇及国官、邑官，告身并选流外亲品等第等。

司勋郎中　司勋员外郎

《六典》曰：司勋郎中员外郎掌邦国官人之勋级。凡勋十有二[等；十二]转为上柱国，比正二品；十一转柱国，比从二品；十转为上护军，比正三品；九转为护军，比从三品；八转为上轻车都尉，比

正四品；七转为轻车都尉，比从四品；六转为上骑都尉，比正五品；五转为骑都尉，比从五品；四转为骁骑尉，比正六品；三转为飞骑尉，比从六品；二转为云骑尉，比正七品；一转为武骑尉，比从七品。

考功郎中

《六典》曰：考功郎中，员外郎，掌内外文武官吏之考课。凡应考之官，皆具录当年功过、行能，本司及本州长[官]对众读，议其优劣，定为九等考第，各于[其]所由司准额校定，然后送省。

《唐书》曰：代宗幸陕，考功郎中裴谂步怀考功及南曹二印，赴行在，上见而谓之曰："疾风知劲草，果信矣。"

考功员外郎

《唐书》曰：席豫，襄阳人，周湖州刺史固七世孙，近徙家河南。豫进士及第，开元中累官至考功员外郎，典举得士，为时所称。

《唐书》曰：孙逖为考功员外郎。逖选贡士二年，多得俊才。初年则杜鸿渐至宰辅，颜真卿为尚书；后年拔李华、萧颖士、赵骅登上第。逖为人曰："此三人便堪掌纶诰。"

又曰：刘思立，宋州宁陵人也。迁考功员外郎，始奏请明经加帖，进士试杂文，自思立始也。

又曰：郑澣为考功员外郎，刺吏有驱迫人吏上言政绩请刊石纪政者，澣探得其情，条责廉使，巧迹遂露，人服其敏识。

又曰：李渤，穆宗即位召为考功员外郎。十一月定京官考，不避权幸，皆行升黜，奏曰："宰臣萧俯、段文昌、崔植，是陛下君临之初用为辅弼，安危理乱，决在此时。况陛下思天下和平，敬大臣礼切，固未有昵比左右、侈满自贤之心。而宰相之权、宰相之事，陛下一以付之，实君义臣行，千载一遇之时也。此时若失，他更无时。而俯等上不能推至公、申炯诫、陈先王道德以沃君心；又不能正色匪躬，振举旧法，复百司之本。如此则教化不立矣。臣闻政之兴

废，在于赏罚。俯等作相已来，未闻奖一人德义，举守官奉公者，使天下在官之徒有所激劝；又不闻黜一人职事不理、持禄养交者，使尸禄之徒有所惧。如此则刑法不立矣。（雅）[邪]正莫辩，混然无章，教化不行，赏罚不设，天下之事，复何望哉！一昨陛下游幸骊山，宰相、翰林学士是陛下股肱心腹，宜皆知之。萧俯等不能先事未形，忘躯恳谏，而使陛下有忽谏之名流于史册，是陷君于过也。孔子曰：'所谓大臣者，以道事君，不可则止。'若俯等言行计从，不当如是！若言不行、计不从，须奉身速退，不宜尸素于化源。进退戾也，何所避辞。其萧俯、段文昌、崔植三人，并翰林学士杜元颖等，并请考中下。御史大夫李绛、左散骑常侍张惟素、右散骑常侍李益等谏幸骊山，郑覃等谏畋游，是皆恐陛下行幸不息，恣情无度；又恐马有衔蹶不测之变、风寒生疾之忧，急奏无所诣，国玺委于妇人中幸之手。绛等能率御史谏官论列于朝，有恳激事君之礼。其李绛、张惟素、李益三人，伏请赐上下考外，特与迁官，以彰陛下优忠赏谏之美。其崔元略冠供奉之首，合考上下；缘与于犀，上下考，于犀以犯赃处死，准令须降，请赐考中中。大理卿许季同，任使于犀、韦道冲、韦正牧，皆以犯赃，或左降，或处死，合考中下；然顷者，陷刘辟之乱，弃家归朝，忠节明著，今宜以功补过，请赐考中中。少府监裴通，职事修举，合考中上；以其请追封所生母，而舍嫡母，是明罔于君，幽欺其先，请考中下。伏以昔在宰夫入寝，擅饭师旷、李调。今愚臣守官，请书宰相学士中下考。上爱圣运，下振颓纲，故臣惧不言之为罪，不惧言之为罪也。其三品官考，伏缘限在今月内进，辄先具如前。其四品已下官，续具条流闻奏。"状入，留中不下。议者以宰辅旷官，自宜上疏论列，而渤越职钓名，非尽事君之道。

《唐新语》曰：李回秀任考功员外，知贡举。有进士姓崔者，文笔非佳。回秀览之良久，谓曰："清河崔郎，仪貌不恶，须眉如戟，精彩甚高，出身何处量？岂必须进士。"再三喻而遣之。闻者大嘘。

太平御览卷第二百一十七

职官部十五

兵部尚书　兵部侍郎　兵部郎中　兵部员外郎
职方郎中　职方员外郎　驾部郎中　驾部员外郎
库部郎中　库部员外郎　户部尚书　户部侍郎
户部郎中　户部员外郎　度支尚书　度支郎中
度支员外郎　金部郎中　金部员外郎　仓部郎中
仓部员外郎

兵部尚书

《六典》曰：兵部尚书、侍郎之职，掌天下武官选授及地图、舆马、甲仗之政令。其属有四：一曰兵部，二曰职方，三曰驾部，四曰库部，总其职务而行其制命。凡中外百司之事，由于所属，咸质正焉。

《五代史·晋史》曰：王权转兵部尚书，高祖德契丹屈节以事之，驰驲乘轺，道路交织。一日，敕权为使，权以前世累为将相，未尝有称臣于戎虏者。谓人曰："我虽不才，年今耄矣，岂能稽颡于穹庐之长乎？违诏得罪，亦所甘心。"由是停任。

兵部侍郎

《唐书》曰：太宗以杨弘礼有文武材，擢拜兵部侍郎，专典兵机之务。弘礼每入参谋议，出则统众攻战。驻跸之阵领马步二十四军，出其不意以击之，所向摧破。太宗自山下见弘礼所统之众人皆尽力，杀获居多，甚壮之，谓许敬宗等曰："越公儿郎，故有家风矣。"

又曰：崔湜迁兵部侍郎，父挹为礼部侍郎，父子同为南省副贰，有唐以来未有其事。

兵部郎中　兵部员外郎

《六典》曰：兵部郎中二人，一人掌判帐及天下武官之阶品、卫府之名数；一人掌判簿，以总军戎差遣之名数。员外郎二人。

职方郎中　职方员外郎

《六典》曰：职方郎中、员外郎、掌天下之地图及城隍、镇戍、烽候之数，辨其邦国、都鄙之远近及四夷之归化者。外夷有每有蕃客至，委鸿胪讯其人本国山川风土，修图以进。

《周礼》曰：《夏官》职方氏，中大夫之职，掌天下地图，主四方之职贡。

驾部郎中　驾部员外郎

《六典》曰：驾部郎中、员外郎，掌邦国舆辇、车乘、传驿、厩牧官私马牛杂畜[之]簿籍，辨其出入，司其名数。

《北史》曰：冯子琮为尚书驾部郎中，摄库部。孝昭曾阅簿领试，令口陈，子琮暗对，无有遗失。

《隋书》曰：辛公义为驾部郎，勾检马牧，所获十余万匹。帝喜曰："惟我公义，奉国竭心。"

库部郎中　库部员外郎

《六典》曰：库部郎中、员外郎，掌邦国军州戎器、仪仗，凡元正、冬至陈设，并祠祭、丧葬所供之物，皆辨其出入之数，量其缮造之功，以分给焉。

《宋书》：文帝宴会，有荒外归化人，帝问尚书库部顾(琮)[琛]曰："库中仗有几许？"琛跪对曰："有十万人仗，旧武库仗多，秘不言。"帝既问失言，及琛跪对，甚善之。

又曰：江智泉除尚书库部郎。时高流官序不为台郎，智泉问孤

援寡独有此选，意甚不悦，固辞不拜。

《唐书》曰：孔若思迁库部郎中。若思常谓人仕至郎中足矣，至是持一石止水满于座右，以示有止足之意。

户部尚书

《六典》曰：户部尚书、侍郎之职，掌天下田户、均输钱谷之政令。其属有四：一曰户部，二曰度支，三曰金部，四曰仓部，总其职务而行其制命。凡中外百司之事，由于所属，皆质正焉。

《汉书》曰：成帝置尚书五人，其三曰民曹，主人吏上尚书事。

《吴志》曰：孙休初即位，户部尚书阶下读奏。

《梁书》曰：到溉为左民尚书。溉身长八尺，美风仪，善容止，所莅以清白自修。性又率俭，不好声色，虚室单床，傍无姬侍；自外车服，不事鲜华，冠履十年一易，朝服或至穿补。传呼清路，示有朝章而已。

又曰：何胤，字子季，为左(人)[民]尚书，后辞官，隐于若邪山云门寺。敕给白衣尚书禄，胤固辞。

又曰：到洽为御史中丞，兄溉为左(人)[民]尚书。旧[制]中丞不得入尚书下舍，洽引服亲不应有碍，刺省详决乃许入溉省，亦以其兄弟素笃，不能相别也。

又曰：周弘正为左民尚书，夏月著犊鼻裤，衣朱衣，为有司所弹。其放达如此。

户部侍郎

《唐书》曰：李林甫引萧炅为户部侍郎，尝与何挺之同行庆吊。客次有《礼记》一卷，炅读之曰："蒸尝伏腊。"炅早从宦，无学术，不识"伏腊"之意，误读之。挺之戏问，炅对如初，挺之白张九龄曰："省中岂得有伏猎侍郎！"由是出为歧州刺史。

又曰：李绛为户部侍郎，尝因次对，宪宗曰："户部比有进献，至

卿独无何也?"绛曰:"将户部钱献入内藏,是用官物以结私恩。"上耸然,益嘉其直。

又曰:长庆中孟简代崔群为户部侍郎。是官有二员,其判使案者别居一署,谓之左户。元和以还号为清重之最,宰辅登用多由此而去。

又曰:张平叔长庆中为户部侍郎。平叔狡险大言,因王播以进。既掌财用,常屈公利,以便嬖幸多狎之。既有宠于上,进退便僻杂以优谐,或自称老奴,无复大臣之体。尝奏事毕,降阶复升。又有论奏佻荡轻脱,上每为笑容之,在班列间,玩狎郎吏,哗肆无忌。请变榷盐法,请宰相为之使,因以自求枢机之任。每有内制出,辄疑授己,整衣冠以俟,后人多笑之。

又曰:庾敬休字顺之,为户部侍郎,奏两川米价腾踊,百姓流亡,请粜两川阙官职田禄米以救贫人。从之。

户部郎中

《六典》曰:户部郎中、员外郎,掌分理户口、井田之事,凡天下十道,任土所出而为贡赋之差。

《隋书》曰:高构征拜比部[侍]郎,寻转民部。时内史侍郎晋平东与兄子长茂争嫡,尚书省不能断,朝臣三议不决。构断而合理,上以为能,召入内殿,劳之曰:"我闻尚书郎上应列宿,观卿才识,方知古人之言信矣。嫡庶者,礼敬之所重,我读卿判数过,词理惬当,意所不能及也。"赐米百石。由是知名。

《唐书》曰:韦维少习儒业,博涉文史,举进士,自大理丞累至户部郎中,善于剖判。时员外郎宋之问工于诗,时人以为户部有二妙。

户部员外郎

《唐新语》曰:吕太一迁户部员外。户部与吏部邻司,吏部移牒

户部，令墙宇悉竖棘以防令史交通。太一报牒曰："眷彼吏部铨综之司，当须简要清通，何必竖篱插棘？"省中赏其俊拔。

度支尚书

《晋书》曰：初，魏文帝置度支尚书，专掌军国支计，朝议以征讨未息，动须节量。及明帝嗣位，欲用安平王孚，问左右曰："有兄风不？"答曰："似兄。"帝曰："吾得司马懿二人，复何忧哉！"转为度支尚书。

又曰：当阳侯杜元凯为度支尚书，内以利人，外以救边，备物致用，以济当时之益者五十余条。

朱凤《晋书》曰：文帝立度支尚书，军粮计校一由之，以司马孚为之。

《晋起居注》曰：咸宁五年诏曰："一年不收，使公私俱匮；不惟天时，乃人事有不尽也。故总要者，正在度支尚书也。其以散骑常侍中书令张华为度支尚书。"

《后魏书》曰：阳平王子匡除度支尚书。匡与尚书令高肇不平，常无降下之色。时世宗委政于肇，朝廷倾惮，惟匡与肇抗衡。先自造棺置于厅事，意欲舆棺诣阙论肇罪恶。

《隋书》曰：长孙平，开皇三年征拜度支尚书。平见天下州县多罹水旱，百姓不给，奏令民间每秋家出粟麦一石已下，贫富为差等，储之闾里以备凶年，名曰义仓。

度支郎中

《唐书》曰：崔仁师为度支郎中，尝奏度支财物数千言，手不执本，太宗怪之。令黄门侍郎杜正伦赍本，仁师对唱，一无差殊。太宗大奇之。

《六典》曰：度支郎中、员外，掌判天下租赋少多之数、物产丰约之宜、水陆道路之利，每岁计其所出而支其所用。凡物之精与地之

近者以供国，物之固与地之远者以供军，皆料其远近、时月、众寡、好恶而节制之。

度支员外郎

《唐书》曰：张濬为度支员外郎，黄巢将逼关辅。濬托疾，请告侍其母，挈族避乱商州。贼犯京师，僖宗出幸，途无供须，卫军不得食。汉阴令李康献糗饵数百骡纲，军士始得食。僖宗召康问之曰："卿为县令，安操心及此？"康对曰："臣为尘吏，安敢有此进献。张濬员外教臣也。"帝异之。

金部郎中　金部员外郎

《隋书》曰：卢昌衡字子均，为仆射祖孝征所荐，迁尚书金部郎。孝征每曰："吾用卢子均为尚书郎，自谓无愧幽明矣。"

《六典》曰：金部郎中、员外郎，掌判天下库藏钱帛出纳之事，颁其节制，而司其簿录。

仓部郎中

《六典》曰：仓部郎中、员外郎，掌判天下仓储，受纳租税，出给禄廪之事。凡中外文武官品秩有差，岁再给之。

《唐书》曰：毕诚历驾部员外郎、仓部郎中。故事，势门子弟鄙仓、驾二曹，居之者不悦，惟诚受命，恬然恭逊，口无异言，执政多之。

仓部员外郎

《唐书》曰：长庆中孟简迁仓部员外郎，属顺宗登极，王叔文窃政，骤为户部侍郎。简为其属，中立正色，挺然不附。叔文心忌而不敢退黜，言于宰相韦执谊，换刑部员外郎。

太平御览卷第二百十八

职官部十六

刑部尚书　刑部侍郎　刑部郎中　刑部员外郎
都官尚书　比部郎中　比部员外郎　司门郎中
司门员外郎　礼部尚书　礼部侍郎　礼部郎中
礼部员外郎　祠部郎中　祠部员外郎　主客郎中
主客员外郎　膳部郎中　膳部员外郎　工部尚书
工部侍郎　工部郎中　工部员外郎　屯田郎中
屯田员外郎　虞部郎中　虞部员外郎　水部郎中
水部员外郎

刑部尚书

《六典》曰：刑部尚书、侍郎之职，掌天下刑法及徒隶勾覆、关禁之政令。其属有四：一曰刑部，二曰都官，三曰比部，四曰司门，总其职务而行其制命。凡中外百司之事，由于所属，咸质正焉。

《唐书》曰：柳公绰为刑部尚书。京兆人有姑鞭妇致死者，府断以偿死，公绰议曰："尊殴卑非斗，且其子在，以妻而戮其母，非教也。"竟减死。

又曰：李适之拜刑部尚书。适之雅好宾友，饮酒一斗不乱，夜则宴赏，昼决公务，庭无留事。

刑部侍郎

《唐书》曰：太宗谓侍臣曰："张亮有义儿五百，畜养此辈，将何为也？正欲反耳。"命百僚议其狱，多言亮当诛，惟将作少匠李道裕言亮反形未具，明其无罪。太宗既盛怒，竟斩于市，籍没其家。岁

余，刑部侍郎有缺，令执政者妙择其人，累奏皆不可。太宗曰："朕得其人也。往者李道裕议张亮云反形未具，此言当矣。当时虽不即从，至今追悔。"遂授道裕刑部侍郎。

又曰：刘瑑转刑部侍郎。瑑精于法律，选大中已前二百四十四年制敕可行用者二千八百六十五条，分为六百四十六门，议其轻重，别成一家法书，号"大中统类"，奏行用之。

刑部郎中　刑部员外郎

《六典》曰：刑部郎中、员外郎各二员，掌举其典宪而辨其轻重。凡文法之名有四：一曰律，二曰令，三曰格，四曰式。凡律一十有二章，一曰名例，二曰卫禁，三曰职制，四曰户婚，五曰厩库，六曰擅兴，七曰盗贼，八曰斗讼，九曰诈伪，十曰杂律，十一曰捕亡，十二曰断狱，而大凡五百条焉。

《唐书》曰：长庆中刑部员外郎孙革奏准："京兆府云阳县力人张莅，欠羽林官骑康宪钱米。宪征之，莅乘醉拉宪，气息将绝。宪男买德，年十四，将救其父。以莅角觝力人，不敢拗解，遂持木锸击莅之首见血，后三日致死者。准律文："为人所殴，人往救，击其人折伤，减凡斗三等，致死，依常律。"即买德救父难，是性孝，非暴；击张莅是[心](功)[切]非凶。以髫丱之岁，正父子之亲，若非圣化所加，童子安能及此？《王制》称：五刑之理，必原父子之亲以权之，测浅深之量以别之。《春秋》之义，原心定罪。周书[所]训，诸罚有权。今买德生被皇风，幼符至孝，哀矜之宥，伏在圣慈。职当谳刑，合分善恶。先具事由陈奏，伏冀赐下中书门下商量。"敕旨："康买德尚在童年，得知子道，虽杀人当死，而为父可哀。若从沉命之科，是失原情之义，宜付法司，减死罪一等处分。"

都官尚书

《南史》曰：徐孝克为都官尚书。自晋已来，尚书官僚皆携家属

居省，省在台城内下舍，门中有阁道，东西跨路通于朝堂。其第一即都官省，西抵阁道，年代久远，多有鬼怪。每夜昏之际，无故有声光，或见人着衣冠从井中出，须臾复没，或门阁自然开闭，居者多死云。尚书周确卒于此省，孝克代确，便即居之，经两载，妖变皆息。时人咸以为贞正所致。

《梁书》曰：羊侃迁都官尚书，时尚书令何敬容用事，与之并居，未尝游造。有宦者张僧胤候，侃曰："我床非阉人所坐。"竟不前之，时论美其贞正。

《后周书》曰：梁元帝以沈重领江陵，迁都官尚书，领羽林监察；又令重于合欢殿讲《周礼》。

比部郎中　比部员外郎

《六典》曰：比部郎中、员外郎，掌勾诸司百僚俸料、公廨、赃赎、调敛、徒役、课程、逋悬数物，以周知内外之经费而总勾之。凡内官料俸以品第高下为差，外官以州、县、府之上、中、下为差。

《魏志》曰：何贞奏《许都赋》，明帝奇之，擢为比部郎中。

李绰《尚书故实》曰：杜牧尝于宰执求小仪，不遂；请小秋，又不遂。尝梦人谓曰："辞春不及秋，昆脚与皆头。"后果得比部员外。

司门郎中　司门员外郎

《六典》曰：司门郎中、员外[郎]，掌天下诸门及关出入往来之籍赋，而审其政。凡关二十有六，而为上中下之差。所以限中外，隔华夷，设险作固，闲邪正禁者。

《周礼·司徒职·司门》：下大夫[二人]掌授管键，以启闭国门。几出入不物者，正其贿货。凡财物犯禁者举之，以财养死政之老与其孤。

礼部尚书

《六典》曰：礼部尚书、待郎之职，掌天下礼仪、祭飨、贡举之政令。其属有四：一曰礼部，二曰祠部，三曰膳部，四曰主客，总其职务而行其制命。凡中外百司之事，由于所属，皆质正焉。

《尚书·尧典》：帝曰："咨！四岳，有能典朕三礼？"佥曰："伯夷！"帝曰："俞，伯夷，汝作秩宗。"

《家语》曰：父子不亲，长幼失序，君臣上下乖离异志曰不和，不和则饬宗伯。"饬谓整摄。

《后魏书》曰：孝文车驾征马圈，留宋弁以本官兼祠部尚书，摄七兵事。及行，执其手曰："国之大事在祀与戎，故令卿绾摄二曹。"弁顿首辞谢。东晋始置祠部尚书，宋、齐、梁、陈、后魏、北齐皆同。东晋至隋乃更为礼部尚书。

礼部侍郎

《唐书》曰：韦陟为礼部侍郎。陟好引接后辈，尤鉴于文，虽词人后生靡不谙练。曩者主司取与，皆以一场之善，登其科目，不尽其才。陟先责旧，乃令举人自通所工诗笔，先试一日，知其所长，然后依常式考(覆)[核]，片善无遗，美声盈路。

又曰：贾至转礼部侍郎，是岁至以时艰岁歉、举人赴省者，奏请两都分试，从之。两都试举人，自此始也。

又曰：高郢拜礼部侍郎时，应进士举者多务朋游，驰声名。每岁冬，州府荐送后惟追奉宴集，罕肄其业。郢性刚正，尤嫉其风。既领职，拒绝请托，虽同列通熟无敢言者。志在经艺，专考程试。凡掌贡部三岁，进幽独，抑浮华，朋滥之风翕然一变。

又曰：贬刘太真为信州刺史。太真为礼部侍郎，性偃懦诡随。其掌贡举，宰臣、姻族、方镇子弟先收擢之。又尝叙陈少游勋勣拟之桓文，大招物议，因斯贬。

礼部郎中

《六典》曰：礼部郎中、员外郎掌二尚书、侍郎，举其仪制而辨其名数。

《梁书》曰：武帝谓徐勉云："今帝业初构，须一人有学艺解朝仪者为尚书仪曹郎。"勉曰："孔休源识见清通，详练故事，自晋宋《起居注》略诵上口。"遂拜为仪曹郎。

礼部员外郎

《唐书》曰：韦叔夏授春官员外郎，则天将拜洛及享明堂，皆别受制，共当时大儒祝钦明、郭山恽撰定仪注。凡所立议，众咸推服之。

祠部郎中　祠部员外郎

《六典》曰：祠部郎中、员外郎，掌祠祀享祭、天文漏刻、国忌庙讳、卜筮医药、僧尼之事。凡祭祀之名有四：一曰祀天神，二曰祭地祇，三曰：享人鬼，四曰释奠于先圣先师。其差有三：若昊天上帝、五方帝、皇地祇、神州、宗庙为大祀，日、月、星、辰、社稷、先代帝王、岳镇、海渎、帝社、先蚕、孔宣父、齐太公、诸太子庙为中祀，司中、司命、风师、雨师、众星、山林、川泽、五龙祠等及州县社稷、释奠为小祀。

《梁书》曰：贺德基少游学都下，积年不归，衣资罄乏，又车服故弊，盛冬止衣夹襦裤。尝于白马寺前逢一妇人，容服甚盛，呼德基入寺门，脱白纶巾以赠之，(仍)[乃]谓曰："君方为重器，不久贫寒，故以此相遗耳。"问姓名，不答而去。德基于《礼记》称为精明，位尚书祠部郎，虽不至大官，而三世儒学俱为祠部郎，时论美其不坠。

主客郎中　主客员外郎

《六典》曰：主客郎中、员外郎，掌二王后及诸蕃朝聘之事。

《后汉书》：何远少有美望，公府中十辟，一无所就。由是名重华夏，起家为尚书主客郎。

膳部郎中　膳部员外郎

《六典》曰：膳部郎中、员外掌邦之牲豆、酒膳，辨其品数。凡郊祀天地、日月、星辰、岳渎，享祀宗庙、百神。在京都者，用牛羊豕，涤养之数，省阅之仪，皆载于廪牺之职焉。

《五代史·后唐书》曰：膳部郎中郑牧先奏："诸司诸使职掌人吏，乘暖坐带银鱼席帽，轻衣肥马参杂，庭臣尊卑无别，污染时风，请下禁止。"上嘉其事，促行之；中书覆为"不可"；赵凤亟言于执政曰："此礼诫人，不可不切。"为权吏所庇，竟寝其事。

工部尚书　工部侍郎

《六典》曰：工部尚书、侍郎之职，掌天下百工、屯田、山泽之政令。其属有四：一曰工部，二曰屯田，三曰虞部，四曰水部；总其职务而行其制命。凡中外百司之事，由于所属，咸质正焉。

《隋书》曰：长孙平为工部尚书，名为称职。时有人告大都督邴绍非毁朝廷为愤愤者，上怒，将斩之。平进谏曰："川泽纳污，所以成其深；山岳藏疾，所以就其大。臣不胜至愿，愿陛下弘山海之量，茂宽裕之德。鄙谚曰：不痴不聋，未堪作大家翁。此言虽小，可以喻大。邴绍之言不应闻奏，陛下又复诛之，臣恐百代之后，有亏圣德。"上于是赦绍。

《唐书》曰：阎立本代兄立德为工部尚书，兄弟相代为八座，时论荣之。

《五代史·晋书》曰：裴皥知贡举，擢桑维翰进士第。后维翰居

相位，征拜皞工部尚书，舍于相国寺，维翰谒之，不迎不送。或问之，答曰："皞见维翰于中书则庶僚也，维翰见皞于馆则门生也，何送迎之有？"人重其耿介。

《五代史·周书》曰：卢文纪，嗣业之子，为工部尚书。时新除工部郎中于鄩公参文纪，文纪以父名同音，不见。或谓鄩曰："南宫故事：郎中入省，如本行尚书、侍郎，不容参，何以省上？"鄩忧畏太过，一夕醉归，遂经于室。其甥郑镣以事闻，谪文纪为石州司马。

工部郎中　工部员外郎

《六典》曰：工部郎中、员外[郎]掌经营兴造之众务。凡城池之修浚，土木之缮葺，工匠之程式，咸经度之。凡兴建修筑，材木、工匠则下少府、将作，以奉其事。

屯田郎中　屯田员外郎

《六典》曰：屯田郎中、员外郎，掌天下屯田之政令。凡军州边防镇守、转运不给，则设屯田以益军储。其水陆腴瘠，播植地宜，功庸烦省，收率等咸取决焉。诸屯田役力，各有程数。

《三国典略》曰：裴让之十七举秀才，为屯田郎中，与祖班俱聘宋邢劭。省中语曰："多奇多能祖孝征，能赋能诗裴让之。"让之弟谳之、谋之、讷之、谒之并清立，杨愔曰："河东士族，京官不少；裴让兄弟，都无乡音，裴文季为不亡也。"

《隋书》曰：柳彧为屯田郎。时三品以上门皆列戟。左仆射高颖子弘德封应国公，申牒请戟。彧判曰："仆射之子更不异居，父之戟槊已列外门。尊有厌卑之义，子有避父之礼，岂有外门既设，内阁又施！"事竟不行，颖闻而叹伏。

《唐书》曰：沈扶字云翔，太和初为屯田郎中。五年，充山南道宣抚使。至邓州奏："内乡县行市、黄涧两场仓督邓琬等，先主掌湖南江西运到糙米至浙川县，于荒野中囤贮。除支用外，六千九百四

十五石裹烂成灰尘。度支牒征元掌所由，自贞元二年邓琬父子兄弟至玄孙，相承系二十八年，前后禁死九人。今琬孙及玄孙见在枷禁者。"敕曰："如闻。盐铁度支两使，此类极多。其邓琬等四人，资产全已卖纳。禁系三代，瘐死狱中，实伤和气。邓琬等并疏放。天下州府监院，如有此类，不得禁经三年已上。速便疏理以闻，物议嘉扶，有宣抚之才。"

虞部郎中　虞部员外郎

《六典》曰：虞部郎中、员外郎，掌天下虞衡山泽之事，辨其时禁。凡采捕畋猎，必以其时。

水部郎中　水部员外郎

《六典》曰：水部郎中、员外掌天下川渎陂池之政令，以导达沟洫，堰坎河渠。凡舟楫溉灌之利，咸总而举。

《梁书》：刘孝绰兼尚书水部郎，奉启陈谢，手敕答曰："美锦未可便制，簿领亦宜稍习。"顷之即真。

太平御览卷第二百一十九

职官部十七

侍　中

《六典》曰：侍中之职，掌出纳帝命，缉熙皇极，总典吏职，赞相礼仪，以和万邦，以弼庶务。盖以佐天子而统大政者也。凡军国之务，与中书令参而总焉，坐而论之，举而行之，此其大较也。

应劭《汉书》曰：侍中，周官也。金蝉有貂，金取坚刚，百炼不耗；蝉居高食洁，口在掖下；貂内劲悍，而外温润。侍中便蕃左右，与帝升降，卒思近对，拾遗补缺，百僚之中莫密于兹。秦始皇破赵得其冠，以赐侍中。

《史记》曰：二世用赵高计，不悉廷见大臣，居禁中。赵高常侍中用事。

《汉书》曰：张彭祖，宣帝时为侍中。少与帝微时同砚席书，以旧恩封侯，出常参乘。

又曰：史丹元帝世为侍中，出常陪乘，甚有宠，九男皆以丹任为侍中。

又曰：桑弘羊，洛阳贾人子。以心计，年十五为侍中。

又曰：霍去病，以皇后姊子。年十八为侍中，善骑射。

又曰：孝惠时侍中皆冠鹖鸡，(具)[贝]带，傅脂粉(矣)。

又曰：张良子辟强，年十五为侍中。

又曰：上官桀，陇西人，为中厩令。上尝疾，及愈，见马多瘦，怒曰："汝以我不复见马邪?"桀顿首曰："臣闻圣体不安，日夜忧惶，意诚不在马。"言未卒，泣数行下。帝以为忠，亲近之，为侍中。

又曰：卫尉金敞疾甚，成帝拜子涉为侍中，绿车载送卫尉府。如淳曰：载以皇孙车，宠之也。

《东观汉记》曰：戴凭字次仲，为侍中。正旦朝贺，百僚毕会，帝令君臣能说经者更相难诘，义有不通辄夺其席以益通者。凭遂重坐五十余席，故京师为之语曰："解经不穷戴侍中。"

又曰：冯魴字孝孙，父子兄弟并带青紫，三代侍中。

《后汉书》曰：赵典再迁为侍中，时帝欲广开鸿池，典谏曰："鸿池汎溉已且百顷，犹复增而深之，非所以崇唐虞之约己、遵孝文之爱人也。"帝纳其言而止。

又曰：杨震孙奇灵帝时为侍中，帝常从容问奇曰："朕何如桓帝？"对曰："陛下之于桓帝，亦犹虞舜比德唐尧。"帝不悦曰："卿强项，真杨震子孙。"强项，言不低屈也。光武谓董宣为强项令也。

又曰：朱穆因进见，乃陈曰："闻汉家旧典，置侍中、常侍各一人，省尚书事；省，览。黄门侍郎一人，传发书奏，传，通。皆用姓族。引用士人有族望者。自和熹太后以女主称制，不接公卿，乃以阉人为常侍，小黄门通命两宫。自此以来，权倾人主，穷困天下。宜皆罢遣，博选耆儒宿德与参政事。"帝怒，不应。穆伏不肯起。左右传出，传声令出也。良久乃趋而去。

又曰：爰延为侍中，帝游上林苑，从容问延曰："朕何如主也？"对曰："陛下为汉中主。"帝曰："何以言之？"对曰："尚书令陈蕃任事则化，中常侍黄门豫政则乱，是以知陛下可与为善，可与为非。此中主之谓也。"帝曰："昔朱云廷折[栏]槛，今侍中面称朕违，敬闻命矣。"

又曰：桓帝末，侍中皇禅参乘，上问："貂珰何法？"不知所出；又问地震，云："不为灾。"还宫，乃左迁议郎。

又曰：王逸字叔师，南郡宜城人也。顺帝时为侍中，著《楚辞章句》行于代，其赋、诔、书、论及杂文，凡二十一篇；又作汉诗百二十三篇。

《续汉书》曰：侍中比二千石，无员。

《汉官仪》曰：侍中左蝉右貂，本秦丞相史。往来殿内，故谓之侍中。分掌乘舆服物，下至褻器虎子之属。武帝时，孔安国为侍中，以其儒者，特听掌御唾壶，朝廷荣之。至东京时属少府，亦无员。驾出则一人负传国玺、操斩蛇剑参乘，与中官俱止禁中。

谢承《后汉书》曰：公孙晔拜博士侍中，国有疑事，常使进见。问其得失，所陈皆据经依义，补益国家，深见省纳。

又曰：刘淑为侍中，朝夕建议，竭忠于朝，补政二百余事，悉有篇章。朝廷有疑事，密诏问焉。

又曰：周举字宣光。时诏遣八使巡行风俗，皆选有威名者，乃拜举侍中，与杜乔、周翊、冯羡、栾巴、张纲、郭尊、太尉长史刘班分行天下，使同日而拜，号曰八俊。

应劭《汉官仪》曰：侍中迺存年耆口臭，上出鸡舌使含之。鸡舌香，颇小，辛螫，不敢咀咽。自嫌有过，得赐毒药，归舍辞决，欲就便宜。家人哀泣，不知其故。赖僚友诸贤问其愆失，求视其药及口香，共笑之。更为吞食，其意遂解。存鄙儒蔽于此耳。

《汉官》曰：侍中，殿下称制，出则参乘，佩玺抱剑。

又曰：史丹为侍中。元帝寝疾，丹以亲密近臣得视疾。候上间独寝时，丹直入卧内，顿首伏青蒲上。应劭曰，以青规地曰青蒲。

《汉官仪》曰：侍中，秩千石。黄门有画室署，玉堂署，各有长一人。

《汉旧仪》曰：侍中无员，或列侯将军、卫尉、光禄大夫为之，得举非法。

又曰：侍中，左右近臣，见皇后如见帝，见婕妤，行则对壁，坐则伏茵。

《汉书典职》曰：侍中常伯选旧儒高德、博学洞达、仰瞻俯视、切问近对、喻指公卿，员八人，在尚书仆射下，尚书上。

《汉杂事》曰：金敞为元帝侍中，帝崩，故事，近臣皆随陵为园。

敞世名忠孝，太后使侍成帝。

《魏志》曰：卢毓为侍中，先是，散骑常侍刘劭受诏定律，未就。毓上论曰："古今制律之意，以为法宜一正，不宜有两端，使奸吏得容情。"及侍中高堂隆数以宫室事切谏，帝不悦，毓[进]曰："[臣闻]君明臣直，古之圣王恐不闻其过，故有敢谏之鼓。近臣尽规，此乃臣等所以不及隆。隆诸生，名为狂直，陛下宜容之。"毓在职三年，多所驳易。

又曰：刘晔字子阳，为侍中。在朝，略不交接时人，或问其故，晔答曰："魏室即祚尚新，智者知命，俗或未咸。仆在汉为支叶，于魏备腹心，寡偶少徒，于宜未失也。"

又曰：王粲字仲宣，山阳高平人，拜侍中，博物强识，问无不对。时旧仪弛废，方兴造制度，粲恒典之。

又曰：苏则拜侍中，与董昭同僚，尝枕则膝卧，则推[下]之曰："苏则之膝，非佞人之枕也。"

又曰：辛毗迁侍中，于时，帝欲徙冀州户十万(贯)[实]于河南，毗曰："陛下不以臣不肖，置之左右，安得不与臣议？"帝不答，起入内；毗随而引其裾，帝遂奋衣不还。

又曰：苏则与吉茂同隐于太白山，后则为侍中。侍中旧亲省起居，故俗谓之执虎子。茂见则，嘲曰："仕进不止执虎子。"则笑曰："诚不能效汝蹇蹇鹿车驱也。"

《蜀志》曰：宗预字德艳，南阳人也。预将命使吴，孙权问预曰："东之(作)与西，譬犹一家，而闻西更增白帝之守，何也？"预对曰："臣以为东益巴丘之戍，西增白帝之守，皆事势宜然，俱不足以相问也。"权大笑，嘉其抗意，甚爱待之，见敬亚于邓芝、费祎，迁为侍中。

又曰：关兴字安国，少有令问，丞相诸葛亮深器异之。弱冠为侍中。

又曰：董扶字茂安。灵帝征扶，即拜侍中，在朝称为儒宗，甚见器用。

又曰：马良字季常，襄阳宜城人也。先主称尊号，以良为侍中。及东征吴，遣良入武陵招纳五溪蛮夷，蛮夷渠帅皆受印号，咸如意指。

《晋书》曰：王济字武子，累选侍中，与侍中孔恂、杨济同列，为一时秀彦。武帝常会公卿藩牧于式乾殿，顾济、恂而谓诸公曰："朕左右可谓恂恂济济矣。"

又曰：沈演之为侍中、卫将军，文帝谓之曰："侍中、领卫俱为优重，此盖宰相便座，卿其勉之！"

又曰：陆玩迁侍中。玩虽登公辅，谦不辟掾属。成帝闻而劝之。玩不得已而从命，所辟皆寒素有行之士。玩翼亮累世，常以弘重为人主所贵，加性通雅，不以名位格物，诱纳后进，谦若布衣，由是搢绅之徒莫不荫其德宇。

又曰：韦诞以能书留补侍中，魏氏宝器铭题皆诞书也。

又曰：安平王孚，初为魏太子中庶子。魏文帝初即位，选侍中常侍等官，太子左右旧人颇讽主者，便欲就用不调余人。孚曰："虽尧舜必有稷契，今嗣王新立，当进用海内英贤，犹患不得，如何欲因际会自相荐举邪？官失其任，得者亦不足贵。"遂更他选。

又曰：王戎为侍中，南郡太守刘肇赂戎，简中细布五十端，为司隶所纠，以知而未纳，故得不坐，然议者尤之。帝谓朝臣曰："戎之为行，岂怀私苟得，正当不欲为异耳！"帝虽以是言释之，然为清慎者所鄙。

又曰：褚翼字谋远，为侍中。苏峻作乱，王师败绩，火及宫室。翼手抱天子登太极殿，峻兵入，叱翼令下，翼不动，曰："苏冠军未觐至尊，军人岂得逼斥宫禁。"于是兵士不敢上太极。峻执政，犹以为侍中。

《宋书》曰：陆仲元者，晋太尉玩曾孙也，为侍中。自吴郡太守玩至仲元，四世为侍中，时人方之金、张二族。

又曰：刘湛为侍中。时王华、王昙首、殷景仁亦为侍中，文帝于

六合殿与四人宴饮甚悦。华等出，帝目送良久，叹曰："此四贤一时之秀，同管喉舌，恐后世难继。"

又曰：殷景仁迁侍中，与王华、王昙首、刘湛四人并时为侍中，俱居门下，皆以风力扃干，冠冕一时。同列之美，近代莫及。

又曰：王僧绰迁侍中，任以机密，时年二十九。始兴王濬尝问其年，僧绰自谦早达，逡巡良久乃答。其谦虚自退若此。

又曰：谢庄为侍中，领前将军。时孝武出行夜还，敕开门。庄居守，以笺信或虚，须墨诏乃开。上后因酒宴从容曰："卿欲效郅君章邪？"对曰："臣闻搜巡有度，郊祀有节，盘于游田，著之前诫。陛下今蒙犯尘露，晨往宵还，容致不郢之徒妄生矫诈，臣是以伏须神笔。"

又曰：孝武时，侍中何偃南郊陪乘，銮轺过白门闸，偃将匐，帝反手接之曰："朕反陪卿也。"

又曰：王华等每与帝接膝共语，貂拂帝手，拔貂置案上。语毕，复手插之。

《齐书》曰：江淹累迁侍中。初，淹年十三，时孤贫，常采薪以养母，曾于樵所得貂蝉一具，鬻以供养。其母曰："此故汝之休征也。汝才行若此，岂长贫贱耶！可留待得侍中着之。"至是，果如母言。

《南史》曰：谢朏音斐。为侍中，及齐受禅，朏当日在直，百僚陪位。侍中当解玺，朏佯不知曰："有何公事？"传诏云："解玺授齐王。"朏曰："齐自应有侍中。"乃引枕卧。传诏者惧，乃使称疾，欲取兼人，朏曰："我无疾，何所道？"遂朝服步出东掖门，乃得车，仍还宅。是日遂以王俭为侍中，解玺。既而武帝请诛朏，高帝曰："杀之则成其名，正应容之度外。"

《齐职仪》曰：魏，侍中掌傧赞。大驾出，则次直侍中护驾，正直侍中负玺陪乘，不带剑，皆骑从。御登殿，与散骑侍郎对挟帝，侍中居左，常侍居右。备切问近对，拾遗补缺也。

又曰：东汉侍中便蕃左右，与帝升降。法驾出，多识者一人参

乘，兼负传国玺，操斩蛇剑。

《南史》曰：朱异居权要三十余年，善承上旨，故特被宠。任历官自员外常侍至侍中，四官皆珥貂；自右卫率至领军，四职并驱卤簿，近代未之有也。

《梁书》曰：萧介，会侍中阙，选司举王筠等四人并不称旨。高祖曰："我门中久无此职，宜用萧介为之。"介博物强识，应对左右，多所匡正，高祖甚重之。

又曰：王训字怀范，为侍中。武帝问何敬容曰："褚彦回年几为宰相？"对曰："少过三十。"帝曰："今之王训，无[谢]彦回。"彦回，宋明帝时为侍郎。

又曰：柳庆远为侍中。尝失火，禁中惊惧。帝悉敛诸门钥，问"柳侍中何在"，即至，悉付之。

《后魏书》曰：罗结，世祖初迁侍中，外都大官，总三十六曹事。年一百七岁，精爽不衰。世祖以其忠悫，甚见信，待监典后宫，出入卧内。

又曰：甄琛拜侍中，以其衰老，诏赐御府杖，朝直杖以出入。

《五代史百官志》曰：北齐侍中，因后魏置六人，掌献纳谏正及进御之职，参与诸公论国政也。

《唐书》曰：魏征代王珪为侍中，尚书省滞讼有不决者，诏征评理之。征性非习法，但存大体，以情处断，无不悦服。

又曰：杨师道为侍中，性周慎谨密，未尝漏泄内事。亲友或问禁中之言，乃更对以他语。尝曰："吾少窥汉史，至孔光不言温室之树，每钦其余风，可庶几也。"

《唐书·官品志》曰：侍中高功者，在职一年，诏加侍中祭酒，与侍郎高功者一人对掌禁令。

《华阳国志》曰：谯隆为上林令，武帝欲广上林苑。隆言："尧舜至治，广德不务林苑。"帝后思其言，征为侍中。

《益部耆旧传》曰：蜀郡张宽，字叔文，汉武帝时为侍中。从祀

甘泉至渭桥，有女人浴于渭水，乳长七尺。上怪其异，遣问之，女曰："帝后第七车者知我所来。"时宽在第七车，对曰："天星主祭祀者。斋戒不严，则女人见。"

又曰：李固字子坚，谏帝云："臣一日会朝中，见诸侍中皆诸家年少，无一宿儒可顾问者。"乃进杨厚、黄琼。

《三辅故事》曰：金日磾字翁叔，封秺侯，有忠勤之节，七叶侍中。

《文士传》曰：张衡拜侍中，恒居帷幄，从容讽议，拾遗左右。

《竹林七贤传》曰：山涛，太始七年为侍中，诏书曰："涛清风淳履，思心通远，宜侍帷幄，尽规左右。"

《颜含别传》曰：颜毫字君道，仪状严整，风貌端美。大司马桓公叹曰："颜侍中廊庙之望，喉舌机要。"

魏明帝《先贤传》曰：卢植字子干，拜侍中。逆臣董卓议欲废帝，群僚之士惟卓是顺，独植正色。卓遂大怒，欲害植。议郎彭伯群与卓亲，入为卓议曰："夫善人者，天下之纪。卢侍中海内大儒，天下之望。今先害之，则天下怖。"卓遂止。

《孔丛子》曰：孔臧与子琳书：侍中安国特见崇礼，不供亵事，独得掌御唾壶。朝廷之士莫不荣之。此亲汝所见。

《环济要略》曰：侍中，古官也。或曰风后为黄帝侍中，周时号常伯。常者，言其道德可常遵也。秦始皇复故冠貂蝉，汉因而不改。侍帷幄，受顾问，拾遗于左右，出则负玺以从，秩二千石。

《语林》曰：晋孝武好与虞啸父饮酒，不醉不出。后临出拜，殆不复能起，帝因呼人扶上殿："扶虞侍中。"啸父答曰："臣位未及扶，醉未及乱，非分之赐，所不敢当。"帝美之，敕左右疏其语。

《续搜神记》曰：程咸字延休，其母始怀咸，梦老公授药与之，服此当生贵子。晋武帝时历位至侍中，有名于世。

挚虞《决疑要注》曰：晋武帝时彭权为侍中，帝问侍臣："旄头之义何谓邪？"权对曰："《秦纪》云：秦国有奇怪，触山截水，无不崩溃，

惟畏旄头，故使虎士执之，以卫至尊。”

《山公启事》曰：侍中、太常、河南尹并缺，皆显职，宜必得其人。右军裴楷通理有才义，金论以为侍中才。又启云：“诏，侍中缺，当复得人，谁可者？”雍州刺史郭奕、左卫将军王济皆忠亮有美才，侍中之最高者也。

《傅咸诗序》曰：朗陵公何敬祖，咸之从兄也。国子祭酒王武子，咸从姑之外孙。何公既登侍中，武子俄而亦作。二贤相得甚欣，咸亦庆之，乃赋诗以申怀曰：“吾兄既凤翔，王子亦龙飞。双鸾游兰渚，二难扬清辉。”

梁·王筠《为从兄让侍中表》曰：至如元勋旧儒之胄，积德累仁之基，九世七叶之华，相韩事汉之贵。不然则子骏之学洞古今，平子之思侔造化，仲宣之辩识无滞，次仲之解经不穷。然后可以喻旨公卿。问对(曰)帷扆，陪六尺之舆，通四方之意。求之微臣，此途顿隔。

梁丘迟《为范卫军让梁台侍中表》曰：是以怀铅早岁，不以陨获累心；蹑屐晚年，岂以充诎在念？易农伊泰，仕焉已幸，遂复分竹九疑，拥旄百越。值天地中开，神武再廓，麻丝是蓄，菅蒯靡遗。今霸运肇基。四海明目，枢机规献，实在得人，况在庸微，何用膺荷？

北齐·邢子才《为彭城王韶让侍中表》曰：貂鼲映首，日月在躬，冠盖庶寮，跨蹑多士。虽智惭量力明阙，自知在梁之讥，无待喧哗之议、素餐之责，岂须噂喈之口，何悟天情方眷，复延今宠？遂总录百揆，寅亮万机，文昌治本，得失所系。用才长短，隆替以之，何容以斯寡薄，用应兹忝！

太平御览卷第二百二十

职官部十八

中书令　中书监　中书侍郎

中书令

《六典》曰：中书令之职，掌国之政令，缉熙帝载，统和天人。入则告之，出则奉之，以厘万邦，以度百揆，盖以佐天子而执大政者也。

《汉书》曰：司马迁既被刑之后为中书令，尊宠任职。

又曰：石君防与弘恭皆少坐腐刑，为黄门以选为中尚书。宣帝时任中书官，以恭为令，君防为仆射。恭死，君防代为令，贵幸倾朝，百寮皆敬事。

应劭《汉官仪》曰：左右曹受尚书事，前世文士以中书在右，因谓中书为右曹，又称西掖。

《吴录》曰：纪骘字子上。景皇时，骘父亮为尚书令，骘为中书令，每朝会，诏以屏风隔其坐。

《吴志》曰：胡冲平和有文干，天纪中为中书令。

又曰：张尚，有俊才，孙皓时为侍郎，以言语辩捷见知，擢为侍中、中书令。

（又）[吴录]曰：蔡款字文德，历位内外，以清贞显于当世。[后以]卫尉领中书令。

《晋书》曰：王献之为中书令。少而标迈，不循常贯，文义并所不长而能撮其胜会，故为一时风流之冠。献之卒，以王珉代之，世谓之“大王令小王令”也。珉父洽，永和中尝为此官，至珉复居之，时人以为奕世令望。

又曰：王献之为中书令，启琅琊王为中书监表曰："中书职掌诏命，固非轻才所能独任。自晋建国，常命宰相参领；中兴以来，益重其任，故能王言弥徽，德音四塞。"

又曰：和峤为中书令，荀勖为监，峤意抗直，鄙荀巧佞，以意气加之，专车而坐。自此监、令乃使异车。

臧荣绪《晋书》曰：潘尼性淡，退惟以著述为事。永兴末为中书令。

《晋阳秋》曰：王洽除中书令，时年二十九。将辞之，从兄朗之遗书曰："弟今二十九，便居清显要任，敢不敬以先旨，为弟启义让之路焉。若弟年至四五十之间，虽复超登公辅，亦非吾所豫，况降此以还者耶？"洽遂不拜。

又曰：温峤上疏曰："臣才短学浅，文义不通；中书之职，酬对无方；斟酌重轻，岂惟文疏而已！自非望士良才，何可妄居斯任。"累辞得止。

《晋中兴书》曰：肃祖以温峤为散骑常侍侍讲，太宁初手诏曰："卿既以令望忠允之怀著于周旋，且文清而旨远，宜居深密。今欲以卿为中书令，朝论咸以为宜。"

又曰：王洽字敬和。显宗时，王洽为中书令，帝曰："敬和清裁，昔为中书郎，吾尚小，数呼见，意甚亲之。今以为中书令，欲共讲文章之事也。"

又曰：褚裒授卫将军、中书令，裒以中书铨管诏命，不宜以亲居之，固让。

《晋令》曰：中书为诏令、记会时事、典作文书也。

《晋制》曰：中书令：铜印，墨绶，进贤两梁冠，绛朝服，佩水苍玉，乘轺车。

《晋诸公赞》曰：陈准为中书令，张华为监，准与华俱处机密而推崇之。每直日有诏书，无小大辄先示华，了不措意；华得诏书不以示准。省中号准为中书五郎，其从容如此。

又曰：怀帝以缪播为中书令，朝事莫不谘之。人君之所取信于臣下，无以尚也。

《宋书》曰：傅亮，永初元年为中书令，直中书省专典诏命。以亮任总国权，听于省，见客神虎门外，每旦车常数百两。

《宋泰始起居注》曰：王言之职，总司清要。中将军丹阳尹王景文夙尚弘简，情度淹粹，忠规茂绩，实宣国道，宜兼管内枢，以重其任。可中书令。

《齐书》曰：王延之代张绪为中书令，何点叹曰："晋以子敬季琰为此职，今以王延之、张绪为之，可谓清官后接之者，实为未易。"

崔鸿《后赵录》曰：徐光字季武，顿丘人。幼有文才，年十三，王阳攻顿丘，掠之，而令主秣马，光但书柱作诗赋。左右以白石勒，勒令召光，付纸笔，光立为颂。赐衣服，迁为中书令。

《后魏书》曰：任城王澄为中书令，萧颐使庾华来朝，见澄音韵遒雅，风仪秀逸，谓主客郎张寻曰："往魏任城以武著称，今魏任城乃以文见美也。"

又曰：高允，高宗礼敬甚重，晨入暮出，或积日居中，朝臣莫知所论。或有上书言得失者，高宗省而谓群臣曰："君父一也，父有是非，子何为不能书谏之，使人知恶，而于家内隐处也？岂不以父亲，恐恶彰于外也。今国家善恶不能面陈而上表显谏，此岂不彰君之短、明己之美？至如高允者，真忠臣矣。朕有非，恒正言面论，至朕所不用闻者，皆言说无避就。朕闻其过，而天下不知其谏，岂不忠乎？汝等在左右，曾不闻一正言，但伺朕喜时求官乞职。汝等把弓刀侍朕左右，徒立劳耳，皆至公王；此人把笔匡我国家，不过作郎。汝等不自愧乎？"于是拜允中书令。

又曰：高允字伯恭，为中书令，高宗重之，不名，恒呼为令公。

又曰：高允拜中书令，司徒陆丽曰："高允虽蒙宠待，而家贫布衣，妻子不粒。"高宗怒曰："何不先言！今见朕用之，方言其贫。"是日幸允第，惟草屋数间，布被缊袍，厨中(蓝)[盐]菜而已。高宗叹

息曰："古人之清岂有此乎！"即赐帛五百匹、粟千斛。

《唐书》曰：武德年尝有敕，而中书门下不时宣行。高祖责其迟由，内史令萧瑀曰："臣［大业之日］见内史宣敕或前后相乖者，百司行之，不知何所承用，所谓易虽有前，难必在后。臣在中书日久，备见其事。今皇阶初构，事涉安危，若远方有疑，恐失机会。比每受一敕，臣必审勘使与前敕不相乖背者，始敢宣行。迟晚之愆，实由于此。"上善之。

又曰：褚遂良拜中书令，太宗寝疾，召遂良及长孙无忌入卧内，谓之曰："卿等忠烈，简在朕心。昔汉武寄霍光，刘备托葛亮，朕之后事一以委卿。太子仁孝，卿之所悉，必须尽诚辅佐，永保宗社。"又顾谓太子曰："无忌、遂良在，国家之事汝无忧矣。"

又曰：神龙元年改中书令曰紫微令。

又曰：开元二年，紫微令姚崇奏："紫微舍人六员，每议事，诸舍人同押连署状进讫。凡事有是非，理均与夺，人心既异，所见或殊，抑使雷同，情有不尽。臣今商量其事，执见不同者，望请别作商量状，连本状同奏。若状语交牙，恐烦圣思，臣既是官长，望于两状后略言二理优劣，奏听进止，则人各尽能，官无留事。"敕曰："可"。

又曰：张九龄为中书令，时天长节百寮上寿，多献珍异，惟九龄进《金镜录》五卷，言前古兴废之道。上赏异之。

《薛莹条列吴事》曰：胡冲意性调美，心趣解畅，有刀笔才，闲于时事。为中书令，虽不能匡矫，亦自守不苟求容媚。

《王珉别传》曰：珉字季琰。诏曰："新除侍中王珉，才学广赡，理识清通，宜处机近以参时务。其以珉为长兼中书令。"

郭颂《魏晋世语》曰：刘放、孙资共典枢要，夏侯献、曹肇心内不平。殿中有鸡栖树，二人相谓"此亦久矣，其能复几？"指谓中书监刘放、中书令孙资。

又曰：司马景王令中书令虞松作表，辄不可意；令松更定，思竭不能改。钟会为定五字，松深悦服。

宋·谢庄《让中书令表》曰：伏惟陛下登驭震维，临齐璿政，泽与风翔，恩从云动。臣闻：璧门天邃，凤沼神深，丝纶王言，出纳帝命，自非望允，当时誉宣，庠塾未有，谬垂曲宠，空席兹荣。在于平壮，犹不可勉；况今绵痼，百志俱沦。

中书监

《魏志》曰：黄初中改秘书为中书，以刘放为监、孙资为令，遂并掌机密，历文、明、齐王三世。

又曰：蒋济字子通，时中书监、令号为专任，济上疏曰："大臣太重者国危，左右太亲者身蔽，古之至戒也。往者大臣秉事，外内扇动。陛下卓然自览万机，莫不祗肃。夫大臣匪不忠也，然威权在下，则众心慢上，势之常也。陛下既已察之于大臣，愿无忘于左右。"

《晋书》曰：荀勖守中书监，毗赞朝政，及迁尚书令。勖久在中书，专管机事，失之甚愠。人有贺者，勖恚曰："夺我凤皇池，诸公何贺焉！"

又曰：太安元年有胡人入云龙门，殿前再拜云："我当作中书监。"付都虞候斩之。

《晋阳秋》曰：朱整，少有名行，官至中书监。魏禅晋，使整与中书令刘良共为诏。世祖践祚，权即用之。

《晋中兴书》曰：肃宗欲使庾亮为中书监，亮上疏曰："陛下践祚，复以臣领中书，则示天下有私矣。"

《晋诸公赞》曰：华廙为中书监时，事多不泄。启世祖乞授子荟答诏；先时荀勖为中书监，末年亦使息组书诏草；傅祗为中书监，病风，复使息畅书启事。皆前后相承，以子弟管之。

《后魏书》曰：孝文时蠕蠕如兖反。国有丧，帝遣高闾为书与之，不叙凶事。孝文谓曰："卿为中书监，职典文词，若情思不至，应谢所任。"

《环济要略》曰：中书掌内事，密诏下州郡及边将，不由尚书者也。后关百官事益重，有令、仆射、丞、郎、令史，秩与尚书同。

《陶氏职官要录》曰：中书监，旧视仆射，梁选簿书。自宋已来比尚书令，特进之流而无事任，清贵华重大位多领之。

王导《表》曰：臣乞得除中书监，持节，专壹所司，竭诚保傅，惟力是视。诏曰："昔者荀公曾从中书监为尚书令，人贺之，乃发恚云：夺我凤皇池，卿诸人何贺耶？愿足下处之勿疑。"

王敦《表》曰：中书令、领军庾亮，清雅履正，可中书监，领军如故。

中书侍郎

《六典》曰：中书侍郎掌贰令之职。凡邦国之庶务，朝廷之大政，皆参议焉。凡临轩册命大臣，令为之使，则持册书以授之。凡四夷来朝，临轩则授其表疏，升于西阶而奉之；若献贽币则受之，以授于所司。

《魏志》曰：明帝诏举中书郎，谓吏部尚书卢毓曰："得其人与不，在卢生耳。选举莫取有名，有名如画地作饼，不可啖也。"毓举韩暨敦笃至行，帝乃用之。

《吴志》曰：孙琳求中书两郎典知荆州诸事，主者奏中书不应外出，休特听之。其所请求，一皆给与也。

《晋书》曰：华廙字长俊，为人清简弘雅，加以名家子孙，以妇父卢毓典选，至年四十五为中书通事郎。

又曰：华表子简字奉骏，有智器文藻，官至中书郎。

又曰：卫瓘为中书郎，时权臣专政，瓘优游其间，无所亲疏，甚为傅嘏所重，谓之宁武子。

臧荣绪《晋书》曰：夏侯孝若为野王令，居邑累岁，朝野多叹其屈，除中书郎。

《晋起居注》曰：今之士大夫，多不乐出宰牧而好内官。今皆先

经外官，治民著绩，然后入为常伯中书郎。

曹嘉之《晋纪》曰：汝南史曜，字季茂，为山涛所知，为征南府小吏。乡人周浚见曜而友之，配之妹，官至中书郎。

《晋中兴书》曰：孔演字元舒，晋国初建，与庾亮俱补中书侍郎。于时中兴肇建，庶事草创，演经学博通，又练识旧典，朝议轨制多取正焉。由是元、明二帝并亲爱之。

又曰：顾荣，齐王冏召为主簿。冏自擅威权，荣知其必败，惟终日昏酒。冏以荣为中书郎。

又曰：范宁为临淮太守，征拜中书侍郎，专掌西省。以职在机近，固辞，不许。多以献替，有益治道。

又曰：范宁拜中书侍郎，时烈宗雅好文学，而宁明习五经，甚见亲爱。朝廷疑议，辄咨访之，宁指朝士，直言无讳。

又曰：王濛字仲祖，恬畅能言名理，善隶书，与刘恢为中书侍郎。太宗辅政，濛、恢并数侍接对号，为入室之宾。恢字真长，少清峻，时人以濛比袁曜卿，以恢比荀奉倩。

《宋书》曰：王征与从弟僧绰书曰："阖门皆蒙时私吾，高卧家巷，遂至中书侍郎。此足以阖棺矣。"

又曰：裴瓒风神高迈，为中书侍郎。出入禁门，见者皆肃然改容。

《北史》曰：赵彦深讽朝廷子坚为中书侍郎，颇招物议。时冯子琮子慈明、祖珽子君信并相继居中书，故时语云："冯祖及赵，秽我凤池。"

《隋书》曰：元善拜内史侍郎，上每望之曰："人伦仪表也。"凡有敷奏，毅气抑扬，观者瞩目。

《唐书》曰：郭正一永淳二年除中书侍郎。正一在中书累年，明习旧事，兼有词学，制、敕多出其手，当时号为称职。

又曰：崔沔拜中书侍郎，或谓沔曰："今之中书皆是宰相，承宣制命；侍郎虽是副贰，但署位而已，甚无事也。"沔曰："不然。设官

分职，上下相维，各申所见，方为济理，岂可俯默偷安而为怀禄士也。"自是，每有制、敕及曹事，沔多所异同。

《王濛别传》曰：濛为中书郎，在职四年无人对，对濛难与比肩故也。

《钟会母传》曰：嘉平元年，车驾朝高平陵，会为中书郎从行。宣王始举兵，众人恐惧，而夫人自若。

《嵇氏世家》曰：嵇含为中书侍郎，书檄云集，莫不立草。

《通典》曰：隋初为内史侍郎四员，炀帝减二员，改为内书侍郎。

陆士衡转中书侍郎，齐王收士衡付廷尉，士衡出后谢表曰：臣以职在中书，制命所出。而臣本以笔札见知，虑逼迫不获已，乃诈发内妹丧，出就第，云哭泣受吊。片言只字，文不关其间。

梁·庾肩吾《为宁国公让中书郎表》曰：臣闻陟彼太行，伯后之车屡息；望兹吴坂，少游之马难追。是知美非流水，立致摧辕，骏靡浮云，便其顿辔。起登天汉，宁陪九万之风；坐济星桥，非使千年之翼。岂有幼称辩慧，足对元礼；弱标俊颖，能嘲子淑？玉重组长，空见休宠；深宫邃宇，孰知怀忧？

太平御览卷第二百二十一

职官部十九

黄门侍郎　给事中

黄门侍郎

《六典》曰：黄门侍郎，掌贰侍中之职。凡政之弛张，事之与夺，皆参议焉。若大祭祀，则从升坛以陪礼；皇帝盥手，则奉巾以进；既帨则奠巾于篚，奉匏爵以赞献。凡元正、冬至天子视朝，则以天下祥瑞奏闻。

《汉官仪》曰：给事黄门侍郎，次侍中，侍从左右，开通内外，给事于中，故曰给事中黄门侍郎。

《汉书》曰：王音荐扬雄待诏，岁余，为给事黄门郎。成、哀、平三代不徙。

又曰：张禹为太傅，有疾，成帝临视，拜于床下，禹有少子在侧，数目之。帝知其意，于前拜黄门[侍]郎。

又曰：刘向字子政，宣帝时以中郎为给事黄门侍郎。

又曰：董贤字圣卿，云阳人，为太子舍人。贤待漏在殿下，为人美丽自喜，哀帝望见，悦其仪貌，识而问之曰："是舍人董贤耶？"因引上与语，拜为黄门侍郎。

《东观汉记》曰：邓阊，字秀昭，迁黄门侍郎。于时国家每有灾异水旱，阊侧身暴露，忧惧憔悴，形于颜色，公卿以下咸高尚焉。汉兴以来，为外戚仪表。

《后汉书》曰：马防子钜为常从小侯，正月当冠，特拜为黄门侍郎。肃宗亲御章台，下殿陈鼎俎，自临冠之。

《续汉书》曰：荀悦字仲豫，迁黄门侍郎。献帝颇好文学，悦与

从弟或、孔融，并侍讲禁中。

又《舆服志》曰：禁门曰黄闼，以中人主之，故号曰黄令。然则黄门郎给事黄闼之内，故曰黄门郎。本既无员，于此各置六人也。

又《百官志》曰：给事黄门侍郎，六百石，无员，侍从左右，给事中使，开通中外，诸王朝见于殿上，引王就位。

《献帝起居注》曰：自诛黄门后，侍中侍郎出入禁中，机事颇露。由是王允乃奏：侍中、黄门不得出入，不通宾客，自此始也。

《汉官》曰：尚书郎奏事于明光殿，省中皆胡粉涂壁，其边以丹漆地，故曰丹墀。尚书郎含鸡舌香伏其下奏事，黄门侍郎对揖跪受。

《汉旧仪》曰：黄门郎属黄门令，日暮入对青琐门拜，名曰夕郎。

《魏志》曰：王粲字仲宣，山阳人，年十七，司徒辟，诏除黄门侍郎，以西京扰乱，皆不就。

又曰：夏侯玄字太初，少知名，弱冠为黄门侍郎。尝进见，与皇后弟毛曾并坐，玄耻之，不悦，形之于色。明帝恨之，左迁为羽林监。

又曰：杜恕字矜伯，为散骑、黄门侍郎。恕推诚以质，不治饬，在朝不结交。每政有得失，常引纲维以正言。于是侍中辛毗等器重之。

又曰：夏侯尚字伯仁，渊从子也。文帝与之亲友，有筹画智略，从太祖定冀州，迁黄门侍郎。

又曰：钟毓字稚叔。年十四为散骑侍郎，机捷谈笑，有父风。大和初，蜀相诸葛亮围祁山，明帝欲亲西征，毓上疏曰："夫策贵庙胜，功尚帷幄，不下殿堂之上，而决胜千里之外。车驾宜镇守中土，以威四方。今者盛暑行师，诗人所重，实非至尊顺动之时也。"迁黄门侍郎。

《魏略》曰：董遇字季直。献帝时为黄门侍郎，旦夕侍讲，为天子所爱信。

《蜀志》曰：费祎字文伟，为黄门侍郎。丞相亮南征还，群僚于数十里逢迎，年位多在祎右，而亮命祎同载，由是众莫不易观。

《吴志》曰：孙承字显世。好学，有文章，作《萤火赋》行于世。为黄门侍郎，与顾荣俱为侍臣。归命世内侍多得罪，惟荣、承独获免。常使二人记事，承答顾问，乃下诏曰："自今已后用侍郎，皆当令如宗室承、顾荣俦也。"

又曰：孙皓每宴会群臣，无不威令沉醉。置黄门郎十人，特不与酒，侍立终日，为司过之吏。宴罢之后，各奏其阙失，迕视之咎，谬言之愆，罔有不举。大者即加威刑，小者威以为罪。

《晋书》曰：顾荣，少有珪璋，符采朗澈，仕吴，弱冠举贤良，为黄门侍郎。当时后进尽相推谢，称荣有天才令望。

又曰：张华为黄门侍郎，博览图籍，千门万户画地成图。

又曰：吴隐之，孝武帝欲以为黄门郎，以隐之貌类简文帝乃止。

又曰：嵇绍为给事黄门侍郎。时侍中贾谧以外戚之宠，年少居位，潘岳、杜袪等皆附托焉。谧求交于绍，绍拒而不答。[及]谧诛，绍时在省，以不阿比凶族，封弋阳子。

《晋书·载记》曰：秦黄门郎古成诜，风韵秀举，确然不群，每以天下是非为己任。时京兆韦高嘉阮籍之为人，居母丧弹琴饮酒。诜闻而泣曰："吾当私刃斩之，以崇风教。"遂持剑求高，高惧逃匿，终身不敢见诜。

《齐职仪》曰：给事黄门侍郎，四人，秩六百石，武冠，绛朝服。汉有中黄门，给事黄门，位从诸大夫，秦制也。与侍中掌奏文案、赞相威仪，典署其事。

《后魏书》曰：崔光为黄门侍郎，未尝留心文案，惟从容论议、参赞文政而已。

又曰：阳平王之子匡，为黄门侍郎。茹皓始有宠，百寮微惮之。世宗曾于山陵还，诏匡陪乘人命。皓登车褰裳将上，匡谏止，世宗推之命下，皓恨匡失色。当时壮其忠謇。

又曰：任城王之子顺，除给事黄门侍郎。时领军元乂威刑尤盛，凡有迁授，莫不造门谢谒。顺拜表而已，曾不诣乂，乂谓顺曰："卿何得不见我？"顺正色曰："天子富于春秋，委政宗辅。叔父宜至公为心，举士报国，如何卖恩，责人私谢，岂所望也！"

《北史》曰：卢诞拜给事黄门侍郎，魏帝诏曰："经典易求，人师难得，朕诸儿稍长，欲令卿为师。"于是亲幸晋王第，敕晋王以下皆拜之于帝前。

《隋书》曰：刘行本为黄门侍郎，文帝尝怒一郎，于殿前笞之。行本进谏，帝不顾，行本乃正当上前（又）曰："陛下不以臣不肖，置臣左右。岂得轻臣而不顾也！"乃置笏于地而退，上谢之而原所笞者。

《唐书》曰：温大雅为黄门侍郎，弟彦将为中书侍郎，对居近侍，高祖谓曰："我起义晋阳，为卿一门耳。"

又曰：高宗总章元年十月，东天竺乌萘国长年婆罗门卢伽逸多受诏合丹，上将饵之。东台侍郎郝处俊谏曰："修短有天命，未闻万乘之主，轻服蕃夷之药。昔贞观末年，先帝令婆罗门僧那罗你娑婆寐依其本国仙方合长年神药。胡既有异术，征求灵草秘石，历年而成。先帝服之，竟无异效。大渐之际，名医莫知所为，欲归罪于胡人，将申大戮，又恐取笑夷狄。龟镜若是，惟陛下深察。"遂止。

又曰：天宝元年，改黄门侍郎为门下侍郎。

《五代史·晋书》曰：天福七年诏门下侍郎班在常侍之下，俸禄同常侍。

《三辅决录》曰：卓茂字子康，元帝时游学长安，以儒行为给事黄门郎。

又曰：杜恕字矜伯，拜黄门侍郎，每直省阁，威仪矜严。

又曰：马后志在克己辅上，不以私家干朝廷，弟为黄门郎，讫永平世不迁。

《英雄记》曰：曹纯字子和，年十六为黄门郎。

《王嘏别传》曰：嘏字昭先。魏文以嘏为黄门侍郎，每纳忠言，辄手坏本，自在禁省归书不封。帝嘉其淑慎如此。

《柏阶别传》曰：阶为尚书令，文帝行幸，见诸少子无裤，上搏手曰："长者子无裤。"是日拜三子为黄门郎。

《傅子》曰：王黎为黄门郎，轩轩然得志，煦煦然自乐。

刘向《七略》曰：孝宣皇帝重申不害《君臣篇》，使黄门郎张子乔正其字。

《刘向集·书·诫子歆》曰：今若年少得黄门侍郎，显处也。新拜皆谢贵人，叩头谨战战栗栗，乃可必免。

《唐中宗授韦嗣立黄门侍郎制》曰：绛衣近侍，秩亚貂蝉；青琐崇班，职参鸳鹭。实神化之有寄，信贤才之攸宜。通议大夫韦嗣立，忠规奕叶，孝绪蝉联，家匡玄燕之朝，人辅彤灵之代。芝兰并秀，见谢石之阶庭；骐骥齐驱，有刘山之昆季。入光振鹭，誉满三台；出据冯熊，声流十部。近者命兹，鸾渚已濯，雁行才出，公扃奄归蒿里；永言荆树，生折连枝；眷彼恒山，空余一鸟。俾迁荣于皂盖，宜袭宠于黄枢。

给事中

《六典》曰：给事中，凡百司奏抄，侍中审定，则先读而署之，以驳正违失。凡制敕宣行，大事则称扬德泽，褒美功业，覆奏而请施行；小事则署而颁之。凡文武六品以下授职，所司奏（杨）[拟]，则校其仕历深浅，功状殿最，访其德行，量其才艺；若官非其人，理失其事，则白侍中而退量焉。

《汉仪注》曰：诸给事中，日上朝谒乎尚书，奏事分为左、右，以有事殿中，故曰给事中。多名儒、国亲为之，掌左右顾问。

《汉书》曰：给事，秦官也，至汉因之，皆为加官，所加或大夫、博士、议郎。掌顾问、应对，位次中常侍。

又曰：元帝诏："萧望之傅朕八年，可赐爵关内侯、给事中。"

《后汉书》曰：郑众字仲师，以明经拜给事中。

《魏志》曰：秦朗字元明，明帝即位授以内官，为给事中。每车驾出入，朗常随从。时明帝喜发举，数有以轻微而致大辟者，朗终不能有所谏止，又未尝进一善人，帝亦以是亲爱；每顾问之，多呼其小字阿苏。

《晋书》曰：任熙字伯远，立德邈然，征拜给事中。

《晋起居注》曰：武帝太康七年诏曰："郎中张建，忠笃履素，为江表士大夫所称，宜在中朝，其以建为给事中。"

晋武帝诏曰：燕王师陈邵，清贞廉洁，博通六籍，宜在左右，以敦儒训，可给侍中。

《唐书》曰：卢粲，幽州范阳人也，京龙二年迁给事中。时节愍太子初立，韦庶人以非己所生，深加忌嫉，劝中宗下敕，令太子却取卫府封物，每年以供服用。粲驳奏曰："皇太子处继明之重，当主鬯之尊，岁时服用自可百司供拟。又据《周官》：'诸应用财器，岁终则会，惟王及太子应用物并不会。'此则储蓄之费，咸与王同。今与列国诸侯齐衡入封，岂所谓宪章在昔垂法将来者也。必谓青宫初启，服用所资自当广支库物，不可长存藩封。"诏从之。

又曰：卢粲迁给事中，时安乐公主婿武崇训为节愍太子所杀，特追封为鲁王，令司农少卿赵履温监护葬事。履温讽公主奏请依永泰公主故事，为崇训造陵，诏从其请。粲驳奏曰："伏寻陵之称谓，本属皇王及储君等。自皇家已来，诸王及公主墓无称陵者，惟永泰公主承恩特葬，事越常途，不应假永泰公主为名。请比贞观已来诸王旧例，足得丰厚。"手敕答曰："安乐公主与永泰公主无异，同穴之义，古今不殊，鲁王缘此，特为陵制，不烦固执。"粲又奏曰："臣闻陵之称谓，施于尊极，不属王公已下。且鲁王若欲论亲等第，则不亲于雍王守礼，雍王之墓尚不称陵，鲁王则不可因尚公主而加号。且君之举事则载于方册，或稽之往典，或考自前朝，臣历检贞观已来，附马墓无得称陵者；且君人之礼服绝于傍期，盖为不独亲

其亲，不独子其子。陛下以膝下之恩爱施及其夫，赠赗之仪，哀荣足备，岂得使上下无辩、君臣一贯者哉！"帝竟依粲所奏。

又曰：李藩为给侍中，制、敕有不可，遂于黄敕后批之，吏曰："宜别连白纸。"藩曰："别以白纸是文状，岂曰批敕耶！"裴垍言于帝，以为宰相器。

又曰：宪宗以同州刺史吕元膺复为给事中。初，元膺自给事中除同州，及入谢，上问以时政得失，元膺论奏，词甚激切，上嘉其刚正。翌日，谓宰臣曰："吕元膺谠言直气，今欲留在左右，使言得失，卿等以为何如？"李藩、裴垍进贺曰："陛下纳谏，超冠前王，乃宗社无疆之福。臣等不能广求直士，又不能数进直言，孤负圣心，合当罪责。今请以元膺复为给事中，以备顾问。"上悦而从之。

又曰：李逊为给事中，尝论时政，以为事君之义，有犯无隐，陈诚启沃，不必择辰。今君臣敷奏乃候只日，是毕岁臣下睹天颜，献可否，能几何？宪宗嘉之。

又曰：元和十四年，以抚州司马令狐通为右卫将军、给事中。崔植封还制书，言通前刺史寿州，用兵失律，前罪未塞，不宜遽加奖用。上命宰臣谕植，以通父彰有功，不忍弃其子。其制方行。

又曰：韦弘景为给事中，屡有封驳。时有刘士经以驸马交通邪倖，自检校官用为太仆卿，弘景执奏不可；中人宣谕再三，弘景不为之回。穆宗怒，乃令弘景使安南邕容宣慰，时论翕然推重。

又曰：郭承嘏为给事中。开成元年出为华州刺史，诏方下，两省迭诣中书，求承嘏出麾之由。给事中卢载封还诏书，奏曰："承嘏自居此官，继有封驳，能奉其职，宜在琐闱。牧守之才，易为推择。"文宗谓宰臣曰："承嘏久在黄扉，欲优其禄俸，暂令廉问近关，而谏列拜章，惜其称职，甚美事也。"乃复为给事中。

又曰：于敖迁给事中，昭愍初即位。李逢吉用事，与翰林学士李绅素不叶，遂诬绅，以不测之罪逐于岭外。绅同职驾部郎中知制诰庞严、司封员外郎知制诰蒋防坐绅党，左迁信、汀等州刺史。黜

诏下，敕封还诏书，时人以为与严相善，诉其非罪，皆曰："于给事犯宰执之怒，伸庞、蒋之屈，不亦仁乎？"及驳奏出，乃是论庞严贬黜太轻，中外无不大嘘。

《东方朔记》曰：东方朔为中郎，赐帛百匹，给事中。

荀绰《兖州记》曰：袁准字孝尼，有俊才，太始中拜为给事中。

《胡广集》曰：给事中掌侍从左右，无员，位次侍中、常侍，或名儒，或国亲。

《束皙集》曰：员外侍郎及给事、冗从皆是帝室茂亲，或贵游子弟。若悉从高品则非本意，若精乡议则必有降损。

太平御览卷第二百二十二

职官部二十

中书舍人　起居郎　起居舍人

中书舍人

《六典》曰：中书舍人掌侍奉进奏，参议表章。凡诏旨、制敕及玺书、册命，皆按典故起草草进画，既下，则署而行之。其禁有四：一曰漏泄，二曰稽缓，三曰违失，四曰忘误，所以重王命也。制敕既行，有误则奏而正之。

《通典》曰：自永淳以来，天下文章道盛，台阁、鼎彦无不以文章达，故中书舍人为文士之极任，朝廷之盛选，诸官莫比焉。

《晋中兴书》曰：刘超迁中书舍人，时台省初建，内外多事，出内书命以忠慎称。加以治身清苦，衣不重帛，每上所赐，皆固辞曰："凡陋小臣，横窃赏赐，无德而禄，殃咎必至。"上益嘉焉。

又曰：徐邈字仙民，东莞姑幕人也。少好学问，尤善经传。时烈宗始览典籍，招延礼学之士，谢安举选，补中书舍人。在西省撰正五经音训，学者宗之。每预顾问，辄有献替，多所补益。烈宗甚爱之。

《齐书》曰：永明元年，荧惑入紫微，时中书通事舍人四人各住一省，谓之曰四户。既总重权，势倾天下。会玄象失度，太史奏："宜修福禳之。"太尉王俭谓帝曰："天文乖忤，此由四户。"乃具舍人王文明等名奏之。

又曰：明帝践阼，引傅昭为中书舍人，时居此职者，皆权倾天下。昭独廉静，无所干预，器服率略，身安粗粝，常插烛板床。明帝闻之，赐漆合烛盘，敕曰："卿有古人之风，故赐卿古人之物。"

又曰：茹法亮久为中书通事舍人，后出为大司农中书。势利之职，法亮恋之，垂涕而去。

《梁书》曰：裴子野以中书侍郎鸿胪常兼中书通事舍人，别敕知诏诰。

《南史》曰：顾协为舍人，同官者皆润屋。协在省十六载，器服食饮不改于常。有门生始来事协，知其廉洁，不敢厚饷，止送钱二千。协发怒，杖二十，因此事者绝于馈遗。

《北齐书》曰：荀士逊，世祖时为中书舍人。状貌甚丑，以文辞见用。曾有事须奏，值世祖在后庭，因左右传通者不得士逊姓名。乃云："丑舍人。"世祖曰："必士逊也。"看封题，果是，内人莫不欣笑。

又曰：颜之推，天保末从显祖至天池以为中书舍人，令中书郎段孝信将敕书出示之推。之推营外饮酒，孝信还，以状言显祖，仍曰："且停。"由是遂寝。

《北史》曰：魏收兼中书舍人，与温子升、邢子才齐誉，世号三才。

《隋书》曰：虞世基拜内史舍人，炀帝即位，顾遇弥隆。秘书监河东柳顾言博学有才，罕所推谢，至是与世基相见，叹曰："海内当共推此一人，非吾侪所及也。"

《唐书》曰：贞观中，中书舍人高季辅上封章曰："时已平矣，功已成矣，然而刑典未措者，何哉？良由谋猷之臣，不弘简易之政。台阁之吏，昧于经远之道，执宪者以深刻为奉公，当官者以侵下为益国。未有坦平恕之怀，副圣明之旨，伏愿随方训诰，使各扬其职。人敦朴素，俗革浇浮，家识孝慈，人知廉耻，杜其利欲之心，载以清淳之化。自然家富国肥，祸乱何由而作？"太宗善之，物赐钟乳一剂，曰："卿进药石之言，故以药石报之也。"

又曰：颜师古迁中书舍人，专掌机密。于时军国多务，凡有制诰，皆成其手。师古达于政理，册奏之工，时无及者。

又曰：武后天授元年，寿春郡王成器兄弟五人初出阁，同日受册。有司撰仪注，忘载册文；及百寮在列，方知缺礼，宰臣相顾失色。中书舍人王剧立召小史五人，各令执笔，口授分写同时，须臾俱毕。词理典赡，时人叹伏。

又曰：景龙四年初定内难，惟中书舍人苏颋在太极殿后文诏填委，动以万计，手操口对，无毫厘差误。主书韩礼、谈子阳转书诏草，(属)[屡]谓颋曰："乞公稍迟！礼等书不及，恐手腕将废。"

又曰：杨炎为中书舍人，与常兖并掌纶诰，兖长于制书，炎善为德音。开元已来，言诏制之美者，号常、杨焉。

又曰：王徽曾祖择从，择从兄易从，天后朝登进士第；从弟朋从、言从睿宗朝并以进擢第，昆仲四人开元中三至凤阁舍人，故时人号凤阁王家。

又曰：齐澣，开元中迁中书舍人。论驳书诏，润色王言，皆以古义谟诰为准的。侍中宋璟、中书侍郎苏颋并重之。

又曰：薛元超，道衡孙也，为中书舍人。中书省有一盘石，初，道衡为内史侍郎，尝踞而草制。元超每见此石，未尝不泣然流涕。

又曰：贾曾授中书舍人，曾以父名"忠"固辞，乃拜谏议大夫知制诰。至开元初，复拜中书舍人，又固辞。议者以为中书是曾司名，又与曾父音同字别。于礼无嫌，乃就职，与苏晋同掌制诰，皆以词学见知，时人称为"苏、贾"。

又曰：许景先转中书舍人，中书令张说常称曰："许舍人之文，虽无峻峰激流崭绝之势，然属词丰美，得中和之气，实一时之秀也。"

又曰：郄高卿为中书舍人，处事不回，为宰相元载所忌。鱼朝恩署牙将李琮为两街功德使，琮暴横，于银台门毁辱京兆尹崔昭。高卿立诣元载，抗论以为国耻，请速论奏。载不从，高卿遂以疾辞。以前中书舍人居东洛，凡十年，自号伊川田父，清名高节，称于天下。

又曰：建中三年，诏中书舍人分署尚书六曹，复旧制也。

又曰：高郢掌诰累年，家无制草，或谓曰："人皆留制集，公焚之，何也？"曰："王言不可存私家。"时人重其慎密。

又穆宗诏曰："中书舍人，故事分押六司，佐宰臣判按。废革日久，顿复稍难，宜渐令条举。有须慎重者，便令参议；如关机密者，即且如旧。"

又曰：路随，敬宗初登极，拜中书舍人、翰林学士，仍锡金紫。有以金帛谢除制者，必叱而却之曰："吾以公事接私财耶！"终无所纳。

又曰：太和四年敕，前行郎中知制诰者，约满一周年即与正，授从谏议大夫知者，亦宜准此。

又曰：封敖为学士，拜中书舍人。敖构思敏速，语近而理胜，不务奇涩，武宗深重之。尝草《赐阵伤边将诏》警句云："伤居尔体，痛在朕躬。"帝览而善之，赐之宫锦，

又曰：崔郾转中书舍人，入思政殿谢恩。郾奏曰："陛下用臣为侍讲，卒岁有余，未尝问臣经义。今蒙转改，实惭尸素，有愧厚恩。"帝曰："俟朕机务稍闲，即当请益。"高钎曰："陛下意虽乐善，既未延接儒生，天下之人宁知重道？"帝深引咎，锡之锦采。

又曰：中书舍人郑居中，少有时名，扬历清贯，晚年尤薄名利，以疾辞官，恣游名山。一日，搦管为诗，才书五字曰："云山游已遍。"纸犹在手，笔忽堕地而终。

又曰：晋初，中书置舍人、通事各一人，东晋合为一职，晋代入直阁内宣诏命，而侍郎之任轻矣。梁秩四百石，品第八。梁用人殊重，简以才能，不限资地，多以它官兼领。其后，除"通事"，直曰中书舍人。

《五代史·后唐书》曰：明宗时，刘赞为中书舍人，与学士窦梦征同年登第，邻居友善。梦征早卒，赞与同年杨疑式缌麻为位而哭。其家无嫡长，与视丧，恤其孀稚，士人称之。

《五代史·晋史》曰：陈乂，长兴中自舍人衔命册公主于大原，公主即帝后也。帝深待之，但讶其高岸。人或有献可于乂，宜陈一讴颂，以称帝之美，可邀其异待耳。乂曰："人生贫富咸有定分，未有持天子命违礼以求利，既损国纲，且亏士行，乂今生所不为也。"闻者无不嘉之。

又曰：天福五年九月诏曰：《六典》云："中书舍人掌侍奉进奏，参议表章。凡诏旨、制敕、玺书、策命，皆按故事起草进画；既下，则署而行之。其禁有四：一曰漏泄，二曰稽缓，三曰违失，四曰忘误，所以重王命也。"古昔已来，典实斯在，爰从近代，别创新名。今运属兴，王事从师古，俾仍旧贯，以辉前规。其翰林学士院公事宜，并归中书舍人。

《五代史·汉史》曰：唐李昭以尚书郎出为苏州刺史，期岁，以中书舍人召还，不拜。谓宰辅曰："省郎拜舍人，以知制诰为次序；便由刺史玷纶闱，非敢闻命。"乃以兵部郎中知制诰，翌岁拜舍人，受之。

《五代史·周史》曰：王延为中书舍人，权知贡举。有崔颀者，协之子也。授偃师簿，薄其卑屑弃去，数年应进士。延将入贡院见旧相，吏部尚书卢文纪素与协不睦，谓延曰："舍人以谨重闻于时，所以老夫去冬与诸相首以长者闻奏，然此一途取事者颇多面目，说者云：越人善泅，生子方晬，乳母浮之水上；或骇然止之。乳母曰：其父善泅，子必无溺。今若以名下取士，征泅之类也。舍人当求实才以副公望。"延退而嗤曰："卢公之言为崔颀也。纵与其父不悦致意，何至此耶！"来春以颀登甲科，其仁而徇公皆此类也。

《百官志》曰：魏初，中书置通事一人，主呈奏。晋初，中书又置舍人一人。至东晋合通事及舍人二职，谓之通事舍人，犹掌呈奏。

《陶氏职官要录》曰：中书舍人，旧视给事中。

《梁选簿》云：梁天监用人务简英才，不限资次。

又曰：隋内史舍人八员，专掌诏诰。炀帝减四人，后改为内史

舍人。

《荀勖集》曰：晋武帝时，门下启令史伊羡、赵咸为中书舍人，对掌文法。勖奏以为不可。

起居郎

《六典》曰：起居郎掌记天子之法度，以修记事之史。凡记事之制，以事系日，以日系月，以月系时，以时系年。必书其朔日甲乙以纪历数，典礼文物以考制度，迁拜旌赏以劝善，诛伐黜免以惩恶。季冬则授之于国史焉。

《唐书》曰：太和九年十二月，左右省起居郎赍笔砚及纸，于螭头下记言记事。

又曰：郑朗，开成中为起居郎。初，太和末风俗稍奢，文宗恭勤节俭，冀革其风。宰臣等言曰："陛下躬俭节用，风俗已移，长裾大袂，渐以减损，若更令戚属绝其侈靡，不虑下不从教。"帝曰："此事亦难户晓，但去其泰甚，自以俭德化之。朕闻前时，内库惟二锦袍饰以金鸟，一袍玄宗幸温汤时御之，一与贵妃，当时贵重如此。今奢靡，岂复贵之邪？今富家往往皆有。左街副使张元昌便用金唾壶，昨因李训已诛之矣。"时朗执笔螭头下，宰臣退，上谓朗曰："适所议论，卿记录未？吾试观之。"朗对曰："臣执笔所记，便名为史，伏准故事，帝王不可取观。昔太宗欲览国史，谏议大夫朱子奢云：史官所述，不隐善恶，或主非上智，饰非护失，见之则致怨，所以义不可观。又褚遂良曰：今之起居郎，古之左右史也。记人君言行，善恶必书，庶几不为非法，不闻帝王躬自观史。"帝曰："适来所记，无可否臧，见亦何爽？"乃宣谓宰臣曰："郑朗引故事，不欲朕见起居注。夫人君之言，善恶必书，朕恐有平常闲话，不关理体，垂诸将来，窃以为耻。异日临朝，庶几稍改，何妨一见，以诫丑言。"朗遂进之。

又曰：开成二年十二月，阁门对左右史裴素等上自开成初复故

事，每入阁左右史执笔立于螭头之下，君臣论奏得以备书；故开成政事最详于代。

起居舍人

《六典》曰：起居舍人掌修记言之史，录天子之制诏德音，如记事之制，以纪时政之损益。季冬则授之于国史。

《唐书》曰：邢文伟，滁州全椒人。时右史官缺，高宗谓侍臣曰："邢文伟事我儿能减膳切谏，此正直人也。"遂擢拜右史。

又曰：李让夷字达心，为谏议大夫。开成元年，以本官兼知起居舍人事。时起居舍人李褒有痼疾，请罢官。宰臣李石奏阙官，上曰："褚遂良为谏议大夫，尝兼此官，卿可尽言今谏议大夫姓名。"石遂奏李让夷、冯定、孙简俶。帝曰："让夷可也。"李固言欲用崔球、张次宗。郑覃曰："崔球游宗闵之门，赤墀下秉笔记注，为千古法，不可用朋党，如斐中孺、李让夷，臣不敢有纤芥异论。"其为人主、大臣知重如此。

又曰：魏谟转起居舍人，紫宸中谢，帝谓之曰："以卿论事忠切，有文贞之风，故不循月限授卿此官。"又谓之曰："卿家有何旧书诏？"对曰："比多失坠，惟簪笏见在。"上令进来。郑覃曰："在人不在笏。"上曰："郑覃不会我意。此即甘棠之义，非在笏而已。"

又曰：魏谟，文宗时为起居舍人，紫宸入阁，遣中使取谟起居注，欲视之。谟执奏曰："自古置史官，书事以明鉴诫。陛下但为善事，勿畏臣不书；如陛下所行错忤，臣纵不书，天下人书之。臣以陛下为文皇帝，陛下比臣如褚遂良。"帝又曰："我尝取观之，"谟曰："由史官不守职分，臣岂敢陷陛下为非法！陛下一览之后，自此书事须有回避。如此，善恶不直，非史也，遗后代何以取信？"乃止。

又曰：张次宗有文学，稽古厉行，开成中为起居舍人。文宗复故事，每入阁，左右史执笔立于螭头之下，宰相奏事得以备录，宰臣既退，上召左右史更质证所奏是非，故开成政事详于史氏。

太平御览卷第二百二十三

职官部二十一

谏议大夫　补阙　拾遗

谏议大夫

《六典》曰：谏议大夫掌侍从赞相，规谏讽谕。凡谏有五：一曰风谏，二曰顺谏，三曰规谏，四曰致谏，五曰直谏。

《汉书》曰：韦玄成字少翁，以父任为郎。少好修文业，尤谦逊，其接人贫贱者益加，由是名誉日广，以明经擢为谏议大夫。

又曰：刘辅以美才擢为谏议大夫。成帝欲立赵婕妤为皇后，辅上书曰："陛下乃触情纵欲，以卑贱之女母天下乎？里语曰：腐木不可以为柱，卑人不可以为主。臣辱谏诤之官，不敢不尽死言。"

又曰：贡禹字少翁。元帝征禹为谏议大夫，数虚己问以政事。是时年谷不登，禹奏言宫室制度宜从俭省，天子纳其善言。

又曰：夏侯胜，字长公，明《洪范·五行》，为谏议大夫。为人简易，无威仪，见时谓上为君，误相字于上前，上以此亲信之。

又曰：王褒字子渊，蜀人也。益州刺史王襄欲宣风化于众庶，闻褒有俊材，请与相见，使褒作《中和》、《乐职》、如淳曰：言王政中和，在官者乐其职也。《宣布》诗，如淳曰：《国语》所谓宣布哲人之令德也。苏林曰，歌之名也。选好事者令依《鹿鸣》之声习而歌之。时何武为童子，选在歌中。武歌于太学，宣帝召见，曰："此盛德之事，吾何足以当之！"益州刺史因奏言褒有轶材，上乃征褒。既至，诏褒为《圣主得贤臣颂》，擢为谏议大夫。

又曰：扬雄字子云，以耆老久次转为谏议大夫，疾免，复召为谏议大夫。家至贫，嗜酒，人稀至其门。时有好事者，载肴酒以从游

学。

又曰：孔光字子夏，经学尤明，举止方正，为谏议大夫。

《东观汉记》曰：郭丹字少卿。从师长安，买符入函谷关，乃慨然而叹曰："丹不乘使者车，不出此关。"既至京师，尝为都讲，更始二年为谏议大夫。持节归南阳，自去家十三年，果乘高车出关。

《后汉书》曰：陈禅字纪山，为谏议大夫。西南禅国王献乐及幻人，能吐火，自支解，易牛马头。大会，作之于庭，禅离席举手曰："帝王之庭，不宜作夷狄之乐。"

又曰：韦彪字孟达，上疏曰："谏议之职，应用公直之士，通才奢正，有补益于朝者。今或从征试辈为大夫，动举州郡。并宜清选其任，责以言绩。其二千石视事虽久，而为吏人所便安者，宜增秩重赏，勿妄迁徙。惟留圣心。"

又曰：江革转谏议大夫，赐告归，天子思革笃行，诏齐相曰："谏议大夫江革，前以病归，今起居何如？夫孝者百行之冠，众善之始也。县以见谷千斛赐"巨孝"，常以八月长吏存问，致羊酒，以终厥身。"

又曰：刘陶字子奇，拜谏议大夫。灵帝世，天下日危，陶上疏言天下乱皆由于宦竖，宦竖见事急共谗陶，诏收黄门北寺狱。陶自知必死，对使者曰："谗邪相求，考掠日深，臣恨不列稷卨伊周之踪，而与比干、龙逢为俦，事败乃悔，复何可及！"闭气而死。

《续汉书》曰：周举，字宣光。梁商表为从事中郎，商疾甚，帝问遗言，对曰："臣从事中郎周举，清慎高亮，可任谏议大夫。"

谢承《后汉书》曰：傅翻字君成，转谏议大夫，天性谅直，数陈说言。武帝嘉之。

又曰：虞承字叔明。拜谏议大夫，雅性忠謇，在朝堂犯颜谏争，终不曲挠。散禄赈给诸生，言德无比。

《魏志》曰：贾逵字梁道，河东襄陵人也。自为儿童戏，常设部伍，祖父习异之，曰："汝大必为将帅。"口授兵法数万言。为丞相主

簿，太祖善之，拜谏议大夫，与夏侯尚并掌军计。

又曰：贾逵，字梁道。太祖征刘备，先遣逵至斜谷观形势，道逢水衡载囚数十，逵以军事急，辄竟重者一人，皆放其余。太祖善之，拜谏议大夫。

《蜀志》曰：尹默字思潜，以《左氏传》教授，后主践阼，拜谏议大夫。

《(晋)[后汉]书》曰：李尤字伯仁。侍中贾逵荐尤有扬雄之才，明帝召作《东壁雍德阳诸观铭》，拜谏议大夫。

《后魏书》曰：张普惠，字洪赈，常山九门人。为谏议大夫，任城王澄谓普惠曰："不喜得谏议，惟喜谏议得君。"

《唐书》曰：高祖尝嘲苏世长曰："名长意短，口正心邪。弃忠贞于郑国，忘信义于吾家。"世长对曰："名长意短，实如圣旨；口正心邪，未敢奉诏。昔窦融以河西降汉，十世封侯；臣以山南归国，惟蒙屯监。"于是拜为谏议大夫。

又曰：苏世长擢拜谏议大夫，从幸泾阳校猎，大获禽兽于旌门。高祖入御营，顾谓朝臣曰："今日畋，乐乎？"世长进曰："陛下游猎，薄废万机，不满十旬，未为大乐。"高祖色变，既而笑曰："狂态发耶！"世长曰："为臣私计则狂，为陛下国计则忠矣！"

又曰：王珪为谏议大夫，尝有论谏，大宗称善。遂诏："每宰相入内平章大计，必使谏官随入，与闻政事。"

又曰：太宗问谏议大夫褚遂良曰："舜造漆器，禹雕其俎，当时谏舜十有余人。食器之间，苦谏何也？"遂良对曰："雕琢害农事，綦组伤女工。首创奢淫，危亡之渐，漆器不已，必金为之；金器不已，必玉为之。所以谏臣必谏其渐，及其满盈，无所复谏。"上然之。

又曰：萧钧迁谏议大夫。时有左武候、引驾卢文操逾垣盗左藏库物。高宗以引驾职在纠绳，身行盗窃，命有司杀之。钧进谏曰："文操所犯，情实难原，然恐天下闻之，必谓陛下轻法律，贱人命，任喜怒，贵财物。臣之所职以谏为名，愚衷所怀，不敢不奏。"帝谓曰：

"卿职在司谏，能尽忠规，遂特免其死罪。"顾谓侍臣曰："此乃真谏议也。"

又曰：武后临朝，置匦四区，共为一室，列于朝堂。东方春色青，有能告以养人及劝农，可投书于青匦，铭之曰"延恩"；南方夏色赤，有能正谏论时政之得失，可投书于丹匦，铭之曰："招谏；"西方秋色白，有能自陈抑屈，可投书于素匦，铭之曰："申冤"；北方水色玄，有谋智者可投书于玄匦，铭之曰"通玄"。宜令正谏大夫、补缺拾遗等一人，充使知匦事，每日所有投书，至暮即进。天宝九载三月，改匦为献纳。

又曰：李景伯迁谏议大夫。中宗尝宴侍臣，及朝集，使酒酣，令各为回波词，众皆为谄佞之词及自要荣位，次至景伯，曰："回波尔时酒巵，微臣职在箴规，侍宴既过三爵，喧哗窃恐非仪。"中宗不悦。中书令萧至忠称之曰："此真谏官也。"

又曰：至德元年，制"谏议大夫论事，自今已后不须令宰相先知。"

又曰：乾元二年四月，两省谏官十日一上封事，直论得失，无假文言。既成殿最，用存沮劝。

又曰：阳城为谏议大夫，裴延龄谗谮陆贽等坐贬黜，德宗怒不解，在朝无救者。城闻而起曰："吾谏官也，不可天子杀无罪人而信用奸臣。"即率拾遗王仲舒等数人，守延英门上疏，论延龄奸佞，贽等无罪状。德宗大怒，召宰相入语，将加城等罪。良久乃解，令宰相谕遣之。于是金吾将军张万福闻谏官伏阁谏，趋往至延英门，大言贺曰："朝廷有直臣，天下必太平矣！"遂遍拜城及王仲舒等曰："诸谏议能如此言事，天下安得不太平？"已而连呼："太平，太平！"万福武人，时八十余，自此名重天下。

又曰：崔郾迁谏议大夫。穆宗即位，荒于禽酒，坐朝恒晚，郾与同列郑覃等延英切谏，穆宗甚(喜)[嘉]之，畋游稍简。

又曰：文宗尝于便殿召柳公权、周墀对。公权论事切直，忤旨，

周墀为之惴栗。公权词气益坚，上徐谓公权曰："朕知舍人不合，却作谏议。以卿论事有争臣之风，今授卿谏议大夫。"

又曰：孔戣为谏议，上疏以事四条陈讽。后有李涉投匦，上言吐突承璀公忠，戣为匦使，览副状大怒，逐之。因上疏苦谏，遂贬涉，幸臣闻之侧目，人皆为危之。[戣]高步公卿间，以方严见惮。

又曰：冯定为谏议大夫。李训事败，伏诛，衣冠横罹其祸，中外危疑，及改元，御殿中尉仇士良请用神策仗卫在殿门。定抗疏论罢，人情危之。又请许左右史随宰臣入延英记事。

又曰：会昌元年，中书门下奏："据《六典》，隋置谏议大夫七人，从四品上，大历二年升门下待郎为正三品，两省遂阙四品，建官之道，有所未周。《诗》云：'衮职有阙，仲山甫补之。'周、汉大臣愿入禁闼，补过拾遗。张衡为侍中，常居帷幄，从容讽谏，此皆大臣之任。故其秩峻，其任重，则君敬其言而行其道。况睿谟之地，宜有老成之人。秩未优崇，则难用耆德，其谏议大夫望依隋书旧制，升为从四品，分为左右，以备两省四品之缺。向后与丞、郎出入迭用，以重其选。"从之。

《五代史·周书》曰：显德五年，敕谏议大夫宜依旧正五品上，仍班位在给事中之下。按唐《六典》，谏议大夫四员，正五品上，皆隶门下省，班在给事中之下。会昌二年十一月，中书门下奏升为正四品下，仍分为左右，以备两省四品之缺，故其班亦升在给事中之上。近朝自谏议大夫拜给事中者，官虽序迁，位则降等，至是以其迁次不伦，故改正焉。

《三辅决录》曰：第五颉，字子陵，为谏议大夫。洛阳无主人，乡里无田宅，寄止灵台中，或十日不炊。

补 阙

《六典》曰：补阙，唐垂拱中创立，四员，左右各二。天授年初，左右各加三员，通前为十员。其或才职相当，不待缺而授。言国家

有过阙而补正之，故以名官焉。

又曰：左右补阙，掌供奉讽谏，扈从乘舆。凡发令举事有不便于时、不合于道，大则廷议，小则上封。若贤良之遗滞于下，忠孝之不闻于上，则条其事状而荐言之。

《唐书》曰：王源中字正蒙，早以文学知名，升进士第宏词科，累迁至左补阙。时典禁军者不循法度，至有台府人吏皆为追擒，源中上疏，其略曰："夫台宪者，纪纲之地；府县者，责成之所。设有罪犯，宜归司存，安有北军势重于南衙，辇下权倾于仗内？乞还法司，庶守职分。"宪宗可其请。

又曰：裴垍在中书，有独孤郁、李正辞、严休复自拾遗转补阙，及参谢之际，垍廷语之曰："独孤与李二补阙，孜孜献纳，今之迁转可谓酬劳无愧矣。严补阙官业或异于斯。昨者进拟，不无疑缓。"休复悚恧而退。

又曰：文宗以魏谟为补阙，上尝言于宰臣曰："太宗皇帝得魏征，采拾缺失，弼成圣政。今我得魏谟，于疑似之间，必极匡谏；虽不敢希及贞观之政，庶几处于无过之地。"命授谟左补阙。于内状备述，谏疏激切，诏申书善为之词。

《唐书》曰：贞元中，韦渠牟为右补阙，内供奉，僚列初轻之。上在延英既对宰相，多使中贵人召渠牟于官次，同辈始注目矣。岁中，迁左谏议大夫。时延英对，秉政财赋之臣昼漏率下二三刻为常，渠牟奏御率下五六刻。上笑语款洽，往往外闻。

又曰：韦温为右补阙，忠鲠敢时。宋申锡被诬，温昌言："宋公履行有素，身居台辅，不当有此，是奸人陷害也。吾辈谏官，岂避一时之雷电而致圣君贤相蒙蔽惑之咎耶！"因率同列伏阁切争之，由是知名。

拾　遗

《六典》曰：拾遗，唐垂拱中创立，四员，左右各二。天授初左右

各加二员，通前为十员。才可则登，不拘阶叙。言国家有遗事，拾而论之，故以名官焉。

又曰：左右拾遗，掌供奉讽谏，扈从乘舆。凡发令举事有不便于时、不合于道，大则廷议，小则上封。若贤良之遗滞于下，忠孝之不闻于上，则条其事状而荐言之。

《唐书》曰：李邕，少知名，长安初，内史李峤及监察御史张廷珪并荐邕词高行直，堪为谏诤之官，由是召拜左拾遗。

又曰：李邕为左拾遗，御史中丞宋璟奏侍臣张昌宗兄弟有不顺之言，请付法推断。则天初不应，邕在陛下进曰："臣观宋璟之言，事关社稷，望陛下可其奏。"则天色稍解，始允宋璟所请，既出，或谓邕曰："吾子名位尚卑，若不称旨，祸将不测，何为造次如是？"邕曰："不颠不狂，其名不彰。若不如此，后代何以称也？"

又曰：李邕为左拾遗，及中宗即位，以(沃)[妖]人郑普思为秘书监。邕上书谏曰："盖人感一飨之惠，殒七尺之身。况臣为陛下官，受陛下禄，而得目有所见，口不言之，是负恩矣。自陛下亲政日近，复在九重，所以未闻在外群下窃议，道路籍籍，皆云普思多行诡惑，妄说妖祥。惟陛下不知，尚见驱使。此道若行，必挠乱朝政。臣至愚至贱，不敢以胸臆对扬天庭，请以古事明证。孔丘云：《诗》三百，一言以蔽之，曰思无邪。陛下今若以普思有奇术，可致长生久视之道，则爽鸠氏久应得之，永有天下，非陛下今日可得而求！若以普思可致仙方，则秦皇、汉武久应得之，永有天下，亦非陛下今日可得而求！若以普思可致佛法，则汉明、梁武久应得之，永有天下，亦非陛下今日可得而求。若以普思可致鬼道，则墨翟、干宝各献于至尊矣，而二王得之，永为天下，亦非陛下今日可得而求。此皆事涉虚妄，历代无效。臣愚，不愿陛下复行之于明时。惟尧舜二帝，自古称圣。臣观所行，故在人事，敦睦九族，平章百姓，不闻以鬼神之道听理天下。伏愿陛下察之，则天下幸甚。"疏奏，不纳。

又曰：许景先，常州义兴人，后徙家洛阳，少举进士，授夏阳尉。

神龙初，东都起圣善寺、报慈阁，景先诣阙，献《大像阁赋》，词甚美丽，擢拜左拾遗。

又曰：萧昕为左拾遗。昕常与布衣张镐为友，馆而礼之，表荐曰："如镐者，用之为王者师，不用则幽谷一叟尔。"玄宗擢镐拾遗，不数年，出入将相。

又曰：元和中，以左拾遗杜从郁为秘书丞。从郁，司徒佑之子也。初，自司议郎为左补阙，崔群、韦贯之、左拾遗独孤郁等上疏，以为宰相之子不合为谏诤之官，于是降为左拾遗。群等又奏云："拾遗与补阙虽资品不同，而皆是谏官。父为宰相而子为谏官，若政有得失，不可使子论父。"于是改授之。

又曰：元和中，延英宰臣对讫，左拾遗杨归厚次请对。时上坐久，宣令后坐日对来，归厚坚词固请，宰相谕之不退，上乃召见。归厚首论中官许遂振，次历诋宰辅，皆过激切；然而自衒求试，其词甚繁，逾刻而罢。

又曰：元稹除左拾遗。稹性锋锐，见事风生；既居谏垣，不欲碌碌自滞，事无不言，即日上疏论谏职。

又曰：宝历中，左拾遗李汉、右拾遗舒元褒、薛廷老等五人于阁内谏曰："臣伏见近日除授，往往不由中书进拟，或是宣出。臣恐自此纪纲寖坏，奸邪恣行，伏乞圣恩详察。上厉声曰："更有何事？"舒元褒进曰："陛下近日修造亦太多！"上色变曰："何处修造？"元褒俯首不能对。薛廷老奏曰："臣等是谏臣，有所闻即合论奏，亦岂知陛下修造之所？但见般辇瓦木绝多，即知修造不已，伏乞稍留圣虑。"上曰："所奏知。"然后各复位，议者以为不废其职。

又曰：大和三年，左拾遗舒元褒等论中丞温造凌供奉官事：今月四日，左补阙李虞与温造街中相逢，造怒，不回避，遂捉李虞祗承人禁身一宿，决脊杖十下者。臣等谨案国朝政故事，供奉官街中，除宰相外无所回避。今温造蔑朝廷典故，凌陛下近臣，恣行胸臆，曾无畏忌。伏以事有虽小而关分理者，即不可失也。分理一失，乱

由之生。遗补官秩虽卑，乃陛下侍臣也。中丞虽高，乃法吏也。侍臣见凌，是不广敬；法吏坏法，何以持绳？前时，中书舍人李虞仲与造相逢，造乃曳去引马，知制诰崔咸与造相逢，又捉其从人。当时缘不上闻，所以强暴益甚。臣等又闻元和、长庆中，中丞行李不过半坊，今乃远至两坊，谓之笼街喝道。但以尊崇自处，不思僭拟之嫌。陛下若不因此特有惩革，伏恐从此供奉官辈，便须回避中丞，累朝制度失自陛下。臣等官忝谏列，实为陛下惜之。奉敕宪官之职在指佞触邪，不在行李自大；侍臣之职在献可替否，不在道途相高。并列通班，合知名分，如闻喧竞，亦以再三，既招人言，甚损朝体。其台官与供奉官同道，听先后而行；道途任抵揖而过。其参从人则各随本官之后，少相僻避，勿信冲突。又闻近日已来，应合有导从官，手力多者，街衢之中，行李太过。自今传呼，前后不过三百步。

《唐书》曰：归登为右拾遗。裴延龄以奸佞有恩，欲为相。谏议大夫阳城上疏切直，德宗赫怒，右补阙熊执易等亦以危言忤旨。初，执易草疏成，示登，登惨然曰："愿寄一名。雷电之下安忍令足下独当。"自是同列切谏，登每联署其奏，无所回避，时人称重。

又曰：王仲舒字弘中，贞元十年策试贤良方正、能直言极谏等科，仲舒登乙第，超拜右拾遗，裴延龄领度支，矫诞大言，中伤良善，仲舒上疏极论之。

又曰：赵宗儒拜右拾遗、翰林学士，父骅改秘书少监，与父并命出于中旨，当时荣之。

太平御览卷第二百二十四

职官部二十二

散骑常侍　员外散骑常侍　通直散骑常侍
散骑侍郎　员外散骑侍郎　通直散骑侍郎

散骑常侍

《六典》曰：唐贞观初置散骑常侍二员，隶门下省。明庆二年，又置二员，隶中书省，始有左、右之号。并金蝉、毗貂，左散骑与侍中为左貂；右散骑与中书令为右貂，谓之八貂。

又曰：散骑常侍，晋代此官选望甚重，时与黄门侍郎谓之黄、散。

《汉书·百官表》曰：散骑、中常侍皆加官，所加或列侯、将军、卿大夫，正员多至数十人。

应劭《汉官仪》曰：秦及前汉置散骑及中常侍各一人，散骑骑马并乘舆车，献可替否。

《魏志》曰：文帝延康元年，置散骑、常侍为一官。省中置四人，与侍中同掌规谏，不用宦者，宦者为官不过署令。

《魏略》曰：散骑常侍比于侍中，貂珰插石。黄初中始置四人。出入侍从与上谈议，不典事。

《蜀志》曰：魏文帝善孟达之姿才容观，以为散骑常侍。

《吴志》曰：薛莹既至洛阳，特先见叙，为散骑常侍，答问处当，皆有条理。

《晋书》曰：郑默字思元，为散骑常侍。武帝出南郊，侍中已陪乘，诏曰："使郑常侍参乘。"

又曰：阮孚为散骑常侍。尝以金貂换酒，复为所司弹劾，帝宥

之。

又曰：华峤字叔骏，加散骑常侍，班同中书。寺为内台，中书、散骑、著作及理礼音律，天文数术，南省文章，门下撰集，皆典统之也。

又曰：何劭字敬祖，曾之子也。少与武帝同年，有总角之好，及帝即位，转散骑常侍，甚见亲重。

《晋起居注》曰：太康七年诏曰："尚书冯紞忠亮在公，历职内外，勤恪匪懈，而疾未差，屡求放退。其以紞为散骑常侍，赐钱二千万，床帐一具。"

又曰：升平五年诏曰："前西中郎谢万，才义简亮，宜居献替，其以万为散骑常侍。"

《晋中兴书》曰：庾阐有文章才美，议者以为宜综国史，于是召为散骑常侍。

《晋诸公赞》曰：司马骏五六岁能书数，魏王为帝，骏八岁为散骑常侍，常侍讲。

《齐书》曰：周盘龙，自平北将军为散骑常侍，武帝戏之曰："卿着貂蝉，何如兜鍪？"对曰："此貂蝉从兜鍪中出耳。"

《齐职仪》曰：魏氏侍中皆骑从御，登殿与散骑常侍对挟帝，侍中居左，常侍居右。

《后魏书》曰：初，高祖以李彪为散骑常侍，郭祚因入见，高祖谓祚曰："朕误(受)[授]一人官禄。"对曰："岂容圣诏一行而有差异？"高祖曰："朕昨误。"沉吟曰："此自应有让，朕欲别授一官。"须臾，彪有启云："伯石辞卿，子产所恶，臣欲之已久，故不敢让。"高祖叹谓祚曰："卿之忠谏，李彪正辞，使朕迟回不能复决。"遂不移官。

又曰：明亮为常侍，加武勇将军，进曰："臣本官常侍，是第三清；今授武勇，其号至浊。"

又曰：荀颓，承明元年文明太后令百官举才堪干事、人足委仗者，于是公卿咸以颓应选，征拜散骑常侍。

又曰：孝文谓散骑常侍元景曰："卿等自在集书合省逋墮，致使王言遗滞，起居不修。"

《北齐书》曰：宋弁为散骑常侍，迁右将军，领黄门。弁屡让，高祖曰："散骑位在中书之右；常侍者，黄门之庶兄；领军者，二卫之假摄。不足空存推让而弃大委。"

又曰：朝贵多假常侍以取貂蝉之饰，高隆之自表解侍中，并陈(请)[诸]假侍服者，亦请罢之。诏皆如表。

《三国典略》曰：齐遣散骑常侍崔瞻聘于陈。瞻辞韵温雅，南人钦服，(力)[乃]谓之曰："常侍前朝何竟不来，今日谁相对者？"

又曰：贺琛为梁散骑常侍，梁主与语，常移晷刻，故省中语曰："上殿不下有贺雅。"琛容止都雅，故人呼之。

《隋书》曰：案汉官侍内金蝉左貂，金取刚固、蝉取高洁也。

《董巴志》曰：内常侍右貂金珰，银附蝉，内书今亦同此。今宦者去貂，内史金蝉右貂，纳言金蝉左貂。开皇时特加散骑常侍，在门下者貂蝉，至是罢之，惟加常侍。聘外国者特给貂蝉，还则输纳于内省。

《环济要略》曰：散骑常侍入侍左右，出则侍事于廊庑之下。

《华峤集》云：诏曰："散骑以从容侍从，承答顾问，掌赞诏命，平处文籍，故前世多参用文学之士。议郎华峤有论议著述之才，其以峤为散骑常侍兼与中书共参著作事。"峤表谢云："非臣典笔申辞所能陈谢。"

员外散骑常侍

《晋书》曰：吏部郎李重启：东莞太守曹嘉之，才翰学义先代之后，宜补员外常侍。

《晋起居注》曰：咸康八年，司徒王导表员外常侍孙朝，八年告老，弃身茨宇，永绝荣禄，宜给本官秩奉以终余年。

《梁书》曰：贺琛，字国宝，迁员外散骑常侍。旧尚书南座无貂，

貂自琛始也。

通直散骑常侍

陶氏《职官要录》曰：晋太始十年，诏东平王楙为员外常侍，通直殿中，与散骑常侍通直。通直之号，盖自此始也。

朱凤《晋书》曰：左军陈与骞之子以父老求去职，宿卫不宜旷，诏以为通直常侍。

《宋书》曰：通直散骑常侍，员四人，魏末散骑常侍又有在员外。晋武帝使二人与散骑常侍通员直，故谓之通直散骑常侍。晋江左置四人。

《梁书》曰：鲍泉尝乘高幌车，从数十，左右伞盖，服玩甚精。道逢国子祭酒王承，承疑非旧贯，遣访之。泉从者答曰："鲍通直。"承怪焉，复欲辱之，遣逼车问："鲍通直复是何许人，而得如此！"都下少年，遂为口实，见尚豪华人相戏曰："鲍通直复是何许人，而得如此！"以之为笑谑。

《北齐书》曰：张景仁除通直散骑常侍，及奏，御笔点通直字，遂为正常侍也。

《隋书》曰：许善心加通直散骑常侍，聘于隋，遇高祖伐陈，礼成而不获反命，累表请辞，上不许，留絷宾馆。及陈亡，高祖遣使告之，善心素服，号哭于西阶之下，藉草东向，经三日，敕书唁焉。明日有诏就馆，拜通直散骑常侍，赐衣一袭。善心哭，尽哀，入房改服复出，北面立，垂涕再拜受诏。明日乃朝，伏泣于殿下，悲不能兴。上顾左右曰："我平陈国，惟复此人，既能怀其旧君，即是我诚臣也。"敕以本官直门下省，赐物千段，马二十匹。

散骑侍郎

《魏志》曰：文帝延康元年，置散骑常侍、侍郎各四人。

又曰：钟敏字雅叔，年十四为散骑侍郎，机捷谈笑，有父之风。

《魏略》曰：孟康字公休，安平人。黄初中，以於郭后有外属，并受九亲赐拜，遂转为散骑常侍。是时，散骑皆以高才英儒充其选，而康独缘妃嫱，杂在其间，故于时皆共轻之，号为阿九。康既才敏，因在冗官，博读书传，后遂有所弹驳，其文义雅而切要，众人乃更加意。

《晋阳秋》曰：荀颢，字景倩。帝见而奇之曰："荀令，君子也。"擢拜散骑侍郎。

干宝《晋纪》曰：处士冯恢，志行过人，以为散骑侍郎。张华曰："臣请观之，若不见臣，上也；见而有傲世之容，次也。敬而为宾主者，固俗士也。"及华至，恢待之恭，于是时人少之。

《唐书》曰：高祖初平长安，拜舞人安叱奴为散骑侍郎，既在朝列，咸陪游宴。礼部尚书李纲谏曰："臣案《周礼》，均工乐胥，不得预于士伍。虽复才如子野，妙等师襄，皆终身继世，不易其业。故魏武帝欲使祢衡击鼓，先解朝服露体而击之，问其故，对曰："不敢以先王法服而为伶人之衣也。"惟齐末高纬封曹妙达为王，安马驹为开府，有国家者以为殷监。今新定天下，开太平之基，起义功臣，行赏未遍，高才硕学，犹滞草莱，而先令舞胡致位五品，鸣玉曳组，趋驰廊庙，故非创规模贻子孙之道也。"高祖不纳。

《桓氏家传》曰：延康元年初，置散骑之官，皆选亲旧文武之才，以为宾宴之臣，迁桓范为散骑侍郎。

陶氏《职官要录》曰：案汉初有骑郎，常侍有资者得为骑郎，资满五万为常侍郎。张释之以资为常侍郎，盖此官也。

《华峤谱叙》曰：华歆有三子，表字伟(咎)[容]，年二十余，为散骑侍郎。时同寮诸郎共平尚书事。[年]少并厉锋气，要名誉。尚书事至，或有不便，故遗漏不视，及传书者去，即深文论驳。惟表不然，事有不便，辄与尚书共论，尽其意，主者固执，不得已，然后共奏。司空陈恭等以此称之。

员外散骑侍郎

《晋起居注》曰：大兴四年诏曰："今以前司空从事中郎卢谌为散骑侍郎，在员外。"

《晋中兴书》曰：苻坚青州刺史苻朗降，烈宗诏曰："朗深识逆顺，望风归化，既嘉此诚，亦简其才，可员外散骑侍郎，并赐给之。"

《宋书》曰：员外散骑侍郎，置无员。

《后魏书》曰：梁三益，字敬安，于南阳内附，高祖与语，善之。曰："三益，三益，殊不亚，拜员外散骑侍郎。

通直散骑侍郎

《晋大兴元年起居注》曰：置通直散骑侍郎四人。

沈约《宋书》曰：晋元帝使员外散骑侍郎二人与散骑通直，故谓之通直散骑侍郎。

《后魏书》曰：李瑾字道瑜，美容貌，颇有文才，迁通直散骑侍郎，与黄门王遵业、尚书郎卢观典修仪注。临淮王式谓瑾等三俊，共掌帝仪，可谓舅甥之国。王、卢，即瑾之外兄也。

太平御览卷第二百二十五

职官部二十三

御史大夫　御史中丞上

御史大夫

《六典》曰：御史大夫之职，掌邦国刑宪、典章，以肃正朝列；中丞为之贰。凡天下之人有称冤而无告者，与三司谐之。三司即御史大夫、中书、门下也。凡中外百寮之事应弹劾者，御史言于大夫，大事则方幅奏弹之，小事但署名而已。

《汉书·公卿表》曰：御史大夫，秦官也。应劭曰："侍御之率，故称大夫。"

《史记》曰：赵尧者，少为符玺御史。赵人方兴公谓御史大夫周昌曰："君之吏赵尧，年虽少，奇士也，君必异之，且代君位。"昌笑曰："尧，刀笔吏，何能至是乎？"居顷之，尧侍，高祖独不乐，悲歌，群臣不知所以然。尧进问："陛下所悲者，非为赵王年少而戚夫人与吕后有隙，万岁之后而赵王不能自全乎？"高祖曰："然。吾私忧之，不知所出。"尧曰："陛下独宜为赵王置强相，及吕后、太子、群臣所素敬惮者乃可。"高祖曰："然。谁可？"尧曰："御史大夫周昌，其人(贤)[坚]忍质直，且吕后，太子及大臣皆敬惮之。独昌可。"高祖乃召问昌，谓之曰："吾欲固烦公，公强为我相赵。"昌泣曰："臣初起从陛下，独奈何中道而弃之于诸侯？"高祖曰："吾极知其左迁，[然](君)[吾]私忧赵，念非公毋可者。"于是徙昌为赵王相。既行，高祖持御史大夫印弄之，曰："谁可为御史大夫者？"孰视赵尧，曰："毋以易尧。"遂拜尧[为]御史大夫。

《汉书》曰：元帝时，琅琊贡禹为御史大夫，而华阴守承嘉上封

事言："治道在于得贤。御史之官，宰相之副，九卿之右，不可不选。平陵朱云兼资文武，中正有智略，可使以六百石秩，试守御史大夫，尽其能。"

又曰：朱博为御史大夫，府吏舍百余区，井泉俱竭；又其府中列柏树常有野乌数千栖其上，晨去暮来，号曰朝夕乌。后去不来者数月，长老异之，果废焉。

又曰：汲黯谓上曰："公孙弘位在三公，奉禄甚多，然为布被，此诈也。"上问弘，弘谢曰："有之。夫三公为布被，诚饰诈以钓名，今臣弘位为御史大夫，九卿以下无差，诚如黯言。"

又曰：公孙弘为御史大夫时，又东置沧海，北置朔方之郡。弘谏以为罢弊中国以奉无用之地，愿罢沧海，专奉朔方。上许之。

又曰：张汤为御史大夫，舞文巧诋以辅法。

又曰：张欧为御史大夫，上具狱事可却之，不可者不得已而为之，涕泣对之。其爱人若此。年老请免，天子亦宠以上大夫禄归老于家。

又曰：杜周为御史大夫，后周子延年又为御史大夫，以居父官府，不敢当旧位，坐卧皆易其处。

又曰：倪宽为御史大夫，以称意任职，故久无所匡谏，官属易之。

又曰：张汤为御史大夫，每朝奏事，语国用，日旰，天子忘食。丞相充位而已。

又曰：晁错迁御史大夫，请诸侯之罪过则削其地，奏上，上令公卿列侯宗室集议，莫敢难错，独窦婴争之，由此与婴有隙。

又曰：哀帝建平二年，朱博奏请罢大司空，以御史大夫为百僚帅，帝从之。

又曰：梁相褚大通五经，为博士，倪宽为弟子。及御史大夫缺，征褚大，大自以为得御史大夫。至洛阳，闻宽为大夫，褚大笑。及至与宽议封禅于上前，大不能及，退而服曰："诚知之。"

《汉书·百官志》曰：御史大夫，秦官，位上卿，银印青绶，掌副丞相事。

《汉杂记事》曰：故事，上书为二封，其一曰副，领尚书者先发之，有不善，屏去不奏。魏相为御史大夫，奏去副封以防拥蔽。

《汉旧仪》曰：御史大夫寺，在司马门内，门无塾，门署用梓板，不起(郭邑)[㙡色]，题曰"御史大夫寺"。

北齐杨楞伽《邺都故事》云：御史台在宫阙西南，其门北开，取冬杀之义也。

《唐书》曰：韦挺。太宗尝谓挺曰："卿之任御史大夫，独朕意耳！左右大臣无为卿地者，卿勉之哉！"

又曰：薛谦光拜御史大夫时，僧惠范恃太平公主权势，逼夺百姓店肆，州县不能理。谦光将加弹奏，或请寝之。谦光曰："宪台理冤滞何所回避？朝弹暮黜亦可矣。"遂与殿中蔡容珣奏弹之。

又曰：韦思谦除右肃政大夫，遂坐受拜，或以为言。谦曰："国家班列自有等差，奈何以姑息为事。"

又曰：崔隐甫为大夫，一切督责之事，无大小，悉令咨决，稍有忤意，列上其罪。前后贬黜者过半，群僚侧目。上常谓曰："卿为大夫，深副朕所委。"

又曰：肃宗幸灵武，李岘应召至行在，拜扶风郡太守兼御史大夫。既收京师，拜礼部尚书、守京兆尹，复兼御史大夫。时岘兄峘为户部尚书，兼成都尹。乾元初，玄宗还京，峘自蜀至，又兼御史大夫，兄弟俱判台事。自国初以来，兄弟并拜大夫，未有其比。时长安士庶，皆赋美之。

又曰：崔纵劝李怀光西至奉天，加右庶子充使，无几，拜京兆尹兼御史大夫。数奏怀光刚愎反覆，宜阴备之。及幸梁州，左右或短之，曰："纵素善怀光，必不来矣。"上曰："他人不知，纵吾可保。"不数日，纵至，拜御史大夫。

又曰：李元素征拜御史大夫。大夫自贞元中位缺，久难其人。

至是，元素以名望召拜，中外耸听。及居位，——无修举，但规求作相。久之，寖不得志。见客必曰："无以某官散相疏也。"见属官必先拜，脂韦在列，大失人情。

又曰：李景让转御史大夫。景让慷慨有大志，事母以孝闻，正色立朝，言无避忌。时宣宗皇舅郑光卒，诏赠司徒。罢朝三日，景让曰："国舅虽亲，朝典有素，无容过越。"乃上言曰："郑光是陛下亲舅，外族之爱，诚轸圣心；况皇太后哀切之时，理合加等，而赐之粟帛，降之吊问。自家刑国，允谓合宜，今以辍朝之数，比于亲王公主，即前例所无，纵有亦不可施用。何者？先王制礼，所贵防微。大凡人情，于外族则深，于宗属则薄。所以先王制礼，割爱厚亲，士庶犹然，况当万乘。亲王公主，宗属也；舅氏，外族也。今朝廷公卿以至庶人，据《开元礼》，外祖父母及亲舅丧，止服小功五月；若亲伯叔、亲兄弟，即服齐缞周年，所以疏其外而密于内也。有天下者，尤不可使外戚强盛。故西汉有吕氏之侈，几灭刘氏；国朝有则天之篡，殆革唐命。盖非一朝一夕，其所由来渐也。今郑光辍朝日数，与亲王公主同，设使陛下速改诏命，辍朝一日或两日，示其升降有差，恩礼无僭，使四方见陛下钦明之德，青史传陛下制度之文，垂之百王，永播芳烈。臣愚不肖，谬窃恩私，实愿陛下处于尧、舜之上，羲、轩之列，所以甘心鼎镬，伏进危言。"优诏报之，乃罢朝两日。

又曰：田令孜军[败]，沙陀逼京师，[帝]移幸凤翔，邠帅朱玫引兵来迎驾。令孜挟帝幸山南。时中夜出幸，百官不及扈从，而随驾者黄门卫士数百人而已。帝驻宝鸡候馆，诏授孔纬御史大夫，遣中史传诏，令纬率百僚赴行在。时京师急变，从驾官属至盩厔，并为乱兵所剽，资装殆尽。纬承令见宰相论事，萧遘以田令孜在帝左右，意不欲行，辞疾不见。纬遣台吏促百官上路，皆以袍笏不具为词。纬无如之何，乃召三院御史，谓之曰："吾辈世荷国恩，身居宪秩，虽六骑奔道，而咫尺天颜，累诏追征，皆无承禀，非臣子之义也。凡布衣交旧，缓急犹相救恤，况在君亲？策名委质，安可背耶！"言

竟泣下。三院曰："夫岂不怀，但盐厘剽剥之余，乞食不给，今若道途聊营一日之费，俟信宿继行可也。"纬拂衣而起曰："吾妻危疾，旦不得夕，丈夫岂以妻子之故，(忽)[怠]君父之急耶？公辈善自为谋，吾行决矣。"即日见李昌符告曰："主上再有诏命，令促百寮前进。观群公之意，未有发期，仆忝宪阁，不宜居后。道途多梗，明公幸假五十骑，送至陈仓。"昌符嘉之，谓纬曰："路无顿递，裹粮办耶？"乃送钱五十缗，令骑士援纬达散关。纬知朱玫必蓄异志，奏曰："关城小邑，不足以驻六师，请速幸梁州。"翌日，车驾离陈仓，才入关，而邠、岐之兵围宝鸡，攻散关。微纬之言，几危矣。

《五代史·后唐史》曰：天成元年夏六月，以李琪为御史大夫，自后不复除。

《通典》曰：汉御史大夫，副丞相事，若今之同平章及参知机务之类。所以《汉书》云"薛、贡、直、匡迭为宰相。"薛宣、韦贤、匡衡则是丞相，而贡禹但为御史大夫。

又曰：武后时，改御史台为肃政台，凡置左、右肃政二台，别置大夫、中丞各一人，侍御史、殿中、监察各二十人。

《汉武帝集》曰：武帝作柏梁台，诏群臣二千石，有能为七言诗者乃得上坐，御史大夫曰："刀笔之吏臣执之。"

《唐中宗授杨再思检校左台大夫制》曰：避车要秩，非德靡升；专席雄班，惟贤是属。侍中杨再思，衣冠旧齿，廊庙宏材，寒暑不易其心，始终弗亏其度。在明时而有立，居暗室以无欺。投水陈谟，迈汉朝之三杰；霑砂作相，掩虞日之五臣。森乎抱松柏之心，凛若负冰霜之气。伫因献替，兼肃权豪。宜分务于鸾扃，俾效能于乌署。

又《苏珦授右台大夫制》曰：乌台峻秩，望总铁冠，苍珮崇班，威高石室。诚副相之荣级，实次卿之通任。前岐州苏珦，词吞楚泽，量湛黄陂。既光大厦之材，堪入巨川之用。西京展骥，道掩题舆；右辅凭熊，风超露冕。朱幡雾撤，初停州县之劳；白简霜凝，宜屏权

豪之气。

御史中丞上

韦昭《辨释名》曰：御史中丞，居中丞相者也。辨云：此中丞自御史大夫下丞有二，其一别居殿中，举不法，故曰中丞。

《周礼》曰：(周)[天]官，小宰之职，(常)[掌]建邦之宫刑，以理王宫政令，凡宫之纠禁。注曰：若汉之御史中丞。

《史记》曰：臧宣为御史及中丞者几三十年，以微文深诋、杀者甚众，称为敢决。

《汉书》曰：陈咸字子康，沛郡人。为中丞总领州郡奏事，课第诸刺史，执法殿中。公卿已下，皆敬惮之。

又曰：鲍宣字贡君，为中丞，执法殿中，外总部刺史、郡国二千石所贬退称进，白黑分明，由是知名。

又曰：中丞有石室，以藏秘书图讖之属，以其居殿中，故曰中丞。

又曰：张汤为御史大夫，(丞)[承]上[旨]，请造白金与五铢钱，笼天下盐铁，排富商大贾。

《东观汉记》曰：樊准字幼陵，为御史中丞，举正非法，百僚震悚。

又曰：宣秉，建武元年拜御史中丞，上特诏御史中丞与司隶校尉尚书令会同并专席而坐，故京师号曰三独坐。

《后魏书》曰：高恭之字道穆，为御史中丞。帝姊寿阳公主行犯清路，执赤棒卒呵之不止，道穆令卒棒破其车，公主深以为恨，泣以诉帝。帝谓[公]主曰："高中尉清直之人，彼所行者公事，岂可以私恨责之耶！"道穆后见帝，帝曰："一日家姊行路相犯，极以为愧！"道穆免[冠]谢曰："臣蒙陛下恩，奉陛下法，不敢独于公主亏朝廷典章。"

谢承《后汉书》曰：陈谦字伯让，拜御史中丞，执宪奉法，多所纠

正，为百僚所敬。尚书选举，序位旌贤，常咨问谦。自陈蕃虽尊为宰相，论议褒贬，每往质疑，皆服其清识高亮。

《续汉书》曰：马严字威卿，拜御史中丞，赐冠、帻、衣服、车马。严举劾案章，申明旧典，奉法按举，无所回避，百寮惮之。

《汉官仪》曰：御史中丞二人，本御史大夫之丞。其一别在殿中兼典兰台秘书，外督部刺史，内领侍御史，受公卿章奏，纠察百僚。

《汉旧仪》曰：御史中丞，督司隶，司隶督司直，司直督刺史，刺史督二千石以下。

《汉官解诂注》曰：建武以来，省御史大夫官属入侍兰台。兰台有十五人，特置中丞一人以总之。此官得举非法，其权次尚书。

《魏志》曰：鲍勋字叔业。黄初四年，尚书令陈群、仆射司马宣王并举勋为官正，官正即御史中丞也。帝不得已而用之，百寮严惮，罔不肃然。

《魏氏春秋》曰：故事，御史中丞与洛阳令相遇，则分路而行，以土主多逐捕，不欲稽留也。

太平御览卷第二百二十六

职官部二十四

御史中丞下　侍书侍御史

御史中丞下

《晋书》曰：熊远字孝文。迁御史中丞，中宗每叹其公忠，谓远曰："卿在朝政正色，不茹柔吐刚，忠亮至劲，可谓王臣。"

又曰：庾峻字山甫，为御史中丞，优而不克。

又曰：周处字子隐，为御史中丞，奏征虏将军石崇、大将军梁王彤等，正绳直笔，权豪震肃。

又曰：刘暾他昆切。字长升，兼中丞，奏免尚书仆射等十余人，朝廷嘉之，遂以即真。

谢灵运《晋书》曰：汉官，尚书为中台，御史为宪台，谒者为外台，是为三台。自汉罢御史大夫而宪台犹置，以丞为台主，中丞是也。

《晋中兴书》曰：王恬字元逾，音俞。为御史中丞，值海西公废，太宗即位，未解严，大司马桓温屯中堂，夜吹警角。恬奏劾温大不敬，请理罪。明日，温见奏事叹曰："此儿乃敢弹我，真可畏也。"

又曰：熊远迁御史中丞，尚书郎卢綝入直，逢尚书刁协于大司马门外。协醉，使綝避之。綝以当直不肯回，协令人牵綝堕马，至协车前而后释。远奏请免协官。诏令白衣领职。

又曰：刘瑀音雨。迁御中史丞。瑀气尚人，为宪司，甚得志。弹萧惠开云："非才，非望，非勋，非地。"弹王僧远云："荫籍高华，人品冗末。"朝士莫不畏其笔端。

又曰：萧惠开拜御史[中丞]。世祖与刘季之诏曰："今以萧惠

开为宪司，冀当称职。但往一服，额已自殊，有所震及。"在任百寮畏惮之。八年入为侍中，诏曰："惠开前任宪，奉法绳，不阿权戚，朕甚嘉之，可更授御史中丞。"

又曰：郑鲜之迁御史中丞，明宪直绳，甚得直司之体。外甥毅权重当时，朝廷莫不归附。鲜之尽心，高祖独不屈意，毅甚恨焉。"

又曰："荀伯子为御史中丞，莅职勤恪，有匪躬之称。立朝正色，内外惮之。凡所奏劾，莫不深相呵毁，或延及祖宗，其言切直。又颇杂嘲戏，故世人以此非之。

《齐书》曰：王僧处迁御史中丞。甲族由来多不居宪职，王氏分枝居乌衣者位官微减。僧处为此官，乃曰："此是乌衣诸郎坐处，我亦可试为耳！"

又曰：江淹为御史中丞，明帝作相谓淹曰："君昔在尚书中，非公事不妄行，在官宽猛能折衷，今为南司，足以震肃百寮也。"曰："今日之事，可谓当官而行，更恐不足仰称明旨耳！"于是弹中书令谢朏、音斐。司徒左长史王绩、音茜。护军长史庾弘远，并以托疾不预山陵公事。又奏收前益州刺史刘悛、梁州刺史阴智伯并赃货巨万，辄收付廷尉。临海太守沈昭略、永嘉太守庾昙隆及诸郡二千石，并大县官长多被劾，内外肃然。明帝谓曰："自宋已来不复有严明中丞，君今日可谓近世独步。"

《梁书》曰：乐蔼迁御史中丞。初，蔼发江陵，无故于船得八车辐，如中丞健步避道者。至是果迁焉。

又曰：王僧孺兼御史中丞。僧孺幼贫，其母鬻纱布以自业，携僧孺至市，道遇中丞卤簿驱迫坠沟中。及是拜日引驺清道，悲感不自胜，顷之即真。

《后魏书》曰：李彪为中尉，号为严酷。以奸款难得，乃为木手击其胁腋，气绝而后属者时有。汾州叛胡，得其凶渠，皆鞭面杀之。及彪之病也，体上疮溃，痛毒备极。

又曰：李彪迁御史中尉。彪为高祖所宠，性又刚直，遂多所弹

纠，远近畏之，豪右屏气。高祖尝呼为李生，又从容谓群臣曰："吾之有李生，犹汉之有汲黯。"

《北齐书》曰：齐王高澄用崔暹为御史中尉，宋游道为尚书左丞，谓之曰："卿一人处南台，一人处北省，当使天下肃然。"

又曰：琅邪王俨，字仁威，武成第三子，累为御史中丞。魏氏[旧]制，中丞出，清道，与皇太子分路行，王公皆迳住车去牛，顿车于地，以待中丞过，其或违迟，则赤棒棒之。自都邺后，此仪寖绝。武成欲雄宠俨，乃使一依旧制。初，从北宫出，将上宫丞，凡京畿步骑，领军之官属，中丞之威仪，司徒之卤簿，莫不毕备。时俨总领四职，帝与胡后在华林园东门外张幕，隔青纱步幛观之。遣中使骤马趣仗，不得入，自言奉敕，赤棒应声碎其鞍，马惊人坠。帝大笑，以为善。更敕令驻车，传语良久，观者倾京邑。

《陈书》曰：徐陵除散骑常侍、御史中丞。时安成王为司空，以帝弟之尊，势倾朝野。直兵鲍僧叡假王威权，抑塞辞讼，大臣莫敢言者。陵闻之，乃为奏弹，导从南台官属，引奏案而入。世祖见陵服章严肃，若不可犯，为敛容正色坐。陵进读奏状时，安成王殿上侍立，仰视世祖，流汗失色。陵遣殿中御史引王下殿，遂劾免侍中、中书监。自此朝廷肃然。

《隋书》曰：后魏延昌中，王显有宠于宣武，御史中丞请革选御史，此后蹑其事，每一[殿]中(尉)更置御史。自开皇后，始自吏部选用，依旧入直禁中。

《唐书官品志》曰：中丞一人，掌督司百僚。皇太子已下，其在营门行，行马内违法者，皆纠弹之。虽在马外而监司不纠，亦得奏之。专道而行，逢尚书丞、郎，亦得停驻。

又曰：张易之纵恣益横，尝私引相工李引泰占吉凶，言涉不顺。御史丞宋璟音冏。请穷究其状，武太后曰："易之等已上闻。"璟曰："谋反大逆，无容首免。易之等分外承恩，臣知言出祸从，然义激于心，虽死不恨。"太后不悦。内史姚璹音孰。恐忤旨，遽宣敕令出。

璟曰："天颜咫尺，亲奉德音，不烦宰相擅宣王命。"太后意解，乃收易之等就狱，寻诏原之，命就宅谢罪。璟拒而不见，曰："公事当公言之，若私见，法无私也。"

又曰：御史中丞姚庭筠奏称："律令格式，悬之象魏，奉而行之，事无不理。比见诸司寮寀，不能遵守章程，事无大小，皆悉闻奏。臣闻为君者任臣，为臣者奉法，故云汝为君目，将司明也。则知万机务综，不可遍览也。所以设官分职者，委任责成，百工惟时，以成垂拱之化。比者，或修一水窗，或伐一枯木，并皆上闻。旒扆取断宸衷，岂代天理物，至公之道也。自今已后，若缘军国大事及牒式无文者，任奏取进旨。自余据章程合行者，各令准法处分。其故生疑滞致有稽失者，请令御史随事纠弹。"上从之。

又曰：卢奕，怀慎之少子也。与兄奂音唤。齐名，天宝十一年为御史中丞。始怀慎及奂并为此官，父子三人为中丞，清节不易，时人美之。

又曰：齐映为御史中丞，从德宗幸梁州，每遇险，映尝执辔，会上马惊，跳奔益甚。上惧伤映，令舍辔，映坚执，久之乃止。问其故，对曰："马奔踶，音弟。不过伤臣；如舍之，或犯清尘。虽臣万死，何以塞责？"上嘉叹无已。

又曰：御史中丞武元衡奏："贞元二年御史中丞窦参所奏，凡诸使兼宪官者，除元帅、都统、节度、观察、都团练、防御等使，余并在本官之位。其后苏弁、音卞。于頔音顾。以度支郎中兼御史中丞，邓求以易州刺史兼御史大夫，皆奉进旨，令在同类之上。伏以前后异同，遵守不一，臣谨议伏请，自今常参官兼御史大夫中丞者，惟检校省官，立在本品同类之上。"从之。

又曰：元和中御史中丞王播奏："监察御史，旧例在任二十五月转准具员，不加，今请仍旧。殿中侍御史，旧例在任十三月转准具员，加至十八月，今请减至十五月。侍御史，旧例在任六月转准具员，加十三月，今请减至十月。"从之。

又曰：文宗开成初，中丞狄兼谟谢官，上曰："御史中丞，朝廷纪纲，一台理则朝廷理，朝廷理则天下理。无旷厥职。"兼谟奏曰："凡天下有碍法不得中道事，臣尽得以弹奏。"上曰："大抵以顾望畏忌为心者，自失职业。卿梁公之后，将嗣家声，不可不留意。"

又曰：文宗谓宰臣曰："丁居晦作中丞何如？"因悉数大臣而品第之，叹曰："宋申锡堪任此官，惜哉！"

又曰：牛僧孺可为大夫，宰臣郑覃曰："顷为中丞，未尝搏击，恐无风望。"上曰："不然，鸾凤与鹰隼事异。"

又曰：居晦作此官，朕曾以时谚谓杜甫、李白辈为四绝问。居晦曰："此非君上要知之事。"常以此记得居晦，今所以擢为中丞。

又曰：会昌元年，中书门下奏："御史中丞为大夫之贰，缘大夫秩崇，官不常置，中丞常为宪台之长。今寺监、少卿、少监、司业、少尹并为寺置之贰，皆为四品。中丞，官名至重，见秩未崇，望升为从四品。"从之。

又曰：薛存诚为给事中。琼林库使奏召工徒太广，存诚以为此者奸人窜名以避征徭，不可许。咸阳尉袁儋都甘切。与军镇相竞，军人无理，遂肆侵诬，儋反受罚。二赦继至，存诚皆执之。上闻甚悦，命中使嘉劳。由是选拜御史中丞。

又曰：孔纬为御史中丞。纬器志方雅，嫉恶如仇。既总宪纲，中外不绳而自肃。

又曰：卢坦为御史中丞，裴均为仆射，左班逾位请退之，均不受。坦曰："姚南仲为仆射，例如此。"均曰："南仲何人？"坦曰："南仲是守正而不交权幸者。"寻罢为右庶子，时人归咎于均。

《三国典略》曰：梁张绾，字孝卿，雍州刺史绩之弟也。梁主策其百事，绾对阙其六，乃号为百六公。常为御史中丞，兄绩为仆射。元日朝会，及百司就列，兄弟并导殆两途，前世未有，时人荣之。

崔鸿《十六国春秋前录》曰：段凯骁勇善射，好读书，为御史中丞，明笔直绳，无所阿避，号曰老虎。

《傅咸集》：奏曰：司隶中丞得纠太子而不得纠尚书。臣所未譬，朝廷无以易之。梅陶自叙曰："余居中丞，曾以法鞭皇太子傅，亲友莫不致谏。余笑而应之。堂高由陛下，太子所以崇于上，由吾奉王者法，吾岂枉道曲媚？后皇太子特见延请，赐以请宴礼之，如师。"袁淑《谢中丞章》曰："窃惟此职，昭赞实预损益，必须廉明威正。刺骨穷文，使权家勋族不敢藉强而侮物；戚门右姓不得称雄以掩众。昔傅咸卧治，傧辟戢惧；孙宝移疾，卿尹皆怠。"

持书侍御史

《汉书》曰：宣皇帝元凤中，路温舒上书宜尚德缓刑，帝深采览之。季秋后谳时，谳，鱼列反，又音谳。帝幸宣室齐宫而决事，命侍御史二人持书，遂置持书御史。

《通典》曰：御史中丞，旧持书御史也。国讳改焉，后历代皆同。

《风俗通》曰：顷者，廷尉多墙面而苟充兹位，持书侍御史不复平议谳，当纠纷，岂一事哉！里语曰："县官漫漫，冤死者半。"

《后汉书》曰：蔡邕以侍御史转持书御史，迁尚书，三日之间，周迁三台。

《续后汉书·百官志》曰：持书御史，秩百石，掌选明法律者为之。天子疑狱，以法律谳是非，纠六品已下。桓帝以后不治狱，充位而已。

《魏志》曰：王观字伟台，东郡亶丘人也。明帝幸许昌，召观为治音持，下同。书侍御史，典行台狱。时多仓卒喜怒，而观不阿音顺旨。

《晋书》曰：杜预为镇南，入辞，口启陈寿才史通博，宜补黄散也。黄，黄门侍郎。散，散骑常侍。上曰："寿可作治书否？"预对曰："惟在圣诏。"即手诏用之。

又曰：太始四年置黄沙狱、持书御史一人，秩与中丞同，掌诏狱及廷尉不当，皆理之。

《梁书》曰：谢几卿，天监初除征虏，鄱阳王记室，尚书三公侍郎，寻为[治书]侍御史。旧郎官转为[此]职者，世谓为南奔。几卿颇失志，多陈疾，台事略不复理。(从)[徙]为散骑侍郎。

《后魏书》曰：高道悦拜治书御史，正已当官，亡惮强御，奏举任城王王澄等免官。高祖诏褒美之。

《隋书》曰：柳彧迁治书侍御史。于时刺史多任武将，类不称职。彧上表曰："方今天下太平，四海清谧，共治百姓，[须]任其才。昔汉光武一代明哲，超自布衣，备知情伪，与二十八将，披荆棘，定天下，及功成之后，无所职任。伏见诏书以上柱国和干子为杞州刺史，其人年垂八十，钟鸣漏尽。前任赵州，暗于职务，政由群小，贿赂公行，百姓吁嗟，歌谣满道。乃云：老禾不早杀，余种秽良田。古人有云：耕当问奴，织当问婢。此言各有所能也。干子弓马武用，是其所长，治民莅职，非其所解。至尊思治，无忘兴寝，如谓优老尚年，自可厚赐金帛，若令刺举，所损殊大。臣死而后已，敢不竭诚！"上善之，干子竟免。

又曰：梁毗为持书御史。时京师饥，上令禁酒，刘昉使妾任任，纵也。屋当炉酤酒，毗劾奏昉曰："臣闻处贵则戒之以奢，持满则守之以约。昉既位列郡公，秩高庶尹，廪爵稍久，厚禄已淹，正当戒满归盈，监斯止足。何乃规曲蘖之润，竞锥刀之末，身昵酒徒，家为逋薮？若不纠绳，何以肃厉！"有诏不治，昉郁郁不得志。

又曰：柳彧为治书御史，右仆射杨素当途显贵，百寮慑惮，无敢忤者。尝以少遣，敕送南台。素侍贵，坐彧床。彧从外来，见素如此，于阶下端笏整容，谓素曰："奉敕治公之罪。"素遽下，彧据案而坐，立素于廷，辨诘事状。素由是衔之。

《唐书》曰：孙伏伽初以三事上谏，高祖大悦，擢拜治书侍御史，兼赐帛三百匹。时军国多事，赋敛繁重，伏伽屡奏请改革旧政，高祖并纳之，因谓裴寂曰："隋末无道，上下相蒙，主则骄矜，臣惟谄佞，上不闻过，下不尽忠，使社稷倾危，身死匹夫之手。朕拨乱反

正，志在安人，平乱任武臣，官方委文吏，庶得各展器能，以匡不逮。此每虚心接待，冀闻说言。然惟李纲差尽忠款，孙伏伽可谓诚直，余人犹踵弊风，俯首而已，岂朕所望哉？"

江总《赠孔中丞诗》曰：我行五岭表，辞乡二十年，闻鹦欲动咏，披雾即依然。畴昔同寮宋，今随年代改。借问藏书处，惟君故人在。故人名宦高，清简肃权豪。谁知怀九叹，徒然泣二毛。

傅咸《御史中丞箴叙》曰：百官之箴，以箴王阙。余承先君之踪，窃位宪台，惧有忝累垂翼之责，且造斯箴以自勖励。不云自箴，而云御史中丞箴者，凡为御史中丞，欲通以箴之也。词曰："煌煌天文，众星是环。爰立执法，其晖有焕。执宪之纲，秉国之宪。鹰扬虎视，肃清违慢。蹇蹇匪躬，是曰王臣。既直其道，奚顾其身？身之不顾，孰有弗震？邦国若否，惟仲山甫是明。焉用彼相，莫扶其倾。淮南构逆，实惮汲生。赫赫有国，可无忠贞！忧责有在，绳亦必直。良农耘秽，勿使能植。无礼是逐，安惜翅翼？喏尔庶寮，各敬乃职。无为罚先，无怙厥力。怨及朋友，无惭于色。（罪）[得之]天子，内省有恧。音匿，惭也。是用作箴，惟以自敕。"

太平御览卷第二百二十七

职官部二十五

侍御史　殿中侍御史　监察御史

侍御史

《六典》曰：侍御史掌纠举百僚，推鞫狱讼。凡有别付者，则按其实状以奏。若寻常之狱，推讫，断于大理。凡事非大夫、中丞所劾而合弹奏者，则具其事为状；大夫、中丞押大事，则豸冠、朱衣、缠裳、白纱、中单以弹之，小事常服而已。

《续汉书·百官志》曰：侍御史，员五人，秩六百石。以公府掾属高第补之，或牧守、议郎、郎中为之。掌察非法，受公卿群吏奏事，有违失者举劾之。凡郊庙及大拜则一人监威仪，有违失者则劾奏。

《汉官仪·侍臣下》曰：御史，秦官也。案(问)[周]有御史，掌邦国都鄙及万民之治，(今)[令]以赞冢宰。

应劭《汉官仪》曰：侍御史，周官也。为柱下史，冠[法冠]一名曰"柱后"，以铁为之，言其审固不挠也。或说古有獬豸兽，主触邪佞，故执宪者以其角形为冠耳。余览《秦事》云："始皇灭楚，以其君冠赐御史。"汉兴袭秦，因而不改。

《汉书仪》曰：御史员四十五人，皆是六百石。其十五人衣绛，给事殿中为御史。宿庐在石渠门外，二人尚玺，四人持书，给事二人侍前，中丞一人领余三十人留寺，理百官事也。

《史记》曰：赵禹者，郿人。武帝即位，禹以刀笔吏积劳迁为侍御史，与张汤论定律令。

又曰：下杜人程(恳)[邈]为御史，得罪始皇，幽系云阳十年。从狱中作大篆，少者增益，多者减损，方者使员，员者使方，奏之，始

皇善之，出为御史。

又曰：张苍好旧历，秦时为御史，主柱下方书。

《汉书》曰：江充拜直指绣衣，使督三辅盗贼，禁察逾侈。时近臣多奢僭，充皆举劾，请没入车马，令身从北军击匈奴。奏闻，贵戚惶恐。

又曰：王驾字翁孺，武帝时为绣衣御史，逐捕群盗，皆纵而不诛。

又曰：严延年迁御史，劾霍光专废立。

《东观汉记》曰：陈宠，曾祖父咸哀平间以明律为侍御史。王莽篡位，父子相将归乡里，闭门不出，乃收家中律令、文书壁藏之，以俟圣主。咸常戒子孙为人议法当依轻，虽有百金之利，无与人重。

《后汉书》曰：桓典为侍御史，执政无所避，常乘驄马，京师畏之。语曰："行行且止，避驄马御史。"

又曰：杜诗为御史，安集洛阳。时将军萧广放纵兵士，暴横民间，百姓惶扰。诗敕晓不改，遂格杀广，还以状闻。世祖召见，赐以笨戟焉。

又曰：李恂拜侍御史，持节使幽州，宣布恩泽，慰抚北狄，所过皆图写山川、屯田，聚落百余卷，悉封奏上，肃宗嘉之。

又曰：光武闻杜林还三辅，乃征拜侍御史。引见，问以经书、故旧及西州事，甚悦之，赐以车马衣被。

又曰：陈翔字子麟，拜侍御史。元日朝贺，大将军梁冀威仪不整，翔奏请收冀理罪，时人奇之。

又曰：杨秉字叔节，拜侍御史，京畿咸称其宰相之才。

又曰：谯玄为绣衣使者，持节分行天下，观览风俗，所至专行诛赏。

《续后汉书》曰：种暠字景伯。顺帝时为侍御史，监护太子[于]承光宫。中常侍高梵受敕迎太子，不赍诏书，以衣车载太子欲出，太子太傅高褒不知所以，力不能止，开门临去。暠至，横剑当车曰：

"御史受诏监护太子。太子国之储副，人命所系。常侍来，无一尺诏书，安知非挟奸耶？今日之事，有死而已。"梵不敢争。

又曰：张纲字文纪，迁侍御史。汉初，遣八使巡行风俗，八使同日拜，谓之八彦，皆宿儒要位，惟纲年少官微，受命各之所部，而纲独埋车轮于洛阳都亭，曰："豺狼当路，安问狐狸？"遂奏大将军梁冀兄弟罪恶，京师震悚。

《魏志》曰：袁绍字本初，有姿貌威容，能折节下士，士多附之。太祖少与交，以大将军掾为侍御史。

又曰：帝尝大会殿中，御史簪白笔侧阶而坐，上问左右："此为何官何主？"左右不对。辛毗曰："谓御史。旧时簪笔以奏不法，今者直备官但珥[笔]耳。"

《吴志》曰：吕岱亲近吴都徐原，慷慨有才志，岱知其可成，赐巾褠，(古)[居]侯切，丹衣。与共言论，后遂荐拔，官至侍御史。原性忠壮，好直言。岱时有得失，原辄谏争，又公论之，人或以告岱，岱笑："是我所以贵德渊德渊，岱字。者也。"及原死，岱哭之甚哀，曰："德渊，吕岱之益友，今不幸，岱复于何闻过？"谈者美之。

又曰：张纮字子纲，广陵人也。孙策遣纮奏章至许宫，留为侍御史，少府孔融等皆与亲善。

又曰：朱据字子范，吴郡人也，补侍御史。是时选曹尚书暨艳疾贪污在位，欲沙汰之。据以为天下未定，宜以功覆过，弃瑕取用，举清励浊，足以沮劝，若一时贬黜，惧有后咎。艳不听，卒败。

《晋书》曰：庾峻字山甫。长安大狱久不决，转峻御史往断，朝野称当。

又曰：刘毅子皦，它昆切。正直有父风，为御史。库失火，尚书郭彰率百人自卫而不救火，皦正色诘之。彰怒曰："我能截卿角也！"皦勃然谓彰曰："君何时敢恃宠作威作福，天子法冠而欲截角！"呼命纸笔奏之，彰伏不敢言。众人皆释，乃止。

《隋书》曰：柳调转侍御史，左仆射杨素尝于朝堂见调，因独言

曰："柳调通体弱，独摇不须风。"调敛板正色曰："调信无取者，公不当以为侍御史；调信有可取，不应发此言！公当具瞻之秋，枢机何可轻发？"素甚奇之。

又曰：游元为侍御史，奉使于黎阳督运，会杨玄感作逆，乃谓元曰："独夫肆虐天下，士大夫肝脑涂地，以陷身绝域之所，军粮断绝，此亦天亡之时，我今亲率义兵诛无道，卿意如何？"元正色答曰："尊公荷国宠灵，功参佐命，高官重禄，近古莫俦，公之兄弟青紫交映，当谓竭诚尽节，上答鸿恩，岂意坟土未干，亲图反噬，深为明公不取，愿思祸福之端。仆有死而已，不敢闻命。"玄感怒而囚之，屡胁以兵，竟不屈节，于是害之。

又曰：陈孝意，大业初为鲁郡司法书佐，郡内号为廉平。太守苏威尝欲杀一囚，孝意固谏，至于再三，威不许。孝意因解衣，请先受死。良久，威意乃解，谢遣之。渐加礼敬。及威为纳言，奏孝意侍御史。

又曰：獬豸冠，案《礼图》曰："法冠也。一曰柱后惠文。"如淳注《汉官》云："惠，蝉也。细如蝉翼，今御史服之礼图也。"

又曰：獬豸冠，高五寸，秦制也。法官服之。案《董巴志》云："獬豸，神羊也。"蔡邕云："如麟一角。"应劭曰："古有此兽，主触不直，故执宪者为冠以象之。秦灭楚，以其冠赐御史。"

《唐书》：李素立丁忧，高祖令所司夺情授七品清要官，所司权拟雍州刺史录参军。高祖曰："此官要而不清。"又拟秘书郎，高祖曰："此官清而不要。"遂擢授侍御史。

又曰：柳范为侍御史，时吴王恪好畋猎，损居人[田苗]，范奏惮之。太宗因谓侍臣曰："权万纪事我儿，不能匡正，其罪合死。"范进曰："房玄龄事陛下，犹不能谏止畋猎，岂可独罪万纪？"太宗大怒，拂衣而去。久之，独引范曰："何得逆折我？"范曰："臣闻主圣臣直，陛下仁明，臣敢不尽愚直？"太宗意乃解。

又曰：高宗尝问群臣求可为御史者，佥举万年尉杨子失其名。

居数月，复问之，群臣又举焉。上曰："吾闻斯人常褒服居公堂视事，其可为准绳司乎？"由是百司群僚必表而视事。

又曰：乾封中韦仁约除侍御史，与公卿相见，未尝行拜礼。或勉之，仁约曰："雕鹗鹰鹯岂众禽之偶，奈何设拜以狎之？且耳目之官，故当特立乃曰御史。衔命出使，不能动摇山岳，震慑州县，诚旷职耳。"

又曰：贾言忠，河南洛阳人也。乾封中为侍御史，时朝廷有事辽东，言忠奉使往支军粮，及还，高宗问以军事。言忠画其山川地势，具陈辽东可平之状。高宗悦。又问诸将优劣。言忠曰："李勣先朝旧臣，圣鉴所悉；庞同善虽非斗将，而持军严整；薛仁贵勇冠三军，名可振敌；高侃俭素自处，忠果有谋；契苾何力沉毅持重，有统御之才，然颇有忌前之癖。诸将夙夜小心，忘身忧国，莫逮于李勣者。"高宗深然之。

又曰：刘思立，宋州宁陵人也。高宗时为侍御史。属河南河北旱俭，遣御史中丞崔谨等分道存问赈给。思立上疏谏曰："今麦序方秋，蚕功未毕；三时之务，万姓所先；敕使抚巡，人皆竦抃；忘其家业，冀此天恩，踊跃参迎，必难抑止；集聚既广，妨废亦多。加以途程往还，兼之晨夕停滞。既缘赈给，须立簿书；本欲安存，却成烦扰。又无驿之处，骑马稍难。简择公私，须臾追集。雨后农务，特切常情，暂废须臾，即亏岁计。每为一马，遂劳数家，从此相乘，恐更滋甚。望且委州县赈给，待秋后闲时出使褒贬。"疏奏，谨等遂不行。

又曰：李义府恃宠用事。妇人淳于氏，有美色，坐事系大理，乃讽丞毕正义枉法出之。将纳为妾，会有密言其状者。上令给事中刘仲轨鞫之。义府恐泄其谋，逼正义自缢于狱中。上知，而特原义府之罪。侍御史王义方奏："义府擅杀寺丞，陛下虽已释放，然天子置三公、九卿、二十七大夫、八十一元士，本欲水火相济，盐梅相成，然后庶绩咸熙，风雨交泰，则知人主不得独是非。昔唐尧至圣，失

之于四凶；汉祖深仁，失之于陈豨；光武聪明宽恕，失之于逢萌；魏武勇略英雄，失之于张邈。此英杰之主，莫不失之于前，得之于后。[今]陛下继圣，抚有万邦，蛮陬夷落，犹惧刑纲，况辇毂咫尺，奸臣肆虐。杀一六品寺丞，足使忠臣抗愤；纵令正义自缢，此事弥不可容。便是畏义府之权势，能杀身以灭口。此则生杀之威，已非主出；赏罚之柄，下移奸佞。请乞重勘，当正义死之由，雪冤气于幽泉，诛奸臣于白日。"对仗叱义府，令下；义府视，不退；义方三叱。上既无言，义府趋出。

又曰：王志愔，博州聊城人也。少以进士擢第，神龙年累除左台御史。执法刚正，百僚畏惮，时人呼"皂雕"，言其顾瞻人吏如雕鹗之视燕雀也。

又曰：苏瓌案问郑普思，其妻有宠于韦庶人，特敕令对御辨析，上屡抑瓌而伸普思。侍御史范献忠历阶而前曰："臣请先罪苏瓌。"上问其故。献忠曰："苏瓌国之大夫，荷荣贵久矣，不斩逆贼而后闻奏，今使眩惑天聪，摇动刑柄。而普思反状昭露，陛下曲为申理，此则王者不死。今圣躬万福，岂有两天子耶？臣请先死，终不能事普思。"上意乃解，狱遂定。

又曰：御史遭长官于途，皆免帽降乘，长官戢辔，辞而上马。乾封中王本立为御史，意气颇高，途逢长官，端揖而已，自是诸人或降而立，或足至地，或侧鞭弛镫，轻重无恒。开元以来，但举鞭耸揖而已也。

又曰：刘藏器为侍御史，时卫卿尉迟宝琳抑人为妾，藏器奏请还其父母。上既可其奏，宝琳私奏乞之，上又从之。藏器复执奏，上又可之。宝琳又请，如是三。藏器进言曰："法者，海内之悬衡，上下之所共，若刑罚不中，则人无所措手足。陛下若用舍恣情，爱憎由己，则国之刑宪何所施陈。今宝琳请，陛下从之；臣执奏，陛下亦从之。今日从之，明日又改之，欲令下人何以遵奉？夫人无信不立，匹夫匹妇尚不可失信，况为天子，安可戏言？今陛下二三其言？

处分不定，臣恐四海之内，无所适从。"上竟从藏器所奏。

又曰：王播为侍御史。贞元末，华臣李实为京兆尹，恃恩颇横，尝遇播于途不避。故事，尹避台官。播移文诋之。

又曰：温造拜侍御史，请复置弹事朱衣、豸冠于外廊，大臣阻而不行。李祐自(真)[夏]州入拜金吾，违制进马一百五十匹，造正衙弹奏，祐(服)[股]战汗流。祐私谓人曰：吾逾蔡州城擒吴元济，未尝心动，今日胆落于温御史，吁可畏哉！"

《英雄记》曰：袁绍辟大将军府，不得已，起从命，举高第，迁侍御史。弟术为尚书，绍不欲为台下，告疾求退。

《三辅决录》曰：韦约字季明。司徒刘恺甚敬重之，谓曰："君以轻去就，故大位不跻，今岁垂尽，选御史实欲烦君。"约曰："犬马齿尽，既无膏力，又无考课；所以踌躇恋慕者，以明公礼遇隆崇，未能自割。"因称素有风疾，眩冒不堪久侍，遂徒跣趋出，公追不及。

《陈留耆旧传》曰：杨仁字文义，明帝引见，问当代政治之事，仁对，上大奇之，拜侍御史。明帝崩，是时，诸马贵贱各争入宫，仁被甲持戟遮敕宫门不得令入。章帝既立，诸马贵更赞仁刻峻，于是上善之。

《通典》曰：侍御史之职四，谓推、推，有掌推鞫。弹、掌弹举。公廨、知公廨事。杂事，台中事悉总之。定殿中监察以下职事及进名改转，台内之事悉主之，号为台端，它人称之曰"端公"。其知杂事者谓之杂端，最为雄极。食座之南设横榻谓之南床，殿中监察不得坐。亦谓之痴床，言处其上者，皆骄傲自得，使人如痴，故谓之痴床也。凡侍御史之例，不出累月则迁登南省，故号为南床。百日(客)[察]其行止、出入、揖让、去就。殿中已下，皆禀而随之先后，亏失者有罚。

又曰：二汉侍御史所掌，凡有五曹：一曰令曹，掌律令。二曰印曹，掌勑日。三曰供曹，掌齐祀。四曰尉马曹，掌厩马。五曰乘曹。掌获驾。豹尾之内便为禁省。

又曰：旧例御史台不受诉讼，有通辞状者即于台门候，御史竟

往门外收采，知可弹者，略其姓名。皆云风闻访知。永徽中崔义玄为大夫，劾状题告人姓名。

《黄石公阴谋秘法》曰：荧惑，火之精，御史之象，主禁令、刑罚、收捕、纠正。

殿中侍御史

《六典》曰：殿中侍御史掌殿庭供奉之仪式。凡冬至、元正大朝会，则具服升殿。若郊祀、巡省，则具服从，于旌门检察，视其文物有亏缺则纠之。凡两京城内则分知左、右巡，各察其所巡之内有不法之事。

《三国典略》曰：齐宋世良，字元友，魏孝庄时为殿中侍御史。诣河北括户，大获游惰；至汲郡旁见有骸骨，移书瘗之。其夜有雨滂沱，孝庄劳之曰："卿所括得丁，倍于本帐，若官人皆如此，便是更生出一天下也。"

《唐书·官品志》曰：殿中侍御史四人，掌殿中禁卫内事。

又曰：张行成为殿中侍御史，纠劾不避权戚，太宗以为能，[谓]房玄龄曰："观古今用人，必因媒介，若行成者，朕自举之，无先容也。"

又曰：王无竞自监察御史转殿中侍御史。旧例，每日更直于殿前正班。宰相宗楚客、杨再思尝离班偶语，无竞前曰："朝礼至敬，公等大臣，不宜轻易以慢恒典。"楚客等大怒，转无竞为太子舍人。

又曰：殿中侍御史郭震，劾刑部尚书赵彦照、太子宾客韦嗣立、青州刺史韦安石曰："彦照以女巫赵五娘左道乱常，托为诸姑，潜相影援。既因提挈，遂践台阶，或驱车造门施妇人之服，或携妻就谒申犹子之情，同恶相济，一至于此！又张易之兄弟，势倾朝野，嗣立此际结为舅甥，神龙之初已合诛死，天网疏漏，腰领误全，与安石托附阿韦，编诸属籍。中宗宴驾，削太皇辅正之制，定阿韦临朝之策。此时朝野危惧，人神怨愤。臣忝司清宪，敢不纠弹，彦照等并请准

法处分。"于是并贬官。

《山公启事》曰：中书属通事令史孙琳限满，久习内事，才宜殿中侍御史，须空补之，不审可否？诏曰："可！。"

《曹氏传》曰：左拥起于碎吏，武帝以为能，擢为殿中侍御史。

监察御史

《六典》曰：监察御史掌分察百僚，巡按郡县，纠视刑狱，肃整[朝仪]。朝廷有不肃敬及斗失者，则纠而劾之。

《唐书》曰：李素立武德初为监察御史，时有犯法不至死者，高祖将令杀之，素立谏曰："三尺之法与天下共之，法一动摇，则人无所措手足。陛下甫创鸿业，遐荒尚阻，奈何辇毂之下，便弃刑书？臣忝法司，不敢奉旨。"高祖从之。

又曰：张嘉贞，蒲州猗氏人也，坐事免归乡里，居长安。侍御史张循宪为河东采访使，荐嘉贞才堪宪官，请以己之官秩授之。则天召见，垂帘与之言，嘉贞奏曰："臣以草莱而得谒九重，是千载一遇也。咫尺之间，如隔云雾，竟不睹日月，恐君臣之道有所未尽。"则天遽令卷帘与语，大悦，擢拜监察御史。

又曰：纪履忠为监察御史，劾奏御史中丞来俊臣犯状有五：一专擅国权，二谋害忠善，三赃贿贪浊，四失义勃礼，五淫昏很戾。论兹五罪，合至万诛，请下狱理罪。

又曰：萧至忠为监察御史，弹凤阁侍郎同凤阁鸾台三品苏味道赃污贬官。御史大夫李承嘉尝召诸御史责之曰："近日弹事不咨大夫，礼乎？"众不敢对，至忠进曰："故事，台中无长官，御史人君耳目，比肩事主，得各自弹，事不相关，或先白大夫而许弹事，如弹大夫不知白谁也？"承嘉默然，而惮其刚正。

又曰：崔琬为监察御史，弹奏宰相宗楚客、纪处纳等骄恣跋扈，请收劾之。旧制，大臣有被御史弹者，皆俯偻趋出，待罪朝省。楚客瞋目作色，称以忠鲠被诬。中宗令琬与楚客约为兄弟，人窃叹

焉。

又曰：齐澣，定州义丰人。少以词学称，弱冠制科登第。景云二年，中书令姚崇用为监察御史。弹劾违犯，先于风教，当时以为称职。

又曰：开元五年，监察御史杜暹往碛西覆屯令郭处瓘与史献等不叶，更相执奏，诏暹案其事实。史献以金遗暹，固辞。左右曰："公远使绝域，不可失蕃人情。"暹不得已受之，埋于幕下。既去，出境，乃移牒令收取之。

又曰：李勉拜监察御史，属朝廷右武，勋臣侍宠，多不知礼。大将荣崇嗣于行在朝堂背阙而坐，言笑自若。勉劾之，拘于省司，肃宗特原之，叹曰："吾有李勉，始知朝廷尊矣。"

又曰：御史台奏准：旧例监察御史从下六人，各察尚书省一司；又准：兴元元年十月敕令监察从上第一人，察吏部礼部第二人，察兵部、工部第三人，察户部，刑部第四人者。伏以监察第一第二人已充监察及馆驿等，使新人除出使外，并无以观其能否。今请守旧制，新人分察。从之。

又曰：元稹拜监察御史，奉使东蜀，劾奏东川节度使严砺违制(礼)擅赋，(入)[又]籍没涂山甫等吏民八十八户田宅奴婢。时砺已死，七州刺史皆责罚。稹虽举职，而执政有与砺厚者恶之。

又曰：杨收兄假自浙西观察判官入为监察御史，兄弟并居宪府，特为新例。

又曰：李憕，音澄。太原人也。宇文融为御史，括田户，奏知名之士崔希逸、咸廙业、宇文顺、于孺卿、李宙及憕为判官，摄监察御史，分路检察以课，并迁监察御史。

又曰：柳浑拜监察御史，台中执法之地，动限仪矩，浑性放旷，不甚检束。察长拘局，忿其疏纵。浑不乐，乞外任，执政惜其才，奏为左补阙。

太平御览卷第二百二十八

职官部二十六

叙卿　太常卿

叙　卿

韦昭《辨释名》曰：卿，庆也。言万国皆庆赖之也。

《帝王世纪》曰：九卿者，所以参三公也。

《白虎通》曰：卿，章也，善明理也。

韦昭《辨释名》曰：汉置十二卿：一曰太常，二曰太仆，三曰太卫尉，四曰光禄，五曰宗正，六曰执金吾，七曰大司农，八曰少府，九曰大鸿胪，十曰廷尉，十一曰大长秋，十二曰将作大匠。辨云：汉正卿九：一曰太常，二曰光禄勋，三曰卫尉，四曰太仆，五曰廷尉，六曰鸿胪，七曰宗正，八曰司农，九曰少府，是为九卿。

《通典》曰：后汉九卿而分属三司：太常、光禄勋、卫尉，三卿并太常所部；太[仆]卿、廷尉、大鸿胪，三卿并司徒所部；宗正、大司农，少府，三卿并司空所部。

《尚书·周官》曰：六卿分职，各帅其属，以倡九牧，阜成兆民。六卿各帅其属官，大夫止治其所分之职，倡导九州牧伯，为政大成兆民之性命。

《汉官仪》曰：卿，中秩二千石，绶青，地桃花，三采。

又曰：衣裳：公侯华虫，卿大夫藻火。

《左传》曰：齐侯使敬仲为卿。辞曰："羁旅之臣，幸若获宥，宥赦。及于宽政，赦其不闲于教训而免于罪戾，弛于负担，君之惠也，所获多矣。敢辱高位，以速官谤。请以死告。"以死为誓。

又曰：卿非君命不越境。

又曰：晋蒐于被庐。命赵衰为卿，让于先轸。杜预曰：先轸，晋下军

之佐原轸。

《周礼》曰：朝士掌外朝之法，左九棘，孤卿大夫位焉。树棘以为位者，取其赤心而外刺，象赤心三刺。

《春秋汉含孳》曰：故三公象五岳，九卿法河海。三公在天法三台，九卿法北斗。

《国语》曰：晋悼公使张老为卿，辞曰："臣不如魏绛。[夫绛]之智能治大官，其仁可以利公室。若在卿位，外内必平。"

《汉官》曰：司马安巧宦，四至九卿。

谢承《后汉书》曰：李叔谏更始曰："夫三公，上应台宿；九卿，下括河内。"

《梁书》曰：武帝天监七年，以太常卿加置宗正卿，以司农为司农卿，三卿是为春卿。加置太府卿，以少府为少府卿，加[置]太仆卿，三卿是为夏卿。以[卫尉为]卫尉卿，[廷尉为]廷尉卿，将作[大匠为]大匠卿，三卿是为秋卿。以光禄勋为光禄卿，大鸿胪为鸿胪卿，都水使者为大舟卿，三卿是为冬卿。凡十二卿皆置丞及功曹主簿。

《北齐书》曰：以太常、光禄、卫尉、宗正、太仆、大理、鸿胪、司农、太府，是为九寺。

《庄子》曰：楚昭王迎屠羊说，以珪之位。马彪曰：诸侯三卿皆执珪。

《说苑》曰：秦缪公使贾人载盐于卫，贾人买百里奚，使将(军)[车]至。秦缪公观盐，见百里奚牛肥，公问之，对曰："臣牛食之以时，使之不暴，是以肥也。"公知其君子，以为上卿。

又曰：九卿者，不失四时，通于沟渠，补堤防，种树木，美五谷。如是举以为九卿之事，常在于德。

又曰：齐桓公使管仲治国，对曰："贱不能临贵。"桓公以为上卿而国不治。对曰："贫不能使富。"桓公赐之齐市租一年而国不治。桓公曰："何故？"对曰："疏不能戚近。"桓公立以为仲父，国大安。孔子曰："管仲之贵，不得此权者，亦不能使其君面南而伯矣。"

太常卿

《六典》曰：太常卿之职，掌邦国礼乐、郊庙、社稷之事，以八(音)[署]分而理焉。一曰郊社，二曰太庙，三曰诸陵，四曰太极，五曰鼓吹，六曰大医，七曰太卜，八曰廪牺，总其属，行其政令。

《尚书·尧典》曰：伯夷，汝作秩宗，典朕三礼。

《周礼·春官》曰：大宗伯一人，掌天地、神祇、人鬼之礼。

《史记》曰：高祖灭秦，登尊号，群臣饮[酒]争功，醉或怨妄呼，拔剑击柱，上患之。于是，叔孙通进说。遂为绵蕝子悦切。野外，习之月余，通曰："可试观。"上使行礼。帝辇出房，百官执职传警，引诸侯王以下次奉贺。莫不震恐肃敬。诸[侯]侍坐殿上，皆伏抑首，以尊卑起上寿。觞九行，谒者言："罢"。御史执法与不仪者趣辄引去。竟朝置酒，无敢(欢)[喧]哗失礼者。于是高祖曰："吾今日乃知为皇帝之贵也。"拜通太常，赐金五百斤。通因进言曰："诸弟子儒生随臣久矣，与共为仪，愿陛下官之。"高帝悉以为郎。通出，皆以五百斤金赐诸生。诸生曰："叔孙生圣人也，知当世务。"

《汉书》曰：太常，古官云：伯夷秩宗，典三礼，欲令国家盛大，社稷常存，故称太常。

又曰：奉常官掌宗庙礼仪，有丞。景帝六年更名太常。

又曰：杜业有才能，选为太常，数言得失，不事权贵。

又曰：宣帝地节四年，任宫为太常，坐盗茂陵园中物，免。

又曰：武帝元鼎四年，鄚侯萧寿成为太常，坐牺牲不如令，论。

又：孝武帝元朔元年，孔臧为太常，坐南陵桥坏，衣冠道绝，免。

《东观汉记》曰：周泽少修高节，耿介特立，好学问，治《严氏春秋》，门徒数百人。隐居山野，不汲汲于时俗。拜太常，果敢，数有直言，朝廷嘉其清廉。

《后汉书》曰：桓荣拜太常。荣初遭仓卒，与族人桓元卿同饥厄，而荣讲诵不息。元卿嗤荣曰："但自苦气力，何时复施用乎？"荣

笑不应。及为太常，元卿叹曰："我农家子，岂意学之为利乃若是哉！"乘舆尝幸太常府，令荣坐，东西设几杖，会百官骠骑将军东平王苍以下及荣门生数百人，天子亲自执业。既罢，悉以太官供具赐太常家。其恩礼若此。

又曰：桓荣及子郁，皆为太常。初，荣受学章句，减其烦辞；后郁又删之。由是有桓君大小太常章句。

又曰：灵帝欲以羊续为太尉。时拜三公者，皆输东园礼钱千万，令中使督之，名为"左驺"。驺，骑士也。其所之往，辄迎致礼敬，厚加赠赂。续乃坐使人于单席，举组袍以示之，曰："臣之所资，惟斯而已。"左驺白之，帝不悦，以此故不登位。而征为太常。

又曰：杨赐以病罢，居无何，拜太常，诏赐御府衣一袭，衣单服具曰袭。所服冠、帻、绶、玉壶、革带，金错钩佩。金错，以金间错其文。

《续后汉书》曰：张奂字然明，拜太常卿。奂有清节，可否之间，强御不敢夺也。（该）[赅]览群籍，古今详备。

又《百官志》曰：太常卿，每祭祀先奏礼仪；及行事，则赞天子。大射、养老、丧，皆奏其礼仪。秩比中二千石。

华峤《后汉书》曰：刘恺为太常，论议常弘正大义，诸儒为之语曰："难经伉伉刘太常。"

《魏书》曰：和洽字士阳，汝南西平人。转为太常，清贫守约，至卖田宅以自给。明帝闻之，加赐谷帛。

又曰：常林从光禄勋为太常，晋宣王以林乡邑耆老，每为之拜，或谓林曰："司马公贵重，君宜且止之。"林曰："司马公自欲敦长幼之序，以为后生之法，贵非吾之所制也。"言者惭而蹜蹜。

又曰：刑颙字子升，时人称"德行堂堂刑子升"，文帝以为太常。

《晋书》曰：郑默字思元，迁太常。山涛欲举一亲为博士，见默语曰："卿尹翁归，令吾不敢复言。"谓其柔而能整也。

又曰：张华为太常。以太庙屋栋折，免官。

臧荣绪《晋书》曰：咸熙五年诏曰："华表字伟容，清贤履道，内

贞外顺，历位忠恪，言行不玷。其以表为太常卿。”

《晋起居注》曰：安帝三年，太常临川王宝启：“府舍窄狭，不足移家，母钟年高，违离靡宁，乞还第摄事。”诏听之。

《晋中兴书》曰：蔡谟字道明，拜太常，咸康四年，临轩，门下奏非祭祀宴飨则无设乐，谟奏宜有金石，显宗纳焉。临轩作乐，自此始也。

又曰：建元元年诏曰：太常职典天地，兼掌宗庙，其为任也，谓重矣。是以古今选建，未尝不妙简时望，兼之儒雅。会稽王叔履尚清虚，志道无倦，优游讽议，朕所咨仰。其以王领太常，本官如故。”

又曰：[贺循字彦先，为散骑常侍。]元帝以贺循为太常，而散骑常侍如故。循以九卿旧不如官，惟拜太常而已。中宗践祚，下令曰：“循冰清玉洁，行为俗表，加以位处上卿，服物盖身而已，屋裁庇风雨。孤常造其庐，特以为赐以六尺床、席、褥并钱二十万，以表至德。”

《齐书》曰：张瓌以雍州刺史拜太常，自谓闲职。武帝曰：“卿辈未富贵，谓人不与，既富贵，复欲委去之。”瓌曰：“陛下，御臣等若养马，无事就闲厩，有事复牵来。”帝犹怒，遂以为散骑常侍。

《北齐书》曰：赵彦深五岁，母傅氏谓之曰：“家贫儿小，何以能济？”彦深泣而立曰：“若天哀矜，儿大当仰报。”傅感其意，对之流涕。及彦深拜太常卿，还，不脱朝服，先入见母，跪陈幼小孤露，蒙训得至于此，母子相泣久之，然后改服。

《后周书》曰：长孙绍远为太常，广召工人制乐器，土木丝竹，各得其宜。惟黄钟不调，绍远每以为意。常因退朝，经韩使君佛寺前过，浮图三层之上，有鸣铎焉。忽闻其音，雅合宫调，取而配奏，方始克谐。

又曰：斛斯征迁太常卿。自魏孝武西迁，雅乐废缺，征博采遗逸，稽诸典故，创改旧方，始备焉。又乐有(淳)[锧]音淳。于者，近代绝无此器，或有自蜀得之，皆莫之识。征见之曰：“此锧于也。”众

弗之信。征遂依干宝《周礼注》以芒茼将之，其声极振，众乃叹服。征乃取以合乐焉。

又曰：建六官，置太宗伯卿一人，掌邦礼以佑皇帝，和邦国，是为春官。

《唐书》曰：赵宗儒，长庆初为太常。有《师子乐》，备五色之方，非会朝聘享不作。幼君荒诞，伶官纵肆，中人掌教坊者移牒取之。宗宰相，以宗儒懦怯不[任]事，改太子少师。

又曰：崔邠拜太常卿。故事，太常卿初上，大阅《四部乐》于官署，观者纵焉。邠自私第去帽亲导母舆，公卿避之。[又曰]：文宗以乐府之音，郑、卫太甚，欲开古乐，命王涯询于旧工，取开元时重按之，名曰《云韶乐》。乐曲成，涯与太常丞李廓、少府监庾丞宪押乐工，献于黎园亭。帝按之于会昌殿，上悦，赐涯等锦彩。

又曰：窦诞为太常，奏用音声博士，皆为太乐鼓吹。官僚于后弹胡琵琶，胡人白胡达、竹伯夷积劳计考，并至太官。自是以声伎入流品者，盖以百数。

应劭《汉官》曰：北海周泽为太常，恒斋，其妻怜其年老瘦弱，窥内问之，泽大怒，以为干斋。掾吏扣头争之，不听，遂收送诏狱，并自劾。论者非其激发，谚曰："居代不谐为太常妻，一岁三百六十日；三百五十九日斋，一日不斋醉如泥。既作事，复低迷。"

《汉官典职》曰：惠帝改太常为奉常，景帝复为太常，盖周官宗伯也。

《汉官解诂》曰：太常，社稷、郊祀，事重职尊，故在九卿之首。

卫宏曰：太常主导赞助祭，皆平冕，七旒，玄上纁下，华虫七章，汉陵属三辅，太常月一行。

《汉书》注颜师古曰："太常者，王之旌也，画日月焉。王有大事，则建以行，礼官主奉持之，故曰奉常。后改曰太，尊大之义也。"

《齐职仪》曰：太常卿一人，品第三，秩中二千石，银章、[青]绶、进贤两梁冠，绛朝服，佩水苍玉。王朗云："西京太常行陵，赤车千

乘。”

《益部耆旧传》曰：赵典字仲经，为太常，虽身处上卿而布被瓦器。

梁·陆倕《为光禄让太常表》曰：昔者楚德方盛，叔敖濯衣；汉道克昌，王阳结绶。故拜命无辞，受爵不让。况宗卿清重，历选所难，汉晋已降，莫非索、范，辞爵则桓郁、张奋，让封则丁鸿、刘恺。潘尼音奥。之文雅纯深，华表之从容退默。自此迄兹，风流继轨，以臣况之，曾无等级。

陈·沈炯《为周弘正让太常表》曰：臣闻玉舄雕楹，不取材于蟠木；丹朱绣黼，岂袭冕于蒔萝。何则？适用各有其宜，朝野不可一指。叔孙之野外定礼，[倍]资典实；刁协之躬为唱引，岂易其仪？倘九宾阙相，对禅失仪，责以司存，云谁之咎？况南史执简，转见违才，君举必书，尤难妄冒。

太平御览卷第二百二十九

职官部二十七

太常少卿　太常丞　太常博士　太祝　协律郎
太庙令　陵令　太乐令　太医令　廪牺令　光
禄卿　光禄少卿　太官令

太常少卿

《六典》曰：凡有事于宗庙，少卿[帅]太(师)祝、斋郎入荐香烛，整拂神幄，出入神主，将享，则与良醞令实樽罍。

《后魏书》曰：太和十五年，置少卿官，太常少卿一人，第三品上，至二十二年降为正四品。

又曰：景明初班职，令太常少卿，第四品上，第一清选，明礼兼天文阴阳者为之。

又曰：元顺为太常少卿，以父忧去职，哭泣呕血，身自负土。时年二十五，便有白发，免丧抽去，不复更生，世人以为孝思所致。

《三国典略》曰：齐太常少卿袁聿修巡省河南诸州，兖州刺史(刑)[邢](部)[邵]与聿修故旧，尝于省中盛呼聿修为清郎，至是遣送白绸为信，聿修不受，与邵书(郎)曰："瓜田李下，古人所慎。多言可畏，譬之防川。愿表此心，不贻厚责。"邵亦欣然报书曰："一日之赠，率尔不思。老夫忽忽，意不及此。敬丞来旨，吾无间然。弟昔为清郎，今作清卿矣。"

《唐书》曰：冯定为太常少卿。文宗每听乐，鄙郑、卫声，诏奉常习开元中《霓裳羽衣舞》，以《云韶乐》和之。舞曲成，定总乐工阅于庭，定立于其间。文宗以其端凝若植，问其姓氏，翰林学士李珏对曰："此冯定也。"文宗喜，问曰："岂非能为古章句者耶？"乃召升阶，

文宗自吟定《送客西江诗》。吟罢益(嘉)[喜],因锡禁中瑞锦,仍令大录所著古体诗以献。

太常丞

《六典》曰:太常丞二人,以五品上,秦有奉常丞,汉因之,比千石。魏、晋、宋,皆置一人。

《汉书》曰:韦弘为太常[丞],职掌陵庙,烦剧多过,父贤敕令自免。[弘]怀嫌不去官,及贤疾笃,果坐庙事系狱。

《宋百官春秋》曰:太常丞视尚书郎,铜印、黄绶,一梁冠,品第七,掌举陵庙非法。

《陶氏家传》曰:覆之字孙宗,为太常丞。凡宗庙疑义,多所决定,时人为之语曰:"定礼决疑,问陶覆之。"

《陶氏职官要录》曰:晋、宋九卿丞,皆进贤一梁冠,介帻,皂衣,铜印,黄绶。齐、梁墨绶。

太常博士

《六典》曰:太常博士掌辨五礼之仪式,本先王之法制适变,随时而损益焉。凡大祭祀及有大礼,则与卿导赞其仪。凡王公已下拟谥,皆迹其功德而为之褒贬。

《通典》曰:博士,魏官也。魏文帝初置,晋因之,事掌引道乘舆。王公已下应追谥者,则博士议定之。

《晋中兴书》曰:博士之职,端委佩玉。朝之大典必于询度,当以正道,克厌人望,然后为可。

《唐书》曰:王彦威太原人,世儒家,少孤贫苦学,尤通三礼,无由自达。元和中游京师,求为太常散吏,部卿知其书生,补为检讨官。彦威于礼阁掇拾,自隋已来朝廷沿革,吉凶五礼,以类区分成三十卷,献之,号曰"元和新礼",由是知名。(时)[特]授太常博士。

又曰:陆亘为太常博士。寺有礼生孟真,久于其事,凡吉凶大

仪，官不能达，率访真，真亦赖是须姑息。元和七年，册皇太子，将撰仪注，真亦欲参预，亘笞之。由是，礼仪不专于胥吏。

《郭子》曰：张凭举孝廉，诣刘真长，还船，须臾，真长至，遣觅张孝廉，船同旅愕然。既同载，俱诣抚军刘前进，谓抚军曰："今日为公得一士，太常博士之选。"既前，抚军与之言，咨嗟称善，乃曰："张凭勃倅为理窟。"即用为太常博士。

太　祝

《六典》曰：太祝掌出纳神主于太庙之九室，而奉享荐禘祫之仪。

《周礼》曰：太祝掌六祝之辞以事鬼神；(示)[祇]祈福祥，求永贞。一曰顺祝，二曰年祝，三曰吉祝，四曰化祝，五曰瑞祝，六曰策祝。郑司农曰："顺祝，顺农年也；年祝，求永贞也；吉祝，祈福祥也；化祝，弭灾兵也；瑞祝，逆时雨、宁风旱也；策祝，远罪疾也。"

《汉书·百官表》曰：太常属官，有太祝令、丞，景帝六年更名为祝祀，武帝太初元年更曰庙祝。

《东观汉记》曰：阴猛好学温良，称于儒林，以郎迁为太祝令。

《续汉书》曰：太祝令秩六百石，掌祠赞祝，近臣神巫主祝小祝。

协律郎

《六典》曰：协律郎掌知六律、六吕，以辨四时之风气，八风五音之节。

《汉书》曰：武帝时，李延年善新声，以为协律都尉。

《魏志》曰：武帝平荆州，得杜夔，知音识旧乐，故以为协律郎。

太庙令

《汉书·百官表》曰：太常属官有诸庙令、长、丞。

《续汉书》曰：高庙令一人，六百石；主守宗庙，掌扫除。无丞(丞)。世祖庙令一人。

《宋书》曰：太庙令一人，主守宗庙，案行洒扫众事，领斋郎二十四人。

《齐职仪》曰：周有守祧之官，掌先王庙令。

陵令

《六典》曰：陵令掌先帝山陵，率户守卫之事；丞为之贰。凡朔望、元正、冬至、寒食，皆修飨于诸陵。若桥陵，则日献羞焉。凡功臣、密戚请陪陵葬者听之，以文武分为左右而列。若父、祖陵陪子孙从葬者亦如之。

《周礼》曰：冢人，下大夫二人，中士四人，掌公墓之地，辨其兆域。先王之葬居中，以昭穆为左右。

《汉书》曰：太常属官有诸陵令。元光二年，分诸陵邑属三辅。

又曰：司马相如为茂陵令。

《续汉书》曰：太常职掌先帝陵，每园令各一人，秩六百石。掌守园陵，按行扫除。丞及校长各一人。校长主戒盗。

《齐职仪》曰：周有墓大夫、冢人之职，掌先王之墓。

又曰：每陵令一人，品第七，秩四百石，铜印、墨绶、进贤一梁冠、绛朝服。

《唐书·官品志》曰：梁天监七年，又诏以为陵监之名，不出前诰；且宗庙宪章，既备典礼，园寝职司，理不容异，诸正陵先立监者改为令，于是陵置令矣。

胡广《陵令箴》曰：昔在(黄)[广]叶葬野衣薪，礼非极哀，不树不封，瓦棺堑周棘。夏攸谓："壤不毁肤，赗不害生，是谓皇极。"百王此经，故厚不可皇，薄不可王，乃眷西顾，爰矩孝文陵。臣司墓，敢告守人。

太乐令

《六典》曰：太乐令掌教乐人，词合钟律，以供邦国之祭祀、飨

宴，丞为之贰。

《汉书·百官表》曰：太常属官，有太乐令、丞。

《续汉书》曰：明帝永平十三年，曹褒奏《尚书璇玑钤》曰："有帝汉德，合作乐名。"天子下诏，改太乐令丞，以应图谶。

又曰：太乐令，秩六百石，掌伎乐人。凡国祭祀，掌奏乐及大司乐，掌其陈序。

《晋起居注》曰：成帝咸和中诏："太乐令载绥教官伎乐勤劳，赐米百石，布二十匹。"

太医令

《六典》曰：太医令掌诸医疗之法，丞为之贰。其属有四：曰医师、针师、按摩师、咒禁师，皆有博士以教之。考试登用，如国子监之法。

《汉书》曰：《百官表》曰："少府属官，有太医令，丞无员，多至数十人。"

《续汉书》曰：太医一人，秩六百石，有药丞、主药方丞。

《魏略》曰：脂习字元升，除太医令，与孔融亲善，融被诛，习独往哭之。黄初中以习有栾布之节，赐拜中散大夫。

应劭《汉官注》曰：太医，周官也。两梁冠，秩千石。

《典论》曰：中常侍张让子奉为太医令，与人饮酒，辄掣引衣裳，发露形体，乱其舄履，使小大无不倾倒。

崔实《太医令箴》曰：动不肆勤，静不宴逸，有疾归天，医无能恤。晋平好内，四时是一，非鬼非食，惑以自失。虽有秦和，焉所施术？太上防疾，其次萌牙，腠理不蠲，骨髓奈何！

廪牺令

《六典》曰：廪牺令掌荐牺牲及粢盛之事，丞为之贰。凡三祀之牲牢，各有名数。昊天上帝以苍，地皇祇以黄，神州以黝，五帝之牲各以方色。

韦昭《辨释名》曰：释云：廪牺。牺，戏也；廪，养之也。辨云：六牲，取其纯毛者，别养之以奉祭祀。纯色者少，故名牺。牺，希也。

《周礼》曰：牧人：下士，掌牧六牲，以供祭祀。

《汉书·百官表》曰：内史属官，有廪牺令、丞、尉，后属司农。

《齐职仪》曰：周牧人之职也，掌六牲。阳祀用骍，阴祀用黝，取纯毛者。光武中兴，属河南，秩六百石。

光禄卿

《六典》曰：光禄卿之职，掌邦国醪醴膳羞之事，总太官、珍羞、良组，掌醢四署之官属，修其储备，谨其出纳；少卿为之贰。有大祭祀，则省牲镂，视濯溉。

《汉官解诂》曰：士之权贵，不过尚书，其次诸吏。诸吏，光禄勋是也。

应劭《汉官仪》曰：光，明也；禄，爵也；勋，功也。言光禄典郎，谒诸虎贲羽林，举不(安)[妄]得，赏不失劳，故曰光禄勋。

《唐书·官品志》曰：光禄卿位视太子中庶子，掌宫尉门户，统守黄门、华林园、暴室等令。

《汉书》曰：郎中令，秦官。武帝太初元年更名光禄勋，掌中殿门户，秩中二千石。

又曰：石建为郎中令，奏事下建省读，惊曰："书马者与尾而五，今乃不足一，获谴死矣。"其谨慎如此。

又曰：周仁，景帝时为郎中令，为人阴重不泄。服虔曰："质重不泄人之阴谋也。"师古曰："阴，密也。言为性密重，不泄人言也。"以是得幸，出入卧内，于宫秘戏，仁常在傍，终无所言。

又曰：张安世字孺子，为光禄勋。郎有醉小便殿上，主事白行法，安世曰："何以知其不覆水耶？"郎有淫官婢，婢兄自言，安世怒，以奴淫污衣冠告署挞奴。其隐人过，皆此类也。

《东观汉记》曰：孙堪字子雅，为光禄勋，以清廉称，与周泽相

类。泽字雅都，京师号之为“二雅”。

又曰：刘昆字恒公，为光禄勋，授皇太子及诸王小侯五十人经。昆老退位。以二千石禄终其身。

又曰：邵训字伯春，乡里号之曰：“德行恂恂邵伯春。”章和中为光禄勋。

《后汉书》曰：杜林字伯山，扶风人也。林少沉审，博学多闻，世称通儒。为光禄勋，内奉宿卫，外总三署。郎有好学者，辄见引进，朝夕满堂。

又曰：马防字公平，林风人也。防贵宠最盛，与九卿绝席，拜光禄卿。

又曰：张湛字子孝，拜光禄勋。光武临朝，或有惰容，辄陈谏。常乘白马，上后见湛，辄曰：“白马生，且复谏矣。”

又曰：袁彭，顺帝初为光禄勋，行至清，为吏粗袍粝食。

《续汉书》曰：荀爽字慈明，为光禄勋。视事三月，策拜司空。

谢承《后汉书》曰：杨赐字伯钦，拜为光禄勋。嘉德殿前有青赤气，诏特进，遣中使问赐祥异祸福，吉凶所在。以赐博学硕儒，故密咨问。其极陈其意，尝上疏陈，请案《春秋谶》“天投霓，海内乱。”今妄嬖阉尹，共专国朝之所致也。

《魏志》曰：郑袤为光禄勋，毋丘俭作乱，帝自征之，百官祖送。时袤疾不任会，上谓王肃：“惟不见郑光禄为恨。”袤闻，白舆追上，上笑曰：“知生必来。”遂与同载，问以计谋，帝甚重之。

又曰：王肃字子雍，为光禄勋，时有二鱼长尺，集武库之屋，有司以为吉祥。肃辨之曰：“鱼生于泉而见于屋，鳞介之物失其所也。边将其殆有弃甲之变乎？”其后果有东关之败。

又曰：袁涣字曜卿，为中郎令。时言刘备死，群臣皆贺；涣以尝为备吏，独不贺。卒官，太祖为之流涕。

《吴志》曰：石伟字公操，南郡人。少好学，修节不殆，（为）[介然]独（六）[立]，有不可夺之志。举茂才、贤良方正，皆不就。孙休

即位，特征伟，累迁至光禄勋。及皓即位，朝政昏乱，伟乃辞老耄固疾乞身。

又曰：薛莹字道言。以时法政多谬，举措烦苛，莹每上，便宜陈缓刑简役，以济育百姓，颇或施行。迁光禄勋。

《晋中兴书》曰：郑默字思元，转光禄勋，宽冲博受，不以声色矜人，虽卒，徒厮养皆遇之以恩。

《宋书》曰：王惠。宋国初建，当置郎中令，高祖难其人，谓傅亮曰："今用郎中令，不可令减袁曜卿也。"既而曰："吾得其人矣。"乃以惠居之。

《孟宗别传》曰：宗为光禄勋，大会，宗先少酒，偶有强者，饮一杯便吐。传诏司察宗吐麦饭，察者以闻，上乃叹息曰："至德清纯如此。"

光禄少卿

《后魏职令》曰：光禄少卿，第四品上，第二清用肃勤明敏，兼职古典者。

《唐书》曰：柳亨拜光禄少卿，太宗每诫之曰："与卿旧亲，情素兼宿。卿为人交游过多，今授此职，宜存简静。"亨性好射猎，有饕湎之名。此后颇自勖励，杜绝宾客，约身节俭，勤于职事。太宗亦以此称之也。

太官令

《六典》曰：太官令，供膳食之事；丞为之贰。凡祭之日，则白卿诸厨省牲、镬，取明水于阴鉴，取明火于阳燧，帅宰人以鋋刀割牲，取其毛、血，实之于豆，遂烹牲焉。又帅进馔者实簠、簋，设于馔幕之内。

《汉书·百官表》曰：少府属官有(士)[太]官令一人，丞一人。

应劭《汉官仪》曰：太官令，两梁(官)冠，秩千石，丞四人。郡孝廉，年五十清修聪明者，光禄上名乃召拜，皆秩四百石。三岁为令，

以供养劳苦，迁左丞。有汤官丞，掌诸甘肥；有果丞，掌果瓜菜茹薪炭。

《汉旧仪》曰：太官，主饭、肉、汤、官酒。皆令丞治，太官、汤官、奴婢（各）三千，大置酒，皆缇裤、音沟。蔽膝、缘幘。

又曰：太官上食黄钏音口，金饰器。器，中官私官上食用白银钏器，如祠庙器云。

谢承《后汉书》曰：鲁国陈政，字叔方，为太官令。黄门郎与政有隙，因进御食以发贯炙，光武见发，敕斩政，政曰："臣有当死者三：黑山出炭，增治吐炎，燋肤烂肉而发不消，臣罪一也；陕出佩刀，砥砺五石，亏肌截骨，曾不能断发，臣罪二也；臣朗月书章奏，侧光读经书，且临食与丞及庖人六目齐视，[不及]黄门一人，臣罪三也。"诏赦之。

《魏略》曰：时苗为寿春令，迁为太官令。

《后魏书》曰：毛循之能为南人饮食，手自煎调，多所适意。世祖亲侍之，进太官尚书，赐爵南郡公，加冠军将军，常在太官，主进御膳。

扬雄《太官令箴》曰：时惟膳夫，实司王饔；祁祁庶羞，口实是供。群物百品，八珍清觞，以御宾客，以膳于王。

《王朗集》曰：朗为大理时上："主簿赵郡张登，昔为本县主簿，值黑山贼围郡，登与县长王携帅吏兵七十二人俱往赴救，与贼交战。吏兵散走，携殆见害，登手格二贼，以全携命。又守长夏逸为督邮所枉，登身授拷掠，理逸之罪。义济二君，宜加显异。"黄初，诏曰："登忠义彰著，在职功勤，名位虽卑，直亮宜显。饔膳近任，当得此吏。今以登为太官令。"

太平御览卷第二百三十

职官部二十八

卫尉卿　武库令　守宫令　公车令　宗正卿　宗正
少卿　宗正丞　太仆卿　乘黄令　厩令　车府令

卫尉卿

《六典》曰：卫卿之职，掌邦国器械、文物之事，总武库、武器、守宫三署之官属；少卿为之贰。凡大祭祀、大朝会，则供具羽仪、节钺、金戟、帷(弈)[帝]、茵蓐之属。

《汉书·百官表》曰：卫尉，秦官也，掌宫门卫屯兵。汉因之。景帝初，更名中大夫，后元年改为卫尉。

《东观汉记》曰：光武二十三年，太尉鲍昱兼卫尉。永元三年，司徒丁鸿兼卫尉。

《后汉书》曰：铫音遥。期字次况，颍川人也。拜卫尉卿，期重于信义，忧国忧主，其有不得于心，必犯颜谏诤。

《续汉书》曰：阴兴为卫尉，每诸将出征伐，身行劳问，无所爱惜。

又曰：马光字叔山，为卫尉卿。上以光谨敕小心，周密畏慎，特亲异之。

又曰：窦固字孟孙，为卫尉卿。两宫宿卫见重当时，仁厚谦恭，甚有名称。

又曰：赵喜字伯阳，为卫尉，尽心事上，夙夜匪懈。母没，上疏乞守服，不许，遣使释服。

又《百官志》曰：卫尉卿，秩中二千石，掌官服、卫士、公车令，百官卫士、左右都虞候、宫掖门司马皆属焉。

《魏志》曰：辛毗为卫尉，清平。与徐邈、胡质，皆以忧国忘私，不营产业，赐谷二千斛、钱三十万，布告天下。

又曰：田预为并州刺史。征为卫尉。屡乞逊位，司马宣王以预克壮，书谕未听。预书答曰："年过七十而以居位，譬犹钟鸣漏尽[而]夜行不休，是罪人也。"遂因称疾。

又曰：辛毗字佐治，为卫尉卿。帝方修殿舍，毗谏曰："诗云：民亦劳止，汔可小康。"

《吴志》曰：严畯为孙权立吴及称尊号。畯尝为卫尉，禄赐皆散之亲戚知故，家常不充。

《晋书》曰：石崇拜卫尉，与潘岳谄事贾谧。谧与之亲善，号"二十四友。"广成君每出，崇降车路左，望尘而拜，其佞如此。

《宋书》曰：南郡王义宣子恢为侍中，领卫尉。晋氏过江不置卫尉，世祖欲重城禁，故复置卫尉，自恢为始也。

《唐书·官品志》曰：卫尉卿位视侍中，掌宫门屯兵，卿每月、丞每旬行宫徼，纠察不法，统武库令、公车司马令。

《汉官解诂》曰：卫尉主宫阙之内，卫士于垣下为庐，各有员部。凡居宫中者，皆置籍于门，按其姓名，有医巫佽人当入者，本官长吏为封启，传审其印信，然后内之。人有籍者，皆复有符，用木长二寸，以所长官两字为铁印分符。当出入者，案籍毕，复齿符乃引内之也。其有官位得出入者，令执御者各传呼，前后以相通，[从]昏至晨分部行夜。夜有行者辄前曰："谁！谁！"若此不懈，终岁更始，所以重慎宿卫也。

《汉书旧仪》曰：卫尉寺在京内，胡广云："宫阙之内，卫士于周垣下为庐者，若今之伏宿屋矣。"

武库令

《六典》曰：武库令掌藏邦国之兵仗器械，辨其名数，以备国用；丞为之贰。

《汉书·百官表》曰：执金吾属官，有武库令。

又曰：杜钦为大将军，武库令职闲无事，钦所好也。

又曰：武库令一人。昔武王伐纣，散牛放马，倒载干戈，韬以虎皮而藏诸武库。武库之职，由来尚矣。

《续汉书》曰：武库令一人，秩六百石，主兵器。

《晋书》曰：乐广欲会荆杨士人，武库令黄庆进陶侃于广。人或非之，庆曰："此子终当远到，复何疑也。"

守宫令

《六典》曰：守宫令掌邦国供帐之属，辨其名物，会其出入。凡大祭祀、大朝会及巡幸，则设王公、百官位于正殿南门外。

《续汉书》曰：少府属官有守宫令、丞，主御纸笔墨及财物诸用，并封书泥之事。

《魏志》曰：荀彧字文若，年少时，南阳何颙异之，曰："王佐才也。"举孝廉，拜守宫令，

董巴《汉中官传》曰：守宫，禁内署令，秩千石，在省内用中人，省外士人。

《齐职仪》曰：守宫，周掌宫之职，王行为帷宫，即其任也。

公车令

《汉书》曰：张释之为公车令。

《续汉书》曰：公车司马令，掌宫南门。凡吏民上书、四方贡献及征诣公车者，皆掌之。

又曰：周垂字子居，拜侍御史、公车司马令，不畏强御，以是见怨于幸臣。

应劭《汉官仪》曰：公车司马令，周官也，秩六百石，冠一梁，掌殿司马门。徼夜宫中，天下上事及阙下凡所征召，皆总领之。李郃以公车司马入为侍。

宗正卿

《六典》曰：宗正卿之职，掌九族、六亲之属籍，以别昭穆之序，并领崇玄署；少卿为之贰。

《汉书》曰：宗正，秦官也。应劭曰：周成王时，形伯入为正。掌亲属。

又曰：刘德字路叔，修黄老术，有智略，少时数言时事，召见甘泉宫。武帝谓之"千里驹"。昭帝初为宗正丞，后为宗正卿。德妻死，大将军欲以女妻之，德不敢，畏盛满也。

又曰：刘向字子政，元帝时萧望之、周堪荐向宗室，忠直明经有行，为宗正。

《东观汉记》曰：刘般字伯兴，迁宗正。在朝廷竭忠尽节，勤身忧国，夙夜不怠，数纳嘉谋，州郡便宜，清净畏慎，受职修治，振施宗族。

又曰：刘平字公子，以仁孝著闻。永平三年，为宗正卿。

《后汉书》曰：刘轸字君文，梁孝王胤为宗正，卒官，遂代掌宗正焉。

《续汉书》曰：宗正卿一人，秩二千石，掌序录王国嫡庶之次，及诸宗室亲属远近，郡国岁计，上宗室名籍。

《晋起居注》曰：咸宁元年，以太中大夫王览为宗正卿。

又曰：太始二年，以侍中中书监朱整为宗正卿。

《后魏书》曰：杜铨。初，密太后父豹丧在濮阳，世祖欲命迎葬于鄄，谓司徒崔浩曰："天下诸杜，何处望高？"浩对京兆为美。世祖曰："朕今方改葬外祖，意欲取京兆杜中长老一人，以为宗正，命营护凶事。"浩曰："中书博士杜铨，其家今在赵(即)[郡]，是杜预之后，于今为诸杜最。"即命诏之。及见，铨器貌瓌雅，世祖感悦，谓浩曰："此真吾所欲也。"以为宗正。

《唐书·官品志》曰：宗正卿，位视列曹尚书，主皇室外戚之籍，以宗室为之。

《石氏星经》曰：宗正二星，在帝座东南。

《山公启事》曰：羊祜忠笃宽厚，然不长理剧，宗正卿缺，不审可转作否？

宗正少卿

《后魏职令》曰：宗正卿第四品上，第二请用懿清和识参教典者，先尽皇宗，无则用庶姓。

宗正丞

《六典》曰：宗正丞，掌判寺事。

太仆卿

《六典》曰：太仆卿掌邦国厩牧、车舆之政令，总乘黄、典厩、典牧、章府四署及诸监、牧之官属；少卿为之贰。凡国有大礼及大驾行幸，则供其五辂属车之属。

《尚书·冏命》曰：穆王命伯冏为周太仆正，伯冏成名为太仆，作大御中大夫也。作《冏命》曰："昔在文武，聪明齐圣，小大之臣，咸怀忠良。今予命汝作太仆正，正于群仆侍御之臣。"

《周礼》曰：太仆正，掌[正]王之服位，出入王之大命，掌诸侯之复逆。王视朝，前正位而退，入亦如之。建路鼓于太寝之门外而掌其政，以待达穷者与遽令；闻鼓声则速逆御仆与御庶子。祭祀、宾客、丧纪，正王之服位，诏法仪，赞王牲事。王出入，则自在左驭而前驱。

《汉书》曰：(灌)[夏侯]婴自上初起沛，常为太仆，竟高祖[世]以太仆事惠帝，[惠帝]崩，以太仆事高后。高后崩，代王之来，婴与东牟侯入清宫，以天子驾迎代王，共立文帝，复为太仆。

又曰：《百官表》曰："太仆掌舆马。属官有大厩、未(夹)央厩、象马三令。又车府、路轭、音灵。骑马、骏马四令[丞]；又龙马、闲

驹、橐泉、骝驺、承华五监长丞；又边郡六牧苑令，各三丞；又（收）[牧]橐、昆蹄令、丞皆属焉。

《东观汉记》曰：祭侧界切。彤膂力过人，常贯三百斤弓，入为太仆；从帝过孔子讲堂，帝指子路室曰："太仆，吾之御侮也。"

《后汉书》曰：征祭彤为太仆。彤在辽东凡三十年，衣无兼副。显宗既嘉其功，又美彤清约，拜日赐钱一百万、马三匹、衣被、刀剑下至居屋什物，大小无不悉备。

《续汉书》曰：赵岐字台卿，献帝以为太仆，持节安慰天下。

又《百官志》曰：太仆秩中二千石，掌车马。天子出，奉驾；大驾则驭。

《魏志》曰：国渊字子尼，迁太仆。居列卿位，布衣蔬食，禄赐散之旧故宗族，以恭俭自守。

又曰：潘尼字正叔，侍中为太仆，造《乘舆箴》。

《汉旧仪》曰：太仆牧师诸苑三十六所，分布北边，以郎为苑监官。奴婢三万人，分养三十万头，择取给六厩，牛羊无数，以给牲牺。

《汉杂事》曰：石庆为太仆卿出，上问车中几马，庆以策数马毕，举手曰："六马！"庆于兄弟中最为简易，而犹如此。

又曰：公孙贺以太仆为丞相，子敬声代为太仆。

《晋诸公赞》曰：郭展为太仆，留心于养生，是以厩马充牣；其后征吴，得以济事。

《唐书·官品志》曰：太仆卿位视黄门侍郎，统南马牧、左右牧、龙厩、内外厩丞。

乘黄令

《六典》曰：乘黄令掌天子车辂，辨其名数与驯驭之法；丞为之贰。

《宋书》曰：乘黄令，晋官也。主乘舆金根车及安车、追锋诸众车马。

《齐职仪》曰：乘黄(令)，兽名也。龙翼马身，黄帝乘之而仙，后人以名厩。

厩令

《六典》曰：典厩令掌系饲马牛，给养杂畜之事；丞为之贰。

《汉书》曰：太仆属官有大厩、未央厩、象马三令，各五丞一尉。又车府、辂轭、骑马、骏马四令、丞；晋约曰：汉仪注，大厩，名也，主马万匹也。又龙马、闲驹、橐泉、如淳曰：厩在橐泉宫下。騊駼、承革五监长、丞；牧橐、昆蹄令丞。应劭曰：橐，橐驼。昆蹄，好马名也。如淳曰：因以名厩也。武帝太初元年，更名家马为桐马。应劭曰：主乳马取其汁，桐洛之味酢可饮，因以名官相动。

又曰：苏武为栘中监。栘中，厩名。音移。

又曰：上官桀迁未央厩，上体不安，及愈，见马瘦，上怒曰："汝以我不复见马耶！"桀曰："圣体不安，日夜忧惧，意诚不在马。"言未卒，泣数行下，上以为忠。

《齐职仪》曰：诸厩有圉师、牧人，养马之官；校人，掌王之马正也。

车府令

《六典》曰：车府令掌王公已下车辂，辨其名数及驯驭之法，丞为之贰。

《史记》曰：赵高为秦车府令。

《汉书·百官表》曰：太仆属官，有车府令一人，六百石；丞一人。

《东观汉记》曰：永平中，车驾出，信阳侯阴就干车骑突卤簿，车府令齐国徐匡就车收[御者]送狱，诏书谴匡，[匡]自系不出。吴良上书言："信阳侯骄慢，干突车骑，无人臣礼，大不敬。匡执法守正而下狱，臣恐陛下政化由是隳矣。"于是诏出匡，左迁[为]即丘长。

《齐职仪》曰：车府署，周有巾车典辂之职，辨五辂之制。

太平御览卷第二百三十一

职官部二十九

大理卿　大理少卿　大理正　大理丞　廷尉监　廷尉评

大理卿

《六典》曰：大理卿之职，掌邦国折狱详刑之事。以五听察其情：一曰气听，二曰色听，三曰视听，四曰声听，五曰词听。以三虑尽其理：一曰明慎以谳疑狱，二曰哀矜以雪冤狱，三曰公平以鞫庶狱。少卿为之贰。

韦昭《辨释名》曰：廷尉，县尉，皆古尉也。以尉尉人也。凡掌贼及司察之官皆曰尉。尉，罚也。言以罪罚奸非也。

《尚书》曰：帝曰："皋繇，汝作士，明于五刑，以弼五教。"

《论语》曰：孟氏使阳肤为士师，士师，典狱之官。问于曾子，曾子曰："上失其道，民散久矣。如得其情，则哀矜而勿喜。"

《韩诗外传》曰：晋文公使李离为理，过听杀人，自拘于廷，请死于君。君曰："官有贵贱，罚有轻重，下吏有罪，非子之罪也！"离曰："法失则刑失，刑失则在臣。居为长，不与下吏让位；爵为多，不与下吏分[利]。(则)君以为能听微决疑，故使臣为理。今过听杀无罪，罪当死，臣不能以虚自诬。"遂伏剑死。君子曰："忠矣，仁矣！"

《家语》曰：季羔为卫士师，刖人之足。俄而卫有乱，季羔逃，刖者守门，谓羔曰："彼有缺。"羔曰："君子不隧。"又曰：此有室，季羔入焉。既罢，羔问曰："吾亲刖子之足，而子逃我，何也？"刖者曰："曩者，君理人以法令，先君后臣，欲臣之免也，臣知之；临当论刑，君愀然不乐，见于颜色，臣又知之；君岂私臣哉？天生君子，其道故然，此臣之所以脱君也。"孔子闻之曰："善哉，为吏！其用法一。思

仁恕则树德，加严暴则树怨。公以行之，其子羔乎！"

《史记·天官书》曰：斗魁四星，贵人之牢，曰"大理"。

《汉书》曰：廷尉，秦官，掌刑辟。有正、左、右监。景帝中[元]六年，更名大理。武帝建元四年，复为廷尉。

又曰：于定国为廷尉，为人卑恭，尤重经术。其决狱平法，务在哀鳏，罪疑从轻，加审慎之心。朝廷称之曰："张释之为廷尉，天下无冤人；于定国为廷尉，人自以不冤。"

又曰：朱博迁廷尉，恐为官属所轻，召见正监典法掾吏，谓曰："廷尉本起于武吏，不明法律，幸有众贤，亦何忧？然廷尉化部断狱以来二十年，亦独耳剽目久，剽，劫也。匹妙反。三尺律令，人事出其中。试与正监共撰前代决事吏议难知者数十事持问，廷尉将为诸君覆之。"正监条目，博皆召掾吏，为平处其轻重，十中八九。官属咸服。

又曰：张释之为廷尉，文帝尝行，有人从渭桥下出，乘舆马惊。捕之，属廷尉。释之奏其犯跸，当罚金。上怒。释之曰："法者，所与天下公共也。方以其时诛之则已，今已下廷尉；廷尉，天下之平也，一倾，天下用法皆为之轻重，人安所措其手足乎？"后有盗高庙座前玉环者，文帝令族之。释之奏当弃市，上大怒。释之曰："法如是也。今盗宗庙器而族之，如令愚人取长陵一(杯)[抔]土，陛下何以加其法乎？"

又曰：张汤为廷尉，决大狱，欲傅古义，(方)[乃]请博士弟子理《尚书》、《春秋》，补廷尉史平亭疑法，奏谳疑事，必先为上分别其原，以扬主之明。言此自天子意，非由有司也。奏事有善则让曰："监掾史某所为也。"亭者，平也，均也。

又曰：杜周为廷尉。其治大敦张汤，而善候伺上所欲，客谓周曰："君为天下决平，不循三尺法，以三尺竹简书法令律。专以主意为狱，狱者固如是乎？"周曰："三尺安出哉？前主所是著为律，后主所是疏为令；当时为是，何古之法乎！"至周为廷尉，狱亦益多矣。二

千石系者新故相因，不减百余人。

又曰：王(先)生者，善黄老言，处士也。张释之召居廷中，王生年老，与释之及公卿会，廷中立，王生袜解，顾谓释之："为我系袜！"释之前跪而系之。既退，或让王生曰："何辱张廷尉乎？"王生曰："廷尉方为天下名臣，吾聊使系袜，欲重之。"诸公闻之，贤王生而重张廷尉。

又曰：下邽翟公为廷尉，宾客填门；及免官，门外可设雀罗，复为廷尉，乃署其门曰："一死一生，乃知交情；一贵一贱，交情乃见。"

又曰：文帝初立，闻河南守吴公治为天下第一，故与李斯同邑，乃征吴公为廷尉。

又曰：孔光为廷尉。时定陵[侯]淳于长坐大逆诛，长少妻乃始等六人皆以长事未发觉时弃去，或更嫁。及长事发，丞相翟方进等议，乃始等于法无以解论。光以为夫妇之道，有义则合，无义则离。乃始或嫁，义已绝，而欲以为妻论杀之，名不正，不当坐。有诏以光议定。

《东观汉记》曰：陈宠为廷尉，有疑狱，辄手笔作议，所活者甚多。

《后汉书》曰：郭躬为廷尉。躬家代掌法，务[在]宽平，乃条诸重文可从轻者四十一事奏之，事皆施行，著于令。

又曰：郭躬字仲孙。为廷尉正，迁廷尉，家代掌法；子镇自廷尉左监迁廷尉。凡郭氏为廷尉者七人。

《后汉书》曰：杨赐迁廷尉，乃叹曰："昔三后成功，惟殷于人，而咎繇不与焉，盖吝之也。"吝，耻也。遂以代非法家固辞。

谢承《后汉书》曰：范延寿，宣帝时为延尉。时燕赵之间，有三男共娶一妻，生四子，长各求离别；争财分子，至闻于县，县不能决断，谳之于廷尉。于是延寿决之，以为悖逆人伦，比之禽兽生子属其母，以子并付母。尸三男于市。奏免郡太守、令长等无师化之道，天子遂可其言。

又曰：傅贤迁廷尉，素廉正，自掌法，官无私门，宾客公卿宴会，要请不往。自以为贫无以报答其施，常垂念刑法，务从轻；比至断狱，迟回流涕。在位四年，治狱称平。

华峤《后汉书》曰：吴雄字季高，以明法律，断狱平，桓帝时为廷尉。雄子沂，孙恭，三世相承为廷尉，为法名家。

《汉官仪》曰：光武时，有疑狱，见廷尉曹史张禹，所问辄对，处当详衷，于是册免廷尉，以禹代之。虽越次而授，亦足以厉其臣节也。

《魏志》曰：高柔字文惠，陈留圉人，迁廷尉。顷之，护军营士窦礼近出不还。营以为亡，表言逐捕，没其妻盈及男女为官奴婢。盈连至州府称冤自讼，莫有省者，乃辞诣廷尉。柔问曰："汝何以知夫不亡？"盈垂泣对曰："夫少单，特养一老妪为母，事甚恭谨，又哀儿女，抚视不离，非是轻狡不顾室家者也。"柔重问曰："汝夫不与人怨仇乎？"对曰："夫良善，与人无仇。"又曰："汝夫不与人交钱财乎？"对曰："尝出钱与同营士焦子文，久求不得。"时子文适坐小事系狱，柔乃见子文，问所坐。言次，曰："汝颇曾举人钱否？"子文曰："自以单贫，初不敢举人[钱]物也。"柔察子文色动，遂曰："汝昔举窦礼钱，何言不举耶？"子文怪之，知事露，应对不次。柔曰："汝已杀礼，便宜早服。"子文于是叩头，具首杀礼本末，埋藏所。柔便遣吏卒丞子文辞往掘，即得尸。诏书复盈母子为平民。班示天下，以礼为戒。

又曰：高柔字文惠，迁廷尉。时猎法甚峻，而宜阳典农刘龟窃于禁内射兔，其功曹张京诣授事言之。帝匿名收龟付狱。柔请告者名，帝大怒曰："刘龟当死，乃敢猎吾禁地，送龟廷尉，廷尉便当考掠，何复请告者名，吾岂妄收龟耶？"柔曰："廷尉，天下之平也，安得以至尊喜怒而毁法乎？"重复为奏，辞旨深切。帝意寤，乃下张京名。即还讯，各当其罪。

又曰：钟毓迁廷尉，听君父已没，臣子得为理谤，及士为侯，其

妻不复改嫁，毓所创也。

《晋书》曰：孔坦字君平，迁侍中廷尉，多平正当法，合人情，而时势要自以爱憎为断，坦意不得皆行也。

《晋中兴书》曰：范坚字子常，为廷尉，奏主典吏邵广盗官幔合布四十匹，依律弃市。广息云、宗二人，自没为官奴婢，以赎父。尚书议可，特听。坚驳之曰："此为施一恩于今，开万怨于后。"显宗从之，正广刑。

又曰：王彪之迁廷尉，时永嘉太守谢毅赦后杀郡人周矫，矫从兄球诣州诉冤，扬州刺史殷浩遣从事收毅付廷尉。彪之以球为狱主，身无王爵，非廷尉所料，不肯受，与州相反覆，穆帝发诏令受之，彪之又上疏执据。时人云，张释之以来，复见斯事。

《后魏书》曰：崔光韶迁廷尉卿，时秘书监祖莹以赃罪被劾，光韶欲致之重法。太尉城阳王徽、尚书令临淮王彧、吏部尚书李神隽、侍中李彧并势望当时，皆为莹求宽。光韶正色曰："朝贤执事于舜之功，未闻有一，如何反为罪人言乎！"其执意不回如此。

《隋书》曰：文帝时议置六卿，将除大理。卢思道奏曰："省有驾部，寺留太仆；省有刑部，寺除大理，斯则重畜产而贱刑名也。"

又曰：杨注字元度，守大理卿。注视事二日，帝将亲省囚徒。其时系囚二百余人，注通宵究审，诘朝而奏，曲尽事情，一无遗误，帝甚嘉之。

《唐书·官品志》曰：廷尉卿，梁国初建曰大理。天监元年复改为廷尉，有正、监、平三人。元会，廷尉三官与建康三官皆法冠、玄衣、朝服，以监东西中华门；手执方木，长三尺，方一寸，谓之执方。

又曰：郎楚之，武德初为大理卿，与太子少保李纲、侍中陈叔达撰定律令。

又曰：刘德威授大理卿，太宗尝问之曰："近来刑纲稍密，其过安在？"德威奏言："诚在主上，不由臣下。人主好宽则宽，好急则急。律文失入减三等，失出减五等；今则反是，失入则无辜，失出获

大罪，所以吏各自爱，竞执深文，非有教使之然，畏罪之所致耳。陛下但舍所急，则宁失不经复行于今日矣。"太宗深然之。

又曰：高宗问大理唐临狱系囚之数，临对曰："见囚五十余人，惟二人合死。"上闻囚数不多，怡然形于颜色，谓临曰："昔东宫，卿已事朕；朕承大位，卿又居近职。以畴日相委，故授卿此任。然为国之要，在于刑法，刑急则人残，法宽则失罪，务令折中，称朕意焉。"

又曰：张文瓘为大理卿，旬日决遣疑狱四百余条，其得罪者皆无怨言。文瓘尝有疾，系囚相与设斋以祷焉。寻拜侍中兼太子宾客，大理囚一时恸哭，其得人心如此。

又曰：大理卿袁仁敬暴卒，系囚闻之，皆恸哭悲歌，曰："天不恤冤人兮，何夺我慈亲兮！有理无申兮，痛哉安诉陈兮！"

又曰：龙朔二年，改大理卿为详刑寺正卿。

《唐新语》曰：唐临为大理卿，初莅职，断一死囚。先时坐死者十余人，皆它官所断。会太宗幸寺，亲录囚徒，它官所断囚皆称冤不已；临所断者，默而无言。太宗怪之，问其故，囚对曰："唐卿断臣必不枉滥，所以绝意。"太宗叹息久之曰："为狱固当若是。"囚遂见原。

《五代史·后唐书》曰：长兴二年八月，敕今后大理寺官员宜同台省官例升进，其法直官比礼直官任使。

《会稽典录》曰：盛吉字君达，为廷尉。性多哀怜，其妻谓吉曰："君为天下执法，不可使人一滥罪殃及子孙。"其囚无胤嗣者，令其妻妾得入，使有遗类。视事十二年，天下称有恩。

又曰：董昆字文通，余姚人也。迁廷尉卿，持法清峻，不发私书。

又曰：盛吉拜廷尉。吉性多仁恩，务在哀矜。每至冬日，罪囚当断，其妻执烛，吉手执丹笔，夫妻相向垂泣。

《会稽后贤记》曰：孔坦迁廷尉卿，狱多囚系，坦到官，躬执辞

状，口辨曲直，小大以情，不加楚挞。每台司录狱，无所顾问，皆面决当时之事。

《天文录》曰：平星主建廷，平主天下之狱事，若今廷尉之象。故《星赞》曰："平星执法，正纲纪也。"

《文子》曰：皋陶喑为大理，天下无虐刑，有贵乎言者也。

《说苑》曰：楚令尹子文之族有干法者，廷理拘之，闻其令尹之族也而释之。子文召廷理而责之，遂致其族人于廷理曰："不是刑，吾将死！"廷理惧，遂刑其族人。成王闻之，不及履而至于子文之室，曰："寡人幼小，置廷理其人，以违夫子之意。"于是黜廷理而尊子文之意，反内政。

《新序》曰：楚昭王时，石奢为理，有杀人者，奢追之，则其父也。奢曰："以父成政，不孝也。不行君法，非忠也。"遂刎颈而死。

挚虞《新礼议》曰：故事，祀皋陶于廷尉寺，祀以社日，新礼改以孟秋之月，以应秋。

大理少卿

《后魏职令》曰：廷尉少卿第四品上，第二（请）[清]，用思理平断、明刑识法者。

《北齐书》曰：宋世轨为廷尉少卿，时大理正苏珍之亦以平干知名，寺中为之语曰："决定嫌疑苏珍之，视表见里宋世轨。"谓之寺中二绝。卒官廷尉御史，诸囚皆哭曰："宋廷尉死，我等岂有生路也？"

《隋书》曰：赵绰为大理少卿，侍郎辛亶尝衣绯裩，俗云利[于]官，文帝以为厌蛊，将斩之。绰曰："据法不当死，臣不敢奉诏。"上怒甚，令斩绰。绰解衣当斩，上使人问曰："竟如何？"绰曰："执法不敢惜死！"上良久[乃]释之。他日又令斩二人，绰曰："此人坐当杖，杀之非法。"上曰："不关卿事。"绰曰："陛下置臣法司，欲误杀人，岂得不关臣事！"上曰："撼大木不动者，当退。"绰曰："臣冀感天心，何论大木！"上乃止。时薛（曹）[胄]为大理卿，胄断狱以情，而绰守

法，俱为称职。

又曰：源师，炀帝即位，拜大理少卿。帝在显仁宫，敕宫外卫士不得辄离所守。有一主帅，私令卫士出外，帝付大理绳之。师据律奏徒，帝令斩之，师奏曰："此人罪诚难恕，若陛下初便杀之，自可不问文墨，既付有司，议归恒典，脱宿卫近侍者更有此犯，将何以加之？"帝乃止。

《唐新语》曰：太宗尝谓侍臣曰："大理之职，人命所悬，当须妙选正人，用心存法，无过[戴胄]者，乃以为大理少卿。"

又曰：徐有功迁司刑少卿，时周兴、来俊臣等罗告天下，衣冠遇族者数千百家。有功居司刑，平反者不可胜纪，时人方之于定国。

大理正

《六典》曰：大理正掌参议刑狱、详正科条之事。凡六丞断罪不当，则以法正之。

《礼记》曰：成狱辞史以狱成告于正，正听之。郑玄注云：于《周礼》乡师之属，今汉有正、平、丞，秦所置也。

《东观汉记》曰：何敞字比干，迁廷尉正。张汤为廷尉，以残酷见任，增饰法律，敞尝争之，存者千数。

《后汉书》曰：黄霸字次公。宣帝在人间时，知百姓苦。吏闻霸理法平，召为廷尉正。及夏侯胜非议下廷尉狱，霸从胜受《尚书》。

谢承《后汉书》曰：陈琳字伯真。桥玄表琳明律令，征拜廷尉正。

《魏志》曰：司马芝，字子华，迁大理正。有盗官练置都厕上者，吏疑女工，收以付狱。芝曰："夫刑罪之失，失在苛暴。今赃物先得而[后]讯其辞，若不胜掠，或至诬服。诬服之情，不可以折狱。且简而易从，大人之化也。不失有罪，庸世之治耳。今有所疑，以隆易从之义，不亦可乎！"太祖从其议。

《晋书》曰：江统字元应，为廷尉正，作三刑议。

又曰：廷尉三官通视南台，持书旧尚书郎下迁，梁制，服獬豸冠、介帻、皂衣、铜印、墨绶。

《晋中兴书》曰：顾荣字彦先，入洛以南土秀望，累迁廷尉正。

《南史》曰：顾协少清介，有志操。初为廷尉正，冬服单薄，寺卿蔡法度欲解褐与之，惮其清严，不敢发口，谓人曰："我愿解身上襦与顾郎，顾郎难衣食者，竟不敢以遗之。"

大理丞

《六典》曰：大理丞掌分判寺事。凡有犯，皆据其本状以正刑名。徒已上，各呼囚与其家属，告以罪名，问其伏款；不伏，则听自理。

《唐书》曰：杜景佺、徐有功为司刑丞，与来俊臣、侯思止同理狱，人称之曰："遇徐、杜必生，遇来、侯必死。"

《唐新语》曰：李日知为司刑丞，尝免一死囚；少卿胡元礼异判杀之，与日知往复至于再三。元礼怒，遣府吏谓日知曰："元礼不离刑曹，此囚无不死法。"竟以两闻，日知果直。

廷尉监

《汉书》曰：邴吉字少卿，稍迁廷尉监，治巫蛊。

谢承《后汉书》曰：陈咸字子威，为廷尉监，执狱多恩，议人常从轻，比多所全活，皆称其恩。

《晋起居注》曰：廷尉监陆鸾上表求增筑讯堂，图画先贤像，诏许之。

廷尉评

《六典》曰：大理评事掌出使推按。凡承制而出推长吏，据状合停务及禁锢者，先请鱼书以往，据所受之状鞫而尽之。若词有反复，不能首实者，则依法拷之。凡大理断狱，皆连署焉。

《汉书》曰：宣帝诏曰："今遣廷吏与郡鞫狱，任轻禄薄，其为置(正)[廷]平，员四人，其务平之！"涿郡太守郑昌上言曰："圣王立法明刑者，非以为理，救衰乱之起也。今明主躬垂明听，不置廷平，狱将自正；若开后嗣，不若删定律令。律令一定，愚人知所避就，奸吏无弄。今不正其本，而置廷平以理其末，(代)[政]衰德怠，则廷平将摇权而为乱首也。"宣帝始置左右平。而《三辅决录》注云："何比于汉武时为廷尉右平，谬矣！"

又曰：马宫字游卿，行能高洁，迁廷尉平。

又《百官表》曰：宣帝地节三年初，置左右平四人，秩六百石。

《晋中兴书》曰：顾荣字彦先，迁廷尉平。时赵王[伦]欲诛淮南王允官属，下廷尉议罪。荣具明刑理，不宜广滥。伦意解，赖荣济者甚众。

《隋书》曰：廷尉平，置一人，第六品下。后改为评事。

《唐新语》曰：敬昭道为大理评事。时沂州有反者，诖误坐者四百余人，将隶于司农。未即路，系在州狱，昭道援赦文判而免之。时宰相责大理"奈何免反人家口？"大理群官失色，引昭道以见，执政怒而责之，昭道曰："赦云：见禁囚徒，反者家口系在州狱，此即见禁也。"反复诘对，至于五六执政无以夺之，诖误者悉免。

《三辅决录注》曰：茂陵何比于汉武时，丞相公孙弘举为廷尉右平，狱无冤民，号曰何公。

太平御览卷第二百三十二

职官部三十

鸿胪卿　鸿胪少卿　典属国　司农卿　司农少卿
上林苑令　太仓令　导官令　太府卿　太府少卿
市令　平准令　左右藏令

鸿胪卿

《六典》曰：鸿胪卿之职，掌宾客及凶仪之事，领典客、司仪二署，以率其官属，而供其职务；少卿为之贰。凡四方夷狄君长朝见者，辨其等位，以宾待之。凡二王之后及夷狄君长之子袭官爵者，皆辨其嫡庶，详其可否。若诸蕃大酋渠有封礼命，则受册而往其国。

韦昭《辩释名》曰：腹前肥者胪，言以京师为心腹，王侯外国为四体以养之也。辩云：鸿胪，本故典客，掌宾礼。鸿，大也；胪，陈序也。欲以大礼陈序宾客也。

《汉书》曰：田序字子公，连擒大奸，征为大鸿胪。

又曰：典客，秦官，掌诸侯、归义蛮夷，有丞。景帝中[元]六年，更名大行令。武帝太初元年，更名大鸿胪。

《东观汉记》曰：大鸿胪，汉旧官，建武元年复置，属官有丞一人、大行丞一人，有理礼员四十七人，主斋祠、傧赞九宾之礼。

《续汉书》曰：大鸿胪卿一人，中二千石。诸王入，当郊迎，典其礼仪，及郡国上计并属焉。皇子拜王，赞授印绶；及拜诸侯嗣子及四方夷狄封者，鸿胪召拜之。

谢承《后汉书》曰：陈纪字元方，遭父太丘长实忧，呕血绝气。豫州嘉其至行，表上尚书，图画百城，以励风俗。袁绍以太尉让纪，

纪不受;拜大鸿胪。卒官,子群为三公。天下以为公惭卿,卿惭长。

又曰:白嵩字季山,为济南相。甘露降于郡,安帝嘉其致瑞,征拜大鸿胪。

《汉官解诂》曰:鸿,声也;胪,传也。所以传声,赞导九宾也。

又曰:昔唐虞宾于四门,此则礼宾之制与鸿胪之任亦同。

《汉杂事》曰:萧[由]为陈留太守,入为鸿胪,不任宾赞,还官。

《魏志》曰:崔林字德儒,清河东武城人也。迁大鸿胪。龟兹王遣侍子来朝,[朝]廷嘉其远至,褒赏其王甚厚。余国各遣子来朝,问使连属,林恐所遣或非真的,权取疏属贾胡,因通使命,利得印绶,而道路护送,所损滋多。劳所养之民,资无益之事,为夷狄所笑,此衰时之所患也。乃移书敦煌谕旨,并录前世待遇诸国丰约故事,使有恒[常]。

《魏略》曰:韩宣字景然,为大鸿胪。始南阳曲阜韩暨以宿德,在宣前为大鸿胪。及宣在官,亦称职,故鸿胪中为之语曰:"大鸿胪,小鸿胪,前后治行相曷如。"

《蜀志》曰:杜琼字伯瑜,后主立为大鸿胪。为人静默少言,阖门自守,不与世事。

《吴志》曰:张俨字子节,吴人也。弱冠知名,早历显位,以博闻多识拜大鸿胪。使于晋,皓谓俨曰:[今]南北通好,以君有出境之才,故相屈行。"对曰"皇皇者华,臣蒙其荣,惧无古人延誉之美,磨厉锋锷,思不辱命。"既至,车骑将军贾充、尚书令裴秀、侍中荀勖等欲傲以所不知而不能屈。尚书仆射羊祜、尚书何桢并结缡带之好。

《唐书·官品志》曰:鸿胪卿位视尚书右丞,掌导护赞拜。

《山涛启事》曰:鸿胪,职主胡事,前后为之者率多不善了。今缺,当选御史中丞刁攸,不审可尔不?

鸿胪少卿

《后魏职令》曰:鸿胪少卿第四品上,第二清,用雅学详当、明枢

达理者。

《隋书》曰：炀帝时，蛮夷朝贡，前后相属。帝从容谓宇文述、虞世基等曰："四夷率服，观礼华夏，鸿胪之职，须归令望。宁有多才艺、美容仪可以接对宾客者为之乎？"咸以苏夔对，帝然之，即日拜鸿胪少卿。

典属国

《汉书》曰：武帝以移中监苏武为典属国。

又曰：宣帝甘露二年，以常惠为典属国。

又曰：典属国，秦官，掌蛮夷降者。成帝河平元年，省并大鸿胪。

司农卿

《六典》曰：司农卿之职，掌邦国仓储委积之事，总上林、太仓、钩盾、导官四署与诸监之官属，谨其出纳而修其职务；少卿为之贰。凡京都百司官吏禄廪，皆仰给焉。

《周礼》曰：冢宰有太府下大夫。郑玄注曰："太府为王治藏之长，若今司农矣。"

《史记》曰：韩信归汉，汉以为治粟内史。

《汉书》曰：治粟内史，秦官，掌谷货。景帝更名大农令，武帝更名大司农。

又曰：郑当时，字庄，为司农。[戒]门下："客至，无贵贱无留门者。"执宾礼以下人。山东诸公翕然称庄曰："吾闻郑庄行，千里不赍粮。"

又曰：朱邑为北海太守，以治行第一，入为大司农。身为列卿，居处节俭，性公正，不可交以私，天子器之，朝廷敬焉。及卒，诏称扬其节行，赐邑子黄金百斤，以奉其祭祀。

又曰：田延年为大司农，坐盗都内钱三千万，自杀。

又曰：平帝元始元年，改大司农曰羲和，以刘歆为之。

《东观汉记》曰：刘据为大司农，以职事被谴，召诣尚书，将加捶挞，尚书左雄谏帝曰："九卿位亚三公，行则鸣王，孝明永平始加扑罚，非古制也。"帝从之，卿于是始免扑捶。

又曰：高诩字季回，以儒学征拜大司农。在朝以清白方正称。

又曰：羊融字子优，为大司农，性明达，称为名卿。

《续汉书》曰：李固为大司农。上信阉官，天下牧守多其宗亲旧故。及受货贿，有诏特拜，不由选试，乱生弥甚。固乃上表具陈盗贼所以兴，由官非其人也。

又曰：大司农卿一人，中二千石，掌诸钱谷金帛。

又曰：赵典字仲经，为大司农，闭门却扫，非德不交。

又曰：耿国字叔虑，为大司农，晓边事，能论议，数上便宜事，天子器之。

又曰：郑玄，公车征为大司农，给安车一乘，所过长吏送迎。

张璠《汉记》曰：陈宠为广汉太守，风声大行，入为大司农。

应劭《汉官仪》曰：大司农，古官也。唐虞分命羲和，四子敬授民时。高祖受命，惩秦之弊，与民休息。逮至文景，国家无事，家给人足，京师之钱，累百巨万，贯朽而不可校。太仓之粟，陈陈相因，充溢露积，腐败而不可食。

《魏志》曰：梁习为并州二十余年，政治为天下最，乃征拜大司农。

《吴志》曰：楼玄为大司农。玄从九卿持刀侍卫，正身率众，奉法而行，应对切直，数迕皓意，渐见责怒。后人诬曰玄与贺邵相逢，驻共耳语大笑，谤讪政事，遂被诏诘责，送付广州。

《晋阳秋》曰：司农桓范，字元则，出奔，曹爽云："大司农印在吾手中，所在得开仓而食。"

《宋书》曰：大司农卿一人，《书》称弃，后稷其职也。

《齐职仪》曰：司农卿耕籍则掌其礼仪。

《隋书》曰：赵元淑转颍川太守，甚有惠政，因入朝，会司农不时纳诸郡租谷，元淑奏之。帝谓元淑曰："如卿意者，几日当了？"元淑曰："如臣意，不过十日。"帝即日拜元淑为司农卿，纳天下租，如言而了，帝悦焉。

《唐书·官品志》曰：司农卿，位视散骑常侍，主农功、仓廪，统太仓、导官、籍田、上林令。

韩扬《天文要集》曰：天仓者，大司农也。

《异苑》曰：吴郡岑渊为吴郡，时大司农卿碑注在江乘湖西。太元中，村人见龟载从田中出，还其先处，萍藻犹着腹下。

史游《急就篇》曰：司农少府，国之泉也。

司农少卿

《后魏职令》曰：司农少卿第三清，用堪勤有干能者。

《唐书》曰：韦弘机为司农少卿，受诏检校东都营田、园苑之事。高宗谓之曰："两都是朕东西二宅也。今之宫馆，隋代所造，岁序既淹，渐将颓顿，欲有修造，又费财力，如何？"弘机奏曰："臣任司农，向已十年，前后省费，今见贮钱三千万贯；若以供葺理，可不劳而就也。"上大悦。

上林苑令

《汉书·百官表》曰：水衡属官有上林令。

《续汉书》曰：上林苑令六百石，主苑中禽兽；有民居，皆主之；捕得兽，送太官。

《李邰别传》曰：邰以郎谒者，为上林苑令。

扬雄《上林苑令箴》曰：芒芒天田，芃芃作谷。山有陵陆，野有林麓。夷原汙薮，禽兽攸伏。鱼鳖以时，刍荛咸植。国以殷富，民以家给。

太仓令

《六典》曰：太仓署令，掌九谷廪藏之事；丞为之贰。凡凿窖、置屋，皆铭瓴为庾斛之数，与其年月，受领粟官吏姓名。又立碑如其铭焉。

《汉书》曰：淳于意为太仓令。

《续汉书》曰：太仓令一人，秩六百石。主受郡国转漕谷。

《梁冀别传》曰：太仓令秦宫，出入冀妻寿所，语言、饮食独往独来，屏去御者。宫，冀仓头。寿姊夫宗欣不知书，因寿气力起家，拜太仓令。

《齐职仪》曰：太仓令，周司徒属官，有廪人、仓人则其职也。

导官令

《六典》曰：导官令掌导择米麦之事。凡有九谷之用，皆随其精粗，差其耗损而供之。

《汉书·百官表》曰：少府属官有导官。如淳曰：太官之别主酒也。

《续汉书》曰：导官令一人，主舂御米及作干糒导择也。

太府卿

《六典》曰：太府卿之职，掌邦国赋货之事，总京都四市、平准、左右藏、常平八署之官属，举其纲目，修其职务；少卿为之贰。以二法平物：一曰度量，二曰权衡。

《周礼》曰：天官属有太府下大夫，掌贡赋，受其货贿之入。

《梁书》曰：天监七年，置太府，班第十三，掌金帛，府帑，统右藏令、上库丞、太市、南市、北市令，关津亦皆属焉。

《后魏书》曰：杨播字延庆，弘农华阴人也。播少修敕，奉亲尽礼。累迁右卫将军，从车驾南巡，至悬瓠除太府卿。

《唐书》曰：杨崇礼为太府少卿，虽钱帛充仞，丈尺间皆躬自省

阅，时议以为称职。擢拜太府卿，每岁勾剥省便常出数百万贯。在职二十年，公清如一。时太平日久，御府财物山积，以为经杨卿者，无不精好。

《唐书·官品志》曰：太府卿位视宗正，掌金帛府帑，统右藏令。

太府少卿

《后魏职令》曰：太府少卿第四品上，士人官上用勤笃有干，细务无滞者。

《新唐语》曰：狄光嗣，仁杰长子也。睿宗朝起复除太府少卿，光嗣频表不起，乃降敕："朕念卿家门忠于王室，夺卿情理，以答殊恩。卿屡表固陈，词理恳至，循环省览，有足可矜。今遂所请，用劝浮薄，待卿情礼云毕，更俟后命，仍编入史。"

市 令

《六典》曰：京、都诸市令，掌百族交易之事；丞为之贰。凡建标立候，陈肆辨物，以二物平市，谓秤以格，斗以概也。以三贾均平市。精为上贾，次为中贾，粗为下贾。凡卖买不和而擅固，擅谓专略其利，固谓障，固其市。及更出开闭共限一价，谓卖物以贱为贵，买物以贵为贱也。若参市而规自入者，并禁之。谓在旁高下其价以相惑乱。

《史记》曰：司马谈祖为汉市长。

《汉书·百官表》曰：内史，属官有长安市长，又长安四市令长、丞，属左冯翊。

《东观汉记》曰：祭遵从征河北，为军市令，舍中儿犯法，遵格杀之。上怒，命收遵。时主簿陈副谏曰："明公常欲众军整齐，今遵奉法不避，是教令行也。"上乃贷之，以为刺奸将军，语诸将曰："当备祭遵，吾舍中儿犯令尚杀之，必不私诸卿也。"

《晋书》曰：石苞卖铁[于]邺市，市长沛国赵元儒名知人，见而异之，便与结交。叹其远量，当至公辅。

《齐职仪》曰：市令，周有司、廛、肆、师、司、市，皆其任也。

平准令

《六典》曰：平准令掌供官市易之事；丞为之贰。凡百司不任用之物，则以时出货；其没官物者，亦如之。

韦昭《辩释名》曰：释云：平准令，主染色。色有常平之法，准的之也。辩云：主平物价，使相依准。

《史记》曰：桑弘羊以物多腾跃，请置平准于京师，受天下委输，尽笼天下之货物，贵则卖之，贱则买之，如此则富商大贾无所牟大利矣。始置平准焉。

《汉书·百官表》曰：司农属官有平准令、丞。

《汉书》曰：赵广汉清洁下士，有名誉。州举茂才，拜平准令。

《续汉书》曰：平准令，[秩]六百石。

《齐职仪》曰：染署，掌染缯色。少昊置五雉为工正，犁雉氏设五色之工。周有染人之职，掌丝帛以为服。

左右藏令

《六典》曰：左藏令掌邦国库藏之事；丞为之贰。凡天下赋调，先于输场阅其合尺度斤两者。卿及御史监阅，然后纳于库藏，皆题以州县、年月，以别粗良，辨新旧也。

又曰：右藏置令掌邦国宝货之事；丞为之贰。凡四方所献金玉、珠贝、玩好之物皆藏之，出纳禁令，如左藏之职。

《齐职仪》曰：右藏库，周天府内府之任。天府，物所藏也。内府，掌邦市之出入，以待王用。后汉中藏府令、丞，掌币帛、金银诸物；晋置中黄左右藏。

太平御览卷第二百三十三

职官部三十一

秘书监　秘书少监　秘书丞　秘书郎

秘书监

《六典》曰：[秘书]监之职，掌邦国经籍图书之事。有二局：一曰著作，二曰太史，皆率其属而修其职；少监为之贰。

《东观汉记》曰：桓帝延熹二年初，置秘书监，掌典图书、古今文字，考合异同。

华峤《后汉书》曰：学者称东观为老氏藏室，道家蓬莱山。王融《曲水诗序》曰："记言事于仙室。"谓藏室也。

《魏志》曰：王象字羲伯，散骑常侍领秘书监，撰《皇览》。

鱼豢《魏略》曰：兰台，台也。而秘书署耳。

王隐《晋书》曰：王沉为秘书监，著《魏书》，多为时讳而善序事。

又曰：羊祜为黄门郎，陈留王立，以少帝，不愿为侍臣，徙为秘书监。

又曰：惠帝永平元年，诏云："秘书监综理经籍，考校古今，课试署吏，领有四百人，宜专其事。"

邓粲《晋纪》：华谭为秘书，自负宿名，意每怏怏，尝从容谓上曰："臣老于秘阁矣。汲暗之言，复存今日。"上不悦。

《晋诸公赞》曰：荀勖领秘书监。太康二年，汲郡冢中得竹书，勖躬自撰次注写，以为中经，列于秘书，经传阙文多所证明。

又赞曰：庾峻自司空长史迁秘书监，幽赞、符命、天文、地理，因有述焉。

何法盛《晋中兴书》曰：孙盛字安国，为秘书监，笃尚好学。自

少及长，常手不释卷。既居史官，乃著《三国阳秋》。

沈约《宋书·百官志》曰：秘书监、丞各一人，郎四人。魏武建国有秘书令，左、右丞。黄初中，分秘书，立中书，而秘书之局不废。昔汉武帝建藏书之册，置写书之官，于是天下文籍皆在天禄、石渠、延阁、广内秘府之室，谓之秘书。至成、哀世，使刘向父子以本官典其事。至于后则图籍在东观，有校书郎，又有著作郎。傅毅、马融之徒多为校书郎。又蔡邕从尚书选入东观著作，邕既已为尚书郎而入东观著作，复拜议郎，知是著作郎也。又硕学达官，往往典校秘书，如向、歆故事。或但校书东观，或有兼撰《汉记》也。

《梁书》曰：任昉字彦升，为秘书监。自齐永元以来，秘阁四部篇卷纷杂，昉手自雠校，由是篇目定焉。

《后魏书》：伊馥，世祖欲拜馥为尚书、郡公。馥辞曰："尚书务殷，公爵至重，非臣年少愚近所宜荷任，请收过恩。"世祖问其所欲，馥曰："中、秘二省多诸文士，若恩矜不已，请参其次。"世祖贤之，遂拜为中护将军，秘书监。

《隋书》曰：柳晉，炀帝嗣位，拜秘书监，封汉南县公。帝退朝之后，便命入阁，言宴讽读，终日而罢。帝每与嫔后对酒，时逢与会，辄遣命之，至与同榻共席，恩若友朋。帝犹恨不能夜召，于是命匠刻木偶人，施机关，能坐起拜伏，以像于晉。帝每在月下对酒，辄令宫人置之于坐，与相酬酢，而为欢笑。

《唐书》曰：魏征为秘书监，奏引学者校定四部书，自是秘府图籍，粲然毕备。

刘歆《七略》曰：武帝广献书之路，百年之间，书积如丘山，故外有太常、史、博士之藏，内则延阁、广内、秘室之府。

鱼豢《(典)[魏]略》曰：芸台香辟纸鱼蠹，故藏书台称芸台。

《三辅黄图》曰：未央宫东有麒麟殿，藏秘书，即扬雄校书之处也。

王充《论衡》曰：兰台之官，监国得失也。

《通典》曰：秘书省，但主书写、勘校而已，虽非要(剌)[剧]，然好学君子亦多求为之。

温峤《举荀崧为秘书监表》曰：夫国史之兴，将以明失得之迹，谓之实录，使一代之典，焕然可观。散骑常侍崧文质彬彬，思义通博，历位先朝，莅事以穆，宜掌秘奥，宣明史籍。

王肃《表》曰：青龙之末，主者启选秘书监，诏秘书驺吏以上三百余人，非但学问义理，当闻有威严能检下者，诏肃以常侍领焉。

又王肃《论秘书不应属少府表》曰：魏之秘书即汉之东观，郡国称敢言之上东观，且自大魏分秘书而为中书以来，传绪相继，于今三监未有隶名于少府者也。今欲使臣编名于驺隶，言事于外府，不亦隳朝章而辱国典乎？大和中，兰台、秘书争议，三府奏议秘书司先(生)[王]之载籍，掌制书之典谟，与中书相亚，宜与中书为官联。

《华峤集》：诏曰："尚书峤体素弘简，文雅该通，经览古今，博闻多识，属书实录，有良史之志，故转为秘书监，其加散骑常侍。使中书、散骑、著作及治礼(者)[音]律，天文，数术，南省文章，门下撰集，皆典领之。峤表(曰)："伏见诏书以臣为秘书监，加位常伯。昔刘向父子，世典史籍；马融通博，三入东观，非臣肤浅所敢投迹。"

《唐书》：太宗正授颜师古秘书监，制曰："秘书望华，史官任重，选众而举，历代攸难。守秘书监颜师古，体业淹和，器用详敏，学该流略，词兼典丽。职司图书，亟经岁序，朱紫既辨，著述有成。宜正名器，允兹望实可秘书监。

秘书少监

《唐书》：周思茂者，贝州漳南人。少与弟思钧俱早知名，自右史转太子舍人，与范履冰在禁，最蒙亲遇，至于政事损益多参预焉。累迁麟台少监、崇文馆学士。垂拱四年下狱死。

又曰：王绍宗，扬州江都人也。迁秘书少监，仍侍皇太子读书。绍宗性淡雅，以儒素见称。当时朝廷之士咸敬慕之，张易之兄弟亦

厚之；易之伏诛，绍宗坐以交往见废。

又曰：德宗以左谏议大夫、史馆修撰张荐为秘书少监，修撰如故。时裴延龄贵，欲异同宰府，乃言于上曰："谏议大夫，论朝廷得失之官，史馆修撰，书朝廷得失之事，则领史职者不宜为谏官。"故有斯命。

秘书丞

《魏志》曰：武帝置秘书左、右丞，以刘放为秘书左丞，孙资为秘书右丞。

《魏略》曰：薛夏字宣声，天水人也，博学有才华。天水旧有姜、任、阎、赵四姓常推于郡中，而夏为单家，不为降屈，四姓欲治之。夏乃游逸，东诣京师。太祖宿闻其名，甚礼遇之。文帝又嘉其才，黄初中为秘书丞。帝常与夏推论书传，未尝不终日也。每呼之不名而谓之薛君。夏居甚贫，帝又顾其衣薄，解御袍赐之。其后，征东将军曹休来朝，时帝方与夏有所咨论，而外启休到，帝引入坐定。帝顾夏目之于休曰："此君秘书丞，天水薛宣声也，宜共谈。"其见遇如此。

鱼豢《魏略》曰：薛夏为秘书丞，时秘书尝公事移兰台，兰台自以台也，秘书丞时为署耳，谓夏不得仪当有坐者。夏报曰："兰台为外台，秘书为内阁。台也、阁也何不相移之有？"兰台无以折之。

又曰：严苞以高才，黄初中入为秘书丞，数奏文赋，帝甚异之。

《晋书》：嵇绍以父得罪，靖居私门。山涛领选，启武帝曰："《康诰》有言：父子罪不相及。嵇绍贤侔郄缺，宜加旌命，请为秘书郎。"帝谓涛曰："如卿所言，乃堪为丞，何但郎也。"乃发诏征之，起家为秘书丞。

王隐《晋书》曰：庾峻字山甫，博学有才。为秘书丞，遍观古今，闻见益优。

虞预《晋书》曰：何祯字元干，庐江人也。为尚书郎，特诏参秘

书丞。秘书本有一丞，时尚未转，遂以祯为右丞。右丞之置，自祯始也。

檀道论《晋阳秋》曰：太元十八年，王谧为秘书丞，乃表前尚书殷允、中书郎张敞、太子后率郄俭之、故太常桓石秀是多书之家，请秘书郎分局采借。

《齐书》曰：王俭字仲宝，为秘书丞。上表求校坟籍，依《七略》撰《七志》四十卷献之。

又曰：张率字士简，吴郡人，迁秘书丞。高祖曰："秘书丞，天下清官，东南胄绪未有为之，今以相处，为卿定名誉。"

《齐职仪》云：秘书丞，铜印墨绶。

《南史》：刘孝绰迁秘书丞。武帝谓舍人周舍云：第一官当用第一人，故以孝绰居此职。"

《后魏书》：李彪字道固，迁秘书丞，分领著作事。自文、成帝已来至于大和，崔浩、高允著述(固)[国]书，编年序录，为春秋之体，遗落时事，一二无存。彪与秘书令高祐始奏从迁、固之体，创为纪传表志之目焉。

又曰：李辅字伯尚，少有重名，高祖每云此李氏之千里驹，敕撰《太宗起居注》，寻迁秘书丞。

《后周书》曰：柳虬为秘书丞，时秘书虽领著作，不参吏事，自虬为丞，始令监掌焉。

王肃《论秘书表》云：青龙中议秘书丞、郎与博士议郎同职，近日月，宜在三台上。

又曰：秘书丞、郎宜比尚书郎，侍御史，令侍御史乘犊车奏事，用尺一；秘书丞、郎乘鹿车，犹用尺奏，恐非陛下崇儒之本意也。

秘书郎

《六典》曰：秘书郎四人，从六品上。《晋起居注》云："武帝遣秘书，图书分为甲、乙、景、丁四部，使秘书郎各掌其一焉。"

《魏志》曰：王基字伯舆，东莱人也。时青土初定，刺史王凌特表请基为别驾，后召为秘书郎，凌复请还。[顷]之，司徒王朗辟基，凌又不遣。朗书却州曰："取宿卫之臣，留秘阁之吏，所希闻也。"凌犹不遣。凌流称青土，盖亦由基协和之辅也。

又曰：钟会字士季，敏惠夙成。时蒋济著论谓观其眸子可以知人，会年五岁见济，济大奇之。正始中以赐官郎中，为秘书郎。

《蜀志》曰：郄正字令先，安贫好学，博涉坟籍。弱冠能属文，入为秘书史，转令史，迁秘书郎。性淡于荣利，尤耽文章，自司马、王、杨、班、傅、张、蔡之俦遗文篇赋，及当世美书善论，益部有者，则钻凿推求，略皆寓目。

王隐《晋书》曰：郑默，字思元。为秘书郎，删省旧文，除其浮秽。时陈留虞松为中书令，谓默曰："而今而后，朱紫别矣。"

又曰：左思，专思《三都赋》，杜绝人事。自以所见不博，求为秘书郎。

虞预《晋书》曰：司马彪，少笃学不倦，好色薄行，不交人事，专精学问。泰始中为秘书郎，后转为丞。

《晋太康起居注》曰：秘书丞桓石绥启校定四部书，诏郎中四人各掌一部。

《晋令》云：秘书郎掌外三阁经书，覆省校阅。正定脱误。

沈约《宋书》曰：秘书郎四人，后汉校书郎也。

又曰：萧惠开虽贵戚而车服简素，初为秘书郎，秘书、著作并名家年少，惠开意趣与之多不同，比肩或三年不共语。

《宋书》曰：王敬弘子恢之为秘书郎，使求为奉朝请，与恢之书曰："秘书有限，故有竞。朝请无限，故无竞。吾欲使汝处无竞之地。"文帝许之。

《梁书》曰：张缵，字伯绪，为秘书郎。固求不迁，欲遍观阁内图籍。

《后魏书》：高谧，字安平，有文武才度。天安中，以功臣子召入

禁中，除秘书郎，典秘阁。谧以坟典残缺，奏广访郡邑，大加缮写。由是代京图籍，莫不审正。

《通典》曰：宋、齐秘书郎皆四员，尤为美职，皆为甲族起家之选，待次入补，其居职例十月便迁。

又曰：秘书郎有自齐梁之末多以贵游子弟为之，无其才实，故当时谚曰："上车不落则著作，体中何如则秘书。"

王肃《表》曰：臣以为秘书职于三台为近密，中书郎在尚书丞、郎上，秘书丞、郎宜次尚书郎下，不然则宜次侍御史下。秘书丞、郎俱四百石，迁宜比尚书郎，出亦宜为郡。此陛下崇儒术之盛旨也。尚书郎、侍御史，皆乘犊车，而秘书丞、郎独鹿车不得朝服。又恐非陛下转台郎以为秘书丞、郎之本意也。

太平御览卷第二百三十四

职官部三十二

著作郎　著作佐郎　校书郎　正字

著作郎

《续汉书》曰：弘农杨彪，字文先，多识博闻，与诸郎著作东观。

王隐《晋书》曰：陈寿为著作佐郎，迁大著作。

又曰：陆士衡以文学为秘书监虞濬所请为著作郎，议《晋书》限断。

又曰：何嵩善《史》《汉》，为著作。

《晋书》曰：元康元年诏：著作郎旧隶中书，而秘书既典司文籍，今改中书著作郎为秘书著作郎。

《晋中兴书》曰：孙盛历散骑常侍、秘书监，常领著作。

又曰：孙绰为散骑常侍，领大著作。于时才笔之士，绰为其冠。

又曰：李充为大著作。于时典籍混乱，充删除烦重，以类分作四部，秘阁以为永制。

又曰：谢沈为祠部郎，何充、庾冰以沈有史才，迁大著作。

《晋太兴起居注》曰：元帝依故事召陈郡王隐待诏著作，单衣、介帻，朔望朝著作之省。

沈约《宋书》曰：何承天除著作郎，撰国史。丞天时年已老，而诸佐郎并名家年少，荀伯子嘲之，常呼为奶母。承天曰："卿当云凤皇将九子，奶母何言耶！"

又曰：著作郎，后汉官。后汉已来，太史但掌天文律历而已，其国记撰述悉在著作。江左王导表著作为史官是也。后汉东观有著作郎。

《后魏书》：崔浩好文学，时人莫及。天兴中，给事秘书，转著作郎。太祖以其工书，常置左右。太祖季年，威风严峻，宦者左右多以微过得罪，莫不逃隐，浩独恭勤不怠，或终日不归。太祖知之，辄命赐以御粥。其砥直任时，不为穷通改节，皆此类也。

又曰：程骏拜著作郎。显祖屡引与论《易》、《老》之义，顾谓群臣曰："朕与此人言，意甚闲畅。"又问骏曰："卿年几何？"对曰："臣六十有一。"显祖曰："昔太公既老而遭文王。卿今遇朕，岂非早也？"骏曰："臣虽才谢吕望，而陛下尊过西伯。觊天假余年，竭《六韬》之效。"

又曰：韩显宗除著作郎，高祖曾谓显宗及程灵虬曰："著作之任，国言是司。卿等之才，朕自委悉，中省之品，卿等所闻。若欲取古人班、马之徒，固自辽阔。若求之当代文学之能，卿等应推崔孝伯。"

又曰：赵逸为赫连屈丐著作郎。世祖平统万，见逸所书，曰："此竖无道，安得为此言乎！作者谁也？其速推之。"司徒崔浩进曰："彼之谬述，亦犹子云之美新，皇王之道，固宜容之。"世祖乃止。

《三国典略》曰：齐主以其著作郎祖珽数上密启，命中书门下二省断珽奏事。初，珽为秘书郎，用芳林遍略质樗蒲钱。又陈元康被伤将死，凭珽作书属家累，并云祖喜边有少许物，宜早索取，珽不通此书，唤喜私问，得金二十五锭，惟与喜二锭，余并自入。祖喜告元康二弟叔谌、季琫等，叔谌以语杨愔，愔颦眉答曰："恐不益亡者。"因此得停。其后齐文宣以珽为秘书丞，盗遍略事发，付平阳王淹，令录珽付禁。淹遣使收珽，珽便私逃。黄门侍郎高德正谋云：但宣命向秘书称奉并州进止，须经史各部仰丞亲自检校，催遣，如此则珽意自安，夜当还宅，然后掩捉之。果如德正所图，遂缚送廷尉。据犯当死，文宣以其伏事先代，除名为民；爱其才伎，令直中书，普选劳旧，迁为著作。

《唐书》曰：著作郎邓隆上表请编录御制诗集，太宗冲让不许。

隆好学多伎。王充兄子太之守河阳也，引隆为宾客，大见亲遇。及太宗攻洛阳，遣书谕太；隆为太复书，言辞不逊。洛阳平后，隆惧罪，变姓名，自号隐玄先生，窜于白鹿山，黄冠野服，不接人事。贞观初，征授国子主簿，与博陵崔仁师、昌黎慕容善行、弘农刘颢、新野康安礼、河东敬播俱为修史学士。隆负宿罪，犹不自安，太宗闻之，遣房玄龄谓之曰："尔为王太作书，诚合重责，但各为其主，于朕何有恶哉？朕今为天子，何能追责匹夫之过尔，宜坦然，勿怀危惧也。"擢授著作郎。及修史成，寻卒。撰《东都记》三十卷，为学者所重。

又曰：龙朔二年改著作郎为司文郎中，佐郎为司文郎。

又曰：《刘允济传》，垂拱四年，明堂初成，允济奏上《明堂赋》以讽，则天甚嘉叹之，手制褒美，拜著作郎。

陶氏《职官要录》曰：著作郎旧视通直郎，史才富博者为之。

《应亨集·让著作表》曰：自司隶校尉奉至臣五叶著作，不绝乡族，以为美谈。

著作佐郎

王隐《晋书》曰：武帝欲以郭琦为佐著作郎，问尚书郭彰。彰憎琦不附己，答诏："不识。"上曰："若如卿言，乌丸家儿能事卿，即堪为郎矣。"及赵王伦篡，又欲用琦，琦曰："我已为武帝吏，不能复为今世吏。"终于家。

又曰：华峤《汉书》十典未成，秘书监缪征奏峤少子畅为著作佐郎，卒成十典。

《晋中兴书》曰：郭璞奏《南郊赋》，中宗见赋，嘉其才，以为著作佐郎。

又曰：华谭为秘书监，时晋陵朱凤、吴郡吴震等，以单族有史才白首衡门，谭荐二人擢补著作佐郎，并皆称职。

沈约《宋书》曰：谢裕字景仁，陈郡阳夏人也。会稽王世子元显

嬖人张法顺，权倾一时，内外无不造门者，惟景仁不至，年三十方为著作佐郎。桓玄诛元显，见景仁谓四坐曰："司马庶人父子云何不败？遂令谢景仁三十方作著作佐郎。"

《后魏书》曰：宋弁字义和，为著作佐郎，寻除尚书殿中郎中。高祖曾因朝会之次，历访治道，弁年少官微，自下而对，声姿清亮，进止可观，高祖称善者久之。因是大被知遇，赐名为弁，意取弁和献玉，楚之不知宝之理也。

《后周书》曰：黎景熙，字季明。正定古今文字于东阁，大统末，除安西将军，寻拜著作佐郎。于时伦辈皆位兼常、伯，车服华盛，惟季明独以贫素居之，而无愧色；又勤于所职，著述不怠；然性尤专固，不合于时，是以一为史官，十年不调。

《张华别传》曰：陈寿好学，善著述，论著作佐郎。当时，夏侯湛等多欲作《魏书》，见寿所作，即坏己书。

《文士传》曰：束皙晚应司空辟，入府六日，除著作佐郎。著作西观，撰《晋书》，草创三《帝纪》及《十志》。

又曰：张载作《濛汜赋》，太仆傅玄见赋叹息称善，以车迎载，言谈终日。玄深贵重载，遂知名，起家征为佐著作郎。

校书郎

《六典》曰：校书郎八人，正九品上，掌雠校典籍、刊正文字。

《汉书》曰：刘歆，字子骏，少以通《诗书》能属文召见，成帝时待诏宦者署，为黄门郎。河平中，受诏与父向领校秘书，讲六艺传记，诸子无所不究。

又曰：王莽、刘棻时扬雄校书天禄阁上，治狱使者来欲收雄，雄恐不能自免，乃从阁上自投下，几死，莽曰："雄素不与事，何故在此？"问其故。乃刘棻尝从雄学作奇字，雄不知情，有诏勿问。

《后汉书》曰：马融字季长，博通经籍。永初二年，大将军邓骘闻融名，召为舍人。四年，拜为校书郎中，诣东观典校秘书。是时

邓太后临朝，骘兄弟秉政。以为文德可兴，武功宜废，遂寝蒐狩之礼，息战阵之法，故使猾贼纵横，乘此无备。融乃感激，以为文武之道，圣贤不坠，五才并用，无或可废。乃上《广成颂》以讽谏。

王隐《晋书》曰：郑默，字思元。为秘书郎，删省旧文，除其浮秽，著《魏中经》。中书令虞松谓默曰："而今而后，朱紫别矣。"

《晋令》曰：秘书郎掌中外三阁经书，覆校阙遗，正定脱误。

《晋太元起居注》曰：秘书丞桓绥启校定四部书，诏遣郎中四人，各掌一部。

《唐书》曰：杨炯，华阴人。幼聪敏博学，善属文，神童举，拜校书郎，为崇文馆学士。

正 字

《六典》曰：正字四人，正九品下，掌定典籍，刊正文字。

《唐书》曰：陈子昂苦节读书，尤善属文。高宗灵驾将还长安，子昂诣阙上书，陈东都形胜可以安置山陵，关中险旱，西行不便。则天召见，奇其对，拜麟台正字。

又曰：吴通玄、道璀为太子诸王授经，而通玄兄弟出入禁掖，恒侍太子游。通玄与兄通微俱博学善属文，文采绮丽。通玄幼应神童，释褐秘书省正字。

又曰：苏弁字元容，京兆武功人也。弁少有文学，举进士，授秘书省正字。

《唐明皇杂录》曰：刘晏以神童为秘书、秘书省正字。上问晏曰："正字正得几字？"晏曰："天下字皆正，惟朋字未正。"玄宗大奇之。

太平御览卷第二百三十五

职官部三十三

太史令　殿中监　大长秋

太史令

《春秋元命苞》云：屈中挟一而起者为史，史之为言纪也，天度文法以此起也。

《尚书·酒诰》曰：太史友，内史友。太史、内史掌国典法所宾友者也。

《周书》曰：维正月，王在成周，昧爽召三公右史、戎夫曰："今夕朕寤遂事其惊，余乃取，遂事之，要戒甲戎夫主之朔望以闻也。"

《礼记·曲礼下》曰：天子建六太，曰太宰、太宗、太史、太祝、太士、太卜，典司六典。

又《玉藻》曰：动则左史书之，言则右史书之。

《春秋·宣上》曰：赵穿攻灵公于桃园。宣子未出山而复。太史书曰"赵盾弑其君"以示于朝。宣子曰："不然。"对曰："子为正卿，亡不越境，返不讨贼，非子而谁？"宣子曰："呜呼！我之怀矣，自贻伊戚，其我之谓矣！"孔子曰："董狐，古之良史也。书法不隐。"

又《襄四》曰：太史书："崔杼杀其君。"崔子杀之。其弟嗣书而死者二人，嗣续。其弟又书，乃舍之。南史氏闻太史尽死，执简以往。闻既书矣，乃还。

又曰：鲁昭公二年，晋韩宣子聘鲁，观书于太史氏，见《易·象》与《鲁春秋》曰："周礼尽在鲁矣。"

《周礼·春官下》曰：太史掌建国之六典。太史，日官也。《春秋传》曰：天子有日官，诸侯有日卿。

《大戴礼》曰：太子既冠，成人免于保傅则有司过之史。

《春秋文耀钩》曰：楚立唐氏以为史官，苍云如霓，围轸七蟠，中有荷斧之人，向轸而蹲，蟠，犹周也。蹲，踞也。楚惊。

《唐史》曰：君慢命，又简宗庙，命，天命也。轸，于天文楚之分也。向之而踞，是慢命踞简宗庙。于是昼遗炎烟，耀于苍云，精消无文。轸火精云水气围轸水也。昼，日阳也，炎火亦阳也。遗之者象蟠所也。水难胜火，三阳并气，且火炎上宜消灭也。文则蜆也。唐史之册，上灭苍云。告神以史功也。

《韩诗外传》曰：据法守职而不敢为非者，太史也。

《毛诗序》曰：国史明乎得失之迹，伤人伦之废，哀刑政之苛，吟咏情性以讽其上，达于事变而怀其旧俗者也。

《春秋后语》曰：晋太史屠黍见晋之乱，以其国法归周。

《国语》曰：郑桓公为司徒，问于史伯曰："王室多故，史伯，周太史也。余惧及之焉。"

《汉书》曰：司马喜生谈，谈为太史公。如淳曰：《汉仪注》，太史公，武帝置位在丞相上。天下计书先上太史公，副上丞相，序事如古《春秋》。迁死，宣帝以其官为令，行太史文书而已。臣瓒案：《百官表》无太史公。茂陵中书司马谈为太史令。迁仕，为郎中，使西征巴蜀，以南略邛筰、音昨。昆明，还报命。是岁天子始建汉家之封，而太史公留滞周南，如淳云：周南，洛阳也。不得与从事，发愤且卒，而子迁适反，见父于河洛之间。太史公执迁手而泣曰："予先周室之太史也。自上世尝显功名，虞夏典天官事，后世中衰，绝于予乎？汝复为太史，则续吾祖矣。今天子接千岁之绪，封泰山而予不得行，是命也夫！是命也夫！予死，汝必为太史，为太史无忘吾所欲论著矣。"迁俯首流涕曰："小子不敏，请述论先人所次旧闻，不敢阙。"卒三岁，而迁为太史令。

又《艺文志》曰：古之王者，世有史官，君举必书，所以慎言行、昭法式也。

又曰：青史子注，古史官记事也。

又曰：孔甲《盘盂》篇。黄帝史官。

又曰：史籀。周宣王大史，作大篆。

又曰：秦太史令胡毋敬作《博学》章。

《东观汉记》曰：阴猛以博通古今为太史令。

司马彪《续汉书》曰：张衡字平子，以郎中迁太史令。妙善玑衡之正，(纪)[作]浑天仪，复造候风地动仪。以精铜铸成，员径八尺，合盖隆起，形如酒杯。如有地动，樽则龙，寻其方面，知震所在。验之以事，合契若神。

张璠《汉记》曰：初，王师败于曹阳，欲浮河东下，侍御史、太史令王立曰："去春，太白犯镇星于斗，过天津荧惑，又逆行守河，北不可犯也。"由是遂[不]北渡河，将自轵关东出。立又谓宗正刘艾曰："前太白守天关，与荧惑会，金火交会，革命之象也，汉祚终矣，晋魏必有兴者。"后立数言于帝曰："天命有去就，五行不常盛，代者土也。(丞)[承]汉，魏也，能安天下者曹姓，惟委任曹氏而已。"曹公闻之，使人语立曰："知[公]忠于朝廷，天道深远，幸勿多言。"

应劭曰：太史令，秩六百石，掌天时星历。凡岁奏新年历，凡国祭祀、丧娶之事，奏良日；国有瑞应、灾异，记之。

又曰：太史令秩六百石。望郎三十人，掌故三十人。昔在颛顼，南正重司天，火正黎司地。唐虞之际，分命羲和历象日月、星辰，敬授民时。至于夏后、殷、周，世叙其官皆精研术数，穷神知化。当春秋时，鲁有梓慎，晋有卜偃，宋有子韦，郑有裨灶，观乎天文以察时变，其言屡中，有备无害。汉兴，甘石、唐都、司马父子抑亦次焉。末途偷进，苟忝兹阶，既暗候望，竞饰邪伪，以凶为吉，莫之惩纠。

《汉旧仪》曰：承周史官，至武帝置太史公。司马迁父谈，世为太史。迁年十三，使乘传行天下，求古诸侯之史记。

《魏志》曰：黄龙见谯桥，桓玄问太史令单飏，飏曰："其国当有王者。"

《吴志》曰：吴范字文则，会稽上虞人也。刘盛兵西陵，范曰："后当和亲。"终皆如言。其占验明审如此。权以范为骑都尉，领太史令，数从访问，欲知其诀。范秘惜其术，不以至要语权。权由是

恨也。

又曰：韦曜字弘嗣。孙亮即位，诸葛恪辅政，表曜为太史令，撰《吴书》。

沈约《宋书》曰：太史掌历数、灵台，专候日月星气焉。

《世本》曰：沮诵、苍颉作书。宋衷注曰：沮诵、苍颉、黄帝之史。

《唐书》曰：乾元元年改太史局为司天台，掌天文、历数，风云、气色有异则密封以闻。其小吏有司历、保章正、灵台郎、挈壶正等，官各有差。

《吕氏春秋》曰：夏太史令终古见夏桀惑乱，载其图法而泣，乃出奔商；商太史高势见纣之迷乱，载其图法出，之周；晋太史屠乘见晋之乱，以其图法归周。

《帝王世纪》曰：黄帝使苍颉取象鸟迹，始作文字之篆，史官之作，盖自此始。记其言行，册而藏之。

《文士传》曰：张衡性精微，有巧艺，特留意于天文、阴阳、算数，由是迁太史令。

《环济要略》曰：太史令取善纪述者，使记时事，天子图书计最典籍皆副焉。

《贾谊书》曰：不知日月之时节，不知先王之讳与国之忌，不知风雨雷电之眚，凡此属太史之任也。

扬雄《太史令箴》曰：昔在太古，爰初肇记。天地之纪，重离是司。降及唐虞，乃命羲和，钦若昊天，百政攸宜。夏帝不慎，羲和不令，湎时乱日，帝旅爰征，庶寮至殷，惟天为难，夏氏黩德面明神不飨。

荀悦《申鉴》曰：古者，天子诸侯有事必告庙，左右二史臧否成败无不存焉。得失一朝，荣辱千载，善人劝焉，悖人惧焉。故先王重之，以副赏罚，以辅法教。宜于今者，官以其方，各书其事，岁尽则集之于尚书。

殿中监

《六典》曰：典中监掌服御之事，总尚食、尚药、尚衣、尚乘、尚舍、尚辇六局之官属，备其礼物而供其职事。少监为之贰。尚食奉御掌常谨其储供，辩其名数；直长为之贰。尚药奉御掌合和药物，辩药上中下之三品；直长为之贰。尚衣奉御掌衣服，详其制度，辩其名数。尚乘奉御掌内外闲厩之马，辩其粗良，而率其习驭；直长为之贰。尚舍奉御掌殿庭张设、汤沐，而洁其洒扫；直长为之贰。尚辇奉御掌舆辇、伞扇之(分)[事]，分其次序，而辨其名数；直长为之贰。

大长秋

《天官书》：宦者四星，在帝座之西；周官有宫正、宫伯、皆主王宫中官之长。宫人、掌王之六寝也。内宰、理王内之政令，以阴礼教六宫。阴礼，妇礼也。阍人、寺人官。战国时有宦者令，秦有将作、尉卫、少府各一人。并皇后卿也。汉景帝中元六年改将作为大长秋，颜师古[曰]：秋，收成之时；长，恒久之义。故以为皇后官名。或用中人，中人、阉人也。或用士人。成帝加置太仆一人，掌太后舆焉，通谓之皇太后卿；皆随太后宫为官号，无太后则缺。至后汉复增置丞、中宫谒者令、中宫尚书、中宫私府[令]、中宫永巷令、中宫黄门冗从仆射，虎贲宫骑、中宫官署令、药长并隶大长秋。历魏、晋、宋、梁、陈、后魏皆有长秋之号，而官属省置不同。北齐有长秋寺，置卿、中尹各一人，掌诸宫门掖庭等，并用宦者。隋改曰内侍省，炀帝改为长秋监，置令一人、丞二人，并用士人。唐武德初复为内侍省，皆用宦者。

《后汉书》曰：郑众字季产，南阳犨人也。为人谨敏有心，永平中，初给事太子家。肃宗即位，拜小黄门，迁中常侍。和帝初，窦太后秉政，后兄大将军宪等并窃威权，朝臣上下莫不附之，而众独一心王室，不事豪党，帝亲信焉。及宪兄弟图作不轨，众遂首谟诛之，

以功迁大长秋。

又曰：良贺位为大长秋，清俭退厚。阳嘉中诏九卿举武猛，贺独无所荐，帝引问其故，对曰："臣生自草茅，长于宫掖，既无知人之明，又未尝交加士类。昔卫鞅因景监以见，有识知其不终。今得臣举者，匪荣伊辱。"固辞之。

又曰：曹腾字季兴。顺帝在东宫，邓太后以腾年少谨厚，使侍皇太子书，特见亲爱。及即位，腾为小黄门，迁中常侍。桓帝得立，腾与长乐太仆州辅等七人，以定册功，皆封亭侯，腾迁大长秋。用事省闼三十余年，奉事四帝，未尝有过。其所进达，皆海内名人。

又曰：曹节字汉丰，南阳新野人也。灵帝即位，以定册功封长安乡侯。时窦太后临朝，后父大将军武(兴)[与]太傅陈蕃谋诛中官，节等与长乐五官史朱瑀等，矫诏诛武、蕃等，节迁长乐卫尉，后转大长秋。

太平御览卷第二百三十六

职官部三十四

国子祭酒　司业　博士　少府监　将作监

国子祭酒

《六典》曰：国子祭酒、司业之职，掌邦国儒学训导[之]政令，有六[学]焉：一曰国子，二曰太学，三曰四门，四曰律学，五曰书学，六曰算学。

韦昭《辩释名》曰：祭酒者，谓祭六神以酒醊之也。辩云：凡会同飨宴，必尊长先用 ，以酒祭先，故曰祭酒。汉时吴王年长，以为刘氏祭酒是也。

徐广《释祭酒》云：古主人具馔，则宾中长者一人举酒祭地，是则长者为祭酒也。

《汉书》曰：吴王赐号为刘氏祭酒。应劭曰：礼，饮酒必祭，示有先也，故称祭酒。饮时，惟尊长者，以酒沃酹也。

又曰：张安世荐苏武明习故事，奉使不辱君命。宣帝以武壮节老臣，令朝朔望，号称祭酒，甚优宠之。

《续汉书·百官表》曰：建武初，置五经博士，太常差次有聪明威重者一人为祭酒，总领纲纪。

《汉书·百官表》注：博士祭酒一人，掌国子学，每朝，服进贤两梁冠，佩水苍玉。

《蜀志》曰：先主既定益州，广汉太守夏纂请秦宓为师友祭酒。

《晋书》曰：袁瓌字山甫，为国子祭酒。时属经丧乱，礼教陵迟，瓌上疏，求立学徒，帝从之。国学之兴，自瓌始也。

又曰：裴頠为祭酒，奏立太学，讲堂筑门阙，刻石写五经。

《晋中兴书》曰：杜夷字行齐，以儒学称。中宗以夷为丞相祭酒。中兴初，皇太子凡三至夷舍，执经问义。

沈约《宋书》曰：博士，秦官也。掌通古今，员多至数十人，有仆射。光武增为十五人，盖一经有数家之学故也。皆教弟子。光武改仆射曰祭酒。祭酒者，一位之元长也。

《齐书》曰：张绪。竟陵王子良领国子祭酒，武帝敕王晏曰："吾欲令司徒辞祭酒以授张绪，物议以为云何？"子良竟不拜。以绪领国子祭酒。

《齐职仪》曰：晋令博士祭酒掌国子学，而国子生师事祭酒，执经，葛巾单衣，终身致敬。

《梁书》曰：王承字安期，为国子祭酒。承祖俭父暕并居此职，三代为国师，前代未有，当时以为荣。

崔鸿《十六国春秋·前秦录》曰：建元七年，高平苏通、长乐刘祥并以硕学耆儒，尤精二礼。坚以通为《礼记》祭酒，居于东序；祥为《仪礼》祭酒，处于西序。坚每月朔旦率百僚亲临讲论。

《后魏书》曰：韩子熙累迁国子祭酒。子熙俭素安贫，常好退静。迁邺之始，百司并给兵力，时以祭酒闲豫，止给二人。或有令其陈谒者，子熙曰："朝廷不与祭酒兵，何关韩子熙事？"论者称之。

《后周书》曰：卢诞本名恭祖，拜给事黄门待郎，魏帝诏曰："经师易求，人师难得。朕诸儿稍长，欲命卿为师。"于是亲幸晋王第，敕晋王以下皆拜之于帝前，因赐名曰诞。又以诞儒宗学府，为当世所推，乃拜国子祭酒。

《隋书》曰：杨汪字元度，拜国子祭酒。帝令百僚就学，与汪讲论，天下通儒硕学多萃焉。论难锋起，皆不能屈。帝令御史书其问答奏之，省而大悦，赐良马一匹。

又曰：元善迁国子祭酒。上尝亲临释奠，命善讲《孝经》；于是敷陈义理，兼之以讽谏。上大悦，曰："闻江阳之说，更起朕心。"赍绢百匹，衣一袭。

《唐书》曰：许后胤尝侍太宗讲，后为睦州刺史，因入朝乞骸骨，太宗召问曰："朕与卿刺史，资以自养，何谓即求致仕？"后胤对曰："年老筋力不逮，望得私第，时见阙庭。"太宗曰："卿气力犹强，欲何官也？"后胤陈谢不敢，太宗曰"朕昔从卿读书，卿今日从朕求官，但言所欲，不相违也。"时国子祭酒缺，后胤奏言之，因授国子祭酒。

《风俗通》曰：孙卿有秀才，善为《诗》、《礼》、《易》、《春秋》，至齐襄王时而孙卿最老师，三为祭酒。

齐王融《为王俭让国子祭酒表》曰：窃以成均义重，振古所崇，资师道尊，有来攸尚。匪由兰芷，畴变入室之情；不自朱蓝，何迁素丝之质？

司　业

《唐书》曰：韦叔夏迁成均司业，久视[元]年特下制曰："吉凶礼仪，国家所重，司礼博士，未甚详明。成均司业韦叔夏、太子率更令祝钦明等，博涉礼经，多所该练，委以参掌，冀弘典式。自今司礼所修仪注，并委叔夏等刊定讫，然后进奏。"

又曰：归崇敬上言："司业者，义在《礼记》，云乐正司业。正，长也，言乐官之长，司主此业。《尔雅》云：大板谓之业。按《诗·周颂》：设业设虡，崇牙树羽，则业是悬钟磬之簨虡也。今太学既不教乐，于义则无所取，请改司业一为左师，一为右师，位正四品上。"

博　士

《六典》曰：博士掌教文武官三品已上及国公子、孙。

应劭《汉官仪》曰：博士，秦官也。博者，通博古今；士者，辩于然否。孝武帝建元五年初，置五经博士，秩六百石，太常差次有聪明威重者一人为祭酒，总领纲纪。

《汉旧仪》曰：武帝初置博士，取学通行修、博识多艺，晓古文、《尔雅》能属文章者为之。朝贺，位次中都官，吏称先生不得言君，

其弟子称门人也。

《汉书》曰：贾谊，文帝召为博士，时年二十许，最为少，每诏令议下，诸老生未能言，谊尽为之对，人人各如其意所出。

又曰：韦贤字长孺，为人质朴少欲，笃志于学，兼通《礼》、《尚书》，以《诗》教授，时人号称邹鲁大儒，征为博士。

又曰：公孙弘对策，时百余人，太常奏第居下。天子擢之对为第一，召入见，容貌甚严，拜为博士，待诏金马门也。

又曰：元鼎中，徐偃为博士，使行风俗。偃矫制使胶东鲁国鼓铸盐铁。还奏事，张汤劾偃矫制，法死，偃以为《春秋》之义，大夫出疆，有可以安社稷利万人，专之可也。汤不能诎。

《东观汉记》曰：甄宇拜博士，每腊诏赐博士羊，人一羊，有大小肥瘦，时议欲杀羊分肉，又欲投钩。宇因取瘦者，自是不复争。后召会，诏问"瘦羊博士"所在，京师因以为号。

又曰：欧阳歙，其先和伯从伏生受《尚书》，至于歙，七世皆为博士，敦于经学，恭俭好礼。

《后汉书》曰：光武每朝会辄令桓荣于公卿前说经书，帝称善，曰："得生几晚！"会博士缺，帝欲用荣，荣叩头让曰："臣经术浅薄，不如同门生郎中彭闳、扬州从事皋弘。"帝曰："俞，往，汝谐。"因拜荣为博士。

又曰：董钧，永初为博士，时草创五郊祭祀及宗庙礼乐、威仪章服，辄令钧参议，多见从用，当世称通儒。

华峤《后汉书》曰：初，欲立《左氏传》博士，范叔以为左氏浅末，不宜立。陈元闻之，乃诣阙上疏争之，更相辩对，凡十余上，帝卒立左氏学也。

《汉旧仪》曰：孝文皇帝时博士七十余人，朝服，(立)(端)[玄]章甫冠。

《魏志》曰：乐祗字文载。少好学，黄初中征拜博士。于时太学初立，博士十余人，学多偏僻，不敢亲教，备员而已。惟文载五业并

授。

又曰：文帝黄初五年，太学制五经课试之法，置《春秋谷梁》博士。

又曰：明帝太和二年，诏曰："尊儒贵学，王教之本也。自顷儒官或非其人，将何以宣明圣道！其高选博士才任中常侍者。

《吴志》：诏曰："古者建国，教学为先，所以道世治性为时养器也。自建兴已来，时事多故，吏民颇以目前趋务，去本就末，不循古道。夫所尚不淳则伤化败俗。其案古置学官，立五经博士，核取应选，加其宠禄，科见吏之中及将吏子弟有志好学者各令就业，一岁课试，差其品第加以位赏。使见之者乐其荣，闻之者羡其誉，以敦王化，以隆风俗。

《晋令》曰：博士皆取履行清淳，通明典义，若散骑、中书侍郎、太子中庶子以上乃得。召试诸生有法度者及白衣试在高第，拜郎中。

《晋书·载记》曰：姚泓受经于博士淳于岐。岐病，亲诣省病，拜于床下。自是，公侯见师傅皆拜焉。

《后魏书》曰：崔逸字景雋，好古博涉，为国子博士。每因公事，逸常被诏独进，博士特命，自逸始也。

《后周书》曰：卢辩字景宣。为太学博士，以《大戴礼》未有解诂，辩乃注之。其兄景裕为当时硕儒，谓辩曰："昔侍中注《小戴》，今尔注《大戴》，庶纂前修矣。"

《隋书》曰：马光，开皇初，高祖征山东义学之士，光与张仲让、孔笼、窦士荣、张黑奴、刘祖仁等俱至，并授太学博士，时人号为六儒。

又曰：马光为太学博士，尝因释奠，高祖亲幸国子学，王公以下毕集。光升座讲礼，启发章门。已而诸儒生以次论难者十余人，皆当时硕学，光剖析疑滞，虽辞非俊辩，而理义弘赡，论者莫测其浅深，咸共推服，上嘉而劳焉。

又曰：王颇授著作佐郎，寻令于国子讲授。会高祖亲监释奠，国子祭酒元善讲《孝经》，颇与相论难，词义锋起，善往往见屈。高祖大奇之，超授国子博士。

又曰：何妥授太学博士。帝初欲立五后，以问儒者辛彦之，对曰："后与天子匹体齐尊，不宜有五。"妥驳曰："帝喾四妃，舜又二妃，亦何常数？"由是封襄城县伯。

又曰：房晖远为国子博士。会上令国子生通一经者，并悉荐举，将擢用之。既策问讫，博士不能时定臧否。祭酒元善怪问之，晖远曰："江南，河北，义例不同，博士不能遍涉。学生皆持其所短，称己所长，博士各各自疑，所以久而不决也。"祭酒因令晖远考定之，晖远览笔便下，初无疑滞。或有不服者，晖远问其所传义疏，辄为始末诵之，然后出其所短，自是无敢饰非者。所试四五百人，数日便决，诸儒莫不推其通博。

《鲁国先贤传》曰：汉文帝时，闻申公为《诗》最精，以为博士。申公为《诗》传，号曰《鲁诗》。

《李郎别传》曰：郎上书太后，数陈忠言，其辞虽不能尽施用，辄有策诏褒赞焉。博士著两梁冠，朝会宜随士大夫例。时贱经学博士，乃在市长下，公奏以为非所以敬儒德、明国体也。上善公言，正月大朝引博士公府长史前。

《殷氏世传》曰：殷亮，建武中征拜博士，迁讲学大夫。诸儒讲论，胜者赐席，亮重席至八九，帝嘉之，曰："讲学不当如是耶！"

《典略》曰：公仪休者，鲁博士也。为鲁相，无所变更，百官自正，使食禄者不得与下民争利。

《论衡》曰：王莽之时，省五经章句，博士弟子郭路，夜定旧说，死于烛下。

少府监

《六典》曰：少府监之职、掌百工技巧之政令，总中书尚、左尚、

右尚职治，掌治五署之官属，正其工徒，谨其缮作；少监为之贰。

《汉官·宰尹下》曰：少府，言别为小藏，故曰少府。

《汉书》曰：少府，秦官。掌山海池泽之税，以给供养。

又曰：欧阳地余，字长宾。为少府，诫其子曰："我死，官属送汝财物慎无受。汝九卿儒者子孙，以廉洁著，可以自成。"及卒，少府官属送数百万，其子不受。天子闻而嘉焉，赐钱百万。

《后汉书》曰：东平王苍为骠骑。正月朔朝，苍当入贺，故事少府给璧。时阴就为少府，贵傲不奉法，漏将尽，求璧不得。苍掾朱晖遥见少府主簿持璧，乃往，绐曰："试请观之。"既得而驰奉之，就复以他璧朝。

张璠《汉记》曰：太常种拂与李儒战而死，子劭征为少府、鸿胪皆不受，曰："我父尽忠于朝，而为时所妒，父以身殉国，为贼臣所害，为臣子不能除贼，何面目复觐明主！"三辅闻之，为之感动。

应劭《汉官仪》曰：少府掌山泽、陂池之税，名曰禁钱，以给私养，自别为藏。少者小也，故称少府。

《魏志》曰：王观徙少府，大将军曹爽使材官张达斫屋材及诸私用之物，观闻之，皆录夺以没官。少府统三尚方御府内藏珍玩之宝，爽等奢放，多有干求，惮观守法，乃徙为太仆。

又曰：杨阜字义山，为少府卿，然以天下为己任。

《吴志》曰：先主遣少府徐详至魏，魏太祖谓详曰："孤比者若越横江之津，与孙将军游姑苏之台，猎长洲之苑，吾志足矣。"详对曰："大王欲奉至尊以合诸侯，若越横江而游姑苏，是踵亡秦而蹈夫差，恐天下事去矣。"太祖曰："徐生得无逆诈耶！"

臧荣绪《晋书》曰：陈畛字国镇，过江为少府卿。时大旱经久，大兴四年四月始雨，有司奏应报赛宗庙山川。中宗诏曰："祈庙云报赛，非奉尊上辞也，吾意有疑。"畛以为旧山川有祈报，故雨应赛，非大事不应告庙；子无要君亲之道，读祭称赛，于义有违。从之。

《唐书·官品志》曰：少府卿位视尚书左丞，置材官将军、左中尚

方、甄官、平水、中署、南塘、邸税库、东西冶、中黄、细作、炭库、纸官、柴署等令、丞。

将作监

《六典》曰：将作大匠之职，掌供邦国修建土木工匠之政[令]，总四署、三监、百工之官属，以供其职事；少匠贰焉。

《汉书》曰：将作少府，秦官，掌治宫室。

范晔《后汉书》曰：魏霸征拜将作大匠。明年，和帝崩，典作顺陵。时盛冬地冻，中使督促，数罚掾吏以厉霸。霸抚循而已，初不切责，而反劳之曰："令诸卿被辱，大匠过也。"吏皆怀恩，力作功倍。

《续汉书》曰：曹褒字叔通，迁将作大匠。时有疾疫，[褒]巡行病徒，自省医药糜粥，死者减少。

又《百官志》曰：将作，秩二千石，掌作宗庙、路、寝、宫室。丞一人，六百石。左右校令，左右工徒，掌木工之功，并树桐梓之类，列于道侧。

又曰：李固字子坚，迁大匠，常推贤士孔融，以将作大匠迁少府也。

华峤《后汉书》曰：应顺字仲华，为将作大匠，发擿众奸，皆极其刑，豪猾之吏(罪)敛迹。视事五年，省费以亿万。

应劭《汉官仪》曰：世祖中兴，以谒者领其官，章帝建初元年乃置真，位次河南尹。永元七年大匠应慎上言："百郡计吏，观国之光，而舍逆旅，崎岖私馆，贡篚之物，朽湿曝露。昔晋霸之盟主耳，舍诸侯于隶人，郑子产以为大讥，况今四海之大而可无乎？"和帝嘉纳之。

《魏志》曰：杨阜字义山，为将作大匠。明帝时初治宫室，发美女充后庭，阜上疏欲省宫人诸不见幸者，乃召御府吏问后宫人数。吏守旧令，对曰："禁密，不得宣露。"阜怒，杖吏一百，数之曰："国家不与九卿为密，反与小吏密乎？"帝闻之而愈敬惮。

《晋书》曰：将作大匠陈勰掘地得古文《尚书》，奏今文长于古文，宜以古文为正；潘岳以为习用已久，不宜复改。

《唐书·官品志》曰：大匠卿位视太仆，掌土木之工，统左、右校诸署。

《汝南先贤传》曰：应仲华迁大匠，除藻饰之无用，割有损之浮费，凡所省息七亿余万。

太平御览卷第二百三十七

职官部三十五

总叙将军　左右卫将军　左右金
吾卫将军　诸卫上将军

总叙将军

石氏《中官占》曰：河鼓星主军鼓，一曰三星主天子三将军。中央大星为大将军，左星为左将军，右星为右将军，所以备关梁而距难也。

《周礼·夏官上·大司马》曰：凡制军，万有二千五百人[为军]。一乡之民也。凡起从役家一人也。王六军，六乡之数也。卿始文教，军定武功。其道皆兼三才而两之，故数俱六也。大国三军，公侯之封也。成国不过半天子之一军。次国二军，诸伯之封。小国一军。子男之封。军将皆命卿。位视六事之人，司于六军之大夫。春秋之时，列国有正卿为将军，又以亚卿一人为佐，犹执政者贪其权，遂以凌迟，皆非周公之旧也。

《左传·襄公(二)[十三]年》曰：晋蒐于绵上以治兵，使士(丐)[匄]将中军，辞曰："伯游长。昔臣习于知氏以佐之，非能贤也。请从伯游。"使荀偃将中军，士(丐)[匄]佐之。使韩起将上军，辞以赵武。

《孝经左契》曰：将军顺虎衔珠，大夫正海出鱼。

《史记》曰：齐景公召穰苴与语，大悦，以为将军，将兵扞燕。

又曰：孝文后六年，匈奴入上郡，周亚夫为将军，居灞上，祝兹侯徐广曰：表作松兹。姓徐名悍也。[徐厉为将军]，军棘门，以备胡。

《汉书》曰：楚王召宋义计事，而悦之，因以为将军。

范晔《后汉书》曰：灵帝时，望气者以为京师当有大兵，两宫流

血。大将军司马许源说何进曰："《太公六韬》有天子亲于兵事，可以威压四方。"诏进大发兵，讲武于平观。下起大坛，上建十二重五采华盖，高十丈，坛东北有小坛，复九重华盖，高九丈，引步兵骑士数万人，结营为阵。天子亲出(临)[监]军，住大华盖下，进住小华盖下。礼毕，帝躬擐甲上马，称"无上将军"，行阵三匝而还。

《魏志》云：太祖令曰：《司马法》："将军死绥。"《魏书》曰：绥，却也。有前一尺，无却一寸也。《尸子》曰："十万之军无将军，必乱。"

左右卫将军

《六典》曰：左右卫将军之职，掌统领宫廷(惊)[巡警]、冲卫之法令，以督其属之队仗，而总诸曹之职务焉。其左右骁卫、左右武卫、左右威卫、左右领军卫将军所掌之职皆如之。

《晋书》曰：羊琇为晋台左卫将军。

又曰：吴隐之迁左卫将军。虽居清显，禄赐皆班亲族，冬月无被，尝澣衣乃披絮，勤苦同于贫庶。

何法盛《晋中兴书》曰：南顿王宗字延祖，拜左卫将军，为肃祖所昵，委以禁旅。

又曰：王坦之字文度，领左卫，少有风格，尚刑名之学，尝著《废庄论》。

又曰：虞谭、陈略、曹毗、毛安之并为左卫将军。

沈约《宋书》曰：左、右卫将军，晋文建国所置。

《隋书》曰：薛世雄，性廉谨，凡所行军破敌之处，秋毫无犯，帝由是嘉之。帝尝从容谓群臣曰："我欲举好人，未知诸君识否？"群臣咸曰："臣等何能测圣心？"帝曰："我欲举者薛世雄。"群臣皆称善。帝复曰："世雄廉正节概，有古人之风。"于是超拜右翊卫将军。炀帝改左右卫为之。

《唐书》曰：元和中，以前灵盐等节度使王佖为右卫将军。佖在镇，无智略以驭下，居常猜忌及多杀人以惧之，众亦不附。乃召至，

逾月而授以卫将军。凡将相出入，皆翰林草制，谓之白麻，他始以责罢中书草制。

《隋书》曰：来护儿，炀帝即位，迁右骁卫大将军，帝甚亲重之。大业六年从驾江都，赐物千段。令上先人冢，宴父老，州里荣之。

《魏志》曰；许褚从太祖战，大破马超等，乃迁武卫中郎将，武卫之号自此始也。文帝践阼，迁武卫将军。

又曰：曹爽自散骑常侍转武卫将军。爽秉政，又以弟训为武卫将军。

《王敦别传》曰：敦子应，字安期，官至武卫将军。

《隋书》曰：独孤盛为左屯卫将军。宇文化及之作乱也，裴虔通引兵至成象殿，宿卫者皆释仗而走。盛谓虔通曰："何物兵？形势太异也！"虔通曰："事势已然，不预将军事。[将军]慎无动。"盛大骂曰："老贼是何物语！"不及被甲，与左右十余人逆拒之，为乱兵所杀。

《唐书》曰：咸通中以伶官李可及为威卫将军，曹确执奏曰："臣览贞观故事，太宗初定官品令，文武官共六百四十三员。顾谓房玄龄曰：'朕设此官员以待贤士，工商杂色之流假令术逾侪类，止可厚给财物，必不可超授官秩，与朝贤君子比肩而立、同坐而食。'大和中文宗欲以乐官尉迟璋为王府率拾遗，窦询直极谏，乃改授光州长史。伏乞以两朝故事，别授可及之官。"帝不之听。

又曰：高祖以李粲为左监门大将军，礼高年也。初，高祖问粲年几，对曰八十，高祖曰："公清干之誉闻于隋日，今年齿虽迈，筋力未衰，但监门之职，非公莫可，意欲相委如何？"粲以年老辞让，高祖曰："藉公处分耳，岂欲烦公筋力耶！"于是诏粲自非殿庭，皆乘蜀马，论者荣之。

又曰：王及善除右千牛卫将军，高宗谓曰："朕以卿忠敬，故与卿三品要职。他人非搜辟不得至朕所，卿佩大横刀在朕侧，知此贵否？"

又曰：李听，元和中为羽林将军，有名马，穆宗在东宫令近侍讽听献之。听以职总亲军，不敢从。及即位之始，幽冀不廷，太原与二镇接境，方议易帅。宰臣进拟，上皆不允，谓宰臣曰："李听为羽林将军，不与朕马，是必可任。"

《五代史》云：周广顺二年十二月，诏改左右威卫复为左右屯卫，避太祖讳也。

左右金吾卫将军

《六典》曰：左右金吾卫大将军之职，掌宫中及京城昼夜巡警之法，以执御非违。

《百官表》云：秦有中尉，掌徼循京师。如淳曰：所谓游徼，徼循禁备盗贼也。颜师古曰：徼，谓遮绕之也。音工钓反。汉武帝太初元年更名执金吾，应劭曰：吾者，御也。常执金革以御非常也。颜师古曰：金吾，鸟名也，主辟不祥。天子出，职主先导，以备非常，故执此鸟之像，因以名官也。缇骑二百人，舆服导从，车骑满路，群僚之中，斯最壮矣。旧掌京师盗贼，考按疑事。汉郅都、宁成、王温舒、咸宣等皆截理横噬虎而冠者也，止切理辨亦旋诛黜。又置执金吾丞。后汉掌宫外戒司非常水火之事，卫尉巡行宫中，金吾徼循宫外，为表里以擒奸讨猾。日三绕行宫外，及主兵器。自中兴但专徼循，不与他政。又有执金吾吏、文学执金吾佐、执金吾员吏。魏武秉政，复为中尉。晋初罢直，至后周置武环率、武候率，下大夫各二人。隋置左、右武候府，大将军一人、将军三人，掌车驾出入，先驱后殿；昼夜巡察，执捕奸非；烽候、道路、水草所宜。巡狩田师则掌其营禁。炀帝大业三年改为左、右武候卫，所领军事名依飞。《汉官表》曰：汉有左戈令。武帝太初元年，更名依飞，掌戈射，属少府。光武省之，隋代采旧名。唐初又为左、右武候府，贞观十年十二月，马周奏：京城诸街置鼓，罢传呼。龙朔二年改为左、右金吾卫，置大将军一人，所掌与隋同；将军二人副其事。领官属并。隋置，大唐因之。

《后汉书》曰：初，光武适新野，闻阴后美，心悦之。后至长安见执金吾车骑甚盛，因叹曰："仕宦当作执金吾，娶妻当得阴丽华。"

《汉官·宰尹下》曰：吾，御也，常执金革以御非常。缇骑二百人，[持戟五百二十人]。舆马导从，充满于路，世祖微时，叹曰"仕宦当作执金吾"是也。

《汉书·百官公卿表》曰：秦名曰中尉，掌徼循京师。有两丞、候、司马，兵千人。武帝太初元年更名执金吾。

又曰：毋将隆为执金吾。时侍中董贤方贵，上使中黄门发武库兵，前后十辈，送贤及上乳母王阿舍。隆奏："武库兵器，天下公用，国家武备，缮治造作，皆度大司农钱。苏林曰：用度皆出大司农。大司农钱自非乘舆不以给，供养劳赐，一出少府。盖不以本藏给未用，不以民力供浮费，别公私，示正路也。"

又曰：郅都为中尉，丞相条侯至贵倨也，而都揖丞相。是时民朴，畏罪自重，而都独先严酷，行法不避贵戚，列侯宗室见都侧目而视，号曰"苍鹰"也。

《东观汉记》曰：马防字孝孙。拜执金吾，性矜严公正，上事处议多见用。

《续汉书》曰：阴识拜执金吾，位特进，入则极言正谏。至与宾客语，不及国事，常慕仲山甫匪躬之节，所用掾史皆得天下俊哲。虞诩、传贤等是也。

又曰：朱浮字叔元，为执金吾。帝以二千石长吏[多]不堪任，时有纤微之过者，必见斥罢，交易纷扰，百姓不宁。六年，有日蚀之异，浮因上疏切谏，自是州郡奏长吏二千石不任位者，事皆先下三公遣掾史案[验]，然后黜退。

又曰：秩中二千石，掌外司非常水火之事，且三绕行宫外，及主兵器，丞一人，比千石。

华峤《后汉书》曰：贾复为执金吾。更始，郾王尹尊及诸将反，上召诸将议，以檄叩地曰："郾最强，宛次之。"复率尔对曰："臣请击郾。"上笑曰："执金吾击郾，吾复何忧耶？"

又曰：耿秉为人威重，有谋略，拜执金吾。每行幸，秉恒领宿

卫。

谢承《后汉书》曰：梁冀为执金吾，岁朝，托疾不朝，司隶扬雄治之，诏以二月俸赎罪。

《汉杂事》曰：辛庆忌明略威重，任国柱石，为执金吾。

《魏书》曰：臧霸与曹休讨吴，破贼吕范于洞浦，征为执金吾。每有军事，帝咨访焉。

又曰：崔琰迁中尉。琰声姿高畅，眉目疏朗，须长四尺七寸，有威重，朝士瞻望，太祖亦严惮焉。

又曰：徐奕，太祖以为中尉，手令曰："昔楚有子玉，文公为之侧席；汲黯在朝，淮南为之折谋。《诗》称'邦之司直'，君之谓也。"

《唐书》曰：高祖以徐世勣为右武候大将军，隋大业三年及唐初并为左右武侯，至龙朔二年复为左右金吾。诏曰："念功褒善，哲王彝训；纪德亲贤，有国通典。黎州总管曹国公世勣本自黎阳，拥徒归顺，任以藩岳，诚效克彰，节义不渝，夷险无变，信同金石，操拟松筠，宜加宠命，用超恒序，可赐姓李氏。"

又曰：赵道兴，贞观初历迁左武候中郎将，明闲宿卫，号为称职。太宗尝谓之曰："卿父为隋武候将军，甚有当官之誉。卿今克传弓冶，可谓不坠家声。"因授右武候将军。其父时廨宇，仍旧不改，时人以为荣。

又曰：裴谞为右金吾将军。建中初，上以刑名理天下，百吏震悚。时十月禁屠杀，以甫近山陵，禁益严。尚父、汾阳王郭子仪隶人杀羊以[入]，门者觉之，谞列奏状，上以为不畏强御，累遣宣喻。或谓谞曰："郭公有社稷功，岂不为盖之？"谞笑曰："非尔所解。且郭公威仪权太盛，上新即位，必谓党附者众。今发其细过，以明不弄权耳。吾上以尽事君之道，下以安大臣，不亦可乎？"

又曰：臧希让为金吾大将军。肮脏好谈时政，屡以理体上于公卿，诏令集贤院待制。希让无学术，及处近地，从容公卿间，强引文言以自贤，而所闻知多道途得之，每发必差谬，颇为士子所笑。

诸卫上将军

《唐通典》曰：魏黄初中，始有上大将军，以曹真为之。吴亦以陆逊为上大将军。后周建德四年，增置上大将军；隋并以为武散官，不理事。上大将军从二品。

又曰：唐武德初，秦王既平王世充及窦建德，高祖以秦王功殊古今，自昔位号不足以为称，乃特置天策上将军以拜焉，位在王公上。

又曰：贞元二年九月诏曰："六军先已各置统军一人，今十六卫，宜各置上将军一人，秩从其品。"繇是上将军之官始列于品位。

太平御览卷第二百三十八

职官部三十六

大将军　大将军　车骑将军　骠骑将军　骁骑将军
卫将军　前将军　后将军　左将军　右将军

大将军

《史记》曰：武帝伐匈奴以卫青为大将军，位在诸公上。公卿皆拜，惟汲黯独揖。有言大将军尊贵不宜尔，黯曰："大将军有揖客，独不贵耶？"青闻之，愈重黯。

《汉书》曰：武帝以霍光为大将军，辅昭帝，田千秋为丞相，及昭帝初即位，未任听政事，一决大将军光。千秋居相位，谨厚有重名。光谓千秋曰："始与君侯具受先帝遗诏，令光治内，君侯治外，宜有以教，督使光无负天下。"千秋曰："惟将军留意，即天下幸甚。"终不有所言。

《后汉书》曰：窦宪为大将军，威震天下，复出屯武威。会帝西祠园陵，诏宪与车驾会长安。及宪至，尚书以下议欲拜之，伏称万岁。韩稜正色曰："夫上交不谄，下交不黩，礼无为人臣称万岁之制。"议者皆惭而止。

又曰：诏邓骘班师。朝廷以太后故，遣五官中郎将迎拜骘为大将军。[军]到河南，使大鸿胪亲迎，中常侍赍牛酒郊劳，王、主以下候望于道。既至，大会群臣，赐束帛焉。

应劭《汉官仪》曰：和帝以窦宪为大将军，乃冠三公。

又曰：梁冀为大将军，以三世姻媾援立之功，公卿希旨，上比周、霍，举高第茂才，官属皆倍余府。

《魏志》曰：文帝以孙权为大将军、吴王，加九锡。

又曰：太傅司马宣王奏免曹爽，皇太后诏召高文惠假节行大将军事，据爽营。太傅谓之曰："君为周勃矣。"

《后魏书》曰：莫题有谋策，为太将军，平慕容麟，赐爵东宛侯。后太祖欲广宫宇，规度平城四方数十里，将模邺、洛、长安之制，运材数百万，以题机巧，令监定焉。

陈思王《辅臣论》曰：知虑深奥，渊然难测；恭以奉上，爱以接下；纳言左右，为帝喉舌：曹大将军也。

大将军

《魏志》曰：王谦，为大将军何进长史。进以谦名公之胄，欲与为婚，见其二子，使择焉。[谦]弗许，以疾免。

臧荣绪《晋书》曰：鲁芝字世英。耽思坟籍，研精稽古，自三代之奥典，圣人之微言皆(该)[赅]览焉。大将军曹爽辅政，高选贤明以为官属，延芝为司马。

《续汉书》曰：李固字子坚，拜议郎，为洛阳令，大将军梁冀请为从事中郎。

《晋书》曰：郑冲字文和，以儒雅为业，箪食瓢饮，布衾缊袍，不以为忧。大将军曹爽以为从事中郎。

又曰：李喜，景帝辅政命喜为大将军从事中郎。喜到，引见，谓喜曰："昔先公辟君而不应，今孤命君而至，何也？"对曰："先公以礼见待，喜得以礼进退；明公以法见绳，喜畏法而至。"帝甚重之。

何法盛《晋中兴书》曰：郭舒，大将军王敦以为从事中郎。会(郭)[敦]讨刘隗，切谏，敦大怒曰："人中间言卿痴，故炙卿眉头，今疾复发耶！勿复语也。"舒曰："明公听舒一言。舒闻古之狂也直，周昌、汲黯、朱云皆不痴也。昔尧立诽谤之木，舜悬敢谏之鼓，公为胜尧舜耶？而乃折舒使不得言！"敦默然也。

《竹林七贤传》曰：阮籍字嗣宗，为太傅司马宣王参军，迁景王大将军从事中郎。

《通典》曰：从事中郎，汉末官也。陈阳为大将军，王凤从事中郎是也。在主簿上，所掌与长史同。

华峤《后汉书》曰：崔骃字亭伯，辟大将军窦宪府掾。宪新辅政，贵重掾三十人，皆故刺史二千石，惟骃以处士年少擢在其间。宪擅权骄恣，骃数谏之，出为长岑长，不得意，不之官而归。

华峤《后汉书》曰：马融字季长，为大将军邓骘舍人。

《晋阳秋》曰：义兴周延为左率转尚书，迁大将军咨议参军。

车骑将军

《汉书》曰：元光二年，以中尉程不识为车骑将军，屯雁门。

应劭《汉官仪》曰：帝以元舅马防为车骑将军，银印、青绶。

《吴志》曰：孙壹奔魏，以壹为车骑将军，仪同三司，封吴侯，以故王芳贵人邢氏妻之。邢美色，妒忌，下不堪命，遂共杀壹及邢氏。

《蜀志》曰：邓芝字伯苗，义阳新野人。益州从事张裕善相，芝往从之，谓芝曰："君年过七十，位至大将军，封侯。"为车骑将军，赏罚明，善恤卒伍。身之衣食资仰于官，不苟素俭，然终不治私产，妻子不免饥寒，死之日家无余财。

《后魏书》曰：王衍字文舒，出为散骑常侍、征东将军、西兖州刺史。衍届治未几，属尔朱仲远称兵内向，州既路冲，为其攻逼。衍不能守，为仲远所擒，以其名望不害也，令骑牛从车，久乃见释。还洛，除车骑将军。

《隋书》曰：长孙览，周武帝在藩，与览亲善，及即位，弥加礼焉，超拜车骑大将军。每公卿上奏，必令省读。览有口辩，声气雄壮，凡所宣传，百僚属目。帝每嘉叹之。览初名善，帝谓之曰："朕以万机，委卿先览。"遂赐名焉。

骠骑将军

《汉书》曰：武帝以霍去病为嫖姚校尉，征匈奴，累有功，宠冠群

臣，置骠骑将军，秩与大将军同。

又曰：明帝即位，以东平王苍为骠骑辅政，开东阁延英雄。及苍归国，有骠骑时吏丁牧、周相，以苍敬贤下士，不忍去之，遂为王家大夫，数十年事祖及孙。帝闻，褒美。

又曰：骠骑将军，汉官也，长史、司马各一人，金璋、紫绶，五时朝服，武冠，佩山玄玉。光武中兴诸将皆称大，后天下既定，武官悉省。

《东观汉记》明帝诏曰：东平王苍，宽博有谋，可以托六尺之孤，临大节而不可夺其名，以苍为骠骑将军。

又曰：张意拜骠骑将军，讨东瓯，备水战之具。一战大破，所向无前。

又曰：其将军不常置，比公者又有骠骑将军。建武二十年复置骠骑将军，位次公，有长史一人。

《后汉书》曰：刘隆为骠骑将军，行大司马事。隆奉法自守，视事八岁，上将军印绶，罢，赐养牛，上樽酒十斛。

应劭《汉官仪》曰：汉兴，置骠骑将军，位次丞相。

《隋书》曰：崔彭转骠骑，恒典宿卫。性谨密，在省闼二十余年，每当上在仗，危坐终日，未尝有怠惰之容，上甚嘉之。上每谓彭曰："卿当上日，我寝处自安。"又尝曰："卿弓马固以绝人，颇知学不？"彭曰："臣少爱《周礼》《尚书》，每于休沐之暇，不敢废也。"上曰："试为我言之。"彭因说君臣戒慎之义，上称善。

韦昭《辩释名》曰：骠骑将军、[车]骑将军，秩比三公。辩云：此二将军，秩本二千石。

《世说》曰：何骠骑弟第五以高情逊避，而骠骑令仕，对曰："然第五之称，何必减之骠骑！"

陈思王《辅臣论》曰：魁杰雄特，秉心平直；威严足惮，风行草靡；戎昭果毅，折冲厌难者：司马骠骑。

梁·简文帝《让骠骑扬州刺史表》曰：常愿侯服就列，希同特进

之班；角巾还第，不竞龙骧之贵。而天泽无涯，名器总集。窃以骠骑之官，既为上将；神州之重，实号中土。故以弹压六戎，冠冕九牧。岂止司隶绛节，金吾缇骑！况复任总皇畿，位重连率；何则骠骑之号，历选为重。元狩之中始自去病，永平之建特授刘苍。齐献为公主所申，吴汉因群臣之举。

骁骑将军

《汉书》曰：李广为骁骑将军，后出雁门击匈奴。匈奴生得广，广时伤，阳死，睨傍胡儿善马，(渐)[暂]腾而上，南驰得脱。广亡失多，当斩，赎为庶人。

《东观汉记》曰：光武以刘桓为骁骑将军，攻中山。

又曰：建武九年，以刘喜为骁骑将军，攻涿郡。

华峤《后汉书》曰：马成字君迁，拜骁骑将军，北屯常山。积数年，上以其勤劳，征归京师，边民多上书请之，上复以成镇抚之。

《魏志》曰：任城威王彰，字子文。性勇而须黄，为骁骑将军。北出塞，为寇所要，彰独与麾下数百骑突虏，王闻之曰："我黄须儿定可用也。"

又曰：董卓立献帝，表太祖为骁骑将军，[欲]与计事。太祖乃变姓名，间行东归。

《齐书》曰：江敦为侍中，转都官尚书，领骁骑将军。王晏启武帝曰："江敦今重登礼阁，兼掌六军，慈渥所覃，实有优忝。但语其事任，殆同闲辈。天旨既欲升其名位，愚谓以侍中领骁骑，望实清显，有殊纳言。"上曰："敦常启吾，为其鼻中恶。今既以何胤、王莹还门下，故有此(迴)[回]换耳。"

卫将军

《汉书》曰：文帝至渭桥，群臣奉天子法驾，迎代邸。皇帝即日夕入未央宫，夜拜宋昌为卫将军，领南北军。

又曰：文帝三年，遣灌婴击匈奴，发中尉材官兵属卫将军，军长安。

《晋书》曰：虞潜字思奥，为卫将军，貌如不武，内实坚明。

前将军

《汉书》曰：前、后、左、右将军，皆周末官，秦因之，位亚上卿，金印、紫绶。

又曰：武帝征西夷，有前、后、左、右将军。宣元以后，杂错更置，或为前，或为后，或为左，或为右，虽不出征，犹有其官，在诸卿上，为国爪牙，所以扬示威灵于四远，折冲万人，如虎如罴。

又曰：左、右、前、后将军，皆周官也，秦汉因置以征四夷。后虽不征伐，其官常存。

又曰：傅喜为右将军。傅太后与政，喜数谏，后不悦，上印绶，病在家。[何武等]上疏固请，乃拜前将军。

《魏志》曰：张辽字文远，雁门马邑人也。聂壹之后，以避冤变姓。少为郡吏，武力过人。文帝即位转前将军。又黄初二年，辽至洛阳宫，文帝引辽，会建始殿，亲问破吴意状。帝叹息顾左右曰："此亦古之邵虎也。"

《蜀志》曰：先主为汉中王，遣费诗拜关羽为前将军，羽闻黄忠为后将军，怒曰："大丈夫终不与老兵同列！"不肯拜受。诗谓羽曰："夫立王业者，所用非一。昔萧、曹与高祖少小亲旧，而陈、韩亡命后至，论在班列，韩最居上，未闻萧、曹以为怨也。今汉中王以一时之功，隆崇于汉叔，然意之轻重，宁当与君侯齐乎！王与君譬犹一体，同休等戚，祸福共之，愚谓君侯不宜计官号之高下、爵位之多少也。仆一介之使，衔命之臣，君侯不受拜，如是便还，但相谓惜此举动，恐有后悔耳！"羽大感悟，即受拜。汉叔，黄忠字也。

《后魏书》曰：谷楷，昌黎人，濮阳公浑曾孙也。称有干局，迁前军将军。楷眇一目，而性甚严忍，时人号为瞎虎。

后将军

《汉书》曰：赵充国为后将军，西羌反，上命御史大夫邴吉问："谁可将者？"充国时年已七十余，对曰："无逾于老臣者矣。"遣问焉，曰："将军度羌虏何如，当用几人？"充国曰："百闻不如一见。兵难逾度，逾，远也。臣愿驰至金城，图上方略。然羌戎小夷，逆天背叛，灭亡不久，愿陛下以属老臣，勿以为忧。"

《东观汉记》曰：郅彤字玮君，信都人也，为曲阳卒正。更始即位，上以大司马平河北，至曲阳，彤举城降，为后大将军。

《魏志》曰：曹洪为文帝所废，明帝即位，拜后将军。

《蜀志》曰：黄忠字汉叔，先主为汉中王，欲用忠为后将军，诸葛亮说先主曰："忠之名望，素非关、马之伦，而今使令同列。马、张在近，亲见其功，尚可喻指，关羽遥闻之，恐必不悦，得无不可乎！"先主曰："吾当解之。"遂与羽等同位，赐爵关内侯。

《晋中兴书》曰：应詹字思远，太兴三年为后军将军。

《晋起居注》曰：太始八年，置后军将军，掌宿卫。

左将军

《汉书》曰：公孙贺封南窌侯，窌，音芳孝反。以左将军出定襄，无功，失侯。

又曰：辛庆忌，字子真，为左将军，为国虎臣，匈奴、西(城)[域]亲附，敬其威信。

《东观汉记》曰：贾复字君文。治《尚书》，事舞阴李生，李生奇之，谓门人曰："贾生容貌志意如是，而勤于学，此将相之器。"征诣洛阳，拜左将军。南击赤眉、新城，转西入关，击盆子于渑池，破之。

《魏志》曰：文帝即位，以李郃为左将军。诏郃与曹真讨安定卢水胡及东羌。

《晋书·百官名臣》曰：王济字武子，起家中书郎，迁左军将军。

山涛《启事》曰：左将军裴楷，通理有才义。

右将军

《汉书》曰：常惠以明习外国事，勤劳数有功，为右将军。

又曰：何武荐辛庆忌宜在爪牙，乃拜为右将军。

《魏志》曰：徐晃字公明，为右将军，性俭约畏慎，为将常远斥候，叹曰："古人患不遭明君，今我遇之，当以功自效。"

《蜀志》曰：诸葛亮上疏曰："臣以弱才，叨窃非据，亲秉旄钺以厉三军，不能训章明法，临事而惧，至有街亭违命之阙（令），箕谷不戒之失，咎皆在臣授任无方。臣明不知人，恤事多暗，《春秋》责帅，臣职是当。请自贬三等，以督厥咎。"于是以亮为右将军，行丞相事，所总统如前。

何法盛《晋中兴书》曰：郭默为右军将军。默既远人，乐为边将，不愿内转，谓刘胤曰："我能（卫）[御]胡而不用，更用虚名者；且右军主禁兵，禁兵不妄出，有急方（更）[始]配给，兵将无素，是谓弃之，安得不乱？"

又曰：王羲之字逸少，导之从子也。幼讷于言，人未之知。年十三，尝见周顗，异之。时重牛心炙，座客未啖，先割啖之羲之，于是闻名。及长，尤善草、隶书，为今古冠绝。累迁为右将军。不乐京师，遂往会稽与谢安、孙绰等游处山阴。有道士养群鹅，羲之意甚悦。道士云："为写《黄庭经》，当举群相赠。"乃为写讫，笼鹅而去。

太平御览卷第二百三十九

职官部三十七

四征将军　四镇将军　四安将军
四平将军　杂号将军上

四征将军

征东将军

《魏志》曰：张辽字文远，为征东将军。征孙权，被甲[持戟](战)先[登]陷阵，冲垒入，至权麾下。

又曰：满宠字伯宁，为征东将军。诏曰："君典兵在外，专心忧公，赐田十顷、谷五百斛、钱二十万，以明清忠俭约之节。"

《晋书》：王浑平吴，转征东大将军，复镇寿阳。浑不尚刑名，处断明允。时吴人新附，颇怀畏惧。浑抚循羁旅，虚怀绥纳，座无空席，门不停宾。于是江东之士，莫不悦附。

征西将军

《东观汉记》曰：冯异为征西将军，入关征赤眉。

又曰：耿秉为征西将军，领抚单于。及薨，南单于举国发丧，犁面流血。

《魏志》曰：夏侯渊字妙才，为征西将军，守汉中。

《后魏书》曰：陆真，代人也。少善骑射，数从征伐，所在摧锋陷阵。前后以功为征西将军。

征南将军

《魏志》曰：夏侯尚字仁伯，渊从子也。文帝与之亲友，太祖定冀州，尚为军司马，常从征讨，迁征南将军。

又曰：曹仁为征南将军，鄢陵侯彰北征乌丸，文帝在东宫，为书戒彰曰："为将奉法，不当如征南耶！"

《晋书》曰：羊祜为征南将军，寝疾，求入朝。既至洛阳，会景献梓宫在殡，哀恸至笃。中诏申谕，扶疾引见，命乘辇入殿，无下拜，甚见优礼。

《后魏书》曰：司马景之，字洪略，晋汝南王亮之后。太宗时，归封苍梧公，加征南大将军。

征北将军

《魏志》曰：杜恕为幽州刺史，时征北将军程嘉屯蓟，尚书袁侃等戒恕曰："程申伯[处先帝之世，倾田国让于青州。足下]今俱杖节，共屯一城，宜深有以礼之。"

沈约《宋书》曰：衡阳王义季为征北将军、徐州刺史。

四镇将军

镇东将军

《魏志》曰：臧霸字宣高，太山华阴人也。亡命东海，以壮勇闻。太祖募索，得霸，见而悦之，以为琅琊相。文帝即位，迁镇东将军。

镇西将军

《魏志》曰：曹真字子丹。文帝即位，以真为镇西将军。

《蜀志》曰：马超，父腾，灵帝末与边章、韩遂等俱起(居)事于西州。初平三年，遂、腾率众诣长安。汉朝以遂为镇西将军，遣还金

城，腾为征西将军，屯郿邬。

镇南将军

《蜀志》曰：黄权字公衡，伐吴败于白帝。既附魏，文帝曰："君舍逆顺，欲追踪陈、韩耶？"权曰："臣降吴不可，归蜀无路，是以归命。败军之将，免死(焉)[为]幸，何古人之可(纂)[慕]！"帝善之，拜镇南将军。

《吴志》曰：吕岱既定交州，进讨九真，斩获万数。又遣从事南宣国化，及徼外扶南、林邑、堂明诸王，各遣使奉贡。权嘉其功，进拜镇南将军。

《晋书》曰：杜预为镇南将军，缮兵甲，曜威武，乃简精锐，袭吴西陵督张政，大破之，以功增封三百六十五户。政，吴之名将也，据要害之地，耻以无备取败，不以所丧之实告于孙皓。预欲间吴边将，乃表还所获之众于皓。皓果召政，遣武昌监刘宪代之。故大军临至，使其将帅移易，以成倾荡之势。预处分既定，乃启请伐吴之期。

《后魏书》曰：唐和谄阿，世祖优之，待以上客。高宗以和归诚先朝，拜镇南将军。

镇北将军

《魏氏春秋》曰：许元字士宗，为镇北将军，都督河北诸军事。

《蜀志》：魏延字文长。先主大会群臣，问延曰："今委卿以重任，卿居之，欲云何？"延对曰："若曹操举天下而来，请为大王距之；偏将十万之众至，请为大王吞之。"先主称善，众咸壮其言。先主践尊号，进拜镇北将军。

《晋书》曰：何曾为镇北将军。文帝使武帝、齐王攸送之，帝又过其子[劭]。曾先敕劭曰："客必过汝，汝当预严。"劭不冠带，停帝良久，曾深以为谴劭。曾见崇重如此。

四安将军

安东将军

王隐《晋书》曰：武帝伐吴，以王浑为安东将军。

《晋公卿礼秩》曰：世祖以扶风王骏为安东大将军。

安西将军

《魏志》曰：曹仁字子孝，太祖从弟也。少好弓马弋猎。俊豪并起，仁亦阴结少年，周游淮泗之间，遂从太祖为别部司马。太祖讨马超，以仁行安西将军。

安南将军

谢承《后汉书》曰：光武以岑彭为安南将军。

安北将军

沈约《宋书》曰：刘秀之，东莞莒人。少孤贫，有志操。为安北将军、雍州刺史。上车马幸新亭，视秀之发引。

四平将军

平东将军

王隐《晋书》曰：武帝伐吴，以王濬为平东将军。

平西将军

《蜀志》曰：马超闻先主围刘璋于成都，密书请降。先主遣人迎超，超将兵径到城下。城中震怖，璋即稽首，以超为平西将军。

沈约《宋书》曰：临川王义庆为平西将军。

平南将军

王隐《晋书》曰：武帝伐吴，以胡奋为平南将军。

平北将军

《魏志》曰：太祖征冀州，张燕求佐军，拜平北将军。

杂号将军上

镇军将军

《魏志》曰：黄初七年，魏文以陈群为镇军大将军，录尚书事，受顾命。

又曰：甘露元年，以石苞为镇军将军。

沈约《宋书》曰：齐王攸为镇军（骠骑上后复旧）[将军]。

抚军将军

《魏志》曰：黄初四年，以司马宣王为抚军大将军辅政。

又曰：齐王嘉平三年，以司马景王为抚军大将军辅政。

《语林》曰：简文为抚军时，坐床上生尘，不听左右拂去，见鼠行迹，视以为嘉。有参军见鼠，以手板格煞之，抚军谓曰："无乃不可乎？"

征虏将军

《东观汉记》曰：祭遵为征虏将军，廉洁奉公，光武叹曰："安得忧国奉公如祭征虏者乎？"

《魏志》曰：太祖以临淄侯植为征虏将军，遣救曹仁，呼有所敕而植醉，于是罢之。

又曰：南阳周太好立功，善用兵，以为征虏将军。

沈约《宋书》曰：征虏将军，世号金紫将军

冠军将军

《史记》曰：楚义帝，以宋义[为]卿子冠军。

《汉书》曰：武帝以霍去病征匈奴，功冠三军，封冠军侯。

《魏志》曰：正始中，以文钦为冠军将军、扬州刺史。

《晋起居注》曰：武帝泰始七年，诏曰：议郎胡奋开爽忠亮，有文武才干，历位外内，涉练戎事，威略之声著于方外，其以奋为冠军将军。

《齐书》曰：刘悛尝从驾登蒋山，上数叹曰："贫贱之交不可忘，糟糠之妻不下堂。"顾谓悛曰："此况卿也。世言富贵好改其素情，吾虽有四海，今日与卿尽布衣之适。"悛起，拜谢，迁冠军将军。

《晋书·载记》曰：符坚寇晋，以姚苌为龙骧将军，督益、梁州诸军事，谓苌曰："朕本以龙骧建业，龙骧之号，未曾假人，今特以相授。山南之事，一以委卿。"坚左将窦冲进曰："王者无戏言。此将不祥之征也，惟陛下察之。"坚默然。

车频《秦书》曰：符坚与符健西入关。坚时年十二，未有军号，健梦有天神遣使者，朱衣武冠，拜坚为龙骧将军。后加此官，以应神梦。

《羊祜别传》曰：先时吴童谣云："阿童复阿童，衔刀浮渡江。不畏岸上虎，但畏水中龙。"祜闻之曰："此必水军有功。"即表王濬为龙骧将军，谋伐吴。

辅国将军

《晋书》：王导为辅国将军。导上笺曰："昔魏武，达政之主也；荀文若，功臣之最也，封不过亭侯。仓舒，爱子之宠，赠不过别部司马。以此格万物，得不局迹乎！今者临郡，不问贤愚豪贱，皆加重号，辄有鼓盖。时有不得者，或为耻辱。天官混杂，朝望颓毁。导

忝荷重任，不能崇浚山海，而开创乱源，饕窃名位，取素彝典，僭送鼓盖加崇之物，请从导始。庶令雅俗区别，群望无惑。”

王隐《晋书》曰：王濬为辅国将军。

又曰：羊琇以辅国将军、开府仪同[三司]。

领军将军

《魏志》曰：文帝即位，拜曹休为领军将军。

《晋书》曰：纪瞻转领军将军，当时服其严毅。虽恒疾病，六军敬惮之。瞻以久病，请去官，不听，复加散骑常侍。及王敦之逆，帝使谓瞻曰：“卿虽病，但为朕卧护六军，所益多矣。”

《晋阳秋》曰：韩康伯年四十九，拜领军。疾病，占候者云“不宜此官”，固请，徙之。

何法盛《晋中兴书》曰：陶回拜领军将军，加散骑常侍。性方范，不畏强御。丹阳尹桓景颇以佞事司徒王导，导甚昵之。回常慷慨谓景非正人，不宜亲狎。会荧惑守南斗经旬，王公语回曰：“南斗，扬州分，而荧惑守之，吾当逊位以厌此谴。”回答曰：“公以明德作镇，辅弼圣主，当亲忠贞，远邪佞；与桓景造膝，荧惑何由退舍！”导深愧之。

《梁书》曰：胡曾祐拜领军将军，厚自封植，以所加鼓吹恒置斋中，对之自娱，人曰：“此是羽仪，公名望隆重，不宜若此。”答曰：“我性爱之，恒须见耳。”或出游，亦以自随。人士笑之。

《唐书》曰：贞元十一年，以前太子宾客李愿为左领军大将军，李凭为右威卫大将军。依前兼中丞，皆太尉晟之子，以免丧故，晟诸子同日授官者凡九人。

护军将军

王隐《晋书》曰：王敦将复作逆，明帝问曰：“何如？”应詹厉然慷慨答诏，曰：“陛下宜奋赫斯之威，臣等当负戈从戎，以顺讨逆，诚社

稷之计也。"即以詹为护军将军，同心灭敦。

中军将军

《汉书》曰：冯奉世字子明。元帝以为中军[将军]，屯首阳。

《魏志》曰：曹真持节，都督中外诸军事，[以]中军将军受顾命。

王隐《晋书》曰：太始元年，以羊祜为中军将军，总宿卫。

游击将军

《史记》曰：汉高祖以陈豨为游击将军。

《汉书》曰：太祖太初元年，以苏建、韩说为游击将军。

袁宏《汉纪》曰：建武二年，以邓隆为游击将军，助朱浮攻彭宠。

《魏志》曰：卞阑，少有才学，为游击将军，加散骑常侍。

《山涛启事》曰：游击将军诸葛冲精果有文武[才]，拟补兖州。诏答曰："冲领兵未?"欲出之。

积射将军

《后周书》曰：于谨除积射将军，又随广阳王元深征鲜于修礼。停军中山，侍中元晏言于灵太后曰："广阳王以宗室之重，受律专征，今乃盘桓不进，坐图非望。又有于谨者，智略过人，为其谋主。风尘之隙，恐非陛下纯臣矣。"灵太后诏，于尚书省门外立榜，募能获谨者，许重赏。谨闻之，乃谓广阳王曰："今女主临朝，取信谗佞，脱不明白殿下素心，便恐祸至[无日]。谨请束身诣阙，归罪有司，披露心腹。"深遂许之。谨遂到榜下曰："吾知此人。"众共诘之。谨曰："我即是也。"有司以闻。灵后引见之，大怒。谨备述广阳忠款，兼陈停军之状。灵后意解，舍之。

《世语》曰：积射将军樊震对武帝称邓艾之忠。

积弩将军

沈约《宋书》曰：积弩将军，晋官也。

《齐职仪》曰：积弩将军，品第四，银章、青绶、武冠、绛朝服、佩水苍玉。

晋太康十年，立积弩、积射营各二千五百人，并以将军领之。

强弩将军

《汉书》曰：元狩元年，以李沮为强弩将军，伐匈奴。

又曰：太初二年，以路博德为强弩将军。

又曰：神雀二年，以许延寿为强弩将军迁大司马。

傅畅《晋赞》曰：晋文王，晋台置强弩将军，掌宿卫。

殿中将军

《玄中记》曰：汉桓帝时，出游河上，忽有一青牛从河中出，直走蕩桓帝边，人皆走，太尉何公为殿中将军，有勇力，辄走逆之。牛见公往，乃反，走还河，未至河，公及牛，乃以手拔牛，左足脱，以右手持斧斫牛头，杀之。此青牛者，是万年木精也。

《语林》曰：庾公欲伐王公，先书与郗公曰："老贱贼转欲轿张，殿中将军旧用才学士，以广视听，而顷悉内面墙人，是欲蔽主之明。便欲勒数州之众，以除君侧之恶。今年之举，篾不济矣。"

员外将军

《后魏官氏志》曰：员外将军从第八品。

直阁将军

《后魏书》曰：杨畔字延季，弘农华阴人也。性雅厚，颇有文学，起家奉朝请，稍迁直阁将军。

萧子显《齐书》曰：王敬则，晋陵南沙人也。生而紫胞，年长而腋下生乳，各长数寸，梦骑五色狮子。明帝即位，为直阁将军。

《齐书》曰：刘善明为直阁将军。五年，青州没虏，善明母陷北虏，移置桑乾。善明布衣蔬食，哀戚如持丧。明帝每见，为之叹息，时人称之。

太平御览卷第二百四十

职官部三十八

杂号将军下

建威将军

《东观汉记》曰：光武以耿弇为建威大将军，从攻洛阳。

奋威将军

《魏志》曰：吕布杀董卓，王允以布为奋威大将军，仪比三司。
又曰：沮授说袁绍，绍即表为奋威将军。

奋武将军

《吴志》曰：贺齐封豫章，东部民彭材、李玉、王海等起为贼乱，众万余人。齐讨平之，诛其首恶，余皆降服。拣其精健为兵，次为县户。迁奋武将军。

振威将军

《魏志》曰：太祖以程昱为振威大将军，破袁谭、尚。

扬威将军

《魏志》曰：臧霸字宣高，太山人也。从太祖讨孙权于濡须口，与张辽为前锋，行遇霖雨，大军先反，水遂长，贼船稍近，将士皆不安。辽欲去，霸止之曰："公明于利钝，宁肯捐吾等耶？"明日果有令。辽至，以语太祖。太祖善之，拜霸扬威将军。

建武将军

《魏志》曰：太祖以夏侯惇为建武将军。

又曰：文帝善孟达姿才容观，以为建武将军。

轻车将军

《汉书》曰：武帝元光七年，以公孙贺为轻车将军，屯马邑。

伏波将军

《环济要略》曰：伏波，船涉江海，欲浪伏息也。

《汉书》曰：武帝元鼎五年，以路博德为伏波将军，伐南越吕嘉。

《东观汉记》曰：光武以马援为伏波将军。

《魏志》曰：夏侯惇为伏波将军，领河南尹，使得以便宜从事，不拘科制。太祖常与同载，特见亲重，出入卧内，诸将莫得比也。

王隐《晋书》曰：武帝以孙琇为伏波将军。

材官将军

《汉书》曰：武帝以李息为材官将军，军马邑。

折冲将军

《魏书》曰：武帝以乐进为折冲将军。

虎威将军

《魏志》曰：于禁字文则，太山人。将军王(服)[朗]异之，荐禁才任大将。太祖召见与语，拜军司马，后拜虎威将军。

《吴志》曰：朱然字义封。从孙权讨关羽，别与潘璋到临沮擒羽，迁昭武将军，封西安乡侯。虎威将军吕蒙病笃，权问曰："卿如不起，谁可代者？"蒙对曰："朱然胆守有余，愚以为可任。"蒙卒，权

假然节，镇江陵。

《齐书》曰：柳世隆，元景子也，出为虎威将军、上庸太守。帝谓元景曰："卿昔以虎威之号为隋郡，今复以授世隆，使卿门世不绝公也。"

偏将军

《后汉书》曰：吴汉字子颜，南阳宛人，家贫，以贩马自业。素闻世祖长者，独欲归心。及世祖于广阿，拜汉为偏将军。

又曰：臧宫字君翁，颍川人也。从世祖征战，诸将多称勇。世祖察宫勤力少言，甚亲纳之。及至河北，以为偏将军。

《吴志》曰：陈武字子列，庐江人。孙策在寿春，武[往]修谒，时年十八，长七尺七寸。及权统事，尤为权所爱，拜为偏将军。

又曰：董袭字元伐，会稽人。长八尺，武力过人，拜偏将军。

裨将军

《魏志》曰：李通字文达，江夏平春人。以游侠闻于江、汝之间。属连岁大饥，通倾家振施，与士分糟糠。建安初，通举众诣太祖于许。太祖讨张绣，通为先登，大破绣军，拜裨将军。

虎牙将军

《汉书》曰：宣帝以云中太守田顺为虎牙将军，伐匈奴。

范晔《后汉书》曰：盖延字巨卿，渔阳人也。身长八尺。边俗尚勇力而延以气闻。延与吴汉同归世祖，从平河北；世祖即位，拜虎牙将军。

汉臣将军

《东观汉记》曰：上于大会中指王常谓群臣曰："此家率下江诸将，辅翼汉室，心如金石，真忠臣也。"是日以常为汉臣将军，与诸将

绝席。

讨虏将军

《东观汉记》曰：光武以王霸为讨虏将军，击董宪。

破虏将军

《魏志》曰：李典字曼成，山阳巨野人。为破虏将军。典好学问，贵儒雅，不与诸将争功。敬贤士大夫，恂恂若不及，军中称其长者。

建义将军

《东观汉记》曰：光武以朱祐为建义将军，攻朱鲔。

刺奸将军

《东观汉记》曰：光武以军市令祭遵为刺奸将军。

范晔《后汉书》曰：岑彭字君然，南阳棘阳人也。后世祖拜为刺奸大将军，使督察众营，授以常所持节。

辅威将军

《东观汉记》曰：光武以臧宫为辅威将军。

扬化将军

《东观汉记》曰：光武以坚镡为扬化将军。

安汉将军

《蜀志》曰：糜竺，字子仲。益州既定，拜为安汉将军，班在军师将军之右。竺雍容敦雅，而翰翮非所长。是以待之上宾之礼，未曾有所统御。然赏赐优宠，无与为比。

又曰：王平字子均。诸葛亮卒于武功，军退还，魏延作乱，一战而败，平之功也。迁安汉将军。

辅汉将军

《东观汉记》曰：光武以邓奉为辅汉将军。

都护将军

《魏志》曰：曹洪累从征讨，为都护将军。

立义将军

《魏志》曰：庞德以众降，太祖闻其骁勇，拜立义将军。

中坚将军

《魏志》曰：太祖以许褚为中坚将军，又以张辽为行中坚将军。

厉威将军

《魏志》曰：太祖征荆州，还，留满宠行厉威将军。

荡寇将军

《蜀志》曰：张嶷字伯岐。自越巂征诣成都，民夷恋慕泣涕，过旄牛邑，邑民襁负来迎反，追寻至蜀郡界，其督率随嶷朝贡者百余人。嶷至，拜荡寇将军，慷慨壮烈，人多贵之。

讨逆将军

《吴志》曰：曹公表孙策为讨逆将军，封吴侯。

辅吴将军

《吴志》曰：孙权以张昭为辅吴将军。

沈约《宋书》曰：吴置辅吴将军，班亚三司。

荡魏将军

《吴志》曰：吕据，太元元年，大风，江水盛溢泛流，渐淹城门，权使视水，独见据使人取大船以备(宫)[害]，权嘉之，拜荡魏将军。

鹰扬将军

《晋书》曰：郭奕，咸宁初迁雍州刺史、鹰扬将军，寻假赤幢、曲盖、鼓吹。

牙门将军

《蜀志》曰：魏延字文长，义阳人也。以部曲将随先主入蜀，数有战功，迁牙门将军。

中将军

《北齐书》曰：沙苑之败，崔仲文持马尾以渡河，波中乍没乍出。高祖望见之，曰："崔掾也。"遽遣船赴接，既济，劳之曰："卿为亲为君，不顾万死，可谓家之孝子、国之忠臣。"加中将军。

中领军

《魏略》曰：中领军，延康中置，故汉北军中候之官。

又曰：太祖以史涣忠勇，为中领军，领禁军。

又曰：太祖还长安，以曹休为中领军。

又曰：文帝征孙权，以尚书令陈群为中领军。

《晋书》曰：吴隐之为中领军，清俭不(革)[华]，每月初得禄，裁留身粮，其余悉分赈亲族。家人绩纺以供朝夕，时有困绝，或并日而食，恒布衣不完。妻子不沾寸禄。

《晋中兴书》曰：羊祜字叔子，迁中领军，悉统宿卫，入直殿中，

执兵之要，事兼内外。

《齐书》曰：萧景先。武帝少年，与景先共车，行泥路，车久故坏，至领军府西门，车辕折，俱狼狈。景先谓帝曰："两人脱作领军，亦不得忘，今日艰辛。"及武帝践祚，诏以景先为领军。拜日，羽仪甚盛，倾朝观属。拜还，未至府门，中诏相闻："领军今日故当无折辕事耶？"景先奉谢。

《梁书》曰：臧盾迁中领军。领军管天下兵要，监局事多。盾为人敏赡，有风力，长于拨繁，职事甚理。天监中，吴平侯萧景居此职，著声称，至是盾复继之。

《三国典略》曰：齐左仆射祖珽附陆令萱，求为领军，齐主许之。侍中斛律孝卿谓上洛王元海、侯吕芬等云："珽是汉儿，两眼盲，岂合作领军也。"元海遂入启之。珽言于齐主云："元海与臣素有隙，必是元海谮臣。"齐主曰："然。"珽列元海共太府少卿李叔元、平准令张叔略等结朋树党，陆令萱又唱和之，遂除元海为郑州刺史、叔元为襄城郡守、叔略为南营州录事参军。珽遂独处机衡，总知兵事。齐王亦令中要人扶侍出入，每同御榻论决朝政。

《高堂隆集》曰：己巳诏书：中领军、游击皆清玉佩。

中护军

《史记》曰：汉高帝以陈平为护军中尉，尽护诸将。

《汉书》曰：护军都尉，秦官。元狩四年属大司马，元寿元年更名司寇，元始元年更名护军。

《魏志》曰：韩浩字元嗣。以忠勇显，为中护军，掌禁兵，置长史、司马。从太祖讨张鲁，鲁降。议者以浩智略足以绥边，欲留使都督诸军镇汉中，太祖曰："吾安可以无护军？"乃与俱[还]，其见亲如此。

王隐《晋书》曰：邓攸迁吏部尚书。牧马于家庭，妻子素食，当时清净，内外肃然，迁为中护军。

《晋起居注》曰：武帝太始七年，诏曰："中护军职典武选，宜得堪干其事者。左卫将军羊琇有明赡才见，乃心在公，其以琇为中护军。"

《晋中兴书》曰：司徒王导将以赵冰为中护军，孔愉谓导曰："中兴以来处此官者，用周伯仁、应思远，今诚乏才，岂可以赵冰居之！"其秉正不挠，皆此类也。

《世语》曰：夏侯玄，世名知人。为中护军，拔用武官，无非俊杰，多牧州典郡。

《皇甫谧集》云：护军，武士之官。

《晋王羲之临护军教》曰：今所任要，在于公役均平。其差大史，忠谨在公者，覆行诸营，家至人告，畅吾乃心。其有老落笃癃、不堪从役，或有饥寒之色、不能自存者，区分处别，自当参详其宜。

北军中侯

《汉书》曰：武帝置中垒校尉，掌北军垒门外内。

《续汉书》曰：光武中兴中，省垒置中候五尉校营。

又曰：孔文举拜北军中候。

王隐《晋书》曰：荀晞字道将，为北军中候。

又曰：太祖永昌元年，以钟雅为北军中候，五年，省并领军。

《晋中兴书》曰：陶回字恭之。王导以回有器干，擢拜北军中候。回性不畏强御。

朱衣直阁

《后魏书》曰：元文景，大司农卿康之次子，除员外郎、冠军将军、朱衣直阁。

直　寝

《后魏书》曰：于忠字思贤。弱冠拜侍御史。文明太后临朝，刑

政颇峻，忠朴直少言，终无过误。寻除左中郎将，领直寝。

又曰：杨津字罗汉，弘农华阴人也。本字延祚，高祖赐名焉。少端谨，以器度见称，为直寝。

直　后

《后魏书》曰：元天穆，性和厚，美形貌。年二十，起家员外郎，领直后。

萧子显《齐书》曰：临海亡命田流，自号东海王，逃窜会稽鄞县边海山谷中，立屯营，官军不能讨。明帝遣直后闻人袭，说降之。

直　斋

《后魏书·官氏志》曰：大和九年十月初，置直斋。

监　军

《史记》曰：穰苴将兵扞燕、晋之师，苴曰："臣素贱，君擢之闾伍之中，加之大夫之上，[人微权轻]，愿得君之宠臣，国之所尊，以监军[乃可]。"景公使庄贾往，苴与贾约曰："会日中于军门。"苴先驰至军，立表下漏[待贾]。贾素骄贵，夕时乃至，苴遂斩贾以徇三军。军士皆震栗，服之。

《东观汉记》曰：光武使来歙监诸将。

范晔《后汉书》曰：宋均字叔庠，为监军。时伏波将军马援征武溪，南临沅水，军士多病。均惧众军疾疫，矫诏迫降之，诸将莫应。均乃勒兵围贼城，诈为诏而降之，为置长吏而归，自劾矫诏之罪。帝善之。

《魏志》曰：司马文王征寿春，使监军石苞统卒为游军。

《晋武帝起居注》曰：豫州刺史胡威，忠素质直，思谋深奥，其以威为监军，刺史如故。

沈约《宋书》曰：监军，盖诸将出征，大将监领之。

太平御览卷第二百四十一

职官部三十九

中郎将　五官中郎将　左中郎将　右中郎将　虎贲中郎将　东中郎将　西中郎将　南中郎将　北中郎将　杂中郎将　都尉　奉车都尉　骑都尉

中郎将

《汉书》曰：武帝拜张骞为中郎将，使西域。

又曰：宣帝即位，诏曰："朕微眇时，故掖庭令张贺辅导朕躬，贺有孤孙霸七岁，拜为中郎将。"

又曰：宣帝时，杨惲为中郎将。郎官故事，郎出钱市财用，给文书，乃得出，名曰"山郎"。山郎，以资财为郎也。山之所出财用，故取名焉。惲罢山郎，皆以法令从事。有罪过，辄奏免。郎官化之，莫不自励。

又曰：司马相如为中郎将，持节过蜀，县令负弩前导，蜀人以为荣。

又曰：卫绾为中郎将，醇谨无他。孝景幸上林，诏中郎将参乘，还，问曰："君知所以得参乘乎？"绾曰："臣代戏车士，[幸]得功次迁，待罪中郎将，不知也。"

又曰：张安世长子千秋与霍光子禹俱为中郎将，将兵随渡辽将军范明友击乌桓。还，谒大将军光，问千秋战斗方略、山川形势，千秋口对兵事，画地成图，无所忘失。问禹，禹不能记，曰："皆有文书。"光由是贤千秋，以禹为不才，叹曰："霍氏世衰，张氏兴矣！"后霍禹诛灭，安世子相继为侍中、[中]常侍，列校十余人。

又曰：卜式为中郎。初，式不愿为郎，上曰："吾有羊在上林，欲令子牧之。"式即为郎而牧羊，岁余肥息，上善之。式曰："非独羊

也，治民亦犹是矣。以时起居，恶者辄去，无令败群。"上奇其言。

《东观汉记》曰：更始入长安，多用群小，时人为之语曰："灶下养，中郎将。"

《后汉书》曰：董卓以吕布为骑都尉，誓为父子，甚爱信之，迁至中郎将。卓自知凶恣，每怀猜畏，行止常以布自卫。[尝]小失卓意，[卓]拔手戟掷之。布拳捷得免，而改容顾谢。卓意亦解。布由是阴怨于卓。

《蜀志》曰：霍峻字仲邈，南郡支江人也。兄笃于乡里，合部曲数百人。笃卒，荆州牧刘表令峻摄其众。表卒，峻率众归先主，先主以峻为中郎将。

又曰：刘焉字君郎，江夏竟陵人。少仕州郡，以宗室拜中郎，后以师祝公丧去官。

又曰：张飞字(益)[翼]德，涿郡人也。少与关羽俱事先主，羽年长数岁，兄事之。先主从曹公破吕布，还许昌，曹公拜羽、飞为中郎将。

五官中郎将

《续汉书》曰：五官中郎将一人，比二千石；主五官郎也。五官中郎，比六百石；无员。五官侍郎，比三百石。无员。凡官皆主更直，执戟宿卫诸殿门。

《东观汉记》曰：江革字次翁。拜五官中郎将。每朝会，天子使虎贲扶持，帝自礼之。有疾不会，辄遣太官送飧醪，恩宠莫比。

《续汉书》曰：张纯字伯仁，迁五官中郎将。纯在朝历世，明习故事。建武初，旧章多阙，每有疑议辄以访纯，自郊庙婚冠丧纪、礼仪，多所正定。帝甚重之，一日或数四引见。

谢沈《汉书》曰：樊英字秀齐，顺帝备礼征拜五官中郎将。数月，以病逊位归。

应劭《汉官仪》曰：五官中郎将，秦官也。秩比二千石，三署，郎

属焉。

《魏武令》曰：告子文：(沙)[汝]等悉为侯，而子桓独不封，而为五官郎将，此是太子可知矣。《魏志》：建安十五年为五官中郎将，副丞相者也。

左中郎将

《天文录》曰：郎将星，若今之左右郎将也。故《星赞》曰："郎将星，主阅具，为武备。"

《汉书》曰：辛庆忌字子贡，从光禄大夫，迁左曹中郎将。

《后汉书》曰：左宫为左中郎将，击武陵贼，降，凡将兵二十余年，以信谨质朴，故常见用。

《续汉书》曰：丞宫迁左中郎将，数进忠谏，论议守正，不希世偶，朝臣惮其节，名称闻于匈奴。单于遣使来贡，求见宫，诏敕宫自整顿，宫曰："夷狄眩名，非识实也。闻臣虚称，故欲见臣。臣丑陋形寝，见必轻贱，不如选长大有威容者。"时以大鸿胪魏应示之。

又曰：杨秉字叔节，以尚书侍讲；蔡雍字伯喈，以侍中并为左中郎将。

又曰：皇甫嵩为左中郎将，击匈奴。

《汉旧仪》曰：左中郎将，秩比二千石，主谒者。

右中郎将

《汉书》曰：段会宗字子松，为右中郎将。

《续汉书》曰：朱隽为右中郎将，持节击颍川长社贼。

《汉旧仪》曰：右中郎将，秩比二千石，主常侍侍郎。

《蜀志》曰：宗预为右中郎将，将命使吴。

虎贲中郎将

应劭《汉官仪》曰：虎贲中郎将，古官也。《书》称武王伐纣，戎车三百两，虎贲三百人，擒纣于牧之野。言其猛怒，如虎之奔赴。

平帝元始元年，更名虎贲郎。古有勇者孟贲，改奔为贲。中郎将，冠两鹖尾。鹖，鸷鸟中之异劲者也。每所攫取，应爪摧碎。鹖尾，上党所贡。

《周礼·夏官下·虎贲氏》曰："虎贲掌先后王而趋以卒伍。军旅会同，亦如之。舍则守王闲。闲，槛栏也。

《尚书·牧誓》曰：戎车三百两，虎贲三百人，与受战于牧野，作《牧誓》。

《周书》曰：古有虎贲士千人，以牛投牛，以马投马，以车捧车。

《汉书·百官表》曰：期门仆射，秩比千石。平帝元始元年，更名虎贲郎，置中郎将，秩比二千石。

《东观汉记》曰：马援从陇西太守，迁虎贲中郎将。

又曰：马后不以私家于朝廷，兄为虎贲中郎将，讫永平世不转。

又曰：明德太后姊子夏寿等，私呼虎贲张鸣与敖戏争斗，上特诏曰："尔虎贲将军，蒙国厚恩，位在中臣，宿卫禁门，当进人不避仇雠，举罚不避亲戚。今者反于殿中，交通轻薄，虎贲兰内所使，至命欲相杀于殿下，不避门内，畏懦恣纵，故不逐捕，此皆生于不学之门所致也。"

又曰：马廖、任傀皆从羽林监迁虎贲中郎将。

《续汉书》曰：鲁国孔融为北军中候，三日，迁虎贲中郎将。

又曰：虎贲中郎将，比二千石。主虎贲宿卫也。左右仆射、左右陛长各一人。仆射主虎贲郎将，陛长主直，虎贲朝会在殿之下。

又曰：虎贲武骑皆鹖冠、虎文单衣，襄邑岁献织成虎文云。鹖者，勇雉也，其斗死乃止。

又曰：虎贲中郎将，秩比二千石。虎贲中郎，比六百石。虎贲侍郎，比四百石。虎贲郎中，比三百石。节从虎贲，比二百石。皆无员数，掌宿卫侍从。虎贲武骑皆鹖冠，虎文单衣。

谢承《后汉书》曰：建武十八年，夏旱，公卿皆暴露请雨。洛阳令着车盖出，门候何汤将卫士钩令车，收案。有诏免令官，拜汤虎

贲中郎将。上常叹曰:"赳赳武夫,公侯干城。何汤之谓也。"

《汉官典职》曰:虎贲中郎将,主虎贲千五百人,郎多至千人。

《汉名臣奏》曰:丞相薛宣奏:"汉兴以来,深考古义,推万变之备,于是制宣室出入之义,正轻重之罚。故司马殿省阙至五六里,周卫击刁斗(竟)[禁]门。自近臣侍侧尚不得著剑(人)[入],防未然也。陛下圣德纯备,海内晏然。此国家之明制,必前后备虎贲。"

《汉旧仪》曰:期门骑者,陇西工射猎人。及能用五兵,材力二百人。王莽以为虎贲郎。

刘谦之《晋纪》曰:桓玄欲复虎贲中郎将,疑应直与不。访之僚佐,咸莫能定。参军刘兰之对曰:"昔潘岳为《秋兴赋》,序云:'兼虎贲中郎将,寓直于散骑之省。'以此言之,是直官也。"

《后魏书》曰:韩茂膂力绝人,尤善骑射。太宗曾亲征丁零翟猛,茂为中军,执幢。时大风,诸军旌旗皆偃仆,茂于马上持幢,初不倾倒。太宗异而问之,征茂所属,具以状对。太守谓左右曰:"记之。"寻征诣行在所,试以骑射,太宗深奇之,以茂为虎贲中郎将。

《九州春秋》曰:袁术为虎贲中郎将。张让杀何进,术斫阁起火。《魏志》曰:术烧南宫嘉德青门也。

《环济要略》曰:汉武帝好微行,因置期门郎,与之期于殿门。平帝改为虎贲中郎。

《张纯别传》曰:纯字伯仁,郊庙、冠婚、丧纪礼仪多所正定。上甚重之,以纯兼虎贲中郎将,一日数见。

东中郎将

《魏志》曰:蒋济字子通。文帝即位,为东中郎将。济请留,诏曰:"高祖歌曰:安得猛士守四方!天下未宁,要须良臣以镇边境。如其无事,乃还鸣玉,未为后也。"后曹仁薨,复以济为东中郎将,代领其兵。诏曰:"卿兼资文武,志节慷慨,常有超越江湖吞吴会之志,故复授将帅之任。"

西中郎将

沈约《宋书》曰：西中郎将，南、北、东、西中郎将，后汉号也。

南中郎将

《魏志》曰：鄢陵侯彰为南中郎将。

又曰：临淄侯植为南中郎将。

《晋诸公赞》曰：石崇为南中郎将。

北中郎将

《续汉书》曰：卢植为北中郎将，征黄巾。

《魏志》曰：代郡乌丸反，以曹彰为北中郎将。临发，太祖诫之曰："居家为父子，受事为君臣。"

王隐《晋书》曰：山涛为北中郎将，守邺。

《晋起居注》曰：武帝太始二年诏：邺城守事宜速有人，又当得亲亲有文武器任者。高阳王珪，今来之国，虽当出为蕃辅，以才干事，亦古之制也。其以珪为督邺城守事、北中郎将。

《晋中兴书》曰：荀羡为北中郎将、徐州刺史，时年二十八。

《郭泰别传》曰：王叔优问才之所宜，泰曰："当以武官显。"叔优后至北中郎将。

杂中郎将

匈奴中郎将

《续汉书》曰：张奂字然明，与段纪明、皇甫威明俱显，京师号为凉州三明，并为匈奴中郎将。

司金中郎将

《魏略》曰：河北始开冶，遂以王修为司金中郎将。修奏记曰："修闻枳棘之材，无柱梁之质；涓流之水，无洪波之势。是以在职七年，忠谨不昭于时，功业不见于事，力少任重，不堪为擢。"

典农中郎将

《魏志》曰：任峻字伯远，为典农中郎将数年，所在积粟仓廪皆盈。

又曰：毋丘俭字仲恭，河东闻喜人，为洛阳典农。时取农民以治宫室，俭上疏曰："臣愚以为天下所急除者二贼，所急务者衣食。诚使二贼不灭，士民饥冻，虽崇美宫室，犹无益也。"

《魏略》曰：上以农殖大事，将选典农，以徐邈为颍川典农中郎将，所在著称。

武卫中郎将

《魏志》曰：许褚字仲康。太祖与遂、超等单马会语，左右皆不得从，惟褚在。超负其力，阴欲突太祖，素闻褚勇，疑从骑是褚。乃问太祖曰："公有虎侯者安在？"太祖顾指褚，褚瞋目眄之，超不动，乃各罢。后数日会战，大破超等，褚身斩首级，迁武卫中郎将。武卫之号，自此始也。

建义中郎将

《后汉书》曰：《袁绍传》：魏郡兵反，贼有陶升者，自号平汉将军，《英雄记》曰：升故为内黄小吏。独反诸贼，将部众逾西城入，闭府门，具车重，重，辎重也。载绍家及诸衣冠在州内者，身自扞卫，送到斥丘。斥丘县属钜鹿郡。故城今相州成安县东南。《十三州志》云：地斥卤，故曰斥丘也。绍还，因屯斥丘，以陶升为建义中郎将。

都 尉

《史记》曰：宁成居家，上欲以为郡守。御史大夫公孙弘曰："臣居山东为少吏时，宁成为济南都尉，其治如狼牧羊，诚不可令治民。"上乃拜成为关[中]都尉。

又曰：汲黯字长孺。为东海太守，岁余大治，上闻召为主爵都尉。治务在无为而已，(引)[弘]大体，不拘文法。

《汉书》曰：主爵中尉，秦官，掌列侯。景帝中元六年，更名都尉。武帝太初元年，更名右扶风，治内史右地。与左冯翊、京兆是为三辅，皆有两丞。

又曰：韩信数以策干项羽，羽弗用，亡楚归汉，未得知名，为连敖。楚官。坐法当斩，信乃仰视滕公，曰："[上]不欲就天下乎？而斩壮士！"滕公奇壮之，与语，大说，言于汉王，以为治粟都尉。

《东观汉记》曰：樊晔与世祖有旧，世祖常于新野坐文书事被拘。时晔为市吏，馈饵一笥，上德之，后拜为河东尉。临发，之官，引见云台，赐御食衣被，上啰晔曰："一笥饵得都尉，何如？"晔顿首曰："小臣蒙恩，特见拔擢，陛下不忘往旧，臣得竭死自效。"

又曰：任延字长孙，南宛人，更始拜为西部都尉，年十九，迎吏见其少，皆惊。及到，淡泊无为，下车遣吏以中牢具祠延陵季子。时天下新定，道路不通，诸避世江南者皆未还。会稽多士，延到皆礼之，卑请高行俊义董子仪、严子陵等，待以师友之礼。行县所到，辄使劳孝子，崇礼养善如此。建武之初，上书言：臣赞拜不由王庭，愿收骸骨。诏书征延，民攀持毂涕泣。

《汉官解诂》云：都尉将兵，副佐太守，备盗贼也。

《魏略》曰：积弩都尉，秩比二千石。后更为典弩都尉。又有典铠都尉，秩与弩同，皆属积弩。

又曰：抚军都尉，秩比二千石，本校事官。始太祖欲广耳目，使卢洪、赵达二人主刺举，洪、达多所陷入，故于时军中为之语曰："不

畏曹公，但畏卢洪；卢洪尚可，赵达杀我。”后达竟为人迫死。

《魏志》曰：韩暨为监冶谒者，在职七年，器用充实。诏书褒叹，就加司金都尉，班亚九卿。

《吴志》曰：孙桓字叔武，仪容端正，器怀聪朗，博学强记，能论议应对。权常称为宗室颜渊，擢为武卫都尉。从讨关羽于华容，诱羽余党得五千人，牛马器械甚众。

《临海记》曰：汉元鼎五年，立都尉府于(候)[侯]官，以镇抚二越，所谓东南一尉者也。

《黄帝占军气决》曰：都尉气如合抱之榆。

周绍《新论》曰：散骑侍郎、武卫都尉孙奇，字仲容。年十七，以秀才入侍帷幄。余作诗一篇美而风之：“恂恂周公，美妙无已。诞姿既丰，世胄有纪。平南之孙，奋威之子。”

《胡广边都尉箴》曰：巍巍上圣，光被八(堤)[埏]。矧惟内(面)[外]，罔不来宾。季末陵迟，王泽壅隔。戎狄作难，鬼方骚逖。桓桓猛将，是攘是辟。殷宗周宣，用显其绩。大汉龙兴，念存治平。荡荡率土，来同门并。守抚其民，尉典其戎。五才并用，文武程功。

奉车都尉

韦昭《辩释名》曰：奉车都尉，奉天子乘舆。辩云：奉车都尉，主乘舆乘车，尊不敢言主，故言奉。

《汉书》曰：奉车都尉，掌御乘舆车。

骑都尉

《魏略》曰：李丰字安国。年十七，在邺下，名为清白，识别人物。明帝时得吴降人，问江东闻中国名士为谁？降人云：“闻有李安国者。”是时，丰为黄门郎。上曰：“丰名乃播于吴越耶！”后转拜骑都尉。

又曰：毕轨字昭先。明帝在东宫时，轨在文学中；及即位，入为

黄门郎，拜骑都尉。

《魏志》曰：徐晃字公明，河内东阳人也。为郡吏，从车骑将军杨奉讨贼有功，拜骑都尉。

《吴志》曰：骆统字公绪，会稽乌阳人。时饥荒，多有困乏，统为饮食衰少。其姊仁爱，寡归无子，见统甚哀之，数问其故。统曰："士大夫糟糠不足，我何心独饱！"姊曰："诚如是，何不告我，而自苦若此？"乃自以私粟与统，又以告母。母亦贤之，遂使分施，由是显名。孙权以将军领会稽太守，统年二十，试为乌程相，民户过万，咸叹其惠理。权嘉之，召为功曹，行骑都尉。

又曰：孙权遣骑都尉赵咨使魏。魏帝问曰："吴王何等主也？"咨对曰："聪明仁智，雄略之主也。"帝问其状，咨曰："纳鲁肃于凡器，是其聪也；拔吕蒙于行阵，是其明也；获于禁而不害，是其仁也；取荆州而不血刃，是其智也；据三州而虎视天下，是其雄也；屈身于陛下，是其略也。"

又曰：顾承字子直。嘉禾中，与舅陆瑁俱以礼征。权赐丞相雍书曰："贵孙子直，令问休休，至与相见，过于所闻，为君嘉之。"拜骑都尉。

《吴志》曰：诸葛恪字元逊，瑾长子也。少知名，弱冠拜骑都尉。

太平御览卷第二百四十二

职官部四十

诸校尉　羽林监　期门仆射　冗从仆射

诸校尉

屯骑校尉

陶氏《职官要录》曰：屯骑、越骑、步兵、长水、射声，五校尉。案：晋官，晋承汉置，以为宿卫官，各领千兵。兴宁三年，桓温奏省五校尉。永初元年复置，以叙勋旧。

《东观汉记》曰：刘磐字仲兴，兼屯骑校尉。时五校官显职闲，府寺宽敞，舆服光丽，伎巧毕给，故多宗室肺腑居之。

《后汉书》曰：邓阊妻耿氏，有节操，痛邓氏诛废，子忠早卒，乃养河南尹豹子，嗣为阊后。耿氏教之书学，遂以通博称。永寿中，(舆)[与]伏无忌、延笃著书东观，官至屯骑校尉。

《蜀志》曰：宗预字德艳，为屯骑校尉。邓(艾)[芝]自江州来朝，谓预曰："礼，六十不服戎，而卿[甫]受兵，何也？"预答曰："卿七十不还兵，我六十何为不受耶？"复东聘吴，孙权捉预手，涕泣，遗大珠一斛。

《晋书》曰：濮阳王允为屯骑校尉，给千人营，置长史。

《司马无忌让屯骑校尉表》曰：屯骑之任，职典禁旅，御卫事重，必宜其人，岂臣微弱所可克堪？

越骑校尉

《汉书·百官表》曰：(屯兵)越骑校尉[掌越骑]。如淳曰："越人

内附，以为骑也。”晋灼曰：“其才力超越。”

《后汉书》曰：越骑校尉邓康，以太后久临朝政，宗门盛满，数上书长乐宫，谏争宜崇公室，自损私权。言甚切至，太后不从。康心怀畏惧，永宁元年遂谢病不朝。

又曰：桓郁迁越骑校尉。诏敕太子、诸王各奉贺致礼。郁数进忠言，多见纳录。

又曰：《董卓传》：越骑校尉汝南伍孚忿卓凶毒，(忘)[志]手刃之，(及)[乃]朝[服]怀佩刀以见卓。孚语毕辞去，卓起送至阁，以手抚其背，孚因出刀刺之，不中。卓自奋得免，急呼左右执杀孚，而大诟曰：“虏欲反耶？”孚大言曰：“恨不得磔裂奸贼于都市，以谢天地！”言未毕而毙。

谢承《后汉书》曰：曹节弟破石为越骑校尉。越骑营五伯妻有美色，破石从求之，五伯不敢违。妻执意不肯行，遂自杀。破石淫暴无道，多此类也。

步兵校尉

《汉书》曰：步兵校尉，掌上林苑门。

《东观汉记》曰：崔篆，王莽时为郡文学，以明经征诣公车，太保甄丰举为步兵校尉。篆辞曰：“吾闻伐国不问仁人，战阵不访儒士，此举奚至哉？”遂投劾归。

又曰：梁不疑拜步兵校尉，上书曰：“刊校之职，上应天工，下厌群望，实非过少所任。”

《梁史》曰：韦粲长八尺，容观甚伟。初为云麾晋安王(行)参军，后为外兵参军，兼中兵。时颍川庾仲容、吴郡张率前辈，才名与粲同府，并忘年交好。及王为皇太子，粲自记室迁步兵校尉。

《后魏春秋》曰：阮籍以世多故，禄仕而已。闻步兵[校尉]缺，厨多美酒，营人善酿，求为校尉，遂纵酒昏酣，遗落世事。

长水校尉

《释名》曰：长水校尉，长于水战、用船之事。韦昭辩云："长水校尉，典胡骑，不主水战也。其厩近水，故以为名。"

《东观汉记》曰：贾宗字武孺。为长水校尉，数言便宜，赏赐殊特，上美宗既有武节，又兼经术，每燕会，令与当世大儒司徒丁鸿问难经传。

《蜀志》曰：秦密为长水校尉。吴遣张温来聘，百官皆往饯，而密后往。既至，温曰："彼何人也？"亮曰："益州学者也。"及至，温问密曰："君学乎？"答曰："五尺童子皆学，何必小人？"……答问如响，应声而出。温大敬服之。

王隐《晋书》曰：下邳王晃，起家为长水校尉，给千人营，置长史司马。

射声校尉

《汉书》曰：射声校尉，掌待诏射声。应劭曰：士工射者冥中闻声射之则中，因以名也。须待所命而射，故曰待诏射声。

《东观汉记》曰：班超在西域三十一岁，还洛阳，拜为射声校尉。

《续汉书》曰：曹褒迁射声校尉。案行营舍，不葬者悉为买空地葬之，设祭，吏士咸称其仁。

王隐《晋书》曰：武帝诏曰："射声校尉胡奋，外掌方任，内参九列，不宜同之常例，勿使入直。"

何法盛《晋中兴书》曰：刘超字世逾，中书郎迁为射声校尉。时军校[无]兵，义兴人多义随，超因领之，号为君子营，以实宿卫。

中垒校尉

《汉书》曰：中垒校尉武帝置。世祖中兴省更置北军中候掌兵官。掌北军垒门内外。

胡骑校尉

《汉书》曰：胡骑校尉，掌池阳胡骑，不常置。

虎贲校尉

《汉书》：虎贲校尉掌轻车，武帝初置，有丞、司马，秩二千石。

城门校尉

《后汉书》曰：赤眉与李松战，生得松。时松弟汎为城门校尉，赤眉使使谓之曰："开城门，活汝兄。"汎即开门。

《环济要略》曰：城门校尉，高帝置，秩二千石，出从缇骑百二十人。

嫖姚校尉《汉书》为嫖姚。服虔音剽摇。师古曰：劲疾之貌。

《汉书》曰：霍去病以皇后姊子，年十八为侍中，善骑射，为嫖姚校尉。

护羌校尉

《东观汉记》曰：邓训为[护]羌校尉，诸胡皆喜，义从。羌胡俗耻病死，每疾临困，辄以刀自刺。训闻其困者，辄拘持缠束，不与兵刀，使医药疗理，愈者非一，小大莫不感悦。及训病卒官，吏人羌胡爱惜，旦夕临者数千人。

护乌桓校尉

《续汉书》曰：护乌桓校尉一人，主乌桓校尉，比二千石。

应劭《汉官仪》曰：护乌桓校尉，孝武帝时，乌桓属汉，始于幽州置之，拥节、监领，秩比二千石。

《魏略》曰：毋丘俭，字仲恭，为荆、幽二州刺史，持节，领护乌桓

校尉。

戊巳校尉

《东观汉记》曰：耿恭，字伯宗。永平中始置西域都护戊巳校尉，乃以恭为戊巳校尉。

南蛮校尉

傅畅《晋诸公赞》曰：王戎为荆州刺史、扬烈将军，领南蛮校尉。

南夷校尉

沈约《宋书》曰：护南夷校尉，晋武帝立，领治宁州，江左改曰(护)镇蛮校尉。

西夷校尉

沈约《宋书》曰：护西夷校尉，晋武帝立，治宁州，江左平蜀后治涪城，终晋世。晋太康三年置。永嘉中益州刺史领西夷校尉。太元末殷荆州表复之，又治涪城也。

西域校尉

沈约《宋书》曰：护西域校尉，晋武帝立，治雍州。江左废，安帝元兴中又置，寄治西阳。

宁蛮校尉

沈约《宋书》曰：宁蛮校尉，晋安帝置，治襄阳郡，以授鲁宗之。

三巴校尉

《齐职仪》曰：三巴校尉，银印、青绶、虎冠、绛朝服，宋太始五年置，以巴东、巴西、梓橦、建平(五)[四]郡隶焉。建元二年省校尉，

改置巴州刺史。

忠义校尉

《吴志》曰：是仪从孙权讨关羽，拜忠义校尉。仪上表陈谢，权令曰："孤虽非赵简子，卿安得不自屈为周舍耶？"

怀义校尉

《吴志》曰：太傅马日磾仗节案兵集东关，在寿春以礼辟孙策，表拜怀义校尉。

折冲校尉

《吴志》曰：袁术表孙策为折冲校尉，行殊寇将军。

翊军校尉

王隐《晋书》曰：太康中伐吴还，欲以王濬为五官校尉而无缺，始置翊军校尉，班同长水步兵，以梁、益所省兵为营。

材官校尉

《魏略》曰：材官校尉，黄初中置，秩比二千石，主天下材官，属少府。

骁骑校尉

《魏略》曰：董卓表太祖为骁骑校尉，又被征为典军校尉。

典农校尉

《魏略》曰：典农校尉，太祖置，秩比二千石。

司农度支校尉

《魏略》曰：司农度支校尉，黄初四年置，比二千石，掌诸军兵田。

建义校尉

《吴志》曰：《朱据传》：孙权咨嗟将帅，追思吕蒙、张温，以为据才兼文武，可以继之，由是拜建义校尉，领兵屯姑熟。

武卫校尉

《吴志》曰：朱才字君业。为人精敏，善骑射，权爱异之，常侍从游戏。少以父任为武卫校尉。

灭虏校尉

《吴志》曰：贺景为灭虏校尉，御众严而有恩，兵器精饰。

西园八校尉

范晔《后汉书》曰：中平五年初，置西园八校尉。

东宫三校尉

沈约《宋书》曰：武帝永初二年，置东宫屯骑、步兵、翊军三校尉。

羽林监

《汉书·百官表》曰：羽林[掌送从]，佽飞期门，武帝太初元年置，名曰建章营骑，后更名羽林，取从军死事之子孙，教以五兵，号曰羽林孤儿。

又曰：甘延寿字君况，以良家子，善骑射，为羽林。投石、拔距，

绝于等伦，超逾羽林亭楼，由是迁为郎。

《续汉书》曰：羽林左右监，皆冠鹖冠。

应劭《汉官仪》曰：羽林者，言其为国羽翼如林盛也。一名为严郎，言其御侮严厉。其后简取五营高才，别为左右监，监羽林左右骑，父死子继，与虎贲同。

《汉杂事》曰：窦固以羽林监为中郎将，征西羌，还中郎印绶，复为羽林监。

《汉名臣奏》曰：曹褒上疏"王者莫不制礼乐"，诏褒即先序礼乐，以帝新制一篇冠首，擢褒监羽林左骑。

《魏略》曰：桓范字元则，为羽林左监，以才学与王象等典集《皇览》。

《魏志》曰：夏侯玄字太初，弱冠为黄门侍郎。尝进见，与皇后弟毛曾并坐，玄耻之，不悦，形于色。明帝恨，左迁羽林监。

《梁冀别传》曰：冀妻孙寿从弟安，以童幼拜黄门侍郎、羽林监。

期门仆射

《汉书》曰：建元三年，上微行始出，北至池阳，西至黄山，南猎长杨，东游宜春。微行常用饮酎，八九月中与侍中、常侍、武骑及待诏陇西北地良家子能射者，期诸殿门，故有期门之号，自此始也。

《后汉书》曰：阴兴守期门仆射，典将武骑，从征伐，平定郡国。兴每从出入，常操持小盖，障翳风雨，躬履涂泥，率先期门。光武所幸之处，辄先入清宫，甚见亲信。

冗从仆射

《续汉志》曰：冗从仆射，秩比六百石。武帝置期门郎，有仆射。常从游猎，或以宦者为之，号冗从黄门仆射，居则直门户，行则骑从。桓帝永寿三年置冗从仆射。

《续汉志》曰：先腊一日，大傩逐疫鬼，冗从仆射将之，逐恶鬼于

禁中。

《魏(中)[志]》曰:冗从仆射毕轨表尚书仆射王思精勤旧吏,[忠亮]计略不及辛毗,宜以毗代思。

《晋武起居注》曰:东莞王世子瑾贞固和详,有识见才干,以为冗从仆射。

傅畅《晋诸公赞》曰:司马滕字元迈,文献王泰之第三子也。性沉壮,起家为冗从仆射。滕意欲业官以自显,出为郡守。

太平御览卷第二百四十三

职官部四十一

仪同　特进　总叙大夫　金紫光禄大夫
光禄大夫　太中大夫　中大夫　中散大夫
柱国　奉朝请　致仕官

仪　同

《东观汉记》曰：邓骘字昭伯，延平元年拜为车骑将军，仪同三司。仪同三司，始自骘也。

《蜀志》曰：黄权降，魏文帝善之，景初三年拜车骑将军，仪同三司。

王隐《晋书》曰：太始七年，以郑袤为司(马)[空]。天子临轩，遣使就第拜授。袤遣息称疾，上送印绶，至于十数。久之见许，以侯就第，拜仪同三司，置舍人官骑，赐床帐、簟褥、钱五十万。

又曰：华廙为太子少傅，甚得辅导之义。河南尹韩寿，贾后之妹夫，欲以女配廙，不许，由是有恨，故不正三司。疾笃，乃拜仪同三司。

《晋起居注》曰：太始八年诏曰："卫将军羊祜，历文、武，有佐命之勋，其为车骑将军，开府，如三司之仪。"

又曰：元年诏曰："中书监光禄大夫张华，历世腹心，情所凭赖，故畴其勋绩，使仪同三司而虚冲挹损，难违高尚。其以光禄大夫仪同三司，本职如故。又给亲信满百人。

又曰：元康元年诏曰："光禄大夫王戎、光禄大夫裴楷，开府辟召，仪同三司。

《晋中兴书》曰：郗愔，咸安元年拜都督浙江东五都诸军事，进

位镇军，开府仪同三司，辞不受。

又曰：蔡谟免，皇太后诏以谟为左光禄大夫，开府仪同三司，遣谒者孟洪就加册命。谟上疏陈谢，遂以疾笃不朝。赐几杖，门施行马。

《齐书》曰：徐孝嗣加开府仪同三司。孝嗣闻有诏，敛容谓左右曰："吾德惭古人，位登宠职，将何以堪之？明君可以理夺，必当死请。若不获命，正当角巾丘园，待罪家巷耳。"故让不受。

《齐职仪》曰：开府仪同三司，置舍人官骑。建初三年，马防为车骑将军，仪同三司。魏以黄权为车骑开府，此后甚众，将军开府，依大司马，朱服；光禄大夫开府，依司徒，皂服。

《北史》曰：裴文举，武成二年就加使持节骠骑大将军，仪同三司。蜀土沃饶，商贩百倍，或有劝文举规利。文举答之曰："利之为贵，莫若安身，身安道隆，非货之谓。是以不为，非恶财也。"

《后周书》曰：李贤迁骠骑大将军，开府仪同三司。太祖之奉魏太子西巡也，至原州遂幸贤第，让齿而坐，行乡饮酒礼焉。其后太祖又至原州，令贤乘辂备仪服，以诸侯会遇礼相见。然后幸贤第，欢宴终日，凡是亲族，颁赐有差。

《陈书》：章昭达以平留异功授镇前将军，开府仪同三司。初，文帝尝梦昭达升台铉，及旦，以梦告之。至是侍宴，酒酣，顾昭达曰："卿忆梦不？何以偿梦？"昭达对曰："当效犬马之用，以尽臣节，自余无以奉偿。"

《隋书》曰：何稠安集岭南，有钦州刺史宁猛力帅众迎军。初，猛力掘山洞，欲图为逆，至是惶惧，请身入朝。稠以其疾笃，因示无猜贰，遂放还州，与之约曰："八九月间，可诣师京相见。"稠还奏状，上意不怿。其年十月，猛力卒。上谓稠曰："汝前不将猛力来，今竟死矣。"稠曰："猛力共臣为约，假令身死，当遣子入侍。越人性直，其子必来。"初，猛力临终，诫其子长真曰："我与大使为约，不可失信于国士。汝葬我讫，即宜上路。"长真如言入朝，上大悦，曰："何

稠著信蛮夷，乃至于此。”以勋授开府。

齐王俭《拜仪同三司章》曰：臣闻日中则昃，盈虚之定分；器满必倾，往覆之常理。遂乃班同衮章，燮和台曜，外参论道，内总百司，物议惟尘，自识非据。

梁庾肩吾《为武陵王拜仪同章》曰：臣宅庆紫宵，联休皇极，地均西月。既无迹而成高仕，若乘风故不行而自远。今者四郊无垒，天下同文。都尉春田，犹居塞外；单于冬猎，不入渔阳。臣坐牧三边，非劳七战，岂能屯兵大夏，封万里之侯；飞箭聊城，受千金之寿？论其才望，有惧茂弘；先佩印绶，常羞叔度。

隋江总太保萧公《谢仪同三司表》曰：阪泉野战，曾无汗马之劳；代邸运筹，又阙前驱之勇。薄伐专征，早游边外。执玉奉酎，又亏朝则。王人降止，朝册远临。奉述敕书，曲停表奏。沧波阻复，既杜敬仲之辞；关路攸长，致绝赵衰之让。心驰紫路，登文石而莫由；目送白云，拜承明之未果。

特　进

《东观汉记》曰：邓禹右将军官罢，以特进奉朝请。

《汉杂事》曰：诸侯公德优盛，朝廷所敬异者，赐位特进在三公上，无秩。

《后汉书》曰：梁商以女立为皇后，妹为贵人，加商位特进，更增国士，赐安车驷马。

谢承《后汉书》曰：赵典道懿，尊为国师，位特进，七为列卿，寝布被，瓦器食也。

《晋书·百官表》曰：特进，官品第二。汉制，皇后之父率为此官。

傅咸奏曰：公，品第一，执珪坐侍臣之上；特进，品第二，执皮帛坐侍臣之下，今启特进宜执(璧)[璧]继公。

沈约《宋书》曰：特进。魏世骠骑将军刘放、卫将军孙资等逊

位，以侯就第，并位特进。其诸官加特进者，从本官供给。特进但为班位而已，不别有吏、卒、车、服也。

《齐职仪》曰：特进，以功德特进见之。

《后魏书》曰：刁雍拜特进。皇兴中，雍与陇西王源贺及中书监高充等，并以耆年特见优礼，锡雍几杖、剑履上殿，日致珍羞焉。

《北史》曰：穆绍加特进。时侍中元顺与绍同官，顺常因醉入寝所，绍拥被而起，正色让顺曰："老身二十年侍中，与卿先君亟连职事，纵卿后进，何置相排突也。"遂谢事还家，诏谕乃起。

《唐书·官品志》曰：特进、左右光禄、金紫、银青等光禄大夫。用人俱以旧德，就闲者居之。

总叙大夫

《白虎通》曰：大夫，为言大扶进人也。

《毛诗·卫·(淇澳)硕人》曰：大夫夙退，无使君劳。大夫未退，君听朝于路寝，夫人听内事于正寝。大夫退，然后罢也。笺云：庄姜始来，时卫诸大夫朝夕者皆早退，无使我君之劳倦，以君夫人新为配偶，宜亲亲之也。

《毛诗(节南山)·雨无正》：大夫离居，莫知我[勋]。则，劳也。笺云：正，长也。官长之大夫。厉王流于彘而皆散处，无复知我民之见疲劳也。三事大夫，莫肯夙夜。邦君诸侯，莫肯朝夕。笺云：王流在外，三公及诸侯随而行者，皆无君臣之礼，不肯晨夜朝暮省王也。

《周礼·秋官下》：朝大夫（曰）掌邦家之国治。邦家，王子弟公卿及大夫之（菜）［采］地也。凡邦家之治于国者，必因其朝大夫，然后听之。

《礼记·曲礼上》曰：大夫七十而致事，若不得谢，谢，去也。君贪其德而留之。则必赐之几杖。行役以妇人，适四方，乘安车。自称曰"老夫"，于其国则称名。越国而问焉，必告之以其制。他国问其老者，必以制度告之。

金紫光禄大夫

干宝《晋纪》曰：尚书仆射(季)[李]胤母丧，拜金紫光禄大夫，给吏卒，门施行马。

《三国典略》曰：房谟本姓屋氏高。渤海王入洛，授金紫光禄大夫。累赐奴婢，率多放免。王后赐生口，黥面为"房"字而付之。

光禄大夫

《汉书·百官表》曰：光禄勋属官有大夫，掌议论。

《汉书》曰：谷永既为大将军王凤擢为光禄大夫。永奏书谢凤曰："永，斗筲之材，质薄学朽，无一日之雅，左右之方，将军悦其狂言，擢之皂衣之吏，厕之争臣之末。"

又曰：金日磾为光禄大夫，亲近未尝有过，上信爱之。

又曰：贡禹上书云："贫老，家资不满万钱，拜光禄大夫，赐益多，家益富。伏自念无报厚德，日夜惭愧。"

又曰：杜陵王仲翁，霍光以为光禄大夫。仲翁出入，苍头庐儿传呼，甚尊宠。

又曰：蔡义上书云："臣山东草莱之人，行能无所比，容貌不及众，然而不弃人伦者，以闻道于先师。愿赐清间之宴，得舒精思于前。"上即见，说《诗》，甚悦，擢为光禄大夫。

《东观汉记》曰：张堪字子孝，为光禄大夫。数谏。堪常乘白马，光武每有异政，辄曰："白马生且复谏矣。"

又曰：樊宏字靡卿，为光禄大夫。为人谦素畏慎，每朝会，迎期先到，俯伏待事，时至乃起。帝闻之，敕临朝乃告，勿令豫到。

《后汉书》曰：邓太后从樊准议，悉以公田赋与贫人，即擢准与议郎吕仓并守光禄大夫。准使冀州，仓使兖州。准到部开仓廪食，廪给。慰安生业，流人咸得苏息。

又曰：魏文帝受禅，欲以杨彪为太尉，先遣使示旨，彪辞曰："彪

备汉三公，遭代倾乱，不能有所补益，耄年被病，岂可赞惟新之朝。”遂固辞。乃授光禄大夫，赐几杖、衣袍。因朝会引见，令彪着布单衣、鹿皮冠而入，待以宾客之礼。

华(矫)[峤]《后汉书》曰：邓彪遭后母忧，毁瘠过礼，因疾乞身，以光禄大夫行服。

《汉书解诂》曰：武帝以中大夫为光禄大夫，与博士俱以儒雅之选。异官通职，《周官》所谓官联者也。温故知新，率由旧章，皆能明古今、辨章旧闻者也。

《汉书·百官表》注曰：光禄大夫，古官也。银章、青绶。

《汉官仪》曰：光禄大夫，秩比二千石。(不言)[掌议论]，属光禄(大夫)勋，门外特施行马，以旌别之。

《魏志》曰：常林字伯槐，河内温人也。时论林节操清峻，欲致之公辅，而林遂称疾笃，拜光禄大夫。

又曰：黄初四年，诏给光禄大夫杨彪吏卒，门施行马。

《吴志》曰：八月，遣光禄大夫周弈、石伟巡行风俗，察将吏清浊、民所疾苦，为黜陟之诏。

王隐《晋书》曰：刘毅字仲雄，年七十告老，以光禄大夫致仕，门施行马，赐钱百三十万。

《晋书》曰：王览为宗正卿致仕，诏遣殿中医疗疾给药，后转光禄大夫，门施行马。

又曰：郑褒，魏景元初，疾病失明，屡乞骸骨，不许，拜光禄大夫。

又曰：华表字伟容，歆子也。太始中为太中大夫，禄赐与卿同，门施行马。

《晋阳秋》曰：李喜乞老，以为光禄大夫，门施行马。

《晋中兴书》曰：王蕴字[叔]仁(修)。烈宗将纳后，访于公卿，仆射[谢]安曰：“王蕴地望，可与国婚。”定后既立，征拜金紫光禄大夫。

又曰：祖纳字士言。少持操行，能言名理，迁右光禄大夫。

又曰：荀组字太章，颍川人也。弱冠，大尉王夷甫见而称之，为光禄大夫。

又曰：荀松字景猷，组族子也。弱冠，大原王济甚相器重，拜右光禄大夫。

又曰：贺循字彦士，会稽人也。节操高厉，童龀不群；言行举动，必以礼让。行有余力则精书学。由是博览群书，尤明《三礼》，为江表儒宗，拜右光禄大夫。

又曰：顾和字君季，荣族子也。和二岁失父，总角便有清操，弱冠知名。族父荣雅器之曰："此吾家千里驹也。兴吾宗者，必此子矣。"康帝即位，为尚书仆射，更拜银青光禄大夫，又迁左光禄大夫。

《晋诸公赞》：卫尉傅祗以风疾逊位，加光禄大夫，门施行马。

《齐书》云：周盘龙，世祖讲武，令盘龙领军校尉，骋稍，[后]以疾为光禄大夫。

《后魏书》曰：李茂字中宗，为光禄大夫。茂性谦慎，以弟仲宠盛，惧于盈满，遂托以老疾固请逊位，高祖从之，听食大夫禄，还私第。

《汝南先贤传》曰：郭宪为光禄大夫。上欲到三辅，宪谏曰："天下初定，车驾未可以巡。"上遂行，宪当车，拔佩刀以断车靷。上不止，到弘农，兵起颍川，上曰："恨不用光禄之言。"于是乃还。

《樊英别传》曰：诏书告南阳太守、五官中郎将樊英委荣辞禄，不降其节，志不可夺。今以英为光禄，赐还家，在所县给谷千斛，常以八月存高年，给羊一头，酒三斛。

《荀氏家传》曰：闿字道明，性清静，善谈论，迁光禄大夫。以君面似胡，明帝谓为神明胡子。

太中大夫

韦昭《辨释名》曰：太中大夫，大夫之中最高大也。

《汉书》曰：陆贾，楚人也。以客从高祖定天下，又以口辩居左右，常使诸侯。中国初定，尉佗平南越，因王之。高祖使贾赐佗印，为南越王。贾说佗，令称臣，奉汉约。归报，高帝大悦，拜贾为太中大夫。

又曰：东方朔字曼倩，平原厌次人也。拜太中大夫，观察颜色，直言切谏，上常用之。

《东观汉记》曰：来歙字君叔，南阳新野人也。歙有大志，慷慨，治《春秋左氏》。东诣洛阳，见上，大喜曰："君叔独劳苦。"即解被襜褕以衣歙，拜太中大夫。

《后汉书》：征郭伋为太中大夫，赐宅一区，及帷帐钱谷以充其家。伋辄散与宗亲九族，无所遗余。

司马彪《续汉书》曰：张湛拜太中大夫。病居东门候舍，故时人号之为中东门君。上数存问、赏赐。

《魏志》曰：管宁字幼安，北海朱虚人也。年十六丧父，中表愍其孤贫，咸共赠赙，悉辞不受。长八尺，美须眉。与平原华歆、同县邴原相友。黄初四年，诏公卿举独行君子，司徒华歆荐宁，文帝以宁为太中大夫，固辞不受。

又曰：韩暨字公至。明帝诏曰："太中大夫暨，澡身浴德，志节高洁，年逾七十，守道弥固，可谓纯笃老而益劭者也，其以暨为司徒。"

《吴志》曰：裴玄字彦黄，下邳人也。少有学行，官至太中太夫。

《梁书》曰：顾宪之字士思。风疾求还，吴天监二年，授太中大夫。虽累年宰郡，资无担石，及归环堵，不免饥寒。

中大夫

《汉书》曰：晁错对策，书百余人，惟错为高最，乃迁为中大夫。

又曰：倪宽以侍御史见上，语经学，从问《尚书》一篇，擢为中大夫。

中散大夫

《东观汉记》曰：牟长字君高。少笃学，治《欧阳尚书》，诸生（着绿）[著录]，前后万人。建武十四年，征为中散大夫。

《后汉书》曰：鲁丕字叔陵，迁中散大夫。时贾逵荐丕，道艺深明，宜见任用。因和帝朝会，召见诸儒，丕与侍中贾逵、尚书令黄香等相难数事，帝善丕说，罢朝，特赐冠、帻、履、袜、衣一袭。

《续汉书》曰：谯玄字君黄，能说《春秋》，迁中散大夫。

柱　国

《北史》曰：李敏，美姿容，善骑射。开皇初，周宣后乐平公主有女娥英，妙择婚对，敕贵公子弟集弘圣宫者，日以百数。公主选取敏，礼仪如［尚］帝女。后将侍宴，公主谓敏曰："我以天下与至尊惟一女夫，当为汝求柱国，若授余官慎无谢。"及进见，上亲御琵琶，敏舞，大悦，谓公主曰："敏何官？"对曰："一白丁耳。"上谓敏可授仪同，敏不答。上曰："不满尔意耶？"令授开府，又不谢。上曰："公主有大功于我，[今授卿柱国]。"敏乃拜，蹈舞。遂于坐发诏授柱国。

《五代史》：后唐天成三年五月诏曰："开府仪同三司，阶之极；太师，官之极；封王，爵之极；上柱国，勋之极。近代已来，文臣官阶稍高便授柱国，岁月未深便转上柱国，武资不计何人，初官便授上柱国。官爵非无次第，阶勋备有等差，宜自此时重修旧制。今后凡是加勋，先自武骑尉经十二转，乃授上柱国。永作成规，不令逾越。"虽有是命，竟不革前例。

奉朝请

《汉书》曰：王陵为太傅，杜门谢疾，竟不朝请。

《续汉书》曰：前汉列侯，奉朝请在长安，位次三公。汉武时，宣

帝为皇曾孙，令奉朝请。

《东观汉记》曰：建武中，邓禹失司徒，特进奉朝请。

《汉官解诂》曰：三辅职如郡守，独奉朝请。成帝丞相张禹逊位，特进奉朝请。又以关内侯萧望之奉朝请。奉朝请之号则非为官。如淳曰："诸侯春朝天子曰朝，秋曰请。虽国戚及勋门子弟为之，但预朝请会而已。"

《晋起居注》曰：孝武宁康三年，诏陇西王世子越、驸马都尉杨邈并可奉朝请，侍从左右，与太子游处。

沈约《宋书》曰：奉朝请，无员外，本不为官。汉东京罢省三公，外戚、宗室，多奉朝请。奉朝请者，奉会朝请召而已。

又曰：王敬弘子恢之被召为秘书郎，敬弘求为奉朝请，与恢之书曰："秘书有限，故有竞。朝请无限，故无竞。吾欲使汝处于不竞之地。"太祖嘉而许之。

《北齐书》曰：祖鸿勋为州主簿，仆射临淮王彧表荐鸿勋有文学，宜试以一官，敕除奉朝请。人谓之曰："临淮举卿，便以得调，竟不相谢，恐非[其宜]。"鸿勋曰："为国举才，临淮之务，祖鸿勋何事从而谢之？"彧闻而喜曰："吾得其人矣。"

《后魏书》曰：崔光韶事亲以孝闻，初除奉朝请。光韶与弟光伯双生，操业相侔，特相友爱。遂经吏部尚书李冲，让官于光伯，辞色恳至。冲为奏闻，高祖嘉而许之。

又曰：裴询字敬叔。美仪貌，多艺能，音律博弈，咸所开解。起家奉朝请。

又曰：梁景伯生于桑乾，少丧父，以孝闻。家贫，佣书自给，养母甚谨。尚书卢渊称之于李冲，冲时典选，拔为奉朝请。

致仕官

《晋书》曰：王祥致仕，诏赐几杖、床帐、簟蓐，以舍人六人为睢陵公舍人。

又曰：郑冲致仕，诏赐安车、驷马、床帐、簟蓐。

《五代史》曰：郑韬以户部尚书致仕，自襁褓迨于悬车，事真伪十一君，凡七十载，所任无官谤，无私过，三持使节，不辱君命。士无贤不肖皆恭己接纳。晚年背伛，时人咸曰郑伛不迂。平生交友之中无隙怨，亲族之间无爱憎，恬和自如，性尚闲简。及致政归洛，甚惬终焉之旨。

太平御览卷第二百四十四

职官部四十二

太子太师　太子太傅　太子太保
太子少师　太子少傅　太子少保

太子太师

《六典》曰：太子三师，以道德辅教太子者也，止于动静、起居、言语、视听，皆有以师焉。

《礼记·文王世子》曰：教世子必以礼乐。乐所以修内也，礼所以修外也。礼乐交错于中，发形于外，是故其成也怿。出则有师，是以教喻而德成也。师也者，教之以事而谕诸德也。

《大戴礼》曰：昔者周成王幼在襁褓之中，太公为太师。

《唐书·官品志》曰：太子太师、太傅、太保，是为三师，掌师范、训导、辅翊。

太子太傅

《礼记》曰：三王教太子，立太傅、少傅以养之，太傅在前，少傅在后。

《史记》曰：万石君姓石，名奋。无文学，恭谨无比，迁为太子太傅。

又曰：夏侯胜为太子太傅，受业，诏撰《尚书》、《论语》，赐黄金百斤。年九十卒官，赐冢茔，葬平陵。太子赐钱二百万，为胜素服五日，以报师傅之恩。儒者以为荣。

《汉书》曰：景帝栗太子以窦婴为太傅。十年，栗太子废，婴争不能得，谢病屏居蓝田山下。数月，诸窦宾客辩士说请，遂起朝。

又曰：萧望之，字长倩，为太子太傅，以《论语》授太子。

又曰：叔孙通为太傅。高帝欲立赵王，废太子，通谏曰："昔晋献公以骊姬故，废立太子，晋国乱者数十年；秦不早定扶苏，终使灭祀。今太子仁，陛下必废嫡立庶，臣愿先伏诛，以颈血污地。"上曰："公罢，吾戏耳。"通曰："太子天下本，本一摇，天下振动，奈何以天下戏乎？"

又曰：疏广字仲翁，为太傅，（弟）[兄子]受为少傅，朝廷以为荣。皆请免归乡里，公卿祖饯东都门外，百姓观者叹曰："贤哉二大夫！"初，太子外祖许伯以太子少，请使其弟舜监护太子家。广曰："太子国储副君，师友必天下英俊，不宜独亲外家。今官属以备，若亲昵外家，非所以广太子德于天下也。"上善之。

《东观汉记》曰：建安二十八年，大会百官，诏问谁可傅太子者，群臣承意皆言太子舅执金吾阴识可，博士张佚正色曰："今陛下立太子，为阴氏乎？为天下乎？即为阴氏，则阴侯可；为天下，则固宜用天下之贤才。"上称善，曰："欲置傅者以辅太子也。今博士不难正朕，况太子乎？"即拜为太子太傅。

又曰：张湛字子孝，为太子太傅。及郭后废，因称疾，拜太中大夫。病居东门候舍，故时人号中东门君。帝数存问，赏赐。后大司徒戴涉被诛，帝强起湛以代之，至朝堂遣失溲，因自陈疾笃，不能复任朝事，遂罢之。

《后汉书》曰：明帝以邓禹先帝名臣，拜太子太傅也。

应劭《汉官仪》曰：太子太傅，日就月将，琢磨玉质。言太子有玉之质，琢磨以道也。

《魏志》曰：何夔代凉茂为太子太傅，每月朔，太傅入见，太子正法服而礼焉。

《吴志》曰：吴粲迁太子太傅，遭二宫之变，抗言执正，明嫡庶之分，欲使鲁王出住夏口，遣杨竺不得令在都邑。又数以消息语陆逊，逊时驻武昌，连表谏争。由此为竺等所谮害。

又曰：孙权寝疾，征大将军诸葛恪为太子太傅，会稽太守滕胤为太常，并受诏辅太子。

又曰：阚泽字德润，会稽山阴人，拜太子太傅，领中书。孙权尝问："书传篇赋，何者为美？"泽欲讽谕以明治乱，因对贾祖《过秦论》最美，权览读焉。

又曰：程秉字德枢，汝南南顿人也。秉事郑玄，避乱交州，与刘熙考论大义，遂博通五经。士燮命为长史。权闻其名儒，以礼征；秉既到，拜太子太傅。

又曰：张温字惠恕，吴郡吴人也。温少修节操，容貌奇伟。权闻之，以问公卿曰："温当今与为谁比？"大司农刘基曰："可与全琮为辈。"大常顾雍曰："基未详其为人也。今无辈。"权曰："如是，张允不死也。"征到延见，文辞占对，观者倾竦。权改容加礼。罢出，张昭执其手曰："老夫托意，君宜明之。"拜议郎，选曹尚书，寻迁太子太傅。

《晋起居注》曰：武帝太始三年始置太子二傅。是时官事大小皆由二傅，太傅立章，少傅写之。

《晋中兴书》曰：贺循字彦先，为太子太傅。诏曰："循清直履道，秉尚贞贵，居身以冲约为本，立德以仁让为行，可躬训储宫，默而成化。"

《唐书·官品志》曰：太子太傅一人，位视尚书令；少傅一人，位视左仆射。

《魏故事》曰：太傅于太子不称臣，少傅称臣。

太子太保

《礼记》曰：保也者，慎其身以辅翼之，而归诸道者也。

《晋书》曰：刘实字子真，以特进开府，加太子太保。

《晋中兴书》曰：怀帝以荀组为侍中，特进，行太子太保。

傅畅《晋赞》曰：贾充为太尉，行太子太保，以公位重，其为保、

傅，或行或领，各随其时。

《后魏书》曰：显祖将禅位于京兆郡王子推，[任城王云]、陇西王源贺并固谏。陆馥抗言曰："皇太子圣德承基，四海属望，不可横议，干国之纪。臣请刎颈殿廷，有死无二。"久之，帝意乃解，诏曰："馥，直臣也，其能保吾子乎！"遂以馥为太保。

太子少师

《六典》曰：太子三少，掌奉皇太子以观三师之道德而教谕焉。

《晋书》曰：惠帝以卫尉裴楷为太子少师。

《宋书》曰：太子少师、少保，并晋置。

《后魏书》曰：郭祚领太子少师，曾从世宗幸东宫，肃宗幼弱，祚怀一黄鹄出奉肃宗。时应诏左右赵桃弓与御史王显[迭相唇齿，深]为世宗所信，祚私事之。时人谤祚者，以为桃弓仆射、黄鹄少师。

《唐书·官品志》曰：太子少师、少傅、少保，是为三少，各一人，掌皇太子以观三师之德。出则三师在前，三少在后。

又曰：李纲拜太子少师。纲有脚疾，不堪践履。太宗特赐步舆，令纲乘至阁下，数引禁中，问以政道。又令舆入东宫，皇太子引上殿，亲拜之，纲于是陈君臣父子之道，问寝视膳之方，理顺词直，听者忘倦。

又曰：贞观十三年，以左仆射房玄龄为太子少师。玄龄上表逊位，诏不许。太宗因谓侍臣曰："太子师保，古难其选。若成王幼小，以周公为傅，左右皆贤，日闻雅训，自幼及长，便为圣君。秦之胡亥，赵高傅之，教以刑法；及其立也，诛功臣，杀亲族，酷烈不已，旋踵而亡。以此言之，善恶由于习近。"

又曰：唐休璟，年力虽衰，进取弥锐。时宫人贺娄氏用事，而休璟为男取其养女，因以自达，拜太子少师。时议讥之。

又曰：长庆中，以兼太常卿赵宗儒为太子少师。太常有师子

乐，备五方之色，非会朝聘享不作焉。至是，中人掌教坊之乐者，移牒取之。宗儒不敢违，以状白宰相，以为事在有司执守，不合关白，而宗儒忧恐不已。宰相责以懦怯不任事，故换此散秩。

陶氏《职官录》曰：三少旧视左仆射，冠服同三太也。

太子少傅

《汉书》曰：上谓张良曰："子房虽疾，强起傅太子。"时叔孙通已为太傅，以良行少傅事。

又曰：匡衡字稚圭，为太子少傅，数上书陈便宜。少好学，家贫，佣力以供资用。

《东观汉记》曰：建兴二十八年，以桓荣为少傅，赐以辎车乘马。荣大会诸生，陈车马印绶曰："今日所蒙，稽古之力也，可不勉乎！"

《后汉书》曰：征王丹为太子少傅。时大司徒侯霸欲与交友，及丹被征，遣子昱候于道，昱迎拜车下，丹下，答之。昱曰："家公欲与君结交，何为见拜？"丹曰："君房有是言，丹未之许也。"

《续汉书》曰：王丹字仲回，为太子少傅，謇谔正直，名德重于时。

《魏志》曰：邢颙，字子昂。初，太子未定而临淄侯植有宠，丁仪等并赞翼其美。太祖问颙，颙对曰："以庶代宗，先世之戒也。愿殿下深重察之！"太祖识其意，后遂以为太子少傅。

《吴志》曰：薛综、综子莹、莹子兼，三世并为太子少傅，谈者美之。

《晋书》曰：山涛转太子少傅。在东宫，年已七十，病疾求退，手诏不听，寻讲武于宣武场。有诏，涛乘步辇，导皇太子入。时尚书仆射卢钦与涛言及孙武用兵本意，武帝欣然而言曰："山少傅故是天下谈士也。"举坐倾心。

又曰：何曾议太子少傅当称臣拜，荀顗曰："太之与少，自二傅之名次耳，非于太子有轻重也。"诏曰："秦汉已来，旧章废灭，随时

改作，其故事不可依用，宜远准古义，定二傅不臣拜。”

又曰：王雅为太子少傅。时朝望属王珣，珣亦颇以自许。及诏用雅，众遂赴雅焉。将拜，遇雨，请以伞入。王珣不许之，因冒雨而拜。雅既贵幸，威权甚振，门下车骑常数百，而善应接，倾心礼之。

《晋中兴书》曰：周颙字伯仁，拜太子少傅。颙上疏曰：“臣退自忖省，学不通一经，智不效一官，止足良难，未能守分。不悟天监忘臣顽蔽，乃欲使臣内管铨衡，外忝傅训，质轻蝉翼，事重千钧，此之不可，不待识而明矣。

《后周书》曰：萧[圆肃]，武帝建德三年，授太子少傅，增邑九百户。萧氏以任当师傅，调护是职。乃作《少傅箴》曰：“惟王建国，辩方正位。左史记言，右史书事。莫不[援]立太子，为皇之贰。是以《易》称明两，《礼》云上嗣。东序养德，震方主器。束发就学，《宵雅》便隶。朝读百篇，乙夜乃寐。爱日惜力，寸阴无弃。（亲）[视]膳再饭，寝门三至。小心翼翼，大孝烝烝。询谋计虑，问对疑承。安乐必敬，无忘战兢。夫天道益谦，人道恶盈。汉嗣不绝乎驰道，魏储回还乎鄄城。前史攸载，后世扬名。三善既备，万国以贞。姬周长久，实赖元良。嬴秦短祚，诚由少阳。虽卜年七百，有德至历而昌；数世一万，无德不及而亡。敬之敬之，天惟显思。光副皇极，永固洪基。观德（观）[审]谕，敢告职司。”太子见而悦之，致书劳问。

《陈书》曰：孝明帝在东宫，宣武皇帝欲以崔光为太子师傅。光固辞，帝令太子南面再拜，宫官皆从太子拜；光北面立，不敢答拜，惟西面拜谢而出。乃授光太子少傅。

傅玄《太子少傅箴》曰：夫金木无常，方员应形，亦有隐括，习以性成。故近墨者黑，声和则响清，形正则影直。正人在侧，德义盈堂；鲍肆先入，兰蕙不芳。傅臣司训，敢告君王。

太子少保

《晋书》曰：怀帝以光禄刘蕃为太子少保。

《晋诸公赞》曰：惠帝以吏部尚书和峤为太子少保。

《唐书》曰：李纲字文纪，为太子少保。高祖以纲隋代名臣，甚加优礼，每手敕未尝称名，其见重如此。

《唐新语》曰：李适之为右相，李林甫密奏其好酒，颇妨政事。玄宗惑焉，乃除太子少保。适之遽命亲故欢会，赋诗曰："避贤初罢相，乐圣且衔杯。为问门前客，今朝几个来？"举朝服其度量。

太平御览卷第二百四十五

职官部四十三

太子宾客　太子詹事　太子少詹事
太子中庶子　太子左右庶子

太子宾客

《六典》曰：太子宾客掌侍从规谏，赞相礼仪，而先后焉。凡皇太子有宾客宴会，则为之上齿。

《汉书》曰：高祖欲废太子，吕后用张良计，致商山四皓，以为宾客。又孝武帝为太子，立博望苑以使通宾客，则其义也。

太子詹事

《六典》曰：太子詹事之职，掌统东宫三寺、十率府之政令，辨其纲纪而修其职务；少詹事为之贰。凡太子六官之典制，皆视其事而承受焉。

《俗说》曰：江夷为右仆射，主上欲用其领詹事，语王淮："卿可觅比例。"淮对曰："臣当出外寻访。"淮后见主上，问："近所道事，卿已得比例未？"淮曰："惟谢琰右仆射领詹事。"琰即谢公之子。恐夷非其例，事遂不行。

应劭《汉官仪》曰：詹事，秦官。詹，省也，给也。秩比二千石。

《汉书》曰：窦婴字王孙，孝景即位，为詹事。帝弟梁孝王，母窦太后爱之。孝王朝，酒酣，上从容曰："千秋万岁后传王。"太后欢。婴引卮酒进上曰："天下者，高帝天下，父子相传，汉之约也，上何以得传梁王！"太后由是憎婴。

又曰：孔光父霸，字次孺。宣帝时，以授太子经为詹事。

又曰：詹事，掌皇后、太子，家有丞属，诸官皆属焉。成帝鸿嘉三年，帝省詹事，属大长秋。

《晋书》曰：卞壼为詹事，世称卞壼裁断切直，敦实，忠于事上也。

《晋起居注》曰：武帝以王恭丹阳尹领詹事，恭让表曰："今皇储始建，四方是式，总司之任，崇替所由。宜妙简才贤，尽一时之胜，岂臣最庸所可叨忝！"

《晋公卿礼秩》曰：太始中立詹事，掌宫事。

沈约《宋书》曰：詹事一人，初领官属。成帝时悉属少傅，魏氏置詹事总众职，晋初又属二傅，咸宁复置詹事。

《齐职仪》曰：詹事品第三，茂陵书，秩二千石，银章、青绶。局拟尚书令，位视领护将军。

《陈书》曰：后主欲以江总为太子詹事，令管记陆瑜言之于孔奂，奂谓瑜曰："江有潘、陆之华，而无园绮之实，辅弼储宫，窃有所难。"瑜具以白后主，后主深以为恨，乃自言于高宗。高宗将许之，奂乃奏曰："江总，文华之人，今皇太子文华不少，无藉于总。如臣愚见，顾选敦重之才，以居辅导。"帝曰："即如卿言，谁当居此？"奂曰："都官尚书王廓，世有懿德，识性敦敏，可以居太子詹事。"奂又奏曰："宋朝范晔，即范泰之子，亦为太子詹事，前代不疑。"后主固争之，帝卒以总为詹事。

《唐书》曰：苏弁改太子詹事。弁初入朝，班位失序，殿中侍御史邹儒立对仗弹之。弁于金吾待罪数刻，特释放。旧制：太子詹事班次太常、宗正卿之下。贞元三年，御史中丞窦参叙定班位，移詹事在河南、太原尹之下。弁乃引旧班制立，台官诘之，仍绐云："已白宰相，请依旧制。"故为儒立弹之。

又曰：龙朔二年，改詹事为端尹，詹事府为端尹府。

王珉《答徐邈书》曰：詹事弹一官，如尚书左丞矣。

太子少詹事

《唐书》曰：张行成转太子少詹事。太宗东征，皇太子于定州监国，即行成本邑也。太子谓行成曰："今者送公衣锦还乡。"于是令有司祀其先人墓。

太子中庶子

《汉书·百官表》曰：太子中庶子，职侍中。

《汉书》曰：王商字子威，涿郡蠡吾人。商少为太子中庶子，以肃敬见称。

又曰：欧阳地余，字长宾，为中庶子，授皇太子经。

又曰：冯野王通《诗》，以父任为太子中庶子。

《魏志》曰：鲍勋字叔业，清白有高节，知名当世，为中庶子。在东宫，正色不挠。

《蜀志》曰：后主立太子璿，以霍弋为中庶子。璿好驰射，出入无度，弋援引古事，尽言规谏，甚得切磋之体。

《吴志》曰：孙登为太子。时太傅张温言于权曰："夫中庶子官最亲密，切问近对，宜用俊彦。"于是乃用陈表等为中庶子。后又以庶子礼拘，复令敕中侍坐。

又曰：羊衜音道。初为中庶子，年二十。时廷尉监隐蕃结交豪杰，自卫将军全琮等皆倾心敬待，惟衜及宣诏郎杨迪拒绝不与通，时人怪之。而蕃后叛逆，众乃服之。

《晋书》曰：安平王孚，初为魏太子中庶子。魏武帝崩，太子号哭过甚，孚谏曰："大行晏驾，天下恃殿下为命。当上为宗庙，下为万国，奈何效匹夫之孝！"太子良久乃止，曰："卿言是也。"时群臣初闻帝崩，相聚号哭，无复行列。孚厉声于朝曰："今大行晏驾，天下震动，当早拜嗣君，以镇海内，而但哭耶！"孚与尚书和洽奉太子以即位，是为文帝。

又曰：温峤为中庶子，献《侍臣箴》，甚见补益。

又曰：王恂启以桓谦为中庶子，曰东宫之选中庶子管总门下，尤不可不得其才也。

《晋起居注》曰：武帝咸宁元年诏曰："男子皇甫谧沉静履素，守学好古，与流俗异趣，其以谧为太子中庶子。"

《晋中兴书》曰：殷仲堪，少好学，能清言，善属文，人士咸钦爱之，以孝行称。烈宗闻其名，召为太子中庶子，甚相知悦。

又曰：温峤拜太子中庶子。峤在东宫，特见嘉宠，僚属莫与为比。峤与阮放等共劝太子游谈老庄，不教以经史，太子甚爱之，数规谏讽议。

又曰：肃宗之在东宫，孔演领太子中庶子。于时中兴肇构，庶事草创。演经学渊博，该识旧典，朝仪轨制多取正焉。由是元、明二帝并亲爱之。

沈约《宋书》曰：中庶子，汉置。古者世禄，卿大夫之子，即为副倅，谓之国子。天子、诸侯世子，必有庶子官以掌教之。

《齐书》曰：袁粲言于帝曰："臣观张绪有正始遗风，宜为宫职，复转中庶子。

《陈书》曰：王瑒父冲尝为瑒辞领中庶子，世祖顾谓冲曰："所以久留瑒于承华，正欲使太子微有瑒风法耳。"

《唐书·官品志》曰：中庶子四人，功高者一人为祭酒，行则负玺，前后部护驾。

《陶氏家传》曰：侃迁太子中庶子。君少而好学，善谈玄理，尤明《诗》、《易》，以孝行闻于时。储选殊难其人，特召君焉。

《山公启事》曰：中庶子缺，宜得俊茂者，以济阴太守留俨、城阳太守石崇参选。

晋齐王攸《与山涛书》曰：太子中庶子，东宫显职，加侍接左右，诚宜得笃粹有行检之人，必允众望。

太子左右庶子

《六典》曰：左庶子之职，掌侍从、赞相、驳正启奏，中允为之二。凡皇太子从祀朝会，[出]则版奏外办中严，入则解严焉。凡令书下左春坊，则与中允、司议郎等覆启以画诺。右庶子之职，掌侍从左右，献纳启奏；中舍人为之二。凡皇太子监国，于宫内下令书，太子亲画日至春坊，则宣传之。

《礼记》曰：古者天子有庶子之官职，诸侯、卿大夫之庶子，掌其戒令，与其教理。别其等，正其位。国有大事则帅国子而致于太子，惟所用之。若有甲兵事，则授之车甲，合其卒伍，置于有司。

《汉书》曰：成帝以傅喜有志行，为太子庶子。

《魏志》曰：鲍勋字叔业，为庶子，在东宫正色不挠。

《魏氏春秋》曰：阮浑字长威，籍之子也，少知名，为太子庶子。

《吴志》[注]曰：华融字德蕤，广陵江都人。祖父避乱，居山阴。时皇象亦寓居山阴，吴郡张温来就象学，欲得所舍。或告温曰："有华德蕤者，虽年少，美有令志，可舍也。"温遂止融家，朝夕谈讲。俄而温为选部尚书，乃推擢融为太子庶子，遂知名显达。

《晋书》曰：郑默，武帝时[与]太原郭奕俱为庶子。朝廷以太子官属宜称陪臣，默上言："皇太子体皇极之尊，无私于天下。宫臣皆受命天朝，不同藩国。"事遂不施行。

《晋起居注》曰：太康十年诏："尚书郎王琛，每所陈论，意在忠谠。其以为太子庶子。"

《隋书》曰：刘行本为太子左庶子。时左卫率长史夏侯福为太子所昵，尝于阁内与太子戏。福大笑，声闻于外。行本时在阁下闻之，待其出，行本数之曰："殿下宽容，赐汝颜色。汝何物小人，敢为亵慢！"[因]付执法者治之。数日，太子为福致请，乃释之。

《隋书》曰：刘行本为左庶子。太子尝得良马，令夏侯福乘而观之。太子甚悦，因欲令行本乘。行本不从，正色而进曰："至尊置臣

于庶子之位者，欲令辅导殿下以正道，非为殿下作弄臣也。"太子惭而止。

又曰：刘行本拜太子左庶子，领治书如故。皇太子虚襟敬惮。时唐令则亦为左庶子，太子昵狎之，每令以弦歌教内人。行本责之曰："庶子当匡太子以正道，何有嬖昵房帷之间哉！"令则甚惭而不能改。

又曰：刘行本为左庶子。卒后而太子勇废，文帝曰："若使刘行本在，勇当不及于此。"

《唐书·官品志》曰：庶子四人，掌侍从左右、献纳得失。高功者一人。与舍人共掌其坊之禁令。

又曰：贞观中诏曰："皇太子与百官书疏，未有制式。近代已来，例皆名白，无以别贵贱。今凡处分论事之书，皇太子并画令，[左]右庶子已下署名，宣奉行书案画日，其余与诸子亲及师傅等书下不在此限。

又曰：于志宁为太子右庶子，撰《谏苑》二十卷，以进于太子承乾也。

又曰：杜正伦为太子左庶子。太宗谓曰："国之储副，自古所重，必择善人为之辅佐。今太子年在幼冲，志意未定。朕若朝夕见之，可得随事诫约。今既委以监国，不在目前，知卿志怀贞悫，能执直道，故辍卿于朕以匡太子，宜知委任轻重也。"

又曰：太宗谓太子左庶子于志宁曰："古者太子既生，卜士负之，即置辅弼。昔成王幼小，周、邵为傅，日闻正道，习以成性。今皇太子既幼，卿当辅之正道，无使邪僻开其心。勉之无怠，当称所委，官赏可不次而得也。"

又曰：李百药授太子右庶子。时太子颇留意典坟，然闲宴之后，嬉戏过度，百药作《赞道赋》以讽焉，词多不载。太宗见而遣使谓百药曰："朕于皇太子处见卿所献赋，悉述古来储二事以诫太子，甚是典要。朕选卿以辅弼太子，正为此事，大称所委，但须善始令

终耳。”因赐彩物三百段。

又曰：李义琰为太子右庶子，同中书门下三品。义琰博学，多识典故。上每有顾问，言多切直。章怀太子之废也，上慰勉官寮，尽舍罪，令复其位。薛元超等皆舞蹈谢恩，义琰独引罪涕泣，时论美之。

《山涛启事》曰：东宫官属宜得高茂者，庶子贾模缺，宜补刘粹、周蔚，惟加所裁。诏用粹。

《环济要略》曰：庶子主宫中，并诸吏之適子，及支庶在版籍者也。行其秩序，作其徒役，授八次八舍之职，以徼候。

太平御览卷第二百四十六

职官部四十四

太子左右赞善大夫　太子洗马　太子司议郎
太子中舍人　太子舍人　太子通事舍人

太子左右赞善大夫

《六典》曰：左赞善大夫，掌翊赞太子以规讽也。皇太子出入动静，苟非其德义，则必陈古以箴焉。右赞善大夫，掌如其左。凡皇太子朝，宫臣则列于右阶之下。

《唐书》曰：贞元十六年，以山人崔芊为右赞善大夫，充太子侍直，新名也。

太子洗马

《六典》曰：洗马掌四库图籍缮写刊缉之事，立正本、副本，以备供进。凡天下之图书上于东宫者，皆受而藏之。

《国语》曰：夫差为勾践洗马。

《续汉书·百官志》曰：洗马，员十六人，秩六百石，职如谒者。太子出，则当直，一人在前导威仪，盖洗马之义也。

《汉书》曰：司马安，少与汲黯为太子洗马，安为人深巧善官，四至九卿。

《魏略》曰：颜斐字文林，以才学为太子洗马。

《晋书》曰：江统为洗马，太子颇好游宴，或阙朝侍，统以五事谏之。

又曰：解系兄弟少连、叔连，各清身洁己，仕皆为洗马。

《梁书》曰：庾於陵拜太子洗马。旧东宫官属，通为清选，洗马

掌文翰，尤其清者。近世用人，皆取甲族有才望者，时於陵与周舍并擢充职，高祖曰："官以人而清，岂限以甲族。"时论以为美。

《唐书》曰：李纲字文纪。隋开皇末，为太子洗马。皇太子勇尝以岁首宴宫臣，左庶子唐令则自请奏琵琶，又歌《武媚娘》之曲。纲白勇曰："令则身任宫卿，职当调护，乃于宴座自比倡优，进淫声，秽视听。事若上闻，罪不在测，岂不累于殿下？臣请遽正其罪。"勇曰："我欲为乐耳，君勿多事。"纲趋而出。及勇废黜，文帝召东宫官属切让之，无敢对者。纲对曰："今日之事，乃陛下之过，非太子罪也。太子才非上品，性是常人，若得贤明之士辅道之，足堪继嗣皇业。方今多士盈朝，当择贤居任，奈何以弦歌鹰犬之才日在其侧，致令至此，乃陛下诫道不足，岂太子之罪耶！"辞气凛然，左右皆为之失色。文帝曰："令汝在彼，岂非择人。"

《文士传》曰：江统字应元。召补洗马，每有疑滞大事、章表奏议，辄为同官所推，常为之作草。

《韩子》曰：勾践入宦于吴，执干戈为吴王洗马，故能杀夫差于姑苏。

傅咸《申怀赋·序》曰：余自无施，谬为众论所许，补太子洗马，才不称职，意常默然。

傅咸《感别赋·序》曰：有人鲁庶叔，雅量弘济，思心邃远。余自少与之相长，情相亲爱，有如同生。其后迁太子洗马。俄而谬蒙朝私，猥忝斯职，虽惧不称，而喜得与此子同班共事。天下之遇，未有若此。周旋三载，鲁生迁尚书郎，虽别不远，而情甚怅恨，退作兹赋云尔。

徐邈《问玉珉》曰：汉法制：洗马，冠高山冠，职如谒者。中朝新制：洗马，进贤冠，出则在马前清道，故曰洗马。

太子司议郎

《六典》曰：司议郎掌侍从规谏，驳正启奏。凡皇太子出入朝

谒、从享及释奠于先圣先师，讲学、齿胄、抚军、监国之命可传于史册者，并录为记注。若宫坊之内祥瑞、灾眚，宫长除拜、薨卒，亦皆记之。每岁终，则送史馆。

《唐书》曰：敬播以撰《实录》功，迁太子司议郎。时此官初置，极为清望。中书令马周叹曰："所恨资品望高，不获历居此职。"

又曰：贞观中皇太子上表曰："臣闻直笔记言，谏司箴过，盖绝代之通训，乃垂裕于当今。臣以暇日遐览前志，窃惟古之养德，咸有史官，所以补缺拾遗，为砥为砺，彰善瘅恶，如切如磋，譬立准而端形，犹琢玉而成器，故《大戴礼》曰：太子免于保傅之严，则有司过之史。《汉书》云：太子既冠成人，乃有记过之史。是知姬诵登两，肇建此官；刘启升储，宪章斯义。故能道温玉裕，声闻宸宫。上有慰于皇情，下无亏于物议。臣地居问寝，齿在横经，越以幼年，夙蒙天奖。趋紫宸以遵礼，仰黄屋以承欢；怙圣慈而益骄，恃钟心而取恣。肃恭驰道，恐或乖方；晨昏视膳，虑有违舛。蒙泉始道，必俟后乘之规；离光未融，惧寝前星之耀。是以夙兴夜寐，内省非忧，延首谠言，冀匡童昧。而魏晋已降，不置此员，杜绝箴规，何期甚谬！伏惟陛下穷神稽古，尚择刍荛之言；玄览文明，犹开登石之路。况臣冲藐，未涉艺文。出自深宫，便亲监抚之重；罕从鼓箧，晦识弦诵之宜。一德有惭，贻忧睿念；三朝登俊，何以胜任？所以冒敢陈闻，请遵故实，愿开史职，故司眷诚。是使绵载坠典，复在圣朝；资此正人，少匡不逮。"于是门下坊置太子司议郎四人，妙选名行之士为之。正六品上，掌侍从、规谏、驳正、启奏，并录东宫记注，分判坊事。

又曰：元让有孝行。则天朝，中宗居东宫，复征拜司议郎。及谒见，则天谓曰："卿既孝于家，必能忠于国。今授此职，须知朕意，宜以孝道辅我儿也。"

又曰：王元感，濮州鄄城人也。长安三年，上表其所撰《尚书纠谬》十卷、《春秋振滞》二十卷，《礼记绳愆》三十卷，并所注《孝经》、

《史记》稿草，请官给纸笔写上秘阁。诏曰："王元感质性温敏，博闻强记，手不释卷，老而弥笃。掎前达之失，究先圣之旨。是谓儒宗，不可多得。可太子司议郎兼崇贤馆学士。"魏知古尝称其所撰书曰："信可谓五经之指南也。"

太子中舍人

《晋书》曰：杜锡，预之子也。累迁太子中舍人。性亮直忠烈，屡谏愍怀太子，言辞恳切，太子患之。后置针著锡常所坐处毡中，刺足流血。他日，太子问锡："向者何事？"锡曰："醉不知。"太子诘之曰："君喜责人，何自作过也。"

《晋中兴书》曰：顾荣清操，南土秀望，累迁太子中舍人。

又曰：顾荣字彦先。时吴朝士人入洛者，惟陆机、陆云及荣三人。而机、云虽有才藻，清望不及荣也。选补吴王郎中令，累迁太子中舍人。

太子舍人

《六典》曰：太子舍人掌侍从，行令书、令旨及表、启之事。皇太子通表如诸臣之礼。诸臣及宫臣上皇太子，大事以笺，小事以启，其封题皆曰"上于右春坊"，通事舍人开封以进。其事可施行者，皆下于舍人，与庶子参详之，然后进；不可者则否。

《续汉书·百官志》曰：舍人秩二百石，无员，更直宿卫，如三署郎中。

《汉书》曰：文帝使晁错诣伏生受《尚书》，还拜太子舍人。

《东观汉记》曰：侯霸字君房，为人严而有威，为太子舍人。

《汉杂事》曰：郑当时为太子舍人。每伍日洗沐，常置驿马长安诸郊，请谢宾客，以夜继日，常恐不遍；然其交知皆天下名士也。

《魏志》曰：张茂上便宜，擢为太子舍人。

《晋书》曰：王衍以名问，超为太子舍人。

又曰：元帝太兴元年，以太子绍舅虞弭为舍人。太子奏曰："舅，甥宜崇敬，降舅氏之亲为侍臣，[非所安也]。"诏乃转弭为常侍。

沈约《宋书》曰：王僧达，琅琊临沂人。太保弘之少子也。太祖闻僧达早慧，召于德阳殿，问其书学及家事，应对闲敏。上甚嘉之，以为太子舍人。

《齐书》曰：张率，建武三年举秀才，除太子舍人。与同郡陆倕、陆厥幼相友狎，尝同载诣左卫将军沈约，遇任昉在焉。约谓昉曰："此三子后进秀才，皆南金也，卿可与交。"由此与昉友。

《梁书》曰：刘杳字士深，为舍人。及昭明太子薨，新宫建，旧人例无住者，敕特留杳焉。

《后魏书》曰：崔玄伯，少有俊才，号曰冀州神童。符融收冀州，虚心礼敬，拜阳平公，管征东记室。出总庶政，入为宾友，众务修理，处断无滞。符坚闻而奇之，征为太子舍人。

挚虞云：太常弟子通二经，补文学；三经，补太子舍人，晋置十六人，掌表、启。

太子通事舍人

《六典》曰：太子通事舍人，掌导引官臣辞见，及承令劳问之事。凡元正、冬至，百官与诸方之使者参见，亦如之。若皇太子行，先一日，京文武职事九品已上奉辞；及还宫之明日，亦如之。

《三国典略》曰：陈殷不害字长卿。尚书右丞不佞兄也。长于政事，[兼]饰以儒术。梁武帝时，与庾肩吾俱为东宫通事舍人。直日奏事，梁武谓肩吾曰："卿是文学[之士]，吏事非所长，可使不害来耶！"

太平御览卷第二百四十七

职官部四十五

太子率更令　太子家令　太子仆　太子典膳丞
太子侍读　太子门大夫　太子左卫率　右卫率
前卫率　后卫率　左右内率府长史

太子率更令

《六典》曰：率更令之职，掌宗族次序，礼乐、刑罚及刻漏之政令。凡皇太子释奠于先圣先师，讲学齿胄，皆总其仪注，而为之导引。若皇太子备礼出入，乘轺车，位亚家令焉。

《汉书》曰：颜师古注曰："掌知漏刻曰率更。"

《续汉书·百官志》曰：率更令，秩千石，与庶子、舍人更直，职似光禄勋。掌宫殿门户之禁，郎将屯卫之士。

《晋起居注》曰：武帝太康八年，诏曰："太子率更仆，东宫之达官也。其进品第五，秩与中庶子，左、右卫率同。职拟光禄勋也。"

《隋书》曰：明克让转率更令，进爵为侯。太子以师道处之，恩礼甚厚，有四方珍味辄以赐之。于时，东宫盛征天下才学之士，至于博物洽闻，皆出其下。

《唐书·官品志》曰：率更令，掌伎乐、漏刻也。

《物理论》曰：今有吕子义，清贤士也，为太子率更令。

太子家令

《六典》曰：家令之职，掌皇太子之饮膳、食储、库藏之政令，总食官、典仓、司藏三署之官属。皇太子备礼出入，则乘轺车，[俱]威仪，先诸臣以导引。若祭祀、宾客，则供酒食，以为献主。

《汉书》曰：文帝以晁错为太子家令，多所献替，称为智囊。

《汉书》曰：疏受，字公子。为太子家令，恭谨，敏而有辞，宣帝置酒太子宫，受奉觞上寿，辞礼闲雅，上甚欢惬。

《续汉书·百官志》曰：太子家令，秩千石，主仓谷物，职如司农、少府，拟廷尉也。

《蜀志》曰：谯周，字尹南。后主为太子，以周为家令。后主时颇出游观，增广声乐。周上谏曰："昔王莽之败，豪杰并起，跨州据郡，欲并神器，于是贤才智士思望所归，未必以其势之广狭，惟其德之薄厚也。"

《宋书》曰：太子家令，主内菌蓐、床机诸供中之物，又知官奴婢月用钱、内库米盐、车牛、刑狱。

《唐书·官品志》曰：家令掌刑法、食膳、仓库、什物、奴婢等事。

太子仆

《六典》曰：太子仆之职，掌车舆、乘骑、仪仗之政令，及丧葬之礼物，辨其次叙与其出入，而供给之。皇太子之车辂三：一曰金辂，二曰轺辂车，三曰四望。凡皇太子备礼而出，则率厩牧令进辂，仆亲驭焉。

《后汉书》：太子少傅属官有太子仆一人，秩千石，主车马，职如太仆。太子五日一朝；非入朝日，遣仆及中允朝，朝入，请问起居。

沈约《宋书》曰：太子仆，秦官也。

《宋起居注》曰：元嘉中，以散骑常侍荀伯子为太子仆。

《隋书》曰：柳肃迁太子仆。太子废，坐除名为民。大业中，帝与段达语及庶人罪恶之状，达云："柳肃在宫，大见疏斥。"帝问其故，答曰："学士刘臻，尝进章仇太翼于宫中，为巫蛊事。肃知而谏曰：'殿下帝之冢子，位当储二，诚在不孝，无患见疑。刘臻书生，鼓摇唇舌，适足以相诳误，愿陛下勿纳之。'庶人不悌，他日谓臻曰：'汝何故漏泄，使柳肃知之，令面折我？'"

《唐书·官品志》曰：仆掌宗族亲疏、车舆骑乘也。

太子典膳丞

《六典》曰：典膳郎掌进膳、尝食之事；丞为之贰。每夕，局官于厨更直。

《北齐书》曰：门下坊始别置典膳局，有监、丞各二人。

《唐书》曰：邢文伟，滁州全椒人也。迁太子典膳丞。时孝敬在东宫，罕与宫臣接见，文伟辄减膳，上书曰："臣窃见《礼戴记》曰：'太子既冠成人，免于保傅之严，则有司过之史，彻膳之宰。史之义，不得不司过；宰之义，不得不彻膳。'今皇帝式稽前典，妙简英俊，自庶子已下，至咨议、舍人及学士、侍读等，使翼佐殿下，以成圣德。近者以来，未甚延纳，谈议不狎，谒见尚稀，三朝之后，但与内人独居，何由发挥圣智，使睿哲文明者乎？今史虽缺官，宰当奉职，忝备所司，不敢逃死，谨守礼经，辄申减膳。"太子答书曰："顾以庸虚，早尚坟典，每欲研精政术，极意书林。但往在幼年，未闲将卫，竭诚耽诵，因即损心。比日以来，风虚更积，中奉恩旨，不许重劳。加以趋侍含元，温清朝夕，承亲无自专之道，遵礼以色养为先。所以屡阙坐朝，时乖学绪。公潜申雅鼎，式荐忠规，敬寻来请，良符宿志。自非情思审谕，义均弼谐，岂能进此药言，形于简墨！抚躬三省，感愧兼深。"文伟自此益知名。

太子侍读

《唐书》曰：玄宗在东宫，张说与国子司业褚无量俱为侍读，深见亲敬。

又曰：元和十二年，谏议大夫韦绶罢皇太子侍读。绶好谐戏，兼通小说，太子因侍上，或以绶所能言之，上谓宰臣曰："侍读者，当以经术辅导太子，使深知君臣、父子之教令，或闻绶之谈论有异于是，岂所以导太子者！"因命罢其职。

又曰：吕元膺为同州刺史，及中谢，上问时政得失；元膺论奏，辞气激切，上嘉之。翌日，谓宰臣曰："吕元膺有谠言直气，宜留在左右，使言得失，卿等以为何如？"李藩、裴垍贺曰："陛下纳谏，超冠百王，乃宗社无疆之休。臣等不能广求端士，又不能数进忠言，孤负圣心，合当罪戾，请留元膺给事左右。"寻兼皇太子侍读。

《五代史·后唐史》曰：仓部郎中何泽上疏请置太子侍读，敕旨："何泽早处班行，深明典制，固根本而别彰忧国，上封章而足表匡君，其所敷陈，实为允当，特议施行。"

太子门大夫

《六典》曰：宫门郎掌内外宫门管籥之事。凡宫殿门，夜漏尽，击漏鼓，(门)[开]；夜漏上水一刻，击漏鼓，闭。每岁终行傩，应经所由门，并先一刻早开。若皇太子不在，则闭东宫正门，其宫城[门]使、宿卫人应入宫殿者，各于左、右厢便门出入。至皇太子还仗，乃开。

《续汉书·百官志》曰：门大夫，员二人，秩六百石，职比郎将。

《汉书》曰：文帝[以]晁错为太子舍人，转太子门大夫。

《晋书》曰：太子门大夫局准公车令，班同中书舍人。主通远近笺表，宫门禁防。

《唐书》曰：龙朔二年，改门大夫为宫门郎，职比城门郎。

《三辅决录》曰：桓帝以平陵鲁宽为太子门大夫。

太子左卫率

《六典》曰：左、右卫率，掌东宫兵仗羽卫之政令，总诸曹之事。凡亲勋、翊府及广济等五府属焉。副率为之贰。凡元正、冬至，皇太子朝宫臣及诸方使，则率卫府之属以仪仗为左、右厢以卫之。若皇太子备礼出入，则如卤簿之法以从。

《续汉书·百官志》曰：卫率[秩]四百石，主门卫。

《晋志》曰：凡太子出，前卫率导，在前广麾外；左右二率从，夹导舆车；后卫率从，在乌皮外；并带戟执刀。其服并视左、右卫将军。

《晋书》曰：刘卞为愍怀太子左率，知贾后必害太子，乃问张华，华曰："君欲如何？"卞曰："东宫俊乂如林，四率精兵万人。公居阿衡之任，若得公命，皇太子因朝使录尚书事，废贾后[于]金墉，两黄门力耳！"华曰："废立大事，又非所能。"贾后微闻，迁卞为雍州刺史。卞恐终露，乃服药卒。

《晋中兴书》曰：褚翼，字谋远。少失父，以才艺堪干立名。肃祖即位，征拜屯骑校尉，迁太子左卫率。

《隋书》曰：宇文述每与晋王谋事。及晋王为皇太子，以述为左卫率。旧令，率官第四品，上以述素贵，遂进率品为第三，其见重如此。

《唐书·官品志》曰：左右卫率各一人，位视御史中丞，各有丞。左率领果毅、统远、立忠、建宁、凌锋、夷冠、祚德等七营，右率领崇荣、永吉、崇和、细射等四营。二率各置尉。

《山公启事》曰：太子左率缺。侍威重，宜得其才，无疾患者。城阳太守石崇忠谠有文武，河东太守焦胜清贞有信义，皆其选也。

右卫率

《晋中兴书》曰：郄恢，字道弱，为太子右卫率。恢八尺，美须髯，风神魁梧，烈宗异之。

又曰：吴隐，字处默。太元中以国子博士为太子右卫率。

沈约《宋书》曰：元嘉中以王琳、谢弘征，并为太子右卫率。

《隋书》曰：高祖以太子勇知时政，欲重宫官之资，故以大臣领其职。苏孝慈自兵部尚书拜右卫率，尚书如故。上将废太子，惮其在东宫，乃出为浙州刺史。

荀绰《冀州记》曰：裴康，字仲预。与弟楷为名士，仕至太子右

卫率。

《荀氏家传》曰：车骑将军悝，字茂中，山涛举之为太子右卫率，称君清和理正，从容顾问，动可观采，真侍卫之美者。

前卫率

《晋中兴书》曰：徐邈，字仙民。建元中为太子前卫率。

后卫率

《晋起居注》曰：建元十四年，以太子中舍人郗俭为太子后卫率。

《宋起居注》曰：永初元年，以徐佩为太子后卫率。

左右内率府长史

《六典》曰：左右内率府长史，掌判诸曹官吏及千牛备身之二。

《唐书》曰：永淳中，以雍人元让为太子右内率府长史，旌孝行也。让弱冠明经擢第，以母疾，遂不求仕。躬亲药膳，蒸蒸致养，不出闾里十余年。及母终，庐于墓侧，蓬发不栉沐，菜食饮水而已。咸亨中，孝敬监国，下令表其门闾。至是巡察使奏让孝悌殊异，由是拜职。

太平御览卷第二百四十八

职官部四十六

王师　王傅　王友　王侍读　王文学
郡国相　国郎中令　国中尉　国常侍
国侍郎　府长史　府司马

王　师

《汉书》曰：王式，字翁思，东平人。为昌邑王师。昭帝崩，[昌]邑王嗣立，以行淫乱废，昌邑群臣皆下狱。治事使者责问曰："师何以无谏书？"式对曰："臣以《诗》三百五篇朝夕授王，至于忠臣孝子之篇，未尝不为王反复诵之。臣以三百五篇谏，是以无谏书。"使者以闻，亦得减死论。

王　傅

《后汉书》曰：皇太子强求乞自退，封东海王，故重选官属，以杜林为王傅，从驾南巡狩。时诸王傅数被引命，或多交游，不得应诏，惟林守慎，有召必至。余人虽不见谴，而林特受赏赐；又辞不敢受，帝益重之。

《吴志》：是仪字子羽，北海营陵人也。南、鲁二宫初立，仪以本职领鲁王傅。仪嫌二宫相近切，乃上疏曰："臣窃以鲁王天挺懿德，兼资文武，当今之宜，宜镇四方，为国藩辅。宣扬德美，广耀威灵，乃国家之良规，海内所瞻望。但臣言辞鄙野，不能究尽其意。愚以二宫宜有降杀，正上下之序，明教化之本。"书三四上。为傅尽忠，动辄规谏；事上勤，与人恭；不治产业，不受施惠，为屋舍才足自容。邻家有起大宅者，权出望见，问起大室者谁，左右对曰："似是仪家

也。"权曰："仪俭，必非。"问果他家。其见知信如此。

《唐书》曰：丘悦，河南陆浑人，亦有学业。景龙中为相王府掾，与文学韦利器、典签裴耀卿俱为王府直学士。睿宗在藩，甚重之，官至岐王傅。开元初卒。撰《三国典略》三十卷行于时。

王 友

《晋中兴书》曰：谢尚，字仁祖，司徒左西属，为会稽王友。

《北史》曰：萧大圜除滕王逭友，逭尝问大圜曰："吾闻湘东王作《梁史》，有之乎？余传乃可抑扬，帝纪奚若隐则非实，记则攘羊？"对曰："言之者妄耳！如使有之，亦不足怪。昔汉明为世祖纪，章帝为显宗纪，殷鉴不远，足为成例。且君子过如日月之蚀，彰于四海，安得而隐之？如有不彰，亦安得不隐？盖子为父隐，直在其中；讳国之恶，抑又礼也。"逭乃大笑。

《殷浩别传》曰：会稽王少著名誉，友学之举，必极有德，以浩为友。

《山公启事》曰：近启修武令刘讷补南阳王友。诏曰："友诚宜得有益者，然以长吏治民，不(易)[宜]屡易为疑，令散人无依仰。"又启："今者职散中诚自有人，然刘讷才志外内非称，臣以为宜蒙此者，是以启及，不审固可用不？"诏："可尔所启。"

王侍读

《隋书》曰：杨汪，字元度。勤学，专精《左氏传》，通《三礼解》，(福)[补]周冀王侍读。王甚重之，每曰："王侍读德业优深，孤之穆生也。"

《唐书》曰：姚思廉初为代王侍读。属义师入京城，时府寮骇散，惟思廉侍王，不离其侧。义师入殿门，思廉谓之曰："唐公举兵，本匡王室，卿等不宜无礼于王！"众服其言，于是布列阶下。须臾太宗至，闻而义之，许其扶王至顺阳阁下，泣拜而去。观者咸叹曰：

"忠烈之士也。仁者有勇，此之谓也！"太宗居藩，引为文学。及亲征徐圆朗，思廉时在洛阳，太宗尝从容言及隋亡之事，慨然叹曰："姚思廉不惧兵刃，以明大节，求诸古人，亦何以加也！"因寄物百段，遗其书曰："想卿节义之风，故有斯赠。"

王文学

《魏志》曰：中山恭王褒，每读书，文学左右常恐以精力为病，数谏止之，不能废也。文学阮辅相与言曰："受诏察王举措，有过当奏；及有善，亦宜以闻。"遂共表陈褒美。褒闻之大惊，责让文学曰："修身自守，常人之行耳，而诸君以上闻，适增其负累也。"

《晋书》曰：郑袤。魏武帝初封诸子为侯，精选宾友，袤与徐干俱为临淄文学。

《晋诸公赞》曰：扶风王，年八岁，聪明善诗赋，中表奇之，魏烈祖以为齐王芳文学。

《长沙耆旧传》曰：太尉李公，时为荆州刺史，下辟书："夫采名珠求之于蚌，欲得名士求之文学。或割百蚌不得一珠，不可舍蚌求之于鱼；或百文学不出奇士，不可舍文学求之于斗筲也。由是言之，蚌乃珠之所藏，文学亦士之场矣。"

郡国相

《东观汉记》曰：吴祐，字季英，陈留人。迁胶东相，政惟仁简，以身率物，民有相争诉者，辄闭阁自责，然后科其所讼，以道譬之。或身到闾里，重相和解。自是之后，争隙省息，吏民不欺。

又曰：鲁平，字叔陵，拜赵相。为政尚宽惠礼让，虽有官，不废教授，门人常有数百。关东号曰："五经复兴鲁叔陵。"

《后汉书》曰："张禹迁下邳相。徐县北界有蒲阳坡，《东观记》曰：坡水广二十里，径直百里，在道西。其东有田可万（倾）[顷]。坡与破同。傍多良田，而堙废莫修。禹为开水门，通引灌溉，遂成熟田数百顷。劝率

吏人，假与种粮，亲自勉劳，遂大收谷实。邻郡贫者归之千余户，室庐相属，其下成市。后岁至垦千余顷，人用温给。

又曰：赵咨应召，复拜东海相。之官，道经荥阳。令敦煌曹暠，咨之故孝廉也，咨为敦煌太守时，暠荐为孝廉。迎路谒候，咨不为留。暠送至亭水次，望尘不及，谓主簿曰："赵君名重，今过界不见，必为天下笑！"即弃印绶，追至东海。谒咨毕，辞归家。其为时人所贵若此。

谢承《后汉书》曰：东郡赵咨为东海相，人遗其双枯鱼啖之，二岁不尽，以俭化俗。

《魏志》曰：初，曹公为兖州，以东平毕谌为别驾。张邈之叛也，邈劫谌父母弟妻子；公谢遣之，曰："卿老母在彼，可去！"谌顿首无二心，公嘉之，为之流涕。既出，遂亡归。及邈败，生得谌，众为谌惧，公曰："夫人孝于其亲者，岂不亦忠于君乎！吾所求也。"以为鲁相。

又曰：太祖，光和末，黄巾起，拜骑都尉，讨颍川贼，迁为济南相。国有十余长吏，多阿附贵戚，赃污狼藉，于是奏免其(人)[八]，禁断淫祀，奸宄逃窜，郡界肃然。

《蜀志》：刘备领平原相。郡民刘平素轻先主，耻为之下，使客刺之。客不忍刺，语之而去，其得人心如此。

《晋书》曰：文帝辅政，阮籍常从容言于帝曰："平生曾游东平县，乐其风土。"帝大悦，即拜东平相。籍乘驴到郡，坏府舍屏障，使内外相望，法令清简，旬日而还。

又曰：阮神迁平原相。时襄邑卫京自南阳太守迁于河内，与神俱拜，帝望而叹曰："二千石皆若此，朕何忧乎？"

《九州春秋》曰：孔融为北海相，一朝杀[五]部督邮。

《会稽典录》曰：骆俊，字孝远，乌伤人。孝灵皇帝擢拜陈相。汝南葛陂盗贼并起，陈与接境，四面受敌。俊厉吏民为之保障，出仓见谷以赡贫民，邻郡士庶咸往归之，身捐俸禄给其衣食。民有产

子，常赦主者厚致米肉，生男女者辄以骆为名。

国郎中令

《汉书》曰：龚遂，字少卿，山阳人。以明经为官，至昌邑郎中令，事王贺。贺动作多不正，遂为人忠厚，刚毅有大节，内谏诤于王，外责傅相，引经义，陈祸福，至于涕泣，謇謇无已。面刺王过，王至掩耳起走，曰："郎中令善愧人。"及国中皆畏惮之。王又与驺奴宰人游戏饮食，赏赐无度，遂入见王，涕泣膝行，左右侍御者皆出涕。王曰："郎中令何为哭？"遂曰："臣痛社稷之危也！"

又曰：周勃等共诛诸吕，迎代王。郎中令张武等议皆曰："不可信，愿称疾无往，以观其变。"中尉宋昌进曰："群臣之议皆非，愿大王勿疑也。"代王遣(太)后薄昭见勃，勃等俱言所以迎立王者，昭还报信矣。王笑谓宋昌曰："果如公言。"乃令宋昌骖乘，张武等乘传诣长安，群臣奉法驾代邸。皇帝即日夕入未(史)[央]宫，夜拜宋昌为卫将军，领南北军，张武为郎中令，行殿中。

《续汉书》曰：皇子封王，其郡为国。每国置郎中令一人，秩千石，掌王[大]夫(人)、郎中、宿卫官也。

《魏志》曰：袁涣为魏国郎中令。及卒，太祖为之流涕，[赐]谷二千斛，一教"以太仓谷千斛赐郎中令家"，一教"以垣下谷千斛与卿家"，外不解其意。教曰："以太仓谷者，官法也；以垣下谷者，亲旧也。"

《晋中兴书》曰：顾荣。时在洛者，惟陆机、陆云及荣，惟三人而已。机、云虽有才藻，不及荣也。以南土秀望，补吴王郎中令。

沈约《宋书》曰：宋国初建，当置郎中令。高祖难其人，谓傅亮曰："今用郎中令，不可减袁曜卿也。"既而曰："吾得其人矣。"乃以王惠居之。

《续搜神记》曰：会稽朱弼为王国郎中令，营立第舍，未成而卒。同郡谢子木代其事，以弼死亡，乃定簿书，多张功费，长百余万，以

其赃诬弼，而实入子木。子木夜寝，忽闻有人道弼姓字者，俄顷而到子木堂前，立谓之曰："卿以枯骨腐肉专可得诬！当以某日夜更相书。"言终，忽然不见。

陆机《诣吴王表》曰：臣本吴人，靖居海隅。朝廷欲抽引远人，绥慰遐外，故太傅所辟，殿下东到淮南，发诏以臣为郎中令。

国中尉

《史记》曰：鲁申公弟子为博士十余人。孔安国至临淮太守，徐偃为胶西中尉，其治官皆有廉节，称其好学。

《汉书》曰：郑当时，字庄，陈人也。稍迁为鲁中尉。

又曰：梁孝王招延四方豪杰。齐人公孙诡多奇计，初见曰："王赐千金。"官至中尉，号曰"公孙将军"。

《续汉书》曰：清河王小心恭孝，特见亲爱。后诸王就国，邓太后诏特清河国置中尉内史，赐乘上御物焉。

《汉旧仪》曰：帝子为王，王国置太傅、相公、尉各一人，秩二千石，以辅王。

《三辅决录》曰：淮阳宪王，宣帝爱子，器异其才，欲以为嗣。王侍宠自骄，天子乃用韦玄成为中尉，以辅导之。受诏，与萧望之等论五经同异于石渠阁。

《邵氏家传》曰：邵弘，字德裕。时景帝为琅琊王，诏书高选官属，请君为中尉。君为人体素方严，仪容甚伟，虽私门接对，僮仆俨然，不厉而威，王甚惮焉。王常候君昼息，身随使者潜至君舍，令使者进曰："王有令。"君徐理鬓冠履，俯伏尽礼，然后读之。王与使者群立瞻听，为之叹息曰："古人称不愧于屋漏，其邵中尉乎？吾反逆诈以试长者，岂不陋哉！"王虚心受纳，欣宴言话，昼夜无休。君乃上书谏王，王读三四，瞿然失色，后谓左右曰："思邵中尉之言，使人于今毛竖。"

国常侍

《汉书》曰：龚舍，字君倩，少好学，明经。楚王入朝，闻舍高名，聘为常侍。不得已，随王归国。

《晋春秋》曰：甘卓，字季思。察孝廉，为吴王晏常侍。

国侍郎

王隐《晋书》曰：孙秀，琅琊国书佐，为赵王伦国侍郎。

桓谭《新论》曰：宣帝元康、神爵之间，丞相奏能鼓雅瑟者，渤海赵定、梁国龙德，召见温室，拜为侍郎。

府长史

《汉书》曰：张汤为御史大夫，为三长史朱买臣等所谮。帝遣杜周诘汤，汤欲对，周曰："君为大臣，今被责诘，何用对为?"于是自杀。临死上书曰："谮臣者，三长史也。"帝追惜汤，悉诛三长史。

又曰：赵充国从贰师将军击匈奴，身被二十余疮。武帝视而嗟叹，迁车骑长史。

《晋书》曰：刘舆为魏郡太守，东海王越将召之，或曰："舆犹腻也，近则污人。"及至，越疑而御之。舆密视天下兵(薄)[簿]及仓库、(午)[牛]马、器械、水陆之形，皆默识之。是时军国多事，每会议，自潘(弼)[滔]以下，莫知所对。舆既见越，应机辩(尽)[画]，越(顾眯)[倾膝]酬接，即以为左长史。

又曰：刘舆为东海王越左长史。越既秉政，时宾客满筵，文案盈几，远近书记，日有数千，终日不倦，或以夜继之，皆人人欢畅，莫不悦附。命议如流，酬对款备，时人服其能，比之陈遵。时[称]越府有三才：潘滔大才，刘舆长才，裴邈清才。

《晋中兴书》曰：王献之，少有清誉，亦善隶书。后将军谢安请为长史，甚钦爱之。

又曰：薛兼，字令长，与同郡纪瞻等初入洛，张华叹曰："皆南金也。"屡迁至丞相右长史，兼恪勤王事，以佐禄秩优泰，每约损辞让，以周贫而已。

《宋书》曰：阮万龄，陈留尉氏人。万龄少知名，自通直郎为孟昶建威府长史。时袁豹、江夷相继为昶司马，时人谓昶府有三(府)[素]。

《齐书》曰：庾杲之出为王俭卫军长史，时人呼俭府为入芙蓉池。

又曰：陆慧晓为晋熙王冠军长史。慧晓历辅五政，治身清肃，僚佐以下造请，起送之。或谓慧晓曰："长史贵重，不宜妄自谦屈。"答曰："我性恶人无礼，不容不以礼处人。"

又曰：陆慧晓迁右长史。时陈郡谢朏为左长史，府公竟陵王子良谓王融曰："我府二上佐，求之前世，谁可为比！"融曰："两贤同时，便是未有前例。"

崔鸿《十六国春秋·后赵录》曰：张跃，字世渊，清河东武城人也。学敏才达，雅善清谈，石勒伟其仪辩，拜世子卫军长史。敕世子曰："张长史，人之表范，汝其师之。"

《后魏书》曰：张衮，字洪龙，上谷沮阳人也。好学有文才，太祖为代王，迁为左长史。决策帏幄，太祖器之，礼遇优厚。

《南史》曰：孔觊除安陆王子缓后军长史。性使酒恃气，每醉辄弥日不醒，僚类间多所凌忽，尤不能曲意，权幸莫不畏而嫉之。居常贫罄，无有丰约，未尝开怀。为府长史，典签、咨事不呼前，不敢前；不令去，不敢去。虽醉日居多，而晓明政事；醒时判决，未尝有壅。众咸云："孔公一月二十九日醉，胜他人二十九日醒也。"孝武每欲引见，遣人觇其醉醒。

《隋书》曰：卫玄初仕，周武帝亲总万机，拜益州总管府长史，赐以万钉宝带。

《唐书》曰：和元祐为千牛卫长史。先是元祐献诗十首，其词猥

陋，皆寓言嬖幸而意及兵戈，韦氏命拘于大理而将戮。月余而韦氏就诛，其诗若合符讖，故上闻而拜之。

《魏武故事·载令》曰：府长史王必，是吾披荆棘时吏也。忠能勤事，心如铁石，国之长吏也。蹉跌久不辟之，舍骐骥而不乘，焉惶惶而更求哉？今故教辟之。

《陶氏家传》云：猷，字恭豫。王导以君江东俊望，请为右军长史。君恪勤王事，每当朝日，恒夙兴就路。及到府门，辄先众僚。为人美容止，善谈论，亦以此见称当世焉。

府司马

《左传》曰：季氏以公钮为马正，马正，家司马也。愠而不出。闵子马见之，闵子马，闵马父也。曰："子无然。祸福无门，惟人所召。为人子者，患不孝，不患无所。所，位处也。恭敬父命，何常之有？"言废置在父无常位。公钮然之。恭敬朝夕，恪居官次。

《家语》曰：《乡射》曰："孔子观于乡射，于是退而与门人习射于矍相之圃，盖观者如堵墙焉。射至于司马，使子路执弓矢出延射者。子路为司马，故射立于子路，使出延射。

《魏略》曰：诸葛诞伐吴，战于东关，上欲速进军，司马王仪谏曰："吴贼必有伏，宜持重，不可进。"上不听，果为吴人所覆。仪曰："今日之败，谁当其咎？"上曰："司马欲委罪孤耶！"遂法仪。

《晋书》曰：石苞为景帝中护军司马。宣帝闻苞好色薄行，以让帝，帝答曰："苞虽细行不足，而有经国才略。夫廉贞之士，未必能经济世务。是以齐桓忘管仲之奢僭，而录其匡合之大谋；汉高舍陈平之污行，而取其六奇之妙算。苞虽未可以上俦二子，亦今日之选也。"懿乃止。

《晋阳秋》曰：晋陵人韦夏。桓修令于坐相刘裕，仕宦当至州不？夏云："刘粗是有相人，当不失边州刺史。"既出，私于裕曰："卿大有贵相，向不敢极言耳！"裕恶其言末略，答曰："卿狂言！验当相

用为司马。"义旗后数年，臯见裕，诉曰："周成不负桐叶之信，公不应忘司马之言。今不希镇军府，闻护军司马缺，愿赐卒恩。"裕美而用之。

《晋中兴书》曰：中宗为安东将军，镇下邳。请王导为司马，军国之事，无不咨访。中宗迁镇建康，导为司马，委以政事。于时朝野倾心，号曰"仲父导"。忠于事上，达于从政，以百六之弊，寄寓江左。为治之本，务在清静。

沈约《宋书》曰：羊徽被遇于高祖，高祖谓咨议参军郑鳞之曰："羊徽一时美器，世论犹在，兄后恨不识之。"(板)[拔]补右将军刘蕃司马。

《后魏书》曰：辛祥为并州平北府司马。有白璧还兵药道显被诬为贼，官属推据，咸以为然。祥曰："道显面有悲色，察狱以色，其此之谓乎?"苦执申之。月余，别获真贼。

《世说》云：谢奕为桓宣武荆州司马。奕既上，犹推布衣之交，在温坐岸帻啸咏无异常日，宣武每曰："我方外司马也。"奕醉温于许，主避之，主每曰："君若无狂司马，我何由得相见。"

太平御览卷第二百四十九

职官部四十七

从事中郎　府掾　府属　咨议参军
公府舍人　记室参军　府参军

从事中郎

《魏志》曰：韩嵩，字德高，义阳人。少好学，贫不改操。知世将乱，不应三公之命，与同好数人隐居于郦西山中。黄巾起，嵩避难南方，刘表逼以为从事中郎。

《吴志》曰：严畯，字曼才，彭城人也。少耽学，善《诗》、《书》、《三礼》。避乱江东，与诸葛瑾、步骘齐名友善。性质[直]纯厚，其于人物，忠告善导，志存补益。张昭进之于孙权。权以为骑都尉、从事中郎。

《晋书》曰：祖纳，字士言，最有操行，能清言，文义可观。性至孝，少孤贫，常自炊爨以养母。平北将军王敦闻之，遗其二婢，辟为从事中郎。有戏之曰："奴价倍婢。"纳曰："百里何必轻于五羖皮耶！"

又曰：稽绍，字延祖，方直儒雅，为卫军从事中郎。

虞预《晋书》曰：刘隗，字大连，彭城人。学涉有具，为秘书郎。避乱南渡，遂为中宗从事中郎，甚见器遇。

何法盛《晋中兴书》曰：谢万少而才器俊秀，太宗闻其名，取为镇军从事中郎。

《抱朴子》曰：友人稽君道为广州刺史，其弟应静为太(博)[傅]从事中郎，别于襄阳，君道泣而应静不泣，抱朴子以为丈夫宜然。

府 掾

《史记》曰：倪宽为廷尉史。为人温良，有廉智，张汤以为长者，数称誉之。及汤为御史大夫，而宽为掾。

《汉书》曰：陈遵为公府掾。公府掾史率皆羸车小马，不尚鲜明，而遵独极舆马、衣服之好，门外车骑交错。

《东观汉记》曰：吴良以清白方正称，东平王苍辟为西曹掾。数谏正苍，多善策。苍上表荐良。

《续汉书》曰：府掾比古之元士，皆三命也。

《汉旧注》曰：或曰：汉初掾史辟皆上言，故有秩皆比命士；其所不言则为百石，属其后皆自辟，故通为百石云。

《魏志》曰：董寻，字文奥。为人忠直，为军谋掾。青龙中，上大兴宫室，群臣皆负土，寻上书谏曰："今臣自知言必死，而臣自譬于牛之一毛，生既无益，其死何损。且比本不生矣，是以发笔流涕，心与世辞。臣有八子，臣死之后，以累陛下。"

《魏略》曰：令狐劭，字孔叔。在安邑毛城中，会太祖攻破邺，遂围毛城。城破，劭等辈十余人皆当斩。太祖阅见之，疑其衣冠也，问其祖考而识其父，乃解于署军谋掾。

《蜀志》曰：马良，字季常。为左将军掾。后[遣]使吴，良谓亮曰："今衔国命，协穆二家，幸为良介于孙将军。"亮曰："君试自为文。"良即草曰："寡君遣掾良通好，以绍昆吾、豕韦之勋。其人吉[士]，荆楚之令，鲜于造次之华，而有克终之美，愿降心[存]纳，以慰将命。"权善待之。

《吴志》曰：张温父允，以轻财重士名显州郡，为孙权东曹掾。

《晋中兴书》曰：荀闿，字道明。有清称，京师为之语曰："洛中英英荀道明。"大司马齐王冏辟以为掾。

又曰：王珣弱冠与陈郡谢玄俱辟，大司马桓温语人曰："谢掾年三十必拥旄仗节，王掾当作黑头公，皆未易才也。"

《典略》曰：赵戬除万年令，遂遭三辅乱，客荆州，刘表以为宾客。是时，白衣平原祢衡高论冠世，来游京师，诋诮朝士，及南见戬，叹之曰："所谓铁则干将、莫耶，木则椅桐梓漆，人则颜冉、仲弓。"后辟魏王相国掾。

《殷氏家传》曰：殷秦，字子平。为大皇帝车骑掾，委以书记，上叹曰："非为秋兔之毫，乃是鹰鹯之爪。

郭子曰：王仲祖、谢仁祖同为王公掾。在坐，长史云："谢掾能作异舞。"王命为之，谢便起舞，神意甚暇。王公熟视，顾谓诸客曰："使人思安丰。"安丰，王戎封也。

《语林》曰：王蓝田，少有痴称。王丞相以地辟之，既见，无所他问，问来时米几价。蓝田不答，直张目视王公，王公曰："王掾不痴，何以云痴？"

府　属

《汉书》曰：谷永，字子云。为长安吏，后博学经书，有茂才，除补御史大夫属。

华峤《后汉书》曰：陈宠以时俗三府掾属不肯亲事，但出入养虚，故宠独勤心于事。又以法令繁冗，吏得生因缘，以致轻重，乃置撰科牒辞讼比例，使事类相从，以塞奸源。其后公府奉以为法。

《魏志》曰：蒋济，字子通，辟丞相主簿西曹属。令曰："舜举皋陶，不仁者远；臧否得中，望于贤属。"

又曰：胡质，字文德，少与蒋子通俱知名于江淮间，仕州郡。济为别驾，使见太祖。太祖问曰："胡通达长者，宁有子孙不？"济曰："有子曰质，规摹大略不及父，至于精良综事过之。"太祖辟为丞相属。

臧荣绪《晋书》云：刘沈，字道真，世为北州名族，博学好古，辟卫瓘属。

范亨《燕书》曰：鲜于休有才器伎干，辟为左光禄大夫曹属。

咨议参军

《齐书》曰：张岱历为三府咨议，与典签主帅共事，事举而情得。或谓岱曰："主王既以执事多门，而每能缉和公私，云何致此？"岱曰："古人言一心可以事百君。我为政端平，待物以礼，悔吝之事，无由而及。明暗短长，更是才用之多少耳。"

《南史》曰：柳叔夜，年十六为新野太守，甚有名绩，补遥光咨议参军。及事败，左右扶上马，欲与俱亡，答曰："吾已许始安以死，岂可负之耶？"遂自杀。

公府舍人

《史记》曰：李斯，上蔡人也，为丞相吕不韦舍人。

《汉书》曰：爰盎，字丝，楚人也。为将军吕禄舍人。

又曰：田叔，字子仁，以壮勇为卫将军舍人。卫青也。后使刺三河，奏事称意，为京辅都尉。

干宝《晋纪》云：阎缵为人鯁直，不畏强御，初仕为太傅杨畯舍人。

记室参军

《魏志》曰：太祖以陈琳、阮瑀管记室，军国书檄多琳所作。钟会以中郎在大将军管记室事，为心腹之任，时人谓之子房。

《吴志》曰：孙惠以书干东海王越，诡其姓名，自称南岳逸民秦秘之，勉之以勤王匡世之略，辞义甚美。越省书榜题，道衢招求其人，惠乃出见。越即以为记室参军，专掌文疏，豫参谋议。每造书檄，越或驿马催之，应命立成，皆有辞旨。

何法盛《晋中兴书》曰：王丞少而冲淡，弱冠知名。太尉王衍雅重之，以比南阳乐广。司空东海王越以为记室参军，雅相敬重，敕子毗曰："夫学之所益者浅，体之所安者深，闲习礼度不如式瞻仪

形，讽味遗言不如亲承音旨。王参军人伦之表，汝其师之。"

又曰：殷浩，字渊源，弱冠与京兆杜乂并有美誉。善言玄理，论难精微，故风流清谈皆归之。征西将军庾亮引为记室参军。

又曰：孔寅，字舒元。中宗命为安东参军，专掌记室。时书命殷积，寅每称职。

沈约《宋书》曰：孔颢署衡阳王义季记室，奉笺固辞曰："记室之局，实惟华要，自非文行秀敏，莫敢居之。颢学不综实，性又疏惰，何可以属知秘记，秉笔文闱。假吹之尤，方斯非滥。"

《三国典略》曰：颜晃字克明，琅琊临沂人也。少孤贫，有词彩。解褐梁邵陵王纶兼记室参军。时东宫学士庾信常使于府，王使晃接对，信轻其尚少，曰："此府兼记室几人？"晃答曰："犹少于宫中学士。"[时]杜龛为吴兴太守，专好勇力，梁元[帝]患之，乃使晃管其书翰。仍谓龛曰："颜晃文学之士，使相毗佐，造次之间，必宜咨禀。"

《后周书》曰：(郁)[柳]庆领记室，时北雍州献白鹿，群臣欲草表陈贺。尚书苏绰谓庆曰："近代已来，文章华靡，逮于江左，弥复轻薄。洛阳后进，祖述不已。相公柄民轨物，君职典文房，宜制此表，以革前弊。"庆操笔立成，辞兼文质。绰读而笑曰："枳橘犹自可移，况才子也。"

《隋书》曰：魏澹专精好学，博涉经史，善属文，词采赡逸。齐博陵王济闻其名，引为记室。

《唐书》曰：李巨川，字下已，陇右人。国初十八学士道玄之后，故相逢吉之侄曾孙。父循，大中八年登进士第。巨川乾符应进士，属天下大乱，流离奔播，切于禄仕，乃以刀笔从诸侯府。王重荣镇河中，辟为掌书记。时车驾在蜀，贼据京师，重荣匡合诸藩，叶力殄寇，军书奏请，堆案盈几。巨川文思敏速，翰动如飞，传之藩邻，无不耸动。重荣收复之功，巨川之助也。

《典略》曰：阮瑀，字元瑜，陈留人。以才自护，曹洪闻其有才，

欲使报答书记。瑀不肯，榜笞瑀，瑀终不屈。洪以语曹公，公知其无病，使人呼瑀，瑀终惶怖诣门。公见之，谓曰："卿不肯为洪，且为我作之。"瑀："诺。"遂为记室。

《世说》曰：太原孙楚，字子荆，为大司马石苞记室参军。

又曰：郄超、王珣，并以俊才为桓温大司马所眷，珣为主簿，超为记室参军。桓时为荆州，超为人多须，珣形状短小。于时西人为之歌曰："髯参军，短主簿，能令公喜，能令公怒。"

府参军

《魏志》曰：张范参丞相军事，甚见敬重。太祖征伐，常谓文帝曰："举动必咨此人。"世子执子孙礼。

又曰：董昭等谓太祖宜进爵国公，备九锡，以彰殊勋。密以咨荀彧，彧以为太祖本兴义兵，以匡朝宁国，秉忠贞之诚，守退让之实；君子爱人以德，不宜如此。太祖由是心不平。会征孙权，表请彧劳军于谯，(国)[因]留彧，以侍中光禄大夫持节，参丞相军事。太祖军至濡须，彧疾留寿春，以忧薨，时年五十。

又曰：曹休，字文烈。刘备遣将吴兰屯下辩，太祖遣曹洪征之，以休参洪军事。太祖谓休曰："汝虽参军，其实帅也。"洪闻此令，恒委事于休。

又曰：于禁屯颍阴，乐进屯阳翟，张辽屯长社。诸将任气，多共不协，使赵俨并参三军，每事诲谕，遂相亲睦。

又曰：太祖征马超，文帝留守，使程昱参军[事]。田银、苏伯等反河间，遣将军贾信讨之。贼有千余人请降，议者皆以为如旧法，昱曰："……诛降之意。臣以为不可诛也，纵诛之，宜先启闻。"众议曰："军事有专，无请。"昱不答。文帝起入，特引见昱，昱曰："凡专命者，谓有临时之急，呼吸之间者耳。今此贼制在贾信之手，无朝夕之变，故老臣不愿将军行之。"文帝答曰："君虑之善。"即白太祖，太祖果不诛。太祖还，闻之甚悦，谓昱曰："君非徒明于军计也，又

善处人父子之间。"

《晋书》曰：魏舒，字阳元，为相国参[军]。府朝碎事，未尝不见是非，至废兴大事，众人既下意，然后徐为之，多出众议，莫不敬从。晋王曰："魏舒堂堂，人之领袖也。"

又曰：孙楚，字子荆，为佐著作郎，参石苞骠骑军事。楚既负其才器，颇侮易苞。初至，揖曰："天子命我参卿军。"初，参军不敬府主，楚既轻苞，遂制施敬，自楚始也。

又曰：李涓，字宣伯。容貌简素，颓然若不足者；而智度沉邃，言必有中。高祖为大将军，涓再参军，上信重之。

臧荣绪《晋书》曰：庾敳，字子嵩，参太傅军事。从子亮，少时见敳在太傅府，僚佐多名士，皆一世秀异。敳处其中，常自袖手。

《晋中兴书》曰：郗超，字景兴。少而卓荦不羁，有旷世之度；倜傥高俊，笼盖当时。时人为之语曰："扬州独步王文度，盛德绝伦郗景兴。"交游士林，每在胜拔。又精于理义。大司马桓温取为参军。[温]英气盖世，罕有所推，与超相见，常谓不能测也。

又曰：薛兼为军祭酒，言于中宗曰："臣邑人张闿，才干堪任，当今之良器，愿垂引纳，以综朝事。"中宗即召闿为安东参军。

又曰：郭璞为尚书郎，大将军王敦以璞有术，取为参军。璞畏，不敢辞。

又曰：中宗之为安东，取周访为参军，在散辈中未之识也。府进镇东，访随例为参军。时府参军谯国周访有罪，当死，误收访，访自列无罪而吏不察。访穷蹙，乃身自执使仗奋击，收捕数十人皆被创披散。访得逸走，归府闻，中宗大惊，怒，不问格斗之罪。

又曰：苏峻反，范汪逃遁西归。时庾亮、温峤治兵浔阳；咸以众少贼强未敢即路，且信使阻绝，不相知闻。及汪经过，峤等访焉。汪曰："贼政令不一，贪暴纵横，灭亡已兆，虽强易弱。朝廷倒悬，宜时进讨。"峤等纳之。是日，护军、平南二府交命，始解褐，参护军事。

又曰：阮孚，字遥集，咸子也。避乱渡江，中宗以为安东参军，蓬发饮酒，不以王务婴心。

又曰：镇南将军刘弘以陶侃为长史，谓侃曰："我昔为羊太傅参军，羊公见语云：君后当居我身处。我今相察，亦复然也。"

沈约《宋书》曰：宗越随柳元景北伐，领马幢主，隶柳元怙，有战功，在景后。还，补后军参军督护随王。诞戏之曰："汝何人，遂得我府四字。"越答曰："征伐未死，不忧不得咨议参军。"诞大笑。

《宋书》曰：王瞻，字明远，一字叔鸾。负气傲俗，好贬裁人物。仕宋，为王府参军。尝诣刘彦节，直登榻曰："君侯是公孙，仆是公子，引满促膝，惟余二人。"彦节外迹虽酬之，意甚不悦。

《梁史》曰：沈警，字世明。惇笃有行，业学通左氏《春秋》，家累千金。后将军谢安命为参军，甚相敬重。警内足于财，为东南豪士，无进仕意，谢病归。安固留不止，乃谓曰："沈参军，卿有独善之志，不亦高乎！"警曰："使君以道御物，前所以怀德而至，既无用佐时，故遂饮啄之愿耳。"还家，积载以坟索自娱。

《后秦记》云：姚襄遣参军薛瓒使桓温，温以胡戏瓒，瓒曰："在北曰狐，居南曰貉，何所问也？"

《后周书》曰：梁昕以三辅望族上谒。太祖见昕容貌瑰伟，深赏异之。即授右府长流参军。

《文章志》云：顾凯之，字长康。博学有文章，性迟钝。为桓温参军，甚被亲昵。温尝语人云："凯之体中有痴黠各半，合而论之，只得平平耳。"

干宝《司徒仪》曰：行参军之职掌，凡使命及督察覆行之事，弹劾、补遗、献纳、闻见，以达视听。

《世语》曰：王子猷作桓温车骑参军。桓谓王曰："卿在府久，此当相(断)[料]理。"初不答，直高视，以手板柱颊云："西山朝来，致有爽气。"

又曰：郝隆为桓公南蛮参军。三月三日作诗，不能者，罚三升。

隆初以不能受罚，既饮，览笔便作，其一句云："娵子瑜反。隅跃清池。"桓问娵隅是何语，答云："蛮名鱼为娵隅。"桓公曰："作诗何以为蛮语？"隆答曰："千里投君，始得为府参军，那得不作蛮语？"

《魏武选令》曰：今诏书省司隶官钟校尉，材智决洞，通敏先觉，可上请参军事，以辅暗政。

《俗说》曰：陶夔为王孝伯参军。三日曲水集，陶在前行坐，有一参军督护在坐。陶于坐作诗，随得五三句。后坐参军督护随写取诗，成；陶犹更思补缀。后坐写其诗者先呈，陶诗经日方成。王怪，[笑]陶参军，乃复写人诗；陶愧愕不知所以。王后知陶非滥，遂弹去写诗者。

诸葛亮《与参军掾属教》曰：任重才轻，固多阙漏。前参军董幼宰，每言辄尽，数有谏云。虽性鄙薄，不能悉纳。幼宰参署七年，事有不至，至于十反，未有忠于国。如亮可以少过矣。

《孙绰为功曹参军驳事笺》曰：纲纪居管辖之任，以纠司外内，驳议弹射，诚无所拘。然亦所以献可替否，举直绳违而已。

太平御览卷第二百五十

职官部四十八

司隶校尉　州牧

司隶校尉

《通典》曰：司隶，周官也。掌五隶之法。辨其物而掌其政令，五隶，谓罪隶、蛮隶、闽隶、夷隶、貉隶也。物谓衣服、兵器之属。帅其民而捕其盗贼。

《汉书》曰：诸葛丰为司隶[校尉]，无所回避，京师为之语曰："间何阔，逢诸葛。"言间者何久阔不相见，以逢诸葛故也。侍中许章以外属贵幸，宾客犯法，与章相连。丰欲劾奏，适逢章出，丰驻车举节招章曰："下！"欲收之。章驰去，丰奔车逐之。章突入殿得免，由此成帝遂收丰节也。

又曰：鲍宣，字子都。明经，为司隶。丞相孔光行园陵，官属行驰道中，宣使钩止丞相掾史，没入其车马，以摧辱宰相。事下御史中丞，官欲捕从事，闭门不内。宣坐闭拒使者，大不敬，下狱。博士弟子王咸举幡太学下，曰："欲救鲍司隶者，会此下。"诸生会者千余人。朝日，遮丞相孔光自言，丞相车不得行。宣罪减死一等。

又曰：盖宽饶，字次公。为司隶校尉，子常步行。好直言犯上，无所回避。

又曰：王骏为司隶校尉，奏免丞相匡衡。

《东观汉记》曰：鲍永为司隶校尉。时赵王良从上送中郎将来歙丧还，入夏城门中，与五官将(军)[车]相逢，道迫，良怒，召门候岑尊，叩头马前。永劾奏良曰："今月二十七日，车驾临故中郎将来歙丧还，车驾过，须臾赵王良从后到，与右中郎将张邯相逢城门中，

道迫狭，叱邯旋车，又召门候岑尊诘责，使前走数十步。按良诸侯藩臣，蒙恩入侍，知尊帝城门(使)候吏六百石，而肆意加怒，令叩头都道，走马头前。无藩臣之礼，大不敬也。"

《后汉书》曰：鲍昱为隶，在职奉法守正，有父风。永平五年，坐救火迟，免。

又曰：鲍永为司隶，鲍恢为都官从事，并不避强御。诏策曰："贵戚且当敛手，以避二鲍。"其见惮如此。永子昱，复为司隶，初拜使封胡降檄。世祖遣问昱曰："有所怪否？"对曰："臣闻故事，通官文书不著姓名，又当司徒露布，怪使司隶下书而著姓也。"上曰："吾故欲令天下知忠臣之子复为司隶。"

又曰：李膺，字元礼，拜司隶校尉。[时]张让弟朔为野王令，贪残无道，畏膺而逃，藏让舍柱中。膺率将吏破柱取朔，付狱杀之。让诉冤于帝，帝诏诘膺，膺曰："昔仲尼为鲁司寇，七日而诛少正卯。今臣到官已积旬，惧以淹留为愆，不意获速疾之罪。乞留五日，克殄元恶。"帝谓让曰："汝弟之罪也。"自是宦官屏气，休沐不敢复出。帝问其故，并叩头泣曰："畏李司隶也。"

又曰：司隶校尉下邳赵兴，亦不恤讳忌，恤，忧也。每入官舍，辄更缮修馆宇，移穿改筑，故犯妖禁，而家人爵禄益用丰炽，官至颍川太守。子峻太傅，以才器称。孙安代鲁相，三叶皆为司隶，时称其盛。

又曰：江冯上言，宜令司隶校尉督察三公；陈元议以为不宜使有司省察公辅，乃止。

《续汉书》曰：阳球，字方正，渔阳人也。少有勇气，尚书令中常侍王甫、曹节等秉权势，球常唾手拊髀曰："阳球作司隶，此曹子何得尔耶！"寻为司隶，明日诣阙谢恩。甫时休下在舍，(恩)[球]报甫罪，收至洛阳诏狱，自临拷之。甫子萌亦见收。

又曰：牟融拜司隶校尉，典司京都，执宪持平，多所举正。百僚莫不敬惮。

又曰:《百官志》曰:"司隶校尉一人,比千石。孝武持节,常察举百僚以下及京师近都犯法者。"

谢承《后汉书》曰:华松擢为司隶校尉。是时贵戚专势,有司软弱,莫敢纠罚。松下车闭阁,不通私书,不与豪右相见,奸慝犯者辄死,奏马氏三侯,群豪敛手。

应劭《汉官仪》曰:司隶校尉,纠皇太子、三公以下,及旁州郡国无不统。陛坐见诸卿皆独席。

《魏志》曰:徐宣迁司隶校尉,[转散骑常侍],从至广陵。大军乘舟,风浪暴起,帝船回到,宣船在后,凌波而前,群寮无[先]至者。帝壮之。

又曰:钟会为司隶校尉。虽在外司,时政损益,当世与夺,无不毕综。

《晋书》曰:傅玄转司隶校尉。献皇后崩于弘训宫,设丧位。旧制,司隶于端(明)[门]外坐,在诸卿上,绝席。而入殿按本品秩,在诸卿下。以次坐,不绝席。而谒者以弘训宫为殿内,制玄位在卿下。玄恚怒,厉声色而责谒者。[谒者]妄称尚书所处,玄对百寮而骂尚书以下。御史中丞庾纯奏玄不敬,玄又自表不以实,坐免官。然玄天性峻急,不能有所容;每有奏劾,或值日暮,捧白简,整簪带,竦踊不寐,坐而待旦。于是贵游慑伏,台阁生风。

臧荣绪《晋书》曰:傅咸以议郎长兼司隶校尉。咸前后固辞,辞旨恳切。上不听,切敕使者逼就拜授。咸悲鲠伤咽,以身无兄弟,职无假,到官之日丧祭无主,重自陈乞,遂不见听。(听)[乃]于官舍设灵坐,朔望(秦)[奉]祭。咸卧病治职。时朝廷宽弛,豪右放恣,郡县容纵,寇盗充仞,攻篡囚徒,掠夺市道。交私情托,朝野溷淆。咸于是奏免河南尹,京都肃然,贵戚惮之。数月之间,三奏免选官。奏按謇谔,终无曲挠,虽不见从,有司肃然。

《晋志》曰:汉武帝初置十三州刺史各一人,又置司隶校尉,察三辅、三河、弘农七郡。

《晋诸公赞》曰：刘毅，字仲雄。为司隶，奏太尉何曾、尚书刘实父子及羊琇、张他等，所犯狼藉。司部守令事相连及，睹风投印绶者甚众，皆以为毅能继诸葛丰、盖宽饶也。

崔鸿《十六国春秋·前秦录》曰：王猛望燕师之众，恶之，谓邓羌曰："今日之事非将军莫可以捷也，成败之机在斯一举，将军甚勉之！"羌曰："若以司隶见与者，公无以为忧。"

《唐书·官品志》曰：司隶台大夫一人，正四品，掌诸巡察。其所掌六条：一察品官以上理政能不；二察官人贪残害政；三察豪强奸猾侵害下人及田宅逾制官司不能禁止者；四察水旱虫灾不以实言，枉征赋役及无灾妄蠲免者；五察部内贼盗不能穷逐，隐而不申者；六察德行、孝悌、茂才、异行隐而不贡者。每年二月乘轺巡郡县，十月入奏。

《英雄记》曰：董卓谓王允曰："欲得一快司隶校尉，谁可作者？"允曰："惟有盖勋元、周京兆耳。"卓曰："此明智有余，不可假以雄职。"

《列异传》曰：故司隶尉上党鲍子都，少时[为]上计掾，于道中遇一书生独行。时无伴，卒得心痛。子都下车为按摩，奄忽而亡，不知姓名。有素书一卷，银十饼。即卖一饼以殡，其余银及素书着腹上，咒之曰："若子魂灵有知，当令子家知子在此。今使命不获久留。"遂辞而去。至京师，有骢马随之，人莫能得近，惟子都得近。子都归行失道，遇一关内侯家。日暮住宿，见主人呼奴，通刺。奴出见马，入白侯曰："外客盗骑昔所失骢马。"侯曰："鲍子都上党高士，必应有语。"侯曰："若此，乃吾马，昔年无故失之。"子都曰："昔年上计遇一书生，卒死道中……"具述其事，侯乃惊愕曰："此吾儿也。"侯迎丧开椁，视银书如言。侯乃举家诣阙上荐子都，声名遂显。至子永、孙昱，并为司隶。及其为公，皆乘骢马，故京师歌曰："鲍氏骢，三入司隶再入公；马虽疲，行步(转)工。"

《傅咸集·叙》曰：司隶校尉，旧号卧虎，诚以举纲而万目理，提

领而众毛顺。

州 牧

《汉书》曰：何武与翟方进[共]奏曰："古选诸侯贤者以为州伯。今部刺史居牧伯之位，选第大吏，所(为)[荐]位高至九卿，所恶立退，任重职大。《春秋》之义，用贵治贱，不以卑临尊。刺史位下大夫，而临二千石，轻重不相准。请罢刺史，更置州牧，以应古制。"奏可。

《续汉书》曰：皇甫嵩领冀州牧，奏请一年租以赈饥民。民歌曰："天下乱兮，市为墟；母不保子兮，妻失夫；赖有皇甫兮，复安居。"

《吴志》曰：吕范拜扬州牧。性好威仪，州民如陆逊、全琮及贵公子，皆修敬虔肃，不敢轻脱也。其居家服饰，于时奢靡，然勤事奉法，故(欢)[权]悦其忠，不怪其侈。

又曰：《吕岱传》："廖式作乱，围城邑，零陵、苍梧、茂林诸郡骚扰。岱自表辄行，星夜兼路。权遣使追拜岱交州牧。"

《晋书》曰：张茂为凉州牧，武公轨之子也。筑灵钧台，周轮八十余堵，其高九仞。武陵人阎曾夜叩门呼曰："武公遣我来，曰：何故劳百姓而筑台乎？"姑臧令辛岩以曾妖妄，请杀之。茂曰："吾信劳人。曾称先君之令，何为妖乎？"太府主簿马魴谏曰："今世难未夷，惟当弘[尚]道业，不宜劳役崇(师)[饰]台榭。[且]比年已来，转觉众务日奢于往，每所经营，轻违雅度，实非士女所望于明公也。"茂曰："吾过也。"命止作役。

又曰：张骏为凉州牧，刑清国富，群僚劝进称凉王，领秦、凉二州牧，置公卿百官，如魏武、晋文故事。骏曰："此非人臣所宜言也。敢有言此者，罪在不赦。"然境内皆称之为王。

《北史》曰：裴侠尝与诸牧守俱谒周文，文命侠别立，谓诸牧守曰："裴侠清慎奉公，为天下之最，令众中有如侠者，可与之俱立。"

众皆默然，无敢应者。周文乃厚赐侠，朝野欢服焉，号为独立使君。

《北史》曰：后魏广阳王嘉迁司州牧，嘉表请于京四面筑坊三百二十三，各周一千二百步，乞发三正复丁以充兹役，虽有暂劳，奸盗永止。诏从之。

《后周书》曰：苏绰为六条诏书，奏施行之。太祖甚重之，常置诸座右。又令百司习诵之。其牧守令长，非通六条计帐者，不得居守。

太平御览卷第二百五十一

职官部四十九

都督　总管　都督护

都　督

《晋书》曰：杜预为都督荆州诸军事，南土美而谣之曰："后世无叛由杜翁，孰识智名与勇功。"

又曰：陶侃为都督荆、雍、益、梁四州诸军事。是时荆州大饥，百姓多饥死。侃至秋熟辄籴，至饥复价粜之，士庶欢悦，咸蒙济赖。

又曰：羊祜都督荆州诸军事。招俊以礼，怀远以德，吴人悦服，呼为羊公。

又曰：庾翼都督江、荆、益三州刺史，制度规模每出于人。数年之中，军国充实，人情翕然，称其才明。由是自河以南，皆怀归附。

又曰：陈勰为陶侃广州长史。侃梦有司马以铠与侃，勰以为司马国姓，铠者捍国之器，节下当进位。果除都督交州。

又曰：张实都督凉州，下令曰："忝继前踪，庶几刑政不为百姓之患；而比年饥旱，殆由庶事有缺。窃慕箴诵之言，以补不逮。自今有面刺孤罪者，酬以束帛；翰墨陈孤过者，答以筐篚；谤言于市者，报以羊米。"

又曰：石苞都督扬州诸军事。苞因入朝。当还，辞高贵乡公，留语尽日。既出，白文帝曰："非常主也。"数日而有成济之事。

又曰：刘胤代温峤都督江州诸军事，领江州刺史、假节。胤位任转高，放豪日甚，纵酒耽乐，不恤政事，大殖财货，商贩百万。初，胤之代峤也，远近皆谓非选。陶侃、郗鉴咸云胤非方伯才，朝廷不从。或问王悦曰："今大难之后，绳纪顿绝。自江陵至于建康，三千

余里，流人万计，布在[江州。江州，]国之南藩，要害之地，而胤以侈汰之性，卧而对之，不有外变，必有内患。"悦曰："(间)[闻]温平南语家公云，连得恶梦，思见代者。寻云可用刘胤。此乃温意，非家公也。"是时朝廷空罄，百官无禄，惟资江州运漕。而胤商旅继路，以私废公。有司奏免胤官。书始下，而为郭默所害。

又曰：王恭为都督兖、青、冀、幽并徐州、晋陵诸军事，平北将军，假节，镇京口。初，都督以北为号者，累有不祥，故桓冲、王坦之、桓彝之后，不受镇北之号。恭表让军号，以超授为辞，而实恶其名，于是改号前将军。

《北史》曰：贺兰祥除都督荆州刺史，见有发掘古冢，暴露骸骨，乃谓守令曰："此岂仁者为政耶！"命所在收藏。时夏亢阳，即日降雨。

《唐书》曰：宋璟转广州都督，仍为五府经略使。广州旧俗，皆以竹茅为屋，屡有火灾。璟教人烧瓦，改造店肆，自是无复延烧之患，夷夏怀惠，立碑以纪其政。

又曰：王方翼为夏州都督。属牛疫，无以营农，方翼造人耕之法，施关键使人推之，百姓赖焉。

总管

《后周书》曰：长孙俭为荆州总管，尝诣阙奏事。时值大雪，遂立于雪中待报，自旦达暮，竟无惰容。其奉公勤至，皆此类也。

又曰：赫连达迁大将军、夏州总管、三州五防诸军事。达虽非文吏，然性质直，遵守法度，轻于鞭挞，而重慎死罪。性又廉俭，边境胡民或馈达以羊者，达欲招纳异类，报以缯帛。主司请用官物，达曰："羊入我厨，物出官库，是欺上也。"命取私帛与之。识者嘉其仁恕焉。

《北史》曰：韦孝宽为延州总管。兄夐至州，与孝宽相见，将别，孝宽以所乘马及辔勒与夐。夐以其华饰，心不欲之，谓孝宽曰："昔

人不弃遗簪坠履者，恶与之同出而不与同归。吾之操行虽不逮前烈，然舍旧策新，亦非吾志也。"乃乘旧马以归。

《隋书》曰：元褒为原州总管。有商人为贼所劫，其人疑同宿者而执之，褒察其色宽而辞正，遂舍其人。商诣阙讼褒受金纵贼，上遣使穷治之。使者薄责褒曰："何故利金而舍盗也？"褒便即引咎，初无异词。使者与褒俱诣京师，遂坐免官。其盗寻发于他所，上谓褒曰："公朝廷旧人，位望隆重，受金舍贼非善事，何至自诬也？"曰："臣受委一州，不能息盗贼，臣之罪一也。州民为人所谤，不付法司，悬即放免，臣之罪二也。牵率愚臣，无顾刑法，不(持)[恃]文书约束，至令为物所疑，臣之罪三也。臣有三罪，何所逃责？臣又不言受赂，使者复将有所穷究，然则缧绁横及良善，重臣之罪，是以自诬。"上叹异之，称为长者。

又曰：元景山为(豪)[亳]州总管。先是，州民王回洛、张季真等聚结亡命，每为劫盗，前后牧守不能制。景山下车遂捕之，回洛、季真挺身奔江南。擒其党与数百人，皆斩之。法令明肃，盗贼屏迹，称为大治。

又曰：韦世康尝因侍宴，再拜陈让曰："臣无尺寸之功，位亚台铉。今犬马齿截，不益明时，恐先朝露，无以塞责。愿乞骸骨，退避贤能。"上曰："朕夙夜庶几求贤若渴，冀与公共治天下，以致太平。今之所请，深乖本望，纵令筋力衰谢，犹屈公卧治一隅。"于是出拜荆州总管。时天下惟置四大总管，并、扬、益三州，并亲王临统，惟荆州委于世康，时论以为美。世康为政简静，百姓爱悦，合境无讼。

又曰：韦艺迁营州总管。艺容貌瑰伟，每夷狄参谒，必整仪卫，盛服以见之，独坐满一榻。蕃人畏惧，莫敢仰视。

又曰：薛道衡，声名藉甚一时。仁寿中，杨素专掌朝政，道衡既与素善，上不欲道衡久知机密，因而检校襄州总管。道衡久蒙驱策，一旦违离，不胜悲恋，(兼)[言]之哽咽。高祖怆然改容曰："尔光阴晚暮，侍奉诚劳。朕欲令尔将摄，兼抚氓俗。今尔之去，朕如

断一臂。"于是赍物三百段，九环金带，并时服一袭，马十匹，慰勉遣之。

又曰：樊子盖转循州总管，许以便宜从事。十八年，入朝奏岭南地图，赐以良马、杂物。

又曰：令孤熙拜桂州总管十七州诸军事，许以便宜从事，刺史已下官得承制补授。给帐内五百人，赐帛五百匹，发传送其家累，改封[武]康郡公。熙至部，大弘恩信，其溪洞渠帅更相谓曰："前时总管皆以兵威相胁，今者乃以手教相谕，我辈其可违乎？"于是相率归附。先是，州县生梗，长吏多不得之官，寄政于总管府。熙悉遣之，为建城邑，开设学校，华夷感激，称为大化。

又曰：李安领行军总管，率蜀兵顺流东下。时陈人屯白沙，安谓诸将曰："水战非北人所长。今陈人依险泊船，必轻我而无备。以夜袭之，贼可破也。"诸将以为然。安率众先锋，大破陈师。高祖嘉之。

《唐书》曰：田留安拜魏州总管。刘黑之乱也，来攻州城。于时山东豪猾多杀长吏以应贼，百姓、凶人咸怀异志。凡诸守皆以心腹自卫，多所猜防。由是上下情隔，怨叛者多。留安独抚结所部，示无疑阻。凡有白事者，无间疏远，皆至卧内。谓人曰："吾与卿辈，同为国守，自宜一心，无为疑贰也。必欲弃同即异，背顺归逆，亦任卿辈斩吾头而去矣。"城中父老递相诫励子弟曰："田公以赤心相付，何得负之。"由是人情遂固。州人苑竹林者，刘黑之党也。初有异图，留安阴知之而不发其事，因引置左右，委以关钥。竹林感其意，遂归心焉。卒收其力用。

又曰：刘世让拜广州总管，将之官，高祖问以备边之策。世让答曰："突厥比数南寇者，徒以马邑为其中路耳。如臣计者，于崞城置一智勇之将，多贮金帛，有来降者厚赏赐之。数出奇兵，掠其城下，践其禾稼，败其生业。不出岁余，彼当无食，马邑不足图也。"高祖曰："非公无可任者。可驰驿至彼，善为经略。"世让于是以兵临

马邑。高满政以其地来降，突厥患之，遣曹繁陀来诣中国，言世让与可汗通谋，将为乱。由是得罪，籍没其家。及突厥来降，言世让无逆谋，始原其妻子。

都督护

《汉书》曰：宣帝时，匈奴日逐王欲降汉，使人与郑吉相闻。吉发渠犁、龟兹诸国五万人迎日逐王，吉送三千人、小王将十三人随吉至(阿)[河]曲，颇有亡者，吉追斩之，将诣京。汉封日逐王为(德归)[归德]侯。吉既破车师，降日逐，威震西域，遂并护车师以西，故号为都护。都护之置，自吉始焉。上嘉其功，乃下诏曰："都护西域骑都尉郑吉，抚循外蛮，宣明威信。封吉为安远侯。"汉之号令班于西域，始自张骞，成于郑吉也。

又曰：段会宗为人好大节，(而)[矜]功名，为西域都护，与谷永相友善。永闵其老复远出，与书戒之曰："足下以柔远之灵德，复典都护之重职，甚休！愿吾子因循旧贯，无求奇功，万里之外，以身为本。愿详思愚言。"

又曰：元帝时，甘延寿为西域都护，陈汤为副。郅支单于数困辱汉使，汤与延寿谋曰："郅支所在绝远，无金城强弩之守，如发屯田吏士，从乌孙直诣其城，可以成功。"延寿欲奏之，汤曰："国家与公卿议大策，非凡所见，必不从。"会延寿久病，汤独矫制发兵，延寿闻之欲止焉。汤怒，按剑叱延寿曰："大众已集，竖子欲(沮)[阻]众耶？"延寿遂从之，部勒行阵，益置扬威、白虎、合骑之校，张晏曰：西域阵法之名也。即日引军分行。遂斩郅支单于头送京师。延寿封茂成侯，汤封关内侯。功大赏少，为石显、匡衡所抑。

应劭《汉官仪》曰：西域都护，武皇帝始开通西域三十六国，其后稍分至五十余国，置使者校尉以领护之。宣帝神雀三年，改曰都护，秩二千石。平帝时省都护，令戊己校尉领之。

沈约《宋书》曰：初，汉宣帝置西域都护，以加骑都尉，若谏大

夫，护西域诸国。光武建武初，始有督军诸使。至献帝建安中，魏武相汉，遣大将外出督十军二十军者，始号都督。曹、袁、张、杨之徒，虽以三公假节领州郡，然无都督之号也。三国时亦有都护、中都护左右都护，将军兼督诸军，犹是旧制意也。黄初三年，上军大将曹真始都督中外诸军事，总诸军。高贵乡公正元二年，晋文帝都督中外诸军事，寻加大都督之号。太始中置小都督，江左亦时有也。吴朝镇将总兵亦曰都督，大军出为二部，则曰左、右都督。分武昌为两部，亦曰左、右部大督，其总一者，则曰大都督。又绕帐、羽林、无难之属，随事有督，无常号也。至诸葛恪以下辅政乃都督中外诸军事。蜀关羽在江陵亦督军、州，至张飞、姜维亦为中外都督，如吴、魏也。晋氏以来，宰辅任重者为中外大都督；方伯望隆者，亦如大都督之号。凡诸都督，虽军号有轻重，无假节也。

《唐书》曰：马总为安南都护。总敦儒学，长于政术，在南海累年，清廉不挠，夷獠便之。于汉所立铜柱之处，以铜一千五百斤特铸二柱，刻书唐德，以继伏波之迹。

太平御览卷第二百五十二

职官部五十

尹　少尹　留守

尹

《春秋传》曰：周公相王室以尹天下。尹，正也。

《汉书》曰：内史，周官，秦因之，掌治京师。景帝二年，分置左、右内史。武帝太初元年，更名京兆尹。张晏曰：地高曰京。《左传》曰："莫之与京。"十亿曰兆。尹者正也。秩二千石，银印、青绶、进贤两梁冠、绛朝服，佩水苍玉。

又曰：赵广汉，字子都，涿郡人也，守京兆尹。广汉为人强力，天性精于吏职。见使吏民，或夜不寝至旦。尤善为钩钜，以得事情。苏峻曰：钩得其情，吏不得去。钩钜者，设如欲知马价，则先问狗，次问羊，又问牛，然后及马，参伍其价，以类相准，则知马之贱贵不失实矣。铢两之奸，皆知之。长安少年数人会穷里空会谋共劫人，坐语未讫，广汉使捕治，具服。廉明，威制豪强，百姓追思，歌之至今。

又曰：元始五年，有一男子乘黄犊车，建黄旐、衣黄襜褕迳来。诣北闕，自谓卫太子。京兆隽不疑后到，叱从吏，使收缚之，曰："昔蒯聩违命出奔，辄距而不纳，《春秋》是之。卫太子得罪，先帝亡，不即死，今来自诣，此罪人也。"遂送诏狱，由是名声重于朝廷。在位者皆自以不及。廷尉验治，何人竟得奸诈。本夏阳人，姓成名方遂，貌一似戾太子。

又曰：张敞为京兆尹。朝廷每有大议，引古今，处便宜，公卿皆服。敞无威仪，时罢朝会，过走马章台街，或曰：在长安中(安)，在章台下街。使御史驱，自以便面拊马。又为妇画眉，长安中传张京兆眉

怃。(无)[怃],大也。孟康曰:(抚)[怃]音谢,北方人谓为妍。有司以奏,上问之,对曰:"臣闻闺房之内,夫妇之私,有过于画眉者。"上爱其能,然不得大位。为京兆尹九年,与杨恽厚,坐恽大逆诛。

又曰:张敞冬为尹,一日捕诸偷得数百人,由是市无偷盗。

又曰:王尊、王章、王骏并为京兆,有名,京师称曰:"前有赵、张,后有三王。"

《后汉书》曰:袁安为河南尹。政号严明,然未曾以赃罪鞫人,常称曰"凡学士者,高则望宰相,下则希牧守。(养)[锢]人于圣世,曰尹不忍为也。"闻之者感激自厉。在职十年,京师肃然,名重于朝廷。

又曰:张酺入为河南尹。窦景家人复击伤市卒,吏捕得之,景怒,遣缇骑侯海等五百人殴伤市丞。《说文》曰:缇,帛丹黄色也。《汉官仪》曰:执金吾有缇骑。酺部吏杨章等穷究,正海罪,徙朔方。景忿怒,乃移书辟章等六人为执金吾吏,欲固执之。章等惶恐,入白酺,愿自引赃罪,以辞景命。酺即上言其状。窦大后诏报:"自今执金吾辟吏,皆勿遣。"

又曰:杨彪迁侍中、京兆尹。光和中,黄门令[王]甫使门生于郡界辜摧官财物七千余万,《华峤书》曰:甫使门生翘辜摧解。见《灵帝纪》。彪发其奸,言之司隶校尉阳球,因此奏诛甫,天下莫不惬心。

又曰:延笃,字叔固,及边凤皆为京兆尹,并有能名。语曰:"前有张、赵,后有边、延。"张、赵即赵广汉及张敞也。

又曰:梁冀为河南尹,居职暴恣,多非法。父商所亲客洛阳令吕放,颇与商言及冀之短,商以让冀,冀即遣人于道刺杀放。而恐商知之,乃推疑于放怨仇,请以放弟禹为洛阳令。安慰放家,欲以灭口。使捕之,尽灭其宗亲、宾客百余人。

又曰:王梁为河南尹,穿渠引谷水注洛阳城下,东写巩川,及渠成而水不流。七年,有司劾奏之,梁惭惧,上书乞骸骨。

谢承《后汉书》曰:周畅,字伯时。性仁慈,为河南尹。永初二

年，夏旱，久祷无应，畅自收葬洛阳城旁客死骸骨凡万余人，应时澍雨，岁乃丰稔。

袁山松《后汉书》曰：延笃，字叔坚。南阳人也，为京兆尹，正身率下，民不忍欺。

应劭《汉官仪》曰：河南尹，所治周地也。洛阳本成周，周之衰微，分为东西周。秦兼天下，置三川洛河伊也。汉更名河南。孝武皇帝增曰太守。世祖中兴，徙都洛阳，改号为尹。尹，正也。《诗》云："赫赫师尹。"

《魏志》曰：郑浑，字文公，为京兆尹。浑以百姓新集，为制移居之法，使兼复者与单轻者相伍，温信与孤老为比，勤稼穑，明禁令，以发奸者。由是民安于农而盗息。

又曰：傅嘏，字兰石。为河南尹，内掌帝都，外统京畿，兼主六乡六遂之士。其民异方杂居，多豪门大族，商贾胡貊，天下四会，利之所聚，而奸之所生也。前尹司马[芝]举其纲而太简，次尹刘静综其纲而太(宏)[密]，后尹李胜毁常法以收一时之声。嘏立司马[氏]之纲统，裁刘氏之纲目以经纬之，李氏所毁以渐补之。郡有七百吏，半非旧也。河南俗党，五官掾功曹典选职，皆授其本国人，无用异邦人者。嘏各举其良而用之，分官曹之职，以次考核之。其治以德教为本，然持法有恒而不可犯，见理识情，狱讼不枉，榜楚而得其实。不为小惠，有所荐达及大益于民事，皆隐其端迹，若不由己出。故当时无赫赫之名，使民久而后安者也。

又曰：司马芝，字子华。为河南尹，教群下曰："盖君[能]设教，不能使吏必不犯也。吏能犯教，而不能使君必不闻也。夫设教而犯，君之劣也；犯教而闻，吏之祸也。君劣于上，吏祸于下，此政事所以不理也。可不勉之哉！"于是下吏莫不自厉。

又曰：刘馥，字子靖，出为河南尹。散骑常侍应璩以书与子靖曰："入作纳言，出临京任，富民之术，日引月长。"

王隐《晋书》曰：乐广，字彦辅，为河南尹。故郡中前多怪，后人

皆于廊下邮传中治事，无敢在厅事者，惟广处之自若。白日户自闭，二子凯、模等慑怖，广使掘墙孔得狸，(乃)[以]绝代者，乃相承入止。

又曰：庾纯，字谋甫。太始六年诏曰："河南大郡，四方表则，中书令庾纯清粹忠正，才绍治化，其以纯为河南尹。"

又曰：刘隗补丹阳尹。虽在外，而万机秘密皆预闻之。

《晋书》曰：羊曼为丹阳尹。时朝士过江初拜官，相饰供馔。曼拜丹阳尹，客来早者得佳设，日晏则渐罄，不复及精，随客早晚而不问贵贱。有羊固拜东海太守，竟日皆美，虽晚至者犹获盛馔。论者以固之丰腆，乃不如曼之真率。

《晋起居注》曰：武帝咸宁三年诏曰："河南百郡之首，其风教宜为遐迩所模，以导齐之。侍中奉车都尉王恂，忠亮笃诚，才兼外内，明于治化。其以恂为河南尹。"

《晋中兴书》云：晋天兴元年，改丹阳内史为丹阳尹。

《宋书》[曰]：刘秀之迁丹阳尹。先是，秀之从叔穆之为丹阳尹，与子弟于厅事上饮宴，秀之亦与焉。厅事柱有一穿，穆之谓子弟及秀之曰："汝等试以栗遥掷此柱，若能入穿，后必得此郡。"穆之诸子并不能中，惟秀之独入焉。

《唐书》曰：开元初，改雍州长史为京兆尹，总理众务。

又曰：郑珣瑜，出为河南尹。珣瑜既入境，官吏以逼降延日，珣瑜到即后于事，乃送所献马、赍印于路，以例告珣瑜；曰："未上官不可遽有进献。"及既上，即过时矣，遂不献。

又曰：郭英乂。时严武卒，元载荐英乂代之，遂兼成都尹，充剑南节度使。英乂到成都，肆行不轨，无所忌惮。玄宗旧宫置为道士观，内有玄宗铸金真容及乘舆、侍卫图画。先是，节度使每至，皆先拜而后视事。英乂以观地有形胜，乃入居之，其真容及图画，悉遭毁坏。见者无不愤怒。

又曰：英乂为成都尹，颇恣狂荡，聚女人骑驴击球，制钿驴鞍及

诸服用，皆侈靡装饰，日费数万，以为笑乐。未尝问百姓间事，人颇怨之。

又曰：许孟容为京兆尹。神策军吏李昱假贷长安富人钱八千贯，满三岁不偿。孟容遣吏收捕械系，克日命还之，曰："不及期当死。"自兴元已后，禁军有功，又中贵之尤其渥恩者，方得护军，故军士日益横，府县不能制。孟容刚正不惧，以法绳之，一军尽惊。冤诉于上，立命中使宣旨，令送本军，孟容系之不遣。中使再至，乃执奏曰："臣诚知不奉诏当诛，然臣职司辇毂，合为陛下弹抑豪强。钱未尽输，昱不可得。"上以其守正，许之。自此豪右敛迹，威望大震。

又曰：刘栖楚为京兆尹，摧抑豪右，不顾患难，事无大小必设钩钜，故时人重之。或称其机变，往往有类于西汉时赵广汉者。

又曰：李杰为河南尹。杰既勤于听理，每有诉列，虽衢路当食，无废处断。由是官无留事，人吏爱之。先是，河汴之间有梁公堰，年久堰破，江淮漕运不通。杰奏调发汴、郑丁夫以浚之，省功速就，公私深以为利。刻石水滨，以纪其绩。

又曰：柳仲郢为河南尹，以宽惠为政，言事者以为不类京兆之政。仲郢曰："辇毂之下，弹压为先，郡邑之治，惠养为本，何取类耶？"

又曰：苏震为太常卿。是岁东都耆老，表乞行幸，上重违其心，选勤旧勋贤为之牧守，遂以震为河南尹，兼御史中丞，仍充东都畿甸观察使。

《英雄记》曰：董卓废少帝，自公卿已下莫不卑下于卓，惟京兆尹盖勋长揖争礼，见者皆为失色。

《李燮别传》曰：燮字德公，京兆人。拜京兆尹，吏民爱敬，乃作歌曰："我府君，道教举。恩如春，威如虎。爱如母，训如父。"

《李郃别传》曰：邓骘弟豹为将作大匠。河南尹缺，豹欲得之。上及骘兄弟亦欲用，难便召拜，下诏令公卿举，骘以旨遣人讽公卿悉举豹。李郃曰："司隶河南尹，当整顿京师，检御贵戚，今反使亲

家为之，必不可为后法。"公举司隶羊浸不举豹。豹竟不得尹，恨公卿不举，对士大夫曰："李公宁能不举我，故我不得尹耶！"

《庄子》曰：孙叔敖能以爵禄为己害，故三为令尹，三去令尹，而色不变。

《语林》曰：苏峻新平，温、庾诸公以朝廷初复，京尹宜得望实，惟孔君平可以处之。孔固辞，二公逼谕甚苦。孔敖然曰："先帝大渐，卿辈身侍御床，口行诏令，孔垣尔时正琐臣耳，何与国家事不可！今日丧乱而猥见逼迫，吾俎豆上腐肉，任人割截耶！"庾愧不能答。

《说苑》曰：楚令尹子文之族干法者，廷理释之，子文责之曰："吾岂为私意耶，何廷理之驳于法也！不置刑地吾将死。"廷理惧，遂刑其人。国人闻之曰："若令尹之公也，吾党何忧！"乃相与作歌曰："子文之族，犯国法程，廷理释之，子文不听。"

《通典》曰：凡帝王所都皆曰尹，南朝曰丹阳尹，后魏初曰代尹，东魏曰魏尹，北齐曰清都尹。

扬雄《河南尹箴》曰：茫茫天区，画冀为京。商邑翼翼，四方之经。爰作卿士，以尹王州。风化攸兴，万国承流。

梁·邵陵王《让丹阳尹初表》曰：臣进非民誉，退异宗英，尸居戎号，已亲彝典，况京兆五守，西汉难追；河南二尹，东京罕继。审己循涯，自知莫可；街谈巷议，尤见不胜。

梁·庾肩吾《为南康王让丹阳尹表》曰：臣闻剑镂七星，非有司天之用；缣图五岳，宁识崇朝之云。是知策彼泥龙，不能令其逐日；乘斯流马，安可使其奔电。方今振鹭盈庭，白驹空谷，惟帝念功，惟明克允。君子之国，罕闻其让；石门之水，获免于贪。

少　尹

《唐书》曰：李憕为东京少尹。时萧胤为尹，依倚权贵，苞事多不法。憕以公直正之，人用繫赖。又道士孙甑生以左道求进，托以

修功德，往来嵩山，求请无度，愷必挫之。

《五代史·后唐书》曰：李承勋累迁至太原少尹。刘守光之僭号也，庄宗遣承勋往使，伺其璧端。承勋至幽州，见守光如藩方交聘之礼，谒者曰："燕主为帝矣，可行朝礼。"承勋曰："吾大国使人，太原亚尹，是唐帝除授。燕主自可臣其部人，安可臣我哉！"守光闻之不悦，拘留于狱，数日出而讯之曰："臣我乎？"承勋曰："燕君能臣我王，则我臣之。吾有死而已，安敢辱命！"会王师讨守光，承勋竟没于燕中。

留守

《东观汉记》曰：和帝南巡祠园庙，张禹以太尉留守北宫，太官朝夕送食。

《后汉书》曰：车驾征张步，留伏湛居守。时蒸祭高庙，冬祭曰蒸也。而河南尹、司隶校尉于庙中争论，湛不举奏，坐策免。

《吴志》曰：孙权征新城，使登居守，总知留事。时年谷不丰，颇有贼盗，乃表定科令，所以防御，甚得止奸之要。

《晋书》曰：张方劫惠帝，幸长安。仆射荀藩等与其遗官在洛阳为留台，承制行事，号为东西台。

《后魏书》曰：高祖南伐，以太尉元丕、广陵王羽留守京师，并加持节。

又曰：荀颓。大驾行幸三州，颓留守京师。沙门法秀谋反，颓率禁兵收掩毕获，内外晏然。驾还，饮至文明太后，曰："当尔之日，卿若持疑，不即收捕，处分失所，则事成不测矣。今京畿不扰，宗庙社稷安者，实卿之功也。"

《隋书》曰：杨瓒。平齐之役，诸王咸从，留瓒居守，帝谓之曰："六府事殷，一以相付重，朕将遂事东方，无西顾之忧矣。"其见亲信如此。

《唐书》曰：仪凤元年，司农卿韦弘机为东都留守。时有道士朱

钦遂为中宫所使，至都所为横恣，弘机执而囚之，因奏曰："道士假称中宫驱使，依倚形势。臣恐亏损皇明，为祸患之渐。"高宗特发中使赐书慰谕，仍云不须漏泄。

又曰：武后垂拱中，文昌右丞相苏良嗣为京留守。时尚方监裴匪躬检校京苑，将鬻苑中果菜以收其利。良嗣驳之曰："昔公仪休相鲁，犹能拔葵去织，未闻万乘之主鬻其果菜以与下人争利也。"

又曰：柳公绰为北都留守，充河东节度观察使等。是岁，北虏遣梅禄将军李畅以马万匹来市，且曰朝贡。所经过，守帅每假礼分，严其兵备。留馆则戒卒于外，惧有袭夺太原故事，亦出兵送之。畅至界上，公绰独使牙门将祖孝恭单马劳焉，待以修好之意。畅感义出涕，徐驱道中，不妄驰猎。及至关，牙门令译引谒，宴以常礼。及市马归，竟不敢有所犯。

太平御览卷第二百五十三

职官部五十一

内史　郡丞　郡参军　督邮

内　史

《史记》曰：汲黯，字长孺。公孙弘为相，乃上言曰："右内史界部中，多贵人宗室，难治，非素重臣不能任，请徙黯为内史。"数岁官事不废。

《汉书》曰：倪宽迁右内史。宽既治民，劝农业，表奏开六辅渠，六辅谓京兆、冯翊、扶风、河东、河南、河内也。定水令以广溉田。收租税，时裁阔狭，与民相假贷，以故租多不入。后有军发，右内史以负租课殿，当免。民闻，皆恐失之，大家牛车，小家担负，输租繦属不绝，课更最。上由此愈奇宽。

《晋书》曰：孔季恭为吴兴内史。吴兴频丧太守，言项羽神为祟。君居郡事，竟无害也。

又曰：王荟，字敬文。恬虚守靖，不竞荣利，少历清官，除吏部郎、侍中、建威将军、吴国内史。时年饥粟贵，人多饥死，荟以私米作馆粥以饴饿者，所济活甚众。

《梁书》曰：顾宪之为衡阳内史。先是，郡境连岁疾疫（者），死者大半，棺木尤贵，悉裹以生席，弃之路旁。宪之下车，分告属县，求其亲党，悉令殡葬。其家人绝灭者，宪之为出公禄，使纲纪营护之。又土俗，山民有病，辄云先祖为祸，皆开冢剖棺，水洗枯骨，名为除祟。宪之晓谕，为陈生死之别，事不相由，风俗遂改。时刺史王奂新至，惟衡阳独无讼者，乃叹曰："顾衡阳之化至矣。"

又曰：傅昭为安成内史。郡自宋已来，兵乱相接。郡府舍称

凶，每昏旦闻人鬼相触，在任者鲜以吉终。及昭至，有人夜见甲兵出，曰："傅公善人，不可侵犯。"乃腾虚而去。有顷，风雨忽至，飘郡厅事入隍中。自是郡遂无患，咸以昭贞正所致。

又曰：傅昭为安成内史。郡多猛兽为害，(常)[昭]乃命去槛阱，猛兽竟不为害。

又曰：殷钧，字季和，陈郡长平人也。为临川内史。钧体多疾，闭阁卧理，而百姓化其德，劫盗皆奔出境。

又曰：伏暅为永阳内史。在郡清洁，政务安静。郡人何贞秀等一百五十四人诣州言状，湘州刺史以闻。诏勘有十五事为吏人所怀，帝善之。

《隋书》曰：樊子盖为河南内史，屡有治绩，文帝谓曰："今为公别造玉麟符，以代铜兽也。"

《唐书》曰：王及善。契丹作乱，山东不安，起授滑州刺史。则天谓曰："边贼反叛，卿虽疾阖，可将妻子日行三十里，缓步至彼，与朕卧理此州，以断河路也。"因问朝廷得失及善备，陈理乱之宜十余道，则天曰："彼末事也，此为本也，卿不可行。"乃留拜内史。

郡 丞

《汉书》曰：黄霸为颍川郡守。有郡丞老，病聋，督邮欲逐之，霸曰："许丞廉吏，虽老，尚能拜起送迎，止颇重听，何伤其善？助之，无失贤者意。"

又曰：黄霸为河南太守丞。霸为人明察内敏，又习文法，为丞处职，当于法令，太守甚任之，吏民爱敬焉。

《东观汉记》曰：光武议灵台所处，上谓桓谭曰："吾欲谶决之，何如？"谭默然，曰："臣不读谶。"上问其政，谭复言谶非经。上大怒，曰："桓谭非圣无法，将下斩之！"谭叩头流血，良久乃得解，出为六安郡丞。意忽忽不乐，病卒。时年七十余。

又曰：赵典兄子温，初为京兆郡丞，叹曰："大丈夫生当雄飞，安

能雌伏?"遂弃官而去,后官至三公。

谢承《后汉书》曰:刘平为济阳郡丞,太守刘育甚重之,任以郡职。

《汉名臣奏》曰:张禹奏曰:"案令丞相奏事,司直持案,长史将簿;中二千石奏事,皆与其丞合缘。是以臣下各得心竭诚,而事公明。"

王隐《晋书》曰:范晷,字彦长,南阳人。侨居清河,仕为郡五官,后为河内郡丞。时裴叔则为河内郡,知之,为裴所伏,后为侍御史。

《隋书》曰:张须陁,为齐郡丞。属岁饥,谷米踊贵,须陁将开仓赈给,官属咸曰:"待诏敕,不可擅与。"须陁曰:"今帝在远,遣使往来,必掩岁序。百姓有倒悬之急,如待报至,当委沟壑矣。吾若以此获罪,死无所恨。"先开仓而后上状,帝知之而不责也。

又曰:王文同为恒山郡丞。有一人豪猾,每持长吏短,前后守令咸惮之。同下车,闻其名,召而数之。因令左右剡木为大撅,埋于庭,出尺余,四角各埋小撅。令其露心于木撅上,缚四支于小撅,以棒殴其背,应时溃烂。郡中大骇,吏人相视慑气。

《唐书·官品志》曰:丹阳、会稽、吴郡、吴兴及万户郡丞,并六百石。

《汝南先贤传》曰:周防,字伟公。年十六,任郡小吏。世祖巡狩汝南,召掾史试经,防尤能诵读,拜为守丞。防以未冠,请去,师事徐州刺史盖豫,明经,举孝廉,拜郎中。

《陆机集上表》曰:伏见司徒下谏议大夫张畅,除当为豫章内史丞。畅才思清敏,志节贞厉,秉心立操,早有名誉。其年时旧比,多历郡守,惟畅陵迟(自)[白]首,(未)[末]齿而佐下藩,遂蹈碎浊,于畅名实[损],居之为剧,前后未始有此。愚以为宜解举,试以近县。"诏畅既为是人所称,便差代。

郡参军

《晋书》曰：阮(子)[孚]避乱渡江，元帝以为安东参军。蓬发饮酒，不以王务萦心。

《北史》曰：卢文伟，少孤，有志尚，颇涉经史，年三十八始举秀才，除本州平北府[长]流参军，说刺史裴隽案旧迹修督冗陂，溉田万顷，人赖其利。

晋·刘弘教曰：太康以来，天下无虞，遂共尚无为，贵谈庄老，少有说事。外托论公务，内但共谈笑，今既同舟而载，安可不人人致力耶？

督 邮

韦昭《辩释名》曰：释云：督邮主诸县罚，以负邮，殷纠摄之也。

《汉书》曰：田延年为河东太守，行县在平阳，召故吏五六十人，延年皆临见，令有文者东，有武者西。阅数十人，次到尹翁归，独伏不肯起，对曰："翁归文武兼备，惟所施设。"延年召上辞问，甚奇其对，使归府，案事发奸，穷竟事情。延年大重之，徙署督邮。河东二十县分为两部，闳孺部汾北，翁归部汾南。

又曰：孙宝为京兆尹，以立秋日署故吏侯文为东部督邮。入见，敕曰："鹰隼始击，常顺天气取奸恶，以成严霜之诛，掾部讵有[其]人乎？"文曰："无其人不敢空受职。"宝曰："谁？"文曰："霸陵杜稚秀。"宝曰："更言其次。"文曰："豺狼方横道，不宜复问狐狸。"稚秀闻之，杜门不通水火，穿后墙为小户，不敢犯法。

《东观汉记》曰：赵勤，字孟卿，南阳棘人。明达好学，介然特立。太守骆珍召署曹吏至掾、督邮，太守桓虞下车，叶令雍霸及新野令皆不遵法，乃复勤督邮。到叶，见霸，不问县事，但高谈清论以激厉之，霸即陈责解印绶去。勤还，入新野界，令闻霸已去，遣吏奏记陈罪，复还印绶去。虞乃叹曰："善吏加良鹰矣！下请即中。"

又曰：虞延，陈留人。光武东巡过小黄，高帝母昭灵后园陵在焉。延为部督邮，诏呼引见，问园陵之事。延占拜可观，其园陵树蘖皆谙其数，俎豆牺牲颇晓其礼。帝善之，敕延从驾到鲁。还，经封丘城门，下小不容羽盖，上怒，使挞侍御史。延因陛见，引咎，以为罪在督邮。上诏曰："以陈留督邮虞延故，贷御史罪。"

《后汉书》曰：马援为郡督邮，送囚至司命府。王莽置司命官，上公已下皆(烈)[列]纠察。因有重罪，援哀而纵之，遂亡命北地。遇赦，因留牧畜。

又曰：陈球为繁阳令。时魏郡守讽县求赇，球不与，太守怒挝督邮，令逐球。督邮不肯，曰："魏郡十五城，独繁阳有异政，令逐之，将致议于天下。"太守乃止。

司马彪《续汉书》曰：钟离意仕郡，为督邮。县亭长受民鸡酒，府下记考之。意封还记，诣阁白"见以《春秋》责重，先内后外；政化之本，由近及远；宜先(请)[清]府内，且阔细微。"太守贤之。

谢承《后汉书》曰：会稽谢夷吾，字尧卿，为西部督邮。乌程长有罪，太守第五伦使夷吾往收之。到县，入阁便大哭，以三百钱为礼，便归。伦问其故，对曰："三十日中当死，故不收之。"至时，果如其言。

谢承《后汉书》曰：许庆，字子伯。家贫，为郡督邮。[乘]牛车，乡里号曰"辂车邮"。庆尝与友人谈论汉无统嗣，幸臣专势，世俗衰薄，贤者放退，慨然据地悲哭。时人称许子伯哭世。

又曰：闻人袭为郡督邮，行则负担，卧则无被，连麻皮以自覆，不受人食之费。

《魏志》曰：蒲宠，字伯宁，山阳昌邑人。年十八，为郡督邮，时郡内李朔等拥部曲害于平民，太守使宠纠焉。朔等请罪，不复侵掠。

又曰：高堂隆，字叔平，平阳人，鲁高堂生后也。少为诸生，太守薛悌命为督邮。督军与悌争，名悌而呵之，隆案剑叱督军曰："昔

鲁定见侮，仲尼历阶；赵弹秦筝，相如进缶。临臣名君，义之所讨也。"督军失色，悌起止之。

《列异传》曰：汝南北部督邮西平刘伯夷，有大才略，案行到惧武亭，夜宿，或曰："此亭不可宿。"伯夷乃独往宿，去火，诵《诗》、《书》五经讫。卧有顷，转东，首以絮巾结，两足以幘冠之，拔剑解带。夜时有异物稍稍转近，忽来覆伯夷，伯夷屈起以袂掩之，以带系魅。呼火照之，视得一老狸，色赤无毛。持火烧杀之。明日发视楼屋间，得魅所杀人发结数百枚。于是亭遂清静。旧说狸髡千人，得为神也。

《汉魏先贤行状》曰：故宗正南阳刘伯，字奉先。少履清节，忠亮正直，研精文学，无不综览。尝为督邮，时豫章太守虞绩以饕餮秽污，征至郡界，当就法车，不肯就坐。伯乃拔刀殴绩，绩恐就车。乃径上尚书，以肃王道。

《广州先贤传》曰：徐征，字君求，苍梧荔浦人。少有方直之行、不挠之节，颇览书传，尤明律令。延熹五年，征为中部督邮。时唐(帝)[衡]恃豪贵，京师号为唐独语。遣宾客至苍梧，颇不拘法度，征便收客郡市髡笞。乃白太守，太守大怒，收征送狱，主簿守阁曰："此人无故卖买，既侵百姓，污辱妇女。徐征上念明政，据刑申耻，今便治，郡无复爪牙之吏，后督邮当徒跣行，奉诸贵戚宾客耳。"太守答知征为是，迫不得已。

《会稽先贤传》曰：茅开，字季阖，余姚人。为督邮，平决厌众心，尝之部，历其家，不入门，当路向堂朝拜。府君益善之。

《钟离意别传》曰：汝南黄谠拜会稽太守，召意署北部督邮。时郡中大疫，黄君转署意中部督邮。意乃露车不冠，身循行病者门，入家赐与医药，诣神庙为民祷祭。其所临户四千余人。后日府君出行灾眚，百姓攀车言曰："明府不须出也，但得钟离督邮，民皆活也。"

马融《长笛赋序》曰：融既博览，又好音乐，能鼓琴吹笛。为督邮，独卧平阳邬中，有洛客舍逆旅吹笛，融闻甚悲，遂作《长笛赋》云尔。

太平御览卷第二百五十四

职官部五十二

刺史上

《汉书》曰：监察御史，秦官，掌监郡。汉省，丞相遣刺史，不常置。武帝元封五年初[置]部刺史，掌奉诏，条察州郡，秩六百石，员十三人。

又曰：刺史以六条问事，非条所问不省。一条强宗豪右田宅逾制，以强凌弱，以众暴寡。二条二千石不奉诏书遵承典制，背公向私，旁诏守利，侵渔百姓，聚敛为奸。三条二千石不恤疑狱，风厉杀人，怒则任刑，喜则任赏，烦扰刻暴，剥截黎元，为百姓所疾，山崩石裂，妖祥讹言。四条二千石选署不平，苟阿所爱，蔽贤宠顽。五条二千石子弟恃怙荣势，请托所监。六条二千石违公下比，阿附豪强，通行货赂，割剥民人。

又曰：王遵迁益州刺史。先是，琅琊王阳为益州刺史，行部至九折阪，叹曰："奉先人遗体，奈何数乘此险？"后以病去。及遵为刺史，至其坂问吏曰："此王阳所畏道耶？"吏对曰："是。"遵叱其驭曰："驱之！王阳为孝子，王遵为忠臣。"

又曰：汉家立置郡县部刺史，奉使典州，督察郡国，吏人安宁。故事，居部九岁，举守相其有异材功著者聊登擢，秩卑而赏厚，咸劝功乐进。今增秩为牧，以高第补九卿，其中材则苟自守而已。恐功效陵夷，奸轨不禁，臣请罢牧，置刺史如故。"奏可。

《东观汉记》曰：州牧刺史，汉旧官。建元元年，复置牧；十八年改为刺史，督二千石。

又曰：段颎起于徒中，为并州刺史，有功征还京师。颎乘车介士，鼓吹曲盖，朱旗骑马，殷天蔽日，连骑相继数十里。

《后汉书》曰：马严上书云："臣伏见方今刺史太守专州典郡，不务奉事尽心为国，而司察偏阿，取与自己，同则举为尤，异则中以刑法，不即垂头塞耳，采求财赂。"

又曰：郭伋为并州牧，过京师谢恩。帝即引见，并召皇太子诸王宴语终日，赏赐车马衣服什物。伋因言选补众职，当简天下贤俊，不宜专用南阳人。帝纳之。

谢承《后汉书》云：王宏迁冀州刺史。宏性刻，不发私书，不容豪族，宾客号曰"王独坐"。

又曰：李寿为青州刺史，发玺书于本县传舍，乘法驾骅骝朱轩就路，奏免四郡相，百城怖惧，悉豫弃官。

《魏志》曰：贾逵字梁道，为豫州刺史。是时，天下初复，州郡多不慑。逵曰："州本以御史出监诸郡，以六条诏书察长吏二千石已下，故其状皆言严毅、鹰扬有督察之才，不言安静、宽仁有恺悌之德也。今长吏慢法，盗贼公行，州知而不纠，天子复何所取乎？"逵到官数月，乃还，考竟其二千石以下阿纵不如法者，皆举奏免之。帝曰："逵真刺史矣。"布告天下，当以豫州为法。

又曰：张既字德容，出为雍州刺史。太祖谓既曰："君还本州，可谓衣绣昼行矣。"

又曰：吕虔字子恪，任城人也。迁徐州刺史，加破虏将军。请琅琊王祥为别驾，民事一以委之，世多其能任贤。

《晋书》曰：向雄，太始中累迁秦州刺史，假赤幢、曲盖、鼓吹。

又曰：刘卞，东平须昌人也，后为岳州刺史。昔同时为须昌小吏者百余人，祖饯之，其一人轻卞，卞遣扶出之，人以此少之。

又曰：王机入广州刺史，郭讷握节而避，机遂入城就讷求节。讷曰："昔苏武不失其节，前史以为美谈。此节天朝所假，义不相与，自可遣兵取之。"机惭而止。

又曰：石苞为徐州刺史。文帝之败于东关也，苞独全军而退，帝指所持节谓苞曰："恨不以此付卿。"

《晋阳春秋》云：胡质为荆州刺史。子威自洛阳至荆州定省，家贫，自驱驴，单行见父。停十余日，临归，质赐绢一匹为道粮，威跪拜曰："大人清高，不审安得此？"质曰："吾俸禄之余，故以为汝粮耳。"

又曰：晋武尝问威曰："卿清孰与卿父清？"威曰："臣不如也。"帝曰："何以为不如？"威曰："臣父清畏人知之，臣清畏人不知。"

陆机《晋武纪》曰：王濬之在巴郡也，梦悬四刀于其上，甚恶之。濬主簿李毅拜贺曰："三刀为州，而（见）[复]益一，明府其临益州乎？"濬果为益州刺史。

《晋中兴书》曰：荀羨字令则，为徐州刺史。时年二十，中兴方伯未有如羨少者。

《梁书》曰：夏侯详迁湘州刺史。详善吏事，在州四载，为百姓所称。州城南临水，有峻峰，旧传云："刺史登此山辄代。"是山历政莫敢至。详于其地起台榭，延僚属，以表损揖之志。

《三国典略》曰：梁太祖制以南汾州刺史韦孝宽为雍州刺史。先是，路侧一里置一土堠，经雨颓毁，每须修补。孝宽临州，乃勒部内当土堆之处，植树以代之。既免修复之劳，旋又得庇荫。太祖后见之，怪而问焉。人以状对，太祖嘉之："岂得一州独尔，当令天下同之。"于是令诸州夹道一里种一树，十里种二树，百里五树焉。

又曰：梁萧恪，字敬则，南平元襄王伟之子也。初，恪为雍州刺史，宾客有江仲举、蔡莲、王台卿、庾仲容四人，俱被接遇，并有蓄积。故樊邓歌之云："江千万，蔡五百，（正）[王]新车，庾大宅。"梁武闻而接之曰："主人愦愦不如客。"及恪还，梁武问之，恪甚惭恧。

《后魏书》曰：高阳王雍为相州刺史。帝诫曰："为牧之道，亦易亦难。其身正，不令而行，故曰是易；其身不正，虽令不从，故曰是难。"

又曰：高允为怀州刺史。允秋日巡境，问民疾苦。至郡县，见邵公庙废毁不立，乃曰："邵公之德，阙而不礼，为善者何望！"乃表闻修葺之。

又曰：李崇为并州刺史。多劫盗，崇乃村置一楼，楼悬一鼓，盗发则击之。俄顷之间，声布百里，遂多擒获。诸州鼓楼自崇始也。

又曰：南安王祯出为相州刺史。高祖饯之于[华]林都亭，诏曰："今者之集，虽曰分歧，实为曲宴，并可赋诗申意。射者可以观德，不能赋诗者，可听射也。当使武士弯弓，文士下笔。"

又曰：汝阴王子修义，字寿安，涉猎书传，高才，为高祖所知。除右将军、齐州刺史。修义以齐州频丧刺史，累表固辞。诏曰："修短有命，吉凶由人，何过致忧惮，以乖维城之寄。违凶就吉，时亦有之，可听更立廨宇。"修义于是移治东城。

又曰：毕终敬父子相代为本州，当世荣之。时终敬以老还乡，常呼其子元宾为使君。每于元宾听政之时，[乘](舆)[舆]出[至]元宾所，先遣左右敕不听起，观其断决，欣欣然喜见颜色。

又曰：邢峦征梁、汉，诸郡之民，相继而至，遂平汉中。诏曰："峦至彼，有以怀和附众，高下品第，可依义阳都督之格也。"拜峦西安、梁、秦州刺史。

《北齐书》曰：张亮，武定初拜太中大夫。薛琡尝梦亮于山上挂丝，以告亮，且占之曰："山上丝，幽字也。君其为幽州乎？"数日，亮出为幽州刺史。

《北史》曰：齐平鉴为扬州刺史。其妻生男，鉴因喜饮醉，擅免境内囚，误免关中细作二人，醒而知之，上表自劾。文宣原其罪，赐牛、羊、酒，令作乐。

又曰：慕容三藏为郭州刺史。州界连云山，响称万年者三，诏颁郡国，仍遣使醮山所。其日景云浮于上，雉兔驯坛侧。使还以闻，上大悦。

《后周书》曰：苏亮出为岐州刺史。朝廷以其牧本州，特给路

车、鼓吹，先还其宅，并给骑士三千，列羽仪游乡党，经过，故人欢饮旬日，然后入州，世以为荣。

又曰：独孤信为秦州刺史。尝因猎日暮驰入城，其帽微侧。诘旦而(更)[吏]人有戴帽者，咸慕信而侧帽焉。其为邻境及士庶所重如此。

又曰：刘雄，字猛雀。高祖尝从容谓雄曰："古人云：富贵不归故乡，犹衣锦夜游。今以卿为本州何如?"雄稽首拜谢。于是诏以雄为河州刺史。雄先已为本县令，复有此授，乡里荣之。

又曰：史宁为凉州刺史。遣使诣太祖请事，太祖即以所服冠履衣被及弓箭甲矟等赐宁，谓其使人曰："为我谢凉州。孤解衣以衣公，推心以委公，公其善始令终，无损(功)[公]名也。"

又曰：长孙俭为荆州刺史。时梁岳阳王萧詧内附，初遣使入朝。至荆州。俭于厅事列军仪，具戎服，与使人以宾主礼相见。俭容貌魁伟，音声如钟，大为鲜卑语，遣人传译以问客。客惶恐不敢仰视。日晚，俭乃著裙襦纱帽，引客宴于别斋。因序梁国丧乱，朝廷招携之意，发言可观。使人大悦，出曰："吾所不能测也。"

《三国典略》曰：周陆逞，字季明，尝为宜州刺史。故事，刺史奉辞，例备卤簿。逞以时属农要，奏请停之，制曰："逞虽未临人，已存优恤，宜遂所请，彰其雅操。"

又曰：周帝制于玉璧置勋州，以孝宽为刺史。为其立勋于此，因以名之。

又曰：贺拔岳引军西，次平凉。岳以夏州邻接寇贼，欲求良牧以镇之，众咸曰："宇文左丞，即其人也。"岳曰："宇文左丞，吾之左右手，不可废也。"沉吟累日，乃从众议表太祖为夏州刺史。

《陈书》曰：侯景平，元帝遍问朝宰曰："今天下始定，极须良才，请卿各举所知。"群臣未有对者。帝曰："吾已得一人矣。"侍中王褒进曰："未审为谁?"帝曰："欧阳颀公有匡济之才。"恐萧广州不肯致之，乃授武州刺史。

太平御览卷第二百五十五

职官部五十三

刺史下

《隋书》曰：杨尚希素有足疾。上谓之曰："蒲州出美酒，足堪养病，屈公卧治之。"于是出拜蒲州刺史。

又曰：高励拜楚州刺史，吏民安之。先是，城北有伍子胥庙，其俗敬鬼，祈祷者必以牛酒，至破产业。励叹曰："子胥贤者，岂宜损百姓。"乃告谕所部，自此遂止，百姓赖之。

又曰：张威以罪免，后从上祠泰山。至洛阳，上谓威曰："自朕之有天下，每委公以重镇，可谓推赤心矣。何乃不修名行，惟利是视？岂直孤负朕心，亦且累卿名德。"因问威曰："公所执笏，今安在？"威顿首曰："臣负罪亏失，无颜复执，谨藏于家。"上曰："可持来。"威明日奉笏以见。上曰："虽不遵法度，功效实多，朕不忘之。今还公笏。"于是复拜洛州刺史。

又曰：梁彦光拜赵州刺史。彦光言于上曰："臣前待罪相州，百姓呼为戴帽伤。臣自分废黜，无复衣冠之望，不谓天恩复垂收采。请复为相州，改弦易调，庶有以变其风俗，上答隆恩。"上从之，复为相州刺史。豪猾者闻彦光自请而来，莫不嗤笑。彦光下车，发擿奸隐，有若神明，于是狡猾之徒莫不潜窜，合境大骇。

《唐书》曰：天授二年正月，天后内出绣袍，赐新除都督、刺史。其袍皆刺绣作山形，绕山勒回文，铭曰："德政惟明，职令思平，清信忠勤，劳进躬亲。"自此每新除都督、刺史，必以袍赐之。

又曰：李择言，开元中为汉、褒、相、岐四州刺史。安德郡公所

历，皆以严干闻。其在汉州，张嘉贞为益州长史判都督事，性简贵，待管内刺史礼隔，而引择言同榻坐谈正理，时人荣之。

又曰：袁光庭者，河西戍将，天宝末为伊州刺史。禄山之乱，西北边戍兵入赴难，关、陇郡邑皆为吐蕃所拔，惟光(廷)[庭]守伊州累年。外救不至，虏百端诱说，终不屈，部下如一。及矢石既尽，粮储并竭，城将陷没，光庭手杀其妻子，自焚而死。朝廷闻之，赠工部尚书。

又曰：曹王皋上书言理道，拜为衡州刺史。坐小法，贬潮州刺史。杨炎作相，复以皋为衡州刺史。初，皋为御史覆讯，惧贻太妃忧，出则素服，入则公服，言貌如平常，太妃不知之也。及为潮州，诡词谓迁官，至是复为衡州，方具以事白太妃。因泣下，具言非疾不敢有闻。其沉密重慎如此。

又曰：贞元初，德宗以奉先县令郑珣瑜为饶州刺史，昭应县令韦武为遂州刺史，华原县令崔琮为汝州刺史，蓝田县令韦贞伯为舒州刺史，盩厔令李曾为郢州刺史。录善政也，各赐马一匹，并彩物衣服以遣之。

又曰：元和十四年十月，上欲以潮州刺史韩愈为袁州刺史。愈至潮州献上表，上对宰臣曰："昨日韩愈表，因思当时所论佛骨，大是爱我，我岂不知？然为人臣，不当言人主事佛乃年促也。我以是恶之。"是时上深欲擢用愈，候宰臣启之耳。皇甫镈素嫉愈，乃曰："终是狂疏，且与移一郡。"故有是命。

又曰：刘禹锡移授播州刺史，御史中丞裴度奏："禹锡母年八十，今播州乃猿狖所居，人迹罕至。禹锡诚合得罪，然其老母必至不得行，则须与子为死别，伤陛下孝理之风。伏请屈法，稍移近处，使得终养。"上曰："夫为人子，每事尤须修谨，常恐贻亲之忧。今禹锡所坐，更合重于他人，岂可以此论。"度不能对。上曰："我所言，是责人子之事，然终不能伤其所亲之心。"明日改授禹锡为连州刺史。

又曰：崔珙，大和七年正月拜广州刺史，兼岭南节度使。延英中谢，帝问以抚理南海之宜，珙奉对明辩，帝深嘉之。时高瑀镇徐州，承智兴之后，军骄难制，军士数犯法，上欲择威望之帅以临之，久难其才。会珙言事慷慨，谓宰臣曰："崔珙言事，神气精爽，此可以临徐人。"即以王茂先代珙镇广南，授珙检校工部尚书、徐州刺史。

又曰：张贾出守衢州。辞日，文宗谓贾曰："闻卿大善长行。"贾知上不喜博，遂自解说，乃曰："臣公事之余，聊与宾客为戏，非有所妨也。"上曰："岂谓好之而不妨事耶！"自后刺史面辞日，上必殷勤戒饬，曰："无嗜博，无饮酒。"

又曰：浑铠，瑊之子。开成初年，相拟寿州刺史，文宗曰："铠，勋臣子弟，岂可以委牧民。仲尼有言：不如多与之邑。今我念其先人之功，与之致富可也。"宰臣曰："铠常历名郡，有政能。"乃从之。

又曰：开成二年，幽州节度使史元忠奏当管八州，准门下牒追刺史古鱼各一只。臣勘自天宝末年，频有兵戈，并多失坠，伏乞各赐新铜鱼。可之。

又曰：李暠授汝州刺史。为政严简，州境肃然。与兄升、弟晕尤相笃睦，升等每月自东都省暠，往来微行，州人不之觉。其清慎如此。

又曰：孔若思为衡州刺史。先是，诸州别驾皆以宗室为之，不为刺史致敬，由是多行不法。若思至州，举奏别驾李道钦罪犯，请加鞫讯。乃诏别驾于刺史致礼，自若思始也。

又曰：萧复累迁同州刺史。时州人阻饥，有京畿观察使储廪在境内，复辄以赈贫人，为有司所劾，诏下削阶受代。亲友唁之，复怡然曰："苟利于人，敢惮薄责。"

又曰：赵昌除华州刺史，辞于麟德殿。时年八十有余，趋拜轻捷，占对详明。上退而叹异，宣令宰臣密访其颐养之道以奏焉。

又曰：咸通中卫洙奏状称："蒙恩除授滑州刺史，官号中一字与

臣家讳音同，虽文字有殊，而声韵难别，请改授闲官者。"敕曰："嫌名不讳，著在礼文，成命已行，固难依允。"

《五代史·后唐书》曰：李嗣肱，克修之子也，少有胆略。时朱温将贺德伦急攻蒗县。朱温率师五万，合势营于蒗之西；嗣肱自下博率骑三百，薄晚与贼之樵刍者相杂。日既晡，入朱温营门，诸骑相合，大噪，弓矢星发，琥阙驰突，汴人不知所为，营中大扰。既暝，敛骑而退。是夜，朱温烧营而遁，解蒗县之围，以功特授蔚州刺史。

又曰：庄宗以教坊使陈俊为景州刺史，内园栽接使储德源为宪州刺史。伶人剖符，非制也。上初平汴州，陈俊、德源皆为乐官，周匝所荐，上许之。典郡郭崇韬以为不可，遂寝。伶官言之者众，上密召崇韬谓之曰："予已许陈俊一郡，今经年未行，卿虽以正言匡谏，我每惭见二人，卿当屈意行之。"故有斯命。

又曰：前洋州节度副使程义徽、陈利见请于瀛、莫两州界起置营田以备边，因授义徽莫州刺史，充两州营田使。

《五代史·梁书》：开平四年九月诏曰："魏博管内刺史比来州务并委督邮，遂使曹官擅其威权，州牧同于闲冗，俾循通制，宜塞异端，并河南诸州例，刺史得以专达。"时议者曰："唐朝宪宗乌重裔为沧州节度史，尝称河朔六十年，能抗拒朝命者，以夺刺史权与县令职而自作威福耳！若二千石各得其柄，又有镇兵，虽安史挟奸，岂能据一墉而叛哉！遂奏以所管德、棣、景三州各还刺史职，分州兵并隶收管。是后虽幽、镇、魏三道以河北旧风自相传袭，惟沧州一道独禀命受代，自重裔制置使然也，则梁氏之更张，正合其事矣。"

《五代史》曰：晋少帝开运中，沈斌为祁州刺史。契丹自恒州驱牛羊过城下，斌乃出州兵击之，为契丹精骑刦门邀击之，州兵陷贼。赵延寿知其无兵，遂与藩贼急攻之，仍呼谓斌曰："沈使君，我故人也，择祸莫若轻！早以城降，无自辱也。"斌登城呼而报曰："侍中父子误计陷于腥膻，忍以大羊残害父母之邦，不自羞惭，反有德色。沈斌弓折箭尽，宁为国家死耳，不效公所为也。"翌日城陷，斌自杀。

《三辅决录》曰：韦康代父为凉州刺史，父出止传舍，康入官宇，时人荣之。

《桓石秀别传》曰：石秀为竟陵太守，迁江州刺史，非其志也。治称不烦，在州郡弋钓山泽，纵心游览而已。善驰射，望之若画。

《桓氏家传》云：范为兖州刺史，表谢曰："喜于复见选擢，惭于不堪所职，悲于恋慕阙廷，三者交集，不知所裁。"

黄泰《交广记》曰：秦兼天下，改州牧为刺史。朱明之时则出巡行封部，玄英之月则还诣天府表奏。刺(史)[者]，言其刺举不法。史者，使也。

《异苑》曰：晋陵韦朗，家在延陵。元嘉初，忽见庭前井中有人，长尺余，所被带、组、[甲，麾伍]相应相随出门，良久乃尽。朗兄薮颇善占筮，常云"吾子弟当至刺史"，朗历清、广二州。

《郭子》曰：王丞相治扬州廨舍，案行而言："我正为次道理此耳。"何次道少为王公所知重，故有此叹。

太平御览卷第二百五十六

职官部五十四

良刺史上

《汉书》曰：黄霸为扬州刺史。治有绩，汉宣诏赐车特高一尺，别驾主簿，缇紬屏泥于载前，以彰有德也。

又曰：朱博迁冀州刺史。博本武吏，不更文法，及为刺史行部，吏民数百人遮道自言。博驻车决遣，四五百人皆罢去，如神。吏惊，不意博临事乃至于此。

又曰：何武为扬州刺史，行部必先即学官见诸生，试其诵论得失，然后入传舍，问垦田顷亩、五谷美恶。

《东观汉记》曰：郭伋，字细侯，河南人也。在并州素结恩德，行部到西河美稷，有童儿数百，各骑竹马迎拜，伋问曰："儿曹何自远来？"对曰："闻使君到，喜，故迎。"诸儿复送到郭外，问使君何日当还，伋曰："别驾从事，计日告之。"行部还，入美稷界先期一日。伋念负诸童儿，遂止于野亭，须期乃入。

又曰：李珣为兖州刺史。所种小麦、葫麻悉付从事，一无所留，清约率下，常席羊皮布被。

《后汉书》曰：郭贺为荆州刺史。显宗巡狩到南阳，特见，嗟叹，赐以三公之服、黻黼冕旒，敕行部去襜帷，使百姓见其容服，以章有德。每所经过，吏人指以相示，莫不荣之。

又曰：贾琮为冀州刺史。旧典，传车骖驾，垂赤帷裳，迎于州界。及琮之部，升车言曰："刺史当远视广听，纠察美恶，何有反垂帷裳以相掩塞乎？"乃命御者褰之。百城闻风，自然竦震。其诸赃

过者，望风解印绶而去。

又曰：王望为青州刺史，甚有威名。是时州郡灾旱，百姓穷荒。望行部，道见饥者裸行草食五百余人，愍然哀之，因以便宜出所在布粟，给其廪粮，为作褐衣。

又曰：中平元年，交阯屯兵反，执刺史及合浦太守，自称柱天将军。灵帝特敕三府精选能吏，有司举贾琮为交趾刺史。琮到部，讯其反状，咸言赋敛过重，百姓莫不空单，京师遥远，告冤无所，民不聊生，故聚为盗贼。琮即移书告示，使安其资业，招抚荒散，蠲复徭役，诛斩渠帅为大害者，简选良吏，使试守诸县。岁间荡定，百姓以安。巷路为之歌曰："贾父来晚，使我先反；今见清平，吏不敢饭。"在事三年，为十三州最。

又曰：郭伋为并州牧。入界，所到县邑，老幼相携逢迎道路，所过，问民疾苦，聘求耆德雅俊，设几杖之礼，朝夕与参政事。

又曰：苏章为冀州刺史。故人为清河太守，章行部按其奸赃。乃请太守，为设酒肴，陈平生之好，甚欢。太守喜曰："人皆有一天，我独有二天。"章曰："今夕苏孺文与故人饮者，私恩也；明日冀州刺史按事者，公法也。"遂举正其罪。州境知章无私，望风畏肃。

又曰：张禹拜扬州刺史。当过江，行部中土，人皆以江有子胥之神，难于济涉。禹将渡，吏固请不听，禹厉言曰："子胥如有灵，知吾志在理察枉讼，岂危我哉！"遂鼓而过。历行郡邑，深幽之处莫不必到，亲录囚徒，多所明举。吏人希见使者，人怀喜悦。

又曰：杨秉迁任城相。自为刺史二千石，计日受俸，余禄不入私门。故吏赍钱百万遗之，闭门不受，以廉洁称。

又曰：谢夷吾为荆州刺史，第五伦荐之曰："受牧荆州，威行郡国，奉法作政，有周、邵之风，居俭履约，绍公仪之后。寻功简能为外台之表，听声察实为九伯之冠也。"

《续汉书》曰：种暠为益州刺史。在职三年，宣恩远夷，开晓殊俗，岷山杂落皆怀服汉德。其白狼、槃木诸国，自前刺史卒后遂绝。

禹至，乃复向化。时永昌太守铸黄金为文蛇以献梁冀，昌纠发追捕，驰传上言，冀由是衔怒。

又曰：周举为并州刺史。太原旧俗以介子推焚骸，有龙忌之禁，辄一月寒食，莫敢烟爨，老少不堪，岁岁多死者。举既到州，乃作吊书以置子推之庙，言盛冬去火，残损人命，非贤者之意，以宣示愚民，使还温食。

谢承《后汉书》曰：陈留百里嵩，字景山，为徐州刺史。境遭旱，嵩行部，传车所经，甘雨辄注。东海金乡、祝其两县，僻在山间，嵩传驷不往，二县不得雨。父老干请，嵩曲路到二县，入界即雨。

又曰：巴祗，字敬祖。为扬州刺史，在官不迎妻子，俸禄不使有余积，毁坏不复改易，以水澡傅墨用之。夜与士对坐，暗中不燃官烛。

又曰：(弟)[第]五种迁兖州刺史。中常侍单超兄子匡为济阴太守，负势贪放。种欲收举，未知所使。会闻从事卫羽素抗直，乃召羽具告之，曰："闻公不畏强御，今欲相委以重事，若之何？"对曰："愿庶几于一割。"羽出，遂驰到定陶，闭门收匡宾客亲吏四十余人，六七日中纠发其赃五六十万。种即奏匡，并以劾超。

《魏志》曰：刘馥，字元颖，沛国相人也。太祖方有袁绍之难，谓馥可任以东南之事，遂表为扬州刺史。馥既受命，单马造合肥空城，建立州治，南怀绪等皆安集之，贡献相继。南怀绪数年恩化大行，百姓乐其政，流民越江山而归者以万数。于是聚诸生，立学校，广屯田，兴治芍陂及茄陂、七门、吴塘以溉稻田，官民有畜陂塘之利，至今为用。

又曰：徐邈为凉州刺史，进善黜恶，风化大行，百姓归心焉。西域通流，荒戎入贡，皆邈勋也。

又曰：田豫护匈奴中郎将，领并州刺史。[外胡]闻其威名，相率来献。州界宁肃，百姓怀之。

又曰：陈泰为并州刺史，怀柔民夷，甚有威惠。京邑贵人多寄

宝(化)[货],因泰市奴婢,泰皆挂之于壁,不发其封,及征为尚书,悉以还之。

又曰:梁习,字子虞,为并州刺史,政治常为天下最。太和二年,征拜大司农。习在州二十余年,而居处贫穷,无方面珍物,明帝异之,礼赐甚厚。

又曰:王昶,字文舒,太原晋阳人也。迁兖州刺史,明帝即位,加扬烈将军,赐爵关内侯。昶虽在外任,心存朝廷,以为魏承秦汉之弊,法制苛碎。不大厘改国典以准先王之风,而望治化复兴不可得也。乃著《治论略》,依古制而合于时务者二十余篇。

又曰:司马朗,字伯达,河内温人也。迁兖州刺史,政化大行,百姓称之。虽在军旅,常恶衣恶食,以俭率下。

《魏略》云:裴潜为兖州时,尝作一胡床,及去,留以挂柱。

《吴志》曰:吕岱为交州刺史。历年不饷家,妻子饥乏,孙权闻之叹息,以让群臣曰:"吕岱出身万里,为国勤事,家内困而孤不早知,股肱耳目,其责安在?"于是加赐钱米绢布,岁有常限。

《晋书》曰:杜元凯为荆州人,号为杜父。旧水道,惟沿汉达江陵千数百里。君乃开阳口,起夏水,导洪洞,达巴陵,径近千里。南土美而谣曰:"后世无叛由杜翁,孰识知名与勇功。"

又曰:吴隐之为广州。州界有贪泉,父老云:"余此水使廉士变贪。"隐之先至水,酌而饮之,赋诗曰:"古人云此水,一饮重千金。若使夷、齐饮,终当不易心。"

王隐《晋书》曰:华轶为江州刺史,得江表之欢心,流亡之士赴之如归。时天子孤危,四方瓦解,轶有匡天下之志,每遣贡献入洛,不失臣节。谓使者曰:"若洛都道断,可输之琅琊王,以明吾之为司马氏也。"

又曰:山涛为冀州刺史。冀州旧名克俗,略无人士。自涛居州,搜求贤才,旌命所知三十余人,皆显名当世。冀州之士,于是为盛。

《晋阳秋》曰：刘弘字和季，与晋世祖同年，居同里，以旧恩屡登显位。弘为荆州刺史，值王室多难，得专命一方，尽其器能，推诚御下，厉以公义。每有手书发郡国，丁宁款密，故莫不感悦，颠倒奔赴，咸曰："得公一纸书，贤于十部从事也。"

曹嘉之《晋纪》云：羊暨为青州刺史，暨牛产犊，及迁，以官舍所生，遗之而去。

《晋中兴书》曰：褚裒，字季野，河南人也。弱冠，谯国桓彝见而目之曰："褚季野有皮里阳秋。"裒女即献后也。征拜侍中，迁尚书。裒以后父苦求外出，除江州刺史。莅政贞素，每崇清约，常使私僮樵采。

又曰：桓伊，字叔夏，谯国人。湛隐有武干，又善音律，为中兴第一。迁都督江州、荆州十郡、豫州四郡军事、江州刺史。伊到镇，以边境无虞，宜以宽恤为务，乃上疏："江州虚耗，加连岁不登，宜并合小县，除诸郡逋米。州治宜还豫章。"诏答移州浔阳，其余皆听。伊随宜拯抚，甚得南土清和。

《宋书》曰：陆征为益州刺史，恤隐有方，威惠兼著，寇盗静息，民物殷阜。蜀土安悦，至今称之。

《齐书》曰：临川王映为雍州刺史。尝(至)[置]钱还都买物，有献计者于江陵买货至都回换，可得微有所增。映笑曰："我是贾客耶？乃复求利。"

又曰：王琨为广州刺史。南土沃实，在任者常致巨富，世谓"广州刺史但经城门一过，便得三千万"也。琨无所取纳，表献禄俸之半。州镇旧有鼓吹，又启(翰)[输]还。及罢任，孝武知其清，问还资多少？琨曰："臣买宅百三十万，余物称之。"帝悦其对。

《梁书》曰：安成康王秀都督雍、梁、南北秦四州诸军事、雍州刺史。有疾，百姓商贾咸为请命。既薨，四州裂裳为白帽，哀哭送之。

又曰：夏侯亶，字世龙；弟夔，字季龙。并任豫州，人歌曰："我之有州，频仍夏侯；前兄后弟，布政优优。"

又曰：王神念为青、冀二州刺史。神念性刚正，所更州郡必禁止淫祠。时青、冀州东北有石鹿山临海，先有神庙，妖巫欺惑百姓，远近祈祷，糜费极多。及神念至，使令毁彻，风俗遂改。

太平御览卷第二百五十七

职官部五十五

良刺史中

《后魏书》曰：李崇为扬州刺史。先是，寿春县人苟泰有二子，三岁遇贼，亡失数年，不知所在。后见在同县人赵奉伯家，泰以状告。各言己子，并有邻证，郡县不能断。崇曰："此易知耳。"二父与儿各在别处，经禁数旬，然后遣人告之曰："君儿遇患，向已暴死，有教解禁，可出奔哀也。"苟泰闻即号啕，悲不自胜，奉伯咨嗟而已，殊无痛意。崇知之，乃以儿还泰，诘奉伯诈状。奉伯乃款引"先亡一子，故妄认之"。

又曰：李崇除兖州刺史。兖土旧多劫盗，崇乃村置一楼，楼悬一鼓，盗发之处，双槌乱击。四面诸村始闻者槌一通，次复闻者以二为节，次后闻者以三为节，各击数千槌。诸村闻鼓，皆守要路，是以盗发俄顷之间，声布百里。其中险要悉有伏人，盗窃始发，便尔擒送。诸州置楼悬鼓，自崇始也。

又曰：韦崇除南颍川太守，不好发擿细事，常云："何用小察，以伤大道？"吏民感之，郡中大治。高祖闻而嘉赏，赐帛二百匹。

又曰：崔亮为雍州刺史。城北渭水浅不通船，行人艰阻。谓寮佐曰："昔杜预乃造河梁，况此有异长河，且魏晋之日亦自有桥，吾今决欲营之。"咸曰："水浅，不可为浮桥，汎长无常，又不可施柱，恐难成立。"亮曰："昔秦居咸阳，横桥渡渭，以像阁道，此即以柱为桥。今惟虑长柱不可得耳。"会天大雨，山水暴至，浮出长木数百根。藉此为用，桥遂成立，百姓利之，至今犹名崔公桥。

又曰：任城王云为冀州刺史。云留心政事，甚得下情，于是合州民各请输绢五尺、粟伍升以报云恩。高祖嘉之。

又曰：城阳王长寿之子徽除并州刺史。先是，州界下霜，人庶逃散。徽辄开仓赈之，文武咸共谏止。徽曰："昔汲长孺，郡守耳，尚辄开仓，救人饥弊，况我皇家亲近，授委大藩，岂可拘法而不救人困也。"先给后表。肃宗嘉之。

又曰：李平，字昙定。为相州刺史，劝课农桑，修饰太学，简试通儒，以充博士，选五郡聪敏者以教之，图孔子及七十二弟子于讲堂，亲为立赞。前[来]台使颇好[侵取]，平画《履虎尾》《践薄冰》于客馆，注颂其下，以示诫焉。

又曰：韦彧为东豫州刺史。彧以蛮俗荒梗，不识礼仪，乃表立太学，选诸郡生徒于州总教，又于城北置崇武馆，以习武焉。境内清肃。

又曰：韦珍迁郢州刺史。在州有声绩，朝廷嘉之。迁龙骧将军，赐骅骝二匹、帛五十匹、谷三百斛。珍乃召集州内孤贫者，谓曰："天子以我能绥抚卿等，故赐以谷帛，吾何敢独当。"遂以所赐悉分与之。

又曰：韩麒麟除齐州刺史，假魏昌侯。麒麟在官，寡于刑罚，从事刘普庆说麒麟曰："明公杖节方夏，而无所斩戮，何以示威？"麒麟曰："刑罚所以止恶，盖不得已而用之。今民不犯法，何所戮乎？若必须斩戮以立威名，当以卿应之。"普庆惭惧而去。

又曰：李崇沉深有将略，宽厚善御众，在扬州凡经十年，养壮士数千人，寇贼侵边，所向摧破，号曰卧虎。

又曰：陆俟长子馥多智，有父风。高祖见而悦之，谓朝臣曰："吾常叹其父智过其躯，是复逾于父矣。"少为内都下大夫，出为刺史，假长广公。为政清平，抑强扶弱。州中有旧德宿老名望素重者，以友礼待之，询之政事。如此者十人，号曰"十善"。于是发奸摘伏，事无不验。百姓以为神明，无敢寇盗。征为散骑常侍，人乞

留者千余人。

又曰：崔(林)[休]为青州刺史。青州九郡民单攔、李伯徽、刘通等一千人，上书讼休德政，灵太后善之。休在幽、青五六年，皆清白爱民，甚著声绩，二州怀其德泽，百姓追思之。

又曰：任城王澄为扬州刺史。下车，封孙叔敖之墓，毁蒋子文之庙，表请复皇宗之学，开四门之教。诏从之。

又曰：阮孚拜冀州刺史，劝课农桑，境内称为慈父，邻州号曰神君。先是，州人张孟都、张洪建、马潘、崔独怜、张叔绪、崔思哲等八人，皆屯保林野，不臣王命，州郡号曰八王。孚至，皆请入城，愿致死效力。

《北齐书》曰：赵郡王叡除北朔州刺史，都督北燕、北蔚、北恒三州及库堆以西黄河以东长城诸镇诸军事。叡慰抚新迁，量置烽戍，内防外御，备有条法，大为兵民所安。有无水之处，祷而掘井，锹插裁下，泉源涌出，至今号曰"赵郡王[泉]"。

又曰：魏兰根为岐州刺史。从行台萧宝寅讨破宛川，俘其人为奴婢，以美女十人赏兰根。兰根曰："此县(分)[介]于强虏，故成背叛。今当恤其饥寒，奈何并充仆隶。"于是尽以归其父兄。部内麦多五穗，邻州田鼠为灾，犬牙不入岐土。

又曰：韩轨迁秦州刺史，甚得边和。神武巡秦州，欲以轨还，仍赐城人户别绢布两匹。州人田昭等七千户皆辞不受，惟乞留轨。神武嘉叹，乃留焉。

《北史》曰：齐任城王谐为并州刺史。时有妇人临汾川浣衣，有乘马人换其新靴驰而去者。妇人持故靴诣州言之，谐召居城诸妪以靴示之，给曰："有乘马人于路被贼劫害，遗此靴焉，得无亲属乎？"一妪抚膺哭曰："儿昨着此靴向妻家。"如其语捕获之，时称明察。

又曰：齐平览迁怀州刺史。览奏请于州西故车道，筑城以防西军，从之。寻而西魏来攻。时新筑城，粮仗未集，素乏水，南门有大

井，随汲即竭。览具衣冠俯井而祝，至旦而井泉涌溢，有异于常。

又曰：齐彭城王浟为沧州刺史。有人从幽州来，驴驮鹿脯至沧州界，脚痛行迟，偶会一人为伴，遂盗驴及脯去。明旦告州，乃令左右及府僚吏分市鹿脯，不限其价。其主见识之，推获盗者。

又曰：窦炽为原州刺史。炽挫抑豪右，申理幽滞，在州十载，甚有政绩。州城北有泉水，屡经游践，尝与僚吏宴于泉侧，因酌水自饮曰："吾在此州，惟当饮水而已。"

又曰：申微为襄州刺史。时南方初附，旧俗，官人皆通饷遗。微性廉慎，乃画杨震像于寝室以自戒。及代还，人使送者数十里不绝。微自以无德于人，慨然怀愧，因赋诗题于清水亭。长幼闻之，皆竞来读，递相谓曰："此是申使君手迹。"并写诵之。

又曰：赫连达为云州刺史，性廉俭。边境胡人或馈达羊，达欲招异类，报以缯帛，主司请用官物，达曰："羊入我厨，物出官库，是欺上也。"命取私帛与之，识者嘉其仁恕。

《三国典略》曰：贺祥为荆州刺史。祥有惠政，远近款附。梁岳阳王詧钦其清素，乃赠以竹屏风。祥难违其意，取付所司。太祖闻之，并以赐祥。

《后周书》曰：独孤信为秦州刺史。先是，守宰暗弱，政令乖方，民有冤讼，历年不能决。信在州，事无拥滞，示以礼教，劝以耕桑；数年之中，公私富实，流民愿附者数万家。太祖以其信著遐迩，故赐名为信。

又曰：达奚武之在同州也，时属大旱。高祖敕武祀华岳，而庙在旧山下。当往祈祷，武谓寮属曰："吾备位三公，不能燮理阴阳，遂使盛农之月，久绝甘雨，天子劳心，百姓惶惧，忝寄既重，忧责实深。不可同于众人，在常祀之所，必须登峰展诚，须其灵奥。"岳既高峻，千仞壁立。武年逾六十，惟将数人，攀藤援棘，然后得上。于是稽首祈请，陈百姓恳诚。晚不得还，即于岳上藉草而宿。梦见白衣人来，执武手曰："快辛苦，甚相嘉尚。"武遂惊觉，益用祗肃。至

旦，云雾四起，俄而澍雨，远近沾浹。高祖闻之，玺书慰劳。

又曰：韦瑱，字世珍。魏恭帝二年，赐姓宇文氏。三年，除瓜州刺史。[州]通西域，蕃夷往来，前后刺史，多受赂遗。胡寇犯边，又莫能御。瑱雅性清俭，兼有武略。蕃夷赠遗，一无所受。胡人畏威，不敢为寇。公私安静，夷夏怀之。

又曰：长孙俭授荆州刺史、东南道行台仆射。所部郑县令泉璨为民所讼，推理获实。俭即大集僚属而谓之曰："此由刺史教诲不明，信不被物，是我之愆，非泉璨之罪。"遂于厅事前肉袒自罚，舍璨不问。于是州城肃励，莫敢犯法。魏文帝玺书劳之。

又曰：王思政迁荆州刺史。州境卑湿，城堑多坏。思政方命都督蔺小欢督工匠缮治之。掘得黄金三十斤，夜中密送之。至旦，思政召佐吏以金示之曰："人臣不宜有私。"悉封金送上。太祖嘉之，赐钱二十万。

又曰：泉企为东雍州刺史。性清约，纤毫不扰于民。在州五年，每于乡里运米以自给。

《隋书》曰：令狐熙拜沧州刺史。时山东承齐之弊，户口簿籍类不以实。熙晓谕之，令自归首，至者一万口。在职数年，风教大洽，称为良二千石。开皇四年，上幸洛阳，熙来朝，吏民恐其迁易，悲泣于道。及熙复还，百姓出境迎谒，欢叫盈路。在州获白乌、白麞、嘉禾，甘露降于庭前柳树。

又曰：令狐熙，时上祠泰山还，(祠)[次]汴州，恶其殷盛，多有奸侠，于是以熙为汴州刺史。下车禁游食，抑工商，民有向街开门者杜之，船客于郭外星居者勒为聚落，侨人逐令归本，其有滞狱，并决遣之，令行禁止，称为良政。上闻而嘉之，顾谓侍臣曰："邺都，天下难理处也。敕相州刺史豆卢通，令习熙之法。"其年来朝，考绩为天下之最，赐帛三百匹，颁告天下。

又曰：杨达，字士达，为鄴、郑、赵三州刺史，俱有能名。平陈之后，四海大同，上差品天下牧宰，达为第一，赐杂彩五百段，加以金

帛。

又曰：慕容三藏授廓州刺史。州极西界，与吐谷浑邻接，奸宄犯法者皆迁配彼州，流人多有逃逸。及三藏至，招纳绥抚，百姓爱悦，襁负日至，吏民歌颂之。高祖闻其能，屡有劳问。其年，当州畜产繁孳，获醍醐奉献，赖物百段。

又曰：卫玄出为资州刺史，以镇抚之。玄既到官，时獠攻围大牢镇，玄单骑造其营，谓群獠曰："我是刺史，衔天子诏安养汝等，勿惊惧也。"诸贼莫敢动。于是说以利害，渠帅感悦，解兵而去，前后归附者十余万口。高祖大悦，赐缣二千匹。

又曰：郭衍为瀛州刺史，遇秋霖大水，其属县多漂没，民皆上高树，依大冢。衍亲备船筏并赍粮拯救之，民多获济。衍先开仓赈恤，后始闻奏，上大善之。

又曰：辛彦之拜隋州刺史。于时州牧多贡珍玩，惟彦之所贡并供祭之物，高祖善之，顾谓朝臣曰："人安得无学。彦之所贡，稽古之力也。"

又曰：梁彦光为岐州刺史，甚有惠政，嘉禾连[理]，出于州境。开皇二年，上幸岐州，悦其能，乃下诏曰："赏以劝善，义兼训物。彦光操履平直，识用凝远，布政岐下，恩惠在人，廉慎之誉，闻于天下。三载之后，自当迁陟，恐其匮乏，且宜旌善。可赐粟五百斛，物三百段，御伞一枚，庶使有感朕心，日增其美。四海之内，凡曰官人，慕高山而仰止，闻清风而自励。"

又曰：梁彦光为相州刺史。有涂阳人焦通，性嗜酒，事亲礼阙，为从弟所讼。彦光弗之罪，将至州学，令观于孔子庙。于是庙中有韩伯瑜母杖不痛，哀母力弱，对母悲泣之像。通遂感寤，既悲且愧，若无自容。彦光训谕而遣之。后改过励行，卒为善士。以德化人，皆此类也。

又曰：公孙景茂迁息州刺史，法令清静，德化大行。时属平陈之后，征人在路，有疾病者，景茂撤减俸禄，为馆粥汤药，分赈济之，

赖以全活者以千数。上闻而嘉之，诏宣告天下。

又曰：薛胄为兖州刺史。城东有沂、泗二水，合而南流，泛滥大泽中。胄遂积石堰之，使决，令西注，陂泽尽为良田。以通转运，利尽淮海，百姓赖之，号为"薛公丰兖渠"。

又曰：梁毗出为西宁州刺史，改封邯郸县侯。在州十一年。先是，蛮夷酋长皆服金冠，以金多者为豪俊，由此递相陵夺，每寻干戈，边境略无宁岁。毗患之。后因诸酋长相率以金遗毗，于是置金座侧，对之恸哭而谓之曰："此物饥不可食，寒不可衣。汝等以此相灭，不可胜数。今将此来，欲杀我耶？"一无所纳，悉以还之。于是蛮夷感悟，遂不相攻击。高祖闻而善之。

又曰：赵煚为冀州刺史，甚有威德。煚常有疾，百姓奔驰，争为祈祷，其得民情如此。冀州俗薄，市井多奸诈，煚为铜斗铁尺，置之于肆，百姓便之。上闻而嘉焉，颁告天下，以为常法。

又曰：蔡王智积为同州刺史，仪卫资送甚盛。顷之，以修谨闻，高祖善之。在州未尝嬉戏游猎，听政之暇，端然读书，门无私谒。有侍读公孙尚仪，山东儒士，府佐杨君英、萧德言，并有文学，时延于座，所设惟饼果，酒才三酌。家有女妓，惟年节嘉庆，奏于太妃之前。其简静如此。

又曰：公孙景茂为道州刺史。悉以秩俸买牛犊鸡猪，散惠孤弱，不自存者。好单骑巡人家，至户入，阅视百姓产业。有循理者，于都会时乃褒扬称述。如有过恶，随即训导，而不彰也。由是人行义让，有无均通，男子相助耕耘，妇女相助纺绩。大村或数百户，皆如一家之务。其后请致仕，上优诏听之。仁寿中，上明公杨纪出使河北，见景茂神力不衰，还以状奏。于是就拜淄州刺史，赐以马舆，便道之官。前后历职，皆有德政，论者称为良牧。

又曰：梁彦光为相州刺史。初，齐亡后，衣冠士人多迁关内，惟伎巧、商贩及乐户之家移实州郭。由是人情险诐，妄起风谣，诉讼官人，万端千变。彦光欲革其弊，乃用秩俸之物，招致山东大儒，每

乡立学，非圣哲之书不得教授。常以季月召集之，亲临策试。有勤学异等，聪令有闻者，升堂设馔，其余并座廊下。有[好]诤讼，惰业无成者，坐之庭中，设以草具。及大成，当举行宾贡之礼，又于郊外祖道，并以财物资之。于是人皆克励，风俗大改。

又曰：韦世康。尉迟回之作乱也，高祖忧之，谓世康曰："汾、绛旧是周、齐分界，因此乱，皆恐生摇动，今以委公，善为吾守。"因授绛州刺史，以雅望镇之，阖境清肃。

又曰：豆卢勣为渭州刺史，甚有惠政，华夷悦服，德泽流行，多致祥瑞。鸟鼠山，俗呼为高武陇，其下渭水所出。其山绝壁千寻，由来乏水，诸羌苦之。勣马足所践，忽飞泉涌出。有白乌翔止厅前，乳子而后去，又白狼见于襄武。民为之谣曰："我有丹阳，山出玉浆。济我民夷，神鸟来翔。"百姓因号其泉为玉浆泉。

太平御览卷第二百五十八

职官部五十六

良刺史下　酷刺史

良刺史下

《唐书》曰：姜谟拜秦州刺史。高祖谓曰："衣锦还乡，古人所尚，今以本州相授，用答元功。凉州之路，近为荒梗，宜弘方略，有以静之。"谟至州，抚以恩信，州人相谓曰："吾辈复见太平官府矣。"盗贼悉来归首，士庶安之。

又曰：颜游秦迁廉州刺史，封临沂县男。时刘黑闼初平，人多以强暴寡礼，风俗未安。游秦抚恤境内，敬让大行。邑里歌之曰："廉州颜有道，性行同庄老。爱人如赤子，不杀非时草。"高祖玺书劳勉之。

又曰：太宗诏朝集使刺史以上升殿，亲问之，曰："卿等在州，何以抚教？"定州刺史薛献对曰："老者国家所养，臣每存恤之；少者国家所使，臣每劝诫之。田畴荒废，渐加垦辟；礼义既行，产业咸振。此皆禀之圣化，非臣之力。"太宗曰："如公之所奏，足称循良；清净为政，朕所望于公等也。"

又曰：贾敦颐，曹州冤句人也。贞观中，历迁沧州刺史。在职清洁，每入朝，尽室而行，惟弊车一乘，羸马数匹；羁有缺，以绳为之，见者不知其刺史也。后转瀛州刺史。州界滹沱河及滱水，每岁泛溢，漂流民人。敦颐奏立堤堰，自是无复水患。

又曰：田仁会，永徽初累迁郢州刺史，以善政闻。时属亢旱，仁会自曝祈祷，竟获甘泽。其岁大熟，百姓歌之曰："父母育我田使君，精诚为人上天闻，旱田致雨山出云，仓廪既实礼义申，但愿常在

不患贫。"

又曰:《许景先传》,开元十三年,玄宗令宰臣择刺史之任,必在得人。景先首中其选,自吏部侍郎出为虢州刺史,后转岐州。

又曰:薛大鼎为沧州刺史。州界有无棣河,隋末填废,大鼎奏开之,引鱼盐于海。百姓歌之曰:"新河得通舟楫利,直达沧海鱼盐至。昔日徒行今骋驷,美哉薛公德滂被。"大鼎又以州界卑下,遂决长芦及漳、衡等三河,分泄夏潦,境内无复水灾。时与瀛州刺史贾敦颐、冀州刺史郑德本,俱有美政,河北号"铛脚刺史"。

又曰:敬晖除卫州刺史。时河北新有突厥之寇,方秋而修城不辍,晖下车谓曰:"金汤非粟而不守,岂有弃收获而缮城郭哉!"悉令罢散,由是人吏咸歌咏之。

又曰:萧定。大历中,有司条天下牧守课绩,惟定与常州刺史萧复、濠州刺史张溢为理行第一。其劝农桑,均赋税,逋亡归复,户口增加,定又冠焉。

又曰:段秀实为泾州刺史兼御史大夫,四镇、北庭行军泾原、郑颍节度使。三四年间,吐蕃不敢犯塞,清约率易,远近称之。非公会,不听乐饮酒,私室无妓媵,无赢财,退公之后,端居静虑而已。德宗嗣位,就加检校礼部尚书。

又曰:刘赞,子玄之孙,为浙西都团练判官。建中初,杨炎作相,擢为歙州刺史,以勤干闻。有老妇捃拾于丛林之间,为猛兽将噬,幼女号呼搏而救之,母子俱免。本道观察使韩滉奏为异迹,加金紫之服,累岁迁常州刺史。

又曰:李惠登。李希烈反,授惠登兵二千,镇隋州。贞元初,举州归顺,授隋州刺史,兼御史中丞。州遭李忠臣、希烈歼残后,野旷无人,惠登朴质不知学,居官无枝弃,率心为政,皆与理顺。利人者因行之,病人者因去之,二十年间,田畴辟,户口加。诸州奏吏入其境,无不歌谣其能。

又曰:韩愈为潮州刺史。既视事,询吏民疾苦,皆曰:"郡西湫

水有鳄鱼，卵而化，其长数丈，食民畜产将尽，以是民贫。"居数日，愈往视之，令判官秦济炮一豚一羊，投之湫水，咒之曰："前代德薄之君，弃楚、越之地，则鳄鱼涵泳于此可也。今天子神圣，四海之外，抚而有之。况(扬)[潮]州之境，刺史县令之所治，出贡赋以供天地宗庙之祝，鳄鱼岂可与刺史杂处此土哉？刺史受天子命令守此土，而鳄鱼悍然安溪潭，食民畜熊鹿麋豕，以肥其身，以繁其卵，与刺史争为长雄。刺史虽驽弱，安肯为鳄鱼低(手)[首]而下哉？今潮州大海在其南，鲸鹏之大，虾蟹之细，无不容，鳄鱼朝发而夕至。今与鳄鱼约，三日乃至七日，如顽而不徙，须为物害，则刺史选材伎壮夫，操劲弓毒矢，与鳄鱼从事矣！"咒之夕，有暴风雷起于湫中。数日，湫水尽涸，徙于旧湫西六十里。自是潮人无鳄患。

又曰：卢钧，开成元年为广州刺史、御史大夫、岭南节度使。南海有蛮舶之利，珍货辐凑。旧帅作法兴利以致富，凡为南海者，靡不囊载而还。钧性仁恕，为政廉洁，请监军领市舶使，己一不干预。自贞元已来，衣冠得罪流放岭表者，因而物故，子孙贫悴，虽遇赦不能自还。凡在封境者，钧减俸钱为营棺椟。其家疾病死丧，则为医药殡敛，孤儿稚女，为之婚嫁，凡数百家。由是山越之俗，服其德义，[令]不严而人化。

又曰：朱敬则为御史冉祖雍所诬，贬授庐州刺史。经数月代到，还乡里，无淮南一物，惟有所乘马一匹，诸子侄徒步而归。

又曰：许圉师转相州刺史，政宽存惠人，吏刊石以颂之。尝有官吏犯赃事露，圉师不令推究，但赐《清白诗》以激(其)[之]。犯者愧惧，遂改节为廉士。其宽如此。

又曰：齐瀚，定州义丰人。为汴州刺史。河南，[汴]为雄郡，自江、淮达于河、洛，舟车辐凑，人庶浩繁。前后牧守，多不称职，惟倪若水与瀚皆以清严为治，吏民歌之。

又曰：李勉为广州刺史兼岭南节度使观察。番禺贼帅冯崇道、桂州叛将朱济时等，阻洞为乱，前后累岁，陷没十余州。勉至，遣将

李观与容州刺史王翃并力招讨，悉斩之，五岭平。前后西域舶泛海者岁才四五，勉性廉洁，舶来都不检阅，故末年舶至者四十余。在官累年，器用车服无增饰者。耆老以为可继前朝宋璟、卢奂、李朝隐之徒。人吏诣阙请立碑，代宗许之。

又曰：杨城为道州刺史。在州以家人法待吏人，宜罚者罚之，宜赏者赏之，一不以簿书介意。道州土地产民多矮，每年常配乡户贡其男，号为"矮奴"。城不平其以良为贱，又悯其编甿岁有离异之苦，乃抗疏论而免之，自是乃停其贡，民皆赖之，无不泣荷。

又曰：尹思贞为青州刺史。境内有蚕一年四熟者，黜陟使、卫州司马路敬潜八月至州，见蚕叹曰："非善政，孰能至于此乎！"特表荐之。

又曰：马璘改怀州刺史。乘兵乱之后，其夏大旱，人吏失耕稼，璘乃务修教化，将吏有父母者，璘辄造之施敬，收瘗暴骨，去其烦苛。至秋，界中生稆谷，人颇赖之。

又曰：牛(心)[僧]孺为鄂州刺史、武昌军节度使。江夏城(容)[风]土散恶，难立垣墉，每年加版筑，赋菁茅以覆之。吏缘为奸，蠹弊绵岁。僧孺至，计茅苫板筑之费，岁十余万，即赋之以砖，以当苫筑之价。凡五年，墉皆甃葺，蠹弊永除。

又曰：皇甫无逸为同州刺史，闭门自守，不通宾客，左右不得出门。凡所货易，皆往他州。每按部樵采，不犯于人。尝夜宿人家，遇灯炷尽，人主将续之，无逸遽抽佩刀断衣带以为其炷，其廉介如此。

又曰：吕元膺为蕲州刺史，颇著恩信。尝岁终阅郡狱囚，囚有自告者曰："某有父母在，明日元正不得相见。"因泣下。元膺悯焉，尽脱其械，纵之，以为期。守吏曰："贼不可纵。"元膺曰："吾以忠信待之。"及期，无后到者，由是群盗感义，相引而去。

又曰：柳宗元为柳州刺史。土俗以男女质钱，过期则没入[钱主]。宗元革其乡法，其已没者，仍出私钱赎之，归其父母。

又曰：王仲舒为洪州刺史、江南西道观察使。江西前例，榷酒私酿法深，仲舒主镇，奏罢之。又出官钱二万贯，代贫户输税。

又曰：令孤楚，子绪以荫授官，历隋、寿、汝三郡刺史。在汝州日，有能政，郡人请立碑颂。绪以弟陶在辅弼，上言曰："臣先父元和中特承恩顾，弟陶官不因人，出自宸衷。臣伏睹诏书，以臣刺寿州日，粗立政劳，(民)[吏]民求立碑颂，寻乞追罢。臣任隋州日，郡人乞留，得上下考。此名以闻于日下，不必更立碑颂，乞赐寝停。"宣宗嘉其意，从之。

《五代史·梁书》曰：韩建为潼关防御使，兼华州刺史。河潼经大寇之后，户口流散。建披荆棘辟污莱，劝课农事，树植蔬果，出入闾里，亲问疾苦，不数年流亡毕复，军民充实。

又曰：王檀，字众美，为密州刺史。郡接淮戎，旧无壁垒，乃率丁夫修筑罗城，六旬而毕，居民赖之。

又曰：赵克裕，河阳人也。继领(毫)[亳]、郑二州刺史。时关东藩镇方为蔡寇所毒，黎元流散，不能相保。克裕妙有农战之备，复善于绥怀，民赖而获安。

《五代史·晋史》曰：相里今自羽林都虞候为忻州刺史。凡部曲私属，将吏不遣莅州邑之职，皆优其给赡，使分掌家事而已。其后累典大都，皆有声绩。

又曰：泽州奏前刺史史延韬离州，为军民遮围，不放出城，兼截下马镫，(其史)[共留]延韬，经三日后，夜开城门赴阙。

又曰：安元信历数任皆名郡也，亲族谓曰："公身俸二千石，鬓有白发，家无肥美田园，何以为子孙计？"元信曰："吾本无文经武略，遭遇先帝风云之会，继提郡印，位在亲人，平生之望过矣，每以衣食丰足为愧，安有积货治产，欲为豚犬辈后图，不亦愚乎？"闻者美之。

《英雄记》曰：幽州刺史刘虞，食不重肴，蓝缕绳履。

《华阳国志》曰：赵琰为青州刺史。有贵要属托，琰于厅事前置

大水器，发书悉投置水中，无有所报。

《益部耆旧传》曰：严遵，字(王)[正]思，为扬州刺史。行部闻路旁女子哭声不哀，问所哭者谁，对曰："夫遭烧死。"遵敕吏舆尸，到，与语，吏曰："死人自道不烧死。"摄女令人守尸，曰："当有物往。"吏曰："有蝇聚头所。"遵令披视，得铁锥贯顶，拷问以淫杀夫。

《会稽典录》曰：谢夷吾，字尧卿，山阴人。为荆州刺史，遇孝章皇帝巡狩，幸鲁阳，有诏敕夷吾入传录见囚，有亭长奸部民者，县言和奸，上意以为吏劫民何得言和。须臾，夷吾呵之曰："亭长朱帻之吏，职在禁奸，今为恶之端，何得言和？"切让长吏治亭长罪。其所决正一县三百余事，与上合。帝叹曰："使诸州刺史悉如此者，朕不忧天下矣。"迁巨鹿太守。临发，陛见，赐车马剑带，敕之曰："巨鹿剧郡，旧为难治，以君有拨烦之才，故特授任，无毁前功。"

《祖逖别传》曰：逖为豫州刺史，克己矜施，不畜资产。丧乱之余，白骨未收者，为之殡葬。其有骨肉恩薄不收敛者，皆加贬责，由是百姓感化，复睹太平。置酒大会，坐中耆老相与流涕而叹曰："吾等投老，更得父母，死将何恨？"又童谣曰："幸哉遗民免豺虎，三辰既朗遇慈父。玄酒清醪甘瓠脯，亦何报恩歌且舞。"

《陶氏家传》曰：基，字叔先，为交州刺史。始，夷人不识礼义，男女(牙)[互]相奔随，生子乃不知父。君乃教以婚姻之道，训以父子之恩，道之以礼，齐之以刑，设庠序，立学校，合境化之，莫不悦之。

《语林》曰：何公为扬州。有葬亲者乞数万钱，而帐下无有。扬州常有粝米以赈孤寡，乃有万余斛，虞存为治中面见道，帐下空素求粲。此米付帐下，何公曰："何次道义不与孤寡争粒。"

酷刺史

《续汉书》曰：侯览为益州刺史，丰富者辄诬以大罪，皆诛灭之，没入财物。

谢承《后汉书》曰：第五伦上疏褒称盛美曰："前岁诛刺史二千石贪残者，皆明圣所察，非臣下所及。"

《晋书》曰：郄隆为扬州刺史。僚属有过，辄依台阁峻制绳之，远近咸怨。

干宝《晋记》曰：荀晞为兖州刺史。姨母寡，有一子，坐小事。姨母向晞叩头，及中外皆乞活，不听。死后往哭之，甚悲，曰："杀弟者兖州刺史，哭卿者荀道将也。"

《后魏书》曰：于洛侯，代人也。以劳旧为秦州刺史，而贪酷安忍。民王富炽夺民吕胜胫[缠一具，洛侯辄鞭富炽一百，截其右腕]，无有纪极。夜常不卧，执烛达晓，呼召宾客，说人间细事，戏谑无不为。性不饮酒，惟多置肴蔬昼夜食啖而已。自旦至中，方始寝寐。

又曰：齐以斛律武都为兖州刺史。途经卫地，受绢千匹，黎阳郡守石曜手持一缣而谓之曰："此是老石机杼，聊以奉赠。自此已外，并须出于吏人。"武都知曜清素纯儒，笑而不责。

《北史》曰：齐渔阳王绍信，文襄第六子，历特进青州刺史。行过渔阳，与大富人钟长命同坐，太守郑道盖来谒，长命欲起，绍信不听，曰："此何物小人？"主人公为起，乃与长命结为义兄弟。仍与长命妻为姊妹，责其阖家长幼皆有赠贿，钟氏遂贫。

又曰：齐安德王延宗为定州刺史，于楼上大便，使人在下张口承，以猪糁和人粪以饲左右，有难色者鞭之。

《隋书》曰：库狄士文拜贝州刺史，性清苦，不受公料，家无余财。子尝啖官厨饼，士文枷之于狱，累日杖之一百，步送还京。僮隶无敢出门。所买盐菜必于外境，凡有出入皆封署其门，亲旧绝迹，庆吊不通，法令严肃，使人股战，道不拾遗，有细过必深文陷害。

又曰：库狄士文为贝州刺史。发摘奸隐，长吏尺布斗粟之赃，无所宽贷。得千余人而奏之，上悉配防岭南。亲戚相送，哭泣之声遍于州境。至岭南遇瘴疠，死者十八九。于是父母妻子惟哭士文。

士文闻之，令人捕捉，挞捶盈前，而哭者弥甚。

又曰：赵仲卿拜石州刺史。法令严猛，纤微之失无所容舍，鞭笞长吏辄至二百。官人战栗，无敢违犯者；贼屏息，皆称其能。

《唐书》曰：杨德干，高宗末历泽、齐、汴、相四州刺史，治有威名。郡人为之语曰："宁食三斗蒜，不逢杨德干。"

太平御览卷第二百五十九

职官部五十七

太　守

《论语》子路曰：善人为邦百年亦可以胜残去杀矣。善人居中不践迹，不入室也。此人为政不能早有成功，百年乃能无残暴之人。

《史记》曰：万石君[名]奋，其父赵人也，姓石氏。奋长子建，次子甲，次子乙，官皆至二千石。于是景帝曰："石君及四子皆二千石，人臣尊宠乃集其门。"号奋为万石君。孝景季年，万石君以上大夫禄归老于家。以岁时为朝臣。过宫门闕，万石君必下车趋。见路马必式焉。

又曰：杜周为御史大夫，家两子，夹河为守。

《汉书》曰：郡守，秦官也，常治其郡，秩二千石，有丞。边郡又有史掌兵马，秩皆六百石。景帝中[元]二年更名太守。

又曰：季布为河东太守。孝文时，人有言其贤，召欲以为御史大夫。又言其勇，使酒难近。至，留邸一月，见罢。布进曰："臣待罪河东，陛下无故召臣，此人必有以臣欺陛下者。今臣至，无所受事，罢去，此人必有毁臣者。夫以一人誉召臣，一人毁去臣，臣恐天下有识闻之，有以窥陛下。韦昭曰：窥见陛下深浅也。上默然，惭曰："河东吾股肱郡，故特召君耳。"

又曰：严助，会稽人也。上问所欲，对曰："愿为会稽太守。"在郡数年，不闻问。上赐诏书曰："君厌承明之庐，石渠门外。劳侍从之事，怀故土，出为郡。间者阔焉，久不闻问。"助惶恐，上书谢曰："臣事君犹子事父，臣当伏诛。愿奉二年计最。"如淳曰：旧法，当使丞奉岁计

躬自欲入奉之也。最，凡要也。

又曰：朱买臣，字翁子。拜会稽太守。上谓买臣曰："富贵不归故乡，如衣锦夜行，今子何如？"买臣顿首辞谢。买臣衣故衣，怀其印绶，步归郡邸。时会稽吏方相与群饮，不视买臣。买臣入室中，守邸与共食，且饱，少见其绶。守邸怪之，前引其绶，又视其印，会稽太守章也。守邸惊，出相语上计掾吏。皆醉，大呼曰："妄诞耳！"守邸曰："试来视之。"其故人素轻买臣者入内视之，还走，疾呼曰："实然！"座中惊骇，丞守相推，排陈列庭中拜谒。

又曰：龚胜，楚人也。哀帝以胜守右扶风，数月，上知胜非拨烦吏，迁胜光禄卿。

《东观汉记》曰：彭宠，字伯通，南阳宛人也。父容，哀帝时为渔阳太守，有名于边，容貌饮食绝众。是时，单于来朝，当道二千石皆选容貌饮食者，故容徙为云中太守。

又曰：冯勤，字伟伯。曾祖扬宣帝时为弘农太守，生八男皆典郡赵魏间，号为"万石诸冯"。至是世至二千石。

《汉杂事》曰：蒋满为上党，其子万为北地都尉，同诏征见，宣帝曰："父子剖符耶！"即诏满为淮阳相，万为弘农守。

《后汉书》曰：郅恽再迁长沙太守。先是，长沙有孝子古初，遭父丧未葬，邻人失火，初匍匐柩上，以身扞火，火为之灭。恽真异之，以为首举。

又曰：任延为武威太守。帝亲见，戒之曰："善事上官，无失名誉。"延对曰："臣闻忠臣不私，私臣不忠。履正奉公，臣子之节；上下雷同，非陛下之福。善事上官，臣不敢奉诏。"帝叹息曰："卿言是也。"

又曰：桥玄为上谷太守。上邽姜岐，守道隐居，名闻西州。玄召以为吏，称疾不就。玄怒，敕督邮尹益逼致之，曰："岐若不至，趣嫁其母。"趣，音促。益固争不能得，遽晓譬岐。岐坚卧不起。郡内士大夫亦往谏，玄乃止。时颇以为讥。

《汉官解诂》云：太守专郡，信理庶绩，劝农赈贫，决讼断辟，兴利除害，检察详奸，举善黜恶，诛杀暴残者也。

《魏志》曰：贾逵，字梁道。太祖征马超至弘农，曰："此西道之要，以逵领弘太守。"召见计事，大悦之，谓左右曰："使天下二千石悉如贾逵，吾何忧也。"

又曰：刘靖，馥之子也，黄初中迁庐江太守。诏曰："卿父昔为彼州，今卿复为此郡，可谓能克负荷者也。"

又曰：曹仁，字子孝。太祖征吕布，仁别攻句阳，拔之，数有功，拜广阳守。太祖器其勇略，不使之郡。

《蜀志》曰：法正，字孝直。先主以正为蜀郡太守、扬武将军，外统都畿，内为谋主。一餐之德，睚眦之怨，无不报复，擅杀毁伤己者数人。或谓诸葛亮曰："法正于蜀郡太纵横，将军启主公，抑其威福。"亮答曰："主公之在公安也，北畏曹操之强，东惮孙权之逼，近则虑孙夫人生变于肘腋。当斯之时，进退狼跋，法孝直为之辅翼，令翻然翱翔，不可复制，如何禁法正使不得行其意也！"

又曰：刘琰，字威硕，鲁国人也。先主在豫州，辟为从事，以其宗姓，有风流，善谈论，厚亲待之，遂随从周旋，常为宾客。先主定益州，以琰为固陵太守。

《吴志》曰：士燮为交阯太守。中国士人往依避难者以百数。耽玩《春秋》，为之注解。陈国袁徽与尚书令荀彧书曰："交阯士府君既学问优博，又达于从政，处大乱之中，保全一郡，二十余年疆埸无事，民不失业，羁旅之徒，皆蒙其庆，虽窦融保河西，曷以加之？"

又曰：周鲂。黄武中鄱阳大帅彭绮作乱，攻没属城，（及）[乃]以鲂为鄱阳太守，与胡综等戮力攻讨，遂生擒绮，送诣武昌。

又曰：陆绩，字公纪。孙权统事，辟为奏曹掾，以直道见惮，出为郁林太守。

《晋书》曰：桓玄出补义兴太守，郁郁不得志。尝登高望震泽，叹曰："父为九州伯，儿为五湖长！"弃官归国。

又曰：辛恭靖，陇西狄道人也。少有器干，才量过人，隆安中为河南太守。会姚兴来寇，恭靖固守百余日，以无救而陷，被执至长安，兴谓之曰："朕将任卿以东南之事，可乎！"恭靖厉色曰："我宁为国家鬼，不为羌贼臣。"兴怒，幽之别室。经三年，至元兴中，诳守者乃逾垣而遁，归于江东。

又曰：郑冲为陈留太守。冲以儒雅为德，莅职不为干局之誉，而箪食缊袍，不营资产。世以此重之。

又曰：刘世智，字子房。贞素有（实）兄风。少贫窭，每负薪自给，读书不辍，竟以儒行称。历吏部郎，出为颍川太守。平原管辂尝谓人曰："吾与刘颍川兄弟语，使人神思清发，昏不暇寐。自此之外，殆白日欲寝矣。"

又曰：刘胤。王敦请为右司马。胤知敦有不臣心，枕疾不视事，以是（悞）[忤]敦意，出为豫章太守，辞以脚疾，诏就家授印绶。郡人莫鸿，南土豪族，因乱，杀本县令，横恣无道，百姓患之。胤至，诛鸿及诸豪右，界内肃然。

《晋起居注》：太康八年诏曰："昔先王御俗，以兴至治，未有不先成民事者也。汉宣识其如此，是以叹息。良二千石，今欲皆先外郡，治民著绩，然后入为常伯纳言及典兵宿卫、黄门散骑、中书郎。

《晋书·吕光载记》曰：吕纂克金城太守卫鞬，鞬瞋目谓光曰："我宁守节断头，不为降虏也。"光义而免之。

沈约《宋书》曰：羊玄保为黄门郎，善弈棋，棋品第三。太祖亦好棋，数蒙引见，嘉其温谨。与太祖赌郡戏，胜以补宣城太守。

《齐书》曰：王敬则迁吴兴太守。郡旧多剽掠，有十数小儿于路取遗物，敬则杀之以徇，自此路不拾遗物，郡无劫盗。又录得一偷，召其亲属于前鞭之，令偷身长扫街路，久之乃令偷举旧偷自代，诸偷恐为所识，皆逃走，境内以清。

又曰：刘善明，太祖践祚，以善明勋诚，欲与善明禄，召谓之曰："淮南近畿，国之形胜，自非亲贤，不使居之。卿为我卧治也！"代高

宗为征虏将军，淮南、宣城二郡太守。

又曰：张岱。时新安王子鸾以盛宠为南徐州，割吴郡属焉。高选佐吏，孝武帝召岱谓之曰："卿美望夙著，[兼资宦已多。]今欲用卿为子鸾[别驾]，总刺史之任，无谓小屈，终当大伸也。"

又曰：王敬则为吴兴太守，入乌程，从市过，见屠肉枅，结㮚反。叹曰："吴兴昔无此枅，是我少时在此作也。"召故人饮酒，说平生不以屑也。

《南史》曰：谢超宗有高名，齐高帝以超宗为义兴太守。升明二年，坐公事免。诣东府，门自通。其日风寒，高帝谓四坐曰："此客至，使人不衣自暖矣。"

《三国典略》曰：王庆籍为京兆太守。太祖以其精勤，赍以紫袍及绫裘一袭，谓百官曰："王庆籍一世清人也。"

又曰：阴铿为招远将军、晋陵太守。铿尝与宾友宴饮，见行觞者因回酒矣，以授之，众坐皆笑。铿曰："吾侪终日酣酒，而执爵者不知其味，非人情也。"及侯景之乱，铿尝为贼所擒，或救之获免。铿问其故，乃前所行觞者。

《梁书》曰：刘之遴为南郡太守。初，之遴在荆府，常寄居南郡廨，忽梦前太守袁彖谓曰："卿后当为折臂太守，则居此中。"之遴后果折臂，遂临此郡。

又曰：谢朏，字敬仲。齐时为义兴太守，加秩二千石。[在郡]不省杂事，悉付纲纪，曰："吾不能作主者[吏]，但(吏)能作太守耳。"

又曰：任昉为吴兴太守，清洁友人。到溉与弟洽，从昉为山泽游。被代而还，无衣，沈约遗裙衫迎也。

又曰：范缜为宜都太守。性不信鬼神，夷陵有伍相庙，唐汉三神庙，胡里神庙，缜乃下教断不祠。

《后魏书》曰：房士达，永安末转济南太守。士达不入京师，而频为本州郡，时人荣之。

又曰：崔休为渤海太守。时大儒张吾贵有盛名于山东，四方学士咸相宗慕，弟子自远而至者常千余人。生徒既众，所在多不见容。休乃为设俎豆，招延礼接，使肄业而还，儒者称为口实。

又曰：卢道将为燕郡太守。道将下车，表乐毅、霍光之墓，而为之立祠。

又曰：房幼愍。安丰、新蔡二郡太守坐事夺官，居家，忽闻有客声，出无所见。还至庭中，为家群犬所噬，遂卒。

《北史》曰：宋钦道仕齐，历位中山太守。长于抚接，然好察细事。其州府佐吏使民间者先酬钱，然后敢食。临莅处称为严整。

《后周书》曰：卢光为京兆太守。先是，舍数有妖怪，前后郡将莫敢居者，光曰："吉凶由人，妖不妄作。"遂入居之。未几，光所乘马忽升厅事，升床南首而立，又食器无故自破。光并不以介怀。其精诚守正如此。

《唐书》曰：崔玄亮，清慎介独，自登朝，行不乐趋竞。历御史、尚书，密、湖、曹三部守。每一迁秩，谦让辄形于色。

又曰：李暠守太原。旧俗有僧徒以习禅为业，及死不敛，但舆尸送近郊以饲鸟兽。如是积年，土人号其地为"黄坑"。坑侧有饿犬千数，食死人肉，因侵害幼弱，远近苦之，前后官吏不能禁止。暠到官，申明礼宪，期不再犯，乃发兵捕杀群狗，其风遂革。

《三辅决录》曰：马援诫兄子书："庞伯高敦笃周慎，口无择言，吾爱之重之，愿汝曹效之。"世祖见援书，即擢为零陵太守。在郡四年，甚有治化。

《文士传》曰：文帝亦亲阮籍，常与谈戏，任其所欲，不迫以职事。籍常从容言昔曾游东平，乐其土风，愿得为东平太守。文帝大悦，即从其意。籍便乘驴往之，至郡皆坏府舍诸壁鄣，使内外相望，教令清当。十余日，便复乘驴而去。

《楚国先贤传》曰：耒阳胡绍，字伯藩，年十八为郡门下干，迎太守许荆。荆足中风，使绍抑之。绍视荆蹠音跖。下而笑，荆怒问之，

绍曰："见明府踯下黑子，绍亦有之，欣而故笑。"荆视之，果有黑子。令其从学，学八年，遂为九真、零陵二郡太守。

《华阳国志》曰：赵瑶字元珪，弟琰字稚珪。瑶兄弟皆以令德著闻。瑶少有公望，迁扶风太守，徙为蜀郡，司空张温谓之曰："第五伯鱼从蜀郡入为司空，吾今扫(弟)[第]以待足下矣。"

《西京杂记》曰：朱买臣为会稽太守。怀章、绶还至舍亭而国人未知也。所知钱勃见曝露乃劳之曰："无罢乎？"遗以纨扇。买臣至郡，引为上客，寻迁为掾吏。

《韩子》曰：李悝为魏文侯上地之守，而欲人之善射，乃下令曰："民有狐疑之讼者，令之射杓，中之者胜，不中者负。"令且下而人皆习射，日夜不休。及与秦战，大败之，以民之善射也。

《风俗通》曰：蜀郡任嘉，年三四岁时，父腾为诸生，于汉中就师。有盗贼，道路断绝，蜀亦覆没，客转长沙为州郡吏。后嘉为长沙太守，腾为奏曹掾，默知嘉实其子。一日，嘉母语次谓嘉曰："奏曹任掾则汝父也，但差老耳。"嘉曰："天下岂独有一任，夫人何以老更生邪意？"母曰："咄！我尚守养汝数十年无嫌讥，岂以垂没更失计哉！顾实真父，不可弃捐。"后，嘉问掾声音何类太守，何州里耶，掾曰："本犍为武阳人，蓬转流宕到此。"母察审谛，又识左耳前赘，因出抱持，对之流涕。嘉自拔榻，嘘欷哽咽。

《世说》曰：爰综为新安太守。南界有刻石，爰至其下宴。有人于石下得剪刀者，众咸异之，主簿对曰："昔长沙桓王尝饮饯孙洲，父老云：此洲狭而长，君当为长沙。事果应。夫三刀为州，今得交刀，君亦当为交州。"后果作交州。

《世语》曰：荆州刺史裴潜以南阳周泰为从事，使诣司马宣王。宣王知之，辟泰。泰九年居丧，留缺(行)[待]之，后三十六日擢为新城太守。宣王为大会，使尚书钟毓嘲之曰："君释褐登宰府，三十六日拥麾盖，守兵马，典郡，乞儿乘小车，一何快耶！"泰曰："君贵公之子，故守吏职，猕猴骑土牛，一何迟也。"

《潘尼赠二李郎诗序》曰：元康六年，尚书吏部郎汝南李光彦迁汲郡太守，都亭侯江夏李茂曾迁平阳太守。此二子皆弱冠知名，历职显要，旬月之间，继踵名郡，离俭剧之勤，就放旷之逸，枕鸣琴以俟远，致离别之际，各斐然赋诗。

太平御览卷第二百六十

职官部五十八

良太守上

《汉书》曰：黄霸，字次公，淮阳人也。为颍川太守，咸称神明，奸人去入他郡，盗贼日少。霸力行教化而后诛罚；霸以外宽内明得吏民心。是时凤皇神雀数集郡国，颍川尤多。天子下诏称扬曰："颍川太守霸，养视鳏寡，赡助贫穷，狱或八年无重罪囚，可谓贤人君子矣。《书》不云乎？股肱良哉！元首明哉！其赐霸爵关内侯，黄金百斤。"

又曰：文翁，庐江人也。少好学。景帝末年为蜀郡太守，仁爱好教化。见蜀地僻陋有蛮夷风，文翁欲诱进之，乃选郡县小吏开敏有才者张叔等十余人，亲自饬厉，遣诣京师受业，蜀地学于京师者比齐鲁焉。

又曰：龚遂，字少卿，山阳人。宣帝问遂曰："渤海废乱，朕甚忧之。君何以息其盗贼，以称朕意？"遂曰："海滨遐远，不沾圣化，其民困于饥寒而吏莫恤，今欲使臣胜之邪？将安之？"上曰："选用贤良，固欲安之。"遂曰："臣闻治乱[民犹治乱]绳，不可急。惟缓之，然后可治。愿丞相御史无拘臣以文法，得一切以便宜从事。"上许焉。遂单车独行至府，郡中翕然，盗贼亦皆罢毙。民有带持刀剑者，使(买)[卖]剑买牛，卖刀买犊，曰："(所谓)[何为]带牛而佩犊乎！"

又曰：朱博迁琅邪太守。齐俗舒缓养名，博新视事，右曹掾史皆移病卧。博问，对言："惶恐！故事二千石新到，辄遣吏存问致

意，乃敢起就职。"博奋髯抵几曰："观齐儿欲以此为俗耶！"乃召见诸曹吏书佐及县大吏，选其可用者，出教署之。皆斥罢诸病吏，郡中大惊。又敕功曹："官属多褒衣大袑，袑，音绍，谓大袴也。不中节度，自今掾史衣皆令去地三寸。"

又曰：尹翁归，字子况，为东海太守。郡中吏人贤不肖及奸邪，尽知之，东海大治。以高第入守右扶风，满岁为真。政虽任刑，其在公卿之间，清洁自守，语不及私，温良廉退，不以行能骄人，甚得名誉于朝廷。

又曰：薛宣，字贡君。东海太守左冯翊满岁称职。宣为吏赏罚明，用法平而必行，所居皆有条教可纪，多仁恕爱利。爱人而安利之。

又曰：朱邑，字仲卿，庐江人。少时为舒桐乡啬夫，廉平不苛，以爱利为行，未尝笞辱人，存问孤寡，遇之有恩，所部吏民爱敬焉。迁北海太守。

又曰：赵喜，字伯阳，为平原太守。后青州大蝗，入平原界辄死。岁屡有年，百姓歌之。

又曰：汲黯为东海太守，治官好清静，择丞史任之，责其大指而已。黯素多病，卧阁内不出。岁余，东海大治。召为淮阳太守，黯辞之，上曰："君薄淮阳耶？吾欲得君卧而治之。"乃行。

又曰：王尊为中郡太守。河溢堤坏，尊执珪，请以身填金堤，而水稍却。

又曰：王尊，字子贡，涿郡人也。为安定太守。到官，出教告属县曰："令长丞尉，奏法守城，为民父母，御强扶弱，宣恩广泽，甚劳苦矣。太守以今日至府，愿诸君自勉正身。"

又曰：冯立，字圣通。以[父]任为郎，迁五原太守，徙西河、上郡。立在职公廉，治行略与兄野王相似，而多知，有恩贷，好为条教。吏人嘉美野王、立相代为太守，人歌之曰："大冯君，小冯君，兄弟继踵相因循，聪明贤智恩惠民，政如鲁、卫德化均，周公、康叔犹二君。"后迁为东海太守，（土）下湿病痺。天子闻之，徙太原太守。

更治五郡，所居有迹。

又曰：韩延寿，字长公，燕人。为淮阳太守，治甚有名。徙颍川，多豪强，难治。延寿教以礼让，令文学校官诸生冠皮弁执俎豆，为吏民行丧娶礼，百姓遵用其教。徙为东郡太守，吏无追捕之苦，人无捶楚之忧，皆便安之。接待下吏，恩施甚厚。入守左冯翊，行县至高陵，民有昆弟相与讼田，延寿大伤之，曰："幸得为郡，不能宣明教化，至令民有骨肉争讼，既伤风化，咎在冯翊，当先退。"是日称病不听事，因入卧传舍，闭阁思过。于是讼者宗族传相责让，此两昆弟皆自髡肉袒谢，终死不敢复争。延寿恩信周遍二十四县，莫敢复以辞讼自言者。[推]其志诚，吏民不忍欺。

又曰：邵信臣，字翁卿，九江寿春人也。以明经甲科为郎，超为零陵太守，病归。复征为谏议大夫，迁南阳太守。躬劝耕农，开通沟渠，为民作均水约束，刻石立于田畔，以防[分]争。吏民亲爱之，号曰邵父。荆州刺史奏信臣为百姓兴利，郡以殷富，赐黄金四十斤。迁河南太守，治行常为第一。

又曰：班伯为定襄太守。定襄闻伯素贵，年少自请治剧，畏其下车任威，吏民竦息。伯请问耆老父祖有故人旧恩者，延之满堂。日为供具，执子孙礼，诸所宾礼皆名豪，怀恩醉，共谏伯曰："宜颇摄录盗贼。"具言本谋亡匿处，伯曰："是所望于父师矣。"乃召属县长吏选精进掾史分部收捕，旬日尽得，郡中震慑，咸称神明。

又曰：萧育，字次君。哀帝时，南郡多盗贼，拜育为南郡太守。上以育耆旧名臣，乃以三公使车载育入殿中受策，使车，三公奉使之车也，如安车。加赐黄金二十斤。育至南郡，盗贼断绝。

《东观汉记》曰：杜诗，字君公，为南阳太守。性节俭而治清平，以诛暴立威信，善于计略，省爱民役，造作水排，铸为农器，用力省，见功多，时人方于邵信臣。故南阳人为之语："前有邵父，后有杜母。"

又曰：马援，字文渊，扶风人。为陇西太守。务开宽信恩以待

下，任吏以职，但总大体而已。宾客故人，日满其门。诸曹时白外事，辄曰："此丞、掾任，何足相烦。若大姓侵小民，黠羌欲旅距，此乃太守事耳。"

又曰：朱晖，字文秀，再迁临淮太守。晖好节概，有所拔用，皆厉行之士。吏民畏爱，谓之歌曰："强直自遂，南阳朱季；吏畏其威，民怀其惠。"

又曰：祭彤为辽东太守。彤之威声扬于北方，胡夷皆来内附，野无风尘，乃悉罢缘边屯兵。及彤卒，乌桓、鲜卑追思无已。每朝京师，过彤冢拜谒，仰天号泣乃去。

又曰：张堪，字君游。迁渔阳太守，教民耕种，百姓殷富。童谣曰："桑无附枝，麦穗两歧；张君为政，乐不可支。"视事八年，匈奴不敢犯塞。

又曰：第五伦，字伯鱼，为会稽太守。性节俭，虽身居二千石位，常蔬食布衣，妻自炊爨。初，代到，当发，百姓老小阗府门，攀车叩马，啼呼曰："舍我何之？"其得人心见爱如此。

又曰：郭伋为颍川太守，辞去，之官，光武诏曰："郡得贤能太守，去帝城不远，(何)[河]润九里，冀京师并蒙其福也。"

又曰：秦彭迁山阳太守。时山阳新遭地动，后饥旱，谷贵，米石七八万，百姓穷困。彭下车，经营劳来，为民四诫，以父母夫妻兄弟长幼之序，择民能率众以为乡三老，选乡三老为县三老，令与长吏参职。崇儒雅，贵庠序，上德化。春秋飨射，升降揖让，务以礼示民，吏民畏爱，不敢欺犯。

又曰：侯霸，字君房，为临淮太守，治有能名。及王莽之败，霸保固[自]守，卒全一郡。更始元年，遣使征霸，百姓老弱相携，号哭遮使者车，或当道而卧。皆曰："乞侯君复留。"民乃诫乳妇勿得举子，侯君当去，必不能全。使者虑霸就征，临淮必乱，不敢授玺书而具以状闻。

又曰：耿纯，字伯山，巨鹿人。请治一郡，尽力自效。上笑曰：

"卿乃欲以治民自效。"乃拜纯为东郡太守。后坐事免。上过东郡，数千人号呼涕泣云："愿复得耿君。"上复以纯为东郡太守。

又曰：王阜为益州太守。边郡吏多放纵，阜以法绳正，吏民不敢犯禁，政教清静，百姓安业。甘露降，白乌见，连有瑞应，世谓其持法平、政宽慈有化所致。

又曰：魏霸为巨鹿太守。霸性清约质朴，为政宽恕。正色而已，不求备于人。掾吏有过，辄私责，数不改，休罢之，终不暴扬其恶。

又曰：秦彭，字伯本。为山阳太守。以礼训民，不任刑名。崇好儒雅，百姓怀之，莫敢欺犯。转颍川太守，凤皇、麒麟、嘉禾、甘露之瑞，集于郡境。元成间，宗族五人同为二千石，故号为"万石秦氏"。

又曰：沈丰，字圣达，为零陵太守。为政慎刑重杀，(罪法)[听理]辞讼，初不历狱，嫌疑不决，一断于口。鞭杖不举，市无刑戮。僚友有过，初不暴扬。有奇谋异略，辄为谈述，曰："太守所不及也。"到官一年，甘露降，芝草生。

又曰：宗庆，字叔平。为长沙太守。民养子者三千余人，男女皆以宗为名。

《后汉书》曰：光武南定河内，而更始大司马朱鲔等盛兵据洛阳。又并州未安，光武难其守，问于邓禹曰："诸将谁可使守河内者？"禹曰："昔高祖任萧何于关中，无复西顾之忧，所以得专精山东，终成大业。今河内带河为固，产口殷实，北通上党，南迫洛阳。寇恂文武备足，有牧人御众之才，非此子莫可使也。"乃拜恂河内太守，行大将军事。

又曰：寇恂，字子翼。为颍川太守，拜执金吾。后光武幸颍川，百姓遮道曰："愿陛下复借寇君一年。"乃留之。

又曰：杨震迁东莱太守。当之郡，道经昌邑，故所举荆州茂才王密为昌邑令，谒见，至夜怀金十斤以遗震。[震]曰："故人知君，

君不知故人，何也?"密曰："暮夜无知者。"震曰："天知，神知，我知，子知，何谓无知!"密愧而出。后转涿郡太守。性公廉，不受私谒。子孙常蔬食、步行。故旧长者或欲令为开产业，震不肯，曰："使后代称为清白吏子孙，以此遗之，不亦厚乎!"

又曰：孟尝迁合浦太守。郡不产谷实，而海出珠宝，与交阯比境，常通商贩，贸粜粮食。先是，宰守并多贪秽，诡人采求，不知纪极，珠遂渐徙于交阯郡界。于是行旅不至，人物无资，贫者饿死于道。尝到官，革易前弊，求人病利。曾未逾岁，去珠复还。

又曰：任延为九真太守。九真不识父子之性，夫妇之道。延乃移书属县，各使男年二十至五十，女年十五至四十，皆以年齿相配。其贫无礼娉，令长吏以下各省俸禄以赈助之。同时相娶者二千余人。是岁风雨顺节，谷稼丰衍。其产子者，始知种姓。咸曰："使我有是子者，任君也。"多名子为任。

又曰：陈宠转广汉太守。西川豪右并兼，吏多奸贪，诉讼日百数。宠到，显用良吏王涣、锝显等，以为腹心，锝，音徒南反。讼者日减，郡中清肃。先是，洛县城南洛县名。故城在今益州雒县南也。每阴雨，常有哭声闻于府中，积数十年。宠闻而疑其故，使吏案行。还言："前代衰乱时，此下多死亡者，而骸骨不得葬。"宠怆然[矜]叹，即(矜)敕县尽收敛葬之。自是哭声遂绝。

又曰：宋均为九江太守。山阳楚沛多蝗，其飞至九江界者辄东西散去。

又曰：刘宠为会稽太守。简除烦苛，禁察非法，郡中大化，征为将作大匠。山阴县有五六老叟，龙眉皓发自若耶山谷间出，人赍百钱以送宠。宠为人选一大钱受之。

又曰：曹褒为河内太守。时春夏大旱，粮谷踊贵。褒到，乃省吏并职，退去奸残。澍雨数降，其秋大熟，百姓给足，流寓皆还。

又曰：鲍德为南阳太守。时岁多荒灾，惟南阳丰穰，吏人爱悦，号为神父。

又曰：廉范迁蜀郡太守。其俗尚文辩，好相持短长。范每厉以淳厚，不受偷薄之说。成都民物丰盛，邑宇逼侧，旧制禁民夜作，以防火灾，而更相隐蔽，烧者[日属]。范乃毁削先令，但严使储水而已。百姓为便，乃歌之曰："廉叔度，来何暮？不禁火，民安堵。平生无襦今五裤。"

又曰：马严为陈留太守。下车明赏罚，发奸匿，郡界清静。时京师讹言贼从东方来，百姓奔走，转相惊动，诸郡遑急，各以状闻。严察其虚妄，独不为备。诏书敕问，使驿系道，严固执无(贼)[贼]，后卒如言。

又曰：黄香为魏郡太守。郡旧有内外园田，常与人分种，收谷岁数千斛。香曰："《田令》商者不农，《王制》士者不耕，王制曰：上农夫食九人。下士视上农夫禄，足以代耕也。伐冰食禄之人，不与百姓争利。"乃悉以(贼)[赋]人，课令耕种。

又曰：中平三年，江夏兵赵慈反叛，杀南阳太守(奏)[秦]颉，攻没六县，拜羊续为南阳太守。当入郡界，乃羸服间行，[侍]童子一人，观历县邑，采问风谣，然后乃进。其令长贪洁，吏民良猾，悉(进)[逆]知其状，郡内惊竦，莫不震慑。乃发兵与荆州刺史王敏共击赵慈，斩之，获首五千余级。属县余贼并诣续降。

又曰：羊续为南阳太守。续妻后与子秘俱往郡舍，续闭门不内，妻而自将秘行，其资藏惟有布衾，弊袛裯(监)[盐]、麦数斛而已。《说文》曰：袛裯，短衣而已。袛者，丁奚反。裯，音丁劳也。顾敕秘曰："吾自奉若此，何以资尔母乎？"使[与]母俱归。

又曰：三府举王棠治剧，拜巴郡太守。棠驰兵赴贼，斩虏千余级，巴庸清静，吏民生为立祠。

又曰：樊准拜巨鹿太守。时饥荒之余，人庶流进，家户且尽。准课督农桑，广施方略，期年间，谷粟丰贱数十倍。而赵、魏之郊数为羌所钞暴，准外御寇虏，内抚百姓，郡境以安。

又曰：伏湛，更始立，以为平原太守。[时]仓卒兵起，天下惊

扰，而湛独晏然，教授不废。谓[妻]、子曰："夫一谷不登，国君撤膳；《礼记》曰：年谷不登，君膳不祭肺。今人皆饥，奈何独饱？"乃共食粗粝，粝，粗米者。《九章算术》曰：粟五十粝率三十一斛。粟得六斗米为粝也。悉分俸禄以赈乡里，来客者百余家。

又曰：鲍昱后拜汝南太守。郡多陂池，岁岁决坏，年费常三千余万。昱乃上作方梁石洫，洫，渠也，以石为之，犹今之水门也。水常饶足，溉田倍多，人以殷富。

又曰：第五访为张掖太守。岁饥，粟石数千，访乃开仓赈给以救其弊。吏惧谴，争欲上言。访曰："若上须报，是弃人也。须，待也。太守乐以一身救百姓！"遂出谷赋人。顺帝玺书嘉之。由是一郡得全。

谢承《后汉书》曰：郑弘迁淮阴太守，消息徭赋，政不烦苛。行春天旱，随车致雨。白鹿方道，夹毂而行。弘怪问主簿黄国曰："鹿为吉为凶？"国拜贺曰："闻三公车辐画作鹿，明府必为宰相。"

《续汉书》曰：宋均为九江太守。五日一听事，冬以日中，夏以平旦。时多虎，均曰："夫虎豹在山，鼋鼍在泉，物性之所托。故江淮之间有猛兽，犹江北之鸡豚也。数为民害，咎在贪残。今退槛阱，进忠良。"虎遂东渡江。

又曰：刘宽字文饶，弘农人，为南阳太守。温仁多恕，遇民如子，口不出詈言。吏人有过，但用蒲鞭罚之，示辱而已。

又曰：羊茂字季宝，豫章人，为东郡太守。冬坐白羊皮，夏处单板榻，常食干饭，出界买盐，致妻子，不历官舍。

华峤《后汉书》曰：岑熙为东郡太守，好聘礼隐逸，显之于朝，与参政事。视事三年，人歌之曰："我有枳棘，岑君伐之。我有蝥贼，岑君遏之。狗吠不惊，足下生蹯。含哺鼓腹，焉知凶灾。我嘉我生，独(丁)[于]斯时。美矣岑君，於戏(如)[休]兹。"

张璠《汉记》曰：宋登，字叔杨。出为颍川太守，市无豫价，道不拾遗。病免，卒于家，汝阴人配社祀之。

又曰：陈球为零陵太守。球到郡，设方略，期月间，贼虏消散。而州兵朱益等反，与桂阳贼胡兰数万人转攻零陵。零陵下湿，编木为城，不可守备，郡中惶恐。掾吏白请遣家避难，球怒曰："太守分国虎符，受任一郡，岂顾妻孥而(坦)[沮]国威乎，重复言者斩！"乃悉郡内吏民老弱，与共城守。

《汉杂事》曰：蒋满为上党太守，长子万为北地都尉，次子辅为安定太守。满与万俱知名，并见征。时征为二千石者十三人，俱引见，万退却，不敢与父并，诏谴赞谒者曰："何以不齐？"左右曰："此父子也。"上叹息曰："乃父子剖符耶！"即先诏曰："上党太守满经行笃著，信行山东，其以满为淮阳王相，诲导东蕃。弘农，股肱郡，其以万为弘农太守。"父子同日拜于前，上嘉之。

太平御览卷第二百六十一

职官部五十九

良太守中

《魏略》曰：颜斐字文林。为京兆太守。到官，乃令属县整阡陌，树桑果。又是时人多无车牛。斐课人[以]闲月取车材，使转相教作车。又课民无牛者命畜猪，贵时卖以买牛。始人以为烦。一二年间，家家有丁车、大牛。迁为平原太守，吏人啼哭遮道，车马不得前，十余日乃出[界]。

《魏志》曰：贾逵为弘农太守。太祖召见计事，大悦之，谓左右曰："使天下二千石皆如贾逵，则吾何忧？"

又曰：杜畿为河东郡守。[崇]宽惠，与民无为。民尝辞讼，有相告者，亲为陈大义，遣令归谛思之，若意有所不尽，更来诣府。乡邑父老自相责怒曰："有君如此，奈何不从其教？"自是少辞讼。诏曰："昔萧何定关中，寇恂平河内，卿有奇功，间将授卿以纳言之职；顾念河东，吾股肱郡，充实之[所]，足以制天下，故且烦卿卧而镇之。"畿在河东十六年，常为天下最。

又曰：胡质字文德，为常山太守，迁任东莞。士卢显为人所杀，质曰："此士无仇而有少妻，所以死乎！"悉见其比居年少，书吏李若见问而色动，遂穷诘情状。遂即自首，罪人斯得。每军功赏赐，皆散之于众，无入家者。在郡九年，吏民便安，将士用命。

又曰：仓慈，字孝仁，淮南人。太和中，迁敦煌太守。郡在西陲，以丧乱隔绝，旷无太守二十岁，大姓雄豪，遂以为俗。前太守尹奉等修政而已，无所匡革。慈到，大抑挫权右，抚恤贫羸，甚得其

理。旧大族田地有余，而小民无立锥之土；慈皆随口割赋，稍稍使毕其本直。先是，属城狱讼众猥，县不能决，多集治下；慈躬往省阅，斟酌轻重，自非殊死，便杖而遣之，一岁决刑曾不满十人。

又曰：令狐邵，字孔叔，为弘农太守。所在清如冰雪，妻子希到官省；举善而教，恕以待人，不好狱讼，与下无忌也。

又曰：田豫，字国让，迁南阳太守。先时，郡人侯音反，众数千人在山中为群盗，大为郡患。前太守收其党与五百余人，表奏皆当死。豫悉见诸系囚，慰谕，开其自新之路，一时破械遣之。诸囚皆叩头，愿自效，即相告语，群贼一朝解散，郡内清静。具以状闻，太祖善之。

又曰：自太祖迄于咸熙，魏郡太守陈国吴璀、清河太守乐安任燠、京兆太守济北颜斐、弘农太守太原令狐邵、济南相鲁国孔义，或哀矜折狱，或推诚惠爱，或治身清白，或摘奸发伏，咸为良二千石。

又曰：凉茂，(守)[字]伯方。时泰山多盗贼，以茂为泰山太守。旬月之间，襁负而至者千余家。

又曰：郑浑字文公，迁沛郡太守。郡界下湿，常患水涝，百姓饥乏。浑于潇、湘(三)[二]县界，兴陂开稻田。郡人皆以为不便，浑曰："地势洿下，宜溉灌，终成稻田经久之利，此丰民之本也。"遂躬率吏民，兴立功夫，一冬间皆成。比年大收，顷亩岁增，租入倍常，民赖其利，刻石颂之，号曰郑陂。

《魏略》曰：孟康，正始中出为弘农太守。康到官，清平嘉善，而矜不能省息狱讼，缘民所欲而利之。郡领吏二百余人，涉春遣休，常四分遣一。事无宿诺，时出案行，不欲烦损吏民。常豫敕卒行各持镰，所在自刈马草，不止亭传，露宿树下。

《蜀志》：何祗，字君肃。汶山夷不安，以祗为汶山太守，民夷服信。迁广(陵)[汉]，后夷反叛，辞曰："令得前何府君，乃能安我耳！"时难复屈祗，(挟)[拔]族人为之，汶山复得安。

《吴志》曰：顾邵，字孝则。(时)年二十七，起家为豫章太守。

下车祀先贤徐孺子之墓，优待其后；禁淫祀非礼之祭。看相小吏资质佳者，辄令就学，择其先进，擢置右职，(学)[举]善以教，风化大行。

又曰：孙权授诸葛恪抚越将军，领丹阳太守。拜毕，令恪备威仪，作鼓吹，导引归家。恪到府，乃移书四郡属城长令，各保其疆界，明立部伍。于是山民渐出降。

王隐《晋书》曰：广平太守缺，宣帝谓郑袤曰："贤叔大匠垂称于阳平、魏郡，并蒙惠化。且卢子家、王子雍继踵此郡，吾欲令郡世不乏贤，故复相屈。"袤在郡先以德化，善作条教，百姓爱之。

又曰：郑默为东郡太守。值岁荒民饥，默辄开仓赈给，自(上)[表]待罪。朝廷嘉默忧国恤人。诏书褒叹，比之汲黯。

又曰：应詹为南平太守。天下分崩，征镇州郡，已失城邑，(詹)[詹]独保境。外攘狂狡，内除涂炭，甚便百姓之情。郡人歌曰："乱离既普，殆为灰朽。侥幸之运，赖兹应后。润同江海，恩犹父母。"

《晋书》曰：范粲迁武威太守。到郡，选良吏，立学校，劝农桑。是时戎夷颇侵疆埸，粲明设防备，敌不敢侵，西域流通，无烽燧之警。

又曰：刘颂为河内守。郡界多公王水碓，遏塞流水，转为浸害，颂表罢之，百姓获其利。

又曰：吴隐之为晋陵太守。在郡清俭，妻自负薪。

又曰：邓攸字伯道，为淮南太守。梦行水边，见一女子，猛兽自后断其盘囊。占者以为水边有女，汝字也；断盘囊者，新兽头代故兽头也，不作汝阴，当汝南也。果迁汝阴太守。

又曰：邓攸，元帝以攸为太子中庶子。时吴郡阙(少)[守]，人多欲之，帝以授攸。攸载米之郡，俸禄无所受，惟饮吴水而已。时郡中大饥，攸赈贷未报，乃辄开仓救之。台遣散骑常侍桓彝慰劳饥人，观听善不，乃劾攸以擅出谷。俄而有诏原之。攸在郡，(州)[刑]政清明，百姓欢悦，为中兴良守。

又曰：邓攸为吴郡太守。称疾去职，郡常有送迎钱数百万，攸去郡，不受一钱。百姓数千人留牵攸船不得进，攸乃止停，中夜发去。吴人歌之曰："纨如打五鼓，鸡鸣天欲曙。邓侯挽不留，谢令推不去。"百姓诣台乞留一岁，不听。

又曰：陆纳为吴兴太守。至郡，不受俸禄。顷之，征拜左(氏)[民]尚书，领州大中正。将应召，外白宜装几船？纳曰："私奴装粮食来，无所复须也。"临发，止有被袱而已，其余并封以还(宫)[官]。

《晋中兴书》曰：王蕴，字叔仁，为吴兴太守。时郡荒民饥，蕴辄开仓赈恤。主簿执谏云宜先列上，蕴曰："行仁义而败者鲜矣。"于是以米赈贷，赖蕴活者十室而八，然后具自表闻。朝廷以违科免，饥民多诵之，诏特左迁晋陵太守。

又曰：诸葛恢，字道明。中宗选为会稽太守。临行，上为置酒，谓之曰："今之会稽，昔关中，足食足兵，在于良守。以君有莅任之方，是以相屈。"恢陈谢，曰："今天下丧乱之余，风俗陵迟，宜尊五美，屏四恶，进忠实之士，退浮华之党。"中宗深纳焉。

《南史》曰：宋江秉之为临海太守，以简约见称，卒于官。所得禄秩悉散之亲故，妻子常饥寒。人有劝其营田，秉之正色答曰："食禄之家，岂可与人竞利？"在郡作书案一枚，去官留以付库。

《齐书》曰：刘怀慰拜齐郡太守。上谓怀慰曰："齐邦是王业所基，吾方以为显任。经理之事，一以委卿。"又手敕曰："有文事者，必有武备。今赐卿玉环刀一口。"怀慰至郡，修治城郭，安集居民，垦废田二百顷，决沈湖灌溉。不受礼谒，民有饷其新米一斛者，怀慰出所食麦饭示之，曰："旦食有余，幸不烦此。"因著《廉吏论》以达其意。

又曰：虞愿为晋平太守。海边有越王石，常随云雾。相传云："清廉太守乃得见。"愿往观视，清彻无隐蔽。后琅琊王秀之为郡，与朝士书曰："此郡承虞公之后，善政犹在，遗风易遵，差得无事。"

又曰：王秀之为晋平太守。至郡期年，谓人曰："此邦丰壤，禄

俸常充。吾山资已足，岂可久留以妨贤路。"上表请代，时人谓"王晋平恐富求归"。

又曰：裴昭明历郡皆有善政，常谓人曰："人生何事须聚蓄，一身之外，亦复何须？子孙若不才，我聚彼散；若能自立，则不如一经。"故终身不治产。

又曰：萧介，字茂镜。少颖悟，有器识。梁大明中，武陵王纪为扬州刺史，以介为府长吏，在职以清白称。武帝谓何敬容曰："萧介甚贫，可以处一郡。"复曰："始兴郡频无良守，可以介为之。"由是出焉。

《齐春秋》曰：崔元祖父景真为平昌太守，有惠政，常悬一蒲鞭而未尝用。

《梁书》曰：褚翔为义兴太守。翔在政洁己，省繁苛，去游费，百姓安之。郡之西亭有古树，积年枯死。翔至郡，忽更生枝叶，百姓咸以为善政所感。及秩满，吏民诣阙请之，敕许焉。

又曰：何敬容为吴郡太守。为政勤恤，民隐辩讼如神，视事四年，治为天下第一。吏民诣阙请树碑，诏许之。

又曰：刘[之]亨，字嘉会，之遴弟也。代之遴为南郡太守，在郡有异绩。数年卒于官，时年五十。荆(士)[土]至今怀之，不忍斥其名，号为"大南郡"、"小南郡"。

又曰：何胤，字子季。为建安太守，民不忍欺。[每]伏腊放囚还家，及期而至。

又曰：傅昭迁临海太守。郡有密岩，前后太守皆自封固，专收其利。昭以周文之囿，与百姓共之，大可喻小，乃教勿封。县令常饷粟，置绢于簿下，昭笑而还之。

又曰：徐摛，东海郯人。高祖问《五经》大义，次问历代史及百家杂说，末论释教。摛商较纵横，答应如响，高祖宠遇日隆。领军朱异不悦，谓所亲曰："徐叟出入两宫，渐来逼我，须早为之所。"遂承间白高祖曰："摛年老，又爱泉石，意在一郡，以自颐养。"高祖谓

摛欲之，乃召摛曰："新安大好山水，任昉等并经为之，卿为我卧治此郡。"遂出为新安守，周月之中，风俗便改。

又曰：张缅出为淮南太守，时年十八。武帝疑其年少，未闲吏事，遣主书封取郡曹文案，见断决允惬，甚称赏之。

崔鸿《十六国春秋·前秦录》曰：索棱，字孟则，敦煌人。好学博闻，姚苌甚重之，委以机密，文章诏檄皆棱之文也。后为平原太守，以德化民，民畏而爱之，歌曰："懿矣明守，庶绩允厘；剖符作宰，实获我思。"

又曰：前凉晋昌太守阴繇卒，郡人思其政化，缟绖送丧至武威者千余人。

《后魏书》曰：羊敦，字元礼，太山[巨]平(阳)人。为广平太守，甚有能名，奸吏跼蹐，秋毫无犯。属岁饥馑，家馈未至，使人寻陂泽，拔藕而食之。遇有疾苦，解衣质米。朝廷以其清白，赐谷千斛，绢百匹。

又曰：张长年为汝南太守。郡人刘崇之兄弟分析，家[贫]惟有一牛，争之不决，讼于郡庭。长年曰："汝曹当以一牛，故致此竞，有二牛各应得一，岂有讼理。"即以家牛一头赐之。于是郡境之中各相诫约，咸敦敬让。

又曰：柳崇出为河北太守。崇初届郡，郡民张明失马，疑十余人。崇见之，不问贼事，人别借以温颜，更问其亲老存不，农桑多少，而微察其辞色。即获真贼吕穆等二人，余皆放遣。郡中畏服，境内帖然。

又曰：吕显拜巨鹿太守。清身奉公，备存赡恤，妻子不免饥寒。民颂之曰："时惟府君，克清克明。缉我荒土，民胥乐生。愿寿无疆，以享长龄。"

又曰：韦崇，字洪基。除南颍川太守，不好发摘细事，常云："何用小察，以伤大道。"吏民感之，郡中大治。高祖闻而嘉赏，赐帛二百匹。

又曰：辛穆，字叔宗。转汝阳太守，值水涝民饥，上表请轻租赋。帝从之，遂敕汝阳一郡，听以小绢为调。

又曰：房景伯除清河太守。郡民刘简虚曾失礼于景伯，闻其临郡，阖家逃亡。景伯督切属县追捕擒之，即署其子为西曹掾，命谕山贼。贼以景伯不念旧恶，一时俱下，论者称之。

太平御览卷第二百六十二

职官部六十

良太守下　酷太守

良太守下

《北史》曰：西魏裴侠，除河北郡守。侠躬履俭素，爱人如子，所食惟菽麦盐菜而已，吏人莫不怀之。此郡旧制，有渔、猎夫三十人以供郡守，侠曰："以口腹役人，吾所不为也。"乃悉罢之。又有丁三十人供郡守役，侠亦不私，并收庸直为市官马，岁时既积，马遂成群。去职之日，一无所取，人歌之曰："肥鲜不食，丁庸不取；裴公贞惠，为世规矩。"

《北史》曰：宋世良为清河太守，才识闲明，尤善政术，在郡未几，声问甚高。阳平郡移治劫盗三十余人，世良讯其情状，惟送十二人，余皆放之。阳平太守魏明朗大怒，云："辄放吾贼？"及推问，送者皆实，放皆非，明朗大服。郡东南有曲堤，成公一姓阻而居之，群盗多萃于此。人为之语曰："宁度东吴会稽，不历成公曲堤。"良施八条，制盗奔他境，人又谣曰："曲堤虽险贼何益，但有宋公自屏迹。"是冬醴泉出于界内。及代至，倾城祖道，有老人丁金刚者，泣而前谢曰："老人年九十，记三十五政，府君非惟善政，清亦彻底；今失贤者，人何以济！"莫不攀援涕泣。

《北齐书》曰：赫连子悦除林虑太守。文襄往晋阳，由郡境问不便，悦云："临水、武安去郡遥远，山岭重叠，[车步艰难]，若东属魏郡，则地平路近。"文襄笑曰："卿徒知便人，不觉损干。"悦答曰："所言者，人所疾苦，不敢以私润负公心。"文襄善之，乃敕依事施行，自是人属近便行路[称之]。

《北齐书》曰：崔伯谦，字士逊，博陵安平人也。除济北太守，恩信大行，又改鞭用熟皮为之，示耻而已。

《北齐书》曰：苏琼，字珍芝，长乐武强人也，除南清河太守。性清慎，不发私书。

《陈书》曰：孔奂，字休文，除晋陵太守。[晋陵]自宋齐已来为大郡，虽经寇扰，犹为全实，前后二千石多行侵暴。奂清白自守，妻子并不之官，惟以单船临郡。所得秩俸，随即分赡孤寡，郡中号曰"神君"。曲阿富人殷绮，见奂居处俭素，乃饷以衣毡一具。奂曰："太守身居美禄，何为不能办此，但百姓未周，不容独享温饱。劳卿厚意，幸勿为烦。"

《隋书》曰：于义迁安武太守，专崇德教，不尚威刑。有郡民张善安、王叔儿争财相讼，义曰："太守德薄不胜任之所致，非其罪也。"于是取[家]财，倍与二人，谕而遣去。善安等各怀耻愧，移语他州。于是风教大洽。其以德化人，皆此类也。

又曰：于仲文迁安固太守。有任、杜两家各失牛，后得一牛，两家俱认，州郡久不能决。益州长史韩伯俊曰："于安固少善听察，可令决之。"仲文曰："此易解耳。"于是令二家各驱牛群至，乃放所认者，遂向任氏群中。又阴使人微伤其牛，任氏嗟惋，杜家自若。仲文于是诃诘杜氏，杜氏服罪而去。

又曰：柳俭，炀帝特授朝散大夫，拜弘化太守，赐物一百段而遣之。俭清节愈厉。大业五年入朝，郡国毕集，帝谓纳言苏威、吏部尚书牛弘曰："其中清名天下第一者为谁？"威等以俭对。又问其次，威以涿郡丞郭绚、颍川郡丞敬肃等二人对。帝赐俭帛二百匹。令天下朝集使送至郡邸，以旌异焉。

又曰：车驾西巡还，谓武威太守樊子盖曰："人道公清，定如此不？"子盖谢曰："臣安敢言清，止是小心，不敢纳贿耳。"由此赐之口味百余斛。

《唐书》曰：颜真卿为平原太守。安禄山逆节颇著，真卿以霖雨

为托，修城浚濠，阴科丁壮，储廪实；乃阳会多士，泛舟于池，饮酒赋诗。或谗于禄山，亦密侦之，以为书生不足虞也。无几，禄山果反，河朔尽陷，独平原城守具备，乃使司兵参军李平驰奏之。玄宗初闻禄山之变，叹曰："河北二十四郡，岂无一忠臣乎！"得平原，大喜，顾左右曰："朕不识颜真卿形状，何如所为得如此！"

《五代史·晋史》曰：郭延鲁清泰中迁复州守。延鲁临任，忽惊叹曰："先人曾为沁牧，九年不移，我得不遵其家法而使政有纰缪者乎！"由是正俸之外，未尝敛贷，庶事致理，一郡赖焉。及秩满，百姓上章举留，将离境，攀卧遮围者不能去，朝廷闻而嘉之。

《华阳国志》曰：张翕，字子阳，巴郡人。为阴平郡守，布衣蔬食，俭以化民。自乘二马之官，久之，一马死一马病。翕曰："吾将步行矣。"夷、汉甚安其惠爱，在官十九年卒，百姓号慕，送葬者以千数。天子嗟叹，赐钱十万为立祠堂。后太守数烦扰，夷人叛乱。翕子端方察孝廉，天子起家拜越巂太守，迎者如云。

又《华阳国志》曰：孝顺帝永建中，太山吴资为巴郡太守，民歌之曰："习习晨风动，澍雨润乎苗。郡后恤时务，我民以优饶。"及资迁去，民人思资，又歌曰："望远忽不见，惆怅当徘徊。恩泽实难忘，悠悠心永怀。"

《益部耆旧传》曰：张霸，字伯饶。为会稽太守。举贤士劝教讲授，一郡慕化，但闻诵声；又野无遗寇，民语曰："城上乌鸣哺父母，府中诸吏皆孝子。"

钟岳《良吏传》曰：王堂，字敬伯，广汉郪人也。为汝南太守。属城多暗弱，堂简选四部督邮，奏免四十余人。以陈蕃为功曹，应嗣为主簿，教曰："简核众职，委功曹拾遗补缺，仰恃明俊，古人有言：劳于求贤，逸于得士。太守不敢妄有符教。"

《崔氏家传》曰：崔实除五原太守。郡处边陲，不知耕桑之业，民多饥寒之患。于是乃劝人农种，教其织纴，以赈贫穷，民用获济，号曰"神惠"焉。

《桓阶别传》曰：上已平荆州，引为主簿，每有深谋疑事，尝与君筹之，或日昃忘食，或夜坐彻旦。擢为赵郡太守，会郡僚送之，上曰："北边未清，以卿威能震敌，德怀远人，故用相烦，是亦寇恂河内之举。"阶在郡，时俸尽，食酱酵，上闻之，数戏之曰："卿家酱颇得成不耶？"诏曰："昔子文清俭，朝不谋夕而有脯粮之秩；宣子守约，箪食鱼飧而有加梁之赐。岂况光光大魏，富有四海。栋宇大臣而有蔬食，非吾所以礼贤之意也，其赐射鹿师二人，并给媒。"齐人谓曲蘖为媒。

《江祚别传》曰：祚为安南太守，民思其德，生子多以"江"名子。

《孟宗别传》曰：宗为豫章太守，人思其惠，路有行歌，故时人生子以"孟"为名。

《邵氏家传》曰：邵训，字伯春，为陈留太守。以君性多弘恕，追诏勉厉之曰："陈留太守，讲授省中，六年于兹，经术明笃，有匡生解颐之风，赐钱三十万及刀剑衣服、居家之具。"

《宣城记》曰：泾县洪短，吴时为卢江太守，[以]清称。征还，船轻，皆载土。时岁暮，逐除者就乞，所获甚少，洪乃语之，逐除人见土而去。

《秦子》曰：孔文举为北海相，有遭父丧，哭泣暮侧、色无憔悴，文举杀之。有母病差，思食新麦，家无，乃盗邻人熟麦而进之，文举闻，特赏之。盗而不罪者，以为勤养于母也；哭而见杀者，以为哀而不实也。

《世说》曰：周顗罢临川郡，还都未及上，泊青溪渚，王丞相往看之。时是夏月，暴雨卒至，舫既狭小而又漏，殆无复可坐处。王曰："胡威之清，何以遇此？"即启用焉。

吴兴太守《论衡》曰：淮阳铸为伪钱，吏不能禁。汲黯为太守，不坏一炉，不刑一人，高枕安卧，淮阳政清。

《风俗通》曰：秦昭王使李冰为蜀郡太守。开成都两江，溉田万顷。江神岁取童女二人以为妇。冰自以其女与神为婚，径至神祠，

劝神酒，杯但澹淡。冰厉声责之，因忽不见。良久，有两苍牛斗于岸旁。有间，冰还，流汗，谓官属曰："吾斗大，极不胜，当相助，南向腰中正白者，我绶也。"主簿刺杀北面者，江神遂死。蜀人慕其气决抗壮健者，因名子曰冰儿。

酷太守

《汉书》曰：王温舒为广平都尉，择郡中豪敢往吏十余人为爪牙，使督盗贼。道不拾遗，迁河内太守。素居广平时，皆知河内豪奸之家。以九月至郡，令具私马五十匹，驿自河内至长安，部吏如广平时方略，捕郡中豪猾，相连坐千余家。上书请，大者至族，小者乃死，家尽没入[偿]赃。奏行不过二日，得可，事论报，至流血十余里。河内皆怪其奏，以为神速。尽十二月，郡无犬吠之盗。其颇不得，失之旁郡，追求，会春，温舒顿足叹曰："嗟乎，令冬月益展一月，足吾事矣。"

又曰：严延年，字次卿，东海人。为涿郡太守。大姓西高氏、东高氏，自郡吏已下皆畏避之，莫敢与语，咸曰："宁负二千石，无负豪太家。"宾客放为盗贼，发，辄入高氏，吏不敢追。延年至，遣掾蠡吾赵绣案高氏得其死罪。绣见延年，为两劾，欲先白其轻者，观延年意。延年已先知之。赵掾至，白其轻者，延年索怀中，得重劾，即收送狱。夜入晨杀，吏分拷两高，穷竟其奸，诛杀各数人。郡中震恐，道不拾遗。三岁，迁河内太守。

《东观汉记》曰：樊晔为天水郡。其政严猛，好申、韩之术，不假下以权，道路不敢相盗，商人行旅以钱物于大道旁，曰："以付樊父。"后还，其物如故，道不拾遗。凉州为之语曰："游子常苦贫，力子天所富。宁见乳虎穴，不入冀城寺。嗟我樊府君，安可再遭值！"

《晋阳秋》曰：庐陵太守羊舟，疑郡人简良等为贼，杀一百九十人，(徒)[徙]谪百有余人。有司奏舟罪死，以景献皇后有属八议，帝曰："此古人所无，何八议之有乎？未忍肆之市朝，其赐命狱所。"

琅琊王太妃山氏，舟之甥也，诣阙请命。丞相以太妃为言，于是减死罪。既出，有疾，见简良为祟，旬日而卒。

《三国典略》曰：齐广陵太守敬长瑜多受财贿，刺史陆骏将启劾之。长瑜以货求于散骑常侍和士开，以画屏风诈为长瑜之献，齐王大悦。骏启寻至，遂不问焉。

《梁书》曰：南淮侯萧推，字智进，梁王弟安城康王秀之子。姿貌丰悦，举动可观，历淮南、宣城、晋安、吴郡四太守，所临之郡必赤地大旱，吴人号为"旱母"。

又曰：臧厥为晋安太守。郡居山海，常结聚逋逃，前二千石虽募讨捕，而寇盗不止。厥下车，宣风化，凡诸凶党，皆襁负而出，居民复业，商旅流通。然为政严酷少恩，吏民小事必加杖罚，百姓谓之"臧兽"。

《唐书》曰：李邕，天宝初为汲郡、北海二太守。邕性豪侈，不护细行，所在纵求财货，驰猎自恣。五载，奸赃事发。又尝与左骁卫兵曹柳勣马一匹，及勣下狱，吉温令勣引邕谈及休咎，厚相赂遗，词状连引，敕刑部员外祁顺之、监察御史罗希奭驰往就郡决杀之，时年七十余。

太平御览卷第二百六十三

职官部六十一

别驾　治中　长史　司马

别　驾

应劭《汉官仪》曰：元帝时，丞相于定国条州大小为设吏员，治中别驾、诸部从事秩皆百石。

《汉书》曰：黄霸为(豫)[扬]州刺史。三岁，宣帝诏赐车盖特高一尺别驾主簿车，缇紬屏星于轼前，以彰有德。

《东观汉记》曰：郭伋在并州行部，童儿骑竹马迎拜，问使君何日当还，伋语别驾，计日告之。

《后汉书》曰：袁绍领冀州，以审配为别驾，委以腹心，并总幕府。绍又以田丰为别驾，丰劝迎天子，绍不纳，及败，曰："吾惭田别驾。"

谢承《后汉书》曰：周景为豫州，辟陈蕃为别驾，不就。景题别驾舆曰："陈仲举座也。"不复更辟。蕃惶惧，起视职。

又曰：陈茂，豫州刺史周敞辟为别驾从事。与俱行部，到颍川阳翟传。传中有置美酒一押，(敬)[敞]去，敕御驺载酒以行。茂见，于外取押击柱破之，敞问茂："刺史年老酒益气，别驾破押，名亦何益？"茂答曰："所过皆有，以明使君传车骈骖载酒非宜也。"

《魏志》曰：崔琰，字季珪。太祖破袁氏，领冀州牧，辟琰为别驾，语琰曰："北案户籍，可得三十万众，故为大州也。"琰曰："今天下分崩，九州幅裂，二袁兄弟亲寻干戈，冀方蒸庶暴骨原野。未闻王师仁声先路，存问风俗，救其涂炭，而计校甲兵，惟此为先，斯岂彼州士女所望于明公哉！"太祖改容谢之。于时宾客皆复失色。

又曰：李膺自蜀使至都，武帝悦之，谓曰："今李膺何如昔？"对曰："今胜昔。"问其故，对曰："昔事桓灵之主，今逢尧舜之君。"帝嘉其对，以如意击席者久之，乃以为益州别驾。

又曰：王基，字伯舆，东莱人。时青土初定，刺史王陵表请基为别驾。陵流称青土，盖亦由基协和之辅也。

《吴书》曰：陆逊为右护军、镇西将军。权嘉逊功德，欲殊显之，虽为上将[军]、列侯，犹欲令历本州举命，乃使扬州牧吕范就辟别驾从事。

《晋书》曰：王祥，徐州刺史吕虔檄为别驾。祥乃应召，虔委以州事。于时寇盗充斥，祥率励兵士，频讨破之。州界清靖，政化大行。时人歌之曰："海沂之康，实赖王祥。邦国不空，别驾之功。"

邓粲《晋纪》曰：王澄为荆州，宗厥以酒色礼澄。澄叱左右捽之。别驾郭舒厉色曰："使君醉。"澄曰："狂邪！枉我醉。"因炙舒眉。

《晋中兴书》曰：初，魏徐州刺史任城吕虔有佩刀，工相之，以为必三公可服此刀。虔语别驾王祥曰："苟非其人，刀或为害，卿有公辅之量，故以相与。"祥始辞之，虔强与乃受。祥死之日，以刀授弟览曰："吾儿凡，汝后必兴，足称此刀，故以相与。"

又曰：长沙邓粲，高洁著名，桓冲召粲为别驾。粲起就职，时南郡刘尚公亦治操不仕，粲既就职，尚公语粲曰："卿道广学深，众所推怀，忽然改节，诚失所望。"粲笑答曰："足下可谓有志于隐，而未知隐之为道，朝亦可隐，市亦可隐；初在我，不在于物。"尚公无以难之。虽然，粲名誉解半矣。

又曰：邓骞，字长真，长沙人也。谯王承为魏乂所败，乂求骞甚急，乡人为惧，骞笑曰："欲用我耳。"乃往诣，乂喜谓曰："君可谓古之解杨也。"以为别驾。

《续晋安帝纪》曰：益州刺史李邈，微时居汉川，与别驾姜显饯送刺史。显忽邈，邈曰："大丈夫何至守偏地。"为姜显所陵，即不复

还家，仍附船下。自是十五年，而镇梁、汉，显犹栖迟，即檄为别驾。

《后周书》曰：柳庆为雍州别驾。有贾人持金二十斤，诣京师交易，寄人停止。每欲出行，常自执管钥。无何，缄闭不异而失之。谓是主人所窃，郡县讯问，主人遂自诬服。庆闻而叹之，乃问贾人曰："卿钥恒置何处？"对曰："恒自带之。"庆曰："颇与人同宿乎？"曰："无。""与人同饮乎？"曰："日者曾与一沙门再度酣宴，醉而昼寝。"庆曰："主人特以痛自诬，非盗也。彼沙门乃真盗耳。"即遣吏逮捕沙门，乃怀金逃匿。后捕得，尽获所失之金。

《隋书》：赵轨为齐州别驾，征入朝。父老相送者各挥涕曰："别驾在官，水火不与百姓交，是以不敢以壶酒相送。公清若水，请酌一杯水奉饯。"轨授而饮之。

《唐书》曰：德宗命王虔休幕客昭义军节度掌书记卢顼为洺州别驾知州事，赐绯鱼袋赏有功也。时元谊据洺州，顼白于虔休请入城说下之，顼见谊为陈利害，谊请随顼归朝，故顼不次授官。

《三辅决录》曰：苏章为冀州刺史，召安平崔瑗为别驾。

《豫章列士传》曰：孔恂，字巨卿，新淦人。为别驾。车前后旧有屏星，如刺史车曲翳仪式。时刺史行部发（失旦）[去日晏]，怒命去之。恂曰："明使君发自晏而饮，撤去屏星，毁国旧仪，此不可行。别驾可去，屏星不可省。"即投传而去。

《曹操别传》曰：武皇帝为兖州，以毕谌为别驾。兖州乱，张孟卓劫谌母弟，帝见谌，曰："孤缓抚失和，闻卿母弟为张邈所执，人情不相远，卿可去。孤自遣不为相弃。"谌弟泣曰："当以死自效。"帝亦垂涕答之。谌明日便走，后破下邳，得谌，还以为掾。

《王允别传》曰：允仕郡，民有路拂者少无行，而太守王珠召以补吏。允犯颜固争，珠怒收允，欲杀之。刺史邓盛闻而驰传，辟为别驾从事。允由是知名，路拂以之废弃。

《管辂别传》曰：赵孔耀言辂于冀州刺史裴徽，即檄召辂。一相见，清论终日，不觉疲倦。天时大热，移床在庭前树下，乃至鸡鸣向

晨然后出。自尔[四见],引辂为别驾。

《江氏家传》曰:统字应元。太傅东海王领州牧,请君为别驾,与君书曰:"昔子师作豫州,未下车辟荀慈明,下车辟孔文举。贵州人士有堪此求者不知,君举高平郗道微为贤良,陈留阮宣子为直言,济北程弘叔为方正,皆于时选为允。"

《顾和别传》曰:顾球,时为扬州别驾,顾荣谓球曰:"卿速步公孝,如是超卿矣。"和,字公孝。

《庾亮集·答郭逊书》曰:别驾旧与刺史别乘,(周)[同]流宣化于万里者。其任居刺史之半,安可任非其人。

应亨《与州将笺》曰:诲命欲求佳别驾,自顷诸府大开,搜延路广,海无遗蚌,山亡逸璞。归数日,卧思,始得一人。陈国有袁琇字惠琰者,才识可以经于治乱,栖跱可以劝砺后进,享具所服,闻而未尝接颜交言也。又宗令文,早有名辈相与通,家门素所具,抑亦其次。

治 中

《通典》曰:治中从事史一人,居中治事,主众曹文书,汉制也。

谢承《后汉书》曰:陈禅为州治中从事。刺史为人所劾受纳赃赂,禅当传拷,乃至笞掠无算,五毒毕加。[禅]神意自若,辞对无屈,事遂释。

应劭《汉官仪》曰:司隶功曹从事,即治中也。

《魏志》曰:审配,字正南,魏郡人。少忠烈慷慨,有不可犯之节。袁绍领冀州,委配心腹之任,以为治中别驾。

又曰:太祖令曰:"频年已来,不闻嘉谋,岂吾开延不勤之耶?自今已后,诸掾属治中别驾,常以月旦各言其失,吾将览也。"

又曰:毛玠,字孝先,陈留平丘人也。少为县吏,以清公称。将避乱荆州,未至,闻刘表政令不明,遂住鲁阳。太祖临兖州,辟为治中从事。

《蜀志》曰：庞统以从事守耒阳令，不治，免官。鲁肃遗先主书曰："庞士元非百里之才，使处治中别驾之任，始当展其骥足耳。"乃以为治中。

《江表传》曰：孙权克荆州，将吏悉皆归附，而潘濬独称疾不见。权遣人以床就家舆致之，濬伏面着床席，涕泣交横。权至，慰劳与语，使亲近以手巾拭其面。濬起，下地拜谢。即以为治中。

王隐《晋书》曰：唐彬檄为治中别驾，忠肃公亮，匡救违阙，尽规诲以纳善，不显谏以彰主[失]，当朝正色焉。

又曰：谯郡太守李诠称散吏[戴炽当尽州席坐]，后竟为治中。

檀道鸾《晋纪》曰：习凿齿少博涉，才情秀逸，桓温奇之。自州从事，岁中三转，至治中。

《梁书》曰：萧洽为南徐州治中，既近畿重镇，吏数千人，前后居之者皆致巨富。洽为之，清身率职，馈遗一无所受，妻子不免饥寒。

又曰：陆襄，字师卿。为扬州治中，襄父终此官，乃固辞，高祖不许，听与府司马换廨居之也。

《益部耆旧传》曰：柳琮，字伯骞。为治中，与人交结，久而益亲，其所拔进，皆世所称，致位牧守。乡里为之语曰："得黄金一笥，不如柳伯骞所识。"

又曰：张彦，字伯春，为治中从事，刺史每坐高床，治中单席于地。

邓德明《南康记》曰：昔有卢耽，仕州为治中。少有栖山之术，善解飞，每夕辄凌虚归家，晓则还州。曾元会，晓不及朝，则化为白鹄，至阁前回翔欲下。威仪以弔掷之，得一只履，耽乃惊还就列。时步骘为广州刺史，意恶之，便以状列闻，遂至诛灭。

《世说》曰：习凿齿才(吏)[具]不常，桓宣武器之，未三十用为荆州治中。谢笺曰："不遇明公，荆州老从事耳！"

长 史

《后周书》曰：刘璠为萧循益州长史。及太祖既纳萧循之降，又许其返国。循至长安累月，未之遣也。璠因待宴，太祖曰："我于古谁比？"对曰："常以公命世英主，汤、武莫逮；今日所见，曾齐桓、晋文之不若。"太祖曰："我不得比汤、武，望与伊、周为匹，何桓、文之不若乎？"对曰："齐桓存三亡国，晋文不失信于伐原。"语未终，太祖抚掌曰："我解尔意，欲激我耳。"于是即命遣循。

《陈书》曰：萧济为扬州长史。高宗尝敕取扬州曹事躬自省览，见济条理详悉，文无滞留，乃顾谓左右曰："我本期萧长史长于经传，不意精练繁剧乃至于此。"

《隋书》曰：荣毗。杨素荐毗为华州长史，世号为能。素之田宅多在华阴，左右放纵，毗以法绳之，无所宽贷。毗因朝集，素谓之曰："素之举卿，适以自罚也。"毗答曰："奉法一心者，但恐累公所举。"素笑曰："前者戏耳。卿之奉法，素之望也。"

又曰：高祖时，制刺史二佐，每岁暮更入朝，上考课。

《唐书》曰：张惟一为荆州长史，以防御使陈希昂为司马。希昂，衡州酋帅，家兵千人，在部下自为藩卫。有牟遂金仕至将军，为惟一将。希昂积憾，持兵领众入惟一衙，索遂金头。金藏于惟一后院，惟一惧截头，遂与之，兵始退。自此之后，政归希昂，惟一寄坐而已。

司 马

《北史》曰：魏苏亮拜黄门侍郎。文帝子宜都王武为秦州刺史，以亮为司马。帝谓亮曰："黄门郎岂可为秦州司马，以朕爱子出藩，故以心腹相委，勿以为恨。"

《三国典略》曰：齐以太子率更令崔龙子为司州司马。初，龙子为司徒功曹，嫁女与穆提婆以求此职，提婆许之，以其品悬绝，先转

为率更令。至是成婚既毕，即便用之。寻有谣言榜于路侧曰："司州司马崔老鸱，取钱能疾判事迟。"御史冯士干见而劾之，遂免其官。

《北史》曰：隋房恭懿历泽、德二州司马，卢恺复奏其政美，上甚异之，复赐以帛。诸州朝集，称为劝励之首，以为"上天宗庙之所佑助，岂朕寡薄能致之乎！"

《隋书》曰：刘模为岚州司马。杨谅既作乱，刺史乔钟葵发兵将赴逆，模拒之曰："汉王所图不轨，公荷国厚恩，致位方伯，谓当竭诚效命以答慈造，岂有大行皇帝梓宫未掩，翻为厉阶！"钟葵失色曰："司马反耶！"临之以兵，气辞不挠，钟葵义而释之。军吏进曰："若不斩模，何以厌众心。"于是囚之于狱，悉取模资财分赐党与。及谅平，炀帝嘉之，拜开府，授天兴令。

太平御览卷二百六十四

职官部六十二

功曹参军　司仓参军　司户参军
司兵参军　司法参军　五官掾

功曹参军

韦昭《辩释名》曰：曹，群也。功曹，吏所群聚；户曹，民所群聚也。其他皆然。

《汉书》曰：萧何为主吏。孟康曰：主吏，功曹也。

又曰：朱博为琅琊郡守。召见功曹，闭阁数责，与笔札使自记，受取一钱已上，无得有所匿。欺谩半言，断头矣！功曹惶怖，具自书奸赃，大小不敢隐。博知其对以实，乃令就席，受敕自改而已。投刀使削所记，遣出就职。

《东观汉记》曰：赵勤，南阳人。太守桓虞召为功曹，委以郡事。尝有重客过，欲托一士令为曹吏。虞曰："我有贤功曹赵勤，当与议之。"潜于内中听，虞乃问勤，勤对曰："恐未合众。"客曰："止，止，勿复道。"

又曰：杨正为京兆功曹。光武崩，京兆尹出，西域贾胡共起帷帐设祭。尹车过帐，胡牵车令拜，尹疑，止车，正在前导曰："礼天子不食支庶，况夷狄乎！"敕坏祭，遂去。

又曰：鲍永为郡功曹。时有称侍中止传舍者，太守赵兴欲出调，永以不宜出，当车，拔佩刀，兴因还。后数日，诏书下，捕之，果矫称使者。由是知名。

又曰：郭丹为郡功曹，荐阴亶、程胡、鲁欣自代，太守杜诗曰："古者卿士让位，今功曹稽古经，可为至德。编署黄堂，以为后法。"

又曰：吴良，字大仪，齐国临淄人。初为郡吏，岁旦，与掾史入贺，门下掾王望举觞上寿，谄称太守功德。良于下席勃然进曰："佞邪之人，欺谄无状，愿勿受其觞。"太守敛容而止。宴罢，转良为功曹；耻以言受进，终不肯谒。

又曰：汝南太守欧阳歙召郅恽为功曹。汝南旧俗，十月飨会，百里内皆赍牛酒到府饮宴。时临飨礼毕，歙教曰："西部督邮繇延天资忠贞，不严而治，今与众儒共论，延功显之于朝。"恽于下座愀然前曰："案延资性贪邪，外方内员，朋党构奸，罔上害民。明府以恶为善，以直从曲，此既无君，又复无臣，恽敢奉觥。"歙色惭，不知所为，门下掾郑敬进曰："君明臣直，功曹言切，明府德也。"歙意少解，曰："实歙罪也。"

又曰：永平初，新野功曹邓寅以外戚小侯，每预朝会，而容姿趋步有出于众，上目之，顾左右曰："朕之仪貌，岂若此人！"特赐舆马、衣服。虞延以寅无实行，未尝加礼，上乃诏令自称南阳功曹诣阙。寅在职不服父丧，帝闻乃叹曰："知人则哲，惟帝难之，信哉斯言。"寅闻而惭退。

《后汉书》曰：虞延去官还乡里，太守富宗闻延名，召署功曹。宗性奢靡，车服器物多不中节，延谏曰："昔晏婴辅齐，鹿裘不完；季文子相鲁，妾不衣帛。以约失之者鲜矣。"宗不悦，延即辞退。居有顷，宗果以侈纵被诛，临当伏刑，揽涕而叹曰："恨不用功曹虞延之谏。"

又曰：周章初仕郡为功曹。时大将军窦宪免，封冠军侯就国。章从太守行春到冠军，太守犹欲谒之。章进谏曰："今日公行春，岂可越仪私交。且宪椒房之亲，势倾王室，而退就藩国，祸福难量。明府剖符大臣，千里重任，举止进退，其可轻乎？"太守不听，遂便升车。章前拔佩刀绝马鞅，于是乃止。及宪被诛，公卿以下多以交关得罪，太守幸免，以此重章。

又曰：徐稚，豫章人。时陈蕃为太守，以礼请署功曹，稚不免

之，既谒而退。蕃在郡不接宾客，惟稚来特设一榻，去则悬之。

又曰：韩棱初为郡功曹，太守葛兴中风疾，不能听政。棱阴代兴视事，出入二年，令无违者。

又曰：廉范。永平初，陇西太守邓融备礼谒范为功曹，谒，请。会融为州所举案，举其罪案验之。范知事谴难解，欲以权相济，乃托病求去，融不达其意，大恨之。范于是东至洛阳，变名姓，求代廷尉狱卒。居无几，融果征下狱，范遂得卫侍左右，尽心勤劳。融怪其貌类范，而殊不意，乃谓曰："卿何似我故功曹耶？"范诃之曰："君困厄瞀乱耶！"郑玄注：《礼记》曰：瞀，目不明之貌。语遂绝。融系出困病，范随而养视，及死，竟不言，身自将车送丧致南阳，葬毕乃去。

《续汉书》曰：汝南太守宗资以事委任功曹范滂，时人谣曰："汝南太守范孟博，南阳宗资主(昼)[画]诺。"

又曰：李恂，字叔英，安定临泾人。太守李鸿请署功曹，未及到而州辟为从事。会鸿卒，恂不应州命而送鸿丧还乡里，既葬，留起冢坟，治丧三年。

又曰：李充为太守鲁平请署功曹，不就。平怒，乃投充以捐沟中，因谪署县都亭长，不得已，起亲职役。

谢承《后汉书》曰：范滂，字孟博，汝南人。太守宗资署功曹。滂外甥西平李颂，公族子孙，顽嚣秽浊，为乡曲所弃，常侍唐衡属其事资，敕曹召署文学吏。滂不肯听，资怒，召功曹书佐朱零，问不召颂意状。零以告滂，滂曰："答教当言：颂则滂之姊子，岂不乐其升进。但颂洿秽小人，不宜染污朝廷，不敢以位私人，是以不召。"零具答教如此。零入闻，资使五伯乱捶困杖，言辞不慑，仰疾言曰："范滂清议，犹利刃截腐肉，愿为明府所笞杀，不为滂所废绝。今日之死当受忠名，为滂所废，永成恶人。"滂正直謇谔皆此类也。

又曰：许劭仕郡为功曹，抗忠举义，进善黜恶，正机执衡，允齐风俗。所称如龙之升，所贬如堕干渊，清论风行，所吹草偃，为众所服。

又曰：李寿聪明智达，有俊才。太守黄谠高其名德，召署功曹。每进见，常荐达郡中善人有异行者，谠辄序用。寿虽见优礼愈隆，寿意益下，其所致达未尝伐其功美。

又曰：羊定，字世德，为郡功曹。病困，被不覆躯，衣不周身，郡将赐大布被及襦裤，皆不受，执志而终。

又曰：钟皓，字季明，颍川长社人。同郡陈实，年不及皓，引与为友。皓为郡功曹，会辟司徒府，临辞，太守问："谁可代卿者？"皓曰："明府必欲得其人，西门亭长陈实[可]。"[实]闻之曰："钟君似不察人，不知何犹识我？"

又曰：彭修，会稽人。仕郡为功曹，时西部都尉宰晁行太守事，以征过收吴县狱吏，将杀之，主簿钟离意争谏甚切，晁怒，使收缚意，修排阁直入，拜于庭曰："明府发雷霆于主簿，请闻其过。"晁曰："受(杀)[教]三日，初不奉行，废命不忠，岂非过耶？"修因拜曰："昔任座面折文侯，朱云攀毁栏槛，自非贤君，焉得忠臣？"遂原意，罚贷狱吏。

袁山松《后汉书》曰：岑晊，字公孝，高才绝人，五经六艺无不洞贯。太守成瑨请为功曹，时谣曰："南阳太守岑公孝，弘农成瑨但坐啸。"

张璠《汉记》曰：曰：陈宠为广汉太守，风声大行，征为大司农，帝问何以为治，宠曰："臣任功曹王涣。"涣由是知名。

《魏志》曰：臧洪，广陵郡人也。为张超功曹，超兄邈谓超曰："闻弟为郡守，政教威恩，不由己出，动任臧洪，洪者何人？"超曰："洪才略智数优超，超甚爱之，海内奇士也。"邈即引见洪，与语大异之。

又曰：臧洪，字子原。太守张超请洪为功曹。[董]卓图危社稷，洪说超曰："明府历世受恩，兄弟并据大郡，今王室将危，贼臣未枭，此诚天下义烈报恩效命之秋也。今郡境尚全，吏民殷富，若动桴鼓，可得二万[人]，以此诛除国贼，为天下倡先，义之大者也。"超

然其言。

又曰：袁涣，字曜卿。当时诸公子多越法度，而涣清静，举动必以礼。郡命为功曹，郡中奸吏皆去。

又曰：陈矫，字季弼，广陵人。太守陈登请为功曹，使矫诣许，谓曰："许下议论，待君不足者，相为观察，还以见诲。"矫还曰："闻远近之论，颇言明府骄而自矜。"使过泰山，泰山太守东郡薛悌异之，结为亲友。戏矫曰："以郡吏而交二千石，邻国君[屈]从陪臣游，不亦可乎！"

又曰：杜畿，字伯侯，京兆杜陵人。年二十为郡功曹。郑县内系囚数百，畿亲临狱，裁其轻重，尽决遣之。郡中奇其年少而有大志。

《魏略》曰：京兆尹张时，河东人也。与杜畿有旧，署为功曹。常言："此家疏诞，不中功曹也。"畿窃云："不中功曹，中河东太守。"

《蜀志》曰：庞统，字士元。郡命为功曹。性好人伦，勤于长养。每所称述，多过其才，时人怪而问之，统答曰："当今天下大乱，雅道陵迟，善人少而恶人多。方欲兴风俗，长道业，不美其谈即声名不足慕企，不足慕企而为善者少矣。今拔十失五，犹得其半，而可以崇迈世教，使有志者自勉，不亦可乎？"

《吴志》曰：聂友，字文悌，豫章人也。有唇吻，少为县吏。虞翻徙交州，县令使友送之，翻与语而奇焉，为书与豫章太守谢斐，令以为功曹。郡时见有功曹，斐见之，问曰："县吏聂友，可堪何职？"对曰："此人县间小吏耳，犹可堪曹吏佐。"斐曰："论者以为宜作功曹，君其避之。"乃用为功曹。

又曰：虞翻，字仲翔，为孙策功曹。[策]好驰骋游猎，翻谏曰："明府用乌集之众，驱散附之士，皆得其死力，虽汉高帝不及也。至于轻出微行，从官不暇严，吏卒常苦之。夫君人者，不重则不威，故白龙鱼服，(因)[困]于豫且，子余切。白蛇自放，刘季害之，愿少留意。"策答曰："君言是也。然时有所思，端坐悒悒，有裨谌草创之

计，是以行耳。”

又曰：处士谢谭为吴粲功曹，以疾不诣，粲教曰：“夫应龙以屈伸为神，凤皇以嘉鸣为贵，何必隐于天外，潜鳞于重渊者哉？”

又曰：潘濬，字承明，武威人也。为人聪察，对问有机理，王粲见而贵异之。由是知名，为郡功曹。

《吴录》曰：孙劭，字长绪，北海人。为孔融功曹，融称曰廊庙才也，后为吴丞相。

王隐《晋书》曰：刘毅，字仲雄。侨居阳平，太守杜恕逼迫举毅为功曹。月余，日沙汰郡吏百余人，三魏称焉。为之语曰：“但闻刘功曹，不闻杜府君。”

又曰：世号庾兖有异行。元康之末，颍川太守复以功曹命之，兖服造事之衣，杖捶荷斧，不俟驾行，曰：“请受下夫之役。”府君饰车而迎，逡巡辞焉。形虽益恭而神有不可动之色。府君知其不屈，乃(难)[叹]曰：“非常士也，吾无以臣之矣。”乃厚礼遣之。

《晋中兴书》曰：胡毋辅之尝过河南门下饮酒，门下驺王子博箕坐其旁。辅之叱之，使取火，博曰：“我卒也，不乏吾事。”荐之河南尹乐广，召见甚悦，擢为功曹。

又曰：任旭，字次龙，临海人。操立清俭，不染流俗。郡将蒋秀请为功曹。治官贪秽，每不奉法，旭正色苦谏。秀既不纳，旭乃谢去，闭门讲肄，养志而已。久之，秀坐事被收，旭于狱狼狈营救，躬自扶送，秀慨然叹曰：“任功曹直人，吾违其说言，以至于此，复何言哉！”

《九州春秋》曰：建安六年，刘表攻西鄂，西鄂长杜子绪帅县男女婴城而守。时南阳功曹柏孝长亦在城中，闻兵攻声恐惧，入室闭户，牵被覆头，相攻半日，稍敢出面。

《英雄记》曰：尚栩先人尚子平，有道术，为县功曹。休归自入山，担薪卖以食饮。

《会稽典录》曰：孙策功曹魏(胜)[滕]以忤意见遣，将杀之，吴

太夫人乃倚大井而语策曰："汝新造江南，其事未集，方当优贤礼士，舍过录功。魏功曹在公尽规，汝今日杀之，则人明日叛汝。吾不忍见祸及，当先投此井中耳！"策大惊，遽释(胜)[滕]。

又曰：魏朗，字少英，上虞人。从太守行春，寝于阁外，感时志激，中夜长叹，府君朝问："昨叹息者谁？"主簿曰："书佐魏朗也。"府君由是知朗有凌云之志，转功曹佐。正旦，与掾史上朝，时功曹吏顾翕披裘以加朝服，朗以裘非臣服，(非)[斥]翕不敬，敕卒撤去。翕恚而不听，以手殴卒。朗右手鸣鼓，左手撤裘。以闻府君，曰："朗当朝正色，有不挠之节。"遂退翕以朗代之。朗辞病不就。

又曰：魏徽，字孔章，仕郡为功曹吏。府君贵其名，重徽，每拜谒，常跪而待之。

《华阳国志》曰：公孙述入蜀，蜀郡拒守，述攻之，功曹朱尊绊马死战，光武帝嘉之。

又曰：李业，字(臣)[巨]游，广汉梓橦人。少执志清白。太守(到)[刘]咸慕其名，召为功曹，十命不诣。

又曰：朱仓，字云卿，下邳人。少受学于蜀郡张宁。餐豆屑，饮水，同业怜其贫，资给米肉，不受。家贫常以步行。为郡功曹。

钟岍《良吏传》曰：桓虞，字仲春，冯翊万年人也。为南阳郡守。下车闻叶县雍昱及新野令不遵法度，选督邮不能正，乃署赵勤为督邮。到叶，昱即解印绶；入新野，新野令闻昱已去，遣吏奉记陈罪，亦即弃官。虞乃叹曰："善吏如良(膺)[鹰]，下辅即中。"擢为功曹，委以郡事。

《豫章列士传》曰：华茂为功曹。病，被不覆躯，布衣不周身。郡将与大布被、裤，皆不受。

《汝南先贤传》曰：袁阆，字奉高，为功曹，辟太尉掾。太守唐珍曰："今君当应宰府，宜选功曹以自代。"因荐陈仲举，珍即请蕃为功曹。

又曰：新蔡郑敬，字次都，为郡功曹。都尉高懿厅前槐树有露

类甘露者，懿问掾属，皆言是甘露，敬独曰："明府政未能致甘露，但树汁耳。"懿不悦。托疾而去。

又曰：许慎为功曹，奉上以笃义，率下以恭宽。

《荆州先德传》曰：周瑜领南郡，以庞士元名重，州里所信，乃逼为功曹，任以大事。瑜垂拱而已。

《钟离意别传》曰：意，字子阿，会稽山阴人也。太守窦翔召意署功曹吏，意乃为府立条式，威仪严肃，莫不靖恭。后日，窦君与意相见曰："功曹须立严科，太守观察朝晡。"吏无大小，莫不畏威。

《陈实别传》曰：实，字仲弓，颍川许人也。为郡功曹。时中常侍侯览托太守高伦用吏，伦教署文学掾。实知非其人，乃怀檄请见，乞从外署，伦从之。于是乡论怪其非举。伦后被征为尚书，郡中士大夫送至传舍，伦语众人曰："吾前为侯常侍用吏，此咎由故人畏惮强御，陈君可谓善则称君、恶则称己者也。"闻者方叹息。

《陆绩别传》曰：绩，字公纪，郡人也。太守王朗命为功曹，风化肃穆，郡内大治。

《京兆旧事》曰：长安孙晨，家贫，为郡功曹，十日一炊，无被，有蒿一束，暮卧其中，旦则收之。

司仓参军

《后汉书》曰：戴就，字景成。仕郡为仓曹掾，刺史劾其太守，遣部从事案仓库簿领，五毒惨至，郡事遂释也。

《三国典略》曰：张轨入关拔岳，以为仓曹参军。或有请贷官粟者，轨曰："以私害公，非吾宿志；济人之难，讵得相违。"乃卖所服之衣，粜粟以赈其乏。

司户参军

《后汉书》曰：陆绩、李郃皆仕郡为户曹史。郃后官至司空。

《唐书》曰：裴琰之，绛州闻喜人也。世为著姓，永徽中为同州

司户参军。时年少，美容仪，刺史李崇义初甚轻之。先是，州中有积年旧案数百道，崇义促琰之使断之。琰之命书吏数人连纸进笔，斯须剖断并毕，文翰俱美，且尽与夺之理。崇义大惊，谢曰："公何忍藏锋以成鄙夫之过。"由是大知名，号为霹雳手。

司兵参军

《唐书》曰：杜甫，字子美，本襄阳人。后徙居巩县。天宝初应进士不第，天宝末献《三大礼赋》，玄宗奇之，召试文章，授京兆兵曹参军。

司法参军

《后汉书》曰：周燕，宣帝时为郡决曹掾。太守欲狂杀囚，燕数谏不听，遂杀。囚家诣阙称冤，诏遣覆考。燕谓太守曰："愿谨定之，书背著燕名，府君但时言病而已。使收燕，燕遂死之。燕有五子，皆至刺史、太守。两汉有决曹贼，曹掾主刑法历代皆有，或谓之贼曹，或为法曹。

又曰：郭弘为颍川郡决曹掾，治狱至四十年，用法平正，郡内比之东海于公。

《隋书》曰：陈孝意为会郡司法书佐。太守苏威欲杀一囚，固谏不许，乃解衣，请先受死，乃止。后至侍御史、汝州刺史。

五官掾

《汉书》曰：王尊，字子赣，涿郡人。为安定太守，出教曰："五官掾张辅怀虎狼之心，贪污不轨，一郡之钱尽入辅家，适足以葬矣。"遂将辅送狱，直府史诣阁下，从太守受其事。辅系狱数日死。

《东观汉记》曰：黄香，江夏安陵人也。父况为郡五官，举孝廉，贫无奴仆，香躬勤左右。苦暑乃扇床枕，冬以身温席。

又曰：桓帝时，白马令李云坐直谏系狱，弘农五官掾杜众伤其

忠直获罪，上书愿与云俱得死，遂俱死狱中。

《后汉书》曰：谅辅，字汉儒，仕郡为五官掾。夏大旱，太守自祈祷无应，乃自曝庭中，祝曰："辅为股肱，不能进谏纳忠，荐贤退恶，和调阴阳，承顺天意。"乃积薪以自环，构火其旁曰："若日中不雨，将自焚。"未日中而澍雨也。

臧荣绪《晋书》曰：范略，字彦长，南阳[顺阳]人。少游学清河，遂徙家侨居，郡命为五官掾。

太平御览卷第二百六十五

职官部六十三

州主簿　从事　中正

州主簿

韦昭《辩释名》曰：主簿，主诸簿书。簿，普也，普关诸事。

《汉书》曰：王尊迁东郡太守。[河]水盛泛，浸溢瓠子金堤，尊躬率吏民，沉白马(劾)[祀]水神河伯。尊亲执珪璧，使巫祝请以身填金堤，因止宿，庐于堤上。及水盛堤坏，吏民皆走，惟二主簿位在尊旁，尊立不动，而水波稍却回还。吏民嘉壮尊之勇节，白马三老朱英等奏其状。

《东观汉记》曰：周喜仕郡为主簿。王莽末，群贼入汝阳城，喜从太守何敞讨贼，为流矢所中，谓贼众曰："卿曹皆民隶也，岂有还害其君者耶？喜请以死赎君命。"因仰天号泣，贼于是相视曰："此义士也。"给其车马遣送之。

《后汉书》曰：朱俊，会稽人也。太守尹端以俊为主簿。熹平二年，端坐讨贼许昭失利，为州所奏，罪应弃市。俊乃赢服间行，轻赍数百金到京师，赂主章史，还得刊定州奏，故端得输作左校。端喜于降免而不知其由，俊亦终无所言。

《魏志》曰：卢毓，字子家，涿郡人也。崔琰举为冀州主簿。时天下草创，多逋逃，故重士亡法，罪及妻子。亡士妻白等，始适夫家数日，皆未与夫相见，大理奏弃市。毓驳之曰："夫女子之情，以接见而恩生，成妇而义重。故《诗》曰：'未见君子，我心伤悲；亦既见止，我心则夷。'又《礼》'未庙见之妇而死，即葬女氏之党，以未成妇也。'今白等生有未见之悲，死有非妇之痛，而吏议欲肆之大辟，若

同牢合卺之后，罪何所加？卺，音谨。且《记》曰：'附从轻'，言附人之罪，以轻者为比也。又《书》云：'与其杀不辜，宁失不经'，恐过重也。苟以白等皆受礼聘，已入门庭，刑之为可，杀之为重。"太祖曰："毓之所执是也。又引经典有意，使孤叹息。"

又曰：庞涓，字子异。太守徐揖请为主簿。后郡人黄昂反，围城。涓弃妻子，夜逾城围，告急于张掖、敦煌二郡，初疑未发兵，涓欲伏剑，二郡感其义，遂兴兵。军未至，而郡邑以陷，(阵)[揖]死，涓乃收敛揖丧，送还本郡，行服三年乃还。

又曰：崔林，字德孺，清河人。少时晚成，宗族莫知，惟从兄琰异之。太祖定冀州，擢为州主簿。

《蜀志》曰：杜微，字国辅，梓潼涪人。丞相[亮]领益州牧，以微为主簿。微固辞，舆而致之。既至，亮引而微自陈谢。亮以微不闻人言，于座上作书与之。

《吴录》曰：苞咸，字子良。为郡主簿。太守黄君行春，留咸守郡。(君缘)[郡掾]栖采雀卵，咸责数以春月不宜破卵，杖之三十。

王隐《晋书》曰：陶侃，字士衡，鄱阳人。为郡主簿。夫人病，欲使主簿迎医于数百里。天大寒雪，各辞，疾召侃使行，侃曰："资于事父以事君。夫人亦当次母，安有父母之病而闻迎医不便行也？"

《晋书》曰：潘京，字世长，武陵汉寿人也。弱冠，郡辟主簿，太守赵廞甚器之，尝问曰："贵郡何以名武陵？"京曰："郡郡本名义陵，在辰阳县界，与夷相接，数为所攻，光武时移东出，遂得全完，共议易号。传曰止戈为武，《诗》称高平曰陵，于是名焉。"[为]州所辟，因谒见问策，探得"不孝"字，刺史戏京曰："辟士为不孝耶？"京举板答曰："今为忠臣，不得复为孝子。"其机辩皆此类。

又曰：易雄，长沙浏阳人也。仕郡，为主簿。张昌之乱也，执太守万嗣，将斩之，雄与贼争论曲直。贼怒，叱使牵雄斩之，雄趋出自若。贼人又呼问之，雄[对]如初。如此者三，贼乃舍之。嗣由是获免，雄遂知名。

又曰：潘京，武陵人也。郡辟主簿。后太庙立，州郡皆遣使贺，京白太守曰："夫太庙立，移神主，应问讯，不应贺。"遂遣京作文，使诣京师，以为永式。

又曰：习凿齿，字彦威。为桓温荆州主簿，亲遇隆密。时语曰："徒三十年看儒书，不如一诣习主簿也。"

《宋书》曰：王思远，宋建平王景素辟南徐州主簿，深见礼遇。景素被诛，左右离散，思远亲视殡葬，手种松柏，与庐江何昌寓上表理之，事感朝廷。景素女废为庶人，思远分衣食以相资赡，年长为备笄总，访求偶对，倾家送遣。

《三国典略》曰：梁李膺，字公胤，广汉人也。西昌侯藻为益州，以为主簿。使至建康，梁武悦之，谓曰："卿何如李膺？"对曰："胜。"问其故，对曰："昔事桓灵之主，今逢尧舜之君。"梁武嘉其对，以如意击席者久之。

《后魏书》曰：裴安祖，弱冠，州辟主簿。民有兄弟争财，诣州相讼，安祖召其弟兄，以礼义责让之。此人兄弟明日相率谢罪，郡内钦服之。

又曰：韦朏，字尊显。少有志业，年十八辟州主簿。时属岁俭，朏以家粟造粥以饵饥人，所活甚众。

《唐书》曰：颜杲卿以荫受官。性刚直，有吏干。开元中为魏州录事参军，振举纲目，政称第一。

又曰：杜暹补婺州参军。秩满将归，州吏以纸万余张以赠之，暹惟受一百番，余悉还之。时州僚别者见而叹曰："昔清吏受一大钱复何异也！"

《三辅决录》曰：韦元将，年十五，身长八尺五寸，为郡主簿。杨彪称曰："韦主簿年虽少，有老成之风，昂昂千里之驹。"

《陈留耆旧传》曰：戴斌为郡主簿，送故将丧归乡里蠡吾，里人距之，孝子、臣吏、脱绖叩头求哀，终不见听。斌乃投绖放缞操手剑，瞋目厉声距踊而前曰："哭不哀者，郎君也；丧车不前者，戴斌

也。"里人服其义，乃内之。

《广陵列士传》曰：刘俊为郡主簿。郡将为贼所得，俊知言辞不能动贼，因叩头流血，乞得代之。贼不听，前斫府君，俊因投身，投之正与刃会，斫俊左肩，疮尺余。贼又欲更下刃，俊号呼，抱持不置，贼因相谓曰："此义士，杀之不祥。"遂俱纵遣。

黄义仲《交、广二州记》曰：合浦之士有尹牙，为郡主簿，太守答云："重仇未(执)[报]。"牙即变姓易名，为(执)[报]之。天子奇其义，因赦不问。

《俗说》曰：谢景仁为豫州主簿，在玄阁下。桓闻其善弹筝，便呼之。既至，取筝令弹。谢即理弦抚筝，因歌《秋风》，意气殊迈。桓大以此奇之。

从 事

《汉书》曰：邴吉，字少卿。为廷尉右监，坐法失官，归为州从事。

又曰：赵广汉，涿郡人。为州从事，以严絜、通敏、下士为名。

又曰：扬雄数为朝廷在位贤者称"严君平德"。杜陵李强为益州牧，喜谓雄曰："吾真得严君平矣。"雄曰："备礼以待之，彼人可见而不得诎也。"强心以为不然，及至蜀，致礼与相见，卒不敢言以为从事，乃叹曰："扬子云诚知人也。"

《东观汉记》曰：鲍永为司隶校尉，矜严公正。平陵鲍恢为从事，恢亦抗直。诏曰："贵戚且敛手，以避二鲍。"

又曰：樊准，字幼陵，为州从事。临职介正，不发私书。

又曰：班彪避地河南，大将军窦融以为从事。深敬待[之]，后接以师友之道。

《后汉书》曰：朱震，字伯厚，为州从事，奏济阴太守赃罪之数。谚曰："车如鸡栖马如狗，疾恶如风朱伯厚。"

《续汉书》曰：杨球为幽州从事，部分边塞，职事修理。

谢承《后汉书》曰：陈众辟州从事。有剧贼淳于临等数千人攻县杀吏，光武遣司空李通率师击之。州牧惶怖，恐获罪戾，众于是自请以恩信晓喻降之，乘单车驾白马，往到贼所，以义告谕。临素服名德，即降服，民生立祠曰"白马从事"。

华峤《后汉书》曰：卫羽为州从事。时中常侍单超兄子匡为济阴太守，负其势，大为贪放。刺史第五种欲取之，闻羽素抗厉，乃召羽谓曰："闻公不畏强御，今欲相委以重事，若何？"对曰："愿庶几于一割。"羽出，遂驰至定陶，闭城门，收匡宾客亲吏四十余人。七日中起发其赃五六千万，钟即举奏，一州震栗。

《魏志》曰：贾洪，字叔业。家贫好学，应州辟。其时州中自参事以下百余人，惟洪与严苞（字文通）才学最高，故众为之语曰："州中晔晔贾叔业，辩论胸胸严文通。"

又曰：袁绍领冀州从事，沮授喜曰"吾心"也。

又曰：张辽，字文远，雁门马邑人。本聂壹之后，以辟怨变姓。汉并州刺史丁原以辽武力过人，召为从事。

又曰：邢颙，太祖辟为冀州从事，时人称之："德行堂堂邢子昂。"

《蜀志》曰：张松说刘璋交通先主，从事广汉王累自倒悬于门以谏，璋无所纳。

又曰：马谡，字幼常。以荆州从事，随先主入蜀，材力过人，好论军计。

又曰：谯周，字尹南。身长八尺，体貌素朴，推诚不识，无造次辩论之方，然潜识内敏。建兴中丞相亮领益州牧，命周为劝学从事。

王隐《晋书》曰："山涛，字巨源，河内人。年四十始为州郡部河南从事。"

又曰：刘毅辟为司州都官从事，京邑肃然。弹河南尹事司隶徐不过曰："蹑虎之犬，鼷鼠蹈其背。"毅曰："既能蹑虎，又能杀鼠，何

损于犬。"投传而去。

《晋中兴书》曰：华谭，字令思。生未期而父殁，母年十八，执节养谭。弱冠知名，扬州刺史周俊礼辟署从事。（史）爱其才器，以为宾友。

《陈留耆旧传》曰：高慎，字孝甫。敦质少华，口不能剧谈，默而好沉深之谋，为从事，号曰卧虎。故人谓之："嶷然不语，名高孝甫。"

《益部耆旧传》曰：李弘，字仲元。为州从事，扬雄称之曰："不屈其志，不累其身，不夷不惠。可否之间，见其貌肃如也，观其行穆如也，闻其言戚如也。"

又曰：巴郡任文公，有道术，为州从事。时越嶲欲反，州遣五从事案虚实。止传舍，食未半，有风发案，文公起曰："当有逆变。"因促驾去，诸从事未能发，为郡兵所杀。

《钟离意别传》曰：扬州刺史夏君三辟意九江从事。三府侧席，夏君见意曰："刺史得京师书，闻从事有令问，刺史何惜王家之爵不贡贤者。"乃表上尚书。

《李固别传》曰：益州及司隶辟，皆不就，门徒或称从事掾，固曰："未曾受其位，不宜获其号。"

《孟嘉别传》曰：庾亮辟嘉为劝学从事。亮盛修学教，高选儒官。正旦大会，褚裒问亮："嘉何在？"亮曰："但自觅之。"裒历观之，指嘉曰："将无是乎？"亮欣然。

《罗含别传》曰：含字君章，刺史庾翼以亲贤之，重作镇方岳搜扬楚，楚匪兰弗刈，仍辟含荆州部从事。

《潜夫论》曰：孝明帝时，荆州举茂才，过阙谢恩，赐食既讫，问何异闻，对曰："巫地有剧贼九人，刺史不能得。"帝曰："汝非部郡从事耶？"对曰："是也。"帝乃振怒曰："贼发部中而不能擒，何以为茂才！"乃捶数百而切让州郡。十日之间贼即伏诛。由此观之，擒盗贼在明法不在数赦。

《世说》曰：顾和为州从事。月旦，朝未入，停车，周侯历和车边过，和风貌夷然不动，周指顾心曰："此中何有？"徐应曰："此中最是难测地。"周入，遇丞相曰："卿州吏中有令仆才。"

又曰：罗含为宣武从事，谢镇西作江夏使，往检校之。罗既至，初不问郡家事，乃遥就谢数日，饮酒而还。桓公问何事？罗云："未审公谓谢尚是何似人？"桓公答："仁祖是胜我许人。"罗云："岂有胜公人而有行非者，故一无所问。"桓公奇其意而不责。

《王丞相集·教》曰：丹阳从事陈耽器局弘正，可转主簿；吴兴从事谢鸾，才干正直，可转西曹。

中　正

《魏略》曰：时苗，字德胄，巨鹿人也。为太官令，领其郡中正定九品，至于叙人才，不能宽大，然纪人之短，虽在久远，衔之不置。

《吴志》曰：习温为荆州太平公。太平公即州都也。后潘秘为尚书仆射，代温为太平公，甚得其誉。

《晋书》曰：杨晫、陶侃共载诣顾荣，州大中正温雅责晫与小人共载，晫曰："江州名少风俗，卿已不能养进寒俊，且可不毁之。"杨晫代雅为大中正，举侃为鄱阳小中正。

又曰：诸葛瞻领丹阳、宣城、新安三郡大中正，时中州人士多寓焉。

又曰：刘毅，字仲雄。年七十，已告老。后举为青州大中正，尚书以毅悬车致仕，不宜劳以碎务。孙尹曰："司徒魏舒、司隶严询与毅年齿相近，[询]管四十万户州，兼董司百僚，总摄机要，舒所统殷广，兼董司百僚，总摄机要。舒所统殷广，兼执九品，铨十六州，议者不以为剧。昔郑武公年过八十，入为司徒。毅志气聪明，一州品第，不足劳其思虑。"毅遂为州都，铨正人流，清浊区别，其所弹贬，自亲贵始。

又曰：解结问别驾治中："河北白壤高良，何故少人士，每以三

品为中正?"皆云不审。陈颖对曰:"《诗》称惟岳降神,生甫及申。英伟大贤多出山泽,河北地平气均,蓬蒿裁六尺,不足成林故也。"

又曰:干宝称晋宣帝除九品,置大中正,晋令云:"大小中正为内官者,听月三会议,上东门外,设幔陈席。"

又曰:刘毅上表:"刺史初临州,大中正[州里才业高者兼主簿从事],[迎刺]史,若吏部选(内)[用],犹下中正,问人事所在,父祖位状。

《晋起居注》曰:仆射诸葛恢(各)[启]称:"州都大中正为吏部尚书,(及)[侍]郎、司徒、左长史属掾皆为中正。臣今领吏部,请解大中正以为都中正,职局同理,不宜兼者也。"

萧子显《齐书》曰:张绪,字思蔓,吴郡人。转太子中庶子、本州大中正。长沙王晃属选用吴兴闻人邕为州议曹,绪以资籍不当,执不许。晃遣书佐固请之,绪正色谓晃曰:"信此是家州卿,殿下何得见逼!"

《梁书》曰:沈约迁侍中、光禄大夫,领太子詹事、扬州大中正,关尚书八条事。

《后魏书》曰:房坚迁齐州大中正。高祖临朝,令诸州中正各举所知,千秋与幽州中正杨尼各举其子。高祖曰:"昔有一祁,名垂往史;今有二奚,当闻来牒。"

《北齐书》曰:乾明中邢邵为中寿监,同郡许惇与邵竞本州中正,遂凭附宋钦道,出邵为刺史。

《三国典略》曰:陈以孔奂为御史中丞,领扬州大中正。晋(令)陵[自]宋、齐以来为大都,奂清白自守,妻子并不之官,所得秩俸随即分赡孤寡。郡中大悦,号曰"神君"。

《襄阳耆旧传》曰:晋朝以江表始通人物,未悉使江南别立大中正。

《通典》曰:魏司空陈群以天台选用不尽人才,择州之才优有昭鉴者除为中正,自较人才,铨定九品,州郡皆置。吴有太平公,亦其

任也。

《郭子》曰：孙子荆应上品，拔王武子。时为大中正。谓访闻此人，非卿能拔，自为之目，曰："天才英雄，亮拔不群。"

《傅子》曰：魏司空陈群，始立九品之制，郡置中正，平次人才之高下，各为辈目。州置都，而总其议。晋宣帝除九品，州置大中正，议曰：案九品之状，诸中正既未能料究人才，以为可除九[品]制，州置大中正。

《曹羲集·九品议》曰：伏见明论，欲除九品，而置州中正，欲检虚实。一州阔远，略不相识，访不得知，会复转访本郡先达者耳。此为问州中正而实决于郡人。

《孙楚集·奏》曰：九品，汉氏本无，班固著《汉书》，序先往代贤智以为九条，此盖《记鬼录》次第耳。而陈群依之，以品生人。又魏武拔奇，决于胸臆，收才不问阶次，岂赖九品而后得人！今可令长守为小大中正，各自品其编户也。

《刘毅集·论九品》曰：臣闻用治理者，以官才为本。官才有三难，而治乱之所由。人物难知，一也；爱憎难防，二也；情伪难明，三也。今立中正，定九品，操人主之威福，夺天朝之权柄，上品无寒门，下品无势族。今职名中正，实为奸府；事名九品，而有八损。宜罢中正，除九品，弃魏弊法，更立一代之美制。

《荀勗集》曰：袁让豫州大中正曰："被敕以臣为豫州大中正。臣与州闾乡党初不相接，臣本州十郡，方于他州，人数倍多，品藻人物，以正一州清论。此乃臧否之本，风俗所重。"

《傅畅自序》曰：时请定九品，以余为中正。余以祖考历代掌州乡之论，又兄宣年三十五，立为州都令，余以少年复为此任，故至于上品。以宿年为先，是以乡里素滞屈者渐得叙也。

应璩《新论》曰：百郡立中正，九州置都士。州闾与郡县，希疏如马齿生，不相识面，何缘别义理？

太平御览卷第二百六十六

职官部六十四

令 长

《礼记·檀弓下》曰：季子皋葬其妻，犯人之禾。申详以告，曰："请庚之。"申详，子张子也。庚，偿也。子皋曰："孟氏不以是罪予，朋友不以是弃予，言非故也。以吾为邑长于斯也。买道而葬，后难继也。"恃宠虐民，非也。

《左传》曰：子皮欲使尹何为邑。子产曰："少，未知可否？"子皮曰："使夫往而学焉，夫亦愈知[治]矣。"子产曰："不可。人之爱人，求利之也。今吾子爱人则以政，犹未能操刀而使割也，其伤实多。子之爱人，求伤之已。"

《论语》曰：子之武城闻弦歌之声，子游为武城宰。夫子莞尔而笑曰："割鸡焉用牛刀。"言治小何须用大道。子游对曰："昔者偃也，闻诸夫子曰：君子学道则爱人，小人学道则易使也。"道，礼乐也。乐以和人，人和则易使。子曰："二三子，谓从行者。偃之言是也，前言戏之耳。"戏以治小用大道也。

又曰：子夏为莒父宰，问政，子曰："无欲速，无见小利，欲速则不达，见小利则大事不成。"

又曰：子游为武城宰，子曰："女得人焉耳乎？"曰："有澹台灭明者，行不由径，非公事，未尝至于偃之室也。"言澹台灭明公且方也。

《家语》曰：子路治蒲，请见于孔子曰："由愿受教于夫子。"子曰："蒲其何如？"对曰："邑多壮士，又难治也。"子曰："然。吾语汝，恭与敬可以摄勇，宽而正可以怀强，爱而恕可以容困，言爱而恕者容困

穷。温而断可以抑奸。如此而加之以忠洁，则政不难矣。”

又曰：子路为蒲宰。为水备，与其民修沟洫。以民之烦劳也，人与一单食，同箪。一壶浆。孔子闻之，使子贡止之。子路不悦，曰：“夫子以仁教而禁行仁，由不受也。”孔子曰：“尔以为人诚，何不白于君，发仓廪以给之，而私以汝食遗之？是尔明君之无惠而见己之德美也。汝速已则可，不已则汝之见罪必矣。”

《晏子春秋》曰：晏子为阿宰，三年而毁闻于国，景公不悦，召而免之。晏子谢曰：“婴知过矣。”请复治阿三年，而誉闻于国。公将赏之，辞而不受。公问其故，对曰：“昔者婴之所以当诛者当赏，而今所以当赏者当诛，是故不敢受。”

《史记》曰：齐威王即位，召即墨大夫，语之曰：“子居即墨，毁日至。然吾使人视即墨，田野辟，民人给，官无留事，东方以宁。是子不事吾左右以求誉也。”封之万家。召阿大夫语曰：“自子之守阿，誉日闻。然吾使人视阿，田野不辟，民人贫苦。是子以币厚吾左右以求誉也。”乃烹阿大夫，左右尝誉者皆并烹之。逐起兵击诸侯，诸侯震惧，人人不敢饰非，务尽其诚，齐国大治。

《汉书》曰：诸令长皆秦官，掌治其县，万户以上为令，秩一千石至六百石。万户以下为长，秩五百石至三百石。皆有丞、尉，秩四百石至二百石。

又曰：萧育，字次君，为茂陵令。会课，育第六。召诣后曹，当以职事对，育径出，曹书佐随牵育，[育]拔佩刀曰：“萧育杜陵男子，何诣曹也。”

又曰：薛宣子惠始为彭城令，宣从临淮迁至陈留，过其县，桥梁邮亭不修。宣心知惠不能，留彭城数日，案行舍中，处置什器，观视园菜，终不问惠以吏事。惠自知治县不称宣意，遣门下掾送宣至陈留，令掾进自从其所，问宣不教诫惠吏职之意。宣曰：“吏道以法令为师，可问而知。能与不能，自有资才，何可学也？”众人以宣言为然。

《东观汉记》曰：张歆守平舆长。有报父仇贼自出，歆召，因诣阁曰："欲自受其辞。"既入，解械，饮食，使发遣，遂弃官亡命。逢赦出，由是乡里服其高义。

《后汉书》曰：冯魴迁郏令，后车驾西征隗嚣，颍川盗贼群起，郏贼延褒等众三千余人，攻围县舍，魴率吏士七十许人，力战连日，弩矢尽，城陷，魴乃遁去。帝闻其反，即驰赴颍川，魴诣行在所。帝案行斗处，知魴力战，乃嘉之曰："此健令也。"

又曰：宋翻，字飞乌，广平列人也。为河阴令，顺阳公主家奴为劫，掠而不送。翻将兵围主宅，执主婿冯穆步驱向县。时正炎暑，立之日中，流汗沾地，于是威振京师。

又曰：董宣，字少平。征为洛阳令，击搏豪强，莫不震栗，京师号为"卧虎"。

又曰：公孙述为清水长。父仁以述年少，遣门下掾随之官。月余，掾辞归，白仁曰：述非待教者也。

《续汉书》曰：董宣为洛阳令。宁平公主乳母子白日杀人，因匿主家，吏不能得。及主出行，以奴骖乘，宣于大夏门亭候之，乃驻车叩马，以刀画地，数主之失者三，叱奴下车，格杀之。主即驰车入宫，上大怒，召宣："令欲死乎？"宣叩头曰："臣奉法之吏不敢纵法，不欲死也。"上曰："捶之。"宣曰："愿一言，死无恨。"上曰："[欲]何言？"宣曰："陛下圣德中兴，而纵奴杀良民，以奴杀臣，臣死之后，陛下何以治天下？捶杀臣不如臣自杀。"即以头撑楹，流血被面。上令小黄门持之曰："痴令！"令叩头谢主，宣不从。上曰："顿痴令头！"[宣]两手据地，不肯低头。上敕强项令出，太官赐食。

又曰：虞诩为朝歌长，故旧皆吊曰："得此何衰？"诩曰："难者不避，易者不从，不遇盘根错节，何以别其利器乎？"

华峤《后汉书》曰：周规除临湘令。长沙太守程徐二月行县，敕诸县治道。规以方春向农，民多剧务，不欲夺人良时。徐出督邮，规即委官而去。徐怃然有愧色，遣功曹赍印绶檄书谢请还，规谓功

曹曰："(穆)[程]府君爱马蹄，不重民力。"径逝不顾。

《汉制》曰：列侯所食县曰国，皇太后、公主所食曰邑，有(变)[蛮]夷曰道。凡县万户以上为令，减万户为长。

《汉书》胡广注曰：秋冬岁尽，各计县户口垦田，钱谷出入，盗贼多少，上集簿。丞、尉以下岁诣郡，课校其功，功多尤为最者，于廷尉劳勉之，以劝其后。负多尤为殿者，于后曹对责，以纠怠慢也。

《魏志》曰：贾逵，字梁道，河东襄陵人。文帝即王位，以鄄县户数万在都下，多不法，乃以逵为鄄令。

又曰：贾逵守绛邑长，郭援攻河东，所经城邑皆下，逵坚守，援攻之不拔，乃召单于并军急攻之。城将溃，绛父老与援要，不害逵。绛溃，援闻逵名，欲使[为]将，以兵劫之，逵不动。左右引逵使叩头，逵叱之曰："安有国家长吏为贼叩头！"援怒，将斩之。绛吏民闻将杀逵，皆乘城呼曰："负要杀我贤君，宁俱死。"左右义逵，多为请，遂得免。

又曰：满宠，字伯宁。守高平令，县人张苞为郡督邮，贪秽受取，干乱吏政。宠因其来在传舍，率吏卒出收之，诘其所犯，即日考竟，遂弃官而归。

又曰：崔林，字德儒。除邬令，贫无车马，单步之官。

《蜀志》曰：邓芝，字伯苗。先主定益州，芝为郫邸阎督。先主出至郫，与语，大奇之，擢为郫令。

又曰：蒋琬，字公琰，零陵湘乡人也。弱冠与外弟泉陵刘敏俱知名。琬以州书佐随先主入蜀，除广都长。先主尝因游观，奄至广都，琬众事不理，时又耽酒，先主大怒，将加罪戮。军师将军诸葛亮请曰："蒋琬，社稷器，非百里之才也。其为政以安民为本，不以修饬为先，愿主公重加察之。"先主雅敬亮，乃不加罪，仓卒免官而已。

《吴志》曰：贺齐，字公苗，会稽山阴人也。少为郡吏，守剡长。县吏(期)[斯]从轻侠为奸，齐欲治之，主簿谏曰："从，县大族，山越所附，今日治之，明日寇至。"齐闻大怒，便立斩从。从族党[遂]相

纠合，众千余人，举兵攻县。齐率吏民，开城门突击，大破之，威震山越。

又曰：陶谦除舒令。郡太守张盘同郡先辈，与谦父友，谦耻为之屈。尝以舞属谦，谦不为起，固强之乃舞，舞又不(轻)[转]。盘曰："不当转耶？"曰："不可转，转则胜人。"

又曰：孟仁，字恭武，江夏人也。为吴令时，皆不得将家之官。每得时物来以寄母，常不先食。及闻母亡，犯禁弃官。

又曰：刘繇，字正礼。举孝廉，为郎中，除下邑长。时郡守以贵戚(记)[托]之，遂弃官而去。

又曰：朱然，字义封，尝与孙权同书学，结恩爱。至权统事，以为余姚长，时年十九。

《晋书》曰：车济，字万度，敦煌人也。果毅有壮勇。为金(细)[城]令，为石季龙将麻秋所陷，济不为秋屈。秋必欲降之，乃临之以兵。济辞色不挠，曰："吾虽才非庞德，而受任同之。身可杀，志不可移。"乃伏剑而死。秋叹其忠节，以礼葬之。

《晋中兴书》曰：华谭所友袁甫者，字公胄，历阳人。少能言议，与谭齐名，友善。大安中，甫入洛，诣中领军何勗，自言能治剧县，勗曰："君子法应多宜，何以惟欲宰民，何不为一台职乎？"甫曰："人各有所能否。譬由锦缯中之好而不可以为帢；口洽切。稻食中之好而不可以为齑。是以孔子曰："及其使人也器之，苟非大才，何能悉备！"久之，除松滋令。

《(宋)[晋]书》曰：陶潜，字渊明。谓亲朋曰："聊欲弦歌，为三径之资可乎？"执事者闻之，以为彭泽令。公田悉令吏种秫稻，妻子固请种粳，乃使二顷五十亩种秫，五十亩种粳。郡遣督邮至县，吏白应束带见之，潜叹曰："我不能为五斗米折腰，向乡里小儿。"即解印绶去，赋《归去来》。

《(又)[齐书]》曰：张融为封溪令。行路经嶂险，獠贼执融，将杀食之。融神色不动，方作《洛生咏》，贼异之，而不害也。浮海至

交州，于海中遇风，终无惧色。方咏曰："干鱼自可还其本乡，(内)[肉]脯复何为者哉！"

《齐书》曰：卞延之，弱冠为上虞令，有刚气。会稽太守孟凯以令长裁之，愤不能容，脱帻投地曰："我所以屈卿者，正为此帻耳。今已投之，卿以一世勋门而傲天下国士。"拂衣而去。

《梁书》曰：萧眕素为中书侍郎在位。少时求为诸暨令，到县十余日，挂衣冠于县门而去。

《后魏书》曰：高祖以北平府长史裴聿、中书侍郎崔亮并清贫，欲以俸禄优之，乃以亮带野王令，聿带温县令，时人荣之。

《北史》曰：齐因魏宰县多用庙监，至于士流，耻居百里。元文遥以县令为字人之切，用之犹恐其披诉，总召集神武门，令赵郡王叡宣旨唱名，厚加慰谕。士人为县，自此始也。

《三国典略》曰：陈褚玠为中书侍郎。陈主以山阴县多豪猾，谓舍人蔡景历曰："稽阴大邑，久无良宰，卿文士之内试思其人。"景历进曰："褚玠清廉有干用。"陈主曰："善。"乃以为令。县人张次的、王休达等与诸猾吏，贿赂通奸，全丁大户多有隐没。玠乃锁次的具状启台，陈主手敕慰劳，并遣使助玠，搜括所出军人八百余户。时曹义达为陈主所宠，县人陈信家富于财，谄事义达。信父显文恃势横暴，玠乃遣使执显文，鞭之一百。于是吏人股栗，莫敢犯者。义达于是谮之。玠在任，守禄俸而已。去官之后，不堪自致，因留县境，种蔬菜以自给。或嗤玠以非百里之才，玠答曰："吾委输课最不后列城，除残去暴，奸吏跼蹐。若谓不能自润脂膏则如来命，以为不达从政，吾未服也。"

《韩子》曰：晋平公问赵武曰："中牟，吾国之股肱，邯郸之肩髀也。寡人欲其良令也，其令空，谁使而可？"赵武曰："刑伯子可。"公曰："伯子，非子仇耶？"对曰："私仇不入公门。"又问："中府之令空，谁使而可？"赵武曰："臣子可。"故曰外举不避仇雠，内举不避子弟。

又曰：宓子贱为单父令，见有若，有若曰："子何瘦焉？"宓子曰：

"忧官政也。"

又曰：晋文公出亡，赵衰挈壶飧而从。与文公相失，饥而道寝，饿而不敢食。及文公反国，举兵攻原，克而拔之。文公曰："夫轻忍饿馁之患，而必全壶飧者，是且不以原叛。"乃举为原令。

《慎子》曰：立国君以为国，非立国以为君也；夫以立官长以为官也，非立官以为长也。

《风俗通》曰：俗说孝明帝时，尚书郎河东王乔迁为叶令。乔有神，每月朔常诣台朝。明帝怪其来数而无车骑，密令太史候望，言临至时，常有双凫从东南来，因伏伺，见凫举罗，但得一只舄。使尚方识视，四年中所赐尚书官属履也。

《通典》曰：县邑之长曰宰，曰尹，曰公，曰大夫。晋谓之大夫，鲁、卫谓之宰，楚谓之公。

太平御览卷第二百六十七

职官部六十五

良令长上

《礼记》曰：成人有兄死而不为衰，闻子皋为成宰，而为之衰，成人曰："蚕则绩而蠶有筐，范则冠而蝉有绥，兄则死而子皋为之衰。"

《韩诗外传》曰：宓子贱治单父，弹鸣琴，身不下堂，而单父治。巫马期戴星而出，戴星而入，以身亲之，而单父亦治。巫马期问于子贱，子贱曰："我任人，子任力；任力者劳，任人者逸。"

《家语》曰：孔子仕为中都宰。为养生送死之节，长幼异食，强弱异任，男女别途，路不拾遗，器不雕伪，市不二价。为四寸之棺，五寸之椁，因丘陵为坟，不封不树，行之一年而西方诸侯皆则。鲁国在东，故言西方诸侯。

又曰：子路治蒲三年，孔子过之，入其境曰："善哉，由乎！恭敬以信矣。"入其邑曰："善哉，由乎！忠信以宽矣。"至其庭曰："善哉，由乎！明察以断矣。"子贡执辔而问曰："夫子未见由之政而三称其善，可得闻乎？"孔子曰："吾见其政矣。入境田畴辟，沟洫深，此其恭敬以信，故其人尽力也。入其邑，墙屋完固，树木甚茂，此其忠信以宽，故其人不偷也。入其庭，甚清闲，诸下用命，此其明察以断，故其政不扰也。以此观之，虽三称善，庸尽其美乎！"

《史记》曰：西门豹为邺令。豹到邺，会长老，问民之所疾苦。长老曰："邺三老、廷掾常岁赋敛百姓，收取其钱得数百万，为河伯取妇。当其时，巫行视小家女好者，云'是当为河伯妇'，[即]娉取。洗沐之。如嫁女床席，令女居其上，浮之河中。浮行数十里乃没。

其人家有好女者，恐大巫祝为河伯取之，以故多持女逃亡。"豹曰："河伯取妇时，愿三老语之。"至其时，豹往河上，呼河伯妇来，曰："是女不好，烦大巫妪为入报河伯，得更求好女，后日送之。"即使[吏]抱大巫妪投河中。豹顾曰："巫妪不来，复欲使廷掾与豪长一人趣之。"皆叩头，血流地，后不敢言为河伯取妇。豹即发民凿渠十二，引灌民田，田皆灌溉，至今皆得水利。

《汉书》曰：邵信臣，字翁卿，九江寿春人，补谷阳长。举高第，迁上蔡长。其治，视民如子，所居见称。

《后汉书》曰：卓茂为密令，劳心谆谆，视民如子，民不忍欺。光武初即位，诏曰："前密令卓茂，能为人所不能为。夫名冠天下，当受天下重赏。今以茂为太傅，封褒德侯，食邑二千户。"茂长子为太中大夫，次子为郎中。

又曰：刘昆，字桓公，为江陵令。县连灾火，昆辄向火叩头，多能降雨止风。

又曰：戴封，字平仲，为西华令。大旱祈祷无获，乃积薪自焚，火起而雨大至。

又曰：王涣为洛阳令，人为立祠。及桓帝事黄老，道毁诸旁祀，惟特诏密县留卓茂庙及涣祠也。

《东观汉记》曰：卓茂，字子康，南阳人。迁密令，视民如子，口无恶言，吏民亲爱而不忍欺之。民尝有言部亭长受其米肉遗者，茂问之曰："亭长从汝求乎？为汝有事属之而受乎？将平居以恩意遗之乎？"民曰："往遗之耳。"茂曰："遗之而受，何故言耶？"民曰："窃闻贤明之君，使民不畏吏，吏不取民。今我畏吏，是以遗之。"茂曰："凡人所以贵于禽兽者，以有仁爱，知相敬事也。今邻里尚致馈，此乃相亲，况吏民乎？凡人之生，群居杂处，故有经纪礼义以相交接。汝独不欲修之，宁能高飞远去，不在人间耶？"民曰："苟如此，律何故禁之？"茂笑曰："律设大法，礼从人情。今我以礼教汝，必无怨恶；以律治汝，何所措其手足乎？"时天下大蝗，河南二十余县，皆被

其灾，独不入密界。督邮言之，太守不信，自出按幸，见乃服焉。

又曰：韩稜字伯师，颍川人也。为下邳令，视事未期，吏民爱慕。时邻县皆雹伤稼，惟下邳界独无。

又曰：王阜，字世公。为重泉令，吏民向化，鸾鸟集止学宫，阜使校官掾长涉叠，为张雅乐击磬。鸟举足垂翼，应声而舞，翻翔复上县庭屋，十余日乃去。

又曰：孔奋，字君鱼，右扶风茂陵人。守姑臧长七年，诏书以为奋在姑臧，治有绝迹，赐爵关内侯。奋素孝，供养至谨。在姑臧惟老母极膳，妻子饭食葱芥。时人笑之，或嘲奋曰："置脂膏中不能自润。"而奋不改其操。

又曰：钟离意为堂邑令。初到市无屋，意乃出俸钱作屋。民赍茅竹或持材木争赴趣作，不日而成。既毕，为解土祝曰："兴功役者令也，如有祸祟，令自当之。"民皆大悦。

《后汉书》曰：戴封，字平仲。拜议郎，迁西华令。汝、颍有蝗灾，独不入西华界。时督邮行县，蝗忽大至，督邮其日即去，蝗亦顿除，一境奇之。其年大旱，封祷请无获，乃积薪艾坐其上以自焚。火起而大雨暴至，远近叹服。

又曰：童恢为不其令。吏有犯违禁法，辄随方晓示。若吏称其职，人行善事者，皆赐以酒肴之礼，以劝励之。耕织种牧，皆有条章。一境清静，牢狱连年无囚。比县流人归化，徙居二万余户。人常为虎所害，乃设槛捕之，生获二虎。恢闻而出，咒虎曰："天生万物，惟人为贵。虎狼当食六畜，而残暴于人。王法杀人者死，伤人则论法。汝若是杀人者，当垂头服罪；自知非者，当号呼称冤。"一虎低头闭目，状如震惧，即时杀之。其一视恢鸣吼，踊跃自奋，遂令放释。

又曰：刘矩为雍丘令，以礼让化之，其无孝义者，皆感悟自革。人有争讼，矩常引(人)[之]于前，提耳训告，以为忿恚可忍，县官不可入。使归更寻思，讼者感之，辄各罢去。其有路得遗者，皆推寻

其主。

又曰：王涣为洛阳令，有善政。元兴元年病卒，百姓市道莫不咨嗟。男女老壮皆相与赋敛，致奠醊以千数。醊，音张芮反。《说文》曰：祭酹也。涣丧西归，道经弘农，人庶皆设盘案于路。吏问其故，咸言平常持米到洛，为卒司所钞，恒亡其半。自王君在事，不见侵枉，故来报恩。其政化怀物如此。人思其德，为立祠于安阳亭西，每食辄弦歌而荐。

又曰：虞延为细阳令。每至岁时伏腊，辄休遣徒系，各使归家，并感其恩德，应期而还。有囚于家被病，自载诣狱，既至而死。延率掾吏殡于门外，百姓感悦之。

又曰：虞延迁洛阳令。是时阴氏有客马成者，常为奸盗，延收考之。阴氏屡请，获一书辄加笏二百，笏，捶也。音彭。信阳侯阴就乃诉帝，谮延多所冤枉。帝乃临御道之馆，亲录囚徒，延陈其狱状可论者在东，无理者居西。成乃回欲趋东，延前执之，谓曰："尔人之巨蠹，久依城社，不畏熏烧，今考实未竟，宜当尽法。"成大呼称枉，陛戟郎以戟刺，延叱使置之。帝知延不私，谓成曰："汝犯王法，身自取之。"呵使速去，后数日伏诛。于是外戚敛手，莫敢干法。

又曰：法雄除平氏长，善政事，好发擿奸伏，盗贼希发，吏人畏爱之。南阳太守鲍得上其理状，迁苑陵令。

《续汉书》曰：鲁恭为中牟令，导民以孝，推诚而治。建初中，郡国螟伤稼，犬牙缘界，不入中牟。河南尹袁安疑其不实，遣仁恕掾肥亲往察廉之。恭随行阡陌，俱坐桑下，有雉过，止其傍。傍有童儿，亲曰："何不系之？"儿言："雉方将雏。"亲瞿然而起，与恭诀曰："所以来者，欲察治之善恶耳。今虫不犯境，此一异也；化及鸟兽，此二异也；竖子有仁心，此三异也。久留，徒扰贤者耳。"还府，以状白安。安美其治，以励属县。

又曰：祭彤除偃师长，视事五年，县无盗贼，州课第一，迁襄贲令。时盗贼钞掠，彤到官，诛钮奸猾，县界清静，诏书增秩一等，赐

缣百匹，册书勉励。

又曰：刘宠除东平陵令。是时民俗奢泰，宠到官，躬俭训民以礼，上下有序，都鄙有章。视事数年，以母病，去官归，百姓士女攀车拒轮，充塞道路，车不得前，乃止亭，轻服潜遁。

又曰：刘骜驹为浈阳长，政化大行，道不拾遗。以病去官，童谣歌之曰："邑然不乐，思我刘君。何时复来，安此下民。"

又曰：公孙述补清水长，太守以其能，使兼治五县，政事修理，奸盗不发，郡中谓之神明。

又曰：胡绍为河内怀令，三日一视事，十日一诣仓。受俸米于阁外炊作干饭食之，不设釜灶。得一强盗，问其党与，得数百人皆诛之。政教清平，为三河表。

又曰：牟融举茂才，为丰令。视事二年，政化流行，县无狱讼，吏畏而爱之。治有异迹，为州郡最。

又曰：度尚，字博平，山阳人。除上党长，治政严峻，明于疑理，县中谓之神明。

谢承《后汉书》曰：郑弘，字巨君。为邹令，勤行德化，部人王逢等得路遗宝物，悬于道衢，求主还之。鲁国当春大旱，五谷不丰，邹独致雨偏熟。永平十五年，蝗起泰山，流被郡国，过邹界不集。郡因以状闻，诏书以为不然，遣使案行，如言也。

又曰：方储，字圣明。晓风角占候，为句章长。时人田还，置余粟一石及刀锄于田陌，明日求，亡去，疑其旁家。储曰："此人非偷。"自呼县功曹谓曰："君何取人粟置家后积茭中？"功曹叹服。后为洛阳令。功曹是宪客，为宪所讽，夜杀人断头着舍中厩门下，欲令储去官。储摩死者耳边问："谁所杀？"有顷曰，死人言为功曹所杀。收功曹，拷竟具服。

又曰：贾彪，字伟节。补新息长，政多奇异。小人迫困贫，产子不能举养，彪禁有犯者，以杀人罪罪之，县境震栗。人养子，金曰："贾父所长"，男女以贾为名。

华峤《后汉书》曰：刘平为全椒令。掾吏五日一朝，罢门阑，卒署各遣就农。人感怀，至或增赀就赋，或减年从役。刺史行部，狱无囚徒，民各自以为职，不知所问，惟班诏书而去。先是，县多虎为害。平到，修政选进儒良，黜贪残，视事三月，虎皆渡江而去。

又曰：刘永国，字叔儒，为东城令。民闻其名，枉者更直，浊者强清，肃然无事，惟以著作为务。

袁山松《后汉书》曰：范丹为莱芜长。去官，常便卖卜以自给，步行无车，被囊自随。

《汉官仪》曰：明帝临观，见洛阳令车骑，意河南尹定，至而非，尤其太盛，敕去轩绥。时偃师长治有能名，以事诣台，因取赐之下县，遂以为故事。

《魏志》曰：郑浑，字文公。避难淮南。太祖闻其笃行，召为邵陵令。天下未定，民皆不念产殖，其生子无以相活，率皆不举。浑所在夺其渔猎之具，课使耕种，又兼开稻田，重去子之法。民初畏罪，后稍丰给，无不举育，所育男女，多以郑为名。

又曰：胡质，字文德，楚国寿春人也。为顿丘令。县民郭政通于从妹，杀其夫程他，郡吏冯谅系狱为证。政与妹皆耐掠隐抵，谅不胜，痛自诬，当反其罪。质至官，察其情色，更详其事，检验具服。

又曰：王修，字叔治。守高密令。高密孙氏素豪侠，人客数犯法。民有相劫者，贼入孙氏，吏不能得。修将吏民[围之]，畏惮不敢近。修令吏民："敢有不攻者，与同罪！"孙氏惧，乃出贼。由是豪强慑服。

又曰：赵俨，字思伯。为朗陵长。县多豪猾，无所畏忌。俨取其尤甚者，收缚案验，皆得死罪。俨既囚之，乃表府解放，自是威恩并著。

又曰：张暨，字德容，冯翊高陵人也。举茂才，为新丰令。治为三辅第一。

又曰：司马朗，字伯达，河内温人也。为堂阳长。其治务宽惠，

不行鞭杖，而民不犯禁。

又曰：吉茂，字叔畅，冯翊池阳人也。世为著姓，好书，不耻恶衣恶食，而耻一物之不知。建安初，关中始平，茂与扶风苏则共入武功南山隐处，精思数岁，州举茂才，除临汾令。居官清静，吏民不忍欺。

又曰：太祖平袁氏，以高柔为营长。县中素闻其名，奸吏数人皆引去。柔教曰："昔邴吉临政，吏尝有非，犹尚容之。况此诸吏，于吾未有失乎！其召复之。"咸还，皆[自]砺，(诚)[成为]佳吏。

《蜀志》曰：董和，字幼宰，南郡人也。益州牧刘璋以为成都令。蜀土富实，时俗奢侈，货殖之家，侯服玉食，婚姻葬送，倾家竭产。和躬率以俭，恶衣蔬食，防遏逾僭，为之轨制，所在皆移风变善，畏而不犯。

又曰：吕义，字季阳，迁新都绵竹令，乃心隐恤，百姓称之，为一州诸城之首。

《吴录》曰：张举，字子清，为句章令。有妇杀夫者，因焚屋，言烧死。其弟疑而讼之。举按尸，开口视无灰。令人取猪二头，杀一生一，而俱焚之；开视其口，所杀者无灰，生者有灰，乃明夫先死，妇遂首服焉。政化流行，民歌遗泽。

《晋书》曰：陆云为浚仪令。县居都会之要，名为难理。云到官，下不能欺，市无二价。人有见杀者，主名不立，云录其妻，而无所问。十许日遣出，密令人随后，谓曰："其去不出十里，当有男子候之与语，便缚来。"既而果然。问之具服，云："与此妻通，共杀其夫，闻妻得出，欲与语，惮近县，故相要候于是。"一县称为神明。郡守害其能，屡谴责之，云乃去官。百姓追思之，图画形像，配食县社。

又曰：范广为堂邑令。大旱米贵，广散私谷赈饥人，至数千斛，远近流寓归投之，户口十倍。

又曰：曹摅为洛阳令。仁惠明断，百姓怀之。时天大雨雪，宫

门夜失行马，群官检察，莫知所在。摅使收门士，众官咸谓不然。摅曰："宫掖禁严，非外人所敢盗，必是门士以燎寒耳。"诘之，果服。

又曰：曹摅为临淄令。县有寡妇，守节不移。姑愍之，密自杀。亲党告妇杀[姑]，官为考鞫，寡妇不胜苦楚，乃自诬。狱当决，摅察其有冤，更加辩究，具得情实，时称其明。

《晋中兴书》曰：范宁，字武子。解褐除余杭令。在县兴学校，养生徒。洁己志行之士，莫不来宗，期年之后，风化大行。自中兴已来，崇学敦教，未有如宁者也。

《宋书》曰：顾宪之为建康令。清俭强力，为政甚得人和，故都下饮酒者，醇旨辄号为顾建康，谓其清且美焉。

又曰：顾宪之为建康令。时有盗牛者，被主所认，盗者亦称己牛，二家辞理等，前后令莫能决。宪之至，覆其状，谓二家曰："无为多言，吾得之矣。"乃令解牛，任其所去。牛迳还本主宅，盗者始伏其辜。发奸擿伏，多如此类，时人号曰神明。

又曰：顾觊之迁山阴令。山阴民户三万，海内剧邑，前后官长，昼夜不得休，事犹不举。觊之理繁以约，[县]用无事，昼日垂帘，门阶闲寂，自宋世为山阴，务简而绩修，莫能尚也。

《齐书》曰：傅琰为山阴令，有卖针卖糖老姥争团丝，来诣琰，[琰]不辩，乃缚团丝于柱鞭之，密视有铁屑，乃罚卖糖者。又二野父争鸡，琰各问"何以食鸡"，一人云"粟"，一人云"豆"，乃破鸡(果)得粟，罪言豆者。县内咸称神明，无敢复为盗者。

又曰：傅琰，字季珪，为山阴令。父僧祐，亦为山阴令，父子并著奇绩。世云"诸傅有《治县谱》，子孙相传，不以示人。"

《梁书》曰：傅岐除始新令。县民有因斗相殴而死者，死家诉郡，郡录其仇人，考掠备至，终不引咎，郡乃移狱于县，岐即命脱械，以和言问之，便即自服。法当偿死，会冬节至，岐乃放其还家，使过节一日复狱。曹掾固争曰："古者乃有此，于今不可行。"岐曰："其若负信，县令当坐，主者勿忧。"竟如期而反。太守深相叹异，遽以

状闻。岐后去，县民无老小皆出境拜送，啼号之声，闻于数十里。

又曰：萧景，字子昭。为永宁令。永嘉太守榜郡门曰："诸县有疑滞，可就永宁令决之。"

又曰：丘仲孚迁山阴令。居职甚有声称，百姓为之谣曰："二傅沈刘，不如一丘。"

又曰：丘仲孚为山阴令。仲孚长于拨烦，善适权变，吏民敬服，号称神明，治为天下第一。

又曰：何远，字义方。自武昌太守除名，后起为武康令，正身[率职]，[愈]励廉节，除淫祀。高祖闻其能，擢为宣城太守。自县令为邦畿大郡，近代未之有也。

又曰：孙谦为钱塘令，治烦以简，狱无系囚。及去官，百姓以谦在职不受饷遗，追载缣帛以送之，谦却而不受。

又曰：裴子野出为诸暨令。在县不行鞭罚，民有争者，示之以理。

太平御览卷第二百六十八

职官部六十六

县令长下

崔鸿《十六国春秋·北凉录》曰：张谭，字元庆，武威姑臧人也。为和宁令，政以德化为本，不务威刑。民有过者，读《孝经》及《忠臣孝子传》训导之，百姓爱之如父母，号曰"慈君"。

又《后赵录》曰：王谟，字思贤。瓮鼻，言不清畅，尪短无威仪。将拜曲阳令，石勒疑之，问长史张宾，宾曰："请试可。"勒从之。政教严明，百城尤最。出为都部从事，守宰去官者十五人。

又《后赵录》曰：申录，字道时，为广昌令。白乌巢其庭树，甘露降其厅事，后为三公。

《(北齐)[隋]书》曰：郎茂除卫国令。时有系囚二百，茂亲自究审数日，择免者百余人。历年辞讼，不诣州省。魏州刺史元晖谓曰："长史言卫国人不敢申诉者，畏明府耳。"茂曰："人犹水也，法令为堤防。[堤防]不固，必致奔突，苟无决溢，使君何患哉？"晖无以应。

《后周书》曰：辛昂行成都令。昂到县便与诸生祭文翁学堂，因共欢宴。谓诸生曰："子孝臣忠，师严友信，立身之要，如斯而已。若不事斯语，何以成名？[各]宜自勉，克成令誉。"昂言切理至，诸生等深感悟，归而告其父老曰："辛君教诫如此，不可违之。"于是井邑肃然，咸从其化。

《陈书》曰：褚玠。山阴县多豪猾，前后令皆以赃污免，高宗患之，谓中书舍人蔡景历曰："稽阴大邑，久无良宰，卿文士之内，试思

其人。"景历进曰："褚玠廉俭有干用，未审堪其选不？"高宗曰："甚善，卿言与朕意同。"乃除山阴令。

《隋书》曰：魏德深迁贵乡长。为政清净，不严而治。会兴辽东之役，征税百端，使人往来，责成郡县。于时王纲弛紊，吏多赃贿，所在征敛，下不堪命。惟德深一县，有无相通，不竭其力，所求皆给，百姓不扰，称为大治。寻转馆陶长，贵乡吏人闻之，皆嘘欷流涕，语不成声。及将赴任，倾城送之，号泣之声，道路不绝。既至馆陶，阖境老幼皆如见其父母。有猾人员外郎赵君实，与郡丞元宝藏深相交结，前后令长未有不受其指麾者。自德深至县，君实屏处于室，未尝辄敢出门。逃窜之徒，归来如市。贵乡父老冒涉险难，诣阙请留德深，有诏许之。馆陶父老复诣郡相讼，以贵乡文书为诈。郡不能决。会持节使者韦霁、杜整等至，两县诣使讼之，乃断从贵乡。贵乡吏人歌呼满道，互相称庆。馆陶众庶合境悲哭，因而居住者数百家。

《隋书》曰：苏威荐房恭懿，授新丰令，政为三辅之最。上闻而嘉之，赐物四百段。恭懿以所得赐，分给穷乏。未几，复赐米三百石，恭懿又以赈贫人，上闻而止之。时雍州诸县令，每朔朝谒，上见恭懿必呼至榻前，访以理人之术。

又曰：房彦谦迁长葛令，甚有惠化，百姓号为慈父。仁寿中，上令持节使者巡行[州]县，察长吏能不，以彦谦为天下第一，超授郡州司马。吏民号哭相谓曰："房明府今去，吾属何用生为！"其后百姓思之，立碑颂德。

又曰：刘旷，不知何许人也。性谨厚，每以诚恕应物。开皇初，为平乡令，单骑之官。人有争讼者，辄丁宁晓以义理，不加绳劾，自各引咎而去。所得奉禄，赈施穷乏。百姓感其德化，更相笃励，曰："有君如此，何得为非！"

《唐书》曰：李大亮授土门令。属百姓饥荒，盗贼侵寇，大亮遂卖所乘马分给贫弱，劝以垦田，岁因大稔。躬捕寇盗，所击辄平。

时太宗在藩，巡抚北境，闻而嗟叹，下书劳之。

又曰：贾敦颐弟敦实，贞观中为饶阳令，政化清静，老幼怀之。时敦颐复授濠州刺史，旧制，大功以上不复连官，朝廷以其兄弟在职，俱有能名，遂不迁替。

又曰：高宗以尚乘奉御权怀恩为万年令，赏能也。时有奉乘安毕罗善于调马，上颇狎之，怀恩因奏事，遇毕罗在[帝]左右言戏无礼，怀恩既退，执而杖之。上知而嗟赏，谓侍臣曰："怀恩乃能不避强御，真良吏也。"即日迁擢。

又曰：景云中，长安县令李朝隐加太中大夫。朝隐之宰京县也；政刑毕举，权豪慑惮。有内侍伯非礼干忤，朝隐叱击于狱，上喜焉，故有此命。

又曰：路嗣恭，京兆三原人，始名剑客，历仕郡县，有能名，后授神乌令，考绩上上，而为天下最。玄宗以其能嗣鲁恭，赐改其名。

又曰：韦景骏，开元中为肥乡令。县人有母子相讼者，景骏谓之曰："吾少孤，每见人养亲，自痛终天无分，汝幸在温清之地，何得如此？锡类不行，令之罪也。"因垂泣呜咽，仍取《孝经》与之，令习读。于是母子感悟，各请改悔，遂称慈孝。累转赵州长史，路由肥乡，人吏惊喜，竞来犒饯，留连经日。有童稚数人，年甫十余岁，亦在其中。景骏谓曰："计吾去此时，汝辈未生，既无旧恩，何殷勤之甚也？"咸对曰："比闻长宿传说，县中廨宇、学堂、馆舍、堤桥，并是明公遗迹。将谓古人，不意亲得瞻睹，不觉欣恋倍于常也。"其为人所思如此。

又曰：冯伉迁尚书膳部员外郎。李抱真卒，充吊赠使，抱真男遗伉帛数百匹，不纳。又专送至京，伉因表奏，固请不受。属醴泉缺县令，宰臣进人名，上意不可，谓宰臣曰："前使泽潞不受财帛者，此人必有清政，可以授之。"遂改醴泉县令。患百姓多昏猾，为著《谕蒙》十四篇，大[略]指明忠孝仁义，劝学务农，每乡给一卷，俾其传习。

又曰：元德秀，字紫芝，河南人也。为鲁山令。先是堕车伤足，不任趋拜，汝郡守以客礼待之。部人为盗，吏捕之系狱，会县界有猛兽为暴，盗自陈曰："愿格杀猛兽以自赎。"德秀许之，胥吏曰："盗诡计苟免，擅放官囚，无乃累乎？"德秀曰："吾不欲负约，累则吾坐，必请不及诸君。"即破械出之。翌日，格猛兽而还。诚信化人，大率此类。

又曰：王敬则为暨阳令。时军荒后，县有一部劫逃入山中，颇为人患。敬则遣人致意劫帅，使出首，当申论郭下庙神，甚酷烈，百姓信之；敬则引神为誓，必不相负。劫帅既出，敬则于庙中设酒会，于座收缚，曰："吾启神，若负誓，还神十牛。今不得违誓。"即杀十牛解神，并斩诸劫，百姓悦之。

《晋史》曰：寿张令赵赓考满之外，量留二年，以飞蝗避境故也。

《广州先贤传》曰：黄豪，字子微，交阯人。除外黄令。豪约己俭节，粗衣蔬食，所得俸秩，悉赐贫吏，一县称平。

《益部耆旧传》曰：罗衡，字仲伯。为万年令，诛锄奸党，县界肃然。民夜不闭门，系牛马于道旁曰："以属罗公。"

又曰：赵珜，字孙明。少好游侠，行部带剑。过亭长，亭长谴之，乃叹曰："无大志，故为竖吏所轻耳。"于是解剑挂壁曰："珜不乘辎车、佩绂，不复带剑。"因之京师，诣太学受业治《春秋》，变行厉操，名德遂称，除野王令。乃解剑带之官，治官清约，以身率下，烟火不举，常食干糒。

又曰：阎宪，字孟度。为绵竹令，治以礼让为首，宽猛相济。其听察甚明，简选吏职，甚得其人。男子杜成，夜于路得遗装一囊，开视有锦二十五匹，迄明，诣吏，曰："县有明君，不能惭心故也。"

又曰：杨球，字仲宣。为茂陵令，宽和多惠，以至诚接下，为民所爱。比县连岁蝗灾，曲折不入茂陵。

《长沙耆旧传》曰：祝良，字邵卿。为洛阳令，贵戚敛手，桴鼓稀鸣。时亢旱，天子祈雨不得，良乃暴身阶庭，告诚引罪，紫云沓起，

甘雨乃降。

《陈留风俗传》曰：昭帝时蒙人焦贡为小黄令，路不拾遗，囹圄空虚。诏迁贡，百姓挥涕守阙，求索还贡。天子听，增贡之秩千石。贡之风化犹存，其民好学多贫，此其风也。

《海内先贤传》曰：公沙穆迁弘农令，界有蝗虫食禾稼，百姓惶惧。穆设坛谢曰："百姓有过，咎在典掌，罪穆之由，请以身祷。"玄云四集，雨下霈霈，自日中至晡，不知蝗虫所在，百姓称曰"神明"。

《鲁国先贤传》曰：孔翊为洛阳令，置水于前庭，得私书皆投其中，一无所发，弹理贵戚，无所回避。

《汝南先贤传》曰：黄浮，字隐公，阳安人。年二十，在于民伍，曾为墟里所差，次当给亭。于是感激学书，慨然长叹曰："黄浮非乡里所知。"因随人到京师求学，岁余除昌虑长、濮阳令。同岁子为都市掾，犯罪当死，一郡尽为之请。浮曰："周公诛二弟，石碏讨其子，今虽同岁子，浮所不能赦也。"治政清明，号为神君。

又曰：陈晔，邵陵人也。体尚笃烈，学通古今，除巫令。民张遗腹子，年十五，为父报仇。吏捕得之，晔愍曰："嗟乎，今杀遗腹之孤，绝人继嗣，是不仁也。法复仇之子，是不义也。不仁不义，焉可以为民君长哉！"遂解印绶逃亡，遇赦乃出。

钟玩《良吏传》曰：高玩，字伯珍，蜀郡人也。除曲阳令。及征还，送者不使出界，布被缊裘，犹去时之服，朝野归其清。

又曰：司马俊，字元异。补洛阳令，豪右挫气，京都号曰卧虎。

又曰：陈登，字元龙，广汉人也。为东阳长，视民如子。

《崔氏家传》曰：崔瑗为汲令，乃为开沟造稻田，薄卤之地更为沃壤，民赖其利。长老歌之曰："天降神明君，锡我慈仁父。临民布德泽，恩惠施以序。穿沟广溉灌，决渠作甘雨。"

《殷氏传》曰：殷哀为荥阳令。先多淫雨，百姓饥馑。君乃穿渠入河，三十余里，疏导原隰，用致丰年，民赖其利，号"殷沟"而颂之。

《钟离意别传》曰：意迁东平瑕丘令。男子倪直勇悍有力，便弓

弩，飞射走兽，百不脱一，桀悖好犯长吏。意到官，召署捕贼掾，敕谓之云："令昔尝破三军之众，不用尺兵；尝缚暴虎，不用尺绳，但以良诈为之耳。掾之气势安若？宜慎之。"因复召直子涉署门下，将游徼私出入寺门，无所关白。收涉鞭之，直走之寺门，吹气大言，言无上下。意气敕直，能为子屈者，自缚诫令，不则鞭杀其子。直果自缚。意告曰："令前告汝，尝缚暴虎，不用尺绳。汝自视何如，虎自缚耶？"敕狱械直父子，结连其头，对榜博壮切。欲死。掾吏陈谏乃贷之，由是相率为善。所谓上德之政，鹰化为鸠，暴虎成狸，此之谓也。

《荀氏家传》曰：荀貌除太原榆次令，为政以德，人怀之。时有凤凰集其境内，晋武帝下诏褒美。太始三年卒，吏人如丧亲戚，为之树碑。其序曰："仰之如日月，敬之如神明，爱之如父母，乐之如时雨。"

《典略》曰：韩攸，字仲潢，颍川人。为赢长，时民大饥，而太守未至。攸因发仓赈之。吏白，言太守垂至，军粮重事，可须来到。攸言："民命悬急，令以擅出谷受罪，合眼入地，不以为恨也。"后竟不坐。吏民蒙济者数千人。

《会稽典录》曰：徐弘，字圣通，为汝阴令。县俗刚强，大姓兼并。弘到官，诛剪奸桀，豪右敛手，商旅路宿，道不拾遗。童歌之曰："徐圣通，政无双，平刑罚，奸宄空。"

《华阳国志》曰：王长文，字德俊。元康初试守江源令。县收得盗马贼及发冢贼，长文引见诱慰。时适腊晦，皆遣归家，狱先有系囚亦遣之。谓曰："教化不厚，使汝等如此，长史之过也。蜡节庆祚归就，汝上下善相欢乐，过节来还，当为汝思他理。"郡吏惶惧，争请不许。寻有赦令，无不感恩。

又曰：景毅，字文坚，梓潼人。为高陵令，立文学以礼让化民；迁侍御史，吏民守阙请之，三年不绝。

《搜神记》曰：徐栩，字敬卿，吴曲拳人。少为狱吏，执法详平，

为小黄令。时属县大蝗，野无生草，至小黄界，飞过不集。

《山公启事》曰：温令许奇等并见称名，虽在职，各日浅，宜显报大郡以劝天下，诏曰："案其资历，悉自足为郡守，各以在职日浅则宜尽其政绩，不宜速他转也。"

《博物志》曰：太公望为灌坛令，期年，风不鸣条。文王梦见一妇人，甚丽，当道而哭，问其故，妇人言曰："我东海太山神女，嫁为西海妇，欲东归，灌坛令当吾道，太公有德，吾不敢以暴风疾雨过也。"文王梦觉，明日召太公，三日果有疾风暴雨，去者皆西来也。

《说苑》曰：晏子治东阿，三年，景公召而数之曰："吾以子为可，而使子治东阿，今子治而乱，子退而自察也，寡人将加大诛乎？"晏子曰："臣请改道易行而治东阿，三年不治，臣请死之。"景公许之。于是明年上计，景公迎而贺之曰："善矣，子之治东阿也。"晏子对曰："前臣之治东阿，属托不行，货赂不至，陂池之鱼，以利贫民。当此之时，民无饥者，而君反以罪。今臣之治东阿也，属托行，货赂至，事左右，陂池之鱼入权家，民之贫饥者过半，君反迎而贺臣，臣愿乞骸骨。"景公乃下席而谢曰："子强复治之东阿者，子之东阿也，寡人无复与焉。"

《新序》曰：昔子奇，年十八，齐君使之治阿。既行矣，悔之，使使追曰："未至阿及之，还之；已至，勿还也。"使者及之而不还。君问其故，对曰："臣见使与共载者，白首也。夫以老者之智，以少者之决，必能治阿矣，是以不还。"

又曰：鲁君使宓子贱为单父宰，子贱辞去，因请借善书者二人，[书]其宪法教品，鲁君与之。至单父，使书，子贱从旁引其肘，书丑，则怒之，欲好则引之。书者患之，请辞而去，归以告鲁君。鲁君曰："子贱苦吾扰之，使不得施其善政也。"乃命有司无得擅征发单父，单父大治。故孔子曰："君子哉若人！鲁无君子者，斯焉取斯？"美其德也。

太平御览卷第二百六十九

职官部六十七

酷令长　县丞　主簿　县尉

酷令长

《汉书》曰：何并，字子廉，为长陵令，道不拾遗。成太后外家王氏贵，而侍中王林卿坐法免，归长陵上冢，因留饮连日。并恐其犯法，乃自造门上谒，谓林卿曰："冢间单外，君宜以时归。"林卿曰："诺。"林卿素骄，惭于宾客。林卿既去，北渡泾桥，令骑奴还至寺门，拔剑剥其建鼓。并自从吏兵追林卿。行数十里，林卿迫窘，乃令奴冠被其襜褕自代，乘从车骑，身变服从间径驰去。会日暮追至，收缚冠奴，奴曰："我非侍中，奴耳。"并心知已失林卿，乃曰："君因自称奴，得脱，死！"即叱吏断头，持还县所，剥鼓置都亭下，署曰："故侍中王林卿。"

《东观汉记》曰：董宣为洛阳令。击持豪强，在县五年，七十四卒官，诏遣使者临视，惟布被覆尸，妻子对哭，家无余财。上叹曰："董宣死，乃知贫耳。"

《晋书》曰：何曾孙机为邹平令，性亦矜傲，责乡里谢鲲等拜。或戒之曰："礼敬年爵，以德为主。今鲲畏势，惧伤风俗。"机不以为惭。羡为离狐令，既骄且吝，陵驾人物，乡闾疾之如仇。永嘉之末，何氏灭亡无遗焉。

《梁书》曰：沈瑀为余姚令。富吏鲜衣美服，以自彰别，瑀怒曰："汝等下县吏，何自拟贵人耶？"悉使着芒屩粗布，侍立终日，足有蹉跌，辄加榜捶。瑀微时，尝自至此鬻瓦器，为富人所辱，故因以报焉。由是士庶骇怨。

县 丞

《史记》曰：诏捕淮南太子，淮南相怒，寿春丞留太子建不遣。如淳注曰："丞主刑狱囚徒，故责之。"

《汉书》曰：黄霸为颍川太守，务在成就全安长吏。许丞老，病聋，督邮白欲逐之，霸曰："许丞廉吏，虽老尚能拜起送迎，止颇重听，何伤？且善助之，毋失贤者意。"如淳曰："许，县丞也。"

《后汉书》曰：张玄（宗）[字]君夏，河阳人也。少习《春秋颜氏》，兼通数家法。建武初，举明经，补弘农文学，迁陈仓县丞。清净无欲，专心经书，方其讲问，乃不食终日。及有难者，辄为张数家之说，令择从所安。诸儒皆伏其多通，（者）[著]录千余人。玄初为县丞，尝以职事对府，不知官曹处，吏白门下责之。时扶风琅邪徐业，亦大儒也。闻玄诸生，试引见之，与语，大惊曰："今日相遭，真解矇矣！"遭，逢也。遂请上堂，难问极日。

《吴志》曰：会稽妖贼许昌起于句章，自称阳明皇帝，扇动诸县，众以万数。孙坚以郡司马募召精勇，得千余人，与州郡合讨破之。刺史臧旻列上功状，诏书除坚盐（渎）[渎]丞，数岁徙盱眙丞，又徙下邳丞。

又曰：孙坚为下邳丞，历佐三县，所在有称，吏民亲附。乡里知旧，好（争）[事]少年，往来者常数百人，坚接抚待养，有若子弟也。

《唐书》曰：武德元年诏：京令五品，丞一人，七品，正六人，八品。畿令六品，丞一人，七品，正四人，八品，上县令六品，丞一人，八品正四人，九品，中、下县各有差，后改为尉。

主 簿

《后汉书》曰：缪肜音融。字孺公，仕县为主簿。时县令被章见考，吏皆畏惧自诬，而肜独证据，掠考苦毒，乃至体生虫蛆，因转换五狱，逾涉四年，令卒以自免。

又曰：宁阳主簿诣阙，诉其县令之枉，积六七岁不省，乃复上书曰："臣闻陛下为臣父，臣为陛下子。臣章百上，终不见省，臣岂可北诣单于以告冤乎？"帝大怒，尚书劾以大逆，虞诩驳之曰："主簿所讼乃君父之怨，百上不达，乃有司之过。"

又曰：仇览，字季(和)[智]，一名香。初为蒲亭长。有陈元者，母告其不孝，览为陈慈孝之道，卒成孝子。考城令王涣，政尚严猛，闻览以德化人，署为主簿。谓览曰："主簿闻陈元之过而不罪，得无少鹰鹯之志耶？"览曰："以为鹰鹯，不若鸾凤。"涣谢遣曰："枳棘非鸾凤所栖，百里非大贤之路。"乃以月俸资遣令入太学，其名大振。

《唐书》曰：苏弁为奉天主簿。朱泚之乱，德宗仓卒出幸，县令杜正元上府计事，闻大驾至，官吏惶恐，皆欲奔窜山谷。弁谕之曰："君上避狄，臣下当伏难死节。昔肃宗幸灵武，至新平、安定，二太守皆潜遁，帝命斩之以徇，诸君知其事乎？"众心乃安。乃车驾至，迎扈储峙无阙，德宗嘉之，就加试大理司直。

《汝南先贤传》曰：李宣之子名表。宋公令寇端召表为主簿，表不乐为吏，于寺门中焚烧衣帻。端怒，收表，欲杀之。陈仲举闻之，至宋公，欲请表，先过宣，宣问："何故来？"曰："欲见寇令，请足下儿。"宣曰："吾子犯罪，罪当死，如有明君，岂妄杀人！宜从此还。"端追问仲举，仲举具以语之。端乃叹曰："李宣，烈士也！"即原之。

苏林《广旧传》曰：仇香，字季(和)[智]。为书生，性谦恭勤恪，威严矜庄，貌不为昼夜易容，言不为喜怒变声。虽同侪群居，必正色后言，终身无泄狎之交，以是见惮。学通三经，然无知名之援、乡里之举。年四十，召为县主簿。

《唐职员令》曰：主簿掌付事勾稽，省署抄目，纠正县内非违，监印，给纸笔之事。

县尉

《春秋元命苞》曰：天尉主甲卒，设武备。今时尉官亦准此义也。

《史记》曰：张汤给事内史，为宁成掾，以汤为无害，言大府，调为茂陵尉，治方中。《汉书音义》曰：方中，陵上土作方也，汤主治之也。苏林曰：天子即位，豫作陵，讳之，故言方中。如淳曰：大府，幕府也。茂陵尉主作陵之尉也。韦昭曰：大府，公府也。

《汉书》曰：李广出雁门，匈奴兵多，破广。广亡失多，当斩，赎为庶人。屏居蓝田南山射猎，尝夜[从]一骑出，从人田间饮。还至亭，霸陵尉醉，呵止广，广骑曰："故李将军。"尉曰："今将军尚不得夜行，何故也！"宿广亭下。居无何，匈奴入陇西，杀太守。于是上乃召广拜为右北平太守。广请霸陵尉与俱，因斩之。

又曰：梅福，字子真，九江寿春人也。少学长安，明《尚书》、《谷梁春秋》，为郡文学，补南昌尉，后去官。

《东观汉记》曰：光武起兵入寇，绛衣，骑牛，杀新野尉，乃得马。

又曰：逢萌，字子康，北海人。少有大节，志意抗厉。家贫，给事为县亭长。尉过，迎拜问事。微久，尉去，举拳挝地叹曰："大丈夫安能为人役耶！"遂去，学问。

《后汉书》曰：桥玄案梁冀客陈助、羊昌罪，由是著名，举孝廉，补洛阳左部尉。时梁不疑为河南尹，以公事当诣府受对，玄耻为所辱，乃弃官还乡里。

又曰：令长、国相亦皆有尉，大县二人，小县一人主盗贼，案察奸轨。

应劭《汉官仪》曰：大县丞、左右尉，所谓命卿(二)[三]人。小县一人一尉，命二人。

《续汉书·百官志》曰：边县有郡塞尉，掌禁备羌夷犯塞，秩比二百石。

《魏志》曰：太祖除洛阳北部尉。初入尉廨，缮治四门，造五色棒，悬门左右各十余枚，有犯禁者，不避豪强皆棒杀之。后数月，爱幸小黄门蹇石叔父夜行，则杀之，京师敛迹，莫敢犯者。近习宠臣咸共疾之，而不能伤。

《蜀志》曰：刘备率其属从校尉邹靖讨黄巾有功，除安喜尉。督邮以公事到县，先主求谒，不通，直入缚督邮，杖二百，解绶系其颈，弃官亡命。

《唐书》曰：颜师古，隋仁寿中授安养尉。尚书左仆射杨素见师古年弱貌羸，因谓曰："安养剧县，何以克当？"师古曰："割鸡焉用牛刀。"素奇其对。到官，果以干理闻。

又曰：员半千，晋州临汾人。上元初，应八科举，授武陟尉。属频岁旱饥，劝县令殷子良开仓以赈贫馁，子良不从。会子良赴州，半千便发仓粟，以给饥人。怀州刺史郭齐宗大惊，因而按之。时黄门侍郎薛元超为河北道存抚使，谓齐宗曰："公之百姓不能救之，而使惠归一尉，岂不愧也！"遽令释之。

又曰：王无竞，字仲烈，其先琅琊人，因官徙居东莱，宋太尉弘之十一代孙。无竞有文学，初应举，下笔成章，举及第，解褐授赵州栾城县尉。

又曰：李勉为开封尉。升平日久，且汴水陆所凑，邑居庞杂，号难治。勉与联尉卢城轨等，并有擒奸摘伏之名。

又曰：柳公绰为渭南尉。公绰性谨重，动循礼法。属岁饥，其家虽给，而每饭不过一器，岁稔复初。

又曰：包佶授蓝田尉。时有诏命畿内诸县城奉天，时严郢为京兆，政尚峻暴，加以朝旨甚迫，尹正之命急如风霆，本曹尉韦重规，其室方娠而疾，畏郢之暴，不敢以事故免。佶因请代，役无愆素，当时义之。

又曰：窦参强直果断。少以门荫，积官至万年尉。时同僚有直官曹者，将夕，闻亲疾，参请代之。会狱囚亡走，京兆尹按直部，将奏，参遽请曰："彼以不及状谒，参实代之，宜当罪。"坐贬江夏尉，人多义之。

《唐新语》曰：卢庄道，年十六，授长安尉。太宗将录囚徒，京宰以庄道幼年，惧不举，欲以他尉代之。庄道不从，但闲暇不之省也。

时系囚四百余人，令、丞深以为惧。翌日，太宗召囚，庄道乃徐书状以进，引诸囚人，庄道评其轻重，留系日月，应对如神，太宗惊叹。

又曰：魏奉古为雍丘尉。时姚珽莅汴州，群僚毕谒。珽览刺，召奉古前，持《厩牧令》示奉古，奉古一览便讽千余言，珽惊起曰："仕宦且四十年，未尝见此。"

又曰：朱履霜，好学，明法理，补山阴尉。巡察使委以推按，故人或遗以数两黄连，固辞不受，曰："不辞，受此归，恐母妻诘问从何而得，不知所以对也。"

又曰：杨再思为玄武尉。使于京，舍止于客院。盗者窃其装囊，邂逅遇之，盗者谢罪，再思曰："足下有遗行，勿复声恶，恐傍人害足下，可留公文，余并仰遗。"不形容色，时人莫测其量。

又曰：玄宗听政之暇，从禽自娱，又于蓬莱宫侧立教坊，以习倡优曼衍之戏。酸枣尉袁楚客以为天子春秋方壮，宜节之以雅，恐从禽好郑将荡上心，乃引由余太康义上疏以讽，玄宗纳之。

又曰：郑蜀宾颇善五言，竟不闻达，年老方授江左一尉。亲朋饯别于上门，蜀宾赋诗留别曰："畏途方万里，生涯近百年。不知将白首，何处入黄泉。"酒酣咏之，声调哀感，满坐为之流涕。竟卒于官。

《鲁国先贤传》曰：二世时，山东盗贼起，二世问诸臣曰："于公何如？"博士诸生三十余人前曰："人臣无将则反，罪至死无赦，愿陛下急发兵击之。"二世怒。叔孙通前曰："诸生言皆非。明主在上，四方辐凑，安有反者？此乃鼠窃狗盗，守尉今捕诛之，何足可忧！"二世喜，乃赐通衣帛，拜为博士。诸生或讥通之谀，通曰："我几不免虎口。"乃亡去，之薛。薛已降楚，遂从项梁，梁死从项羽。

《先贤行状》曰：程坚，字谌甫，为北阳尉。贫无车马，每出追游，常步行。郡闻给事焉。

《搜神记》曰：蒋子文者，广陵人。嗜酒好色，挑挞无度。常自言已青骨，死当为神。当汉末为秣陵尉，遂死。及吴先主之初，其

故吏见子文于道，乘白马，执白扇，侍从如平生。吏见惊走。子文进马追之，谓曰："我当为此土地之神，以福尔下民。尔可宣告百姓，为我立祠。不尔，将有大咎。"

《荆州图记》曰：澧阳县西百三十里，澧水之南岸，有白石双立，状类人形，高各三十丈，周回等四十丈。古之相传，昔有充县左尉与零陵尉共论疆，因相伤害，化为此石，即以为二县界首。东标零陵，西碣充县。充县废省，今临澧县则其地也。

《墨子》曰：备城法：百步一亭，亭一尉焉。

宋武帝诏曰：百里之任，总归官长。县尉实效甚微，其费不少。二品县可置一尉而已，余悉停省。

太平御览卷第二百七十

兵部一

叙兵上

《世本》曰：蚩尤作兵。宋衷注曰：蚩尤，神农臣也。

《春秋元命苞》曰：蚩尤，虎卷威文立兵。宋均注曰：卷，手也，手文威字也。

《书》曰：鸿范八政，八曰师。

《大戴礼》曰：鲁哀公问孔子曰："蚩尤作兵与？"孔子曰："蚩尤，庶人之贪者也。反利无义，以丧厥身，何兵之能作与？民皆生也。"

《左传》曰：武有七德：禁暴，戢兵，保大，定功，安民，和众，丰财者也。

又曰：举不失德，赏不失劳，老有加惠，旅有施舍，见可而进，知难而退，军之善政也。兼弱攻昧，武之善经也。

又曰：兵犹火也，不戢将自焚。

又曰：师直为壮，曲为老。

又曰：师克在和，不在众。

《谷梁传》曰：善为国者不师，善师者不阵，善阵者不战，善战者不死。

《国语》曰：穆王将征犬戎，祭公谋父谏曰："不可！先王耀德不观兵。夫兵戢而时动，动则威，观则玩，玩则无震。"注曰：玩，黩。震，惧也。

《家语》曰：哀公问曰："寡人欲吾国小则能守，大则能攻，其道若何？"孔子曰："使君朝廷有礼，上下和亲，天下百姓皆君之民也。

将谁攻焉？苟违此道，民叛如归，皆君之仇，将谁守焉？"公曰："善哉。"于是废泽梁之禁，弛关市之税，以惠百姓。

《史记》曰：范蠡云："兵者，凶器；战者，逆德。"

《汉书》曰：兵家者，盖出古司马之职，王官之武备矣。后世烁金为刃，割革为甲，器械甚备。下及汤武受命，次师克乱而济百姓，动之以仁义，行之以礼让，《司马法》是其遗事也。自春秋(出)[至]于战国，出奇设伏，变诈之兵并作。汉兴，张良、韩信序次兵法，凡一百八十二家，删取要用，定著三十六家。

又《刑法志》曰：自黄帝有涿鹿之战以定火灾，颛顼有共工之阵以定水灾。唐虞之际，至治之极，犹流共工，放欢兜，窜三苗，殛鲧，然后天下服。夏有甘扈之誓，殷、周以兵定天下矣。天下既定，戢藏干戈，教以文德，而犹立司马之官，设六军之众，因井田而制军赋焉。天子畿方千里，提封百万井，出军赋六十四万井，戎马四万匹，兵车万乘，故称万乘之主。戎马车徒干戈素具，春振旅以蒐，夏拔舍以苗，秋治兵以狝，冬大阅以狩，皆以农隙以讲武事焉。连师比年简车，卒正三年简徒，群牧五载大简车徒，此先王为国立(战)[武]足兵之大略也。

又曰：以仁义绥民者，无敌于天下也。至于齐桓、晋文之兵，可谓入其(城)[域]而节制矣。然犹未本仁义之大统也。故魏、秦之武，锐不可以当桓、文之节制；桓、文之节制不可以当汤、武之仁义。故曰：善师者不阵，善阵者不战，善战者不败，善败者不亡。

又曰：夫文德者，帝王之利器；威武者，文德之辅助也。夫文之所加者深，则武之所服者大；德之所施者博，则威之所制者广。三代之盛，至于刑措兵寝者，以其本末有序，帝王之所极功也。

又曰：魏相曰："救乱诛暴谓之义兵；敌加于己，不得已而起，谓之应兵；争忿小故不胜愤怒者谓之忿兵；利人土地货宝者谓之贪兵；恃国家之大、矜人民之众，谓之骄兵。"

又曰：晁错上书云："丈五之沟，堑车之水，堑音子豫反。陵阜崎

岖，积石相接，此步兵之地，车骑五不当一。平原广泽，漫衍相属，此车骑之地，步兵十不当一。候视相及，川谷分限，此弓弩之地，刀楯三不当一。草木蒙茏，枝叶蔚茂，此矛铤之地，长戟三不当一。穹崇险隘，阻厄相视，此刀楯之地，弓弩二不当一。

《老子》曰：师之所处，荆棘生焉。大军之后，必有凶年。

又曰：兵者，不祥之器，非君子之器，不得已而用之。

又曰：是以君子居则贵左，故吉事尚左，丧事居右。是以偏将军处左，上将军处右。战胜，以丧礼处之也。

又曰：善为士者不武，善战者不怒。

又曰：天下有道，却走马以粪；天下无道，戎马生于郊。

又曰：以政治国，以奇用兵。

《六韬》曰：用兵之道，使如疾雷，令民不及掩耳，卒电不暇瞑目。

《古司马兵法》曰：古者，以义理之谓之正，治民、用兵、止乱、讨暴，必以义也。正不获意则权，权出于战，不出于仁也。分不均、求不胜谓之不获意。权，锤也，平轻重而为之功。以死易生，以危为宁，反复往来而以诈成，故曰不出于仁也。是故杀人[安人]，杀之可也。以杀止杀，可以生也。攻其国，爱其民，攻之可也。除民乱以去君害。以战去战，虽战可恃也。故仁见亲，义见悦，智见恃，勇见方，信见信。将有五材，民亲悦恃方而信之。故内得爱焉，所以守也。外得威焉，所以战也。利加于人则守固，威加于敌人则战胜。

又曰：战道不违时，不历民病，所以爱吾民也。春夏兴师为违时。春兴师虏五谷，夏兴师伤人民。故役不逾时，寒暑不易服，饥疫不行，所以爱民也。不加丧，不因凶，所以爱夫其人也。敌有丧、饥、疫不加兵，爱彼民如己民。冬夏不兴师，所以兼爱彼民也。大寒甚暑，吏士懈惰。故国虽大，好战必亡；天下虽平，忘战必危。

又曰：天下既平，天子大凯。春蒐秋狝，诸侯振旅，秋治兵，所以不忘战也。

又曰：古者逐奔不过百步，纵绥不过三舍，是以明其礼也。不穷不能，而哀怜伤痛，是以明其仁也。成列而鼓，是以明其信也。争义不争利，是以明其义也。又能舍服，是以明其勇也。知始知终，是以明其智也。六德以时合(散)[教]，以为民纪者，古之道也，自古之政也。仁、义、勇、智、信，民之本，随时而施，为民纲纪，古之所以传政道也。

又曰：先王之治，顺天之道，设地之宜，官民之德，而正名治物。正者，正官名也。名正则可治之。立国辨职，立国治民，分守境界，各任其职也。以爵分禄。以爵位尊卑，职其禄秩也。诸侯悦怀，海外来服，服从己也。狱弭而兵寝，圣德之治也。

又曰：有虞氏不赏不罚，而民可用，至德也。夏后赏而不罚，至教也；殷罚而不赏，至威也；周以赏罚，德衰也。赏不逾时，欲民速得为善之利也；罚不迁列，欲民睹不善之害也。赏功不移晷，罚恶不列，所以劝善惩恶欲疾速者也。

又曰：夏后正其德也，未用兵之刃，故其兵不杂。设军不阵，敌服，故不用五兵。殷，义也，始用兵之刃矣。阵而不战。周，力也，尽用兵之刃矣。周不及虞夏之教，讨暴征乱战后胜。夏赏于朝，贵善也。以德化也。殷戮于市，威不善也。以刑禁也。周赏于朝，戮于市，劝君子，惧小人也。以赏进，以罚禁。三王章其德，一也。三王皆道德，文武随而施之，其致一也。

又曰：凡战，宽而观其虑，宽者，先以卑弱示不能，以示敌变化，虑其利害得失所在也。进退以观其固，遣轻兵至敌所在，视察进退固备虚危处所也。危而观其惧，诈设危事，以知敌恐怖得失之势也。静而观其怠，敌静而不动，相视吏士知懈怠。动而观其疑，轻兵挑战，相见敌人，知其疑否也。袭而观其治。欲袭敌，先视其守备外内，什伍、器械，虚实治乱所在也。

又曰：凡战，以轻行，轻危；轻兵高林疾足，能追奔逐，比翼助进退，当须步曲什伍为卒，节度行止。轻兵，无轻重，故危之。以重行，重无功。重兵持坚固守，什伍不得进退，不得能利，故无功也。(凡)[故]战相为轻重。重兵主持坚固守，轻兵主追兵取利，相为用也。

又曰：民有勇心，惟敌之视；士卒勇锐，进退前后，离合左右，见胜利之形，

惟敌所在，辄得其便也。民有畏心，惟北之视。士卒恐惧，各有嫌疑不求便利，怀其北心，当安稳教导，开示胜形，以服习之。两心交支，两利若一；两军相当，兵相支持，各求便利共事，一胜之势在两军间有道者得之也。两为之职，惟权之视。谓知己知彼，称轻重，量多少，度进退，知彼己虚实之所在也。

又曰：军旅以舒为主，舒则人力足，虽交兵致刃，徒人不趋，车不驰也。逐奔不逾列，是以不乱。军旅之固，不失行列之政，不绝人马之力，迟速无过诫命。军旅政为坚固也，进退疾徐，从金鼓之声也。

又曰：军庸不入国，国庸不入军。军庸入国则民德废，国庸入军则民德弱。军国异庸，强弱殊任，故不相入，入则乱也。故在国言文而语温，在朝恭以逊，修己以待人，不召不至，不问不言，难进易退。此申叙国庸之宜。在军抗而立，在行遂而果，介者不拜，兵车不轼，城上不趋，危事不齿。此申致军庸之宜抗者，不待问也。意者有虑于事而为，不须令遂必也。果胜也，介者不拜，车不轼，骑不下，所以远屈而乱行也，上趋为惊众也。故礼与法，表里也；文与武，左右也。古者贤王明民之德，尽民之善，故无废德，无简民，赏无可生，罚无可杀也。民有一善处一事，故能尽民之善，无损德，民能堪其事，故赏罚无所施。

又曰：凡从奔勿息，敌或止于路，则虑之。追敌奔北无休懈，则敌于路旁设伏，当观察反复虑之，自(惊)[警]戒也。凡近敌都，必有进路，退必有反虑。深入敌地，必知进退便利道径，通塞利害所在，避实从虚也。

又曰：凡战，先则弊，后则慑。兵先举则劳，后起则士心不定而恐惧。选良次兵，是谓益民之强；选良者，择取劲勇有材者为前，当什伍相以接之死地及见胜则心专强之。弃任节食，[是]谓开民之意，自古之政也。任者，畜积器物财储畜服御之具。节余粮战之日不余食，示必死战也。开塞生意以专民心，此五帝三王用兵之道也。

《曹公孙子兵法序》曰：操闻上古弧矢之(刊)[利]，《论语》"足食足兵"，[《尚书》八政曰"师"]，《易》曰"师贞"，《传》云"王赫斯怒"，黄帝、汤武咸用干戈为民也。用武者灭，用文者亡，夫差、偃王是也。圣贤之于兵也，戢而时动，不得已而用之。[吾]观兵书战策，孙武深矣。孙子者，齐人也，名武。为吴王阖闾作《兵法》一十

三篇，试之妇人，卒以为将，西破强楚入郢，北灭齐、晋。后百余岁，有孙膑，是武之后也。

《孙子》曰：兵者，国之大事。校之以计，而索其情。谓下五事，彼我之情。一曰道，二曰天，三曰地，四曰将，五曰法。道者，令人与上同意，谓导以教令也。故可与之死，可与之生，而人不畏危。危，疑也。言上有仁化于下，则能致命也。天者，阴阳寒暑时(利)[制]。地者，远近险易广狭死生。言以九也，形势不同，因时制度也。将者，智信仁勇严。将宜五德备也。法者，曲帜制官道主用。部曲幡帜、金鼓之制。官者道者粮路主用，军费用也。凡此五者，将莫不闻，[知]之者胜，不知者不胜。

又曰：兵者，诡道，故能而示之不能，用而示之不用；言己实能用师，外示无法。近而示之远，远而示之近。欲进而治去道，若韩信之袭安邑，陈舟临晋而度于夏阳是也。故利而诱之，乱而取之，实而备之，敌持实，须备之。强而避之，避其所长。怒而挠之，待其衰解。卑而骄之，引而劳之以利劳之。(规)[亲]而离之，佚而劳之，以利劳之。攻其无备，出其不意，击其懈怠空虚也。此兵之胜，不可豫传。传，泄也。

又曰：凡用兵之法，全国为上，破国次之。夫兴兵深入长驱，敌举国来服为上；次，兵击破得之为次。全军为上，破军次之。军四千人。全卒为上，破卒次之。上一千人，下五百人。全伍为上，破伍次之。百人至五人也。是故百战百胜，非善之善。不战而屈人之兵者，善之善者也。夫不战而敌自屈服，上；兵伐谋，敌始有谋，伐之易也。

又曰：故用兵之法，十则围之，以十敌一则围之，是为智，等而兵利钧而客劲操，所以倍兵围下邳而生擒吕布也。倍则分之，以二敌一，二则为当一，术(音道)为奇。敌则能战，己为士众等整者，犹设奇伏以胜之也。少则能逃，高壁垒勿与敌战也。不若则能避之，引兵避之。故小敌之坚，大敌之擒也。小不能当大也。

又曰：凡治众如治寡，分数是也。部曲为分，什伍为数也。斗众如斗少，形名是也。旌旗曰形，金鼓曰名。三军之众可使必受敌而无败者，奇正是也。先出合战为当，后出为奇也。兵之所加，如以瑕投卵者，虚实是也。以实击虚也。

又曰：故善动敌者，形之，敌必从之；见赢形也。与之，敌必取之。

以利动之，以卒待之。以利害动敌也。故善战者，求之于势，专在权也。不责于人，故能择人而任势。以势者权变明也。任势者，其战人也如转木石，木石之性，安则静，危则动，方则止，圆则行。任势自然。故善战人之势如转圆石于万仞之山者，势也。

又曰：凡先据战地而待敌者佚，有余力也。后据战地而趋战者劳，故善战者致人而不致于人。能使敌人自至者，利之也。诱之以利。能使敌人不得至者，害之也。出兵所必趋，攻兵所必救。故敌佚能劳之，以利烦之。饱能饥之，绝其粮道。安能动之，出其所必趋也。使敌必救。

又曰：兵形象水，水之行，避高而就下；兵之形，避实而击虚。故水因地而制形，兵因敌而制胜。故兵无常势，水无常形，能与敌变化而取胜者，谓之神。势盛必衰，形露必败，能因敌变化胜之，若神。故五(常)[行]无常胜，四时无常位，日有长短，月有死生。兵无常势，盈缩随敌也。

又曰：故不知诸侯之谋者，不能豫交；不知敌情谋者不能结交也。不知山林险阻沮泽之形者，不能行军；高而崇者为山，树木所聚者为林，坑堆者为险，一高一下为(沮)[阻]，水草渐洳为沮，泉水所归不流者为泽也。不用乡导者，不能得地利。故兵以诈立，以利动，以分合为变者也。兵一分一合，此敌为变。故兵疾如风，击虚空也。徐如林，不见利也。侵掠如火，疾如火也。不动如山，守山。难知如阴，似天阴不见外宿也。动如雷霆。

又曰：夜战多火鼓，昼战多旌旗，所以变人之耳目也。故三军可夺气，将军(不)可夺心。左氏言：一鼓作气，再而衰，三而竭也。是故朝气锐，昼气惰，暮气归。故善用兵者，避其锐气，击其惰归，此治[气]者也。以治待乱，以静待(谨)[哗]，此治心者也。以近待远，以佚待劳，以饱待饥，此治力者也。无邀正正之旗，无击堂堂之阵，此治(齐人)[变]者也。正正高齐，堂堂者大。

又曰：用兵之法，高陵勿向，倍兵勿迎，丘阪勿迎，佯北勿从，锐卒勿攻，饵兵勿食，归师勿遏，怀归故能死战，不可击也。围师勿斗，司马

法曰：兵三面，开其一面，示生路也。若敌专陆地必空一面以示其虚，欲使战守不周也。此用兵之法也。

又曰：故善用兵，譬如帅然；帅然者，常山之蛇也。击其首则尾至，击其尾则首至，击其中则首尾俱至。

又曰：践墨循敌，以决战事。行践规矩无常者也。是故始如处女，敌人开户；后如脱兔，敌不及矩。处女示弱。兔，往也。

《吴子》曰：鼓鞞金铎所以威耳，旌麾旗章所以威目，禁令刑罚所以威心。三者不立，虽有国，必(散)[败]于敌。故曰心威于形，不可不战。

《管子》曰：夫为兵之数，存乎聚财、论工、造军器。制器、兵器。选士、政教、军中号令。服习、谓使习武艺。偏知天下、谓偏知其地形隘易，主将二拙，士卒勇怯。明于机数。此八者皆须，故兵未出境而无敌；八者悉备，然后能正天下。

又曰：凡民之所以守战而死而不德其上者，或守或战，虽复至死，不敢持之，以德于上则有数存于其间，以至此也。曰古者亲戚坟墓之所在也，一变。田宅富厚足也，(一)[二]变。不然则州党与宗族足怀乐也，三变。不然则上之教训、习俗、慈爱之于民也厚无所往得之也，君之恩厚皆在于人无所他往，故得人致死。四变。不然则山林、泽谷之利足生也，五变。不然则地形险阻易守而难攻也，六变。不然则罚严而可畏也，赏明而足劝也，七变。不然则有深怨于敌人也，八变。不然则有深于上也。功厚则禄多，故亦自为战而不得于君。九变。今恃不信之人而求以利，用不守之民而欲以固，将不战之卒而幸以胜，此兵之三暗也。

《尉缭子》曰：凡兵者，羊肠亦胜，锯齿亦胜。兵重者如山林，轻者如燔如炮，如漏如溃，如堵垣压人也，云霓覆人也。

又曰：故兵止如堵墙，动如风雨，车不结辙，士不旋踵。此本战之道也，所以养民也。

又曰：城所以守战，战所以守城也。故务耕者其民不饥，务守者其民不危，务战者其地不围。三者，先王之本务也，而兵最急。

太平御览卷第二百七十一

兵部二

叙兵下

《六韬》曰：大人之兵，如虎、如狼、如雨、如风、如雷、如电，天下尽惊，然后乃成。

又曰：武王问太公曰："欲引兵深入诸侯之地，三军卒有缓急，或利或害。吾欲以近通远，从中应外，急三军之用，谓之何如？"公曰："主将有阴符：有大胜得敌之符，长一尺；有破军擒敌之符，长九寸；有降城得邑之符，长八寸；有却敌执远之符，长七寸；有反兵惊中坚守之符，长六寸；有请粮食、益兵卒之符，长五寸；有败军亡将之符，长四寸；有卒利亡失之符，长三寸。诸奉使行符，稽留若符事[泄]闻符所告者皆诛。符者，主将所以阴通信语，不得漏泄，中外之道也。"王曰："善。"

《黄石公记》曰：将所有为威者，号令也；战所以全胜者，军正也；士所以轻战者，用兵也。故战如风发，勇如河决，众可望而不可当，可下而不可胜也。

《黄石公三略》曰：圣王制兵也，非好乐之也，将以诛暴也。暴谓乱国贼民。夫以义诛不义，[若]决江河溉萤火，其克必也。

《商君书》曰：夫民情好爵禄而畏刑罚，人君设此二者以御民。夫民力尽而名随之，功立而赏随之，君能使其民信此明于日月，则兵无敌也。

《吕氏春秋》曰：古之圣王有义兵，譬之若用良药治人，毒药杀人。义兵为天下之良药也。

又曰：古圣王有义兵而无有偃兵。兵所自来者尚矣，古始有民[俱]凡兵也者，威也；威也者，力也。民之有威力，性也。性者，所受于天也，非人之所能为也。武有炎黄。固用水火矣。黄帝、炎帝。共工固欲作难矣。与高辛氏争为帝而亡之矣。五帝固相与争矣。

又曰：人曰"蚩尤作兵"，蚩尤非作兵，利其械也。未有蚩尤之时，民固剥林木已战矣，故胜为长。长，帅。长则犹不足以治之，故立君。君又不足以治之，故立天子。天子之立也出于君，君之立出于长，长之立也出于争。争斗之所自来者久矣，不可禁，不可止，故古之圣王有义兵而无有偃兵也。

又曰：家无怒笞，则竖子婴儿之有过也立见。天下无伐，则诸侯之相暴也立见。故怒笞不可偃于家，刑罚不可偃于国，诛伐不可偃于天下，有巧有拙而已矣。故古之圣主有义兵而无偃兵。夫有以愷死者，欲禁天下之食；有以乘舟死者，欲禁天下之船；有以丧国兵者，欲偃天下之兵。悖夫！兵之不可偃也。

又曰：凡兵，天下之凶器也；勇，天下之凶德也。兴凶器，行凶德，不得已也。

又曰：人情欲生而恶死，欲荣而恶辱。死生荣辱之道一，则三军之士可使一心矣。凡军欲其众也，心欲其一也，三军一心则令可使无敌矣。故曰其令强者其敌弱，其令信者其敌诎。先胜于此，则必胜之于彼矣。

又曰：古之至兵，士民未合，而威已谕矣，敌已服矣，岂必用旌鼓干戈哉！故善谕威者，于其未发也，于其未通也，窅窅乎莫知其情，此之谓至威之诚也。

又曰：凡兵欲急疾捷先。欲急疾捷先之道，在于知缓徐迟后。缓徐迟后急疾捷先之分也，急疾捷先，所以决义兵之胜也。

又曰：虽有江河之险则凌之，虽有大山之塞则蹈之，并气抟精，心无有虑，犹预之虑。目无有视，耳无有闻，壹诸武而已矣。

又曰：万乘之国，外之不可以距敌，内之不得以守固，其民非不

可以用也，不得所以用之术也。不得所以用之术，国虽大，势虽便，卒虽众，何益也？

《淮南子》曰：古之用兵者，非利壤土之广，而贪金玉之赂，将以存亡继绝，平天下之乱而除万民之害也。

又曰：凡有血气之虫，含牙戴角，前爪后距。有角者触，有齿者螫，有蹄者趹，喜而相戏，怒而相害，天之性也。人有衣食之情，而物弗能足也，[故]群居杂处，分不均、求不赡则争，争则强胁弱而勇侵怯。人无筋骨之强、爪牙之利，故割革而为甲，铄铁而为刃。贪昧饕餮之人，残贼天下，万民骚动，莫宁其所。有圣人勃然而起，乃讨强暴，平乱世，夷险除秽，以浊为清，以危为宁也。

又曰：兵之所由来远。黄帝尝与炎帝战矣，炎帝神农氏之末世矣，与黄帝战于阪泉，帝灭之。颛顼尝与共工争矣。共工与颛顼争为帝，触不周山之折也。故黄帝战于涿鹿之野，黄帝与蚩尤战于涿鹿。涿鹿在上谷。尧战于丹水之浦，尧以楚伯受命，灭不义于丹浦。丹浦在南阳。舜伐有苗，有苗，三苗。启攻有扈，禹之子伐有扈于甘，在右扶风鄠县也。自五帝而不能偃也，况衰世也！

又曰：夫兵者，所以禁暴讨乱也。炎帝为火灾，故黄帝禽之。共工为水害，故颛顼诛之。教之以道、导之以德而不听，则临之以威武。临之以威武而不从，则制之以兵革。故圣人之兵也，若栉发薅苗，所去者少，而所利者多也。

又曰：杀无罪之民而养不义之君，害莫大焉；殚天下之财而赡一人之欲，祸莫深焉。所为立君者，以禁暴讨乱也。今集万民之力，而反为残贼，是为虎傅翼，曷为不除也。

又曰：霸王之兵，以论虑之，以策图之，以义扶之，非以亡存也，将以存亡也。

又曰：闻敌国之君有加虐于其民者，则举兵而临其境，责之以不义，刺之以过行。兵至其郊，乃令军帅曰：无伐树木，无掘坟墓，无爇五谷，爇，烧也。无焚积聚，无捕虏民，无收六畜。无聚所征国民以为

采取，无收其六畜以自饶利。乃发号施令曰：某国之君，傲天侮鬼，决狱不辜，杀戮无罪，此天之所诛也，民之所仇也。兵之来也，以废不义而复有德也，有逆天之道、率民为贼者，身死族灭。以家听者禄以家，以里听者赏以里，以乡听者封以乡，以县听者侯以县。克国不及其民，废其君而易其政，尊其秀士而显其贤良，赈其孤寡，恤其贫穷，出其囹圄，赏其有功。百姓开门而待之，淅米而储之，淅，清。惟恐其不来也。此汤、武之所以致王，而齐桓、晋文之所以成霸也。

又曰：君为无道，民之思兵也，若旱而望雨也，渴而求饮，夫(何)谁与交兵接刃乎？故义兵之至也，至于不战而心服也。

又曰：晚世之兵，君虽无道，莫不设渠堑[傅]堞加守。傅，守也。堞，城上女墙也。攻者非以禁暴除害也，欲以侵地广壤也，故至于伏尸流血，相支以日，而霸王之功不世出者，自为之故也。

又曰：夫为地战者，[不能成其王；为身战者，]不能立其功。举事以自为者，众去之。众之所助，虽弱必强；众之所去，虽大必亡也。

又曰：兵失道而弱，得道而强；将失道而拙，得道而工；国得道而存，失道而亡。所谓道者，(耻)[体]圆而法方，背阴而抱阳，左柔而右刚，履幽而观旸。地方而无限，故莫能窥其门。天[化]育而无形象，地生长而无计量，浑浑沉沉，孰知其藏也？

又曰：凡物有联，惟道无联；方万物可联也，而道不可联也。所以无联者，以其[无]常形势也。转轮而无穷，象日月之[运]行，若春秋有代谢，若日月有昼夜，终而复始，明而复晦，莫能得其纪。制形而无形，故功可成矣。[物]物而不物，故胜不屈。形，兵之极也；至于无形，可谓之极矣。

又曰：大兵无创，与鬼神通；五兵不厉，天下莫之敢当；建鼓不出库，诸侯莫不慑悛沮胆。故庙战者帝，神化者王。所谓庙战者，法天道也；神化者，法四时也。修政于境内，而远方慕其德，制胜于未战，而诸侯服其威也。

又曰：民诚从令，虽少无畏；民不从令，虽众为寡。故下不亲上，下心不用；卒不畏将，其形不战。守有必固，而攻有必胜，不待交兵接刃，而存亡之机固已形矣。

又曰：兵有三势，有二钤。有气势，有地势，有因势。将充勇而轻敌，卒果敢而乐战，三军之众，百万之师，志厉青云，气如飘风，声如雷电，诚积逾而威加敌人，此谓气势。狭路关津，大山名塞，龙蛇蟠，蟠，蜿屈也。却苴居，却，偃覆也，苴，登也。羊肠道，羊肠一屈一伸。鱼(苟)[笱]门，竹笱所以捕鱼，其门可入而不得出也。一人守险，而千人不敢过，此谓地势。因其劳倦怠乱饥渴冻暍，推其摇摇，挤其揭揭，此谓因势。[善用]间谍，间谍，军之反间也。审错规虑，设蔚施伏，草木盛曰蔚。隐遁其形，出于不意，使敌人之兵无所适备，此谓知钤。阵卒正，前行选，进退俱，什伍持，前后不相蹂，蹂，蹂蹈也。左右不相干，受刃者少，伤敌者众，此谓事钤。钤势必形，吏卒(博)[持]精，选良用才，官得其人，计定谋决，明于死生，举错得时，莫不振惊，故攻不待冲隆云梯而城拔，云梯，可依云而立，所以瞰敌之城中也。战不至交兵接刃而敌破，明于必胜之数也。

又曰：夫飞鸟之鸷也俯其首，猛兽之猲也匿其爪，虎豹不外其牙，噬犬不见其齿。故用兵之道，示之以柔而迎之以刚，迎，逆敌家。示之以弱而乘之以强，为之欲歙而应之以张，歙弱张强也。歙，读如翕。将欲西如示之以东也。

又曰：神莫贵于天，势莫便于地，动莫急于时，用莫利于人。和此四者，兵之干植也。然[必]待道而后行，可一用也。

又曰：古之兵，弓剑而已矣。糟柔无系，修戟无刺。糟，柔木也。无系，无铁刃也。刺，锋也。糟，读如曹。晚世之兵，隆冲以攻，渠惰以守，隆，高也。冲所以临敌城。冲，突坏之。渠，壑也。一曰：渠，甲名。惰，惰所以御也。连弩以射，销车以斗。车弓弩通一弦，以牛挽之，以刃着左右为机开发。

又曰：古之伐国，不杀黄口，不获二毛，黄口，幼少也。二毛，有白发。于古为义，于今为笑。古之所以为治者，今之所以为乱也。

又曰：夫神农、伏羲，不施赏罚而民不为非，然而位政者不能废法而治民；不能及神农伏羲也。舜执干戚而服有苗，然而征伐者不能(择)[释]甲兵而制强暴。不能及舜也。由此观之，法度者，所以论民俗而节缓急也。

桓范《世要论》曰：太古之初，民始有知则分争，分争群群则智者为之君长。君长立则兴兵。所从来久矣，虽圣帝明王，弗能废也，但用之以道耳。故黄帝战于阪泉，尧伐驩兜，舜征有苗，夏禹殷汤、周之文武皆用师克伐以取天下焉。

又曰：圣人之用兵也，将以利物不以害物也，将以救亡非以危存也，故不得已而用之也。以为战者危事，兵者凶器，不欲令好用之。故制法遗后，命将出师，虽胜敌而反犹以丧礼处之，明弗乐也。故曰好战者亡，忘战者危，不好不忘，天下之王也。

又曰：夫兵之要，在于修政；修政之要，在于得民心；得民心在于利之也。(要)仁以受之，义以理之。故六马不和，造父不能以致远；民臣不附，汤武不能以立功。故兵之要在得众；得众者，善政之谓也。善政者，恤民之患，除民之害，故政善于内，则兵强于外也。

杜恕论曰：天生五材，民并用之，废一不可，谁能去兵！故兵之来也久矣。所以威不轨而昭文德，所以讨强暴而除残贼也。圣人以兴，乱人以废，废兴存亡皆兵之由也。昔五帝不能偃，况衰世乎？

又曰：滥杀无辜之民，以养不义之君，非兵之体也。殚天下之财，以赡一人之求，非兵之体也。怙其兵甲之器，矜其变诈之谋，欲以立威成名，非兵之体也。虏其君，隶其臣，迁其社，易其民，非兵之体也。故夫霸王之用兵也，始之以义，终之以仁。将以存亡，非以亡存也；将以禁暴，非以为暴也。

又曰：兵之来也，以除不义而授德，克其国而不伤其民，废其君而不易其政，尊其俊秀，显其贤良，赈其孤寡，恤其穷困，百姓闻之，欣然箪食壶浆以迎其君，奚之迟也。以汤武之师用兵上也，谁与交锋而接刃哉？

又曰：所谓善用兵者，先弱敌而后战者也。若乃征之以义，以责其过；振之以武，以威其淫；怀之以德，以誓其民；置之以仁，以救其危。此四者，用兵之体，所谓因民之欲、乘民之力也。

又曰：治国家，理境内，施仁义，布德惠，明劝赏，黜幽昧，功臣附亲，士卒和辑，上下一心，君臣同德，指麾而响应，此上兵之体也。地广民众，主贤将能，国富，赏罚信，未至交兵而敌人亡遁，此次兵之体也。知地之形，因险厄之利，明奇正之变，审进退之宜，援枹而鼓之，黄尘四起，乃以决胜，此用兵之下，非兵之体也。

又曰：夫德义足以怀天下之民，事业足以当天下之急，选举足以得贤才之用，则兵之所加，若劲风振槁，此兵之体也。

《盐铁论》曰：兵者，凶器也。甲坚兵利，为天下殃。其母制子，故能久长；圣人法之，厌而不伤。

蒋子《万机论》曰：夫虎之为兽，水牛之为畜，殆似兵矣。夫虎爪牙既锋，胆力无伍，至于即豕也，卑俯而下之，必有扼喉之获。夫水牛不便速，角又乔，踈然处郊之野，朋游屯行，部队相伍。及其寝宿，因阵反御，若见兕虎抵角，牛全兕害矣。若用兵，恃强必鉴于虎，居弱必诫水牛，可谓攻取屠城而守必能全者矣。

刘向《新序》曰：上古之时，其民敦朴，故三皇教而不诛，无师而威，故善为国者不师，三皇之德也。至于五帝，有师旅之备而无用，故善师者不阵，五帝之谓也。汤伐桀，文王伐崇，武王伐纣，皆阵而不战，故善阵者不战，三王之谓也。及夏后之伐有扈，殷高宗讨鬼方，周宣王之征熏鬻，而不血刃，皆仁圣之惠、时化之风也。至齐桓侵蔡而蔡溃，伐楚而楚服，而强楚以致苞茅之贡于周室，北伐山戎使奉朝觐，三存亡，一继绝，九合诸侯，一匡天下，衣裳之会十有一，尝有大战亦不血刃。至晋文公，设虎皮之威，陈曳柴之伪，以破楚师而安中国，故曰善战者不死，晋文公之谓也。楚昭王遭阖闾之祸，国灭，昭王出亡，父老迎而笑之，昭王曰："寡人不仁，不能守社稷，父老反笑，何无忧？寡人且从此入海矣。"父老曰："有君若此，

其贤也。"及申包胥请救，哭秦庭七日，秦君怜而救之。秦楚同心，遂走吴师，昭王反国。故善死者不亡，昭王之谓也。是故自晋文公已下至战国而暴兵始众，于是以强并弱，以大吞小。故强国务攻，弱国备守，合从连衡，群相攻伐。故战则称孙吴，守则称墨翟。至秦而以兵并天下，穷兵极武而亡。及项羽尚暴而灭，汉以宽仁而兴，故能扫除秦之苛暴矣。孝武皇帝攘服四夷，其后天下安然。故世之为兵者，其行事略可观也。

（又）曰：乐毅以弱燕破强齐七十余城者，齐无法故也。孙武以三万破楚二十万者，楚无法故也。韩信以寡众破赵[二十]万者，赵无法故也。近者曹操以八千破袁绍五万者，袁无法故也。此五子能以少克多者，军有法故也。故用兵无法，犹乘舟无楫，登马而不勒。是以良将思计如饥，存法如渴。所以战必胜，攻必拔也。（按：此条论及东汉末袁、曹攻战之事，必非西汉刘向《新序》之文字。）

陈琳《书》曰：王者之师，有征无战。

《卫公兵法》曰：陂阪高陵，溪谷险难，则用步卒。平原广衍，草浅地坚，则用车。追奔逐北，乘虚猎散，反覆百里，则用骑。故步为腹心，车为羽翼，骑为耳目，三者相(待)[侍]，参合乃行。

太平御览卷第二百七十二

兵部三

将帅上

《开元文字》曰：将，率也。

《春秋元命苞》曰：上天一星为郎将。

《左传》曰：楚子及诸侯围宋，宋公孙固如晋告急。公孙固，宋庄公孙。先轸曰："报施救患，取威定霸，于是乎在矣。"先轸，下军之佐原轸也。报宋赠马之施也。狐偃曰："楚始得曹而新婚于卫，若伐曹、卫，楚必救之，则齐、宋免矣。"前年楚使申叔戍谷以逼齐。于是乎蒐于被庐，晋常以蒐礼改政令，敬其始也。被庐，晋地。作三军，闵元年晋献公作三军，令复大国之礼。谋元帅。中军师。赵衰曰："郤縠可。臣亟闻其言矣。说礼乐而敦诗书。诗书，义之府也；礼乐，德之则也；德义，利之本也。《夏书》曰："赋纳以言，明试以功，车服以庸。尚书，虞夏书也。赋纳以言观其志也，明试以功考其事也，车服以庸报其劳也。赋，犹取也。庸，功也。君其试之。"乃使郤縠将中军，郤溱佐之；使狐偃将上军，让于狐毛，而佐之；毛，狐偃之兄。命赵衰为卿，让于栾枝、先轸。栾枝，贞子也。栾宾之孙。使栾枝将下军，先轸佐之。荀林父御戎，魏犨为右。荀林父，中行桓子。

《公羊传》曰：君将使射姑将，阳处父谏曰："射姑民众不说，不可使将。"于是废将。

《战国策》曰：秦与赵兵相距长平，赵孝成王使赵奢之子将。蔺相如曰："王以名使括，若胶柱而鼓瑟耳。此子徒能读其父奢书传，而不知合变也。"赵王不听。奢子括少时学兵法，言兵事，以天下莫能当。尝与其父言兵事，奢不能难，然不谓之善。其母问其故，奢

曰："兵，死地也，而乃易言之。赵若以为将，破军者必是儿。"及(是)[括将行]，其母上书具言不可，曰："始妾事其父，时为将，大王及宗室所赏者尽以与军吏士大夫，受命之日，不问家事。今此儿为将，东向而朝，军吏无敢仰视之者，王所赐金帛，归藏[于]家，而日视便利田宅买之。王以为如其父？父子异心，愿王毋遣。"王曰："吾已决矣。"其母因曰："即有如不称，妾得无随罪乎？"王许之："诺。"遂与秦军战，死，军败，数十万降秦，秦悉坑之。

《国语》曰：公使赵衰为卿，辞曰："栾枝贞慎，枝，晋大夫栾共子之子也。先轸有谋，胥臣多闻，皆可以为辅，臣弗若也。"乃使栾枝将下军，先轸佐之。前取五鹿，先轸之谋也。五鹿，卫地。郗縠[卒]，使先轸代之。从下军之佐超将中军。传曰：尚德也，代先轸之。胥臣佐下军。

又曰：公使原季为卿，原季，赵衰也，文公二年为原大夫卿次卿。辞曰："夫三德者，偃之出也。偃，狐偃。三德谓劝文公纳襄王以示民义，伐原以示民信，大蒐以示民礼，故以三德纪民。三德纪之语在下。以德纪民，其章大矣，不可废也。"章，著也。使狐偃为卿，辞曰："毛之智，贤于臣，其齿又长。毛，偃之兄也。毛也不在位，不敢闻命。"乃使狐毛将上军，狐偃佐之。尚齿也。《传》曰："使狐偃将上军，让于狐毛而佐之。"是也。狐毛卒，使赵衰代之，虞唐云：代将新军。昭谓代将上军。辞曰："城濮之役，先且居之佐军也善，先且居，先轸之子，蒲城伯复受罪为霸伯也。军伐有赏，伐，功也。善君有赏，能其官有赏。且居有三赏，不(亦)可废也。且臣之伦，箕郑、胥嬰、先都在。"伦匹三子，晋大夫。乃使先且居将上军。代狐毛也。公曰："赵衰三让。三使为卿，三让之。进栾枝等八人。其所让，皆社稷之卫也。废让，是废德也。"以赵衰之故，蒐于清源，作五军。清源，晉地。晋本三军，有中军上下，今有五，益新上下。使赵衰将新上军，箕郑佐之；胥嬰将新下军，先都佐之。子犯卒，蒲城伯请佐，蒲城伯，先且居。公曰："夫赵衰三让不失义。义，宜也。让，推贤也。义，广德也。德广贤至，有何患矣！请令衰也从子。"从先且居。乃使赵衰佐新上军。此有新字，误也。赵衰从新上军之将进佐上军为外一等，新上军之将位在上军佐之下。此章或在狐毛卒上，非也，当左下。

《史记·孟尝君传》曰：文闻将门必有将，相门必有相。

又《项羽本纪》曰：项氏世世为楚将，封于项，故姓项氏。

又曰：章邯已破项梁军，则以为楚兵不足忧，乃渡河击赵，大破之。当此之时，赵歇为王，陈余为将，张耳为相。

又曰：魏文侯问曰："吴起何如人？"李克曰："起贪而好色，然其用兵，司马穰苴弗能过也。"于是魏文侯以为将，击秦，拔五城。

又《王翦传》曰：或曰："王离，秦之名将也。今将强秦之兵，攻新造之赵，举之必矣。"客曰："不然。夫[为]将三世者必败。何以？其杀伐多矣，其后受其不祥。"

又《淮阴侯传》曰：韩信曰："陛下非能将兵，而善将将，此乃信之所以为陛下禽也。"

《汉书·韩信传》曰：汉王使郦生往说魏王[豹]，豹不听，乃以信为左丞相击魏。信问郦生："魏得毋用周叔为大将乎？"曰："柏直也。"信曰："竖子耳。"遂进击魏。

又《陆贾传》曰：贾谓陈平曰："天下安，注意相；天下危，注意将。将相和，则士豫附；士豫附，天下虽有变，则权不分。为社稷计，在两君掌握耳。"

又《齐王传》曰：祝(干)[午]绐琅琊王曰："吕氏为乱，齐王发兵欲西诛之。齐王自以儿子年少，不习兵革之事，愿举国委大王。大王自高帝将也。"(言自高帝之时为将也。)

又《高纪》曰：帝置酒洛阳南宫，曰："通侯诸将毋敢隐朕。"

《后汉书·虞诩传》曰：李循曰："关西出将，关东出相，观其习兵壮勇，实过余州。"

又曰：大将曹公每攻城破邑，得靡丽之物则悉以赐有功者。若勋劳宜赏，则不吝万金。无功冀施，分毫不与。

《魏志》曰：太祖既破张绣，东擒吕布，定徐州，遂与袁绍相距。孔融谓荀彧曰："绍地广兵强，田丰、许(悠)[攸]智计之士为之谋；审配、逢纪，尽忠之臣也任其事；颜良、文丑勇冠三军，统其兵。殆

难克乎?"彧曰:"颜良、文丑,匹夫之勇,可一战而擒。"

又曰:太祖征荆南,刘备奔吴,论者以为权必杀备。程昱料之曰:"孙权新立,未为海内所惮。曹公无敌于天下,初举荆州,不能独当。刘备英名,关羽、张飞皆万人敌,权必资之[以]御我。难解势分,备资以成,又[不]可得而杀也。"权果多与备兵以御太祖。

《晋书》曰:王导,字茂弘,光禄大夫览之孙也。父裁,镇军司马。导少有风鉴,识量清远。年十四,陈留高士张公见而奇之,谓其从兄敦曰:"此儿容貌志气,将相之器也。"

又《张华传》曰:今之所要在军师,然议者举将,多推宿旧。

又《慕容德载记》曰:昔韩信以裨将伐齐,有征无战;耿弇以偏军讨张涉,克不移朔。

《后周书》曰:王励,性忠果,有才干。年七十,从太祖入关,及太祖平秦陇、定关中,励常侍从。太祖尝谓之曰:"为将,坐见成败者上也,被坚执锐者次也。"励曰:"意欲兼之。"太祖大笑。

《隋书》曰:炀帝之在东宫,尝谓弼曰:"杨素、韩擒虎、史万岁,三人俱称良将。其间优劣何如?"弼曰:"杨素是猛将,非谋将;韩擒虎是斗将,非领将;史万岁是骑将,非大将。"太子曰:"然则大将谁也?"弼拜曰:"惟殿下所择。"弼意自许为大将。弼,贺若弼。

《唐书》曰:太宗尝论将帅,谓左右曰:"当今名将,惟李勣、任城王道宗、薛万彻三人而已。李勣、道宗不能大胜亦不大败,万彻非大胜即大败。"

又曰:太宗与长孙无忌、薛万彻等宴于丹霄殿,各赐膜皮,而误呼"万彻"为万均,因怆然曰:"万均,朕之勋旧,不幸早亡,不觉呼名,岂其魂灵欲朕之赐也。"因取膜皮,呼"万均"以同赐而焚之于前,侍坐者无不感泣。潞公薛万均,万彻兄也,国初立大功,故太宗思之。

又曰:贾言忠,乾封中为侍御史。时朝廷有事辽东,言忠奉使往支军粮。及还,高宗问以军事,言忠画其山川、地势,具陈辽东可

平之状，高宗大悦。又问诸将优劣，言忠曰："李勣先朝旧臣，圣鉴所悉；庞同善虽非斗将，而持军严整；薛仁贵勇冠三军，名可振敌；高侃俭素自处，忠果有谋，契苾何力，沉毅持重，有统御之才，然颇有忌前之癖。诸将夙夜小心，忘身忧国，莫逮于李勣者。"高宗深然之。

又曰：裴度使蔡州行营，宣谕诸军既还，帝问诸将之才，度曰："臣观李光颜，见义能勇，终有所成。"不数日，光颜奏大破贼军于时曲。帝尤叹度之知人。

又曰：朱滔效顺，代宗临轩劳问，既而曰："卿自谓才孰与泚多？"滔曰："各有长短。统御士众，方略明辩，臣不及泚。臣年二十八获谒龙颜，泚长臣五岁，未朝凤阙，泚不及臣。"代宗愈喜。

《古司马兵法》曰：上贵不伐之士。[不伐之士]，上之器也。苟不伐，则无求，无求则不争。国中之听，必得其情；军旅之听，必得其宜。此贵不伐之士也。不伐之士治国必得其实，在军必得其宜，故先贵而用之。从命为士上赏，犯命为士上戮，故其勇力不相犯。既致教其民，然后谨选而使之。事极修则百官给矣，教极省则人兴良矣。

又曰：凡战，[胜]则与众分善。将虽有独见之知，战胜不自取功，常推与下分者也。选良，先无功者。勇猛劲才，战不得功，后战必选为前，当以激致其锐气也。若使不胜，使过在己。战有失利，当为吏士引其过咎，(令)[令]无惭愧，使复可使。

又曰：上同无获，将智与众同等不能自用，又不能用人，随众取同，故无功也。上专(不)[多]死，将无明智，耻求贤问智，自专事为众所弊，故战多死也。上生多疑，将无义心，苟求全免害避难，则士多疑者也。上死不胜。将无善略，苟以死当敌，故不胜也。凡民死爱，死怒，死威，死义，死利。视下如子，则民生爱；志意激扬，则民怨怒；使民以礼，征伐以义，则民死威；赏赐分明，则民死义；赏爵重，则民死利。

《孙子》曰：将者，智信仁勇严也。故知兵之术，人之司命，国家安民之主也。将者，国辅。辅周，则国必强；将周密谋不泄也。辅隙，则国必弱。

又曰：故君之所以患于军者三。三者何也？曰：不知军之不可进而谓之进，不知军之不可退而谓之退，是谓縻军；縻，御。不知军中之事而同军中之政，则军士惑也；不知三军之任权而欲同三军之任，则军事覆疑。不得其人也。三军既惑且疑，则诸侯之难至矣，是谓乱军而引胜。引，夺也。故知胜者五：知可以战与不可以战者胜；识众寡之用者胜；上下欲同者胜；以虞（時）[待]不虞者胜；将能[而]君不御者胜。司马法曰：进退惟时，无白寡人。此五者，知胜之道。此上五事。故曰：知彼知己，百战不殆。不知彼而知己，一胜一负；不知彼不知己，每战必殆。

又曰：凡用兵之法，将受命于君，合军聚众，汜地无舍，无所依也。衢地交合，结诸侯也。绝地无留，无久止也。围地无谋，发奇兵也。死地则战。塗有所不由，死难之地所不当从也，不得也。军有所不击，军难可击，以地险难，不留之失前利，若得之，又利薄。城有所不攻，城小固粮饶，不可攻也。地有所不争，皆与上同操所以置华费而深入徐州拔十四县。君命有所不受。苟便于事，不苟于君命也。故将通于九变之利者，则知用兵矣。九事之变。将不通于九变之利，虽知地形，不能得地之利矣。

又曰：治人不知五变，虽知五利，不能得人用之矣。下五事也。是故智者之虑必杂于[利]害，在利思害，在害思利。杂于利而务可信，计敌不能依五地为我害信，务为可信也。杂于害而患可解。并计于害，虽有患可解也。害中杂利，陷之死地而后生也。趣之以利。令自来也。故用兵之法，无恃其不来，恃吾有以待之。安不忘危，常备之也。无恃其不攻吾也，恃吾不可攻。故将有五危：必死可杀，勇无疑也。必生可虏，见利不进将怯弱必生之意，上下犹豫，可急而取。忿速可侮，忿疾之人可忿怒侮而致也。廉洁可辱，廉洁之人可污辱而致必来战。爱人而烦，出必所走，爱人者必倍道兼行救之，则烦劳也。凡此五者，将之过，用兵之灾。覆军杀将，必以五危，不可不察也。

又曰：吏强卒弱，曰陷。吏强欲进，卒弱辄陷，败也。大吏怒而不服，遇敌怼而自战，将不知其能，曰崩。大吏小将也，大将怒之，不厌服，忿而赴敌，不量轻重，则必崩坏也。将弱（而）[不]严，教道不明，吏卒无常，阵兵

纵横，曰乱。为将若此，乱之道也。将不能料敌，以少合众，以弱击强，兵无避锋，曰北。兵势若此，必走也。凡此六者，胜败之道，将之至任也。

又曰：明主虑之，良将修之。非利不起，非得不用，非危不战。不得已而用兵。主不可以怒而兴军，将不可以愠而合战，合于利而用，不合于利而止。不得以喜怒而用兵。怒不可复喜，愠不可复悦，亡国不可复存，死者不可复生。故曰：明主虑之，良将警之，此安国之道也。

《吴子》曰：人有三不和：不和于国，不可以出军；不和于军，不可以出阵；不和于阵，不可以进战。

又云：将之所慎者五：一曰理，二曰备，三曰果，四曰戒，五曰约。戒者，虽克如始战。

《孔丛子》曰：子思居卫，言荀变于卫君曰："其才可将五百乘。君任军旅率得此人，则无敌于天下矣。"卫君曰："吾知其才可将。变也尝为吏，赋于民而食人三鸡子，以故弗用也。"子思曰："夫圣人官人，犹大匠之用木也，取长弃短，故材连抱而有数尺朽者，良工不弃，以其所妨者细也。卒成不訾之器。今君处战国之世，选爪牙之士，以三卵焉弃扞城之将！此不可使闻于邻国也。"卫君再拜曰："谨受诏矣。"

太平御览卷第二百七十三

兵部四

将帅下

《吕氏春秋》曰：管子言于桓公曰："垦田大邑，辟土生粟，尽地之利，臣不若宁遬，遬乃戚也。请置以为大田。登降辞让，进退闲习，臣不若隰朋，请置以为大行。蚤入晏出，犯颜进谏以忠，不避死亡，不重贵富，臣不若东郭牙，请置以为大谏。平原广城，车不结辙，士不旋踵，鼓之而三军之士视死如归，臣不若王子城父，请置以为大司马。决狱折中，不杀不辜，不诬无罪，臣不若弦章，章宾胥无。请置以为大理。君若欲理国强兵，则五子者足矣；君若欲霸王，则夷吾在此。"桓公曰："善。"令五子皆任其事，以受于管子。十年，九合诸侯，一匡天下。管子，人臣也，用不能长之，而尽以五子之能，又况于人主乎？

《淮南子》曰：中将上不知天道，下不知地利，专用人与势，虽未能万全，胜钧必多矣。下将之用兵也，博闻而自乱，多知而自疑，居则恐惧，发则犹豫，是以动为人禽矣。今使两人接刃，巧拙不异，而勇士必胜者何也？其行之诚也。

又曰：鼓不与于五音，而为五音主；水不与于五味，而为五味调；将军不与五官之事，而为五官督。故能调五音者，不与五音也；能调五味者，不与五味者也。是故将军之心，滔滔如春，旷旷如夏，漱漱如秋，典凝如冬。典常凝正也，常正于冬也。因刑而与之化，随时而与之移。夫景不为曲物直，响不为清音浊。观彼之所以来，各以其胜应之。是故扶义而动，推理而行，掩节断割，掩，覆也。覆其节制断割

之也。因资而成功。使彼知吾所出而不知吾所入，知吾所举而不知吾所集。始如狐狸，彼故轻来；合如兕虎，敌故奔走也。

又曰：将者，必有三隧、四义、五行、(一)[十]守。所谓三隧者：上知天道，下习地形，中察人情。凡此三事者，人所从僵隧。所谓四义者：便国不负兵，为主不顾身，见难不畏死，决疑不辟罪。所谓五行者：柔而不可卷也，刚而不可折也，仁而不可犯也，信而不可欺也，勇而不可(枝)[陵]也。所谓(一)[十]守者：神清而不可浊也，谋远而不可(慕)[算]也，操固而不可迁也，知明而不可蔽也，不贪于货，不淫于物，不嗑于辩，不推于名，不可喜也，不可怒也。是谓至(于)[平]，窈窈冥冥，孰知其情！发必中证，言必合数；动必顺时，解必中(接)[腠]。(接)[腠]理。通动静之机，明开塞之节。审举错之利害，若合符节。疾如矿弩，势如发矢；一龙一蛇，动无常体。莫见其所中，莫知其所穷；攻则不可守，守则不可攻也。

《抱朴子》曰：良将，去如收电，可见不可追；留如丘山，可瞻不可动。

又曰：大将，民之司命，社稷存亡，于是乎在。

《六韬》曰：武王问太公曰："王者帅师，必有股肱、羽翼，以成威神，为之奈何？"公曰："凡举兵帅师，以将为命。在其通达，不在一术也。

又曰：武王问太公曰："论将之道奈何？"太公曰："将有五才、十过。五才者，勇、智、仁、信、必也。勇则不可犯，智则不可乱，仁则爱于人，信则不欺人，必则无二心。所谓十过者：将有勇而轻死者，有急而心速者，有贪而喜利者，有仁而不忍于人者，有智而心怯者，有信而喜信人者，有廉而不爱人者，有智而心缓者，有刚毅而自用者，有懦而喜用人者。是故兵者，国之大器，存亡之所由也。"

又曰：太公曰："夜卧早起，虽剧不悔，妻子之将也；(长)[笃]实希言，赋物平均，十人之将也；数行刑戮，不避亲戚，百人之将也；讼辩好胜，欲正一众，千人之将也；知人饥饱，念人剧易，万人之将也；

战战慄慄，日慎一日，十万人之将也；见贤进之，行法不枉，百万人之将也。知天文，悉地理，四海如妻子，此天师之主也。"

又曰：为将，冬日不衣裘，夏日不操扇，天雨不张盖。

又曰：武王曰："吾欲令三军，亲其将如父母，攻城则争先登，野战则争先赴，闻金声则怒，闻鼓声则喜，为之奈何？"太公曰："出隘塞，犯泥涂，将必先下步。士卒皆定[次]，将乃就舍；军未举火，将亦不食。"

《三略》曰：军井未达，将不言渴。军灶未炊，将不言饥。军幕未办，时不言倦。冬不服裘，夏不操扇，是谓礼也。

诸葛亮《兵要》曰：人之忠也，犹鱼之有渊。鱼失水则死，人失忠则凶。故良将守之，志立而扬名。

又曰：不爱尺璧而爱寸阴者，时难遭而易失也。故良将之趋时也，衣不解带，履不遗蹑。

又曰：贵之而不骄，委之而不专，扶之而不隐，免之而不惧。故良将之动也，犹璧之不污。

又曰：良将之为政也，使人择之不自举，使法量功不自度。故能者不可敝，不能者不可饬，妄誉者不能进也。

桓范(要集)[《世要论》]曰：夫事之安危，实在于将。故曰："将不知兵，以其主与敌；主不择将，以其国与敌也。"然择将者，不务求其策，而反先索其勇；不取之于威严，而用之于软缓。此所谓弃本而要其末也。

又曰：昔霸王之战，策贵庙胜，故曰上兵伐谋而战胜也。吴起临阵，推剑不持；项羽初学剑，后贵兵略。此勇难独用，况无勇乎。

又曰：太公誓师后至斩，故云执桴鼓、立军门，有不可犯之色也。严故能行其法，威故能著其恩也。

又曰：今之择将宜参准往古。古数诡于常时之法，得其状而责任之，所谓坐车上而御骐骥，不劳而致千里者也。

又曰：古之论将者，言长于计策而课以料敌，言善于治军则考

以事政，勇于奋击则责以战斗。若无此三者，则不委之以境外之任，付之以安危之事。

蒋子《万机论》曰：知兵之将，国之行主，民之司命，古者重之，后世无逮焉。吕望虽知，孙武虽晓，乐毅虽贤，白起虽武；夫齐之朽骨，吴之麋骸，燕之消骼，秦之腐肉，岂可铺其糟粕，复得生而使之哉！固当出我民之最，择其知勇之长者，用其术略也。

又曰：虽有百万之师，临时吞敌在将也。

《吴子》曰：凡人之论将，恒观之于勇，勇之于将乃万分之一耳。故《六韬》曰："将不仁则三军不亲，将不勇则三军不为动。"

《孙子》曰：将者，勇、智、仁、信、[严也]。

又曰：三军之众，百万之师，张设轻重在于一人，谓之气机。道峡路险，名山大塞，十人所守，千人不过，是谓地机。善行间谍，分散其众，使君臣相怨，是谓事机。车坚舟利，士马闲习，是谓力机。此所谓四机者也。

又曰：夫将可乐而不可忧，谋可深而不可疑。将忧则内疑，将有忧色，则内外相疑不相信也。谋疑则敌国奋。多疑则计乱，乱则令敌国奋也。以此征伐，则可致乱。故将能清静，应劭曰：清不扰曰静。能平，能整，能受谏，能听讼，能纳人。受贤于群英之中，若吴纳范蠡、齐纳宁戚之类也。能采善言，能知国俗，能图山川，能裁厄难，险、难、厄，皆悉明也。能制军权。危者安之，惧者欢之，叛者还之，将有不合去者，默喻还之，若萧何追韩信。冤者原之，诉者察之，卑者贵之，士卒若卑贱者贵之。昔吴起不与士卒同衣食者是也。强者抑之，敌者残之，卑中有贱而敌贵者，乱上下之礼残，杀之。贪者丰之，悬赏所以丰其心，所以使贪。欲者使之，临敌将战，有欲立功名，有欲利敌人者，皆许而使之，所谓使勇使贪。畏者隐之，士卒有所畏惧者，隐蔽于后，勿使为军锋。军败由锋怯。谋者近之，谗者覆之，有谗斗之覆，信之。毁者复之，官职有毁废者，则修而复之。反者废之，横者挫之，服者活之，首服罪者活之。降者说之，说，舍。获城者割之，赏功臣也。获地者裂之，赐功劳者。获国者守之，得其国必封贤以守之。昔吴伐越得而不守，所以终败也。获厄塞之，获

难屯之，获财散之，敌动伺之，敌强下之，敌阵强则下之与战。若齐师伐鲁，鼓之，曹刿不动，三鼓破齐也。敌凌假之，敌之威势凌我而来，宜持以待之，勿与战。楚凌汉，求战一决，汉祖知弱不许之是也。敌暴安之，敌人为暴虐之行，则安之、劝之，所以怒我众也。昔燕伐齐田单不下，燕师掘齐人冢墓，田单安劝之是也。敌勃义之，敌为勃乱之事，则我修义以待之。彼勃我义，故克。敌睦携之，顺举挫之，举顺以挫逆也。因势破之，放言过之。放过恶言以诬诈敌人，以怒己众也。此为将之道也。

又曰：故将拒谏则英雄散，策不从则谋士叛；善恶同则功臣倦，赏罚不明，善恶无异，则有功之臣皆懈倦也。将专己则下归咎，专己自任，不与下谋，众皆归罪于将而责之。将自臧则下少功，臧，善也。将自伐动忘下自用者，故曰少功也。将受谗则下有离心，将贪财则奸不禁，上贪则下盗也。将内顾则士卒淫。内顾，思妻妾也。将有一则众不服，有二则军无试，试，法也。有三则军乖背，有四则祸及国。

又曰：《军志》曰："将谋欲密，士众欲一，将众如一体也。攻敌欲疾。"将谋密则奸心闭，士众一则群心结，结如一也。攻敌 疾则诈不及。设军有此三者，则计不夺。将谋泄则军无势，以外窥内则祸不制，窥，见也。谋泄则外见己情虚实，其祸不可制也。财入营则众奸会。凡为军使外人以财货入营内，则奸谋奄集其中也。将有此三者，军必败也。"

又曰：将无虑则谋士去，将无防虑，不能从谋，故去之。将无勇则吏士恐，将怯则下无所恃，故恐也。将迁怒则军士惧。虑也，谋也，将之所重；勇也，怒也，将之所用意。故曰：必死可杀也，必生可虏也，忿速可侮也，廉洁可辱也，爱人可烦也。此五者，将兵之过，用兵之灾也。

又曰：凡战之要，先占其将，而察其才，因刑用权则不劳而功兴也。其将愚而信人，可谋而诈；贪而忽名，可货而赂。轻变可劳而困。上富而骄、下贫而磔，可离而间，将怠士懈可潜而袭。智而心缓者可迫也，勇而轻死者可暴也，急而心速者可诱也，贪而喜利者可袭也，（可遗也）仁而不忍于人者可劳也，智而心缓者可惊也，信而喜信于人者可诳也，廉洁而不爱人者可侮也，刚毅而自用者可事也，懦心喜用于人者可使人欺也。此皆用兵之要，为将之略也。

何晏《韩白论》曰：此两将者，殆蚩尤之敌，盖开辟所希有也。何者为胜也？或曰：白起功多，前史以为出奇无穷。欲窥沧海，白起为胜。若夫韩信，断幡以覆军，拔旗以流血，其以取胜，非复人力也，亦可谓奇之又奇者哉。白起之破赵军，诈奔而断其粮道。取胜之比，皆此类也。所谓可奇于不奇之间矣，安得比其奇之又奇者哉！

班叔皮《王命论》曰：是时，陵为汉将，而母获于楚。

任彦升《奏弹曹景宗》曰：赏茂通侯，荣高列将。

潘安仁《西征赋》曰：萧、曹、魏、丙之相，辛、李、卫、霍之将，御使则苏属国，震远则张博望。属国，苏武。博望，张骞。

范晔《二十八将传论》曰：中兴二十八将，前世以为上应二十八宿，未之详也。然咸能感会风云，奋其知勇。议者多非光武，不以功臣任职，至使英姿茂绩委而勿用。然原夫良图远算，固将有以(焉)[为]尔。若乃王道既晦，降及霸德，犹能受授惟庸。勋贤兼序，如管、隰之迭升桓世，先赵之同列文朝，可谓兼通矣。降自秦汉，世资战力，至于翼扶王运，皆武人崛起，亦有鬻缯盗狗轻猾之徒。或崇以连城之赏，或任以阿衡之地，故势疑则隙生，力侔则乱起。萧樊且犹缧绁，信越终见菹戮，不其然乎！自兹以降，讫于孝武，宰辅五世，莫非公侯。遂使搢绅道塞，贤能蔽(权)[壅]。故光武鉴前事之违，存矫枉之志。虽寇、邓之高勋，耿、贾之鸿烈，分土不过大县数四，所加特进朝请而已。观其治平临政，课职责咎，将所谓导之以法，齐之以刑者乎？永宁年中，显宗追感前世功臣，乃图画二十八将于南宫云台，其外又有王常、李通、窦融、卓茂，合三十二人。故依其大第，系之篇末，[以志功次云 尔]。

太平御览卷第二百七十四

兵部五

命将　易将　老将

命　将

《礼记》曰：诸侯赐弓矢，然后专征；赐斧钺，然后专杀。

《史记·留侯世家》曰：黥布反，上欲使太子往击之。四人相谓曰："凡来者，将以存太子。太子将兵，事危矣。"乃说建成侯曰："君何不急请吕后承间为上泣言：黥布，天下猛将也。善用兵，今诸将皆陛下故等夷，乃令太子将，无异使羊将狼也。"

又《冯唐》曰：上古王者遣将也，跪而推毂，曰："阃以内，寡人制之；阃以外，将军制之。"

又《淮阴侯传》曰：信数与萧何曰："信虽为将，信必不留。"汉王曰："以为大将。"何曰："幸甚。"

《汉书》曰：萧何追韩信，还，汉王曰："以为大将。"何曰："王素慢无礼，今拜大将，如召小儿，此乃信所以去也。王必欲拜之，宜择日斋戒，设坛场具礼，乃可。"王许之。诸将皆喜，人人各自以为得大将。至拜，乃韩信也。一军皆惊。

《后汉书·陈龟传》曰：臣闻三辰不轨，擢士为相；蛮夷不恭，拔卒为将。

挚虞《新礼》曰：汉魏故事，遣将出征，符节郎授钺于朝堂。新礼遣将，御临轩，尚书授节钺，古兵书"跪而推毂"之义也。

崔豹《古今舆服注》曰：得赐黄钺，则斩持节将。

《淮南子》曰：凡国有难，君自宫召将，诏之曰："社稷之命在将军耳。今国有难，请子将而应之。"将军受命，乃令祝史太卜斋宿三

日，之太庙，钻灵龟，卜吉日以受鼓旗。君入庙门，西面而立。将入庙门，北面而立。主亲操钺持头，授将军柄曰："从此上至天者，将军制之。"又复操斧持头授将军柄曰："从此下至渊者，将军制之。"将以授斧钺，答曰："国不可从外治也，军不可从中御也。二心不可以事君，疑志不可以应敌。臣既以受制于前矣，鼓旗斧钺之威，臣无还，愿君亦无垂一言之命于臣也。君若不许，臣不敢将。君若许之，[臣](词)[辞]而行。"乃剪爪，前长翦爪，送终之礼，去其手足爪也。设明衣，明衣，丧衣也。在于暗冥，故言明。凿凶门而出。凶门，北出门也。将军之出，以丧礼乐之，以必死也。乘将军车，载旌旗斧钺，其临敌决战，不顾必死，无有二心。是故无天于上，无地于下，无敌于前，无主于后，进不求名，退不避罪，惟民是保，利合于主，上将之道也。如此，则智者为之虑，勇者为之斗。气厉青云，疾如驰骛。是故兵未交接，而敌人恐惧。若战胜敌奔，赏吏迁官；顾反于国，(效)[放]旗以入，乃缟素辟舍，请罪于君。君曰："赦之。"大胜三年反舍，大胜敌者，还三年，乃反故舍。中胜二年，(不)[下]胜期年。兵之所加者，必无道之国也。故能战胜而不报，取地而不反。民不疾疫，将不夭死，五谷丰[昌]，风雨时节。战胜于外，福生于内，是故名必成而后无余害矣。

任彦升《奏弹曹景宗》曰：昔汉光武命将，坐知千里；魏武置法，案以从事。

陈孔璋《檄吴将校部曲文》曰：朝为仇虏，夕为上将。

冯衍《与田邑书》曰：今以一节之任，建三军之威，岂特宠其八尺之竹、牦牛之尾也！

易 将

《史记》曰：秦师伐赵，王使廉颇御之。颇固壁不战，赵王惑秦之间，以赵奢之子代颇，赵师大败。

《后汉书》曰：光武遣冯异代邓禹，车驾送之河南，赐以乘舆、七

尺具剑。具，谓以宝玉装饰之。《东观[汉]记》作玉具剑。

《晋书》曰：石苞为淮北监军，王琛所奏与吴人交通。先时望气者云"东南有大兵起"。及琛表至，帝甚疑之。会荆州刺史胡烈表吴人欲大出为寇，苞亦闻吴师将入至，乃筑垒遏水以自固。帝闻之，谓羊祜曰："吴人每来，常东西相应，岂石苞果有不顺乎？"祜深明之，而帝犹疑焉。命苞子乔为尚书郎，上召之，经日不至。帝谓为必叛，欲(封)[讨]而隐其事，遂下诏以苞不料贼势，筑垒遏水，劳扰百姓，策免其官。遣太尉义阳王望率其大军征之，以备非常。又敕镇东将军琅琊王伷自下邳会寿春。苞用掾孙铄计，放兵步出，住都亭待罪。帝闻之，意解。及苞诣阙，以公还第。苞自耻受任无效而无怨色。

又曰：镇南将军杜元凯都督荆州诸军事，袭吴西陵督张政，西陵，今夷陵郡。大破之。政，吴之名将，据要害之地，耻无备取败，不以实闻于孙皓。元凯欲间吴边将，乃请还其所获之众于皓。皓果召政，遣武昌监刘宪代之。故晋军将至，使将帅移易，成倾荡之势，竟殄灭焉。

《北史》曰：后周末，隋文帝作相，尉迟迥据相州举兵。隋文遣郧公韦孝宽郧，音云。为东道元帅，师次沁水，水涨，兵未得渡。吏李询上密启云："大将梁士彦、宇文欣、崔弘度等并受尉迟迥饷金，军中骚骚，人情大异。"文帝以为忧，欲代此三人。李德林独进计云："公与诸将并是国家贵臣，未相伏驭，今以挟令之威使得之耳，安知后所遣者能尽腹心，前遣之人独致乖异？又取金之事虚实难明，即令换易，彼将惧罪恐逃逸，便须禁固，然则郧公以下必有惊疑之意。且临敌代将，自古所难。乐毅所以辞燕，赵奢之子以之败赵。如愚所见，但遣公一腹心，明于智略、为诸将旧来所信伏者，速至军所观其情伪，纵有异意，必不敢动。"文帝大悟，即令高颖驰驿往军所，为诸将节度，竟成大功。

《战国策》曰：昌国君乐毅为燕王合五国之兵而攻齐，下七十余

城，尽郡县之以属燕，惟莒、即墨二城未下。而昭王死，惠王即位，用齐人反间，疑乐毅，而使骑劫代之，乐毅奔赵。

老 将

《史记》曰：秦始皇问李信曰："吾欲攻荆，用几何人而足？"信曰："不过用二十万人。"始皇问王翦，翦曰："非六十万人不可。"始皇曰："王将军老矣，何怯也！李将军果断壮勇，其言是也。"王翦因谢疾，归老于颍阳。李信攻鄢、郢，破之。于是引兵而西，与蒙恬会城父。荆人因随之，三日三夜不得顿舍，大破李信军。始皇闻之大怒，自驰如颍阳谢翦曰："不用将军计，李信果辱秦，将军独忍弃寡人乎？"翦曰："老臣罢病悖乱，惟大王更择贤将。"始皇谢曰："已矣，将军勿复言。"王翦曰："大王必不得已用臣，非六十万人不可。"始皇曰："听将军计耳。"于是王翦将六十万人，始皇自送灞上。王翦行，请美田宅园池甚众。始皇曰："将军行矣，何忧贫乎？"翦曰："为大王将，有功不得封侯，故及大王之向臣，臣亦及时以请园池为子孙业耳。"始皇大笑。或曰："将军乞贷亦已甚矣。"翦曰："今空秦国甲士而专委[于]我，我不多请田宅为子孙业以自坚，(固)[顾]令秦王坐而疑我耶？"翦(东)[果]代信击荆。大破荆军，虏荆王负刍，竟平荆地为郡县。

《汉书》曰：西羌反时，赵充国年七十余，上老之，使御史大夫丙吉问谁可将者，充国对曰："无逾于老臣耳。"上遣焉，问曰："将军度羌虏何如，当用几人？"充国曰："百闻不如一见。兵难隃度，隃，遥也，三辅言也。臣愿驰至金城，图上方略。然羌戎小夷，逆天背叛，灭亡不久，愿陛下以属臣，勿以为忧。"上笑曰："诺。"充国日飨军士，皆欲为用。虏数挑战，充国坚守。捕得生口，言羌豪相责曰："汝无反，今天子遣赵将军来，年八九十矣，善为兵。今欲一斗而死，可得耶。"

又曰：元狩四年，大将军大击匈奴，李广数自请行。上以[为]

老，不许；良久乃许之。大将军阴受上旨，以为李广数奇，不偶也。无令当单于，恐不得所欲。时公孙敖亡道。（从）[徙]广，广或失道。大将军使长史持糒醪遗广，因问失道状。长史急责广之莫府上簿。广曰："诸校尉无罪，乃我自失道。"谓其麾下曰："广结发与匈奴大小七十余战，今幸从大将军出接单于兵，而大将军（从）[徙]广部行回远，又迷失道，岂非天哉！终不能复对刀笔吏。"遂引刀自刭。而百姓闻之，知与不知，皆为垂泣。

《东观汉记》曰：马援，字文渊。建武二十四年，威武将军刘（向）[尚]击武陵五溪蛮夷，深入，军没，援因复请行。时年六十二，帝愍其老，未许之。援自请曰："臣尚能被甲上马。"帝令试之。援据鞍顾眄，以示可用。帝笑曰："矍铄哉，是翁也！"遂遣援。

《宋书》曰：沈庆之讨竟陵王诞。庆之至城下，诞登楼谓曰："沈公君白首之年，何为来？"庆之曰："朝廷以君狂愚，不足劳少壮，故使仆来耳。"

《梁书》曰：王神念少善骑射，及老不衰，尝于武帝前手执二刀盾，左右交度，驰马往来，冠绝群伍。

《后魏书》曰：中山王英之征义阳，傅永为宁朔将军、统军，当长围遏其南门。萧衍将马仙琕连营稍进，规解城围。永谓英曰："凶竖豕突，意在决战。雅山形要，宜早据之。"英沉吟未决，永曰："机者如神，难遇易失，今日不去，明朝必为贼有，虽悔无及。"英乃分兵，夜筑城于山上，遣统军张怀等列阵于山下以防之。至晓，仙琕果至，怀等战败，筑城者悉皆奔退，仙琕乘胜直趣长围，义阳城人复出挑战。永乃分兵付长史贾思祖，令守营垒，自将马步千人南逆仙琕。辗甲挥戈，单骑先入，惟有军主蔡三虎副之，余人无有及者。突阵横过，贼射永，洞其左股，永拔箭复入，遂大破之，斩仙琕子。仙琕烧营席卷而遁。英于阵谓永曰："公伤矣，且还营。"永曰："昔汉祖扪足，不欲人知。下官虽微，国家一帅，奈何使虏有伤将之名！"遂与诸军追之，极夜而返，时年七十余矣。三军莫不壮之。

又曰：毕众敬爵为东平公，善自奉养，食膳丰华，必致他方远味。年已七十，鬓发皓白，而气力未衰，据鞍驰骋，有若少壮。笃于姻亲，深有国士之风。大和中，高祖宾礼旧老，众敬与咸阳公高允引至方山，虽文武奢俭，好尚不同，然与允甚相爱敬，接膝谈款，有若平生。后以笃老乞还桑梓，朝廷许之。众敬临还，献真珠珰四具、银装剑一口、刺虎矛一枚。

《后周书》曰：梁台不过识千余字，口占书启，词意可观。年过六十，犹能被甲跨马，足不蹶蹬。驰射弋猎，矢不虚发。

《隋书》曰：开皇初，突厥寇边，燕、蓟多被其患。前总管李崇[为虏所杀]，[周摇]拜为幽州，[总管]六州五十镇诸军事。摇修郡塞，谨斥堠，边民以安。后六载，徙为寿州。初，自以年老，乞骸骨，上召之。既引见，上劳之曰："公积行累仁，历仕三代，克终富贵，保兹遐寿，良足善也。"赐坐褥，归于第。岁余，终于家。

又曰：贺若谊为泾州刺史。时突厥屡为边患，朝廷以谊素有威名，拜灵州刺史，进位柱国。谊时年老，而筋力不衰，犹能重铠上马，为北夷所惮。数载，上表乞骸骨，优诏许之。谊家富于财，于郊外构一别庐，多植果木。每邀宾客，列女乐，游集其间。卒于家。

太平御览卷第二百七十五

兵部六

良将上

《论语》曰：子曰："孟之反不伐。"孔注曰："鲁大夫孟之侧也，与齐战，军大败。不伐者，不自伐其功也。"

《孝经左契》曰：将军顺虎衔珠，大夫正海出鱼。

《抱朴子》曰：良将刚则法天，可望而不可干；柔则象渊，可观而不可入。去如收电，可见而不可得；留如山岳，可瞻而不可量。

《唐子》曰：良将如泉如山，不知其欢戚也。

《史记》曰：吴起者，卫人也，好用兵。事鲁君。齐人攻鲁，鲁欲将起，起取齐女为妻，而疑之。起遂杀妻，明不为齐也。鲁卒以为将，大破齐，后之魏。

又曰：陈胜之反秦，使王离击赵王及张耳巨鹿城，或曰："王离，秦之名将也。"

又曰：魏文侯问："吴起何如人？"李克曰："其用兵，司马穰苴弗能过也。"于是魏文侯以为将，击秦，拔五城。

《汉书》曰：杜业曰："窃见朱博忠信勇猛，材略不世出，诚国家雄俊之宝臣也，宜征博左右，以(填)[镇]天下。此人在朝，则陛下可高卧矣。"

又《谷永传》曰：平阿侯谭位(持)[特]进，领城门兵。永闻，与谭书曰："君侯躬周、召之德，执管、晏之操，敬贤下士，乐善不倦，宜在上将久矣。属闻以特进领城门兵，属，之欲切。愚窃不为君侯喜，宜深辞职，自陈浅薄不足以固城门守，收太伯之让，保谦谦之路，阖

门高枕为智者。"谭得书大感，遂辞让不受领城门职。

又曰：霍去病为骠骑将军，上尝欲教之《孙吴兵法》，对曰："顾方略何如耳？不至学古兵法。"上为治第，令视之，对曰："匈奴不灭，无以家为。"

又曰：李广为右北平[太守]，匈奴号曰："汉飞将军。"广历七郡太守，前后三十余年，得赏赐辄分其麾下，饮食与士卒共之。家无余财，不言生产事，

又曰：李广其先曰"李信"，秦时为将，逐其燕太子丹者也。广以良家子从军击胡，文帝曰："惜广不逢时，令当高祖世，万户侯岂足道哉！"

又曰：剧孟，洛阳人也。以任侠显。吴楚反时，条侯为太尉，乘传东，将至河南，得剧孟，喜曰："吴楚举大事而不求剧孟，吾知其无能为也。"天下骚动，大将得之若一敌国。

又曰：沛公入咸阳，诸将皆争赴金帛财物之府分之，萧何独先收秦丞相、御史律令图书藏之。沛公具知天下厄塞，户口多少、强弱，处民所疾若者，以得图书故也。

《后汉书·景丹传》曰：帝曰："景将军，北州大将是其人也。"

又《马武传·论》曰：中兴二十八将，前世以为上应二十八宿，未之详也。然咸能感会风云，奋其智勇，称为佐命，亦各志能之士也。

又《贾复传》曰：世祖大惊曰："我所以不令贾复别将者，为其轻敌也；不然，失吾名将。"

又曰：冯异大破赤眉于(郁)[崤]，玺书曰："始虽垂翅回溪，终能奋翼滹池，可谓失之东隅，收之桑榆者也。"

又曰：耿秉能说《司马兵法》，尤好将帅之略。

又曰：冯异字公孙。为人谦退不伐，行与诸将相逢，辄引车避道。《东观汉记》曰：《续汉书》云：异敕吏士，非交战受敌，常行诸营之后，相逢引车避之，由是无争道变斗者也。进止皆有表识，言其进退有常处。军中号为"整齐"。每所止舍，诸将并坐论功，异常独屏树下，军中号曰"大树将

军”。光武破邯郸，乃更部分诸将，各有配隶。隶，属也。袁山松书曰：先时诸将同营，吏卒多犯法。军士皆言愿属大树将军，光武以此多之。

又《邓禹传》云：赤眉遂入长安。是时三辅连覆败，赤眉所过残灭贼，百姓不知所归。闻禹乘胜克而师行有纪，纲纪也，言有条贯而不残暴。皆望风相携负以迎军，降者以千数，众号百万。禹所止辄停车住节，住或作柱。以劳来之，父老童稚垂发戴白，垂发，童幼也。戴白，父老也。满其车下，莫不感悦，于是名震关西。帝嘉之，数赐书褒美。

又曰：窦融以兄弟并受爵位，久专方面，惧不自安，数上书求代。诏报曰：“吾与将军如左右手耳，韩信亡，萧何自追之，人曰：“丞相何亡。”高祖闻之，如失左右手。见前书。数执谦退，何不晓人意？勉循士人，无擅离部曲。”

又曰：诸将每论功自伐，贾复未尝有言。帝辄曰：“贾君之功，我自知之。”

又曰：陈蕃、杨秉，处称贤宰；皇甫、张遐，出号名将。

又曰：冯绲，字鸿卿，巴郡宕渠人也。长沙蛮寇益阳，荆南皆没。于是拜绲为车骑将军。军长沙，进击武陵蛮（溪）[夷]，荆州平定，诏赐钱一亿，固让不受。振旅还[京]师，推功于从事中郎。

《东观汉记》曰：上自征隗嚣至漆，诸侯多以王师之重，不宜远入险阻。计未决，会召马援，因说隗嚣将帅土崩之势、兵进必破之状于上前聚米为山，指画[形势]，嚣众大溃。

又曰：吴汉当出师，朝受诏，夕即引道，初无办严之日，故能常任职，以功名终。

又曰：吴汉常属吏士治兵事，上时令人视吴公何为，还言曰：“方修攻具。”上曰：“吴公隐若一敌国矣。”

《魏志》曰：诸葛亮斜谷出军至武功，司马宣王御之。亮挑战，宣王不出。亮遗之妇人巾帼，宣王怒，表请决战，天子不许，遣辛毗杖节立于军门以制之。会亮病卒，归，宣王不敢追之而退。百姓为之语曰：“死诸葛走生仲达。”宣王曰：“吾便料死故也。”宣王案幸亮

营垒处，曰："天下奇才也。"

又曰：(赵)[李]典，字曼成。好学问，贵儒[雅]，不与诸将争功。敬贤士大夫，[恂恂]若不及。

又《任城王传》曰：太祖问诸子所好，(便)[使]各言其志。至彰，曰："好为将。"

又曰：刘晔谓太祖曰："诸葛亮明于治而为相，关羽、张飞勇冠三军而为将。蜀人既定，据险守要，则不可犯矣。"

又曰：贾逵，字梁道，河东人。自为儿童戏弄，常设部伍，祖父习异之，曰："汝大必为将率。"口授兵法数万言。

《蜀志》曰：邓芝为大将二十余年，赏罚明，善恤卒伍。身之衣食资仰于官，然终不治私产，妻子不免饥寒，死之日家无余财。

又曰：关羽，字云长。亡命奔涿郡。先主于乡里合徒众，而羽与张飞为之御侮。

《晋书》曰：应詹迁南平太宁。镇南将军山简复假詹督五郡军事。会蜀贼杜畴作乱，金宝溢目，詹一无所取，惟收图书，莫不(难)[叹]之。

又曰：周访威风既著，远近悦服，智勇过人，为中兴名将，性谦虚，未尝论功伐。或问访曰："人有小善，鲜不自称。卿功勋如此，初无一言，何也?"访曰："朝廷威灵，将士用命，访何功之有!"

又曰：苏峻平论功，顾众推功于蔡谟，谟[以]众唱谋，非己之力，俱表相让，论者美之。

又曰：苻坚众号百万，次于淝水。谢玄入问计，谢安无惧色，方与玄围棋，游涉至夜乃还。指受将帅各当其任。玄等破坚，驿书至，安对客围棋，看书便摄放床上，了无喜色。客问，徐答："小儿辈破贼。"既罢，还内过户限，心喜甚，不觉屐齿之折，其矫情镇物如此也。

又曰：帝谓纪瞻曰："卿虽疾病，为朕卧护六军，所益多矣。"

又《羊祜传》曰：吴人寇戈阳、江夏，略户口，诏遣侍臣移书诘祜

不追讨之意，并欲移州复旧之宜。祜曰："江夏去襄阳八百里，皆知贼去亦已经日矣。步军方往，安能救之哉！劳师以免责，恐非事宜也。昔魏武帝置都督，皆与州相近，以兵势好合恶离。疆埸之间，一彼一此，慎守而已，古之善教也。若辄徙州，贼出无常，亦未知州之所宜据者。"使者不能诘。

又曰：羊祜入朝，武帝遣中书令张华问其筹策。祜曰："今主上有禅代之美，而功德未著。吴人虐政已甚，可不战而克。混一六合，以兴文教，则主齐尧、舜，臣同稷、契，为百代之盛。若孙皓不幸而残，吴人更立令主，虽百万之众，长江未可而越也，将为患乎？"华深赞成其计。祜谓华曰："成吾志者，子也。"帝欲使祜卧护诸将，祜曰："取吴不必须臣自行，但既平之后，劳圣虑耳。功名之际，臣所不敢居。事当有所付授，愿审择其人。"疾渐笃，乃举杜预自代，寻卒。

又曰：毛穆之镇广陵，迁右将军、宣城内史、假节，镇姑熟。穆之以为戍在近畿，无复军惊，不宜加节，上疏辞让，许之。

又曰：朱伺，字仲文，安陆人。少为吴牙门将陶丹给使。吴平，徙江夏。伺有武勇，讷口，不知书，为郡将督，见乡里士大夫，揖称名而已。及为将，遂以谦恭称。

又曰：邓遐，字应远。勇力绝人，气盖当时，人方之樊哙。桓温以为参军，数从温征伐。历冠军将军，数郡太守，号为名将。襄阳城北沔有蛟，常为人害，遐拔剑入水，蛟绕其足，遐挥剑截蛟数段而出。

又曰：刘牢之面紫赤色，须目惊人，而沉毅多计画。

干宝《晋纪》曰：文淑，字次骞，小名鸢，有武力算策。杨休、胡烈为虏所害，武帝西忧，遣淑出征，所向摧靡，秦凉遂平，名震天下。为东夷校尉，姿器膂力，万人之雄。

《慕容盛载记》曰：尚书左仆射领中军熙从征句骊、契丹，皆勇冠诸将。

又曰：皇甫真，字楚季。弱冠以高才随慕容评攻邺都，珍货充溢，真一无所取，惟存恤人物、收图籍而已。

《二石伪事》曰：郭权降石虎，虎问权曰："卿若得吾者，当杀不？"权曰："若登时得至尊，必杀不疑也。"虎曰："卿健将也。"因与共言事。

崔鸿《前燕录》曰：张蚝本姓弓，上党人也。膂力过人，能曳牛走。坚甚宠之，常侍左右，终为名将。所在有殊功，世称邓羌、张蚝皆万人敌也。

《宋书》曰：姚泓屯军长城下，王镇恶抚慰士卒，乃以身先士众，腾跃争先，泓众一时奔溃。泓妻子归高祖降将，至京，镇恶于灞上奉迎，高祖劳之曰："成吾霸业者，真卿也。"镇恶再拜。谢曰："此明公之威，诸将之力，镇恶何功之有焉！"笑曰："卿欲学冯异耶！"

又曰：桓玄云："刘毅勇冠三军，当今实为无敌。"

又曰：刘顺幢主樊僧爱勇冠三军，军中皆惧。

《齐书》曰：曹景宗，建武四年随太尉陈显达北围马圈，以奇兵二千破魏，援中山王英四万人。及克马圈，显达论功，以景宗为后，景宗退无怨言。

又曰：垣崇祖初见高帝，便自比韩[信]、白[起]，[咸不信]，惟上独许之。及破魏军启至，上谓朝臣曰："崇祖恒自拟韩、白，今[真]其人也。"进为都督。

《梁书》曰：冯道根每征伐，终不言功，其部曲或怨非之，道根喻曰："明主自监功之多少，吾将何事。"武帝常指道根示尚书令沈约，美其口不论勋，约曰："此陛下之大树将军也。"

《梁后略》曰：陆纳分其众，轻舸掩袭巴陵，晨至城下，骠骑始命诸将会议。乃出自垒门，坐胡床以望之。贼乘水来攻，矢下如雨，人情搔扰，莫不震惧。而骠骑方食甘蔗，曾无遽色。

又曰：齐遣其将窦泰趋潼关。太祖将袭秦，众咸难之，太祖问策于宇文深，深对曰："窦氏，欢之骁将也，每(伏)[仗]之以为御

侮。”

《北齐书》曰：刘丰，本出河间乐城。丰有雄姿壮气，果毅绝人；有口辩，好说兵事。

又曰：辛术，字怀哲，陇西狄道人也。清俭寡欲。及平楚定淮南，凡诸资物一毫不犯，惟收典籍，多是晋、宋、齐、梁时佳本，鸠集万有余卷。

太平御览卷第二百七十六

兵部七

良将下

《后周书》曰：王思政初入颍川，士卒八千人，城既无外援，亦无叛者。思政常以勤王为务，不营资产。尝被赐园池，思政出征后，家人种桑果。及还，见而怒曰："匈奴未灭，去病辞家，况大贼未平，何事产业！"命左右拔而弃之。故身陷之后，家无蓄积。

又曰：元定有勇略，每战必陷阵，然未尝自言其功。太祖深重之，诸将亦称其长者。

又曰：蔡祐少有大志，与乡人李穆，布衣齐名。尝相谓曰："大丈夫当建立功名，以取富贵，安能久处贫贱耶！"言讫，各大笑。穆即申公，后皆如其言。

又曰：王罴为华州刺史。时茹茹渡河南寇，候骑已至幽州。朝廷虑其深入，乃征兵发士马，屯守京城，塹诸街巷，以备侵轶。右仆射周(专)[惠]达召罴议之。罴不应命，谓其使曰："若茹茹在渭北者，王罴率乡里自破之，不烦国家兵马。何为天子城中，遂作如此惊动，由周家小儿性怯致此。"罴轻侮权势，守正不同，皆此类也。

又曰：刘亮，本名道德。累迁左大都督，从擒窦泰，复弘农与沙苑之后，并力战有功，迁车骑大将军，开(封)[府]，(府)[封]长广公。亮以勇敢见知，为当时名将，并屡陈谋策，多合机宜。太祖谓之曰："卿文武兼资，即孤之孔明也。"乃赐名"亮"，并赐姓侯莫陈氏，出为东州刺史。卒，丧还京师，太祖亲临之，泣而谓人曰："股肱丧矣，腹心何寄！"

又曰：王杰，本名文达。太祖奇其才，擢授扬烈将军、羽林监，寻加都督。太祖尝谓诸将曰："王文达，万人敌也，但恐勇决太过耳。"复潼关，破沙苑，争河桥，战邙山，皆以勇敢闻。亲待日隆，赏赐加于伦等。于是赐姓宇文氏。

又曰：于谨平江陵还，太祖亲至其第，宴语极欢。赏谨奴婢一千口，及宝物，并金石丝竹乐一部。谨自以久当权，[位]望隆(位)[重]，功名既立，愿保优闲。乃上先所乘骏马及所着铠甲等。太祖识其意，乃曰："今巨猾未平，公岂得便尔独善。"遂不受。

又曰：蔡祐，字承先。有膂力，便骑射。从征伐，常溃围陷阵，为士卒先。军还之日，诸将争功，祐终无所竞。太祖每叹之，尝谓诸将曰："承先口不言勋，孤当代其论叙。"其见知如此。

《三国典略》曰：周高琳每征伐，勇冠诸军。太祖谓之曰："公即我之韩、白也。"

又曰：胡僧祐为梁名将，常以鼓吹置于斋中，恒坐对之，以自娱玩。或谏之曰："公名望隆重，朝野具瞻，此是羽仪，可自居外。"僧祐曰："我性爱之，恒须见耳。"

又曰：北齐斛律金，字阿六敦，朔州敕[勒]部人，光禄大夫那瓌之子[也]。(世)性敦直，善骑射，行兵用匈奴法，望尘识马步多少，嗅地知军度远近。神武戒文襄曰："有谗此人者，勿信之。"文宣尝与金宴射，亲持矟走马以拟金胸者三，金坚不动。赐帛千匹，因过其宅，置酒作乐。

《北史》曰：隋文帝尝从容命高颎与贺若弼言及平陈事，颎曰："贺若弼先献十策，后于蒋山苦战破贼。臣文吏耳，焉敢与将论功！"帝大笑，时论嘉其有让。

又曰：周将王思政久经军旅，每战惟着破衣弊甲，敌人疑非将帅，故得免。

又曰：韩果从平窦泰于潼关，周文依其规画，军以胜返，赏真珠金带一腰。

《隋书》曰：李密，父宽，骁勇善战，干略过人，自周及隋，数经将领，至柱国、蒲山郡公，号为名将。

又曰：史万岁少英武，善骑射，骁捷若飞。好读兵书，兼精占候。

又曰：宇文忻每参帷幄，出入卧内，禅代之际，忻有力焉。后拜右领军大将军，恩赐弥重。忻妙解兵法，驭戎齐整，当时六军有一善事，虽非忻所建，在下辄相谓曰："此必忻法也。"其见推服如此。

又曰：薛世雄，性廉谨，凡所行军破敌之处，秋毫无犯，帝由是嘉之。帝尝从容谓群臣曰："我欲举好人，未知诸君识不？"群臣咸曰："臣等何能测圣心。"帝曰："我欲举者薛世雄。"群臣皆称善。帝复曰："世雄廉正节概，有古人之风。"于是超拜右翊卫将军。

又曰：杨玄感欲立名，阴求将领。谓兵部尚书段文振曰："玄感世荷国恩，宠逾涯分，自非立效边裔，何以塞责！若方隅有风尘之警，庶得执鞭行阵，少展丝发之功。明公兵革是司，敢布心腹。"文振因言于帝，帝嘉之。顾谓群臣曰："将门必有将，相门必有相，故不虚也。"于是赉物千段，礼遇益隆。

又曰：突厥入朝，上赐之射，突厥一发中的。上曰："非贺若弼无能当此。"于是命弼。弼再拜而咒曰："若赤诚奉国者，当一发破的。如其不然，发不中也。"既射，一发而中。上大悦，顾谓突厥曰："此人天赐我也！"

《唐书》曰：刘黑闼为窦建德将奇兵，东西掩袭，多所克获，每临危难而色不变，军中号为"神勇"。

又曰：屈突通平薛仁(果)[杲]之际，宝物山积，诸将争取。通一无所犯。高祖闻之，曰："通清正奉国，著于终始，名下定不虚也。"赐金银六百两，杂彩千段。

又曰：右武候将军张士贵破反獠而还，太宗劳之曰："闻公亲蒙矢石，为士卒先，虽古名将无以加也。朕尝闻以身报国者不顾性命，尝闻其语未睹其实，于公方见之矣。"

又曰：文德皇后之葬也，段志玄与宇文士及分统士马出宿于章武门。太宗夜使宫官至二将军处，宇文士及[开]营内使者，志玄闭门不内，曰："军门不可夜开。"使者曰："此有手敕。"志玄曰："夜中不辨真伪。"竟停使者至晓。太宗闻而叹曰："此真将军也，周亚夫何以加焉。"

又曰：霍王元范，高祖第十四子也，母曰"张美人"。元范少善骑射，初为吴王时，尝从太宗游猎，遇群兽，命射之，矢不虚发，兽无遗者。太宗抚其背曰："汝才艺过人，恨今无所施耳。当天下未定，我得汝岂不安乎！"

又曰：王君廓统兵经略东都，王世充将郭士行、许罗汉前后入掠。君廓辄击退之，拜右武卫将军。诏劳之曰："卿以十三人破贼一万，自古以少击众未之前闻！非惟骁勇绝人，亦足以显卿忠节也。"

又曰：突厥入寇，王君廓邀击破之，俘斩二千余人，获马五千匹。高祖闻而大悦，征之入朝，赐与御马，令殿廷乘之而出。又谓侍臣曰："吾闻蔺相如叱秦王，目(皆)[眥]出血。君廓往击，建德将出战，徐勣遏之，君廓愤发大呼，目及鼻耳一时流血。此之壮气，何谢古人，不可以常例赏之。"复赐锦袍金带，还领幽州。

又曰：高宗时，吐蕃陷安西四镇。长寿初，蕃军逼安西府，则天令武威将军总管王孝杰、将军阿史那忠节等，率师拒之。孝杰至安西，合战屡捷，大破蕃军，收复龟兹、于阗、疏勒、碎叶四镇而还。则天大悦，谓侍臣曰："昔贞观年中俱统得此蕃域，其后西陲不守，并陷吐蕃。今既复旧，边境自然无事。孝杰建兹功效，竭尽款诚，遂能裹足徒行，身与士卒齐力。如此忠恳，深足可嘉。"迁左卫大将军。

又曰：薛仁贵击九姓突厥于天山，军将发，高宗出甲，令仁贵射之，射穿五重。[时]九姓众十余万，令骁健十人逆来挑战，仁贵发三箭，中三人，其余下马请降，并坑之。更就碛北安抚余众而还。

军中歌曰："将军三箭定天山，将士长歌入汉关。"

又曰：刘仁轨，显庆四年，出为青州刺史。五年，大军征辽，令仁轨监统水军，以后期免，特令以白衣随军自效。寻检校带方州刺史，兼熊津道行军长史，仍别领水军二万袭破倭贼数万于白波，虏获船舰四百余艘。倭及耽罗等国皆遣使诣之请降。初，仁轨将发带方州，谓人曰："天将富贵此翁耳！"乃于州司请历日一卷，并七庙讳，人怪其故，答曰："拟削平辽海，颁示国家正朔，使夷俗遵奉焉。"至是果以军功显正，除带方州刺史。

又曰：郭元振为安西大都护。时安西突厥首领乌质勒部落强盛，款塞通和，元振就其牙帐计会军事。时天大雪，元振立于帐前，与乌质勒言议，须臾，雪深风冷，元振未尝移足，乌质勒年老，不胜寒苦，会罢而死。

又曰：李晟，临洮人也，祖思恭，父钦，代居陇右，尝为裨将。晟数岁而孤，事母以孝闻。少雄烈，有材力，善骑射，年十八从军，身长六尺，勇敢绝伦。时河西节度使王忠嗣击吐蕃，有骁将乘城拒斗，颇多杀士卒，忠嗣募军中能射者射之。晟乃引弓，一发而毙，三军大呼。忠嗣厚赏之，因抚其背曰："此万人之敌也。"

又曰：贞元五年九月，马燧与太尉晟召见于延英殿，上嘉其有大勋力，皆图形于凌烟阁，列于元臣之次。九年十月，召见延英殿，因拜，手仆于地，上亲起之。

又曰：王栖耀，性谨厚，善骑射。始起兵，涉寇境太深，遇游骑四合，百步内立表俾之环视，发必破的。虏相顾恐惧，徐而解去。尝猎会稽山中，有逸林白额兽卒起草中，应弦而毙。在苏州尝与诸文士游虎丘寺，平野霁日，先一箭射空，再发贯之，江东文士自梁肃已下歌咏焉。

又曰：李愬既执送吴元济，裴度建彰义军节，拥降卒万余人次入焉。李愬具橐鞬候度马首。度将避之，愬曰："此方不识上下等威之分久矣，请公因以示之。"度以宰相礼受愬谒，众耸观焉。明

日，愬以师还于文成栅。度乃视节度使观察及刺史事，蔡人大悦。

又曰：李光颜为河东裨将，讨李怀光、杨惠琳皆有功。后随高崇文平蜀，搴旗斩将，出入如神，由是稍稍知名。授兼御史大夫。时兄光进官亦至兼御史大夫，军中号曰"大大夫"、"小大夫"。

《国语·周语》曰：邵公告单公曰："晋有三伐，勇而有礼，返之以仁。吾三逐楚君之卒，勇也；见其君必趋，礼也；能获郑伯而舍之，仁也。"

《老子》曰：以道佐人主者，不以兵强天下，果而勿矜，果而勿伐。河上公注云："当果敢推让，勿自伐取其美也。"

《六韬》曰：兵入殷郊，见太公曰："是吾新君也。"而商容曰："非也。其人虎据而鹰峙，威怒自副，见利欲发，进不顾前。"后见武王曰："是新君也，见敌不怒。"

《献帝春秋》曰：张辽问吴降人曰："紫髯将军长上短下谁也？"答曰："是孙会稽。"

《会稽典录》曰：张立之为人刚毅，志意慷慨。太祖尝抑之曰："尔不念诗书，慕圣道，而好乘汗马击剑，此一夫之用，何足贵也！"谓左右曰："丈夫(一)[当]为卫、霍，将十万，驰沙漠，驱戎狄，立功建号耳，何能作博士耶！"

《荆州记》曰：邓遐，襄阳人也。勇力绝人，历位冠军将军、数郡太守，号名将。

袁子《世说》曰：吕布之破也，太祖给众官车乘，使取军中物惟所欲。众人皆重载，惟袁涣取书数百卷、资粮而已。众人闻之大惭。

刘向《新序》曰：孙武、乐毅之徒，皆前世之贤将也。久远深奥，其事难知。至于吴汉，近时人耳，起于贩马，立为良将，乘名竹帛，天下归德，此可慕也。

太平御览卷第二百七十七

兵部八

儒　将

《左传》曰：晋谋元帅，赵衰曰："郤縠说礼乐而敦诗书，以将中军。"

《汉书》曰：冯奉世以良家子选为将，年四十余乃学《春秋》，涉大义，读史书。

《后汉书》曰：马援闲于进对，尤善述前世行事。每言及三辅长者，下至闾里少年，皆可观听。自皇太子、诸王侍闻者，莫不属耳忘倦。又善兵策，帝常言："伏波论兵，与我意合。"每有所谋，未尝不用。

又曰：祭遵为将军，取士皆用儒术，对酒设乐，必雅歌投壶。虽在军旅，不忘俎豆。

又曰：贾复少好学，习《尚书》。事舞阴李生，李生奇之，谓门人曰："贾君之容貌志气如此，而勤于学，将相之器也。"

又曰：贾复知帝欲偃干戈，修文德，不欲功臣拥众京师，乃与高密侯邓禹并剽甲兵，敦儒学。《广雅》曰：剽，削也。谓除甲兵。《东观汉记》曰：复闭门养威，重授《易经》，起大义。帝深然之，遂罢左右将军。复以侯就第，加位特进。

《吴书》曰：鲁肃为人方严。寡于玩饰，内外节俭，不务俗好，治军整顿，禁令必行，虽在军阵，手不释书。又善谈论，能属文辞。[思弘]远，有过人之明。周瑜之后，肃为之冠也。

《晋书》曰：杜预身不跨马，射不穿札，而每有大事，辄居将帅之

列。

又曰：刘毅征卢循，败归。帝大宴于西池，有诏赋诗，毅诗云："六国多雄士，正始出风流。"毅自以武功不竞，故示文雅有余也。

又《载记》曰：石勒雅好文学，虽军旅，常令儒生读史书而听之，每以其意论古帝王善恶，朝贤儒士，听者莫不美焉。尝使人读《汉书》，闻郦食其劝立六国后，大惊曰："此法当失，何得遂成天下！"至留侯谏，乃曰："赖有此耳。"

《宋书》曰：沈庆之尝对上为诗，令仆射颜师伯执笔，庆之口占曰："微生值多幸，得逢时运昌。老朽筋力尽，徒步还南岗。辞荣此圣代，何愧张子房。"并叹其辞意之美。

《梁书》曰：曹景宗大破魏军，振旅凯入，帝于华光宴饮，因令左仆射沈约赋韵。景宗不得韵意，色不平，启求赋诗。帝曰："卿伎能甚多，人才英拔，何必止在一诗！"景宗已醉，求作不已，诏令约赋韵已尽，惟余"竞""病"二字。景宗便操笔，斯须而成，其辞曰："去时儿女悲，归来笳鼓竞。借问路行人，何如霍去病！"帝欣然不已，约及朝贤惊嗟竟日，诏令上史。

《北史》曰：周文帝宴群公，卿士仍赋诗言。高琳诗末章云："寄言窦车骑，为谢霍将军。何以报天子，沙漠静妖氛。"帝大悦曰："獯猃陆梁，末时款塞。卿言有验，国之福也。"

《后魏书》曰：韦彧为东豫州刺史。以蛮俗荒梗，不识礼仪，乃表立太学，选诸郡生徒于州检教。又于城北置崇武馆以习武焉。境内清肃，还迁大将军。

又曰：征虏将军刘藻涉猎群籍，美谈笑，善与人交，饮酒至一石不乱。

《后周书》曰：宇文显和性矜严，颇涉经史，膂力绝人，弯弓数百斤，能左右驰射。

又曰：贺拔胜长于丧乱之中，尤(攻)[工]武艺，走马射飞鸟，十中其五六。太祖每云："诸将对敌，神色皆动，惟贺拔公临阵如平

常，真大勇也。”自居任始爱坟籍，乃招引文儒讨论义理。性又通率，重义轻财，身死之日惟随身兵仗及书千余卷。

《隋书》曰：高祖有平南之志，访可任者。高颎曰：“朝臣之内，文武才干无出贺若弼者。”高祖曰：“得之矣。”于是拜弼为吴郡总管，委以平陈之事。弼忻然，以为己任与寿州总管源雄并为重镇。弼遗雄诗曰：“交河骠骑幕，合浦伏波营。勿使麒麟上，无我二人名。”献取陈十策，上称善，赐以宝刀。

又曰：周罗睺初仕陈，为太子左卫率，信任逾重，时参宴席，陈主曰：“周左率武将，诗每前成，文士何为后也？”都官尚书孔范对曰：“周罗睺执笔制诗，还如上马入阵，不在人后。”自是益见亲礼。

又曰：于仲文讨高丽，大破之。至鸭绿水，高丽将乙支文德诈降，来入其营。仲文先奉密旨“若遇高(一)[乙]支文德者必擒之。”至是文德来，仲文将执之。时尚书右丞刘士龙为慰抚使，固止之，仲文遂舍文德。寻悔，遣人给文德曰：“更有言议，可复求也。”文德不从，遂济，仲文选骑渡水追之，每战破贼。文德遗仲文诗曰：“神策究天文，妙算穷地理。战胜功既高，知足愿云止。”仲文答书谕之，文德烧栅而遁。

《唐书》曰：调露元年，突厥阿史德温傅叛，单于府所管二十四州皆叛应之。单于都护萧嗣业率兵讨之，被阿史德掠其粮车，兵多饿死，由是大败。朝廷忧之，遣礼部尚书裴行俭为定襄道行军大总管，率诸军三十万进讨。行俭至朔州，知贼掠嗣业粮运得胜，乃为粮车三百乘，每车伏猛士五人，持陌刀劲弩，又以羸兵数百援之，兼伏精兵于险厄处。虏见粮车果大至，羸兵才斗，弃车而走，贼驱车就泉井解鞍牧马，方拟取粮，车中壮士齐发，虏众大骇，奔散。伏兵险发，虏骑擒戮殆尽。自是续遣粮车，虏望之不敢逼。粮饷既通，进兵屡捷。行俭终擒温傅，再平突厥。

又曰：娄师德，弱冠进士擢第，累补监察御史。上元初，吐蕃犯塞，有诏募猛士以讨之，师德抗表应募，请为猛士击虏。高宗大悦，

特假朝散大夫，从军西讨，频立战功，迁殿中，改授金吾将军、丰州都督。则天降书劳之，曰："卿受委北(垂)[陲]，总司军任，往还灵、夏，检校屯田，收率既多，京(抵)[坻]遽积。不烦和籴之费，无复转输之劳，两军镇兵咸得支给，览之嘉尚，忻悦良深。"召为夏官侍郎，俄拜凤阁侍郎，同平章事，改纳言。

又曰：娄师德颇有学术，器量宽厚，喜怒不形于色。专综边任三十余年，恭勤接下，孜孜不怠。当危乱之时，族灭者相继，师德出将入相，能以功名始终，识者多之。

又曰：永徽中，薛仁贵平百济，高宗令别将摄带方州刺史刘仁轨留兵镇守，诏仁贵班师还。高宗劳问之，曰："卿在海东，前后奏请，皆合事宜，而雅有文理。卿本武将，何得然也？"对曰："非臣所能，皆刘仁轨之所为也。"帝深加叹赏，超仁轨六阶正，授带方州刺史。仁贵初平百济，合境凋残，僵尸相属。仁轨始令收敛骸骨，瘗埋吊祭之。校计户口，署置官长，开通道路，整理村落，补葺堤堰，修复陂塘，劝课耕种，赈贷贫乏，存问孤老。缵宗庙忌讳，位皇家社稷。百济余众，复安生业。仁轨位至中书令。

又曰：御史大夫唐休璟有文武才干。[贞观元年]为陇右大使，大破吐蕃大将麴莽[布]支于凉州洪源谷。凡六战六捷，破虏筑京观而还。后吐蕃使来朝，尝因侍宴(蕃使)屡觇休璟。则天问其故，对曰："往岁洪源战时，此将军雄猛无比，杀臣将士甚众，今愿识之。"则天大加叹异。休璟尤[谙]练边事，自碣石西逾四镇，绵亘万里，山川要害，皆能记之。长安中，西突厥与诸蕃不和，举兵相持，安西道阻，表疏相继。则天召休璟与宰相商度事势，俄顷间草奏便施行。后十余日，安西诸州请兵应接，一如休璟所画。则天谓之曰："恨用卿晚。"用迁夏官尚书、同中书门下三品，仍谓魏元忠曰："休璟谙练边事，卿等十不当一也。"

又曰：宰相张说出为并州大都督府长史，兼天兵军大使。开元九年，胡贼康待宾据长泉镇叛，与党项连结，攻陷兰池等六胡州。

诏说与朔方军大使王晙合势进讨。贼攻银城、连谷，以据仓粮。说统马步万人出合河关掩击，大破之。追至骆驼堰，胡及党项自相疑贰，乃散。说招集党项，复其居业。副使史宪请尽诛党项，说曰："先王之道，推亡固存，如尽诛之，是逆天道。"因奏置麟州，安置党项余众。其年，说自兵部尚书进同平章事。十年，又敕说为朔方军节度大使，往巡五城，处置兵马。时降胡康愿子自立为可汗，举兵掠监牧马，西河涉出塞。说收兵讨而擒之，以献，徙其家属于木盘山。其党悉平，获男女三千人。于是移河曲六胡州残胡五万余口配之于许、汝、唐、邓、仙豫等州，始空河南朔方地。先是，缘边镇兵常六十万，说以边寇渐平，奏罢二十余万，勒还农亩。玄宗颇以为疑，说奏曰："臣久在疆埸，具悉边事，御敌制胜不在多驱闲冗。陛下若以为疑，臣请阖门百口保之。以陛下之明，四夷畏服，必不虑减兵而招寇也。"玄宗从之。时当蕃卫士，浸以贫弱，逃亡略尽，说建策请一切罢之，别召募强壮，令其宿卫，不简色役，优为条例，逋逃者必争来应募。上从之。旬日，得精兵十三万人，分系诸卫，骁骑是也。

又曰：吴元济据蔡州叛，王师讨伐，诏柳公绰以鄂兵五千隶安州刺史李听，率赴行营。公绰曰："朝廷以吾儒生不知兵耶？"即日上奏，愿自征行，许之。公绰自鄂济涓江，直抵安州，李听以廉使之礼事之。公绰谓之曰："公所以属鞬负弩者，岂非为兵事耶？若去戎容，被公服，两郡守耳，何所统摄乎？以公名家晓兵，若吾不足以指麾，则当赴阙。不然，吾且署职名，以兵法从事矣。"听曰："惟公所命。"即署听为鄂岳都知兵马使、中军先锋、行营马步都虞候，三牒授之。乃选卒六千属听，戒其部校曰："行营之事，一决都将。"听感恩畏威，如出麾下。其出权制变，为当时所称。入为刑部尚书，出授太原尹、河东节度使。（代）[陉]北有沙陀部落，自九姓、六州皆畏惮之。公绰至镇，召其酋朱耶执宜，安置于云、朔塞下，治废栅十一，募兵三千，令沙陀屯守，由是遂无边患。

又曰：元和十二年，宪宗召宰臣议兵曰："王师伐蔡，首尾三年，虽捷奏频来，窠巢未殄，度支供馈，其何以济？"李逢吉、崔群、王涯各有奏对，多言罢兵为便。惟裴度不言利害，议曰："臣请身自往行营督战。"明日延英复对，宰臣俱退，上独止度，谓之曰："卿必能为朕行乎？"度顿道流涕而奏曰："臣誓不与此贼俱全。"上亦为之感恸。度奏曰："贼已力困，但以群帅不一，故未降耳。"上深嘉之，遂欲加度招讨使，度奏曰："韩弘已为都统，臣不欲受招讨之名，但奉使即得。"乃下诏以度为彰义军节度，蔡、申、光观察等使，仍淮西行营宣慰处置使。其年八月一日，度发京师，仍赐禁军三百为卫兵。宪宗御通化门饯军，度衔涕辞。至蔡州，度传上慰劳之旨，躬督战阵，卒伍立功，即时论赏，诸将奋励，无敢退留。至十月十一日拔蔡州，擒吴元济，仗节而还。

又曰：元和中，以裴度征淮西，诏曰："辅弼之臣，军国是赖。兴化致理，秉钧以居；取威定功，则分阃而出。所以同君臣之体，一中外之任焉。属者问罪汝南，致诛淮右，盖欲刷其污俗，吊彼顽人。虽挈地求生者实繁有徒，而婴城执迷者未翦其类，何兽困而犹斗，岂鸟穷之无归欤？由是遥听鼓鼙，更张琴瑟，烦我台席，董兹戎旃。朝议大夫、守中书侍郎、同平章事、飞骑尉、赐金鱼袋裴度，为时降生，协朕梦卜，精办宣力，坚明纳忠。当轴而才谋老成，运筹而智略有定。司其枢务，备知四方之事；付以兵要，必得万人之心。是用祷于上玄，(练)[拣]此吉日，带丞相之印绶，所以尊其名；赐诸侯之斧钺，所以重其命。尔宜布清问，恢壮猷，感励连营，荡平多垒，招怀孤疾，字抚夷伤。况淮西一军，素效忠节，过海赴难，史册书勋。建中初，攻破襄阳，擒灭崇义。比者胁于凶逆，归命无由。每念前劳，常思安抚。所以内辍辅臣，俾为帅率，实欲保全慰谕，各使得宜。[汝]往钦哉！无越[我丕训]。"

《唐书》曰：太尉李光弼，御军严峻而有礼，士卒望风畏惮。乾元中，郭子仪会九节度之师，不利于相州，诏以光弼代子仪为河北

副元帅。子仪宽恕，朔方将士多不奉法。时仆固怀恩引回纥内助，累立战功，将帅多假借之。及光弼统师，怀恩为右厢都知兵马使。光弼出关，会诸军于汜水，左厢都知兵马使张用济后至，斩于纛下，怀恩见而惮之，不敢惕息。光弼在河阳，令怀恩攻泰清于怀州，官军频不利。光弼怒，将斩之，怀恩出奇为地道，偷得贼号，诈传号令，贼军大乱，遂拔怀州擒泰清而还。光弼舍之。泰清妻有美色，城破被俘，泰清从光弼求之，即命还泰清。议者称自艰难已来，惟光弼行军理戎沉毅有筹略，将帅中第一。

又曰：凤翔将野诗、良辅，泾原将郝玭，各以名雄边上，吐蕃尝谓汉使曰："唐国既与吐蕃和好，何忘语也？"问曰："何谓？"曰："若不忘语，何因遣野诗、良辅作陇州刺史？"其畏惮如此。

太平御览卷第二百七十八

兵部九

边　将

《史记》曰：李牧为赵将，居雁门备匈奴。日击牛飨士，谨烽火，多间谍。敢有捕虏者斩，王以为怯，代之。匈奴数来，复使牧将，牧曰："如前，乃敢奉令。"王许诺。数岁终无所得，后进百金之士五万，彀弦者十万，大破匈奴。

又曰：文帝时，匈奴大入朝那，杀北地都尉卬。音昂。帝以问冯唐："安得廉颇、李牧为将也？"唐对曰："臣闻上古王者之遣将，跪而推毂，曰：阃以内者，寡人制之；阃以外者，将军制之。军功爵赏皆决于外，归而奏之。此非虚言也。臣大父言李牧之为赵将，居边，军市之租皆自用飨士，赏赐决于外，不从中御也。委任而责成功，故李牧乃能得尽智能，选车千三百乘，彀骑万三千匹，百金之士十万，是以北逐单于，东破胡，灭澹林，西抑强秦，南支韩、魏。当是之时，赵几霸。会赵王迁[立]，其母倡也。王迁立，乃用郭开谗，卒诛李牧，令颜聚代之。是以兵破士北，为秦所灭。今臣窃闻魏尚为云中守，其军市租尽以给士卒，出私养钱，五日一杀牛，飨宾客军吏舍人，是以匈奴远避，不近云中之塞。虏尝一入，尚率车骑击之，所杀甚众。夫士卒尽家人子，起田中从军，安知尺籍伍符。终日力战，斩首捕虏，上功莫府，一言不相应，文吏以法绳之。其赏不行，而吏奉法必用。臣愚，以为陛下法太明，赏太轻，罚太重。且云中守魏尚坐上功首虏差六级，陛下下之吏，削其爵，罚之。由此言之，陛下虽得廉颇、李牧，不能用。"文帝说，是日令冯唐持节赦魏尚，复以为

云中守，而受唐为车骑都尉。

又曰：武帝以李广为未央卫尉，而程不识亦为长乐卫尉。不识故与广俱尝屯边，而广行无部伍行阵，就善水草屯，舍止，人人自便，不击刁斗以自卫。莫府省约束文籍事，然亦远斥候，未尝遇害。程不识正部曲行伍营阵、击刁斗，士吏理军簿至明，军不得休息，然亦未尝遇害。不识曰："李广军极简易，然虏卒犯之，无以禁也；而其士卒亦佚乐，咸乐为之死。我军虽烦扰，然虏亦不得犯我。"是时汉边郡李广、程不识皆为名将，然匈奴畏广，士卒亦多乐从广而苦程不识。

《汉书》曰：晁错上言兵事曰："自高后以来，陇西三困于匈奴，非陇西之民有勇怯，乃将吏之制巧拙异也。故兵法曰：有必胜之将，无必胜之民。繇此观之，安边境，立功名，在于良将，不可[不]择也。"

又曰：赵充国奏曰："从今尽三月，虏马羸瘦，必不敢捐妻子于他种中，涉河而来为寇。是臣之愚计，所以度虏且必瓦解其处，不战而自破之策也。"

又曰：张安世长子千秋为中郎将，将兵随度辽将军范明友击乌桓。还，谒大将军光，问千秋战阵方略，山川形势。千秋口对兵事，画地成图，无所忘失。

《后汉书》曰：窦宪惧诛，自求击匈奴以赎死。会南单于请兵北伐，乃拜宪车骑将军，金印紫绶，官属依司空，依，准也。长一人，千石，掾属二十九，令史及御属三十二人。见《续汉志》。以执金吾耿秉为副，发北军五校、汉有南北军，北军中候一人，六百石，掌临五营。黎阳、雍营、缘边十二郡骑士，《汉官仪》曰：光武中兴，以幽、冀、并州兵骑克定天下，故于黎阳五营以谒者监之。又曰：扶风郡尉部在雍县，以凉州近羌数犯三辅，将兵卫护，故俗称雍营。及羌胡兵出塞。明年，宪与秉各将四千骑及南匈奴左谷蠡王师子师子，其名也。万骑出朔方鸡鹿塞，南单于屯屠河，屯屠河，单于名。将万余骑出满夷谷，度辽将军邓鸿邓禹少子。及缘边义从羌胡八千骑，与左贤

王安国万骑出稒阳塞，稒阳在五原郡。稒音固。皆会涿郡山。宪分遣副校尉阎盘、司马耿夔、耿谭将左谷蠡王师子、右呼衍王须訾等，呼衍其号，因以为姓，匈奴贵种也。今呼延姓是其后。须訾，(各)[名]。精骑万余，与北单于战于稽落山，大破之，虏众崩溃，单于遁走，追击诸部，遂临私渠比鞬鞮海。匈奴中海(各)[名]。斩名王已下万三千级，获生口马牛羊橐驼百余万头。于是温犊须、日逐、温吾、夫渠王抑鞮等八十一部率降者，前后二十余万人。宪、秉遂登燕然山，去塞三千余里，刻石勒功，纪汉威德，令班固作铭。

又曰：马援讨五溪蛮，军次下隽，下隽，县名，属长沙国，故城今辰州沅陵县。隽音字兖反。有两道可入，从壶头则路近而水险，壶头，山名也，今在辰州沅陵东。《武陵记》曰：此山头与东海方壶山相似，神仙多所游集，(固)[因]名壶头山也。从充则涂夷而运远，充，县名，属武陵郡。充，音昌容反。帝初以为疑。及军至，耿舒欲[从]充道，援以为弃日费粮，不如进壶头，搤其喉咽，搤，持也。充贼自破。以事上之，帝从援策。三月，进营壶头。贼乘高守隘，水疾，船不得上。会暑甚，士卒多疾死，援亦中病，遂困，乃穿岸为室，以避炎气。《武陵记》曰：壶头山边有石窟，即援所室也。室内有地如百斛船大，云是援之余灵也。贼每升险鼓噪，援辄曳足以观之，左右哀其壮意，莫不为之流涕。

又曰：初，马援军还，将至，故人多迎劳之，平陵人孟冀，名有计谋，于坐贺[援]，援谓之曰："吾望子有善言，反同众人耶？昔伏波将军路博德开置七郡，裁封数百户；《汉书》曰：平南越以为南海、苍梧、郁林、合浦、交阯、九真、日南、朱崖、儋耳九郡，今此言七郡，则与前书不同也。今我微劳，猥飨大县，功薄赏厚，何以能长久乎？先生奚用相济？"冀曰："愚不及。"援曰："方今匈奴、乌桓尚扰北边，欲自请击之。男儿要当死于边野，以马革裹尸还葬耳，何能卧床上在儿女子手中耶？"冀曰："谅为列士，当如此矣。"

又曰：邓训卒官，吏人羌胡爱惜，旦夕临者日数千人。戎俗父母死，耻悲泣，皆骑马歌呼。至闻训卒，莫不吼号，或以刀自割，又杀其犬马牛羊，曰："邓使君已死，我曹亦俱死耳。"前乌桓吏士皆奔

走道路，训往乌桓校尉时吏士也。至空城郭。吏执不听，以状白校尉徐傥。傥叹息曰："此义也。"傥音於建反。乃释之。遂家家为训立祠，每有疾病，辄请祷求福。

又曰：窦固复出玉门，击西域。诏耿秉及骑尉刘张皆去符传以属固，专将兵者并有符传拟合之取信。今去节者皆固之节度也。固遂破（曰）[白]山，降车师。

又曰：祭肜使招呼鲜卑，示以财利。其大都护偏何鲜卑名也。遣使奉献，愿得归化，肜慰纳赏赐，稍复亲附。其异种满离、高句骊之属，遂骆驿款塞，上貂裘好马，帝辄倍其赏赐。其后偏何邑落诸豪并归义，愿自效。肜曰："审欲立功，当归击凶奴，斩送头首乃信耳。"偏何等皆仰天指心曰："必自效！"即击匈奴左伊秩訾部，斩首二千余级，持头诣郡。其后岁岁相攻，辄送首级。

又曰：乌桓、鲜卑追思祭肜无已，每朝贺京师，常过冢拜谒，仰天号泣乃去。辽东吏人为立祠，四时奉祭焉。

又曰：耿恭以疏勒城旁有涧水可固，五月，乃引兵据之。七月，匈奴复攻，恭募先登数千人直驰之，（朝）[胡]骑散走，匈奴遂于城下拥绝涧水。恭于城中穿井十五丈不得水，吏士渴乏，笮马粪汁而饮之。笮，渐压笮也。恭仰叹曰："闻昔贰师将军拔佩刀刺山，飞泉涌出；贰师，大宛中城名。昔武帝时，使李广利代大宛至贰师城，因以为号。今汉德神明，岂有穷哉！"乃整衣服向井再拜，为吏士祷。有顷，水泉奔出，众皆称为万岁。乃令吏士扬水以示虏。

又曰：光武至蓟，闻邯郸兵方到，光武将欲南归，召官属计议。耿弇曰："今兵从南来，不可南行。渔阳太守彭宠，公之邑人；宠，南阳宛人也。上谷太守，即弇（公）[父]也。发此两都，控弦万骑，邯郸不足虑也。"光武官属腹心皆不肯，曰："死尚南首，奈何北行入囊中？"光武指弇曰："是我北道主人也。"

又曰：耿夔为大将军左校尉。将骑八百，出居延塞，直奔北单于庭，于金微山斩阏氏、名王已下五千余级，单于与数骑脱亡，尽获

其匈奴珍宝财畜，去塞五千余里而还，自汉出师所未尝至也。

又曰：班超在疏勒，将还中国，疏勒举国忧恐。其都尉黎弇曰："汉使弃我，我必复为龟兹所灭耳。诚不忍见汉[使]去。"因以刀自刭。超还至于寘，王侯以下皆号泣曰："依汉使如父母，诚不可去。"互抱超马脚，不得(所)行。超恐于寘终不听其东，又欲遂本志，乃更还疏勒。疏勒两城自超去后，复降龟兹，而与尉头连兵。尉头国居尉头谷，去长安八千六百五十里，南与疏勒接，衣服类乌孙也。超捕斩反者，击破尉头。

又曰：段颎破羌穷山深谷之中，斩其渠师以下万九千级，获牛马骡驴毡裘庐帐什物不可胜数。

又曰：郭凉，字公文。气力壮猛，虽武将，然通经书，多智略，尤晓边事，有名北方。

又曰：张奂，前[为]度辽[将军]，与段颎争击羌，意不相平。及颎为司隶，欲逐奂归敦煌，将害之。奂忧惧，奏记谢曰："小人不明，得过州将，千里委命，以情相归。"

又曰：《刘焉传》曰："拜张鲁镇夷中郎将，领汉宁太守，通其贡献。"

谢承《后汉书》曰：臧旻有干事才，达于从政，讨贼有功，拜议郎。还京师，见太尉袁逢，问其西域诸国土地风俗，人物种数，旻具答，悉陈其状，手画地形。逢奇其才，叹息言："虽班固作《西域传》，何以过此！"

《东观汉记》曰：黄香为尚书，晓习边事，每行军调度，动得事中。上知其勤，数加赏赐。

《魏志》曰：毋丘俭，字仲恭。有干策，为幽州刺史、渡辽将军。俭以高句骊数叛，帅军出玄菟讨之。句骊王宫将步骑三万，逆军随流水上，大战，宫连败走。遂束马悬车，登九都山，斩获首虏以千数。玄菟太守王颀过(汶)[沃]沮千余里，至肃慎界，刻石记功，刊(九)[丸]都之山。

《吴志》曰：孙歆，字公礼。为边将数十年，善食士卒，得其死力。将帅姓名，尽具识之，所问咸对。身长八尺，仪貌都雅。[权欢]悦曰："吾久不见公礼，不图进益乃此。"

《后魏书》曰：韦珍。高祖初，蛮首桓诞归款，以为东荆州刺史。令珍为使，与诞招慰诸蛮，珍自悬瓠西入三百余里，至桐柏山，穷临淮源，宣扬恩泽，莫不附降。淮源旧有祠堂，蛮俗恒用人祭之。珍乃晓告曰："天地明灵，即是民之父母，岂有父母甘子肉味！自今已后，悉宜以酒脯代用。"群蛮从约，至今行之。凡所招降七万余户，置郡县而还。以奉使称旨，除左将军、乐陵镇将，赐爵霸城子。

又曰：李崇行梁州刺史。时巴丘扰动，诏崇以将军荆州刺史镇上洛，敕发陕、秦二州兵送崇至。辞曰："边人失和，本怨刺史，奉诏代之，自然易帖。但须一宣诏旨而已，不劳发兵自防，使怀惧也。"高祖从之。

又曰：宇文测行绥州事。每岁河冰合后，突厥即来寇掠，于是常预遣居人入城堡以避之。测至，皆令安堵如旧，乃于要路数百处，并多积柴，仍远斥候，知其动静，是年十二月，突厥从连谷入寇，至界数十里，测命积柴之处一时纵火。突厥谓有大军至，惧而遁走，自相蹂践，委弃杂畜及辎重不可胜数。测徐率所部收之，分给百姓。自是突厥不敢复至，测因请置戍兵以备之。

《隋书》曰：帝以薛世雄为玉门道行军大将军，与突厥启民可汗连兵击伊吾。师次玉门，启民可汗背约，兵不至，世雄孤军度碛。伊吾初谓隋军不能至，皆不设备，及闻世雄孤军度碛，大惧，请降，诣军门上牛酒。世雄遂于汉旧伊吾城东筑城，号"新伊吾"，因留银青光禄大夫王威，以甲卒千余人戍之而还。天子大悦，进位正议大夫，赐物二千段。

《唐书》曰：马总为安南郡都护、总管经略使。总敦儒学，长于政术，在南海累年，清廉不挠，夷獠便之。于汉所立铜柱之处，以铜一千五百斤特铸二柱，刻书唐德，以继伏波之迹。

又曰：范希朝镇振武。蕃落之俗，有长帅至，必效奇驼名马，虽廉者犹曰当从[俗]，以致其欢。希朝一无所受。积十四年，皆保塞而不为横。

又曰：柳公绰为太原尹、北都留守、河东节度观察等使。是岁，北虏遣梅禄将军李畅以马万匹来市，托云入贡。所经州府，守帅假之礼分，严其兵备。留馆则戒卒于外，惧其袭夺。太原故事，出兵逆之。畅及界上，公绰使牙将祖孝恭单马劳问，待以修好之意。畅感义出涕，徐驱道中，不妄驰猎。及至，辟牙门，令译引谒，宴以常礼。及市马而还，不敢侵犯。陉北有沙陀部落，自九姓、六州皆畏避之。公绰至镇，召其酋朱耶执宜，直抵云、朔塞下，治废栅十一所，募兵三千付之，留屯塞上，以御匈奴。其妻母来太原者，请梁国夫人对酒食问遗之。沙陀感之，深得其效。

梁吴均《边城将》诗曰：仆本边城将，驰射灵关下。箭御雁门石，气振武安瓦。玉标丹霞敛，金络艳光马。高旗入汉飞，长鞭历地写。

太平御览卷第二百七十九

兵部十

威名　信义

威　名

《史记》曰：李广居右北平，匈奴闻之，号曰“汉飞将军”，避之数岁，不敢入右北平界。

《汉书》曰：郅都为雁门太守。匈奴素闻名节，举边为引兵去，竟都死不近雁门。匈奴为偶人像都，令驰骑射之，莫能中者，其见惮如此。

《后汉书·公孙瓒传》曰：瓒字伯珪，辽西令支人。初平二年，青、徐黄巾三十万众入渤海界，欲与黑山合。瓒率步骑二万人，逆击于东光南，东光，(令)[今]沧州县。大破之，斩首三万余级。贼弃辎重数万两，奔走渡河。瓒因其半济薄之，贼复大破，死者数万，流血丹水，收得生口七万余人，车甲财物不可胜算，威名大震。拜奋武将军。

又曰：瓒为降虏校尉，讨乌桓，每闻有警，瓒辄厉色愤怒，如赴仇敌，望尘奔逐，或继之以夜战。虏识声，惮其勇，莫敢抗犯。

又曰：瓒征乌桓，常与善骑射之士数十人，皆乘白马，以为左右翼，自号“白马义从”。乌桓更相告语，避白马长史。乃画作瓒形，驰射之，中者咸称万岁。虏自此之后，遂远窜塞外。

又曰：承宫名播匈奴。时北单于遣使求得见宫，显宗敕自整饰，宫对曰：“夷狄眩名，非识实者也。臣状丑，不可以示远，宜选有威容者。”

《续汉书·承宫传》曰：夷狄闻臣虚称，故欲见臣。臣丑陋形寝，

不如选长[大]有威容者示之也。"帝乃以大鸿胪魏应代之。

又曰:武王缜,音引。字伯升,世祖之长兄也。慷慨有大节,进围宛城中,自号"天柱大将军"。王莽素闻其名,大震惧,使长安中(宫)[官]署及天下乡亭皆画伯升像于(塾)[壁],且起射之。

《东观汉记》曰:耿秉性勇壮而简易于事,军行常自被甲在前,休止不结营部。然远斥堠,明要誓,有警,军阵立成,(事)[士]卒皆乐为死。匈奴闻秉卒,举国号哭。

《魏志》曰:吕布,字奉先。便弓马,膂力过人,号为飞将。

又曰:庞德将所领南屯樊,讨关羽,曰:"今年我不杀羽,羽当杀我。"亲与羽交战,射羽中额。时德常乘白马,羽谓之白马将。

又曰:张辽为孙(雄)[权]所围,辽溃围出,复入,(雄)[权]众破走,由是震威江东。儿啼不肯止,其父母以辽恐之。

《晋书》曰:邓遐勇力绝人,气盖当世,时人方之樊哙。桓[温]引以为参军,数郡号为名将。

《宋书》曰:刘胡本名坳胡,以其颜面坳黑似胡,故以为名。及长,以坳胡难道,单呼为胡。出身(群)[郡]将,捷口,善处分,稍至队主,讨诸蛮,往无不捷,蛮甚畏惮之。小儿啼,语之曰:"刘胡来",便即止。

又曰:沈庆之伐沔北(结)[诸]蛮,大破之,威震诸山,群蛮皆稽颡。庆之患头风,着狐皮帽,群蛮恶之,号曰"苍头公"。

《后魏书》曰:李崇沉深有将略,宽厚,善御众。在扬州凡经十年,常养壮士数千人。寇贼侵边,所向摧破,号曰"卧虎",贼甚惮之。

《后周书》曰:韩杲从大军破稽胡于北山。胡地险阻,人迹罕至,杲进兵穷讨,散其种落。稽胡惮杲劲健,号为"著翅人"。太祖闻之,笑曰:"著翅之名,宁减飞将。"

又曰:蔡祐与齐神武遇,战于邙山。祐时著明光铁铠,所向无前,敌人咸曰:"此是铁猛兽也。"皆遽避之。

又曰：裴宽在孔城十三年，与齐洛州刺史独孤永业相对。永业有计谋，多谲诈，或声言春发，秋乃出兵，或掩(敌)[蔽]消息，倏忽而至。宽每揣知其情，出兵邀击，无不克之。永业常戒其部曰："但好慎孔城，自外无足虑。"其见惮如此。

又曰：怡峰，字景阜，辽东人也。从征役，以骁勇闻，当时号为"骁将"。

又曰：梁武敕萧续曰："贺拔胜，北间骁将，汝宜慎之。"

(又)[《唐书》]曰：郝玭为刺史。始玭以临泾地，宜当畜息，蕃戎每为寇，即屯其地。尝白其帅，愿以城控之；前帅不从，其后段祐为节度使，玭复白祐，祐多其策，乃表请城之，故诏玭镇其地。自是西戎无敢犯泾者。玭自行间，前无强敌。在边上三十年，生得蕃人辄刳剔而归其尸，蕃人畏之如神。下令得玭者赏以等身金。蕃中小儿啼号者，但连呼"郝玭"以怖之。

又曰：张万福带(和)[利]州刺史镇咸阳，因留宿卫。李正已反，将断江、淮路，令兵守埇桥、涡口。淮进奉船千余只，(江)泊涡下不敢过。德宗以万福为濠州刺史，召见谓曰："先帝改作名正者，所以褒卿也。朕以为江、淮草木亦知卿名，若从先帝所改，恐贼不知是卿也。"复赐名万福，慰遣之。万福驰至涡口，立马岸上，发进奉船，淄青兵马倚岸睥睨不敢动，诸道船继进。

《吴越春秋》曰：吴公子庆忌，吴王僚子也。勇捷，为人所闻，筋力果劲，万人之敌也。

《世说》曰：桓石虎，小字镇恶。常从征枋头，车骑冲没[陈]，左右莫能先救。宣武问："汝叔落贼，汝知否？"虎闻气甚，奋策马于万众中，置冲还，三军叹服。河朔遂以其威。时有患疟者怖之，多愈，因断疟焉。

《敦煌实录》曰：宋质直破虏有威名，儿啼，恐之即止。虏相恚曰："使汝行逢宋都督。"

信 义

《左传》曰：曹、卫告绝于楚。子玉怒，从晋师。晋退，军吏曰："以君避臣，辱也。且楚师老矣，何故退？"子犯曰："师直为壮，曲为老。岂在久乎？微楚之惠不及此，重耳过楚，楚成王有赠送之惠。退三舍避之，所以报也。"一舍三十里。初，楚子云："若反国，何以报我？"故以退三舍为报。

又曰：晋文公围原，命三日之粮，原不降，命去之。谍出曰："原将降矣。"军吏请待，公曰："信，国之宝也，民之所庇也。得原失信，何以庇之？所亡滋多。"退三舍而原降。

又曰：晋将荀吴伐鲜虞，围鼓。鼓，白狄之别也。鼓人或请以城叛，吴曰："吾闻诸叔向：好恶不愆，民知所适，事无不济也。愆，过。适，归。或以吾城叛，吾所甚恶也。人以城来，吾独何好焉？赏所甚恶，若所好何？无复加所好也。若其弗赏，是失信也，何以庇民？力能则进，否则退，量力而行。吾不可以欲城而迩奸（也），所丧滋多。"使鼓人杀叛人而缮守备。围鼓三月，鼓人或请降，使其民见，曰："犹有食色。"军吏曰："获城而不取，勤民而顿兵，何以事君？"吴曰："所以事君也，获一邑而教民怠，将焉用邑？邑以贾怠，不如完旧，完犹保守也。贾音估；完，户官切。贾怠无卒，卒，终。弃旧不祥。鼓人能事其君，我亦能事吾君。德义不爽，爽，差。好恶不愆，城可获而民知义所。知义所在也。荀吴必其能获，故因以示义。有死命而无二心，不亦可乎！"鼓人告食竭力尽，而后取之。克鼓而返，不戮一人。

《史记》曰：秦末，天下兵起，范增说项梁曰："陈胜败固当。夫秦灭六国，楚最无罪。自怀王入秦不返，楚人怜之至今。曰：'楚虽三户，亡秦必楚。'今陈胜首事，不立楚后而自立，其势不长。今君起江东，楚蜂起之，将皆争附君者，以君世世楚将，为能复立楚之后也。"乃求楚怀王孙心，立为怀王，以从民欲也。

又曰：汉楚相持之际，项羽击陈留、外黄。外黄不下，数日，降，

羽悉令男子年十五以上诣城东，欲坑之。外黄令舍人儿，年十三，令之舍人儿也。以其幼弱，故孙其父。往说羽曰："彭越强劫外黄，强音其两反。外黄恐，故且降，待大王。大王至，又皆坑之，百姓岂有所归心哉？从此以东，梁地十余城皆恐，莫肯下矣。"羽然其言，乃赦外黄当坑者，而东至睢阳，闻之皆争下。

又曰：汉王至洛阳，新城三老董公遮说汉王，以义帝死，请发丧。汉王从之。高祖大哭，遂为义帝发丧。临三日，发使者告诸侯曰："天下共立义帝，北面事之。今项王放杀义帝[于]江南，大逆无道。寡人亲为发丧，诸侯皆缟素。发国内兵，收三河士，南浮江、汉以下，愿从诸侯王击楚之杀义帝者。"于是诸侯多从之。

《后汉书》曰：更始初，光武为萧王，定河北。诸贼铜马余众降，封其渠帅为列侯。降者犹不自安，光武知其意，令各归营勒兵，乃自乘轻骑案行部阵。降者更相语曰："萧王推赤心置人腹中，安得不投死乎？"投死犹言致也。由是皆服。

《蜀志》曰：明帝自征蜀，至长安，遣张郃诸军劲卒四十余万，[潜军密进，规]向剑阁。诸葛亮有战士万二千。时魏军始阵，[幡]兵适交，参佐咸以敌众强多，非力所制控，权停下兵[一月，以]并声势。亮曰："吾闻用武行师，以大信为本，得原失信，古人所惜。去者束装以待期，妻子企踵而计日。"乃敕速遣。于是去者感悦，愿留一战，往者愤踊，咸思致命。临战之日，莫不拔刃争先，以一当十，杀张郃，却司马宣王，一战大克，此之由也。

《吴志》曰：孙皎尝遣兵候魏，获魏边将吏美女以进皎，皎更其衣服送还之也。

《晋书》曰：武帝有灭吴之志，以羊祜为都督荆州诸军事、假节，散骑常侍、卫将军如故。祜率营兵出镇南夏，开设庠序，绥怀远近，[甚]得江汉之心。与吴人开布大信，降者欲去皆听之。

又曰：羊祜为征南大将军，督荆州诸军事。祜以孟献营武牢而郑人惧，晏婴城东阳而莱子服，乃进据险要，开建五城，收膏腴之

地，夺吴人之资，石城以西，尽为晋有。自是前后降者不绝，乃增修德信，以怀柔初附，慨然有吞吴之心。每与吴人交兵，克日方战，不为掩袭之计。将帅有欲进谲诈之策者，辄饮以醇酒，使不得言。人有掠吴二儿为俘者，祜遣送还其家。后吴将夏(详)[祥]、邵颉等来降，二儿之父亦率其属与俱。吴将陈尚、潘景来寇，祜追斩之，美其死节而厚加殡敛。景、尚子弟迎丧，祜以礼遣还。吴将邓香掠夏口，祜募生缚香，既至，宥之。香感其恩，率部曲而降。祜出军行吴境，刈谷为粮，皆计所侵，送绢偿之。每会众江沔游猎，常止晋境。若禽兽先为吴人所伤而为晋兵所得者，皆封还之。于是吴人翕然悦服，称为"羊公"，不之名也。祜与陆抗相对，使命交通，抗称祜之德量，虽乐毅、诸葛孔明不能过也。抗尝病，祜馈之药，抗服之无疑心。士多谏抗，抗曰："羊祜岂鸩人者！"时谈以为华元、子反复见于今。抗每告其戍曰："彼专为德，我专为暴，是不战而自服也。各保分界而已，无求细利。"孙皓闻二境交和，以诘抗。抗曰："一邑一乡，不可以无信义，况大国乎！臣不如此，正是彰其德，于祜无伤也。"

又曰：羊祜在军，常轻裘缓带，身不被甲。铃阁之下，侍卫者不过十数。

《宋书》曰：刘道规为荆州刺史，桓玄余党荀林屯江津，桓谦军屯枝江。二寇交通，久绝都邑之问。荆楚既桓氏义旧，并怀异心，道规乃会将士，告之曰："桓谦今在近畿，闻诸君颇有去就之计。吾东来，文武足以济事，若欲去者，本不相禁。"因夜开城门，达晓不闭。众咸惮服，莫有去者。

又曰：刘裕为将，北伐后秦姚泓，乌宏反。以檀道济为前锋，至洛阳，凡拔城破垒，俘四千余人。议者谓应以戮为京观，道济曰："伐罪吊民，正在今日。"皆释而遣之。于是戎夷感悦，相率归之者甚众。

崔鸿《后燕录》曰：遣将慕容白曜伐宋无盐城，克之，将尽以其

人为军实。副将酈范酈音历也。曰："齐四履之地，号为东秦，不远为经略，恐未可定也。今皇威始被，民无沾泽，连城有怀二之将，比邑有拒守之失。宜先信义，示之轨物；然后民心可怀，二州可定。"白曜从之。进次肥城，白曜将攻之。范曰："肥城虽小，攻则淹日，得之无益。军声失之，有损威势。且无盐之卒，死者涂炭，成败之机，足为鉴矣。若飞书告喻，可不攻自伏，纵其不降，亦当逃散。"白曜乃以书晓之，肥城果溃也。

《北史》曰：西魏将王罴之守华州也，今冯翊郡。西魏师与东魏师战河桥不利，东魏卒赵青雀据长安城，所在莫有固志。罴乃大开州门，召城中军民谓之曰："如闻天子败绩，不知吉凶，诸人相惊，咸有异心，王罴受委于此，以死报恩。诸人若有异图，可来见杀；必恐城陷没者，亦任出城；如有忠诚能与王罴同心者，可共固守。"军民见其诚信，皆无异志。

《后魏书》曰：李为为荆州刺史，轻将数十骑到上洛，宣诏绥慰，当即帖然。寻勒边戍掠得萧赜人者，悉令还之。南人感德，仍送荆州之口二百许。两境交和，无复烽燧之警。

《隋书》曰：桂州人李光仕举兵作乱，隋将周法尚讨之。光仕帅劲兵保白石洞。法尚捕得其弟光略、光度，大获家口；其党有来降附，辄以妻子还之。居旬日，降者数千人。法尚遣兵列阵以当，光仕亲率奇兵蔽林设伏。两阵始交，法尚驰击其栅，栅中人皆走败，光仕大溃，追斩之。

《唐书》曰：武德中，李靖既克江陵，降萧铣。时诸将咸云："铣之将帅与官军拒战，罪状既重，请籍没其家，以赏将士。"靖曰："王者之师，义在吊罚。且犬吠非其主，无容同叛逆之科，此蒯通所以免大戮于汉祖也。今新定荆、郢，宜弘宽大，以慰远近之心，降而籍之，恐非救焚拯溺之义。但恐自此南城镇各坚守不下，非计之善。"于是遂止。江、汉之域闻之，莫不争下。

又曰：裴度既平淮西，蔡人大悦。旧令：途无偶语，夜不燃烛，

人或以酒食相过从者，以军法论。度乃约法，惟盗斗杀外，余尽除之，其往来者，不复以昼夜为限。于是蔡之遗黎，始知有生人之乐。

又曰：裴度既平淮西，以蔡卒为牙兵，或以为反侧之子，其心未安，不可自去其备。度笑而答曰："吾受命为彰义军节度使，元恶就擒，蔡人即吾人也。"蔡之父老，无不感泣，申、光之民，即时平定。

又曰：李愬袭蔡州，既获李祐，又解其缚而客礼之。愬乘间常召祐及李忠义，屏人而语。义亦降将也，本名宪，愬改之。军中多以谏愬，愬益亲祐。始募敢死者三十人以为突将，愬自教习之。将袭元济，会雨水，自五月至七月[不止]，所在陂泽溃溢，不可行营。诸军皆以愬不杀祐为言，虑其诱覆官军，简牒日至，且言得贼谍具事。愬无以止之，乃持祐泣曰："岂天不欲平此贼，何尔我一身而见夺于众口！"愬亦虑诸军先以谤闻，则不能全之矣。乃械祐送京师，先表请释，且言"必杀祐，则无与成功者。"比至京，诏释以还愬，愬喜甚，署为散兵马使，授刀佩之，夜则倚以巡警。或使入愬帐中言事，愬因留，对举酒，往往达旦。窃听者时闻祐泣涕声。寻署为六院兵马使。

《说苑》曰：晋文公伐楚，归国行赏，狐偃为首。或曰："城濮之事，先轸之谋。"文公曰："城濮之事，偃说我无失信，不背三舍之约。先轸所谋军事，吾用之以胜，然此一时之说，偃言万世之功，奈何以一时之利而加万世功乎？是以先之。"众人悦服。

《庄子》曰：市南宜僚弄丸，两家之难解；孙叔敖秉羽，而郢人投兵。鹿曰：宜僚善弄丸，白公帖之，弄丸如故。孙叔敖秉羽之舞，郢人无所攻，故投兵。

《韩诗外传》曰：简子薨，未葬。中牟叛之，葬五日，兴师攻之，围未匝而城自坏者十丈。襄子击金而退之，曰："吾闻君子不承人于利，不厄人于险。"使修其城，然后攻之。中牟闻其义，请降。

《吕氏春秋》曰：夏后与有扈战于甘泽而不胜，曰："战而不胜，是吾德薄而教不善也。"于是，处不重席，食不贰味，琴瑟不修，女子不饰，尊贤使能。期年，而有扈氏服。

太平御览卷第二百八十

兵部十一

抚士上

《孙子》曰：视卒如婴儿，故可与之赴深溪；视卒如爱子，故可与之俱死。厚而不能使，爱而不能令，乱而不能理，恩不可专用，罚不可独在，譬如骄子不可用也。

《军谶》曰：军无财，则士不来；军无赏，则士不往。故香饵之下必有悬鱼，重赏之下必有勇夫。故曰：礼者，士之所归也；赏者，士之所死也。昭其所归，示(有)[其]所死。故曰：礼有后悔，则士不止；赏而后悔，则士不使。礼赏不倦，则士进矣。

《左传》曰：冬，楚师伐宋，围萧，萧溃。楚大夫申公巫臣曰："师人多寒。"楚子于是巡三军，拊而勉之。拊，抚，慰勉也。三军之士，皆如挟纊。纊，绵也。言士悦以忘寒。

又曰：声子谓楚，谓令尹屈建曰："雍子奔晋，以为谋主。彭城之役，晋、楚遇于靡角之谷，雍子曰：归老幼，返孤疾，二人役，归一人，简兵蒐乘，简，择。蒐，阅。秣马蓐食，师陈(楚)[焚]次，次，舍也。焚舍，示必死。明日将战。行归者而逸楚囚，欲使楚知。楚师宵溃。晋降彭城而归诸宋。楚失东夷，子辛死之，则雍子之为也。"

《史记》曰：楚人有馈一箪醪者，楚庄王投之于河，令将士迎流而饮之，三军皆醉。

又曰：赵括为将，母上书曰："始妾事其父，王所赏赐者，尽与军吏，今括一日为将，所赐金视便田宅买之。父子异心，不可用。"王不听，遂请曰："有所不称，妾得无随乎？"王许诺。

又曰：吴起之为将，与士卒最下者同衣食，卧不设席，暑不张盖，分率劳苦。卒有病疽者，起为吮之。

又曰：田横据有齐地，汉将韩信、灌婴平齐地，横走归彭越。汉灭项籍后，横与其徒属五百余人入海，居岛中。帝使使赦横罪，而召之，曰："横来，大者王，小者乃侯，大者谓横耳，小者徒属。不来，发兵加诛。"乃与其客二人乘传诣洛阳。至户乡，厩置之驿马之所，谓其客曰："陛下所以欲见我，不过欲一见我面貌耳。陛下在洛阳，今斩吾头，驰三十里间，形容尚未能败，犹可观也。"遂自刭。令客奉其头，从使者驰奏之，高祖以王者礼葬横。既葬，二客穿其冢旁，皆自刭。余尚五百人在海中闻横死，亦皆自杀。于是乃知田横兄弟能得士也。

《汉书》曰：李广历七郡太守，前后四十余年，得赏赐辄分其麾下，饮食与士卒共之。家无余财，终不言生产事。将兵之处见水，士卒不尽饮不近水，士卒不尽餐不尝食。士以此爱乐为用也。

又曰：窦婴拜大将军，赐金千斤，婴以所赐金陈廊庑下，军吏辄令取为用，金无入家者。

又曰：司马迁与任少卿书曰："愚以为李陵与士大夫绝甘分少，能得人之死力，虽古名将，不过也。"

又曰：袁盎，字丝。为中郎，以数上谏为陇西都尉。仁而爱士，士卒皆为致死。

《后汉书》曰：桓帝段(颎)[颎]为破羌将军征羌。每行军，仁爱士卒，疾者亲自瞻省，手为裹疮。在边十余年，未尝一日蓐寝，与将士同勤苦，故皆乐为死战。

又曰：皇甫规，延熹中为中郎将，持节监讨零吾等羌。会军中大疫，死者十三四，规亲入庵庐巡视将士，三军感悦，东羌遂遣使乞降。

又曰：皇甫嵩平黄巾，恤士卒甚得众情。每军行顿止，须营幔修立，然后就舍帐。军士皆食，尔乃尝饭。吏有因事受赂者，嵩更

以钱物赐之，吏怀惭，或至自杀。

又曰：马援讨西羌，中流矢贯胫。帝以玺书劳之，赐牛羊数千头，援尽班诸宾客。

又曰：董卓击汉阳叛羌，破之，拜郎中，赐缣九千匹。卓曰："为者则己，有者则士。"为功者虽己，共有者乃士。乃悉分吏兵，无所留。

又曰：王霸常与臧宫、傅俊共营，霸独善抚士卒，死者脱衣以敛之，伤者躬亲以养之。

又曰：光武遣太中大夫赐征西吏士，死伤者医药棺殓，大司马已下，亲吊死问疾，以崇谦让。

又曰：耿恭在疏勒，遣军吏范羌至敦煌迎兵士寒服。

又曰：袁绍攻臧洪。粮尽，主簿启内厨米三斗稍为饘粥。洪曰："何能独[甘]此耶？"使为薄粥，遍班士众。又杀其爱妾，以食[兵将]，兵将咸流涕，无能仰视。

《魏书·曹公令》曰：赵奢、窦婴之为将也，受赐千金，一朝散之，故能济大功，永代流声。吾读其文，未尝不慕其为人也。

《魏志·曹真传》曰：真每征行，与将士同劳苦，军赏不足，辄以家财颁赐，士卒皆愿为用。

又曰：诸葛诞守寿春，以司马氏累世擅权，遂举兵，称匡辅魏室为辞。司马文王率师讨之，寿春城陷，诞死。文王招其徒，不降，且招且战，数百人拱手为列。每斩一人，辄遣降之，皆云："为诸葛公死，无恨！"以至于尽，无一人降，时人比之田横。吴成将于诠曰："大丈夫受命其主，以兵救人，既不能克，又束手于敌，吾不取。"乃免胄冒阵而死。其得士心如此。

《吴志》曰：陆瑁，字子璋，丞相逊弟也。少好学笃义。先是，陈留濮阳逸、沛郡朱纂、广陵袁迪等，皆单食有志，就瑁游处，瑁割少分甘，与共丰约。

《蜀志》曰：邓(艾)[芝]为大将二十余年，赏罚明，善恤卒伍。身之衣食，资仰于官，[不苟]素俭，终不治私产，妻子不免饥寒。

《晋书》曰：祖逖居丹徒之京口。宾客义徒皆豪杰勇士，逖遇之如子弟，时扬土大饥，此辈多为盗窃，攻剽富室，逖慰抚问之曰："比复南塘一出不？"或为吏所绳，逖辄拥护救解之。谈者以此少逖，自若也。

又曰：祖逖据太丘，樊雅攻之。陈留太守陈川使李头救之，头力战，有勋。逖时获雅骏马，李头甚欲之而不敢言，逖知其意，遂与之。头感逖恩遇，每叹曰："若得此人为主，吾死无恨。"

又《载记》曰：刘曜将陈安善于抚纳，吉凶夷险与众同之，及其死，陇上歌之曰："陇上壮士有陈安，躯干虽小腹中宽，爱养将士同心肝。骚骢父马铁瑕鞍，七尺大刀奋如湍，丈入蛇矛左右槃，十荡十决无当前。战始三交失蛇矛，弃我骚骢窜岩幽，为我外援而悬头。西流之水东流河，一去不还奈子何！"曜闻而嘉伤，命乐府歌之。

又曰：段灼追理邓艾表曰："留屯上邽，承官军大败之后，士卒破胆，将吏无气。仓库空虚，器械殚尽。艾欲积谷强兵，以待有事。是岁少雨，又为区种之法，手持耒耜，率先将士，所统万数，而身不避仆虏之劳，亲执士卒之役。"

又曰：周访练兵简卒，欲宣力中原，与李矩、郭默相结，慨然有平河洛之志。善于抚纳，晋众皆为致死。

《续晋阳秋》曰：卢循为广州。州无面，每得分饷，未周遍文武，则不食也。其仁如此。

《北史》曰：西魏将梁椿，性果毅，善抚纳，所获赏物，分赐麾下，故每践敌场，咸得其死力。

《北齐书》曰：兰陵武王长恭，其为将也，躬勤细事。每得甘美，乃至一瓜数果，必与将士共之。

又曰：赵郡王琛薨，子睿嗣为定州刺史。诏领山东兵数万，监筑长城。于时盛夏。[而定州]先有冰[室]，每岁藏冰，长史宗钦道以睿冒犯暑热，遂遣(与)[舆]冰追送。正值日中炎赫，睿乃对之叹

息云："三军皆饮温水，吾以何义独进寒冰？"遂至消液，竟不一尝。兵人感悦，遐迩称叹。

《后(汉)[魏]书》曰：司马楚之，少有英气，能折节待士。及宋受禅，[楚之]规欲报复，收众据长社，归之者常万余人。刘裕深惮之，遣刺客沐谦图害楚之。楚之待谦甚厚。谦夜诈疾，知楚之必来，欲因杀之。楚之闻谦疾，果自买汤药往省之。谦感其意，乃出匕首于席下，以状告之。楚之叹曰："若如来言，虽有所防，恐有所失。"谦遂委身事之。其推诚信物，得士之心，皆此类也。

《后周书》曰：侯莫陈顺于渭桥与贼战，频破之。魏文帝还，亲执顺手曰："(魏)[渭]桥之战，卿有殊力。"便解所服金镂玉梁带赐之。

又曰：史宁为凉州刺史，遣使诣太祖请事，太祖即以所服冠履衣被及弓箭甲矟等赐宁，谓其使人曰："为我谢凉州，孤解衣以衣公，推心以委公。公其善始令终，无损功名也。"

又曰：武帝胜齐，出齐宫中金银宝器珠翠丽服及宫人二千人，班赐将士。

又曰：武帝劳谦接下，自强不息。以海内未康，锐情教习。至于治兵阅武，步行山谷，履涉勤苦，皆人所不堪。平齐之役，见军士有跣而行者，帝亲脱靴以赐之。

又曰：武帝善于抚下，每宴会将士，必自执杯劝酒，或手付赐物。至于征伐之处，躬在行阵。性又果决，能断大事。故能得士卒死力，以弱制强。

又曰：太祖平侯莫陈悦，整兵入上邽，收悦府库财物山积，皆以赏士卒，毫厘无所取。左右窃一银镂瓮以归，太祖知而罪之，即剖赐将士，众大悦。

又曰：武帝大举伐齐，次于晋州。初，齐攻晋州，恐周师卒至，于城南穿堑，自乔山属于汾水。帝率诸军八万人，置阵东西二十余里。帝常御马，从数人巡阵处分之，至辄呼主帅姓名以慰勉之。将

士感见知之恩，各思自励。将战，有司请换马。帝曰："朕独乘良马，欲何所之？"齐主亦于此堑列阵，帝欲薄之，以碍堑遂止。自旦至申，相持不决。申后，齐人乃填堑南引。帝大喜，勒诸军击之，兵才合，齐人便逐北，斩首万余级。齐主与其麾下数十骑走还并州。于是齐众大溃。

《隋书》曰：杨玄感反，吴人朱燮、晋陵人管崇起兵江南以应之，自称将军，拥众十余万。帝遣将军吐万绪、鱼俱罗讨之，不能克。王充募江都万余人击，频破之。每有克捷，必归功于下，所获军实，皆推与士卒，身无所受。由此，人争为用，功最居多。

又曰：炀帝在藩时，尝观猎，遇雨，左右进油衣，上曰："士卒皆沾湿，我独衣此乎？"乃令持去。

《唐书》曰：王世充未平，太宗奏请围东都。高祖谓使人宇文士及曰："归报尔王，今取东都者，止欲兵甲休息耳。破城之日，其乘舆法物图籍器械，非私家所须者，委汝收之。子女玉帛皆分赐将士。

又曰：贞观中，太宗亲征高丽，驾次定州。兵士到者，幸定州城北门亲慰抚之。有从卒一人病不能起，太示招至床前问其疾苦，仍敕州县厚加供给。凡在征人，欣然。纵有病者，悦以忘疾。师次白岩城，将军李思摩中弩矢，太宗亲为之吮血。从行文武竞思奋励。及军回行，次柳城，诏集战亡人骸骨，设太牢以祭之。太宗恸哭尽哀，军人无不洒泣，兵士观者归家以言，其父母曰："吾儿之死，天子哭之，死无所恨。"

又曰：司空李勣每将兵在军，识其臧否；闻人片善，扼腕而从事捷之日，多推功于下。前后在军，所得金帛皆散之将士，于是人皆为用，所向多克捷。及薨，哭之或有呕血者也。

又曰：秦叔宝随太宗战于美良川，破尉迟敬德功最多。高祖遣使赐以金瓶，而劳之曰："卿不顾妻子，远投于我，又立功效能，朕肉可为卿用者，割以赐卿耳，况子女玉帛乎！卿当勉之。"寻授秦王右统军。

士感见知之恩，各思自励。将战，有司请换马。帝曰："朕独乘良马，欲何所之？"齐主亦于此堑列阵，帝欲薄之，以碍堑遂止。自旦至申，相持不决。申后，齐人乃填堑南引。帝大喜，勒诸军击之，兵才合，齐人便逐北，斩首万余级。齐主与其麾下数十骑走还并州。于是齐众大溃。

《隋书》曰：杨玄感反，吴人朱燮、晋陵人管崇起兵江南以应之，自称将军，拥众十余万。帝遣将军吐万绪、鱼俱罗讨之，不能克。王充募江都万余人击，频破之。每有克捷，必归功于下，所获军实，皆推与士卒，身无所受。由此，人争为用，功最居多。

又曰：炀帝在藩时，尝观猎，遇雨，左右进油衣，上曰："士卒皆沾湿，我独衣此乎？"乃令持去。

《唐书》曰：王世充未平，太宗奏请围东都。高祖谓使人宇文士及曰："归报尔王，今取东都者，止欲兵甲休息耳。破城之日，其乘舆法物图籍器械，非私家所须者，委汝收之。子女玉帛皆分赐将士。

又曰：贞观中，太宗亲征高丽，驾次定州。兵士到者，幸定州城北门亲慰抚之。有从卒一人病不能起，太示招至床前问其疾苦，仍敕州县厚加供给。凡在征人，欣然。纵有病者，悦以忘疾。师次白岩城，将军李思摩中弩矢，太宗亲为之吮血。从行文武竞思奋励。及军回行，次柳城，诏集战亡人骸骨，设太牢以祭之。太宗恸哭尽哀，军人无不洒泣，兵士观者归家以言，其父母曰："吾儿之死，天子哭之，死无所恨。"

又曰：司空李勣每将兵在军，识其臧否；闻人片善，扼腕而从事捷之日，多推功于下。前后在军，所得金帛皆散之将士，于是人皆为用，所向多克捷。及薨，哭之或有呕血者也。

又曰：秦叔宝随太宗战于美良川，破尉迟敬德功最多。高祖遣使赐以金瓶，而劳之曰："卿不顾妻子，远投于我，又立功效能，朕肉可为卿用者，割以赐卿耳，况子女玉帛乎！卿当勉之。"寻授秦王右统军。

将士衣服，而后御衫。

又曰：李光颜为陈许节度使，会讨吴元济，诏光颜以本军独当一面。光颜性忠义，善抚养士卒，士卒乐为用，每战甚苦。及贼将邓怀金以郾城兵三千人降，光颜益坚平贼之志。时韩弘为汴帅，骄矜倔强，常恃贼势索朝廷姑息，且恶光颜力战，阴图挠屈，计无所施。遂举大梁城求得一美妇人，教以歌舞弦管六博之艺，饰之以珠翠金玉衣服之具，计费凡数百万，命使者送遗光颜，冀光颜一见悦惑而怠于军政也。使者即赍书先造光颜战垒，曰："本使令公德公私爱，忧公暴露，欲进一妓，以慰公征役之思，谨以候命。"光颜曰："今日已暮，明旦纳焉。"诘朝，光颜乃大宴军士，三军咸集，命使者进妓。妓至，则容止端丽，殆非人间所有，一座皆惊。光颜乃于座上谓来使曰："令公怜光颜离家室久，舍美妓见赠，诚有以荷德也。然光颜受国恩深，誓不与逆贼同生日月下。今战卒数万，皆弃妻子，蹈白刃，光颜奈何独以女色为乐？"言讫，涕泣呜咽。堂下兵士数万，皆感激流涕。乃厚以缣帛酬来使，俾令领其妓自席上而回，仍谓使者曰："为光颜多谢令公。光颜事君许国之心，死无贰矣！"明日遂大战，兵士无不一当百。终殄蔡孽，光颜功最居多。

又曰：令狐楚为汴州刺史。汴军素骄，累逐主帅，前使韩弘兄弟，率以峻法绳之，人皆偷生，未能革志。楚长于抚理，前镇河阳，代乌重胤；重胤移镇沧州，以河阳军三千人为牙卒，咸不愿从，中路叛归，又不敢归州，聚于境上。楚初赴任，闻之，乃疾驱赴怀州，溃卒亦至，楚单骑喻之，咸令橐弓解甲，用为前驱，卒不敢乱。及莅汴州，解其酷法，以仁惠为治，去其太甚，军民感悦，翕然从化，后竟为善地。

又曰：柳公绰镇鄂州时，吴元济叛，公绰请讨之。鄂军既在行营，公绰时令左右省问其家。如疾病、养生、送死，必厚廪给之。军士之妻冶容不谨者，沉之于江。行卒相感曰："中丞为我辈知家事，何以报效？"故鄂人战每克捷。

又曰：郑从谠为北都留守。旧府城都虞候张彦球者，前帅令率兵三千，逐沙陀于百井，中路而还，纵兵破钥，杀故帅康传圭。及从谠至，搜索其魁诛之。知彦球善有方略，召之开喻，坦然无疑，悉以兵柄委之。

又曰：乌重胤为长帅，赤心奉上，能与下同甘苦，所至立功，未尝矜伐。而善待寮佐，体分周密，曲尽礼敬，故当时名士咸愿依焉。殁数日，有军士二十余人，皆割股肉以祭重胤。古之良将，无以加也。

《三国典略》曰：北齐斛律光虽居大将，未尝戮人。军士未安，终不入幕。寒不服裘，夏不操扇。所得果糒，遍分麾下。号令不过数句，言皆切要。每战居险，为士卒先。有士卒中蛊，亲尝其唾，三军感之，乐为致命。

《战国策》曰：魏以吴起为将，与士卒最下者同衣食。卧不设席，行不骑乘。亲赢粮与士分劳。卒有病疽者，吴起为吮。疽，七余反。卒母闻而哭之。或谓之曰："母子卒也，而将军自吮其疽，何哭矣？"母曰："非然也。往年吴公吮其父，父战不旋踵，遂死于敌。今又吮此子，妾不知其所死处矣。是以哭之。"于是击秦，拔其五城。

《吕氏春秋》曰：勾践苦会稽之耻，欲深得民心，必致死于吴。有酒流之江，与人同；有甘肥，不分不敢食。

又曰：昔秦缪公乘马而车为败，右服失而野人取之。四马车，两马在中为服。《诗》曰"两服上襄"，两在边为骖。缪公自往求焉，见野人方将食之于岐山之阳。缪公笑曰：食骏马之肉，不还饮酒，余恐其伤汝也！"[于是]遍饮而去之。处一年，为韩原之战，晋人已环缪公之车矣。晋梁由靡已扣缪公之左骖矣，扣，持。晋惠公之右路(右)[石]奋投而击缪公，其甲之抎者已六扎矣。抎者配颈也，文有所失也。野人之尝食马肉者三百有余人，毕力为缪公疾斗于车下，遂大克晋，反获惠公以归。此《诗》所谓"君子正以行德爱人则宽以尽其力。"人主胡可不务行德爱人，行德爱人则民亲其上，皆乐为其死。

《符子》曰：秦穆公伐晋，及河，将劳师，而醪惟饮一钟。蹇叔曰："一米可投河而酿也。"穆公乃以一醪投河，三军醉矣。

《三略》曰：夫将之为帅者，必同滋味，共安危。人有遗一箪之醪者，使投诸河，令士众向流而挹之。夫一箪之醪不能味一河，然而三军之士思为之死者何也？以滋味及已也。

又曰：用兵之要，在于崇礼而重禄。崇，高也。禄，廪食也。崇礼则贤士至，重禄则戎士轻死。贤士至谓若燕礼郭隗而乐毅之徒麟集也。故曰：重赏之下，必有死夫。

又曰：良将之统军也，恕己活人，推惠施恩，士力日亲，战如风发，攻如河决。

《淮南子》曰：古人善将者，必以其身先之。暑不张盖，寒不被裘，所以均寒暑也。阴阳不乘，上陵必下，所以齐劳佚也。军食熟然后敢食，军井通然后敢饮，所以同饥渴也。合战必立矢射之，所及以其安危也。故良将之用兵也，常以积德击积怨，以积爱击积憎，何故而不胜？主之所求于民者二：求民为之劳也，欲民为之死也。民之所望于主者三：饥者能食之，劳者能息之，有功者能德之。民已偿其二责而失其三望，国虽大，兵犹且弱也。

又曰：苦者必得其乐，劳者必得其利，斩首之功必全，死事之后必赏。死事，以军事死，赏其后子孙也。四者既信于民矣，主虽射云中之鸟，而钓深渊之鱼，弹琴瑟，声钟竽，敦六博，敦，致也。投高塞，兵犹且强，令犹且行也。是故上足仰则下可用也，德足慕则威可立也。

又曰：上视下如子，则下事上如父；上视下如弟，则下事上如兄。夫上视下如子，则必王四海；下事上如父，则必正天下。上视下如弟，则不难为之死；下事上如兄，则不难为之亡。是故父子兄弟之寇不可与斗者，积恩先施也。故四马不调，造父不能以致远；弓矢不调，羿不能以必中；君臣乖心，则孙子不能以应敌。孙子名武，吴王阖闾之将也。是故内修其政以积其德，外塞其丑以服其威，察其劳佚以知其饱饥。故战日有期，视死若归。故将必与卒同甘苦共

饥寒，故其死可得而尽也。

《说苑》曰：楚庄王赐群臣酒多，灯烛灭，乃有人引美人衣者。美人援绝其冠缨，告王曰："今者烛灭，有引妾衣者，妾援得其冠缨持之，趣火来，上视绝缨者。"曰："赐人酒使醉，失礼，奈何欲显妇人之节而辱士乎？"乃命左右曰："今日与寡人饮，不绝冠缨者不欢。"群臣百有余人，皆绝去其冠缨，而上火，卒尽欢而罢。居二年。晋与楚战。有一臣常在前，五合五获首，却敌，卒得胜之。庄王怪而问曰："寡人德薄，又未尝异子，子何故出死不疑如是？"对曰："臣当死。往者醉失礼，王隐忍不暴(而)[加]诛也。臣终不敢以荫蔽之德而不显报王也，常愿肝脑涂地用颈血溅敌久矣。臣乃夜绝缨者也。"遂斥晋军，楚得以强。此有阴德者，必有阳报也。

又曰：平原君既归赵，楚使申君将兵救赵。魏信陵君亦矫夺晋鄙军往救赵。未至，秦急围邯郸，邯郸急且降，平原君患之甚。邯郸传舍吏子李谈谓平原君曰："君不忧赵亡乎？"平原君曰："赵亡即胜虏，何为不忧？"李谈曰："邯郸之民炊骨易子而食之，可谓至(因)[困]；而君之后宫百数，妇妾荷绮縠，厨粮余(粱)[粱]肉；士民兵尽，或剡木为矛戟，而君之器物钟磬自恣。若使秦破赵，君安得有此？使赵而全，[君何患无有？]君诚能令夫人以下遍于士卒间，分功作之，家所有尽散以飨士，方其危苦时易惠耳。"于是平原君如其计，而勇敢之士三千人皆出死。因从李谈赴秦军，[秦军]为却三十里。亦会楚魏救至，秦军遂罢。李谈死，封其父为侯。

《列女传》曰：楚子反攻秦军，绝粮，使人请于王，因问其母，母问使者曰："士卒无恙乎？"使者曰："士卒分菽粒而食之。"又问曰："将军无恙乎？"对曰："将军朝夕刍豢黍(粱)[粱]。"子反破秦军而归，母闭门不内，使数之，曰："子不闻越王勾践之伐吴耶？客有献醇酒一器者，王使人注上流，使卒饮下流，味不加喙，而士卒战自五也。异日，又有献一囊糒，王又使以赐军士，分而食之，甘不踰嗌，而战自十也。今士卒分菽粒而食之，子独朝夕刍豢，何也？"

太平御览卷第二百八十二

兵部十三

机略一

《孙子》曰：凡战者以正合，以奇胜。正者当敌，奇兵从旁击其不备。故善奇者，无穷如天地，不竭如江海。终而复始，日月是也。死而更生，四时是也。故声不过五，五声之变不可胜闻。色不过五，五色之变不可胜观。味不过五，五味之变不可胜尝。以喻奇正无穷也。战(数)[势]不过奇正，奇正之变不可胜穷也。奇正相生，如循环之无端，孰能穷之哉？故水之疾至于漂石者，势也；鸷鸟之击至于毁折者，节也。发起讨击敌之。是以善战者其势险，险犹疾也。其节短。短，近。势如彍弩，节如发机。在疾不远，发则中也。纷纷纭纭，斗乱而不可乱；旌旗乱也，示敌者若乱，以金鼓齐之。浑浑沌沌，形圆而不可败也。车骑转形圆者，出入有道，齐整。

《左传》曰：齐侯登巫山以望晋师，晋人使司马斥山泽之险，虽所不至，必旆而疏阵之。使乘车者左实右伪，以旆先，舆曳柴而从之以扬尘。齐侯见之，畏其众也，乃脱归。齐师夜遁。师旷告晋侯曰："鸟鸟之声乐，齐师其遁。"邢伯告中行伯曰："有班马之声，齐师其遁。"邢伯，楚中行伯也。

又曰：吴从楚师，及清发，将击之。夫概谓王曰："困兽犹斗，况人乎？若知不免而致死，必败我。使先济者知免，后者慕之，蔑有斗心，半济而后可击也。"从之。又败之。楚人为食，吴人及之，奔，食而从之。

又曰：郑人侵卫牧，以报东门之役。卫人以燕师伐郑。郑将祭

足、原繁、泄驾以三军军其前，使曼伯子元潜军军其后。燕人畏郑三军而不虞制人。郑二公子以制人败燕师于北制。君子曰："不备不虞，不可以师。"

又曰：宋襄公及楚人战于泓。宋人既成列，楚人未既济。未尽渡泓水也。司马子鱼曰："彼众我寡，及其未既济也请击之。"公曰："不可。"既济而未成列，又以告。公曰："未可。"既阵而后击之，宋师败绩。公伤股，门官歼焉。国人皆咎公。公曰："君子不重伤，不擒二毛。二毛，头白有二色者也。古之为军也，不以阻隘也。不因阻隘以求胜。寡人虽亡国之余，宋，商纣之后也。不鼓不成列。"子鱼曰："君未知战。勍敌之人隘而不成列，天赞我也。勍，强也。言楚在险隘，不得陈列，天所以佐宋也。阻而鼓之，不亦可乎？犹有惧焉。虽因阻击之，犹恐不胜也。且今之勍者，皆吾敌也。虽及胡耇，获则取之，何有于二毛？今之勍者，谓与吾竞者也。胡耇，元老之称也。耇音苟。明耻教战，求杀敌也，明设刑戮，以耻不果也。伤未及死，如何勿重？言尚能害己也。若爱重伤，则如勿伤；爱其二毛，则如服焉。言苟不欲伤杀敌人，则本可不须斗也。三军以利用也，为利兴也。金鼓以声气也，鼓以佐士众之声气也。利而用之，阻隘可也，声盛致志，鼓儳可也。"儳，岩未整阵也，儳，音谗。《通典》曰：宋公违之而败也。

又曰：越伐吴，吴子御于笠泽，夹水而阵。越为左右勾卒，勾卒伍伍相，著别为左右屯也。勾音钩。使夜或左或右，鼓噪而进。吴师分以御之。越以三军潜涉，当吴中军而鼓之，吴师大乱，遂败之。左右勾卒为声势以分吴，而三军精卒并力击其中军，故得胜。《吴越春秋》：越伐吴，起军于江南，乃分兵为左右军将，有私卒六千人为中军，日昏，乃令左军含枚，泝江五里；右军含枚，沿江五里。夜半鸣鼓，吴师闻之，大骇曰："越人来攻我乎？"因分其军为二阵拒越。越王乃以其以中军衔枚潜涉，不鼓不噪，以袭攻之，吴师大败。此与左氏传事同小异，故附于此。

又曰：吴子阖庐问于伍员曰："初，而言伐楚，余知其可也，而恐其使余往也。又恶人之有余之功也。今余将自有之矣，伐楚何如？"对曰："楚执政众而乖，莫适任患。适音的。若为三师以隶焉，隶，犹劳也。一师至，彼必皆出。彼出则归，彼归则出，楚必道弊。罢弊于道。亟隶以罢之，亟，数也，音器。（隶）[肆]音羊至切。多方以误之，既

罢音疲。而后以三军继之，必大克之。"阖庐从之。楚于是乎始病，终于吴师入郢。郢，楚都也。

又曰：吴伐越，越子勾践御之，阵于(携)[槜]李。槜，将遂切。勾践患吴之整也，使死士再擒焉，不动。使敢死之士往，辄为吴师所擒，欲使吴师乱取之，而吴不动。使罪人三行，属剑于颈，以剑注颈。行，户郎切。而辞曰："二君有理，理，军旅也。臣干旗鼓，犯军令也。不敏于君之行前，不敢逃刑，将归死。"遂自刎也。师属之目，越子因而伐之，大败吴师。

又曰：楚子围宋，晋侯将救之，大夫先轸曰："报施救患，取威定霸，于是乎在矣。"狐偃曰："楚始得曹而新婚于卫，若伐曹、卫，楚必救之，则宋免矣。"从之而解。

又曰：晋楚战于城濮，楚将子玉从晋师。晋师阵于莘北，胥臣以下军之佐当陈、蔡。子玉以若敖之六卒将中军，曰："今日必无晋矣。"斗宜申将左，斗勃将右。晋裨将胥臣蒙马以虎皮，先犯陈、蔡。陈、蔡奔，楚右师溃。陈、蔡属楚右师。狐毛设二旆而退之。旆，大旆也。又建一旆而退，使若大将稍却也。栾枝使舆曳柴而伪遁，曳柴起尘，诈为众走。楚师驰之。原轸、郤溱以中军公族横击之。公族，公所师之军。[狐毛]、狐偃以上军夹攻[子西]，楚左师溃。楚师败绩。子玉收其卒而止，故不败。晋师三日馆谷。馆，舍也。食楚军谷三日也。

又曰：楚将斗廉帅师及巴师围鄾。音忧。邓养甥躌甥，音男。帅师救鄾。三逐巴师，不克。斗廉衡阵其师于巴师之中，以战，而北。衡，横也。分巴师为二部，斗廉横阵于其间，以与邓师战而伪北。北，走。邓人逐之，背巴师而夹攻之。楚师伪走，邓师逐之，背巴师。巴师攻之，楚师自前与战也。邓师大败，鄾人宵溃。宵，夜。

又曰：晋师伐秦，秦人毒泾上流，师人多死。

又曰：楚师伐吴，铖音针。尹固与王同舟，王使执燧象以奔吴师。烧火燧系象尾，使赴吴师惊之。铖，职深切。

又曰：时邾人城翼，翼，邾邑也。还，将自离姑。离姑，邾邑也。从离姑则道经鲁之武城也。大夫公孙鉏曰："鲁将御我。"欲自武城还，循山而南。至武城而还，依山南行不欲过武城。鉏，助鱼切。大夫徐鉏、丘弱、茅地二

子邾大夫。曰："道下遇雨，而将不出，是不归也。"谓此道下山湿。遂自离姑。遂过武城。武城人塞其前，以兵塞其前道。断其后之木而弗殊。邾师过之，乃推而厥之。遂取邾师。推，士追切。厥，其月切。

又曰：晋将阳处父侵蔡，父，音甫。楚将子上救之，与晋师夹泜而军。泜，直利切。处父患之，使谓子上曰："吾闻之，文不犯顺，武不违敌。子若欲战，则吾退舍，子济而阵，欲避楚，使渡成阵而后战。迟速惟命，不然纾我。纾，缓。老师费财，亦无益也。"乃驾以待。子上欲涉，大孙伯曰："不可。晋人无信，半涉而薄我，悔败何及，不如纾之。"乃退舍。楚退欲使晋渡。阳子宣言曰："楚师遁矣。"遂归楚师亦归。太子商臣谮子上曰："受晋赂而避之，楚之耻也，罪莫大焉。"王杀子上。

《战国策》曰：秦伐赵，赵以赵奢之子代廉颇为将，拒秦将王齕于长平。齕音根勿切。秦王闻之，乃阴使武安君白起为上将军，而王齕为裨将军，令军中有敢泄武安君者斩。马服子至，则出兵击秦军。秦军佯败而走，张二奇兵以劫之。赵军逐胜，追造秦壁。秦壁坚，距不得入，而秦奇兵贰万五千人绝赵军，又一军五千骑绝赵壁，间赵军分而为二，粮道绝。而秦出轻兵击之。赵战不利，因筑壁坚守，以待救至。秦王闻赵食道绝，王自之河内，赐民爵各一级，发年十五以上悉诣长平，遮绝赵救及粮食。至九月，赵卒不得食四十六日，皆内阴相杀食。来攻秦垒，欲出。为四队，四五复之，不能出。其时马服子[出锐]卒自相搏战，秦军射杀之。军大败，卒二十余万人降，皆坑之。

又曰：燕军大破齐国。齐将田单守即墨，知士卒可用，乃身操板插，与士卒分功，妻妾编行伍之间，尽散饭食飨士。令甲卒皆伏，使老弱女子乘城。遣约降于燕，燕军皆呼万岁。田单又(牧)[收]人金得千镒，令即墨富豪遗燕将书曰："即墨即降，愿无掠虏吾族家妻妾，令安堵。"燕将大喜，许之。燕军由此益懈。田单出军击，大败之。

又曰：燕师伐齐已下七十余城，围即墨，未下。齐将田单乃收城中得千余牛，为缝缯衣，画以五彩龙文，束兵刃于其中角，而灌脂束苇于尾，烧其端。凿城数十穴，夜纵牛，壮士五千人随其后。牛尾热，怒而奔燕军，燕军夜大惊。牛尾炬火，光明炫耀，燕军视之皆龙文，所触尽死，伤五千人。因衔枚击之，而城中鼓噪从之，老弱者皆击铜器为声。声动天地，燕军大骇败走，而齐七十余城皆复为齐。

又曰：燕将骑劫攻齐即墨，齐将田单拒守，乃宣言曰："吾惟惧燕军之劓所得齐卒，置之前行与我战，即墨败矣。"燕人闻之，如其言。城中人见齐降者尽劓，皆怒坚守，惟恐见得。田单又纵反间曰："吾惧燕人掘吾城外冢墓，戮先人，可为寒心！"燕军尽掘垄墓，烧死人。即墨人从城上遥见，皆涕泣，(其)[共]欲出战，怒皆十倍。因大败燕。

又曰：魏赵相攻，齐将田忌引兵救赵。孙膑曰："夫解离乱纷纠者不控捲，丘员切。救斗者不搏撠，音戟。批亢捣虚，形格势禁，则自为解耳。今魏、赵相攻，轻兵锐卒必竭于外，老弱罢于内。君不若引兵疾走大梁，据其街路，冲其方虚，彼必释赵而自收弊于魏也。"田忌从之，直走大梁，魏师遂退。

又曰：齐孙膑谓齐王曰："凡伐国之道，攻心为上，务先伏其心。今秦之所恃为心者，燕赵也。当收燕赵之权。今说燕赵之君，勿虚言空辞，必将以实利以回其心，所谓攻其心者也。"

《史记》曰：秦伐韩，军于阏与。赵王召赵奢而问："可救不？"对曰："道远险狭，譬两鼠斗于穴中，将勇者胜。"王乃命救之。秦军武安西，鼓噪勒兵，武安屋瓦尽震。赵奢坚壁，留二十八日不行。秦间来入，奢善食而遣之。间还报曰："去国三十里而不行。"秦将大喜。秦间去，赵奢卷甲而趋之。军士许历曰："秦人不意赵师至此，其来气盛，将军必厚集阵以待之。先据北山上者胜。"奢许诺，即以万人趋之。秦兵后至，争山不得上，奢纵兵，大破秦军，解阏与之

围。

又曰：李广军败，为匈奴生得，佯死，腾上胡儿善马，抱儿南驰，以故得脱。

太平御览卷第二百八十三

兵部十四

机略二

《史记》曰：韩信伐赵，引兵未至井陉口三十里，[止舍]。选轻骑二千人，人持一赤帜，从间道萆山而望赵军，如淳曰：萆音蔽，依山自覆蔽也。诫曰："赵见我走，必空壁逐我，若疾入赵壁，拔赵帜，立汉帜。"乃使万人先行，背水阵。赵军望见，大笑。平旦，信建大将旗鼓，鼓行出井陉口，赵开壁击之，大战良久。于是信、张耳[佯]弃旗鼓，走水上军。水上军开入之，复疾战。赵果空壁争汉旗鼓，逐韩信，张耳。韩信、张耳已入水上军，军皆殊死战。信出奇兵二千骑，候赵空壁逐利，则驰入赵壁，皆拔赵旗，立汉赤帜二千。赵军不能得信等，欲归，还壁，壁皆汉赤帜，而大惊，以谓汉皆已得赵王将矣，兵遂乱，遁走。于是汉兵夹击，大破虏赵军，斩成安君泜水上，徐广曰：泜音迟。擒赵王歇。信诸将问信曰："兵法：'右背山陵，前左水泽。'今者将军令臣等反背水阵，臣等不服。然竟以胜，此术何也？"信曰："此兵法不曰陷之死地而后生，置之亡地而后存？此所谓驱市人而战，其势非置之死地，使人人自为战。今予之生地则皆走，宁尚可得而用之乎！"诸将皆服，曰："善。非所及也。"

又曰：越与吴战，败，范蠡献吴粟十万斛而蒸之。吴言粟好，尽付民种之，不生，明年大饥。越遂伐吴，灭之。

又曰：天下兵起，沛公西入武关，欲以二万人击秦峣关下军，张良曰："秦兵尚强，未可轻也。臣闻其将屠者子，贾竖易动以利，愿且留壁，使人先行，为五万人具食，益张旗帜诸山之上，为疑兵，令

酈食其持重宝啗秦将。"食而忽名，可货以赂。秦将果畔，欲连和俱西袭咸阳。沛公欲听之，良曰："此独其将欲叛，士卒恐不从。不从必危，不如因其懈怠击之。"沛公乃引兵击之，秦军大破。

又曰：项籍围汉王于荥阳，汉将纪信诈降，以故汉王得出走入关，收兵欲复东。袁生说汉王曰："汉与楚相距荥阳数岁，汉常中困。愿君王出武关，项羽必引兵南走，王深壁，令荥阳、成皋间且得休息。使韩信等平河北赵地，连燕、齐，君王乃复走荥阳，未晚。如此则楚所备者多，力分，汉得休息，复与之战，破楚必矣。"汉王从其计，出军宛、叶间，与黥布行收兵。项羽闻汉王在宛，果引兵南。汉王深壁不与战。终以此弊楚。

又曰：汉王至南郑，诸将及士卒皆歌思归。韩信说汉王曰："项羽王诸将之有功者，而独居南郑。是迁也，军吏士卒皆山东之人，日夜跂而思归。及其锋而用之，可以有大功。天下已定，人皆自宁，不可复用，不如决策东向，争权天下。"汉王从之，终灭项籍。

又曰：楚汉相持，项羽自击汉将彭越于梁，令其将大司马曹咎守成皋。汉将挑楚军，咎[怒]，度汜水战汉将，后半涉，[汉]击大破之。

又曰：汉王与韩信、彭越期会击楚军，至固陵，会楚击汉军，大破之。汉王谓张良曰："诸侯不从约，奈何?"对曰："楚兵且破，信、越未有分地，其不至，固宜。君王能与分天下，今可立致。不即，事未可知。君王能自陈已东(传)[傅]海，尽与韩信；睢阳以至谷城，与彭越，使各自为战，则楚易败也。"乃发使者告韩信、彭越，皆报请令进兵，并至垓下，遂破项籍军。

又曰：汉王与诸侯兵共击项羽，决胜垓下。韩信将三十万自当之。孔将军居左，费将军居右，汉王在后。绛侯、柴将军在汉王后。项羽之卒可十万。韩信先合，不利，却。孔将军、费将军纵，楚兵退。信复乘之，大败垓下。

又曰：破项羽于垓下。羽兵尚众，汉兵围之，皆为楚歌。楚人

久苦征战，困败思归，遂溃。《通典》曰：斯亦攻心之机也。

又曰：汉王遣将韩信击魏，魏王盛兵蒲坂，塞临晋。信乃益为疑兵，陈船欲度临晋，而伏兵从夏阳以木罂缶度军，以木为器如罂缶。以渡军无船且尚密也。袭安邑。虏魏王豹。

又曰：吴王濞反，濞，匹备反。汉将周亚夫率师御之，壁于下邑。吴师奔壁东南，亚夫备西北。吴师果以精兵奔西北，不得入，大败。

《汉书》曰：先零、音怜。罕开音汗。二种羌皆解仇，合党为寇，汉将赵充国讨之，守便宜上书曰："先零羌虏欲为背叛，故与罕、开解仇，然其私心恐汉兵至，而罕、开背之也。臣愚以为其计请击先零，若先击罕羌，零必助之。今虏马肥饶粮，击之恐不能伤害，适使先零施德于罕羌也。坚其约，合其党。虏交坚党合，诛之用力数倍，臣恐国家忧累犹十数年，不一二岁而已。先诛先零，则罕、开之属不烦兵服矣。"宣帝从之，果如其策。

又曰：王莽末，光武起兵据昆阳城时惟有八九千人。莽遣将王邑、严尤讨之，军到城下者十万，光武留王凤等守城，与李轶等十余骑夜出，既至郾、定陵，悉发诸营兵。严尤说王邑曰："昆阳城小而坚，今假号者[在]宛，亟进大兵，亟，急也。纪力切。彼必奔走，则昆阳自服。"邑曰："吾昔以(武)[虎]牙将军围翟义，坐不生得，以见责。今将百万之众，过城而不能下，何谓耶？"遂围之数十里，列营百所，云车十余，瞰临城中，旗帜蔽野，埃尘连天，钲鼓之声闻数十里。或为地道，或辎橦城。辎，蒲萌切。积弩乱发，矢下如雨，城中负楯而汲。王凤等乞降，不许。光武遂与诸营部俱进，自将部骑千余人，前去大军四五里而阵。寻、邑亦遣兵千余合战。光武奔之，斩首数十级。诸部喜曰："刘将军平生见小敌怯，今见大敌勇，甚可怪也。且复居前，请助将军！"光武复进，寻、邑兵却，诸部兵乘之，斩首数百千级。连胜，遂因而大败。《通典》曰：王邑迹九攻宛，所以败也。

又曰：王郎起河北。郎钜鹿郡太守王饶据城，光武围数十日，连攻不克。耿纯说曰："久守王饶，士众疲弊，不如及大兵精锐进攻

邯郸。若王郎已诛，王饶不战自服矣。"从之，乃留兵守钜鹿，而进军邯郸，屯其郭北。郎数出战，无利城守，急攻之二十余日。郎少傅李立为反间，开门内汉兵，遂拔邯郸，郎党悉平。

又曰：曹操围袁尚，凿[池]环城。初令浅，示若可越，城中望见，笑而不出。操令一夜浚之，广深二丈，决漳水以渍之，自五月至八月，城中饿死者过半。

《后汉书》曰：朱穆举度尚，自右校令擢荆州刺史，击桂阳苍梧盗贼。尚躬率部曲，与同劳逸，广募杂种诸蛮夷，明设购赏，进击，大破之，降者数万人。桂阳宿贼渠帅卜阳、潘鸿等畏尚威烈，徙入山谷。尚穷追数百里，遂入南海，破其三屯，多获珍宝。而阳、鸿等党众犹盛，尚欲击之，而士卒骄富，莫有斗志。尚计缓之则不战，逼之则逃亡，乃宣言卜阳、潘鸿作贼十年，习于攻守，今兵寡少，未易可进，当须诸郡所发悉至，尔乃并力攻之。申令军中，恣听射猎。兵士喜悦，大小皆相与从禽。尚乃密使所亲客潜焚其营，[珍]积皆尽。猎者来还，莫不泣涕。尚人人慰劳，深自咎责，因曰："卜阳等财宝足富数代，诸卿但不并力耳。所亡少少，何足介意！"众闻咸愤踊，尚敕令秣马蓐食，明旦，径赴贼屯。阳、鸿等自以深固，不复设备，吏士乘锐，遂大破平之。尚出兵三年，群寇悉定。

又曰：廉范为云中太守。会匈奴大入塞，烽火日通。故事，虏入过五千人，移书傍郡。吏欲传檄求救，范不听，自率士卒拒之。虏众盛而范兵不敌。会日暮，令军士各交缚两炬，三头爇火，营中星列。用两炬交缚如十字，爇其头，手执一端，使敌人望之，疑兵士之多。虏遥望火多，谓汉兵救至，大惊。待旦将退，范乃令军中蓐食，晨往赴之，蓐食，早起食于寝蓐中也。斩首数百级，虏自相辚藉，死者千余人，辚，轹也。藉，相蹈藉也。由此不敢复向云中。

又曰：耿恭与匈奴战，恭以毒药傅矢。传语匈奴曰："汉家箭神，其中疮者必有异。"因发强弩射之。虏中矢者，视疮皆沸，遂大惊。会天暴风雨，随而击之，杀伤甚众。匈奴震怖，相谓曰："汉兵

神，真可畏也！”遂解去。

又曰：耿弇敕诸校会，会，犹集也。后五日攻西安。张蓝闻之，晨夜儆守。至期夜半，弇敕诸将皆蓐食，会明至临淄城。护军荀梁等争之，以为宜速攻西安。弇曰：“不然。西安闻吾欲攻之，日夜为备。然临淄出不意而至，必惊扰，吾攻之一日必拔。[拔]临淄即西安孤，张蓝与步隔绝，必复亡去，所谓击一而得两者也。若先攻西安，不卒下，顿兵坚城，死伤必多。纵能拔之，张蓝引兵还奔临淄，并兵合势，观人虚实，吾深入敌地，后无转输，旬月之间，不战而困。诸军之言，未见其宜。”遂攻临淄，半日拔之，入据其城。

又曰：高峻据高平，犹不下，帝议遣使降之。乃谓寇恂曰：“为吾行也。若峻不降，引耿弇等击之。”恂奉玺书与峻，峻遣军帅皇甫文出谒，辞礼不屈。恂怒，将诛文。诸将谏曰：“高峻精兵万人，率多强弩，西遮陇道，连年不下。今欲降之，而反戮其使，无乃不可乎？”恂不应，遂斩之。遣其副归告峻曰：“军帅无礼，已戮之矣。欲降，急降；不欲，固守。”峻惶恐，即日开城门降。诸将皆贺，因曰：“敢问杀其使而降其城，何也？”恂曰：“皇甫文，峻之腹心，其所取计者也。今来，辞意不屈，必无降心。全之则文得其计，杀之则峻亡其胆，是以降耳。”诸将皆曰：“非所及也。”

又曰：吴汉在河北，时鬲县五姓共逐守长，据城而反。鬲，县名，属平原郡，故城在今德州西北。五姓盖当（土）[地]强宗豪右也。鬲，音革。诸将争欲攻之，汉不听，曰：“使鬲反者，皆守长罪也。敢轻冒进兵者斩。”乃移檄告郡，使收守长，而使人谢城中。五姓大喜，即相率归降。诸将乃服，曰：“不战而下城，非众所及也。”

太平御览卷第二百八十四

兵部十五

机略三

《后汉书·朱隽传》曰：赵弘据宛城，隽因急击弘，斩之。贼余帅韩忠复据宛拒隽。隽兵少不敌，乃张围结垒，赴土山以临城内，因鸣鼓攻其西南，贼悉众赴之。隽自将精卒五千，掩其东北，乘城而入。忠乃退保小城，惶惧乞降。司马张超及徐璆、秦颉皆欲听之。隽曰："兵有形同而势异者。秦项之际，人无定主也，故赏附以劝来耳。今海内一统，惟黄巾造寇，纳降无以劝善，讨之足以惩恶。今若受之，更开逆意，贼利则进战，钝则乞降，纵敌长寇，非良计也。"因急攻，连战不克。隽登土山望之，顾谓张超曰："吾知之矣。贼今外围周固，内营逼急，乞降不受，欲出不得，所以死战也。万人一心，犹不可当，况十万乎！其害甚矣。不如彻围，并兵入城。忠见围解，势必自出，自出则意散，易破之道也。"既而解围，忠果出战，隽因击之，大破之。乘胜逐北数十里，斩首万余级。忠等遂降。

又曰：董卓将三万讨先零羌，卓于望垣北，望垣县属天水郡。为羌胡所围，粮食乏绝，进退逼急。乃于所渡水中伪立鄢以为捕鱼，潜从鄢下过军。《续汉书》"鄢"字作"堰"。比贼追之，决水已深不得渡。时众军败退，惟卓全师而还。

又曰：臧宫将兵屯骆越。越人谋叛从蜀。宫兵少，力不能制。会属县送委输车数百乘至，宫夜使锯断城门限，令车回转出入至旦。（即）越人候伺者闻车声不绝，而门限断，相告以汉兵大至。其渠帅乃奉牛酒以劳军营。宫陈兵大会，击牛酾酒，飨赐慰纳之。

又曰：蜀有妖巫维汜弟子单臣、傅镇等，复妖言相聚，入原武城，维，或作侯。劫吏人，自称将军，于是遣臧宫将北军及黎阳营数千人围之。贼谷食多，数攻不下，士卒死伤。帝召公卿诸侯王问方略，皆曰"宜重其购赏"。时显宗为东海王，独对曰："妖巫相劫，势无久立，其中必有悔欲亡者。但外围急，不得走耳。宜小挺缓，挺，解也。令得逃亡，逃亡则一亭长足以禽矣。"帝然之，即敕宫撤围缓贼，贼众分散，遂斩臣、镇等。

又曰：岑彭南击秦丰，与其大将蔡宏拒彭等于邓，数月不得进。帝怪以让彭，彭惧，于是夜勒兵马，申令军中，使明旦西击山都。山都，县名，属南阳郡。乃缓所获虏，令得逃亡，归以告丰，丰即悉其军西邀彭。彭乃潜兵渡沔水，击其将张扬于阿头山，大破之。沔水源出武都东狼谷中，即汉水之上源也。阿头山在襄阳。从川谷间伐木开道，直袭黎丘，击破诸屯兵。丰闻大惊，驰归救之。彭与诸将依东山为营，丰与蔡宏夜攻彭，彭预为之备，出兵逆击之，丰败走，追斩蔡宏。

又《皇甫嵩传》曰：梁州贼王国围陈仓，复拜嵩为左将军，督前将军董卓，各率二万人拒之。卓欲速进赴陈仓，嵩不听。卓曰："智者不后时，勇者不留决。速救则城全，不救则城灭，全灭之势在于此也。"嵩曰："不然。百战百胜，不如不战而屈人之兵。是以先为不可胜，以待敌之可胜。不可胜在我，可胜在彼。彼守不足，我攻有余。《孙子》之文。有余者动于九天之上，不足者陷于九地之下。《玄女三宫战法》曰：行兵之道，天地之宝。九天九地，各有表里。九天之上，六甲子也；九地之下，六癸酉也。子能顺之，万全可保。今陈仓虽小，城守固备，非九地之陷也。王国虽强，而攻我之所不救，非九天之势也。夫势非九天，攻者受苦害；陷非九地，守者不拔。国今已陷受害之地，而陈仓保不拔之城，我可不烦兵动众，而取全胜之功，将何救焉！"遂不听。王国围陈仓，自冬迄春，八十余日，城坚守固，竟不能拔。贼众疲弊，果自解去。嵩进兵击之。卓曰："不可。兵法，穷寇勿追，归众勿追。《司马法》之言。今我追国，是追归众，追穷寇也。困兽犹斗，蜂虿有毒，况大众乎？"嵩曰："不然。前吾不击，避其锐也。今而击

之，待其衰也。所击疲师，非归众也。且走者，莫有斗志。以整击乱，非穷寇也。"遂独进击之，使卓为后拒。连战大破，斩首万余级，国走而死。卓大惭恨，由是忌嵩。

又曰：吴汉、岑彭讨公孙述，述使其将延岑等悉兵拒广汉及资中，又遣将侯丹率二万余人拒黄石。彭乃多张疑兵，使护军杨翕与臧宫拒延岑等，自分兵浮江下，还江州，今南郡，即汉江州县。泝江都江而上，江都江，城都江也。袭击侯丹，大破之。因晨夜倍道兼行二千余里，径拔武阳。使精骑驰广都，去成都数十里，势如风雨，所至皆奔散。初，述闻汉军在平曲，故遣大军逆之，及汉兵至武阳，出延岑军后，蜀地震骇。

又曰：马援为陇西太守，发步骑三千人击先零羌。[羌]将其妻子辎重移阻于允吾谷，允吾，音锐牙。援乃潜行间道，掩赴其营。羌大惊坏，复远徙唐翼谷中，援复追讨之。羌引精兵聚北山上，援陈军向山，而分遣数百骑绕袭其后，乘夜放火，击鼓叫噪，虏遂大溃。

又曰：冯异与邓禹率车骑将军邓弘等议攻赤眉。异曰："贼众尚多，可稍以恩信倾，难卒用兵破也。上今使诸将屯渑池，要其东，而异击其西，一举取之，此万成计也。"禹、弘不从。弘遂大战移日，赤眉佯败，弃辎重而走。车皆载土，以豆覆其上，兵士饥，争之。赤眉引还击弘，弘军大乱。异与禹合兵救之，赤眉小却。异以士卒饥倦，可且休，禹不听，复战，大为所败。

又曰：河南贼张步据地，汉将耿弇讨之，壁于临淄。步与其三弟蓝、弘、寿及故大彤渠帅重异等兵重姓，异名也。号二十万，至临淄大城东，将攻弇。弇先出淄水上，与重异遇，突骑欲纵，弇恐挫其锋，令步不敢进，固示弱以盛其气，乃引归小城，陈兵于内。步气盛，直攻弇营，与弇裨将刘歆等合战，弇升王宫坏台望之，临淄，本齐国所都，即齐王宫中坏台也。视歆等锋交，乃自引精兵横交突步阵于东城下，破之。

又曰：赤眉、青犊十余万众并在射犬，光武引兵将击之。耿纯

军在前，去众营数里，贼忽夜攻纯，雨射营中，士多伤。纯勒部曲坚[守]不动。选敢死千人，俱持强弩，各傅三矢，使衔枚间行，傅，着。绕出贼后，齐声呼噪，强弩并发，贼众惊走，追击之，遂破。

又曰：光武遣将王霸、马武击河南贼周建于垂惠。贼帅苏茂将五校兵四千余人救建，而先遣精骑遮击马武军粮，武往救之。建从城中出兵夹击武，武恃霸之援，战不甚力，为茂、建所败。武军奔过霸营，大呼求救。霸曰："贼兵盛，出必败，努力而已。"[乃]闭营坚壁。军吏皆争之。霸曰："茂兵精锐，其众又多，吾吏士心恐，而马武与吾相恃，两军不一，此败道也。今闭营固守，示不相援，贼必乘胜轻进；马武无救，其战自倍。如此，茂、建众疲劳，吾承其弊，乃可克也。"茂、建果悉出兵攻武。合战良久，霸军中壮士路润等数十人断发请战。霸知士心锐，乃开营后，出精骑袭其背。茂、建前后受敌，惊乱，败之。

又曰：西域莎车国王不供，将兵长史班超发于阗、疏勒诸国二万五千人击之。莎车求救龟兹，龟兹王遣将发温宿、姑墨、尉头合五万人助之。超召诸将及于阗、疏勒王议曰："兵少不敌，莫如各解散去。于阗从此东归，长史亦从此西归，夜半闻鼓声，便发众。"皆以为然，乃阴缓所擒得生口归，以超言告龟兹，龟兹闻之喜，使其将以万骑于西界遮超，温宿王将以千骑于东界遮于阗王。人定后，超密令诸司马勒兵，至鸡鸣驰赴莎车草营掩覆之，胡皆惊走，斩首五千级。莎车遂降。

又曰：光武遣将邓禹西征至河东，禹击更始将王匡，禹军不利，战罢。明日癸亥，匡以六甲穷日不出，禹因得更整兵勒众。明晨，匡悉军出攻禹，禹令军中无得辄动；既至营下，因传发诸将鼓而并进，大破之。

又曰：冯异将数万人与贼约期会战。使壮士变服与赤眉同，伏于道侧。明日，赤眉使万人攻异前部，异裁出兵以救之。裁少出兵，所以示弱。贼见势弱，遂悉众攻异，异[乃]纵兵大战。日昃，贼气衰，

伏兵卒起，衣服相乱，赤眉不复识别，众遂惊溃。追击，大破于崤底。

又曰：岑彭将兵三万余人南击秦丰，拔黄邮，丰与其大将蔡宏等拒于邓，数日不得进。彭夜勒兵马，申令军中，使明早西击山都。乃缓所获虏，令得逃亡，归以告丰，丰即悉其军西邀彭。彭乃潜兵度沔水，击其将张扬于河头山，大破之。从川谷间伐木开道，直袭黎丘，破诸屯兵。丰闻大惊，驰归救之。彭依东山为营，丰与蔡宏夜攻彭，彭先为之备，出兵逆击之，丰败走。

又曰：张步据齐地，汉将耿弇征之。步将费邑分遣其弟敢守巨里。弇进兵先胁巨里，使多伐树木，扬言以填塞坑堑。数日，有降者言邑闻弇欲攻巨里，谋来救之。弇严令军中趣修攻具，宣敕诸部，后三日当悉力攻巨里城。阴缓生口，令得亡归。归者以弇期告邑，邑至日果自将精兵三万余人来救之。弇喜，谓诸将曰："吾所以修攻具者，欲诱致邑耳。今来，适其所求也。"即分三千人守巨里，自引精兵上岗坂，乘高合战，大破之，临阵斩邑。既而收首级以示巨里，城中凶惧，凶，许拱切。费悉众亡归。

又曰：将军耿秉与窦固合兵一万四千骑击[车师]，车师有后王、前王，前王即后王之子，其庭相去五百余里。秉议先赴后王，以为并力根本，则前王自服。固计未决，秉奋身而起，众军不得已，遂进。并纵兵钞掠，斩首数千级，收马牛羊十余万头。后王安得震怖，从数百骑出迎秉，降。

又曰：袁绍、曹公相持于官渡，俎授说绍俎，侧居切。可遣蒋奇别为支军于外，以绝曹公之路。绍不从。许攸进曰："曹公兵少而悉师拒我，许下余守，势必空弱。若分遣轻军，星行掩袭，许伏则操为成擒。如其未溃，可令首尾奔命，破之必也。"绍又不用，竟为曹公所败。

又曰：曹公征河北，师次顿丘。黑山贼于毒等攻东武阳。曹公引兵西入山，攻毒等本屯。毒闻之，弃武阳还，魏武要击于内黄，大

破之。

又曰：曹公征张绣于穰，荀攸曰："绣仰食于刘表，于久而势必离。今缓之可诱致，急之则相救。"公不从，与绣战。表果救之，公败归。

又曰：青、徐黄巾三十万众入渤海界，欲与黑山合。公孙瓒率步骑二万人，逆击于东光南，大破之，斩首二万余级。贼弃辎重数万两，奔走渡河。瓒因其半济薄之，贼复大破，死者数万。

太平御览卷第二百八十五

兵部十六

机略四

《(后汉书)[魏志]》曰:曹公西征马超,与超夹关为军。公急持之,而潜遣徐晃、朱灵等夜度蒲坂津,据河西为营。公自潼关北渡,未济,超赴船急战。公放马牛以饵贼,贼乱取牛马,公得度,循河为甬道而南。贼退,距渭口,公乃多设疑兵,潜以舟载兵入渭,为浮桥,夜,分兵结营于渭南。贼夜攻营,伏兵击破之。

又曰:曹公与袁绍相持官渡,曹公循河而西。绍于是渡河追公军,至延津南。公勒兵驻营南坂下,使登垒视之,曰:"可五六百骑。"有顷,复白:"骑稍多,步兵不胜数。"公曰:"勿复白。"乃令骑放马解鞍。是时,白马辎重就道。诸将以为敌骑多,不如还保营。荀攸曰:"此所以饵敌也。如何去之!"绍骑将文丑与刘备五六千骑前后至。诸将复白:"可上马。"公曰:"未也。"有顷,骑至稍多,或分辎重。公曰:"可矣。"乃皆上马。时骑不满六百,遂纵兵击之,大破。

又曰:曹公既克邺,袁尚、熙遂奔辽东,众有数千。初,辽东太守公孙康恃远不服。曹公破乌丸,或说公遂征之,尚、熙可擒。公曰:"吾方使康斩送其首,不烦兵矣。"公引兵还,康果斩送尚、熙,传其首。诸将或问曰:"公还,而康斩尚、熙何也?"公曰:"彼素畏尚、熙,其急之则并力,缓之则相图,其势然也。"

又曰:曹公讨鲜卑,出卢龙,塞外道绝不通,乃堑山堙谷五百余里,经白檀,历(刚平)[平冈],涉鲜卑庭,东陷柳城。未至二百里,虏乃知之。将数万骑逆军,登白狼山,卒与虏遇,众甚盛。公登高,

观虏阵不整，纵兵击之，使张辽为先锋，虏大败。

又曰：黄巾贼起，命将朱隽率兵讨之。贼帅韩忠据宛拒隽，隽兵少不敌，乃长围结垒起土以临城内，因鸣鼓攻其西南，贼悉众赴之。隽自将精卒五千掩其东北，乘城而入。忠乃退保小城，惶惧乞降。

又曰：曹公与袁绍相持官渡，绍遣将郭图、淳于琼、颜良等攻东郡太守刘延于白马，绍引兵至黎阳，将度河。曹公北救延。荀攸说曰："今兵少不敌，分其势乃可。公到延津，若将度兵向其后，绍必西应之，然[后]轻兵袭白马，掩其不备，颜良可擒也。"公从之。绍闻兵度，即留分兵西应之。[公]乃引军兼行趣白马，未至十余里，良大惊，来逆战。使张辽、关羽前登，击破，斩良。遂解白马围。

又曰：曹公击破马超，超走凉州。关中平，诸将或问曹公曰："初，贼守潼关，渭北道缺，不从河东击冯翊，而反守潼关，引日而后北渡，何也？"公曰："贼守潼关，若吾入河东，贼必引守诸津，则西河未可渡也。吾欲盛兵向潼关；贼悉南守，西河之备虚，故徐晃等得擅取西河；然后引军北渡，贼不能与吾争西河者，以有二将之军也。连车树栅，为甬道而南，既为不可胜，且以示弱。渡渭为坚垒，虏至不出，所以骄之也。故贼不为营垒而求割地。吾顺伪言许之，所以纵逸其意，使自安而不为备，因蓄士卒之力，一朝击之，所谓疾雷不及掩耳，兵之变化，固非一道也。

又曰：蜀将关羽围曹公将曹仁于樊，又围将军吕布于襄阳，曹公遣将徐晃救仁。以羽难与争锋，遂前至偃城。晃诡道作都堑，示欲截其后，贼烧屯走。晃得偃城，两面连营，稍前，去贼围三丈所，未攻，贼围头有屯，又别屯四冢。晃扬声当攻围头屯，而密攻四冢。羽见四冢欲坏，自将步兵五千出战，晃击之，退走，遂追蹈与俱入围，破之，或自投沔水死。曹公令曰："贼围堑鹿角十重，将军致战胜，今陷贼围，多斩首虏。吾用兵三十余年，及所闻古之善用兵者，未有长驱径入敌围者。"

又曰：曹公征关中，进军渡渭。马超及韩遂数请战，不许，因请割地。公用贾诩计，伪许之。韩遂请与公相见，公与遂交马语，移时不及军事，但说京都故旧，拊手欢笑。既罢，超等问遂："公何言？"遂曰："无所言也。"超等疑之。他日，公又与遂书，多所点窜，如遂改定者。超等愈疑遂。公乃与克日会战。先以轻兵挑之，战良久，乃纵骁骑夹击，大破之。遂、超走凉州。

《魏志》曰：司马宣王征公孙文懿，次于辽水。文懿遣将军毕衍、杨祚等步骑数万阻辽，隧以距之，围堑二十余里。宣王令其军穿围，盛兵多张旗帜，出其东南，贼尽锐赴之，乃沉舟潜济，急于东北，斜趣之襄平。衍等恐襄平无守，夜遁。

又曰：郭淮讨叛羌师。其羌师屯河关、白土故城，据河拒官军。淮见形上流，密于下度兵据白土故城，击，大破之。

又曰：李典与程昱等以船运军粮，会袁尚遣将高藩将兵屯河上，绝水道。典与诸将议曰："藩军少甲而恃水，有懈怠之心，击之必克，宜亟击之。"昱为然，遂北渡河攻藩，破之。水道得通。

又曰：司马宣王征公孙文懿，沉舟潜济辽水，作长围，忽弃贼而向襄平。诸将言曰："不攻贼而作围，非所以示众也。"宣王曰："贼坚营高垒，欲以老吾兵也。攻之，正入其计，此王邑所以耻过昆阳也。古人云：敌虽高垒不得不与我战者，攻其所必救也。贼大众在此，则贼窟虚矣。我直指襄平，必怀内惧。惧而求战，破之必矣。"遂整阵而过。贼见兵出其后，果邀之。宣王谓诸将曰："所以不攻其营，正欲致此，不可失也。"乃纵兵逆击，大破之，三战皆捷。

又曰：田豫，字国让。率击鲜卑（轲）比能，单将锐卒，深入虏庭，胡人众多，钞军前后，断截归路。国让乃进军，去虏十余里结屯营，多聚牛马粪燃之，从他道引去。胡见烟火不绝，以为尚在，去行数十里乃知之。

又曰：诸葛诞、文钦反，据寿春，司马景王总兵讨之，谓诸将曰："彼当突围，决一朝之命！"或谓："大军不能久，省食减口，冀有他

变，料贼之情不出此二者，今当多方以乱之，备其越逸，此胜计也。”因命合围，分遣羸疾就谷淮北廪军士，大豆人三胜，钦闻之果喜。景王愈羸形以示之，多纵反间，扬言吴救方至，诞等益宽恣食。俄而，城中乏粮，诸将并请攻之。景王曰：“诞聚粮完守，外结吴人，自谓足据淮南，必不便走。今若急之，损游军之力，外寇卒至，表里受敌，此危道也。且坚守三面，若贼陆道而来，军粮必少，吾以游兵轻骑绝其转输，可不战而破外贼，钦等必为擒矣。”诞、钦等出攻长围，诸军逆击，走之。初，诞、钦内不相协，乃至穷蹙转相疑贰，诞杀钦。子甯逾城[降]，以为将军、封侯，使巡城而呼。景王见城上持弓者不发，因令攻而拔之。

又曰：诸葛诞据寿春反，命将王基讨之。吴遣朱异来救诞，[军]于安城。诏王基引诸军转据北山，基谓诸将曰：“今围垒转固，兵马向集，但当精修守备以待越逸，而更移兵守险，使得放纵，虽有智者，不能善其后矣。”遂守便宜，上疏曰：“今与贼交利对敌，当不动如山。若迁移依险，人心摇荡，于势大损。诸军并据深沟高垒，众心皆定，不可倾动，此御兵之要地也。”书奏，报听之。寿春竟破，司马文王与基书曰：“初议者云云，求移者甚众，时未临履，亦谓宜然。将军深算利害，独秉固志，上违诏命，下距众议，终至制敌擒寇，虽古人所述，不足过也。”

又曰：郭淮在汉中，蜀主刘备欲渡汉水来攻。诸将议众寡不敌，依水为陈以距之。淮曰：“此示弱而不足挫敌，非算也。不如远水为阵，引而致之，半济而后击，备可破也。”既阵，备疑不敢度。《通典》曰：蜀主悟之，不敢。

又曰：文帝初，北狄强盛，侵扰边塞，乃使田豫持节护乌丸校尉。时鲜卑数十部，比能、弥加、素利等割地统御，各有分界。乃共要盟，不得以马与中国市。豫以戎狄为一，非中国之利，乃先构离之，使自为仇敌，互相攻伐。素利违盟，出马千匹与官，为比能所击，求救于豫。豫深入虏廷，胡围豫于马邑城十重。豫密使司马建

旌旗，鸣鼓吹，从南门出，胡人皆往赴之。豫将精锐自北门出，鼓噪而赴，两头俱发，出虏不意，虏众乱，弃马步走，追讨二十余里，僵尸蔽地。[自是]胡人破胆，威振沙漠。

又曰：诸葛亮出斜谷，司马宣王屯北原。亮盛兵西行，诸将皆欲攻西围，郭淮独以为此见形于西，欲使官兵重应之，必攻阳遂耳。其夜果攻阳遂，有备不得上。

《吴志》曰：曹公入荆州，刘备为曹公所破，与鲁肃遇于当阳，遂共图计。遣诸葛亮诣孙权，权遣周瑜、程普与备并力逆曹公，遇于赤壁。瑜部将黄盖曰："今寇众我寡，难与持久，观操船舰相接，可烧而走也。"乃取蒙冲数十，实以薪草，上建牙旗。盖乃先报书，欺以欲降。曹公军延颈指言："盖降！"盖(收)[放]诸船，同时发火。时风盛猛，悉延烧岸上营落。顷之，燔炎张天，人马烧溺，死者甚众，军遂败退。

又曰：周瑜使甘宁据夷陵。魏将曹仁围宁，吕蒙往救之。仍分遣三百人柴断险道，贼走可得其马。军到夷陵，即日交战，所杀过半。敌夜遁去，行过(此)[柴]道，骑皆舍马步走。蒙兵追蹙，获马三百匹，方船载还。

又曰：贺齐讨黟，歙贼帅，黟音伊几切。歙音摄。[黟帅]陈仆、祖山等二万户屯历林山，[山]四面壁立，高数十丈，径路危狭，不容方楯，贼临高下石，不可得攻。军住经日，将吏患之。齐身出周行，观视形便，阴募轻捷士，为作铁戈，密于隐险贼所不备处，以戈拓山为缘道，道成，夜令潜上，乃多悬布以(受不)[援下]人，得上百数十人，四面流布，俱鸣鼓角，齐勒兵待之。贼夜闻鼓声四合，谓大军悉已得上，惊惧惑乱，不知所为，守路备险者，皆走还依众，大军因是得上。(其)[贼]中有善禁术[者]，吴师刀剑不得拔，弓弩射矢皆还自向，辄致不利。齐曰："吾闻之，雄黄胜五兵，还丹能威敌。夫金有刃、虫有毒者皆可禁之。以无刃之兵，不毒之虫，彼必无能为也。"遂伐木为棓列阵，四面罗布，俱鸣鼓角，勒兵待曙。贼惶遽无

依，禁术不效，大破而降之。

《蜀志》曰：诸葛孔明率众定南夷，擒夷师孟获，七纵七擒。获曰："公，天威也。南人不复反矣。"

扬雄《蜀王记》云：秦王石牛，置金于后，蜀人以为牛便金。蜀王发卒开道，令五丁拖牛置成都，蜀道乃通。

依，禁术不效，大破而降之。

《蜀志》曰：诸葛孔明率众定南夷，擒夷师孟获，七纵七擒。获曰："公，天威也。南人不复反矣。"

扬雄《蜀王记》云：秦王石牛，置金于后，蜀人以为牛便金。蜀王发卒开道，令五丁拖牛置成都，蜀道乃通。

(讨)[计],固不听。道覆曰:"我终为卢公所误,事必不成。使我得为英雄主驱驰,天下不足定也!"后循战败。

又曰:王敦反。敦既死,以兄子应为嗣。沈充自吴率众万余人至,与王含等合。充司马顾飏说充曰:"今日举大事,而天子已扼其喉,情离众沮,锋[摧势]挫,持疑犹豫,必致祸败。今若决破栅塘,因湖水灌京邑,肆舟舰之势,极水军之用,此所谓不战而屈人之兵,上策也。藉初至之锐,并东南众军之力,十道俱进,众寡过倍,理必摧陷,中策也。转祸为福,因败为成,召钱凤计事,因斩之以降,下策也。"充不能用,飏逃归于吴。含复率众渡淮,苏峻等逆击,大败之,充亦烧营而退。既而周光斩钱凤,吴儒斩充,并传首京师。

又《载记》曰:符登攻姚苌,苌退还安定,登就食新平,留其大军于胡空堡,率骑万余围苌营四面大哭,哀声动人。苌恶之,命三军哭以应登,登乃引退。

又曰:河间王颙在关中遣将张方讨长沙王乂,方率众自函谷入屯河南。(入)[乂]遣左将军皇甫商拒之而败,张方率兵入洛阳。又奉惠帝讨方于城内,方军遥见乘舆,于是引退,方止之不得,众遂大败。方退壁于十二里桥,人情挫衄,无复固志,或劝方夜遁。方曰:"兵之利钝是常,贵因败以为成耳。我更前作垒,出其不意,此用兵之奇也。"乃夜潜进逼洛城七里。(人)[乂]既新捷,不以为意,忽闻方垒成,乂师乃战,遂大败。

又曰:石勒据襄国,晋将王浚遣督护王昌及鲜卑段就六眷、末杯等部众五万余以讨勒。时城隍未修,乃筑隔城重栅以待之。就六眷屯于渚阳,勒分遣诸将连出挑战,频为六眷所败。又闻其大造攻具,[勒]顾谓其将佐曰:"今寇来转逼,彼众我寡,恐攻围不解,外救不至,内粮罄绝,必败不能固也。吾将简练将士,大阵于野以决之,何如?"诸将曰:"宜固守以疲寇,彼师老自退,追而击之,必克。"张宾曰:"闻就六眷克来月上旬送死北城,今以我势寡弱,谓不敢出战,意必懈怠。今段氏种众之悍,末柸尤最,其卒之精勇,悉在末

杯，可勿复出战，示之以弱。速凿北垒为突门二十余道，候贼列守未定，出其不意，直冲末杯帐，敌必震惶，计不及设，所谓迅雷不及掩耳。末杯之众既奔，余自摧散，擒末杯之后，王浚指挥而定。"勒纳之，即以孔苌督为攻战都督，造突门于北城。鲜卑入屯北垒，勒候其阵未定，躬率将士鼓噪于城上。会孔苌督诸突门伏兵俱出击之，生擒末杯，就六眷等众遂奔散。苌乘胜追击，枕尸三十余里，获铠马五千匹。就六眷收其遗众，屯于渚阳，遣使求和，送铠马金银，并以末杯三弟为质而请末杯。诸将并劝杀末杯以挫之，勒曰："辽西鲜卑，与我素无怨仇，为王浚所使耳。今杀一人，结怨一国，非计也。放之必悦，不复为浚用矣。"于是纳其质而遣末杯，就六眷等引还，终获其用。

又曰：杜预以太康元年正月陈兵于江陵，遣参军樊显、尹林、邓圭、襄阳太守周奇等率众循江西上，授以节度，旬日之间，累克城邑，皆如预策焉。又遣牙门管定、周旨、伍巢等率奇兵八百，泛舟夜渡，以袭乐乡，多张旗帜，起火巴山，于要害之城以夺贼心。吴都督孙歆震恐，与伍延书曰："北来诸军，乃飞渡江也。"吴之男女降者万余口，旨、巢等伏兵乐乡城外。歆遣军出拒王浚，大败而还。旨等发伏兵，随歆军而入，歆不觉，直至帐下，虏歆而还。故军中为之谣曰："以计伐战一当万。"

又曰：刘牢之等讨妖贼孙恩，恩败走，虏男女二十余万口，一时入海。惧官军之蹑，乃缘道多弃宝物子女。时东土殷实，粲丽盈目，牢之等遽收敛，故恩复得逃入海。《通典》曰：孙恩用此术获免也。

又曰：李矩守荥阳，后赵石勒亲率兵袭矩。矩遣老弱入山，令所在散牛马，因设伏以待之。贼争取牛马，伏发齐呼，声动山谷，遂大败之，斩获甚众，勒乃退。

又曰：刘琨守太原，遣将姬澹率众十余万讨石勒。勒将拒之，或谏曰："澹兵马精盛，其锋不可当，宜深沟高壁以挫其锐，攻守势异，必获万全。"勒曰："澹众大远来，体疲力竭，犬羊乌合，号令不

齐，可一战擒之，何强之有！寇已垂至，胡可舍去，大军一动，岂易中还！若澹乘我之退顾走，乃无暇，焉得深沟高垒乎！此为不战而自灭亡之道。"立斩谏者。以孔苌为前锋都督，令三军后出者斩。设疑兵于山上，分为二伏。勒轻骑与澹战，伪收众而北。澹纵兵追之，勒前后伏兵夹击，澹军大败。

又《载记》曰：前燕慕容廆封略渐广，廆，胡罪切。据棘城。晋平州刺史、东夷校尉崔毖阴结高勾丽毖，音秘。及宇文、段回等谋灭廆，以分其地。遂同伐廆，廆曰："彼信崔毖虚说，邀一时之利，乌合而来耳。既无统一，莫相归伏，吾今破之必矣。然彼军初合，其锋甚锐，幸我速战。若逆击之，落其计矣。靖以待之，必怀疑贰，迭相猜防。一则疑吾与毖谲而覆之，二则自疑三国之中与吾有韩、魏之谋者，待其人情沮惑，然后取之[必]矣。"于是三国攻棘城，廆闭门不战，遣使送牛酒以犒宇文，大言于众曰："崔毖昨有使至。"于是二国果疑宇文同于廆也，引兵而归。宇文悉独官曰："二国虽归，吾当独兼其国。"尽众逼城，连营三十里。廆简锐士配子皝，推锋于前，皝，音晃。子翰领精骑为奇兵，从傍出，直冲其营；廆方阵而进。悉独官自恃其众，不设备，见廆军之至，方率兵拒之。前锋始交，翰已入其营，纵火焚之，众遂大败。

又曰：苏峻反，攻克石头城，据之。以陶侃、温峤率兵讨之，诸将请于查浦筑垒。监军(邓岳)[李根]曰："查浦地下，又在水南，惟白石峻极崇固，可容数千人，贼来攻不便，戮贼之术也。"侃从之。夜立垒讫，贼见垒大惊。贼攻大叶，侃将救之，长史殷羡曰："若大叶步战不利，则大事去矣。但当急攻石头，峻必救之，而大叶自解。"侃又从羡言。峻果弃大叶而救石头。诸军与峻战陵东，侃督竟陵太守李阳部将彭伐斩峻于阵，贼众遂溃。

又曰：妖贼孙恩北出海盐，刘裕为将，筑城于海盐。贼日来攻城，城内兵力甚弱，裕独深虑之。一夜，偃旗匿众，若已遁者。明旦开门，使羸疾数人登城。贼遥问裕所在。曰："夜已走矣。"信之，乃

率众大上。裕乘其懈怠，奋击，大破之。

崔鸿《十六国春秋》曰：北凉（泪）〔沮〕渠蒙逊率兵伐南凉秃发傉檀，傉，奴沃切。入其境，徙数千户而还。傉檀追及蒙逊于穷泉，蒙逊将击之，诸将皆曰："贼已安营，不可犯也。"蒙逊曰："傉檀谓吾远来疲弊，必轻而无备，及其垒壁未成，可一鼓而灭。"进击败之，乘胜至于姑臧，夷夏降者乃数千户。傉檀惧，请和之而归。

又曰：前燕将慕容垂讨丁零翟钊于滑台，次于黎阳津。钊于南岸拒守。垂徙营就西津，为牛皮船百余艘，载疑兵列仗泝流而上。钊先以大众备黎阳，见垂向西津，乃弃营西拒。垂潜遣其桂林王慕容镇率骁骑于黎阳津，夜济，壁于河南。钊闻而奔，士众疲渴，走归滑台。钊携妻子率数百骑北趣白鹿，垂遣追击，尽擒其众。

又曰：后燕慕容盛据辽东，其辽西太守李朗阴引后魏军上表请发兵以拒寇。盛曰："此必诈也。"召其使而诘之，果验，尽灭其族。遣将李旱率骑讨之，师次建安，召旱旋师。朗闻其家被诛也，拥二千余户以自固。及闻旱中路而还，谓有内变，不复为备，留其子养守令，又迎魏师于北平。旱候知之，袭克令支，遣裨将追朗，及于无支，斩之。盛谓群臣曰："前以追旱还者，朗新为叛逆，必忌官威。一则鸠合同类，劫害良善；二则亡窜山泽，未可卒平，故非意而还，以盈怠其志，卒然掩之，必克之理也。"群臣皆曰："非所及也。"

又曰：前秦符坚陷襄阳，晋将桓冲攻之。坚将慕容垂等率步骑五万救襄阳，以石越为前锋，次于沔水。垂、越夜命三军人持火炬于树枝，光照数里，冲惧，退还。

又曰：后赵石勒将石季龙，太掠陈蔡间而去，留将桃豹守谯城，住西台。东晋将祖逖遣将韩潜等镇东台。同一大城，贼从南门出入放牧，逖军开东门，相守四旬。逖以布囊盛土如米状，使千余人运上台，又令数人担米，伪为疲极而息于道。贼果逐之，皆弃担而走。贼既获米，谓逖士众丰饱，而胡戎饥久，益惧，无复胆气。

又曰：后凉吕光遣将吕延伐西秦乞伏乾归，大败之。乾归因大

泣，叹曰："死中求生，正在今日也。"乃纵反间，称乾归东奔成纪，吕延信之，引师轻进。延司马耿雅谏曰："乾归雄勇过人，权略难测，破王广，克杨定，皆赢师以诱之，虽蕞尔小国，亦不可轻也。困兽犹斗，况乾归而可睹风自散乎？今宜部阵而前，步骑相接，徐俟诸军大集，可一举灭之。"延不从，战败，死之。

又曰：北凉沮渠蒙逊伐西凉李士业于酒泉，先攻浩亶，浩音闻，亶音门。蛇盘于帐前。蒙逊笑曰："前一为腾蛇，今盘在吾帐，天意欲吾回师。"烧攻具而还，次于川岩。闻李士业征兵欲攻张掖，蒙逊曰："入吾计矣。但恐闻吾回军，不敢前也。"兵事尚权，乃露布西境，称得浩亶，将进军黄谷，士业闻而大悦，直入都渎涧。蒙逊潜军逆之，败士业于怀城，遂进克酒泉。

又曰：南凉秃发傉檀守姑臧，后秦姚兴遣将姚弼等至于城下。傉檀驱牛羊于野，弼众采掠，傉檀分击，大破之。

又曰：前燕慕容隽已克幽、蓟，至于冀州。冉闵帅骑拒之，与隽将慕容恪相遇于魏昌。闵将董润言于闵曰："鲜卑乘胜，劲不可当也。请避之，以溢其气，然后济师以击之，可以捷也。"闵怒曰："吾成师以出，将平幽州，斩慕容隽。今遇恪而避之，人将侮我矣。"闵威名素振，燕众咸惮之。恪谓诸将曰："闵勇而无谋，一夫之敌耳。虽有甲兵，不足击也。吾今分军为三都，掎角以待之。闵性轻锐，又以吾军势非敌，必出万死冲吾中军。吾今贯甲厚阵以俟其至，诸军但励卒从傍须其战，合夹而击之，必克。"闵与恪遇，十战皆败之。恪乃以铁锁连马，简善射鲜卑勇而无刚者五千，方阵而前。闵乘骏马左杖双刀，右执钩戟，顺风击之。斩鲜卑三百余级。俄而燕骑大至，围之数周。闵众寡不敌，跃马溃围东走，行二十余里，为恪所擒。

太平御览卷第二百八十七

兵部十八

机略六

《宋书》曰：武帝遣将朱龄石伐谯，纵于蜀。帝曰："往年，刘敬宣黄武无功而退。贼谓我今应从外水往，而料我当出其不意，犹从内水来也。如此必重兵守涪城，以备内道。若向黄武，正堕其计。今以大众自外水取成都，疑兵出内水，此制敌之奇也。"而虑此声先驰，贼审虚实，别有函书，全封付龄石，署其边曰："至白帝乃开。"诸军虽进，未知处分所由。至白帝，发书，曰："众军悉从外水取成都，臧喜、[朱林](出)于中[水]外(汉广)[取广汉]，使羸弱乘高舰十余，由内水向黄武。"众军乃倍道兼行，谯纵果备内水，使其大将谯道福以重兵戍涪城，遣其将侯耀、谯诜等率众万余屯彭模，夹水为城。龄石至彭模，诸将以贼水北城险[阻]众多，咸欲先攻其南城，龄石曰："不然。虽寇在北，今屠南城，不足以破北；若尽锐以拔北垒，南城不麾而自散也。"遂攻北城，诘朝战，至日昃，焚其楼橹，四面并登，斩侯耀、谯诜，仍回军以麾，南城即时散溃。

又曰：刘道济为益州刺史，政刑失中，群盗蜂起，攻围州城。道济将裴方明出东门，破贼三营，斩首数百级。贼虽败，已复还合。方明复伪出北门，回击城东大营，杀千余人。时天大雾，方明等复扬声出东门，而潜自北门出攻城北城西诸营，贼众大溃，于是奔散。

又曰：柳元景为隋郡太守。既至而蛮反，断驿道，欲攻郡。郡内力少，粮杖又乏，元景设方略，得六七百人，乃分五百人屯驿道，或曰："蛮将逼城，不宜分众。"元景曰："蛮闻郡遣重戍，岂悟城内兵

少。且表里合势，于计为长。"会蛮垂至，乃使驿道兵潜出其后，戒曰："火举驰进。"前后俱发，蛮众惊扰，投郧水死者千余人，斩获数百，郡境肃然，无复寇抄。

又曰：檀祗为广陵相。亡命司马国璠兄弟自北徐州界聚众数百，潜过淮，因天夜阴暗，率百许人缘广陵城得入，叫唤直上厅事。祗惊起，出门将处分，贼射之，伤败，却入。祗密语左右曰："贼乘暗得入，掩我不备。但打五鼓，俱明[，必走矣。"贼闻鼓鸣]，谓晓，于是奔散，追讨，尽获之。

又曰：宗悫征林邑，围区粟城。林邑王范阳迈遣将范毗沙达率万余人来救。悫谓诸将曰："寇众我寡，难与争锋。"乃分军为数道，偃旗卧鼓，悫潜进，令曰："听吾鼓噪，乃出。"山路榛深，贼了不为备，卒见军至，惊惧退走，悫乘胜追讨，散归林邑。仍攻区粟，拔之。泛海陵山，(至)[径]入象浦。有大渠南来注浦，宋师沮渠置阵。林邑王倾国来逆，沮渠不得渡。以具装被象，诸将惮之，请待前后军进，然后击之。悫曰："不然。吾已屠其坚城，破其锐众。我气方厉，彼已破胆，一战可定，何疑焉。"悫以为外国有师子，威服百兽，乃制其形，与象相御。象果惊奔，众因此溃乱。悫率兵直度渠奋击，阳迈遁走，其众一时奔散，遂克林邑。

《南史》曰：萧齐将鲁康祚、赵公政，众号一万，侵后魏荆河州之太仓口。魏将傅永率三千人击之。时康祚等军于淮南，永舍于淮北十有余里。永量吴楚之兵好夜斫营，即夜分兵为二部，出于营外。又以贼若夜来，必应于渡淮之所，以火记其浅处。永既设伏，乃密令人以瓠盛火度淮，南岸当深处置之。教云："若有火起，即亦然之。"其夜康祚、公政等果亲领兵来斫永营，东西二仗夹击之，康祚等奔趣淮水，火既竟起，不能记其本济，遂睹永所置之火而争度焉。水深溺而死，斩首者数千级，生擒公政，康祚人马坠淮，晓而获其尸。

又曰：东昏侯以刘山阳为巴西太守，配精兵三千，使过荆州就

行事萧颖胄以袭襄阳。梁武帝时为雍州刺史，知其谋，乃遣参军王天兽、庞庆国诣江陵遍与州府人书。及山阳西上，梁武谓诸将曰："荆州本畏襄阳[人]，又加以唇亡齿寒，自有伤弦之急，宁不暗同耶？我若总荆州之兵，扫定东夏，韩、白重出，不能为计。况以无算之昏主哉？我能使山阳至荆州便即授首，诸君试观何如。"及山阳至巴(兵)[陵]，梁武复令天兽赍书与颖胄兄弟。去后，梁武谓张弘策曰："夫用兵之道，攻心为上，攻城次之，心战为上，兵战次之，今日是也。先遣天兽往州府，人皆有书，令乘驿甚急，止有两封与行事兄弟，云'天兽口具'；及问天兽而口无所说，行事不暗相闻，不容矫有所道。天兽是行事心膂，彼闻必谓行事与天兽共隐其事，必人人疑。山阳惑于众口，必相嫌贰，则行事进无以自明，必恐漏吾谋内。是驰两空亟定一州矣。"山阳至江安，闻之，果疑不上。颖胄大惧，乃斩天兽，送首山阳，信之，将数十人驰入，颖胄伏甲斩之，送首梁武，以州归。

又曰：梁武帝发雍州，东下，雍州，今襄阳郡。大军次江宁。梁武使吕僧珍与王茂率精兵先登，梁武顿于越城，吕僧珍犹守白坂。齐主东昏将李居士密觇，知城中众少，率锐卒万人直来薄城。僧珍谓将士曰："今力既不敌，不可与战，可勿遥射，须至堑里，当并力破之。"俄而，皆越堑拔栅，僧珍分人上城，矢石俱发，自率马步三百人出其后，守陴者复逾城而下，内外齐击，居士等应时奔散。

《三国典略》曰：侯景叛，段韶夹涡而军。潜于上风纵火，景众骑入水，出而却走，草湿，火不复然。

《梁书》曰：司州刺史陈庆之率兵围东魏南荆州，东魏将尧雄、行台侯景救之。雄曰："苟堆，梁之北面重镇，因其空虚，攻之必克。彼若闻难，荆围自解，此所谓机不可失也。"遂举众攻之，庆之果弃荆州来，未至，雄陷其城，擒梁镇将荀元广。

又曰：陈庆之、曹仲宗伐后魏之涡阳。涡，孤和切。魏遣将元昭等率兵来援，前军至驰涧，去涡阳四十里。庆之欲逆战，诸将以贼

之前锋必是轻锐，与战若捷，不足为功，如其不利，沮我军势，兵法所谓以逸待劳，不如勿击。庆之曰："魏人远来，皆以疲倦，去我既远，必不见疑，及其未集，须挫其气，出其不意，必无败理。且闻虏所据营，林[木]甚盛，必不夜出。诸君若皆疑惑，庆之请独取之。"于是与麾下五百骑奔击，破其前军，魏人震恐。

又曰：梁襄州刺史柳仲礼留其长史马岫守安陆，自率步骑一万寇西魏。魏将杨忠帅众南伐攻梁随，克之，进围安陆。仲礼闻随郡陷，恐安陆不可守，遂驰归赴援。诸将恐仲礼至则安陆难下，请急攻之。忠曰："攻守势殊，未可卒拔。若引日劳师，表里受敌，非计也。南人多习水军，不闲野战，仲礼回师已在近路，吾出其不意，以奇兵袭之。彼怠我奋，一举必克，则安陆不攻自拔，诸城可传檄而定也。"于是选骑二千，衔枚夜进，遇仲礼于溠头，溠音槃，水所冲曰溠。忠亲自陷阵，擒仲礼，悉俘其众。安陆及竟陵郡如忠所策。

《陈书》曰：周炅镇安、蕲等州，高齐遣将陆骞以众二万出自巴、蕲与炅战。炅留羸弱辎重，设疑兵以当之，身率精锐由间道邀其后，大败骞军，虏获器械马驴不可胜数。

《北史》曰：后魏济阴王新成颇有武略，库莫奚侵扰，诏新成讨之。新成乃多为毒酒，贼逼便弃营而去。贼至竞饮，遂简轻骑击之，俘馘甚多。

又曰：梁将赵祖悦率水军偷据峡石，后魏将崔延伯率兵讨之。延伯夹淮为营，遂取车轮去辋削锐，其辐两接对，揉竹为纽，揉，人久切。贯连相属并十余道，横水为桥，两头施大辘轳，出没任情，不可烧斫。既断祖悦走路，又令舟舸不通，梁氏援军不能赴救，祖悦合军咸见俘虏。

《后魏书》曰：太武征夏赫连昌于统万城，师次城下，收众伪退。昌鼓噪而前。会有风雨从东南来，沙尘昏冥。宦者赵儿进曰："今风雨从贼后来，我向彼背，天助人。将士饥渴，愿陛下避之，更待后日。"崔浩曰："是何言欤！千日制胜，一日之中，岂得变易！贼前行

不止，后以离绝，宜分军隐出，掩击不意。风雨在人，岂有常也。”帝从之，分骑奋击，昌军大溃。

又曰：雍州刺史萧宝寅据州反，魏大将长孙稚讨之，军次弘农，副将杨侃曰：“昔魏武与韩遂、马超挟关为垒，胜负之理，久而无决。岂才雄相类，算(路)[略]抗衡，当以河山险阻，难用智力。今贼守潼关，全据形胜，纵曹操更出，亦无所逞奇。必须北取蒲坂，飞棹西岸，置兵死地，人有斗心，潼关之贼必睹风而散。诸处既平，长安自克。”稚曰：“贼党薛修义已围河东，薛凤贤又保安邑，都督宗正珍孙停[师]虞坂，久不能进。虽有此计，犹用为疑。”侃曰：“珍孙本行阵一夫，因缘进达，可为人使，未可使人。一旦受元帅之任，处分三军，精神乱矣，宁堪图贼。河东理在蒲坂，西带河湄，所部之人，多在东境。修义驱率壮勇，西围郡邑，父老妻弱，尚保旧村，若卒一临，方寸各乱，人人思归，则郡围自解。不战而胜，昭然在目。”稚从之，令其子彦等领骑与侃于弘农北渡。所统悉是骑士，习于野战，未可攻城，便据石锥壁。侃乃班告曰：“今且停军于此，以待步卒，兼观人情向背，然后[可]行。若送降名者，各自还村，候台军举烽火，亦举烽[火]应之，以明降疑。其无应烽者，即是不降之村，理须殄戮，赏赉军士。”民遂传相告报，未实降者，亦许举烽，一宿之间，火遍数百里内。宝寅将时围河东，不测所以，各自散归。长安贼平，侃颇有力。

又曰：河北贼葛荣别帅韩楼、郝长等有众数万，屯据蓟城，遣将侯泉率骑七百讨之。泉遂广张声势，多设供具，亲以数百骑深入楼境，欲执行人，以问虚实。去蓟百余里，值贼帅陈周马步万余，泉遂潜伏以乘其背，大破之，虏其卒五千余人。寻，还其马伏，纵令入城，左右谏曰：“既获贼众，何为复资遣之也？”泉曰：“我兵既少，不可力战，事须为计，以离隙之。”泉度其已至，遂率骑夜进。昧旦，叩其城门，韩楼果疑降卒为泉内应，遂遁走，追擒之。

又曰：河北贼葛荣率众将向洛阳，众号百万。大将军尔朱荣率精

骑七千，马皆有副，倍道兼行，东出滏口。葛荣自邺以北列阵数十里，箕张而进。荣潜军山谷为奇兵，分督将已上三人为一处，[处]有数百骑，令所在扬尘鼓噪，使贼不测多少。又以人马逼战，刀不如棒，密勒军士各赍棒一枚，置于马侧。至于战时，不听斩级，以棒棒之而已，虏沸腾逐北。乃分命壮勇所当冲突，号令严明，将士同奋。荣身自陷阵，出于贼后，表里合击，大破之，于(邺)[阵]擒葛荣。

又曰：傅永守楚王戍，萧齐将裴叔业来攻。永令填塞外堑，夜伏战士千人于城外。晓而叔业至，顿于城东，列阵，将置长围。永所伏兵于道左击其后军，破之。叔业乃令将佐守所列之阵，自率精甲数千救之。永上门楼，观叔业南行五六里许，便开门奋击，遂摧破之。叔业进退失图，于是奔走。左右欲追之，永曰："弱卒不满三千，彼精甲犹盛，非力屈而败，直堕吾计中耳。既不测我之虚实，足丧其胆。俘此足矣，何假逐之。"

又曰：太武帝亲征后燕将慕容德于邺战，前军败绩，德又欲攻之。别驾韩谆进曰："今魏不可击者四，燕不宜动者三。魏悬军远入，利在野战，一不可击也；深入近畿，致兵死地，二不可击也；前锋既败，后阵方固，三不可击也；彼众我寡，四不可击也。官军自战其地，一不可动；动而不胜，众心不固，二不宜动；隍池夫修，敌来无备，三不宜动。此皆兵机也。深沟高垒，以逸待劳，彼千里馈粮，野无所掠，久则三军糜资，攻则众旅多毙，师老衅生，详而图之，可以捷也。"德曰："韩别驾之言，良平之策也。"

又曰："大将广阳王元深伐北狄，使于谨单骑入贼中，示以恩信。于是西部铁勒酋长也列河等，[领]三万余户并款附，相率南迁。广阳欲与谨至折敦岭迎接之。谨曰："破六汗拔(陆)[陵]，兵众不少，闻也列河等归附，必来要击。彼若先据险要，则难与争锋。今以列河等饵之，当(竟)[竟]来抄掠，然后设伏而待，必指掌破之。"广阳然其计。拔陵果来要击，破也列河于岭上，部众皆没。谨伏兵发，贼遂大败，悉收列河之众也。

太平御览卷第二百八十八

兵部十九

机略七

《三国典略》曰：周贺若敦、陈侯瑱相拒于湘州。敦恐瑱知其粮少，乃于营内聚土，覆之以米，召其侧近村人，扬有所访，令其遥见。瑱闻以为实，乃据守要险，以老敦师。敦又增修壁垒，示以持久。[初]，土人乘轻骑，载米粟、笼鸡鸭以饷瑱军。敦患之，乃伪为土人，装船内甲士其中。瑱兵见船至送米，争取。敦甲士出而擒之。

《后周书》曰：太祖以王罴为大都督镇华州。魏孝武西迁，拜骠骑大将军，加侍中、开府。尝修州城未毕，梯在外。齐神武遣韩轨、司马子如从河东宵济袭罴，罴不之觉。比晓，轨众以乘梯入城。罴尚卧未起，闻阁外汹汹有声，便袒身露髻徒跣，持一白挺，大呼而出。敌见之惊，逐至东门，左右稍集，合战破之。轨众遂投城遁走。

又曰：陆腾。陵州木笼獠恃险粗犷，每行抄劫，诏腾讨之。獠既因山为城，攻之未可拔。腾遂于城下多设声乐及诸杂技，示无战心。诸贼果弃其兵仗，或携妻子临城观乐。腾知其无备，密令众军俱上，诸贼惶惧，不知所为。遂纵兵讨击，尽破之。

又曰：杨忠。梁雍州刺史、岳阳王萧察虽称藩附，而尚有二[心]。忠自穰城观于汉滨，易旗递进，实骑二千，察登楼望之，以为三万，惧而服焉。

又曰：韩褒为汾州刺史。[州]界北接大原，当千里径。先是高齐寇数入，人废耕桑，前后刺史莫能防捍。褒至，适会寇来，褒乃不下属县。人既不设备，以故多被抄掠。齐人喜相谓曰："汾州不觉

吾至，先未集兵。今者之还，必莫能追蹑我矣。"由是益懈，不为营垒。褒已先勒精锐，伏北山中，分据险阻，邀其归路。乘其众怠，纵伏击之，尽获其众。

又曰：东魏寇龙门，屯军蒲坂，造三道浮桥渡河。又遣其将窦泰趣潼关，高敖曹围洛州。太祖出军广阳，召诸将曰："贼今掎吾三面，又造桥于河，示欲必渡，是欲缀吾军，使窦泰得西入耳。久与相持，其计得行，非良策也。且欢起兵以来，泰每为先驱，其下多锐卒屡胜而骄。今出其不意，袭之必克。克泰则欢不战而自走矣。"诸将咸曰："贼在近，舍而远袭，事若差跌，悔无及也。"太祖曰："欢前袭关，吾军不过霸上。今者大来，兵未出郊。贼顾谓吾但自守耳，无远斗意。又忸于得志，有轻我之心。乘此击之，何往不克。贼虽造桥，未能径度。比五日中，吾取窦泰必矣。公等勿疑。"庚戌，太祖率骑六千还长安，声言欲保陇右。辛亥，谒帝而潜出军。癸丑旦，至小关。窦泰卒闻军至，惶惧，依山为阵，未及成列，太祖纵兵击破之，尽俘其众万余人。斩泰，传首长安。高敖曹适陷洛州，执刺史泉企，闻泰之殁，焚辎重弃城走。齐神武亦撤桥而退。

《通典》曰：后周末，隋文帝为丞相，益州总管王谦举兵拒命，隋文遣将梁睿讨之，进至龙门。谦将赵俨、秦会拥众十万，据险为营，周亘三十里。睿令将士衔枚出间道，四面奋击，破之。王谦又令高阿那瑰、达奚惎惎，渠记切。等以盛兵攻利州。闻梁睿将至，惎分兵据开远。睿谓将士曰："此虏[据]要，欲遏吾兵势，吾当出其不意，破之必矣。"遣一将趋剑阁，一将(指)[诣]巴西，一将水军入嘉陵。睿遣将分道攻惎，自午及申，破之。惎奔归于谦。睿进逼成都，谦令达奚惎城守，亲率精兵五万，背城结阵。睿击之，谦不利，将入城，惎以城降，谦将麾下三十骑遁走，斩之。

又曰：后周将法尚初自陈来归，陈将樊猛济江讨之。法尚遣部曲督韩朗诈为背己奔于陈，伪告猛曰："法尚部兵不愿降，北人皆窃议尽欲叛还，若得军来，必无斗者，自当于阵倒戈耳。"猛以为然，引

师急进。法尚乃佯为畏惧，自保于江曲。猛阵兵挑战，法尚先伏轻船于浦中，又伏精锐于古村之北，自张旗帜，逆流拒之。战数合，伪退，登岸投古村。猛舍舟逐之，法尚又疾走，行数里，与村北军合，复前击猛。猛走，退赴船。既而浦中伏船取其舟楫，建周旗帜。猛于是大败，仅以身免。

又曰：后周末隋文帝辅政，周大将尉迟迥在河北拒命，河南州县多从。迥遣将檀让屯成武，别将高士儒屯永昌。隋将于仲文诈移书州县曰："大军将至，可移积粟。"让谓仲文未能卒至，方挥牛享士。仲文知其怠，选精骑袭之，一日便至。遂拔成武。迥将席毗罗，众十万，屯于沛县，将攻徐州。其妻子住金乡。仲文遣人诈为毗罗使者，谓金乡城主徐善净曰："檀让明日午到金乡，将宣蜀公即尉迟迥令，赏赐将士。"金乡人谓为信然，皆喜。仲文简精兵，伪建迥旗帜，倍道而进。善净遥见文仲军且至，以为檀让，乃出迎谒。仲文执之，遂取金乡。诸将多劝屠之，仲文曰："此城是毗罗起兵之所，当宽其妻子，其兵可自归。如即屠之，彼意绝矣。"众皆称善。于是毗罗恃众来薄官军，仲文背城结阵，出军数里，设伏于麻田中。两阵才合，伏兵发，俱曳柴鼓噪，尘埃蔽天。毗罗军大溃，仲文乘之，贼皆投漆水而死，水为之不流。获檀，槛送京师，河南悉平。

又曰：后周末，隋文作相，遣将于仲文先以兵定关东，破尉迟迥将檀让。初，仲文在蓼堤，诸将皆曰："军自远来，士马疲弊，不可决胜。"仲文令三军趣食，列阵大战。既而破贼，诸将皆请曰："前兵疲不可交战，竟而克胜，其计安在？"仲文笑曰："吾所部皆山东人，果于进，不宜持久。乘势击之，所以制胜。"诸将皆以为非所及。

又曰：后周将达奚长儒围陈将吴明彻于吕梁，陈遣骁将刘景率劲勇七千来为声援。长儒于是取车轮数百，系以大石，沉之清水，连毂相次，以待景军。景至，船盘碍轮，不得进。长儒乃纵奇兵，水陆俱发，大破，因擒明彻。

又曰：后周遣将率突厥之众逼齐晋阳，齐将段韶御之。时大雪

之后，周人以步卒为前锋，从西山而下，去城二里。诸将咸欲逆击之，韶曰："步人气力，势自有限，今积雪既厚，逆战非便，不如阵以待之。彼劳我逸，破之必矣。"既而交战，大破之，敌前锋尽殪，无复孑遗，自余通宵奔遁。

又曰：后周遣将讨高齐，围洛，齐将段韶御之。韶登邙坂，聊欲观周军形势。至太和谷，便值周军，即遣驰告诸营，与诸将结阵以待之。周军以步人在前上逆战，韶以彼徒我骑，且却且引，待其力弊，乃遣下马击之。短兵始交，周人大溃，洛城之围，并即奔遁。

又曰：西魏末，岷州羌据州城反，魏将独孤信讨之。勒兵向万年，顿三交谷口。贼并力拒守，信因诡道趋(绸)[稠]松岭。绸，直由切。贼不虞信兵之至，观风奔溃。乘胜逐北，径至城下，贼出降。

又曰：西魏末，凉州刺史宇文仲和据州不受代，魏将独孤信率兵讨之。仲和婴城固守，信夜令诸将以冲梯攻其东北，信亲帅壮士袭其西南，迟明克之。迟，直吏切，未明也。天未明之时须已袭之，事毕然后天明，明迟于事也。

又曰：西魏末，蠕蠕侵魏，魏大将元纂御之。蠕蠕遂逃出塞。纂令将于谨率二千骑追之，至郁郅原，前后十七战，尽降其众。率轻骑出塞觇贼，属铁勒数千骑奄至，谨以众寡不敌，退必不免，乃散其众骑，使匿丛薄间，又遣人升山指麾，若分部军众者。贼遥见，虽疑有伏兵，既恃其众，不以为虑，乃进军逼谨。谨[以]常乘骏马一紫一骒，贼先所识，乃使二人各乘一马，突阵而出。贼以为谨也，皆争逐之。谨乃率余军击其追骑，贼遂奔走，因得入寨。

又曰：西魏末，遣将史宁与突厥木汗可汗同伐吐谷浑，俱会于青海。宁谓木汗曰："树敦、贺真二城是吐谷浑巢穴，今若拔其本根，余种自然离散，此上策也。"木汗从之，即分为两军，木汗从北道向贺真，宁趣树敦。吐谷浑婆周王率众逆宁，宁击斩之，逾山履险，遂至树敦。即吐谷浑之旧都，多诸珍藏，而其主先已奔贺真，留其征南王及数千人固守。宁进兵攻之，伪退，果开门逐之，因回兵奋

击。门未及阖，宁兵遂得入，生获其征南王，俘虏男女财宝，尽归诸突厥。

又曰：东魏西荆州为梁将曹义宗所围，东魏召人赴救，慕容俨应募赴之。时东魏北淯太守宋带剑谋叛，淯，音育。俨乃轻骑，出其不意，直至城，语云："大军已到，太守何不出迎？"带剑造次，惶恐不知所为，便出迎俨，即执之，一郡遂定。

又曰：东魏初，齐神武破尔朱兆。兆奔保秀容，分兵守险，出入钞掠。神武每扬声云欲讨之，师出复止，如此者数四。神武揣兆岁首必应会饮，使将窦泰率精骑先，一日一夜行三百里。兆军人因宴休惰，忽见泰军，莫不夺气。因而克之。

又曰：东魏将齐神武率兵伐西魏，大军济河，集诸将议进趣之计。斛律羌举曰："宇文黑獭虽聚凶党，强弱可知。若固守，无粮援可恃。今揣其情，以同困兽。若不然，其战而径趣，长安空虚，可不战而克。拔其根本，彼无所归，则黑獭之首悬于军门矣。"诸将议有同，遂战于渭曲，大败而归。齐神武违之，故败也。

又曰：东魏末，齐神武薨，子澄立。侯景叛归梁，而围彭城。澄遣慕容绍宗讨之，将战，绍宗以梁人剽悍，恐其众之挠也，一一引将卒而诳之曰："我当佯退，诱梁人使前，汝可击之。"皆申明诫之。景又命梁人，逐北勿过二里。会战，绍宗实败走，梁人不用景言，乘败深入。魏人以绍宗言为信，争共掩击，遂大破之。

又曰：东魏遣将斛律金寇西魏洛阳，师至于河北。周文帝患其度河，乃于上流纵火船而下，以烧河桥。金先备小艇半盛以水，铁锁连之，亘绝中流。火船至而不前，须臾火灭，而桥获存，遂进军洛阳。

又曰：东魏将齐神武伐西魏，军至许原西。周文帝至渭南，征诸州兵皆来会，乃召诸将谓之曰："高欢越山度河，远来至此，天亡之时也。今及其新至，便可击之。"即造浮桥于渭，令军人赍三日粮，轻骑度渭，南夹渭而军。至沙苑，距齐神武军六十余里。齐神

武闻周文至，引军来会，睹周文军少，竟驰而进，不行列，总萃于左。军兵将交，周文鸣鼓，士皆奋起。其将于谨等六军与之合战，李弼等率铁骑横击之，绝其军为二，遂大破之，斩六千余级，临阵降者二万余人。齐神武夜遁，追至河上，复大克获，前后虏其卒七万，留其甲士二万，余悉纵归。

又曰：齐神武大举伐西魏，将渡蒲津，其将薛琡曰：琡，吕六切。"西贼连年饥馑，但宜置兵诸道，勿与野战，比及来年麦秋，人众尽应饿死，西贼自然归降，愿无渡河也。"侯景亦曰："今者之举，兵众极大，万一不捷，卒难收敛，不如分为二军，相继而进。前军若胜，后军全力，前军若败，后军承之。"神武皆弗纳，遂有沙苑之败。

又曰：齐神武与魏孝武帝构隙，自太原举兵逼洛阳。帝遣将元斌之斛斯椿镇武牢，椿，丑伦切。遣使告周文帝。文帝谓左右曰："高欢数日行八九百里，晓兵者所忌，正须乘便击之。而主上以万乘之重，不能渡河决战，方缘津据守，且长河万里，扞御为难，若一处得渡，大事去矣。"果如其言。帝西奔长安。孝武违而败也。

太平御览卷第二百八十九

兵部二十

机略八

《隋书》曰：杨义臣与汉王将乔钟葵相拒。义臣自以兵少，悉取军中牛驴，得数千头，复令兵数百人，人持一鼓，潜驱之涧谷间，出其不意。义臣晡后复与钟葵战，兵初合，命驱牛驴者疾进。一时鸣鼓，尘埃张天，钟葵军不知，以为伏兵发，因而大溃，纵击破之。以功进位上大将军。

又曰：长孙晟讨突厥达头，晟进策曰："突厥饮泉，易可行毒。"因取诸药毒水上流，达头人畜饮之多死。于是大惊曰："天雨恶水，其亡我乎？"因夜遁，晟追之，斩首千余级。

又曰：高颎献取陈之策曰："江北地寒，田收差晚；江南土热，水田早熟。量彼收获之际，征集士马，声言掩袭，必屯兵御守，足得废其农时。彼既聚兵，我便解甲。再三若此，贼以为常，后虽集兵，彼必不信。持疑之顷，我乃济师，登陆而战，兵气益壮。"文帝行其策，陈人益弊。

又曰：贺若弼镇淮南。先是，弼请缘江防人每交代之际，必集历阳。于是大列旗帜，营幕被野。陈人以为大兵至，悉发国中士马。既知防人交代，其众复散。后以为常，不复设备。其后弼以大军济江，陈人弗之觉也。遂灭陈。

《通典》曰：隋末王世充与李密相持于东都。充夜渡，阵于洛水之北。其时密亦渡洛水，阵兵与充相对月城，西至石窟。密兵多马骑长枪，宜路宽放纵；充兵多戈矛拜殪，宜隘险。然南逼洛水，北限

大山，地形褊促，骑不成列，纵横蹙之，密军失利。密与数子登船南济，自余兵马皆东走月城。充乘胜长驱，直至月城下。密既渡南岸，即策马西上，直向充本营，左右麾旌相继而至。充营内见密兵来逼，急连举六烽。充乃舍月城之围，收兵西退，自洛北达于黑石，中间四十余里，奔赴颠狈，大丧师徒。密之行也，东北之围不救，而自解西南之寇，不战而成功。充伏其权奇，不复轻出。

又曰：隋汉王谅据并州。及隋将杨素率众数万讨谅。时晋、绛、吕三州并为谅城守，素各以二千人縻之而去。谅遣将赵子开拥众十余万拦绝径路，屯据高壁岭，布阵五十里。素令诸将以兵临之，自引兵入霍山，缘崖谷而进，直指其营，一战破之，杀获数万。

又曰：隋开皇中，文帝大议伐陈。诸将皆云："大江阔远，兵不习水，以此为疑，若一登南岸，秦兵一可当百。"襄邑公贺若弼献十策，其一事，请多造船。须船既多，贼必防拟更甚。今南地无马，请付傍江诸州，二十岁已上老马，令饲，以平陈为名，贼必惧，求马拟战。密敕刺史私卖博大船。江南下湿，特不宜马，不逾周年，并当死尽，终不为彼用。陈主陈叔宝果大造船市马；输船既多，方觉不便，而止。高颎请所博得船，运诸州米贮寿阳城，役徒于寿阳，穿大池，以鱼莲遨游为名，造船教水战。仍以贺若弼为寿阳总管，终以此平陈。

又曰：隋将军刘方率兵讨林邑国。其王梵志率其徒乘巨象而战，方军不利。方于是多掘小坑，草覆其上，因以兵挑之。梵志悉众而阵，方以战伪奔北。梵志逐之，至坑所，其众多陷，转相惊骇，军遂乱。纵兵击，大破之。

又曰：隋末宇文化及杀炀帝，后率兵来攻李密于黎阳。密知化及粮且尽，因伪与和，弊其众。化及弗之悟，大喜，恣其兵食，冀密馈之。会密下有人获罪，亡投化及，具以告密情。化及大怒，其食又尽。乃度永济渠，与密战于童山之下，自辰达酉。密为流矢所中，顿于汲县，化及掠汲郡，北趣魏县。其将王智略、张童仁等率所

部兵，归于密者，前后相继。

又曰：隋末杨玄感反，攻东都，刑部尚书卫玄[与玄]感战，兵始会，玄感诈令人大呼曰："官军已得玄感矣！"官军稍怠。玄感与数千骑乘之，(玄感兵)于是大溃。

又曰：隋炀帝征高丽，隋将于仲文率军从乐浪道。军次乌骨城，仲文拣羸马驴数千，置于军后。既而率众东过，高丽出兵掩袭辎重，仲文回击，大破之。

又曰：隋汉王谅作乱，遣其将余公理自太行下河内。隋将史祥讨之，军于河阴，久不得济。祥谓军吏曰："余公理轻而无谋，才用素不足称，又新得志，谓其众可恃。恃众必骄，且河北人先不习兵，所谓拥市人而战，不足图也。"乃令军中修攻具，攻河阳。公理使谍知之，果屯兵于阳内城以备祥。祥于是般船河南。公理聚甲以当之，祥乃简精锐于下流潜度，公理率众拒之。祥至泂水，泂，古间切。两军相对，公理未成列，祥纵击，大破之。

又曰：隋末李密破宇文化及还，其劲兵良马多死。隋将王充守东都，欲乘其弊，练精勇得二万余人，马千余匹于洛水南。密军偃师北山上。时密新得志于化及，有轻充之心，不设壁垒。充夜遣二百余骑潜入北山，伏溪谷中，令军士秣马蓐食。既而宵济，人奔马驰，迟明而薄[密]，密出兵应之，阵未成列而两军合战，其伏兵蔽山而上，潜登北原，乘高而下，驰压密营。营中乱，无能拒之者。即入纵火，密军大惊而溃。

《唐书》曰：太宗屯武牢，窦建德悉众而南，陈兵于汜水，王[世]充将郭士衡阵于南，周亘数里，鼓噪请战，诸将大惧。太宗[将]数骑升高丘，安坐以望之，谓诸将曰："贼起山东，未见大敌。今度险而嚣，是无政令；逼城而阵，有轻我心。我按兵不出，彼乃气衰，阵久卒饥，势将自退，追而击之，何往不克！吾与公等为约，必以午后破之。如或不然，寡人为无谋矣。"建德乃遣兵涉汜水，太宗令总管王君廓以少击之。待河北马渡，方欲与战。建德列阵，自辰至午，

士卒饥倦，人皆坐列，又争饮水。太宗乃令宇文士及将三百骑，经贼阵之西驰而南上。诫之曰："贼若不动，汝宜引归；如觉动，宜出东面。"士及才过，贼众果动，逡巡欲退。太宗曰："可以击也。"亲率轻骑追而诱之，众军继至。建德回师[而]阵，未及整列，太宗先登以击之，所向皆靡。俄而众军合战，嚣尘四起。太宗率史大奈、程咬金、秦叔宝、宇文歆等缠幡而入，出其阵后，张我旗帜。贼顾见之，众乃大溃。追奔三十里，斩首三千余级，虏其众五万余人，一时放散。

又曰：太宗讨刘黑闼，相持两月余。黑闼率步骑二万，南渡洺水，结阵而至，晨压我营。太宗遣轻骑当之，贼皆殊死战。于是亲率精骑，击贼马军，破之；因乘胜蹂其步卒。自午及昏，战数合，贼大溃，斩首万余级。溺水死者数千人。黑闼与二百人北走，悉虏其众。先是，太宗遣兵堰洺上流，令黑闼得渡；及战之日，遽令决堰，水大至，深丈余，贼众以为神，由是败走。

又曰：武德中，突厥颉利、[突利]二可汗到原州，太宗率兵拒之。雨甚，太宗乃召诸将，谓之曰："虏控弦鸣镝，弓马是凭。今雨弥时，弧矢俱弊，突厥人众如鸟矢所介切。羽。我屋宿火食，枪槊犀利。料我之逸，揣敌所劳，此而不乘，夫复何待？今欲先令劲兵乱其阵，乃率突骑驱其后。虏俗进不相让，退不相救。自[此]以北，涧谷深长，特有一道，鱼贯以度，因而迫之，彼十万骑坑阱中物耳。追至黄河，纵不尽擒，必当十获八九，此晓兵者所以解。诸君勿疑。"于是潜师夜出，冒雨而进，丑徒震骇。因纵反间于突利，悦而归心。二可汗内离，颉利欲战不可，因请和而去。

又曰：贞观中，苏定方率兵讨突厥。贺鲁大雪，平地二尺，军中咸请停兵候晴，定方曰："虏恃雪深，谓我不能前进，必当憩息，追之可及。若缓以纵之，则渐远难追。省日兼功，在此举也。"于是勒兵凌雪，昼夜兼进，所经收其人众。遂至双河，去贺鲁所居二百余里，布阵长驱，径至金牙山贺鲁牙帐。时贺鲁集众欲猎，定方纵兵击

之，尽破其牙帐，生擒数万人。贺鲁脱走，投石国。定方于是悉命诸部归其所居，埋瘗骸骨，存问疾苦，复其产业。贺鲁所虏掠者，悉捡责还之。于是西域诸国，安堵如故。令副将萧嗣业往石国，以追贺鲁，遂擒归于京师。

又曰：贞观中，突厥诸部离叛，朝廷将图进取，以李靖为代州道行军总管，率骁骑三千，自马邑出其不意，直趋恶阳岭以逼之。突利可汗不虞于靖，见官军奄至，[于是大惧，]相谓曰："唐兵若不倾国而来，靖岂孤军而至。"一日数惊。四年，靖进击定襄城，破之。突厥部落并走碛北，突利可汗来奔。

又曰：贞观中吐谷浑寇边，以李靖为西海道行军大总管，统兵部尚书侯君集、刑部尚书任城王道宗等五总管征之。军次伏埃城，吐谷浑烧去野草，以(馁)[馁]我师，退保大非川。诸将咸言春草未生，马已羸疲，不可赴敌。惟靖决计而进，深入敌境，遂逾积石山。前后战数十合，杀伤甚众，大破其国。

又曰：武德中，突厥突利，颉利二可汗到原州，太宗率兵拒之。两阵将交，太宗以数骑出，谓之曰："不念昔者香火之言，乃来相侵。"知二可汗外同内异，故以此言疑之。颉利见太宗轻出，又闻香火之言，乃阴猜突利，因遣使曰："王不须虑，我无恶意，更欲与王自断当耳。"于是敛军引却。

又曰：贞观中，北狄铁勒薛延陀，发同罗、仆骨、回纥等众，合二十万，度汉，屯白道川。据善阳岭，以击突厥可汗李思摩之部。思摩引其种落走朔州，留精骑以拒战，延陀乘之。及塞，太宗令张俭、李绩等率兵数道击之，时太宗诫之曰："延陀负其兵力，逾漠而来，经途数千，马已疲瘦。夫用兵之道，见利速进，不利速退。其掩思摩，不能疾击。思摩既入长城，又不能速退。吾先敕思摩烧薙杀草，延陀粮食日尽，野无所获。顷者侦人来云，其马啮啖林木，枝皮略尽。卿等掎角思摩，不须前战，俟其将退，一时奋击，制胜之举也。"于是李绩击延陀之众，破之。先是，延陀击突厥沙钵罗及杜

尔，皆以步兵战而胜。及其将来寇也，先讲武于国中，教习步战，每五人，以一人经习战阵者使执马，而四人前战，克胜即授马以追奔，失于应接，罪至于死，没其家口，以赏战人，至是遂行其法。突厥先合(趣)[辄]退，延陀乘胜而逐之。绩兵拒击，而延陀万矢俱发，伤我战马。李绩乃令去马步陈，率长矟数百为队，齐奋以冲之，其众溃散。副总管薛万彻率数千骑收其执马者，其众失马，莫知所从，因击之，乃大败。

又曰：武后初，徐敬业起兵于扬州。武太后令将军李孝逸讨之。敬业拒于高(卸)[邮]之下阿溪。敬业置阵既久，士卒多疲怠，皆顾瞻，阵不能整。孝逸遂率众击之，因风纵火。敬业惧烧而退，孝逸进击，大破之。

又曰：武德中，薛万均与罗艺守幽、燕，窦建德率众十万来至范阳。万均谓艺曰："众寡不敌，今若兵斗，百战百败，当以计取。可令羸兵弱马阻水背城为阵以诱之。贼若度水，请公精骑百人伏于城侧，待其半度而击之，破之必矣。"从之。建德[果]引兵度水，万均击之，大破。

又曰：武德初，王世充据东都。太宗往征之，屯青城宫。营垒未立，王世充众二万自方诸门出临瀍水以御大军。诸将甚惧，太宗以精骑陈于北邙，登后魏宣武陵以观贼阵，谓左右曰："贼势迫矣，悉众而出，利在一战。今日破之，其后不能出矣。"乃令屈突通率步卒五千度水布阵以当之，因戒通曰："待兵交即放烟，吾当率马军南下。"兵才接，太宗以骑冲之，挺身先进，[与通]表里合势。贼众殊死战，散而复合者数焉。地既险隘，贼多拜赣，赣，艇也。拜，算也。骑战稍难。太宗亲自射之，莫不应弦而倒。起辰及午，贼众始退。因乘之，迫于城堑，俘斩七千人，自是不敢复出。

又曰：高宗遣将军裴行俭讨突厥于黑山，至朔州，谓其下曰："兵法尚诈者，以权谋制敌也。若御其下，则非诚信不可行。遣副将萧嗣业运粮被掠，兵多馁死，所以败也。狡寇狃忕，不可以不

备。"乃诈为粮车三百乘，每车伏壮士五人，各赍陌刀、劲弩，以羸兵数百人援之，兼伏精兵居险以待之。贼果大下，羸兵弃车散走。贼驱马就泉井，解鞍牧马，方拟取粮，车中壮士齐发，伏兵亦至，杀获殆尽，贼众奔溃。自是续遣粮运，无敢近之者。

又曰：马燧为魏博招讨使。田悦求救于淄青、恒州，李纳遣大将卫俊将兵仅万人以救悦，李惟岳亦遣三千余人救[援]。悦收合散兵二万余，壁于洹水，淄青军其东，恒州军其西，首尾相应。燧帅诸军进屯于邺，奏请益河阳兵，诏遣河阳节度使李芃将兵会之。军次于漳，悦遣将王光进以兵守长桥，筑月城以为固，军不得渡。燧乃于下流以兵车数百乘，维铁锁，绝中流，实以土囊以遏水，水稍浅，诸军毕渡。是时军粮少，悦深壁不战，欲老燧军。燧令诸军持十日粮以前，进次仓口，与悦等夹洹水而军。李抱真等问曰："粮少而深入，何也？"燧曰："粮少利速战，兵法善于致人而不致于人。今田悦与淄青、恒州三军为首尾，计[欲不战]以老我师，若分军击其左右，兵少未可必破，悦且来救，是前后受敌也。兵法所谓攻其必救，固当战也。燧为诸公合而破之。"燧乃造三桥逾洹水，日挑战，悦不敢出。恒州兵自以军少，惧为燧所并，引军合于田悦。燧又令于军中曰："悦死伤之余，安敢出战？所恃者，淄青军尔，吾当先破纳军，则田悦坐受降也。"淄青军闻，惧，亦引军合于田悦。谓燧明日复战，乃伏兵万人，欲邀之。燧乃令诸军半夜皆食，先鸡鸣时击鼓鸣，潜师旁洹水西，径趋魏州，令曰："闻贼至，即止为阵。"又令百骑鸣鼓角留于后，仍抱薪持火，待军止鼓角，匿其旁，伺悦军[毕]渡，焚其桥。军行十数里，悦乃率淄青、恒州兵步骑四万余，逾桥掩其后，乘风纵火，鼓噪而进。燧乃坐军前，除草斩榛棘广百步以为阵，募勇士得五千余人，分为前引，以俟贼至。比悦军至，则火灭气乏，力少衰，乃纵击之，悦大败。时神策、昭义、河阳军小却，河东军胜，诸军还斗，合击又大破之。迫切洹水，悦军走桥，桥已焚矣。悦军乱，赴水，斩首二万，杀贼大将孙晋卿、安墨啜，生获三千余人，溺

水死者不可胜数。淄青军殆尽，死者相枕藉三十里。悦收兵得千余人走，夜至魏州。

又曰：元和十二年，唐邓节度使李愬奏以九月二十六日围蔡州吴房县，攻其外城，毁之，斩首千余级。初将出攻，左右白以"往亡日，请避之。"愬曰："贼以往亡，谓吾不能来，正可击也。"及战胜而归，贼以枭骑五百追愬，愬下马据胡床，令于众曰："后回戈者斩！"由是众悉力战，射杀贼将孙忠宪，贼众乃退。或劝愬曰："乘其退，可遂拔吴房。"愬曰："取之，贼必合势而固其穴，不如留之，使分其力。"

太平御览卷第二百九十

兵部二十一

料敌上

《孙子》曰：用兵之道，校之以五计而索其情。索其胜负之情。索，搜索之义也。曰主孰有道？将孰有能？道德智能，主君也。先当校两国之君主，知能否也。若荀息断虞公贪而好宝，宫之奇懦，不能强谏。天地孰得？视两军所据，知谁得天时地利。法令孰行？设而不犯，犯而必诛。号出令知谁能施行也。兵众孰强？士卒孰练？知谁兵器强盛，士卒简练者，故王子曰：主不素习，当阵惶惑；将不素习，临阵倒变是也。赏罚孰明？赏善罚恶知谁分明者也。赏无度则费而无恩，罚无度则戮而无威。吾以此知胜负矣。以上七事，料敌情知胜负所在。敌知吾卒之可用以击之，不知敌之不可击，胜之半也。知敌之可以击，而不知吾卒之不可以击，胜之半也。知敌之可以击，知吾卒之可击，而不知形之不可以战，胜之半也。胜之半者，未可知也。故曰：知兵者动而不迷，举而不顿。将[不]能料敌，以少合众，以弱击强，兵无选锋，曰北。其势若此，必走北之兵也。夫料敌制胜，计极险易，利害远近，上将之道也。知此而用，战者必胜；不知此而用，战者必败。夫惟无虑而易于敌者，必擒于人也。己无智虑而外易人者，必为人擒。故策之而知得失之计，策度敌情，观其所施，则计数知。候之而知动静之理，喜怒动作，察其举止，则精理可知也。故知动静权变为胜。形之而知死生之地，形相敌情，观其所得而知之。角之而知不足有余之处。角，量也。角量彼我军马之使，则长短可知。

又曰：兵者诡道，兵无常形，以诡诈为道。故 校之以五计而索其情。一曰度，二曰量，三曰数，四曰称，五曰胜。胜败之数，用兵之法，当此事称量敌之情也。地生度，因地形度形势。度生量，量生数，知其远近广狭，知其数

量。数生称，称量敌与己。称生胜。称量人之故知其势，胜负所在也。故胜兵若以镒称铢，败兵若以铢称镒。轻不能相举动也。胜之战者，人也；若决水于千仞之溪者，形也。仞，七尺也。其势疾也。

《左传》曰：吴子入越，越子以甲盾五千，保于会稽。请行成，伍员曰："不可。臣闻务德莫如滋，去疾莫如尽。违天而长仇，虽悔之，不可矣。"王不听。退而告人曰："二十年之外，吴其为沼乎！"

又曰：吴师在陈，楚大夫皆惧。子西曰："二三子恤不相睦，无患矣。昔阖庐食不贰味，居不重席，勤恤其民，而与之劳逸。今闻夫差次有台榭陂池焉，宿有妃嫱嫔御焉。视民如仇，而用之日新。夫差先自败也已，安能败我者也。"

又曰：楚子伐郑，晋师救之。楚子北，师次于郔。郔，郑北地。郔音延。闻晋师济河，楚子欲还。伍参言于楚子曰：晋之从政者新，未能行令。其佐先縠刚愎不仁，未肯用命，其三帅者专行不获，欲专其所行而不得。听而无上，众谁适从？此行也，晋师必败。"楚改乘辕而北之，次于管以待之，晋师在敖、鄗之间。敖，五劳反。鄗，许各反。晋魏锜求公族未得，欲为公族大夫。而怒，欲败晋师。请致师，不许。请使，许之。使，所吏反。遂往，请战而还。赵旃求卿未得，挑战不许。请召盟，许之。与魏锜皆命而往。郤克曰："二憾往矣，弗备必败。"随会曰："若二子怒楚，楚人乘我，丧师无日矣。乘，犹登也。不如备之。楚之无恶，除备而盟，何损于好？若以恶来，有备不败。且虽诸侯相见，军卫不彻，警也。"先縠不可。不设。随会使巩朔、韩穿帅七覆于敖前，帅，将也。覆为伏兵七处。故上军不败。而中军下军皆败绩。

又曰：吴师伐楚州来，楚救之。吴人御诸仲离。楚将子瑕卒，楚师熸。吴楚之间谓火灭为熸。军之重主丧亡，故其军人无复气势也。熸，子廉反。吴将公子光曰："诸侯从于楚者众，而皆小国也。畏楚而不获已，是以来。吾闻之，作事威克其爱，虽小必济。克，胜也。军事尚威。胡、沈之君幼而狂，性无常也。陈大夫喘壮而顽，顿与许、蔡疾楚政。大将

死，其师熸，蓬越为帅，帅戮多宠，政令不壹。越非正卿也，军多宠人，政令不一于越也。七国同役而不同心，七国：楚、顿、胡、沈、蔡、陈、许也。帅戮而不能整，无大威命，楚可败也。先分师以犯胡、沈与陈，必先奔。诸侯之师乃摇心矣。诸侯乖乱，楚必大奔。请先者去备薄威，示之以不整以诱之。后者敦陈整旅。"敦，厚。吴子从之。战于鸡父。音甫。吴子以罪人三千，先犯胡、沈与陈。囚徒不习战，以示不整也。三国争之。吴为三军以击之其后：中军从王，光帅右军，掩余帅左军。吴之罪人或奔或止，三国乱。吴师击之，败，获胡、沈之君及陈大夫。舍胡、沈之囚，使奔许与蔡、顿，曰："吾君死矣！"师噪而从之，三国奔。三国：许、蔡、顿也。楚师大奔也。

又曰：晋侯将伐虢，大夫士蔿曰："不可。虢公骄，若骤得胜于我，[必]弃其民。弃民不养也。无众而后伐之，欲御我谁与？"夫礼乐慈爱，战所蓄也。夫民让事乐和，爱亲哀丧而后可使也。上之(吏)[使]民，以义让哀乐为本，言不可以力强。虢弗蓄也，亟战将饥。"言虢不蓄义让而力战也。后终为晋所灭。

又曰：秦伯伐晋，晋将赵盾御之。上军佐(吏)[臾]骈曰："秦不能久，请深垒固军以待之。"秦人欲战，秦伯谓士会曰："若何而战？"晋士会奔秦。对曰："赵氏新出其属曰臾骈，必实为此谋，将以老我师也，臾骈，赵盾属大夫，新出佐上军。赵有侧室曰穿，晋君之婿也，侧室，枝子。有宠而弱，不在军事，弱，年少又未尝涉知军之事。好勇而狂，且恶臾骈之佐上军也。若使轻者隶焉，其可也。"隶，暂住而追退。秦军掩晋上军，赵穿追之，不及。上军不动，赵穿独追之。返，怒曰："裹粮坐甲，固敌是求，敌至不击，将何俟？"军吏曰："将有待也。"待可击之。穿曰："我不知谋，将独出。"乃以其属出。赵盾曰："秦获穿也，获一聊矣。晋自有数位从卿者。秦以胜归，我何以报？"乃皆出战，交绥而退。《司马法》曰：逐奔不远，从绥不及。逐奔不远则难携，从绥不及则难陷。然则古名退军为绥，秦晋亦未能坚战，短兵未致争而两退，故曰交绥也。

又曰：晋师伐楚。四月，甲午晦，楚晨压晋军而阵。晋大夫郄至曰："楚有六间：古苋切。其二卿相恶；子重、子反。王卒以旧；罢老不

代。郑阵而不整；不整列。蛮军而不阵；蛮夷从楚者不结阵。阵不违晦；晦，月终，阴之尽也，故兵家以为忌。在阵而嚣，嚣，谖喧也。合而加嚣，阵合宜静而益其声。各顾其后，莫有斗心。旧不必良，以犯天忌。我必克之。"终败楚于鄢陵。

《史记》曰：庞涓追孙膑，膑量其行，暮当至马陵。道狭而旁多阻险，可伏兵，乃大斫树白而书之曰："庞涓死此下。"于是令齐军善射者万弩，夹道而伏，期曰："见火起而俱发。"庞涓夜至斫树下，见白书，乃钻火烛之。读书未毕，齐军万弩俱发，魏军大乱。庞涓自知智穷兵败，乃自刎，曰："遂成竖子之名！"

又曰：汉王在汉中拜韩信为大将，信因问王曰："今东向争权天下，岂非项王耶？"汉王曰："然。"曰："大王自料勇悍仁强，孰与项王？"汉王默然良久，曰："不如也。"信再拜贺曰："惟信亦为大王不如也。然臣尝事之，请言项王之为人也。项王喑恶叱咤，千人皆废，喑，音阴。恶，乌路切。叱，尺栗切。咤，陟讶切。然不能任属贤将，此特匹夫之勇耳。项王见人恭敬慈爱，言语姁姁，人有疾病，涕泣分食饮。至使人有功当封爵者，刻印刓刓，五元切。[敝]，忍不能与，此所谓妇人之仁也。项王虽霸天下而臣诸侯，不居关中而都彭城，背义帝之约，而以亲爱王，诸侯不平。诸侯之见项王迁逐义帝置江南，亦皆归逐其主而自王善地。项王所过，无不残灭者，天下多怨，百姓不亲附，特劫于威强耳。名虽为霸，实失天下心。故曰其强易弱。今大王诚能反其道，任天下武勇，何所不诛！以天下城邑封功臣，何所不服！以义兵从思东归之士，何所不克！且三秦王为秦将，将秦子弟数岁矣，所杀亡不可胜计，又欺其众降诸侯，至新安，项王诈坑秦降卒二十余万，惟独邯、欣、翳得脱，章邯、司马欣、董翳。秦父兄怨此三人，痛入骨髓。今楚强以威王此三人，秦民莫爱也。大王之入武关，秋毫无所害，除秦苛法，与秦民约，法三章耳，秦民无不欲得大王王秦者。于诸侯之约，大王当王关中，关中人咸知[之]。大王失职入汉中，秦人无不恨者。今大王举而东，三秦可传

檄而定也。"于是汉王大喜，自以为得信晚。遂听信计，定秦灭项。

又曰：项籍围汉王于荥阳城。久之，汉王患之，请割荥阳以西以和，项王不听。汉王谓陈平曰："天下纷纷，何时定乎？"陈平曰："然。项王为人，恭敬爱人，士之廉节好礼者多归之。至于行赏功爵邑，重之，言爱惜之。士亦以此不附。今大王慢而少礼，士廉节者不来；然大王能饶人以爵邑，士之顽钝嗜利无耻者亦多归。汉王诚各去其两短，袭其两长，天下指麾可定矣。"

又曰：汉王与项籍约中分天下，汉王欲西归，张良、陈平说曰："汉有天下大半而诸侯皆附之，楚兵疲食尽，此天亡之时也。不因其饥而遂取之，今释不取，所谓养虎自遗患也。"从之，终灭羽。

《汉书》曰：陈王拜项梁为楚上柱国，梁自号武信君。乃使宋义于齐，道遇齐使者高陵君显，张晏曰：显，名。高陵，县名也。曰："公将见武信君乎？"曰："然。"义曰："臣论武信君军必败。公徐行则免，疾行及祸。"章邯夜衔枚击楚，大破之定陶，梁死。宋义所遇齐使者高陵君显见楚怀王曰："宋义论武信君必败，数日果破。未战先见败征，此可谓知兵矣。"召宋义与计事而悦之，因以为上将。

又曰：西域都护为乌孙兵所围，上召陈汤问之。汤曰："乌孙瓦合，不能久攻。谯指计其日，不出五日，当有吉语闻。"果四日，军书言已解。

又曰：黥布反。帝召薛公问，对曰："使布出于上计，东取吴，西取楚，并齐取鲁，传檄燕、赵，固守其所，山东非汉之有也。出中计，东取吴，西取楚，并韩取魏，据敖仓之粟，塞成皋之口，胜败之数未可知也。出下计，东取吴，西取下蔡，归重于越，身归长沙，陛下高枕而卧，汉无事矣。"上曰："是计将安出？"对曰："必出下计。布故酈山之徒也，酈，音离。自致万乘之主，此皆为身，不顾后为百姓万代虑也。故曰出下计。"上自将，东击布。布之初反，谓其将曰："上老矣，厌兵，必不能来。使诸将，独患淮阴、彭越，今皆已死，余不足畏也。"故遂反。果如薛公筹之，东击荆，荆王刘贾败死。时贾都丹徒

也。汉终破布。

《通典》曰：后汉末，曹公击马超。始贼每一部到，公辄有喜色。贼破之后，诸将问故，公答曰："关中长远，若贼各依险阻，征之，不一二年不可定也。今皆来集，其众虽多，莫相归服，军无适主，一举可灭，为功差易，吾是以喜。"

又曰：后汉末，青州黄巾众百余万人起兖州界，刺史刘岱欲击之。鲍信谏曰："今贼众百万，百姓皆震恐，士卒无斗志，不可敌也。观贼众群辈相随，军无辎重，惟以抄掠为资。今不若蓄士众之力，先为固守，使彼欲战不得，攻则不能，其势必离散，然后选精锐据其要害，击之可破也。"岱不从，遂与战，果为所杀。刘岱(为)[违]之而败。

又曰：后汉末，荀攸从曹公征张绣，攸言曰："绣与刘表相持为强，然绣以游军仰食，表不能供也。势必离。不如缓军以待之，可诱而致也。"不从，表果救之，军不利。曹公谓攸曰："不用君言至是。"曹公违之而败。

又曰：后汉末，张辽屯长社，军中有谋反者，夜惊起乱火，一军尽扰。辽谓左右："勿动！是不一营尽反，必有造变者，欲以动乱人耳。"乃令军中不反者安阵，辽将亲兵数十人中阵而立。有顷定，即得首谋者，杀之。张辽审计立擒贼首，亦同料敌之义。

又曰：后汉末，曹公征荆州，刘琮降，得其水军及步军，遂遗书孙权云："今将水军十八万与将军会猎于长州之苑。"将士闻之恐。权延见群下，问计，咸曰："曹操托名汉相，挟天子以征四方，动以朝(庭)[廷]为辞，今日拒之，事更不顺。且将军大势可以拒操者，长江也。刘表理水军，艨艟斗舰千数，操悉浮以沿江，兼有步兵，水陆俱下，此则(上)[长]江之险与我共之矣。而势力众寡。愚谓大计不如迎之。"权将周瑜曰："操虽[托]名汉相，其实汉贼。将军神武雄才，兼杖父兄遗烈，据有江东，地方千里，兵精足用，英豪乐业，尚当横行天下，为汉家除残去秽。况操自送死，岂可迎之耶？请为将

军筹之。使北土已安，操无内忧，能旷日持久，来争疆埸，又能与我校胜负于船楫，可也。今北土既未安，而加以马超、韩遂在关西，为操后患。且舍鞍马，杖舟楫，与吴越争衡，本非中国所长。又今盛寒，马无蒿草，驱中国士众远涉江湖，不曾习水土，必生疾病。此数四者，用兵之患也，而操皆冒行之。瑜得请精兵三万人，径进夏口，保为将军破之。"权曰："老贼欲废汉自立久矣，但忌二袁、吕布、刘表与孤耳。今诸英雄已灭，惟孤尚存，孤与老贼势不两立。君言当击，甚与孤合。"权拔刀斫前奏案曰："诸将吏敢复言迎曹操者，与此案同！"果有赤壁之捷焉。

又曰：蜀大将诸葛亮悉众十万由斜谷出，始平，据武功五丈原。魏大将司马宣王帅师拒之，与亮对于渭南。亮分兵屯田，为久驻之本。耕者杂于渭滨，而百姓安堵，军无私焉。屡使交书，复致巾帼妇人之饰以怒宣王，王亦屡表请战。魏使卫尉辛毗持节勒懿及军吏以下不许出战。姜维谓亮曰："辛毗杖节而到，贼不复出矣。"亮曰："彼无战心。所以固请者，亦惑于众耳。将在军，君命有所不受，苟能制吾，岂千里请战耶！"宣王使二千余人就军营东西角大声称"万岁"。亮使问之，答曰："吴朝有使至，请降。"亮谓曰："计吴朝必无降法，卿是六十老翁，何烦诡诳如此？"懿与亮相持百余日，亮卒于军中。及军退，懿追焉。亮长史杨仪结阵反旗鸣鼓，若将向懿者，懿遽退，不敢逼，经二日，乃行其营垒，曰："天下奇才也。"懿乃追之，仪多布铁蒺藜。懿使军士二千人，著软材平底木履前行，蒺藜悉著履。然马步径进，追至赤岸，方知审问，百姓为之谚曰："死诸葛走生仲达。"懿笑曰："吾便料生，不便料死故也。"孔明料吴下降明矣。司马不料亮死暗也。

《吴志》曰：魏使大司马曹仁步骑数万向濡须，(为)[伪]欲东攻羡溪。朱桓分兵赴羡溪，仁军进拒濡须。桓闻追羡溪，兵未到而仁奄至。诸将各惧，桓喻之曰："凡两军交对，胜负在将，不在众寡。兵法所以称客倍而主人半者，谓俱在平原，无城池之守，又谓士众

勇怯齐等故耳。今仁既非智勇，又久涉，人马罢困，桓与诸军共据高城，南临大江，北陪山陵，以逸待劳，以主制客，此百战百胜之势。虽曹丕自来，尚不足忧，况仁等耶！"桓因偃旗鼓，外示虚弱，以诱[仁]，仁果遣其子太攻濡须，分遣将军常雕、王双等乘油船袭中州。桓自拒太，太烧营退，枭雕首，生虏双，送武昌；临阵及溺死者千余人。

《十六国春秋》曰：前赵刘曜败石勒将石季龙于高候，今绛州闻喜县界也。遂围洛阳。勒将亲救，程遐等固谏曰："刘曜乘胜，兵盛，难与争锋，金墉粮丰，攻之未可卒拔。曜军千里，势不支久。不可亲动，动无万全，大业去矣。"勒大怒，按剑叱遐等出。召徐光而谓之曰："刘曜乘高堆之势，围守洛阳，庸人之情皆谓其锋不可当也。然曜带甲十万，攻一城而百日不克，师老卒殆，以我初锐击之，可一战而擒。若洛阳不守，曜必送死冀州，自河以北，席卷北向，吾事去矣。程遐等不欲吾亲行，卿以为何如？"光对曰："刘曜乘高堆之势，不能进临襄国，更攻金墉，此其无能为也。悬军三时，无攻战之利，若鸾旗亲驾，必睹旌奔败。定天下之计，在今一举。"勒笑曰："光之言是也。"使内外戒严，有谏者斩。命石堪、石聪、桃豹等各统见众会荥阳，使石季龙进据石门，以左卫石邃都督中军事，勒统步骑四万赴金墉。勒谓徐光："曜盛兵城皋间，上计也；阻洛水，其次也；坐守洛阳者成擒也。"勒诸军至城皋。勒见曜无守军，大悦，乃卷甲衔枚诡道兼路，出于巩、訾之间。知曜陈其军十余万人于城西，弥悦。勒入自宣门，升故太极前殿。季龙步卒三万，自城北而西，攻其军，石堪、石聪等各以精兵骑八千，城西而北，击其前锋，大战于西阳门。勒躬贯甲胄，出自阊阖，夹击之。曜军大溃，于阵擒曜，以徇于军也。

太平御览卷第二百九十一

兵部二十二

料敌下

《宋书》曰：晋义熙五年二月，伪燕主慕容超大掠淮北。三月，帝抗表北伐，以丹阳尹孟昶监中军留府事。乃浮淮入泗。五月至下邳，留船，步军进琅琊。所过筑城留守。超大将公孙五楼请断大峴，坚壁清野以待。超不从。初谋是役，议者以为贼若严守大峴，军无所资，何能自返。帝曰："不然。鲜卑性贪，略不及远，既幸其胜，且爱其谷。必将引我，且亦轻战，师一入峴，吾何患焉！"及入峴，帝举手指天曰："事济矣！"众问其故，帝曰："师既过险，士有必死之志，余粮栖亩，军无匮乏之忧，胜可必矣。"

《通典》曰：陈将吴明彻进逼寿阳，北齐将王琳拒守。又遣大将皮景和率兵十万来援，去寿春三十里，顿军不进。诸将咸曰："坚城未拔，大援在近，不审公计将安出？"明彻曰："兵贵在速，而彼结营不进，自挫其锋，吾知其不敢战明矣。"于是躬擐甲胄疾攻，一鼓而克寿阳。

又曰：西魏遣将于谨讨梁元帝于江陵，长孙俭问谨曰："为萧绎之计，将欲如何？"谨曰："耀兵汉、沔，席卷度江，直据丹阳，是其上策；移郭内居民，退保子城，峻其陴堞，以待援至，是其中策；若难于移动，据守罗郭，是其下策。"俭曰："揣绎定出何策？"谨曰："必用其下策。"俭曰："彼弃上而用下，何也？"对曰："萧氏保据江南，绵历数纪。属中原多故，未遑外略。又以我有齐氏之患，必谓力不能分。且绎懦而无谋，多疑少断，人难虑始，皆恋邑居，既恶迁移，当保罗

郭。所以用下策也。"谨乃令中山公护及杨忠等，率精骑先据江津，断其走路。梁人竖木栅于外城，广输六十里。寻而谨至，悉众围之。梁主屡遣兵于城出战，辄为谨所破。旬六日，外城自陷，梁主退保子城。翌日，率其太子以下，面缚出降，寻杀之。

又曰：后魏末，原州民豆卢狼害都督大野树儿等据州城反，州人李贤乃招集豪杰谋曰："贼起仓卒，便诛二将，其势虽盛，其志已骄。然其政令莫施，惟以残剥为业。夫羁据之贼而驭乌合之众，势自离解。今若从中击之，贼必丧胆。如吾计者，指日取之。"众皆从，贤乃率敢死士三百人，分为两道，乘夜鼓噪而出。群贼大惊，一战而败。狼遁走，追斩之。

《后魏书》曰：李顺使凉州还，世祖问蒙逊政教得失。顺曰："蒙逊专威河右三十许年，虽不能贻厥将来，(独)[犹]足以终其一世。但前岁表许十月送昙元谶，及臣往迎，便乖本意。不忠不信，于是而甚。以臣观之，不复周矣。世祖曰："若如卿言，则效在不远，其子必复世袭之后。"又问曰："早晚当灭?"顺曰："臣略见其子，并非俊才，能保一隅。如敦煌太[守]牧犍，器性粗立，若继蒙逊者必此人也。然比之于父，金谓不逮。殆天所用资圣明也。"既而蒙逊死问至，世祖谓顺曰："卿言蒙逊死，今则验矣，又言牧犍立，何其妙哉。(晚)[朕]克凉州，知当不远。"于是赐绢千匹，厩马一匹，进号安西将军，宠待弥厚。

《唐书》曰：武德初，刘武周据太原，使其将宋金刚屯于河东。太宗往征之，谓诸将曰："金刚悬军千里，深入吾地，精兵骁将皆在于[此]。武周自据太原，专倚金刚以为捍蔽。金刚虽众，内实空虚，虏掠为资，意在速战。我坚营蓄锐以挫其锋，分兵汾隰，冲其心腹。彼粮尽计穷，自当遁走。当待此机，未宜速战。"于是遣刘弘等绝其粮道。其众遂馁，金刚果遁。

又曰：武德中，李靖随河间王孝恭讨萧铣，师至于清江，克铣荆门。遣其将乘胜入北江，铣悉兵以拒之。孝恭将战，李靖止之曰：

"楚之轻锐，难与争锋。今新失荆门，尽兵出战，此救败之师也，非其本 图，势不能久。一日不战，贼必两分，留轻兵以抗我，退赢师以自守，此即势亏力弱，击之必捷。"孝恭不从，遣靖按营，自以锐师水战。孝恭果败于南岸。

又曰：隋末王世充杀其主越王侗，自僭伪号，太宗率师讨之。世充求援于河北窦建德，将全军赴之。诸将以二贼合势，众寡不敌，宜退舍以避之。行台郎中薛收独进计曰："王世充据有东都，府库填积，其下兵士皆江淮精锐，其所患者在于乏食耳。是以为我所持，求战不可。建德亲总军旅，来拒我师，亦当尽彼骁雄，期于奋决。若纵其 至此，两寇相连，转河北之粮以相资给，则伊、洛之间战斗不已。今宜分兵守营，深其沟防，即世充欲战，慎勿出兵。大王 亲选猛锐，先据成皋之险，训兵坐甲，以待其至。彼以疲弊之师，当我堂堂之势，一战必克。建德既破，则世充自下。不过两旬，夏、郑二主可面缚于麾下矣。若退兵自守，计之下也。"秦王喜曰："合吾意。"是日出师据虎牢，卒擒建德。

又曰：隋炀帝为突厥所围，郡县皆发赴援。时太宗年未弱冠，召募从军，隶屯卫将军云定兴。师将发，太宗劝之多赍旗鼓，设疑兵，以威突厥。定兴初不纳，太宗谓之曰："始毕扫其境内，敢围天子，本疑国家仓卒无援。忽见旗鼓之盛，必谓救兵云集。今者师进，可前后相次，令数十里间连亘不绝。昼则旗幡相续，夜则钲鼓相应，以张形势，贼见必惧，望尘而退。此计之上也。不然则为所轻，悉军来战，公必不支矣。"定兴悦而从焉。将次崞县，突厥候骑驰告始毕曰："兵大至。"遂解围而退，果如所筹。

又曰：太宗遣李靖经略突厥，以张公谨副。公谨因言突厥可取之状，曰："颉利纵欲肆情，穷凶极暴，诛害良善，昵近小人，此即主昏于上，其可取一也。又其别部同罗、仆骨、回纥、延陀之类，并自立君长，将图反噬，此则众叛于下，其可取二也。颉利被疑，轻骑自免；柘设出讨，匹马不归；欲谷丧师，立足无地；则兵挫将败，其可取

三也。塞北霜早，粮粮乏绝，天降之灾，因以饥馑，其可取四也。颉利疏其突厥，委诸胡人，胡人翻覆，是其常性，大军一临，内必生变，其可取五也。华人入北，其类实多，比闻自相啸聚，保据山险，师出塞垣，自然有应，其可取六也。"太宗深纳之。及破定襄，败颉利，颇预谋略，进爵为国公。

又曰：元和十年，王师讨淮西，镇州(镇)[节]度使王承宗、淄青节度李师道谋挠王师，遣刺客于京城，杀宰相武元衡。宪宗怒，命御史中丞裴度为宰相，专主兵机，以诛三盗，时淮西镇冀两道用军，度支储运供饷不暇，复又诸军玩寇阴与贼通，冀朝庭力竭即行赦、雪，议者患之。宰相韦贯之奏曰："陛下岂不知建中之事乎？天下[之]兵，始于蔡急魏应，齐赵同恶。德宗率天下兵，令马燧、李抱真急击之。物力既屈。朱泚乘间为乱，朱滔南向指阙，致使梁、汉为府，奉天有行，皆陛下亲所闻见。非他也，不能忍待次第，速于灭贼故也。陛下独不能宽岁月之计，俟拔蔡而围镇耶？"上深然之，而已下诏矣。后擒元济而承宗服，果如贯之所筹。

《汉晋春秋》曰：亮围祁山，招鲜卑轲比能等，至故北地石城以应亮。于是魏大司马曹真有疾，司马宣王自荆州入朝，魏明帝曰："西方事重，非君莫可付者。"乃使西屯长安，(都)督张郃、费曜、戴陵、郭淮等。宣王使曜、陵留精兵四千[守]上邽，余众悉出，西救祁山。郃欲分驻雍、[郿]，宣王曰："料前军独能当之者，将军言是也。不能当而分为前后，此楚之三军所以为黥布擒也。"遂进。亮分兵留攻，自逆宣王于上邽。郭淮、费曜邀亮，亮破之，因大芟其麦，[与]宣王遇于上邽之东，敛兵依险，军不得交，亮引兵而还。宣王寻亮至于卤城。张郃曰："彼远来逆我，请战不得，谓我利在不战，欲以长计制之也。且祁山大军以近，人情自固，可止屯于此，分为奇兵，亦出其后，不宜进前而不敢逼，坐失民望也。今亮悬军食少，亦行去矣。"宣王不从，固寻亮。既至，又登山掘营，不肯战。贾诩、魏平数请救，且曰："公畏蜀如畏虎，奈天下笑何！"宣王病之。诸将

咸请战。五月辛巳，乃使张郃攻无当监何平于南国，自案中道向亮。亮使魏延、高翔、吴班赴距，大破之，获甲首三千级，铠五千领。宣王还保营。

袁希之《汉表传》曰：丞相亮出军围祁连山，始以木牛运粮。魏司马宣王张郃救祁连山。夏六月，亮粮尽，军还，至于青封木门，郃追之。亮驻军，削树皮题曰："张郃死此树下。"豫令兵夹道以数千强弩备之。郃果自见，千弩俱发，射郃而死。

《韩子》曰：赵主父使李疵视中山可攻不，报曰："可攻也。"主父曰："何故可攻？"对曰："其见岩穴穷阎隘巷之士以十数，亢礼下布衣之士以百数矣。"君曰："是贤君也，安可攻？"疵曰："然矣。好显岩穴之士而朝之，则战士怠于行阵；上尊者下居士而朝之，则农夫惰于力田。战士怠于阵者，兵弱也；农夫惰于田者，国贫也。"

《卫公兵法》曰：凡与敌相逢，持军相守，欲知彼算，将揣其谋，则如之何？"对曰："士马骁雄，示我以羸弱；阵伍齐肃，示我以不战；见小利佯为不敢争，伏奇兵故诱以奔北；内实严警，外为弛慢；恣行间谍，托以忠告；或执使以相忿，或厚赂以相悦；移师则减灶，合营则偃旗；智足以及谋，勇足以及怒，非得地而不舍，非全军而不侵；以多击少，必取于晨朝；以寡击众，必候于日暮。如此则兵多诡状，将有深图，理虽曲为防慎，不可入其规画。故传曰：见可则进，知难而退，军之善政也。但敌固无小，蜂虿有毒。且鸟穷则啄，兽穷犹触者，皆自卫其生命，而求免于祸难也。若困而不斗，乃智不逮于鸟兽，其能将乎？必须料敌制胜，诚于小利，然后可立大功矣。"或又问曰："所谓料敌者何？"对曰："凡料敌者，料其彼我之形，定乎得失之计，始可兵出而决于胜负矣。当料彼将吏孰与己和，客主孰与己逸，排甲孰与己坚，器械孰与己利，教练孰与己明，地形孰与己险，城池孰与固己，骑畜孰与己多，粮储孰与己广，工巧孰与己能，秣饲孰与己丰，资货孰与己富：以此揣而料之，焉有不保其胜哉！夫军无小听，听必审也；战无小利，利必大也。审听之道，诈亦受

之，实亦受之，工亦受之，拙亦受之，其诈而似实亦受之，其实而似诈受之。但当明听其实，参会众情，徐思其验，锻炼而使。不得逆诈目聪，挫折愚人之词；又不得听庸人之说，称敌寡弱，轻侮众心，而不料其虚实；又不得受敌人以小利饵我勇士，辄掠财畜，获其首级，将暗不断，而重赏之。忽敌无备，必为所败。揣敌之术，亦易知矣。若辞怒而不战者，待其援也；杖而立汲而先饮者，倍程迫速渴之兼也。夫欲行无穷之势，图不测之利，其事烦多，略陈梗概而已。若遇小寇而有不可击者，为其将智而谋深，士勇而军整，锋甲坚锐而地险，骑畜肥逸而令行。如此则士蓄必死之心，将怀擒敌之计，此当固而待之，未得轻而犯也。如逢大敌而必可斗也，彼将愚昧而政令不行，士马虽多而众心不一，锋甲虽广而兵刃不坚，居地无固而粮运不继，卒无决战之志，傍无军马之援：此可袭而取之。抑又闻之，统戎行师，攻城野战，当须料敌，然后纵兵。夫为将能识此之机变，知彼之物情，亦何虑功不速、斗不胜哉！

又曰：敌有十五形可击：新集，始至，行阵未定。未食，虽已结阵，须馈食。不顺，逆风向腿。后至，敌后来，不得山川地势利。奔走，行阵失次，用力不齐，阵布不均。不戒，我亦弱，诱敌之不设备。勤劳，倍道兼行，人马未息，衣甲驰路，虽阵不整。将离，大将已去，独任小吏，素不威服。长路，趋战争利，昼暮不息。候济，半渡疾击。不暇，贪利求胜，不暇尽阵。险路，泥泞阻狭，车马单行，左右难救。扰乱，行列失序，进退不齐，纵不相戴，横不相对，或坐或立。惊怖，卒陇相逢，都无备(拟)[预]，鼓噪掩击，三军震慑。不定。阵数移动，人马数顾。师有十过：勇而轻死，可暴。贪而好利，可遗。仁而不忍，可劳。知而心(法)[怯]，可窘。信而喜信人，可诳。廉洁而爱人，可侮。慢而心缓，可袭。刚而自用，可诱。懦志多疑，可惑。急而心速。可久。

《孙子》曰：军旁有险阻、蒋潢井、生葭苇、(小)[山]林翳荟者，必谨覆索之，此伏奸之所藏处也。险者一高一下之地，阻者草蒋水草之藂，潢者池也，井者下也，葭苇者众木所居也，翳荟者可以屏蔽藏处也。此以上相地形，此以下察敌情也。翳荟草木之相蒙蔽可以藏兵处，反复索之也。敌近而静者，恃其险也；敌远而挑人者，欲人之进也，其所处者居

易利也；所居利也，言敌去我近，促遣轻挑，我欲使前就之，其就处者平利也。众树动者，来也；斩拔树木除道进来，故动。众草多障者，疑也；结草为阵，欲使我度，稠草中多障蔽者，敌必逃去，恐追及多作障蔽，使人疑有伏也。鸟起者，伏也；下有伏兵住藏，触鸟而惊起。兽骇者，覆也；敌广阵张翼来覆我也，故兽惊骇矣。尘高而锐者，车来也；车马行疾速，尘相冲，故高也。卑而广者，徒来也；散而条达者，薪采来也；尘散衍而条达，各行所来也。少[而]往来者，营军者也。少，尘少也。辞卑而益备者，进也；其人来使辞卑，使必进(求)[来]间视之，敌增备也。辞强而进驱者，退也；诡诈也。来驰驱，无所畏，是欲退。轻车先出居其侧者，阵也；阵兵欲战也。轻车，驰车在阵侧。无约而请和者，谋也；未有要约而使来请和者，有间谋也。奔走而阵兵者，期也；自与偏将期也。半进半退者，诱也。[倚]仗而立者，饥也；倚仗矛戟而立者，饥之意。汲役先饮者，渴也；向人见利而不进者，劳也；士疲劳也。敌人来，见我利而不能击进者，疲劳。鸟集者，虚也；敌大作营垒示我众，而鸟集其上，其中虚者也。夜呼者，恐也；军士夜喧争，将不勇相惊而无备者，恐惧也。军扰者，将不重也；无威重。旗动者，乱也；旌旗谬动东西倾倚者，乱也。吏怒者，倦也；军吏悉怒将者，疾倦。粟马食肉，军无悬缶不及其舍者，穷寇也；谷马食肉，不复蓄积，无悬箪之食，欲死战，此穷寇也。缶，即箪之类也。谆谆翕翕，徐言入入者，失众也；谆谆者，语貌，又足貌也。翕翕者，不直貌，上失卒之心，少气之意。徐言入入者，与之言安徐之貌，此将失其众也。谆，章沦切。翕，许及切。数赏者，窘也；军不索敌，数行赏，欲士卒之力战者，此恐窘者也。数罚者，困也；数行刑罚者教令施废，是困者也。先暴而后畏其众者，不精之至也。先行(卒)[悍]暴于士卒，而后欲畏己者，此将不精之极也。来委谢者，欲休息也。战未相伏而下其意气相委谢者，欲休息也。兵怒而相迎，久而不合，又不相去，必谨察之。备奇伏也，此必有间谍也。

又曰：凡敌有不卜而与战，有不占而避之。疾风大寒，早兴冥(选)[迁]，(部)[剖]冰济度。盛夏炎热，兴役无间。行饥驱渴，务取于远。师久无粮，士众怨怒；妖祥疑惑，上不能止。军资既竭，时多霖注，欲掠无所，师众不多，地土不利。人马疾疫，道远日暮，士卒劳倦，饥未及食，解甲而息，将薄吏轻，士卒不固，三军数惊，师徒无助，阵而未定，舍而未毕，行坂涉险，半隐半出。诸如此类，击而

勿疑。若土地广大，人众富盛，上爱其下，惠施流布，赏信刑察，发止得时，行阵居列，任贤使能，师徒习教，兵甲精锐，四邻有助，大国之援。凡如此类，惮而避之。故曰：见可而进，知难而退也。

太平御览卷第二百九十二

兵部二十三

用　间

《孙子》曰：兴师十万，出师千里，百姓之费，公家之奉，日费千金，内外骚动，不得操事者七十万家。古者八家为邻，一家从军，七家奉之。言十万之师不事不耕者凡七十万家也。相守数年，以争一日之胜。是故明王圣主、贤君胜将，所以动而胜人，成功出于众者先知。[先知者]不可取于神鬼，不可祈祷以求。不可像于事也，不可以事类求。不可验于事度，不可以行事度也。必取于人，知敌之情也。因人也。故用间有五：(因)[乡]间、内间、反间、死间、生间。五间俱起，莫知其道，是谓神纪，人君之宝也。用时任五间也。(因)[乡]间者，因其乡人而用之也。因敌乡人知敌表里虚实之情，故就而用之，可使伺候。内间者，因其官人而用之者也。因在官失职者，若刑戮之子孙与受罚之家也，因其有隙，就而用之也。反间者，因其敌间而用之者也。敌使间来视我，我知之，因厚赂重许反使为我间也。萧世诚曰：言敌使人来候，我佯不知，而示以虚事，前却期会使(师)[归]相语，是故曰反间也。死间者，为诳事于外，令吾间知之，而待于敌也。作诈狂之事于外，佯泄漏之，使吾间知之。吾间至敌中，为敌所得，必以诳事喻，敌从而备之吾所行，不然(间)[间]则死矣。又一云：敌间来，间以我诳事而持归，然皆非所图也。二间皆不能知幽隐深密，故曰死间也。萧世诚云：所获敌人及己军士有重罪系者，故(为)[贷]免，相教勿泄，佯不秘密，令敌间窃闻之，吾因纵之亡，亡必归，敌必信焉。往必死，故曰死间焉。生间者，反报者也。择己有贤才智谋能自开通于敌之亲贵，察其动静，知其事，计彼所为，已知其实还报，故曰生间也。故三军之亲，莫亲于间，若不亲抚重以禄赏，则反为敌用，泄吾情实也。赏莫厚于间，间事不密，则为己害。事莫密于间。厚赏之赖其用。非圣智不能用间，非仁义不能使间，不能

得间人之用也。非微密者不能得间之实。精微用意，密不泄漏。微哉微哉，无所不用间也。间事未发而先闻其间者，与所告者皆死。凡军之所欲击，所欲击之军。城之所欲攻，所欲攻之城。人之所欲杀，所欲杀之人。必先知其守将、左右、谒者、舍人之姓名，守，有官职任者。谒，告也，主告事者也。门者，守门者也。舍人，守舍之人也。又先知之为亲旧，有急即呼之，则不见何止，亦因以知敌之情。令吾间必索知之。敌间之来间我者，因而利之，导而舍之，舍，居止也。令吾人遗以重利，复遇而舍止之，可令诡其辞。故反间可得而用也。故能取敌人之间而用。因是而知之，故乡间、内间可得而使也。因反敌间而知敌情，乡间、内间者皆可得而使也。因是而知之，故死间为诳事，可使告敌。因是可得而攻也。因诳事而知敌情，生间往反，可使知其敌之腹心所在。因是而知之，故生间可使如期。五间之事，主必知之，主人当知五间之用，厚其禄，丰其财。知之必在于反间，故反间不可不厚也。反间者，五间之本事之要也，故当在厚待之。[昔]殷之兴也，伊挚在夏；伊尹。周之兴也，吕牙在殷。吕望。故惟明主贤将，能以上智为间者，必成大功。此兵之要，三军所恃而动者也。以上注出《通典》。

《左传》曰：楚师伐宋。九月，不服，将去宋，楚大夫申叔时曰："筑室反耕者，宋必听命。"楚子从之。筑室于宋，分兵于田，示无去志，王从其言。宋人惧，使华元夜入楚师，登子反之床，起之曰："寡君使元以病告，兵法因其乡人而用之，必先知其守将、左右谒者、门者之姓名，因而利导之。华元盖用此术，得以自通。曰敝邑易子而食，析骸而爨。虽然，城下之盟，有以国敝，不能从也。宁以国敝，不从城下盟。去我三十里，惟命是听。"子反惧，与之盟，而告楚子。退三十里。宋及楚平。华元君不因间，若不用谋，无由得入楚军也。

又曰：楚师伐郑，郑人将奔。楚师夜遁，谍告曰："楚幕有乌。"乃止。

《礼记》曰：晋人之觇宋者，反报于晋侯曰："阳门之介夫死，而子罕哭之哀，而民说，殆不可伐也？"从之。

《战国策》曰：郑武公欲伐胡，先以其子妻胡，因问群臣曰："吾欲用兵，谁可伐者？"大夫关思其曰："胡可伐。"武公怒而戮之，曰：

"胡,兄弟之国,子言伐之,何也?"胡君闻之,以郑为亲己,而不备郑。郑袭胡,取之。此用死间之势。

又曰:燕昭王以乐毅为将,破齐七十余城。及惠王立,与毅有隙,齐将田单乃纵反间于燕。宣言曰:"齐王已死,城不拔者二耳。乐毅畏诛而不敢归。以伐齐为名,实欲连兵,南面王齐,齐人未附,故且缓即墨残矣。"燕王以为然,使骑劫代毅,燕人士卒离心。单又纵反间曰:"吾惧燕人掘吾城外冢墓,僇先人。"僇与戮同。燕军从之。即墨人激怒请战。大败燕师,所亡七十余城悉复之。

又曰:秦师围赵阏与,音余。赵将赵奢救之,去赵国都三十里不进。秦间来,奢善食遣之。食音寺。间以报秦将,以为奢师怯弱而止不行。奢(一)[乃]随而卷甲趋秦师,击,破之。斯则反用彼间。

又曰:秦与赵兵相距长平,赵孝成王使廉颇为将,固壁不战。秦数挑战,廉颇不出。秦之间言曰:"秦之所患,独畏马服赵奢之子为将耳。"赵王信秦之间,因以奢子为将,终为秦将白起所败。

《史记》曰:楚汉相持,未决胜负。陈平言于汉王曰:"彼项王有骨鲠之臣,以亚父范增、钟离昧、龙且、周殷之属,昧,音妹。且,于间切。不过数人耳。大王诚能出捐数万斤金,行反间,间其君臣,以疑其心,项王为人意忌信谗,必内相诛。汉因举兵攻之,破楚必矣。"汉王然之,乃出黄金四万斤与平,恣所为,不问出入。平既多以金纵反间于楚军,宣言诸将钟离昧等为项王将,功多矣,然终不得裂地而王,欲与汉为一,以灭项氏,分王其地。项王果疑之,使使至汉。汉王为太牢具,举进。见楚使,举鼎俎而来也。即佯惊曰:"吾以为亚父使,乃项王使也!"复持去,更以恶草具进楚使。去肉更草菜之具。使归,具以报项王。项王果大疑亚父。亚父欲急击下荥阳城,项王不信,不肯听。亚父闻项王疑之,乃大怒曰:"天下事大定矣,君王自为之!愿赐骸骨归!"归,未至彭城,疽发背而死。疽,痈创也。音千余切。汉遣纪信诈降,而汉王宵遁。终灭项羽。羽不悟反间而亡也。

又曰:汉使郦食其说齐王田广,广舍兵与郦生纵酒。汉将韩信

因齐无备，袭齐，破之。田广烹食其。此偶成韩信用死间之势。

又曰：汉高帝被匈奴单于冒顿围于白登，乃使间厚遗阏氏，[阏氏]乃谓冒顿曰："两主不相困。今得汉地，而单于终非能居之也。且汉王亦有神，单于察之。"冒顿乃解围之一角。于是高帝令士皆持满，傅矢外向，从解角直出，竟与大军合，而冒顿遂引兵而去。

又《高祖纪》曰：上闻猗将皆故贾人也，上曰："吾知所以与之。"乃以金啖将，猗将多降者。陈豨也。

《后汉书》曰：西域将兵长史班超发于阗诸国兵，击莎车龟兹国，扬言兵少不敌，罢散。乃阴缓生口归，以告龟兹，王喜而不虞。超即潜勒兵驰莎车营，大破，降之。斯亦同死间之势。

《晋书》曰：益州牧罗尚遣将隗伯攻蜀贼李雄于郫城，(牙)[未]有胜负。雄乃募武都人朴泰鞭之见血，使谲罗尚，欲为内应，以火为期。尚信之，悉出精兵，遣隗伯等率兵从泰击雄。雄将李骧于道设伏。泰以长梯倚城而举火，伯军见火起，皆争缘梯。泰又以绳汲上。尚军百余人皆斩之。雄因放兵，内外击之，大破尚军。此用内间之势。

又曰：刘曜逼长安，复围北城，太守曲昌遣使求救于曲允。允率兵骑赴之，去城数十里，贼绕城放火，烟尘蔽天。反纵间诈允曰："郡城已陷，焚烧向尽，军无及矣。"允信之，众惧而溃。后数日，曲昌突围赴长安，北城遂陷。

崔鸿《十六国春秋》曰：后凉吕光将吕延伐乞伏乾归，大败之。乾归乃纵反间，称众溃东奔成纪，延信而追之。延司马耿雉曰："告者视高而色动，必有奸计，不可从。"相遇，战败死之。

《后魏书》曰：陆俟击吴于杏城，大破之。获吴二叔，诸将请送京师，俟独不许，曰："吴一身藏窜，非其亲信，谁能获之？若停十万之众以追一人，非上策也。不如私许吴叔，免其妻子，使自追吴，擒之必也。"诸将咸曰："今来讨贼，既破之，获其二叔，惟走一人，何所复至。"俟曰："吴之恃逆，本自天性，今若获免，必诳惑愚人，称王者

不死，妄相扇动，为患必大。"遂遣吴二叔，与之期。吴叔不至，诸将皆咎于俟。俟曰："此未得其便可，必不背。"他日果斩吴以至，皆如所言。俟之明略，皆此类也。

《通典》曰：东魏将段琛据宜阳，遣将牛道恒扇诱边人。西魏将韦孝宽拒之，遣谍人访获道恒手迹，令善书者伪作道恒与孝宽书，论归款之意；又为落烬烧迹，若火下书者，还令谍人遗之于琛营。琛得书果疑之，道[恒]所经略，皆不见用。孝宽知其离沮，因出奇兵掩袭，擒道恒及琛等。峭、渑遂清。

又曰：东魏大将齐神武率兵趣沙苑，西魏大将周文帝遣将达奚武觇之。武从三骑皆衣敌人衣服，至日暮，去营数百步，下马潜听，得其军号。因上马历营，若警夜者，有不如法者，往往挞之，具知敌之情状，以告周文。

又曰：高齐斛律光，字明月，为当时名将。后周将韦孝宽守玉壁，今绛郡稷山县。忌光英勇。孝宽参军曲严颇知卜筮，谓孝宽曰："来年，齐朝必大相杀戮。"孝宽因令严作谣言，令间谍漏其文于邺，曰："百升飞上天，明月照长安。"[百升，斛也。]又曰："高山不推自崩，槲树不扶自竖。"祖珽因续之曰："盲老公上下斧，饶舌老母不得语。"令小儿歌之于路。穆提婆闻之，以告其母陆令萱。令萱以饶舌斥己也。陆令萱即后主乳母。盲老公谓祖珽也。遂相与协谋，以谣言启后主，诛光。周武帝闻之，遂大赦境内，始有灭齐之志。竟平其国。

《唐书》曰：黄州总管周法明率兵击辅公祏，遇张善安阻兵夏口，法明屯荆口镇，登战舰与所亲饮酒。善安遣刺客数人，诈为渔者，乘轻舟而至，见者不以为虞，遂杀法明而去。

又曰：卫国公李靖伐突厥可汗，以唐俭先在突厥结和亲，突厥遂不备。靖因掩击，破之。亦以唐俭为死间之势。

《卫公兵法》曰：夫战之取胜，此岂求之于天地？在乎因人以成之。历观古人之用间，其妙非一也。即有间其君者，有间其亲者，

有间其贤者，有间其能者，有间其助者，有间其邻好者，有间其左右者，有间其纵横者。故子贡、史廖、陈轸、苏秦、张仪、范雎等，皆凭此术而成功也。且间之道有五焉：有因其邑人使潜伺察而致词焉；有因其事故泄虚假令告示焉；有因敌之使矫使其事而返之焉；有审择贤能，觇彼向背虚实而归说之焉；有佯缓罪戾，微漏我伪情浮计使亡报之焉。凡此五间，皆须隐秘，重之以赏(密)始可行焉。若敌有宠嬖任以腹心者，我当使间，遗其珍玩，恣其所欲，顺而傍诱之。敌有重臣，失势不满其志者，我则啖以厚利，诡相亲附，采其情实而致之。敌有亲贵左右，多词夸诞好论利害者，我则使间，曲情尊奉，厚遗珍宝，揣其所间而返间之。敌若使聘于我，我则稽留其使，令人与之共处，矫致殷勤，伪相亲昵，朝夕慰论，倍供殊味，观其辞色而察之。仍旦暮令使独与己伴居，我遣聪耳者潜于复壁中听所间。使既迟违。恐彼怪责，必是窃论心事，我知事计，遣而用之。且夫用间以间人，人亦用间以间己。己以密往，人以密来，理须独察于心，参会于事，则不失矣。若敌使人来，欲推我虚实，察我动静，觇知事计而行其间者，我当佯为不觉，舍而厚利，善饭之，微以我言诳事，示以前却期会，即我之所须，为彼之失者，因其有间而返间之。彼若将我虚而以为实，即我承其弊而得其志矣。夫水所以济舟，舟亦因水覆没。间所以能成功，亦凭间而倾败。若束发事主，当朝正色，忠以尽节，信以竭诚，不诡伏以自容，不权宜以为利，虽有善间，其可用乎？

太平御览卷第二百九十三

兵部二十四

示缓　务速

示　缓

《战国策》曰：秦伐韩，军于阏与。赵王召问赵奢，对曰："道远险狭，难救，譬犹两鼠斗于穴中也。将勇者胜。"王令奢救之。军邯郸三十里，而令军中曰："有以军事谏者死。"秦军武安西，秦军鼓噪勒兵，武安屋瓦尽震。军中候有一人言急救武安，奢立斩之。坚壁，留二十八日不行，复益垒。秦间来，奢善食遣之。间以报，秦将大喜，曰："夫去国三十里而军不行，乃增垒，阏与非赵地也。"赵奢既已遣秦间，乃卷甲而行趋之，二日一夜至，令善射者去阏与五十里而军。[军]垒成，秦人闻之，悉甲而至。奢纵兵击，破之，阏与围解。

《通典》曰：曹公进军攻袁尚将审配于邺，先凿堑围城，周回四十里。初令浅，示若可越，审配遥见，笑而不出争利。曹公令一夜浚之，广深二丈，决漳水以灌之。数月，城中饿死过半，尚将马延临阵降，遂克邺城。

又曰：魏将司马宣王征公孙文懿。贼保襄平，宣王进军围之。会霖潦大水，平地数尺，三军恐惧，欲移营。宣王令军中敢有言徙者斩，都督令史张静犯令，斩之，军中乃定。贼恃水，樵牧自若，诸将欲取之，皆不听。司马陈珪曰："昔攻上庸，八部并进，昼夜不息，故能一旬之半拔坚城，斩孟达。今者远来而更安缓，愚窃惑焉。"宣王曰："孟达众少，而食支一年。吾将士四倍于达，而粮不淹一月，以一月图一年，安可不速？今贼众我寡，贼饥我饱，水雨乃尔，功力

不设，虽当促之，欲何所为。自发京师，不忧战攻，但恐贼粮垂尽，而围落未合，掠其牛马，抄其樵采，此故驱使走也。夫兵者诡道，善因事变。贼凭众恃雨，故虽饥困，安肯束手！当示无能为之，若取小利以惊之，非计也。"既而雨止，遂合围，起土山地道，楯橹钩橦竞发，矢石雨下，昼夜攻而拔之。

又曰：万俟丑奴称乱关右，魏将贺拔岳讨之，军于汧、渭之间，宣告远近曰："今气候渐热，非征讨之时，至秋凉更图进取。"丑奴闻之，遂以为实，分遣诸军散营，农于岐州之北。百里细川，因险立栅，其千人以下为栅者亦有数处，且田且守。岳知其势分，乃密严备，晡时潜遣轻骑先行断路，于后诸军尽发，昧朝攻围元进栅，拔之，诸所俘执者皆放之，自余栅悉降。岳宣言径趣泾州，其刺史侯长贵亦以城降，丑奴乃弃平亭而走。

《晋书·安平献王孚传》曰：吴诸葛恪围新城，以孚督诸军二十万御之。孚次寿春，遣毋丘俭、文钦等讨之。诸将欲速击之，孚曰："夫攻者，借人之力以为攻，且当诈巧，不可争力也。"故稽留月余乃进军，吴师望风而退。

《宋书》曰：临烈王道规曰："兵法：屈申有时，不可苟进。诸桓世居西楚，群小皆为竭力，桓振勇冠三军，难以争胜，且可顿兵养锐，徐以计策縻之，不忧不克也。"

务 速

《孙子》曰：久则顿兵挫锐，攻城则力屈。顿，弊。屈，尽。久暴师则国用不足。夫顿兵挫锐，力屈货殚，音单。则诸侯乘其弊而起，虽有智者不能善其后。故兵闻拙速，虽拙有速胜也。未有工之久也。夫久兵而国利者，未之有也。

《左传》曰：先轸曰："一日纵敌，数世之患也。"

又曰：楚子伐随，随少师谓随侯曰："必速战。不然，将失楚师。"

又曰：武城黑谓[子]常曰："吴用木也，我用革也，不可久也，不如速战。"

《魏志》曰：夏侯渊，性果悍，进军疾速。人歌曰："夏侯渊，三日六百五日千。"

《晋书·吕光载记》曰：光行至高昌，闻坚寇晋，光欲更须后命，部将杜进曰："节下任全方面，赴机宜速，何不了而留乎？"

又曰：杜预破吴，众议且俟来冬。预曰："兵威已振，譬如破竹，数节之后，迎刃而解。"乃平之也。

崔鸿《十六国春秋》曰：后秦姚苌与苻登相持，苌将荀曜据逆万堡，密引苻登。苌与登战，败于马头原，收众复战。姚硕德谓诸将曰："上慎于轻战，每欲以计取之，今战既失利，而更逼贼者(田)[何]也？"苌闻之，而谓硕德曰："登用兵迟缓，不识虚实，今轻兵直进，遥据吾东，必荀曜竖子与之连结也。事久变成，其祸难测，所以速战者，欲使竖子谋之未就，好之未深，散败其事耳。"果大败之。

又曰：姚苌与苻登相持未解，登将魏褐飞自称大将军、冲天王，率氐胡万人攻苌将姚当于杏城，苌将雷恶地叛应褐飞，攻苌将姚汉得于李润。苌议将讨之，群臣咸曰："陛下不忧六十里苻登，乃忧六百里褐飞？"苌曰："登非可卒殄，吾城亦非登所能卒图。恶地多智，非常人也。南引褐飞，东结董威，甘言美说以成奸谋，若得杏城、李润，恶地据之，控制远近，相为羽翼，长安东北非复吾有。"于是潜军赴之。苌时众不满两千，褐飞、恶地众至数万，氐胡赴之者首尾不绝。苌每见一军至，辄有喜色。群下怪而问之，苌曰："今同恶相济，皆来会集，吾得乘胜席卷，一举而覆其巢穴，东北无复余也。"褐飞等以苌兵少，尽众来攻。苌固垒不战，示之以弱，潜遣子崇率骑数百，出其不意，以乘其后。褐飞兵扰乱，苌遣将王超等率步骑击之，褐飞众大溃，斩褐飞。恶地请降，苌待之如初。

《通典》曰：后汉末，荀攸从曹公征吕布，至下邳，布败固守，攻之不拔，连战，士卒疲，曹公欲还。攸与郭嘉说公曰："吕布勇而无

谋，今三战皆北，其锐气衰。三军以气为主，主衰则军无奋意。且布之谋主陈宫，有智而迟，今及布气衰而未复，宫谋之未定，进急攻之，布可拔也。"乃引沂、泗灌城，城溃，生擒布。

又曰：蜀将诸葛亮伐魏，魏将司马宣王、郭淮等御亮。张郃劝宣王分军往雍、郿为后镇，宣王曰："料前军能独当之者，将军言是也。若不能当而分为前后，此楚之三军所以为黥布擒也。"遂进军隃、音舒。麋。亮闻大军且至，乃自帅众将芟上邽之麦。诸将皆惧，宣王曰："亮虑多决少，必安营自固，然后芟麦，吾得二日兼行足矣。"于是卷甲晨夜赴之，亮睹尘而遁。宣王曰："吾倍道疲劳，此晓兵者之所忌也。亮不敢据渭水，此易与耳。"进次汉阳，与亮相遇。宣王列阵以待之，使将牛金轻骑饵之，兵才接，而亮退也。

又曰：蜀将孟达之降魏也，魏朝以达领新城太守，假节。达于是连吴固蜀，潜图中国。谋泄，将举兵，司马宣王秉政，恐达速发，以书安之。达得书，犹豫不决。宣王乃潜军进，诸将皆言达与二贼交构，宜审察而后动。宣王曰："达无信义，此其相疑之时也。当及其未定，往决之。"乃倍道兼行，八日到其城下。吴蜀各遣其将救达，宣王分诸将以拒之。初，达与诸葛亮书曰："宛去洛八百里，去吾千二百里。闻吾举事，当表上天子，比相返覆，一月间也，则吾城已固，诸军足办。吾所在深险，司马公不自来，诸将来，吾无患矣。"及兵到，达又告亮曰："吾举事八日，而兵至城下，何其神速也。"上庸城三面阻水，达于城外为水栅以自固。宣王度其水，破其栅，直造城下，八道攻之。旬有六日，达甥刘贤、将李辅等开门出降，遂斩达。

又曰：东魏荆州刺史辛纂据穰城。西魏将杨忠从独孤信讨之。纂迎战，败退走。信令忠为前驱，驰至其城北，叱门者曰："今大军已至，城中有应，尔等求活，何不避走！"闻者尽散。忠乘而入，弯弓大呼，纂兵卫百余人莫之敢御，遂斩纂以徇，城中慑伏。

《唐书》曰：隋末，高祖义兵发太原，次灵石县贾胡堡。隋将宋

老生率精兵二万屯霍邑以拒之。会久雨粮尽，与长史裴寂及诸将议曰："宋老生顿霍邑，屈突通镇河东，二人同心，非造次可进。"欲还太原，以图后举。太宗曰："本兴大义以救苍生，当须先入咸阳，号令天下。今遇小敌，便即班师，将恐义从之徒，一朝解体。还守太原一城之地，此为贼耳，何以自全！"高祖乃止，太宗引师赴霍邑，遂平老生也。

又曰：武德中，太宗征薛仁(果)[杲]，其将宗罗侯来拒，大破于浅水原。因率左右二十余骑追奔，直趣折摭以乘之。仁(果)[杲]列阵城下，太宗据泾水以临贼，贼徒气沮，无敢进战。其骑将泽干等数人临阵来降，请还取马。太宗纵遣之，于是各乘良马，须臾并至，仁(果)[杲]大惧，婴城自守。太宗具知贼中虚实，将夕，大军继至，四面合围。因纵辩士谕以祸福，仁(果)[杲]遂开门降。既而诸将奉贺，因问曰："始大王野战破贼，其主尚保坚城，王无攻具，轻骑腾逐，不待步兵，径薄城下，咸疑不克，而竟下之，何也？"太宗曰："此以权道迫之，使其计不暇发，以故克也。罗侯恃往前之胜，兼复养锐日久，见吾不出，意在相轻。今喜吾悉出兵来战，吾虽破之，擒杀盖少。若不急蹑，还走投城，仁(果)[杲]收而抚之，则便未可得矣。且其兵众皆陇西人，一败被追，不及回顾，散归陇外，则折摭自虚，我军随而迫之，所以惧而降也。此乃成算，诸君尽不见耶？"

又曰：武后初，徐敬业举兵于江都，称匡复皇家，以盐屋尉魏思温为谋主，问计于思温，对曰："明公既以太后幽絷少主，志在于匡复，兵贵(拙)[神]速，但宜早度淮北，亲率大众直入东都。山东将士知公有勤王之举，必以死从。此则指日刻期，天下必定。"敬业将从其策，薛璋又说曰："金陵之地，王气已见，宜早应之。兼有大江设险，足可以自固。请且攻取常、润等州，以为王霸之业，然后率兵北上，鼓行而前。此则退有所归，进无不利，实为良算也。"敬业以为然，乃自率兵四千人南度，以击润州。思温密谓杜求仁曰："兵势宜合，不可分。今敬业不知，并力渡淮，率山东之众以取洛阳，必是

无能成事命也可知。"敬业寻亦悔之，所以遂败。

《吕氏春秋》曰：凡兵，欲急疾捷，不可久处，所以兔起鹘举。喻急疾也。虽有江河之险，则陵之；虽有太山之塞，遂逾之。

《卫公兵法》曰：用兵上神，战贵其速。简练士卒，申明号令，晓其目以麾帜，习其耳以鼓金，严赏罚以戒之，重刍豢以养之，浚沟堑以防之，指山川以导之，召才能以任之，述奇正以教之：如此，则虽敌人有雷电之疾，而我亦有所待也。若兵无先备，则不应卒；卒不应，则失于机；失于机，则后于事；后于事，则不制胜而军覆矣。故《吕氏春秋》云："凡兵者，欲急（疾）捷，所以一决取胜，不可久而用之矣。"或曰："兵之情惟主速，乘人之不及；然敌将多谋，戎卒辑睦，令行禁止，兵利甲坚，气锐而严，力全而劲，岂可速而犯之耶？"答曰："若此则当卷迹藏声，蓄盈待竭，避其锋势，与其持久，安可犯之哉！廉颇之拒白起，守而不战；宣王之抗武侯，抑而不进是也。"

太平御览卷第二百九十四

兵部二十五

示弱　示强

示　弱

《孙子》曰：兵者，诡道也。无常形以诡诈为道，若息侯诱蔡楚子谋宋也。故能而示之不能，用而示之不用；言己实能，用师外示之怯也。若孙膑示弱而斜庞涓。近而示之远，远而未之近。欲进而理去道也，言多疑设其近，诳曜敌军示之以远，本从其近，若韩信之袭安邑，陈舟临晋而渡夏阳。

又曰：古之善用兵者，能使敌人前后不相及，众寡不相待，贵贱不相求，上下不相扶，卒离而不集，兵合而不齐。多设诈变，出东见西，攻南引北，乱之使彼张惶离乱而不集聚也。合于利而动，暴之使离，乱之使不齐，动兵而战之。不合于利而止。

《左传》曰：蔡声子谓楚令尹屈建曰："若敖之乱，伯贲之子苗贲皇奔晋，以为谋主。及鄢陵之役，楚晨压晋军而阵。苗贲皇曰："楚师之良，在中军王族而已。若塞井夷灶，成阵以当之，栾、范易行以诱之，栾书时将中军，范燮佐之。易行谓简兵备，欲令楚贪己而不复顾二穆之兵。易，以豉反。行，胡郎反。中行、二郤必克二穆。郤锜时将上军，中行偃佐之。郤至佐新军，令此三人分(良)[二]以攻二穆之兵。楚子重、子辛皆出穆王，故曰二穆。吾乃四萃于王族，必大败之。"四萃，四面集之也。晋人从之，楚师大败，王夷师熸，夷，伤也。吴楚之间谓火灭为熸，子廉切。子反死之。郑叛吴兴，则苗贲皇之为也。

《战国策》曰：赵将李牧，常居代雁门，备匈奴。以便宜置吏，市租皆输入于幕府，为士卒费。日击数牛飨士，习骑射，谨烽火，多间谍，厚遇战士。为约曰："匈奴即入盗，急入收保，有敢捕虏者斩。"

匈奴每入，烽火谨，趣入收保，不敢战。如是数岁，亦不亡失。然匈奴谓牧为怯。赵王让牧，牧如故。王怒，使人代将。岁余，匈奴每来，出战，数不利。复遣牧，牧至，如故约。匈奴数来无所得，终以为怯。边士日得赏赐而不用，皆愿一战。于是乃具选车，得千三百乘，选骑得万三千匹，百金之士五万人，彀弓弩者十万人，悉勒习战。大纵畜牧，人众满野。匈奴小入，佯北不胜，以数千人委之。单于闻之，大喜，率众来入。牧多为奇阵，张左右翼击，大破之，煞匈奴十余万骑。单于奔走，十余岁不敢近边也。

又曰：韩魏相攻，齐将田忌率兵伐魏，魏将庞涓闻之，去韩而归。孙膑谓田忌曰："彼三晋之兵，素悍勇而轻齐，齐号为怯。善战者因其势而利导之，兵法：百里而趋利者蹶上将军，蹶，犹挫也。五十里走者半至。使齐军入魏地为十万灶，明日为五万灶，又明日为二万灶。"庞涓行三日，大喜，曰："我故知齐卒怯，入吾地三日，士卒亡者过半矣。"乃弃其步兵，与其轻锐倍日并行逐之。孙子度其行，暮当至马陵。马陵道狭，而旁多阻隘，可伏兵，乃斫大树白而书之曰："庞涓死于此树之下。"于是令万弩夹道而伏，期曰："暮见火举而俱发。"庞涓夜至斫木下，见白书，乃钻火烛之。读书未毕，齐军万弩俱发，军大乱。庞涓乃自刎，曰："遂成竖子之名！"

《汉书》曰：韩王信反，高帝自往击。至晋阳，闻信与匈奴欲击汉，帝使人使匈奴。匈奴匿其壮士、肥牛马，徒见其老弱及羸畜。使者十辈来，皆言匈奴易击。帝使刘敬复往使匈奴，还报曰："两国相击，此宜夸矜见所长。见，示也。今臣往，徒见羸瘠老弱，瘠，音渍，一说读曰瘠。瘠，瘦也。此欲见短伏奇兵以争利，愚以为匈奴不可击也。"是时汉兵以逾句注，三十余万众兵已业行。帝怒，以为[敬妄言](沮)[阻]吾军，阻，谓止坏也。械系敬。广武遂往至平城，匈奴果出奇兵围高帝[于]白登，七日然后得解。

《(汉书)[先贤行状]》曰：孙策遣军攻陈登于匡琦城。贼初到，旌甲覆水郡下，众寡不敌。登乃闭门自守，示弱不战，将士衔声，寂

若无人。登乘城观形势，知其可击。乃申命士众，宿整兵器，昧爽，开门引军指贼营，步骑抄其后。贼周章方结阵，不得还船。登纵兵乘之，贼遂大败。

《晋书》曰：李矩守荥阳城，前赵刘聪将刘畅步骑三万讨矩，屯于韩王故垒，相去七里，遣使招矩。时畅卒至，矩未暇为备，遣使奉牛酒诈降于畅，潜匿精勇，见其老弱。畅不以为虞，大飨渠师，人皆醉饱。矩谋夜袭之，畅仅以身免。

又《慕容宝载记》曰：魏伐并州，骠骑李农逆战，败绩。宝引群臣于东堂议之，尚书封懿曰："今魏师十万，天下之劲敌也，示之以弱，岨关拒战，计之上也。"

《陈书》曰：武帝东讨杜龛，侯安都军守，北齐军(人)[入]据石头，游骑至于阙下。安都闭门偃旗帜，示之以弱。且令城中曰："有登陴看贼者斩。"及夕，贼收军还石头。安都夜令士卒密营御敌之具。明辰，贼又至，安都率甲士三百人开东西掖门与战，大败之。贼乃退还石头，不敢复逼台城。

《后周书》曰：隋文帝作相之初，尉迟迥拒命，遣将崔仲文率兵定关东，军次蓼堤。迥将檀让拥众数万，仲文以羸师战，让悉众来拒，仲文伪北，让军颇骄。于是遣精兵左右翼击之，大败让军，进攻梁郡，迥守将刘子宽弃城遁走。

《隋书》曰：炀帝大业中，彭城贼张大彪、宋世模等众至数万，作保悬薄山，寇掠徐、兖。隋将董纯讨之。纯初闭营不与战，贼屡挑之不出，贼以纯为怯，不设备，纵兵大掠。纯选精锐击贼，合战于昌虑，大破之，斩首万余级，筑为京观。

又曰：隋末山贼孟让，众号十万，屯盱眙。炀帝遣王充保都梁山以拒之，久不与战。乃宣言士卒亡叛，使贼中闻之。让果大笑曰："王充文法吏，何能为将！吾当生缚之。"于是进攻其栅。充与战，佯不胜，让益轻之，乃分兵虏掠。充知其可击，令军中移灶撤幕设方阵，四面而出战，大破之，虏男女十万余口，让仅以身免。

《六韬》曰：武王问太公曰："敌人先至，已据便地，形势又强，则如之何？"对曰："当示以怯弱，设伏佯走，自投死地。敌见之必疾而赴，扰乱失次，必离固所，入我伏兵，[伏兵]齐起，急击前后，冲其两旁。"

示强

《左传》曰：楚将子元以车六百乘伐郑，师入桔柣之门。桔柣，郑远郊之门也。又入自纯门及逵市。纯门，郑外郭门也。(达)[逵]市，郭内道上市也。悬门不发，楚言而出。子元曰："郑有人焉。"悬门施于内城门，郑示楚以间(暇)[城]，故不闭城门，出兵而效楚言，故子元畏，不敢进也。诸侯救郑，楚师夜遁。郑人将奔桐丘，谍言曰："楚幕楚国。有乌。"乃止。幕，帐也。

又曰：楚大饥，戎伐其西南。戎，山夷也。庸人帅群蛮以叛楚。庸，楚属之小国。麇人率百濮，将伐楚，百濮，夷也。于是申、息之北门不启。备中国也。楚人谋徙于阪高。楚险地也。芳贾曰："不可。我能往，寇亦能往。不如伐庸。夫麇与百濮，谓我饥不能师，故伐我。我若出师，必惧而归。百濮离居，将各走其邑，谁暇谋人？"乃出师。旬有五日，百濮乃罢。自庐以往，振廪同食。往，往伐庸也。振，发也。廪，仓也。同食，上下无异馔也。

又曰：晋文公率诸侯伐楚，楚[将]子玉从晋师。晋退三舍，楚师不止。又次于城濮。楚师背酅而舍，酅，丘陵险阻名也。酅，音携。文公患之，听舆人之诵，恐众畏险，故听其歌诵也。曰："原田每每，舍其旧而新是谋。"高平曰：原喻晋军美盛若原田草也，每然可以谋立新功，不足念旧惠也。晋大夫狐偃曰："战也。战而捷，必得诸侯。若其不捷，表里山河，必无害也。"晋国外河而内山也。晋车七百乘韐靷鞅靽。五万二千五百人也。在背曰韐，在胸曰靷，在腹曰鞅，在后曰靽。言驾乘修备。韐，呼见切。靷，与进切。晋侯登有莘之墟以观师，曰："少长有礼，其可用也。"有莘，故国名也。遂伐其木，以益其兵。伐木以益攻战之具，益亦示强也。终败楚师。

又曰：晋侯伐齐，齐侯登巫山以观。晋人使司马斥山泽之险，虽所不至，必旆而疏阵之。斥，候也。疏建旌旗以为阵示众也。使乘车者

左实右伪，以旆先，伪以衣物为人形也。建旆以先驱。舆曳柴而从之。以扬尘。齐侯见之，畏其众也，乃脱归。脱，不张旌帜也。

又曰：蔡声子聘楚，谓令尹屈建曰："子仪之乱，(折)[析]公奔晋，以为谋主。绕角之役，析公曰："楚师轻佻，易震荡也。若多鼓钧声，以夜军之，钧，同其声。楚师必遁。"晋人从之，楚师宵溃。晋遂侵蔡，袭沈，获其君。败申、息之师于桑隧，获申丽而还。郑于是不敢南面。楚失诸华，则析公之为也。

《汉书》曰：景帝时，匈奴大入上郡，天子使中贵人从李广，中官之幸贵也。勒习兵击匈奴。贵人将数十骑出猎，见匈奴三人，与战。被射伤中贵人，杀其骑且尽。中贵人走广，广曰："是必匈奴射雕者也。"雕善飞，故使善射者射之。广乃遂从百骑往驰三人，令骑左右翼，而广身射彼三者，杀其二人，生得一人，果射雕者也。遥见匈奴有数千骑，[见]广，以为诱骑，惊上山阵。广之百骑皆大恐，还驰走。广曰："吾去大军数十里，今若走，匈奴追射，我立尽。今我留，匈奴必以我为大军诱之，必不敢击我。"广令诸骑曰："前！"到匈奴阵二里所，止，令曰："皆下马解鞍！"其骑曰："虏多且近，即急，奈何？"广曰："彼虏以我为走，今皆解鞍以示不走，用坚其意。"胡骑遂不敢击。有白马将出，护其兵。于是广上马，与十余骑奔射杀之，而复还至其[百]骑中，解鞍，令士皆纵马卧。是时会暮，胡兵终怪之，卒不敢击。向夜半时，胡兵以为汉有伏军于旁，欲夜取之，皆引兵去。诘朝，广乃归其军。

《后汉书》曰：廉范为云中太守，会匈奴大入塞，范自率士卒拒之。虏众盛，不敌。会日暮，令军士各交缚两炬，三头然火。虏遥见火多，谓汉兵救至，[大惊]，待朝，将退，范乃令军中蓐食，晨往击之，斩首数百级。虏自此不敢复向云中。

又曰：虞诩为武郡太守，以讨叛羌。羌乃率众数千，遮诩于陈仓、崤谷，诩即停军不进，而宣言上书请兵，须到当发[羌]。闻之，乃分抄傍县，诩因其兵散，日夜进道，兼行百余里。令吏士各作两

灶。或曰："孙膑减灶而君增之，兵法日行不过三十里，以戒不虞，而今日且二百里，何也？"诩曰："虏众多，吾兵少，徐行则易为所及，速进则彼所不测。虏见吾灶日增，必谓郡兵来迎。众多行速，必惮追我。孙膑见弱，吾今示强，势有不同故也。"既到郡，兵不满三千，而羌众万余，攻围赤亭数十日。诩乃令[军]中，使强弩勿发，先用小弩。羌以为矢力弱，不能至，并兵急攻。诩于是使二十强弩共射一人，发无不中，羌大震，退。诩因出城奋击，多所伤杀。明日悉陈其众，令从东郭门出，北郭门入，换易衣服，回转数周。羌不知其数，更相恐动。诩计贼当退，乃潜遣五百余人于浅水设伏，候其走路。虏果奔，因掩击；大破之。

《通典》曰：后汉末陈登为广陵守，孙策遣军攻登于匡琦城，登使人求救于曹公。而密去城十里理军营处所，令多取柴薪，两束一聚，相去十步，从横成行，令俱起火，(牙)[火]燃其聚。城上称庆，若大军到。贼睹火惊溃，登勒兵追奔，斩首万级也。

又曰：蜀大将诸葛亮，屯于阳平，并兵东下。亮惟留万人守城。魏将司马宣王率二十万众拒亮，当亮六十里所，候逻白宣王说亮在城中[兵少]力弱，将士失色。亮是时意气自若，敕军皆卧旗息鼓，不得辄出卷幔，开四门，扫地却洒。宣王疑其有伏，于是引军北趣山。亮谓参佐曰："司马懿谓吾有强伏，循山走矣。"候逻还白亮所言。宣王[后知]，深以为恨。

又曰：西晋将杜元凯伐吴，陈兵于江陵，遣牙门管定、周旨、伍巢等率奇兵八百泛舟夜度，以袭乐乡，多张旗帜，起火巴山，出于要害之地，以夺贼心。吴都督孙歆震恐，与吴将伍延书曰："北来诸军乃飞渡江也。"皆破之。

又曰：东晋末，宋武帝为将，讨海贼孙恩。恩在扈渎，海盐令鲍陋遣子嗣之以吴兵一千，请为前驱。宋武曰："贼兵甚精，吴人不习战，若前驱失利，必败我军。可在后为声援。"不从。是夜，宋武多设伏兵，兼置旗鼓，然一处不过数人。明日，贼率众乃万余迎战。

前驱既交，诸伏皆举旗鸣鼓。[贼]谓四面有军，乃引退。嗣之追奔，为贼所没。宋武且战且退，贼既盛，所领死伤且尽。宋武虑不免，至向伏兵处，乃止，令左右脱取死人衣。贼谓当走反停，疑犹有伏。宋武因呼更战，气色甚猛，贼以为然，乃引军去。宋武徐归，然后散兵稍集。

又曰：东(齐)[晋]末，桓玄篡晋，宋武帝起义[兵]讨玄，使将桓谦、何湛之屯覆舟山。武帝使羸弱登蒋山，多张旗帜。玄不之测，大惧。武帝与刘毅等分为数队进突，谦阵皆殊死战，无不一当百。东北风急，义军放火，烟尘涨天，鼓噪之音震骇京邑。谦等诸军，一时奔散。

又曰：萧齐将冯道根守阜陵城戍。初到阜陵，理城隍，远斥候，有如敌将至者，众颇笑之。道根曰："怯防勇战，此之谓也。"理城未毕，会魏将党法宗、傅(坚)[竖]眼率众二万，奄至城下，道根垒垒未固，城中众少，失色。道根命广开门，缓服登城，选精锐二百人，出与魏军战，败之。魏人见意闲，且战又不利。因退走。

又曰：后魏将宇文测行绥州事，每岁河冰合后，突厥即来寇。先是，常遣居人入城堡以避之，测至，皆令安堵如旧。乃于要路数百处，并多积柴，仍远遣斥候，知其动静。是年十二月，突厥从连谷入寇，去界数十里，测命积柴之处一时纵火。突厥谓有大军至，惧而遁走，自相蹂践，委弃杂畜及辎重不可胜数。测徐率所部收之，分给百姓。自是突厥不敢复至。

又曰：梁雍州刺史岳阳王萧(登)[詧]，虽称藩附于西魏，而尚有贰心。西魏将杨忠自樊城观兵于汉滨，易旗递进。实骑二千，詧登楼睹之。以为三万也，惧而伏焉。

崔鸿《十六国春秋》曰：后赵石勒荆州监军郭敬寇晋襄阳，勒驿令敬退屯樊城。戒之使偃藏旗帜，寂若无人，彼若使人观察，则告之曰："自爱，坚守，后七八日大骑将至，相禁不复得走矣。"敬使人浴马于津，周而复始，昼夜不绝。侦谍还告晋南中郎将周抚，抚以

为勒军大至，惧而奔于武昌。敬遂入襄阳焉。

又曰：前凉张重华以谢艾为军师将军，率骑三万，进军临河。后赵石勒将麻秋以三万众拒之。艾乘轺车，冠白帽，帽，苦浴切。鸣鼓而行。秋遥睹而怒曰："艾年少书生，冠服如此，轻我也。"令黑矟龙腾三千人驰击之，艾左右大扰，或劝乘马，艾不从，乃下车，踞胡床指麾分处。贼以为伏兵发也，惧不敢进。艾又遣将缘河截其后，秋军乃退。艾乘击，遂大败之，斩秋将杜勋，（汲鱼）[及虏]俘斩首三千级。秋匹马奔大夏。

太平御览卷第二百九十五

兵部二十六

审察　遣锐　安众

审　察

《孙子》曰：兵怒而不相迎，交而不合，又不相去，必谨察之。备奇伏也。

《左传》曰：齐师伐鲁，败退，鲁庄公将逐之。曹刿曰："未可。夫大国难测也，惧有伏焉。恐（许）[诈]而奔也。吾视其辙乱，望其旗靡，故逐之。"旗靡辙乱，怖遽也。

又曰：秦晋战于（羁马交绥）[河曲]秦行人夜戒晋师曰："两君之士皆未愁也，明日请相见也。"愁，缺也，鱼觀切。晋大夫臾骈曰："使者目动而言肆，惧我也，（日）[目]动心不安，言肆声放失常节也。将遁矣。薄诸河，必败之。"薄，迫也。晋裨将胥甲、赵穿当军门呼曰："死伤未收而弃之，不惠也；不待期而薄人于险，无勇也。"乃止。秦师果夜遁。

又曰：晋侯伐齐，齐侯畏其众。齐师夜遁，师旷曰："鸟乌之声乐，齐师其遁。"乌乌得空，故乐也。邢伯曰："有班马之声，夜遁，马不闻见，故鸣班列也。齐师其遁。"叔向曰："城上有乌，齐师其遁。

又曰：晋师伐楚，将战，楚子登巢车以观晋军，巢车，车上为楼。楚将子重使太宰伯州犁侍于王后。州（黎）[犁]晋伯宗子，先奔楚。王曰："骋而左右，何也？"骋，走。曰："召军吏也。""皆聚于中军矣！"曰："合谋也。""张幕矣。"曰："虔卜于先君也。""彻幕矣！"曰："将发命也。""甚嚣，且尘上矣！"曰："将塞井夷灶而为行也。"夷，平行，户郎切。"皆乘矣，左右执兵而下矣！"曰："听誓也。"左，将帅；右，车右。竟败楚

于鄢陵。鄢，音偃。

《魏志》曰：刘备遣将吴兰，屯下辩。曹公遣曹洪征之。备遣张飞屯固山，欲断军后。众议狐疑，洪曰："贼实断道者，当伏兵潜行，今反张声，此其不能也。宜及其未集，促击兰，破则飞自走。"集兵击兰，大破之，飞果走。

《宋书》曰：东晋末，武帝率兵北伐，围南燕慕容超于广固，未下。时后秦姚兴遣使告宋武云："慕容见与邻好，以穷告急，今当遣铁骑一万，遥据洛阳。晋军若不退者，便当长驱而进。"宋武遣兴使答曰："语汝姚兴，我定燕之后，息甲三年，当平关、洛。今能自送，便可速来。"刘穆之闻[有]兴使[驰]入，而宋武发遣已去。以兴所言并答，具语穆之。穆之曰："常日事无大小，必赐与谋。此宜善详，云何率尔便答。[公所答兴言]未能威敌，只增彼怒耳。若燕未可拔，兴救奄至，不审何以待之？"宋武笑曰："此是兵机，非卿所解，故不语耳。夫兵贵神速，彼若审能遣救，必畏我知，宁容先遣信命。此是其见我伐燕，内已怀惧，自强之辞耳。"兴竟不能出师广固，终拔，擒慕容超，平齐地。

又曰：武帝自京口举义兵讨桓玄，玄将桓谦屯于东陵，卞范屯覆舟山西以拒之。宋武疑贼有伏兵，谓小将刘钟曰："此山下当有伏兵，卿可率部，下往取之。"钟应声驰进，果有伏兵数百，一时奔走。

又曰：雍州刺史袁颢举兵反，沿流入鹊尾，与官军相持既久。官军主张兴世越鹊尾，上据钱溪，颢将刘胡攻之，不下。[颢]遣人传唱钱溪已平，官军之众并惧。宋将沈攸之曰："不然。若钱溪实败，万人中要应有逃亡得[还]者。必是彼战失利，唱空声以惑众耳。"勒军中不得辄动。钱溪信寻至，果大破贼。攸之悉以钱溪所送胡军耳鼻示之，颢骇惧，急追胡还。遂溃走。

《后魏书》曰：司马楚之讨蠕蠕，蠕蠕潜遣奸覘蠕，如兖切。入楚之军，截驴耳而去。有告失驴耳，诸将莫能察。楚之曰："必是覘贼

截之以为验耳，贼将至。”即使军人伐柳为城，水灌令冻，城立而贼至。冰峻城固，不可攻逼，贼乃走散。世祖闻而(喜)[嘉]之。

又曰：将韩果性强记，兼有权略。所行之处，山川形势辄能记忆，兼善伺敌虚实，揣知情状。有潜匿溪谷欲为间侦者，果登高视之，所疑之处，往必有获。

《通典》曰：周武帝帅师攻围高齐晋州，齐后主将兵十万自来援之。时柱国陈王纯顿[军]千里径，大将军永昌公椿屯鸡栖原，大将军宇文盛守汾水关，并受齐王宪节度。宪密谓椿曰：“兵者诡道，去留不定，见机而作，不得遵常。汝今为营，势令兵去之后，贼犹致疑，不须张幕，可伐疑也。”时齐分军万人向千里径，又令其众出汾水关，自率大兵与椿对阵。宇文盛驰骑告急。宪自以千骑救之。齐人睹谷中尘起，相率遽退。盛与柱国侯莫陈芮涉汾逐之，多有斩获。俄而椿告齐众稍逼，宪又回军赴之。会[椿]被敕追还，率兵夜返。齐人果谓柏庵为帐幕也，不疑军退，翌日始悟。周人说疑，齐人不察。

《军谶》曰：夫用兵者，必察敌国之情，视其仓廪，度其余粮，以卜其强弱。运粮二百里者，无二年之食也；运粮三百里者，无三年之粮也。是谓虚国民贫，上下不相亲，则有离叛心。上行暴虐，则下刻急相残贼，是为亡国。若进恶不退，群贤隐蔽，不肖在位，国受其害，内贪外廉，窃公为恩，饰躬正颜，以获高官，是谓盗端。

避 锐

《孙子》曰：少而逃之，高壁垒勿与战也。彼众我师寡，不可敌，则军自逃，守匿其形也。不若则能避之。[若兵避之，]强弱不敌，势不相若，则引军避之，待利而动。故小敌之坚，大敌之擒。小不能当大，言小国不量其力，敢与大邦为仇，虽权时坚城固守，然后必见擒获。《春秋传》曰：既不能强，又不能弱，所以败之也。无邀正正之旗，无击堂堂之阵，此理变者也。正正者，整齐也。堂堂者，大也，威盛貌。正正者，孤特象也。言前有孤特之兵，后有堂堂之阵，必有奇伏诈诱之谋，审察待之，勿轻邀截，此理变诈者也。是故朝气锐，昼气堕，暮气归。善用

兵者，避其锐，击其堕、归，此理气者也。避其精锐之气，击其懈堕欲归，此理气者也。故曹刿曰：夫战，勇气也。一鼓作气，再而衰，三而竭，彼竭我盈，是以克之。

《战国策》曰：魏武侯问吴起曰："暴寇卒至，掠吾田野，取吾牛马，则如之何？"起曰："暴寇之来，必精且强，善守勿应，潜伏路傍。暮去必(卒)[率]车乘重装，骁骑逐击，势必莫当，遇我伏内，如雪逢汤也。"

《后汉书》曰：袁尚据邺，率兵击兄谭于南皮，留苏由、审配守。曹公围邺，尚还救邺，诸将皆以为："此归师，人自为战，不如避之。"公曰："尚从大道来，当避之；若循西山来者，此成擒耳。"尚果循西山来，临滏水为营。夜遣兵犯围，公逆击破走之，城中崩溃。

《通典》曰：东晋末，武帝伐南燕慕容超，岭南贼卢循、徐道覆乘虚袭建业。循多疑少决，每欲以万全为虑，谓道覆曰："大军未至，晋吏部尚书孟昶便睹风自裁，大势言之，自当计日溃乱。今决[胜]负于一朝，既非必定之道，且杀伤士卒，不如案兵待之。"宋武奔还，拒守。宋武曰："贼若新亭直上，且当避之；回泊蔡洲，乃成擒耳。"于是登石头城以睹循军，初见引向新亭，宋武顾左右失色。既而回泊蔡洲。道覆犹欲上，循禁之。使羸老悉乘舟舰向白石。宋武虑其从白石步上，乃率刘毅、诸葛长民北出拒之。贼遂率数万屯丹阳郡。宋武率诸军驰归。众虑贼过江，咸谓当径还拒战。宋武乃先引军还石头，众莫之晓。是日大热，三军疲顿。既入城，解甲息士，洗浴饮食。久之乃出，列阵于南塘。参军褚叔度、朱龄石率劲勇千余人过淮。贼数千，皆长刀矛铤，精甲曜日，奋跃争进。龄石所领多鲜卑，善步矟，并结阵以待之。贼短兵弗能抗，死伤者数百人，乃退走。

安 众

《春秋》曰：晋文公卒，将殡于曲沃，出绛，柩有声如牛。如牛叫声，虚苟切。卜偃使大夫拜曰："君命大事，将有西师过轶我，击之，必

大捷焉。"秦伯使孟明视等三将袭郑，晋师御之于殽，而败之。声自柩出，故曰君命也，大事也。卜偃闻秦密谋，故因柩声以正众心也。

《史记》曰：燕使骑劫代乐毅，攻齐即墨。齐将田单拒守，乃令城中人食必祭其先祖于中庭，飞鸟悉翔舞城中，下食。燕人怪之。单复宣言曰："神来下教我。"又令[城中人]曰："当有神人为我师者。"有一卒曰："臣可以为师乎？"因反走。田单乃起，引还，东向坐，师事之。卒曰："臣欺君，诚无能。"田单曰："子勿言也！"因师之。每出入约束，必称神。众心乃安，竟破燕军。

又曰：秦二世初，天下乱，陈胜，吴广起兵于蕲。欲收人心，谋曰："项燕为楚将，数有功，爱士卒，楚人怜之。或以为在。今诚以吾众为天下唱，宜多应者。"谓首号令。广以为然，乃行卜。卜者知其指意，曰："足下事皆成功。然足下卜之鬼乎！"卜者云，事成有功，然须假托鬼神乃可兴起耳。故胜、广晓其意，则为鱼书、狐鸣以威众耳。胜、广喜，念鬼，曰："此教我先威众耳。"乃丹书帛曰"陈胜王"，置[人]所罾鱼腹中。罾，音曾。卒买鱼烹食，得书，已怪之矣。又间令广之次所旁丛祠中，夜(搆)[篝]火，狐鸣呼曰："大楚兴，陈胜王"。间，谓窃令人行也。密于广所次舍处旁侧丛祠中为之。丛谓草木之岑蔚者也。祠，神祠也。(搆，谓结起也。)呼，火故切。卒皆夜惊恐。朝日，卒中往往[语]，指目胜。广因而号令众，遂从之。

又曰：高帝已封大功臣二十余人，其余日夜争功不决，未得行封。帝在洛阳南宫，从复道遥见诸将往往相与坐沙中语。张良曰："陛下起布衣，以此属取天下。今为天子，而所封皆萧、曹故人及亲爱，而所诛者皆生平所仇怨。今军吏计功，以天下不足遍封。此属畏陛下不能尽封，又恐见疑平生过失及诛，故即相聚谋反耳。"帝忧曰："为之奈何？"良曰："帝平生所憎，群臣所共知，谁最胜者？"帝曰："雍齿与我有故怨，数常窘辱我，我欲杀之，为其功多，故不忍。"良曰："今急先封[雍齿]则人人自坚矣。"于是帝乃置酒，封齿什(邡)[方]侯，而急趣丞相、御史定功行封。群臣皆喜曰："雍齿且为侯，我属无患矣。"

《汉书》曰：李广以郎中令将四千骑出右北平，博望侯[张]骞将万骑与广俱，异道，行数十里，匈奴万骑围广，军士皆恐，广乃使其子敢往驰之。敢从数十骑直贯胡骑，出其右而还，曰："胡虏易与耳。"军士乃安。

《后汉书》曰：王郎起，光武驰至下曲阳，传闻王郎兵在后，从者恐及。至呼沱河，候吏还白"河水流澌，澌，音斯。无船不可济"。官属大惧，光武令霸往视之。霸恐惊众，欲且前，阻水还，即诡曰："冰坚可渡。"官属皆喜，光武笑曰："候吏果妄语也。"遂前，比至河，河冰亦合，乃令霸护渡。监护渡也。未毕数骑而冰解，光武谓霸曰："安吾众得济免者，卿之力也。"霸谢曰："此明公至德，神灵之祐，虽武王白鱼之应，无以加此。"昔武王渡盟津，白鱼跃入王舟。光武谓官属曰："王霸权以济事，殆天瑞也。"

《晋书》曰：李矩守荥阳城，刘聪将刘畅讨矩。[矩]奉牛酒诈降，谋夜袭之，兵士以贼众，皆有惧色。矩令郭诵祷郑子产祠曰："君昔相郑，恶鸟不鸣。凶胡夏羯，何得过庭！"使巫扬言："东里有教，东里，即子产。当遣神兵相助。"将士闻之，皆踊跃争进。乃使诵选勇敢千人，夜掩畅营，获铠马甚多，斩首数千级，畅仅以身免。

又曰：刘裕讨慕容超，围广固城，数月不拔，或说裕曰："昔石季龙攻曹嶷，瞻气者以为渑水带城，渑，音(绳)[黾]非可攻拔，若塞五龙口，城必自陷。季龙从之，而嶷降。慕容恪围段龛，亦如之，而龛降。降后无几，又震开之。今旧迹犹在，可塞之。"裕从其言。于是城中男女患脚弱疾者太半。时有苍鹅飞入帐座，众咸惊愕，其将曰："苍，胡色也；鹅者，我也。胡虏归我之征。"众大悦。将攻城，诸将咸谏曰："今往亡之日，兵家所忌。"裕曰："我往彼亡，吉孰大焉！"乃命悉登，遂克，平广固。

又曰：岭南贼卢循寇建业，宋武击破之。走至彭蠡湖，乃悉力棚断左里。大军至左里，将战，宋武所执麾竿折，幡沉水，众并怪惧。公欢笑曰："往年覆舟之战，幡竿亦折，今者复然，贼必破矣。"

即攻栅而进。循兵虽殊死战，弗能禁。诸军乘胜奔之，循单舸走。所杀及投水死，凡万余人。纳其降附，宥其逼掠。遣刘藩、孟怀玉轻军追之。循收散卒，尚有数千人，径还广州。

又《秃发利鹿孤载记》曰：吕纂来伐，使俱檀拒之。纂士卒精锐，进度三堆，三军扰惧。俱檀下马据胡床而坐，士众心乃安。与纂战，败之，斩二千余级。

崔鸿《十六国春秋》曰：后赵石勒使将麻秋等伐张重华于武威，重华将谢艾曰："乞假臣兵七千，为殿下吞之。"重华以艾为中坚将军，配步骑五千，击秋。引师出振武，夜有工枭鸣于牙中。艾曰："枭，邀也。六博得枭者胜。今枭鸣牙中，克敌之兆。"于是进战，大破之，斩首五千级。

又曰：后燕慕容宝遣将慕容贺麟率三万余人寇新市。甲子晦，后魏道武进军讨之。太史令晁崇奏曰："昔纣以甲子[日]亡，兵家忌，不可出。"帝曰："纣以甲子日亡，周武不以甲子胜乎？"崇无以对。帝遂进军新市，贺麟退阻泒水，依渐洳泽以自固。渐，音子廉切。洳，音而据切。甲戌，帝临其营，战于义台坞，大破之。

《梁书》曰：庾域为华阳太守。后魏军攻围南郑。时粮储寡少，人情恟惧，恟，许供切。州有空仓数十所，域手自封题，指示将士云："此中粟皆满，足支二年，但(弩)[努]力坚守。"众心以安。虏退，以功拜羽林监。

又曰：杨公则随武帝大军至新林，公则自越城移屯领军府垒北楼，与掖门相对，尝登楼望战。城中遥见麾盖，纵神锋弩射之，矢贯胡床，左右皆失色。公则曰："虏几中吾脚。"谈笑如初。

《通典》曰：隋末李密据兴洛仓，破宇文化及还，士卒皆疲倦。隋将王充欲乘其弊而击之，恐众心不一，乃假托鬼神，云梦见周公，乃立祠于洛水之上，遣巫宣言[周]公欲令仆射讨李密，当有大功，不则兵皆疲死。充兵多楚[人]，俗信妖[妄，故出此]言以惑之。众皆请战，遂破密。

《唐书》曰：高祖为山西河东抚慰大使，行至太平关，遇贼数千人。时所将兵少，左右皆惧。高祖谓之曰："此乌合之贼，易与耳。"因率骑十二人出击之，所向皆靡，众情始定。

《世说》曰：曹公军行失道，三军皆渴。公令曰："前[有]大梅[林]，饶子，酸，可以解渴。"士卒闻之，口皆水出。

《三国典略》曰：梁萧藻有操行，以父非命而卒，布衣菲食，非公坐不听音乐。初为益州刺史。时有焦僧护作乱，掩据郫繁，众有数万。藻年未弱冠，将自击之，乃乘平肩舆巡行贼城。流矢雨下，从者举盾以蔽，藻命去之。因是物情大安，贼夜遁。梁武常称其小字叹曰："子弟并如迦叶，吾复何忧！"

太平御览卷第二百九十六

兵部二十七

法　令

《孙子》曰：法者，曲制官道主用也。曲制者，部曲幡帜金鼓之制也。官者，百官之分用也。道者，粮路也。主用者，主军费用。卒未专亲而罚之则不服，不服则难用也。卒已亲附而罚不行者，则不可用也。故合之以文，齐之以武，文仁武法。是谓必取。文恩武罚。令素行以教其人也，令素行则人服；令素不行则人不服。令素信著者，与众相得也。厚而不能使，爱而不能令，乱而不能理，譬如骄子，不可用也。言恩不可纯任，还为己害。

《左传》曰：晋侯之弟扬干乱行于曲梁，行，军次也。魏绛戮其仆。仆，御也。晋侯怒，谓羊舌赤曰："合诸侯以为荣也，扬干为戮，何辱如之？必杀魏绛，无失也！"（夫）[赤]对曰："绛无二志，事君不避难，有罪不避刑，其将来辞，何辱命焉？"言终，魏绛至，授仆人书，仆人，晋侯御仆也。将伏剑。士魴，张老止之。公读其书曰："君乏使，使臣斯司马。斯，此。臣闻师众以顺为武，顺莫敢违。军事有死无犯为敬。守官行法，虽死不敢有违。君合诸侯，臣[不]敢不敬，君师不武，执事不敬，罪莫大焉。臣惧其死，以及扬干，无所逃罪。惧自犯不武不敬。不能致训，至于用钺。用钺斩扬干之仆。臣之罪重，敢有不从，以怒君心，言不敢不从戮也。请归死于司寇。"致尸于司寇使戮也。公跣而出，曰："寡人之言，亲爱也。吾子之讨，军礼也。寡人有弟，不能教训，使干大命，寡人之过也。子无重寡人之过，听绛死为重过。敢以为请。"请使无死。晋侯以魏绛为能以刑佐民矣，反役，与之礼食，使佐

太平御览卷第二百九十六

兵部二十七

法　令

《孙子》曰：法者，曲制官道主用也。曲制者，部曲幡帜金鼓之制也。官者，百官之分用也。道者，粮路也。主用者，主军费用。卒未专亲而罚之则不服，不服则难用也。卒已亲附而罚不行者，则不可用也。故合之以文，齐之以武，文仁武法。是谓必取。文恩武罚。令素行以教其人也，令素行则人服；令素不行则人不服。令素信著者，与众相得也。厚而不能使，爱而不能令，乱而不能理，譬如骄子，不可用也。言恩不可纯任，还为己害。

《左传》曰：晋侯之弟扬干乱行于曲梁，行，军次也。魏绛戮其仆。仆，御也。晋侯怒，谓羊舌赤曰："合诸侯以为荣也，扬干为戮，何辱如之？必杀魏绛，无失也！"（夫）[赤]对曰："绛无二志，事君不避难，有罪不避刑，其将来辞，何辱命焉？"言终，魏绛至，授仆人书，仆人，晋侯御仆也。将伏剑。士魴，张老止之。公读其书曰："君乏使，使臣斯司马。斯，此。臣闻师众以顺为武，顺莫敢违。军事有死无犯为敬。守官行法，虽死不敢有违。君合诸侯，臣[不]敢不敬，君师不武，执事不敬，罪莫大焉。臣惧其死，以及扬干，无所逃罪。惧自犯不武不敬。不能致训，至于用钺。用钺斩扬干之仆。臣之罪重，敢有不从，以怒君心，言不敢不从戮也。请归死于司寇。"致尸于司寇使戮也。公跣而出，曰："寡人之言，亲爱也。吾子之讨，军礼也。寡人有弟，不能教训，使干大命，寡人之过也。子无重寡人之过，听绛死为重过。敢以为请。"请使无死。晋侯以魏绛为能以刑佐民矣，反役，与之礼食，使佐

曰："兵既整齐，王可试下观之，惟王所欲用之，虽赴水火犹可也。"吴王曰："将军罢休就舍，寡人不愿下观。"武曰："王徒好其言，不能用其实。"于是阖闾知孙子能用兵，卒以为将。西破强楚，入郢，北威齐晋。

又曰：文帝立后六年，匈奴大入边。乃以宗正刘礼为将军，军灞上；祝兹侯徐厉为将军，军棘门；以河内守周亚夫为将军，军细柳；以备胡。上自劳军，至灞上[及]棘门[军]，直驰入，将军下骑送迎。已而之细柳，军士吏被甲，锐兵刃，彀弓弩，持满。天子先驱至，不得入。先驱曰："天子且至！"军门都尉曰："军中但闻将军令，不闻天子诏。"居无何，上至，又不得入。于是上乃使持节诏将军："吾欲入劳军。"亚夫乃传言开壁门。士吏谓从车骑曰："将军约束，军中不得驱驰。"于是天子乃案辔徐行。至军中营，将军亚夫持兵揖曰："介胄之士不拜，请以军礼见。"应劭曰：礼，介者不拜也。天子为动容轼车，使人称："皇帝敬劳将军。"成礼而去。既出军门，群臣皆惊。文帝曰："嗟乎，此真将军矣！曩者灞上、棘门军，若儿戏耳，其将固可袭而虏也；至于亚夫，可得而犯耶！"称善者久之。

《后汉书》曰：祭遵从征河北，为军市令。舍中儿犯法，遵格杀之。光武怒，命收遵。时主簿陈副谏曰："明公常欲众军整齐，今遵奉法不避，是教令所行也。"光武乃贳之，贳犹赦也。以为刺奸将军。谓诸将曰："当备祭遵！吾舍中儿犯法尚杀之，必不私诸卿。"

谢承《后汉书》曰：张温以司空加车骑将军，征韩遂。丙辰，引温见于崇德殿，温以军礼，长揖不拜。

《魏志》曰：曹仁，字子孝。少时不修行检，及长为将，严整奉法，常置科于左右，案以从事。

《吴志》曰：吕蒙图关羽，定南郡，尽得羽及将士家属。蒙抚慰，约令军中不得干历人家，有所求取。蒙麾下士，是汝南民，取民家一笠，以覆官铠。虽公物，蒙犹以为犯军令，不可以乡里故废[法]，遂垂涕斩之。

曰："兵既整齐，王可试下观之，惟王所欲用之，虽赴水火犹可也。"吴王曰："将军罢休就舍，寡人不愿下观。"武曰："王徒好其言，不能用其实。"于是阖闾知孙子能用兵，卒以为将。西破强楚，入郢，北威齐晋。

又曰：文帝立后六年，匈奴大入边。乃以宗正刘礼为将军，军灞上；祝兹侯徐厉为将军，军棘门；以河内守周亚夫为将军，军细柳；以备胡。上自劳军，至灞上[及]棘门[军]，直驰入，将军下骑送迎。已而之细柳，军士吏被甲，锐兵刃，彀弓弩，持满。天子先驱至，不得入。先驱曰："天子且至！"军门都尉曰："军中但闻将军令，不闻天子诏。"居无何，上至，又不得入。于是上乃使持节诏将军："吾欲入劳军。"亚夫乃传言开壁门。士吏谓从车骑曰："将军约束，军中不得驱驰。"于是天子乃案辔徐行。至军中营，将军亚夫持兵揖曰："介胄之士不拜，请以军礼见。"应劭曰：礼，介者不拜也。天子为动容轼车，使人称："皇帝敬劳将军。"成礼而去。既出军门，群臣皆惊。文帝曰："嗟乎，此真将军矣！曩者灞上、棘门军，若儿戏耳，其将固可袭而虏也；至于亚夫，可得而犯耶！"称善者久之。

《后汉书》曰：祭遵从征河北，为军市令。舍中儿犯法，遵格杀之。光武怒，命收遵。时主簿陈副谏曰："明公常欲众军整齐，今遵奉法不避，是教令所行也。"光武乃贳之，贳犹赦也。以为刺奸将军。谓诸将曰："当备祭遵！吾舍中儿犯法尚杀之，必不私诸卿。"

谢承《后汉书》曰：张温以司空加车骑将军，征韩遂。丙辰，引温见于崇德殿，温以军礼，长揖不拜。

《魏志》曰：曹仁，字子孝。少时不修行检，及长为将，严整奉法，常置科于左右，案以从事。

《吴志》曰：吕蒙图关羽，定南郡，尽得羽及将士家属。蒙抚慰，约令军中不得干历人家，有所求取。蒙麾下士，是汝南民，取民家一笠，以覆官铠。虽公物，蒙犹以为犯军令，不可以乡里故废[法]，遂垂涕斩之。

众四千人。又遣大将李自良、谷秀分兵略定闻喜、夏县、万泉、虞乡、永乐、猗氏六县，降其将辛𤇾音晓。及兵五千人。谷秀以犯令虏士女，斩之以徇。

又曰：德宗幸奉天，诏以李晟为神策行营节度使。晟军令严肃，所过樵采无犯。自河中由蒲津而军渭北，壁东渭桥以逼朱泚。时刘德信将神策兵救襄城，败于鹿涧，闻难，率余军前次渭南，与晟合军。军无统一，晟不能制，德信因至晟军，晟乃斩之。复以数骑入德信军中，抚劳军士，无敢动者。晟既并德信军，军益振。

又曰：李晟收复都城，朱泚乃与妻子及姚令言、张[庭]芝等数千骑西走泾原，余兵糜散。晟乃入，抵丹凤门，舍军于外朝。晟处于右金吾仗舍下令曰："军中五日不得通家问，违者斩之。"遣京兆尹李齐运告谕于众，百姓安堵，秋毫无犯。尚可孤军人有擅取马者，晟大将高明曜虏贼女妓一人，司马伷音宙。取贼马二匹，晟立斩之。军士皆胁息，莫敢仰视。翌日，晟以露布闻，上览之感泣，百官皆出涕。因上寿称万岁，曰："李晟虔奉圣谟，荡涤凶慝。然古之树勋，力复都邑者，往往有之；至于不惊宗庙，不易市肆，长安人不识旗鼓，安堵如初，三代已来，未之有也。"上笑曰："天生李晟，为社稷万人，不为朕也。"百官再拜而退。

又曰：永贞元年冬，刘辟阻兵，朝议讨伐，宰臣杜黄裳以为独任高崇文可以成功。元和元年春，拜检校工部尚书兼御史大夫，充左神策行营节度使，兼统左右神策、奉天麟游诸镇兵讨辟。时宿将专征者甚众，人人自谓当选，及诏出大惊。崇文在长武，练卒五千，常若寇至。及是，中使至长武，卯时宣命，而辰时出师五千，器用无阙者。军至兴元，军中有折逆旅之匕箸者，斩之以徇。从阆中入，遂却剑门之师，解梓潼之围。

又曰：高崇文平刘辟，王师入成都，介士屯于大造，军令严肃，珍货山积，市井不移，无秋毫之犯。

又曰：郗士美为昭义节度使。朝廷讨王承宗，士美遣兵马使王

献领卒一万为前锋。献凶恶恃乱，逗挠不进，遽令召至，数其罪斩之。下令曰："敢后出者斩！"士美亲鼓之。兵既合，而贼军大败，下三营，环柏乡，屡以捷闻。上大悦曰："吾固知士美之能办吾事。"于时四面七、八镇兵共十余万，以环镇、冀，未有首功，多犯法。士美兵士勇敢畏法，声甚振，承宗大惧，指期有破亡之势，会诏班师，至今两河间称之。

又曰：李师道攻徐，徐将王智兴败贼壁，获美妾。智兴惧军士争之，乃曰："军中有女子，安得不败？此虽无罪，违军法也。"即斩之以徇。

《韩子》曰：吴起为魏武侯西河之守，秦有小亭临境，吴起欲攻之。乃倚车辕于北门外，而令之曰："有能徙此南门之外，赐之上田上宅。"民莫之徙也。或有徙之者，遂赐之如令。俄又置一石赤黍于东门之外，而令之曰："有能徙之于西门之外者，赐之如初。"民则争徙之。乃下令曰："明日攻亭，有能先登者，仕之国大夫，赐之上田上宅。"民争上。于是攻亭，一朝而拔之。

《尉缭子》曰：古之善用兵者，能杀卒之半，其次杀其十三，其下杀其十一。杀其半者威立海内，杀其十三者力加诸侯，杀其十一者令行士卒。故曰百万之众不斗，不如万人之尸；万人不死，不如百人之贼。赏明如日月，信比如四时，令严如斧钺，而出卒有不死者，未尝闻也。

《六韬》曰：武王问："将，何[以]为威？"太公曰："杀一人[而]万人惧者，宜杀之。杀一人，三军不知，虽多杀，其将不重也。"

《淮南子》曰：勾践决一狱不辜，援龙渊而切其股，血流至足。故战，武士必死。

《魏武军令》曰：兵欲作阵对敌营，先白表，乃引兵就表而阵。皆无欢哗，明听鼓音，旗幡麾前则前，麾后则后，麾左则左，麾右则右。不闻令而擅前后左右者斩。伍中有不进者，伍长杀之；伍长不进，什长杀之；什长不进，都伯杀之。督战部曲，将拔刃在后，察违

令不进者斩之。一部受敌，余部有不进救者斩之。

《武侯兵法》曰：军有七禁：一曰轻，二曰慢，三曰盗，四曰欺，五曰背，六曰乱，七曰误。此治军之禁也。若朝会不到，闻鼓不行，乘宽自留，回避务止，初近而后远，唤名而不应，军甲不具，兵器不备，此谓轻军。有此者斩之。受令不传，传之不审，以惑吏士，金鼓不闻，旌旗不睹，此谓慢军。有此者斩之。食不廪粮，军不部兵，赋赐不均，阿私所亲，取非其物，借贷不还，夺人头首以获功名，此谓盗军。有此者斩之。若变易姓名，衣服不鲜，金鼓不具，兵刃不磨，器仗不坚，矢不着羽，弓弩无弦，主者吏士法令不从，此谓欺军。有此者斩之。闻鼓不行，叩金不止，按旗不伏，举旗不起，指麾不随，避前在后，纵发乱行，折兵弩之势，却退不斗，或左或右，扶伤举死，因托归还，此谓背军。有此者斩之。出军行将，士卒争先，纷纷扰扰，军骑相连，咽塞道路，后不得前，呼唤喧哗，无所听闻，失行乱次，兵刃中伤，长将不理，上下纵横，此谓乱军。有此者斩之。屯营所止，问其乡里。亲近相随，共食相保，呼召不得，越入他位，干误次第，不可呵止，度营出入，不由门户，不自启白，奸邪所起，知者不告，罪同一等，合人饮食，阿私所受，大言惊语，疑惑吏士，此谓误军。有此者斩之。

《卫公兵法》曰：古之善为将者，必能十卒而杀其三，次者十杀其一。三(者)[日]威振于敌国，一(者)[日]令行于三军。是知畏我者不畏敌，畏敌者不畏我。如曰：尽忠益时、轻生重节者，虽仇必赏；犯法怠惰、败事贪财者，虽亲必罚；服罪输情、质直敦素者，虽重必舍；游辞巧饰、虚伪狡诈者，虽轻必戮。善无微而不赞，恶无纤而不贬，斯乃励众劝功之要术也。昔马谡军败，葛亮对泣而行诛；乡人盗笠，吕蒙先涕而后斩；马逸犯麦，曹公割发而自刑；两掾辞屈，黄盖诘问而俱戮。故知威克其爱，虽少必济；如爱胜其威，虽多必败。盖赏罚不在重，在必行；不在数，在必当。故《尉缭子》曰："吴起与秦人战，战而未合，有一夫不胜勇，乃怒而前，获首而返。吴起斩之。吏曰：'此壮士也，不可斩。'吴子曰：'虽壮士，不从令者必斩

之。'"

又曰：褰旗斩将，陷陈摧锋，上赏。破敌所得资物仆马等，并给战士。每收阵之后，裨将虞候辈收敛，(对)[付]总管均分之。与敌斗，旗头被伤，救得者重赏。漏泄军事，斩之；背军逃走，斩之；后期，斩之；有故不坐。行列不齐、旌旗不正、金革不鸣，斩之；与敌私交通，斩之；言语书疏并同。或说道释、祈祷鬼神、阴阳卜筮、灾祥讹言以动众心，并与其人往还言议，斩之；无故惊军，叫呼奔走，谬言烟尘，斩之；凡令觇候，或更相推托，谬说事宜，兼复漏泄者，斩之；吏士所经历侵掠者，斩之；奸人妻女及将妇女入营，斩之。不战而降敌，没其家。凡有私仇须先言，令其避仇；若不言，因战阵报复者，斩之。布阵旗乱，吏士惊惶，罪在旗头，斩之。阵定或辄进退，或对敌乱行者，前后左右所平之行便，斩之。或有弓弩已注，失而回顾者，或干行失位者，后行斩之。前行不动，行斩于失之行。守围不固，一火及主吏并斩之。遇敌攻围危急，若前后左右部队不救致陷者，全部队皆斩之。设奇伏掩袭，务应机速捷，前将先合，后将即副，进退应接乖者并斩之。为敌所乘，失旗鼓节钺，罪全阵斩之。战敌，旗头被敌杀，争得尸首免坐；不得者，一旗并斩之。凡战敌失主将，随从者皆斩之。一将御敌，裨将已下等羌主率不齐力同战、更相救助者，任便斩之。吏士虽破敌，滥行戮杀，发冢焚庐，践稼穑、伐树木者，斩之。禽获敌人，或有来降者，直领见总帅，不得辄访问敌中事，若违因而漏泄者，斩之。破敌先虏掠者斩之。入敌境同。凡隐欺破虏所收获及吏士身死有欺隐其资物兼违令不收恤者斩之。违总帅一时之令，斩之。

太平御览卷第二百九十七

兵部二十八

训　兵

《孙子》曰：言不相闻，故为鼓铎；铎，金钲也，听其音声以为耳候也。视不相见，故为旌旗。瞻其指麾，以为目候。夫金鼓旌旗者，所以一人之耳目也。齐一耳目之视听，使知进退之度。人既专一，则勇者不得独进，怯者不得独退。齐之以法教，使强弱不得相逾。纷纷纭纭，间乱而不可乱；旌旗乱也，示敌若乱，以金间之。纷纷，旌旗像。纭纭，士卒貌。言旌旗翻转一合一离，士卒进退或往或来，视之若扰，观之若乱，然其法令素定，度帜分明，各有分数，扰而不乱也。浑浑沌沌，形圆而不可败。车骑齐转也。形圆者，出入有道齐整也。浑浑，车轮转行。沌沌，步骑奔驰，视其行阵纵横圆而不方，然其指趣各有所应，故王子曰：将欲内明而外暗，内理而外军，所以示敌之轻己者也。浑，外本切。沌，徒损切。

《周礼》曰：太宗伯，以军礼同邦国：同谓威其不协慆差者，军礼之别五也。太师之礼用众也，用其义勇也。大均之礼恤众也，均其地政地守地职之赋，所以优民也。大田之礼简众也，古之因田习兵，阅其车徒之数也。大役之礼任众也，筑宫邑所以事民力强弱也。大封之礼合众也。止封疆沟涂之固，所以合聚其民也。

又曰：《夏官》大司马之职：掌仲春教振旅，司马以旗致民，平列阵，如战之阵。以教坐作、进退、疾徐、疏数之节。遂以蒐田。仲夏教茇舍，如振旅。群吏撰车徒，遂以苗田。仲秋教治兵，如振旅。辨旗物之用，遂以狝田。仲冬教大阅。前期，群吏听誓于阵前，斩牲，以左右徇阵，曰："不用命者，斩之！"遂以狩田。师以救无辜，伐有罪。若师有功，则左执律、右秉钺以先，恺乐献于社。

《左传》曰：春蒐夏苗，秋狝冬狩，于农隙以讲武事。三年而治

兵，入而振旅，归而饮至，以数军实。昭文章，明贵贱，辨等列，顺少长，习威仪也。

又曰：楚子文治兵于睽，终朝而毕，不戮一人。子玉复治兵于芳，终日而毕，鞭七人，贯三人耳。国老皆贺子文。芳贾不贺，曰："子玉刚而无礼，[不可以治民。]过三百乘，其不能以入矣。子玉之败，子之举也。举以败国，将何贺焉？"

又曰：苗贲皇徇曰："蒐乘补卒，秣马利兵，修阵固列，蓐食申祷，明日复战。"乃逸楚囚。

又曰：宣子曰："我若受秦，[秦]则宾也；不受，寇也。既不受矣，而复缓师，秦将生心。先人有夺人之心，军之善谋也。逐寇如追逃，军之善政也。"训卒利兵，秣马蓐食，潜师夜起。戊子，败秦师于令狐，至于刳首。

又曰：宣榭火。宣榭，讲武室也。

《论语》曰：子曰：善人教民七年，亦可以即戎矣。可就兵攻战也。

又曰：[以]不教民战，是谓弃之。

《后汉书》曰：灵帝时，望气[者]以为京师有大兵，两宫流血，以为《太公六韬》有天子将兵事，可以威压四方。帝乃讲武于平乐观下。起大坛，建五采[华]盖。天子擐甲介马，称"无上将军"。何进领兵屯于观下，置西园八校尉，袁绍、曹操等为之。

《唐书》曰：太宗初即位，突厥入寇，欲诸军皆习骑射。每退朝，即引诸[军]卫将习射于显德殿庭，谓将军已下曰："古突厥与中国，更有盛衰。若轩辕善用五兵，即能北逐獯虏；周宣驱驾方、召，亦能制胜太原。下至汉、晋之君，洎于隋代，不使兵士素习干戈，突厥来侵，莫能抗御，(遣)[遗]中国生民涂炭于寇手，我今不使汝等穿池筑苑，造诸淫费，农民恣令逸乐，兵士惟习弓马。若无贼来，我则为汝博士，教汝等武艺优长；若有贼来，我即为汝将帅，领汝斗战。亦望使汝等前无横敌。"于是日引数百人于殿庭教射，太宗亲自临试，每坐或至午时。射中者随赏弓(力)[刀]、布帛，统帅加上考。朝臣

咸谏云："不宜引卑碎之人，挟狐矢于轩陛之侧。"上曰："率土之内皆吾臣子，我所恨不能将我心遍置人腹中，岂有相疑之道哉！"由是一二年间，兵士尽便弓马。

又曰：李抱真领泽潞观察[使]留后。抱真密揣山东当有变，上党且当兵(卫)[冲]。是时乘战余之地，土瘠赋重，人益困，无以养军士。乃籍户丁男，三选其一，有材力者免租徭，给弓矢，令之曰："农之隙，则分曹角射；岁终，吾当会试。"及期，按簿而征之，都试以示赏罚，复命之如初。比三年，则皆善射，抱真曰："军可用矣。"于是举部内之乡，得成卒二万，前既不廪费，府库益实，乃缮兵甲，为战具，遂雄视山东。是时，称昭义步兵冠诸军。

又曰：德宗即位，以马燧为太原尹、北都留守、河东节度、观察、度支、营田使。是时，承鲍防自百井败军之后，兵甲寡弱，骑士少。燧乃悉召将吏牧马厮役，得数千人，悉补骑卒，教之数月，皆为精骑。造甲者必令长短三等，称其所衣，以便进趋。又造战车，[蒙]以狡猊象，(刺)[列]戟于后，行则载兵甲，止则为营阵，或塞险阨以遏奔冲，器械无不犀利。居一年，陈兵三万，开广场以习战阵，教其进退。

《古司马兵法》曰：凡战，非阵之难，使人可阵难；非可使阵难，使可用难；使人尽心效力，用必胜也。非知之难，行之难。教习使人知进退之便，左右之利，事事自行之者难。

又曰：天子之义必纯取于天地，而观于先圣。天子奉天地之道，调和阴阳四时之气，顺先王之法度也。士庶之义必奉于父母，而正于君长。士庶必从父母之教，君长之命。故虽有明君，士不先教，不可用也。虽有明君，士不教习，不可以受敌也。古之教民，必立贵贱之经纶，使高下不相凌，德义不相逾，材伎不相掩，勇力不相犯，故力同意和。古者国容不入军，军容不入国，故德义不相逾。治国以仁德，军事以勇。德以从化，义以法断。以国容入军则军败，军容入国则国乱也。

吴起《教战法》曰：短者持矛戟，长者持弓弩，强者持旌旗，勇者

持金鼓，弱者给厮养，智者为谋士，乡里相比，什伍相保。一鼓整兵，二鼓战阵，三鼓趣食，四鼓然辨，五鼓就行。闻鼓声合，然后举旗。

《六韬》曰：教战之法，必明告吏士，三令五申，教其操兵起居、进止，旌旗指麾。阵而方之，坐而起之，行而止之，左而右之，列而合之，(绝)[绳]而解之。无犯进止之节，无失饮食之宜，无绝人马之力。令吏士一人学战，教成十人；十人学战，教成百人；百人学战，教成千人；千人学战，教成万人；万人学战，教成三军之众。大战之法，百万之师，故能成大功也。

《卫公兵法》曰：诸兵士将战，身貌尪弱，不胜衣甲。又戎具所施，理须坚劲，须简取强兵，并令试练器仗。兵须彻扎陷坚，皆须取甲，试令所射，然始取中。

又曰：每营中，两厢置土马十二匹，大小如常马真鞍，令士卒擐甲胄，橐弓矢，橐音高。佩刀剑，持矛盾，左右上下，以便习其事。

又《教旗法》曰：凡教旗，于平原旷野、登高远视处，大将居其上，南向左右各置鼓一十二面，角一十二具，左右各树五色旗，六纛居前列，旗节次之。左右衙官，驻队如偃月形，为后骑。下临平野，使士卒目见旌旗，耳闻鼓角，心存号令。乃命诸将分为左右，皆去兵刃，精新甲胄幡帜，分为左右厢，各以兵马使为长，班布其次。阵间容阵，队间容队，曲间容曲，以长参短，以短参长。回军转阵，以后为前，以前为后，进无奔进，退无趋走。以正合，以奇胜，听音睹麾，乍合乍离。于是三令五申：白旗点鼓，音动则左右厢齐合；朱旗点角，音动[则]左右厢齐离。离之与合，皆不离中央之地。左厢阳向西旋，右厢阴向东旋，左右各复本初。白旗棹鼓，音动[则]左右各云蒸鸟散，弥川络野，然而不失部队之疏密，朱旗棹角，音动则左右各复本初，前后左右无差尺寸。散则法天，聚则法地。如此三合而三离，三聚而三散。不如法者，吏士之罪从军令。于是大将出五彩旗一十二口，各树于左右厢阵前，每旗命壮勇士五十人守旗，选

壮勇士五十人夺旗，左厢夺右厢，右厢夺左厢，鼓音动而夺，角音动而止，得旗者胜，失旗者负，胜赏而负罚。离合之势，聚散之形，胜负之理，赏罚之信，因是而教之。

《太白阴经》曰：春秋末，并为战国，增讲武之礼，以为戏乐，以相夸视，而秦更名为角抵。故国虽大，好战必亡；天下虽平，亡战必危。天下既平，春蒐秋狝，振旅理兵，所以不忘战。今边军更名曰教旗，使士卒识金鼓、别旗帜、任行列、知部分，一军之节制也。

又曰：古之诸侯畋猎者，为田除害也。上所以供承宗庙，下所以闲习武事。太古之时，人食禽兽之肉，坐其皮；后代之人浸多，时禽兽寡少，衣食不足。于是神农教其植谷，导以纺绩。自是之后，禽兽复盈山林，下平土，害禾稼，为人所害。于是王公秋冬无事畋猎，闲习兵革，奋扬威武，以戒非常。季冬之月（猎）[腊]日，阴用事，万物毕成，蛰虫已伏，乃具卒乘，从禽于山泽，以教部伍，分进退之仪。一人守，围地三尺；十二时守，三万六千尺。积尺得六千步，积步得一十五里余六十步，围中径阔得地五里余二十步，以左右决胜将为交头；其决胜左右，将各主士仵，为行列；皆以金鼓旌旗为节制。其初起围张翼，随山林地势，无远近部分；其合围地虞候先择定讫，以善弧矢者为围中骑；其步卒抢旗幡守围，有漏禽兽，坐守围吏。（如）大兽公之，小兽私之，以观进止。

《管子》曰：凉风至而白露下，天子命左右司马，令组甲厉士众。

《商君书》曰：民之见战，如饥狼之见虎，则民可用矣。

《吕氏春秋》曰：世有言曰："驱市人而战，可以胜人之厚禄教卒；老弱罢民，罢与疲同。可以胜人之精士练材；离散系累，可以胜人之行陈陈与阵同。整齐；钼耰白挺，可以胜人之长铣利兵。"此不通乎兵者之论。今有利剑于此，以刺则不中，以击则不及，与恶剑无择，为是斗因用恶剑则不可。简选精良，兵械铦利，发之则不时，纵之则不当，与恶卒无择，为是战因用恶卒则不可。王子庆忌、陈午犹欲剑之利也。陈午，齐人。庆忌，吴公子。二人皆勇有捷力。简选精良，兵械

铦利，令将将之，王者有以霸者矣。汤、武、齐桓、晋文、吴阖闾是也。

又曰：故凡[形]势险阻，欲其便也；兵甲器械，欲其利也；选练角材，欲其精也；将率士民，欲其教也。此四者，义兵之助也，时变之应也。

又曰：阖闾试其民于五湖，剑皆加于肩，地流血几不可止；勾践试其民于寝宫，民争入火，死者千余，遽击金而退之；赏罚充实也。

《邺城故事》曰：凌霄观成案：石季龙，永和三年，命其子石宣祈于山川，因而游猎，乘大辂，羽葆、华盖，建天子旌旗，十有六军，戎卒十八万，出自金明门。季龙从后宫升观望之，笑曰："我家父子如是，自非天崩地陷，当复何愁，但抱子弄孙日为乐耳！"

《文选》曰：三令五申，教达禁城。

《谢承与步子山书》曰：示攻战进取之方，教进退疾徐之节也。

《刘向别传》曰：蹴鞠者，传言黄帝所作，或曰起战国之时。蹋鞠，兵势所以陈之，知武材也，皆因熙戏而讲习也。

太平御览卷第二百九十八

兵部二十九

军制　偏将

军　制

《礼记》曰：六十不豫服戎。师出不逾时，为怨思也。逾时即内有怨女，外有旷夫。

《周礼》曰：五人为伍，五伍为两，四两为卒，五卒为旅，五旅为师，五师为军。郑玄曰：两二十五人，卒百人，旅五百人，师二千五百人，军万二千五百人也。

《汉书·武帝纪》曰：建(武)[元]元年春二月，赦天下，赐民爵一级。年八十复二算，九十复甲卒。张晏注云：复甲卒，不豫革车之赋也。

《白虎通》曰：王命法：三十受兵，六十归兵。国有三军，(何)[所]以诫非常，伐无道，尊宗庙，重社稷，安不忘危。何以言有三军也？《论语》云："子行三军，则谁与？"《诗》云："周王于迈，六师及之。"三军者何法？法天地人也。以为五人为伍，五伍为两，四两为卒，五卒为旅，五旅为师，师二千五百人，二师为一军。三军六师，万五千人也。传曰：一人必死，十人不能当；百人必死，千人不能当；千人必死，万人不能当；万人必死，横行天下。虽有万人，犹谦让自以不足，故复加五千人。因法月数，月，群阴之长也。十二月足以穷尽阴阳，备物成功。万二千人亦足以征伐不义，致天下太平。《谷梁传》曰："天子六军，诸侯上国三军，次国二军，下国一军。诸侯所以一军者何？诸侯，藩屏之臣也。任兵革之重，距一方之难，故得有一军也。"

《淮南子》曰：季武子为三军，为，作也。武子，鲁卿季文子之子，季孙夙

也。《周礼》：天子六军，诸侯大国三军。鲁伯禽之封，旧有三军，其后削弱，二军而已。武子欲专公室，故欲益中军为三，三家各征其一，事在鲁襄公十一年。叔孙穆子曰："不可。天子作师，公帅之以征不德；师谓六军之众，公谓诸侯。为王卿士者为元帅也。元侯作师，卿帅之以承天子。元侯，大国之君，师三军之众。大国三卿皆命于天子，一卿命于其君。无军，无三军也。若元侯有事，则命卿帅其所教武卫之士，以佐元侯。《礼》所云：次国二军，小国一军，谓以赋出军从征伐，赞佐[治]也。自伯子男，有大夫无卿，无卿，无命卿也。《王制》：小国二卿，皆命于其君也。帅赋以从诸侯。赋国中出兵车甲士以从大国诸侯。是以上能征下，无奸慝。征，正。慝，恶。今我小侯也，言小侯削弱之日久矣。处大国之间，大国齐楚。缮贡赋以供从，犹惧有讨。犹惧以不给见诛讨。若为元侯之所[为]，之所谓作三军元帅所为。以怒大国，无乃不可乎？弗从，遂作中军。中者，明已有上下军。自是齐楚代讨于鲁，代，更。襄昭皆如楚。襄公昭公如楚朝，事楚也。

《穰苴兵法》曰：五人为伍，十五为队，一军凡二百五十人。队余奇兵，队七十有五，以为中垒。守地六千尺，积尺得四里。以中垒四面乘之，一面得地三百步。垒内有地三顷余百八十步。正门为握奇大将军居之。六纛、五麾、金鼓、府藏辎积皆中垒，外余八千七百五十人，队一百七十五，分为八阵。六阵各有一千九十四人，六阵各减一人已为一阵之部署，举一军则千军可知。凡兵者有四正四奇，或合而为一，或离而为八，阵故以正合，以奇胜。

《通典》曰：每军大将一人，别奏八人，傔十六人。副二人，分掌军务，奏、傔减大将半。判官二人，典四人，总管四人。二主左右虞候、二主左右押衙、傔各五人，在衙官下。子将八人，委其分行阵、辨金鼓及部署傔各二人。执鼓十二人，吹角十二人，司兵、司仓、司骑、司胄、城局各一人。每队五十人，押官一人，队头一人，副二人，旗头一人，副二人，火长五人。六分支甲，四分支战袍，一分支枪。

又曰：周制：万有二千五百人为军。军将皆命卿。二千有五百人为师，师帅皆中大夫。五百人为旅，旅帅皆下大夫。百人为卒，卒长皆上士。二十有五人为两，两司马皆中士。五人为伍，伍皆有

长。军师旅卒两伍皆众名，伍一比、两一闾、卒一旅、旅一党、师一州、军一卿，家所出人也。按《司马法》：二十五为两，四两为卒，百人也。五卒为旅，五百人。五旅为师，二千五百人。五师为军，一万二千(三)[五]百人。万二千象十有二月，五百象闰。管子言于齐桓公曰：欲正卒伍，修兵甲，则大国亦将为之。君有征战之事，则小国有守圉之备矣。公欲速得意于天下诸侯，则事有所隐而政有所寓。不显习于兵事，故曰事有所隐。军政寓之田猎，故有所寓。公作内政而寓军令焉。三分齐国为高子之里，为国子之里，为公之里，以为三军。择其贤民，使为里君。每里皆使贤者为君。乡有行伍卒长，则有制令。且以田猎，因以赏罚，因(曰)[田]猎之功过，(寄)[期]行赏罚。则百姓通于军事矣。于是乃制五家以为轨，轨为之长，十轨为里，里有司，四里为连，连为之长，十连为乡，乡有良人，以为军令。是故五家为轨，故五人为轨，轨长率之。十轨为里，故五十人为小戎，里有司率之。四里为连，故二百人为卒，连长率之。十连为乡，故二千人为族，乡良人率之。三军故有中军之鼓，中军则公之里卒也。有高子之鼓，[有国子之鼓]。春以田曰[蒐]，振旅；因寓军政，而且整旅。秋以田曰狝，理兵。顺杀气，因理兵。是故卒伍定于里，军政定于郊。内教既成，令不得迁徙。故[卒]伍之人，人与人相保，家与家相受，少同居，长同游，祭祀同福，死丧相恤，灾祸同忧，居处同乐，行作同和，哭泣同哀。是故夜战其声相闻，足以无乱；昼战其目相见，足以相识；欢欣足以相死。是故以守则固，以战则胜。君有此教士三万人，以横行于天下。教士，谓先教习之士。

又曰：凡立军，一人曰独，二人曰比，三人曰参，比参曰伍，伍人为列，列有头。二列为火，十人有长，立火字(子)。五火为队，五十人有头。二队为官，百人立长。二官为曲，二百人立候。二曲为部，四百人立司马。二部为校，八百人立尉。二校为裨，千六百人立将军。二裨为军。三千二百人有将军、副将军。

《唐书》曰：高祖起义兵，命太宗将兵徇西河郡，下之。癸巳，建大将军府，以裴寂为长史，刘文静为司马，具设官属，始置三军，分为

左右：以公子建成为陇西公、左领大都督，左三军悉隶焉；命太宗为敦煌公，右领大都督，右三军悉隶焉。开仓库以赈穷乏，远近响应。

又曰：高祖二年秋七月壬申，诏曰："天生五材，司物资其器用；武有七德，拨乱所以定功。故黄帝垂(衣)[裳]，尚有阪泉之战；放勋光宅，犹称丹浦之师。禁暴安人，率由兹道；创业垂统，莫此为先。以是周置六军，每习蒐狩；汉增八校，毕选骁勇。故能化行九有，威震百蛮，奸宄不兴，虔刘息志。季叶凌替，军政湮亡，卒(利)[伍]不修，旌旗舛杂。部伍符籍，空有调发之名；逗挠之兴，竟无讨袭之用。遂使夷狄放命，盗贼交侵，战争多虞，黔黎殄丧。朕受天明命，抚育万方，爰自义师，克成帝业。至如超乘之士，莫匪百金；毅骑之材，岂惟七萃。今虽关塞宁谧，荒裔肃清，伊洛犹芜，江湖尚梗，役车未息，戎马载驰，武备之方，尤宜精练。所以各因部校，序其统属，改授铤鼓。创造徽章，取象天官，定其名号。庶使前茅后劲，类别区分，玉帐绛宫，刑德允备，蹈兹汤火，譬彼椒兰，大定戎衣，止戈斯在。于是置十二军，分关内诸府以隶焉。万年道为参旗军，长安道为鼓旗军，富平道为玄武军，醴泉道为井钺军，同州道为羽林军，华州道为骑官军，宁州道为折威军。岐州道为平道军，幽州道为招摇军，西麟道为苑游军，泾州道为天纪军，宜州道为天节军。时高祖以天下未定，实资武力，将举关中之众，以临四方，故兴此制也。每军一人，副一人，取威名素重者为之，督以耕战之务。自是士马精强，无敌于天下矣。

《五代周史》曰：显德初，世宗自高平还，乃大阅，帝亲临之。帝自高平之役，睹诸军未甚严整，遂有退却。至是命太祖皇帝一概简阅，选武艺超绝者，署为殿前，诸班因是有散员、散指挥、内殿直散、都头、铁骑、控鹤之号。复命总戎者自龙捷虎捷以降一一选之，老弱羸小者去之，诸军士伍无不精当。由是兵甲之盛，近代无比。

儒 将

《尚书》曰：司马掌邦政，统六师，平邦国。

《左传》曰：赵朔、赵婴齐为中军大夫。巩朔、韩穿为上军大夫。荀息、赵同为下军大夫。韩厥为司马。

又曰：晋侯请于王。戊申，以彤冕命士会将中军，且为太傅。命卿之服。于是晋国之盗逃奔于齐。

又曰：楚子北师次于郧。沈尹将中军，子西将左，子反将右，将饮马于河而归。

又曰：鲁宣公十年夏六月，晋师救郑。荀林父将中军，先縠佐之；士会将上军，郤克佐之；赵朔将下军，栾书佐之。

《公羊[传]》曰：秋，卫师入盛。（昌）[曷]为或言帅师，或不言帅师？将尊师少称将。将卑师众称师。

《论语》曰：王孙贾治军旅，奚其丧？卫灵公无道，得贾（免）[尚不]丧也。

《史记·项羽本纪》曰：于是梁为会稽守，籍为裨将。

又曰：项王召宋义与计事而大说之，因置以为上将军，项羽为鲁公，为次将，范增为末将。

又《灌婴传》曰：婴击陈豨，受诏别攻豨丞相侯敞，斩敞及特将五人。文颖注云：特一之将。

《后汉书·西域传》曰：大秦国一名犁鞬，所治城周百余里，各有官曹文书，置三十六将，皆会议国事。

《晋书》曰：张光字景武，江夏钟武人也。身长八尺，明眉目，美音声。少为郡吏，家世有部曲，以牙门将伐吴有功，迁江夏西部都尉。

又曰：羊祜在军，常轻裘缓带，身不被甲。铃阁之下，侍卫者不过十数人，而颇以田渔废政。尝欲夜出，军司徐胤执桡当营门曰："将军都督万里，安可轻脱！将军之安危，亦国家之安危也。胤今日若死，此门乃开耳。"祜改容谢之，此后稀出矣。

又曰：吾彦为小将，(级)[给]吴大司马陆抗。抗奇其勇略，将拔用之，患众情不允，乃会诸将，密使人佯狂拔刀跳跃[而]来，坐[上]诸将皆惧而走，惟彦不动，举几拒之，众服其勇，乃擢用焉。

又《天文志》曰：大白为上将，羽林为中军。

又曰：文昌六星，在北斗魁前，天府之六星也。一曰上将，建武威。二曰次将，尚书、中书，司隶赏功也。

又曰：郎将位北，主阅旗，所以为武备也。

又曰：毕八星，主边兵、弋猎。其大星曰天高，一曰边将。

又曰：参，白兽之体。其中三星横列，三将也。[东]北曰左肩，主左将；西北曰右肩，主右将。故《黄帝占》参应七将。七将大，天下兵精。

又曰：南三星骑阵将军，骑将也。南三星车骑，车骑之将也。

又曰：狼一星，在东南。狼为野将，主侵掠也。色有常，欲不动也。

《后周书》曰：贺拔岳事尔朱荣，以定策功，授前将军。时万俟丑奴僭称大号，关中骚动，朝廷深以为忧。荣将[遣]岳讨之。岳私谓其兄胜曰："丑奴拥秦、陇之兵，足为劲敌。若岳往而无功，罪责立至；假克定，恐谗慝生焉。"胜曰："汝欲何计自安？"岳曰："请尔朱氏一人为元帅，岳副贰之，则可矣。"胜以为然，乃请于荣。荣大悦，乃以天光为雍州刺史，以岳为卫将军、左都督。

《隋书》曰：大业九年，征天下兵，募民为骁果，置折冲、果毅、武勇、雄武等郎将官，以领骁果。

《唐书》曰：李质者汴之牙将。李既为留后，倚质为心腹。及朝廷以齐为郡守，齐志邀节钺，质劝谕不从。会齐疽发首，乃与监军姚文寿谋，斩齐传首京师。有诏以韩充镇汴，充未至，质权知军州事，使衙兵二千人，皆日给酒食，物力为之损屈。充将至，质曰："若韩公始至，顿去二千人日膳，人情必大去；若不除之，后当无继。不可留此弊以遗吾帅。"遂处分停日膳而后迎充。

太平御览卷第二百九十九

兵部三十

练士　兵众　队伍

练　士

《通典·搜才》曰：凡为将统戎，在知士器(用)[局]，当设[科]目差等优异，应机而任，以收其效。选士之科，沉谋密略出人者；词辨从衡，能移夺人之性情，堪辨说者；能往来听言语，览视四方之事，军中之情伪，日列于前者；能得敌之主佐、门庐、请谒之情，堪间谍者；能知山川险易，行止形势，利害远近，井泉水草，径路迂直，堪乡导者；巧思出人，制造五兵及攻守器械者；引强(敌)撤扎戈铤剑戟，便于利用，挺身捕虏，搴旗斩将，堪陷阵者；趍捷若飞，逾城越堑，出入无形，堪窥觇者；往返三百里不及暮至者；破格舒钩，或负六百斤行五十步，四百斤行百步者；推步五行，瞻风云气候转，或多言天道，诡说阴阳者；此虽非兵家本事，所要资权谲次以取胜耳。罪犯者；父子兄弟欲执仇者；贫穷忿怒，将欲快其志；故赘婿人虏，欲昭迹扬名。

《长短经》曰：夫王者帅师必简练英雄，知士高下，因能授职，各取所长，为其股肱羽翼，以成威神，然后万事毕矣。腹心一人，主(渊泉)[理繁]应卒，揆天消变，总摄计谋，保国全命者也。谋士五人，主国安危，豫虑未然，喻才能，明赏罚，授官位，决嫌疑，定可否者也。天文三人，主占星历，候风气理，时日考符，验效灾异，知天心去就者也。地形三人，主军行(上)[止]，形势利害，远近险易，水溜山阻，不失地利者也。兵法九人，主讲论异同，行事成败，简练兵器，凡军阵所用，刺举非法者也。通粮四人，主广饮食，密蓄积，通粮道，致五谷，令三军不困乏食也。奋威四人，主择材士，喻兵马，风流电掣，不失所由奇状也。鼓旗三人，主左鼓旗符节号令，倏忽往来，出入若神。股肱四人，主出旌扞，任重持难，修沟堑，治壁垒，四转守御者。通才三人，主拾遗补过，集会术数，周流并会，应(偶)

[待]宾客，议论谈语，消息结解也。权士三人，主奇谲殊异，非人所识，行无穷之变也。耳目七人，主往来听言语，览视四方事，军中之情伪日列于前也。爪牙五人，主扬威武，激厉三军，冒难死攻，令三军勇猛也。羽翼四人，主飞名誉，震远近，动移四境，以弱敌心也。游士八人，主祠征祥候开阖，视敌人为谋者也。伟士二人，主为诸诈，依托鬼神，以惑敌心。法算二人，主计会三军领理万物也。方士二人。全为药以全伤病也。军中有大勇敢死乐伤者聚为一卒，名曰冒将之士。有勃气壮勇暴强者聚为一卒，名曰陷阵之士。有学于奇正长剑雕弧接武齐列者聚为一卒，名曰锐骑之士。有破格舒钩、强梁多力、能溃破金鼓、绝灭旗旌者聚为一卒，名曰勇力之士。有能逾高超远、轻足善走者聚为一卒，名曰冠兵之士。有故王臣失势、欲复见其功者聚为一卒，名曰死斗之士。有死罪之人昆弟为其将报仇者聚为一卒，名曰死责之士。有贫穷忿怒、将(怏)[快]其志者聚为一卒，名曰必死之士。有故赘婿人虏欲昭迹扬名者聚为一卒，名曰厉顿之士。有辩言巧辞、善毁誉者聚为一卒，名曰间谍飞言弱敌之士。有故耳靡免罪之人欲逃其耻者聚为一卒，名曰幸用之士。有材伎过人能负重行数百里者聚为一卒。名曰待令之士。夫卒强将弱曰陁，音豕。吏强卒弱曰陷，兵无选锋曰北，必然之数矣。故曰：兵众孰强，士卒孰练，知之者胜，不知之者不胜，不可忽也。

兵 众

《书》曰：如虎如貔如熊如罴于商郊。

又曰：用咸戒于王曰："王左右常伯、常任、准人、缀衣、虎贲。"

《诗》曰：予王之爪牙，予王之爪士。

《周礼》曰：司戈[盾]，掌戈盾之物而颁之。军旅会同，授贰车戈盾，建乘车戈盾，授旅贲及虎士戈盾。

《左传》曰：彤弓、虎贲，文公受之，以有南阳之田。

又曰：组甲三百，被练三千。

《史记》曰：苏秦说韩惠王曰："韩之卒勇，被坚甲带利剑，一人当百。以大王之贤，西面事秦，为天下笑。"

《汉书》：晁错云：陛下又兴数千万之众，以诛数万之匈奴，众寡之计，以一击十之术也。

《后汉书·光武纪》曰：伯升拔宛已三日，而世祖尚未知，乃伪使书报城中"宛已下，兵到"，而佯堕其书。寻、邑得之，不喜。诸将既累捷，胆气益壮，无不一当百。

《后汉书》曰：光武起，王莽遣大司徒王寻、大司空王邑王莽时，表章所献金匮图有王寻姓名。王邑，王商子，于莽为从父兄弟。将兵百万，其甲士四十二万人。五月，到颍川，复与严尤、陈茂合。颍川郡，今洛州阳翟县也。

又曰：王元说隗嚣曰："今天水完富，士马最强，北取西河上郡，东收三辅之地。按秦旧迹，表里河山。秦外山而内河。元请以一丸泥为大王东封函谷关，此万代一时也。"

又曰：河南贼张步据齐地，耿弇讨，败之。步肉袒负斧锧于军门。锧，锯也。示必死。锯音砧。锧音质。弇传步诣行在，而勒兵入据其城，树十二郡旗鼓，弇凡平城阳、琅琊、高密、胶东、[东]莱、齐千乘、济[南、平原]、[泰]山、临淄等。令步兵各以郡人诣旗下。众尚十余万，辎重七千余两，皆罢遣归乡里。齐地悉平。

又曰：建安中，刘表为荆州牧。理今江陵郡也。刘备时在荆州，众力尚少，诸葛亮曰："荆非少人也，而著籍者寡。平居发调，即人心不悦，凡有游户，皆使自实，因录以益众可也。"备言其计，故表众遂强。

又曰：百官志云：节从武贲，比二百石。

《东观汉记》曰：上赐冯异玺书曰："闻吏士精锐，水火不避，购赏之赐，必不令将军负丹青，失断金也。"

《魏志》曰：张绣反，袭太祖，出战不利，轻骑引去。典韦战于门中，贼不得入。兵遂散从他门并入。时韦校尚有十余人，皆殊死战，无不一当十。前后至稍多，韦以长戟左右击之，左右死伤者略尽。

《晋书》曰：桓玄使陶谦屯覆舟山，刘毅至蒋山。裕羸弱登山，多张旗帜，玄不之测。裕与毅分为数队，进突谦阵，皆殊死战，无不一当百。谦等诸军一时奔散。裕则刘裕也。

又《职官志》曰：左卫将军领熊渠武贲，右卫将军领佽飞武贲。

又《天文志》曰：武贲一星，在太微西蕃，北下台，南静室，旄头之骑官也。

徐爰《宋书》曰：众推高祖为盟主，移檄京邑，遇吴甫之，（主）[玄]骁将也，其兵甚锐。高祖躬执长刀，径入其阵，众皆披靡，[即斩]甫之。进至罗落桥，高祖望贼旗鼓，誓众驰进，挺剑指麾，光曜如电，将士皆莫敢仰视。但冯神武争为先登，殊死而战，无不一当百。

萧方等《三十国春秋》曰：陈安奔陇城，前赵将刘贲驰将追之，石虎止贲曰："穷寇归兵不可迫也。我士卒连胜，皆已怠矣；以骄怠之卒，当致死之众，恐无万全之利。"贲曰："不然。彼锐气尽矣，众心乖沮，人怀苟免，莫有斗志，我卒乘猛气甚盛，皆一当十，岂其衰沮之余所能抗也。贲躬先士卒，战辄败之，遂围安于陇城。

又曰：定阳人梁犊，因民心怨赵也，谋兵东还。犊自称大将军，率众攻下辨，克之。犊军人皆多力善射，一当十，余无兵甲，所在略大斧，施一丈柯，攻战若神，拟向崩溃。

《后魏书》曰：燕凤尝使于符坚曰："彼国人马，实为多少？"凤曰："控弦之士数十万，见马百万匹。"坚曰："卿言人众可尔，说马太多，是虚辞耳。"凤曰："云中川自东山至西河二百里，北山至南山百有余里，每岁孟秋马常大集，略为满川。以此推之，使人之言，犹尚未尽。"坚厚加赠遗。

又曰：宋遣沈攸之、吴憘公领卒数万从沂清而进，欲援下邳，尉元遣孔伯恭卒步骑一万以拒之，并以攸之前败军人伤残手足、瘃兀膝行者尽送令还之。

又《官氏志》曰：太和中，定品令有戟楯武贲将军，有募员武贲

将军，有高车武贲将军。

又曰：河北贼葛荣为魏将尔朱荣所擒，余众悉降。以贼徒既众，若即分割，恐其疑惧，或更结聚，乃普告勒[各]从所乐，亲属相随，任所居止。于是群情喜悦，登即四散，数十万众一时散尽。待出百里之外，乃始分道押领，随便安置，咸得其宜。擢其渠帅，量才授用，新附者咸安。时人服其处分机速。

《三国典略》曰：萧明王僧辨书曰："凡诸部曲，并使招携，投赴戎行，前后云集。霜戈电戟，无非武库之兵；龙甲犀渠，皆是云台之仗。

《庄子》曰：筋力之士矜难，勇敢之士奋忠，兵革之士乐战。

《文选》曰：云屯七萃士，鱼丽六郡兵。

又曰：士马精研。

陆士衡《辨亡论》曰：于时云兴之将，带州飚起之师，跨邑峙阙之群，风驱熊罴之士雾集。

又曰：夫曹、刘之将，非一世所选；向时之师，无曩中之众。

又曰：《孙子荆为石仲容与孙皓书》云："今百僚济济，俊乂盈庭；虎臣武将，折冲万里；国富兵强，六军精练。

队　伍

《太白阴经》曰：阳队起一至九，阴队起九至一，队有五十人，五人火长，五九不失四十五人之数。卒间容卒，相去二步；队间容队，相去一十八步。前告十步，其队前后相去亦如之。黄帝曰"阵间容阵，队间容队，曲间容曲"是也。

《卫公兵法》曰：诸道狭不可并行者，即第一战锋队为首，其次右战队次之，其次左战队次之，其次右驻队次之，其次左驻队次之。若道平川阔，可以并行者，宜作统法。每统战，锐队居前，两战[队]并行次之，又两驻队并行次之，余统准此。若更堪齐头行者，每统五队，横列齐行，后统次之。如每统三百人，简取二百五十人，分为

五队：第一队为战锋队，第二队第三队为战队，第四第五队为驻队。[每队]队头一人，副队头一人。其下等五十人为辎重队，别着队头一人，拟战日押辎重，遥为声援。若兵数更多皆类此。诸军当军折冲果毅，必须排定队伍。每行引发营，须依次第。战日有罪须罚，有功须赏，依名排次，甚为省易。不然，推逐稍难，争竞不定。

又曰：诸每队给一旗，行则引队，住则立于队前。[其]大总管及副总管则立十旗以上，副总管则立四旗以上。行则建于车前，住则立于帐侧。统头亦别给异色旗。拟临阵之时，辨其进退，驻队等旗，别样别造，令引辎重，各令本军营队识认此旗。诸军相去既远，语声难彻，走马报又劳烦，故建[旗]帜，用为节度。其方面旗举，当方面兵急须装束。旗向前亚，方面兵急须进，旗三竖即住，旗卧却回审，细看大将所举之旗。大将方面旗：东方碧，南方赤，西方白，北方黑。专看方色旗亚处，即是其方贼来，便须御捍攻击。

又曰：诸军将战，每营跳荡队、马军队、奇兵队、战锋队，驻队等，分拆为五等，当军各令一官押领。出战之时，先用某等兵战斗；如更须兵，以次更取某等兵，用尽当营。辎重队不得辄用，亦各一官人押领，使坚垒，各令知其部伍，不使纷杂。自余节度，一依横阵。

太平御览卷第三百

兵部三十一

卒　骑

卒

《说文》曰：隶人给事者为卒，衣有题识者也。

《玉篇》曰：卒，众之名也，屯戍之兵也。

《桂苑》曰：卒，隶人也。

《管子》曰：管仲相齐，作内政而寄军令，二百人为卒，卒有正。卒，聚也。

《韵海》曰：南楚谓卒为弩父，卒主担弩导，因以为名也。又行鞭杖者也，皆赤帻绛裙。

《左传》曰：齐侯求逢丑父，三入三出。每出，齐师以帅退，入于狄卒。狄卒者，狄人从晋讨齐也。狄[卒]皆抽戈盾冒之。

又曰：楚令尹子重将为阳桥之役[以救齐]。赦罪，悉师。王卒尽行，彭名御戎，蔡景公为左，许灵公为右。

又曰：晋侯将伐郑，楚子救郑。六月，晋、楚遇于鄢陵。苗贲皇言于晋侯曰："楚之良，在中军王族而已。请分良以击其左右，而三军萃于王卒，必大败。"

又曰：宣子谓鞅曰："矢及君屋，死之！"鞅用剑以帅卒，而栾氏退。摄车从之。

又曰：楚伐舒鸠，吴人救之。楚子强、子息、桓子、骈子、子孟五人以其私卒先击吴师。吴师奔，登山以望，见楚师不继，复逐之传诸其军。

又曰：齐为郎故，国书，高无本帅师伐我，及清，季孙谓其宰冉

求曰："齐师在清，必鲁故也。"季氏之甲七(十)[千]，冉有以武城人三百为己徒卒。老幼守宫，次于雩门之外。五日，右师从之。

又曰：蔡、卫不拔，固将先奔。既而萃于王卒，可以(禁)[集]事。从之。

又曰：子玉使伯棼请战，曰："非敢必有功也，愿以间执谗慝之口。"王怒，少与之师，惟西广、东宫与若敖之六卒实从之。

又曰：狐毛、狐偃以上军夹攻子西，楚左师溃。楚师败绩。子玉收其卒而止，故不败。

《史记·项羽本纪》曰：是时吕后兄吕侯为汉将，兵居下邑，汉王间往从之，稍稍收其士卒。

《汉书·吴王刘濞传》曰：吴王先起兵，诛汉吏二千石以下。胶西、胶东王为渠率，与菑川、济南共攻围临菑。赵王遂亦阴使匈奴与连兵。七国之发也，吴王悉其士卒，下令国中曰："寡人年六十二，身自将。少子年十四，亦为士卒先。诸年上与寡人同，[下]与少子等皆发。"二十余万人也。

又《司马迁传》曰：且陵提步卒不满五千，深践戎马之地，足历王庭，垂饵虎口，横挑强胡。陵，李陵也。

又《刑法志》曰：战国之时，转相攻伐，齐愍以伎击强，魏惠以武卒奋，秦昭以锐士胜。

又《五行志》曰：成帝绥和二年八月，郑通里男子王褒衣绛衣小冠，带剑入北司马门，上前殿，解帷组结佩之，自云"天帝使我居此"。收缚考问，故公车大谁卒。病狂易，不自知入宫，下狱死。大谁者，非常之人名，大姓谁是也。本以谁何为称，因用名。官有大谁长，今此卒即长所领之卒也。

又《食货志》曰：董仲舒说武帝曰："今荒淫越制，逾侈以相高；邑有人君之尊，里有公侯之富，小民焉得不困？又加月为更卒，已，复为正一岁，屯戍三十倍于古。更，工衡切。更卒，谓给郡县一月而更也。

又《胡建传》曰：建字子孟，河东人也。孝武天汉中，守军正丞，贫亡车马，常步；与走卒起居，所以尉荐走卒，甚得其心。尉者，自上安之也。荐者，举藉之也。

《晋书·天文志》曰：积卒十三星，在房心南，主为卫也。

又《谢万传》曰：万乃召集诸将，都无所说，直[以]如意指四座云："诸将皆劲卒。"诸将益恨之。

又《刘元海载记》曰：元海薨，和嗣立，呼延攸等恨不参顾命也，说和曰："先帝不惟轻重之计，而使三王总强兵于内，大司马握十万劲卒居于近郊，陛下今便为寄坐，祸难未可(惻)[测]也。

又《刘曜载记》曰：刘岳攻石生于洛阳，配以近郡甲士五千，宿卫精卒一万，济自盟津。镇东呼延(让)[谟率]荆州之众自崤渑而东。

《庄子》曰：孔子往见盗跖，盗跖乃方休卒太山之阳，脍人肝而铺之。

魏武《步战令》曰：严鼓一通，步骑士悉装；再通，骑上马，步结屯；三通，以次出之，随幡所指。住者结屯幡后，闻急鼓音整阵，斥候者视地形广狭，从四角(面)[而]立表，制阵之宜。诸部曲各自按部阵，兵曹举[事]。不如令者斩！

陈孔璋《檄吴将校部曲文》曰：又使征西将军夏侯渊等帅精甲五万，巴汉锐卒[五万]。

又曰：城都屠勾践武卒散于黄池。

曹植《求自试表》曰：伏见先帝武臣宿兵年耆即世者，有闻矣。虽贤不乏世，宿将旧卒犹习战也。

阮嗣宗《为郑冲劝晋王笺》曰：东诛叛逆，全军独克，擒阖闾之将，斩轻锐之卒以万计，威加南海，名慑三越。

干宝《晋纪论》曰：将相侯王连头受戮，乞为奴仆，而犹不获免，嫔嫱妃主，虏辱于戎卒，岂不哀哉！

陆士衡《辨亡论》曰：告类上帝，拱揖群后，虎臣毅卒，循江而

守。

刘孝标《辨命论》曰：楚师屠汉卒，睢河鲠其流，秦人坑赵士卒，沸声若雷霆。

班孟坚《西都赋》曰：列卒周匝，星罗云布。

左太冲《吴都赋》曰：雕题之士，镂身之卒。

又《魏都赋》曰：簿戍绵幂，无异蛛蝥之网；弱卒瑣甲，何异螳螂之卫！

王仲宣《从军诗》曰：泛舟盖长川，陈卒被隰坰。

谢灵运《拟魏太子邺中集应玚诗》曰：官度厕一卒，乌林预艰阻。

贾谊《过秦（篇）[论]》曰：率罢散之卒，将数百之众，转而攻秦，斩木为兵，揭竿为旗。

又曰：信臣精卒，陈利兵而谁何？

颜延年《杨给事诔》曰：立于将卒之间，以辑华裔之众。

骑

《释名》曰：骑，歧也，两脚歧别也。

《史记》曰：韩信伐赵，未至井陉，选轻骑二千人，人持一赤帜，从间道而望赵军。

又曰：今上为胶东王时，韩嫣与上学书相爱，及上为太子，愈益亲。嫣善骑射，上即位欲事伐匈奴，而嫣先习胡兵，以故益尊贵。

《汉书》曰：霍去病年十八为侍中，善骑射。

又曰：赵充国字公孙，陇西上邽人也。始为骑士，以六郡良家子服虔曰：金城、陇西、天水、安定，北地上郡也。善骑射，对补羽林。

《后汉书》曰：景丹从击王郎将倪宏等于南蛮，郎兵迎战，汉军追却，《续汉书》曰：南蛮贼迎击上营，得上鼓车、辎重数乘。丹等纵突骑击，大破之，追奔十余里，死伤者从横。丹还，世祖谓曰："吾闻突骑天下精兵，今乃见其战，乐可言耶！"遂从征河北。

又曰：吕布为曹操所败，布见操曰："今日已往，天下定矣。"操曰："何以言之？"布曰："明公之所患不过于布，今已服矣，令布将骑，明公将步，天下不足定也！"

《东观汉记》曰：邓禹攻赤眉，辄不利，吏士散已尽，禹独与二十四骑还诣洛阳。

又曰：段颎移于徒中，为并州刺史。征还京师，马骑五万余匹。

又曰：马舫将缇骑宿玄武门。

张璠《汉记》曰：蔡雍上书灵帝曰："幽州突骑，冀州强弩，天下精兵也。"

《魏志》曰：曹休字文烈，太祖族子。太祖指休谓左右曰："此吾家千里驹也。"使与文帝同居止，见待如子。常从征伐，使领虎豹骑。

又曰：太祖哀曹真少孤，占养与诸子同，使与文帝共止。尝猎，为虎所逐，顾射[虎]，应声而倒。太祖壮其勇，使将虎骑。

又曰：光和中，凉州贼起，发幽州突骑三千，假公孙瓒都督行军事讨之。

《吴志》曰：孙坚领豫州刺史，遂治兵于鲁阳城。当进军讨董卓，遣长史公仇称将兵从事还州督军粮。施帐幔于城东门外，祖道送称，官属并会。卓遣步骑数万人逆坚，轻骑数十先到。坚方行酒谈笑，敕部曲整顿行阵，无得妄动。后骑渐益，坚徐罢坐，导引入城，乃谓左右曰："向所以不即起者，恐兵相蹈袭，诸君不得入耳。"卓兵见坚士众甚整，不敢攻城，乃引还。

又曰：孙策骑士有罪，逃入袁术营，隐于内厩，策指使人就斩之，讫，诣术谢。术曰："兵人好叛，当共疾之，何为谢耶？"

《蜀志》曰：曹公入荆州，先主奔江南，曹公追之。及于当阳之长阪，先主弃妻子奔，使张飞将二十骑据水断桥，瞋目横矛曰："张益德也，可来共决死！"敌皆无敢近者。

又曰：赵云字子龙，随先主为先主主骑。

《晋书·载记》曰：符坚伐晋，舍大军于项城，以轻骑八千兼道赴之，令军人曰："敢言吾至寿春者，拔舌而族之！"

《宋书》曰：傅弘之素善骑射，高祖至长安，弘之于姚泓驰道内，缓服戏马，或驰或骤，往反二十里中，甚有节制，羌胡聚观者数十人，并惋惊叹息。

《梁书》曰：曹景宗谓所亲曰："我昔在乡里，骑快马如龙，与年少辈数十骑，拍弓弦作霹雳声，箭如饿鸱叫。平泽逐麞，数肋射之。"

《后周书》曰：太祖尝从数骑于野，忽闻箫鼓之音，以问从人，皆莫之闻也。

《唐书》曰：贞观中，左右屯营始置飞骑，拣材力骁捷善骑射者为之。太宗时出游幸则从，马衣五色袍，乘六闲骏马，赐猛兽皮鞯以标异之。又加阶级、廪食各有差。

《五代周史》曰：显德中，世宗车驾至濠州城下。戊子，亲破十八里滩寨。在濠州东北淮水之中，四面阻水，上令甲士数百人跨驰以济。太祖皇帝以骑军浮水而渡，遂破其寨，虏其战舰而回。

《三国典略》曰：陈韦翔字子羽，有志操，以孝著称。先寻以为骁骑将军，领朱衣直阁骁骑之职。旧领营兵梁世已来其任逾重。翔素有名望，每大事恒令侠侍左右，时人荣之，号曰"侠御将军"。

《祢衡别传》曰：衡着官布单衣，以杖捶地，数骂责操及其先祖，无所不至。操乃敕外具上厩骑马三匹，并骑二人。须臾外给启马办，曹公谓孔文举曰："祢衡小人，无状乃尔，孤今杀之无异鼠雀耳！顾此子有异才，远近闻之，孤今杀之，将谓孤不能容。刘景升天性险急，不能容受此子，必当杀之。"乃以衡置马上，两骑挟送至南阳也。

《会稽典录》曰：朱育谓钟离曰："大皇帝以神武之姿，欲得五千骑乃可有图。今骑无从出，而怀进取之志，将何计？"收曰："大皇以中国多骑，欲得骑以当之，吴神锋弩射三四里，洞三四马，骑敢近之

乎?"

《邺中记》曰:石虎皇后出女骑千人,皆着五彩靴。

《邺城故事》记:凉马台,一名阅马台,亦名戏马台。案《邺中记》云:赵王虎建武六年,造凉马台在城西漳水之南,约坎为台。虎常于此台简练骑卒、虎牙、宿卫,号云腾黑矟骑五千人。每月朔晦阅马于此台,乃于漳水之南张帜鸣鼓,列骑星罗。虎乃登台射髇,箭一发,五千骑一时奔走,从漳水之南齐走集于台下。队督已下皆班赉。虎又射一箭,其五千骑又齐走于漳水之北。其五千流散攒促,若数万人骑,皆以漆矟从事,故以"黑矟"为号。季龙又常以女骑一千人为卤簿,皆着紫纶巾、熟锦裤、金银镂带、五文织成靴,游于台上。

《六韬》曰:选士之法,取年四十以下,长七尺五寸以上,材轻捷疾,力过伦等,能驰毂骑射,前后左右,周旋进退,超越沟堑,驰山陵险阻,绝大泽、越强敌、乱大众者,名曰武骑之士,不可不厚也。

《三略》曰:欲知敌形色可胜之符,先以二十八骑惑之,骑象二十八宿也。

《淮南子》曰:夫善游者溺,善骑者堕,各以其所好,反自为祸。祸,害也。是故好事者未尝不中,中,伤也。好为情欲之事者,未尝不自伤也。争利者未尝不穷也。

《通典》曰:孙膑云:用骑有十利:一曰迎敌始至;二曰乘敌虚背;三曰追[敌]散乱(击);四曰迎敌前、击[敌]后,使敌奔走;五曰遮其粮食,绝其军道;六曰败其津关,发其桥梁;七曰掩其不备,卒击其未振;八曰攻其静怠,出其不意;九曰烧其积聚市里;十曰掠其田野,系累其子弟。此十者,骑战利也。夫骑者,能离能散能集,百里为期,千里而赴,出入无间,故名离合之兵也。

太平御览卷第三百一

兵部三十二

阵

《尚书》曰：武王与纣癸亥阵于商郊。

《左传》曰：晋将荀吴败燕无终及群狄于太原，崇卒也。无终，山戎。初将战，魏舒曰："彼徒我车，所遇又阨，地险不便也。阨，乌介反。以什共车必克。更增十人，当一车之用。困诸阨，又克。车每用于阨道，今去车，故为必克也。请皆卒，去马为步卒。自我始。"乃毁车以为行，魏舒先自毁其属车，为步阵。行，户郎反。五乘为三(五)[伍]。乘车者，车三人，五乘十五人，今改去车，更以五人为(五)[伍]，分为(五)[伍]，三也。为五阵以相离，两于前，伍于后，专为右角，参为左角，偏为前拒，皆临时处置之名也。以诱之。狄人笑之。笑其失常。未阵而薄之，大败。

又曰：王以诸侯伐郑，郑伯御之。原繁、高渠弥[以中军]奉公，为鱼丽之阵，先偏后伍，伍承弥缝。杜预注曰：此鱼丽之法。

又曰：宋为乘丘之役故侵我。公御之。宋师未阵而薄之，败诸鄑。凡师，敌未阵曰败某师，皆阵曰战，大崩曰败绩，得隽曰克，覆而败之曰取某师，京师败曰王师败绩于某。

又曰：宋公及楚人战于泓。司马子鱼曰："彼众我寡，及其未济，请击之。"公曰："不可。"既阵而后击之，宋师败绩。公伤股，门官歼焉。门官，守门者也。国人皆咎公。公曰："古之[为]军也。不以阻隘。寡人虽亡国之余，宋，商纣之后。不鼓不成列。"耻以诈胜也。

又曰：晋楚将战，晋栾书曰："楚师轻窕，固垒而待之，三日必退。退而击之，必获(候)胜焉。"郤至曰："楚有六间，不可失也：其

二卿相恶，子重、子反也。王卒以旧；罢老不代。郑阵而不整；蛮军而不阵；蛮夷从楚，不结阵也。阵不违晦；晦月终阴之尽，故兵家以为忌。在阵而嚣，嚣，喧哗也。合而加嚣，阵合宜静而益有声。各顾其后，莫有斗心，人(恤其所庇)[各恤其死]。旧必不良，以犯天忌。我必克之。"

又曰：宋公谋逐华貙，卫公子朝救宋，与华氏战于赭丘。郑翩愿为鹳，其御愿为鹅。郑翩，宋大夫，[与]华貙俱亡者。鹳，鹳阵也。鹅，雁行阵也。

又曰：越子伐吴，吴人御之笠泽，夹水而陈。越子为左右勾卒，勾卒，钩伍相着，引为左右屯也。使夜或左或后，鼓噪而进。吴师分以御之。越子以三军潜涉，当吴中军而鼓之，吴师大乱。

又曰：鲁哀公为支离之卒，阵名。因祝史挥以侵卫，卫人病之。

又曰：吴楚战于鸡父。公子光曰："请先[者]去备薄威，后者敦阵整衣。"遂克之。

又曰：郑子元请为左拒，以当蔡人，卫人为右拒，以当陈人。阵名。

《论语》曰：卫灵公问阵于孔子，孔子对曰："俎豆之事，则尝闻之；军旅之事，未之学也。"

《周书》曰：春为牝阵，弓为前行；夏为方阵，戟为前行；季夏为圆阵，矛为前行；秋为牡阵，剑为前行；冬为伏阵，楯为前行。是为五阵。

《史记》曰：黄帝有涿鹿之战，以定火灾；颛顼有共工之阵，以平水害。

《汉书·陈汤传》曰：汤伐西域，置扬威、白虎、合骑三校。张晏曰：西域阵名。

又曰：韩信为相国，击齐，齐王走高密，信追至高密西。楚使龙且将，号二十万救齐。齐王使龙且并军与信战，夹潍水阵。信乃夜令人为万余囊，盛沙以壅水上流，引军半渡，击龙且。佯不胜，还走。龙且果追渡水。信使人决壅囊，水大至。龙且军太半不得渡，

即击，杀龙且，虏齐王广。遂平齐。

又曰：李陵至峻稽山，与单于相值，骑可三万围陵。陵军居山间，以大车为营，陵引士出营外为阵，前行持戟楯，后行持弓弩，令曰："闻鼓声而纵，闻金声而止。"虏见汉军少，直前就营。陵搏战攻之，千弩俱发，应弦而倒。虏还走上山，汉军追杀千人。

又曰：卫青军出塞千余里，见单于兵阵而待。于是青令武刚车自环为营，张晏曰：兵车也。而从五千骑往当匈奴。

《晋书》曰：卞壼字望之，子眕及盱同没阵，母抚二子尸哭曰："父为忠臣，汝为孝子，夫何恨乎！"征士翟(阳)[汤]曰："父死于君，子死于父，忠孝之道，萃于一门。"

王隐《晋书》曰：马隆击凉州，恶虏断道。隆作八阵图车营并追，狭则木屋施轮并前，智谋纵横，出其不意，故能成功。

《后魏书》曰：文成帝和平二年，制战阵之法十有余条，因大帷曜兵，有飞龙、腾蛇、鱼丽之变，以示威武。

《隋书》曰：周法尚为定襄太守。时帝幸榆林，法尚朝于行宫。内史令元寿言于帝曰："汉武出塞，旌旗千里。今御营之外，请分为二十四军，日别遣一军发，相去三十里，旗帜相望，钲鼓相闻，首尾连注，千里不绝。此亦出师之盛者也。"法尚曰："不然。兵亘千里，动间山川，卒有不虞，四分五裂。腹心有事，首尾未知，道阻且长，难以相救。虽是故事，此乃取败之道也。"帝不悦，曰："卿意以为如何？"法尚曰："结为方阵，四面外拒，六宫及百官家口并住其间。若有变起，当头分抗，内引奇兵，出外奋击，车为壁垒，重设钩陈，此与据城理亦何异！若战而捷，抽骑追奔，或战不利，此屯营自守。臣谓牢固万全之策也。"帝曰："善。"因拜左武卫将军，[赐]良马一匹，绢三百匹。

《唐书》曰：太宗自为真草书屏风，以示群臣。笔力遒劲，为一时之绝。先是，人间有羲之书，凡真、行二百九十纸，装为七十卷，草书二千纸，装为八十卷。每听览余闲时，取临玩焉。谓朝臣曰：

"书小道，初非急务，时或留心，犹胜弃日。凡诸艺业，未有学而不得者也。病在心力懈怠，不能专精耳。朕少时为公子，未遭阵敌；义旗之始，乃平寇乱。每执鼓，必自指挥。习觀兵阵，即知强弱。常取吾弱对其强，强对其弱。敌犯其弱，追奔不逾百数十步，吾击其弱，必突过其阵，自背而反击之，无不溃。多使此而制胜，思得其理深也。今吾临人之书，殊学于形势，惟在求其骨力，及得骨力而形势自生耳。然吾所为，皆先作意，是以果能成也。"

又曰：太宗制《破阵乐舞图》：左圆右方，先偏后伍，鱼丽鹅鹳，箕张翼舒，交错屈伸，首尾回互，以象战阵之形。令起居郎吕才，依图教乐工一百二十人，被甲执戟而习之。凡为三变，每变为四阵，有来往疾徐击刺之象，以应歌节，数日而就，更名《七德》之舞。

又曰：高宗御武成殿，亲试制举人，问之曰："兵书云天阵、地阵、人阵，其说如何？"举人员半千对曰："臣观载籍，此说颇多，或谓天阵偏伍弥缝也。以臣愚见，谓不然矣。夫师出以义，有若时雨，得天之时，此天阵也。兵在足食，且耕且战，得地之利，此地阵也。善用兵者，使三军之士如父子兄弟，得人之和，此人阵也。三者去矣，其何以战？"高宗嗟赏之，擢居上第。

《家语》曰：战阵有列矣，而勇为本。

《国语》曰：吴王之军为方阵：白裳、白旗、素甲、白羽，望之如荼；茅也。左军赤裳、赤旃，望之如火；右军玄裳、玄旗，望之如墨。

《庄子》曰：徐无鬼谓武侯曰："军无盛鹤，列于丽谯之间。"鹤，列阵名。丽，谯楼也。

《鬻子》曰：武王伐纣，虎旅百万，陈于商郊，起自黄鸟，讫于赤甫，走如疾风，声如震霆。武王乃使太公把旄以麾之，纣军反走。

《尉缭子》曰：梁惠王问尉缭曰："吾闻黄帝有刑德，可以百战百胜，有之乎？"尉缭曰："不然。黄帝所谓刑德者，天官时日、阴阳背向者也。黄帝者，人事而已矣。何以言之？武王伐纣，背清水，向山陵，以万二千击纣[之]亿有八万，断纣头悬于白旗，岂不得天官

之阵哉!"

《孙子》曰:善用兵者,譬如常山之蛇也,击其首则尾至,击其尾则首至,击其腹则首尾俱至。

《傅子》曰:兵法云:"内精八阵之变,外尽九成之宜,然可以用奇也。"

盛弘之《荆州记》曰:鱼腹县盐井以西,石碛平旷,聘望四远,诸葛孔明积细石为垒,方可数百步。垒西郭,又聚石为八行,相去二丈许,谓之八阵图。曰八阵既成,自今行师,庶不复败。自后深识见者,并莫能了。桓宣武伐蜀,经之,以为常山蛇势。

《六韬》曰:武王问太公曰:"凡用兵为天阵奈何?为地阵奈何?为人阵奈何?"太公曰:"星辰、日月、斗杓,一左一右,一迎一背,谓之天阵;丘陵水泉,亦有左右前后之利,此谓地阵;用车用马,(用人)用文用武,谓之人阵。"武王曰:"善。"

又曰:武王问曰:"引兵入诸侯之地,高山盘石,其避无草木,四面受敌,士卒惑迷,为之奈何?"太公曰:"当为云象之阵。"

《兵钤》曰:有运衡阵,洞当阵,龙腾阵,鸟翔阵,握机阵,虎翼阵。

《兵书要决》曰:孙子称:无要正正之旗,无击堂堂之阵。正正之旗者,谓行军也,前后正治,故不可要而击之也;堂堂之阵者,谓营军也,堂堂不冒乱者,不可就而击之。

《黄石公记》曰:使商人为前兵者,象白虎阵;使羽人为前兵者,象玄武阵;使征人为前兵者,象朱雀阵;使角人为前兵者,象青龙阵,亦曰旬始阵。

又曰:彼以直阵来者,我以方阵应之。方来,锐应之;锐来,曲应之;曲来,圆应之;圆来,直应之。直木,方金,锐火,曲水,圆土也,各以能克者,应胜之。

《诸葛亮军令》曰:连冲阵,狭而厚也。

《卫公兵法》曰:诸逢贼布阵,须有次第。先右虞候改为首,其

次右军，其次前军，其次中军，其次后军，其次左军，其次左虞候。其诸军跳荡奇兵马军，各随本军，以次行至战所，并于本军战锋队前布列，待五方旗节度。(加)[如]战锋等队打贼不入，其跳荡奇兵排后即入。[每入]山谷林木蒙密之处，并渡水狭路及下营战处，百里以来，总须搜踏清静。不然，兵引过半，临战下营，伏兵起发，致损军旅。其收军还营，却抽左虞候(见)[先]入，即左军、后军、中军、前军、右军、右虞候次之。诸贼徒恃固，阻山布阵，不得横列，兵士分立，宜为竖阵。其阵法弩手、弓手，与战锋队相间引，前两队两边相翊。布列既定，诸军既听角声。其角声节度一准前，看黄旗向贼亚，闻鼓声发，诸军弩手弓手及战锋队，各令人捉马，一时笼枪大叫齐入。若弩手弓手战锋等队引退，跳荡奇兵队一时齐入，战锋等队排比回面，还与奇兵同入。如见黄旗却立不亚，及闻金钲声乃止。膊上架枪引还，各于旧处，准前听角声。卷(幅)[幡]簇队一准前，如便放散，即更听一会角声，依军次发(行)[引]。

又曰：诸方阵(先)[既]成，逢贼斗战，或打头，或打尾。打头其阵行，不前进；阵既不进，自然牢密。如其打尾，头行不停，其阵中间，多即断绝，须面别各定，总管都押(干)[勾]当，(勾)[勿]令断绝。

《太白阴经》曰：黄帝设八阵之形：车厢洞当，金也；车土中黄，(上)[土]也；鸟云鸟翔，火也；折冲，木也；龙腾却月，水也；雁行鹅鹳，天也；轮车，地也；飞翼浮阻，巽也。风后亦演渥奇图云：以正合，以奇胜，或合而为一阵，或散而为八。聚散之势，节制之度，复置虚实二垒，力牧亦创营图。其后秦由余、蜀诸葛亮，并有阵图以教人战。夫营垒教图，使士卒知进止，识金鼓，其应敌战不可预形，故其战胜不复而应形无穷。兵形象水，因地而制形。兵因敌而制胜，能与敌变化而取胜者谓之神，则其战阵无图明矣。而庸将以教习之阵为战敌之阵，不亦谬乎！

又曰：合而为一阵，终一阵之中，离而为八阵。听音望麾，以出

四奇。飞龙、虎翼、鸟翔、蛇盘，为四奇阵；地、天、风、云，为四正阵。夫善战者，以正合，以奇胜，奇正相生，如环之无端，孰能穷之？奇为阳，正为阴，阴阳相薄而四时行焉。奇为刚，正为柔，刚柔相得而万物成焉。奇正之用而万物无所胜焉。

又曰：《天阵经》曰：风后演握奇图、自一阵之中分为八阵，天有冲，或圆，布形。黄帝曰：少则为圆，利为主，色尚玄为乾。地阵、黄帝曰：壮则为方，利为主，色尚黄为坤。风阵。风附于天，风象峰，其形锐，首利为客，色尚赤，为巽。云阵，云附于天。太公曰：左右相向是也。其形锐首，利为主，色尚白，已前为四正为坎。飞龙阵，其形屈曲象龙，利为主，色尚（上）[生]，玄下赤为震。虎翼阵，居中张翼而进，其形踞。利为主，色尚上黄下青为兑。蛇盘阵，太公曰：围绕之义，其形宛转，利为主，色尚上黄下赤为艮。鸟翔阵。太公曰：突击之战，其形迅急，利为客，其色尚上玄下白为离。

又曰：天阵居乾为天门，地阵居坤为地门，风阵居巽为风门，云阵居坎为云门，飞龙居震为飞龙门，武翼居兑为武翼门，鸟翔居离为鸟翔门，蛇盘居艮为蛇盘门。天、地、风、云为四正门，龙、虎、鸟、蛇为四奇门，乾、坤、艮、巽为闭门，坎、离、震、兑为开门。

太平御览卷第三百二

兵部三十三

先鋒　殿　乡导　伏兵

先　鋒

《后汉书》曰：祭彤拜辽东太守。至则厉兵马，广斥候。彤有勇力，能贯三百斤弓。虏每犯塞，常为士卒前锋，数破走之。

《东观汉记》曰：贾复以偏将军从上（杖）［拔］邯郸，击青犊，大战，日中，贼阵坚不却。上传召复曰："吏士饥，且可朝食。"复曰："先破之，然后食耳。"于是被羽先登，所向皆靡，诸将皆服其勇。

《魏志》曰：张辽字文远，为征东将军。征孙权，被甲战，先陷阵，衔垒入，至麾下。

《晋书·刘牢之传》曰：太元初，谢玄北镇广陵，时符坚方盛，玄多募，牢之与东海何谦、琅琊诸葛侃、乐安高衡、东平刘轨、西河田洛晋陵孙无终等以骁猛应选。玄以牢之为参军，领精锐为前锋，百战百胜，号为"北府兵"，敌人畏之。

又曰：元兴初，会稽王道子将讨桓玄，诏司马柔之兼侍中，以驺虞幡宣告江荆二州。至姑熟，为玄前锋所害。

又《载记》曰：高勾丽及宇文政国等谋灭廆，以分其野。太兴初，三国伐廆，廆曰："彼军初，其锋甚锐，若逆击之，落其计矣。"

又曰：《吕隆载记》曰："宜曜（初）［劲］锋，示其威武。彼以我远来，必决死拒战，可一举而平。"

《宋书》曰：刘怀慎，彭城人也。少谨慎质直。始参高祖镇军车骑将军事，振武军、彭城内史。从征鲜卑，每战必先士卒，及克广固，怀慎率所先登。高祖拒卢循于石头，屡战克捷。

又《张畅传》曰：虏攻彭城南门并放火，畅躬自前战，身先士卒。

《梁书》曰：宋武北伐广固，田子领偏师与龙骧将军孟龙符为前锋。龙符战没，田子力战，破之。

又曰：孟龙符，怀王第三子也。骁勇有胆气，高祖伐广固，以龙符统步骑为前锋。贼数千围统攻之，以众寡不敌，遂见害。追赠青州刺史。

又表曰：龙符投袂义切，前驱效命，摧锋三捷，每为众先。及西剿桓歆，北殄索虏，朝议爵赏，未及施行，会臣北伐，复统前旅，临照之战，气冠三军。于时逆徒实繁，控弦掩泽，龙符匹马电跃，所向摧靡，奋伐深入，知死不吝。

《后周书》曰：高祖东伐齐，王宪率所部先向晋州。明日，诸军总集，稍逼城下；齐人亦大出兵，阵于营南。高祖召宪，驰往观之，宪返命曰："易与耳，请破而后食。"帝悦曰："如汝所言，吾无忧矣。"内史柳昂私谓宪曰："贼亦不少，王安得轻之？"宪曰："宪受委前锋，情兼家国，扫此逋寇，事等摧枯。商周之事，公所知也。贼虽众，其如我何？"既而诸军俱进，应时大溃，其夜齐主遁走。宪轻骑追之。

又曰：李弼背侯莫陈悦以秦州归国。太祖谓弼曰："公与吾同心，天下不足平。"破悦，得金宝奴婢，悉以好者赐之，拜秦州刺史。从太祖平窦泰，先锋陷敌，太祖以所乘骓赐之，及泰所着牟甲亦赐之。

《唐书》曰：太宗击王[世]充，选千余骑为奇兵，皆皂衣玄甲，分为左右队。建大旗，令骑将秦叔宝、程咬金、尉迟敬德、翟长孙等分统之。每临寇，太宗躬被玄甲，先锋率之，候机而进，所向摧殄，常以少击众，贼徒气慑。

殿

《广雅·释诂》曰：殿，后也。

《桂苑》曰：殿，镇也，军后也。

《开元文字》曰：乐只君子，殿天子之邦，谓镇也。孟之反不伐，奔而殿，言在军后也。前曰启，后曰殿。

《[左]传》曰：公与石祁子玦，[与]宁庄子矢，使守，曰："以此赞国，择利而为之。"与夫人绣衣，曰："听于二子。"渠孔御戎，子伯为右，黄夷前驱，孔婴齐殿。

又曰：十一月丁卯朔，入平阴，遂从齐师。夙沙卫连大车以塞隧而殿。（此卫所欲守险者也）殖绰、郭最曰："（天）[子]殿国师，齐之辱也。子姑先乎！"乃代之殿。

又曰：子仪之乱，析公奔晋，晋人置诸戎车之殿，以为谋主。殿，后军也。

又曰：公侵齐，门于阳州。颜息射人中眉，退曰："我无勇。吾志其目也。"师退，冉猛伪伤足而先。其兄会乃呼曰："猛也殿。"

又曰：处父曰："然则乱也，必及于子，先备诸。"与孟孙以壬辰为期。阳虎前驱，林楚御桓子，虞人以敝楯夹之，阳越殿。"越，阳虎从弟也。

又曰：侯犯（亡）[止]之，曰："谋免我乎？"侯犯请行，许之。驷赤先如宿，侯犯殿。

又曰：夏，卫公孟驱伐曹，克郊。还，滑罗殿。罗，卫大夫。

又曰：追郑师，姚般、公孙林殿而射，前列多死。

又曰：宋公伐曹，将还，褚师子肥殿。曹人诟之，不行。子肥，宋大夫。

又曰：陈（璀）[瓘]陈庄涉泗。孟之侧后入以为殿。之侧，孟氏族，字反也。

《论语》曰：孟之反[不伐]，奔而殿，将入门，策其马，曰："非敢后也，马不进也。"

《史记·绛侯世家》曰：周勃，沛人也。高祖之为沛公[初起，勃]以中涓从攻胡陵。勃击章邯车骑，殿。如淳注云：殿不进。吕瓒云：在军后曰殿也。

《后汉书》曰：岑彭围隗嚣于西城。嚣将行巡，周宗将蜀救兵到，嚣得出还冀。汉军食尽，烧辎重，引兵下陇，延、弇亦相随而退。嚣出兵尾击诸营，彭殿为后拒。尾，谓异其后也。凡军在前曰启，在后曰殿。

《后周书》曰：高祖伐齐还，以齐王宪为后拒。齐主自率众来追，至于高梁桥。宪以精骑二千，阻水为阵。齐领军段畅直进至桥。隔水招畅与语，语毕，宪问畅曰："若何姓名？"畅曰："领军段畅也。公复为谁？"宪曰："我虞候大都督耳。"畅曰："观公言语，不是凡人，今日相见，何用隐其名位？"陈王纯、梁公侯莫陈芮、内史王谊等并在宪侧。畅固问不已。宪乃曰："我天子大弟齐王也。"指陈王已下，并以名位告之。畅鞭马而去，宪即命旋军，而齐人遽追之，戈甲甚锐。宪与开府宇文忻各统精卒百骑为殿以拒之，斩其骁将贺兰豹子、山褥瓌等百余人，齐众乃退。

又曰：杨宽从天穆引军趣成皋，令宽与尔朱兆为后拒。寻以众议不可，乃回赴石济。宽夜行失道，后期。诸将咸言："宽少与北海周旋，今不来矣。"天穆答曰："杨宽非轻于去就者也，其所逗留，必有他故。吾当为诸君保明之。"语讫，候骑白宽至。天穆抚髀而笑曰："吾固知其必来。"遽出帐迎之，握其手曰："是所望也。"

《唐书》曰：胡贼掠宜君，令窦轨讨之。初，不利，轨斩其部将十四人，拔队中小帅以代之。轨率数百骑殿于后，令众曰："闻鼓声有不进者，自后斩之。"既鼓，士卒争进击贼，破之，斩首千余级，虏男女二万余口。

乡 导

《孙子》曰：不用乡导者，不得地利。不任彼乡人而导军者则不能得道路之便利。先知迂直之计者胜，此军争之法也。

《卫公兵法》曰：凡是贼徒，好相掩袭，须择敢勇之夫，选明察之士，兼使乡导，潜历山原，密其声、晦其迹。或刻为兽疏，而履于中途；或上冠微禽，而幽伏于丛薄。然后倾耳以遥听，竦目而深视，专

智以度事机，注心而候气色。见水痕则可以测敌济之早晚，观树动则可以辨来寇之驱驰也。故烟火莫若谨而审，旌帜莫若齐而一，爵赏必重而不欺，刑戮必严而不舍。止敌之动静而我必有其备，彼之去就而我岂不保其全哉。必须先觇敌国道路远近，水潦山林，豁谷险阨，城邑大小，沟渠深浅，畜积多少，兵革之数，豪杰姓名，审而知之，用兵之要也。

伏 兵

《易》曰：伏戎于莽，三岁不兴。

《左传》曰：北戎侵郑，郑伯患之。曰："彼徒我车，惧其侵轶我也。"徒，步兵也。轶，突也。公子突曰："使勇而无刚者尝寇，而速去之。尝，试也。勇则能往，无其刚不耻退也。君为三覆以待之。覆，伏兵也。戎轻而不整，贪而无亲，胜不相让，败不相救。先者见获，后必务进，进而遇覆必速奔，后者弗救，则无继矣。乃可以逞。"从之。戎人之前遇覆者奔。郑将祝聃逐之。衷戎师，前后击之，尽殪。为三部伏兵。祝聃帅勇而无刚者先犯之，戎而速奔以遇二伏兵，至后伏兵，伏兵起，戎还走，祝聃返，遂逐之。戎前后及中三处受敌，故曰：衷戎师，殪死。衷，丁仲切。

又曰：吴侵楚，楚将养由基奔命，楚司马子庚以师继之。养由基曰："吴乘我丧，谓我不能师也，必易我而不戒。戒备。子为三覆以待我，我请诱之。"子庚从之。战于庸浦，庸浦，楚地。大败吴师。

又曰：秋九月，晋侯饮赵盾酒，伏兵甲将攻之。其右提弥明知之，右，军右也。趋登曰："臣将侍宴，过三爵，非礼也。"遂扶跣以下，公嗾獒焉。明搏而杀之。斗且出，提弥死之。

又曰：卫侯在平寿，平寿，卫下邑。公孟有事于盖获之门外，有事，祭也。盖获，卫郭门也。齐氏惟于门外而伏甲焉。

《后汉书》曰：冯异招集诸营保数万人，与贼约期会战。使壮士变服与赤眉同，伏于道侧。（且曰）[且日]，赤眉使万人攻异前部，异裁出兵以救之。裁，小出兵，所以示弱也。贼见势弱，遂悉众攻异，乃纵兵大战。日昃，贼气衰，伏兵卒起，衣服相乱，赤眉不复识别，众

遂惊溃。追击，大破于崤底，降男女八万人。

《通典》曰：后汉末，荆州牧刘表遣刘备北侵至郏，曹公遣将李典与夏侯惇距之。备一旦烧屯去，惇率诸军追击之。典曰："贼无故退，疑必有伏，南道穿狭，草木深，不可追也。"惇不听，与将于禁追之。典与惇等果入贼伏衷，战不利。典往救，备救至乃退。

又曰：后汉末，吕布从东缗与陈宫将万余人来与曹公战。时兵皆出取麦，在者不数千人，屯营不固，曹公乃令妇人守陈，悉将兵距之。屯西有大堤，其南树木幽深，布疑有伏，乃相谓曰："曹操多诈，勿入伏中。"引军南七十余里。明日复来，曹公隐兵堤里，出半兵堤外，布益进，乃令轻兵挑战。既合，伏兵乘堤，步卒并进，遂大破之。

《晋书》曰：镇南将军杜元凯伐吴乐乡城，晋牙门管定、周旨等伏兵乐乡城外。吴都督孙歆先遣车出拒晋将王浚于上流，大败而还。旨等发伏兵，随歆军入，歆不觉，直至帐下虏歆。于是进逼江陵。吴都督将伍延伪请降而列兵登陴，晋师攻克之。

《十六国春秋》曰：后晋石季龙攻晋将刘演于廪丘，晋将邵续使文鸯救演，季龙退止卢关津以避之。文鸯弗能进，屯于景亭。兖州豪右张平等起兵救演。季龙夜弃营，设伏于外，扬声将归河北，张平以为信然，入于空营。季龙回击，败之，遂陷廪丘。

又曰：夏赫连勃[勃]进屯依力川，后秦姚兴来伐，至三城。勃勃率骑御之，兴遣其将姚文宗拒战。勃勃伪退，设伏以待之，兴将姚榆生等追之，伏兵夹击，皆擒之。

《北齐书》曰：段韶与右丞相斛律光率师伐后周。五月，攻服秦城。周人于姚襄城南更起城镇，东接定阳，又作深堑，断绝行道。韶乃密抽壮士，从袭之。又遣潜渡河，告姚襄城中，令内外相应，度者千有余人，周人始觉。于是合战，大破之，诸将咸欲攻其新城。韶曰："此城一面阻河，三面地险，不可攻，纵令得之，一城地耳。不如更作一城壅其要路，破服秦城，并加以图定阳，计之长者。"将士咸以为然。遂围定阳，其城主杨范固守不下。韶登山以观城势，乃

纵兵急攻之。七月，屠其外城，韶谓光曰："此城三面重涧险阻，并无走路，惟虑东南一处耳。贼若突围，必从此出，但简精兵专守，自是成擒。"光乃令壮士千余人设伏于东涧口。其夜果如所策，贼遂出城，伏兵击之，大溃，范等面缚，尽获其众。

《后魏书》曰：万俟丑奴作乱关中，魏将贺拔岳率兵讨之。岳以轻骑八百北渡渭，杀略其民以挑之，丑奴大将[尉]迟菩萨。[菩萨]果率步骑三万至渭北。岳以轻骑数(千)[十](余)[与]菩萨隔水交言，岳称扬国威，菩萨自言强盛，往复数返。时已逼暮，于是各还兵。[岳]密于渭南傍水分精骑数[四十、五]十为一处，随地形便置之。明日，自将百余骑，隔水与贼相见。岳渐前进，先所置骑随岳而集。骑既渐增，贼不复测其多少。行二十许里，至水浅可济之处，岳便驰马东出，以示奔遁。贼谓岳走，乃弃步兵，南渡渭(之)[水]，轻骑追(兵)[岳]。[岳]东进十余里，依横岗设伏待之。贼以路险不得齐进，前后继至，半度岗东。岳乃回与贼战，身先士卒，急击之，贼便退走。岳号令所部，贼下马者皆不听杀。贼顾见之，便悉投马。俄而虏获三千人，马亦无遗。遂擒菩萨，乃度渭北，降步卒万余。

《隋书》曰：炀帝征吐谷浑，至覆袁川。时吐谷浑王与数骑而遁，其名王诈为浑主，保车我真山，帝令将张定和率师击之。定和既与贼相遇，轻其众少，呼之命降，贼不肯。定和不被甲，挺身登山，贼伏兵于岩石之下，发矢中之而毙。

《唐书》曰：武德中，太宗围王世充于东都，窦建德自河北率兵十二万来救。太宗自率骑二千五百、步卒千人趣武牢。四月，建德自荥阳西上，筑垒于板渚，太宗以五百骑出武牢东二十余里，将挑战，先伏李勣、程咬金、秦叔宝等，令尉迟敬德执矟造建德垒下，大呼致师，贼众大惊扰，出兵数千骑。太宗逡巡渐却，遂引以入伏内。李勣等奋击，大破之，获其大将殷秋、石瓒，斩首数百级。

又曰：罗士信仕王[世]充，率千余人奔于穀州。高祖以为新安

道行军总管，使图世充。士信进居前锋，退居后殿，凡所虏获悉分士卒，以此为常，身未曾自取。人有功者，解衣下马而赏之。然持兵严暴，有不用命者，无问亲友，必皆斩决。由是下不附而畏之。及大军至洛阳，士信以兵围世充千金堡，其中人大骂之。士信怒，夜遣百余人将婴儿数十从南而来，至于堡下，诈言"从东都来投罗总管"也。因令婴儿啼噪，既而阳惊曰："此千金堡，吾辈错矣！"忽然而去。堡中谓是东都逃人，遽出兵追之。士信伏五千人于路侧，候其开门而奋击，遂破之，杀无遗类也。

又曰：武德中，菀君璋及突厥吐屯设来寇马邑，高蒲政设三伏以待之。突厥至城下，伏兵发，大破之，斩首二百余级，以蒲政为朔州总管，曲赦马邑。

又曰：王君廓从大军讨别下辗辗、罗山二县，王[世]充遣将魏隐率兵拒之。君廓撤营伪遁，设伏以待之。隐纵兵疾进，发伏，破之。

又曰：太宗初为右元帅，总兵十万徇东都。军屯西苑，营于三王陵，自三月而旋(太宗)。俄而隋将段达率万余人自后而至，太宗发伏以击之，贼师大败，亲自追奔至金城下，斩四十余级。

又曰：王君廓亡命，聚徒数千人，转掠长平，进逼夏县。河东郡丞于荣以兵拒之，又遣使慰谕。君廓见其使谬为恭敬，称欲归首。荣心轻之，于是曜兵登山下十余里。君廓悉匿其众于山谷中，荣无所见，引兵而退，才至山下，君廓追击，大破之。

《吴越春秋》曰：公子光伏甲于私室中，具酒，而王僚乃被棠夷之甲三重，使兵卫陈于道。专诸置鱼腹而进之，刺王僚，贯脾达背，王僚立死。

《世说》曰：桓玄伏甲设馔，广延朝士，因此欲诛谢安、王坦之。王甚遽，问谢，谢之宽容，愈表于貌，望阶趣席，方作洛生咏，讽"浩浩洪流"。桓惮其旷远，乃起解兵。王、谢旧齐名，于此始别优劣。

太平御览卷第三百三

兵部三十四

征伐上

《释名》曰：伐，豁也，所向莫敢当前，豁然破散也。

《易》曰：高宗伐鬼方，三年克之。

《书》曰：葛伯仇饷汤，初征自葛。东征西夷怨，南征北狄怨。曰："奚独后予？"

又曰：惟十有一年，武王伐殷。一月戊午，师渡孟津。

《诗》曰：《东山》，周公东征也。我徂东山，慆慆不归。昔我往矣，杨柳依依。今我来思，雨雪霏霏。

又曰：《六月》，宣王北伐也。六月栖栖，戎车既饬。四牡骙骙，载是常服。薄伐玁狁，以奏肤功。有严有翼，共武之服。

又曰：《采芑》，宣王南征也。蠢尔蛮荆，大邦为雠。

又曰：赫赫南仲，薄伐西戎。

又曰：浩浩昊天，不骏其德。降丧饥馑，斩伐四国。

又曰：笃生武王，保祐命尔，燮伐大商。燮，和也。

又曰：维师尚父，时维鹰扬，凉彼武王。肆伐大商，会朝清明。肆，疾也。

又曰：《文王有声》，继伐也。武王能广文王之声，卒其伐功也。

又曰：挞彼殷武，奋伐荆楚。罙入其阻，裒荆之旅。《传》云：罙，深也。笺云：有钟鼓曰伐。罙，冒也。殷道衰而楚人叛商宗挞，然奋扬威武出兵伐之也。

《礼记》曰：吴侵陈，斩祀杀厉。祀神谓有墓树者。厉，疾病。师还出境，陈太宰嚭使于师。夫差谓行人仪曰："是夫也，多善言，盍尝问焉？师必有名，人之称斯师者则谓之何？"太宰、行人，官名。太宰嚭

曰："古之侵伐者，不斩祀，不杀厉，不获二毛。获，犹系虏之人。二毛，发鬓(班)[斑]白者。今斯师也，杀厉与？其不谓之杀厉之师与？"欲微切之，故其言似若不审也。曰："反尔地，归尔子，则谓之何？"曰："君王(赦)[讨]毙邑之罪，又矜而赦[之，师]与有无名者也。"又微之，终其意也。吴、楚、晋号称王。

《周礼》曰：大司马之职，以九伐之法正邦国：冯弱犯寡，则眚之；贼贤害民，则伐之；暴内侵外，则墠之；野荒民散，则削之；负固不服，则侵之；贼杀其亲，则正之；犯令侵政，则杜之；放杀其君，则残之；外内乱，鸟兽行，则灭之。

《大戴礼》曰：明主之所征，必道之所废者也。彼废道而不行，然后诛其君，改其政，吊其民，而不夺其财也。故曰明主之征也，犹时雨也，至则民说。

《左传》曰：夏，郑人侵许。凡师有钟鼓曰伐，无曰侵，轻曰袭。

又曰：吴子诸樊伐楚，门于巢。攻巢门也。巢牛臣曰："吴王勇而轻，若启之，将亲门。我获射之，必殪。殪，死。是君也，疆其少安！"吴子门焉，牛臣隐于短墙以射之，卒。

又曰：晋师伐楚至于邲，楚师出阵。楚将孙叔敖曰："进之。宁我薄人，无人薄我。《诗》云："元戎十乘，以先启行。"先人也。元戎，戎车在前军。言王者军行必有戎车十乘，在前开道，先人为备御之也。《军志》曰："先人有夺人之心，薄之也。"夺，故战也。遂疾进师，车骑卒奔，乘晋师。荀林父不知所为，鼓于军中曰："先济者有赏。"中军、下军争舟，舟中之指可掬也。两手曰掬。下军裨将赵婴齐使其徒先具舟于河，故败而先济。

又曰：晋伐齐，齐侯驾，将走邮棠。邮棠，齐邑。邮，羽求切。太子与郭荣扣马，太子，光也。荣，齐大夫。曰："师速而疾，略也。言欲行略其地，无久攻意。将退矣，君何惧焉！且社稷之主，轻则失众。君必待之。"将犯之，太子抽剑断鞅，乃止。于是，晋师东侵至潍，南及沂。齐侯纳太子谏，故获不败也。

又曰：郑伯侵陈，大获。往岁，郑伯请成于陈，成，平。陈不许。

五父谏曰："亲仁善邻，国之宝也。君其许郑。"陈，公也。陈侯曰："宋、卫实难，可畏难也。郑何能为？"遂不许。君子曰："善不可失，恶不可长，其陈桓公之谓乎！长恶不悛，从自及也。虽欲救之，其将能乎？"

又曰：齐君之无道也，兴师而伐远，方会之。

又曰：君姑修政而亲兄弟之国，庶免于难。隋侯惧而修政，楚不敢伐。

又曰：初，北戎病齐，诸侯救之。郑公子忽有功焉。齐人饩诸侯，使鲁次之以周班，后郑，郑人怒，请师于齐。齐人以卫师助之，故不称侵伐。

又曰：吴伐郯，郯成。季文子曰："中国不振旅，蛮夷入伐，而莫之或恤。"

又曰：晋侯复假道于虞以伐虢。宫之奇谏曰："虢，虞之表。虢亡，虞必从之。晋不可启，寇不可玩，一之为甚，其可再乎？谓二年假晋道伐夏阳也。谚所谓'辅车相依，脣亡齿寒'者，其虞、虢之谓也。"辅，颊辅。车，牙车也。公不听，后遂为晋所灭。

又曰：晋侯使太子申生伐东山皋落氏。衣之偏衣，佩之金玦。先友曰："衣身之偏，握兵之要，又何患焉！"狐突曰："龙凉冬杀，(今)[金]寒玦离，胡可恃也？"里克曰："师在制命而已，禀命则不威，专命则不孝，将焉用之也。"

又：齐侯伐楚，楚使与师言曰："君处北海，寡人处南尔，惟是风马牛不相及也。不虞君之涉吾地，何故也？"管仲对曰："昔召康公命我先君太公曰：五侯九伯，汝实征之。赐我先君履，东至于海，西至于河，南至于穆陵，北至于无棣。尔贡苞茅不入，王祭不供，寡人是征。昭王南征不复，寡人是问。"对曰："贡之不入，敢不供给？昭王[之]不复，君其问诸水滨。"

又曰：卫人以燕师伐郑。郑祭足、原繁、泄驾以三军军其前，曼伯与子元潜军军其后。燕人畏郑三军而不虞制人。君子曰："不备

不虞，不可以师。”

又曰：十年，公会郑伯伐宋。壬申，公败宋师于(管)[菅]。庚午，郑师入郜；辛未，归于我。郑伯后期，而公独败宋师，故郑[伯]独进兵以入郜。入而不贪，命鲁取之，推功上爵，让以自赞也。君子谓郑庄公曰：“于是乎可谓正矣。以王命讨不庭，不贪其土以劳王爵。”

又曰：卫大旱，宁庄子曰：“周饥克殷而年丰，今邢方无道，诸侯无伯，伯，长也。天其或者欲使卫讨邢乎？”从之，师兴而雨。

又曰：公伐邾，取须句。公卑邾，不设备而御之。卑，小也。臧文仲曰：“国无小，不可易也。蜂虿有毒，而况国乎？”弗听。及邾，战于升陉，我师败绩。

又曰：楚子以诸侯伐吴。使屈申围朱方，朱方，吴邑，齐庆封所封也。屈申，屈荡之子也。克之。执庆封而尽灭其族。庆封以襄二十八年奔吴也。将戮庆封。椒举曰：“臣闻无瑕者可以戮人。其肯从于戮乎？”言不肯默而从戮也。王不听，负之斧钺，以徇于诸侯，使言曰：“无或如齐庆封，弑其君，而弱其孤，以盟其大夫。”齐崔杼弑其君，庆封其党也，故以弑君罪责之。庆封曰：“无或如楚恭王之庶子围，弑其君兄之子麇而伐之，以盟诸侯。”王使速杀之。

又曰：四月，郑人侵卫(收)[牧]，(收)[牧]卫邑也。《经》书夏四月葬卫桓公。今《传》直言夏而更以四月附郑人侵卫牧者于下事宜得月以明事之先后，故不复备举《经》文也。以报东门之役。东门役在四年。

又曰：秋，卫伐邢以报免圃之役。邢不速退，所以独见伐也。

又曰：夏，赵盾救焦，遂自阴地，有诸侯之师侵郑，以报大棘之役。

又曰：晋荀息请屈产之乘与垂棘之璧，假道于虞以伐虢。公曰：“是吾宝也。”对曰：“若得道于虞，犹外府也。”公曰：“宫之奇在。”对曰：“宫之奇为人懦，不能强谏，且少长于君，君昵之。虽谏，将不听。”乃使荀息假道于虞，曰：“冀为不道，入自颠轵，伐鄍三门。冀之既病，则亦惟君故。今虢为不道，保于逆旅，侵弊邑之南鄙。敢请假道以请罪于虢。”虞公许之。

又曰：晋侯伐曹，假道于卫。曹在卫东故也。卫人不许，还自南，河济，从汲郡南度，出卫南而东也。侵曹伐卫。

《公羊[传]》曰：及郑师伐宋。丁未，战于宋。战，不言伐何？避嫌也。

又曰：二月，公侵宋。曷为或言侵、或言伐？粗者曰侵，精者曰伐。注云：精，犹精密也。推兵入境伐击之益深，用意稍精密者也。

《论语》曰：孔子曰："天下有道，则礼乐征伐自天子出。"

又曰：季氏将伐颛臾。冉有曰："今夫颛臾，固而近于费。今不取，后世必为子孙忧。"孔子曰："求！君子疾夫远人不服而不能来也，邦分崩离析而不能守也，而谋动干戈于邦内。吾恐季孙之忧，不在颛臾，而在萧墙之内也。"

《韩诗外传》曰：楚王欲伐晋，告士大夫有谏者死。叔敖曰："臣园中有榆，榆上有蝉，蝉方奋翼悲鸣，不知螳螂在其后，欲获而食之，螳螂取蝉，不知黄雀在其后。"

又曰：修武属河内，本殷之宁邑。武王伐纣，勒兵于宁，改曰"修武"，今怀州也。

《家语》曰：孔子言于定公曰："大夫家无藏甲，邑无百雉之城，高丈长丈曰堵，三堵曰雉。古之制也。今三家过制，请皆损之。"乃使季氏宰仲由隳三都。叔孙辄不得意于季氏，因费宰公不狃率费人以袭[鲁]，攻之入，及台侧，[孔]子命申句须、乐颀勒士众下伐之。费人北，遂隳之。强公室，弱私家，尊君卑臣，政化大行。

又曰：孔子曰："明王之征，犹时雨之降。行地弥博，得亲弥众，是还师于衽席之上也。"

《国语》曰：吴伐越，[越]王勾践请嫡女执箕帚，嫡男奉盥匜，匜，沃盥器也。以随诸御；春秋贡献，不懈[于]王府。吴王曰："吾将许越成。"申胥谏曰：申胥，楚臣伍胥。"不可许也。大夫种勇以善谋，将还玩吴国于股掌之上，以得其志。"吴王不听，乃许盟。将伐齐，申胥谏曰："越之在吴，犹人有腹心之疾。今非越是图，而齐、鲁为

优。夫齐、鲁譬诸疾，疥癣也，岂能涉江、淮与我争此地哉?”王弗听。

又曰：谋甫谏曰：“不可。先王之于民，懋正其德而厚其性，阜其财求，利其器用，明利害之乡，以文修之，使务利而避害，怀德而畏威，故能保世以滋大。昔我先王后稷，以服事虞夏。及夏之衰也。弃稷不务，我先王不窋用失其官，而自窜于戎狄之间，不敢怠业，时序其德，纂修其绪，修其训典，朝夕恪勤，守以惇笃，奉以忠信，奕世载德，不忝前人。至于武王，昭前人之光明而加之以慈和，事神保民，莫不欣喜。商王帝辛，大恶于民。庶民不忍，欣戴武王，以致戎于商牧。是先王非务武也，勤恤民隐而除其害也。夫先王之制：国内甸服，国外侯服，侯、卫宾服，夷蛮要服，戎翟荒服。甸服者祭，侯服者祀，宾服者享，要服者贡，荒服者王。日祭、月祀、时享、岁贡、终王。先王之训也，有不祭则修意，有不祀则修言，有不享则修文，有不贡则修名，有不王则修德，序成而又不至则修刑。于是乎有刑不祭，伐不祀，征不享，让不贡，告不王。于是乎有刑罚之辟，有攻伐之兵，有征讨之备，在威让之令，有文告之辞。布令陈辞而又不至，则又增修其德，无勤民于远矣。是以近无不至，远无不服。今自大毕、伯士之终也，犬戎氏以其职来王，天子曰：‘予必以不享征之，且观之兵。’其无乃废先王之训，而王几顿也。吾闻夫犬戎树惇，率旧德而守终纯，固其有以御我矣。”王[不听]，遂征之，得四白狼、四白鹿以归。自是荒服者不至。

又曰：文公即位二年，欲用其民，用，用征伐。子犯曰：“民未知义，未知尊上之义。盍纳天子以示之义?”时天子(之)[以]子带之难在郑地(汜)。乃纳襄王于周。[公]曰：“可矣乎?”对曰：“民未知信。”乃伐原。谓信上令以五日之粮，粮尽不降命去之。曰：“可矣乎?”对曰：“民未知礼，盍大蒐，备师尚礼以示之?”蒐所以明尊卑、顺少长、习威仪也。乃大蒐于被庐，被庐，晋地。作三军。使郄縠将中军，以为大政，大掌国政。郄溱佐之。子犯曰：“可矣。”可用也。遂伐曹、卫，出敖戍，释宋围，败

楚师于城濮。于是乎遂伯。穀,齐地也。

《战国策》曰:赵且伐燕。苏代谓燕惠王曰:"今者臣来,过易水,见蚌方出曝,而鹬啄其肉,蚌合而钳其啄。鹬曰:'今日不雨,明日不雨,即有蚌脯。'蚌亦曰:'今日不出,明日不出,必见死鹬。'两者不能相舍,而渔者并擒之。今赵且伐燕,不相支,以弊大众,臣恐强秦之为渔父也! 大王熟计之。"惠王曰:"善。"乃止。

又曰:苏秦谓秦惠王曰:"战车万乘,奋击百万,可以并诸侯,吞天下,称帝而治。愿大王少留意,臣请奉其郊。"王曰:"寡人闻:毛羽不丰满,不可以高飞;文章不成者,不可以诛罚;道德不厚者,不可以使民;政教不顺者,不可以烦大臣。"秦曰:"臣固疑大王不能用也。昔者神农伐补遂,黄帝伐涿鹿,尧伐欢兜,舜伐三苗,禹伐共工,汤伐有夏,文王伐崇,武王伐纣,齐王战而伯天下。由此观之,罔有不战者也。夫五帝三王五伯、明主贤君,常欲坐而致之。其势不能,故以战续之。宽则两军自攻,迫则杖戟相蹂,兵胜于外,义强于内,威在于上,民伏于下。今欲并天下,陵万乘,蹈敌国,制海内,臣诸侯,非兵不可。"

太平御览卷第三百四

兵部三十五

征伐中

《史记》曰：秦缪公令内史廖以女乐二八遗戎王。缪公又数使人间要由余，遂去降秦。秦缪公以客礼礼之，问伐戎之利。

又曰：赵四战之国，其人习兵，不可伐也。

又曰：鲁君问柳下惠伐齐，下惠归而忧色，曰："吾闻伐国不问仁人，此言何至于我哉？"

又曰：轩辕之时，神农氏世衰，诸侯相侵伐，暴虐百姓，而神农氏弗能(正)[征]。于是(辕)[轩]辕乃集用干戈，以征不享，诸侯或来宾从。而蚩尤最为暴，莫能伐。

又曰：赐弓矢斧钺，使得征伐为西伯。

又曰：西伯既卒，周武王东伐至孟津，诸侯叛殷，会周者八百。诸侯皆曰："纣可伐。"

又曰：武王为文王木主载车中，武王自称太子发，言奉文王以伐，不敢自专。

又曰：武王遍告诸侯曰："殷有重(罚)[罪]，不可不毕罚。"徐广注云：伐一作灭。

《汉书·郊祀志》曰：昔齐桓公欲封禅，谓管仲曰："寡人北伐山戎，过孤竹；西伐束马县车，上卑耳之山；南伐召陵，登熊耳山，以望江汉。兵车之会三，而乘车之会六，遂九合诸侯，一匡天下，昔三代受命，亦何以异乎？"

又《李广利传》曰：天子为万里而伐，不录其过。

又《匈奴传》曰：东胡强闻冒顿杀父自立，乃使使谓冒顿，欲得单于阏氏。冒顿问左右，左右皆怒曰："东胡无道，乃求阏氏，请击之。"冒顿曰："奈何与人怜爱一女子乎？"遂取所爱阏氏与之，东胡愈骄。冒顿遂东袭，袭击东胡。东胡初轻冒顿，不为备。及冒顿以兵至，大破，灭东胡王。

《后汉书》曰：帝以关中未定，而邓禹久不进兵，下敕曰："司徒，尧也；亡贼，桀也。长安吏人，遑遑无所依归。宜以时进讨，镇慰西京，系百姓之心。"禹犹执前意，乃分遣将军别攻上郡诸县，更征兵引谷，归至大要。大要，县名。

《魏志》曰：太祖父嵩，去官后还谯，以董卓之乱避难琅琊，为陶谦所害，故太祖志在复仇东伐。

又曰：景元四年，邓艾伐蜀。自阴平行无人之地七百余里，凿山通道，作桥阁。山高谷深，至有艰险。艾以旃自裹，推转而下。将士皆攀木缘崖，鱼贯而进。

王隐《晋书》曰：太康元年，龙骧将军王浚等攻建平、丹阳城，克之。东击西陵以下，尽拔其城，虏其将帅。于是上下诸军同时并进，吴人降者以万计。吴丞相张悌及护军孙震，与扬州刺史周浚等战于板桥，破之。临阵斩悌、震首，浚遂泛舟东下，所历皆平。军至秣陵，皓面缚舆榇将其太子诣浚降。乃收其图籍，皆因吴所置，除其虐政，示以简易，百姓大悦。乃赦天下，改元为太康，天下大酺五日。

《晋书》曰：宣王破张鲁，请魏武便讨刘备。魏武曰："人若无足，既得陇，复欲得蜀也。"

又曰：王羲之与会稽王笺，陈殷浩不宜北伐，并论时事。

又《宣纪》曰：镇东大将军诸葛诞杀扬州刺史乐綝，以淮南作乱，议者请速伐之。帝曰："吾当与四方同力，全胜制之。"乃表曰："昔黥布叛逆，汉祖亲征；隗嚣违戾，光武西伐。皆所以奋杨赫斯，震曜威武也。"

又《天文志》曰：参十星，一曰参伐，主斩刈。又为天狱，主杀。

又《冯纨传》曰：初谋伐吴，纨与贾充、荀勗同共苦谏不可。吴平，纨内怀惭惧。

又《载记》曰：慕容垂议征长子。诸将咸谏，以慕容永未有衅，连岁征役，士卒疲怠，请俟他年。垂将从之，及闻慕容德之策，笑曰："吾计决矣。不复留贼以累子孙也。"乃发步骑七万，遣其丹阳王慕容瓒、龙骧张崇攻永弟支于晋阳。

《北史》曰：慕容绍宗讨侯景于涡阳。时景军甚盛，初闻韩轨往讨之，曰："啖猪肠小儿。"闻高岳往，曰："此岳精，凡人耳。"诸将被轻。及闻绍宗至，扣(案)[鞍]曰："谁教鲜卑小儿解遣绍宗来？若然，高王未死耶？"及与景战，诸将频败，无肯先者。绍宗麾兵径进，诸将从之，因大捷。

《三国典略》曰：周伐梁，于谨大军次于樊、邓，岳阳王率军会之，传檄于梁曰："告梁文武众官：夫作国者罔弗以礼信为本，惟尔今主往遭侯景逆乱之始，实结我国家以邻援。今总背德，党贼高洋，引厥使人置之堂宇，傲我王命，扰我边人。我皇帝袭天之意，弗敢以宁，分命众军，奉杨庙略凡众十万，直指江陵。"丁卯，梁主停讲，内外诫严，是朝昏雾，巳时方歇。梁主亲戎百官并甲胄，从于禊饮堂间，公私马仗。是日大风拔木。王琛既至石梵，未见我军，乃驰书报黄罗汉曰："吾至梵境。"上(怙)[恬]然前曰："所言皆儿戏耳。"罗汉入启，梁主疑之。庚午，续讲百官以戎服听。

《后周书》曰：建德五年冬十月，帝谓群臣曰："朕去岁属有疹疾，遂不得克平逋寇。前贼入境，备见敌情，观彼行师，殆同儿戏。又闻其朝政昏乱，政由群小，百姓嗷然，朝不谋夕。天与不取，恐贻后悔。若复同往年，出军河外，直为抚背，未扼其喉。然晋州本高欢所起之地，镇摄要重，今往攻之，彼必来援，吾严军以待，击之必克。然后乘破竹之势，鼓行而东，足以穷其窟穴，混同文轨。"诸将多不愿行。帝曰："机者事之微，不可失矣。若有沮吾军者，朕当以

军法裁之。"己酉，帝总戎东伐。以越王盛为右一军总管，杞国公亮为右二军总管，隋国公杨坚为右三军总管，谯王俭为左一军总管，大将军窦恭为左二军总管，齐王宪、陈王纯为前军。

又曰：保定中，命宇文护统众伐齐。于是征二十四军及左右厢散隶及秦陇、巴蜀之兵、诸蕃国之众二十万人。十月，帝于庙廷授护斧钺。出军至潼关，乃遣柱国尉迟迥率精兵十万为前锋。大将军权景宣攻克豫州，寻以洛阳围解，亦引军退。杨标于轵关战[没]。护于是班师。以无功，与诸将稽首请罪，帝弗之责也。

又曰：建德四年秋七月，武帝召大将军以上于文德殿，帝曰："太祖神武膺运，创造王基，兵威所临，有征无战。惟彼伪齐，犹怀跋扈。虽复戎车屡驾，而大勋未集。朕以寡昧，纂承鸿绪，往以政出权宰，无所措怀。自亲览万机，便图东讨。恶衣菲食，缮甲治兵，数年已来，战备稍足。而伪主昏虐，恣行无道，伐暴除乱，斯实其时。今欲数道出兵，水陆兼进，北拒太行之路，东扼黎阳之险。若攻拔河阴，兖、豫则驰檄可定。然后养锐享士，以待其至。但得一战，则破之必矣。王公以为何如？"群臣咸称善。丁丑，诏曰："高氏因时放命，据有汾、漳，(檀)[擅]假名器，历年永久。朕以亭毒为心，遵养时晦，遂敦聘好，务息黎元。而彼怀恶不悛，寻事侵轶，背言负信，窃邑藏奸。往者军下宜阳，衅由彼始；兵兴汾曲，事非我先。此获俘囚，礼送相继；彼所拘执，曾无一反。加以淫刑妄逞，毒赋繁兴，齐、鲁轸殄悴之哀，幽、并企来苏之望。既祸盈恶稔，众叛亲离，不(可)[有]一戎，何以大定！今白藏在辰，凉风戒节，厉兵诘暴，时事惟宜。朕当亲御六师，龚行天罚。庶凭祖宗之灵，资将士之力，风驰九有，电扫八纮。可分命众军，指期进发。"以柱国陈王纯为前一军总管，荥阳公司马消难为前二军总管，郑国公达奚震为前三军总管，越王盛为后一军总管，周昌公侯莫陈琼为后二军总管，赵王招为后三军总管；齐王宪率众二万趣黎阳，随国公杨坚、广宁侯薛回舟师三万自渭入河，柱国梁国公侯莫陈(芮)[芮]率众一

万守太行道，申国公李穆众三万守河阳道，常山公于翼众二万出陈、汝。壬午，上亲率六军，众六万，直指河阴。八月癸卯，入于齐境。禁伐树践苗稼，犯者以军法从事。

《隋书》曰：崔仲方为虢州刺史。上书论取陈之策曰："臣谨案晋太康元年岁在庚子，晋武平吴，至今开皇六年，岁次(景)[丙]午，合三百七载。《春秋宝乾图》云："王者三百年一蠲法。"合三百之期，可谓备矣。陈氏草窃，起于(景)[丙]子，至今(景)[丙]午，[又子午]为冲，阴阳之忌。昔史赵有言曰："陈，颛顼之族，为水，故岁在鹑火以灭。"又云："周武王克商，封胡公满于陈。"至鲁昭九年，陈灾裨灶，曰："岁五及鹑火而后陈亡，楚克之。"楚，祝融之后也，为火正，故复灭陈。陈承舜后，舜承颛顼，虽太岁左行，岁星又转，鹑火之岁，陈族再亡，戊午之年，妫虞运尽，语迹虽殊，考事无别。皇朝五运相承，感火德而王，国号为(随)[隋]，与楚同分。楚是火正，午为鹑火，未为鹑首，申为实沉，酉为大梁。既当周、秦、晋、赵之分，若当此分发兵，得岁之助，以今量古，灭不疑也。臣谓午未申酉，并是数极。盖闻天时不如地利，地利不如人和，况主圣臣良，兵强国富，动植回心，人神叶契。陈既主昏于上，民离于下，险无百二之固，众非九国之师。夏癸、殷辛尚不能立，独此岛夷而稽天讨！伏度朝廷自有宏谋，但芟荛所见，冀申营烂爝。今惟须武昌已下，蕲、和、滁、方、吴、海等州更怗精兵，密营渡计。益、信、襄、荆、基、郢等州速造舟楫，多张势，为水战之具。蜀、汉二江，是其上流，水路要冲，必争之所。贼虽于流头、荆门、延洲、公安、巴陵、隐机、夏首、蕲口、盆城置船，然终聚汉口、峡口，以水战大决。若贼必以上流有军，令精兵赴援者，下流诸将即须择便横渡。如拥众自卫，上江水军鼓行以前。虽恃九江五湖之险，非德无以为固；徒有三吴、百越之兵，无恩不能自立。"上览而大悦，转基州刺史，征入朝。仲方因面陈经略，上善之，赐以御袍裤，并杂彩五百段，进位开府而遣之。及大举伐陈，以仲方为行军总管，率兵与秦会。

又曰：开皇九年，大举伐陈，(若)[以]贺若弼为行军总管。将渡江，酹酒而咒曰："弼亲承庙略，远振国威，伐罪吊民，除凶剪暴。上天长江，鉴其若此。如使福善祸淫，大军利涉；如事有乖违，得葬江鱼腹中，[死]且不恨。"

又曰：李德林自隋有天下，每赞平陈之计。八年，车驾幸同州，德林以疾不从。敕书追之，书后御笔注云："伐陈事，意宜自隋也。"时高颖因使入京，上语颖曰："德林若患未堪行，宜自至宅取其方略。"高祖以之付晋王。后驾还，在途中，高祖以马鞭南指云："待平陈讫，会以七宝装严公，使自山东无及之者。"

《唐书》曰：武德初，秦王东讨王世充，连年未下，宿师于野。高祖以兵久在外，议欲班师。中书令封德彝奏曰："世充得地虽多，而羁縻相属，其所用命者惟洛阳一城而已。计尽力穷，破在旦夕。今若还兵，贼势必振，更相连结，后必难图。未若乘其已衰，破之必矣。"高祖从其议。及平世充，高祖顾谓侍臣曰："朕初发兵东讨，众议多有不同，惟秦王请行，德彝赞成此计，张华叶同晋武亦无以加之。"

又曰：高崇文伐蜀，领兵马取凤翔邪谷路，李元奕领兵马取骆谷路，同赴梓州应接。当秦惠王时，用司马错之策以伐蜀，汉光武使吴汉伐公孙述，魏司马文王使邓艾伐刘禅，晋穆帝使桓温伐李子仁，宋武帝使朱龄石伐谯纵，梁武帝使邓元起伐刘季连，周太祖使尉迟迥平萧纪，隋文帝使梁睿平王谦，宪宗命高崇文平刘辟。自秦至元和，九度伐蜀，四为水军泝江而上，惟秦与邓艾、尉迟迥、梁睿及崇文五在斜谷、骆谷出师，(南)[两]讨不廷。

《古司马兵法》曰：王霸之所以治诸侯者[六]：以土地(刑)[形]诸侯，列相也，相诸侯优劣地而封之以[地]，德[广]受土广，德[小]受土小也。以(正)[政](命)[令]平诸侯，王者以道德善政教训诸侯平均之。以礼信结诸侯，谦恭爱惠，接待诸侯。官命诚信，以治民心。以材力说诸侯，材，能也。力者任重理烦，能堪物理事，位高力大，故诸侯悦来，各修其职任。以谋人维诸侯，维，

持也。诸侯远方来，不奉制令，骄佚自专，故立牧伯维持督御之。[以兵革服诸侯]。同患同利以合诸侯，明约有功赏之，奢淫不从罚之，所以合诸侯也。比小大以和诸侯。比，次也。使小国事大国，不失尊卑之序，以协诸侯也。会之所以发禁：三者恐禁命不行以乱风化，故发九伐三禁以申敕之。凌弱犯寡则沮之，侮弱侵寡，则四面削其地。贼伤人则伐之，暴内简外则疆之，言诸侯内(外)与臣下，无礼而暴虐之，外轻慢小人，不恤诚禁，则置之空埠无人之地。野荒民散则削之，负固不伏则侵之，贼杀其亲则正之，悖逆人伦，则攻杀也。放杀其君则残之，尽残灭其首恶辈类也。犯命凌(正)[政]则杜之，侮王者法则(土)[杜]塞，不命与邻国交通。外内乱、禽兽行则灭之。诸侯淫乱，失人伦，内外不别，与禽兽同行，不可以示百姓。则诛灭尽矣。

《孙子》曰：夫伐大国则其兵众不得聚，威加于敌家，则交不得合。皆失之矣。是故不事天下之交，不养天下之权，霸主者，不结威天下。诸侯之交，权交者也。伸己之私，绝天下之交，夺天下之权，(已)[以]威(得)[德]伸己[之]私(也)[欲]。威加于敌家，故其国可拔而其城可隳也。无法之悬，无功之令，言军法令不应预施悬也。《司马法》曰："见敌作誓，赡功作赏。"此之谓也。犯三军之众，若使一人。犯者，用也。言明罚虽用众，若使一人也。

又曰：安能动之。攻其所爱。故我欲战，敌虽高垒深沟，不得不与我战者，攻其所必救也。绝粮道，守归路，攻其君主。上兵伐谋，敌始有设，谋伐之易。其次伐交。不令合。

《春秋说题辞》曰：伐者，涉入国内行威，有所斩坏。伐之为言败也。

《白虎通》曰：王者受命，质家先伐，文家先改正朔何？质家言天命已使民诛无道，故先伐；文家[言]天命已成为王者，故先改正朔也。文者先其文，质者先其质也。故《论语》曰："予小子履[敢用玄牡，敢](改)昭告于皇天上帝。"此谓汤伐桀，告天也。《诗》云"命此文王"，言诛伐也。

《礼记》曰：汤放桀，武王伐纣，时也。

《尚书》曰：今予惟恭行天之罚。此言开自出伐有扈也。

《王制》曰：赐之弓矢，乃得专征伐犯王诛者也。大夫将兵出，

必不御者，欲盛其威，使士卒一意系心，故但闻将军令，不闻君命也，明进退在大夫也。

又曰：诛者何谓也？诛犹责也。诛其人，责其罪，极其过恶。

《春秋》曰：楚子虔诱蔡侯班杀之于申。《传》曰："诛君之子不立。讨者何谓也？讨犹除也，欲言臣当扫除君之贼也。"

《春秋》曰：卫侯杀州吁于濮。《传》曰："其称人何？讨贼之辞也。伐者何谓伐于也，言欲伐击之也。"

《尚书叙》曰：武王伐纣，征者何谓也？征犹正也，欲言其正轻重，纵辞诞，以示东征，诛禄甫也。战者何谓也？

《尚书大传》曰：战者，惮惊之也。

又曰：诸侯之义，非天子之命不得动众起兵。诛不义者，所以强干弱枝，尊天子卑诸侯也。

《论语》曰：天下有道，则礼乐征伐自天子出；天下无道，则礼乐征伐自诸侯出也。

太平御览卷第三百五

兵部三十六

征伐下

《说苑》曰：赵简子举兵伐齐，有被甲者笑之。曰："子何笑？"对曰："臣有宿笑。"简子曰："有以说之，则可，无则死。"对曰："当桑之时，臣邻家夫与妻俱之田，见桑中女，因追之；不能，还反，其妻怒而去之，臣笑其旷也。"简子曰："今吾伐国失国，是吾旷也。"还师而归。

又曰：中行献子将伐郑，范文子曰："不可得志于郑，诸侯仇我，忧必滋长。"郄至又曰："得郑，是兼国也，则王者固多忧乎？"文子曰："王者盛其德而远人归，故无忧；今我寡德而有王者之功，故多忧。今子见无事而欲富乐者乎？"

《新序》曰：秦欲伐楚，使使者往观楚重宝。楚王闻之，召令尹子西问焉，曰："秦欲观楚宝器和氏之璧、隋侯之珠，可以示诸侯乎？"对曰："臣不知也。"召昭奚恤问焉，对曰："此欲观吾国之得失而图之，非国之重宝也。"遂使恤应之。恤发精兵三百人陈于西门之内，为东西之坛。秦使者至，恤曰："君，客也，请就上位。"东子西，南面太宗子方次之，叶公子高次之，司马子反次之。恤自居西面之坛，称曰："客观楚之宝器。楚所宝者，贤臣也。理百姓，实仓廪，使民人各得其所。子西在此，奉珪璧、使诸侯、解忿愤之难，交两国之欣，使无兵革之忧。太宗子方在此，守封疆，谨境界，不侵邻国，邻国亦不见侵。叶公子高在此，理师旅，正兵戎，以当强敌，提桴鼓以动百万人众，使皆赴汤火、蹈白刃，出万死不顾一生。司马

子反在此，若怀霸王之余义，撮治乱之遗风。昭奚恤在此，惟大国所观。"秦使者惧然，无以对，遂揖而去。使者反，言于秦君曰："楚多贤臣，未可谋也。"

又曰：汤居亳七十里，地与葛为邻。葛伯放淫不祀，汤使人问之曰："何为不祀？"曰："无以供牺牲也。"汤使人遗之牛羊，葛伯食之，又不以祀。汤又使人问曰："何为不祀？"曰："无以供粢盛也。"汤又使众往为耕，老弱馈食。葛伯率其民，要其有酒肉黍稻者夺之，不受者杀之。有一童子以黍肉饷，杀而夺也。书曰："葛伯仇饷"，此之谓也。为其杀是童子而征之，四海之内皆曰："非富天下也，为匹夫匹妇报仇也。"

《蜀王本纪》曰：秦惠王欲伐蜀，乃刻五石牛，置金其后。蜀人见之，以为牛能大便金，牛下有养卒，以为此天牛也，能便金。蜀王以为然，即发卒千人，使五丁力士拖牛成道，致三枚于城郭。秦道得通，石牛力也。后遣丞相张仪等将兵，随石牛道伐蜀焉。

《英雄记》曰：建安中，曹操于南皮攻袁谭，斩之。操作鼓吹，自称万岁，于马上舞也。

《纪年》曰：周穆王四十七年伐纡，大起九师，东至于九江，比黿，以为梁。

《春秋后秦语》曰：陈轸为楚使，来见秦惠王，曰："卞庄子方刺兽，而管竖子止之，曰：两兽方食牛，牛必甘，甘必争，争必斗，斗则大者伤，小者死。从伤而刺之，一举必有双兽之功。卞庄子以为然，立待之。顷有两兽之功。今韩、魏相攻，期年不解，是必大国伤，小国亡。从伤而伐之，一举必有两实。此犹卞庄子刺虎之类也。"惠王曰："善。"

又《楚语》曰：白起将兵伐楚。楚人黄歇者游学博闻，襄王以为辩，故使于秦，说昭王曰："天下莫强于秦、楚，今闻大王欲伐楚，此犹两虎相与斗，而怒犬受其弊。不如善楚。"秦王乃止不伐楚，约为与国，黄歇受约而归。

又《赵语》曰：张孟谈阴见韩魏之君曰："臣闻唇亡者齿寒，今智伯率二君而伐赵，赵亡矣。赵亡则二君为之次。"二君曰："我知其然。"

《吴越春秋》曰：夫差令于邦中曰："寡人欲伐齐，敢有谏者死。"太子友请朝。时怀丸挟弹从后园而来，衣沾履濡。吴王夫差怪而问之，太子友对曰："臣游后园，闻秋蝉之鸣，往而观之，秋蝉登高树，饮清露，悲吟以为安，不知螳螂超枝缘条，曳腰举刃，欲援其形也。螳螂贪心时进，志在有利，不知黄雀缘茂林，徘徊枝叶，欲啄螳螂也。夫黄雀知伺螳螂之有味，不知臣蹐蹑引弹蜚丸之集其背也。"

又曰：越王勾践请大夫种曰："孤闻吴王淫而好色，因此而坏其谋可也。"大夫种曰："可。惟君王选择美女二人而进之。"于是越王曰："善哉。"乃使相工索国中，得苧罗山卖薪之女，名西施、郑旦而献于吴。

又曰：越王念吴欲复承之，乃中夜抱柱而哭，讫，复承之以啸。于是群臣咸曰："君王何愁心之甚？夫复仇谋敌，非君王之忧，自臣下急务也。"

又曰：吴王阖闾将伐楚，登台向风而啸，有顷而叹，群臣莫有晓王意者。子胥乃荐孙子。孙子者，吴人也，名武，善为兵法，僻隐幽居，世人莫知其能。

《孟子》曰：春秋无义战，彼善于此，则有之矣。征者，上伐下也，敌国不相征也。

《吕氏春秋》曰：智伯将伐仇繇之国，山险无道，乃遗以大钟，方九轨，仇繇开道迎之，因其道，取其国。韩子曰：智伯铸大钟遗仇繇，由君大悦，除道迎之，七月而仇亡也。

又曰：阖闾选多力者五百人，利止者三千人，以为前陈，（止足）[进]与荆战，五战五胜，遂有郢。东征至于庫庐，西伐至于巴蜀，北迫齐晋，令行中国。

又曰：凡人之攻伐也，非为利则因名也。名实不得，国虽强大则曷为攻矣？解在乎史墨来而辍不袭卫，赵简子可谓知动静矣。晋赵简子缺将袭卫，史墨往睹之。反曰：蘧伯王为政未可与加。简子辍不伐卫。故曰：史墨来而辍不袭卫也。

又曰：楚之边邑曰卑梁，其处女与吴之边邑处女桑于境上，戏而侍卑梁之处女。卑梁人扶其侍子以让吴人，吴人应之不恭。卑梁人怒，杀而去之。吴人往报之，尽屠其家。卑梁公怒，曰："吴人焉敢攻吾邑？"举兵反攻之，老弱尽杀之。吴王夷昧闻之怒，使人举兵侵楚边邑，(尧)[克]夷而复去之。吴公子光又率师与楚人战于鸡父，大败之，获其师。

又曰：荆庄王欲伐陈，使人视之。使者曰："陈不可伐也。"庄公曰："何故？"对曰："[其]城廓高，沟洫深，畜积多也。"宁国曰："陈可伐也。宁国，楚臣。夫陈，小国也，而畜积多，赋敛重也，则民怨上矣；城廓高，沟洫深，则民力罢矣。兴兵伐之，陈可取也。"庄王听之，遂取陈。

又曰：箴尹为荆使于宋，司城子罕觞之。西家之潦，经其庭而不禁。箴尹问其故，[司城子罕]曰："西家高，吾宫卑，潦不经吾庭不得写，为是吾不禁也。"箴尹归，适遇荆欲攻宋，箴尹谏于王曰："宋不可攻也。其君贤相仁，贤者得民，仁者能用之，攻之必无功也。"

《淮南子》曰：尧时，十日并出，焦禾稼，杀草木，民人无食；羿窫窳、九婴、大风、封豕、凿齿、修蛇皆为害。尧乃使羿诛凿齿于畴华之泽，南地也。杀九婴于水凶，水火之怪，在北狄之地。缴大风于青立之野，大风，鸷鸟也。射十日而下其九日，杀羿窫窳、状如龙首，食人，在西方也。断修蛇于洞庭，在南方。擒封豕于桑林。封豕，大彘也。桑林，汤祷旱地。

又曰：晋伐楚，三舍不止，大夫击之。庄王曰："先君之时，晋不伐楚。及孤之身而晋伐楚，是孤之过也。若何其辱？"群大夫曰："先臣之时，晋不伐楚，今臣之身而晋伐楚，此臣之罪也，请击之。"

王俯而泣涕沾襟，起而拜群大夫。晋人闻之，曰："君臣争以过为在己，不可伐也。"夜，还师而归。

又曰：诸侯伐秦，及泾莫济，鲁襄十一年，晋悼公伐郑，秦人伐晋救郑。十四年，晋使六乡帅诸侯之大夫伐秦，至泾水，无有先渡者也。晋叔向见叔孙穆子曰："诸侯伐不恭而讨之，及泾而止，于秦何益？"何益于伐秦之事。穆子曰："豹之业及《匏有苦叶》矣，不知其他。"业事《匏有苦叶》，《诗·风》篇名。匏有苦叶，济有深涉，深则厉，浅则揭，言其必济，不知其他。叔向退，召舟虞与司马舟虞掌舟，司马掌兵。曰："夫苦（瓠）[匏]不材于人，共济而已。材，若裁也。不裁于人，言不可食共济而已。佩匏可以渡水。鲁叔孙赋《匏有苦叶》，必将涉矣，诗以言志。具舟除隧不共有法，隧道共具也。舟虞具舟，司马除道，法刑也。是行也。"鲁人以莒人先济，诸侯从之。

又曰：文公立，四年，楚成王伐宋，四年，鲁僖公二十七年冬也。宋背楚事晋，故楚伐之。公率齐、秦伐曹卫，以救宋。鲁僖公二十八年春，晋侯侵曹伐卫。《传》曰：楚始得曹而新婚于卫也。宋人使门尹班告急于晋。门尹班，宋大夫。公告大夫曰："宋人告急，舍之则宋绝。舍，不救，则宋降楚，与我绝。告楚则不许我，告，请。请宋于楚，楚不许我。我欲击楚，齐、秦不欲，其若之何？"

又曰：自大毕，伯士之终也，大毕、伯士，犬戎氏之二君。终，卒也。犬戎氏以其职来王。以其职，谓其嗣子以其贵宝来见王。天子曰："予必以不享征之，且观之兵。享，宾服。服礼以责犬戎而示之兵，非也。其无乃废先王之训而王几顿乎？几，危。顿，败。吾闻夫犬戎树敦，树，立。言犬戎立性惇朴。师旧德而守终纯固，师，循也。纯，专固一。言犬戎氏修先王之旧德，奉其常职，天性专一，终身不移，不听穆王责其厚享也。其有以御我矣。"御，应距也。王不听，遂征之。得四白狼、四白鹿以归。自是，荒服者不至。穆王责犬戎非礼，暴兵露师，伤威毁信，荒服者不至。

又曰：商王帝辛大恶于人，商，殷人，本号辛，纣名。大恶，大为人所恶也。庶人不忍，欣载武王以致戎于商牧。载奉武兵牧商郊，牧野也。是先王非务武也，勤恤人隐而除其害。恤，忧。隐，痛。

又曰：忠臣者，务崇君之德；谄臣者，务广君之地。何以明之？

陈夏征舒杀其君，楚庄王伐之，陈之人听命。庄王已讨有罪，遣卒戍陈，戍，守也。欲守陈。大夫毕贺。申叔时使于齐，及还而不贺。庄王曰："陈为无道，寡人起六军以讨之，征暴乱，诛罪人，群臣皆贺而子不贺，何？"申叔时曰："人有牵牛而往，蹊于人之田中，田主杀其人而夺之牛，罪则有矣，罚亦重矣。今君王以陈为无道，举兵而征之，因诛罪人，遣卒戍陈。诸侯闻之，非以王为诛罪人也，贪陈国也。盖闻君子不弃义以为利。"王曰："善。"乃罢陈之戍。后诸侯闻之，朝于楚，此务崇君之德也。始张式为智伯谋张式，晋人。晋六将军，中行子(取)[最]弱，而上下离心，可伐以广地。于是伐范中行，灭之矣。又教智伯求地于韩、魏。韩、魏裂地而授之，赵氏不予，乃率韩、魏而伐赵，围晋阳三年。三国阴谋遂灭之。此务为其君广地也。夫为君崇德者霸，为君广地者灭。故千乘之国，文德行者王，汤武是也。万乘之国，好广地者亡，智伯是也。

《庄子》曰：犀首请魏伐齐，季子谏勿伐，华子闻而丑之曰："善言伐齐乱人也，善言勿伐亦乱人，谓伐之与不伐乱人者，又乱人也。"

《列子》曰：晋文公出会，欲伐卫，公子锄御而笑之。公问之，对曰："笑臣邻之人也。邻之人有送其妻适私家者，道见桑妇，悦而与之言。然顾视其妻，亦有招之者。臣窃笑此也。"公悟，乃引师而还，未至，而有伐其北鄙矣。

《墨子》曰：天赋武王黄鸟之旗，以伐纣。

又曰：汤在镐宫，梦神谓之曰："夏桀无道，汝克戡之。"

《孙卿子》曰：尧伐欢兜，舜伐三苗，禹伐共工，汤伐有夏，文王伐崇，武王伐纣，此两帝四王者，仁义之兵于天下也。

《尉缭子》曰：武王之伐纣也，河水逆流，左骖霆死，地方百里，战卒三万。纣之阵，起自黄鸟，至于赤斧，其间百里。武王不罢士民，兵不血刃，克殷诛纣，其人事然。

《韩子》：晋献公欲伐虞虢，乃遗之屈产之乘，垂棘之璧，女乐二

八，以萦其心，以乱其政。

《阮嗣宗为郑冲劝晋王笺》曰：前者明公东诛叛逆，全军独克，禽阖闾之将，斩轻锐之卒，以万万计。

太平御览卷第三百六

兵部三十七

请征伐　出师　军行

请征伐

《家语》曰：孔子北游，登于农山。子路、子贡、颜回侍侧。孔子四望，喟然而叹曰："二三子各言尔志，吾将择焉。"子路进曰："由愿得白羽若月，赤羽若日，钟鼓之音，上震于天，旌旆缤纷，下蟠于地。蟠，委也。由当一队而敌之必也。攘地千里，攘，却也。搴取也。旗执馘，惟由能之，使夫二子从我焉。"孔子曰："勇哉！"

《史记》曰：终军请愿受长缨，必羁南越王而致之阙下。

又曰：单于为书，慢骂太后，樊哙曰："臣愿得十万众横行匈奴中。"季布曰："高皇帝以三十万困于平城，哙亦在其中，且秦以事胡，陈胜等起。"

《后汉书》曰：刘尚击武陵五溪蛮，深入，军没。援因复请行，时年六十二，帝恐其老，未许之。援自请曰："臣尚能被甲上马。"帝令试之。援据鞍顾盼，以示可用。笑曰："矍铄哉，是翁也。"矍铄，勇貌也。《东观记》作"获哉，是翁。"获，音许约反。遂遣援。援，马援也。

又曰：更始郾王、尹尊及诸大将在南方未降者尚多，帝召诸将议兵事，未有信言，沉吟久之，乃以檄叩地曰："郾最强，宛为次，谁当击之？"贾复率然对曰："臣请击郾。"帝笑曰："执金吾击郾，吾复何忧！"

《唐书》曰：李晟以军功授特进、光禄卿，寻转试太常卿。大历初，李抱玉镇凤翔，署晟为左军都将。四年，吐蕃围灵州，抱玉遣晟将兵五千以击吐蕃，晟辞曰："以众则不足，以谋则太多。"乃请将兵

二千人疾出大霰阙。至临洮，屠定秦堡，焚其积聚，虏堡(师)[帅]慕容谷钟而还，吐蕃因解灵州围而去也。

又曰：马(隧)[燧]讨李怀光，师次于焦离堡，其夜贼将吴冏弃太原堡走，其下皆降。燧率诸军济河，兵凡八万，阵于城下。是日，贼将牛俊斩怀光首以降。降者一万六千，斩贼将阎晏、孟宝、张清、吴冏等七人以徇，为怀光所虏胁，舍之。燧自从京师至河中，凡二十七日。上乃下诏褒美，迁光禄大夫，兼侍中。初，德宗欲罢兵，燧不可，请得一月芻粮足以平河中。至是，果然矣。

又曰：德宗幸奉天，诏李晟与李怀光合军拒朱泚，时每将出合战，晟必自异，衣锦裘、绣帽于前，亲自指导。怀光望见[恶]之，乃谓晟曰："将(师)[帅]当持重，岂宜自裘饰以啖贼耶！"晟曰："前久在泾源，军士颇相畏服，故欲令其先识以夺其心耳。"怀光益不悦，阴有异志，兵迁延不进。晟因入说怀光曰："寇贼偷据天子，行在近县，兵柄庙略，属在于公。公宜以时速进，晟愿以所部得奉严令，为公前驱，虽死不悔。"怀光益拒之。

又曰：史敬奉，灵武人，少事本军为衙将。元和十四年，敬奉大破吐蕃于盐州城下，赐实封五千户。先是西戎频岁犯边，敬奉白节度使杜叔良，请兵三千人，备一月粮，深入蕃界，叔良以二千五百人授之。敬奉既行十余日，人莫知其所向，皆谓吐蕃尽杀之矣。乃由他道深入，突出蕃众之后。戎人惊溃，敬奉率众大破之，杀戮不可胜纪，驱其余众于芦河，获羊马驼牛万数。敬奉形甚短小，若不能胜衣。至于野外驰逐，能擒奔马，自执鞍勒，随鞍跃上，然后羁带，矛(失)[矢]在手，前无强敌。甥侄及僮使仅二百人，每以自随，临入敌，辄分其队为四五，随逐水草，每数日各不相知，及相遇，已皆有获虏矣。

《三国典略》曰：北齐平广陵王孝珩曰："奈何嗣君无独见之明，宰相非柱石之寄，内参群竖，离间骨肉，恨不得握兵符，受庙算，出万死，身先士卒，展我力耳。"

又曰：齐主曰："今日饮酒，乐哉！"武卫将军斛光进曰："关西未平，人为仇敌，陛下亦何乐哉？会当马步十万，三道渡，由平道陷玉壁，拔长安，自凡凉色来纳在掌握，使百官袭冠冕，军士释介胄，然后称乐。"齐主谓群臣曰："明月常有此意，忧国如家，卿辈无及之者。"平原王段韶出谓光曰："卿胜先帝耶，先帝以四十万攻玉壁，不利而还，将兵如盘擎水，误即倾覆，何容易而轻言之。"光笑曰："非卿所知。"

出　师

《易》曰：师出以律，失律凶也。

《书》曰：张皇六师，肃将天威，兼弱攻昧，推亡固存，无作神羞。

《诗》曰：维师尚父，时维鹰扬。

《礼记》曰：师出不逾时，为怨思也；逾时即内有怨女，外有旷夫。

又曰：天子将出征，类于上帝，宜乎社，造乎祢，祃于所征之地；祃，师祭也。受命于祖，告祖。受成于学。定兵谋也。出征执有罪，反，释奠于学，以讯馘告。

《周礼》曰：牙璋以起军旅。

又曰：类祭，先出师，告天祭也；造祭，将兴兵，造于先祖祭也。

《谷梁》曰：甲午治兵，出曰治兵习战，入曰振旅习战也。

《后汉书》曰：光武起，王莽征天下能为兵法者六十三家数百人，并以为军吏；选练武卫，招募猛士，（说文）云：（募）[募]，广求也。旌旗辎重，千里不绝。时有长人巨无霸，王莽连率韩博上言：有奇士长一丈，大十围，自谓巨无霸，出于蓬莱东南五城西北昭如海滨。轺车不能载，三马不能胜，卧则枕鼓，以铁箸食。见前书。长一丈，大十围，以为垒尉，郑玄注：《周礼》六军壁三垒。崔瑗《中尉箴》曰：堂堂皇帝，设为垒尉。尉者，主垒壁之事。又驱诸猛兽猛或作犷。犷，猛貌，音古猛反。虎豹犀象之属，以助威武。自秦、汉出师之盛，未尝有也。

又曰：车驾东归。敕岑彭书曰："两城若下，便可将兵南击蜀

虏。"人若不知足，既平陇，复望蜀。每一发兵，彭头须为白。

又曰：马严拜将军长史，将北军五校士、羽林禁兵三千人，屯西河美稷，美稷，县名。卫护南单于，听置司马、从事。牧守谒敬，同之将军。敕严过武库，祭蚩尤，武库掌兵器，令一人，秩六百石。前书音义曰：蚩尤，古(夫)[天]子，好五兵，故合祭之，见高祖纪(过)。帝亲御阿阁，阿曲。观其士众，时人荣之。

又曰：马成拜扬武将军，督诛虏将军刘隆、振威将军宋登、射声校尉王赏，发会稽、丹阳、九江、六安四郡兵击李宪。时帝幸寿春，设坛场，祖礼遣之。

又曰：凉部叛羌摇荡四州，朝廷忧之。于是诏邓骘将左右羽林、北军五校士及诸部兵击之，车驾幸平乐饯(近)[送]。

又曰：马援出师，诏百官祖道。

又曰：光武筹赤眉必破长安，欲乘疊并入关中，而方自事山东，未知所寄。以邓禹沉深有大度，故授以西讨之略。乃拜为前将军持节，中分麾下精兵二万人，遣西入关，令自选偏裨以下可与俱者。

《晋书》曰：何曾，正始中为镇北将军、都督河北诸军事、假节。将之镇，文帝使武帝、齐王攸辞送数千里，曾盛为宾主，备太牢之馔。侍从吏驺，莫不醉饱。

又《载记》曰：符坚以符融为镇东大将军，代王猛为冀州牧。融将发，坚祖于霸东，奏乐赋诗。坚母苟氏以融少子，甚爱之，比发，王至灞上，其夕又窃如融所，内外莫知。是夜，坚寝于前殿，魏延上言："天市南门屏内后妃星失明，左右阶守不见，后妃移动之象。"坚推问知之，惊曰："天道与人，何其不远！"遂重星官。

《后魏书》曰：车驾南伐，以刘藻为征虏将军，督统军高聪等四军为东道别将。辞于洛水之南，孝文曰："与卿石头相见。"藻对曰："臣虽才，非古人，度亦不留贼虏而[遗]陛下，辄当酾曲阿之酒以待百官。"帝大笑曰："今未及曲阿，且以河东数石赐卿。"

《后周书》曰：武帝保定四年冬十月甲子，诏大将军、大冢宰、晋

国公护率军伐齐，帝于太庙庭授以斧钺。护总大军出潼关，大将军权景宣率山南诸军出豫州，少师杨标出枳关。丁卯，幸沙苑劳师。

《三国典略》曰：侯景西逼梁，湘东王遣晋州刺史萧惠正率兵援于巴陵，惠王辞以不堪，举天门郡守胡僧祐以自代。王以为武猛将军，令其进发。僧祐谓其子玘曰："汝可开两高门，一朱一白，吾当以死决之，不捷不归也。"王闻而壮之，厚抚其家，谓僧祐曰："景便于陆道，不闲水斗。贼若水战，但以大舰临之，自当必克。若其步战，自可鼓棹直就巴丘，不须交锋。"

又曰：周遣常山郡公子谨率中山公宇文护、大将军杨忠等步骑五万南伐，太祖饯于青泥谷。时庾信来聘未返，太祖问之曰："我遣此兵马缚取湘东、关西作博士，卿以为得不？"信曰："必得之后，王勿以为不忠。"太祖笑而颔之。

《白虎通》曰：王者之伐，所以皮弁素幘。何服皮弁素幘也？王者将出，辞于祢，还假祢祖，言辞反之，礼尊亲之义。

《王制》曰：王者将出，类于上帝，宜于社，造于祢。

《尚书》曰："归，假于艺祖。"出以告天，至告祖也。先告庙，后告天者，示不敢留尊者之命也。告天何，示不敢专也，非出辞反面道也。与宗庙异义。还，不复告天者，天道质无内外，故不复告也。《尚书》言归假于祖社，不见告天，知不告也。

又曰：遣将军必于庙何？示不敢自专。独于祖庙何？制法度者祖也。《王制》曰："受命于祖，受成于学。"此言于祖庙，命遣之也。

挚虞《决疑要注》曰：古者帝王出征，以齐车载迁庙之主及社主以行。故《尚书·甘誓》曰："用命赏于祖，不用命戮于社。"秦汉及魏行不载主也。

《卫公兵法》曰：诸大将出征，且约授兵二万人，而即分为七军，如或多或少，临时更定。大率十分之中以三分之奇兵。

《太白阴经》曰：参七星，伐三星，连体十星，为十将。西方白虎

宿也，主杀伐，此星出而天下秋，草木摇落，有若军威，故兵出而法焉。

张平子《南都赋》曰：尔其则有谋臣武将，皆能（获）[攫]戾执猛，破坚摧刚。

虞子阳《霍将军北伐诗》曰：拥旄为汉将，汗马出长城。

魏明帝《善哉行》曰：我祖我征，伐（被）[彼]蛮虏。练师简卒，爰整其旅。轻舟竞川，傍江依浦。桓桓猛毅，如熊如虎。发桴若雷，吐气成雨。旌旄指麾，进退合矩。

军 行

《礼记》曰：军行，（在）[左]青龙而右白虎，前朱雀而后玄武。招摇在上，急缮其怒。前有水，则载青旌；前有车骑，则载飞鸿；前有尘埃，则载鸣鸢。

《左传》曰：凡师出一宿为舍，再宿为信，过信为次。

《后魏书》曰：于栗磾，太宗南临孟津请众，磾曰："可作桥乎？"对曰："杜预造桥，遗事可（相）[想]"乃编次大船，构桥于野坂。六军既济，太宗深叹焉。

《隋书》曰：炀帝征高丽，宇文述为扶余道将军。临发，帝谓述曰："礼，七十者行役以妇人从，公宜以家累自随。古称妇人不入军，临战时耳。至于营垒之间，无所伤也。项籍虞姬，即其故事。"

《唐书》曰：太宗率众平汾晋，趋龙门阙，履冰而渡，进屯柏壁。

《白虎通》曰：王法年四十受兵法何？重不绝人世也。师行不必反，战不必胜，故须其有世也。年六十归者何？不忍并门人父子也。

《孙子》曰：凡用兵之法，驰车千（乘）[驷]，轻车也，驾（驷）[驰]千乘也。革车千乘，重车也，言万骑之重也。一车驾四卒，十骑一重养，一人主炊，家子一人主保国守衣装，厮二人主养马，凡五人。步兵十人重以大车驾牛养，二人主炊，家子一人，主保国守装，凡三人也。带甲十万。士卒数也。千里而馈粮，境越千

里。则外内之费，资费。宾客之用，胶漆之财，车甲之奉，日千金然后十万之众举矣。”

又曰：出其所必趋，使敌不得往相救也。行千里而不劳者，行于无人之地。出空击虚，虚其不意。

又曰：凡用兵之法，将受命于君，合军聚众，聚，因人结行位也。交(利)[和]而舍，军门为利门，左右门为期门，以军营为辕门，以人为营为人门。两军相当为交利也。莫难于军争。从始受命，至于交利，军事难也。

又曰：凡处军相敌，绝山依谷，近水草也。视生处高，向阳也，处，视谓目前生地，处军当在高。战(降)[隆]无登，无迎高也。降，下也。谓山下也。战于山下，敌引之上山，无登逐也。此处山谷之军也。绝水必远水，引敌使渡。客绝水而来，[勿]迎之于水内，令之半渡而击之，利。欲战无附于水而迎于客也。视在处高，水上亦当处其高也。无迎水流，恐漂我也。处水上之军也。绝斥泽，惟亟去无流，交军于斥泽之中，必依水草而倍众树，不得已与敌战而会斥泽之中。此处斥泽之军也。平陆处易，车之利也。而左右倍高，前死后生，战便。此处平陆之军也。凡[此]四军之利，黄帝所以胜四帝者也。黄帝始立，四方诸侯亦称帝。以此四地胜之。凡军喜高而恶下，贵阳而贱阴。喜一作好。山南曰阳，山北曰阴。养生处实，是为必胜。军无百疾，丘陵堤防，必处其高阳而右背也。堤者，积土。所背当处其阳而右之。战之便也。此兵之利而地之助也。故用兵之法，高陵勿向也，敌若据山陵，依附险阻陈，待敌勿轻攻趋也。既地势不便，有损(右)之衡也。背丘勿迎。敌背丘陵为阵，无有后患，则当引置平地，勿迎而击之。

又曰：上雨水，水沫至，欲渡者待其定。恐半渡而水便涨也。绝硐过天井、天牢、天罗、天陷、天隙，大害，必亟[去]之，勿近也。山也，深大为绝。硐，四方高，中央下，为天井。深水所居朦胧者为天牢。四雄绝人者为天罗。地形陷者为天陷。山间夹地深数尺长数尺者谓之天隙也。吾远之，敌近之；吾迎之，敌(倍)[背]之也。用兵常远六害。今敌近信则利，敌凶。军旁有险阻、蒋潢、井生、葭苇、小林、翳荟鸟会反。者，必谨覆索之，此伏奸之所藏处也。险者，一高一下之地。阻者，必水草也。潢者，池也。井生葭苇者，众草所聚也。小林者众木所居也。翳荟者，所以屏蔽之处也。

《卫公兵法》曰：军马行动，须知次第。出先右虞候马军为首，次右虞候步军；次右军马军，次右军步[军]；次前军马军，次前军步军；次(右)[中]军马军，次中军步军；次(右)[后]军马军，次(右)[后]军步军；次左军马军，次左军步军；次左虞候马军，次左虞候步军。其马军去步军一二里外行，每有高处即令三五骑马于上立，[四]顾以候不虞。以后余军，准前立马四顾。右虞候既先发安营，踏水道路，修理泥溺、桥津，检行水草。左虞候排比队仗，整齐军次，使不交杂。若军回入，先左虞候马军，次左虞候步军，次左马军，次左步军，其次第准前却转。其虞候军职掌，[准]初发交换。诸军营各量[置]虞候子，并使排比依军次行。如此发引，卒逢寇贼，部伍甚易。若零叠散行，牵率难就，万一贼至，并非所管。

又曰：诸军讨伐，例有数营发引逢贼，首尾难救。行引之时，须先为方阵。应行之兵分为四，辎重为两道引，战锋等队亦为两道引。其第一分初发，辎重及战锋分为四道行，两行户郎切。下同。辎重，在心双引，两行战锋队并合，各在辎重外。左右夹双引，其次一分，战锋队与前般左右行战锋队相当，辎重队与前行辎重队相当。又其次一分准上，最后一分亦准上。初发第一分别，战锋辎重相当。如其逢贼，前分四行，两行辎重抽缩，两行战锋横列。作前面甚易，其次两分，先作四行长引，其战锋既在外，便充两面，其后分亦先作四行。其辎重进前，其战锋队横列相接，使充后面亦易，其方阵立即可成。如此发引，纵使狭路急缓，亦得成阵。每军战锋等队，须过本军辎重尾。辎重稠行，战锋等队稠引，常令辎重并近前头。战锋队相去十步下一队，辎重队相去十步下一队，辎重队相去两步下一队，如此即须相[里]得。若逢川陆平坦，弥加稳便，其战锋辎重等队，分布使均。

又曰：诸兵马发行，或逢泥溺，或阻山河，其路有须填补，有须开拓。左右虞候军兵，先多于军，取充虞候子右虞候，先将此兵修理桥梁泥泞，开拓窄路。左虞候排窄路，捍后收拾阑遗。诸兵士每

下营讫，先令两队共掘一厕。

又曰：军行沙碛、咸卤之中，有野马黄羊踪，寻之有水；鸟乌所集处有水；地生葭苇、芦荻、吐敢反。菰蒲之处，下有伏泉；地有蚁壤之处，下有伏泉。

《太白阴经·济水具篇》曰：军行过大水，河渠、沟涧，无津梁舟筏，难以济渡，太公以天艎天船，皆质朴不便于用，令随事逐物变化而用之，以济巨川。

又曰：木罂：以木缚瓮为筏。瓮受二石，力胜一人。瓮间阔五寸，底以绳勾联，编枪于其上，形长而方，前置拔头，后置梢，左右置棹。

又曰：枪筏：枪十根为一束，力胜一人。四千一百六十六根即为一筏，皆去钻刃，以束为鱼鳞，以横栝而缚之，可渡四百一十六人。为三筏，计用枪一万二千五百根，率渡一千二百五十人，十渡则一军必济。

又曰：蒲筏：以蒲九尺围，颠倒为束，十道缚之，似束枪为筏。量长短多少，随蒲丰俭。无蒲亦用苇筏，量大小以济人。

又曰：挟缰：以善水者，继小绳先浮渡水，次引大缰于两岸，立大橛急定缰，使人挟缰浮渡，大军可为数十道。

又曰：浮囊：以浑脱羊皮吹气令满，(击)[系]其孔，束于腋下而浮渡。

太平御览卷第三百七

兵部三十八

会兵　誓众　蹈兵　猛士　犒师

会　兵

《书》曰：戊午，师渡孟津，陈于商郊，俟天休命。甲子昧爽，受率其旅若林，会于牧野。族，众也。如林，言盛多。会，逆，拒战。罔有敌于我师，前徒倒戈，壹戎衣，而天下大定。言与众同心，动有成也。

《谷梁[传]》曰：齐侯兵车之会四，未尝有大战，爱民也。

《后汉书》曰：初，卷人维汜，卷，县名，居河南郡，故城在今郑州原武城县西北。妖言称神，有弟子数百人，坐伏诛。后其弟子李广等，宣汜神化不死，以诳惑百姓。十七年，遂共聚会徒党，攻没睆城，睆，县名，属庐江郡，今舒州怀宁县。睆音下板切，又下管切。杀睆俟刘闵，自称南岳大师。遣谒者张宗将兵数千人讨之，复为广所败。于是使马援发诸郡兵，合万余人击破广等，斩之。

又曰：章和二年，护羌校尉张纡诱诛烧当种羌迷吾等，由是诸羌大怒，谋欲报怨，朝廷忧之。公卿举邓训代纡为校尉。诸羌激忿，遂相与解仇结婚，交质盟诅，郑玄注：《周礼》云：大事曰盟，小事曰诅。众四万余人，期冰合渡河攻训。

又曰：吴汉为安乐令，会王郎起，北州扰惑。汉素闻光武长者，独欲归心。乃说太守彭宠曰："渔阳、上谷突骑，天下所闻也。君何不合二郡精锐兵，附刘公击邯郸，此一时之功也。"一时，言不可再遇也。宠以为然。

又曰：朱鲔闻光武北伐而河内孤，使讨难将军苏茂、副将贾强率兵三万余人，渡巩河攻温。巩、温，并今洛州县也，临广河，故曰巩河。檄

书至，寇恂即勒军驰出，并移告属县，发兵会于温下。军吏皆谏曰："今洛阳兵渡河，前后不绝，宜待众军毕集，乃可出也。"恂曰："温，郡之藩蔽，失温则郡不可守。"遂驰赴之。且日合战，而偏将军冯异遣救，及诸县兵适至，(及)士马四集，幡旗蔽野。恂乃令士卒乘城鼓噪，大呼，言曰："刘公兵到。"苏茂军闻之，阵动，恂因奔击，大破之。

又曰：吴汉悉发幽州兵，与光武会清阳。诸将望见汉还，士马甚盛，皆曰："是宁肯分兵与人耶？"及汉至莫府，上兵簿，莫，大也。兵簿，军(上之)[之士]名帐。诸将人人多请之。光武曰："属者恐不与人，属，犹近也。今所请又何多也？"诸将皆惭。

《晋书·天文志》曰：征吴之役，三河徐、兖之兵悉出，交战于吴、楚之地。

《唐书》曰：宪宗时，郓州李师道翻覆违命，诏宣武、义成、武宁、横海四节度之师与田弘正会军讨之。弘正奏请取黎阳渡河，会李光颜等军齐进。帝召宰臣于延英议可否，皆曰："阃外之事，大将制之，既有奏陈，宜遂其请。"裴度独以为不可，奏曰："魏博一军，不同诸道。过河之后，却退不得，便须进击，方见成功。若取黎阳渡河，即才离本界，便至滑州，徒有供馌之劳，又生顾望之势。况弘正、光颜并少威断，更相疑惑，必恐迁延。然兵事不从中制，一定处分，或虑不可。若欲于河南持重，则不如河北养威。不然，即且秣马厉兵，候霜降水落，于杨刘渡河，直抵郓[州]。但得至阳谷已来下营，则兵势自盛，形自不挠。"上曰："卿言是矣。"乃诏弘正取杨刘渡河。及弘正军既济河而南，距郓州四十里筑垒，贼势果蹙。顷之，诛师道。

《三国典略》曰：周武帝率六军趣邺，齐主令群臣议之。广宁王孝珩议曰："今大寇既深，事藉机变，请使任城王便领幽州道兵，自土门入，声取并州。独孤永业便领洛州兵，自潼关入，声取长安。臣请领京畿兵出滏，只鼓行逆战。贼悬军远来，日增疲老，闻南北

有兵，自然应退。"

誓 众

《书》曰：帝曰："咨，禹！惟时有苗弗率，汝徂征。"三苗之民数干，王诛率循也。徂，往也。不循帝道，言乱逆也，命禹讨之。禹乃会群后，誓于师，曰："济济有众，咸听朕命：令诸侯伐有苗也。军旅曰誓。济济，众盛之貌。蠢兹有苗，昏迷不恭，蠢，动；昏，暗也。言其所以宜讨。侮慢自贤，反道败德；狎侮先王，轻慢典教，反正道，败德义。君子在野，小人在位；废仁贤，任奸佞。民弃不保，天降之咎。言民叛天，灾之。肆予以尔众士，奉辞（罚）[伐]罪。肆，故也。辞谓不恭。罪谓（奸）[侮]慢以下事。尔尚一乃心力，其克有勋！"三旬，苗民逆命。益赞于禹曰："惟德动天，无远弗届。"禹拜昌言，班师振旅。帝乃诞敷文德，舞干羽于两阶。七旬，有苗格。

又曰：启与有扈，战于甘之野。王曰："嗟！六事之人，予誓告汝：有扈氏威侮五行，怠弃三正，天用剿绝其命。用命赏于祖。不用命，戮于社；予则孥戮汝！"

又曰：羲和湎淫，废时乱日，胤往征之，告于众曰："羲和尸厥官、昏迷于天象，以干先王之诛。今予奉将天罚。火炎昆岗，玉石俱焚。天吏逸德，烈于猛火。殄厥渠魁，胁从罔治。呜呼！威克厥爱，允济；爱克厥威，允罔功。尔众士，懋戒哉！"钦承天子休命。

又曰：鲁侯伯禽宅曲阜，徐夷并兴东郊不开作费。誓公曰："嗟，人无哗！听命：善谷乃甲（胄）[胄]，备乃弓矢，锻乃戈矛，[砺乃锋刃，]无敢不善！峙乃糗粮，峙乃芻茭，无敢不逮！汝则有大刑！鲁人三郊、三遂，峙乃桢干。甲戌，我惟筑。无敢不（恭）[供]！汝则有无余刑，[非杀]。"刑者非一也。

又曰：惟戊午，王次于河朔，次，止也。戊午渡河而誓，既誓而止于河之北。群后以师毕会。诸侯尽会（次）[止]也。王乃徇师而誓，曰："呜呼！西土有众，咸听朕言！徇，循也。武王在西，故称西土。今商王受力行无度，行无法度。播弃黎老，昵比罪人。鲐背之者称黎老。弃，不礼敬也。昵，近

也。罪人，谓天下逋逃小人也。予有乱臣十人，同心同德。言我治理之臣虽少，而心德同也。虽有周亲，不如仁人。"周，至也。纣至亲虽多，不若周家之(少)[多]仁人也。

又曰：武王伐纣，曰："今予发，惟恭行天之罚。今日之事，不愆于六步七步，乃止齐焉。夫子勖哉！不愆于四伐、五伐、六伐、七伐，乃止齐焉。勖哉夫子！尚桓桓，如虎如貔，如熊如罴！于商郊！弗迓克奔，以役西土，勖哉夫子！尔所弗勖，其于尔躬有戮！"

又曰：尔众士同力王室。

《史记》曰：太尉行令军中曰："为吕氏右袒，为刘氏左袒。"军中皆左袒。

《后汉书》曰：齐武王伯升，既破甄阜军，乃陈兵誓众，焚积聚，破釜甑，鼓行而前。

《晋书》曰：元帝以祖逖为奋威将军、豫州刺史，给千人廪，布三千匹，不给铠仗，使自招(募)[募]。仍将本流徙部曲百余家渡江，中流击楫而誓曰："祖逖不能清中原而复济者，有如大江！"辞色壮烈，众皆慨叹。屯于淮阴，起冶铸兵器，得二千余人而后进。

又《载记》曰：王猛与慕容评战，阵于渭原，而誓众曰："王景略受国厚恩，任兼内外，(令)[今]与诸君深入贼地，宜各勉进，不可退也。愿戮力行间以报恩，顾受爵明君之朝，庆觞父母之室，不亦美乎？"众皆勇奋，破釜弃粮，大呼竞进。

《后周书》曰：太祖率李弼、独孤信等十二将东伐。至潼关，太祖乃誓于师曰："与尔有众，奉天威，诛暴乱。惟尔众士，整尔甲兵，戒尔戎事，无贪财以轻敌，无暴发以作威。用命则有赏，不用命则有戮，尔众士其勉之。"遣于谨居军前徇地。

《唐书》曰：高祖起义兵，西图关中，精甲三万。高祖杖白旗，誓众于太原之野，引师即路。

又曰：太宗征王世充，陈兵谷水之上，步骑五万。太宗举麾誓众曰："隋室无道，毒被苍生，我国家受命于天，宁济亿兆。世充敢

抗大邦，数行侵暴，诛杀良善，恣其淫酷。国家为百姓除害，事不获已。各宜整尔军旅，修尔器械，立勋立效，龚行天罚，敢有犯命者斩无赦。"

又曰：朱泚反韦皋于陇州，筑坛于庭，血牲，与将士等盟曰："上天不吊，国家多难，逆臣乘间，盗据皇宫。而李楚琳亦扇凶徒，倾陷城邑，酷虐所加，爰及本使，既不事上，安能恤下。皋是用激心愤气，不遑底宁，誓(举)[与]群公，竭诚王室。凡我同盟，一心竭力，伏顺除凶，祖先之灵，必当幽赞。言诚则志合，义感则心齐，粉骨尘躯，决无所顾。有渝此志，明神殛之，迨于子孙，亦罔遗育。皇天后土，当兆斯言。"又使通于吐蕃以求助。

《古司马兵法》曰：古者逐奔不远，纵绥不及，所以示君子且有礼。不远则难诱，不及则难陷，以礼为固，以仁为胜。既胜之后其教可复，是故君子贵之也。有虞氏戒于国中，欲人体其命也；舜以农教战，以战教民，畋猎简习，故民体之也。夏后氏誓于军中，欲民先成其虑也；禹令军聚，重复教肆，进退左右，前后离合周旋也。殷誓于军门之外，欲民先意待事也；殷既遵虞夏之教民，又于军门外复简试。周将交刃而誓之，以致意也。周用虞夏殷之教民交和接兵，又复申望誓之军，德薄，民俗巧也。

又曰：贤王制礼乐法度，乃作五刑，兴甲兵，以讨不义。巡狩、省方，会诸侯考不同，其有失命乱常、背德逆天之时，而危有功之君。王者以有功德者为君长，贼臣欲篡杀之。遍告于诸侯，章明于有罪，乃告于皇天上帝，日月星辰，以祷于后土，四海之神，山川冢社。冢社者，天子太社也。乃造于先王，然后冢宰征师于诸侯。造，就也。就造于先祖庙也。曰某国为不道，征之。以某年月日，师至于某国。至于所征之国，与天子会。天子正刑，刑者，天子之法也。刑以征不义、伐不从，王者之法也。冢宰与伯布命于军，曰入罪人之地。无暴神祇，无猎田，无有虐，无毁二功，无粪墙屋，无伐树木，无取六畜，无取禾粟，无取器械。见其老幼，奉归勿伤。虽遇壮者，不校勿敌；若伤人，医药归之。既诛有罪，王及诸侯正其国，举贤更立，明正复职。(三)[王]者与四方诸侯伐无道之国，整顿其民人，举贤良更立为君，奉遵王法，复五官之职事矣。

《论衡》曰：师尚父为周司马，将师伐纣，到孟津之上，仗钺把旄，号其众曰"仓兕"。（食）[仓]兕，水中之兽也，善覆人船。因神以化，欲令急渡，汝不急渡，仓兕害汝。河中有此之物，时时出浮，一身九头，人畏恶之，未必覆人船者也。

《文选》曰：勒三军，誓将帅，元戎竟野，戈鋋彗云。

麾 兵

《庄子》曰：市南宜僚弄丸，两家之难解；孙叔敖甘寝秉羽，而郢人投兵。

《晋书》曰：张重华攻石季龙，遣谢艾为使持节、军师将军，率步骑三万，进军临河。麻秋以三万众拒之。艾乘轺车，冠白（恰）[帽]，鸣鼓而行。秋望而怒曰："艾年少书生，冠服如此，轻我也。"命黑矟龙骧三千人驰击之。艾左右大扰。左战师李伟劝艾乘马，艾不从，乃下车踞胡床，指麾处分。贼以为伏兵发也，惧不敢进。张瑁从左南缘河而绝其后，秋军乃退。艾乘奔击，遂大败之。

又曰：陈敏一旦据有江东，刑政无常，不为英俊所服，且子弟凶暴，所在为患。周玘、顾荣之徒常惧祸败。遣使密报征东将军刘准遣兵临（江），准已为应。及兵至，敏使弟昶及将钱广，次乌江以拒之。钱广，玘乡人也，潜使图昶。广遣其属何康投募送白事于昶，昶倾视书，康挥刀斩之，称州下已杀敏，动者诛三族，吹角为内应。广先勒兵在朱雀桥，陈兵[水南]。敏师万人将战，未济，荣以白羽扇麾之，敏众溃散。[敏]单骑东奔，为义师所斩。

《梁书》曰：魏中山王元英（冠）[寇]北徐州，高祖诏韦叡率众会焉。英自率众来战，叡乘素木舆执白角如意以麾军。一日数合，英甚惮其强。

刘璠《梁典》曰：韦叡字文怀，京兆杜陵人也。叡虽有旷世之度，莅民以惠爱为本，所居必治。将兵仁爱，被服必于儒者，虽临阵交锋，常缓服乘舆，执竹如意以麾进止。

《北史》曰：唐永身长八尺，少耿介，有将帅才，读《班超传》，慨然有万里之志。正光中，为北地太守。永善取下士，人竞为之用。临阵常着白裙襦，把角如意以指麾处分，辞色自若。在北地四年，与贼数十战，未尝败北。时人语曰："莫陆梁，恐尔逢唐将。"永所营之处，至今犹称唐公垒。

《后魏书》曰：毛法仁言声壮大，至于军旅田狩，唱呼处分，振于山谷。

《后周书》曰：李远，字万岁。幼有器局，志度恢然。尝与群儿为战斗之戏，指麾部分，便有军阵之法。郡守见而异之，召使更戏。群儿惧而散走，远持杖叱之，复为向势，意气雄壮，殆甚于前。郡守曰："此小儿必为将帅，非常人也。"

又曰：建德中东伐齐，帝引兵发京师。壬寅，渡河，与诸军合。十二月戊申，次于晋州。恐王师卒至，于城南穿堑，自乔山属于汾水。庚戌，帝[帅]诸军八万人，置阵东西二十余里。帝乘常御马，从数人巡阵处分，所至辄呼主帅姓名以慰勉之。将士感见知之恩，各自奋励。

《隋书》曰：李子雄从幸江都，帝以仗卫不整，顾子雄步伍之。子雄立指麾，六军肃然。帝大悦，曰："公真武侯才也。"寻转右武(候)[侯]大将军。

《唐书》曰：德宗时，郑权为泾原节度使刘昌从事。昌病，亟请入觐，度军中必有变，以权宽厚，善容众，俾主留务。既而兵果为乱。权挺身于白刃中，抗词以明逆顺，因杀其首乱者数人，士皆戢伏。

又曰：昭宗时，玉山都头杨守信叶杨复恭称兵阙下，阵于通化门，上陈兵于延喜门。是夜，令刘崇望守度支库。明日晓，入含光门。未开，门内禁军列于左右，俟门开即劫掠两市。及闻传呼宰相来，门方开，崇望驻马慰谕之曰："圣上在街东亲总戎事。公等禁军，何不楼前杀贼，立取功名。切不可剽掠街市，图小利以成恶名

也。"将士惟惟，从崇望至长乐门。守信见兵来，即遁，军士呼万岁。是日库市获全，军人不乱，繄崇望之方略也。

《五代周史》曰：世宗至泗洲，太祖皇帝乘胜麾军焚郭门，夺月城，帝亲冒矢石以攻其垒。丙午日南至，从臣拜贺于月城之上。

《语林》曰：诸葛武侯与司马宣王在渭滨，将战，宣王戎服莅事，使人视武侯，素舆葛巾，持白毛扇指麾，三军皆随其进止。宣王闻而叹曰："可谓名士。"

飨 士

《左传》曰：宋华元将战，杀羊食[士]，其御羊斟不与。及战，曰："畴昔之羊，子为政，今日之事，我为政。"与入郑师，故败。君子谓："羊斟非人也，以其私憾，败国殄民。刑孰大焉。"

《史记》曰：乐毅并护赵、楚、韩、魏、燕之兵以伐齐，破之济西。诸侯罢归，而燕军乐毅独追，至于临(淄)[菑]。齐(昏)[湣]王之败济而亡走，保于莒。乐毅独留徇齐，[齐]皆城守。乐毅攻入临淄，尽取齐宝财物祭器输之燕。[燕]昭王大悦，亲至济上劳军，行赏飨士，封毅于昌国，号为昌国君。

《东观汉记》曰：上大发关东兵，自将上陇，隗嚣众溃走，围解。于是置酒高会，劳赐诸将，来歙班坐绝席，在诸将之右，赐歙[妻]缣千匹。

《后汉书》曰：吴汉围苏茂于广乐。刘永将周建别招聚收集得十余万人，救广乐。汉将轻骑迎与之战，不利，堕马伤膝，还营，建等遂连兵入城。诸将谓汉曰："大敌在前而公伤卧，众心惧矣。"汉乃勃然裹疮而起，(推)[椎]牛飨士，令军合战，大破之。

又曰：刘盆子既降，帝令县厨赐食，众积困(馁)[馁]，十余万人皆得饱饫。

又曰：邓禹至长安，军昆明池，大飨士卒。率诸将(齐)[斋]戒，择吉日，修礼谒祠高庙，收十一帝神主，遣使来诣洛阳，因循行园

陵，为置吏士奉守焉。

《后周书》曰：若干惠于诸将[年]最少。早丧父，事母以孝闻。太祖尝造射堂新成，与诸将宴射。惠窃叹曰："亲(孝)[老]矣，何时(辨)[办]此乎？"太祖闻之，即日徙堂于惠宅。其见重如此。

《淮南子》曰：员中规，方中矩；动成战，止成文。可以(榆)[谕]众而不可以陈军。涤杯而食，洗爵而饮，盥而后馈，可以养少而不可以飨众。

《黄石公记》曰：动为事机，舒之弥四海，卷之不盈怀。柔而能刚，则其国弥光；弱而能强，则其国弥章。一单之醪，投之于河，令士众迎饮，三军为其死，战如风发，攻如河决。军无财，士不来；军无赏，士不往。香饵之下，必有悬鱼；重赏之下，必有死夫。

犒 师

《左传》曰：夏，齐师伐我北鄙。公使展喜犒师，劳齐师也。使受命于展禽。齐侯未入境，展喜从之，曰："寡君闻君亲举玉趾，将辱于弊邑，使下臣犒执事。"

又曰：三十三年，秦师过[周]北门，及滑，郑商人弦高将市于周，遇之。以乘韦先，牛十二犒师，商，行贾也。乘四韦也。先韦[乃]及(入)牛也。古者将献馈于人，有以先也。曰："寡君闻吾子将步[师出]于弊邑，敢犒从者。不腆弊邑，为从者之淹，[居]则具一日之积，腆，厚也。淹，久也。积，芻米菜蔬也。行则备一夕之卫。"

又曰：楚子以驺至于罗汭。驺，传也。罗，水名。吴子使其弟蹶由犒师，楚人执之，将以衅鼓。王使问焉，曰："汝卜来吉乎？"对曰："吉。且吴社稷是卜，岂直为一人？使臣获衅鼓，而弊邑知备，以御不虞，其为吉孰大焉？"乃弗杀。

《后汉书》曰：岑(鼓)[彭]长驱入江关，令军中无得虏掠。所过，百姓皆奉牛酒迎劳。彭见诸耆老，为言"大汉哀愍，巴蜀久见虏役，故兴师遂伐，以讨有罪，为人除害。"让不受其牛酒。百姓皆大

喜悦，争开门降。

《晋书》曰：桓温进兵至霸上，耆老持牛酒迎温，曰："不图今日复见官军。"

《后梁略》曰：大宝元年，西魏将杨忠来逼荆镇，上惧其至，送遣犒军。既而与忠结盟，并送质子与魏相约为兄弟之亲。于是聘使往还，相望道路。

《后魏书》曰：邓颖从世祖幸汉南，高车莫弗库若于率骑数万，驱鹿百余万，诸行在所。诏颖为文，铭于汉南，以昭功德。

《淮南子》曰：秦缪公使孟明举兵袭郑，郑贾人弦高、蹇他他，弦高党人。相与谋曰："师行数千里，又数过诸侯之地，其势必袭郑。凡袭国者，以为无备也。其以知其情，必不敢进。"乃矫郑伯之命，以十二牛劳。三率相与谋三率，秦将白乙、孟明、西乞。曰："守备必固，进必无功。"乃还师而反。晋先轸举兵击之，先轸，晋大夫也。大破之。郑伯乃以存国之赏赏弦高，高辞。

太平御览卷第三百八

兵部三十九

战　上

《尚书大传》曰：战者，惮也，惊之也。

《说文》曰：战，斗也。

《开元文字》曰：仲秋大阅，戒众庶，修战法，"阴疑于阳必战"是也。凡师皆阵曰战。谓坚而有备，各得其所，成败决于志力也。

《易》曰：上六：龙战于野，其血玄黄。阴之为道，卑顺不盈，乃全其美盛而不已。固阳之地，阳所不堪，故战于野也。

又曰：阴疑于阳必战，为其嫌于无阳也，故称龙焉。为其嫌于非阳而战也。

《书》曰：汤与桀战于鸣条之野。

又曰：武王戎车三百两、虎贲三千人，与受战于牧野。

《左传》曰：鲁宣公十二年，晋荀林父与楚子战于邲，晋师败绩。

又曰：吴伐楚，王使执燧象以奔吴师。

又曰：齐伯郭启伐莒。[莒]子将战，宛羊牧谏之曰："齐师戮，其求不多，不如下之。"

又曰：诸侯之戍谋曰："若华氏知困而致死，楚耻无功而疾。战，非吾利也。"

又曰：孟懿子阳虎伐郓，郓人将战。

又曰：宋多责赂于郑，郑人不堪。故以绝鲁及齐，与宋、卫、燕战。不书所战，后也。

又曰：冬，宋人以诸侯伐郑，报宋之战也。

又曰：齐人侵鲁疆。疆吏来告，[公]曰："疆埸之事，慎守其一而备其不虞。姑尽所备焉。事至而战，又何谒焉。"

又曰：狄人伐卫。卫懿公好鹤，鹤有乘轩者。将战，国人受甲者皆曰："使鹤，鹤实有禄位，余焉能战！"

又曰：里克谏曰："故君之嗣适，不可以帅师。君失其官，帅师不威，将焉用之。且臣闻皋落氏将战，君其舍之。"

又曰：楚人伐宋以救郑。宋公将战，大司马固谏曰："天之弃商久矣，君将兴之，弗可赦也已。"

又曰：子鱼曰："君未知战。勍敌之人阨而未成列，天赞我也。"

又曰：公曰："君子不重伤，不禽二毛。"子鱼曰："且今之勍者，皆吾敌也。虽及胡耇，获则取之，何有于二毛？明耻教战，求杀敌也，伤未及死，如何勿重。"

又曰：晋公子重耳之及于难也，晋人伐诸蒲城。[蒲城]人欲战，重耳不可。

又曰：齐晋将战，高固入晋师，桀石以投人，桀，担[也]。擒之而乘其车，既获其人。固释己车而载所获。系桑本焉，以徇齐垒，将至齐垒，以桑树系车而桑走，欲自异也。曰："欲勇者贾余余勇。"贾，卖也。言己勇有余，欲卖之也。

又曰：晋楚将战，而楚晨压晋军而阵。军吏患之。范丐趋进，曰："塞井夷灶，阵于军中，而疏行首。晋、楚惟天所授，何患焉？"文子执戈逐之，曰："国之存亡，童子何知焉？"

又曰：齐侯还自晋，不入。不入国。遂袭莒，门于且于，且于，莒邑。伤股而退。齐侯伤。明日，将复战，期于寿舒。寿舒，莒邑。杞殖、华还载甲，夜入且于之隧，宿于莒郊。(郊)[二]子齐大夫也。且于隧，狭路。明日，先遇莒子于蒲侯氏。蒲侯氏，近莒之邑。莒子重赂之，使无死，曰："请有盟。"欲以盟二子无致死战。华周对曰："贪货弃命，亦君所恶也。华周即华还也。昏而受命，日未中而弃之，何以事君？"莒子亲鼓之，从而伐之，获杞梁。杞梁即杞(植)[殖]。

又曰：齐师伐我。公将战，曹(翚)[刿]请见。其乡人曰："肉食者谋之，又何间焉。"肉食，在位者也。间，犹与也。(翚)[刿]曰："肉食者鄙，未能远谋。"乃入见。问："何以战？"公曰："衣食所安，弗敢专也，必以分人。"对曰："小惠未遍，民不从也。"公曰："牺牲玉帛，不敢加也，必以信。"对曰："小信未孚，神不福也。"公曰："小大之狱，虽不能察，必以情。"对曰："忠之属也，上思(吏)[利]民，忠也。可以一战。战则请从。"公与之乘。战于长勺。公将鼓之。刿曰："未可。"齐人三鼓，曰："可矣！"遂逐齐师。既克，公问其故。对曰："夫战，勇气也。一鼓作气，再而衰，三而竭。我盈彼竭，故克之。夫大国难测也，惧有伏焉。吾视其辙乱，望其旗靡，故逐之。"

又曰：丙戌，复战。大败吴师，获太子友，王孙弥庸。

又曰：郤献子曰："二憾往矣，弗备必败。"彘子曰："郑人劝战，弗敢从也。楚人求成，弗能好也。"

又曰：夫礼乐慈爱，战所蓄也。

又曰：楚子与若敖氏战于睾浒。睾浒，楚地。伯棼射王，汰辀，及鼓跗，着于丁宁。伯棼子越椒也，辀车辕汰过也，箭过车辕上也。丁宁，钲也。又射汰辀，以贯笠毂。兵车尊者则边人执笠依毂下以御寒暑。师惧，退。王使巡师曰："吾先君文王克息，获三矢焉。伯棼窃其二，尽于是矣。"鼓而进之，遂灭若敖氏。

又曰：晋楚交战，叔山冉搏人以投，中车，折轼。晋师乃止。

又曰：晋侯使张骼、辅跞致楚师，求御于郑。欲得郑人自御，知其地利者也。郑人卜宛射犬吉。射犬，郑公孙也。将及楚师，而后从之乘，皆踞转而鼓琴。转衣裳也。近，不告而驰之。皆取胄于橐而胄，入垒，皆下，搏人以投，收禽挟囚。禽，获也。弗待而出。

又曰：子蒲曰："吾未知吴道，使楚人先与吴人战。"

又曰：吴师居麇，子期将焚之，子西曰："父兄亲暴骨焉，不能收，而又焚之，不可。"子期曰："国亡矣！岂惮焚之？"焚之，而又战。

又曰：吴伐楚师，及清发，清发，水名。将击之。夫概王曰："困兽

犹斗，况人乎？若知不免而致死，必败我。若使先济者知免，后者慕之，蔑有斗心矣。半济而后可击也。"从之。又败之。楚人为食，吴人及之，奔，食而又从之。败诸雍澨，五战及郢。奔食，食者走，不阵。故不在战数数也。澨，时制切。

又曰：晋侯逆秦师，使大夫韩简视师。复曰："师少于我，斗士倍我。"公曰："何故？"对曰："出因其资，谓奔梁求(粟)[秦]也。入用其宠，为秦所纳也。饥食其粟，三施而无报，是以来也。今又击之，我怠秦奋，倍犹未也。"战于韩原。晋戎马还泞而止。泞，泥也。还，便旋也。小驷不调，故还泥中。泞，乃定切。秦伯获晋侯以归。晋曲而怠，秦直而怒，所以胜也。

又曰：楚子伐隋，军于汉、淮之间。隋将季梁谓隋侯曰："请下之，弗许而后战，下之请服。所以怒我而怠寇也。"隋少师[谓隋侯]曰："必速战。不然，将失楚师。"战于速杞，隋师败绩。若用季梁之谋，必胜矣。

又曰：吴楚二师阵于柏举。吴子阖闾之弟夫概王，晨请于阖闾曰："楚相囊瓦不仁，其臣莫有死志，先伐，其卒必奔。而后大师继之，必克。"以其属五千，先击囊瓦之卒。楚师乱，吴师大败之。

又曰：晋师伐楚，苗贲皇言于晋侯曰："楚之良，在其中军王族而已。请分良以击其左右，而三军萃于卒，萃，集。必大败之。"及战，晋将吕锜，射楚恭王，中目。锜，鱼绮切。楚师宵遁。晋师入楚，三日馆穀。

又曰：求曰："若不可，则君无出。一子帅师，背城而战。不属者，非鲁人也。当子之身，齐人伐鲁而不能战，子之耻也。"

又曰：彭城之役，晋、楚遇于靡角之谷。晋侯将遁矣。雍子发命于军曰："恤老幼，反孤疾，二人役，归一人，简兵搜乘，秣马蓐食，师陈焚次，明日将战。"行归者而逸楚囚，楚师宵溃。

又曰：入我河曲，伐我涑川，俘我王官，翦我羁马。我是以有河曲之战。

又曰：栾武子欲报楚，韩献子曰："无庸。使重其罪，民将叛之。无民，孰战？"

又曰：晋、楚遇于鄢陵。范文子不欲战，郄至曰："韩之战，惠公不振旅。"

又曰：潘尪之子党与养由基蹲甲而射之，以示王，曰："君有二臣如此，何忧于战？"

又曰：苗贲皇徇曰："搜集补卒，秣马利兵，修阵固列，蓐食申祷，明日复战。"乃逸楚囚。

又曰：智武子曰："大劳未艾，君子劳心，小人劳力。先王之制。"诸侯皆不欲战，乃许郑成。

又曰：晋阳处父侵蔡，楚子上救之，与晋师夹江而军。阳子患之，使谓子上曰："吾闻之，文不犯顺，武不违敌。子若欲战，则吾退舍，子济而阵，迟速惟命。"

又曰：宣子曰："秦获穿也，获一卿矣。秦以胜归，我何以报？"乃皆出战，交绥。

《公羊传》曰：己巳，晋侯及楚战城濮，楚师败绩，此大战也。

又曰：诈战不日，此何以日？诈，卒也，齐人语也。

又曰：晋人及秦伯战于殽，秦败。或曰："襄公称人何贬也？君在殡而用师诈战。"

又曰：狐壤之战，隐公获焉。然则何以不言战？讳获也。

又曰：齐侯、卫侯、郑伯来战于郎，此偏战也。何以不言？师败绩，内不言战，乃败绩。

又曰：及郑师伐宋，丁未，战于宋。战不言伐何？避嫌也。恶乎嫌，嫌与郑人战也，此偏战也。何以不言师败绩？内不言战，言战乃败绩。与郑人战于宋地，故举伐以明之也。

《家语》曰：齐国书伐鲁，书，齐卿也。季康子使冉求帅左师卫之，樊迟为右。季氏曰："须也，弱。"须，迟名。弱，幼也。有子曰："能用命矣。"及齐师战于郊，未逾沟。前有沟，众不肯逾也。樊迟曰："非不能

也，不信子也。言季孙德不素著，不为民所信也。请三交而逾之。"与众要信，三交而逾沟也。如之，众从之。师入齐，齐军遁。冉有用戈，故能入焉。子闻之曰："义也。"在军能却敌，合乎义。既战，季孙问冉有曰："子于战，学之乎？性达之乎？"对曰："学之。"季孙曰："从事孔子，兹于学。"冉有曰："即学于孔子也。孔子者，大圣兼该，文武并用也。适闻其战法，犹未之详也。"季孙[悦]。樊迟以告孔子，子曰："季孙于是乎可谓悦人之有能矣。"

又曰：孔子曰："黄帝服牛乘马，扰驯猛兽，以与炎帝战于阪泉之野。"

又曰：子贡言志曰："愿得齐楚合战于漭荡之野，埃尘连接，挺刃交兵。"

《国语》曰：申包胥曰："夫战，智为始，仁次之，勇次之。不智则不知人之极；不仁则不共三军饥劳之殃；不勇则不能断疑以发大计。"

《战国策》曰：魏太子自将，过宋(水)[外]黄，徐子曰："臣有百战之术，今太子自将攻齐，大胜，[富]不过有魏，而贵不益为王。若不胜，即(墨)[万]世无魏矣。此臣百胜之术也。"太子曰："请从公言而还。"太子上车请还，其御曰："将出而还，与败北同，不如遂行。"乃与齐战而死。

《史记》曰：黄帝教熊罴貔虎以与炎帝战于阪泉之野，服虔曰：阪泉，地名。皇甫谧曰：在上谷。三战，然后得行其志。蚩尤作乱，不用帝命。黄帝乃征师诸侯，与蚩尤战于涿鹿之野，服虔曰：涿鹿，山名，在涿郡。张晏曰：涿鹿在上谷。遂擒蚩尤。《皇览》曰：蚩尤冢在东平郡寿张县关乡城中，高七尺，民常十月初祀之。有赤气出如匹绛帛，名为蚩尤旗。

又曰：[项羽已杀]卿子冠军，威振楚国，名闻诸侯。乃遣当阳君、蒲将军将卒张晏曰：卒黥布。二万人渡河救巨鹿。战小利，陈余复请兵。羽悉引兵渡河，已渡，皆沉船，破釜甑，烧庐舍，持三日粮，示士必死无还心。于是至即围秦将王离，与秦军遇，九战，绝其甬道，

大破之，虏王离。当是时，楚兵冠诸侯，诸侯军救钜鹿者十余壁，皆莫敢纵兵。及楚击秦，诸将皆从壁上观。楚战士无不一当十。楚兵呼声动天地，诸侯无不人人惴恐。于是已破秦军，羽见诸侯，入辕门，张晏曰：军行以车为阵，辕相向为门曰辕门。无不膝行而前，莫敢仰视。羽于是始为诸侯上将军，兵皆属焉。

又《淮阴侯传》曰：信云：此[所]谓"驱市人而战之"，其势非置之死地，使人人自为战；今予之生地，皆走，宁尚可得而用之乎！

又曰：项王至东城，乃有二十八骑。汉骑追者数千人。项王自度不得脱，谓其骑曰："吾起兵至今八年矣，身七十余战，所当者破，所击皆服，未常败北，霸有天下。今卒困于此，天之亡我，非战之罪也。今日固决死，愿为诸君决战。"

又《商君传》曰：鞅令行之十年，秦民道不拾遗，山无盗贼。民勇于公战，怯于私斗。

又《蔺相如传》曰：廉颇曰："我为赵将，有攻城野战之功，而蔺相如徒以口舌为劳而位居我上。"

又曰：秦人开关延敌，九国之师遁逃，追亡逐北，伏尸百万，流血漂卤。徐广曰：卤，盾也。

《汉书》曰：汉王入彭城，收羽美人货赂，置酒高会。羽闻之，令其将击齐，而自以精兵三万人从鲁出胡陵，至萧，晨击汉军，大战彭城灵壁东胡陵县在彭城南。睢水上，大破汉军，多杀士卒，睢水为之不流。围汉王三匝。大风从西北起，折木发屋，扬沙石，昼晦，楚军大乱，而汉王得与数十骑遁去。过沛，使求室家，而室家亦已亡，不相得。汉王道逢孝惠、鲁元公主，载行。楚骑追急，汉王推堕二子。滕公下收载，遂得脱。

又《张骞传》曰：身毒国在大夏东南，可数千里，其俗土著，与大夏同，而卑湿暑热，其民乘象以战。

又《叙传》曰：述赵充国、辛庆忌云：兵家之策，惟在不战。

又《西南夷传》曰：姑缯叶瑜复反，遣水衡都尉吕辟胡将郡兵击

之。辟，音壁。辟胡不进，蛮夷遂杀益州太守，乘胜与辟胡战，战士乃溺水死者四千余人。复攻武威、张掖、酒泉，烧民庐舍。六年，陇西太守孙羌击破之。

又曰：萧何功最盛，封酇侯，所食邑最多，功臣皆曰："臣等被坚执锐，多者百余战，少者数十合，攻城略地，大小各有差。今何未尝有汗马之劳，顾居臣上，何也？"

又曰：高帝末，黥布反，渡淮击楚。楚发兵与战徐、潼间，楚三军欲以相救为奇兵。或说楚将曰："布善用兵，人素畏之。且兵法，自战其地为散地。今别为三军，彼败吾一军，余皆走，安能相救？"楚将不听。布果破其一军，二军散走。遂西，与上兵遇蕲西，大战，布军败走。

又曰：赵充国讨先零羌，[虏]久屯聚，解弛，睹见大军，弃辎重，欲度湟水，道阨狭，充国徐行驱之。或曰逐利行迟，充国曰："此穷寇不可迫也。缓之则走不顾，急之则还致死。"诸将校皆曰："善。"虏果赴水，溺死者数百。于是破之。

又《司马迁传·报任少(师)[卿]书》云：又不能拾遗补阙，招贤进能，显岩穴之士；又不能备行伍，攻城野战，有斩将搴旗之功。

太平御览卷第三百九

兵部四十

战　中

《后汉书》曰：吴汉讨公孙述，乃进军攻广都，拔之。光武戒汉曰："成都十余万众，不可轻也。但坚据广都，待其来攻，勿与争锋。若不敢来，公转营迫之，须其力疲，乃可击也。"汉乘利，遂自将步骑二万余进逼成都，去城十余里，阻江北为营，作浮桥，使副将刘尚将万余人屯于江南，相去二十余里。帝闻大惊，使让汉曰："公既轻敌深入，又与尚别营，事有缓急，不复相及。贼若出兵缀公，而大众攻尚，尚破，公即破矣。急引兵还广都。"诏书未到，述果使其将谢丰、袁吉攻汉，使别将攻尚。汉败入壁，丰围之。汉乃召诸将勖之曰："今与刘尚二处受围，势既不接，其祸难量。欲潜师就尚于江南，并兵御之。若能同心一力，人自为战，大功可立；如其不然，败必无余。成败之机，在此举也。"于是飨士秣马，闭营三日不出，乃多挂幡旗，使烟火不绝，夜衔枚引兵与尚合军。丰等不觉，明日，分兵拒水北，自将攻江南。汉悉兵迎战，自晨至晡，遂大破之，斩谢丰、袁吉，获甲首五千余级。于是引还广都，[留]尚拒述。帝报曰："公还广都，甚得其宜，述必不敢略尚而击公也。略，犹过也。若先攻尚，公从广都五十里悉步骑赴之，适当值其疲困，破之必矣。"自是汉与述战于广都、[成都]之间，八战八克。

又曰：凉州贼王国围陈仓，不拔而去。皇甫嵩进兵击之。董卓曰："不可。兵法，穷寇勿(迫)[追]，归众勿(追)[迫]。今我追国，是迫归众，追穷寇也。困兽犹斗，蜂虿有毒，况大众乎？"嵩曰："不

然。前吾不击，避其锐也。今而击之，待其衰也。所击疲师，非归众也。国众且走，莫有斗志。以整击乱，非穷寇也。"遂独进击之，使卓为后拒。连战大破，斩首万余级，国走而死。

又曰：曹操击陶谦，[不能克，乃]还。过拔取[虑]、睢陵、夏丘，皆屠之。杀男女数十万人，鸡犬无余，泗水为之不流。

又曰：廉范迁云中太守。会匈奴大入塞，烽火日通。故事，虏入过五千人，移书傍郡。吏欲传檄求救，范不听，自率士卒摧之。[虏众盛]，范兵不敌。乃令军中蓐食，晨往赴之，斩首数百级。

《续汉书》曰：耿弇字伯照，扶风人。少学诗礼。见郡督尉试骑士，建旗鼓，(肆)[肆]驰骋，由是心善将率。后上闻弇为张步所攻。欲自往。陈俊曰："步兵盛，可且闭营，待上至。"弇曰："上且到，臣子当击牛酾酒以待百官，反欲以贼虏遗君父耶？"遂合战破之。

《蜀志》曰：夏侯渊败，曹公争汉中地，运米北山下，数千万囊。黄忠以为可取，赵云遣兵随忠取米。[忠过期不还]，云将数千人轻行出围，(行)[迎]视忠等。值曹公扬兵大出，云势逼，且斗且却，入营更大开门，偃旗鼓。公军至，疑有伏兵。云雷鼓，于后射公，公军惊骇，自相蹂践，堕汉水死者甚多。先主明旦自来至云营，围视昨战处，曰："子龙一身都为胆。"子龙，赵云字也。作乐饮宴至暝。

《晋中兴书》曰：桓温步骑四万，自江陵向关中，伐伪立荆州刺史郭敬，进击青泥，皆破之。至于灞上，戎首多降，居民皆壶浆路侧，耆老或泣曰："不图今日复见官军！"兵师符健以五千人守长安小城，时运道艰难，而关中大饥，温率众还，诏遣侍中黄门慰劳，于襄阳犒军。十一年，温进征讨大都督[督]司冀[州]诸军事，委以专征之任。温乃合众治兵。七月，率众伐羌。十月，温次伊水。羌师姚襄来逆，军屯于北，遣使诣温，奉身归命，愿敕前锋小却，当拜伏路左。温答曰："我自修复中原，展敬山陵，无豫君事，欲来相迫，何复求却？"于是方轨齐进，襄率骁勇万余人距水前战。温命小弟冲及诸将奋击，襄大败奔北，自相杀害，死者数千，越北芒而奔走。温

屯故太极殿前，贼周成率众降温，徙入金墉，谒先帝诸陵，被侵毁者皆缮复之，选陵令守护。

又曰：谢玄进号冠军将军，加领徐州刺史，还于广陵，以功封东兴县侯。八年玄至，苻坚倾国大出，众号百万。先遣苻融、慕容炜、张蚝、苻方四师至颍口，梁成、王先等守洛涧。诏加卫将军安征讨大都督。玄为前锋、都督徐、兖、青三州、扬州之晋陵、幽州之燕国诸军事，与叔父征虏将军石、从弟辅国将军琰、西中郎将桓伊、龙骧将军玄等拒之，众凡八万。玄先遣广陵刘牢之五千人直指洛涧，即斩梁成及成弟云，步骑崩溃，争赴淮水，斩首万级，生擒五千余人。十月，苻融进屯寿阳。玄与琰等选精锐八千人决战肥水南，临阵斩苻融，俘获万计，得伪辇及云母车，其余宝器山积，锦罽数万端，牛马驴骡骆驼十万匹。

又曰：苻坚率众五十万向寿春，谓融曰："晋人若知朕来，便一时还南，固守长江，虽百万之众，无所用之。今秘吾来，令彼不知，彼顾江东，在此必当战。若其溃败，求守长江，不复可得，则吾事济矣。"乃秘不言坚自来，于是以小将旗列屯肥北。晋征虏将军谢石、冠军将军谢玄、辅国将军谢琰、西中郎将桓伊等并阻水南，一时涉渡肥水。融曰："及吴未成列击之，必克也。"坚曰："不然。我长于步，彼便于水，今舍步入水，是以所短击其所长，非良策矣。可须彼过水，一时击之。彼既背水，进退无术，乃可尽杀，然后船舫渡江，直指会稽观禹朝万国之处，不亦乐乎。"列阵以待晋军。晋军既济，战于肥北。坚被重疮，三军溃乱。坚驰还长安。

《晋书》曰：刘毅溯江追桓玄，战于峥嵘洲。于时官军数千，玄兵甚盛，而玄惧有败衄，常漾轻舸于舫侧，故其众莫有斗心。官军乘风纵火，尽锐争先，玄众大溃。

又曰：将军王敦反，兵至石头，欲攻晋将刘隗。五罪切。其将杜弘曰："刘隗死士众多，未易可克，不如石头。其守将周礼少恩，兵不为之用，[攻之]必败。礼败，隗自走。"敦从之。礼果开城门纳

弘。诸将与敦战，晋师大败。

又曰：前秦苻坚率兵来伐，晋将军谢石、谢玄拒之。坚遣其尚书朱序说石等，以众盛，欲胁而降之。序谓石曰："若秦百万之众皆至，则莫可以敌也。及其众未集，宜在速战。若挫其前锋，可以得志。"晋将遣使请战，许之。坚师列阵逼肥水。晋师不得度。晋将使谓坚将符融曰："君悬军深入，置阵逼水，此持久之计，岂欲战者乎？若小退师，令将士周旋，仆与君公缓辔而观之，不亦美也！"坚众皆曰："宜阻水，莫令得上。我众彼寡，势必万全。"坚曰："但却军，令得过，我以铁骑向水，逼而杀之。不然，因其济水而覆之。"于是麾军却阵，军遂奔退，制之不可止。玄以八千精卒度肥逼之。融驰骑略阵，马倒被杀，军遂大败。晋师乘胜追击，死者相枕。坚为流矢所中，单骑遁走。

又《慕容超载记》曰：于是贺赖卢、公孙五楼为地道出战，王师不利。

崔鸿《十六国春秋》曰：前秦苻坚遣将吕光领兵伐龟兹。光军其城南五里为营，深沟高垒，广设疑兵，以木为人，被之以甲，罗之垒上。龟兹王帛纯婴城自守，乃倾国财宝，请诸国来救。温宿、尉头等国王，合七十余万众以救之。胡便弓马，善矛矟，铠如连锁，射不可入，众甚惮之。诸将咸欲每营结阵按兵以拒之。光曰："彼众我寡，众营又相远，势分力散，非良策也。"于是迁营相接，阵为勾锁之法，精骑为游军，弥缝其阙，战于城西，大败之。纯遁走，王侯降者三十余国。

又曰：西魏末，东魏遣将侯景、高敖曹等围西魏将独孤信于洛阳。东魏大将齐神武继后。西魏大将周文帝率军救信，进军瀍东。景等夜解围去。及晨，周文率轻骑追之，至于河上。景等北据河桥，南属邙山为阵，与诸军合战。周文马中流矢，惊逸，遂失之，因此军中扰乱。都督李穆下马授周文帝以复振，于是大捷，斩高敖曹，虏其甲士万五千，赴河死者以万数。是日置阵既大，首尾悬远，

从辰至未，战数十合，氛雾四塞，莫能相知。独孤信、李远居右，赵贵、恰峰居左，战并不利，又不知周文所在，皆弃其卒先归开府。唐公等为后军，遇信等退，即与俱还。由是乃班师，洛阳亦失守。大军至弘农，守将皆已弃城西走。

又曰：后魏末，贼莫折后炽所在寇掠州人。李贤率乡兵与泾州刺史史宁讨之，后炽列阵以待。贤谓宁曰："贼聚结岁久，徒众甚多，数州之人，皆为其用，我若总为一阵，并力击之，彼既同恶相济，理必总萃于我，势既不分，众寡莫敌，我便救，首尾无以制之。今若令诸军分为数阵，多设旗鼓，掎角而前，以胁诸栅，以别统精兵直指后炽，按甲而待，莫与交锋；后炽欲前，则惧我疑兵。令其进不得战，退不得走，以俟其懈击之，必破。后炽一败，则众栅不攻自拔矣。"宁不从，屡战频北。贤乃率数百骑径入后炽营，收其妻子僮隶五百余人，并辎重等。属后炽与宁战胜，方欲追奔，忽与贤遇。乃弃宁与贤接战，贼遂大败，后炽单骑遁走。

《北史》曰：后魏孝文南伐齐，齐将陈显达率众拒战。元嵩身备三仗，免胄直前，勇冠三军，将士从之，显达奔溃。帝大悦，曰："任城康王大有德福，文武顿出其门，以功赐爵高平县侯。"

《后周书》曰：天和六年，宇文宪帅众二万出自龙门。齐将新蔡王康德以宪兵至，潜军宵遁。宪乃西归，仍掘移汾水水南堡，复入于齐。人谓略不及远，遂弛边备。宪乃渡河攻其伏龙等四城，二日尽拔。又进攻张辟，克之，获其军实，夷其城垒。斛律明月时在华谷，不能救之，乃北攻姚襄城，陷之。时汾州又见围日久，粮援路绝，宪遣柱国宇文盛运粟以馈之。宪自入两乳谷，袭克齐相杜成，进军姚襄，齐人婴城固守，以为汾州之援。齐平京王段孝先、兰陵王高长恭引兵大至，宪命将士阵而待之。大将军韩欢为齐人所乘，遂以奔退。宪身自督战，齐众稍却。会日暮，乃各收军。

又曰：齐神武遂度河逼华州，刺史王罴严守，知不可攻，涉洛，军于许原西。太祖据渭南，征诸州兵皆会，乃占诸将，谓之曰："高

欢越山度河，远来至此，天亡之时也。吾欲击之何如?"诸将咸以众寡不敌，请待欢更西，以见其势。太祖曰："欢若得至咸阳，人情转骚扰。今及其新至，便可击之。"即造浮桥于渭，令军人赍三日粮轻骑度渭，辎重自渭南夹渭而西。冬十月壬辰至沙苑，距齐神武军六十余里。齐神武闻太祖至，引军来会。癸巳旦，候骑告齐神武军且至，望太祖军少，竞驰而进，不为行列，总萃于左。军兵将交，太祖鸣鼓，士皆奋起，于谨等六军与之合战，李弼等率铁骑横击之，绝其军为二，遂大破之，斩六千余级，临阵降者二万余人。

《通典》曰：后周末，隋文帝作相，辅少主。相州总管尉迟迥举兵不从，隋文遣将韦孝宽讨之。迥男惇率众十万入武德，军于沁东拒之，与孝宽隔水相持。乃布兵二十余里，麾军小却，欲待孝宽军半度而击之。孝宽因其却，乃鸣鼓齐进，惇遂大败。

又曰：后周末，隋文帝遣将韦孝宽率兵讨尉迟迥于相州，军进至州，迥悉出其卒十三万，阵于城南。迥旧习军旅，虽老犹被甲临阵，其麾下三千兵皆关中人，为之力战。孝宽等军失利而却，邺中士女观者如堵，高颎与李询乃整阵先犯观者，因其扰而乘之，迥众大败，遂拔其城。

又曰：后汉末，曹公征张鲁于汉中，使张辽与乐进、李典等将千余人守合肥，教与护军薛悌，署[函]边曰："贼至乃发。"俄而，吴主孙权率十万众围合肥。乃共发教，教云："若权至者，张、李将军出战；乐将军守，护军勿得与战。"诸将皆疑。辽曰："公征在外，比教至，败我必矣。是以教及其未合逆击之，折其盛势，以安众心，然后可守。成败之机，在此一战，诸君何疑?"李典亦与辽同。于是辽夜募敢死之士，得八百人，椎牛飨将士，明日大战。平旦，辽被甲持戟，先登陷阵，杀数十人，斩二将，大呼自(若)[名]，冲垒入，至权麾下。权大惊，众不知所为，走登高冢，以长戟自守。权不敢动，遥见所将众少，乃聚围辽。辽左右麾围，直前急击，围开，辽将麾下数十人得出，余众号呼曰："将军弃我乎?"辽复还突围，拔出余众。权人

马皆披靡，披，匹靡反。无敢当者。自朝战至日中，吴人夺气，还修守备，众心乃安，诸将咸服。权攻合肥十余日，城不可拔，乃引退。辽率诸军追击之，几复获权。孙盛曰：夫兵固诡道，奇正相资，若(郡)[将](师)[帅]不知，则弃师之道也。至于合肥之守，悬弱无援，专任勇者则好战生患，专任怯者则惧心难保。且彼众我寡，心必怀贪堕，以致命之兵，击贪堕之卒，其势必胜，胜而后守必固。是以魏武杂选武力，参以(周)同异，为之密教，(直)[宜]其用事。至是而应，若合符契，妙矣！

《北齐书》曰：慕容绍宗与侯景战于渑阳，大破景军，溺死于渑水，水不为流。景走淮南。

太平御览卷第三百一十

兵部四十一

战下　战不顾亲　战伤

战　下

《后周书·梁台传》曰：时大军围洛阳，久而不拔。齐骑奄至，齐公宪率兵御之，乃有数人为敌所执。已去阵二百余步，台望见之，愤怒，单马突入，射杀两人，敌皆披靡，执者遂得[还]。齐公宪每叹曰："梁台果毅胆决，不可及也。"

又曰：田弘讨西平反羌及凤州叛兵等，并破之。弘每临阵，摧锋直前，身被一百余箭，破骨者九，马被十矟，朝廷壮之。

又曰：李标字灵杰。长不盈五尺，性果决，有胆气。少事尔朱氏。累迁右将军。魏孝武以标从为太祖帐内都督。从复弘农，破沙苑。标时跨马运矛，冲坚陷阵，隐身披甲之中。敌人见之，皆曰"避此小儿"。太祖初亦闻标骁悍，未见其能，至是方嗟叹之。谓标曰："但使胆决如此，何必要须八尺之躯也。"

又曰：贺若敦，太祖时群盗锋起，各据山谷。大龟山贼张世显潜来袭统，敦挺身赴战，手斩七八贼，[贼]乃退走。父统大悦，谓左右僚属曰："我少从军旅，战阵非一，如此儿年时胆略者，未见其人。非惟成我门户，亦当为国名将。"

又曰：王雅从战邙山。时大军不利，为敌所乘，诸将皆引退，雅独回骑拒之。敌人见其无继，步骑竞进。[雅]左右奋击，频斩九级，敌众稍却，雅乃还军。太祖叹曰："王雅举身悉是胆也。"

又曰：蔡祐字承先，从太祖战于河桥，祐乃下马步斗，手杀数人。左右劝乘马以备急卒。(祐)[祐]怒之曰："丞相养我如子，今

日岂以性命为念!"遂率左右十余人,齐声大呼,杀伤甚多。敌以其无继,遂围之十余重,谓(祐)[祐]曰:"观君似是勇士,但驰甲来降,岂虑无富贵耶。"(祐)[祐]骂之曰:"死卒! 吾今取头,自当封公,何假贼之官号也。"乃弯弓持满,四面拒之。东魏人弗敢逼,乃募厚甲长刀者,直进取(祐)[祐]。去祐可三十步,左右劝射之,(祐)[祐]曰:"吾曹性命,在一矢耳,岂虚发哉。"敌人渐进,可十步,(祐)[祐]乃射之,正中其面,应弦而倒,便以稍刺杀之。因此,战数合,惟失一人。敌乃稍却。祐徐引退。是战也,我军不利。太祖已还。(祐)[祐]至弘农,夜中与太祖相见。[太祖见]祐至,字之曰:"承先,尔来,吾无忧矣。"太祖心惊,不得寝,枕祐股上,乃安。

又曰:王雄从晋公护东征。至邙山,与齐将解律明月接战。雄驰杀三人,明月退走,雄追之。明月左右皆散,矢又尽,惟余一奴一矢在焉。雄案稍不及明月者丈余,曰:"惜尔不杀得,但(住)[生]将尔见天子。"明月反射雄,中额,雄[抱]马退走,至营而薨。

又曰:耿豪本名令贵。沙苑之战,豪杀伤甚多,血染甲裳尽赤。太祖见之,叹曰:"令贵武猛,所向无前,观其甲裳,足以为验,不须更论级数也。"

又曰:王勇从讨赵青雀,平之,论功居最,除卫大将军、殷州刺史,加通直散骑常侍,兼太子武卫。邙山之战,勇率敢死之士三百人,并执短兵,大呼直进,出入冲击,杀伤甚多,敌人无敢当者。是役也,大军不利,惟勇及王文达、耿令贵三人力战,皆有殊功。太祖于是赏帛二千匹,令自分之。军皆拜上州刺史。以雍州、岐州、北雍州拟授勇等,然州颇有优劣,又令探筹取之。勇遂得雍州,文达得岐州,令贵得北雍州。仍赐勇名为勇,令贵名豪,文达名杰,以彰其功。

又曰:耿豪从太祖战于邙山,豪谓所部曰:"大丈夫见贼,须右手拔刀,左手把稍,[直刺]直斫,慎莫皱眉畏死。"遂大呼独入,敌人锋刃乱下,当时咸谓豪殁。俄然奋刃而还。战数合,当豪前者,死

伤相继。又谓左右曰："吾岂乐杀人，但壮士除贼，不得不尔。若不能杀贼，又不为人所伤，何异逐坐人也。"太祖嘉之，拜北雍州刺史。

《隋书》曰：突厥入寇，隋将杨素击之。先是，诸将与虏战，每虑胡骑奔突，皆戎车步骑相参，舁鹿角为方阵，骑在其内。素谓之曰："此乃自固之道，非取胜之方也。"于是悉除旧法，令诸军为骑阵。突厥达头可汗闻之大喜，率精骑十余万而至。素奋击，大破之。素多权略，乘机赴敌，应变无方，然大抵驭戎严整，有犯军令者，立斩之，无所宽贷。每将临寇，求人过失而斩人，多者(万)[百]余人，少不下(千)[十]数。流血盈前，言笑自若。及其对阵，先令(三)[一二]百人赴敌，陷阵则已，如不能陷阵而还者，无问多少，悉斩之。又令二三百人复进，还如向法。将士股栗，有必死之心，由是战无不胜，时称名将。

又曰：张须陀将兵拒东郡贼翟让，前后三十余战，每破走之。转荥阳守。时李密说让取洛口仓，让惮须陀，不敢进。密劝之，让遂与密率兵逼荥阳，须陀拒之。让惧而退，须陀乘之，逐北十余里。时李密先伏数千人于林木间，邀击须陀军，遂败绩。密与让合军围之，须陀溃围辄出，左右不能尽出，[须陀]复跃马入救之。往来数四，众皆散，乃仰天曰："兵败如此，何面见天子乎?"乃下马战死。时年五十二。其所部兵，昼夜号泣，数日不止。

又曰：麦铁杖辽东之役，将渡辽，谓其三子曰："阿奴当备浅色黄衫，吾荷国恩，今是死日。我既被杀，尔当富贵，惟诚与孝，尔其勉之!"及济，桥未成，去东岸尚数丈，贼大至，铁杖跳上岸，与贼战死，武贲郎将钱士雄、孟金又亦死之，左右更无及者。帝为之流涕，购得其尸。

又曰：权袭庆仕周，从武元皇帝与齐师战于并州，被围百余重。袭庆力战矢尽，短兵相接，杀伤甚众，于是刀稍皆折，脱胄掷地，向贼大骂曰："何不来斫头也!"贼遂杀之。

又曰：高智惠作乱江南，史万岁以行军总管从杨素击之。万岁

率众二千，自东阳别道而进，逾岭越海，攻陷浮洞不可胜数。前后七百余战，转斗千余里，寂无声闻者十旬，远近皆以万岁为没。万岁以水陆阻绝，信使不通，乃置书竹筒中，浮之于水。汲者得之，以言于素。素大悦，上其事。高祖嗟叹。

又曰：宇文庆从周武帝攻河阴，先登攀堞，与贼短兵接战，良久，中石乃坠，绝而后苏。帝劳之曰："卿之余勇，可以贾人也。"复从武帝拔晋州。其后齐师大至，庆与宇文宪轻骑觇，卒与贼相遇，为贼所窘。宪挺身而遁，庆退据汾桥，众贼争进，庆引弓射之，所中人马必倒，贼乃稍却。及破高纬，拔高辟，克并州，下信都，擒高谐，功并居最。

《唐书》曰：高祖为山西、河东抚尉大使，至龙门县，有贼毋端儿[帅]众数千人奄至城下。时诸军无备，为贼所乘。高祖亲率十余骑横出击之，所射应弦而倒，贼大溃，逐北数十里，伏尸相继于道。时高祖射七十发，明日斩首筑为京观，于尸上尽得所射箭，其妙如此。

又曰：至德中，宜春郡太守刘秋子率士卒攻贼。兵尽矢穷，秋子张空拳大呼于军前，死战而胜。诏嘉其忠勇，授淮阳太守。

又曰：白孝德，胡人也，骁悍有胆力。乾元中，李光弼为偏裨。史思明攻河阳，使骑将刘龙仙率铁骑五十临河挑战。龙仙勇捷自恃，举右足加马鬣上，手运两矢，嫚骂光弼。[光弼]登城望之，诸将皆侍，顾曰："孰可取者？"仆固怀恩前请行，光弼曰："此非大将所为。"历选其次无可，于是左右窃议曰："孝德可。"光弼闻之，乃招孝德前问："可得乎？"孝德曰："得。"光弼问："所加几何人而可？"曰："独往则可，加人不可。"光弼曰："壮哉！"终问所欲，对曰："愿备五十骑于壁门候。既入然后进，及诸大军鼓噪以借威，他无所用。"光弼抚其背以遣。孝德挟二矛，策马截流而渡。半济而怀恩贺曰："克矣。"光弼曰："未及，何知其克？"怀恩曰："观其挑跂便辟，可万全者。"龙仙始见其独来，甚易之，足不降鬣。稍近，将动，孝德摇手

示之，若使其不动，然龙仙不测，又止。孝德呼："太尉使予致辞，非他。"龙仙去三十步与之言，亵骂如初。孝德息马伺便，久之，因瞑目曰："贼识我乎？"龙仙曰："谁？"曰："我，国之大将白孝德。"龙仙曰："是猪狗乎？"孝德发声虓然，执矛突前[而搏之]，城上万鼓齐噪，五十骑以继进。龙仙矢不及发，环走堤上。孝德以匹马逐之，胡骑五十皆披靡，若猛犬之猎群狐也。遂斩之，提首而归。

又曰：王难得试卫尉卿，至凤翔为都知兵马使，兼兴平军事。尝有裨将靳元曜，当合战，堕马，呼难得，难得俯马救之。贼射难得，中眉，皮穿，下蔽目。难得乃拔去箭，并皮掣弃之，勇冠三军，由是士众多附之。

《五代·周史》曰：王殷迁奉国右厢都指挥使。汉祖受命从征杜重威于郓下。殷与刘词皆率先力战，矢中于首。久之出，折镞于口中。以是汉祖嘉之。

《三国典略》曰：茹茹寇肆，齐王自晋阳讨之，虏骑散走，大军遂还。齐主率二千余骑为殿，夜宿黄爪堆。茹茹别部数万骑扣鞍而进，四面围逼麾下。齐主安卧，平明方起，神色自若，指画军形，溃围而出。虏骑追击之，伏尸二十里，获奄罗辰妻子生口三万余，令都督高阿那肱率骑数千塞其走道。那肱以兵少请益，齐主更减其半，那肱骑奋击，亦大克捷。

战不顾亲

《史记》曰：项王为高俎，置太公其上，告汉王曰："今不急下，吾烹太公。"汉王曰："吾与项羽俱北面受怀王，约为兄弟，吾翁即乃翁。必欲烹而翁，即幸分我一杯羹。"项王怒，欲烹之。项伯曰："天下事未可知，且为天下者不顾家，虽杀之无益，祇益祸耳。"项王从之。

《后汉书》曰：邳彤，字伟君，世祖拜为后将军，常从战攻信都。复反为王郎所置信都王捕击彤父弟及妻子，使为手书呼彤曰："降

者封爵，不降者族灭。"彤涕泣报曰："事君者不得顾家。彤亲属所以至今得安于信都者，刘公之恩。公方争国事，彤不得复念私也。"会更始所遣将攻拔信都，王郎兵败走，彤家得免。

又曰：世祖遣宗正刘延攻天井关，与上党太守田邑连战十余合，延不得进。邑迎母弟妻子，为延所获。冯衍乃遗邑书，邑报书曰："仆虽驽怯，亦欲为人者也，岂苟贪生而畏死哉。闻老母诸弟见执于军，而邑安然不顾者，岂非重其节乎？若使人居天地，寿如金石，要长生而避死地可也。今百年之期未有能至，老壮之间相去几何？诚使故朝尚在，忠义可云？虽老亲受戮，妻儿横分，邑之愿也。"

又曰：赵苞字威豪，迁辽西太守。到官，遣使迎母及妻子，垂当到郡，道经柳城，值鲜卑万余人入塞寇钞，苞母及妻子遂为所劫质，载以劫郡。苞率步骑二万，与贼对阵。贼出母以视苞，苞悲号谓母曰："为子无状，欲与微禄奉养朝夕，不图为母作祸。昔为母子，今为人臣，义不得顾私恩，毁忠节，惟当万死，无以塞罪。"母遥谓曰："威豪，人各有命，何得相顾，以亏忠义！尔其勉之。"苞即时进战，败之，其母妻皆为所害。

《东观汉记》曰：孔奋为武都郡丞，时在郡为隗嚣余党所攻，杀太守，得奋妻子。奋追贼，贼推奋妻子于军前。奋年五十，惟有一子，不顾，遂擒贼，而其子见屠。帝嘉其忠，迁武都太守。

《九州春秋》曰：初，清河李雍以隃叛袁绍，而降公孙瓒，遣兵卫之。绍遣朱灵攻之。灵家在城中，瓒以灵母、弟置城上，诱呼灵，灵望城上泣曰："丈夫一出身与人，岂复顾家耶！"战遂拔之，生擒雍，而灵家皆死。灵字文博。

《蜀志》曰：姜维与母相失。孙盛《杂记》曰：姜维得母书，并求当归。维曰：良田百顷，不在一亩；但有远志，不见当归。

《续帝王世纪》曰：晋师度岘，慕容超使拒之，闻晋兵盛，自将四万继之。及晋人战于临昭，燕兵大败，超单马奔入城。八月，将封。

融自河北奔晋师，使诏诱城内，超怒，缚其母，悬诸城上。融曰："姜维有言，良田百顷，不在一亩。"

《梁书》曰：羊侃长子鹫，为侯景所获，执来城下示侃。侃谓曰："我倾宗报主，犹恨不足，岂得计此一子？幸尔早能杀之。"数日复持来，侃谓鹫曰："久以汝为死，犹在耶？吾以身许国，誓死行阵，终不以汝而生进退。"因引弓射之。贼感其忠义，亦不害也。

战　伤

《左传》曰：齐晋将战，郄克伤于矢，流血及屨，未绝鼓音。

《魏书》曰：孙观迁青州刺史，从征孙权于濡须口，为流矢所中，穿左足，力战不顾。太祖劳之曰："将军被疮深重，而猛气益奋。"及疮甚，遂卒。

《魏志》曰：诸葛亮出祁连山，诏张郃督诸军至洛阳。[亮]还保祁连山，郃追至木门，与亮军交战，飞矢中郃右膝，薨。

又曰：夏侯惇字元让。太祖自徐州还，惇从征吕布，为流矢所中，伤左目。

又曰：公到宛，张绣降，既而悔之。复反，公与战，军败，为流矢所中。《魏书》曰：公所乘马名绝影，为流矢所中，伤颊及足，并中公右臂。

《蜀志》曰：先主进围络县，庞统率众攻城，为流矢所中，卒。

《三国典略》曰：陈薛安都引兵破留异，成州刺史韩子皋单马入阵，伤顶之左，一髻半落。安都为流矢所中，血流至踝，乘舆车，容止不变。

《北史》曰：彭乐天平四年，从神武西讨，与周文相拒，神武欲缓持之。乐气奋，请决战，曰："我众贼少，不可失也。"神武从之，乐因醉入，深被刺，肠出，内之，不尽，截去复战，身被数疮，军势遂挫，不利而还。神武每追论以戒之。

《后周书》曰：河桥之战，王思政下马，用长矟左右横击，掊数人。时陷阵既深，从者死尽，思政被重创闷绝。会日暮，敌亦收军。

思政久经军旅，每战惟着破弊甲，敌疑非将帅，故免。有帐下督雷五安于战处哭求思政，会其已苏，遂相得。乃割衣裹创，扶思政上马，夜久方得还。仍镇弘农。思政以玉璧地在险要，请筑城。即自营度，移镇之，迁并州刺史，仍镇玉璧。

又曰：韦法保每与敌人交兵，每身先士卒，单马陷阵，是以战必被伤。尝至关南与东魏人战，流矢中颈，从口中出，当时气绝。舆至营，久之乃苏。

又曰：李弼从太祖，与齐战于河桥。弼深入，陷阵。身被七创，遂为所获。弼佯殒绝于地，守者稍解。弼睥睨，傍有马，因跃上西驰，得免。

《隋书》曰：开皇二年，突厥叶护及潘那可汗众十余万，寇掠[而]南，诏以达奚长儒为行军总管，率众二千击之。遇于周槃，众寡不敌，军中大惧，长儒慷慨，神色愈烈。为虏所冲，突厥散而复聚，且战且行，转斗三日，五兵咸尽，士卒以拳殴之，手皆见骨，杀伤万计，虏气稍夺，于是解去。长儒身被五疮，通中者二；其战士死伤者十八九。突厥本欲大掠秦、陇，既逢长儒，兵皆力战，虏意大沮。明日，于战处焚尸恸哭而去。

太平御览卷第三百一十一

兵部四十二

请战　挑战　决战上

请　战

《左传》曰：帅师以来，固敌是求，敌至不击，将何俟矣。

又曰：晋师至于靡笄之下，齐侯使请战。

又曰：子玉使伯棼请战，曰："非敢必有功也，愿以间执谗慝之口。"

又曰：晋侯逆秦师，使韩简视师，韩简，晋大夫，韩万之孙。复曰："师少于我，斗士倍于我。"公曰："何故？"对曰："出因其资，请奔梁求秦也。入用其宠，为秦所纳。饥食其粟，三施而无报，是以来也。今又击之，我怠秦奋，倍犹未也。"公曰："一夫不可狃，况国乎？"狃，怯也。言避秦则使怯来。遂使请战，曰："寡人不佞，能合其众而不能离也，君若不还，无所逃命。"秦伯使公孙枝对曰："君之未入，寡人惧之；入而未定列，犹吾忧也；苟列定矣，敢不承命！"

又曰：子玉使斗勃请战，曰："请与君之士戏，君凭轼而观之，得臣与寓目焉。"晋侯使栾枝对曰："烦夫子谓二三子，戒尔车乘，敬尔军事，诘朝将见。"

《谷梁[传]》曰：请一战，不克请再，再不克请三，三不克请四，四不克请五，五不克举国而授，于是而与之盟。

《史记·楚世家》曰：六年，秦使白起伐韩于伊阙，大胜，斩首三十四万。秦乃与楚王书曰："楚倍秦，秦且率诸侯伐[楚]，争一旦之命。愿王之饬士卒，得一乐战。"楚顷襄王患之，乃谋与秦平。

《后汉书·王霸传》曰：霸军中壮士路润等数十人，断发请战。

挑 战

《孙子》曰：忿速可侮。急疾之人可忿怒而致死。忿速，易怒者也。主不可以怒而兴军，[将]不可以愠而致战。合于利而用，不合于利而止。人主聚众兴军，以道理胜负之计，不可以己之私。举兵则以策，不可以愠恚之故而合战也。怒而可以复喜，愠而可以复悦，亡国不可以复存，死者不可以复生。主怒兴伐，人无素谋明计，则破亡矣。将愠怒而斗，仓卒而合战，所杀伤必多。怒忿复可以悦喜，言亡国不可以复存，死不可以复生，言当须愤之也。故曰：明王慎之，良将儆之，此安危之道也。儆，戒也。

《左传》曰：赵旃求卿未得，且怒于失楚之致师者。请挑战，弗许。请召盟，许之。

《左传》曰：楚许伯御乐伯，摄叔为右，以致晋师。许伯曰："吾闻致师者，御靡旃摩垒而还。"靡，近也。靡于驰也。乐伯曰："吾闻致师者，代御执辔，御下两马，掉鞅而还。"[摄]叔曰："吾闻致师者，右入垒，折馘，馘，断耳也。执俘而还。"皆行所闻而复。晋人逐之，左右角之。乐伯左射马而右射人，角不能进，矢一而已。麋兴于前，射麋丽龟。

《战国策》曰：魏武侯问吴起曰："两军相常，不知其将欲击，何如？"起曰："令贱而勇者，将而击锐，交合而北，告而勿罚，观敌进取，一来一起，其政以理，奔北不追，见利不取，此将有谋。若其众追北，旗帜杂乱，自止自行，或纵或横，贪利务得，凡若此类，将令不行。"

《史记》曰：《吴世家》曰：夏，吴伐越，越王勾践迎击之槜李。贾逵曰：越地也。越使死士挑战，三行造吴师，自(颈)[刎]。《左传》曰：使罪人三行属剑(亦)[于]颈。吴师观之，[越]因伐吴，败之姑苏。

又曰：汉王项羽相与临广武间而语。项羽欲与汉王独身挑战。汉王数项羽十罪，[项羽]大怒，伏弩射中王胸，汉王扪足曰："虏中吾指！"

又曰：王翦代李信击荆，荆兵数挑战，终不出。久之，翦使人问："军中戏乎？"曰："方投石超距。"翦曰："士卒可用矣。"

《汉书》曰：项羽使人谓汉王曰："天下匈匈，以吾两人。愿与王挑战，决雌雄，无徒罢天下父子为。"汉王笑谢曰："吾宁斗智，不斗力。"羽令壮士出挑战。三合，楼烦辄射杀之。羽大怒，自被甲挑战。楼烦欲射，羽嗔目叱之。楼烦目不能视，手不能发，走还入壁，不敢复出。汉王使问之，乃羽。汉王大惊。

又曰：楚汉相持彭城，数绝楚粮道。项羽欲讨越，谓其将曹咎曰："谨守成皋，即汉欲挑战，慎勿与战，无令得东。我十五日必诛彭越，定梁地。"汉果数挑战，楚军不出，使人辱之。五六日，曹咎怒，度兵汜水，汉击之，大破楚军，尽得楚国货赂。曹咎自刎汜水上。

《后汉书》曰：张堪为谒者。使送委输缣帛，并领骑七千匹，诣大司马吴汉代公孙述，在道追拜蜀郡太守。时汉军余七日粮，阴具船欲遁去。堪闻之，驰往见汉，说述必败，不宜退师之策。汉从之，乃示弱挑敌，[述]果自出，战死城下。

又曰：王霸讨苏茂，贼聚众挑战，霸坚不出，方飨士作倡乐。茂(两)[矢]射营中，中霸前酒樽，[霸]安坐不动。军吏皆曰："茂前日已破，今易击也。"霸曰："不然。苏茂客兵远来，粮食不足，故数挑战，以徼一切之胜。徼，要也。一切犹权时也。令闭营休士，所谓不战而屈人之兵，善之善者也。"茂既不得战，乃引还营。

又曰：(董)[李]宪叛，马成拜扬武将军，发会稽、丹阳、九江、六安四郡兵击[李]宪，进围宪于(野)[舒]，令诸军各深沟高垒。宪数挑战，成坚壁不出，守之岁余，至六年春，城中食尽，乃攻之，遂屠舒，斩宪。

《魏志》曰：公西征马超，进军度渭。超等数挑战，不许。公乃克日会战，先以轻兵挑之，战良久，乃纵虎骑夹击，大破之。

《魏氏春秋》曰：诸葛亮遇司马宣王，因挑战，致巾帼妇人之饰，

以怒宣王。

《魏略》曰：太祖在汉中，而刘备栖于山领，使刘封下挑战，太祖骂曰："卖履舍长，使假子拒汝公乎？呼我黄须儿来，令击之。"乃召曹彰晨夜进追，西到长安，而太祖已还。

崔鸿《十六国春秋》曰：姚襄据黄落，前秦苻坚遣将黄眉、邓羌等率步骑讨之。襄深沟高垒，固守不战。邓羌说黄眉曰："伤弓之鸟，落于虚发。襄频为晋将桓张平所败，锐气丧矣。今固垒不战，是穷寇也。襄性刚很，易以刚动。若长驱鼓行，且压其垒，襄必忿而出师，可一战擒也。"黄眉从之。遣羌追骑三千军于襄垒。果怒，尽锐出战。羌伪不胜，引骑而退。襄追至于三原，羌回骑拒襄。俄而，黄眉至，大战，斩之，尽俘其众。

《宋书》曰：沈攸之反，自江陵举兵东下，分兵出夏口，据鲁山。攸之既至郢，以郢城弱小足攻，宋郢州，今江夏郡。遣人告郢州守将柳世崇曰："被太后令，当暂还都，卿既相与奉国，想得此意。"世崇答曰："东下之师，久承声问，郢城小镇，自守而已。"攸之将去，世崇遣军于西渚挑战。攸之果怒，令诸军登岸烧郭邑，筑长围攻之。世崇随宜拒应，众皆披却，攸之军因之败溃。

《隋书》曰：陈茂从高祖与齐师战于晋州。贼甚盛，高祖将挑战，茂固止不得，因捉马鞚。高祖忿之，拔刀斫其额，流血被面，词气不挠。高祖感而谢之，厚加礼敬。

又曰：窦荣定之击突厥也，史万岁诣辕门请自效。荣定素闻其名，见而大悦。因遣人谓突厥曰："士卒何罪过，令杀之。但当各遣一壮士决胜负耳。"突厥许诺，因遣一骑挑战。荣定遣万岁出应之，万岁驰斩其首而还。突厥大惊，不敢复战，遂引军而去。

《唐书》曰：高祖初起，师次霍邑，隋将宋老生拒之。上谓诸将曰："老生若婴城自守，当即攻之。主客势悬，卒难致力，其计若何？"太宗进曰："老生勇而无谋，请以轻兵挑之。必出战，则成擒矣。"从之。太宗以数骑诣其城下，举鞭指麾，若将围城者。老生果

怒，开门出兵。太宗驰白高祖曰："事谐矣。"高祖因谓陇西公建成曰："汝看两阵将交，引左军直趋东门。"令太宗引右军直趋南门，以断其归路。老生之军背城而阵，高祖以中军与建成合阵于城东，太宗及柴绍阵于城南。老生麾兵疾进，先薄高祖，而建成坠马，老生乘之，中军与左军咸却。太宗自南原遥见尘起，知义师退，率二百骑驰下峻坂，杀一贼将，遂衝断其军，出于阵后，表里齐噪，响若崩山，隋师大溃，各舍杖而走。悬门发，老生不得入城，乃弃马投堑，甲士斩之，致其首于麾下，流血数里，僵死尸相枕，四面乘胜进薄其城。时无攻具，士卒缘稍而上，一时攀堞，无敢当者，遂平霍邑，抚其余众而用之。

又曰：杜伏威既败隋师，炀帝又遣将军陈棱讨之，棱不敢战。伏威知其怯懦，因遗棱妇人之服以激怒之，棱果大怒恚，率众而至。伏威逆拒，杀数千人，棱仅以身免。

又曰：窦建德自荥阳西上，太宗以数百骑出武牢关二十余里以挑之。往往设伏，比至贼营才四骑而已，谓左右曰："贼见我而旋是其上计，乘险逐我，是其下策。"贼初见骑少，疑为斥候。太宗谓曰："我秦王也。"因引弓射之，毙其一将。贼以兵六十骑并援枪而至，从者咸失色。太宗谓之曰："尔但前去，我自殿后。"于是按辔徐行，贼至，引弓射之，毙一将，贼惧而止。止而复来，如是再三，每来必毙，贼乃不敢复逼。太宗且挑且还，伏兵相次而发，合击破之，获其大将殷秋、石瓒，斩首数百级。

决战上

《六韬》曰：周武王将伐纣，问太公曰："今敌人围我，断后绝粮，吾欲徐以为阵，以败为胜，奈何？"太公曰："不可。此天下困兵也，暴用之则胜，徐用之则败。可为四冲阵，以骁骑惊其（亲，君）[三军，]左军疾左，右军疾右，中军迭前迭后，往敌之空。吾军疾击鼓而当之。"

又曰："敌疏其阵，又远其后，跳我流矢以弱我弓弩，劳我士卒，为之奈何？"太公曰："发我锐士先击其前，车骑猎其左右，引而分队，以随其后，三军疾战。凡以少击众，避之于易，要之于险，避之以昼，取之于夜。故曰：以一击十，莫善于厄；以十击百，莫善于险；以千击万，莫善于阻。用众者务易，用少者务厄也。"

《左传》曰：晋师伐齐，阵于莘。所臻切。晋解张御郄克，郑丘缓为右。及战，郄克伤于矢，流血及履，未绝鼓音。中军将自执旗鼓，故虽伤而击鼓不息也。曰："余病矣！"张侯曰："自始合，而矢贯余手及肘，余折以御，左轮朱殷，岂敢言病。吾子忍之。"丘缓曰："自始合，苟有险，余必下推车，子岂识之？然子病矣！"以其不识己推车也。张[侯]曰："师之耳目，在吾旗鼓，进退从之。此车一人殿之，可以集事，殿，镇也。集，成也。若之何以病败君之大事也？擐甲执兵，固即死也。擐，贯。即，就也。擐，音患。病未及死，吾子勉之！"左并辔，并，毕正切。右援枹音桴。而鼓，马逸不能止，师从之。晋师从郄克车。齐师败绩。

又曰：齐侯伐晋夷仪。敝无存之父将室之，辞，以与其弟，无存，齐人也。室之，为取妇。曰："此役也不死，反，必娶于高、国。"高氏、国氏，齐贵族也。无存欲必有功还，取卿相之女也。先登，求自门出，死于霤下。既入城，夷仪人不服，故关死于门屋霤下也。齐侯克夷仪，谓夷仪人曰："得敝无存者，以五家免。"给五家不使役。乃得其尸。公三襚之；襚，衣也。比殡[三]加襚，深厚礼之也。与之犀轩直盖，犀轩，卿车。直盖，高盖也。亲推之三。齐侯自推丧轮三转也。

《国语》曰：齐庄公且伐莒，为车五乘之宾，而杞梁、华舟独不与焉，故归而不食。其母曰："汝生而无义，死而无名，则虽非五乘孰不汝笑也；生而有义，死而有名，则五乘之宾尽汝下也。"趣食乃行，杞梁、华舟同车侍于庄公，而行至莒，莒人逆之。杞梁、华舟下斗，获甲首三。庄公止之曰："子止与子同齐国。"杞梁、华舟曰："君为五乘之宾，而舟、梁不与焉，是少吾勇也；临敌涉难，止我以利，是恶吾行也；深入多杀者，臣之事也。齐国之利，非吾所知也。"遂进斗，

坏军陷阵，三军不敢当。

《战国策》曰：齐上将田单率师将攻狄，鲁仲连子曰："将军攻狄，必不能下矣。"单曰："单以破亡余卒破万乘之燕，今攻狄而不能下，何也？"上车不谢而去。遂攻狄，三月不克。齐婴儿谣曰："大寇若箕，修剑柱归。"单乃惧，问仲连子。对曰："将军在即墨之时，坐即织簀，立即杖插，为士卒唱，当此之时，将军有死之心，而士卒无生之气。闻是言莫不掩泣奋臂而欲战，此所以破燕也。当今将军东有掖邑之封，西有淄上之宝，足以乐生而恶死。此以不胜也。"田单明日结发励气，立于矢石间，引(抱)[枹]而鼓之，狄人乃下。

《汉书》曰：御史大夫韩安国曰："魏其言灌夫父死事，荷戟驱不测之吴军，身被数十创，名冠三军，此天下壮士也。非有大恶，争杯酒，不足引他过以诛之。"

《后汉书》曰：刘伯升起兵，光武守昆阳，莽将王寻、王邑来讨，兵号百万。先至昆阳已十万，围数重。时伯升已拔宛三日，而光武尚未知，乃伪使持书报城中，云宛下兵到而佯堕其书，寻、邑得其书，不喜。诸将既经累捷，胆气益壮，无不一当百。光武乃与敢死者三千人从城西水上冲其中坚，寻、邑阵乱，乘势崩之，遂杀王寻。城中亦鼓噪而出，中外合势，震呼动天，莽兵大溃，走者相腾践。

又曰：郏令冯魴力战死，帝曰："此健令。"

又曰：吴汉率兵围苏茂于广乐。刘永将周建来救，汉将轻[骑]迎战，不利，堕马伤膝，还营。诸将谓汉曰："大敌在前而公伤卧，众心惧矣。"汉乃勃然裹疮而起，椎牛飨士，令军中曰："贼众虽多，皆劫掠群盗，胜不相让，败不相救，非有杖节义者也。今日封侯之秋，诸君勉之！"于是军士激怒，人倍其气。明日，建、茂出兵围汉。选四部精兵三千余人，齐鼓而进，建军大溃，还，奔城。汉长驱追击，大破之。

李陵《答苏武书》曰：昔先帝授陵步卒五千，出征绝域，五将失道，陵独遇战。单于谓陵不可复得，便欲引还，而贼臣教之，遂便复

战，故陵不得免耳。

司马迁《报任少卿书》曰：且李陵提步卒不满五千，深践戎马之地，足历王庭，垂饵虎口，横挑强胡亿万之师，与单于连战十有余日，所杀过当。

太平御览卷第三百一十二

兵部四十三

决战中

《后汉书》曰：贾复与五校战于真定，大破之。复伤疮甚。光武大惊曰："我所以不令贾复别将者，为其轻敌。果然，失吾名将。闻其妇在孕，生女耶，我子娶之！生男耶，我女嫁之，不令其忧妻子也。"复病寻愈，追及光武于蓟，相见甚欢。

又曰：铫期从击王郎将兒宏刘、奉于钜鹿下，兒，五奚反。期先登陷阵，手杀五十余人，被疮中额，摄(愤)[幩]复战，摄犹正也。遂大破之。

又曰：祭遵与景丹诸将南击弘农、厌新、柏华蛮中贼。《东观记》(史)[曰]：柏华，聚名。弩中遵口，洞出血流。众见遵伤，稍引退，遵呼叱止之，士卒战皆自倍，遂大破之。

又曰：帝在鲁，闻耿弇为张步所攻，自往救之，未至。陈俊谓弇曰："剧虏兵盛，可且闭营休士，以须上来。"弇曰："乘舆且到，臣子当击牛酾酒以待百官，反欲以贼虏遗君父耶？"乃出兵大战，自旦及昏，复大破之，杀伤无数，城中沟堑皆满。

又曰：岑彭征公孙述，乃令军中募攻浮桥，先登者授上赏。于是偏将军鲁奇应募而前。时天风狂急，彭、奇船逆流而上，直冲浮桥，而攒柱钩而不得去，《续汉书》曰：时天东风，其攒柱有反把钩，奇船不得去。奇等乘势殊死战，因飞炬焚之，风急火盛，桥楼崩烧。彭复悉军顺风并进，所向无前。蜀兵大乱，溺死者数千人。

又曰：张步攻耿弇营，与刘歆等战。弇升王宫瑑台望之，临淄本

齐国所都，即齐王宫中有环台也。《东观记》作瓌台。视歆等锋交，乃引精兵以横突步阵于东城下，大破之。飞矢中弇股，以佩刀截之，左右无知者。

又曰：袁绍使曲安攻公孙瓒，绍在后十数里，闻瓒已破，发鞍息马，惟卫帐下强弩数十张，大戟士百许人。瓒散兵二千余骑卒至，围绍数重，射矢雨下。田丰扶绍，使却入空垣。绍脱兜鍪抵地，曰："大丈夫当前斗死，而返逃垣墙间耶？"促使诸弩并发，多伤瓒骑。众不知是绍，颇稍引却。会曲义来迎，骑乃散退。

又曰：邓禹还长安，张宗夜将锐士入城袭赤眉，中矛贯脾。脾，背上两膊间。又转攻诸营保，为流矢所激，皆几至于死。

又曰：贾复从上击青犊于射犬，大战至日中，贼阵坚不却。光武传召复曰："吏士皆饥，可但朝饭。"复曰："先破之，然后食耳。"于是被羽先登，被，犹负也。折羽为旌。旌旗，将军所执。先登，先赴敌也。所向皆靡，贼乃败走。诸将咸服其勇。

又曰：陈俊字子昭，拜强弩将军，所向皆败。世祖曰："战将尽如此，岂有忧乎？"

《魏志》曰：毋丘俭字仲恭，有干策，为幽州刺史、度辽将军。俭以高句骊数侵叛，督（将）[诸]军出玄菟，从道渐讨之。句骊王宫将步骑逆军沸水上，大战，宫连破走。[俭]遂束马悬车，登九都山，屠高丽，所斩获首虏以千数。使玄菟太守王颀追，过沃沮千余里，至肃慎界，刻石纪功，刊九都之山，铭不耐之城。

又曰：代郡乌桓反，以任城王彰为北中郎将，行骁骑将军。临发，太祖诫彰曰："居家为父子，受事为君臣。动以王法从事，尔其诫之。"彰北征入涿郡界，叛胡数千骑卒至，时兵马未集，惟有步卒千人，骑数百匹，用田豫计，固守要隙，虏乃散退。彰追之，身自战射，胡骑应弦而倒者，前后相属。战过半日，彰铠中数箭，意气益广，乘胜逐北，至于乘乾，臣松之案：乘乾，县名，属代郡，今北虏居之，号为乘乾郡。去代二百余里。长史诸将皆以为新涉远，士马疲，又受节度不

得过代，不可深进，遗令轻敌。彰曰："率师专行，惟利所在，何节度乎？胡走未远，追之必破，从令纵敌，非良将也。"遂上马，令军中后出者，斩。一日一夜与虏相及，击，大破之，斩首获生以千数。彰乃倍常科大赐将士，将士无不悦喜。时鲜卑大人轲比能将数万骑观望强弱，见彰力战，所向皆破，乃请服，北方悉平。时太祖在长安召彰，彰自代过邺。太子谓彰曰："卿新有功，今西见上，勿宜自伐。"彰到，如太子言，归功诸将。太祖喜，持彰须曰："黄须儿竟大可用。"

又曰：庞德与曹仁讨关羽。德屯(沔)[樊]北十里，会天霖雨十余日，汉水暴溢，樊下平地五六丈。德与诸将避水上堤。羽乘船攻之，以大船四面射堤上。德披甲荷弓，箭不虚发。将军董冲、部曲将(统)[董]超等欲降，德皆收斩之。自平旦力战至日过中，羽攻益急。德谓督将成何曰："吾闻良将不怯死以苟免，烈士不毁节以求生，今日，我死日也。"战益怒，气愈壮，而水浸盛，吏士皆降。德与麾下将一人，伍伯二人，弯弓傅矢，登小船欲还仁营。水盛船覆，失弓矢，独抱船覆水中，为羽所得，立而不跪。羽谓曰："卿兄在汉中，我欲以卿为将，不早降[何]为？"德骂羽曰："竖子，何谓降也！魏王带甲百万，威振天下。汝刘备庸才耳，岂能敌耶！我宁为国家鬼，不为贼将也。"遂为羽所杀。

《吴志》曰：孙权讨黄祖，祖横两蒙冲侠守沔口，以栟榈大绁系石为碇，上有千人，以弩交射，飞矢雨下，军不得前。董袭与陵统俱为前部，各将敢死百人，被两铠乘大船突入蒙冲，(里)[裹]身以刀斫两绁，蒙冲横流，大兵遂进，祖便开门走，兵追斩之。明日大会，权举觞属袭曰："今之会，断绁之功。"

《晋书》曰：刘毅等诛桓玄，兵至竹里，玄使其将皇甫敷、吴甫之拒毅军，遇之于江乘，临陈斩甫之，进至罗落桥，又斩敷首。玄大惧，使(使桓)[桓]谦、何澹之屯覆舟山。毅等军至蒋山，裕使羸弱登山，多张旗帜，玄不之测，益以危惧。谦等士卒多北府人，素惧伏

裕，莫敢出斗。裕与毅等分为数队，进突谦陈，皆殊死战，无不一当百。时东北风急，毅军放火，烟尘张天，鼓噪之音震骇京邑，谦等诸军一时奔散。

又曰：周处攻齐万年于六陌。将战，处军人未食，齐王（彤）[肜]促命速进，而绝其后继。处知必败，赋诗曰："去去世事已，策马观西戎。藜藿甘（粱）[粱]黍，期之克命终。"言毕而战，自旦及暮，斩首万计。弦绝矢尽。左右劝退，处案剑曰："此是吾效节受命之日，何退之为！且古者良将受命，凿凶门以出，盖有进无退也。今诸军负信，势必不振。我为大臣，以身殉国，不亦可乎！"遂力战而殁。

又曰：明威将军朱伺随陶侃讨杜弢有殊功。石勒夏口之战，伺用铁面自卫，以弩的射贼大帅数人，皆杀之。贼挽船上岸，于水边作阵。伺逐水上下以邀之，箭中其胫，气色不变。诸军寻至，贼溃，追击之，皆弃船投水，死者太半。贼夜还长沙，伺追至蒲（沂）[圻]，不及而反。加威远将军，赤幢曲盖。

又曰：朱伺、刘浚与郑攀战杨口垒。伺常所调弩忽噤不发，伺甚恶之。及贼攻陷北门，伺退入船。初，浚开诸船底，以木掩之，名为船械。伺既入，贼举铤擿伺，伺逆接铤，反以擿贼。贼走上船屋，大唤云："贼帅在北！"伺从船底沉行五十步，乃免。

又《载记》曰：刘曜使其将军平先、丘中伯率劲骑追陈安。安与壮士十余骑于陕中格战，安左手奋七尺大刀，右手执丈八蛇矛，近交则刀矛俱发，辄害五六人；远则带双鞬，左右驰射而走。平先亦壮健绝人，勇捷如飞，与安搏战，三交，夺其蛇矛而退。会日暮，雨甚，安弃马，与左右五六人步逾山岭，匿于溪涧。翌日寻之，遂不知所在。会连雨始霁，辄振威呼延青寻其径迹，斩安于涧曲。陇上歌之曰："陇上壮士有陈安，丈八蛇矛左右槃。战始三交（上）[失]蛇矛，（东流之水名去不还）[为我外援而悬头。西流之水东流河，一去不还奈子何！]"刘曜命乐府歌。

又曰：秃发傉檀追赫连勃勃。遣善射者射之，中勃勃[左臂]。[勃勃]乃勒众逆击，败之，追奔八十余里，杀伤万计，斩其大将十余人，以为京观，号"髑髅台"，还于岭北。

又曰：前秦苻坚为姚苌所攻。苻坚率兵攻姚苌，皆刻锋铠为死休字，示以战死为志。每战以长矟钩刃，为方圆大阵，知有厚薄，从中分配，故人自为战，所向无前。

又曰：后赵冉闵之乱，石琨及张举、王朗率众七万伐邺。石闵帅骑千余拒之城北，闵执两刃矛驰骑击之，皆应锋摧溃，斩级三千。琨等大败，归于冀州。

又曰：朱伺善战，人或问之。伺答："诸人以舌击贼，伺惟以刀耳。"又问曰："将军前后击贼，何以每得胜耶？"伺曰："两敌共对，惟当忍之。彼不能忍，我能忍，是以胜耳。"

又曰：周访讨江沔间贼杜曾。访有众八千，进至张阳。曾锐气甚盛，访曰："先人有夺人之心，善谋也。"使将军李恒督左甄，许朝督右甄，访自领中军，高张旗帜。曾果先攻左右甄。曾勇冠三军，访甚恶之，自于阵后射雉以安众心。令小将赵胤领其父余兵属左甄，力战，败而复合。胤驰马告急，访怒，叱令更进。[胤]号哭，还战，自辰至申，两甄皆败。访选精锐八百人，自行酒饮之，敕不得(辄)[妄]动，闻鼓音乃进。贼未至三十步，访亲鸣鼓，将士皆腾跃奔赴，曾遂大溃，杀千余人。遂定汉沔。

又曰：刘裕举兵伐后秦姚泓，王镇恶为前锋，军至渭桥，镇恶所乘皆蒙冲小舰，镇恶登岸。渭水流急，倏忽间诸舰悉逐流去。时泓屯军在长安城下，犹数万人。镇恶抚慰士卒曰："卿诸人并家在江南，此是长安门外，去家万里，而舫乘衣粮并已逐流去，岂复有生之计耶？惟宜死战可以立大功，不然，则无遗类矣。"乃身先士卒。众亦知无复退路，莫不腾踊争先。泓众一时奔溃，即陷长安城。

崔鸿《十六国春秋》曰：前秦苻坚将王猛讨前燕慕容暐。暐遣将慕容评屯于潞川以拒之。猛与评相持，遣裨将郭庆以锐卒五千，

夜从间道出评营后，傍山起火，烧其辎重。眭惧，遣使让评，催之遣战。猛知评卖水需薪，[不抚将士]，有可乘之会。评又求战，乃陈于潞原，而誓众曰："今与诸君深入贼地，宜各勉进，不可退也。愿戮力行间以报恩，愿受爵明君之朝，庆觞父母之室，不亦美乎！"众皆勇奋，破釜弃粮，大呼竞进。猛睹评师之众也，恶之。谓邓羌曰："今日之事，非将军莫可以捷，将军其勉之。"羌曰："若以司隶见与者，公无以为忧。"猛曰："此非吾之所及，必以本郡太守万户侯相处。"羌不悦而退。俄而，兵交，猛召之，羌寝而弗应，猛驰就许之。羌于是大饮帐中，与张蚝、徐成等蚝，七吏切。跨马运矛，驰入评军。出入数四，傍若无人，搴旗斩将，搴，居輦反。杀伤甚众。战及日中，评众大败，俘斩五万。

裴子野《宋略》曰：左将军刘康祖闻虏寇寿阳，自虎牢率七千人来赴。虏至者八万骑。康祖令军中曰："顾望者斩首，转步者斩足。"士皆用命，贼死者万余，血流没踝，流矢贯颈，堕马死。

《宋书·邓琬传》曰：殷孝祖屯军鹊洲。沈冲之谓陶亮曰："昔孝祖枭将，一战便死。孝祖与贼合战，每战常以鼓盖自随军中，人相谓曰：'殷统兵可谓死将矣。'今与贼交锋，而以羽仪自显，欲不毙得乎？"

又曰：傅弘之，字仲度，凉伪太子。赫连瓌率众袭长安，弘之领步骑五千大破之。瓌又抄渭南，弘之又于寡妇渡破瓌，获贼二百。及义真东归，赫连佛佛倾国追蹑，于青泥大战，弘之射贯甲胄，气冠三军。阵败陷没，佛佛逼令降，弘之不为屈也。

又《高祖纪》曰：于时北师始还，伤痍未复，战士才数千，贼众十余万，舳舻亘千里。孟昶、诸葛长仁惧，欲拥天子过江。帝曰："今兵士虽少，犹足一战，若其克济，臣主同休，如其不然，不复能草间求活，吾计决矣。"

又曰：薛安都北征至陕下，魏多纵突骑，众军患之。安都怒甚，乃脱兜鍪，解所带铠，惟着绛衲两裆衫，马亦去具装，驰入贼阵，猛

气咆嗡，所向无敌。当其锋者，无不应刃而倒。如是数四，每入，众无不披靡。

又曰：高祖义军进至覆舟[山]东，张疑兵以油(恢)[帔]冠株，布满山谷。帝先驰之，将皆殊死战，无不[一]当百，呼声动天地，因风纵火，烟焰张天，谦等大败。

《齐书》曰：薛安都讨鲁爽。及沈庆之济江，安都望见爽，便跃马大呼，直往刺之，应手而倒。左右范双斩爽首。爽世(袅)[枭]猛，咸云万人敌。安都单骑直入，斩之而返，时人皆云：关羽斩颜良，不足过也。

《梁书》曰：大同初，魏军复围南郑，杜怀瑶命第三子巍帅二百人与魏前锋战于光道寺溪。矢中其目，失马。敌人交矟将至，巍斩其一骑，跃而上，驰以归。巍旅力绝人，便马善射，一日战七八合，所佩霜明朱弓，四石余力，班丝缠矟，长二丈五，同心敢死士百七十人，每出，杀伤数百人。敌人惮之，号为杜彪。

又曰：侯景围王僧辩于巴陵。元帝乃引僧祐于狱，拜为假节武猛将军，封新市县侯，令援僧辩。将行，泣下，谓其子玘曰："汝可开朱白二门，吾不捷则死。吉则由朱，凶则由白也。"元帝闻而壮之。

又曰：蔡道班为湖阳戍主，攻蛮锡城，反为蛮困。冯根年十六，救之，匹马交战，提双剑左右奋击，杀伤甚多。道班以免，由是知名。

又曰：武帝师次秣陵东，昏遣大将王珍国盛兵朱雀门，众号二十万。及战，梁武军引却，王茂匹马单刀直前。外生韦欣庆，勇力绝人，执铁缠矟，翼茂而进，故大破之。茂勋第一，欣庆力也。

《陈书》曰：武帝入援建邺，杜僧明为前锋，与蔡路养战于南野。僧明马被伤，武帝驰救之，以所乘马援僧明，明上马复进，杀数十人。因而乘之，遂败路养。

《南史》曰：陈将萧摩诃随都督吴明彻济江攻秦郡。时齐遣大将尉破胡等率众十万来援，其前队有苍头犀角大力之号，皆身长八

尺，膂力绝伦，其锋甚锐。又有西城胡人，妙于弓矢，弦无虚发，众军尤惮之。及将战，明彻谓摩诃曰："若殪此胡，则彼军夺气，君有关、张之名，可斩颜良矣。"摩诃曰："愿得识其形状。"明彻乃召降人，有识胡者云"胡着绛衣华皮，装弓两端骨弭。"明彻遣人觇伺，知胡在阵，仍自酌酒饮摩诃，摩诃饮讫，驰马冲齐军。胡挺身出阵前十余步，彀弓未发，摩诃遥掷铣钺，正中其额，应手而仆。齐军大力十余人出战，摩诃又斩之。于是齐师退走。

《后魏书》曰：吕罗汉父温佐秦州，罗汉随侍。陇右(互)[氐]杨难当率众数万寇上邽，秦人多应之。镇将元意头知罗汉善射，共登西城楼，令罗汉射，难当队将及兵二十三人应弦而殪。贼众转盛，罗汉进计曰："今又不出战，示敌以弱，众情携贰，大事去矣。"意头善之，即简千余骑令罗汉出战。罗汉与诸骑策马大呼，直冲难当军，众皆披靡。杀难当左右队骑八人，难当大惊。

又曰：宇文延字庆寿，体貌魁岸，眉目疏朗。永平中，释褐奉朝请，直后、员外散骑常侍。以父福老，诏听随侍在瀛州。属大乘妖党突入州城，延率奴客战，死者数人，身被重疮，贼乃小退，而纵火烧斋阁。福时在内，延突火而入，抱福出外，支体灼烂，发尽[为烬]。于是勒众与贼苦战，贼乃散走。以此见称。

又曰：赵遐为荥阳太守。时萧衍将马仙琕率众攻围朐城，戍主傅文骥婴城固守。以遐为别将，与刘思祖等救之。次于鲍口，去朐城五十里，夏雨频降，厉涉长驱，将至朐城。仙琕见遐营垒未就，径来逆战。思祖率彭沛之众，望阵奔退。遐孤军奋击，独破仙琕，斩其直阁将军、军主李鲁生。仙琕先分军于朐城之西，阻水列栅，以围固城。遐身自潜行，观水深浅，结草为筏，衔枚夜进，破其六栅，遂解假固城之围。进救朐城，都督卢昶率大军继之。未几而文骥力竭，以城降贼，众军大崩。昶弃其节传，轻骑而走，惟遐独握节而还。

太平御览卷第三百一十三

兵部四十四

决战下

《隋书》曰：文帝遣将贺若弼伐陈，后主令[中领]军鲁广达陈兵白土岗，居众军之南偏，镇东大将军任忠次之，护军樊毅、都官尚书孔范又次之，侍中车骑大将军萧摩诃军最居北，众[军]南北亘二十里，首尾进退，各不相知。贺若弼初谓未战，将轻骑登山观视形势，及见众[军]，因驰下置阵。广达首率所部进薄，弼军屡却，俄而复振，更分军趣地突诸将，孔范出战，于交而走。诸将支离，阵犹未合，骑卒会散，驻之弗止，因而大败。

又曰：杨义臣拜朔州总管。汉王谅作乱并州，时代州总管李景为汉王将乔钟葵所围，诏义臣救之。义臣率马步二万，夜出西陉，迟明行数十里。钟葵觇见义臣兵少，悉众拒之。钟葵亚将王拔骁勇，善用矟，射之者不能中。将军杨思恩请当之，义臣见思恩气貌雄勇，顾之曰："壮士也！"赐以卮酒。思恩望见拔立于阵后，投觞于地，策马赴之。再往不克，义臣后选骑士十余人从之。思恩遂突击，杀数人，直至拔麾下。短兵方接，所从骑士退，思恩为拔所杀。拔遂乘之，义臣军北者十余里。

又曰：炀帝征高丽，隋大将宇文述与九军过鸭绿水，又东注萨水，去高丽平壤城三十里，因山为营。高丽国相乙支文德遣使伪降，请述曰："遂旋师者，奉其主高元朝行在所。"述见士卒疲弊，不可复战，又平壤险固，卒难致力，遂因其诈而还。[众]半济，贼击后军，于是大溃不可禁止。九军败绩，一日一夜还至鸭绿水，行四五

十里。初，度辽九军三十万人，还至辽东城，惟二千七百人。

《唐书》曰：太宗尝谓群臣曰："朕自兴兵，每执金鼓，必自指挥，习观其阵，即知强弱。常以吾弱对其强，以吾强对其弱。敌犯吾弱，追奔不逾百数十步；吾击其弱，必突过其阵，自背而反击之，不无溃，多用此而制胜。思得其理深也。"

又曰：武德中，李靖随河间王孝恭讨萧铣于江陵，不从靖谋，致败。委舟大掠，人皆负重。靖见其兵乱，进兵击之，贼大败。又乘胜进入其郛郭，攻其水城，克之。悉取其舟楫散于江中。贼救兵见之，谓城以陷，莫敢轻进。铣内外阻绝，城中携贰，由是惧而出降。

又曰：光宅初，武太后临朝称制。徐敬业于扬州起兵，以匡复皇家为辞，月余，致精卒数万。太后遣将军李孝逸领兵讨之，敬业率军拒于下呵溪。方成列，敬业谓其徒曰："自知衣甲非厚者居后。"众乃争退。孝逸之师因其动噪而奔击，乃大破焉。

又曰：建中初，田悦反，以兵围临淄、洺、邢州，诏以李晟为神策先锋都知兵马使，与河东节度使马燧、昭义军节度使李抱真合兵救临淄，寻加兼御史中丞。河东昭义军攻杨朝光于临淄南，晟与河东骑将李自良、[李]奉国击悦于双岗，悦兵却，遂斩朝光。战于临淄，诸军皆却。晟引军渡淄水，乘(兵)[冰]而济，横击悦[军]，诸军复振，击悦，大破。败悦于洹水，以功加检校左散骑常侍，实封百户。

又曰：德宗以李晟兼魏府左司马。居无何，朱滔、王武俊皆反，联兵救田悦。悦深壁不战，以老王师。时武俊遣兵围康日知于赵州。晟乃献状请解赵州围，因合义武节度使张孝忠以军图范阳。上大壮之，乃加[晟]御史大夫，俾禁兵将莫仁擢、赵光铣、杜季玭皆隶焉。晟乃自魏州直趋赵州，贼解围而去。晟留赵州三日，与义武合军，而北略恒州，围朱滔将郑济于清苑，决水灌之。田悦、朱滔、王武俊皆遣兵来救，战于白楼。贼犯义武，义武军却，晟引步骑数百击破之，景济所乘马连中流矢。逾月，城中益急，滔、武俊大惧，乃自魏县悉兵来救，复围晟军。晟内围景济，外与滔等拒战，日数

合，自正月至于五月。会晟病甚，不知人数焉，军使合谋，乃以马与晟，引军还定州，贼不敢逼。

《三国典略》曰：后周军围晋阳，齐人望之，如黑云四合。高延宗胜兵四万人，婴城布阵，躬与齐王宪交兵，自申至酉，死者甚众。帝逐北入城，当天门顿营，焚佛寺，光烛天地。延宗率众排车向前，我军遂却，人相蹂死者颇众。齐人欲闭门，以阃下积尸，扉不得闔。帝从数骑崎岖危险，仅得出门，侍臣歼焉。惟左仕上士库狄嵘侍从，时四更也。延宗以帝长须，使于积尸之下求之，不得。士卒既胜，乃入坊饮，延宗不复能整顿之。帝出城饥甚，将谋遁免，开府宇文忻进曰："陛下乘胜至此，今者破竹其势已成，奈何弃之而去？"会延宗使开府段畅以千人击帝，畅以众降，盛言城内空虚，更无继援。帝乃驻马召兵，旗鼓复振，攻三门，克之。延宗率众苦战，尸骸塞路。辰时力屈，轻骑走出城北，于人家擒之。延宗见帝，自投于地，帝欲执其手，固辞曰："死人手也，恐逼至尊。"帝强执之，曰："两国天子，有何怨恶，直为百姓而来耳，勿怖。"终不杀。

又曰：齐师伐梁，大至于钟山龙尾，周文育请战，陈霸先曰："兵不逆风。"文育曰："事急矣，当决之，何用古法？"抽槊上马，杀伤数百人。齐军乃移营于莫府山。

又曰：侯景次于涡阳，有车数千两，马数千匹，甲士四万人。慕容绍宗戎卒十万，旗甲耀日。方轨长驱，鸣鼓并进，景使谓之曰："公等为欲送客，为欲定雄雌？"绍宗对曰："当欲公决胜负。"遂顺风以阵，景闭其垒，风止乃出。绍宗曰："侯景多诡诈，好掩人背，咸宜备之。"景果令入阵者背短兵，但斫人胫及马足。东魏军大败，绍宗坠马。

又曰：陈霸先众军自覆舟[东]移，顿郊坛北，齐人相对，侯安都谓萧摩诃曰："卿骁勇有名，千闻不如一见。"摩诃对曰："今日令公见矣。"命众军秣马蓐食，迟明攻之。侯安都坠马被围，萧摩诃独骑大呼，直冲齐军，齐军披靡。安都乃免。霸先自率帐内麾下出莫府

山南，吴明彻、沈泰等众军首尾击之，齐人大溃，自相蹂藉，壅川塞谷。

《庄子》曰：惠子见戴晋人，戴晋人曰："有所谓蜗者，君知之乎？"曰："然。""有国于蜗之左角者，曰触氏；有国于蜗之右角者，曰蛮氏。时相与争地而战，伏尸数万，逐北旬有五日而后返。"诚知所争者若此之细，则天下无争矣。

《文子》曰：庙战者帝，神化者王。庙战者，法天道也；神化者，明四时也。

《列子》曰：黄帝与炎帝战于阪泉之野，率熊罴狼豹貙虎而前，驱鹏鹞鹰鸢为旗帜，此以力使禽兽也。

《孟子》曰：争地以战，杀人盈野；争城以战，杀人盈城。此所为率土地而食人肉，罪不容于死也。

《六韬》曰：以少击众，必以日之暮；以众击众，必以日之早。

《穰苴兵法》曰：以战去战，（战）虽战，可也。战，春不东，秋不西，月食还师，所以止战也。

《古司马兵法》曰：凡军，使法在己曰专，与下畏法曰法。军无小听，战无小利。小听谓轻弱敌人，称其虚弱，危败易胜，以喜士众，沮备预也。小利谓小敌击诱于饵，数为小战也。

又曰：凡五兵，长以卫短，短救长；迭战则久，皆战则强。迭，更也。言更息则可堪久。悉举兵战，众多者强。

《孙子》曰：兵以诈立，以利动，以分合，变者也。兵一分合，以敌为变。兵法诡诈，以利动敌心或合离，为变化之术也。故其疾如风，言进退应机。其徐如林，不见利不前也。如风吹林木，小动而其大不移。侵掠如火，疾也，抄掠财物，如炎火之猛烈。不动如山，守也，不信敌之诳惑，安固如山。难知如阴，莫测如天之阴云，不见列宿之象。动如雷霆。盛猛速疾，不及应也。故太公曰：疾电不及瞑目也。指向分众，因敌而制胜也。旌旗之所指向则往分离其师众也。先知迂直之计者胜，此军争之法也。

又曰：我专而敌分。我专一而敌分散也。我专为一，敌分为十，是以十共其一也，我料见敌形，审其虚实，故所备者少，专为屯以我之专击彼之散卒，

为十共击一也。则我众而敌寡。我专为一，故众；故分为十，故寡。能以众敌寡者，则吾所与战者约矣。言约少而易胜。吾所与战之地不可知也，言举动微密，情不可使彼知吾所举，知吾所集也。不可知则敌所备者多，敌所备者多则吾所与战者寡矣。形藏，敌疑则分离其众备我也，言少而易击故也。故备前则后寡，备后则前寡，备左则右寡，备右则左寡，无不备者无不寡。言敌之所备者多，则士卒无不分散而少。寡者备人者也，敌分散而少者，皆先备人也。众者使人备己者也。敌所以备多己者，由我专而众散故也。故知战之地，知战之日，则千里而会战；以度量知空虚，先知战地之形又必战之日，则可千里期会，先往以待之。若敌以先至，不往可以劳之。不知战地，不知战日，则左不能救右，右不能救左，前不能救后，后不能救前，而况远者数十里，近者数里乎？敌以先居形势之地，己方趋利欲战，则左右前后，惑疑进退，不能相救，况数十里之间也。故善用兵者，譬如帅然。帅然者，常山之蛇也，击其首则尾至，击其尾则首至，击其中则首尾俱至。夫善战也必知战之日，知战之地，度道假期，分军离卒，远者先进，近者后发。千里之会，同时而合。若会都市，其会地之日，无令敌知，知之则所备处少，[不]知所备处多，备寡则专，备多则分，分则力散，专则力并也。

又曰：夜战多火鼓，昼战多旌旗，所以变民之耳目也。故三军可夺气，将军可夺心。《左氏传》言：一鼓（而）作气，再而衰，三而竭也。是故朝气锐，昼气堕，暮气归。故善用兵者，避其锐气，击其堕归也。

又曰：胜者之兵先胜而后求战；败者之兵先战而后求胜。

又曰：围地则谋，死地则战。疾战则存、不疾战则亡者，为死地。

《吴子》曰：用兵之道，先明四轻二重。使地轻马，使马轻车，使车轻人，使人轻战。锋锐甲坚则人轻战。

《吕氏春秋》曰：赵氏攻中山，中山之多力者五兵鸠，衣铁甲，操铁杖以战，所击无不碎，所冲无不陷。以车投车，以人投人。

又曰：赵简子攻卫，自将兵。及战，且远立又居于犀橹之下，鼓之而士不起，简子投桴而叹曰："呜呼！士之弊一若此乎？"行人烛过免胄横戈而进曰："君不能耳，士何弊之有？"简子艴然作色曰：

"寡人之无使，而身自将是众也，子亲谓寡人无能，有说则可，无说则死。"对曰："昔吾先君献公即位五年，兼国十九，用此士也。惠公即位二年，淫色暴慢，身好玉女，秦人袭我，去绛七十[里]，用此士也。文公即位二年，(底)[砥]之以勇，三年而士尽果敢；城濮之战，五败荆人；围魏取曹，拔石社；定天子之位，成尊名于天下；用此士也。亦有君不敢耳，士何弊之有？"简子乃去犀蔽(屏)[犀]楯而立[于]矢石之所及，一鼓而士毕乘之。简子曰："与吾得革车千乘也，不如闻行人烛过之一言。"行人烛过可谓能谏其君矣。

又曰：昔荆恭王与晋厉公战于鄢陵，荆师败，共王伤。临战，司马子反渴而求饮，竖阳谷操参酒而进之。酒器受三升曰参。子反曰："訾！退！酒也。"竖阳谷曰："非酒也。"子反曰："訾退，却。"竖阳谷又曰："非酒也。"子反受而饮之。子反之为人也嗜酒，甘[之]而不能绝于口，醉。战既罢，共王欲复战而谋[事]，使[人]召司马子反。子反辞以心疾。共王驾而往视之，入幄中，闻酒臭而还，曰："今日之战，不谷亲侍，所恃者司马也。而司马又若此，是忘荆国之社稷，而不恤吾众。不谷无与伤战矣。"于是罢师去之，斩司马子反以为战。故竖阳谷之进酒也，非以醉子反也，其心以忠也，而适足杀之。故曰小忠，大忠之败也。

又曰：齐、晋与战，平阿之余子亡戟得矛，平阿，齐邑。余子，官氏。退而去，不自快，谓路之人曰："亡戟得矛，可以归乎？"路之人曰："戟亦兵也，矛亦兵也，亡兵[得兵]，何为不可以归？"[去行]，心犹不自快也，遇高堂之孤叔无孙，孤，特，位尊也。叔，姓。无孙，名。余子当其马前曰："今者战，亡戟得矛，可以归乎？"叔[无]孙曰："矛非戟也，戟非矛也，亡戟得矛，岂亢责也哉？"亢，当。平阿余子曰："嘻！还反战，趋尚及之。"遂战而死。

又曰：吴起谓商文曰："马与人敌在前，援桴一鼓，三军之士，乐死若生，子与我孰贤？"商文曰："吾不如子。"

《淮南子》曰：昔晋文公将与楚战城濮，问于咎犯曰："为之奈

何?"咎犯曰:"仁义之军,不厌忠信;战阵之戎,不厌诈伪。君其诈之而已。"问雍季,雍季对曰:"焚林而猎,偷多兽,必无兽。以诈伪愚人,虽偷利厚,亦无复利,其正之而已矣。"于是不听雍季之计,而用咎犯之谋,与楚人战,大破。还赏有功者,先季雍,左右曰:"城濮之战,咎犯之谋也,赏先季雍者,何也?"文公言曰:"咎犯之言一时之权也。季雍之言,万世之利,吾岂可以一时之权而先万世之利哉!"

又曰:敌溃而走,后必可移;适迫而不动,名之曰奄迟;击之如雷霆;斩之若草木;耀之若火电。欲疾以速,人不及步,车不及以转毂,兵如植木,弩如羊角。人虽众多,势莫敢格。

《春秋感精符》曰:强杰并侵,兵雷合龙门,[血]溺骖。宋均曰:龙门,鲁门也。时与宋齐战败,相杀血溺骖马者也。

贾谊《新书》曰:黄帝行道,炎帝不听,故战涿鹿之野,血流漂杵。

《三辅旧事》曰:武帝发兵攻卫太子,连斗五日,白虎门前沟中血流没足。

《列女传》曰:汤受命而伐桀,战于鸣条。鸣条,南夷地名。桀师不战,汤遂放桀,与末嬉嬖妾同舟浮海,死于南巢之山。

《诸葛亮兵法》曰:山陵之战,不仰其高;水上之战,不逆其流;草上之战,不涉其深;平地之战,不逆其虚,此兵之利也。故战斗之利,惟气(其)形也。

《卫公兵法》曰:凡事有未形同而势异者,亦有势同而形别者。若顺其可,则一举而功济;如从未可,则暂动而必败。故孙膑曰:"计者因其势而利导之。"《兵法》曰:"百里趋利则蹶上将,五十里而趋利者半至。"善动敌者,形之而敌从之,与之而敌取之,以奇动之,以本待之。此战势之要术也。若我士卒以齐,法令以行,奇正以设,置阵以定,誓众以毕,上下已怒,天时已应,地利(也)[已]据,鼓角以震,风势已顺,敌人虽众,其奈我哉?譬虎之有牙,兕之有角,

身不蔽捍，手无寸刃，而欲搏之，势不可触，其亦明矣。故兵有三势：一曰气势，二曰地势，三曰因势。若将勇轻敌，士卒乐战，三军之众，志厉青云，气等飘风，声如雷霆，此所谓气势也。若关山狭路，大阜深洞，龙蛇蟠阴，羊肠(拘)(狗)门，一夫守险，千人不过，此所谓地势也。若因敌怠慢，劳役饥渴，风波惊扰，将吏纵横，前营未舍，后军半济，此谓因势也。若遇此势，当潜我形，出其不意，用奇设伏，乘势取胜。是以良将用兵，审于机势，而用兵仍须鼓而怒之，感而勇之，赏而劝之，激而扬之。若鸷之攫，兽之搏，必修其牙距，度力而下，远则气衰而不及，近则形见而不得。故良将之战，必整其三军，砺其锋甲，设其奇伏，量其形势，遥则力疲而不及，近则敌知而不应。若不通此机，乃智不及于鸟兽，亦何能取胜于勍寇乎？(仍)[乃]须怒士励众，使之奋勇，故能无强阵于前，无坚城于外。以弱胜强，必因势也。

杨子云《长杨赋》曰：高祖奉命，顺斗极，运天关，横巨海，漂昆仑，提剑而叱之。所过麾城摧邑，下将降旗。一日之战，不可殚纪。

潘安仁《西征赋》曰：追皇驾而骤战，望玉辂而纵镝。

潘安仁《射雉赋》曰：若夫多疑少决，胆劣心捐，内无固守，出不交战。

《谢玄晖诗》曰：炎灵剑遗玺，当涂骇龙战。

《李少卿答苏武书》曰：疲兵载战，一以当千。

陆士衡《辨亡论》曰：我陆公挫之西(陆)[陵]，覆师改绩，因而后济，绝命永安。续以濡须之寇，临川摧锐；蓬茏之战，只轮不反。

太平御览卷第三百一十四

兵部四十五

突围　追奔　乘势

突　围

《汉书》曰：赵充国，武帝时以假司马从贰师将军击匈奴，大为虏所围。汉军乏食数日，充国乃与壮士百余人溃围陷阵，贰师引军随之，遂得解。身被二十余疮。

又曰：灌夫父张孟，尝为颍阴侯灌婴舍人，蒙灌氏姓为灌孟。师古曰：蒙，冒也。孟年老，颍阴侯强请之，郁郁不得意，故战尝陷坚，遂死吴军中。军法，父子俱，有死事，得与丧归。夫奋曰："愿得吴王下将军头以报父仇。"于是夫被甲持戟，募中军壮士所善愿从数十人。及出壁门，莫敢前。独两人及从奴十余骑驰入吴军。至戏下，师古曰：戏，大将之旗，音与麾同。所杀伤数十人。不得前，复还走汉壁，亡其奴，独与两骑归。

（又）[《后汉书》]曰：袁尚征袁谭于平原，使其将审配守邺，曹公攻邺城。尚闻邺急，弃平原而求入城，以计事者主簿李孚请行。尚曰："当何所办？"李曰："今邺围甚急，多人则不可。"孚乃自选温信者三人，不示其谋，各给骏马，令释戎器，著平上冠，持问事杖，投暮直抵邺下，自称曹公都督巡历围垒，所过呵责，失候者辄捶之。自东历西，径出曹公营。当城门，复怒守阁者，收缚之。因开围，驰入城下，配以缒引之。孚得入，城中鼓噪，皆呼万岁，守围者以状闻公，笑曰："此非徒入，方且复出。"孚计事讫，欲还而外围益急，谓配曰："城中谷少，无用老弱为，不如驱出之省谷。"配乃夜简得一千人，皆令秉白幡，持脂烛，从三门而出请降。孚所将来骑随降人而

出。时守围吏闻城中悉降，火光照耀，但共观火，不复视围。孚出北门，突围而归尚。明日，曹公闻孚以得去。曰："果如吾言。"

又曰：公孙瓒除辽东属国长史。常从数十骑出行塞下，卒逢鲜卑数百骑。瓒乃退入空亭，纳其从者曰："今不奔之，则死尽矣。"乃自持两刃矛，驰出冲贼，杀伤数十人，瓒左右亦亡其半，遂得免。

又曰：贾复从征伐，未尝丧败，数与诸将溃围解急，身被十二疮。帝以复敢深入，希令远征，而壮其勇节，尝自从之。

《魏志》曰：张辽为杂号将军，守合肥。为孙权所围，独出麾下，从者千余人溃围，刺之，已出。复入复出，权众破走。由是威震江东。

又曰：曹仁字子孝，太祖从弟也。行征南将军，留屯江陵，拒吴将周瑜。瑜未渡，前锋数千人始至。仁募得三百人，遣部曲将军牛金逆与挑战，遂为所围，长史陈矫在城上望见金等垂没，左右皆失色。仁气奋怒，遂被甲上马，将其麾下壮士数十骑出城。径前，冲入阵，金等乃解。余众未尽出，仁复直还突之，拔出金兵，贼众乃退。矫等初见仁出，皆惧，及见仁还，乃叹曰："将军真天人也！"三军服其勇。太祖益壮之。

《晋书》曰：李矩将张皮与刘粲战于盟津，矩进救之，使壮士三千泛舟迎皮。贼临河列阵，作长钩以钩船，连战数日不得渡。夜遣部将格增济入皮垒，与皮选精骑千余，而杀所获牛马，焚烧器械，夜突围而出，奔武牢。

《宋书》曰：刘康祖世居京口。便弓马，膂力绝人，浮荡蒲酒为事。每犯法，为郡县所录，辄越屋逾墙，莫能擒之。夜入人家，为有司所围，突围去，并莫能追。因夜还京[口]，半夕便至，明日，守门诣府州要职。俄而建康移书录之，府州执事者并证康祖其夕在京[口]，遂得无恙。

追奔

《孙子》曰：归师勿遏。若穷寇退还，依险而行，人人怀归，敢(能)[于]死战，徐观其变，勿远截也。

《后汉书》曰：曹公围张绣于穰，刘表遣兵救绣，以绝军后。公将引还，绣兵来追，公军不得进。连营稍前到安众，绣与兵合守险，公军前后受敌。公乃夜凿险为地道，悉过辎重，设奇兵。会明，贼谓公为遁也，悉军来追，纵奇兵，步骑夹攻，大破之。公谓荀彧曰："虏遏吾归师，而与吾死地，吾是以知胜矣。"

又曰：曹公征张绣于(攘)[穰]，一朝引军退，绣自追之。贾诩谓绣曰："不可追，[追]必败。"绣不从，大败而还。诩谓绣曰："更追之，[更战]必胜。"绣曰："不用公言，以至于此。今已败，奈何复追？"诩曰："兵势有变，亟往必利。"亟，记力切。绣信之，遂收散卒赴追，战，果胜。以问诩，曰："绣以精兵追退军，而公曰必败，乃以败卒击胜兵，而公曰必胜。悉如公言，何其皆验？"诩曰："此易知耳。将军虽善用兵，非曹公敌也。军新退，曹公必自断后；追兵虽精，将既不敌，彼士亦锐，故知必败。曹公攻将军无失策，力未尽而退，必国内有故；故以破，必轻军速进，留诸将断后，诸将虽勇，亦非将军敌，故虽用败兵而战必胜也。"绣大服。

又曰：睢阳[人]复返城迎刘永，盖延复率诸将围之百余日，收其野谷。永乏食突走，延追击，尽得辎重。永为其将所杀，永弟防举城降。

又曰：玺书拜马援为伏波将军，以扶乐侯刘隆为副。扶乐，县名，属九真郡。督楼船将军段志等南击交阯。军至合浦，而志病卒。诏援并将其兵，遂缘海而进，随山刊道千余里。刊，除也。十八年春，军至浪泊上，与贼战，破之，斩首数千级，降者万余人。援追征侧等至禁溪，数败之，贼遂散走。明年正月，征侧、征贰传首洛阳。

又曰：陈俊与五校战于安次，俊下马手接短兵，所向必破，追奔

二十余里，斩其渠帅而还。光武望而叹曰："战将尽如是，岂有忧哉！"

又曰：鲜卑万余骑寇辽东，祭(彤)[彤]率数千人迎击之，自披甲陷阵。虏大奔，投水死过半。遂穷追出，虏急，皆弃兵裸身散走，斩首三千余级，获马数千匹。

又曰：邓禹进围安邑，更始遣将王匡、成丹、刘均等合军十余万，复共击禹，禹军不利，樊崇战死。会日暮，战罢，军师韩歆及诸将见兵势已摧，皆劝禹夜去，禹不听。明日癸亥，匡等以甲穷日不出，禹因得更理兵勒众。明旦，匡悉军出攻禹，禹令军中无妄动；既至营下，因传发诸将鼓而并进，大破之。匡等皆弃军亡走，禹率轻骑急追，获刘均及河东太守杨宝、持节中郎将弭强，皆斩之，收得节六，印绶五百，兵器不可胜数，遂定河东。

又曰：窦固与耿忠引兵出酒泉塞，至天山，即祁连山也。今在西州交河县东北，今名祁县罗浸山。击呼衍王，斩首千余级。呼衍王走，追至蒲类海。蒲类海，今名蒲悉海，在今庭州蒲昌县东南。留吏士屯伊吾卢城。伊吾，今伊州县也。

又曰：马防拜车骑将军，击羌军到冀，而羌豪布桥等围南部都尉于临洮。防欲救之，临洮道险，车骑不得方驾，防乃别使两司马将数百骑，分为前后军，去临洮十余里为大营，多树幡帜，扬言大兵且当进。羌候见之，驰还，言汉兵盛不可当。明旦遂鼓噪而前，羌虏惊走，因走击破之，斩首虏四千余人，遂解临洮围。

《晋书》曰：王逊为宁州刺史，越巂、李骧寇宁州。逊使将军姚崇、爨琛拒之，战于堂狼，大破骧等，崇追至泸水，溺水死者千余人。崇以道远不敢渡水，逊以崇不穷追也，怒囚于郡，执崇，鞭之，怒甚，发上冲冠，冠为之裂，夜中遂卒。

又《载记》曰：慕容宝与魏战，谋还中山，乃引归。魏军追击之，宝弃大军率骑二万奔还。时大风雪，冻死者相枕于道。宝恐为魏军所及，命去袍仗戎器，寸刃无返。

崔鸿《十六国春秋》曰：前秦(符)[苻]坚自征晋于寿春，败还长安。慕容泓起兵于华泽，坚将(符)[苻]睿、窦冲、姚苌讨之。叡，以青切。(符)[苻]睿勇果轻敌，不恤士众。泓闻其至也，惧，率众将奔关东，睿驰兵邀之。姚苌谏曰："鲜卑有思归之心，宜驰令出关，不可遏也。"睿弗从。战于华泽，睿败绩，被杀。

又曰：夏赫连勃勃伐南凉秃发傉檀，大败之，驱掠二万七千口、牛马羊数十万而还。傉檀率众追之，其将焦朗曰："勃勃天姿雄警，御军齐肃，未可轻也。今因抄掠之资，率思归之士，人自为战，难与争锋，不如从温围北渡，趣万(解惟)[斛堆]，阻水结营，制其咽喉，百战百胜之术也。"傉檀不从。勃勃闻而大喜，乃于杨武下峡，凿(凌)[陵]埋车以塞路。勃勃乃勒众逆击，大败之，杀伤万计。

又曰：后凉吕弘攻段业于张掖，不胜，将东走。业议欲击之，其将沮渠蒙逊谏曰："归师勿遏，穷寇弗追，此兵家之戒也，不如纵之以为后图。"业曰："一日纵敌，悔将无及。"遂率众追之，为弘所败。业叹曰："不能用子房之言，以至于此。"

《后周书》曰：晋公护东伐高齐，遣将尉迟迥围洛阳，为敌所败。周将达奚武与齐王宪于邙山御之。至夜，收军。宪欲待明更战，武欲还，固争未决。武曰："洛阳军散，人情骇动。若不因夜速还，明日欲归不得。武在军旅久矣，备见形势。大王少年未经军事，岂可将数营士众，一旦弃之乎。"宪从之，遂全军而返。

《隋书》曰：张金(初)[称]既败，将数百人遁逃，后归漳南，招集余党。杨善会追捕斩之，传首行在所。帝赐以尚方甲矟弓剑，进拜清河通守。

《唐书》曰：武德初，刘武周入寇。仆射裴寂拒战于度索原，寂军败，周进过河东，太宗出兵拒之。江夏王道宗，年十七，从征。太宗登玉壁城望贼，谓道宗曰："贼恃其众，来邀我战，汝谓如何？"对曰："贼乘胜而来，其锋不可当，易以计屈，难与力竞。但深沟高垒以挫其锋。乌合之徒，安得持久？粮饷既竭，自当离溃，可不战而

擒也。"太宗曰："汝意暗与我合。"武周食尽，夜遁，追及会州，一战灭之。

又曰：[段]德操领延州道行军总管，镇北境。梁师都与突厥之众数千骑来寇延安，营于野猪岭。德操以众寡不敌，按甲以挫其锐。后伺贼稍怠，遣副总管梁礼率众击之，德操以轻骑出其不意。贼与礼酣战久之，德操多张旗帜，掩至其后，贼大溃，逐北二百余里，克其魏州，虏男女二千余口。经数月，师都又以步骑五千来寇，德操击之，俘斩略尽，师都与百余骑而遁。以功拜上柱国，封平原郡公，邑一千户，赐以貂裘金带，布帛千匹。

《卫公兵法》曰：诸战锋等队打贼败，其驻队队别量抽骁健二十人逐北，其辎重队遥叫作声[援]，不得辄动。跳荡队、奇兵队趁贼退，不得过百步。如审知贼徒败散，仍须取机追逐。

乘 势

《左传》曰：晋侯围曹，门焉，多死，攻曹城门。曹人尸诸城上，磔晋死人于城上也。晋侯患之，听舆人之诵："称舍于墓。"舆，众也。舍墓为将发冢也。师迁焉，曹人凶惧，迁至曹人墓也。兇兇，恐惧声也。音吁勇切。为其所得者棺而出。因其凶也而攻之。遂入曹也。

《史记》曰：汉王遣将韩信破陈余，后信购致广武君李左车，师事之。韩信曰："仆欲北伐燕，东攻齐，何若而有功？"对曰："今将军涉西河，虏魏王，擒夏说阏与，一举而下井陉，不终朝破赵二十万众，诛成安君，名闻海内，威振天下，此将军之所长也。然而众劳卒罢，其实难用。今将军欲举倦弊之兵，顿之燕坚城之下，欲战恐力不能拔，情见势屈，旷日粮竭。而弱燕不服，齐必距境以自强也。燕、齐相持而不下，刘、项之权未有所分也。若此者，将军所短也。故善用兵者，不以短击长，而以长击短。为将军计，莫如案甲休兵，镇赵，抚其孤弱，百里之内，牛酒日至，以飨士大夫酹兵，《魏都赋》曰：酹者顺时。刘逵曰：酹，酒也。北首燕路，而后遣辩士奉咫尺之书，暴其所

长于燕，燕必不敢不听从。燕以[从，使宣言者]东告齐，齐必从风而服，虽有智者，亦不知为齐计矣。如是则天下事可图也。兵固有先声而后实者，此之谓也。"韩信并从之，燕、齐从风而靡。

《后汉书》曰：王莽兵攻昆阳，光武自将步骑千余，前去大军四五里而阵。寻、邑亦遣人数千合战。光武奔之，斩首[数]十级。秦法：斩首一，赐爵一级。故因谓斩首为级。诸部喜曰："刘将军平生见小敌怯，今见大敌勇，甚可怪也，且复居前。请助将军！"光武复进，寻、邑兵却，诸部共乘之，斩首数百千级。连胜，遂前。时伯升拔宛已三日，而光武尚未知，乃伪使持书报城中，云宛下兵到，而阳堕其书。寻、邑得之，不喜。喜音许记切。诸将既经累捷，胆气益壮，无不一当百。光武乃与敢死者三千人，从城西水上冲其中坚，敢死，谓[果]敢而死者。凡军事中军最尊居以坚锐自辅，故曰中坚也。寻、邑陈乱，乘锐崩之，遂杀[王]寻(邑)。城中亦鼓噪而出，中外合势，震动天地。莽兵大败，走者相腾践，奔殪百余里间。殪，仆也。会大雷风，屋瓦皆飞，雨下如注，滍川盛溢，《水经》曰：滍水出南阳鲁阳县西尧山南，经昆阳城北东入汝。滍音直理(也)[切]。虎豹皆股战，士卒争赴，溺死者以万数，数过于万，故以万为数。水为不流。王邑、严尤、陈茂轻骑乘死人渡逃去。尽获其辎重，车甲珍宝，不可胜算。

又曰：曹公征张鲁，定汉中，刘晔进说曰："明公以步卒五千，将诛董卓，北破袁绍，南征刘表，九州百郡，十并其八，威震天下，势慑内外。今举汉中，蜀人观风，破胆失守，推此而前，蜀可传檄而定也。刘备，人杰也，有智度而迟新，得，蜀人犹未附。今破汉中，蜀人震恐，其势自倾。以公之神明，因其倾而压之，无不克也。若小缓之，诸葛亮明于理而为相，关羽、张飞勇冠三军而为将，蜀人既定，据险守要，则不可犯也。今不取，必为后忧。"曹公不从。居数月，蜀降者说"蜀中一日数十惊，备斩之而不能禁也"。曹公悔之，又问晔，曰："今已小定，未可击也。"

《晋书》曰：何无忌南追桓玄，与振武将军刘道规俱受刘毅节

度。[玄]留其龙骧将军何澹之、前将军郭铃、江州刺史郭昶之守盆口。无忌等次桑落洲，澹之等率军来战。澹之常所乘舫旌旗甚盛，无忌曰："贼帅必不居此，欲诈我耳，宜亟攻之。"众咸曰："澹之不在其中，徒得无益。"无忌谓道规曰："今众寡不敌，战不全胜。澹之虽不居此舫，取则易获，因纵兵(胜)[腾]之，可一鼓而败之也。"道规从之，遂获贼舫，因传呼曰："已得何澹之矣。"贼中惊扰，无忌之众亦为喟然。道规乘胜迳进，无忌又鼓噪赴之，澹之遂溃。

又曰：镇南将军、都督荆州杜元凯袭吴乐乡，在今江陵郡松滋县东六十里。虏都督孙歆，沆湖以南至于交、广，睹风送款。时众会议，或曰："百年之寇，未可尽克。今将暑热，水潦方降，疾疫将起，宜俟来冬大举。"凯曰："昔燕乐毅籍济西一战，以并强齐。今王师兵威已震，譬如破竹，数节之后，皆迎刃而解也。"遂指授群帅，直指秣陵，所过城邑，莫不束手，遂平吴国。先议者惭而谢焉。

又曰：朱龄石伐蜀贼谯纵，纵将谯道福重兵守涪。龄石师次平(摸)[模]，去成都二百里，纵遣将侯晖、谯悦屯平(摸)[模]，夹岸连城，[层楼]立栅。龄石谓裨将刘钟曰："天方暑热，贼今固险，攻之难拔，祗困我师。吾欲蓄锐息兵，伺隙而进。卿以为何如？"钟曰："不然。前扬声言大众由涪水，故谯道福不敢舍涪，今重军逼之，出其不意，侯晖之徒已破胆矣。只可因其凶惧而攻之，势当必克。克平(摸)[模]之后，自可鼓行而前，成都必不能守。若缓兵相持，虚实相见，涪军复来，难为敌也。进不能战，退无所资，二万余人悉为蜀子虏耳。"从之。翌日，进攻皆克，斩侯晖等，纵之城守[者]相次瓦解。

又曰：卢循率众数万，方舰而下。刘裕率兵拒之，出轻利斗舰，躬提幡鼓，命众军齐力击之。又上步骑于西岸。右军参军庾乐生乘舰不进，斩而徇之。于是众军并腾踊争先。军中多万钧神弩，所至莫不摧陷。裕自于中流蹙之，因风水势，舰悉泊西岸上。军先备火具，乃投火焚之，烟焰翳天，贼众大败，追奔至夜乃归。循等还寻

阳。初，分遣步兵，莫不疑怪，及烧贼舰，众乃悦服。

又曰：周访讨贼杜曾，曾大溃，杀千余人。访夜追之，诸将请待明，访曰："曾骁勇能战，向之败也，彼劳我逸，是以克之，宜及其衰，乘之可灭。"鼓行而进，遂定汉、沔。

崔鸿《十六国春秋》：蜀李特攻晋将张徽，败徽军，特议欲释徽还涪。音浮。诸将进曰："徽军连战，士卒伤减，智勇俱竭，宜因其弊遂擒之，若舍而宽之，徽养病收亡，余众更合，图之未易也。"特从之，复进攻[徽]，徽溃围走。特遣将水陆追之，遂害徽。生擒徽子存，以徽丧还之也。

《唐书》曰：太宗进逼西河，宋金刚果遁走。太宗追之，身先士卒，奋击，大破之。乘胜逐北，一日一夜行二百余里，转战数十合，士卒疲弊。至高壁岭，总管刘弘基执马而谏曰："大王功效于此足矣，亦宜思自安之计。方今草创，敌可尽乎？且(喉)[饿]粮已竭，士卒疲顿，更欲何之？愿且停营，待兵粮咸集而后决战。"太宗曰："功者难成易败，机者难得易失。金刚走到汾州，众心已沮，我及其未定，当乘势击之，此破竹之义也。如更迟留，必为贼计，此失机之道。吾国家之事，当竭忠尽力，岂顾身之安危乎？"遂策马去，诸军乃进，莫敢以饥乏为辞。夜宿于雀鼠谷之西原，太宗不食二日，不解甲三日矣。军中(若)[苦]饥，此夕惟有一羊。太宗抚将士与之同食，三军感悦，皆饱而思奋激。明日趋汾州，金刚列阵，南北七里，以抗官军。太宗遣总管李勣、程咬金、秦叔宝当其北；翟长孙、秦武通当其南；亲御中军以临之。诸军战小却，为贼所乘。太宗率精骑三千直趋金刚，贼众大溃，斩首三千余级，追奔数十里。至张难堡，有浩州行军总管樊伯通、张德政先据此堡，望见太宗轻骑而来，初未识之，太宗免胄曰："我也。"堡人欢噪，既而涕泣曰："不图今日生谒大王，死无所恨。"左右以太宗不食告之，乃奉浊酒脱粟饭。太宗曰："今日饥渴并解，虽公孙豆粥，何以加之。"

又曰：武德初，太宗征薛仁(果)[杲]，大破之。乘胜遂逼，折抚

城。窦抗等苦谏曰："贼主犹据坚城，虽破其将宗罗侯，未可即逼，请按兵以候其变。"太宗曰："算之久矣，破竹之势不可失也。贼大军以败，余众何足为虞，凶魁之计尽于此矣。"遂率众而进，至夜半，军临贼城，守陴者皆乱争，自投而下，仁(果)[杲]穷蹙，开门请降。

太平御览卷第三百一十五

兵部四十六

水战　掩袭上

水　战

《国语·吴语》曰：越王军于江南，明日将舟战于江。

《晋书·慕容超载记》曰：水战，国之所短，吴之所长。

又《晋书》曰：陈敏作乱，陶侃时镇江夏，以朱伺能水战，晓作舟舰，乃遣作大舰，署为右甄，据江口，摧破敏前锋。

又《何无忌传》曰：卢循遣别将徐道覆顺流而下，舟舰皆重楼。无忌将率众拒之，长史邓潜之谏曰："今以神武之师抗彼逆众，回山压卵，未足为譬。然国家之计，在此一举。闻其舟舰大盛，势居上流。蜂虿之毒，邾鲁成鉴。宜决破南塘，守二城以待之，其必不敢舍我远下。蓄力俟其疲老，然后击之。若弃万全之长策，而决成败于一战，如其失利，悔无及矣。"无忌不从，遂以舟师拒之。既及贼，令强弩数百登西岸小山以邀射之，而薄于山侧。俄而西风大起，无忌所乘小舰被飘于东岸，贼乘风以大舰逼之，众遂奔败，无忌尚厉声曰："取我苏武节来！"节至，乃躬执以督战。贼众云集，登舰者数十人。无忌辞色无挠，遂握节死之。

《梁书》曰：王琳帅兵东下，陈遣太尉侯瑱、司空侯安都等拒之。瑱等以琳军方盛，引军入芜湖避之。时西南风至急，琳谓得天道，将直取扬州，侯瑱等徐出芜湖，蹑其后。比及兵交，西南风翻为瑱用，琳兵放火燧以掷瑱船者，皆反烧其船，琳舰溃乱，兵士透水，死十二三，其余皆弃船上岸，为陈军所杀殆尽。

《隋书》曰：杨素伐陈，率水军东下，舟舻被江，旌甲曜日。素坐

平乘大船，容貌雄伟，陈人望之惧曰："清河公即江神也。"陈南康内史吕仲肃屯歧亭，正据江峡，于北岸凿岩，缀铁锁三条，横绝上流，以遏战船。素令[仁恩]登(陵)[陆][俱发]，先攻其栅。仲肃军夜溃，素徐去其锁。

又《李安传》曰：伐陈之役，蜀兵顺流东下。时陈人屯白沙，安谓诸将曰："水战非北人所长。今陈人依险泊船，以夜袭屯，贼可破也。"

《越绝书》曰：伍子胥水战法，大翼一艘，广丈六尺，长十二丈，容战士二十六人，櫂五十人，舳舻三人，操长钩矛斧者四吏，仆射长各一人，凡九十一人。当用长钩矛、长斧各四，弩各三十二，矢三千三百，甲兜鍪各三十二。

《庄子》曰：宋人有善为不龟手之药者，世世以洴澼絖为事。不过数金。一朝而鬻伎百金，请与之。客得之，以说吴王。越有难，吴王使之将。冬，与越人水战，大败越人，裂地而封。能不龟手一也。

《阮元瑜为曹公与孙权书》曰：若恃水战，临江塞要。欲令王师终不得渡，亦未必也。

《孙子荆为石仲恭与孙皓书》曰：自顷国家整治器械，修造舟楫，简习水战。

掩袭上

《白虎通》曰：袭者何？谓行不假途，掩人不备也。人衔枚，马缰勒，昼伏夜行，为袭也。

《左传》曰：凡师有钟鼓曰伐，无曰侵，轻曰袭。

又曰：初，周人与范氏田，公孙庞税焉。赵氏得而献之，吏请杀之。赵孟曰："为其主也，何罪？"止而与之田。及铁之战，以徒五百人宵攻郑师，取蜂旗于子姚之幕下。

又曰：齐侯还自晋，不入。遂袭莒，门于且于，莒子伤股而退。

明日，将复战，期于寿舒。

又曰：秦伯使大夫杞子戍郑，使告于秦，曰："郑人使我掌其北门之管，管，钥。若潜师以来，国可得也。"穆公访诸蹇叔，蹇叔曰："劳师以袭远，非所闻也。蹇叔，秦大夫。师劳力竭，远主备之，无乃不可乎！且师行千里，其谁不知？"公辞焉。辞，不受其言。召孟明、西乞、白乙，使出师于东门之外。蹇叔哭之，曰："孟子，吾见师之出而不见其入也。""晋人御师必于殽。殽有二陵焉：大阜曰陵。其南陵，夏后皋之墓；皋，夏桀之祖也。其北陵，文王之所避风雨。此道在二（杀）[陵]之间，南谷中各深委曲，两山相嵌，故可以避风雨。古道由此。魏武帝西讨巴汉，恶其险而更开北山高道也。必死是间，余收尔骨焉。"秦师遂东，晋原轸曰："秦违蹇叔，而以贪勤人，天奉我也。奉，与。奉不可失，敌不可纵。纵敌患生，违天不祥。必伐秦师。"栾枝曰："未报秦施而伐其师，其为死君乎？"先轸曰："秦不哀吾丧而伐吾同姓，秦则无礼，何施之有？吾闻之，一日纵敌，数代之患。谋及子孙，可谓死君乎？"言不可谓背君。遂发命，遽兴姜戎。子墨缞绖，晋文未葬，故襄公称子。子以凶服从戎，故墨之也。遂败秦师于殽，获百里孟明视、西乞术、白乙丙以归。

《家语》曰：吴（晋）[越]遂遇于黄池，越王袭吴之国。吴王归，与越战，灭焉。

《战国策》曰：苏秦谓楚威王曰："王兴师袭秦，此所谓两虎相据也。"

《后汉书》曰：渔阳太守彭宠反，自将二万余人攻幽州刺史朱浮于筯，光武使将军邓隆救筯。隆军潞南，浮军雍奴，遣吏奏状。帝读檄，怒谓使曰："营相去百里，其势岂得相及？比若若，汝也。还，北军必败矣。"宠果盛军临河以拒隆，又别发轻骑三千袭其后，大破隆军。朱浮远，遂不能救，引而去。

又曰：苏茂、周建与马武合战。良久，王霸军中壮士路润等数十人，断发请战，霸知士心锐，乃开营，后出精骑袭其背，茂、建前后

受敌，惊乱走散。

又曰：邓训发遣中六千人，令长史任尚将之，缝革为船，置于筏上以渡河，筏，木残也。音步佳反。掩击迷唐庐落大豪，多所斩获。

又曰：马援讨诸羌，[羌]引精兵聚北山上，援陈军向山，而分遣数百骑绕袭其后，乘夜放火，击鼓叫噪，虏遂大溃，凡斩首千余级。援以兵少，不得穷追，收其谷粮畜产而还。

又《曹瞒传》曰：公闻许攸来，跣出迎，攸劝公袭绍将，公大喜，乃选精锐步骑，皆执袁军旗帜，衔枚缚马口，夜从间道出，人把束薪，所历道[有]问者，语之曰："袁公恐曹操钞掠后军，还兵以益备。"问者信以为然。既至，围屯，大放火，营中惊乱。大破之，尽燔其粮谷宝货，斩督将睢元晋等，割得诸军淳于仲简鼻，杀士卒千余人，皆取鼻，牛马割唇舌以示，绍军将士皆惶惧。

又曰：曹公征张鲁至阳平，张鲁使弟卫据阳平关，横山筑城十余里。攻之不拔，乃引军还。贼见大军退，其守备懈，公乃密遣骑将等乘险夜袭，大破之。

又曰：庐江太守刘勋理明城，今同安郡。恃兵强士勇，横于江、淮之间，无出其右者，孙策恶之。时已有江左，自领会稽太守，使人卑辞厚币而说之曰："海昏上缭宗人，数欺下国，患之有年矣。击之路由不便，幸因将军之神武而临之。且上缭国富廪实，吴姓越姬，充于后庭，明珠大贝，被于帑藏，帑，他朗切。取之可以资军。虽蜀郡成都金碧之府，未能过也。策愿举弊邑士卒以为外援。"勋然之。刘晔谏曰："上缭虽小，而城坚池深。守之则易，攻之则难，不可旬月而拔也。且见疲于外而国虚于内。孙策多谋而善用兵，乘虚袭我，将何御之？而将军进屈于敌，退无所归。羝羊触藩羸其角，不能退不能进，其在兹乎？"勋不从。遂大兴师伐上缭，其庐江果为策所袭。勋穷蹙，遂奔曹公。

《魏志》曰：遣将钟会、邓艾伐蜀，蜀将姜维守剑阁。钟会攻维未能拔。艾上言："请从阴平江由邪径经汉德阳亭趣涪，出剑阁西

四百里，去成都三百里，奇兵冲其腹心。剑阁之守必还赴涪，则会方轨而进；剑阁之士不还，则应涪之兵寡矣。《军志》有之曰：攻其不备，出其不意。今掩其空虚，破之必矣。"冬十月，艾自阴平行无人之地七百余里，凿山通道，造作桥阁。山高谷深，至为艰险，又粮运将匮，频于危殆。艾以毡自裹，推转而下。将士皆攀木缘崖，鱼贯而进。先登至江油，蜀守将马邈降。诸葛瞻自涪还绵竹，列阵相拒，大破之。斩(瞻)[瞻]及尚书张遵等首，进军至成都。蜀主刘禅面缚舆榇诣军门降。

又曰：杨阜字义山，天水苋人也。韦康以为别驾。马超率万余人攻冀城，阜率国士大夫及宗族子弟胜兵千余人，使弟岳于城上作偃月营，与超接战，自正月至八月拒守而救兵不至。超入拘岳于冀，杀刺史太守。阜内有报超之志，而未得其便。外兄姜叙屯历城，阜少长叙家，见叙母，说前在冀中时事，歔欷悲甚。叙曰："何乃尔？"阜曰："守臣不能见，君亡不能死，亦何面目以视息天下乎！"时叙母慨然，敕[叙]从阜计。超闻阜等兵起，自将出，袭历城，得叙母。[叙母]骂之曰："若背父之逆子，弑君桀贼，天地岂久容？敢以面目视人乎！"超怒，杀之。阜与[超]战，身被五疮，宗族昆季死者七人。

《吴志》曰：蜀将关羽遣糜芳守南郡，羽领兵围樊。吴主遣将吕蒙屯陆口，外倍修恩厚，与关羽结好。羽多留兵备南郡，恐蒙有变。蒙上疏曰："羽计樊而多留备兵，必恐蒙图其后故也。蒙常有病，乞分众还建业，以理病为名。羽闻之，必撤备[兵]。徐以大军溯江驰上，袭其空虚，则南郡可不战而羽易擒耳。"吴主然之。蒙遂称病而还建业。羽果稍撤备，而悉众赴樊城。蒙遂发兵逆流而上，伏甲于舟，使更衣为商人，以理征棹，达曙兼行，过羽所置屯戍，辄缚之。羽遂失惊，师次于南郡，袭夺其城。羽吏士攻樊城未下，闻城以陷而家属无恙，见待甚于平时，无复斗心，稍稍散，羽竟为吴师所擒，荆州遂平。

又曰：建安二十四年，关羽围曹仁于襄阳，曹公遣左将军于禁救之。会汉水暴起，羽以舟兵尽生虏禁等步骑三万送江陵，惟城未拔。权内惮羽，外欲以为己功，(浅)[笺]与曹公，乞[以]讨羽自效。权征羽，先遣吕蒙袭公安，获将军士仁。蒙到南郡，[南郡]太守麋芳以城降。蒙据江陵，抚其老弱，释于禁之囚。

《晋书》曰：王如，京兆人也。初为州武吏，遇乱流移至宛。时诸流人有诏并遣还乡，如等以关中荒残，不愿归，征南将军山简、南中郎将杜蕤各遣兵送之，而促期令发。如遂潜结无赖少年，夜袭二军，大破之。又陷攻襄城。于是流人诸郡各率其党攻诸城镇，多杀令长以应之。未几，众四五万，号大将军，后如连年种谷，皆化为莠，军中大饥。

又曰：石勒遣其将石良率精兵五千袭李矩，矩逆击不利。郭诵弟元复为贼所执，[贼]遣元以书说矩曰："去[年]东平曹嶷，西平猗庐，矩如牛角，何不归命？"矩以示诵，诵曰："昔王陵父母在贼，犹不改意，弟当何论！"勒复遗诵麈尾马鞭，以示殷勤，诵不答。

又曰：张骏为凉州牧。咸和初，骏遣武威太守窦涛，金城太守张阆、武兴太守辛岩、扬烈将军宋辑等率众(来)[东]会韩璞，攻讨秦州诸郡。刘曜遣其将刘胤来拒，屯于狄道城。韩璞进渡沃干岭。辛岩曰："我握众数万，籍氐羌之锐，宜速战以灭之，不可以久，久则变生。"璞曰："自夏末以来，太白犯月，辰[星]逆行，白虹贯日，皆变之大者，不可以轻动。轻动而不捷，为祸更深。吾将久而毙之。且(跃)[曜]与石勒相攻，胤亦不能久也。"积十七日，军粮竭，遣辛岩督于金城。胤闻之，大悦，谓其将士曰："韩璞之众，十倍于吾，羌胡皆叛，不为之用。吾粮廪将悬，难以持久。今虏分兵运粮，可谓天授吾也。若败辛岩，璞等自溃。彼众我寡，宜以死战。战而不捷，当无匹马得还，宜历尔戈矛，竭汝智力。"众咸奋。于是率骑二千，袭岩于沃干岭，败之，璞军遂溃，死者二万余人。面缚归罪，骏曰："孤之罪也，将军何辱！"皆赦之。

王隐《晋书》曰：祖逖军大饥，进据食犬丘城。樊雅遣六十余人入逖营，拔戟大呼向逖，逖军人夜不知何贼多少，皆欲散走。逖疑非多人，但摧左右拒之。会督护董(赡)[昭]入，共讨贼，贼散故道出。

太平御览卷第三百一十六

兵部四十七

掩袭下

《晋书》曰：石勒伪推奉晋幽州刺史王浚，浚不疑勒。于是轻骑袭幽州，以火宵行。至易水，浚督护孙纬驰遣白骏，引军拒勒。浚将佐咸请出军击勒，浚怒曰："石公来，正欲奉戴我也，敢言击者斩！"乃命设飨以待之。勒晨至蓟北，门者开门，疑有伏兵，先驱牛羊数千头，声言上礼，实欲填诸街巷，使兵不得发。浚乃惧，或坐或起。勒入城升其厅事，命甲士执浚，立之于前，数其罪恶而诛之。遂陷幽州。

又曰：刘裕秉政，刘毅为荆州刺史，每多异同之议，裕帅兵讨之。遣裨将王镇恶先袭，至豫章口。豫章口去江陵城二十里，自镇恶进路，扬声刘蕃上。先是毅称病，表请从弟兖州刺史蕃为副，毅谓信然，不知见袭。镇恶自豫章口舍船步上，小将蒯思军在前，镇恶次之。舸留一乙士，卒之次也。对舸岸上竖六七旗，每旗下安一鼓。语所留人："计我将至城，便长严令，如后有大军状。"又分队在后，令烧江津船舰。镇恶迳前袭城，语前军："若有问者，但云刘兖州至。"津戍及百姓皆言刘蕃实上，晏然不疑。未至城五六里，逢毅亲将朱显之，将千余骑，从者数十，欲出江津。问是何人，答曰："刘兖州至。"显之骑前问蕃在所，答云："在后。"显之既至后，不见蕃，而见军人担鼓排战具，又遥见江津船舰已被焚烧，烟焰张天，而鼓严之声甚盛，知其非蕃上，便跃马驰去告毅："外有大军，似从下上，垂已至城，江津船悉被火烧矣。"行命闭诸城门。镇恶亦驰进，军人

缘城得入，门犹未及下关，因得开大城东门入城内。毅凡有八队余，已得戒严。蒯思入东门，便北回击射堂前军，攻金城东门。镇恶入东门，便直西击金城西门。军分攻金城南门。毅金城内东从旧将士，犹有六队千余人。食时就(关)[斗]，中晡西(入)[人]退散及归降略尽。镇恶入城，便因风放火，烧大城南门及东门。又遣人以诏及[赦]文并高祖手书凡三篋示毅，[毅]皆烧不视。金城内亦未信裕自来。镇恶至军，门人与毅东来将士，或有是父兄子弟中表亲者，镇恶命因斗且共语，众并知刘裕自来，人情离懈。一更许，听事前阵散溃。毅左右兵犹闭东西阁拒战，镇恶(恐)虑夜暗自相伤犯，乃引军出绕金城，开其南面以退。毅虑南有伏兵，三更中，率左右三百许人开北门突出(城)。[毅]于佛寺自缢。

《梁书》曰：侯景反，陷建业，高州刺史李迁仕据大皋图逆，召高梁太守冯宝，宝欲往，其妻沈氏止之曰："刺史无故不合召太守，此诈君欲为反耳。顷者京师危逼，羽檄征兵，遍于郡县。刺史称疾不赴，缮甲治兵，今已备矣；而更召君往，必见留，追君兵众，此意可知矣。鱼不可脱于泉，愿且勿行。遣使谲之，曰'身病笃，谨遣妻传意，并送土物以省之'。彼闻喜，必无防，为君取之，如反掌矣。"宝从之。于是沈氏自将千人，皆藏短兵，步担杂物，唱言赍货。赍，音齎。先书报迁仕曰："太守冯宝疾笃，谨令妻沈氏传启，并奉土贡以资军费。"迁仕大悦，出迎沈氏。[沈氏]因释担出刃，大破之，迁仕脱身而遁，沈氏入据其城，尽收其众。

《后魏书》曰：晋王伏罗督高平、源州诸军讨吐谷浑慕利延。军至乐都，谓诸将曰："若从大道，恐军声先振，必当远遁。若潜军出其非意，此邓艾擒蜀之计也。"诸将咸难之，伏罗曰："夫将军制胜，万里择利，专之可也。"遂间道行。至大母桥，利延众惊奔白兰，慕利延兄子拾寅走河曲，降其一万余落。

又曰：陆俟，代人也。长安卢永、刘超等聚党以叛。世祖诏俟以本官镇长安，使以方略定之。于是俟单马之镇，超闻之欣然，以

为无能为也。既[至],申扬威信,示以成败,诱纳超女,外若姻亲。超犹自(惊)[警],初无降意。俟乃率其帐下,往见超,观其举措。超使人逆曰:"三百人以外,适当以弓马相待,三百以内当以酒食相供。"乃将三百骑诣超,超设备甚严。俟遂纵酒以尽醉而返。[后]谓将士曰:"超可取。"乃密选精兵五百人激厉之,言至恳切。士卒答曰:"以死从公,必无二也。"遂伪猎诣超,与士卒约曰:"今会发机,当以醉为限。"俟于是诈醉,上马大呼,手斩超。将士皆应声纵击,遂平之。世祖大悦,征还,转外都大官。

又曰:魏使萧宝夤伐梁。[梁]堰淮水滥溢,将为扬、徐之患。夤于堰上流,凿新渠,引注淮泽。乃遣将士千余夜渡淮,烧其营聚,破贼,斩其将军而还。

又曰:慕容白曜南征宋,以郦范为副帅,次无盐,宋将申纂凭城拒守。议者佥以攻具未周,不宜便进。范曰:"今轻军远袭,深入敌境,无宜淹留,久稽机候,且纂必以我军来速,不在攻守,谓方城可凭,弱卒可恃。今若外潜威形,内整戎旅,密厉将士,出其不意,可一攻而克之。"白曜遂潜军伪退,示以不攻。纂果不设备。于是即夜部分,晨便腾城,崇朝而克。

又曰:幽州刺史刘灵助以庄帝被尔朱兆所弑,遂举兵唱义,诸州豪右咸相通结。灵助屯于定州之安固,兆遣将叱列延庆讨之。诸将谓延庆曰:"灵助善于卜占,百姓信惑,所在响应,未易可图,若万一战有利钝,则大事去矣。未若还师西入,据关拒险,以待其变。"延庆曰:"刘灵助,庸人也。天道深远,岂其所识。大兵一临,彼皆恃其妖术,坐看符厌,宁肯戮力致死,与吾争胜负哉?如吾计者,欲出城营外,诡言西归,灵助闻之,必信而自宽。潜军往袭,可一举而擒。"乃出顿城西,声云将还。简精骑一千夜发,诘朝造灵助垒,战于城北,遂破,被擒之。

又曰:宕昌羌獠甘作乱,逐其王弥定。魏遣将史宁讨破之。甘将百骑走投生羌巩廉王,弥定遂得复位。宁以未获獠甘,密欲图

之，乃扬声欲还。獠甘闻之，复招引叛羌，依山起栅，欲攻弥定。宁谓诸将曰："此羌人入吾术中，当进兵擒之耳。"诸将思归，咸曰："羌人聚散无常，依据山谷。今若追讨，恐引日无成。且弥定还得守藩，将军功已立矣。獠甘势弱，定能制之。此还军，策之上者。"宁曰："一日纵敌，数世之患，岂可舍垂灭之寇，更烦再举？人臣之礼，知无不为，此观诸军，不足与计事也。如更沮众，宁岂不能斩诸将！"遂进军，獠甘众亦至，与战，大破之。生擒獠甘并巩廉王。

《后周书》曰：刘亮初从贺拔岳西征，常先锋陷阵，以功拜大都督。及岳被害，亮与诸将谋迎太祖。豳州刺史孙定儿据州不下，泾、秦诸州悉相与应，众至数万，推定儿为主，以拒义师。太祖令亮袭之。定儿以义兵犹远，未为之备。亮轻将二十骑，先竖一纛于近城高岭，即驰入城中。定儿方致酒高会，卒见亮，众皆骇愕，莫知所为。亮乃麾兵斩定儿首，悬首，号令贼党。仍遥指城外纛，命二骑曰："出追大军。"贼党大惧，一时降附。于是诸州皆归款伏。太祖置十二军，诸将将之，亮领一军。每征讨，与怡峰俱为骑将。

又曰：贺拔岳从尔朱天光讨万俟丑奴，宣言远近曰："今气候渐热，非征讨之时，待至秋凉，更图进取。"丑奴闻之，遂以为实，分遣诸军散农，营于岐州之北百里纲州。岳与天光诸军尽发，掩之，丑奴乃弃平亭而走。岳轻骑急追，明日，及丑奴于平凉之长坑，一战擒之。

《隋书》曰：遂州獠反，命将周法尚讨之。军将至，贼弃州城，走散山谷间，法尚捕不能得。于是遣使慰谕，[假]以官号，伪班师，自行二十里。军再舍，潜遣人觇之，知其首领尽归栅，聚饮相贺。法尚选步骑数千人，袭击破之。

又曰：李彻从元帅卫王爽击突厥。行军总管李充言于爽曰："周、齐之世，有[同]战国，中夏力分，其来久矣。突厥每侵边，诸将辄以全军为计，莫能死战。由是突厥胜多败少，所以每轻中国之师。今者沙钵略悉国内之众，屯据要险，必轻我而无备，精兵袭之，

可破也。"爽从之。诸将多以为疑，惟彻奖成其计，请以同行。遂与充率精骑五千，出其不意，掩击，大破之。沙钵略弃所服金甲，潜草中而遁。以功加上大将军。

又曰：李安为尚书右丞、黄门侍郎。下陈之役，以为杨素司马，仍领行军总管，率蜀兵顺流东(平)[下]时陈人屯白沙，安谓诸将曰："水战非北人所长，今陈人依险泊船，必轻我而无备。以夜袭之，贼可破也。"诸将以为然。安率众先锋，大破陈师。高祖嘉之，诏书劳曰："陈贼之意，自言水战为长，险隘之间，弥谓官军所惮。开府亲将所部，夜动舟师，摧破贼徒，生擒虏众，益官军之气，破贼人之胆，副朕所委，闻以欣然。"进位上大将军。

又曰：李密击宇文化及，精兵良将多有死伤。王(世)充在东都乘其弊而击之。率步骑二万，营于洛南。李密军于偃师北。(世)充潜遣二百骑，夜伏于(邙)[北]山，自统其众，迟明渡水，人奔马驰，以袭密营。[密]遽出兵以拒之，阵未成列，两军已合，伏兵于北山中乘高而下，驰入密营，烧其庐舍。密见营中火发，因而遁走。

又曰：炀帝末年，群盗起，遣将张须陀击卢明月于下邳。贼连营十余万，须陀才万人，力势不敌。去贼六七里，立栅相持，经十余日，粮尽，欲退。谓将士曰："贼见兵却，必轻来追我，其众若出，营内即虚，欲以千人袭营，可有大利。此乘危险，谁能去者?"人皆莫对，惟秦叔宝与罗士信皆曰："愿行。"于是须陀委栅而遁，使二人分领千兵潜伏于草莽，既而明月悉兵追之。叔宝、士信驰至其栅，栅门闭不得入。二人超升其楼，拔贼帜，各杀数人，营中大乱。叔宝斩关而纳外兵，因散，纵火焚其三十余栅，烟焰涨天。明月奔还，须陀却逐之，大破贼众。明月以数百骑遁去，余皆虏之。

又曰：李密起兵于雍丘。是时河南、山东大水，死者将半。密将李勣言于密曰："今人多阻饥，若据得黎阳仓，大事济矣。"密乃遣勣领麾下五千人，自原武济河掩袭，即日克之。开仓恣食，一旬之间，胜兵二十余万人。

《唐书》曰：高宗遣将薛仁贵、郭待封等伐吐蕃大非川。将赴乌海，仁贵谓待封曰："乌海险远，车行艰涩，若引辎重，将失事机，(又)破贼即回，(不)[又]烦转运。彼多瘴疠，无宜久留。大非川岭上宽平，足堪置栅，可留二万人作两栅，辎重并留栅内。吾等轻锐倍道，掩其未整，即扑灭之矣。"仁贵遂率众先行，至河口遇贼，击破斩之，所获甚众，收其牛羊万余头。

又曰：贞观初，突厥颉利可汗(牙)[屯]于定襄。时诸部离散，代州道行军总管李靖选骁骑三千，径赴恶阳岭，出其不意击之，突利惊走，靖遂收定襄之地。颉利可汗惧退宝铁山，遣使入朝谢罪，请举国内附；又命靖往迎之。颉利虽外请入朝，犹持两端，待草青马肥，将逾沙碛。其年，太宗遣唐俭、安修仁往颉利牙慰抚之。靖揣知其意，谓副将张公谨曰："诏使到彼，虏必自宽。若选精骑一万，赍二十日粮，引兵自白道袭之，破虏必矣。"公谨曰："诏许其降，行人在彼，未宜置讨。"靖曰："此兵机也，时不可失，韩信所以破齐。如唐俭等辈，何足可惜。"督军疾进，师至阴山，遇其斥候千余帐，皆俘以随军。颉利见诏使大悦，不虞官兵之卒至。靖军将逼其牙[帐]十五里，虏始觉，颉利乃走。靖俘斩万余级，获口十余万，得可汗妇(随)[隋]义城公主，杀之。颉利奔吐谷浑，西道行军张宝相擒之以献。俄而突利可汗来降，靖始复定襄、恒安故地，开拓北境自阴山已北至于大漠。太宗初闻突厥国灭，谓侍臣曰："朕闻主忧臣辱，主辱臣死。昔国家草创，太上皇以百姓之故，称臣于突厥，朕未尝不痛心疾首，志灭匈奴，坐不安席，食不甘味。今暂举偏师，无往不捷，单于款塞，耻其雪乎！"因大赦天下，大酺五日。

又曰：李愬将袭蔡州，先七日使判官郑澥告师期于裴度。乃以李祐帅突将三千为先锋，李忠义副之，愬自帅中军三千，田进诚以后军三千殿而行。初出文成栅，众请所向，愬曰："东六十里而止。"至贼境，曰张柴，围入之，而尽杀其众，令军士少息，分食缮羁，勒兵甲胄，发刃彀弓，复建旆而出。是日，阴晦雨雪，大风裂旗旆，马慄

而不能跃，士卒苦寒，抱戈僵仆者道路相望。其川泽梁径险夷，张柴以东，师人未尝蹈其境，皆谓投身不测。初[至]张柴，诸将请所止。愬曰："入蔡州取[吴]元济也。"诸将失色。监军使驻马哭曰："果落祐计中矣！"愬不听，促进师，其下皆谓其必不[生]还；然以从愬之令，无敢为身计者。愬道分五百人断洄曲路桥，其夜冻死者十二三。又分五百人断朗山路。自张柴行七十里，北至县瓠城，夜半，雪愈甚。城傍有鹅鸭池，愬令惊击之，以杂其声。贼恃吴房、朗山之固，晏然无一人知者。李祐、李忠义持镬坎城而先登，敢锐者从之，尽杀守门卒而发其门，留[击]柝者以安之。及鸡鸣，雪亦止，愬以众入，止元济外宅，田进诚续至，乃合众攻其子城。子城防卒及杂役者尚千余人，乘城拒战。初有告，元济不信，又告城陷矣。元济曰："是洄曲子弟归求寒衣耳。"及出，听闻愬号令云："常侍传语。"乃曰："何常侍乃得至此？"遂操弓挟矢，麾其左右奴仆尽乘城而自督战。愬计元济犹望董[重]质来救，乃访质家安恤之，使其子持书礼召质。质见子言城已陷及元济孤窘之状，又见李祐辈已立奇功，乃慨然以单骑归愬，白衣叩伏愬前，愬揖登阶，以宾礼与之食。时田进诚既毁其城外门，得甲仗库，易其器甲。明日后薄城，焚其南门，百姓争负薪蒿以委之，元济城上以请罪，进诚授梯而下之，愬得元济，槛送京师。其申、光二州城镇兵尚二万余人，相次来降。自元济就执，愬不戮一人，其为元济执事帐下及厨厩之间者，使复其职，使之不疑。乃屯军鞠场以候裴度也。

又曰：石雄为刘沔裨将，会昌初，回鹘寇天德，诏命刘沔为招抚回鹘使。三年，回鹘大掠云、朔北边，(牙)[屯]于五原。沔以太原之师屯于云州，沔谓雄曰："黠虏离散，不足驱除。国家以公主之故，不欲急攻。今观其所为，气凌我辈。若禀朝旨，或恐依违。我辈捍边，但能除患，专之可也。公乃选骁健，乘其不意，径趋虏帐，彼以疾雷之势，不暇枝梧，必弃公主亡窜。事苟不捷，吾自继进，亦无患也。"雄受教，自选劲骑，得沙陀李国昌三部落，兼契苾拓拔杂

虏三千骑，月暗夜发马邑，径趋乌介之牙。时虏帐逼振武，雄既入城，登堞视其众寡。见毡车(从)[数]十，从者皆衣朱碧，类华人服饰。雄令谍者讯之："此何大人?"虏曰："此公主帐也。"雄喻其人曰："国家兵马欲取可汗，公主至此，国家也，须谋归路，俟其兵合时不得动帐幕。"雄乃大率城内牛马杂畜及大鼓，夜穴城为十余门。迟明，城上立旗张矩火，乃于诸门纵其牛畜，鼓噪从之，直犯乌介牙帐。炬火烛天，鼓噪动地，可汗惶骇莫测，率骑而奔。雄率劲骑追之，至杀胡山，急击之，斩首万级，生擒五千，羊马车帐皆委之而去。遂迎公主还[太原]。

又曰：黄巢既陷长安。时郑畋帐下小校窦玖者，骁敢无敌，每夜率敢死之士百人直入京师，放火燔诸门，斩级而还，贼人悚骇。

《吕氏春秋》曰：齐令章子将攻荆，荆令唐蔑将拒之。与荆人夹泚水而军，章子令人视水可绝者，荆人射之，水不可得近。有刍水旁者，告齐侯者，曰："水浅深甚易知，荆人所盛守，尽其浅者也，所简守，皆其深者也。"使载刍者与见章子，因夜奄荆人所盛守，果杀唐蔑也。

《太公阴谋书》：武王伐殷，兵至牧野，晨举脂烛，推掩不备。

太平御览卷第三百一十七

兵部四十八

攻圍上

《孙子》曰：下(攻)[政]攻城。攻城之法为不得已，修橹、横辒，具器械，三月而后成，距闉又三月而后已。"修，治也。橹，大楯也。横辒，车也。辒状，其下四轮，从中推之至城。器械者，机关攻守总名，蒙临，云梯之属，距闉勇士积而前以附其城也。将不胜其忿，而蚁附之，则杀士三分之一分，而城不拔者，攻之灾也。将忿，不得攻器，而使卒缘城上，如蚁缘墙，杀士也。善用兵者，屈人之兵而非战，拔人之城而非攻，毁人之国而非久，必以全争于天下，故兵不顿而利可全，此谋攻之法也。不以敌战而必全得之，盡胜于天下，不顿兵血刃也。

又曰：不可胜则守，可胜则攻。敌攻已，可胜也。守则不足，攻则有余。吾所守者，力不足也。所以攻者，力有余也。所以善守者藏于九地之下，因其山水丘陵之固。善攻者动于九天之上，因天时(力)[地]利之变，若动于九天之上也。故能自保而全胜也。

又曰：攻而必取者，攻其所不守也。守而必固者，守其所必攻也。谓敌之惰者也。故善攻者，敌不知其所守；善守者，敌不知其所攻。(清)[情]不泄也。微乎微乎，故能隐于常形；神乎神乎，故能为敌司命。进不可御者，冲其虚也；退而不可追也，速而不可及也。卒往攻其虚，解退又疾也。故我欲战，[敌]虽高垒深沟，不得不与我战者，攻其所必救之。绝粮道，守归路，攻君王也。我不欲战，画地而守之，军不烦也。敌不得与我战者，乘其所之。乖，(诱)[戾]也，戾其道示以利害，使疑之。我未修垒壑，敌人不敢敌我者，以形势之长，攻，就能加之于敌也。

《左传》曰：晋荀吴帅师伐鲜虞，围鼓。鼓伯，狄之别种也。巨鹿（下）[郡]曲阳县有鼓聚。鼓人或请以城叛，穆子弗许。曰："或以吾城叛，吾所恶也。人以城来，我独何好焉？"使敌杀叛人而缮守备。围鼓三月，鼓人请降，使其民见，曰："犹有食色，姑修而城。"军吏曰："获城而弗取，何以事君？"穆子曰："吾以事君也。获一邑而教民怠，将焉用邑？人能事其君，我亦能事吾君。卒义不爽，爽，差。好恶不愆，城可获而民知义所。知义所在。有死命而无二心，不亦可乎！"鼓人告食竭力尽，而[后]取之。克鼓[而反]，不戮一人，以鼓子鸢鞮归。鼓君名。

又曰：齐高发帅师伐莒。初，莒有妇人，莒子杀其夫，已为（厘）[嫠]妇。及老，托于纪鄣，纪鄣，莒邑。纺焉以度而去之。因纺纩连所以度城藏，欲待外攻以报[仇]也。及师至，则投诸外，投绳城外。或献诸子占。子占使师夜缒而登。缘绳登城。登者六十人，缒绝，师鼓噪。城上之人亦噪。莒共公惧，启西门而出。七月丙子，齐师入纪。《传》言：怨不在大。

又曰：晋侯，秦伯围郑，晋军函陵，秦军汎南。佚之狐言于郑伯曰："国危矣，若使烛之武见秦[君]，师必退。"（佚）[佚]之狐，烛之武，皆郑大夫也。公从之。辞曰："臣之壮也，犹不如人，今老矣，无能为也。"公曰："虽然，郑亡，子亦有不利焉。"许之，夜缒而出，见秦伯。

又曰：齐侯曰："以此众战，谁能御之？以此攻城，何城不克？"

又曰：楚子围郑。旬有七日，郑卜行成，不吉。卜临于太宫，临，哭也。太宫，郑太祖庙。且巷出车，吉。示将见迁。国人大临，守陴者皆哭。陴者，城上（脾兒）[脾睨]也。皆哭者，告楚穷也。楚子退师，郑人修城，进复围之，三月克之。哀其穷，故为退师，尚不服，故获围之九十日。入自皇门，至于逵路。方九轨曰逵。郑伯肉袒牵羊以逆，示服为臣仆也。曰："孤实不天，不为天所佑。不能事君，使君怀怒以及弊邑，孤之罪也。敢不惟命是听。其俘诸江南以实海滨，亦惟命。其剪以赐诸侯，使臣妾之，亦惟命。若惠顾前好，世有盟誓。使改事君，夷于九县，楚灭九国以为县也。君之惠也，孤之愿也，非所敢望也。敢布腹心，君实图之。"

又曰：齐侯伐我北鄙，围龙。鲁邑。顷公之嬖人卢蒲就魁门焉，攻龙门也。龙人囚之。齐人曰："弗杀！吾与而盟。"弗听，杀而膊诸城上。膊，磔也。齐侯怒，亲鼓，士陵城，三日，取龙。

《国语》曰：晋献公见翟(相)[祖]之氛，归寝不寐。翟相国名也。言有亡国之气也。一曰敌国有善祥，则己国凶恶也。郄叔虎朝，公语之。遂伐翟相[祖]，叔虎乘城，被羽先登，克之。羽，羽衣。登，并其城也。

《战国策》曰：平原君谓冯忌曰："寡人欲出兵攻燕，何如？"对曰："不可！夫以秦将伐武安君公孙起乘十胜之威，与马服子战于长平之下，大败赵师，自以余兵围邯郸之城。赵以十败之余[众]，收破军之弊，[而]秦罢于邯郸之下。赵守而不可拔者，[以]攻难而守易也。今[赵]非有十克之威，而燕非有长平之祸也。今一败之祸未复，而欲以罢赵攻强燕，强秦以兵承赵之弊，此乃强吴所以亡，而弱越所以霸也。故臣未见燕之可攻也。"平原曰："善！"

又曰：乐羊为魏将，而攻中山。其子在中山，中山之君烹其子而遗羹，乐羊坐于幕下[而]啜之，尽一杯。文侯曰："乐羊以我故，食其子之羹，赏其功而疑其心。"

又曰：秦攻赵，苏子说秦王曰："臣闻王之于民也，多听而时用之，是故事无败也。臣闻怀重宝者不夜行，任大功者不轻敌，是以贤者任重而行恭，智者功大而辞顺。故民不恶其尊，世不妒其业。"秦乃解兵，诸侯休，天下安，不相攻二十九年。

《史记》曰：秦末，沛公破南阳，[南阳]守齮走，保城守宛。齮，鱼绮切。张良曰："沛公虽欲急入关，秦兵尚众，距险。今不下宛，宛从后击，强秦在前，此危道也。"于是沛公乃夜引军从他道还，更张旗帜，黎明，围宛城三匝。黎，未也，未明之貌。顷已围之，事毕方明。又言：黎，黑色，亦未明也。南阳守欲自刭。其舍人陈恢曰："死未晚也。"乃逾城见沛公，曰："臣闻足下约，先入咸阳者王之。今足下留守宛。宛，大郡之都也，连城数十，人庶众，积蓄多，吏人自以为降必死，故皆坚守乘城。今足下尽日止攻，士死伤者必多；引兵去宛，宛必随足

下后。足下前则失咸阳之约，后又有强宛之患。为足下计，莫若约降，封其守，因使止守，引其甲卒与之西。诸城未下者，闻声争开门而待，足下通行无所累矣。"沛公曰："善。"乃以宛守为殷侯，封陈恢千户。引兵而无有不下者。

又曰：武安君白起攻韩，拔九城，斩首五万。

又曰：《周本纪》曰：古公积德行义，国人皆戴之。獯育戎狄攻之，欲得财物，与之。已复攻，欲得地与民。民皆怒，欲战。古公曰："今戎翟所为攻战，以吾地与民。民之在我，与其在彼，何异？民欲以我故战，杀人父子而君之，予不忍为。"

《汉书·李陵传》曰：单于急攻陵，陵居谷中，虏在山上，四面射之，矢下如雨。

又曰：李广利及郡国恶年少数万人至贰师，取善马，故号"贰师将军"。当道小国各坚守，不肯给食。攻郁城，杀伤甚众，引而还。天子闻之大怒，使使遮玉[门]关，[曰]："军有敢入辄斩之。"贰师恐，益发恶少年及边骑六万人伐宛。宛城外流水，于是遣水工徙其城[下水]，攻之三十余日。宛贵人相与谋，遣人到贰师军约："汉无攻我，我尽出善马。"贰师许之，取善马、中马以三千匹余。

《后汉书》曰：河南贼董宪招诱五校余贼步骑数千人屯建阳，去昌虑三十里。光武亲征至番，音波。去宪百余里。诸将请进，帝不听。知五校乏食当退，敕各各坚壁，以待其弊。顷之，五校粮尽，果引去。帝乃亲临，四面攻宪，三日大破之。

又曰：王郎起兵，光武自蓟至信都，使郑禹发奔命，得数千人。令自将之，别攻，拔乐阳。

又曰：庞萌、董宪反，与苏茂校音效。强合兵三万，急围桃城。光武时在蒙，闻亡，乃留辎重，自将轻骑二千、步骑数万，晨夜驰赴，师次任城，去桃城六十里。且曰："诸将请进。"贼亦挑战，帝不听，乃休士养锐以挫其锋。城中闻车驾至，众心固。时吴汉等在东都，驰使召之。萌等乃悉兵攻城二十余日，众疲困而不能下。及吴汉

等到，乃率众军进桃城，帝亲自搏战，大破之。

又曰：张步据齐地，汉将耿弇总兵讨之。张步使其大将费邑军历下，又分守祝阿、钟城。弇先击祝阿，自晨攻城，未日中而拔之，故开围一角，令其众得奔归钟城。钟城人闻祝阿已溃，大恐惧，遂空壁亡去。

又曰：汉将朱儁与荆州刺史徐璆共讨黄巾，击贼帅赵弘，斩之。贼余帅韩忠复据宛乞降，司马张超请听之。儁曰："兵有形同而势异者。昔秦项之际，人无定主，故赏降附劝以来耳。今海内一统，惟黄巾造寇，纳降无以劝善，讨之足以惩恶。今若受之，更开逆意，贼利则进战，钝则乞降，纵敌长寇，非良计也。"因急攻，连战不克。儁登土山睹之，顾谓张超曰："吾知之矣。贼今外围周固，内营逼急，乞降不受，欲出不得，所以死战也。万人一心，犹不可当，况十万乎！其害甚矣。不如彻围，并兵入城。忠见围解，势必自出，[出]则意散，易破之道也。"既而解围，忠果出战，儁因击，大破之。忠等皆降。

又曰：曹公破袁尚，拔邺，进围壶关。(今日)[令曰]："城拔，皆坑之。"连日不能下。其将曹仁谓公曰："夫围城必开之，所以开其生路也。今许之必死，将卒自以为守。且城固而粮多，攻则士卒伤，守则旷日持久。今顿兵坚城之下，攻必死之，虑非良计也。"曹公从之，遂降其城。

《东观汉记》曰：张步都临淄，使弟玄武将军蓝将兵守西安，去临淄四十里，耿弇引军营临淄、西安之间。弇视西安城小而坚，蓝兵又精，未易攻也。临淄诸郡太守相与杂居，人不专一，其声虽大而虚，易攻。弇内欲攻之，告令军中治攻具，后五日攻西安，复纵生口令归。蓝闻之，晨夜守城。至其日夜半，令军皆食，会明，求乞攻西安，临淄不能救也。弇曰："然吾故扬言欲攻西安，今方自优治城具，而吾攻临淄，一日必拔，何救之有？吾得临淄即西安孤，必复亡矣，所谓一举而两得者也。且西安城坚，精兵二万人，攻之未可卒

下，卒必多死伤。正使得其城，张蓝引兵突临淄，更强勒兵，凭城观人虚实，吾深入敌城，后无转输，旬月之间，不战而困，诸军不见是尔。"弃遂击临淄，至日中破之。张蓝闻临淄破，果将其众亡。

《汉表传》曰：郭典字君业，为钜鹿太守，与中郎将董卓攻黄巾贼张宝于下曲阳。典作围堑而卓不肯。典曰："受诏攻贼，有死而已。"使诸将引兵屯东，典独于西当贼之冲，昼夜进攻。宝由是城守不敢出。时为之语曰："郭君围堑，董将不许，几令狐狸，化为豺虎。赖我郭君，不畏强御，转机之间，敌为穷虏。猗猗惠君，实邈疆土。"

《英雄记》曰：袁尚使审配守邺，曹操进军攻邺。审配将冯礼为内应，开突门内操兵三百余人，配觉之，从城上以大石击门，门闭，入者皆死。操乃凿堑围，回四十里，初令浅，示若可越。配望见，笑而不出。操令一夜浚之，广深二丈，决漳水灌之，自五月至八月，城中饿死者过半。尚闻邺急，将兵万余人还救。操逆击，破之。尚走，依曲漳为营，操复围之。尚惧，遣阴夔、陈球[琳]请降，不听。尚还走蓝田，操复进，急围之，尚将马(迎)[延]等临阵降，众大溃，尚奔中山。尽收其辎重，得尚印绶、节钺及衣物，以示城中，城中崩沮。审配命士卒曰："坚守死战，操军疲矣。幽州方至，何忧无主？"以其兄子荣为东门校尉，荣夜开门内操兵，配犹拒战，城陷，生获配。意活之，配意气壮烈，终无挠辞，见者莫不叹息。遂斩之。

《魏志》曰：袁绍围太祖于官渡，粮乏。问计于贾诩，诩曰："公明胜绍，勇胜绍，用人胜绍，决机胜绍。有此四胜，而半年不定者，但顾万全故也。必决其机，须臾可定。"太祖曰："善。"乃弃兵出，为围击绍，绍军大溃，河北平。

太平御览卷第三百一十八

兵部四十九

攻围下

王隐《晋书》曰：祖约为豫州刺史，胡骑至，攻城大战。其日西风，兵火俱攻。贼以绳系铁钩摘挽城楼，楼(住)[柱]拔坏，又作铁钩搨音斫。城登梯得上，所挽楼城北角行墙三十步坏。约始大怖，使戴洋呼："孙叔敖、伍子胥！卿若使胡奴得城，当持白酒寸脯着卿前；急(今)[令]转风却贼，当上肥牛。"中后风转下，脯，贼退，亦不知风偶自转为能感动。

《晋书》曰：赵王伦、孙秀为义师所讨，日蹙，乃与秀谋，或欲收余卒出战，或欲焚烧宫室，诛杀不赴己者，或欲乘船东走入海。计未决，王与率营兵七百余人，自南掖门入敕宫中，兵各守卫诸门，三部司马为应于内，与自往攻秀，秀闭中书南门，与放兵登墙烧屋。秀及左右遽走出，左卫将军赵泉，斩秀等以徇。

又曰：刘裕率兵伐后秦姚泓，后魏遣将鹅青等步骑十万屯河北，有数千骑缘河随晋军进止。时军人缘河南岸，牵百丈，河流迅急，有漂渡北岸者，辄为魏人所杀掠。遣军才过岸，即退；军还，复来。宋武乃遣白直队主丁旰，音午。率七百人，及车百乘，于河北岸上，去水百余步，为却月阵，两头抱河，车置七仗士，事毕，使竖一白毦。(仍)[乃]吏(功)[切]，羽毛饰。魏人见数百人步牵车上，不解其意，并未动。宋武先命朱超石戒严二千人，白毦既举，超石驰往赴之，并赍大弩百张，一车益二千人，设彭排辕上。魏人见营阵，乃进围营，超石先以软弓小箭射敌，敌以众少兵弱，四面俱发，寅薄攻营。

于是百弩俱发，又遣善射者丛箭射之，魏众既多，弩不能制。超石初行，别赍大槌并千余张矟，乃断矟长四尺，以槌槌之，一矟辄洞贯三四人。魏众不能当，一时奔溃。

《宋书》曰：晋义熙五年六月，伪燕主慕容超留羸老守广固，使其广宁王贺刺卢及公孙五楼悉力据临朐。去城四十里，有臣梦水，超告五楼："急据之。"(北)[比]至，为龙符所保，五楼乃退大军，分四千两车为二翼，方轨徐行，车悉张幡，御者执矟，以骑为游军。军令严肃。比及临朐，贼骑交至。帝命兖州刺史刘藩、荆州刺史刘道邻等陷其阵。日向昃，战犹酣，帝用参军胡藩策袭克临朐，贼乃大奔。超遁还广固。获其玉玺、豹尾、辇等送于都。景子克广固大城，超固其小城。乃筑长围以守之，馆谷于青土，停江淮转输。

又曰：朱循之随右军到彦之北，自河南回。循之留戍滑台，被魏将安颉攻之，围，粮绝，将士熏鼠食之。循之被围既久，母常悲忧。忽一旦乳汁惊出，母号恸告家人曰："我年老，非复有乳汁时，今如此，儿必没矣。"魏果以其日克滑台，囚之。

又曰：宗越为长水校尉。竟陵王诞据广陵反，越领军马隶沈庆之攻诞。及城陷，孝武使悉杀城内男丁，越受旨行诛，躬临其事，莫不先加捶楚，或有鞭其面者，欣然有所得，杀凡数千人。改封始安县子。

《三国典略》曰：侯景收其余众步骑八百，南过小城，城人登埤诟之曰："跛脚奴。"景怒，攻城，拔之，杀诟者而去。

又曰：周王思政固守颍川，高岳久围不解。陈元康言于齐王澄曰："公自匡辅朝政，未有殊功，虽败侯景，本非外贼，颍城将陷，愿公因而乘之，足以取威定业。"王从之。于是亲至颍川，益发其众，号曰："决命夫"。更起土山，王坐于堰上。赵道德言于王曰："箭头有铁，不避大王。"引王带而下，箭集于王坐之所。

《梁书》曰：武帝自襄阳率兵东下，至郢州，攻未拔。萧颖胄在江陵遣卫尉席阐文劳军，因谓梁武曰："今顿兵两岸，不并军围郢，

定西阳、武昌，取江州，此机已失；莫若请救于魏；与北连和，犹为上策。"梁武谓阐文曰："汉口路通荆、雍，控引秦、梁，粮运资储，听此气息，兵若进鲁山，必阻河路，所谓搤喉。若粮运不通，自然离散，何谓持久？（刘）[邓]元起近欲以三千往定寻阳，彼若欢然悟机，一郫生亦足；脱拒我师，固非三千能下。西阳、武昌，取（使）[便]得耳，得便应镇守，[守]两城不减万人，粮储称足，卒无所出。脱东（君）[军]有上者，万人攻一城，两城势不相救。若我分军应援，首尾俱弱；如其不遣，孤城必陷。一城既没，诸城相次土崩，天下大事于是去矣。若郢州既拔，席卷沿流，西阳、武昌，自然风靡，何遽分兵散众，自贻其忧？且丈夫举动，言静天步；况拥七州之兵，以诛群竖，悬河注火，奚有不灭？岂容北面请救，以自示弱！彼未必能信，徒贻我丑声。此之下计，何谓上策？"及拔郢城，向下城戍无不风靡，遂克建业。

崔鸿《十六国春秋》曰：前燕将慕容恪率兵讨段龛于广固，恪围之。诸将劝恪宜急攻之。恪曰："军势有宜缓以克敌，有宜急而取之。若彼我势均，且须强援，虏腹背之患者，须急攻之以速大利。如其我强彼弱，外无寇援，力足制之者，当羁縻守之，以待其弊。兵法十围五攻，此之谓也。龛恩结贼党，众未离心，今凭固天险，上下同心，攻守势倍，军之常法，若其促攻，不过数旬，克之必矣。但恐伤吾士众，当持久以取耳。"乃筑室返耕，严固围垒，终克广固。

又曰：燕将吕护据野王，阴通晋，事觉，燕将慕容恪等率众讨之。将军傅颜言于恪曰："护穷寇假合，王师既临，则上下丧气，必士卒摄魂，败亡之验也。殿下前以广固天险，守易攻难，为长久之策。今贼形便不与往同，宜急攻之，以省千金之费。"恪曰："护老贼，经变多矣。观其为备之道，未易卒图。今圍之穷城，樵采路绝，内无蓄积，外无强援，不过十旬，其毙必矣，何必遽残士卒之命，而趋一时之利哉！吾严浚围垒，休养将卒，以重官美货间而离之，事淹势穷，其衅易动，我则未劳而寇已弊，此谓兵不血刃，坐以制胜

也。"遂[列]长围守之。凡经六月，而野王溃，护南奔于晋，悉降其众。

《后魏书》曰：齐神武起义兵于河北，被尔朱兆、天光、度律、仲远等四将同会邺南，士马精强，号二十万，围于邺南韩陵山。时神武马二千，步不满三万。兆等及围不合，神武连系牛驴自塞之，于是将士死战，四面奋击，大破兆等。

又曰：燕凤，字子章，代人也。少好学，博综经史，明习阴阳谶纬。昭成以礼迎致之，凤不应聘。命诸军围代城，人曰："燕凤不来，吾将屠汝。"代人惧，送凤。昭成与语，大悦，待以宾礼。

《北史》曰：西魏将王思政守颍川郡城，东魏师十万攻之，备尽攻击之术，以颍水灌城陷之。思政知事不济，率左右据土山，谓之曰："吾受国任，遂辱王命，力屈道穷，计无所出。惟当效死，以谢朝恩。"[因]仰天大哭，左右皆号恸。思政向西再拜，便欲自刭。先是，齐文襄告城中人曰："有生致王大将军者，封侯，重赏。若大将军身有损，亲近左右，皆从大戮。"都督骆训谓思政曰："公常语训等，但将我头降，非但得富贵，亦是活一城人。今高襄既有此语，公岂不哀城中士卒也！"固共止之，不得引决。齐文襄遣其散骑常侍赵彦深就土山执手申意。引见文襄，辞气慷慨，涕泗交流，无屈挠之容。文襄以其忠于所事，礼遇甚厚。思政初入颍川，士卒八千人，及城陷之日，存者才三千人，遂无叛者。

《后周书》曰：武帝建德五年，东伐齐，六军攻晋州城，帝屯于汾曲。齐王宪攻洪洞、永安二城，并拔之。是夜，虹见于晋[州]城上，首向南，尾入紫宫，长十余丈。帝每日自汾曲赴城下亲督战，城下惶窘。庚午，齐行台左丞侯子钦出降。壬午，齐晋州刺史崔景嵩守城北面，夜密遣送款上，开府王轨率众应之。未明，登城鼓噪，齐众溃，遂克晋州，擒其城主，俘甲士八千人，送关中。

《隋书》曰：大业中，炀帝征天下骁果之士以伐辽左，沈光预焉。同类数万人，皆出其下。光将诣行在所，宾客送至灞上者百余骑。

光酹酒而誓曰："是行也，若不能建功立名，当死于高丽，不复与诸君相见矣。"及从帝攻辽东，以冲梯击城，竿长十五丈，光升其端，临城与贼战，短兵接，杀十数人。贼竞击之而坠，未及于地，适遇竿上有垂绳，光接而复上。帝望见，壮异之，驰召与语，大悦，即日拜朝请大夫，赐宝刀良马，恒致左右，亲顾渐密。

又曰：陈稜，大业三年拜（贺）武贲郎将，后三岁，与朝议大夫张镇周，发东阳兵万余人，自义安泛海击流求国。月余而至。流求人初见船舰，以为商旅，往往诣军中（货）［贸］易。稜率众登岸，遣镇周为先锋。其主欢斯渴刺兜遣兵拒战，镇周频击破之。稜进至低没檀洞，其小王欢［斯］老摸率兵拒战，稜击败之，斩老摸。其日雾雨晦暝，将士皆惧，稜刑白马以祭海神。既而开霁，分为五军，趋其都邑。渴刺兜率众数千逆拒，稜遣镇周又先锋击走之。稜乘胜逐北，至其栅，渴兜背栅而阵。稜尽锐击之，从晨至未，苦斗不息。渴刺兜自以军疲，引入栅。稜遂填坟堑，攻破其栅，斩渴刺兜，获其子岛槌，虏男女数千而归。帝大悦，进稜位右光禄大夫，武贲如故。

《唐书》曰：武德初，宇文化及据聊城。淮安王神通进兵蹑之，秘书丞征谓神通曰："化及今据聊城，莘人为其固守。若至莘，即宜攻取。但拔莘县，聊城益惧，因而逼之，易同俯拾。须以攻具自随，一足威敌，二不乏用。不然，兵至莘城，见无攻具，不下，如不能克莘，而还追化及，恐亦无功，则化及非旬月可获。莘人阻我粮运，士及为之外援，恐非计之善者。"神通不从，军次莘，果不下而退败。

又曰：武德中，李靖随河间王孝恭讨辅公祏，音石。贼一军舟师三万，顿于当涂，栅断江口，傍江筑城。又遣六军二万据当塗南路，亦造栅自固，并蓄力养锐，以抗大军。诸将皆云："二军并是强兵，为不战之计，城栅既固，率不可攻。请直指丹阳，掩其巢穴。若丹阳既破，二军可不战而破。"靖曰："公祏精锐，虽在水陆二军，然其自统之兵，亦是劲勇。二军城栅尚不可攻，公祏既保石头，岂应易拔？若我（师）［帅］师至丹阳，留停旬日，进则石头未平，退则归路

已绝，此便腹背受敌，恐非万全之计。然此二军皆是百战余贼，必不惮于野战。今若攻其城栅，乃是出其不意，灭贼之机，惟在此举。"靖乃率诸将水战，俱苦战，破之。二军悉溃走。靖遂率轻兵先至丹阳，公祏余众虽多，不敢战，拥兵东走，并相次擒获。

又曰：高祖率众攻屈突通于河东，士卒登城南面者已千余人。高祖在东原望之而不见，会暴雨至，鸣角止军，由是不克。或劝遂攻之，高祖曰："屈突通习兵而无勇，若决战非其所长，婴城难以必胜，此自守虏耳，不足为虞。"遂收军营于河渚。

又曰：薛万均围梁师都，突厥不敢来援。诸将见贼城险固，皆有惮色。万均谓之曰："城中无气，鼓声不彻，此见败亡之候，平在旦夕。诸君勿以为忧。"俄而师都见杀，城降。

又曰：天宝末，[安]禄山反，尚衡起义兵讨禄山，以王栖曜为牙旗将，下兖、郓诸县，军威稍振。兼衡前总管，复下曹州。初，逆将邢超然乘城号令，栖曜曰："彼可取也。"一箭殒之，城中气慑，遂下。

又曰：马燧自京还太原。初，田悦新代承嗣统兵，恐人不附己，诈示诚款，燧上疏明其必反，宜先备之。其年，悦果与[淄]青、恒(州)[冀]通谋，自将兵五万围邢州，攻临洺，筑重城，内绝其外，以拒救兵。邢州将李洪、临洺将张伾，皆坚守不拔。昭义军数告急，乃诏燧将救临洺。燧军出崞口，兵未过险，乃遣人持书喻说，且示之好，悦谓燧畏之。十一月，师次邯郸，悦遣使至，[燧皆]斩之以徇；遣兵击破其支军，射杀其将成铉之。悦自攻临洺，遣大将杨朝先将兵万余，于临洺南双岗下东西列二栅以御燧。燧乃率李抱真、李晟进军，营于二栅之中。其夜，东栅走归悦。[燧]进军营明山，取其弃栅以置辎重。[悦]谓将吏曰："朝先守坚栅不下万人，彼令(悦)[燧]等尽锐攻之，此数月不能下，杀伤必甚。吾此必破临洺，赏劳军士而与之战，必胜之术也。"悦乃分恒州李惟岳救兵五千以助朝先。燧率军攻朝先，田悦将万余人救之。燧乃令大将李自良、李奉国将兵合神策军据双冈御之，令曰："令悦得过，[当]斩尔！"燧

令推火车以焚其栅，自晨及暮，急击，大破之，拔其栅，斩朝先及大将卢子昌，斩首五千余级，生虏八百余人。居五日，进军径战。燧自将锐兵扼其冲口，凡百余合，士皆决死，悦兵大败，斩首万余，生虏九百人，得谷三十万斛，器甲称是。悦收兵夜走邢州。

《五代周史》：慕容彦超，汉祖即位授澶州节度史。检校太尉杜重威叛于邺下，以郓州节度史高行周为行营都部署，彦超为副。兵至城下，二帅不协，杜重威之子妇即行周之息女也。行周用兵持重，彦超举措轻躁。彦超欲速于攻城，行周以为未可，彦超乃扬言称行周以爱女之故惜贼而不攻，行周忿之。汉祖闻其事，惧有他变，以是亲征。及车驾至邺，彦超数因事凌迫行周，行周不胜其憾。尝一日至于行宫幕次(雨)泣告于执政，又自掬粪(茄)[茹]于口中，声气甚厉，闻于御座。汉祖深知彦超之曲，遣近臣和解。行周亦召彦超于帐中责之，兼令首过于行周。行周稍解。时彦超独排群议，累请攻城，汉祖信之，乃亲督诸军四面齐进，损伤者万余人，死者千余人。众议无不归罪彦超，自是不复敢言攻城矣。

《说苑》曰：田单为齐上将，兴师十余万，将以攻翟，往见鲁仲[连子，仲]连子曰："将军之攻翟必不能下矣。"田将军曰："单以五里之城，十里之郭，复齐之国，何谓攻翟不能下也?"及攻翟，三月不下，齐之童儿谣曰："大冠如箕，长剑(柱)[拄]颐，攻翟不能下，累于吾兵。"于是田单恐骇，往见仲连子曰："先生何以知单攻翟不能下也?"仲连子曰："夫将军即墨之时，坐则织箕，立则杖箠，为士卒唱，曰：恐宗庙亡矣！故将有死之心，无生之气。今将军东有掖邑之封，西有淄上之宝，黄金横带，驰乎淄渑之间，是以乐生而恶死也。"田单明日结发，(祖)[径立]于矢石之间，乃引桴而鼓之。翟人下之。

《淮南子》曰：赵简子死未葬，中牟入齐。中牟自入于齐也。已葬五日，襄子起兵攻之，围未合，而城自坏者十丈，襄子击金而退之。军法：鼓以进众，钲以退之。军吏谏曰："君诛中牟之罪而城自坏，是天助

我，何故去之？”襄子曰：“吾闻之叔向曰：君子不乘人于利，不迫人于险。使之治城，城成而后攻之。”中牟闻其义，乃请降。

《古司马兵法》曰：众以合寡，为(追)[远]裹而阙。合有交兵，众者以寡合对追逐也，围也。以众击寡，逐而围之，阙其去道，无令死战。敌若众，则受裹。敌众已寡，则依利道而受围以坚众心。分(共)[其]四向而受敌，则众以死为生，故能冲逐四出，以克胜也。敌若寡若畏，则譬之开之。敌家少弱恐惧者，则开去道，无令为穷寇，必死战也。

《韩子》曰：世有三亡：以乱攻治者亡，以邪攻正者亡，以逆攻顺者亡。清济浊河足以为限，长城巨防足以为塞。

《管子》曰：善攻者料众以攻，料食以攻，食料备以攻。备以众攻众，众存不攻，以食攻食，食存不攻，以备攻备，备存不攻。

《列子》曰：楚攻宋，围其城，民易子而食之，析骸而炊之，丁壮者皆乘城而战者太半。

太平御览卷第三百一十九

兵部五十

拒守上

《孙子》曰：昔之善战者，先为不可胜，先咨之庙堂，(虏)[虑]其危难，然后高垒深沟，使兵士练习，故敌不得胜。以待敌之可胜，以此守备之固，待敌之阙，则可胜也。不可胜在己，言守备之固，制敌在外也。可胜在敌。守备之固，自修理以待敌之虚(解)[懈]，已见(敌)敌有阙漏之形，然后可胜也。故善战者能为不可胜，不能使敌必不可胜己。若敌晓练兵事，策与道合，深为己备者，亦不可强胜。故曰胜可知，见成形也。而不可为也。敌有备也，已料见形者则胜负可知。若敌密而无形，亦不可强使为败。故范蠡曰：时不至不可以强生，事不究不可以强成。不可胜者，守也；形藏也，若未见其形，彼众我寡，则自守也。可胜者，攻也。敌攻己，乃可胜也。己见其形，彼寡我众，则可攻。故善守者藏于九地之下。善守备者，务因其山川之阻、丘陵之固，使不知所攻，言其深密藏于九地之下。

又曰：城有所不攻。固而多重。

《易》曰：利用御寇，不利为寇。

《左传》曰：晋侯伐齐，齐侯御诸平阴，堑防门而守之，广里。夙沙卫曰："不能战，莫如守险。"[弗听]。晋将范宣子告齐大夫析文子曰："吾知子，敢匿情乎？鲁人、莒人皆请以车千乘自其乡入，既许之矣。若入，君必失国。子盍图之？"子家以告公，公恐。晏婴(间)[闻]之曰："君固无勇，而又闻是，弗能久矣。"不能久敌。齐师夜遁。

又曰：倍则攻，敌则战，少则守。

《后汉书》曰：凉州贼王国围陈仓，左将军皇甫嵩督前[将]军董

卓救之，卓欲进赴陈仓，嵩不听。卓曰："知者不后时，勇者不留决。速救则城全，不救则城灭，全、灭之势，在于此也。"嵩曰："不然。百战百胜，不如不战而屈人之兵。是以先为不可胜，以待敌之可胜。不可胜在我，可胜在彼。彼守不足，我攻有余。有余者动于九天之上，不足者陷于九地之下。今陈仓虽小，城守固备，非九地之陷也。王国虽强，而攻我之所不救，非九天之势。夫势非九天，攻者受害；陷非九地，守者不拔。国今已陷受害之地，而陈仓保不捐之地，我可不烦兵动众，而取全胜之功，将何救焉？"遂不听。王国[围]陈仓，自冬迄春，八十余日，城坚守固，竟不能拔。贼众疲弊，果自解去。

又曰：来歙与征虏将军祭遵袭略阳，遵道病还，分遣精兵随歙，合二千余人，伐山开道，从番须、回中番须、回中，并地名也。番，音盘。武帝元封四年，幸雍，通回中道。前书音义曰：回中在汧，汧今陇州汧元县也。径至略阳，径，直也。斩[隗]嚣守将金梁，因其保城。嚣大惊曰："何其神也！"《东观汉记》曰：上闻得略阳，甚悦，左右怪。上数破大敌，今得小城，何足以喜？然上以略阳嚣所依阻，心腹已坏制则其支体[易]也。乃悉兵数万人围略阳，斩山筑堤，激水灌城。歙与将士固死坚守，矢尽，乃发屋断木以为兵。嚣尽锐攻之，自春至秋，其士卒疲弊。帝乃大发关东兵，自将上陇，嚣众溃走，围解。于是置酒高会，劳赐歙，班坐绝席，在诸将之右，赐歙妻缣千匹。诏使留屯长安，悉监护诸将。

又曰：大司徒邓禹西征，定河东，张宗诣禹自归。禹闻宗素多权谋，乃表为偏将军。禹军至(徇)[栒]邑，赤眉大众且至，禹以(徇)[栒]邑不足守，欲引师进就坚城，而众人多畏贼追，惮为后拒。禹乃书诸将名于竹简，署其前后，乱著笥中，令各探之。笥以竹为之。郑玄注：《礼记》云：圆曰箪，方曰笥。宗独不肯探，曰："死生有命，张宗岂辞难就逸乎！"禹叹息谓曰："将军有亲弱在营，奈何不顾？"宗曰："愚闻一卒毕力，百人不当；万夫致死，可以横行。宗今拥兵数千，以承大威，何遽其必败乎！"遂留为后拒。诸营既引兵，宗方勒厉军士，

坚垒壁，以死当之。禹到前县，议曰："以张将军之众，当百万之师，犹以小雪投沸汤，虽欲戮力，其势不全也。"乃遣步骑二千人反还迎宗。宗引兵始发，而赤眉至，宗与战，却之，乃得归营，于是诸将服其勇。

又曰：隗嚣大将王捷别在戎丘，登城呼汉军曰："为隗王城守者，皆必死无二心！愿诸军亟罢，亟，纪力切。请自杀以明之。"遂自刎颈死。

又曰：世祖即位，遣宗正刘延攻天井关，与田邑连战十余合，延不得进，邑迎母弟妻子，为延所获，《东观汉记》曰：邓禹使积弩将军冯愔将兵击邑，愔悉得邑母弟妻子。后邑闻更始败，乃遣使诣洛阳献璧、马，[因]拜为上党太守。

《晋书》曰：陶侃使桓宣、李阳平襄阳。侃使宣镇之，以其淮南部曲立义成郡。宣招怀初附，劝课农桑，简刑罚，略威仪，或载钼耒于轺轩，或亲芸获于垅亩。十余年间，石季龙再遣骑攻之，宣能得众心，以寡弱拒守，议者以为次于祖逖、周访。

又曰：吴彦为吴建平太守。时王濬将伐吴，造船于蜀，彦觉之，请增兵为备，皓不从，彦乃辄为铁锁，横断江路。及师临境，缘江诸城皆望风降附，或见攻而拔。惟彦坚守，大众攻之不能克，退舍礼之。

《梁书》曰：侯景反，兵逼建业，众皆凶惧，梁将羊侃为守城督，侃伪称得外射书，云"邵陵王、西昌侯兵已至路"。众乃少安。贼为尖头木驴攻城，矢石所不能制，侃作雉尾炬，施铁镞，以油灌之，掷驴上烧之，俄尽。贼又东西两面起土山，以临城，城中震骇，侃命为地道，潜引其土，山不能立。贼又作登城楼车，高十余丈，欲临射城内，侃曰："车高壅虚，彼来必倒，可卧而观之，不劳设备。"及车动，果倒，众皆服焉。贼频攻不捷，会侃病死，城方陷。

(又)[《南史》]曰：蔡道恭为司州刺史，魏围司州。时城中众不满五千人，食裁半岁，魏军攻之，昼夜不息，乃作大车载土，四面俱

前，欲以填堑。刺史蔡道恭堑内作蒙艟斗舰以待之，魏人不得进。又潜作伏道以决堑水，道恭载土填塞之。相持百余日，前后斩获不可胜计。魏大造梯冲，攻围日急。道恭用四石乌漆大弓射，所中皆洞甲饮羽，一发或贯两人，敌人望弓皆靡。又于城内作土山，多作大矟，长二丈五尺，施长刃，使壮士执以刺魏人[登城者。]魏军甚惮之。

《陈书》曰：宜黄侯慧纪镇荆州。(随)[隋]师济江，慧纪率将士三万人，船舰千余乘，沿江而下，欲趣台城。遣南康太守吕肃将兵据巫峡，以五条铁锁横江。肃竭其私财以充军用。隋将杨素奋兵击之，四十余战，争马鞍山及磨刀涧守险，隋军死者五千人。陈人尽取其鼻，以求功赏。既而隋军屡捷，获陈之士，三纵之。肃乃遁。

《后周书》曰：李迁哲，天和三年，进位大将军。召迁哲率金、上等诸州兵镇襄阳。五年，陈将章昭达攻逼江陵。梁主萧岿告急于襄州，卫公直令迁哲往救焉。迁哲率其所部守江陵外城，与陈将程文季交战，兵稍却，迁哲乃亲自陷阵，手杀数人。会江陵总管陆腾出兵助之，陈人又因水汛长，坏龙川宁朔堤，引水灌城。城中惊扰。迁哲乃先塞水，又募骁勇出击之，频有斩获，众心稍定。俄而敌(人)[入]郭内，焚烧人家。迁哲自率骑出南门，又令步兵自北门出，两军合势，首尾邀之，陈人复败，多投水而死。是夜，陈人又窃于城西堞以梯登[城]，[登]者已百数人。迁哲又率骁勇捍之，陈人复溃。俄而大风暴起，迁哲乘暗出兵击其营，陈人大乱，杀伤甚众。陆腾复破之于西堤，陈人乃遁。

又曰：太祖以王罴为荆州刺史，进号抚军将军。梁复遣曹义宗众数万(国)[围]荆州，堰水灌城，不没者数板。时既内外多虞，未遑救援，乃遗罴铁券，云城全当授本州刺史。城中粮尽，罴煮粥，与将士均分而食之。每出战，尝不擐甲胄，大呼曰："荆州城，孝文皇帝所置。天若不祐国家，使贼箭中王罴；不尔，王罴须破贼。"屡经战阵，亦不被伤。弥历三年，义宗方退，进封霸城县公。寻迁车骑

大将军。

又曰：王罴华州刺史，沙苑之役，齐神武士马甚盛。太祖以华州冲要，遣使劳罴，令加守备。罴语使人曰："老罴当道卧，骟子安得过！"太祖闻而壮之。及齐神武至城下，谓罴曰："何不早降？"罴乃大呼曰："此城是王罴家，生死在此，欲死者来。"齐神武遂不敢攻。

又曰：王思政守颍川兼河南诸军事，东魏太尉高岳、行台慕容绍宗、仪同刘丰生等，率骑十万来攻颍川。城内卧鼓偃旗，若无人者。岳恃其众，谓一战可屠，乃四面鼓噪而上。思政选城中骁勇，开门出入。岳众不能当，引军乱退。思政登城遥见岳阵不整，乃率步骑三千出邀击之，杀伤甚众，然后还城设守御之备。岳知不可卒攻，乃多修营垒。又随地势高处，筑土山以临城中。飞梯(大)[火]车，昼夜尽攻击之法。思政亦作火钻，子算切。因迅风便投之土山。又以火箭射之，烧其攻具。仍募勇士，缒而出战，岳众披靡，其守土山人亦弃山而走。思政即命据其两土山，置折堞以助防守。岳等于是夺气，不敢复攻。齐文襄更益岳兵，堰，於建反。洧水以灌城。城中水泉涌溢，不可防止。悬釜更炊，粮力俱竭。慕容绍宗、刘丰生及其将慕容永珍共乘楼船以望城内，令善射者俯射城中。俄而大风暴起，船乃飘至城下。城上人以长钩牵船，弓弩乱发。绍宗穷急，(透)[投]水而死。丰生[浮]向土山，复中矢而毙。生擒永珍。思政谓之曰："仆之破亡，在于晷漏。诚知杀卿无益，然人臣之节，守之以死。"乃流涕斩之。并收绍宗等尸，以礼埋瘗。

又曰：将贺若敦率步骑六千渡江取陈湘州，陈将侯瑱(讨)[卸]之，江路遂断。粮援既绝，人怀危惧。敦于是分兵抄掠，以充资费。恐瑱等知其粮少，乃于营内聚土，覆之以米。集诸营军士，人各持囊，遣官司部分，若给粮者。因召侧近村民，佯有所访问，令于营外遥见，随即遣之。瑱等闻知，良以为实。乃据守要险，欲旷日老敦[师]。敦又增修营垒，造庐舍，示以持久。敦军数有叛人乘马投瑱

者，遂纳之。敦又别取一马，趣船，[令]船中逆以鞭鞭之。如是者再三，马便畏船不上。后伏兵于江岸，遣人乘畏船马以招瑱军，诈称降附。瑱遣兵迎接，竟来牵马。马既畏船不上，敦发伏掩之，尽殪。又湘之人乘轻船，载米粟(乃)[及]笼鸡鸭以饷瑱军。敦患之，乃为土人装船，伏甲士于中，瑱兵见之，谓饷船主，逆来争之，敦甲士出而擒之。此后实有馈饷(乃)[及]亡命奔瑱者，犹谓敦之设诈逆遣(捍)[押]击，并不敢受。相持岁余，瑱不能制。

《北史》曰：西魏将韦孝宽守玉壁，东魏大将齐神武命攻之。连营数十里，至于城下，乃于城南起土山，欲乘之以入。当其山处，城上先有两高楼。孝宽更缚木接之，令极[高]峻，多积战具以御之。敌人以楼高不得入，遂于城南凿地道。又于城北起土山，且作且攻，昼夜不息。孝宽复掘长堑，截其[地]道，(乃)[仍]置战士屯于堑(城)上，城外每穿至堑，战士即擒杀之。又于堑外积柴贮火，敌人有在地道内者，便下柴火，以皮鞴吹之。鞴，蒲拜切。火气一冲，咸即灼烂。城外又作攻车，车之所及，莫不摧毁。虽有排楯，莫之能抗。孝宽乃缝布为幔，随其所向则张设之。布既悬于空中，其车竟不能坏。城外又缚松麻于竿，灌油加火，规以烧布，并欲焚楼。孝宽复作长铁钩，利其锋刃，火竿(亦)[一]来，以钩遥割之，松麻俱落城外。又于城(西)[四]面穿地作二十一道，分为四路，于其中各施梁柱，(作讫)以油灌柱，放火烧之，柱折，城并崩坏。孝宽又随坏处竖木栅以扞之，敌不得入。城外尽其攻击之术，孝宽咸拒破之。竟以全。

《隋书》曰：梁士彦迁熊州刺史。后从武帝拔晋州，进位柱国，除使持节、晋绛二州诸军事、晋州刺史。及帝还后，齐后主亲总六军而围之。独守孤城，外无声援，众皆震惧，士彦慷慨自若。贼尽锐攻之，楼堞皆尽，城雉所存，寻仞而已。或短兵相接，或交马出入。士彦谓将士曰："死在今日，吾为尔先！"于是勇烈齐奋，呼声动地，无不一当百。齐师少却，乃令妻妾军民子女，昼夜修城，三日而

就。帝率六军亦至，齐师解围，营于城东十余里。士彦见帝，持帝须而泣曰："臣几不见陛下！"帝亦为之流涕。时帝以将士疲倦，意欲班师。士(庶)[彦]叩马而谏曰："今齐师遁，众心皆动，因其惧也而攻之，其势必举。"帝从之，大军遂进。帝执其手曰："余之有晋州，为平齐之基。若不固守，则事不谐矣。朕无前虑，惟恐后变，善为我守之。"

又曰：郭荣，字文护擢中外府水曹参军。时齐寇屡侵，护令荣于汾州观贼形势。时汾州与姚襄镇相去悬远，荣以为二城孤迥，势不相救，请于州镇之间更筑一城，以相控摄。护从之。俄而齐将(祖)[段]孝先攻陷姚襄、汾州二城，惟荣所立者独能自守。护作浮桥，出兵渡河，与孝先战。孝先于上流纵火筏以击浮桥，护令荣督便水者引取其筏。以功授大都督护。

又曰：刘宏，字仲远，拜泉州刺史。会高智慧作乱，以兵攻州，宏城中守百余日，救兵不至。前后出战，死亡太半，粮尽无所食，与士卒数百人煮犀角腰带，及剥树皮而食之，一无离叛。贼知其饥饿，欲降之，宏抗节弥厉。贼悉众来攻，城陷，为[贼]所害。上闻而嘉叹者久之，赐物二千段。

又曰：李景检校代州总管。汉王谅作乱并州，景发兵拒之。谅遣刘嵩袭景，战于东城。升楼射之，皆应弦而倒。选壮士击之，斩获略尽。谅复遣岚州刺史乔钟葵率劲勇三万攻之。景战士不过数千，加以城池不固，为贼冲击，崩毁相继。景且战且筑，士卒皆殊死斗，屡挫贼锋。司马冯孝慈、司法参军吕玉并骁勇善战，仪同三司侯莫陈(又)[乂]多谋画，(上)[工]拒守之术。景知将士可用，其后推诚于此三人，无所关预，惟在阁持重，时出抚循而已。月余，朔州总管杨义臣以兵来援，合击，大破之。

太平御览卷第三百二十

兵部五十一

拒守下　急急

拒守下

《唐书》曰：乾符中，元万顷从李勣征高丽，勣尝令顷作文檄高丽，其语有讥高丽"不知守鸭绿之险"，莫离支报云"谨闻命矣"，遂移兵固守鸭绿，官军不得入，万顷坐是流于岭外。

又曰：李光弼守太原。自贼围城，城中张一小幕止宿。有急，即自往救之。行至府门，未尝回头，不复省视妻子。贼退后，收拾器械，处置公事，经三日，然后归家。

又曰：史思明围光弼于太原。四面重围，十日不解。每日使贼于阵前嫚骂光弼，并戏弄城上人。光弼使人穿地道，以木撑之。贼明日还于旧处，立将戏之。地道透[陷]，遂把贼脚曳入地道中。光弼得而对众戮之，城中大喜。思明知事不集，遂退归河北。

又曰：薛愿为颍川太守、本郡防御使。时贼已陷陈留、荥阳、汝南等郡，方围南阳。颍川当其来往之路，愿与防御副使庞坚同力固守，城中储蓄无素，兵卒单寡。自至德元年正月至十一月，贼昼夜攻之不息，距城百里。庐舍坟墓林树开发斩彻殆尽，而外救不至。贼将阿史那承庆悉以锐卒并攻，为木驴木鹅，云梯冲棚，四面云合，鼓噪如雷，矢石如雨，力攻十余日，城中守备皆竭，贼夜半乘梯而入。而愿、坚俱被执，送于东都，将支解之。或说禄山曰："薛愿、庞坚，义士也。人各为其主，屠之不祥。"乃系于洛水之滨，属苦寒，一夕冻死。

又曰：张巡守睢阳，在城中每战，登陴大呼以助威，皆[眦裂]血

流面，牙齿皆碎。城将陷，西向再拜，曰："为救不至，臣智勇俱竭，不能全一城。今使逆贼见逼，臣死之后，愿为鬼与贼为厉，以答国恩。"及城陷，尹子奇见巡问之曰："闻公每督战，皆裂齿碎，实有之否？"巡应之曰："然"。子奇曰："何以至此？"曰："欲得杀逆贼，遂至于此。"子奇以大刀剔其口，[视其齿]，见其存者不过三数。巡因大诟骂子奇，责以悖逆，损害平人。子奇[义其言]，欲存之。左右曰："此人[守义]，必不为我用，又得众死心，不可留。"故害之。

又曰：史朝[义围宋州]，刘昌在围中，连月不解，城中食尽，贼垂将陷之。刺史李岑计蹙，昌为之谋曰："今河阳有光弼制胜，且江、淮足兵，此廪中有数千斤曲，可屑以食众。计援兵不二十日当至。东南[隅之]敌，众以为危，昌请守之。"昌遂被铠持盾登之，陈逆顺以告谕[贼，]贼之众甚畏之。后十五日，副元帅李光弼救军至，贼乃宵溃。光弼闻其谋，召置军中，超授试左金吾卫郎将。

又曰：元和中，鄂岳都围练使李道古攻申州，克其罗城，乃进围逼其中城。城中守卒夜(师)[帅]妇人登城而呼，悬门窃发，分出其众，道古众惊乱，多为虏杀。

又曰：王凝为宣州[刺史]。黄巢自岭表北归，大掠淮南，攻围和州。凝令牙将樊俦舟师据采石以援之。俦违令，凝即斩之以徇，命别将马颖代俦赴援，竟解历阳之围。贼怒，引众攻宣城。大将王涓请出军逆战，凝曰："贼忿而来，宜持重待之。彼众我寡，万一不捷，则州城危矣！"涓锐意请行，凝即阅集丁壮，分守要害，登陴设备，涓果战死。贼乘胜而来，则守有备矣。贼为梯冲之具，急攻数月，御备力殚，吏民请曰："贼之凶势不可当，愿尚书归款退之，惧覆尚书家族。"凝曰："人皆有族，(子)[予]岂独全？誓与此城同存亡也。"既而贼已退去，时乾符五年也。

又曰：王栖曜为常州别驾，时江左兵荒，诏内常侍马日新领汴滑五千人镇之。日新贪暴，贼萧庭兰乘人怨诉，逐之而劫其众。时栖曜游弈远郊，遂为贼所胁，进围苏州。栖曜因其懈怠，挺身登城，

率城中出攻，贼众大溃。

又曰：张伾，建中初，以泽潞将镇临洺。田悦攻之，伾度兵力不能出战，严设守备，婴城拒守，贼不能拔。累月，攻之益急，士多死伤，粮储渐乏，救兵未至。伾知事不济，无以激士心，乃悉召将卒于军门，命其女出拜之，谓曰："将士辛苦守战，伾之家无尺寸之物与公等为赏，独有此女，幸未嫁人，愿出卖之，为将士一日费。"众皆大哭，曰："誓与将军死战，幸无虑也。"会马燧以太原之师至，与军众合击悦于城下，大败之。伾乘势出战，士卒无不一当百。围解，以功迁泗州刺史。

《三国曲略》曰：周独孤永业恐洛州刺史段思文不能自固，驰入金墉助守。尉迟迥为土山地道，晓夕攻战，永业选其三百人为爪牙，每先锋死战，迥不能克。

又曰：台城(朱)[未]陷，侯景又烧大司马门，后阁舍人高善宝以私金千两赏其战士，直阁将军宗思领将士数人逾城出外洒水，久之火灭。景又遣持长柯斧入(门下)斫门，将开，(羊)[善宝]促凿扇为孔，以槊刺倒二人，斫者乃退。

又曰：陈人侵齐北，徐州刺史祖班令不闭城门，守陴者皆下，街巷禁断人行，鸡犬不许鸣吠。陈人莫测所以，疑人走城空，不设警备。中夜，班忽令鼓噪，陈人惊散。晓复结陈向城，班自临战。陈人先闻其盲，谓不能抗拒，忽见亲在戎行，弯弧纵镝，怪之，遂退。时穆提婆憾之不已，欲令城陷，不遣救援，班军守百日，城竟保全。

《北史》曰：梁将吴明彻攻围海西，齐将郎基固守，乃至削木为箭，剪纸为羽。围解还朝，仆射杨愔迎劳之，曰："卿本文吏，遂有武略，削木剪纸，皆无故事，班、墨之思，何以相过！"

《墨子》曰：禽滑厘问曰："云梯施，攻备已具，武力又多，争上吾城，为之奈何？"墨子曰："多下矢、石、灰以雨，薪火、水汤以济之。若城外穿地来攻者，宜城中掘于井，以薄罂内井中，使听聪者伏罂听之，审知穴处，凿内而迎之。"

《吕氏春秋》曰：公输般为高云梯，欲以攻宋。墨子闻之，自鲁而往，裂裳裹足，日夜不休，十日十夜而至于郢，见荆王曰："臣北方之鄙人也，闻大王将攻宋，信有之乎？"王曰："然。"墨子曰："臣以宋必不可得。"[王曰：]"公输般，天下之攻工也，已为攻宋之械矣。"墨子曰："请公输般试攻之，臣请试守之。"于是公输般设攻宋之械，墨子设守宋之备。公输般九攻之，墨子九却之，不能入。故荆辍不攻宋，墨子也，能以术御之荆而存乎宋矣。

《博物志》曰：处士东里魂责禹乱天下事，禹退作三城，强者攻，弱者守，敌者战。城廓，盖禹始也。

贾谊《过秦论》曰：有囊括四海之意，并吞八荒之心。当是时也，商君佐之，命内立法度，务耕织，修守战之备，外连衡而斗诸侯。

又曰：然后践华为城，(固)[因]河为池，据亿丈之城，临不测之溪以为固。良将劲弩守要害之处，信臣精卒陈利兵而谁奈何。

《任彦升奏弹曹景宗》曰：故司州刺史蔡道恭率厉义勇，奋不顾命，全城守死，自冬徂秋犹转战，战穷极，摧丑虏。

危急

《韩子》曰：智伯围襄子于襄阳，决水以灌之，城中巢处悬釜而炊，易子食，(折)[析]骨炊。

《史记》曰：楚庄王围宋，五月不解，宋城中食尽，易子而食，析骸而炊。宋华元出告以情，庄王曰："君子哉！"遂罢兵去。

又曰：齐田单攻聊城，岁余不下。鲁连乃为书继之矢射城中，遗燕将书曰："今公以弊聊之人距全齐之兵，是墨翟之守也；食人炊骨，士无反心，是孙膑之兵也。"

又曰：赵襄子保晋阳，三国攻晋阳。岁余，引汾水灌其城，不没者三板。城中悬釜而炊，易子而食。

《汉记》曰：段颎破羌胡。明年，羌复寇张掖，颎下马大战，弓刀折尽，虏亦引退。追之，昼夜攻击，割(内)[肉]食雪四十余日。

《后汉书》曰：车师王与匈奴共攻耿恭于疏勒中。恭食尽，乃煮铠弩，食其(筋)[筋]革。

又曰：臧洪为东郡太守，为袁绍所围。初，尚掘鼠煮(筋)[筋]角，后无所食，取草实而食之。

《魏志》曰：太祖围张超于雍丘，超言："惟臧洪，当来救吾。"众人以为袁、曹方睦，洪为绍所表用，必不败好招祸。洪闻之，果徒跣号泣，勒所镇。又从绍请兵马，[求欲]救超，绍不[听]许。遂为太祖所灭。洪由是怨绍，[绝不与通]。绍兴兵围之，历年不下。绍忿洪无降意，增兵急攻。洪自度不得免，呼吏士谓曰："袁氏无道，所图不轨，且不救洪郡，洪于大义不得不死。念诸君无事空兴此祸耳，可将妻子去。"吏士皆垂泣。掘鼠煮(筋)[筋]角，后无所食，主簿启内厨米三斗，洪使作薄粥，众分啜之，杀其爱妾以食士。城中男女七八千人相枕而死，莫有离叛。城陷，绍生执洪。

徐广《晋记》曰：霍彪为贼贵黑所隔，积百日，杀马烧皮铠食之。

又曰：韩晃、苏硕等攻苑，城中饥，米一斗万钱。

《晋书》：刘琨赴并州上表曰："臣自涉州疆，目睹困(之)[乏]，流移四散，十不得存二，携老扶弱，不绝于路。及其在者，鬻卖妻子，生相捐弃，死亡委厄，白骨横野，哀呼之声，感伤和气。群胡数万，周匝四山，动足遇掠，开目睹寇。惟有壶关，可得告籴。而此二道，九州之险，数人当路，则百夫不敢进，公私往反，没丧者多。婴守穷城，不得薪菜，耕牛既尽，又乏田器。以臣愚短，当此至难，忧如循环，不遑寝食。"

《晋中兴书》曰：中宗初镇江左，假郄鉴龙骧将军、兖州刺史。徐龛、石勒，左右交侵。鉴收合荒散，保固一山，随宜抗对，百姓饥馑，掘野鼠蛰燕而食之。

又《十六国春秋》曰：蜀王李雄攻谯登于涪城，无救援。登固守不下，士卒皆熏鼠食之，一无叛者。

《宋书》曰：朱修之留府滑台，乃为索虏所攻围。修之粮尽，救

兵不至，将士熏鼠食之，城陷，为虏所执。上嘉其节。

萧子显《齐书》曰：魏遣魏郡王元英围南郑，退入斜谷，天大雨，军(马淦)[士乃]截竹炊米于马上，持炬炊而食之。

《隋书》曰：李密(闻)[间]行(人)[入]关，被囚于京兆，与王仲伯亡抵平原，贼帅郝孝德。不甚礼之，备遭饥馑，至削树皮食之矣。

太平御览卷第三百二十一

兵部五十二

火攻　水攻

火　攻

《孙子》曰：火攻有五。一曰火人，与敌陈师，敌傍近草，因风烧之，战之助也。二曰火积，烧其积蓄。三曰火辎，烧其辎重。四曰火库，当使奸人入敌营，烧其兵库。五曰火坠。坠，堕也，以火堕敌营中也。尖头之法以铁笼火着箭头，强弩射敌营中。一曰火道，烧绝其粮道。行火必有因，因奸人也。又因风燥而焚之。烟火[必]素具。烧烟具也，先具烧燧之属。发火有时，起火有日。时者，天之燥也。日者，宿在(戍)[戊]箕、东壁、翼、轸也。戊翼参日宿，此宿之日风起。凡此四宿者，风起之日也。萧世诚云：春景丁，夏戊己，秋壬癸，冬甲乙，此日有疾风猛雨也。吾勘太乙中有飞鸟、十精，知风顾期，五子六运式也。各候其时，可用火也。凡火攻，必因五火之变而应之。火发于内，即(军)[早]应之于外。以兵应之，使奸人纵火于敌营内，当速进以攻(攻)其外。火发而兵静者，待而勿攻。极其火力，可从而从之，不可从则止。见利则进，知难则止，极尽火力，可则进，不可则止，(吾)无使敌知吾为。火可发于外，无待于内，以时发之。火发于上风，无攻于下风。[下风]不便也，烧之必退，退而逆攻之，则必为所害也。昼风久，夜风止。数常也，阳风也，昼风则火气相动，夜也风卒欲纵火，亦当(如)[知]风之长短也。凡军必知五火之变，以数守之。既知起五火之变，当复以数[理]消息其可否也。故以火佐攻者明。取胜明也。

《史记》曰：田单，齐人也。燕将乐毅攻齐，单保即墨不下。燕兵围之，单乃收城中牛千余头，(尽)[画]以五采，束刃于角，缚苇于尾。凿城下数穴，牵牛诣穴，以烧其尾端，牛尾热，奔燕军，燕军大乱，所触皆死。大克燕军。

《汉书》曰：李陵征匈奴，战败班师，为单于所逐，及于大泽[葭苇中]。匈奴于上风纵火，陵亦先放火烧断葭苇，用绝火势。萧代诚曰：敌用火焚吾门，思火减败，吾当更积薪助火，使火势盛，敌不得入，亦拒火之方也。

《后汉书》曰：奉车都尉窦固出击匈奴，以班超为假司马，将兵别击伊吾，战于蒲类海，多斩首虏而还。伊吾，匈奴中地名，在伊州纳职县界。前书音义曰：蒲类，匈奴中海名，在敦煌北也。固以为能，遣与从事郭恂俱使西域。超到鄯善，鄯[善]本西域楼兰国也。昭帝元凤四年，改为鄯善。去阳关一千六百里，去长安六千一百里。鄯善王广奉超礼敬甚备，后忽更疏懈。超谓其(宫)[官]属曰："觉广礼意薄乎？此必有北虏使来，孤疑未知所从故也。明者睹[于]未萌，况已著耶。"乃召侍胡诈之曰："匈奴使来数日，今安在乎？"侍胡惶恐，具服其状。超乃闭侍胡，悉会其吏士三十六人，与共饮，酒酣，因激怒之曰："卿曹与我俱在绝域，曹辈欲立大功，以求富贵。今贼使到裁数日，而王广礼敬即废；如今鄯善收吾属送匈奴，骸骨长为豺狼食矣。为之奈何？"官属皆曰："今在危亡之地，死生从司马。"超曰："不入虎穴，不得虎子。当今之计，独有因夜以火攻虏，使彼不知我多少，必大震怖，可殄尽也。灭此虏，则鄯善破胆，功成事立矣。"众曰："当与从事议之。"超怒曰："吉凶决于今日。从事文俗吏，闻此必恐而谋泄，死无所名，非壮士也！"众曰："善。"于夜遂将吏士往奔虏营。会天大风，超令十人持鼓藏虏舍后，约曰："见火燃，皆当鸣鼓大呼。"余人悉(将)[持]兵弩夹门而伏。超乃顺风纵火，前后鼓噪。虏众惊乱，超手格杀三人，吏兵斩其使及从士三十余级，余众百许人悉烧死。《东观记》曰：斩得匈奴节使屋顿带、副使比离支首及节也。明日乃还告郭恂，恂大惊，既而色动。超知其意，举手曰："掾虽不行，班超何(必)[心]独擅之乎？"恂乃说。

又曰：杨璇字机平，为零陵太守。是时苍梧、桂阳猾贼相聚，攻郡县，贼众多而璇力弱，吏民忧恐。璇乃特制马车数十乘，以排囊盛石灰于车上，排囊，即今排袋也。排，蒲拜切。系布索于马尾，又为兵

车，专毅弓弩，克期会战。乃令马车居前，顺风鼓灰，贼不得视，因以火烧布，[布]燃马惊，奔突贼阵，因使后车弓弩乱发，钲鼓鸣震。群盗波骇破散，追逐伤斩无数，枭其渠帅，郡境以清。

又曰：皇甫嵩讨黄巾贼张角，嵩保长社。贼来围城，嵩兵少，军中皆恐，乃召军吏谓曰："兵有奇变，不在众寡。今贼依草结营，易为风火。若因夜纵火，必大惊乱。吾出兵击之，其功可成。"其夕遂大风，嵩乃约勒军士皆束炬乘城，使锐士间出围外，纵火大呼，城上举燎应之，嵩因鼓而奔其阵，贼惊乱奔走。嵩进兵讨之，与角弟梁战于广宗。梁众精勇，嵩不能克。明日，乃闭营休士，以观其变。知贼意稍懈，乃潜夜勒兵，鸡鸣驰赴其阵，[战]至晡时，大破之。

《吴志》：刘表死，曹公克荆州，得刘琮水军，沿流东下。吴主孙权遣周瑜领兵逆曹公，遇于赤壁。初一交战，曹公军败退，引次江北。瑜等在南岸。瑜部将黄盖曰："今寇众我寡，难与持久。然观[操]军方连船舰，首尾相接，可烧而走。"乃取蒙冲斗舰数十艘，实以薪草，膏灌其中，裹以帷幕，上建牙旗，先书报曹公，欺以欲降。又先备走舸，各系大船后，因风相次俱进。曹公军吏士皆延颈遥观，指言盖降。[盖放]诸船，同时发火。时风盛猛，悉延烧岸上营落。顷之，熛焰涨天，熛，音标。火飞也。人马烧溺死者甚众，遂败退(耳)。

《魏志·诸葛诞传》曰：太傅司马宣王潜军东伐，以诞为镇东将军。后毋丘俭反，大为攻具，昼夜五六日攻南围，欲决围荡出。围上诸军，临高以发石车火箭，逆烧破其攻具。

《晋书》：王浚伐吴。吴人于江险碛要害之处(普)[皆]以铁锁横截之。又作铁锥长丈余，暗置江中以逆拒船。先是羊祜获吴间谍，具知情状。浚乃作大筏数十(亦)方，百余步，缚草为人，被甲持杖。令善水者以筏先行，筏遇铁锥，辄著筏去。又作火炬长十余丈，大数十围，灌以麻油。在船前遇锁燃炬烧之。须臾，融液断绝，于是船无所碍。

《晋中兴书》曰：殷浩北伐，江逌为长史。及丁零反叛，浩军震惧。姚襄去军十里结草为营，方欲击浩，浩甚怀忧。令逌(代)[伐]之，逌曰："今兵非不精，而众少于羌，且堑栅甚固，难与校力。"乃取数百鸡以长绳连之，脚皆系火，一时驱放，以兵遏后，群鸡骇散，一时飞过堑并集羌营，皆燃。因其惊乱，纵兵击之，襄遂摧退。

《宋书》：王玄谟围滑台，城内多茅屋。众皆曰："宜以火箭烧之。"

又《殷琰传》曰：琰与刘勔相持，勔用茅苞土掷以塞堑，掷者如云，城内乃以火箭射之。

又曰《良吏·杜慧度传》曰：慧度为交州刺史。卢(修)[循]袭破合浦，径向交州。慧度自登高舰，合战，放火箭雉尾炬，(修)[循]众[舰]俱然，一时溃散。

《齐书·宗室》：(修)[始]安王遥光反，诏太子右卫率左兴盛屯东府东离门。众军围东城台军，射火箭烧东北角楼，至夜城溃。

(《陈书》)[《南史》]曰：武帝时，江东梁将王琳率兵东下，陈遣大将侯瑱等拒之。瑱以琳军威方盛，乃引军入芜湖，避之，是时西南风至急，琳谓得天时，将取扬州，侯瑱得徐出芜湖以蹑其后。比及兵交，放火，西南风翻为瑱用。琳兵放火燧以掷瑱船者，返烧其船，琳兵溃乱，(透)[投]水死者十二三，其余皆弃船上岸，为陈军所杀殆尽。

《北史》曰：李询仕周，迁司卫上士。武帝幸云阳宫，委以留府事，卫王直作乱，焚肃章门，询于内益火，故贼不得入。武帝善之。

(《后周书》曰：遣将伐高齐，齐将)[《北齐书》曰：二月，周师来寇，遣]段韶与太尉兰陵王长恭同往扞御。至西境。有柏谷城者，乃[敌之]绝险，(古)[石]城千仞，诸将莫肯攻围。韶曰："分北、河东，势为国家之有，若不去柏谷，事同痼疾。计彼援兵，会在南道，今断其要路，救不能来。且城势虽高，其中甚狭，火弩射之，一朝可尽。"诸将称善，遂鸣鼓而攻之，城溃，获仪同薛敬礼，大斩获首虏，

仍城华谷，置戍而还。

《隋书》曰：文帝时，高(颎)[颎]献取陈之策曰："江南土薄，舍多竹茅，所有储积，皆非地窖。密遣行人，因风纵火，待彼修立，复更烧之。不出数年，自可财力俱尽。"帝行其策，由是陈人益弊。

《通典》曰：火兵：以骁骑夜衔枚，缚马口，人负束薪、麻蕴，怀火直抵敌营，一时举火，营中惊乱，急而乘之，静而勿攻。凡火攻，皆因天时燥旱，营舍茅竹积聚粮军营于稿草宿莽之中，因风而焚也。

又曰：火兽：以艾熅火熅，於问切。置瓢中，瓢开四孔，系瓢于野猪、獐鹿项下，针其尾端，向敌营而纵之，奔入草中，瓢败火发。

又曰：火禽，以胡桃剖分，空中，实艾火，开两孔，复合系野鸡项下，针其尾而纵之，奔入草中，器败火发。

又曰：火盗，遣人(暗伏)[音、服]与敌人同者，夜窃号逐便怀火偷入营，焚其积聚，火发，必乱而出。

又曰：火弩：以擘张弩射及三百步者，以瓢盛火，符矢端，以数百张中夜齐射敌营中刍草、积聚。

又曰：以小瓢盛油，冠矢端，射城楼檐版木上，瓢败油散，因烧矢镞内中，射油散处，火立燃。复以油瓢续之，则楼檐尽焚。谓之"火箭"。

又曰：磨杏子中空，以艾实之，系雀足上，加火，薄暮群放，飞入城垒中栖宿，其积聚庐舍，须臾火发，谓之"火杏"矣。

水 攻

《孙子》曰：以水佐攻者强。水以为卫，故强也。水可以绝而[不]可以夺。水但以绝其敌道，分敌军，不以夺敌蓄积。

《史记》曰：汉王遣韩信已定齐临淄，遂东追齐王田广至高密。项羽使龙且将二十万救齐。田广、龙且并军且，子余切。与信战，未合。人或说龙且曰："汉兵远斗，穷寇力战，其锋不可当。齐、楚自居其地战，兵易败散。不如深壁，令齐王使臣招所亡城，亡城闻其

王在，楚来救，必反汉。汉兵二千里客居齐，齐城皆反之，其势无所得食，可无战而降也。"龙且曰："吾救齐不战而降之，吾何功？今战而胜之，齐之半可得，何为止！"遂战，与信夹潍水阵。(维)[潍]，音惟。韩信乃夜令人为万余囊盛沙，壅水上流，引军半度，击龙且，佯不胜，还走。龙且果喜曰："固知信怯也。"遂追信度水，信使人决壅囊，水大至，龙且军大半不得渡。即急击之，杀龙且。[龙且]水东军遂败走。

《后汉书》曰：董卓将兵三万讨先零羌，为羌胡所围，粮食乏绝，进退逼急。乃于所度水中伪立鄢以捕鱼，鄢，音偃。而潜从鄢下过军，比贼追之，决水，深不得渡。时众军败退，惟董卓全师而还也。

又曰：曹操围吕布于下邳，引沂、泗二水灌城，克之。

又曰：光武至邯郸，故赵缪王子林缪王景七代孙，名元。前书曰：元坐杀人，为大鸿胪所奏，谥曰：缪。音谬。《东观记》曰：林作临字。说光武曰："赤眉今在河东，但决水灌之，百万之众可使为鱼。"

《南史》曰：齐高帝新践祚，恐魏致讨，以送刘昶为辞，以为军冲必在寿春，非垣，崇祖莫可为捍。徙为豫州刺史，监二州诸军事，封望蔡侯。建元二年，魏遣刘昶攻寿春，崇祖乃于城西北立堰，塞肥水，起小城，使数千人守之，谓长史封伯曰："虏必悉力攻小城，若破此堰，放水一激，急逾(二)[三]峡，自然沉溺。岂非小劳而大(制)[利]耶？"及魏军由西道集堰南，分军东路内[肉]薄攻小城。崇祖著白纱帽，肩舆上城，手自转式。日晡时，决小埭，水势奔下，魏攻城之众，溺死千数，大众退走。

《梁书》曰：魏降人王足陈计，求堰淮水以灌寿阳。足引北方童谣曰："荆山为上格，浮山为下格，潼江为激沟，并灌钜野泽。"帝以为然，使水工陈承伯、材官将军祖暅视地形。咸谓"淮内沙土漂轻，不坚实，其功不可就。"帝弗纳，发徐、杨人，(卒)[率]二十户取五[丁]以筑之。假康绚节，督淮上诸军事，并[护]堰作，役人及战士有众二十万。于钟离南起浮山，北抵峰石，依岸筑土，合脊于中流。

十四年四月，堰将合，淮水漂没，复决溃，众患之。或谓江、淮多有蛟，能乘风雨，决坏岸崖，其性恶铁，因是引东西二冶铁器，大则釜鬲，小则钁锄，数千万沉于堰所。犹不能合，乃伐树为干，[填]以巨石加土其上。缘淮百里内，岗陵木石，无巨细[必]尽，负担者肩穿，夏日疾疫，死者相枕，蝇虫昼夜声[相]合。武帝愍之，遣尚书右仆射袁昂、侍中谢举假节慰劳，并加蠲复。是冬寒甚，淮、泗尽冻，士卒死者十有七八。帝遣赐以衣裤。十二月，魏遣将杨大眼[扬]声决堰，绚命诸军撤营，露次以待之。遣其子悦挑战，斩魏咸阳王府司马徐方兴，军小却。十五年四月，堰成。其长九里，下阔一百四十丈，上广三十五(尺)[丈]，高二十丈，深十九丈五尺。夹之以堤，并树杞、柳，军人安堵，列居[其上]。其水清洁，俯视居人、坟墓，了然皆在其下。或谓绚曰："四渎，天所以节宣其气，不可久塞。若凿湫东注，则游波宽缓，堰得不坏。"绚然之，开湫东注，(人)[又]纵反间于魏曰"梁所惧开湫"。魏人信之，果凿山深五丈，开湫北注，水日夜分流，湫犹不减。其月，魏军竟溃而归。水之所及，夹淮方数百里地。魏寿阳城戍稍徙，顿八公山，北南居人散就冈垄。初，堰起徐州界，刺史张豹子，谓已必尸其事。既而绚以他官来监作，豹子甚惭。由是谮绚与魏交通，帝虽不纳，犹以军事征绚。寻除司州刺史，领安陆太守。绚还后，豹子不修堰，至其秋淮水暴涨，堰坏，奔流于海，杀数万人。其声若雷，闻三百里，水中怪物，随流而下，或人头鱼身，或龙形马首，殊类诡状，不可胜名。

《陈书》曰：闽中守陈宝应举兵反，据建安、晋安二郡界，水陆为栅。将军章昭达讨之，据其上流，命军士伐木带枝叶为筏，施拍拍，普伯切。于其上，缀以大索，相次列营，带夹两岸。宝应数挑战，昭达按甲不动。俄而暴雨，江水大涨，昭达放筏冲突，水栅尽破。又出兵攻其步军。宝应大溃，遂克定闽中。

又曰：欧阳纥据岭南反，遣将章昭达督众军讨之。纥乃出，栅涯口，涯，音崖。多聚沙石，盛以竹笼，置于水栅之外，用遏舟舰。昭

达居其上流，装舰造舟，以临贼栅。又令军人衔刀，潜行水中，斫竹笼，篾皆解。因纵大舰随流突之，贼众大败，因擒纥。

《三国典略》曰：东魏慕容绍宗、高岳等堰洧水以灌颍川。时有怪兽每冲坏其堰，岳等悉众苦攻，分休迭进，王思政身当矢石，与士卒同其劳苦。属以大雪，岳众多死，岳等乃作铁笼杂兽，用（厌）[压]水神。

《后周书》曰：太祖遣大将军赵贵帅军至穰，兼督诸州兵以（授）[援]王思政。高岳起堰引洧水以灌城，自颍川以北皆为陂泽，救兵不得至。

《唐书》曰：武德中，刘黑闼据河北反，太宗率兵讨之。先遣堰治水，上流浅，令黑闼得渡。及战，遽令决堰，水至深丈余。贼徒既败，争渡水，溺死者数千人，咸以为神。黑闼与二百余骑奔于突厥，悉虏其兵众，河北复平。

又曰：武德中，李靖随河间王孝恭讨萧铣，属江水泛（长）[涨]，诸将皆请停兵以待水退。靖谓孝恭曰："以速为神机者，时不可失。今若乘水涨之势，倏忽至其城下，可谓疾雷不及掩耳，兵家上策也。"孝恭从之，进兵次夷陵。铣将文士弘屯清江，靖与之决战，大破贼军。仍率所部星驰进发，营于荆州城下。弘既败，铣众莫不震詟。靖又破其将杨君茂、郑秀等，遂围城数重。其夜，铣遣使请降，靖即入据其城，号令严肃，军无私焉。

《淮南子》曰：始智伯率韩、魏（三）[二]国伐赵，[围]晋阳，决[晋]水而灌之。城中缘木而处，悬釜而炊。襄子谓张孟谈曰："城[中]力已尽。粮食匮，武夫病，为之奈何？"张孟谈曰："亡不能存，危不能安，无为贵智。臣请试潜行，伏行也。见韩、魏之君而约之。"乃见韩、魏之君说曰："[臣]闻之：唇亡而齿寒。今智伯率二君而伐赵，赵将亡矣，则[二]君为之次矣，今而不图之，祸将及二君。"二君曰："智伯之为人，粗中而少亲。我谋而泄，事必败，为之奈何？"张孟谈曰："言出二君之口，入臣之耳，人孰知之者乎？且同情相成，

同利相死,[二]君亦图之!"二君乃与孟谈谋,阴与之盟。张孟谈乃报襄子,至期日之夜,赵民(煞)[杀]守堤之吏,决水灌智伯[军]。智伯军救水而乱,韩、魏翼而击之,襄子卒犯其前,大败智伯军,杀其身而三分其国。

《太白阴经·水攻具》篇曰:以水佐攻者强,水因地而成势,为源高于城,本大于末,可以遏而止,可以决而流。故晋水可以灌安邑,汾水可以浸平阳。先设水平,测其高下,可以漂城、灌军、沉营、杀将。

又曰:水平槽长二尺四寸,两头及中间凿为三池。池横阔一寸八分,长一(寸)[尺],深一寸二分,分间相去一(尺)[寸]五分。中间有通水渠,阔二分,深一寸三分。池各置浮木,木阔狭微小施池,匡厚二分,上建立齿,高八分,阔一寸七分,厚一分。槽下置转关,脚高下与眼等。以水注之,三池浮木齐起,眇目视之,齿齐平,则为天下准式。十步,一里,乃至数十里,目力所及,置照版度竿,亦[以]白绳计其尺寸,则高下、丈尺、分寸可知。

又曰:照板,形如方扇,长四尺,下二尺黑,上二尺白,阔三尺,柄长二丈,刻作二百寸,二千分,每寸内小刻其分。随向远近高下立竿,以照板映之,眇目视,三浮木齿及照板,又以度竿上尺寸为高下,递而往[视],尽寸相承,则山岗、沟涧、水源高下深浅,可以分寸而度。

太平御览卷第三百二十二

兵部五十三

胜

《孙子》曰：夫未战而庙[算]胜者，得算多也；未战而庙[算]不胜者，得算少也。多算胜，少算[不胜]，而况无算乎？吾以此观之，胜势见也。吾以此道观之，是兵无成势，无常形，临时变化，不可预传，故曰：料敌在心，察机在目也。

又曰：昔之善战者，先为不可胜，以待敌之可胜。不可胜在己，守备也。可胜在敌。自循理以备敌之虚解。故战者能为不可胜，不能使敌之必可胜也。

又曰：见胜不过众人之所知，非善之善也。战胜而天下曰(军)善，非善之善也。交争胜也。太公曰：争胜白刃之中，非良将也。故举秋毫不为多力，见日月不为明目，闻雷霆不为聪耳。见易闻也。古人所谓善战者，胜胜易胜者也。原微易胜，攻其可胜，不攻其不可胜也。故善战者之(所)胜也，无[智名]，[无]勇攻。敌兵形未成，(服)[胜]之无赫赫之功也。

又曰：善战者立于不(敢)败之地，而不失敌之败(胜)(者)也。故胜兵先胜而后求战，败兵先战而后求胜。善用兵者修道而保法，故能为胜(攻)[败]之政。善用兵者，先自修理，为不可胜之道，保法度，不失敌之乱败也。

又曰：胜可知而不可为也。敌虽众可使无斗，故策之而知得失之计，候之而知动静之理，形之而知死生之地，角之而知有余不足之处。角，量之也。故兵形之极至于无形，无形则深渊不能窥也，而智者不能谋也。因形而作胜于众，众不能知也。因地形而立胜。人皆

知我所以胜之形，而莫知吾所以制胜之形也。人皆知吾所以胜，莫知吾因敌形制此胜也。故兵战胜不复，不量重复。而应形无穷。动而应也。

又曰：故知胜有五：知可战与不可以战者胜；能料知敌情，审其虚实者胜。知众寡之用者胜；言兵之形，有众而不可击寡，或可以弱制强而能变之者胜也。《春秋传》曰：师克在和不在众。上下同[欲]者胜；言君臣和同、勇而欲战者，胜也。故孟子曰：天时不如地利，地利不如人和。以虞待不虞者胜；虞，度也。以我有法度之师，击彼无法度之兵。故《春秋传》曰：不备不虞，不可以出师。将能而君不御者胜。《司马法》曰：进退惟时，无曰寡人。将既精能，晓练兵势，君能专任，事不从中御也。此五者，知胜之道。故曰：知己知彼，百战不殆。审知彼[己]强弱之势，虽不至百战，实无危殆也。不知彼而知己，一胜一负；虽不知敌之形势，恃己能克之者，胜负各半也。不知彼，不知己，每战必殆。外不料敌，内不知己，用战必危也。知地知天，胜乃可全。知地形之便，知天时孤虚向(皆)[背]晦暝风云之谲诡也。

《左传》曰：楚屈瑕将盟贰、轸。贰、轸，二国名也。郧人军于蒲骚，楚莫敖曰：莫敖，官名。"盍请济师?"盍，何也。何不济益师? 对曰："师克在和，不在众也。商、周之不敌，君之所闻也。"武王有乱臣十人，纣有亿兆之众。莫敖曰："卜之。"对曰："卜以决疑，不疑何卜?"遂败郧师于蒲骚。

又曰：秦伯以璧祈战于河。注：祷河求胜也。

《战国策》曰：魏武侯问吴起曰："兵以何胜?"曰："以理为胜。"曰："不在众乎?"起曰："法令不明，赏罚不信，闻鼓不进，闻金不止，虽有百万之师，何益于用? 所为理者，居则有礼，动则有威，进不可当，退不可追，前却如节，左右应麾。虽绝成阵，虽散成行，投之无所往，天下莫敢当。"

又曰：韩、魏之君不朝于齐。邹忌为齐相，田忌为将，使田忌伐魏，三战三胜。

又曰：或说齐闵王曰："臣之所闻战攻之道于师者，虽有百万之军比之堂上，虽孙吴之将擒之户内，千丈之城拔之樽俎之间，百尺之冲折之衽席之上。"

《史记》曰：张仪东说闵王曰："臣闻之，齐与鲁三战而鲁三胜，国以危亡随其后，虽有胜之名，而有危之实，是何也？齐大而鲁小也。"

又曰：魏以太子申为上将军伐齐，过外黄，徐子谓太子曰："自将攻齐。"太子曰："胜则富不过有魏。贵不益为王。若战不胜齐，则万世无魏矣。此臣之百战百胜[之术]也。"

《汉书》曰：广武君谓韩信曰："成安君有百战百胜之计，一日而失之，军败鄗下，身死泜水上。"

又曰：高祖置酒洛阳南宫。上曰："吾所以有天下者何？项氏之所以失天下者何？"王陵对曰："陛下嫚而侮人，项羽仁而敬人。然陛下使人攻城略地，所降下者因以与之，天下与同利也。项羽妒贤嫉能，有功者害之，贤者疑之，战胜而不与人功，得地而不与人利，此则所以失天下也。"上曰："公知其一未知其二，夫运筹策于帷幄之中，决胜于千里之外，吾不如子房；镇国家，抚百姓，给馈饷，不绝粮道，吾不如萧何；连百万之军，战必胜，攻必取，吾不如韩信。三者皆人杰也，吾能用之，此吾所以取天下也。"

《后汉书》曰：河南尹朱隽为董卓陈军事。卓折隽曰："我百战百胜决于心，卿勿妄说且污我刀。"隽曰："昔武丁之明犹求箴谏，况如卿者？而欲杜人之口乎？"卓曰："戏之耳。"隽曰："不闻怒言，可以为戏？"卓谢隽。

又曰：吴汉与公孙术战于广都、成都之间，八战八克，遂军其郭中。

又《光武诏》曰：将军邓禹与朕谋谟帷幄，决胜千里。

《魏志》曰：钟会为镇西将军，假节都督关中诸军事。诏曰："会所向摧弊，前无强敌，缄制众城，纲运罗送。蜀之豪帅，面缚归命，谋无遗策，举无废攻。凡所降诛，动以万计，全胜独克，有征无战，拓平西夏，方隅清晏。以会为司徒。"会喜之。

又曰：魏国初建，荀攸为尚书令。攸深密有智防，自从太祖征

伐，常谋谟帷幄，时人及子弟莫知其所言。

《吴志》曰：魏使司马曹仁将步骑数万向濡须，[仁]伪欲东攻羡溪；朱桓[分兵]赴羡溪，仁进军拒濡须，桓闻[遣使]追羡溪兵，[兵]未到而仁兵奄至。诸将各惧，桓喻之曰："凡两军相对，胜负在将，不在众寡。因与诸军共据高城，[南]临大江，北背山陵，以逸待劳，为主制客。此百战百胜之势。"桓因偃旗鼓，外示虚弱以诱仁。仁果分遣将军王双等乘油船袭中洲。桓身自距之，生获双等送武昌。

《晋书》曰：王浚为平东将军，假节，都督梁、益诸军事，率兵伐吴。浚兵不血刃，攻无坚城，夏口、武昌无相支抗。

又曰：征西将军庾亮以石勒新死，欲移镇石城，为灭贼之渐。事下公卿，蔡谟议曰："自石勒初起，则季龙为牙爪，百战百胜，遂定中国。"

又曰：嵇绍，字延祖。初为侍中，从驾至汤阴。绍之行也，侍中秦准(谒)[谓]曰："今日向难，卿有佳马否?"嵇正容曰："大驾亲[征]，以正伐邪，理必有征无战。若皇舆失守，臣节有在，骏马何为!"闻者莫不叹息。

《汉晋春秋》曰：诸葛亮至南中，所在战捷。闻孟获者，为胡、汉所服，募生致之。既得，使观于营阵之间。问曰："此军何如?"获曰："[向者]不知虚实，故败。[知]定易胜耳。"亮纵使更战，七纵七擒。

《傅巽别传》曰：卫臻领举傅巽为冀州刺史。文帝曰："巽，吾腹心臣也，不妨与其筹算帷幄之中，决胜千里之外。不可授以远任。"

萧方等《三十六国春秋》曰：西凉从事中郎将张谦言于凉王曰："太祖以天挺神姿，应桓文之运，流漂万里，于西夏所推平索嗣，兵不血刃，取酒泉有易俯拾，为殿下开创崇规，贻厥孙谋者也。"

又曰：秦王坚下书曰："吴人敢恃江山，僭称大号，轻率犬羊，屡窥王境，朕将巡狩省方，登会稽而朝诸侯，复禹绩而定九州。今王师所拟，必有征无战，伐国存主，义同一[体]。"

又曰：夏王勃勃，自号贞兴元年。夏，刻石都南，颂其功曰："我皇诞命世之期，应天纵之德，仰协时来，俯从民望。属奸豪鼎峙之际，群凶岳立之秋，故运筹命将，举无遗策，亲御六戎，即有征无战，五稔之间而治风宏阐矣。"

《春秋齐后语》曰：邹忌与田忌不相善，公孙阅谓邹忌曰："何不令人操十金卜于市？曰：'我田忌之人也，三战三胜，声威天下，欲为大事亦吉乎？'卜者出，因令人捕之，验其辞于王之所。"邹忌从之，田忌惧，无以自白。遂以其徒袭攻临淄，欲杀邹忌，不胜而奔。

《梁后略》曰：君子普通之末，边疆告惊，寇虏烽煽，击柝相闻，上皇乃运筹帷中，迈曹王之远略，决胜千里，超光武之悬谋。故能师不疲劳，献捷相系。

《老子》曰：善胜敌者不争。

又曰：战胜则以丧礼处之。

《管子》曰：天时地利，其数多少，其要必出于计数。故凡攻伐之为道也，计必先定于内，然后兵出乎境。计未定[内]而出兵，是则战之自毁也。故不明敌人之政不能加也，不能加兵。不明敌人之积不能约也，不能约誓。不明敌人之士不先阵[也]。是故以众击寡，以理击乱，以富击贫，以能击不能，以教卒练士击欧众白徒，故百战百胜也。

《孙卿子》曰：舜伐有苗，禹伐共工，汤伐有夏，文王伐崇，武王伐纣，远方慕义，兵不血刃。

《墨子》曰：墨子为守，使公输般服而不肯以兵知，墨子虽善为兵，而不肯以知兵闻也。善持胜者，以强为弱。故老子曰："道冲而用之，有弗盈也。"

邓析子曰：百战百胜，黄帝之师也。

《韩诗外传》曰：孔子叹平仲，云："身不出樽俎之门，而折冲千里之外。"注云：冲，冲车也。谓敌人设此以临城，大臣谋于庙堂，遥以折之。

《古司马兵法》曰：大捷不赏，上下皆不伐善，捷，胜也。一军皆胜，

上下均不取功也。上苟不伐善，则不骄矣；下苟不伐善，则不差矣！上下不伐善[若]此，让之至也。大败不诛，上下皆以不善在己也。败者，负也。一军奔北，人皆有罪，故不诛上下俱过。上苟以不善在己，必悔其上过；[下苟以不善在己，必远其罪。]上下分恶若此，让之至也。

又曰：凡战，以力久，以气胜；有力者，任重则可久，可久即可息。以固久，以危胜；营垒次舍器械具备，行阵坚守可以久也，乘危乃以死易生，战攻之心定矣。本心固，新气胜；无畏疑，心本坚固，养而不劳，故能制胜。以甲固，以兵胜。甲以(杵矣)[卫刀矢]，兵以斩(筱)[获]敌，甲坚则固，兵利则胜也。凡车以密固，徒以坐(胜)[固]，车卒众则密阵，步卒众则坐阵。(兼)以重固，以轻胜。车步兼也，以重卒持坚，以轻卒攻取，故胜也。

《吕氏春秋》曰：凡兵也者，贵其因也。因也者，因敌之险以为己固，因敌之谋以为己事，能审因而加胜，则不可穷矣。(胜)不可穷之谓神，神则能而不可胜矣。夫兵不贵胜而贵不可胜。不可胜在己，可胜在彼。圣人必在己者不在彼。故执不可胜之术以遇不胜之敌，若此者则兵无失矣。

又曰：赵襄子攻翟，胜。左人、中人，使者使谒之。下左人、中人城。今卢奴西山中有二城也。襄子方食抟饭，有忧色。左右曰："一朝而下两城，此人之所喜，今君有忧色，何也？"襄子曰："江河之大也，大，长也。不过三日，飘风暴雨，日中不须臾。今赵氏之德行[无]所积，又一朝而两城下，亡其及我乎？"孔子闻之，曰："赵氏其昌乎？"夫忧所以为昌也，喜所以为亡也；胜非其难者也，持之其难。昔贤主以此持胜，故其福及后世。齐、荆、吴、越皆尝胜矣，而卒取亡，不达乎持胜也。惟有道之主能持胜。

《淮南子》曰：文王知而好问，故圣；武王勇而好问，故胜。夫乘众人之智则无不任也，用众人之力则无不胜也。

《三辅故事》云：娄敬为陇西太守，过洛阳见[刘晔]曰："臣之策，能不血刃，坐羁匈奴头着陛下前。"

《卫公兵法》曰：夫决胜之策者，在乎察将之才能，审敌之强弱，料地之形势，观时之宜利。先胜而后战，守地不失，是谓必胜之道

也。若上骄下怨，可离而间；营久卒疲，可掩而袭；昧去迷就，士众猜嫌，可振而走；重进轻退，遇逢险阻，可邀而取。若敌人旌旗屡动，士马数顾，其卒或纵或横，其吏或行或止，追北恐不利，见利恐不获，涉长途而未息，入险地而不疑，劲风剧寒，剖冰济水，烈景炎热，倍道兼行，阵而未定，舍而未毕，若此之势，乘而击之，此所谓天赞我也，岂有不胜乎？

《张协诗》曰：畴昔怀微志，（惟）[帷]幕窃所经。何必操干戈，堂上有奇兵。

陆士衡《辩正论》曰：攻无坚城之将，战无交锋之虏。

又曰：由是二邦之将，丧气挫锋，势衄财匮，而吴宛然坐乘其弊。

太平御览卷第三百二十三

兵部五十四

败

《易》曰：投戈散地，六亲不相能保。

《礼记》曰：谋人之军，败则死之。

又曰：鲁庄公及宋人战于乘丘，马惊败绩。

《左传》曰：凡师，敌未阵曰败某师，皆阵曰战，大崩曰败绩，得俊曰克，覆而败之曰取某师，京师败绩曰王师败绩于某。

又曰：夫其败也，如日月之蚀，何损于明？

又曰：及齐师战于乾时，我师败绩。

又曰：公及邾师战于升陉，我师败绩。

又曰：郑伯侵陈，大获。往岁，郑伯请成于陈，五父谏曰："亲仁善邻，国之宝也。"陈侯不从，故败。

又曰：晋侯及秦师战于彭衙，秦师败绩。

又曰：宋师与齐师战于献，齐师败绩。

又曰：息侯伐郑。郑伯与战于境，息师大败而还。君子是以知息之将亡也。不度德，郑庄贤也。不量力，息国弱也。不亲亲，郑息同姓之国。不征辞，不察有罪，言语相恨，当明征其辞，以审曲直，不宜轻斗。犯五不韪，是也。而以伐人，其丧师也，不亦宜乎！

又曰：郑师伐宋，将战，华元杀羊食士，食，音嗣。其御羊斟不与。及战，斟曰："畴昔之羊，子为政，畴昔，犹前日也。今日之事，我为政。"与入郑师，故败。

又曰：狄人伐卫，战于荥泽，卫师败绩，卫侯不去其旗，是以甚

败。遂灭卫。

《史记》曰:管仲曰:"吾尝三战三北,鲍叔不以我为怯,知我有老母也。"

又曰:曹沫者,鲁人也。以勇力事鲁庄公,为鲁将。与齐战,败,三北,鲁庄公犹复以为将。

又曰:齐桓公许与鲁会于柯,而盟于坛上。曹沫执匕首劫齐桓公,问曰:"子将何欲?"曹沫曰:"齐强鲁弱,大国侵鲁,亦以甚矣!今鲁城坏即压齐境,君其图之?"桓公乃许尽还鲁之侵地。曹沫三战所亡,尽复于鲁。案《鲁连与燕将书》曰:曹子为将,三败三北,亡地五百里。向使曹子计不及顾,义不旋踵,刎颈而死,则亦不免为败军擒将矣。曹子弃三北之耻而退与鲁君讨桓公,朝天下,会诸侯,三战之所亡,一朝而复之,天下震动,诸侯惊骇,威加吴越。

又《晋世家》曰:襄公墨[衰](经)[绖]。四月,败秦师于殽,虏秦王将孟明视、西乞术、白乙丙以归。遂墨以葬文公。夫人秦女,谓襄公曰:"秦欲得其三将戮之。"公许,遣之。先轸闻之,谓襄公曰:"患生矣!"轸[乃]追秦将。[秦将]渡河,已在船中,顿首谢,卒不及。后三年,秦果使孟明等伐晋,报殽之败也。

《后汉书》曰:建武三年春正月甲子,以偏将军冯异为征西大将军,杜茂为骠骑大将军,大司徒邓禹及冯异与赤眉战于回谿,禹败绩。后闰九月乙巳,冯异与赤眉战于崤底,大破之。

又曰:邓禹与赤眉战败,帝征禹还。敕曰:"赤眉无谷,自当来东,吾折捶笞之,非诸将忧也。无得进兵。"禹惭于受任而功不遂,数以饥卒徼战,辄不利。徼,古尧切。

又曰:邓禹与车骑将军邓弘击赤眉,遂为所败,众皆死散。禹独与二十四骑还诣宜阳,谢上大司徒、梁侯印绶。有诏归侯印绶。数月,拜为右将军。

又曰:邓弘与赤眉大战移日,赤眉佯败,弃辎重走。车皆载土,以豆覆其上,兵士饥,争取之。赤眉引兵还击弘,弘军溃乱。冯异

与禹合兵救之，赤眉小却。异以士卒饿倦，可且休，禹不听，复战，大为所败。

又曰：庞萌反，攻杀楚郡太守，引军袭败盖延，盖延走，北渡泗水，破舟楫，坏津梁，仅而得免。

又曰：公孙瓒为袁绍所围，遣子续求救于黑山贼[帅]张燕，燕卒兵十万，三道来救瓒。未及至，瓒及密使行人赍书告续曰："昔周末丧乱，僵尸蔽地，以意而推，犹为否也。不图今日亲当其锋。袁氏之攻，状若鬼神，梯(衝)[冲]舞于楼上，鼓角鸣于地中，日穷月急，不遑启处。汝当碎首于张燕，驰以告急。父子天性，不言而动。言相感也。且厉五千铁骑于北隰之中，下(隰)[濕]曰隰。起火为应，吾当自内出，奋扬威武，决命于斯。不然，吾亡之后，天下虽广，汝欲求安足之地，其可得乎?"绍候得其书，《献帝春秋》：候者得书，诏使陈琳易其辞，即此书。如期举火，瓒以为救至，遂便出战。绍设伏，瓒遂大败，复还保小城。自计必无全，乃悉缀其姊妹妻子，然后引火自焚。

《魏志》曰：太祖在长安，使曹仁讨关羽于樊，又遣于禁助仁。秋大霖雨，汉水溢，平地水数丈，禁等七军皆没。禁与诸将登高望水，无所回避。羽乘大舟就攻，禁遂降。会孙权擒羽，获其众，禁复在吴。文帝践祚，权称藩，遣之，帝引见，禁须发皓白，形容憔悴。涕泣顿首。帝慰喻以荀林父孟明视之事。《魏书》《诏》曰：昔荀林父败绩于邲，孟明丧师于鄢，晋秦不替，使复其位。后晋获狄(士)[土]，秦霸西戎，区区小国，犹尚若斯，而况万乘乎！樊城之败，水灾暴至，非战之咎也，其复禁等官。拜安远将军。

《晋书》曰：陆机河桥之战，始临戎而牙旗折，意甚恶之。列军自朝歌至于河桥，鼓声闻数百里，汉魏以来，出师之盛未尝有也。长沙王乂奉天子与机战于鹿苑，[机]军大败，赴七里涧而死者如积焉。

又曰：张骏为凉州牧。西域长史李柏请讨叛将赵真，为真所败。议者以柏造谋致败，请诛之。骏曰："吾每念汉世宗之杀王恢，

不如秦穆之赦孟明。"竟以减死论，群心咸悦。

又曰：孙恩为刘裕所击，穷蹙，乃赴海自沉，妖党及妓妾谓之水仙，投水从死者百数。余众以恩妹夫卢循为主。

又曰：卢循既败走，召妓妾问曰："我今将自杀，谁能同者？"多云："雀鼠贪生，就死实难。"有云："官尚当死，某岂愿生！"于是悉配诸辞死者，因[自]投于水。同党尽诛。

又曰：苻坚败走，刘牢之进屯鄄城，讨诸未服，河南诸城堡承风归顺者甚众。苻坚子丕据郵，为慕容垂所逼，请降，牢之引兵救之。垂闻军至，出新(兴)城北走。牢之与沛郡太守田次追之，行二[百]里，至五桥泽中，争取辎重，军稍乱，为垂所击，牢之败绩，士卒歼焉。牢之策马跳五丈涧，得脱。会丕救至，因入临济，集亡散，兵复少振。牢之以军败征而还。

又曰：苻坚败寿春，单骑遁还于淮北，饥甚。人有进壶飧豚髀者，坚食之大悦，曰："昔公孙豆粥，何以加也？"命赐帛十匹。

又曰：毋丘俭、文钦反。司马景王遣邓艾督太山诸军屯乐嘉。钦将攻艾，景王衔枚径造乐嘉。钦子鸯，年十八，勇冠三军，谓钦曰："及其未定，请登城鼓噪，击之可破也。"既谋而行，三噪而钦不能应，鸯退，相与引而东。景王谓诸将曰："钦走矣。"发锐军以追之。诸将曰："钦旧将，鸯小而锐，引军内入，未有失利，必不走也。"王曰："一鼓作气，再而衰，三而竭。鸯三鼓而钦不应，其势已屈，不走何待？"钦将遁，谓鸯曰："不先折其势，不得去也。"乃与骑十余冲锋陷阵，所向皆披靡，遂引去。王遣骁骑八千翼而追之。钦父子与麾下走保项。俭闻钦败，弃众宵遁淮南。安风津都尉追俭，斩之。

又曰：苻坚率众百万屯寿阳，列阵淝水。谢玄谓苻融曰："临水为阵，是不欲速战。请君稍却。"坚遂麾使阵退，众因乱不能止。玄以精锐决战。坚众崩溃，闻风声鹤唳，皆以为王师至，草行露宿，饥冻以死。获坚乘舆云母车，军资山积。

又曰：苻坚望八公山上草木皆类人形，又见王师部阵，谓融曰：

"此亦勍敌也。"怃然有惧色。及败，单骑遁于淮北，饥甚，人有进壶飧者，曰："臣闻白龙厌天(地)[池]之乐而见困豫且。今蒙尘之难，岂自天乎！"

《晋中兴书》曰：谢琰为会稽内史，督五郡事。隆安四年，孙恩攻上虞，进及(刑)[邢]浦。上党太守张虔硕战败于(刑)[邢]浦，人情震惧，群贼锐进，咸以宜持重严备，且列水军于南湖，又应分军设伏以待之。琰不听。外白贼至，时尚未食。琰曰："要先灭此寇而后食耳。"跨马而出。广武将军桓宝为前锋，果敢能战。杀贼甚多，而塘路迮狭，鱼贯不聚，贼于舰中傍射，前后断绝。琰至千秋亭，与二子肇、峻俱被害，宝亦死之。

又曰：刘道规及下邳太守孟怀玉等与桓玄战于峥嵘洲。义军乘风纵火，尽锐争先，玄众大溃，烧辎重夜遁。玄故将刘统、冯雅等聚党四百人，掩没浔阳城，建威将军刘怀肃讨平之。其党自相斩以降。玄入江陵，太守冯谈劝使更下战，玄[不从]，欲步出汉川，投梁州[刺史桓希]，而人情崩沮，不可复合。益州刺史毛璠弟璠卒，璠使其从孙祐之、参军费恬送璠丧，葬于江陵。璠弟子修之为玄屯骑校尉，玄计穷欲走汉中，修之诱以入蜀，遂与石康等乘舰溯江数十里，恬与祐之迎击玄。益州督护冯迁斫玄，玄曰："是何人耶？敢杀天子！"迁曰："欲杀天子之贼耳。"斩玄首并石康等五级，庾颐之及殿中监万盖、丁仙期皆死之。玄年六十，息升六岁，云："我是豫章王，诸军勿见杀。"遂送至江陵，市斩之。

《三十国春秋》曰：后燕慕容垂遣其子宝步骑七万伐后魏，战于参合陂，大败。宝以数千骑奔免，士众还者十一二。宝恨参合之败，屡言魏有可乘之机，由是自率大众伐魏。至参合，见往年战处，积骸如山，设吊祭之礼，死者父兄一时号哭，军中皆恸。垂惭愤呕血，因而寝疾，却还，道卒。

《宋书》曰：晋安王子勋举兵浔阳，宋将殷孝祖讨之。时贼据赭析。赭，音者。孝祖将进攻之，与贼合战，常以鼓盖自随，军中人相谓

曰："殷统军可谓死将也。今与贼交锋，而以羽仪自标显若此，射者十手攒射，欲不毙，得乎？"是日，于阵中流矢死。

又曰：王玄谟北围滑台，为魏军所追，大破之，流矢中臂。二十八年正月，还至历城，义恭与玄谟书曰："闻因败为成臂上疮，将非金印之征邪。"

《梁后略》曰：丙午，军帅萧方等至于长沙，河东王誉率左右七千人，置阵登高以御之。方等兵精众盛，暗江水满，争来赴战。俄尔之间，方等众溃，誉军以骑汨之，悉皆透水。方等与左右二百余人，驰往赴舟，舟中之指可掬，方等溺于江中。

《通典》曰：东魏大将齐神武与西魏大将周文帝战(印)[邙]山。时周文见齐神武出旗鼓，识之，乃(暮)[募]敢勇士三千，令贺拔胜总之，犯其军。适与齐神武相遇，时募士皆用短兵接战，胜，逐齐神武数里，刃垂及之。会胜马为流矢所中，死，比副骑至，齐神武已逸去。

《隋书》曰：高丽之役，[炀帝](之)使宇文述将兵东济萨水，去平壤三十里，因山为营。乙支文德复遣使伪降，请述曰："若旋师者，当奉高元朝行在所。"述见士卒疲弊，不可复战，又平壤险(困)[固]，卒难致力，遂因其诈而还。众半济，贼击后军，于是大溃不可禁止，九军败绩，一日一夜，还至鸭绿水，行四百五十里。初，渡辽九军三十万五千人，及还至辽东城，惟二千七百人。帝怒，以述等属吏，至东都，除名为民。

《唐书》曰：屈突通将自武关趋蓝田以赴长安。军过潼关，为刘文静所遏，不得进，相持月余。通又令显和以步骑万人夜袭文静，诘朝大战，义军不利。显和纵兵入我二栅而战者，往复数焉。文静为流矢所中，义军气夺，垂至于败。而文静游军数百骑自南山而来击其背，显和大败，匹马而归。通势弥蹙，自摩其颈曰："要当为国家受人一刀耳！"劳勉将士，未尝不流涕，人亦以此怀之。

又曰：安禄山之乱，哥舒翰领兵马步十五万，贼将崔乾祐会战。

初，哥舒翰造毡车，以毡蒙其车，以马驾之。画以龙虎之状，五色相宣，以金银饰其画兽之目及爪，将冲战焉。因其惊骇，拟从而掎角，攒戈矢而逐之。贼知其计，积薪刍于隘路，候毡车至，顺风纵火焚之，驾马奔骇，烧毡车，薪刍烟焰昏黑，两军不相辨。我师谓贼军在烟焰中，遂集弓弩并力射之。贼军抽退，尽日矢尽，方觉无贼。我师众从关门六七十里，路狭，北抵黄河，南是古岸排，蹴进不得。贼抽军从南山设疑，曳柴扬尘，以(同)[伺]罗诣，(直)[诸兵]习险，直(透)[渡]黄河古岸横截我师，我师败绩，沉河而死十有二三。

又曰：潼关之战，哥舒翰在河北高阜上观军阵进退之势。于时有般粮船在河北岸，左右言取船渡兵可得，遂令将船百余只，到南岸渡人，舟中之指可掬。登船争渡者不可胜数，每满即沉。如是登船沉者数十渡，余军尽散走，还入关。

《三国典略》曰：齐师既败，军士奔至江者，缚荻为筏，多被没溺，浮尸翳江，至于京。先是，童谣曰："虏马万匹入南湖，城南酒家使虏奴。"至是，梁军士以齐兵质酒，一人才得一醉。

又曰：周武伐齐，齐主亦于堑北列阵，谓高阿那肱曰："战是耶，不战是耶？"那肱曰："不如勿战，却守高梁桥。"安吐根曰："一把子贼，马上刺取掷著汾阳中。"诸内参曰："彼亦天子，我亦天子，彼能悬军远来，我何为守堑示弱？"齐主曰："此言是也。"使让那肱曰："尔富贵足，惜性命耶？"乃填堑南引。帝大喜。齐主亲战，东偏颇有退者，淑妃怖曰："军败矣！"穆提婆进曰："大家去，大家去！"齐主以淑妃奔高梁关。奚长乐谏曰："半进半退，战家常体，今兵众全整，未有伤败，陛下舍此安之？御马一动，人情惊扰，愿速还安抚。"齐主将从之，穆提婆引其肘(月)曰："[长乐]言，何可信？"齐众大溃。军资甲仗数百里间，委弃山积，在阵死者八千余人。齐主夜走至洪洞戍。

又曰：周遣大将军王轨破陈于吕梁，擒其司空南平郡公吴明彻、(北)徐州刺史董安公、程文季等，俘斩三万余人。初，轨潜于清

水入淮口，多(坚)[竖]大木以铁锁贯车轮，横截水流，遏断船[只]。萧摩河谓明彻曰："闻王轨锁下流，其两边筑城。今尚未立，若见遣击之，彼必不敢相拒。彼城若立，则吾属且为虏矣。"明彻乃奋髯曰："搴旗陷阵，将军事也；长算远略，老夫事也！"摩诃失色而退。一旬之间，我兵益至。摩诃又请明彻曰："今求[战]不得，进退无路，若潜军突围，未足为耻。愿公率步乘车舆徐行，摩诃领铁骑数千，(骑)[驱驰]前后，必当使公安达京邑。"明彻曰："弟之此计，乃良图也。然老夫受脤专征，不能战胜攻取，今被围逼，惭寡无地。且步军既多，吾为总督，必须身居其后，相率兼行。"遂欲破堰。大军以舫载马，北谯州刺史裴子烈议曰："若决堰下船，船必(顺)[倾]倒，不如前遣马出，于事为允。"会明彻疾笃，知事不济，遂从之。乃遣摩诃率马[军]数千前还。明彻决堰，乘水而退。至清口，水势渐微，船碍车轮，并不得渡。轨围而蹙之，明彻力穷就执。陈之锐卒，于是歼焉。

《卫公兵法》曰：或若军有贤智而不能用者，败；上下相亲而各述己长者，败；赏罚不当而众多怨言者，败；知而不敢击，不知而击之者，败；(利)地利不得而卒多战厄者，败；劳逸无别，不晓车骑之用者，败；觇候不审而轻敌懈怠者，败；行于险道而不知深沟绝涧者，败；阵无选锋而奇正不分者，败。凡此十败，非天之殃，将之过也。夫兵者，(乍)[宁可]千日而不使，不可一时而不胜。故白起对秦王曰："明王爱其国，忠臣爱其名。宁伏其重诛，不忍为辱军之将。"又严颜谓张飞曰："卿等无状，侵夺我州，有断头将军，无降将军也。"故二将咸重其名节，宁就死而不求生者，盖知败衄之耻，斯诚甚矣。

《说苑》曰：晋、荆战于邲，晋师败绩，荀林父将归请死。景公将许之，士贞伯曰："不可，城濮之役，晋胜于荆，夫文公犹有忧色。曰：子玉犹存，忧未歇也，困兽犹斗，况国相乎？及荆杀子玉，乃喜。今天或者大警晋也，林父之事君，进思尽忠，退思补过，社稷之卫

也。今杀之，是重荆胜也。"景公曰："善。"乃使复将。

潘安仁《(汧马)[马汧]督诔·序》曰：昔乘(兵)[丘]之战，县贲父御鲁庄公，马惊败绩。贲父曰："他日未尝败绩，今而败绩，是无勇也。"遂死之。

又曰：偏师裨将殒首覆军者，盖以十数。

太平御览卷第三百二十四

兵部五十五

招　降　诈降

招

《左传》曰：鲁叔弓帅师围费，弗克，败焉。为费所败。平子怒，令见费人执之以为囚俘。冶区夫曰："非也。区夫，鲁大夫也。若见费人，寒者衣之，饥者食之。为之令主，而供其困乏。费来如归，南氏亡矣。人将叛之，谁与居邑？若惮之以威，惧之以怒，人疾而叛，为之聚也。若诸侯皆然，费人无归，不亲南氏，将焉入矣？"平子从之，费人叛南氏。

《史记》曰：汉高帝初，陈豨反于代，豨，虚岂切。帝自往击之。至邯郸，喜曰："豨不南据漳水，北守邯郸，知其无能为也。"因问周昌曰："赵亦有壮士可令将者乎？"对曰："有。"见四人，四人谒，帝慢骂曰："竖子能为将乎？"四人惭伏。帝封之各千户，以为将。左右谏曰："从入蜀、汉，伐楚，功未遍行，今此何功而封？"帝曰："非汝所知。陈豨反，邯郸以北皆豨有，吾以羽檄征天下兵，未有至者，今惟独邯郸中[有此]耳。吾[胡]爱四千户，封此四人，以慰赵子弟！"皆曰："善。"

《汉书·西南夷传》曰：陆贾至南越，越王恐，顿首谢罪，愿奉明诏，长为藩臣，奉贡职。于是下令国中曰："吾闻两雄不俱立，两贤不并世。汉皇帝贤天子。自令以去帝制黄屋左纛。"因为之称蛮夷。

《后汉书》曰：岑彭与大司马吴汉等围洛阳数月。朱鲔等坚守

不肯下。帝以彭尝为校尉，令往说之。鲔在城上，彭在城下，相劳苦欢语如平生。彭因曰："彭往者得执鞭侍从，蒙荐举拔擢，常思有以报恩。今赤眉已得长安，更始为三王所反，皇帝受命，平定燕、赵，尽有幽、冀之地，百姓归(必)[心]，贤俊云集，亲率大兵，来攻洛阳。天下之士，逝其去矣。公虽婴城固守，将何待乎？"婴，绕也。谓以城自婴绕而守之。鲔曰："大司徒被害时，鲔与其谋，与，音预。又谏更始无遣萧王北伐，自知罪深。"彭还，具言于帝。帝曰："夫建大事者，不忌小怨。鲔今若降，官爵可保，况诛罚乎？河水在此，吾不食言。"指河水为信，言其明白也。彭复往告鲔，鲔从城上下云索曰："必信，可乘此上。"彭趣索欲上。趣，向也。鲔见其诚，即许降。后五日，鲔将轻骑诣彭。顾敕谓部将曰："坚守待我。我若不还，诸君径将大兵上辎辕，归郾王。"《更始传》，尹尊为郾王。乃面缚，与彭俱诣河阳。《东观记》曰：诸行在所河津亭。帝即解其缚，召见之，复令彭夜与鲔归城。明旦，悉其众出降，拜鲔为平狄将军，封扶沟侯。

《(蜀)[吴]志》曰：关羽围魏氏之樊，留兵将备公安及南郡。吴将吕蒙袭之，兵到南郡，羽下守将糜芳降。蒙入据城，尽得羽及将士家属，蒙皆抚慰，约令军中不得干历人家有求取。军中震(慓)[慓]，道不拾遗。蒙朝暮使亲近存恤耆老，问所不足，病疾者给医药，饥寒者赐衣粮。羽府藏财宝，皆封闭以待吴主孙权至。羽还路，数使人与蒙相闻，蒙辄厚遇其使，周旋城中，家家致问，或手书示信。羽人还，私相参讯，咸知家问无恙，见待过于平时，羽吏士无斗心。会权至，羽自知孤穷，乃走(交)[麦]城，西至漳乡，众皆委羽而降。

《三国典略》曰：梁萧乾，字思惕，梁秘书监子范之子。容止雅正，志性恬简。善隶书，得叔父子云之法。闽中豪帅反叛，陈武谓乾曰："陆贾南征，赵佗归顺，随何奉使，黥布来臣，追想清风，仿佛在目。"乃令乾往使谕以逆顺，渠帅并即款附。

《北史》曰：魏可朱浑元归齐。神武闻其来，遣平阳太守高崇持

金环一枚赐元，并运资粮候接。

《隋书》曰：刘权为南海太守。行至鄱阳，会群盗起，不得进，诏令权召募讨之。权率兵与贼相遇，不与战，先乘单舸诣贼营，说以利害。而群贼感悦，一时降附。帝闻而嘉之。

又曰：开皇末，桂州俚李光仕聚众为乱，诏何稠召募讨之。师次衡岭，遣使者谕其渠师洞主莫崇解兵降款。桂州长史王文周锁崇以诣稠所。[稠]诈宣言曰："州县不能绥养，致使边民扰叛，非崇之罪也。"乃命释之，引崇共坐，并从者四人，为设酒食遣之。崇大悦，归洞不设备。稠至五更，掩入其洞，悉散俚兵，以临余贼。象州逆帅杜条辽、罗州逆帅庞靖等相继降款。

又曰：仁寿初，山獠作乱，出卫玄为资州刺史以镇抚之。玄既到官，时獠攻围大牢镇，玄单骑造其营，谓群獠曰："我是刺史，衔天子诏安养汝等，勿惊惧也。"诸贼莫敢动。于是说以利害，渠帅感悦，解兵而去，前后归附者十余万口。高祖大悦，赐缣二千匹，除遂州总管，仍令剑南安抚。

《唐书》曰：马燧讨李怀光，自京师与浑瑊、骆元光、韩游瓌合军，次于长春宫。怀光遣骁将徐廷光以精卒六千守城，兵械甚严。燧度长春不下，则怀光自固，攻之则旷日持久，死伤必甚，乃挺身至城下呼廷光。廷光素惧燧威名，则拜于城上。燧度廷光心已屈，乃谓曰："我来自朝廷，可西面受命。"廷光复西拜。

又曰："公等皆朔方将士，禄山以来，首立大勋，四十余年，功伐最高，奈何弃祖父之勋力，为灭族之计耶！从吾言，非止免罪，富贵可图也。"贼徒皆不对。燧又曰："尔以吾言不诚，今相去数步，尔当射我！"乃披襟示之。廷光感泣俯伏，军士亦泣。(光)[先]一日，贼将尉珪率兵二千以焦离堡降燧。廷光道既绝，乃因率其下出降。燧乃以数骑径入城，处之不疑，莫不畏服，众大呼曰："吾复得为王人矣！"浑瑊私叹谓参佐曰："瑊谓马公用兵与仆不相远，但怪累败田悦；今睹其行师料敌，仆不逮远矣。

又曰：曹王皋为衡州刺史。初，湖南团练使辛京杲遣将军王国良镇武冈。京杲侵刻之，又虐其士卒，国良以兵叛，因据山河守险，劫行旅以自给。诏征荆南、江西、黔桂兵诛之，二岁不下。乃以皋为潭州刺史、湖南都团练使。皋率诸军至武冈，国良阻险，兵不得进。皋乃谓诸军曰："国良怨京杲刻害，本非反也。其情易，不如降之。"乃三遗之书，国良因请降，未得其情。皋曰："其心屈矣。"乃舍军自称使者，乘扁舟直造其垒，曰："曹王也。"国良遂出降。

又曰：于邵为巴州刺史，时岁俭，夷獠相聚山泽为盗。数千百人来围州城，邵抚励州兵与之拒战。凡旬有二日，间遣使说喻，示以善恶。山盗邀邵出，乃以儒服出城，致之不疑，因皆降之。

又曰：范希朝为朔方节度使。至灵武，突厥别部有沙陀者，北方推其勇劲，希朝诱致之，自甘州举族来归，众且万人。其后以之讨贼，所至有功。

降

《左传》曰：蔡穆侯将许僖公以见楚子于武城，许男面缚衔璧，大夫衰绖，士舆榇。楚子问诸逢伯，对曰："昔武王克殷，微子启如是。武王亲释[其]缚，受其璧，焚其榇，礼而命之，使复其所。"楚子从之。

《史记》曰：楚庄王围郑，三月，克之。入自皇门，郑伯肉袒牵羊以迎，曰："孤实不天，不能事君，使君怀怒以及敝邑，孤之罪也。敢不惟命是听！"

又曰：周武王伐纣，克殷。微子乃持其祭器于军门，肉袒面缚，左牵羊，右把茅，膝行而前以告。于是武王乃释微子，复其位。

《后汉书》曰：武都参狼羌为寇，杀长吏。马援将四千余人往击之，不与战。羌遂穷困，悉降。

又曰：陈宫降，曹操曰："奈卿老母何？"宫曰："老母在公，不在宫也。夫以孝治天下者，不害人之亲。"操复曰："奈卿妻子何？"宫

曰："闻霸王之主，不绝人之嗣。"因请就刑，遂出不顾。操为之涕泣，遂杀之，传首许市。

又曰：耿秉与窦固至车师后，王安得震怖，从数百骑出迎秉。而固司马苏安欲全功归固，即驰谓安得曰："汉贵将独有奉车都尉，天子姊婿，固尚光武女沮阳公主，明帝姊也。爵为通侯，当先降之。"安得乃还，更令其诸将迎秉。秉大怒，被甲上马，麾其精骑径造固壁。言曰："车师王降，讫今不至，请往枭其首。"固大惊曰："且止，将败事！"秉厉声曰："受降如受敌。"遂驰赴之。安得惶恐，走出门，脱帽抱马足降。《东观记》曰：脱帽，趋鸣马蹄也。秉将以诣固。其前，王亦归命，遂定车师而还。

又曰：太山贼叔孙无忌等暴横一境，州郡不能讨。卫羽说第五种曰："中国安宁，忘战日久，而太山险阻，寇猾不制。今虽有精兵，难以赴敌，羽请譬降之。"种敬诺。羽乃往，备说祸福，无忌即帅其党与三千余人降。

又曰：刘盆子遣刘恭乞降，曰："盆子将百万众降，陛下何以待之？"帝曰："待汝以不死耳。"樊崇乃将盆子及丞相徐宣以下三十余人肉袒降。上得所传国玺绶、更始七尺宝剑及玉璧各一。积兵甲宜阳城西，与熊耳山齐。

又曰：庞雄与梁慬及耿种步骑万六千人攻虎泽。连营稍前，单于惶怖，遣左奥鞬曰遂王诣慬乞降。慬乃大陈兵受之。单于脱帽徒跣，面缚稽颡，纳质。

又曰：岑彭与严说共守宛。汉兵攻之数月，城中粮尽，人相食，彭乃与说举城降。诸将欲斩之，大司徒伯升曰："彭，郡之大吏，执心坚守，是其节也。今举大事，当表义士，不如封之，以劝其后。"更始乃封彭为归德侯。

又曰：班超复使西域。是时，于阗王广德新攻破莎车，遂雄张南，于阗国去长安九千六百七十里，南与婼羌，西与姑墨[接]。莎车国去长安九千九百五十里。西域南北有大山，中央有河，东西六千余里。东至玉门、阳关有两道，从鄯

善傍南山北(渡)[波]河西行,至莎车为南道。雄张犹炽盛也。张,音丁亮反。波,傍也。波音波。而匈奴遣使监护其国。超既西,先至于阗。广德礼意甚疏。且俗信巫。[巫]言:"神怒何故欲向[汉]?汉使有騧马,急求取以祠我。"广德乃遣使就超请马。《续汉书》及《华峤书》,騧字并作驐。《说文》:马浅墨色也。音京媚(也)[反]。超密知其状,报许之,而令巫自来取马。有顷,巫至,超斩其首以送广德,因辞让之。广德素闻超在都善诛灭虏使,大惶恐,即攻杀匈奴使者而降。超重赐其王以下,因镇抚焉。

又曰:张步战败,退保平寿,今青州北海县。苏茂将万余人来救之。茂让步曰:"以南阳兵精,延岑善战,而耿弇走之。奈何就攻其营?既呼茂,不能待耶?"步曰:"负,无可言者。"负,愧也。再言之者,愧之甚。帝乃遣使告步、茂,能相斩降者,封为列侯。步遂斩茂,使奉其首降。

又曰:田戎闻秦丰被围,惧,大兵方至,欲降,而妻兄辛臣谏戎曰:"今四方豪杰,各据郡国,洛阳地如掌耳,《续汉书》曰:辛臣为戎作地图,图彭宠、张步。董宪、公孙述等所得郡国,云洛阳所得如掌耳。不如按甲以观其变。"戎曰:"以秦王之强犹为征南所围,岂况吾耶?降计决矣。"四年春,戎乃留辛臣守夷陵,自将兵沿江泝沔,止黎丘,刻期日当降。而辛臣于后盗戎珍宝从间道先降于彭,而以书招戎。戎疑必卖己,遂不敢降,《东观记》云:戎至期日,灼龟卜降兆,不中,折,遂止不降。而反与秦丰合,彭出兵攻戎,数月,大破之。

《吴书》曰:壬申,王濬受皓之降,命解缚焚榇,延请相见。

《晋阳秋》曰:濬平吴,濬收其图籍,领州四,郡三十三,县三百二十三,户五十二万三千,男女口二百三十万,后宫五千余人。

《晋书》曰:樊雅据谯郡,祖逖使桓宣说之。雅与宣置酒结友,遣子随宣诣逖。少日,雅便自诣逖,逖遣雅还抚其众。佥谓前数骂辱逖,惧罪不敢降。雅复闭城自守。逖往攻之,复遣宣入说雅。[雅]即斩异己者,遂出降。

又曰:建兴中,陈声聚诸无赖二千余家断江抄掠,陶侃遣朱伺

为督护讨声。声众虽少，伺容之不击，声求遣弟诣侃降，伺外许之。及声去，伺仍遣劲勇要声弟斩之，潜军袭声。声正旦并出祭祀饮食，伺军入其门，方觉。声将阎晋、郑进皆死战，伺军人多伤，乃还营。声东走，保董城。伺又率诸军围守之，遂重柴绕城，作高橹，以劲弩下射之，又断其水道。城中无水，杀牛饮血。阎晋，声妇弟也，乃斩声首出降。

又曰：桓温伐蜀，军次彭模，乃命参军周(处)[楚]、孙盛守辎重，自将步卒直指成都。李势使其叔父福及从兄权等攻彭模，楚等御之，福退走。温又击权等，三战三捷，贼众散，自间道归成都。势于是悉众与温战于笮桥，参军(袭)[龚]护战没，众惧欲退。而鼓吏误鸣进鼓，于是攻之，势众大溃。温乘胜直进，焚其小城，势遂夜遁九十里，至晋寿葭萌城。其将军郑嵩、昝坚劝势降，乃面缚舆榇请命。温解缚焚榇，送于京师。温(亭)[停]蜀三旬，举贤旌善，百姓大悦。

《齐书》曰：始兴王鉴镇益州，益州劫帅韩武、方棠聚党千余人，断流为暴，郡县不禁，行旅断绝。鉴行至上明，武、方乃出降。长史虞悰等咸请杀之，鉴曰："武、方为暴，积年所不能制。今降而被杀，失信，且无以劝善。"于是启台，果被宥。自巴西蛮夷、凶恶皆望风降附。

《三国典略》曰：侯景党仪同司马世云率其所领降于慕容绍宗，仍以铁骑五千夹而击景。景谓其众曰："汝辈家口，高澄悉已杀之，弩力何虑无妻子？待向江东，当还入邺，用汝辈悉作本州刺史。"众信之。绍宗遥呼曰："尔居家悉在，但能归来，官勋如旧。"乃被发向北斗以誓之，于是景众大溃，争赴涡水，[涡水]为之不流。

《后周书》曰：武帝平齐。齐王至，帝降自阼阶，以宾主之礼相见。高湝在冀州拥兵未下，遣上柱国、齐王宪与柱国、随公杨坚率军讨平之。齐定州刺史、范阳王高绍义叛入突厥。齐诸行台州镇悉降，关东平。合州五十，郡一百六十二，县三百八十五，户三百三

十万二千五百二十八，口二千万六千八百八十六。

《唐书》曰：王行本仕隋，以军功为朝散大夫。尧君素之镇河东也，令行本统精甲七百人。及君素被诛于东楼，行本率兵赴之，不及，因捕杀君素者，党属与数百人皆诛之。后兵出战官军。高祖更令将军秦武通击之，武通令军中无得泄其谋，于是掘长围以逼之，武通谓掘围者："若见贼，但疾走以避之。"行本果出兵，掘围者走，行本奔数里，通率骑横出击之，贼众溃，因纵兵乘之，杀七百余人，自此兵势渐弱。太宗求得其所亲妇人遣入城喻意，行本曰："罪戾既深，自知不免止，当逃窜山谷耳。"因潜引武周，又求援于窦建德，武周遣其将寻相以兵援之。太宗邀击，大破之。行本穷急粮尽，谋欲突围而出，人无从者，遂面缚请降。

又曰：刘阏亡将张君立，奔于高开道，因与其将张金树潜相连结。时开道亲兵数百人，皆勇敢士也，号为"义儿"。恒在阁内。金树每督兵于阁下。及将为变，潜令其党数人入其阁内，与诸义儿阳为游戏，至日将夕，阴断其弓弦，又藏其刀杖，聚其稍于床下。合暝，金树以其徒大呼来屯阁下，向所遣人抱义儿稍一时而出，诸义儿遽将出战，而弓弦皆绝，刀杖已失。张君立于外城举火相应，表里惊拢。义儿穷蹙，争归金树。开道知不免死，于是擐甲持兵坐于堂上，与妻妾奏妓乐酣宴。金树之党惮其勇，不敢逼之。天将晓，开道先缢其妻及子而后自杀。金树陈兵大集，执其义儿皆斩之。又杀张君立，死者五百余人，于是来降。

诈降

《史记》曰：楚汉相持，项羽围汉王于荥阳，汉王请和，割荥阳以西者为汉。亚父劝项王急攻荥阳，汉王患之，陈平反间。既行，羽果疑亚父，亚父大怒而去，发病死。汉将纪信曰："事急矣！臣请诳楚，可以间出。"于是陈平夜出女子东门三千余人，楚因击之。纪信乃乘王车黄屋左纛，曰："食尽，汉王降楚。"楚军皆呼万岁。之城东

观之，上以故与数十骑出西门遁走。

《后汉书》曰：时汉中贼延岑出散关，及更始将军李宝合兵数万人，与逢安战于杜陵，岑等大败，死者万余人，宝遂降安，而延岑收散卒走。宝乃密使人谓岑曰："子弩力还战，吾当于内反之，表里合势，可大破也。"岑即还，(桃)[挑]战。安等空营击之。宝从后悉拔赤眉旌帜，更立(已)[己]幡旗。安等战疲还营，见旗帜皆白，大惊，乱走，自投川谷死者十余万。

《后(汉)[魏]书》曰：万俟丑奴、万，音墨。俟，音其。宿勤明达等反叛，寇掠泾(州)[川]。魏将崔延伯率众军将出营讨贼。未战之间，有贼数百骑诈持文书，云是降簿，乞且缓师。延伯谓其事实，逡巡未(间)[阅]。俄而，宿勤明达率众自东北而至，乞降贼从西竞下，诸军前后受敌。延伯上马突阵，贼势摧挫，便尔逐北，遥造其营。贼本轻骑，延伯军兼步卒，兵力疲怠，贼乃乘间得入城。延伯军遂大败，伤死者二万人。

《通典》曰：西魏大将周文帝征东魏，战于邙山。裨将于谨率其麾下伪降，立于路左。东魏大将齐神武军乘胜逐北，不以为虞。追骑过尽，谨乃自后击之，敌人大骇。独孤信又收集兵士，于后奋击，齐神武军遂乱。以此西魏军得全而返之。

又曰：隋炀帝征高丽，九军已度鸭绿水，粮尽，议欲班师。诸将多异同，又不测帝意。会高丽国相乙亥文德来，诣其营，都将宇文述不能执，文德逃归。述内不自安，遂与诸将更进追击。时文德见军中多饥色，欲疲述众，每斗便北，述一日之中七战皆捷。既恃骤胜，又内逼(郡)[群]议，于是，遂进逼平壤城。文德伪降，述料攻之未可卒拔，因而班师。文德随击之，大败。文德之战之北，迁延令敌饥瘦，亦同持久之义。

太平御览卷第三百二十五

兵部五十六

乞师　救援　擒获上

乞　师

《左传》曰：卫人伐齐，公子遂如楚乞师。公子遂，鲁卿。

又曰：东门襄仲、臧文如楚乞师。襄仲居东门，故以为氏。臧文为襄仲副使，故不书。

又曰：夏公使如楚乞师，以伐齐。公不事齐，与晋盟，故惧而乞师于楚。

又曰：晋侯使荀罃来乞师。

又曰：十三年，晋侯使郤锜来乞师，将事不敬。将事，敬君命也。孟献子曰："郤氏亡乎？礼，身之干也；敬，身之阶也。郤子无阶，且先君之嗣卿，受命以求师，将社稷是卫，而惰弃君命也，不亡何为？"郤锜，郤克子，故曰嗣卿。为十七年春杀郤锜传也。

又曰：晋侯使士魴来乞师。

又曰：郤犨如卫，遂如齐，皆乞师焉。栾黶来乞师，孟献子曰："晋有胜矣。"卑让有礼，故知其将胜楚矣。

又曰：秋，齐侯闻将有晋师，使陈无宇从逢启强如楚，辞且乞师。辞有晋师，未得相见也。

《谷梁[传]》曰：师出不必反，战不必胜，故言乞也。

《战国策》曰：楚围雍氏，韩使求于秦，秦师不下。殷令靳尚使谓秦王曰："今韩已病矣。秦师不下，唇竭齿寒，愿大王熟计之。"宣太后召尚曰："妾事先王也，先王以髀(如)[加]妾身，妾困弗支也。尽身妾上而弗重也，何[也?]以其少有利焉。夫救韩日费千金，独不使妾少有利耶。"靳尚归。韩襄王赂于太后，复使张翠至。甘茂

曰："韩急。"翠曰："未也。"茂曰："先生言不急可乎?"翠曰："韩急则折而入楚矣，臣安敢来?"茂曰："先生勿复言也。"乃言于秦王曰："今雍氏围而秦兵不下，是无韩也。楚韩为一，魏不敢不听，是楚以三国谋秦也。"秦王乃下师于殽以救韩。

《后汉书》曰：曹操与袁绍相持于官渡，绍遣人求救，刘表许之而不至，亦不援曹操，且欲观天下之变。从事中郎南阳韩嵩、别驾刘先说表曰："今豪杰并起，两雄相持，天下之重在于将军。将军若欲有为，起乘其弊，可也。"

救 援

《春秋后齐语》曰：秦攻赵长平，齐楚救之。赵人无食，请粟于齐，齐欲勿与。周子曰："不如与之，以退秦兵；不与，则秦兵不却。是秦之计中，而齐楚之计过也。且赵之于齐楚，捍蔽也，犹齿之于唇，唇亡则齿寒。今日亡赵，明日患及齐楚。是故赵之务宜若奉漏瓮沃燋釜也。夫救赵，高义也。却秦兵，显名也。义救亡国，威却强秦之兵，不务为此而务爱粟，为国计者，过矣。"齐王不听，秦破赵于长平。遂围邯郸焉。

又《韩语》曰：襄王十二年，楚围雍氏，韩令使者求救于秦。冠盖相望，秦师不出。使靳尚如秦谓秦王曰："韩之于秦，居为隐蔽，出为雁行，(令)[今]韩病矣。秦师不出，唇亡齿寒，愿大王计之也。"

《史记》曰：赵平原君使者冠盖相属，让信陵君以请救。曰："胜所[以]结为婚姻者，以公子高义。今纵轻胜，独不怜公子之姊耶?"公子说："王不可。"乃将车骑欲与赵俱死。行过夷门，见侯嬴坐而去。公子曰："侯生无一言半辞送我哉?"乃复见之。生曰："知公子之必来!"乃谓曰"嬴闻晋鄙之兵符常在王卧内，而如姬最幸。可为如姬复父之仇，求其虎符，夺晋鄙军，此五霸之伐也。然恐鄙有所疑，臣客朱亥可与俱行。"至军，亥以四十斤铁椎杀晋鄙，引兵救赵

却秦军。赵王再拜曰："自古贤人未有及公子！"公子惧，不归。赵以五城封之。

《魏志》曰：太祖征张绣，荀攸言于太祖曰："绣与刘表相恃为强，然绣以远军仰食于表，表不能供，势必离。不如缓军以待之。若急之，其势必相救。"太祖不从，遂进军至襄。绣战急，表果救之，军不利。太祖谓攸曰："不用君言，至是矣。"

《魏略》曰：(臧)[曹]洪[为]太祖(为)族弟。兴平末，太祖尝与洪出，为寇劫失马，追者在后，洪下马与太祖。太祖辞曰："各自急。"洪言曰："天下诸将可无洪，不可无君也。"太祖乃乘之，遂相扶佐得济。《魏志》曰：太祖为卓败，失马。

《晋书》曰：桓宣屯马头山，为祖焕、桓抚所攻，求援于庐江太守毛宝。宣遣子戎重请，宝即随戎赴之。未至，而贼已与宣战。宝军(县)[缘]兵少器仗(舰)[滥]恶，大为焕、抚所破。宝中箭，贯髀、彻鞍，使人蹋鞍拔箭，血流满靴。去船所百余里，望星而行。到，先哭战亡将士，洗疮讫，夜还救宣。宝至宣营而焕、抚亦退。

又曰：淮南妖贼张昌，旬月之间，众三万皆绛[绩]，科头，攒(之)[面]以毛。王歆上言："妖贼张昌、刘尼称神圣，犬羊万计，绛头毛面挑刀走戟，其锋不可当。请诸军以助。"

《三十六国春秋》曰：姚襄南至荥阳，与高昌李历战于麻田，马中流矢死。弟苌下马授襄曰："汝何以自免？"苌曰："但令兄济此，竖子何敢害苌？"会救至，俱不死。

《北史》曰：齐兰陵武王长恭一名孝瑾，文襄第四子。累迁并州刺史。突厥入晋阳，长恭尽力击之。芒山之败，长恭为中军，五百骑再入周军，遂至金墉之下，被围甚急。城上人不识长恭，免胄示之面，乃下弩手杀之，于是大捷。武士共歌谣之，为《兰陵王入阵曲》是[也]。

《后魏书》曰：齐将陈伯之进逼寿春沿淮为寇。时司徒彭城王勰、广陵侯衍同镇寿春，以九江初附，人情未洽，兼台援不至，深以

为忧。诏遣傅永为统军，领汝阴之兵三千人援。永总勒士卒，水陆俱下，而淮水口伯之防甚固，永去二千余里，牵船上汝南岸，以水牛挽之，直南趣淮下船便渡。适上岸贼军追及，会时已夜，永乃潜进。时晓，达寿春城下。勰、衍闻外有军，共上门楼观望，然不意永至。永免胄，乃信之，遂引永上。勰谓永曰："北望以久，恐洛阳难复再见，不意卿能至也。"勰令永引军入城。永曰："执兵被甲，固敌是求，若如教旨，便共殿下同被围守，岂是救援之意？"遂孤军城外与勰并势，以击伯之，频有克捷。

又曰：辛渊私署凉王李暠骑将军。暠子钦亦厚遇之。钦与沮渠蒙(游)[逊]战于蒙泉，军败失马。渊以所乘马授钦，而身死于难，以义烈见称西土。

又曰：裴骏(盖吴)[值贼]作乱于(阙)[关]中，汾阴人薛永宗聚众应之。残破诸县，来袭闻喜。县中先无兵杖，人情骇动，县令忧惶，计无所出。骏在家闻之，便率厉乡豪曰："在礼，君父危，臣子致命。府君今为贼所逼，是吾等徇节之秋，诸君可不(免)[勉]乎？"诸豪皆奋激请行。骏乃简骑骁勇数百人奔赴。贼闻救至，引兵退走。刺史嘉之以状表闻。会世祖亲讨盖吴，引见骏，骏陈叙事宜甚会机理。世祖大悦，顾谓崔浩曰："裴骏有当世才，是且忠义可嘉。"补中书博士。浩亦深器骏，目为三河领袖。转中书侍郎。

《后周书》曰：萧詧。大统十五年，乃遣使称藩，请为附庸。太祖令丞相东阁祭酒荣权使焉。詧大悦。是岁梁元帝令柳仲礼率众进图襄阳，詧惧，乃遣其妻王氏及世子寔为质以请救。太祖又令荣权报命，仍遣开府杨忠率兵援之。十六年，杨忠擒仲礼，平汉东，詧乃获安。

又曰：李贤时，有贼帅达符显围逼州城，昼夜攻战，屡被摧衄。贤间赴雍州，诣天光请援。天光许之，贤乃返。而贼营垒四合，无因入城。候日向夕，乃伪负薪与贼樵采者俱得至城下，城中垂布引之，贼众方觉，乃弓弩乱发，射之不中，遂得入城。告以大军将至，

贼闻之，便即散走。

又曰：邵惠公颢，太祖长兄。德皇帝娶乐浪王氏为德皇后，生颢及连次。太祖德皇帝与卫可孤战于武川，临阵坠马，颢奔救，击杀数十人，贼众披靡，德皇帝乃得上马引去。俄而，贼追骑大至，颢遂战殁。保定初，追赠太师，寻追封邵公。

又曰：太祖率轻骑追侯景于河上。景等北据河桥、南属邙山为阵，与诸军合战。太祖马中流矢，惊逸，遂失之。因此军中扰乱。都督李穆下马(授)[援]太祖，军以复振。于是大捷，斩高敖曹及其仪同李猛。

《隋书》曰：张须陀为齐郡丞，贼裴长才、石子河等众二万奄至城下，纵兵大掠。须陀未暇集兵，亲率五骑与贼竞赴之，围百余重，身中数疮，勇气弥厉。会城中兵至，贼稍却。须陀督军复战，长才败走。后数旬，贼帅秦君弘、郭方预等合军围北海，兵锋甚锐，须陀谓官属曰："贼自恃强，谓我不能救，吾今速去，破之必矣。"于是简精兵倍道而进。贼果无备，击，大破之，斩数万级，获辎重三千两。

《唐书》曰：李晟兼左金吾大将军、泾原四镇都知兵马使并总游兵。无何，节度使马璘与吐蕃战于监仓，兵败。晟率所部横击之，拔璘出于乱兵，以功封合川郡王。璘忌晟威名，又遇之不以礼，令朝京师。代宗知之，留宿卫。上即位，吐蕃寇剑南，时节度使崔宁在京师，三川皆恐。诏晟将神策兵五百救援。晟乃逾漏天攻拔飞越，廓请肃宁三城，绝大渡河。获虏首千余级，虏乃引去。因留成都，数月而还。

又曰：裴度征蔡州，计筑赫连城于池口。未毕役，度领师及宾从往观之。导骑将及城门，左右曰："五沟贼至。"言未毕，贼以突来，哮呼争进，城震坏者十余板，注弩挺刃，势将及度。赖李光颜决战于前以却之。时光颜先虑其来，使田希以二百骑伏于沟中。出贼不意，交击之，方得入城。希又先扼其沟中归路，贼多弃骑越沟，相牵堕压而死者千余人。是日非光颜救，度几陷。

又曰：辛说性慷慨，重然诺，专务赈人之急。年五十，不求苟进，有济时匡难之志。咸通十年，庞勋乱徐、泗，时杜慆守泗州。贼以郡当江淮要害，极力攻之。时两淮郡县皆陷，独慆守临淮。久之，援军虽集，贼未解围。时说寓居广陵，乃仗剑挈小艇趋泗口，贯贼栅入城见慆。慆素闻有义而不相面，喜说至，握手谢曰："判官李延枢方话子为人，何遽至耶？吾无忧矣！"时贼三面攻城，王师结垒于洪源驿，相顾不前。说夜以小舟穿贼垒至洪源驿，见监军郭厚本，论泗州危急，且宜速救，厚本然之。淮南都将王公弁谓厚本曰："贼军众我寡，无宜轻举，当俟可行。"说坐中拔剑瞋目谓公弁曰："贼百道攻城，陷在旦夕。公等奉诏赴援，而逗留不进，心欲何为？不惟有我负国恩，丈夫气义亦宜感发，假如临淮陷贼，淮南即是寇场，公何独存耶？"即欲挥刃向公弁，厚本持之。说望泗州大哭者经日，帐下为之流涕。厚本义其心，选甲士三百随说入泗州。夜半斩贼栅，大呼由水门而入，贼军大骇。既知援兵入城，贼乃退舍，人心遂固。浙西观察使杜审权遣大将翟行约率军三千赴援，屯莲塘驿。慆欲遣人劳之，将吏皆惮其行。说曰："杜相公以大夫宗盟，急难相赴，安得令使者无言而还。"即赍慆书币犒其使。淮南大将李湘率师五千来援，受贼诈降，败于淮口。湘与郭厚本皆为贼所执，自是无援。贼并兵急攻，以铁索断淮流，梯衡云合，凡周七月，昼夜不息。乘城之士，不遑寝寐，面目疮生，军储渐少，分食稀粥。赖说犯难仗义求救于淮北诸军。既而，马举以大军至，贼解围而去。说无子，犹子山僧、元老等寄在广陵，每出城则书二侄名谓慆曰："志之，得嗣为幸。"慆益感之。贼平。授说泗州团练判官、侍御史。

繁钦《丘隽碑》曰：故右扶风都尉主簿，有丘隽者，从都尉讨叛胡，官兵败绩，卒伍奔散，都尉临阵坠马，隽于是下马援甲，以身御寇，遂致死战场。都尉乘隽马得免。

擒获上

《左传》曰：郑将公子归生伐宋，战于大棘，宋师败绩。宋将狂狡辂郑人，郑人入于井，辂，迎也。五驾切。倒戟而出，获狂狡。君子曰："失礼，违命，宜其擒也。"戎昭果毅以听之谓礼，听，谓常在放[闻]，身着于心，想闻其政令。杀敌为果，致果为毅。

《谷梁》曰：宋华元帅师及郑公子归生，战于大棘，宋师败绩，获宋华元。获者，不与之辞也。

《史记》曰：汉六年，人有告楚王韩信反，高帝以陈平计，发使告诸侯会陈，伪游云梦，实欲袭信。信不知，谒高祖于陈。上令武士缚信，载后车。信曰："狡兔死，良狗烹。天下已定，我固当烹。"遂械系信至洛阳，赦信罪，以为淮阴侯。

《后汉书》曰：龟兹王攻破疏勒，杀其王而立龟兹人兜题为疏勒王。明年春，班超从间道至疏勒，去兜题所居槃橐城九十里，逆遣吏田虑光往降之。敕虑曰："兜题本非疏勒种，国人必不用命，若不即降，便可执之。"虑既到，兜题见虑轻弱，殊无降意。虑因其无备，遂前劫缚兜题。左右出其不意，皆(警)[惊]而立定。虑驰报超，超即赴之，悉召疏勒将吏说以龟兹无道之状，因立其故王兄子忠为王。[《续汉书》曰：求得故]王兄子榆勒立之，更名曰忠也。国人大悦。

《蜀志》曰：先主入益州，还攻刘璋。张飞等泝流而上，分定郡县，破璋将巴郡严颜，先获颜。飞呵颜曰："大军至，何以不降而敢拒战？"颜曰："卿等无状，侵夺我州，我州有断头将军，无降将军也。"飞怒，令斫头。颜曰："斫头便斫，何为怒耶？"飞壮而释之，引为宾客。

《晋书·载记》曰：慕容皝将乘海讨慕容仁，群下咸谏以海道危阻，宜从陆路。皝曰："旧海水无凌，自仁反以来，冻合者三矣。昔汉光武因滹沱之冰，以济大业，天其或者欲吾乘此而克之乎？吾计决矣！有沮谋者，斩！"乃率三军从昌黎践凌而进。仁不虞皝之至

也，军去平郭七里，候骑乃告，仁狼狈出战，为虱所擒。杀仁而还。

又曰：王凌遣督护王昌等率疾陆眷及弟文鸯、从弟末杯攻石勒于襄国。勒败还垒，末杯追入垒门，为勒所获。勒质末杯遣使求和于疾陆眷，疾陆眷将许之，文鸯谏曰："受命讨勒，宁以末杯一人故纵成擒之寇，既失凌意，且有后忧，必不可许。"疾陆眷不听，以铠马二百五十匹，金银各一箧赎末杯，勒归之。

《吕氏春秋》曰：汤以良车七十乘，必死六十人，戊子战于鄗，遂擒推移大牺。桀多力，能推移大牺，因以为号。

太平御览卷第三百二十六

兵部五十七

擒获下　虏掠

擒获下

《晋书·载记》曰：刘曜光禄大夫游子远与氐羌伊余战。伊余有骄色，子远候其无备，夜誓众，蓐食，晨大风、震雾。子远曰："天赞我也。"躬先士卒，扫壁而出，迟明覆之，生擒伊余，悉俘其众。

《二石伪事》曰：刘曜躬领将士二十七万众，大举征勒。勒养子生为卫将军，领三千人镇洛金墉城。曜攻生城不能下，不觉勒军卒至。天晓，曜军当攻金城，勒军入，正与曜军相遇，即交战，曜军大破，登时先擒曜身。

《三十六国春秋》曰：丁亥，中军刘裕悉众攻燕。众咸谏曰："今往亡日，兵家所忌。"裕曰："我往，彼亡，吉孰大焉。"乃命悉登，遂克之。燕王慕容超走，追获焉。裕责其不降之罪，超神色自若，无余言。惟以母托刘敬宣而已。萧方等曰："美哉，其言也。以言必已亲，终不忘孝，可谓人之将死，其言也善，信乎！"

《三国典略》曰：侯景昼息夜行，追军渐逼。使谓慕容绍宗曰："景若被擒，公复何所用？"绍宗乃缓之。

又曰：北齐平，任城王湝音谐。据冀州，与广宁王孝珩召募得四万余人，以拒我军。齐王宪率众讨之，仍令太上主手书与湝曰："朝廷遇纬甚厚，诸王无恙，叔若释甲，则无所忧。"湝不纳及。大开赏募，多出金帛。沙门求为战者，亦数千人。侯骑执湝间谋二人以白于宪，乃集齐之旧将，遍示之曰："吾所争者大，不在汝等，今放还，可即充我使。"乃与湝书曰："一木不维大厦，三谏可以逃身。微子

去商，侯服周代，项伯背楚，赐姓汉朝，兵交命使，古今通典，不俟终日，所望知机！"潜得书沉之于井。宪至信都，潜阵于城南。宪登张耳冢以望之。俄而，潜领军尉相顾，遂以众降。潜大怒，杀其妻子。明日复战，宪遂破之，俘斩三万人，潜被擒，见宪不拜，呼之为弟。

《北史》曰：后魏元遥迁左光禄大夫，仍领护军。时冀州沙门法庆既为妖幻，遂说渤海人李归伯合家从之。归伯招率乡人，推法庆为王。法庆以归伯为十住菩萨、平魔军司、定汉王，自号大乘。杀一人者为一住菩萨，杀十人者为十住菩萨。又合狂药令人服之，父子兄弟不相知识，惟以杀害为事。于是聚众杀阜城令，破渤海郡，杀害吏人。刺史萧宝京遣兼长史崔伯骥讨之，败于煮枣城。伯骥战没，凶众遂盛，所在屠灭寺舍，斩戮尼僧，焚烧经像。云新佛出世，除去众魔。诏以遥为使持节督北征诸军事，率步骑十万以讨之。法庆相率攻遥，遥并击破之。遥遣辅国将军张虬等擒法庆并尼惠晖等斩之，传首京师。后擒归伯，戮于都市。

《后周书》曰：裴宽与东魏将彭乐恂战于新城，因伤被擒至河阴见齐文襄。宽举止详于占对，文襄甚赏异之，谓宽(司)[曰]："卿三河冠盖，材识如此，我必使卿富贵。关中贫狭，何足可依，勿怀异图也。"因解锁付馆，厚加其礼。宽乃裁所卧之毡夜纵缒而出，因得遁还见于太祖。太祖顾谓诸公曰："被坚执锐，或有其人，疾风劲草，岁寒方验。裴宽为高澄如此厚遇，乃能冒死归我，虽古之竹帛所载，何以加之。"

又曰：太祖时，梁元帝遣使请旧图以定疆界。又连结于齐，言辞悖慢。太祖曰："古人有言，天之所弃，谁能兴之？其萧绎之谓乎。"冬十月壬(戌)[戌]，遣柱国于谨、中山公护、大将军杨忠、韦孝宽等步骑五万讨之。十一月癸未，师济于汉，中[山]公护与杨忠率锐骑先屯其城下，据江津以备其逸。甲申，谨至江陵列营围守。辛亥，进攻城，其日克之。擒梁元帝，杀之，并虏其百官及士民以归。没为奴婢者十余万，其免者二百余(冢)[家]。立萧督为梁主，居江

陵为魏附庸。

又曰：侯莫陈崇随贺拔岳征讨，以功除建威将军。从岳入关，破万俟丑奴。崇与轻骑逐北，至泾长坑及之。贼未成列，崇单骑入贼中，于马上生擒丑奴。于是大呼，众悉披靡，莫敢当之。后骑集，遂破之。岳以丑奴所乘马及宝剑金带赏之。

又曰：李广，会稽人。早事督，以敢勇闻。汜口之役，先督力战，及华皎军败，为吴明彻所擒，将降之，广辞色不屈，遂被害。

又曰：柳桧除魏兴、华阳二郡守，安康人黄众宝谋反，连结党与，将围州城，乃相谓曰："常闻柳君勇悍，其锋不可当。今既在外，方为吾徒腹心之病也，不如先击之。"遂围桧郡。郡城卑下，士众寡弱，人无守御之备，连战积十余日，士卒仅有存者，于是力屈城陷，身被十数疮，遂为贼所获。既而众宝等进围东梁州，乃缚桧置城下，欲令诱说城中。桧乃大呼曰："群贼乌合，粮食已罄，行即退散，各宜勉之。"众宝大怒，乃临桧以兵曰："速更汝辞，不尔便就戮矣。"桧守节不变，遂害之。弃尸水中，人皆为之流涕。

《隋书》曰：汉王谅之作乱也，炀帝将发幽州兵以讨之。时窦抗为幽州总管，帝恐其有贰心，问可任者于杨素。素进李子雄，授上大将军，拜广州刺史，驰至幽州，止传舍，召募得千余人。抗恃素贵不(时)[与]相见，子雄遣人谕之。后二日，抗从铁骑二千来诣子雄所，子雄伏甲请与相见，因擒抗。遂发幽州兵步骑三万自陉以讨谅。时谅遣大将军刘建略地燕赵，正攻井陉，相遇于抱犊山下，力战破之，迁幽州总管。

又曰：独孤(揩)[楷]字修则，不知何许人也。本姓李氏，父屯从齐神武帝与周师战于沙苑，齐师败绩，因为柱国独孤信所擒。配为士伍，给使信家，渐得亲近，因赐姓独孤氏。楷少谨厚，便弄马槊，为宇文护执刀，累转车骑将军。其后数从征伐，赐爵广阿县公，邑千户。

《唐书》曰：长平王叔良遣骠骑刘感击薛仁果，却为所败。感殁

于贼。感不知何许人，初以本官镇泾州，为仁果所围。感拒战，久之，城中粮尽无可食，感杀马以分士卒。感一无所啖，惟煮马骨取汁和木屑而自食之。城垂陷者数矣。会长平王叔良援兵至，仁果解去。感与叔良复出战，因为贼所擒。

又曰：王行敏镇潞州，刘黑闼来攻，行敏自历亭出兵拒战击贼，破之。既而憩于野，不设备，贼知而掩之，左右皆遁，因为黑闼所擒，竟不拜，黑闼怒斩之。临死西向而言曰："行敏大唐忠臣也，愿陛下知之。"高祖闻而痛惜焉。

又曰：刘世让检校并州总管时，突汗厥可汗遣俱检特勒以所部千人居我并州，甚为民患。前总管李仲文不能制，世让到官，以计擒之。驰使以闻，高祖大悦，嘉叹久之。

又曰：姜宝谊，武德初拜武卫大将军，寻为井陉将军。刘武周将黄子英往来崔鼠谷，高祖令宝谊击之。子英数以轻兵挑战，宝谊兵才接，子英轻遁。如此者再三，宝谊悉众以遂之，伏兵发，军遂大败。宝谊为贼所擒，后得逃归。至是与裴寂拒宋金，对战始合，寂弃军而走，兵遂大溃。宝谊复为贼所擒。高祖初闻其没也，泣曰："宝谊烈士，必不生降。"赐其家物千段，米三百石。宝谊后谋背贼，事泄遇害。临死西向大言曰："臣无状负陛下，被屠溃，是所甘心。但败军丧师，九泉所恨。"及贼退，高祖遣使迎其柩，谥曰"刚"。

又曰：恒州节度李宝臣使人谓朱滔曰："吾闻朱公貌如神，安得而识之？愿因缋事以观，可乎？"滔乃图其形以示之，锦衣金钩甚伟。宝臣悬于射堂，命诸将熟视之，曰："朱公，信神人也。"他日滔出猎，宝臣密选精卒劫之，戒其将曰："取彼貌如射堂所悬者。"是时二军方共事，不相虞，而卒变暴至，滔骇然，与战于瓦桥。适衣他服，以不识免。

又曰：蔡州贼将吴秀琳，以文城栅兵三千降李愬。愬从秀琳于新兴栅，遂以琳之众攻吴房。夏四月庚寅朔辛卯，李愬奏师至嵯峨山，擒贼将柳世(于)[千]、李凑等二人。李光颜败元济之众三万于

郾城，其将张伯良奔于蔡州，杀其卒十二三，获马千余匹，器甲三万。其甲上悉画作雷公符北斗星文，又云"速破城北军，急急如律令"。

《周史》曰：皇甫晖正阳败入保滁州，太祖皇帝麾兵涉水逾城而入，尽戮其党，生擒晖及其伪命都监姚凤等，送于行在。世宗召见之，晖曰："臣力备矣，欲暂坐。"及坐，又曰："臣欲暂卧。"不俟命而卧，神色自若。世宗亦复容之。乃言曰："臣非不尽忠于本国，实以甲兵勇怯不敌。臣早事晋朝，屡将兵与契丹相持，未如大朝此日甲马之盛。昨者退守滁州，不谓天兵便能逾城攻取，如履平地。臣力所不加，故就擒耳。"因盛称太祖武勇。世宗命释之，赐衣服带鞍马。后数日，晖以金疮寻卒于洛阳。晖本骁将，唐庄宗之基业因晖而败焉。故晖有名于天下。

虏掠

《左传》曰：郑祭足帅师取温之麦。秋，又取成周之禾。

《后汉书》曰：冯异谓苗萌曰："今诸将皆壮士，屈起多暴横。独有刘将军所到不虏掠，观其言语举止，非庸人也，可以归身。"苗萌曰："死生同命，敬从子计。"

又曰：郅恽至庐江，因遇积弩将军傅俊东徇扬州。俊素闻恽名，乃礼请上之，上为将兵长史，授以军政。恽乃誓众曰："无掩人不备，穷人于厄；不得断人肢体，裸人形骸，放淫妇女。"俊军士犹发冢陈尸，掠夺百姓。恽谏俊曰："昔文王不忍露白骨，武王不以天下易一人之命。《吕氏春秋》曰：武王伐纣至鲭水，纣使胶鬲候周，问武王曰："何日至？"武王曰："将以甲子日至。"胶鬲行。天大雨，日夜不休。武王疾行不辍，军吏谏之，武王曰："吾疾行以救胶鬲之死也。"故能获天地之应，克商如林之旅。天地之应，谓夜雨止、毕陈、白鱼入舟之类。克，胜也。商，殷号也。（于）旅，众也。如林，言众多。《尚书》曰：武王伐纣，纣率其旅若林，会于牧野。将军如何不师法文王而犯逆天地之禁，多伤人害物，虐及枯尸，取罪神明？今不谢天改政，

无以全命。愿将军亲率士卒，收伤葬死，哭所残暴，以明非将军本意也。"从之，百姓悦服，所向皆下。

《晋书》曰：(官)[宫]人孟玖弟超并为成都王颖所嬖宠。超领万人为小都督，未战，纵兵大掠。陆机录其主者。超将铁骑百余人直入机麾下夺之，顾谓机曰："貉奴能作督不？"机司马孙极劝机杀之，机不能用。超宣言于众曰："陆机将反。"

又曰：惠帝末，妖贼刘柏根起于东莱，王弥率家僮从之。柏根死，亡入长广山为群盗。弥多权略，凡有所掠必预图成败，举无遗策，弓马迅捷，膂力过人，青土号为"飞豹"。

《十六国春秋》曰：南凉秃发傉檀伐北凉沮渠蒙逊于姑臧，至番禾苕藋，苕，徒聊切。藋，徒吊切。掠五千余户。其将扈古进曰："陛下转战千里，前无完阵。徙户资财盈溢衢路，宜倍道游师，早度峻嶮。蒙(游)[逊]善于用兵，士众习战，若轻军卒至，出吾不虑，大敌外逼，徙户内攻，危道也。"卫尉伊力延曰："我军势方盛，将士勇气自倍，彼徒我骑，势不相及。若倍道游师，必捐弃资财，示人以弱，非计也。"俄而昏雾风雨，蒙(游)[逊]军大至，傉檀大败而还。

《三国典略》曰：齐主以契丹犯塞，亲征至于平州，取其西道，直指长渐。司徒潘相乐率精骑五千自东道趣青山，向白狼城。安德王韩轨，率精骑四千断其走路，追奔至于辽水。齐主露发(袒)[袒]身，昼夜不息，行千余里。惟食肉饮水，壮气弥厉，亲逾山岭为士卒先，指挥奋击，大破之。虏获十万余口。

《后魏书》曰：济阴王新城颇有武略。库莫奚侵扰，诏新城率众讨之。新城乃多为毒酒。贼渐逼，使弃营而去。贼至喜而竞饮，聊无所备。遂简轻骑，因醉纵击，俘馘甚多。

又曰：天水梁会守东城，谋欲逃遁。先是封敕文掘重堑于东城之外，断贼走路。夜中会乃阵飞梯腾堑而走。敕文先严兵于堑外，拒斗，从夜至旦。敕文谋于众曰："困兽犹斗，而况于人。贼众知无生路，人自致死，必伤士众，未易可平。若开其生路，贼必上下离

心，克之易矣。”众咸以为然。敕文以白虎幡宣告贼众曰：“若能归降，原其生命。”应时降者六百余人。会知人心沮坏，于是分遁。敕文纵骑腾蹑，死者太半。俘获四千五百余口。

《后周书》曰：贺拔岳副尔朱天光讨万俟丑奴。时丑奴自率大众围岐州，遣行台尉迟菩萨等向武功南渡渭水，天光望岳率骑赴之。岳身先率击之，退走。岳号令部：“贼下马者，皆不听杀。”贼顾见之，便悉投马。俄而虏获三千余人。人马无遗，遂擒菩萨，降卒万余，并收其辎重。丑奴弃岐州，走安定平亭。

《隋书》曰：南宁夷爨玩来降，拜昆州刺史。既而复叛，遂以史万岁为行军总管，率众击之。入自蜻蛉音精灵。川，经弄拣，次小勃弄、大勃弄，至于南中。贼前猿屯据要害，万岁皆击破之。行数百里，见诸葛亮纪功碑铭，其(皆)[背]曰：“万岁之后，胜我者过此。”万岁令左右倒其碑而进，渡西二河入渠滥川，行千余里，破其三十余部，虏获男女二万余口。诸夷大惧，遣使请降，献明珠径寸。于是勒美(随)[隋]德。万岁遣使驰奏，请将玩入朝，诏许之。

又曰：达奚长儒与乌丸轨围陈将吴明彻于吕梁，陈遣骁将刘景率劲勇七千来为声援，轨令长儒逆拒之。长儒于是取车轮数百(击)[系]以大石，沉之清水，连毂相次以待。景军至，船舰碍轮不得进，长儒乃纵奇兵，水陆俱发，大败之，俘数千人。

又曰：周法尚初仕陈，背陈归周，陈将樊猛济江讨之。法尚遣部曲督韩郎诈为背己，奔于陈，伪告猛曰：“法尚部兵不愿降，人皆窃议尽欲叛还。若得来军，必无斗者，自当于阵倒戈耳。”猛以为然，引师急进。法尚乃佯为畏惧，自保于江曲。猛陈兵挑战，法尚先伏轻舸于浦中，又伏精锐于古村之北，自张旗帜迎流拒之。战数合，伪退登岸投古村，猛舍舟逐之，法尚又疾走，行数里与村北军合，复前击猛，猛退走船。既而浦中伏舸取其舟楫，建周旗帜。猛于是大败，仅以身免。虏八千人。

太平御览卷第三百二十七

兵部五十八

献俘　班师　雲兵　偃武

献　俘

《诗》曰：一月三捷。

《左传》曰：秋七月丙申，振旅凯以入于晋，凯，乐也。献俘授馘，饮至大赏，授，数也。献楚俘于庙。征会讨贰，征会诸侯，将冬会于温。杀舟之侨以徇于国，民于是大服。

又曰：晋侯使赵同献狄俘于周，不敬。刘康公曰："不及十年，原叔必有大咎，刘康公，元孝(子元)[原叔]赵同也。天夺之魄也。"

又曰：[春]士会帥师灭赤狄甲氏及留吁铎辰，铎辰，留吁之属也。三月献狄俘于庙。

《晋书·载记》曰：石季龙攻陷徐龛，送之襄国，勒囊盛于百尺楼，自上擂杀之。令步都等妻子刳而食之，坑龛降卒三千。

又曰：杜预平吴，王濬先列上得孙歆头。预后生送歆，洛中以为大笑。

《梁书》曰：沈林子献捷书，每以实闻。武帝问其故，林子曰："夫王者之师，本有征无战，岂可复增张虏获以示夸诞？昔魏尚以盈级致罚，此后乘之良辙也。"武帝曰："乃所望于卿也。"

《后魏书》曰：裴叔业率王茂先、李定等来侵楚王戍，傅永适还州。王肃复令傅永讨之。永将心腹一人驰诣楚王，至即令(戍)填塞外堑，夜伏战士一千人于城外，晓而叔业等至，顿于城东，列阵置长围。永所伏兵于道左击其后军，破之。叔业乃令将佐守所列之阵，自率精甲数千救之。永上门楼观叔业南行五六里许，便开门奋

击，遂摧破之。叔业进退失图，于是奔走。左右欲追之，永曰："弱卒不满三千，彼精甲犹盛，非力屈而败，直堕吾计中耳。既不测我之虚实，足丧其胆，俘此足矣，何暇逐之。"获叔业伞扇鼓幕甲仗万余。两月之中，遂献再捷，高祖嘉之。

《后周书》曰：武帝平齐。夏四月；至自东伐，列齐主于前，其王公等并从，车舆、旗帜及器物以次陈于其后。大驾布六军，备凯乐，献俘于太庙，京邑观者皆称万岁。戊申，封齐主为温国公。

《唐书》曰：武德中，西突厥叶护可汗遣使请婚，又入寇边上。高祖谓群臣曰："突厥入寇而复请和，和之与战，其策安在？"太常卿郑元琦对曰："若击之则怨深，难以和缉。"中书令封德彝进曰："若不战而和亲，夷狄必谓中国畏惧。未若击之，克捷而和亲，此则为威恩兼举。"高祖然之。戊辰，西突厥遣使献名马。己巳，并州大总管襄邑王神符击突厥于汾东，斩首五百级，虏其马二千匹。汾州刺史萧颢斩突厥五千余级。

又曰：太宗平东都凯旋，亲被黄金甲，陈铁马一万骑，甲士三万人，前后部鼓吹，俘二伪主及随神器辇辂献捷于太庙。高祖大悦，行饮至礼以享焉。

又曰：张瑾初仕隋，历职显贵。炀帝被围于雁门也，瑾以骁果出城击战；一日九捷。炀帝登城望之，大悦。赐物二千段。

又曰：元和中，忠武军节度使李光颜奏破吴元济之众，上大悦，赐其告捷使奴婢银锦。

又曰：元和十二年十月，(隋唐)[唐、邓、隋]节度使李愬帅师入蔡州，执贼(师)[帅]吴元济以闻，淮西平。辛巳，上御宣政殿受朝贺，九品已上及宗子、四夷之使皆会。

又曰：元和十四年，魏博节度使田弘正遣使献逆臣李师道，命左右军兵卫之。先献于太庙郊社，上御兴安门，百僚于门下列位称贺。

又曰：元和中，昭义节度郗士美以贼首三百来献，诏枭于通化

门外。

班 师

《尔雅》曰：出曰治兵，尚武也；入曰振旅，反尊卑也。郭璞曰：幼贱在前，贵勇也；尊老在后，尚仪也。

《诗》曰：出车，劳还率也。"赫赫南仲，薄伐西戎。昔我往矣，黍稷方华。""春日迟迟，卉木萋萋。""执讯获丑，薄言还归。"

又曰：杕杜，劳还役也，"有杕之杜，其叶萋萋"。

《周礼》曰：若师有功，左执律，右秉钺，以先凯乐献于社。

《左传》曰：三年而治兵，入而振旅，归而饮至，以数军实。饮至于庙以数车徒所获也。

又曰：楚子败晋师于邲，潘党曰："君盍筑武军而收晋尸以为京观。"楚子曰："夫文止戈为武，武有七德：禁暴、戢兵、保大、定功，安人、和众、丰财者也。我无一焉；何以示子孙。"祀于河，作先君宫，告成事而还。

《后汉书》曰：曹操讨刘备，出教曰"鸡肋"。外曹莫晓，杨德祖曰："夫鸡肋，食之则无所得，弃则我惜。公归计决矣。"操乃还军。

又曰：马援自南方振旅还京师，军吏经瘴疫死者十四五，赐援兵车一乘。

《晋书》曰：王濬平吴，上表云："间在秣陵，诸军凡二十万众，臣军先至，为土地之主。百姓之心皆归仰臣，臣切敕所领，秋毫不犯。诸有市易皆明破券契，有违犯者凡斩十三人，皆吴人所知也。余军纵横，诈称臣军，而军类皆蜀人，幸以此自别耳。"

又曰：贾充为伐吴大都督。孙皓降于王濬，充未之知，方以吴未可平，抗表请(班)[班]师。充表与告捷表同至。朝野以充位居人上，智出人下。

《宋书》曰：十二月(景)[丙]申，大军次左里，将战。帝麾之，麾竿折，幡沉于水，众咸惧。帝笑曰："昔覆舟之役亦如此，今胜必

矣。"遂攻其栅。卢循单舸走，众军皆旋。晋帝遣待中黄门，劳师于行所。

《三国典略》曰：齐公宪夜收军，欲待明更战。达奚武谓之曰："洛阳军散，人情骇动，若不因夜速还，明日欲归不得。武在军旅久矣，备见形状，岂可将数营大众一朝而弃之。"宪从其谏，遂全军而反。

《后魏书》曰：萧衍寇徐、兖州，邢峦大破之，旋师。世宗临东堂劳之曰："卿役不逾时克清妖丑，鸿勋硕美，可谓不愧古人。"峦曰："此自陛下威略圣灵，加以将士之力，臣何功之有？"

《白虎通》曰：古者师出不逾时者为怨思也。天道一时生物养人者，天之贵物也。逾时即内有怨女，外有旷夫。《诗》曰："昔我往矣，杨柳依依。今我来思，雨雪霏霏。"

《春秋》曰：宋人取长葛。传曰："外取邑此不书，此何谓以书？久也。"

《六韬》曰：武王平殷还，问太公曰："今民吏未安，贤者未定，何以安之？"太公曰："无故，如天如地。"

《说苑》曰：魏文侯攻中山，乐羊将，已得中山。还反（叛）[报]文侯，[文侯]命主书曰："群臣宾客所献书，操以进。"主书者举两箧以进，令将军视之，尽难攻中山之事也。将军还，北面而再拜曰："中山之举也，非臣之力，君之功也。"

《韩子》曰：晋文公将与楚战，召舅犯问曰："吾将与楚战，彼众我寡，为之奈何？"对曰："臣闻之，君子不厌忠信，战阵不厌诈伪，君其诈之而已。"又问雍季，对曰："焚林而田，后必无兽。以诈遇民，后必无民。"公曰："善！"以舅犯谋与楚战，大败之。归行爵，先雍季而后舅犯。群臣曰："城濮之事舅犯之谋，夫用其言而后其身，可乎？"公曰："此非若所知。夫舅犯之言，权也；雍季之言，万世之利也。"

罢 兵

《史记》曰：汉武帝患匈奴屡为边患，雁门马邑豪聂壹因大将军王恢言"匈奴初和亲亲信，边可诱以利致之，伏兵袭击，必破之道也。"帝召问公卿曰："今欲举兵攻之，何如？"韩安国曰："臣闻高皇帝围于平城，匈奴至者投鞍，高如城者数所。平城之饥，七日不食，天下歌之。及解围反位而无忿怒之心。夫圣人以天下为度者，不以己私怒伤天下之政。故乃遣刘敬奉金千斤以结和亲，至今为五代利。孝文皇帝又尝一拥天下之精兵聚之广武常谿，终无尺寸之功，而天下黔首无不忧，孝文悟于兵之不可宿，故复合和亲之约。此二圣之迹足以为效矣。窃以为勿击便。"

《汉书》曰：元帝时，朱崖、儋耳二郡夷数反，贾捐之上书请不击。其略曰："臣闻尧、舜、禹三圣之德，地方不过千里，西被流沙，东渐于海。朔南暨声教，欲与声教则理之，不欲与者不强理也。是以颂声并作，视听之类，咸乐其生。秦氏兴兵远攻，贪外虚内，务欲广地，而天下溃叛。赖圣汉为百姓请命，平定天下。至孝武皇帝以国富人逸，攘却匈奴，西连诸国，至于安息，东过碣石。造盐铁酒榷之利，以佐用度，犹不能足。当此之时，寇贼并起，征伐不休之故也。今陛下不忍悁悁之忿，欲(欧)[驱]士众挤之大海之中，悁，居缘切。挤，祖奚切。快心幽冥之地，非所以保全元元也。诗云："蠢尔蛮荆，大邦为仇。"自古患之久矣，何况万里之蛮乎？臣窃以往者羌军言之，暴师曾未一年，兵出不逾千里，费四十余万。大司农钱尽，乃以少府禁钱续之。夫一隅为不善，费尚如此，况于劳师远攻，亡士无功乎！臣愚以为非冠带之国，禹贡所不及，皆可且无以为于是。"遂罢其郡。

《后汉书》曰：光武建武中，北匈奴衰弱。臧宫、马武上书请临塞厚悬购赏，喻告高勾骊、乌桓、鲜卑攻其左，发河西四郡及天水、陇西羌胡击其右，如此北虏之灭，不过数年矣。帝曰："舍近谋远

者，劳而无功；舍远谋近者，逸而有终。故曰：务广地者荒，务广德者强。有其有者安，贪人有者残。残灭之政，虽成必败。今国无善政，灾变不息，百姓惊惶，人不自保，而复远事边外乎？孔子曰：吾恐季孙之忧，不在颛臾。"自是诸将莫敢复言兵事。

《魏志》曰：诸葛诞据寿春反，魏将王基讨之。司马文王欲遣诸将轻兵深入，招迎吴将唐咨等子弟因衅有荡覆吴之势。基谏曰："昔吴将诸葛恪乘东关之胜，竭江表兵以围新城，城既不拔，而众死者太半。蜀将姜维因洮上之利，轻军深入，粮饷不继，军覆上圭。音圭。夫既胜之后必轻敌，则虑难不深。今贼新败于外，又内患未弭，是其修政设虑之时也。且兵出逾年，人有归志，俘馘十万，罪人斯得。自历代征伐未有全兵独克如今之盛者也。武皇帝破袁绍于官(度)[渡]，自以所获已多，不复追奔，惧挫威也。"从之。

《尸子》曰：公输般为蒙天之阶。阶成，将以攻宋。墨子闻之，赴于宋，至于郢，见般曰："闻子为阶将以攻宋，宋何罪之有？无罪而攻之，不可谓仁。胡不已也？"公输般曰："不可。吾既以言之王矣。"墨子曰："胡不见我于王？"公输般曰："诺。"墨子见楚王曰："今有人于此，舍其文轩，邻有弊舆而欲窃之；舍其锦绣，邻有短褐而欲窃之；舍其(粱)[粱]肉，邻有糠糟而欲窃之：此为何若人？"王曰："此为窃疾耳。"墨子曰："荆之地方五千里，宋之地方五百里，此犹文轩之与弊舆也，荆有云梦，犀、兕、麋、鹿盈之，以江汉鱼、鳖、鼋、鼍为天下饶，宋无雉兔鲋鱼者也，犹(粱)[粱]肉之与糠糟也；荆有长松、文梓、楩楠、豫章，宋无长木，此犹锦绣之与短褐也。臣以王之攻宋也，为与此同类。"王曰："善！请无攻宋。"

《吕氏春秋》曰：秦兴兵欲攻魏。司马唐谏秦君曰："段干木贤者也，而魏礼之，天下莫不闻，无乃不可加兵乎？"秦君乃按兵而辍，不攻魏。文侯可谓善用兵矣。闻君子之用兵也，莫见其形，其功已成。此之谓也。

偃 武

《易》曰："泽上于地，萃。君子以除戎器，戒不虞。"

《书》曰：武王伐殷，乃偃武修文。倒载干戈，包以虎皮，示不用也。行礼射，设庠序，修文教也。归马于华山之阳，放牛于桃林之野，示天下弗服。山南曰阳。桃林在华山东北，皆非长养牛马之地，欲使自生死，示天下不（服）[复]乘用也，修文教也。

《礼记》曰："武王克商后，散军而郊，左射狸首，后射驺虞，而贯革之射息矣。归马于华山之阳，放牛于桃林之野。干戈弓矢包之以虎皮，示天下不复用兵也。

《左传》曰：宋向戌欲弭诸侯之兵以为名。子罕曰："天生五材，民并用之，废一不可，谁能去兵？兵之设久矣。所以威不轨而昭文德也。圣人以兴，乱人以废，兴废存亡，昏明之术皆兵由也。而子求去之，不亦诬乎！"

又曰："武王克商，作颂曰："载戢干戈，载櫜弓矢。"

又曰：夫文止戈为武。

《家语》曰：孔子北游，登于农山，曰："二三子各言其志，吾将择焉。"子路进曰："由愿白羽若月，赤羽若日，攘地千里，搴旗折馘，惟由能之。"子贡进曰："赐愿旗鼓相望，缟衣白冠陈说其间，二国释怨，惟赐能之。"颜回曰："回闻薰莸不同器而治，回愿得明王圣主（王）[而]相之，铸剑戟为农器，放牛马于原薮，则由无所施其勇，赐无所用其辩矣。"孔子曰："美哉，德也。"

《史记》曰：始皇曰："寡人赖宗庙之灵，六王咸服其辜，天下大定，收天下兵器销以为钟镛金人十二，重各千斤，置咸阳廷宫中。"

《汉书》：文帝诏曰："朕能任衣冠，念不到征讨，故鸡鸣狗吠，烟火万里也。"

又《食货志》曰：武帝末年，悔征伐之事，乃封丞相为富民侯。颜师古曰："欲百姓之殷实，故取其嘉名也。"

《庄子》曰：孔子谓盗跖曰："将军有意听臣，臣请南使吴越，北使齐鲁，东使宋卫，西使晋楚，使为将军造大城数百里，立数十万户之邑，使尊将军为诸侯，与天下更始罢兵休卒，收养昆弟，共祭先祖，此圣人才士之行而天下之愿。"

又曰：见侮不辱，救民之斗；禁(政)[攻]寝兵，救世之战。

《古司马法》曰：古者，武军三年不与民，睹之劳也，上下相报，和之至也。还师罢兵，复戎卒，三年不徭役以答人劳。得意则凯乐，歌示喜也。圣主诛不义，百姓皆得其所喜乐，各安其居，乐其常。偃伯灵台，答民之劳，告不兴也。偃，休息也。伯，主兵也。灵台(错)[颂]德美之，喜以祭天，示不复用兵也。

《吕氏春秋》曰：武王以武得之，以文持之。倒戈弛矢，示天下不用兵。

《尸子》曰：武王已战之后，三革不累，五刃不弦，牛马放之历山，终身弗乘也。

《淮南子》曰：秦之时，高为台榭，大为苑囿，远为驰道。铸金人，秦始皇二十六年，初兼天下，有长人见于临洮，其高五丈，足迹六尺，(放)[因]写其(刑)[形]，铸金人以象之。翁仲君何是也。发谪戍入刍槁，戍守长城也，入刍槁之(说)[税]以供国用(之)也。头会箕赋于少府。头会，随民口数责其税。箕赋，似箕(检)[敛]民(则)[财]，多取意也。少府，官名，如今司农。丁壮(大)[人]夫西至临洮狄道。临洮，陇西之县，洮水北。狄道，汉阳之县是也。东至会稽浮石，会稽，山名。浮石，随水高下，言不没，皆在江西界。一说会稽山在泰山下，封于泰山，禅于会稽是也。南至豫章桂林，豫章郡，桂林郁林也。北至飞狄阳原。飞狄在代郡南飞狄山也。阳原在太原。道路死人以沟量。言满沟也。当此之时，忠谏者谓之不祥，而道仁义者谓之狂逮。至高皇帝存亡继绝，汉高祖也。举天下之大义，躬自奋袂执锐以为百姓请命于皇天。执利兵，伐无道，以求百姓之命，祈之皇天也。当此之时，天下雄俊豪英暴露于野泽。才过千人为俊，百人为豪，万人为英。前蒙矢石而后堕沟壑，出百死而绍一生，以争天下之权，堕，入也。绍，至也。奋武励(诚)[威]，以决一旦之命。当此之时，丰衣博带而道儒墨者以为不肖。言尚武也。逮

至累乱以胜，胜暴乱也。海内大定，继文之业，立武之功。继文王受命之业、武王诛无道之功。履天子之图籍，造刘氏之貌冠。高祖于新农所作竹冠，一曰季貌冠也。总邹鲁之儒墨，通先圣之遗教，载天子之旗，乘泰辂，建九旒，撞大钟，击鸣鼓，奏咸池，(阳)[持]干戚。《周礼》：天子五辂，泰辂，上辂也。王者功成作乐，故撞钟击鼓。《咸池》，黄帝乐也。干，楯也。戚，斧也。舞者所执。当此之时，有立武者见疑一世之间，而文武代为，雌雄有时而用也。今世之为武也，则非文也；为文者，则非武。更相非，而不知时世之用也。

《说苑》曰：魏文侯与田子方语，有两童子衣青白衣而侍于君前。子方曰："此君子之宠子乎？"文侯曰："非也。其父死于战，此其幼也。寡人收之。"子方曰："臣以君之贼心为足，今滋甚。君之宠此子也，又且以谁之父杀之乎？"文侯愍然曰："寡人受(令)[命]矣。"自是已后，兵革不用。

左太冲《魏都赋》曰：丧乱既弭而能宴武，人归兽以去战，萧(耸)[斧]戢柯以押刃，虹旌摄麾以就卷。

沈休文诗曰：丹浦非乐战，负重切君临。

太平御览卷第三百二十八

兵部五十九

从军　羽书　占候

从　军

《诗》曰：伯也执殳，为王前驱。自伯之东，首如飞蓬。岂无膏沐，谁适为容。

又曰：鸨羽，刺君子下从征役，不得养父母也。肃肃鸨羽，集于苞栩。王事靡盬，不(遑启处)[能艺稷黍]。

《汉书·张良[传]》曰：良性多病，未尝持兵将，常为画策臣时从行。

《后汉书》曰：周嘉字惠文，仕郡为主簿。王莽末，群盗入汝阳，嘉从太守何敞讨贼，为流矢所中。贼围十重，白刃交集，嘉以身捍之，曰："嘉请以死赎君命。"后太守寇恂举为孝廉，拜侍郎。引见，问遭难之事，诏嘉尚公主，嘉称疾不肯当。

《梁书》曰：曹景宗为竟陵太守，及帝起兵，景宗聚族并率五服内子弟三百人从军。

《后魏书》曰：张衮字洪龙，上谷沮阳人也。好学有文才。太祖为代王选为左长史，决策帏幄，太祖器之，礼遇优厚。

又曰：韩茂从讨平凉，当茂所冲，莫不应弦而殪。由是世祖壮之。

又曰：张衮从太祖破贺讷，登勿居山，聚石为峰，以记功德，命衮为文。

又曰：(豆)[窦]代田从讨平凉，击破赫连定、得奚斤等。世祖以定妻赐之，诏斤膝行授酒于代田，敕斤曰："全尔命者代田功也。"

进爵长广公。

《隋书》曰：郭荣，辽东之役以功进位左光禄大夫。明年，帝复事辽东，荣以为中国疲敝，万乘不宜屡动。乃言于帝曰："戎狄失礼，臣下之事。臣闻千钧之弩不为鼷鼠发机，岂有亲辱大驾以临小寇！"帝不纳，复从军攻辽东城，荣亲蒙矢石，昼夜不释甲胄。

王粲《从军诗》曰：下船登高防，草露沾我衣。回身赴床寝，此愁当告谁。身服干戈事，岂得念所私。

又曰：从军有苦乐，但问所从谁。所从神且武，焉得久劳师。

鲍明远《[代]东武吟》曰：始随张校尉，召募到河源；后逐李轻车，追虏穷塞垣。

曹子建诗曰：从军度函谷，驰马过西京。

嵇叔夜《赠秀才入军》诗曰：良马既闲，丽服有辉。风驰霓逝，蹑景追飞。凌厉中原，顾盼生姿。

陆机《从军行》曰：朝食不免胄，夕息常负戈。苦哉远征人，附心悲如何？

薛莹《答华永先诗》曰：桴鼓常在侧，笔研永欲捐。卷衮不复开，干戈以为权。

刘义恭《拟古》诗曰：束甲辞京洛，负戈事乌孙。后军济太河，筑垒黎阳屯。旦闻羽檄飞，夕见边驿奔。

羽书

《史记》曰：齐使鲁连为书，以箭射之遗燕将曰："吾闻之，知者不背时而弃利，勇士不怯死而灭名，忠臣不先身而后君。忠废名灭，后代无称，非智也。且吾闻效小节者不能行大威，恶小耻者不能立荣名。昔管仲、曹沫二公者非不能效小节、死小耻也，以为杀身绝代，功名不立，非智也。故业与王霸争流，名与天壤相弊，公其图之。"燕将自杀。

《汉书·高[帝]纪》曰：武臣自立为赵王，沛令欲以沛应之。恐

有变，欲诛萧、曹。[萧、曹]恐，逾城保高祖，乃书帛射城中与沛父老。父老乃杀沛令，开门迎高祖。

《后汉书》曰：隗嚣檄告州郡，言王莽之罪，越楚之竹不足以书其恶。

《魏志》曰：关羽围行征南将军曹仁于樊。赵俨以议郎参仁军事。俨谓军将曰："今贼犹盛，我徒卒单少，而仁(隅)[隔]绝，不得同力。前军逼围，遣谋通仁，使知外救，以励将士，然后表里俱发，破楚必矣。"诸将皆喜，便作地道，射箭飞书，与仁消息。

《晋书》曰：初，安南将军甘卓与左将军隋王承书，劝使固守，当以兵出沔口，断王敦归路，则湘围自解。承答其书，略曰："足下若能卷甲电赴，犹或有济，若其狐疑，求我枯鱼之肆矣。"

《梁后略》曰：(巳)[己]酉，上自长沙寺移住天居寺。是日，北军射书城内："今者行兵，不贪城隍土地，不贪子女玉帛，志存救弊，济此生民，广访民人，择善而立。梁朝士庶尚未相领解，蚁聚穷城，寂无求问，寻此异卜，良用(到)[疑]惑。"

又曰：褚萝率其下五百人，乘大舰于鹿头后湖，以(辉)[备]水战。北军聚而观。萝乃掉舰向岸，北军引去，萝亦回归。上乃射书北军，大开赏募，有能斩送贼帅者封五千户侯，赐绢万匹。

占候

《孙子》曰：天者，阴阳、寒暑、节制也。谓顺天行诛，因阴阳四时、刚柔之制。故《司马法》曰："冬夏不兴师，所以兼爱爱吾人。"若细雨沐军，临机必有擒；回风相触，遣(还)[远]而无功。云类羊群，必走之道；气如惊鹿，必败之势。黑云出垒，赤气临军，皆败之兆。若烟非烟，此庆云也，必胜。若雾非雾，是泣军也，必败。是知风云之占，其来久矣。

《孙子占》曰：三军将行，其旌旗从容以向前，是为天送，必亟击之，得其大将。三军将行，其旍旗垫音店。然若雨，是为天霑，其师失。三军将行，旍旗乱于上，东西南北无所主方，其军不还。三军

将阵，雨甚，是为浴师，勿用阵战。三军将战，有云其上而赤，勿用阵，先阵战者莫复其迹。三军方行，大风飘起于军前，右周绝军，其将亡。右周中，其师得粮。

《左传·[僖公五年]》曰：晋侯围上阳，问于卜偃曰："何时克之？"对曰："童谣云：丙子之辰，龙尾伏辰，均服振振，取虢之旗。鹑之贲贲，天策焞焞，火中成军，虢公其奔。其九月、十月之交乎？"

《韩诗外传》曰：武王伐纣，到[于](刑兵)[邢丘]，轭折为三，天雨三日不休。武王惧，召太公而问之曰："纣未可伐乎？"太公曰："不然。轭折为三者，军当分为三也。天雨三日者，欲洒吾兵也。"

《后汉书》曰：韩遂屯美阳，董卓与战，辄不利。十一月夜，有流星如火光，长十余丈，照遂营中，驴马尽鸣，贼以为不祥，欲归金城。卓闻之，喜。明日乃与右扶风鲍鸿等并兵俱攻，大破之，斩首数千级。

又曰：王寻、王邑攻南阳，积弩乱发，矢下如雨，城中负户而汲。王凤等乞降，不许。寻、邑自以为功在漏刻，意气甚逸。夜有流星坠营中，昼有云气如坏山，当营而陨，不及尺而散，吏士皆厌伏。《续汉志》曰：云如坏山所谓营头之星也。占曰：营头之所坠，其下覆军杀将，血流千里。厌音一叶反。

《晋书·载记》曰：刘曜。咸和三年，曜梦三人金面丹唇东向逡巡，不言而退，曜拜而履其迹。旦，召公卿以下议之。朝臣咸贺以为吉祥，惟太史令任义进曰："三者，历运统之极也；人为震位，王者之始，次也；金为兑位，物衰落也；唇丹不言，事之毕也；逡巡揖让，退舍之道也；为拜者，屈伏于人；履迹而行，慎勿出疆也。东井，秦分也，五车，赵分也，秦兵必暴起亡主，众师留败赵地。远至三年，近至七百日，应不远。愿陛下思而防之。"曜大惧。

又曰：石季龙攻张重华，谢艾拒之。艾建牙旗盟将士，有西北风吹旌东南指，(日)[曰]："风为令，今旗指之，天所赞也，破之必矣。"军次神鸟，王擢与前锋战，败遁，还河南，还讨叛虏斯骨真万余

落破之。

又《天文志》曰：水与金合为变，谋为兵。夏入太白中上出，破军杀将。

又曰：元兴[二]年八月庚子，太白犯岁星在上将。

又曰：永兴二年四月丙子，太白犯狼星。占曰："大兵起。"九月，岁星守东井。占曰："有兵。"井又秦分野，是年，苟师破公师，蕃张方破苑阳，王嵘关西诸将攻河间王，颙奔走，东海王迎杀之。永和十四年十二月，慕容俊遂据临漳，尽有幽、并、青、冀之地，缘河诸将奔散，河津隔绝。

又曰：戊子，月犯牵牛大星。占曰："牵牛，天将也。"

又曰：义熙十四年十月癸巳，荧惑入太微，犯西蕃上将，乃顺行至左(振)[掖]门。

又曰：辰星(尝)[当]出不出，是谓击卒，兵大起。在于房心间，地动。

又曰：凡有蚀五星，其国皆(止)[主]岁以饥，荧惑以乱，镇以弑太白以强国，战辰星以女乱。

又曰：辰星不出，太白为客，其出，太白为主。出而与太白不相从，乃各出一方为格野，虽有军，不战。

《隋书》曰：长孙晟以边功授上开府仪同三司，复遣还大利，安抚新附。仁寿元年，晟表奏曰："臣夜登城楼，望见碛北有赤气长百余里，皆如雨足下垂被地。谨验兵书，此名洒血，其下之国，必且破亡。欲灭匈奴，宜在今日。"诏杨素为行军元帅、晟为受降使者北伐。二年，军次北河，值贼帅思力侯斤等领兵拒战，与大将军梁默击走之。转战六十余里，贼众多降。

《唐书》曰：武德中，淮南道行台仆射辅公祏据丹阳反。遣赵郡王恭为行军元帅讨之。将发，与诸将宴集，命取水，忽变为血。在座中皆失色。恭举止自若，谕之曰："祸福无门，惟人自召，自顾无负于物，诸君何忧惧之深？公祏恶积祸盈，今承庙算以致讨，盆中

之血，乃公祏授首之征。”遂尽欢而罢。时人服其识度而能安众，竟平公祏焉。

又曰：李晟之将复京师也，时茨惑守岁，久之方退。宾介或劝晟曰：“今茨惑已退，皇家之利也，可速出兵。”晟曰：“天子外次，人臣当死节，垂象玄远，吾安知天道”。至是，谓参佐曰：“前者公劝晟出兵，非敢拒也。且军士可用之，不可使知之。尝闻五纬盈缩无准，惧复来守岁，则我军不战而自溃矣。”参佐叹服，皆[曰]：“非所及也。”寻拜晟为司徒兼中书令。

《三国典略》曰：十一月癸未，梁主阅戎，于津阳门外立二城，南为吴地，北为虏城。西北风甚急，溥天昏暗，旛旗南靡，乃移虏军度南城，吴军度北城，以顺风也。俄而骤雨暴降，梁主轻辇还宫，至城而霁，观者怪之。

又曰：太原郡王高洋督兵攻王思政，陷于颍川，遂入东魏。先是，长社夜有声如车骑从西北向城，居二日，黑风起于乾地，吹水入城，城坏，风羊角而上。

又曰：侯瑱败王琳于梁山，琳及萧庄并奔于齐。初东关水舟舰得通，琳引合肥之众相次而下。瑱与琳合战，琳军少却，退保西岸。及夕，东北风大起，吹其舟舰没于沙中。夜有流星坠于琳营。及旦风静，琳入浦修船，以鹿角绕岸，不敢复出。

《六韬》曰：周武王伐纣，师至泥水牛头山，风雨甚疾，鼓旗毁折。王之骖乘惶震而死。

太公曰：用兵者，顺天道未必吉，逆之不必凶。若失人事，三军败亡。且天道鬼神，视之不见，听之不闻。智将不发而愚将拘之。若乃好贤而能用，举事而得，此则不看时日而事利，不(暇)[假]卜筮而事吉，不祷祝而福从。”遂命驱之前进。周公曰：“今时逆太岁，龟灼凶，卜筮不吉，星变为灾，请还师。”太公怒曰：“今纣刳比干、囚箕子，以飞廉为政，伐之有何不可？枯草朽骨，安可知乎？”乃焚龟折蓍，援(抱)[枹]而鼓，率从先涉河。武王从之，遂灭纣。

又曰：从孤击虚，高人无余，一女子当百夫。风鸣气者贼存在十里，鸣条百里，摇枝四百里。雨霑衣裳者谓润兵，不霑者谓泣兵。金气自鸣及焦气者，军疲也。

又曰：武王使散宜生卜伐殷，钻龟，龟不兆。下占于地，数蓍，蓍交而折。祖行之日，雨辎车至轸。行至之日，帜折为三。宜(王)[生]曰："(二)四凶不祥，不可举事。"太公进曰："退，非子之所及也。圣人生天地之间，承衰乱而起，龟者枯骨，蓍者折草，何足以辨吉凶。祖行之日雨辎车至轸，是洗濯甲兵也。行之日帜折为三，是军分为三，如此斩纣之首，吉也。"

《抱朴子》曰：晋太康二年，京邑始乱，三国举兵攻长沙，王人小民张昌反于荆州，奉刘尼为汉主。乃遣石(水)[冰]击定扬州，屯于建业。宋道冲说冰求为丹阳太守，到郡发兵以攻冰召余为贮兵都尉。余年二十一，见军旅不得已而就之。宋侯不用吾计，数败。吾令宋侯从月建住华盖下，遂收合余烬，从吾计，破石冰焉。

又曰：凡战，观云如走鹿形者，败军之气也。

《兵法秘诀》曰：镇星所在之宿，其国不可伐。又彗星见大明，臣下纵横，民流之无所食，父子坐离，夫妇不相得。四维有流星，前如瓮，后如火光，竟天如雷声，名曰"天狗"。其下饥荒，民疾疫，群臣死。流星东北行，名天冈，天海之口，必有大水土功。又四维有流星，入以后有白气如云状，似车轮，是谓啮食，其下大兵，中国多盗贼。又有星如斗，见北斗，名为旬始，天下大乱，诸侯争雄。

《玄女兵法》曰：凡行兵之道，天地大宝得者全胜，失者必负。北斗之中，禽有旬始，状像雄鸡，制百兵之母。能得其术，何神不使。九地九天，各有表里，三奇六合(王)[主]威军事。

又曰：黄帝攻蚩尤，三年城不下。募求术士，乃得伍胥。与之言曰："今日余攻蚩尤，三年城不下，(与)[其]咎安在?"伍胥曰："此城中之将，为人必白色、商音，帝始攻时，得无以秋之东方行乎？今黄帝为人苍色、角音，此雄军也。以战为之。"黄帝曰："善！为之若

何?"伍胥曰:"臣请攻蚩尤,三日城必下。"黄帝大喜。其中黄直(日)[曰]:"帝积三年攻蚩尤而城不下,今子欲以三日下之,何以为明?"伍胥曰:"不如臣言,请以军法论。"黄帝曰:"子欲以何时?""臣请朱雀之日日正中时,立赤色徵音绛衣之军于南方,以辅角军;臣请以青龙之日平旦时,立青色角音青衣之军于东方,以辅羽军;臣请以玄武之日人定时,立黑色羽音黑衣之将于北方,以辅商军;臣请以白虎之日日入时,立白色商音白衣之将于西方,以辅宫军。四将以立,臣请为帝以黄龙之日日中,建黄旗于中央,以制四方。"五军已具,四面攻蚩尤,三日其城果下,黄帝即封胥世世不绝。

又曰:战斗不法,当从九天之上击九地之下,众士默默,人无见者。九天者,春在青龙,夏在朱雀,秋在白虎,冬在玄武。四神为九天,其冲为九地。

《星占》曰:太白出高,用兵深入敢战者,吉。星出东方,中国大利,蛮夷大败。

《兵书》曰:气聚如龙、如鹄尾者,其下军兵破败也。

太平御览卷第三百二十九

兵部六十

征应　神兵

征　应

《汉书》曰：贰师将军李广利被围水绝，广利拔刀刺山，飞泉涌出。

又曰：王莽出军，祖都门外，天雨沾衣，长老叹曰："是谓泣军。"

王隐《晋书》曰：咸康元年，督护王随领三千人讨宁州贼，三角皆裂，军人恶之。随曰："裂者破也，当破贼而不得土地也。"到西平郡界，两道讨贼，贼守马羡奔走，民皆归降。

《晋书·桓温传》云：郭璞为谶曰："有人姓李，儿专征战。譬如车轴，脱作在一面。"儿者，子也。李去子木存，车去轴为亘，合成桓字也。

又曰：成都王颖师次朝歌，每夜矛戟有光若火，其垒井中皆有龙象，前军大败。

又曰：时有童谣云："阿童复阿童，衔刀浮渡江。不畏岸上虎，但畏水中龙。"会益州刺史王濬，小字阿童，表请加龙骧将军，令造舟楫。

又曰：谢艾出师振武，夜有二枭鸣于牙。艾曰："六博得枭者胜，今枭鸣牙中，克敌之兆。"果胜之。

又曰：王澄为荆州，时京师危逼，澄率众军将赴国难，而飘风折其节柱。会王如寇襄阳，澄前锋至宜城，为如党严嶷所获。

又《载记》曰：吕光伐西域，进及流沙三百余里，无水，将士失色。光曰："吾闻李广利精诚玄感，飞泉涌出，吾等岂独无感致乎！

皇天必有济，诸君不足忧也。”俄而大雨，平地三尺。

又曰：石勒拒刘曜，勒统步骑四万赴金墉，济自大竭。先是流澌风猛，军至(冰)[水]泮清和，济(卑)[毕]，流澌大至，勒以为神灵之助也。命曰：“灵昌津。”

《宋书》曰：王仲德初欲南归奔太山，追骑急夜行，忽见前有猛炬导之，乘火行百许里，以免。

又曰：元凶弑逆，孝武率众入讨。荆州刺史南谯王义宣、雍州刺史臧质并举义兵。三月乙未，建牙军门。是时多不悉旧仪，有一翁(班)[斑]白，自称少从武帝征伐，颇悉其事。因使指麾，事毕忽失所在。自冬至春常东北风，连阴不霁，其日牙立之后，风转西南，景色开霁，有紫云阴于牙上。

《北齐书》曰：侯景遣将任约伐湘东王于江陵，陆法和自请征之，至赤沙湖与任约相对，纵大舫于前而逆风不便，法和执白羽以麾，风即返。于是大溃，约逃窜不知所之。

《后周书》曰：太祖既继贺拔岳起事，将刑牲盟誓同奖王室。初，贺拔岳营于河曲，有军吏独行，忽见一老公鬓眉皓素，谓之曰：“贺拔岳虽复据有此众，然无所成，当有一宇文家从东北来，后必大盛。”言讫不见。此吏恒与所亲言之，至是方验。

《隋书》曰：张祥开皇中，累迁并州司马。仁寿末，汉王谅举兵反，遣其将刘建略地燕赵，至井陉，祥勒兵拒守，建攻之。后纵火烧其郭下。祥见百姓惊骇，其城侧有西王母庙，祥登城望之，再拜涕泣而言曰：“百姓何罪，致此焚烧，神有灵可降雨相救。”言讫，庙上云起，须臾骤雨，其火遂灭。士卒感其至诚，莫不用心。城围月余，李雄援军至，贼遂退走。

又曰：窦荣定以佐命功拜上柱国、宁州刺史，未几复为武安侯大将军，寻除泰州总管，赐吴乐一部。突厥沙钵寇边，以为行军元帅。率九总管步骑三万出源州，与虏战于高越原，两相持。其地无水，(土)[士]卒渴甚，至刺马血而饮，死者十二三。荣定仰天太息。

俄而澍雨，军乃复振。于是进击，数挫其锋。沙钵突厥惮之，请盟而去。

《唐书》曰：开元中，降胡叛，敕王晙帅并州兵济河以讨之。晙乃间行倍道，以夜继昼，卷甲舍幕而往。会夜于山中忽遇风雪甚盛，晙恐失期，仰天誓曰："晙若事君不忠，天讨有罪，明灵所殛，固自当之。而士众何辜，令此艰苦，诚心忠烈，天鉴孔明，当止雪回风，以济我事。"言讫，风回雪止。时叛者分为两道，晙追及之，杀一千五百余人，生获一千四百余人，驼马牛羊甚众。

又曰：初肃宗行至丰宁，南见河(夫)[天]堑之固，欲整军北渡。将诣丰宁，忽大风飞沙砾，数步之间不辨人马。由是回军东趋灵武，风沙顿止，天地廓清。

又曰：肃宗至平源郡，路傍遇一伏兔，命左右索弓箭。因谓左右曰："吾若破贼，射则中之；不然则否。"一发而毙，左右咸称万岁。

又曰：建中三年，哥舒曜欲攻李希烈于许州，师次颍桥，大电雷而雨，营中震不能言者三四十人。驴马死者有七。曜恶之，乃退。

又曰：田悦为魏王受册之日，其军上有云物稍异。马燧等望而笑曰："此云无知，乃为贼瑞。"

又曰：田悦称魏王，其营地前二年土长高三尺余。魏州户曹韦稔为(土)[士]长颂曰：公益土之兆也。

《管子》曰：桓公北征孤竹，未至卑耳溪，十里[阗然，止瞠然视，]援弓(而)[将]射，(射)[引][而]未[敢]发也。谓左右曰："见前人乎？"对曰："不见。"公曰："寡人见人长尺而人(物)[形]具焉，(冠)冠右，袪衣，马前疾走。寡人其不济乎？"管仲曰："袪衣，示前有水也；右，示涉也，至卑耳之溪，从左涉深及冠，从右方深至膝。"已涉，大济。公拜曰："仲父之圣若此也。"

《山海经》曰：鹿台之山有鸟焉，如雄鸡而人面，名曰"岛溪"。其鸣自呼，见则有兵。小决之山有兽焉，如猿，白首赤足，见则有兵。能山之穴恒出神人，夏启而冬闭。是穴也，冬启乃必有兵。郭

璞注曰：今郫西北有石鼓鸣乃有兵，即(北)[此]类。

《淮南子》曰：人主有伐国之志，邑犬群嗥，雄鸡夜鸣，库兵动而戎马惊。戎马，兵马也。鸡夜鸣而兵马起，气之感动也。

《六韬》曰：三军无故，旌旗皆前指，金铎之声(杨)[扬]以清，鞞鼓之音宛而鸣，此得神明之助，大胜之征也。

又曰：纣为无道，武王于是东伐纣。至于河上，雨甚雷疾，王之乘黄振而死，旗旌折阳侯波。周公进曰："天不祐周矣。意者，君德行未尽，而百姓疾怨，故天降吾祸。"于是太公援罪人而戮之于河，三鼓之，率众而先，以造于殷，天下从之。甲子之日，至于牧野，举师而讨之。纣城备设而不守，亲擒纣，悬其首于白旗。

又曰：武王伐纣，诸侯已至，未知士民何如。太公曰："天道无亲，今海内陆沉于殷久矣，百姓可与乐成，难与虑始。"伯夷、叔齐曰："杀一人而有天下，圣人不为。"太公曰："师渡孟津，六马仰流，赤乌降，白鱼外入，此岂非天所命也？师到埅音牧。野，天暴风电，前后不相见，车盖发越，辕衡摧折，旌旄三折，旗帜飞扬者精锐感天也。雨以洗吾兵，雷电应天也。"

《吴越春秋》曰：越王追攻吴兵，欲入胥门。未至六里，望吴南城，见伍子头眉若车轮，目垂光烈，发鬓四张，耀于十数里。大惧，留兵。即日夜半，暴风疾雨，雷电鸣，沙石飞射，疾于弓弩。越军坏败。

桓谭《新论》曰：维四月，太子发上祭于毕下，至孟津之上。此武王已毕三年之丧，欲卒父业。升舟而得鱼，则地应也。烛祭降乌，天应也。二年，闻纣杀比干、囚箕子，太师、少师抱乐器奔周。甲子，日月若连(璧)[璧]，五星若连珠。昧爽，武王朝至于南郊牧野，从天以讨纣，故兵不血刃而定天下。

《三国典略》曰：东魏以平鉴为怀州刺史。鉴乃于轵开道筑城，以防于我。寻而，太祖遣骠骑将军杨摛、仪同长孙庆明率兵东伐。是时，新筑之城少粮乏水，众情大惧。南门内有一土井，随汲即竭。鉴乃具衣冠俯井而祝，俄而泉涌，城内皆足。扬水示摛，摛无功而

还。搠，匹眇切。

又曰：周帝问齐王延宗曰："邺城若为可取？"延宗辞曰："亡国之大夫不可与图存。"强问之，乃曰："若任城据邺，臣不能知，若今主自守，陛下兵不血刃。"时好事者以为延宗年号德昌，得二日也。及即位至败，果二日。

神　兵

《梁书》曰：先是，旱甚，诏祈蒋帝神求雨，十旬不降。帝怒，命载荻欲焚蒋庙并神影。尔日开朗，欲起火，当神上忽有云如伞，倏忽骤雨如(写)[泻]，台中宫殿皆自振动。帝惧，驰诏追停，少时还静。自此，帝畏信遂深。自践祚已来，未尝躬自到庙，于是，乃法驾将朝臣修谒。是时，魏军攻围钟离，蒋帝神报敕必许扶助，既而无雨水长，遂挫敌人，亦神之力焉。凯旋之后，庙中人马脚尽有泥湿，当时并目睹焉。

又曰：王僧辩平郢州，进师寻阳，军人多梦周何二庙神兵曰："吾已助天子讨贼。"自称征讨大将军，并乘朱航。俄而反曰："已杀竟。"同梦者数十百焉。

《陈书》曰：高祖讨侯景，军次大雷。军人杜稜梦雷池君周何神，自称征讨大将军，乘朱航，陈甲仗，称下征侯景，须臾便还，(去)[云]已杀景。

《隋书》曰：汉王谅余党据晋、绛等三州未下，诏罗睺行绛、晋、吕三州诸军事，进兵围之，为流矢所中，卒于师，时年六十(曰)[四]。送柩还京，行数里，无故舆马自止，策之不动。有飘风旋绕焉。绛州长史郭雅稽颡(呪)[祝]之曰："公恨小寇未平耶？寻即除殄，无为恋恨。"于是风静马行，见者莫不悲叹。其年秋七月，子仲隐梦见罗睺曰："我明日当战。"其灵座所有弓箭刀剑无故自动，若人带持之状。绛州城陷，是其日也。

《唐书》曰：高祖初起，师次霍邑。隋武牙郎将宋老生陈兵拒

险，义师不得进，屯军于贾胡堡。会霖雨积旬，馈运不给，高祖患之。忽有白衣人诣军门见曰："霍山神遣语大唐皇帝，若向霍山邑，当东南傍山取路。八月雨止，我当助尔破之。"高祖初哂之，遣人东南视地，果有微道。高祖笑曰："此神不欺赵襄子，岂负吾耶？"时有讹言云突厥将袭太原，又军粮且尽，高祖命旋师，太宗切谏乃止。八月(巳)[己]卯，雨果霁。高祖大悦，以太牢祭霍山。辛巳，引师从傍山道趋霍邑，去城十余里，有阵云起军北，东西竟天。高祖谓裴寂曰："云色如此，必当有庆。"

又曰：贞元初，江西都团练使李兼奏，建中四年，鄂州刺史逆贼李希烈之将董侍召率众袭鄂州，顺风纵火，邑屋将焚。臣乃祷于城隍神，倏忽风回火烈，贼溃，遂击破之。连状黄沔三州。请付史官，以答神意。从之。

《三国典略》曰：齐高纬发晋阳，开府薛荣宗尝云能使鬼兵，言于齐主曰："臣已发遣斛律明月将大兵(在)[往]。"齐主信之。经介休，见一古冢，荣宗谓舍人元行恭曰："是谁冢也？"行恭戏之曰："郭林宗。""是谁？"曰："郭元真父。"荣宗即启云："臣向见郭林宗从冢出，著大帽，吉莫靴，摇马鞭问臣：我阿贞来否？"

又曰：侯景西逼，陆法和率白服(弟子)[子弟]顿于安南，乞征任氏，湘东许之。乃召诸蛮子弟八百人，在江津二日，便登舰，大笑曰："无量兵马。"江陵旧多神祠，俗恒祈祷，自法和军出，无复一验，人以诸神皆行从故也。

又曰：梁临汝侯萧猷尝为吴郡太守，与楚庙神交饮至一石，而神亦有酒色，所祷必从。后迁益州刺史，江阳人齐荀儿反，率众攻城，猷乃遥祷请救。将战之日，有田老逢一骑，络铁从东来，问去城几里。曰："四十。"时已晡，骑举(稍)[稍]曰："后人来，可令之疾马，欲及日破贼。"俄有数百骑如风，一骑请饮，田老问为谁，曰："吴兴楚王来救临汝侯。"此时庙中祈祷，无复有验。十余日后，乃见侍卫土偶泥湿如汗。于是荀儿乃平。

太平御览卷第三百三十

兵部六十一

警　备

《孙子》曰：用兵之法，无恃其不来也，恃吾有能以待之也；无恃其不攻吾也，恃吾不可攻也。安则思危，存则思亡，常有备也。

《左传》曰：不备不虞，不可以师。

又曰：诸侯相见，军卫不(彻)[撤]，警也。

又曰：晋栾书伐楚，将战，楚晨压晋军而阵，压，窄其未备也。军吏患之。晋将范丐趋进曰："塞井夷灶，陈于军中，而疏行首，疏行，有当阵前户决开垒战道。行，部[郎]切。晋楚惟天所受，何患焉？楚师轻窕，固垒而待之，三日必退，退而击之，必获胜焉。"终败楚师。

《战国策》曰：苏秦将[合]从说燕文侯曰："燕地方二千里，带甲十万，车七百，骑六千，粟支十年。南有碣石(门雁)[雁门]之饶，北有枣粟之利。"

又曰：张仪为秦连横，说韩王曰："秦带甲百余万，虎贲之士不胜计，秦卒犹孟贲之与怯夫。"

又曰：江乙对(江)宣王曰："今王之地方五千里，带甲百万而专属之于昭奚恤，故北方之畏昭奚恤也。"

《春秋后语》曰：苏秦南说楚威王曰："楚天下之强国也；王，天下之贤主也。西有黔中、巫郡，东有夏(周)[州]、海阳，南有洞庭、苍梧，北有汾阴。地方五千里，带甲百万，车千乘，骑万匹，粟支十年。此霸王之质也。"

《史记》曰：周末荆人伐陈，吴救之，军行三(千)[十]里，雨十

日，夜见星。左史倚相谓荆大将子期曰："雨十日，甲辑兵聚，吴人必至，不如备之。"乃为阵，而吴人至，见荆有备而反。史曰："其反覆六十里，其君子休小人为食，我行三十里击之，必克。"从之，遂破吴军。

又曰：秦将王翦率兵六十万伐楚，楚王悉国中兵以拒之。王翦至，坚壁而守之，不肯战。楚兵数挑战，终不出。王翦曰："休士洗沐而善饮食拊循之。"亲与士卒同食。久之，王翦使人问"军中戏乎？"曰"方投石超距。"于是王翦曰："士卒可用矣。"楚又数挑战，而秦不出，乃引而东。翦因举兵追之，大破楚军蕲南，因灭其国。

又曰：汉景帝初，吴王濞反。总兵度淮与楚王战，遂败棘壁，乘胜前，锐甚。梁孝王恐，(六)[大]将军击吴，又败，梁将士卒皆还走。梁数使使报汉大将周亚夫求救，亚夫不许。又使使恶亚夫于上，恶，乌路切。上使人告之救梁。亚夫复守，便宜不行。梁使韩安国及楚死事相弟张羽为将军，楚相张尚谏吴王而死。乃得颇败吴兵。西梁城守坚，不敢西，即走，亚夫军会下邑矣。师欲战，亚夫壁不肯战，吴粮绝卒饥，数挑[战]。遂(死)[夜]奔亚夫壁，亚夫终不出。中夜惊，内相扰乱，至帐下，亚夫卧不起，顷之复定。吴士卒多饥死，遂以叛散。

《汉书》曰：傅喜以光禄大夫养病。大司空何武、尚书唐林皆上书言喜行义，曰："忠臣社稷之卫，鲁以季友治乱，师古曰：谓季氏亡则鲁不昌。楚以子玉轻重，师古曰：谓楚杀子玉而晋侯喜，可知也。魏以无知[忌]折衡，师古曰：信陵君也。项以范增存亡。故楚跨有南土，带甲百万，邻国不以为难。子玉为将则文公侧席而坐，及其老也，君臣相庆，百万之众不如一贤也。"

《后汉书》曰：更始初，光武在河北击铜马贼于鄗；吴汉将突骑来会清阳城，贼挑战，卤武坚营自守，有出掳掠者，辄击取之。卤与虏同。掠，夺取之也。绝其粮道，积月余日，贼食尽，夜遁去。追至馆陶，大破之。受降未尽而高湖重连贼从东南来，与铜马余众合，光

武复与大战于满阳，悉破降也。

又曰：王霸、马武既破周建、苏茂营，贼复聚挑战，霸坚卧不出。军吏皆曰："茂前日已破，今易击也。"霸曰："不然。苏茂客兵远来，粮食不足，故数挑战，以徼一切之胜。徼，要也。一切，犹权时也。徼，古尧切。今闭营休士，所谓不战而屈人之兵，善之善者也。"茂、建既不得战，乃引还营。其夜，建兄子诵反，闭城拒之。茂、建遁去，诵以城降。

又曰：公孙瓒既为鲜于辅所败，虑有非常，乃告于高京，以铁为门，斥去左右。男人七岁以上不得入门，专侍姬妾。其文簿书皆及而上之，令妇人习为大言声，使闻数百步以传宣教令。疏远宾客，无所亲信，故谋臣猛将稍有乖散，自此之后，希复攻战。

《九州春秋》曰：公孙瓒曰："始天下兵起，我谓唾掌而决。至于今日，兵革方始，观此非我所决，不如休兵力耕，以救凶年。兵法百楼不攻，今吾诸营楼楯千里，楯，即（鲁）[橹]字，见《说文》。《释名》曰：橹，露也，上（元）[无]（覆屋）[屋覆]也。积谷三百万斛，食此足以待天下庆也。"

《魏志》曰：冀州牧韩馥。长史耿武、别驾闵纯、治中李历谏馥曰："冀州虽鄙，带甲百万，谷支十年。"

又曰：大军南征吴到积湖，大将（满）[汉]宠帅诸军在前，与贼隔水相对。令诸将曰："今夕风甚猛，贼必来烧营，宜为之备。"诸军皆惊。夜半，贼果遣十部来烧营，宠掩击破之。

又曰：吴将诸葛恪围新城，司马景王使镇东将军毋丘俭、扬州刺史文钦等拒之。俭、钦请战，景王曰："恪卷甲深入，投兵死地，其锋未易当，且新城小而固，攻之未可拔。"遂命诸将高垒以弊之。相持数月，恪攻城力屈，死伤太半。景王乃令钦督锐卒趣合，（榆）[偷]断要其归路，俭帅诸军以为后继，恪惧而遁。钦逆击，大破之。斩首万余级。

《吴书》曰：赵咨字德度，南阳人。博学多智，应对辩捷。孙权为吴王，擢至太中大夫使。魏文帝嘲咨曰："吴王颇知学乎？"咨曰：

"浮江万艘，带甲百万，任贤使能，志在经略。虽有余闲，博览书传，历史籍，采奇异，不效书生寻章摘句而已。"又曰："吴难魏不"？咨曰："带甲百万，江汉为池，何难之有！"

《蜀志》曰：先主率大众东伐吴，吴将陆逊拒之。蜀主从建平连围至夷陵界，立数十屯。以金帛爵赏诱动诸夷。先遣将吴班以数千人于平地立营，欲以挑战。诸将皆欲击之，逊曰："备举军东下，锐气始盛，且乘高阻险，难可卒攻。攻之纵下，犹难尽克。若有不利，损我大势，非小故也。今但奖励将士，广施方略，以观其变。若此间是平原广野，当恐有蒙沛交驰之忧。蒙，音标。今缘山行军，势不得展，自当疲于木石之间，徐制其弊耳。"备知其计不行，乃引伏兵八千人从谷口中出。逊曰："所以不听诸君击班者，揣之必有巧故也。"诸将并曰："攻备当在初，今乃令入五六百里，相衔持经七八月，其诸要害皆已固守，击之必无利矣。"逊曰："备是猾虏，更尝事多，其军始集，思虑精专，未可干也。今住已久，不得我便，兵疲意沮，计不复生，掎角此寇，正在今日。"乃先攻一营，不利。逊曰："已晓破之术。"乃令各持一把茅，以火攻拔之。俄而成势，遂率诸军同时俱攻，破四十余营。备升马鞍山陈兵自绕。逊督促诸军四面蹙之，土崩瓦解，死者万数。备因夜遁。

《晋书》曰：王戎谓齐王冏曰："公首举众，匡定大业，开辟已来，未始有也。然论功报赏，不及有劳，朝野失望，人怀二志。今二王带甲百万，其锋不可当。若以王就弟不失，故委此求安之计也。"

又曰：大将罗尚遣广汉都尉曾元、牙门张显等潜率步骑三万袭蜀贼李特营，特素知之，乃缮甲厉兵，戒严以待之。元等至，特安卧不起，待其众半入，发伏击之，杀伤者甚众。遂害曾元、张显等。

又曰：安平王孚初为魏度支尚书，以为禽敌制胜，宜有备预。每诸葛亮入寇关中，边兵不能制敌，中军奔赴，辄不及事机，宜预选步骑二万以为二部，为贼之备。又以关中连贼寇，谷帛不足，遣冀州农丁五千屯于上邽。秋冬习战，春夏修田桑。由是关中军国有

备矣。

崔鸿《十六国春秋》曰：前赵刘曜遣将讨氐羌，大酋权渠率众保险阻。曜将游子远频败之。权渠欲降，其子伊余大言于众中："往日刘曜自来，犹无若我何，况此偏师，自欲降乎？"遂率劲卒五万人，晨压子远垒门。左右劝出战，子远曰："吾闻伊余有专诸之勇、庆忌之捷、士马之强，人百匪敌。其父新败，怒气甚盛，且西戎劲悍，其锋不可拟也。不如缓之，使气竭而击之，此曹刿之胜也。"乃坚壁不战，伊余有强骄色。子远候其无备，夜分誓众，秣马蓐食，先晨，具甲扫垒而出。迟明，设覆而战，迟，直吏切。生擒伊余于阵，尽俘其众。

又曰：北燕冯跋据辽东，其弟万泥阻兵以叛。跋遣将冯弘与将军张兴讨之。弘遣使谕之曰："昔者兄弟乘风云之运，抚翼而起，群公天意所钟，逼奉主上先践宝位，裂土疏爵，当与兄弟共之。奈何欲寻干戈于萧墙，弃友于而为阋伯。过贵能改，善莫大焉。宜舍兹嫌，同奖王室。"万泥不从，克期出战。兴谓弘曰："贼明日出战，今夜必来惊营，宜备不虞。"弘乃各严备，仍人课草十束，束火伏兵以待之。是夜万泥果遣壮士十余人斫营，众火俱起，伏兵邀击，俘斩无遗。遂平万泥等。

《宋书》曰：桂(杨)[阳]王休范举兵于寻阳，已发，东下，朝廷惶骇。宋相齐高祖议曰："昔上流谋逆，皆因淹缓至于覆败。休范必远惩前失，轻兵急下，乘我无备。今应变之术不宜在远，若偏师失律，则大沮众心。请顿新亭，坚守宫掖东府石头，以待贼至。千里孤军，后无委积，求战不得，自然瓦解。请顿新亭以当其锋。休范果败。

又《高祖纪》曰：时议者欲分兵屯守诸津。帝曰："贼众我寡，分兵测人虚实，一处失利则沮三军之心。若聚众石头，则力不分也。"

《三国典略》曰：梁武陆王萧纪在蜀一十七年，开拓土宇，器甲殷积，有马八千匹，既便骑射，尤工舞矟。

《后魏书》曰：任城王澄时，四中郎将兵数寡弱，不足以襟带京师，澄奏宜以东中带荥阳郡，南中带鲁阳郡，西中带恒农郡，北中带河内郡，选二品三品亲贤兼称者居之，省非急之作，配以强兵。如此，则深根固本、强干弱枝之义也。灵太后初将从之，后议者不得，乃止。

《唐书》曰：武德中，太宗领兵征薛仁果于析摭城。析，音[昔、]思历切。摭，(竟)[音炙，]之石切。贼有十余万，兵锋甚锐，数来挑战。诸将咸请战，太宗曰："我士卒新经挫衄，锐气犹少。贼骤胜，必轻进好斗。我且闭壁以待其气衰而后击，可一战而破，此万全计也。"因令军中曰："敢言战者斩。"相持者久之。贼粮尽，军中颇携其将翟长孙、梁胡郎率所部相继来降。太宗知仁果心(肠)[腹]内离，谓诸将曰："可以战矣。"因令行军总管梁实营于浅水原以诱之。贼大将宗罗侯日恃骁悍，求战不得，气愤者久之。及是，尽锐攻梁实，冀逞其志。梁实固险下以挫其锋，罗(缑)[侯]攻之愈急。太宗度贼已疲，复谓诸将曰："彼气将衰，吾当取之，必矣。"申令诸军迟明合战，复令将军庞玉阵于浅水原南，出贼之右，以先拒之。罗侯并军共战，玉军几败。太宗亲御大军，奄自原北，出其不意。罗侯回师相拒，我师表里齐奋，呼声动天，罗侯气夺。于是大溃。

又曰：武德中，太宗率师往河东讨刘武周，江夏王道宗时年十七从军，太宗登玉壁城睹贼，顾谓道宗曰："贼恃其众来邀我战，汝谓何如？"对曰："群贼锋不可当，易以计屈，难与力(竟)[竟]。令深壁高垒，以挫其锋。乌合之徒，莫能持久，粮运致竭，自当离散，可不战而擒。"太宗曰："汝意暗与我合。"贼果食尽，夜遁。追及介州，一战破之。

又曰：薛万均从李靖等击吐谷浑，军次青海。与弟万彻率军先路，道遇虏于赤海，万均将十数骑击走之，追奔至积石山南道，大风折旗拔木，万均谓左右曰："虏将至矣，宜各设备。"俄而虏至，万均直前斩一贼将。于是大溃，杀伤略尽。

又曰：广德中，安史故将分据河北，吐蕃数犯京畿。故郭子仪、鱼朝恩常统重兵守河中，以备仓卒。欲兵权在京师，乃以鱼朝恩、元载、王缙建议，请于河中府置中都，创置积兵五万以为禁旅，取关辅、河东等十州税物以奉京师。车驾常以秋(抄)[杪]行幸，春首还京，即河北西蕃无忧越轶。代宗以为然。载已潜遣人于河中料度创造宫殿及营私第。既而言事者以为无故示贼以怯，国计非便，事竟不行。

又曰：李晟讨朱泚，德宗幸奉天日，诏以晟为左仆射平章事。晟拜哭受命，且曰："长安宗庙所在，为天下本。若皆扈跸，谁复京师。"乃浚隍壁、缮兵粟马，以诛泚、兴复为己任。初军无刍蒿，乃令检校户部郎中张彧假京兆少尹，择官吏以赋渭北畿县，不数日，刍粮皆足。乃陈说三军曰："今国步多艰，乱逆继兴，属车西幸，关中无主。吾等皆受国恩，见危死节，臣子之分。况当此时不能清寇以取富贵，非士也。渭桥跨大川，吾与公等戮力一心，择利而进，复大业建不世之功，能从我乎？"军士皆泣下曰："惟公所命。"晟亦嘘歔流涕。是时朱泚盗天邑，怀光反咸阳，河北伪称国者三，希烈、李纳交逼陈宋。晟内无货财，外无疆土，以孤军守危城，为秉节向义者所归。于是戴休颜举奉天之兵，韩游瓌悉邠宁之师，尚可孤守蓝田，骆元光固华州皆归款。于[是]晟军大振。

又曰：李元谅，贞元初将本军与侍中浑瑊会吐蕃，盟于平源，元谅谓瑊曰："戎狄多诈，不可无备。公奉国命轻重，宜有以防之。"瑊不从，且不设备。及会，元谅命军中皆衣甲持兵，整部队以俟变。去坛十里，虏果衷甲，乘瑊无备，伏精骑以围瑊。士大夫皆衣朝服就执，及军士死者不可胜数，所脱者百无一二。瑊挺身走，虏骑逐。瑊至元谅，军士皆坚阵持满，虏骑望见之，乃引去。是日无元谅军，瑊几不免。元谅乃徐引军而归。

太平御览卷第三百三十一

兵部六十二

斥候　备边　塞隘

斥　候

《后周书》曰：韩果性强记，兼有权略，所行之处，山川形势辄能记忆。兼善伺敌虚实，揣知情状。有潜匿溪谷欲为间侦者，果登高望之，所疑处往必有获。太祖由是以果为虞候都督。每从征行，常领候骑昼夜巡察，略不眠寝。

又曰：达奚武大统初为秦州刺史。齐神武趣沙苑，太祖复遣武觇之。武从三骑皆衣敌人衣服，至日暮去营数百步，下马潜听得其军号，因上马历营若警夜者，不如法者往往挞之，具知敌之情状，以告太祖。太祖深嘉焉，遂破之。

诸葛亮《兵要》曰：军已近敌，(罗)[篱]落常平明以先发，绝军前十里内，各(案)[按]左右下道，亦十里之内。数里之外，五人为部，人持一白幡，登高外向，明隐蔽之处。军至，转寻高而前。第一见贼，转语后第二，第三诣主者白之。凡候见贼百人以下，但举幡指；百人以上，便举幡大呼。主者遣疾马往视察之。

又曰：凡军行营垒，先使腹心及乡导前觇审知，各令候吏先行，定得营地，壁立军分数，立四表候视，然后移营。又先使候骑前行，持五色旗，见沟坑揭黄，揭，去列切。衢路揭白，水涧揭黑，林薮揭青，野火揭赤，以本鼓应之。立旗鼓，令相闻见。若渡水逾山，深邃林薮，精骁勇骑搜索数里无声，四周绝迹，高山树顶，令人远视，精兵四向要处防御。然后分兵前后，以为镇拓。乃令辎重老小，次步后马，切在整肃，防敌至，人马无声，不失行列。险地狭(迳)[径]，亦

以部曲鳞次，或须环回旋转，以后为前，以左为右，行则鱼贯，立则雁行。到前止处，候骑精锐，四向散列而立，各依本方下营。一人一步，随师多少，咸表十二辰，竖六旍，长二丈八尺，审子午卯酉地，勿令邪僻，以朱雀旍竖午地，白兽旍竖酉地，玄武旍竖子地，青龙旍竖卯地，招摇旍竖中央。其樵牧饮，不得出表外也。

《卫公兵法》曰：诸营下定，事须防御。于营外二十步，列队仗，如临阵对寇法，昼夜严警。纵逢雨雪，并押队官并不得离队。每营留五匹马，并鞍辔放饲，防有警急，即令驰告。至夜，每阵前百步外，着听子二人，一更一替，以听不虞。仍令探更人探听子细，勿令眠睡。其昼日，诸军前各亦逐高要处，安置斥候，以视动静。

又曰：诸军营队伍，每夜分更，令人巡探。人不得高声唱号，巡者敲弓一下，坐者扣矟三下，方掷军号，以相应会。当营界探，周而复始。掷号错失，便即决罚。当军折冲、果毅，并押铺宿，尽更巡探，递相分付；虞候及中军官人，通探都巡。

又曰：诸军下定，每营夜别置外探。每营折冲、果毅相知作次，每夜别四人，各领五骑马，于营四面去营十里外游弈，以备非常。如有(惊)[警]急，奔驰报军。

又曰：令人枕空胡禄卧，有人马行三十里外，东西南北响见于胡禄中，名曰"地听"，则先防备。

又曰：诸兵马既逼贼庭，探候事须明审。诸营住及营行，前后及左右厢肋上，五里著马两骑，十里更加两骑。十五里更加两骑，至三十里，一道用人马十二骑。若兵多，发引稍长，肋上即(是)更量加一两道，使令相见。其乘马人，每令遥相见，常接高行，各执一方面异旗，无贼此旗常卷，见贼即速展。军营见旗展，即知贼至，须觅稳处。既知贼来，得设机伏，整齐部伍，迎前[出]战。其最远及次远人，须与好马乘骑，不然被贼捉将。

备 边

《汉书》曰：晁错上言守边备塞曰："胡人衣食之业不着于地，其势易以扰乱边境。何以明之？胡人食肉饮酪衣皮毛，非有城郭田宅之归居，如飞鸟走兽于旷野，美草甘水则止，草尽水竭则移。以是观之，往来转徙，时至时去，此胡人之生业，而中国所以离南亩也。今使胡人数处转牧行猎于塞下，或当燕、代，或当上郡、北地、陇西以候备塞之卒，卒少则入。陛下不救，则边民绝望而有降敌之心；如救之，少发则不足，多发远县才至，则胡人已去。聚而不罢，为费甚大；罢之，则胡复入。如此连年，则中国贫苦而民不安矣。陛下幸忧边境，遣将吏发卒以治塞，甚大惠也。然今远方之卒，守塞一岁而更，不知胡人之态。不如选常居者，家室田作，且以备之。其要害之处，通川之道，调立城邑，无下千家为居中周虎落。先为室屋、具田器，乃募罪人及免徒复作令居之，不足，募以丁奴婢赎罪及输奴婢欲以拜爵者，不足，乃募民之欲往者。皆赐高爵复其家，与冬夏衣，廪食能自给而止。其亡夫苦妻者，县官买与之。人情非有匹敌不能久安，其处塞下之民，禄利不厚不可使久居。危难之地，胡人入驱而能止，其所驱者，以其半与之，县官为赎其民。如是则邑里相救，赴胡不避死，非以德上也，欲全亲戚而利其财也。此与东方之戍卒不习地势而心畏胡者，功相万也。以陛下之时徙民实边，使远方亡屯戍之忧。塞下之民，父子相保，亡系虏之患。利施后世，名称圣明，其与秦之行怨民，相去远矣。"上从其言，募民徙实塞下。错复言："陛下幸募人以实塞下，使屯戍之事益省，输将之费益寡，甚大惠也。下吏诚能称厚惠，奉明诏存恤所徙之老弱，善遇其壮士，和辑其心而勿侵刻，使先至者安乐而不思故乡，则贫民相(募)[慕]而劝往矣。臣闻古之徙远方以实广虚也，相其阴阳之和，尝其水泉之味，审其土地之宜，观其草木之饶，然后营邑立城，制里割宅，通田作之道，正阡陌之界。先为立室，家有一堂二内门

户之闭，置器物焉。民有所居，作有所用，此民所以轻去故乡而劝之新邑也。为置医巫以救疾病，以修祭祀，男女有昏生死相恤，坟墓相从，种树畜豕，室屋完安，此所以使民乐其乐处，而有长居之心也。臣又闻，古之制边县以备敌也，使五家为伍，伍有长；十长一里，里有假士；四里一连，连有假五百；十连一邑，邑有假候，皆择其邑之贤才有礼让、习地形、悉知民心者。居则习民以射法，出则教民于应敌。故卒伍成于内则军政定于外，服习已成，勿令迁徙。幼则同游，长则共事。夜战声相知则足以相救，昼战目相见则足以相识。欢爱之心足以相死。如此而劝以厚赏，威以重罚，则前死不还踵矣。所徙之民非壮有材力，但费衣粮，不可用也。虽有材力不得良吏，犹亡功也。"

又曰：王莽将严尤上言曰："匈奴为害久矣。周秦汉征之，然皆未有得上策者也。周得中策，汉得下策，秦无策焉。当周宣王时，猃狁内侵至于泾阳，命将征之，尽境而还。其视戎狄之内侵，譬蚊虻之螫，驱之而已。故天下称明，是为中策。汉武帝选将练兵，约赍粮深入远戍，每有克获之功，胡辄报之。兵连祸结三十余年，中国罢耗，匈奴亦衄，而天下称武，是为下策。秦始皇不忍小耻而轻民力，筑长城之固，延袤万里，转输之行起于负海，疆境既完，中国内竭，以丧社稷，是为无策。今天下遭阳九之厄；比年饥馑，西北边尤甚。发三十万众，具三百日粮，东援海岱，南取江淮，然后能备。计其道里，二年尚未集合。兵先至者聚居暴露，师老械弊，势不可用，此一难也。边既空虚，不能奉军粮，内调郡国，不相及属，此二难也。计一人三百日粮用备十八斛，非牛(刀)[力]不能胜也。牛又当赍食加二十斛重也。胡沙卤多乏水草，以往事揆之，军出未满百日，牛必物故，且尽其余粮，人不胜，此三难也。胡地秋冬甚寒，春夏甚风，釜镬音富。薪炭重，不可(胜)[炊]食糒、音备。饮水以历四时，师有疾病之忧，势不能久，此四难也。辎重自随，则轻锐者少，不得疾行，虏徐遁不能及，幸而逢虏，要遮前后，危殆不测，此五

难也。大用民力，功不可必，臣伏忧之。

又《班固论》曰：书云“蛮夷猾夏”，诗称“戎狄是膺”，春秋有道“守在四夷”久矣。夷狄之为患也！故自汉兴，忠信嘉谋之臣，曷尝不运筹策，相与争于庙堂之上乎！高祖时刘敬，吕后时樊哙、季布，孝文时贾谊、晁错，孝武时王恢、韩安国、朱买臣、公孙弘、董仲舒，人持所见各有同异，然总其要归，两科而已。缙绅之儒则守和亲，介胄之士则言征伐。皆偏见一时之利害，而未究匈奴之终始。自汉兴以至于今，旷世历年诎伸异变，强弱相反，是故其详可得而言也。昔和亲之论发于刘敬，是时天下初定，新遭平城之难，故从其言，约法和亲，赂遗单于，冀以救安边境。孝惠高后遵而不违，匈奴寇盗不为衰止，而单于反以骄倨。逮至孝文与通关市，妻以汉女，增厚其赂，岁以千金，而匈奴数背约束，边境屡被其害。是以文帝中年赫然发愤，遂贮戎服，亲御鞍马，徙六郡良家材力之士，驰射上林，讲习战阵，聚天下精兵军于广武。顾问冯唐与论将帅，喟然叹息，思古名臣，此则和亲无益已然之明效矣。仲舒亲见四世之事，犹复欲守旧文，颇增其约。以为义动君子，利动贪人，如匈奴者非可以仁义说也，独可说以厚利，结之于天耳。故与之厚利以说其意，与盟于天以牢其约，质其爱子以累其心。匈奴虽欲展转，奈失重利何，奈杀爱子何。夫赋敛行赂不足以当三军之费，城郭之固，无异于贞士之约，而使边城守境之民父兄缓带，稚子啮哺，胡马不窥于长城，而羽檄不行于中国，不亦便于天下乎。察仲舒之论，考诸行事，乃知未合于当时而有阙于后世也。当孝武时，虽征伐克获，而士马亦略相当。虽开河南之野，建朔方之郡，亦弃造阳之北九百余里。匈奴人民每来降汉，单于亦辄拘留汉使以相报复，其桀骜尚如斯，安肯以爱子为质乎？此不合当时之言也。若不置质定约和亲，是虽袭孝文既往之悔而长匈奴无已之诈也。夫边城不选守境武略之臣，修障队备塞之具，厉长戟劲弩之械，恃吾所以待边寇而务赋敛于民，远行货赂，割剥百姓以奉寇仇，信甘言，守空约而

(几)[冀]胡马之[不]窥,不已过乎?至孝宣之世,承武帝(当)[奋]击之威,值匈奴百年之运,因其坏乱几亡之厄,权时施宜,覆以威德,然后单于稽首臣服,遣子入侍,三世称藩,宾于汉廷。是时边城晏闭,牛马布野,三世无犬吠之惊,黎庶忘干戈之役。后六十余载之间,遭王莽篡位,始开边隙。单于由是归怨自绝,莽遂斩其侍子,边境之祸构矣。故呼韩耶始朝于汉,汉议其礼,萧望之曰:"戎狄荒服。言其慌忽无常,至亦宜待以客礼,让而不臣,如后嗣遁逃窜伏,使于中国不为叛臣。"及孝元时,议罢守塞之备,应以为不可。云盛不忘衰,安必思危,远见识微之明矣。单于咸弃其爱子,昧利不顾,侵掠所获,岁巨计。而和亲,赂遗不过千金。安在其不弃质而失重利也。仲舒之言漏于是矣。夫规事建议不图万世之(因)[固],而偏恃一时之事者,未可以经远。若乃征伐之功,秦汉行事,严尤论之当矣。故先王度中土,立封畿,分九州,列五服,物土贡,制外内,或修刑政,或修文德,远近之势异也。是以春秋内诸夏而外夷狄,夷狄之人贪而好利,被发左衽,人面兽心,其与中国殊章服异习,饮食不同,言语不通,僻居北垂寒露之野,逐草随畜,射猎为生。隔以山川,拥以沙漠,天地之所以绝内外也。是故圣王禽兽畜之,不与约誓,不就攻伐,约之以费赂而见欺,攻之则劳师而招寇,其土地不可耕而食也,其民不可臣而畜也。是以外而不内,疏而不戚,政教不及其人,正朔不加其国,来则德而御之,去则备而守之。其慕义而贡献则接之以礼让,羁縻不绝,使曲在彼。盖圣人制御蛮夷之常道也。

《后汉书》曰:马援奏言:"西干县户有三万二千,西干县,交阯郡,故城在今交州龙编县东。远界去庭千余里,庭,县庭也。请分为封溪、望海二县。"许之。

又曰:马援在陇西,帝诏武威太守,《东观汉记》曰:梁统也。令悉还金城客民,金城人客在武威者。归者三千余口,使各反旧邑。援奏为置长吏,缮城郭,起坞候,《字林》曰:坞,小障,一曰小城,字或作坞。开导水田,

劝以耕牧，郡中乐业。

又曰：杜茂引兵屯晋阳，上遣谒者段忠将众配茂镇守北边。因发边卒筑亭候，修烽火。又发委输金帛缯弩供给军士，并赐边民。冠盖相望，茂亦建屯田驴车转运也。

《晋书·杜预传》曰：匈奴帅刘猛举兵反，自并州西及河东平阳。诏预以散侯定计省闼，俄拜度支尚书。预乃奏立籍田，建安边论，处军[国]之要，又作人排新器，兴常平仓，定谷价，较盐运，制课调，内以利国，外以救边者五十余条，皆纳焉。

《宋书》曰：文帝元嘉中，每岁为后魏侵境，令朝臣博议。何承天陈备边之要，其大略一曰移远就近，以实内地；二曰浚复城隍，以增岨防；三曰纂偶车牛，以饬戎械；四曰计丁课役，勿使有阙。

《唐书》曰：高祖与群臣言备边之事，将作大匠于筠进曰："未若多造船舰于五原灵武，置舟师于黄河之中，足以断其入寇之中路。"中书侍郎温彦博又进曰："昔魏文帝掘长堑以遏匈奴，亦由因循其事。"高祖并从之。于是遣将军桑显和堑断北边要路，又征江南习水之士，更发卒于灵州造战船。

塞 险

《左传》曰：蔡侯、吴子、唐侯伐楚，舍舟于淮汭，自豫章与楚夹汉。[豫]章、汉东、江(地北)[北、地]名楚左司马沈尹戌谓楚将子常曰："子沿汉而与之上下，沿，缘也。缘汉上下，遮使勿度也。我悉方城外以毁其舟，以方城外人毁吴所舍舟也。还塞大隧、直辕、冥厄，三者，汉东三隘路。厄、乌革切。子济汉而伐之，我自后击之，必大败之。"既谋而行。楚大夫武成黑谓子常曰："吴用木也，我用革也，用，军器也。不可久也，不如速战。"大夫史皇谓子常曰："楚人恶子而好司马，若司马毁吴舟于淮，塞城口而入，城口，三隘道之总名。是独克也。子必速战，不然不免。"乃济汉而陈，自小别至于大别，《禹贡》：汉水至大别南入江。然则此二别在江夏界也。三战，子常知不可，欲奔。知吴不可胜也。史皇曰："安求

其事，求知政事。难而逃之，将何所入，必死之。"子常违左司马戌之言，故败也。

《战国策》曰：吴子问孙武曰："敌人保山据险，擅利而处，粮食又足，挑之则不出，乘间则侵掠，为之奈何？"武曰："分兵守要，谨备勿懈，潜探其情，密候其怠，以利诱之，禁其牧采。久无所得，自然变改，待离其故，夺其所爱。"

《汉书》曰：匈奴呼韩耶单于来朝，元帝以后宫良家子王嬙字昭君，赐单于。单于欢喜，上书愿保塞上谷以西至敦煌。请罢边备，以休天子人民。帝下有司议。郎中侯应上言以为不可，其略曰："自周秦兴以来，匈奴寇侵甚矣，其北边有阴山，东西千余里，本冒顿单于依阻其中。至孝武帝出师征伐，斥夺此地，攘之于漠北，建塞徼，起亭隧，筑外城，设屯戍以守之，然后边境少安。夫夷狄之情困则卑顺，强则骄逆，天性也。前已罢外城，省亭隧，今才足以候视通烽火而已。安不忘危，不可复罢。且中国尚建关梁以制诸侯，所以绝臣下之觊欲。起塞以来，百有余年，非皆以土垣，或因山岩石木柴疆落溪水，卒徒筑理，功费久远，不可胜计。今欲以一切省徭戍。十年之外，卒有他变。障塞破坏，亭隧灭绝，当更发屯缮理。累代之功不可卒复，非所以永持至安，威制百蛮之长策也。"帝纳之。

《蜀志》曰：曹公使夏侯妙才、张郃屯汉中。蜀先主进兵汉中，次于阳平关，南渡沔水，缘山稍前，于是定军势作营。妙才兵来争其地，先主命黄忠乘高鼓噪攻之，大破妙才军，斩妙才。曹公自长安南征，先主遥策之曰："曹公虽来，无能为也。我必有汉川矣。"及公至，先主敛众拒险，终不交锋。积日不拔，士亡者多，曹公果引军还。先主遂有汉中。

《魏志》曰：曹爽伐蜀，司马景王同行，出(骆)[洛]次于兴势。蜀将王林夜袭，景王营坚卧不动，林退。景王谓诸将曰："费祎已据险拒守，进不获战，攻之不可，宜亟军，亟，纪力切。以为图。"爽等引

还。祎果驰兵赴三岭争险，乃得过也。

《晋书》曰：刘裕讨南燕慕容超，超召群臣议拒晋师，大将公孙五楼曰："吴兵轻(果)[剽]，所利在速战，初锋勇锐不可争也，宜据大峴使不得入，旷日延时，沮其锐气。徐简精骑二千，循海而南，绝其粮运。别敕段晖率兖州之军缘山东下，腹背击之，上策也。各命守宰，依险自校，其资储之外余悉焚荡，芟除粟苗，使敌无所资，坚壁清野，以待其衅，中策也。纵贼入(覘)[峴]，出城逆战，下策也。"超曰："吾京都殷盛，户口众多，非可一时入守。青苗布野，非可卒芟，设使芟苗，城守以全性命，朕所不能。今据五州[之]强，带河山之固，战车万乘，铁马万群。纵令过峴至于平地，徐以精骑践之。此成擒也。"其将慕容镇曰："若如圣旨，必须平原用马，便宜出峴逆战，战而不胜，犹可退守，不宜纵敌入峴，自贻窘迫。昔成安君不守井陉之险，终屈于韩信。诸葛瞻不据束马之嶮，卒擒于邓艾。臣以为天时不如地利，阻守大峴，策之上也。"超不从，乃令摄莒、梁父二戍修城隍，简士马，蓄锐以待之。其夏晋师次东莞，超遣其左军段晖等步骑五万进据临朐。俄而晋师度峴，慕容超惧，率四万[骑]就段晖等于临朐，战败，超奔还广固，宋武围广固，数月而破，燕地悉平。

《后魏书》曰：遣将伐后燕慕[容]宝，已平并州，潞川频胜。宝在中山引群臣议之。中尹符谟曰："魏军强盛，千里转斗，乘胜而来，勇气兼倍，若逸骑平原，形势弥盛，殆难为敌。宜杜嶮拒之。"中书令眭邃曰："魏军多骑师剽锐，眭，息为切。马上赍粮，不过旬月，宜令郡县聚千为一堡，深沟高垒，清野待之。至无所掠，资食既罄，不过六旬，自然穷退。"尚书封懿曰："今魏师十万，天下之勍敌也。百姓虽欲营聚，不足自固。是则聚粮集兵以资强寇，且动众心示之以弱。岨阙拒战，计之上也。"慕容麟曰："魏今乘胜气锐，其锋不可当。宜谨守设备，待其弊而乘之。"于是修城积粟，为持久之备。魏攻中山不克，进据博陵鲁口，诸将睹风而奔，郡县悉降于魏。

《唐书》曰：武德中，(大)[太]宗围王世充于东都，世充势穷，窦建德自北来救。诸将及萧瑀等咸请且退师避之，太宗不许，曰："世充粮尽，内外离心，我当不劳攻击，坐收其弊耳。建德新破海公，将骄卒惰。今我据武牢，厄其襟要，若贼恃胜冒险争锋，吾当破贼。若不战，旬月之间世充自溃，彼败我振，足以临之。一行两定，在于斯举。若不速进，贼入武牢，诸城新附，必不能守。二贼并力，将若之何？"秦府记室薛收进曰："世充据东都，府库填积，所患者在于乏食，是以为我所持。建德亲总十余万众来拒王师，亦当尽彼骁雄，期于速战。若纵其两寇相连，转河北之积以相资给，则伊洛间战斗不已。大王今欲亲率猛锐，先据成皋之险，训兵坐甲，当彼疲弊之众，一战必克。建德破，则世充自下，不过数旬，二国之君可面缚麾下。萧瑀等奈何遂请退兵？"太宗曰："善！"而从之，留齐王元吉围世充，亲率三千五百人趣虎牢守之，与战相持二十余日。五月，建德谋伺官军刍尽，牧马于河北，必将袭武牢。太宗闻之，遂牧马千余匹于河渚间以诱之。诘朝，建德果悉众而至，阵于汜水东。太宗候阵久，卒饥，令宇文士及率骑经贼阵之西，驰而南上，贼阵动，因而诸军奋击之，大溃。竟如太宗本策。

太平御览卷第三百三十二

兵部六十三

据要　漕运　绝粮道

据　要

《吴子》曰：凡行师越境必审地形，审知主客之向背。地形若不悉知，往必败矣。故军有所至，先五十里内山川形势，使军士伺其伏兵。将必自行视地之势，因而图之，知其险易也。

《战国策》曰：秦师伐韩，围阏与。赵遣将赵奢救之。军士许历曰："秦人不意赵师至，此其来气盛，将军必厚集其阵以待之，不然必败。"

又曰："先据北山上者胜，后至者败。"赵奢即发万人趋之。秦兵后至，争山不得上，赵奢纵兵击之，大破秦军，遂解阏与之围。与，音余。

《后汉书》曰：诸将征隗嚣，为所败，光武令悉军栒邑。栒，音询。未及至，隗嚣乘胜使其将王元行巡，将二万余人下陇。因分遣巡取栒邑。汉将冯异即驰兵欲先据之。诸将皆曰："虏兵盛而新乘胜，不可与争。宜止军便地，徐思方略。"异曰："虏兵临境，忸忕小利，忸忕，犹惯习也。谓惯习前事而复为之也。忸，音尼五切。忕音游也。遂欲深入，若得栒邑，三辅动摇，是吾忧也。夫攻者不足，守者有余，今先据城以逸待劳，非所以争也。"遂潜往阏城，偃旗鼓行巡，不知驰赴之。异乘其不意，卒击鼓建旗而出，巡军惊乱奔走，追击数十里，大破之。

《蜀志》曰：诸葛亮出斜谷。是时魏将司马宣王屯渭南，郭淮策亮必争北原。若亮跨渭登原，连兵北山，隔绝陇道，摇荡人夷，非国

之利也。宣王善之，淮遂屯北原，垒垒未(城)[成]，蜀兵大至，淮遂击走之。

《(魏)[吴]志》曰：诸葛诞、胡遵等伐吴攻东兴。吴将诸葛恪率军拒之。及恪上岸，部将丁奉与唐咨、吕据、留赞俱从山西上，奉曰："今军行迟，若敌据便地，则难与争锋矣。"乃令诸使下道，率麾下三千人(遥)[径]进。时风便，奉举帆二日至，遂据塘。天寒雪，时魏诸将置酒高会，奉见其前部兵少，相谓曰："取封侯爵赏正在今日。"乃使兵解铠着胄持短兵，敌人从而笑焉，不为设备。奉纵兵斫之，大破敌前屯，会据等至，魏军遂溃。

《晋书》曰：刘裕率师伐南燕慕容超。晋师渡岘，慕容超惧，率卒四万就其将段晖等于临朐，其俱切。谓其将公孙五楼曰："宜进据川源，晋军至而失水，亦不能战矣。以临(朐)[朐]有巨蔑水，去城四十里。"五楼驰据之。龙骧将军孟龙符领骑居前，奔往争之，五楼乃退，困而大败。

崔鸿《十六国春秋》曰：后秦姚兴与前秦苻登相持，登自六陌向废桥，兴乃自将精骑以(迫)[拒]登，使将尹纬领步军据废桥以抗。登困急攻纬，纬将出战，兴遣使谓纬曰："兵法不战而制人者，盖谓此也。苻登穷寇，特宜持重，不可轻战。"纬曰："先帝登遐，人情尚扰，不因思奋之力枭殄逆竖，大事去失矣。"遂与登战，大破之。登众渴死者十二三，其夜大溃。

又曰：夏赫连勃勃屯依力川，后秦姚兴将王奚聚羌胡三千余户于敕奇堡。勃勃进攻之，奚骁悍有膂力，短兵接战，勃勃之众多为所伤。于是堰断其水，堡人窘迫，执奚出降。

《宋史》曰：宋武帝伐姚泓，沈林子参征西军事，加建武将军，统军为前锋，从汴入河。伪并州刺史河东太守尹昭据蒲坂，林子于陕城与冠军檀道济同攻蒲坂。龙骧王镇恶攻潼关，姚泓闻大军至，遣伪平公姚绍争据潼关。林子谓道济曰："潼关天岨，所谓形胜之地，镇恶孤军势危力屈，若使姚绍据之，则难围也。及其未至当并力争

之，若潼关事捷，尹昭可不战而服。"道济从之。

《后周书》曰：东魏将齐神武伐西魏，军过蒲津，涉洛至许原。西魏将周文帝军至沙苑，齐神武闻周文帝至，引军来会。诘朝，候骑告齐神武军且至，周文帝部将李弼曰："彼众我寡，不可平地置阵，此东十里有渭曲，可先据以待之。"遂进军至渭曲，背水东西为阵，合战，大破之。

《北史》曰：安同从道武征姚平于紫壁，姚兴悉众救平。同进计曰："汾东有蒙坑，东西三百余里，径路不通，姚兴来必定汾西，乘高临下直至紫壁。如此，则寇内外势接，宜截汾为南北浮桥，乘西岸筑围。既固，贼至无所施其智力矣。"从之，兴果视平屠灭而不能救。

《隋书》曰：文帝初，突厥寇兰州，隋将贺娄子干率众拒之。至可洛峻音哀。山与贼相遇，贼众甚盛。子干阻川为营，贼军不得水数日，人马甚弊，纵击，大败之。

《唐书》曰：盛彦师镇宜阳，会李密叛。彦师率兵邀之，令其众曰："惟我马首是瞻。"遂逾洛水入南山，令持弓弩者乘高挟路，持刀盾者伏于溪谷之间。又令曰："待贼半渡而击之。"所部皆笑曰："贼向洛州，何为守此？"彦师曰："吾筹之熟矣。李密声往洛州，其实欲南走襄城就张善相耳，若贼先入谷口，我自后追之，路险难以展力。吾今先据要害，此贼乃成擒也。"密果至，知有伏，乃逾山南上，彦师邀击之。封葛国公。

漕 运

《孙子》曰：不尽知用兵之害，则不得尽知用兵之利。故善用兵(之)者，役不再籍，粮不再载，取用于国，因粮于敌，故军食可足。兵甲战具取用国中，粮因敌也。故国之贫于师者远师输也。远输则百姓贫，兵事转运千里之外，财费于道路，人有困穷者也。近师则贵卖，贵卖则百姓虚，虚则竭，近军师市多非常之卖，当时贵费以趋末利，然后财货殚尽国家虚也。

竭则急于丘役。力屈中原，内虚于家，丘，十六(非)[井]也，百姓财皆尽，兵不解，运粮尽力于原野。百姓之费，十去其七。所破费也。公家之用，破车疲马，甲胄弓矢，戟楯矛槍，(兵)][丘]牛大车，十去其六。计较之也。故智将务食于敌，食敌一钟当吾二十钟。六斛四斗为钟。计千里转运二十钟而致一钟于军中也。惹(杆)[秆]一石，当吾二十石。惹秆稿一石百二十斤也。转输之法费二十石乃得一石也。

《后汉书》曰：永平中，理呼池石臼河，从都虏至羊肠仓，酈(示)[氏]《水经注》云：汾阳故城积粟所谓羊肠仓，在晋阳西北，石(隨荣季)[碓蕤委]若羊肠焉，故以为(若)[名]。今岚州界羊肠坂是也。石臼河，水名。欲令通漕。水运曰漕。太原吏人苦役连年无成，转运所经三百八十九隘，前后没溺死者不可胜算。建初三年，拜[邓训]谒者使监领其事，训考量隐括，隐，审量括之也。知大功难立，具以上言，肃宗从之，遂罢其役。更用驴辇，岁省费亿万计，全活徒士数千人。

又曰：第五种拜高密侯相。是时，徐、兖二州盗贼群聚，高密在二州之郊，种乃储粮稽，勤厉吏士，贼闻皆惮之。

又曰：光武即位时，军食急乏，寇恂以辇车骊驾转输，前后不绝。《前书音义》曰：骊驾，并驾也。辇车，人挽行也。

又曰：诏报朱浮曰："往年赤眉贼扈长安，贼扈，犹暴横也。吾策其无谷，必东来归降。今度此反虏势无久全；其中必有内相斩者，今军资未充，故须候耳。"

又曰：来歙上书曰："公孙述以陇西天水为藩蔽，故得延命假息，今二郡平荡，则述智计穷矣。宜益选兵马，储积资粮。昔赵之将帅多贾人，高帝悬之以重赏。高帝十年，陈豨反于赵、代，其将多贾人，帝多以金购，豨将皆降。今西州新破，兵人疲馑，(苦)[若]招以财谷，则其众可夺。臣知国家所给非一，用度不足，然有不得已也。"帝然之。

《东观汉记》曰：来歙征公孙述，诏于汧积谷六万斛，驴四百头负驮。

《蜀国志》曰：诸葛亮悉大众由斜谷出，以流马运粮，据武功、五丈原，与司马宣王对于渭南。

《晋书·载记》曰：罗尚委城遁，李雄遂克成都。于时，雄军饥甚，乃率众就谷于郪，掘野鼠等食之。

《晋书》曰：祖逖伐陈留太(子)[守]陈川，石季龙救之，徙陈川还襄国，留桃豹等守川故城，住西台。逖遣将韩潜等镇东(城)[台]。同[一]大城，贼从南门出入放牧，逖军开东门。相守四旬，逖以布囊盛土如米状，使千余人运上台，又令数人担米伪疲极而息于道。贼果逐之，皆弃担而走。贼既获米，谓逖士众丰饱，而胡戍饥久，益惧，无复胆气。石勒将刘文堂以驴千头运粮以馈桃豹，逖遣韩潜、冯铁等追击于汴，尽获之。桃豹宵退据东燕。

《唐书》曰：贞元十五年，令江淮转运米。每年[米]宜运二百万石已来，虽有此命，而运米竟不过四十万石。

又曰：韦伦拜商州刺史兼御史中丞充荆襄等道租庸使，会襄州裨将康楚元、张嘉延拥众为叛，凶党万余人，自称楚义王。襄州刺史王政弃城遁走，嘉延又南袭破江陵汉沔，馈运阻绝，朝廷旰食。伦乃调兵驻邓州界，康楚元凶党有来降，必(原)[厚]加赏。数日后，楚元众颇怠，伦进军击之，生擒楚元以献，余众悉走，收租庸钱物仅二百万贯，并免失坠。

又曰：元和中，盐铁使王播进陈许军琵琶沟运图。先是，中官李重秀奉命视之，还言可以通漕至郾城下北颍口，水运千里而近。及上览图，诏韩弘发卒以通汴河，于是船胜三百石皆入颍。

又曰：开成初以王彦威判度支，尝紫宸廷奏曰："臣自掌计司，按见管钱谷文簿，皆量入以为出，使经费必足，无所刻削。且(百)[八]口之家有岁蓄，而军用钱物一切通用，悉随色额占定，终岁支给，无毫厘之(羌)[差]。倘臣一旦愚迷，欲自欺窃，亦不可得也。"名曰"度支占额图"。既而又进供军国，曰："起至德乾元之际，迄于贞观元和之初，天下有观察者十，节度者二十有九，防御者四，经略者三，掎角之师，犬牙相制，大都通邑，无不有兵。都计中外各额至八十余万。长庆户口几三百三十五万，以额约九十九万，通计三户

资一兵。今计天下租赋一岁所入，总不过三千五百余万，而上供之数三之一焉。三分之中二给衣赐，自留使兵士衣赐之外，其余四十万众，仰给度支。伏以时逢理安，运属神圣，然而兵不可弭食哉，惟时忧勤之端，兵食是功。臣谬司邦计，虔奉睿图，辄纂事功，庶裨圣览。"

又曰：黄巢既来，围陈郡三百日，关东仍岁无耕稼，人饿倚墙壁间，贼俘人而食，日杀数千。贼有舂磨砦为石碓数百，生纳人于臼，(粹)[碎]之，合骨而食。其流毒如是。

又曰：秦宗权以蔡州叛，所至屠残人物，燔烧郡邑。西至关内，东极青齐，南出江淮，北至卫滑。鱼烂鸟散，人烟断绝，荆榛蔽野。贼既乏食，啖人为储，军士四出，则盐尸而从。

《三国典略》曰：陈霸先遣钱明领水军出江宁浦，要击齐人粮运，尽获其船。于是，齐军大馁，杀马驴而食之。

又曰：以粮运不继，调市人馈军。建康令孔奂以麦屑为饭；用荷叶裹之，(室)[信]宿之间，得数万裹以给兵士。会陈蒨遣送米三千石，鸭千头，霸先即炊黍煮鸭，誓申一战，计粮分肉，人获数脔。

绝粮道

《汉书》曰：景帝初，吴楚七国反，以太尉周亚夫[将]，问父绛侯客邓都尉曰："策安出？"客曰："吴楚兵锐，甚难与争锋，而剽轻不能久，莫若引兵东北，壁昌邑从梁委吴，吴必尽锐攻之。将军深沟高垒，使轻兵绝淮泗之口，塞吴饷式亮切。道，使吴梁相弊而粮食竭，乃以全军强制其疲极，破吴必矣。"亚夫言于帝，许之。遂破吴军。

又曰：王莽末，天下乱。光武兄伯升起兵讨莽，为莽将甄音真。阜、梁丘赐所败，复收会兵众，还保棘阳，阜、赐乘胜留辎重于蓝乡，引精兵十万南渡潢淳，临沘水，潢音黄。沘音蚍。阻两川间为营，绝后桥示无还心。伯升于是大飨军士，设盟约，休卒三日，为六部潜师夜起袭取蓝乡，尽获其辎重。明晨，汉军自西南攻甄阜，下江兵自

东南攻梁丘赐。至食时，阵溃，遂斩阜、赐。

《后汉书》曰：韩遂败走榆中，榆(沖)[中]县属金城郡。张温乃遣周慎将三万人追讨之。温参军事孙坚坚，权之父也。说慎曰："贼城中无谷，当外转粮食。坚愿得万人断其运道，将军以大兵继后，贼必困乏而不敢战。若走入羌中，并力讨之，凉州可定也。"慎不从，引军围榆中城，而边章遂分屯葵园峡，反断慎运道。慎惧，乃弃重而退。

又曰：曹公与袁绍相持官(度)[渡]，沮授言于绍曰："北兵数众，(俎)[沮]，侧居切。而果劲不及南。南谷虚少，而货财不及北，南利在于急战，北利在于缓持，宜旷以日月。"绍不从，连营稍前逼官(度)[渡]，合战，曹公军不利，复壁。绍为高橹、起土山射营中，皆蒙楯，众大惧。曹公乃为发石车击绍楼，皆破，众号霹雳车。绍为地道，欲袭曹公营，公辄于内为长堑以拒之。又遣骑兵袭击绍运车，大破之，尽焚其谷。会绍遣淳于琼等将兵万余人北迎运，沮授说绍可遣将别为军于表，以绝曹公之抄。绍复不从。琼宿乌巢，去绍军四十里。绍谋士许攸奔曹公，攸谓曹公曰："孤军独守，外无求索，危急之时也。今袁氏辎重有万余两而无严备，可轻兵袭之。不虑而至，燔其积聚。不过三日，袁氏自败也。"公乃选精锐马步，乘袁氏旗帜，夜衔枚缚马口从间道出，人负束薪。时有问者，绐之绐，音怠。曰："袁公恐曹操掠后军，兵以益备。"闻者信之。既至辎重，围屯燎薪，火光亘天地，破琼等，悉斩之。数日，绍弃甲而遁。

《蜀志》曰：姜维率众侵魏，依蒟山筑二城，使牙门将勾安、李韶等守之，聚羌胡质任寇逼诸郡，魏将陈泰御之。泰谓诸将曰："蒟城虽固，去蜀险远，当须运粮。羌夷患维劳役，未必肯附。今围而取之，可不血刃而拔其城。虽其来救，山道险阻，非行兵之地。"乃使邓艾等进兵围之，断其运道及城外流水。安等挑战，不许。将士困窘，分粮聚雪，以稽日月。维果来救，出自牛头，与泰相对。泰曰："兵法贵在不战而屈人，今绝牛头，维无返道，则我之擒也。诸军各

坚垒勿与战。"自南(度)[渡]白水,循水而东,使诸将截其还路。维惧,遁走。安等孤悬,遂皆降。

崔鸿《十六国春秋》曰:前赵刘曜遣将刘胤西伐张骏之武威。骏(将遣)[遣将]辛岩,韩瑛音英。东拒。刘胤屯于狄道城,韩瑛进度沃于岭。辛岩曰:"我(掘)[拥]众数万,籍云羌之锐,宜速战以灭之。不尔,久则变生。"瑛曰:"自夏末以来,太白犯月,辰星逆行,白虹贯日,皆变之大者,不可以轻动,动而不捷,为祸更深。吾将久而毙之。且曜与石勒相攻,胤亦不能久。"积七十余日,军粮竭,遣辛岩督运于金城。胤闻之大悦,谓其将士曰:"韩瑛之众十倍于吾,粮廪将悬,难以持久。今分兵运粮,可谓天授吾。若败辛岩,瑛等自溃。彼众我寡,宜以死战,战而不捷,当无匹马得还。"咸奋。于是,遣骑三千袭岩于沃于岭,大败之。瑛军遂溃,死者三万余人。

《三国典略》曰:周王思政固守颍川。思政运米数百车,欲向孔城。齐大都督破六韩常与洛州刺史可朱浑宝,愿前后要袭获之。乃启于齐王澄曰:"常自镇河阳已来,频出关口、大谷二道,所有要害莫不知悉,请于形胜之处营筑城戍,安置士马,截其往来。彼之咽喉既断,颍城吞灭可期。且孔城以西年谷不稔,东道断绝亦不能存。"王纳其计。

太平御览卷第三百三十三

兵部六十四

屯田　戍役

屯　田

《汉书》曰：昭帝始元二年，诏发习战射士诣朔方，调故吏将屯田张掖郡。调，谓发选之也。故吏，前为官职者也。令其郡习战射士于张掖为屯田也。调，音从钧切。将，音子亮切。朔方、张掖，并今郡地也。

又曰：孝宣神爵元年，遣后将军赵充国将兵击先零羌。充国以击虏殄灭为期，乃欲罢骑兵，屯田以待其弊，奏曰："臣所将吏士马牛食，月用粮谷十九万九千六百三十斛，盐千六百九十三斛，艾稾二十五万二百八十六石。石，百一十斤也。难久不解，徭役不息，又恐他夷卒有不虞之变。且羌虏易以计破，难用兵猝。且没切。言仓卒暴疾也。故臣愚以为击之不便，计度临羌，东至浩亹，浩，音阅。亹音门。即金城郡度武县地。临羌在今西平郡也。羌虏故田及公田人所未垦可二千顷以上。愿罢骑兵，留弛刑应募及淮阳汝南步兵与吏私从者合九万二百八十二人，用谷月二万七千三百六十三斛，盐三百八斛，分屯要害处。冰解漕下，缮乡亭，浚沟渠，水运木缮补也。治湟隘以西(漕)[湟]，音皇。隘，音峡。道桥七十所，令可至鲜水左右。田事出赋人二十亩。田事出谓至春人出营田也。赋，班与之也。至四月草生发，郡骑及属国胡骑伉健各千倅、马什二，就草倅，副也，七碎切。什二者，千骑则与副马二百匹。为田者。游兵以充入金城郡，益积畜，省大费。今大司农所转谷至者足支万人一岁食，谨上田处及器用簿，惟陛下裁计之。"诏曰："如将军之计，虏当何时伏诛，兵当何时得决？孰计其便，复奏。"充国又奏曰："今留步士万人屯田，地势平易，臣愚以为屯田内

有(士)[亡]费之利,外有守御之备,骑兵虽罢,(其)[虏]见(在)[万]人留田为必擒之具,其土崩归德,宜不久矣。"诏罢兵,独充国留屯田,大获地利。明年遂破先零也。

《魏志》曰:武帝既破黄巾,欲经略四方,而苦军食不足,羽林监颍川枣祗建置屯田。于是,以(仕)[任]峻为典农中郎将,募百姓屯田于许下,今颍川郡许昌县也。得谷百万斛。郡国列置田官,数年之中所在积粟仓廪皆满。

又曰:废帝齐王正始四年,司马宣王督诸军伐吴,因欲广田积谷为兼并之计,仍使邓艾行陈项以东至寿春。自今淮阳郡项城县以东,至今寿春郡也。艾以为田良水少,不足以尽地利,宜开河渠,可以大积军粮,又通运漕之道,乃著《济河论》以喻其指。又以为昔破黄巾,因为屯田积谷,计都以制四方,今三隅已定,事在淮南。每大军征举,运兵过半,功费巨亿,以为大役陈蔡之间,土下田良可省,许昌左右诸稻田并水东下。令淮北二万人,淮南三万人,分(木)[水]且田且守。小丰常收三倍于西,计除众费,岁完五百万斛以为军资。六七年间可积三千万斛于淮上。此则十万之众五年食也。以此乘敌,无不克矣。"宣王善之,皆如艾计。遂北临淮水,自钟离西南横石以西尽泚水泚,旁脂切。四百余里置一营,营六十人,且田且守,兼修广淮阳、百尺二渠,上引流,下通淮颍,大理诸陂,于颍南颍北穿渠三百余里,溉田二万顷。淮南淮北皆相连接,自寿春到京师,农官兵田鸡犬之声,阡陌相属。每东南有事,大军出征,泛舟而下,达于江淮,资食有储而无水害。艾所建也。

《晋书》曰:羊祜为征南大将军,镇襄阳吴西城,去襄阳七百里。每为边害,羊祜患之,意以诡计令吴罢守。于是戍逻减半,分以(恳)[垦]田八百余顷,大获其利。祜之始至也,军无百日之粮。及至季年,有十年之积。太康元年平吴之后,当阳侯杜元凯在荆州今襄阳郡。修邵信臣遗迹,邵信臣所作钳庐陂大门堰,(并)[在]今南阳郡(穰)[穰]县界,时为荆州所统也。激用淲音虽。淯音育。诸水以浸田原万顷,分疆

刊石使有定分，公私同利，众庶赖之，号曰：杜父旧水道。淮沔汉达江陵千八百里，北无通路，又巴(兵)[丘](胡)[湖]沅湘之会，表里山川，实为险固，荆蛮之所恃也。当阳侯乃开杨口、起夏水、达巴陵千余里。夏水口在今江陵郡江陵县界。巴陵即今郡也。内泄长江之险，外通零桂之漕。零陵、桂阳，并今郡地。南土歌之曰：后代无叛由杜翁，孰识知名与勇功。

又曰：梁武昭王暠击玉门，以诸城皆下之，遂屯玉门阳关，广田积谷为东伐之资。

又曰：东晋元帝督课农功，二千石、长史以入谷多少为殿。其宿卫要任皆令赴农，使军各自佃即以为廪。太兴中，三吴大饥，后军将军应詹上表曰："魏武帝用枣祗、韩浩之议，广建屯田。又于征伐之中分带甲之士随宜开(恳)[垦]，故下不甚劳，大功克举。间者，流人奔东吴，东吴今俭，皆已返。江西良田旷废未久，火耕水耨，为功差易。宜简流人，兴复农官，功劳报赏皆如魏氏故事。一年中兴百姓，二年分税，三年计赋税以使之，公私兼济，则仓庾盈亿，可计日而行也。"

又曰：穆帝升平初，荀羡为北部都尉，镇下邳，今临淮郡县也。起田于东阳之石鳖，亦在临淮郡界也。公私利之。

《齐书》曰：高帝敕垣崇祖修理芍陂田，曰："卿但努力营田，自然平殄虏寇。昔魏置典农而中都足食，晋开汝颍而河汴委储。卿宜勉之。"

《后魏书》曰：文帝大统十一年，大旱。十二年，秘书丞李彪上表请别立农官，取州郡户十分之一为屯人，相水陆之宜，料顷亩之数，以赃赎杂物市牛，科给令其肆力，一夫之田岁(责)[贡]六十斛，甄其正课并征戍杂役。行此二事，数年之中则谷积而人足矣。帝览而善之，寻施行焉。自此公私丰赡，虽有水旱不为害也。

《北史》曰：后魏(刀)[刁]雍除薄骨律镇将。雍以西土乏(两)[雨]，表求凿渠溉公私田。又奉诏以高平、安定、统万及薄骨律等

四镇出车牛五千乘，运屯谷五十万斛，付沃野以供军粮。道多深沙，车牛难阻，河水之次，造船水运。又以所绾边表常惧不虞，造储谷置兵备守，诏皆从之。诏即名此城为刁公城，以旌功焉。

《北齐书》曰：废帝乾明中，尚书左丞苏珍芝又议修石鳖等屯，岁收数十万石，自是淮南防粮足。

又曰：孝昭帝皇建中，平州刺史嵇晔建议开幽州督亢旧陂今范阳郡范阳县界是。长城左右营屯田，岁收稻粟数十万石，北境得以周赡。又于河内置怀义等屯以给河南之费，自是，稍止转输之劳。

又曰：武成帝河清三年，诏缘边城守，堪垦食者营屯田，置都子使以统之。子使当田五十顷，岁终课其所入褒贬。

《隋书》曰：文帝开皇三年，突厥犯塞，吐谷浑寇边，转输劳弊，乃命朔方总管赵仲卿于长城以北大兴屯田。

《隋书》曰：郭衍授朔州总管，所部有恒安镇，北接番境，常劳转运，衍乃选沃饶地置屯田，岁剩粟万余石，民免转输之劳。

《唐书》曰：窦静历并州大总管司马，迁长史。于时突厥数为边患，师旅岁兴，军粮不属。静上表于太原多置屯田，以省馈运。时议者以人物凋零，不宜动众，书奏不省。静复上书，辞甚切。于是，征静入朝，与裴寂、萧瑀、封德彝等争论于殿庭，寂等不能屈，竟从静议。岁收数十万斛。高祖善之。

又曰：开元二十五年令诸屯隶司农寺者，每三十顷以下、二十顷以上为一屯，隶州镇诸军者每五十顷为一屯。其屯应置者皆从尚书省处分，其旧屯重置者一依丞前封疆为定，新置者并取荒闲无籍广占之地。其屯虽(料)[科]五十顷，易田之处各依乡原量事加数。其屯官取勋，官五品以上及武散官，并前资边州县府镇戍八品以上文武官内，简堪者充，据所收斛斗等级为功优。诸屯田应用牛之处，山原川泽，土有硬软，至于耕(恳)[垦]用力不同，土软处每一顷五十亩，配牛一头，疆硬处一顷二十亩，配牛一头。即当屯之内有硬有软，亦准此法。其稻田每八十亩配牛一头，诸营田若五十顷

外，更有地剩，配得丁牛者，所收斛皆准顷亩折除。其大麦、荞麦、乾萝卜等准粟计折斛斗，以定等级。天宝八年，天下屯田百九十一万三千九百六十石，关内五十六万三千八百一十石，河北四十万三千二百八十石，河东二十四万五千八百八十石，河西二十六万八十八石，陇右四十四万九百二石。后上元中于楚州(古)[右](谢)[射]阳湖置洪泽屯，寿州置芍陂屯，厥田沃壤，大获其利。

王元长《策秀才文》曰：今农战不修，文儒是竞，弃本(殉)[徇]末，厥弊滋多。

戍 役

《诗》曰：《采薇》，遣戍役也。文王之时，西有昆夷之患，北有猃狁之难，以天子之命，命将卒，遣戍役，以守卫中国，故歌《采薇》以遣之。

又曰：《扬之水》，刺平王也。不抚其民而远屯戍于母家，周人怨思焉。

《左传》曰：齐侯使连称管至父戍葵丘，瓜时而往，曰："及瓜而代。"期戍，公问不至，请代不许，故谋作乱。

《汉书》曰：晁错上言："守边、备塞、劝农、力本，当世急务也。臣闻秦北攻胡貊，筑塞河上；南攻扬粤，置卒戍焉。非所以卫边地而救民死也，贪戾而欲广地，故功未立而天下乱。夫起兵不知其势，战则为人禽，屯则卒积死。夫胡貉之地积阴之处也，木皮三寸，冰厚六尺，食肉饮酪，其人密理，密理，谓肥肉也。鸟兽毳毛，其性能寒。扬粤音越。之地，少阴多阳，其人疏理，鸟兽稀毛，其性能暑。秦之戍卒，不能其水土，死者偾于地。偾，[僵]也，音奋。秦民见行如往弃市，因以谪发之，名曰谪戍也。凡民守战至死而不降北者，以计为之也。故战胜守固则有拜爵之赏，攻城屠邑则得其财卤以富家室，故能使其众蒙矢石、赴汤火，视死如归。秦之发卒也，有万死之害，而无铢两之报，故其祸及己。陈胜行戍至于大泽，为天下先

(唱)[倡],天下从之如流水。胡人衣食之业不著于地,如飞鸟走兽于广野,美草甘水则止,草尽水竭则移,往来转徙,时至时去,此胡人之业。然令卒守塞一岁而更,不知胡人之能,不如选常居者家室田作以为备,(便)[使]为之高城深堑,具蒺石,布渠答,蒺石,城上雷石也。渠答,铁蒺藜也。调立城邑毋下千家,为中周虎落。"上从其言,募民(從)][徙]塞下。

又曰:错复言:"臣闻古之徙远方以实广虚也,相其阴阳之利,尝其水泉之味,审其土地之宜,观其草木之饶,然后营邑立城,制里割宅,通田作之道,正阡陌之界,先为筑室家,有一堂二内,二内,内房也。置器物焉。此民所以轻去故乡而劝之新邑,为置医药巫以救疾病,以修祭祀,男女有婚,生死相恤,此所以使民乐其处而有长居之心也。"

又曰:宣帝地节三年,诏曰:"朕既不德,不能附远,是以边境屯戍未息。今复饰兵重屯,久劳百姓,非所以绥天下也。其罢车骑将军、右将军屯兵。"

《后汉书》曰:横野大将军王常薨,遣骠骑大将军杜茂将众兵屯北边,筑亭候,修烽燧。

又曰:十五年,徙雁门、代郡、上谷三郡人置常山关以东。

又曰:二十五年,南单于遣子入侍。于是云中五原八郡人归本土,边人在中国皆赐以装钱,转输给食也。

太平御览卷第三百三十四

兵部六十五

辎重　戎车　战舰　亭障

辎　重

《释名》曰：辎，厕也。谓军粮什物杂厕载之，以其累重，故称辎重。《后汉书》注曰：辎，车名也。

《孙子》曰：使敌不得至者，险害之地。（功）[攻]其所必救，能守其险害之要路，敌不得自致。故王子曰：一犬当穴，万鼠不敢出；一虎当蹊，万鹿不敢过，言守之上也。故饱能饥之。绝其粮也。委军而争利则辎重捐，委置库藏，轻师而行，若敌乘虚而来，抄绝其后，则已辎重皆悉捐弃。是以军无辎重则亡，无粮食则亡，无委积则亡。此三者，亡之道也。委积，刍草之处。

《史记》曰：汉王遣将韩信以兵数万欲东下井陉击赵。赵王陈余聚兵井陉口，号称二十万。李左车说陈余曰："韩信涉西河虏魏王、擒夏说欲以下赵，此乘胜而去国远斗，其锋不可当。臣闻千里馈粮，士有饥色，樵苏后爨，樵，取薪也。苏，草也。师不宿饱。今井陉之道，车不得方轨，骑不得成列，行数百里，其势粮食必在其后。愿足下假臣奇兵三万人，从间路绝其辎重。足下深沟高垒，坚营勿与战。使前不得斗，退不得还。吾奇兵绝其后，使野无所掠。不至十日而韩信之头可致于麾下。不然，必为所擒矣。"陈余儒者，常称义兵不用诈谋奇计。曰："吾闻兵法：十则围之，倍则战。今韩信兵号数万，千里而袭我，亦已罢极。今如避不击，后有大者何以加之？则诸侯谓吾怯而轻来伐我。"不听。韩信使人间视，知不用，大喜。乃敢引兵遂进，竟破赵军。

《后汉书》曰：董诉许邯与更始诸将，各拥兵据南阳诸城。帝遣

吴汉伐之，汉军所过多侵暴。时破虏将军邓奉谒归东野，怒吴汉掠其乡里，遂返击破汉军，获其辎重，屯据淆阳与诸将合从。

又曰：邓禹自箕关将入河东，箕关在今王屋县东。河东都尉守关不开，禹攻十日，破之，获辎重千余乘。

又曰：耿弇追张步平寿，乃肉袒负斧锧于军门。锧，锯也。示必死。锯，(所)[祈]林切。弇传步诣行在所而勒兵入据其城，树十二郡旗鼓，《东观记》曰：弇凡平城阳、琅琊、高密、胶东、东莱、北海、齐千乘、济南、平原、泰山、临淄等郡。令部兵各以郡人诣旗下，众向十余万，辎重七千余两，皆罢遣归乡里。

《晋书》曰：刘毅追桓玄于峥嵘州，乘风纵火，尽锐争先，玄众大溃，烧辎重夜走。

崔鸿《十六国春秋》曰：前秦苻坚遣将王猛伐前燕慕容暐，师次潞川。燕将慕容评率兵十万御之，以持久制之。猛乃遣其将郭度率骑五千，夜从间道起火于高山，因烧评辎重，火见鄴中。评性贪鄙，障固山泉卖樵鬻水积钱，绢如丘陵，三军莫有斗志，因而大败。

《唐书》曰：高宗遣将薛仁贵、郭待封伐吐蕃。仁贵留三万人作两栅，辎重并留栅内，倍道掩之。待封不从仁贵之策，领辎重继进，未至乌海，吐蕃二十余万悉众救其前军，迎击待封，败之。待封趋山，军粮及辎重并为贼所掠，仁贵遂退军。

戎　车

《书》曰：武王戎车三百两，车一乘，步卒七十二人。虎贲三百人，与纣战于牧野。

《诗》曰：戎车既驾，四(壮)[牡]业业。

又曰：元戎十乘，以先启行。

《礼记》曰：兵车不式，武车绥旌。前有水，则载青旌。前有尘埃，则载鸣鸢。前有车骑，则载飞鸿。前有士师，则载虎皮。前有挚兽，则载貔貅。行，前朱(鸟)[雀]而后玄武，左青龙而右白虎；招

摇在上，急缮音劲。其怒；进退有度，左右有局，各司其局。

《左传》曰：晋车七百乘，韅靷鞅绊，遂伐其木，以益其兵也。

又曰：叔向曰："寡君有甲车四千乘在行之，必可畏也。牛虽瘠，偾于豚上，其畏不死乎？"

又曰：楚子会诸侯伐随，军于汉淮之间。少师谓随侯曰："楚人上左，君必左。君，楚君也。无与王遇，且攻其右，右无良焉。"弗从，战于速杞，随师败绩，斗丹获其戎车。

《谷梁》曰：赵盾长毂五百，绵地千里。

《古司马兵法》曰：戎车，夏曰"钩车"，先正也。钩设(淮)[浦车]堑远近计车量。地以立垒正者，什伍之例也。殷曰"寅车"，先疾也。寅，敬也。前有旌旗帜所以知变化，示应而不失。周曰"元戎"，先良也。前立(代)[伐]恶立善之旗，所以知善恶之所在。先齐良善而后(代)[伐]之。

《文选》曰："轻车霆激，骁骑雷惊。"

战　舰

《墨子》曰：公输般自鲁之楚，为舟战之具，谓之钩拒。退则钩之，进则拒之也。

《后汉书》曰：公孙述遣其将任满、田戎、程泛将数万人，乘枋筩下江关。(榜)[枋]筩以木竹为之，浮于江水上。《尔雅》曰：舫，附也。郭景纯曰：水中筩，筏也。《华阳国志》曰：巴楚相攻，故置江关，旧在京赤甲城，后移在江南岸，对白帝城，故基在今夔州鱼复县南。枋，即舫字，古通用。击破冯骏及田鸿、季玄等，遂拔夷道、夷陵，据荆门虎牙，横江水起浮桥斗楼，立攒柱绝水道，结营山上，以拒汉兵。彭攻之不利，于是装直进楼船，冒突、露桡数千艘。并船名。楼船之上施楼。桡，楫也。《尔雅》曰：楫，谓之桡。又谓露桡在外，人在舟中。冒突，取其触冒而唐突也。

《晋书》曰：周访与诸军共征杜韬，韬作结皋打官军船舰，访作长岐枨以拒之，结皋不为害。

又曰：刘裕北征广固，岭南贼将徐道覆谓其帅卢循曰："今日之机，万不可失。既克都邑，刘裕虽还，无能为也。"循从之。初，道覆

密欲装舟舰，乃使人伐船材于南康山，伪云将下都货之，称力少不能得，致即贱卖之，价减数倍。居人贪贱，卖衣物而市之。赣石水急，赣，古暗切。出船甚难，皆储之，如是者数四，故板大积，而百姓弗之疑。及道覆举兵，案卖券而取，无得隐匿者。乃并装之，旬日而办。遂举众寇南康，庐陵、豫章郡诸守相皆委任奔走。

《梁书》曰：陆纳反叛，造大舰，一名曰"三王舰"者，邵陵王、河东王、桂阳嗣王三人并为元帝所害，故立其像于舰，祭以太牢，加其节盖，羽仪鼓吹，每战辄祭之以求福。

又曰：王琳大营楼舰将图义举，琳将张平宅乘一舰，每将战胜，舰则有声如野猪。故琳战舰以千数，以野猪为名。

《南史》曰：梁徐世谱从陆法和与[侯]景战于赤亭湖。景军甚盛，世谱乃别造楼船、拍舰、火舫水军，以益军势。将战，又乘大舰居前，大败景军，擒景将任约。景退走，因随王僧辩攻郢州。世谱复乘大舰临其仓间，贼将宋子仙(据)[举]城降，以功(徐)[除]信州刺史，封鱼复县侯。

《周书·庾信传》曰：信常有乡关之思，作《哀江南赋》以致其意，云"麾兵金匮，校战玉堂，苍鹰赤雀，铁轴牙樯。"

《隋书》曰：杨素数进取陈之计，未几，拜信州总管，赐钱百万、帛千段、马二百匹而遣之。素居永安造大舰，名曰"五牙"。上起楼五层，高百余尺，左右前后置六柏竿，并高五十尺，容战士八百人，旗帜加于上。次曰"黄龙"。置兵百人，自余平乘舴舰等各有差。

《唐书》曰：曹王皋性多巧思，常为战舰，挟以二轮，令蹈之，溯风鼓浪，其疾如挂帆席。凡造物必省易而为久，不可(贩)[败]性纤悉。每遗人粮肉，必令自持衡秤量以致之，官署布帛令纵书其幅而印之，绝吏之私易。

《三国典略》曰：梁陆法和多聚兵舰，欲袭襄阳，寇武关，梁王使止之。法和谓使者曰："法和是求道之人，常不希释梵天王坐处，岂规人主之位？但于空王佛所与主上香火因缘，见主上应有报至，故

救援耳。今既被疑，是业不可改也。”

又曰：梁陆纳叛湘州时，造二舰衣以牛皮，高十五丈，一曰“青龙”，一曰“白虎”。选其骁勇者乘之以战。

《魏武军令·船战令》曰：雷鼓一通，吏士皆严；再通，士伍皆就船，整持橹棹。战士各持兵器就船，各当其所。幡鼓各随将所载船。鼓三通，大小战船以次发，左不得至右，右不得至左，前后不得易处，违令者斩。

《通典》曰：水战，船阔狭、长短，随用大小；胜人多少，皆以米为(卒)[率]，一人重米二石。其楫棹、篙橹、帆席、绚索、沉石、调度，与常船不殊。

又曰：楼船：船上建楼三重，列女墙战格，树幡帜，开弩窗、矛穴，置抛(军)[车]、垒石、铁汁，状如城垒。忽遇暴风，人力不能制，此亦非便于事。然为水军，不可不设，以成形势。

又曰：蒙冲：以生牛皮蒙船覆背，两厢开掣棹孔，前后左右有弩窗、(予)[矛]穴，敌不得近，矢石不能败。此不用大船，务于速进，乘人之不及，非战之船也。

又曰：斗舰：船上设女墙，可高[三]尺，墙下开制棹孔；舷内五尺，又建(栅)[棚]，与女墙齐；棚上又建女墙，重列战敌，上无覆背，前后左右树牙旗、幡帜、金鼓。此战船也。

又(田)[曰]：走舸：舷上立女墙，棹夫多，战卒少，皆选勇力精锐者，往返如飞鸥，乘人之不及，金鼓、旗帜列之于上。此战船也。

又曰：游艇：无女墙，舷上置桨床，左右随大小长短，四尺一床。计床计会进止，回军转阵，其疾如风。虞候居之，非战船也。

又曰：海鹘：头低尾高，前大后小，如鹘之状。舷下左右置浮版，形如鹘翅翼，以助其船，虽风涛涨天，免有倾侧。覆背上，左右张生牛皮为城，牙旗、金鼓如常法，江海之中战船也。

傅玄《(正)[上]都赋》曰：飞云鹢首，龙舟余皇。艨艟水城，蜀艇吴航。万艘俱兴，云帆齐张。悬旆光天，征铎琳琅。凌波泝流，

星列雁行。

《吴都赋》曰：戎车盈于石城，戈船掩于江湖。

亭 障

《后汉书》：马成(伐)[代]骠骑大将军杜茂，缮治障塞，自西河至渭桥，西河，今胜州富昌县也。(渭)[渭]桥本名横桥，在今咸阳县东南。河上至安邑，《前汉书》曰：河上，地名。故秦内史，[高]帝二年改为河上郡，武帝分为左冯翊。太原至井陉，太原，今并州也。井陉，今属常山郡。常山，今相州也。中山至郧，皆筑堡壁，起[烽燧]，十里一候。在事五六年，帝以成勤，征还京师。

又曰：卢芳与匈奴乌桓连兵，寇盗尤数，缘边愁苦，诏王霸将弛刑徒六千余人与茂治飞狐道。飞狐道在今蔚州飞狐县，北通妫州怀戎县，即古之飞狐口也。推石布土，筑起亭障，自代至平城三百余里。

《晋书》曰：梁武昭王暠修敦煌旧塞东西二国，以防北虏之患。筑敦煌旧塞西南二国以威南虏。

《唐书》曰：窦静检校并州大总管。以突厥频来入寇，请断石岭以为障塞。诏从之。

又曰：马燧奏陇州刺史兼御史中丞，州西有通道二百余步，上连峻山，与吐蕃相直。虏每入寇，皆出于此。燧乃按险易立石种树以塞之，下置二门，上设谯橹，八日而功毕。会抱玉入觐，燧与俱来，留京师。久之，代宗知其能，召见，拜商州刺史。

又曰：李朝晟为邠州刺史，奏方渠合道水波，皆贼路也。请城其地以备之。诏问："须兵几何？"朝晟奏："臣部下兵自可集事。不烦外助。"复问："前筑盐州，凡兴师七万，今何其易也？"朝晟曰："盐州之役，咸集诸蕃，戎尽知之。今臣境近虏，若大兴兵，即蕃戎入寇，寇则战，战则无暇城矣。今请密发军士，不十日至塞下，未三旬而功毕，蕃人始知，已无可奈何。"上从之。已事，军还至马岭，吐蕃始乘障，数日而退。

又曰：贞元九年二月，将城盐州，诏曰："设险守国，易象垂文，有备无患，先王令典。况修复旧制，安固封疆，按甲息人，必在于此。盐州地当冲要，远介朔陲，东达(银)[宁]夏，西援灵武，密迩延庆，保捍王畿。乃者城池失守，制备无据，千里亭障烽燧不接，三隅要害役戍其勤。若非兴集师徒缮修壁垒，设攻守之具，务耕战之方，则封内多虞，诸华屡惊，由中及外，皆靡宁居。深帷永图，岂忘终食，顾以薄德，至化未孚，既不能复前古之封，致四夷之守，与其临事而重扰，岂若先备而安[休]。是用弘远之谋，修五原之垒，使边城有守，中夏克宁。不有暂劳，(敦)[孰]能永逸。宜令左右神策军及朔方、河中、绛、邠、宁、庆兵马副元帅浑瑊，朔方、灵盐、丰、绥、银节度都统杜希全，邠宁节度使张献甫，左神策行营节度使邢君牙，夏、绥、银节度使韩潭，鄜、坊、丹、延节度使王(洒)[栖]曜，振武、麟胜节度使范希朝，各于所部简择马步将士合三万五千人，同赴盐州。左神策将军张昌宜充右神策将军，盐州行营节度使权知盐州刺史，杜彦光充盐州刺史，应所板筑及缘修城杂役等宜共取六(人千)[千人]充。其余将士皆列布营阵，戒严设备，明加斥候，以警不虞。其修城板筑功役将士各赐绢布有差，其盐州防秋将士三年满，与代，更加给赐。仍委杜彦光具名闻奏，悉与改转，其防遏将士等毕事便合放归，仍赐布帛有(羌)[差]。其诸军吏士都赐帛绢七千匹。朕情非为己，悉在靖人，咨尔将相之臣、忠良之士，输诚奉国，陈力忘劳，勉茂功勋，永安疆场，必集兵事，实惟众心各相率励，以副朕意。"初，贞元三年，盐州为吐蕃所陷，毁其城而去。自是塞外无保障，灵武势隔，西逼鄜坊，(其)[甚]为边患，故命城之，二旬而毕。又诏兼御史大夫叱干遂统兵五千与兼御史中丞史履澄、杜彦光之众戍之。是役也，上念将士之劳，厚令度支供给。又诏泾原、剑南、山南诸军深讨吐蕃，以分其力。由是板筑之际，虏无犯塞者。及毕，中外咸称贺焉。

又曰：范希朝为振武节度使。振武有党项、室韦交居(川)[州]

阜，凌犯为盗，日入悬作，谓之刮城门。居人怪骇，鲜有宁日。希朝周知要害，置堡栅，斥候严密，人遂获安。异蕃虽鼠窃狗盗，必杀无赦，戎虏甚惮之。

又曰：元和中，城临泾，从泾原节度使段祐之请也。临泾城直泾州西北九十里，实险要之镇。从前因循不修，常为犬戎所保，其界有青石岭，岭多美土，军人耕获，屡为蕃寇掠夺。祐请修筑，议者是非相半。祐决城之功毕，时方以为大利。

《三国典略》曰：齐司（从）[徒]斛律光筑吞周、平陇、定（夸）[番]三城于境上。

太平御览卷第三百三十五

兵部六十六

营垒　烽燧　京观

营　垒

《孙子》曰：绝斥泽，惟亟去无留。斥，咸卤之地。水草恶，浸洳不可处军也。亟，纪力切。为交军于斥岸之中，必依水草而背众树，不得已与敌战而会斥泽之中，当背稠树以为固守也。此处斥泽之军也。平陆处易，车之利也。而右背高，前死后生，战便也。此处平陆军也。

《礼记》曰：四郊多垒，卿大夫士之辱也。

《左传》曰：许伯致师，御靡旌摩垒而还。

《史记》曰：黄帝修德振兵，与神农战于阪泉之野，以师兵为营卫。

《汉书》曰：周亚夫军于细柳，天子入壁门而不得进。上曰："此真将军。"

又曰：李陵浚稽山，与单于相值，可三万。陵军居两山间，以大车为营。陵引士出营外，为阵前行，持弓弩，令曰："闻金声而止。"虏还见汉军少，直前就营，陵搏战攻之，（知）[如]淳曰：手对战也。千弩俱发，应弦而倒。虏还走上山，汉军追击，杀数千人，单于大惊。

《后汉书》曰：岑彭伐蜀，所营地名"彭亡"，闻而恶之，欲徙。会日暮，蜀刺客诈为亡奴降，夜刺杀彭。

又曰：樊宏，王莽末与宗家亲属作营堑自守，老弱归之者千余家。时赤眉贼欲前攻宏营，宏遣人持牛酒米粟劳遗赤眉。赤眉长老闻宏仁厚，皆称曰："樊君素善，且今见待如此，何必攻之。"引兵而去。遂免寇难。

又曰：(弟)[第]五伦少介烈，有义行。王莽末盗贼起，宗族闾里争往附之，伦乃依险固筑营壁。有贼，辄奋厉其众，引强持满以拒之。

又曰：吴汉自将步骑二万余人，进逼成都。去城十余里阻江北为营，作浮桥，使副将武威将军刘尚将万余人屯于江南。

《东观汉记》曰：庞萌攻盖延，延与战，破之。诏书劳延曰："庞萌一夜反叛，相去不远，营壁不坚，殆令人齿欲相击，而将军有不可动之节，吾甚美之。"

《魏志》曰：邓艾每见高山大泽，辄规谋度指画军营处所，时人皆笑之。

又曰：诸葛亮死，军退。司马宣王幸其营垒，曰："天下奇才也。"

又曰：曹公征马超于关中，军于渭南，为贼冲突，营不得立。地又纯沙，不胜版筑。其将娄伯说公曰："今天寒，可起沙为城，以水灌之，须臾冰坚如铁石，功不达嚼，百堵所立，虽金汤之固未能过也。"公从之，比明已就。

又曰：蜀先主刘备东下伐吴，魏文帝闻备树栅连营七百余里，谓群臣曰："备不晓兵，岂有七百里营可以拒敌者乎？包原隰险阻而为军者，为敌所擒，此兵忌也。缓急不相救，一军溃则众心恐矣。"数日，果有备败书至。

《晋书》曰：《沮渠蒙逊载记》曰：改业筑西安城以其将臧莫孩为太守。蒙逊曰："莫孩勇而无谋，知进忘退，所谓为之筑冢非筑城也。"(地)[改]业不从。俄而，为吕纂所灭。

又曰：姚苌破魏褐飞于杏城，苌命其将当城于营处一栅，孔中莳树一根，以旌战功。岁余问之，城曰："营所至小，已广之矣。"苌曰："少来斗战无如此快，以一千六百人破三万众，国之事业由此克举。小乃为奇，大何足贵。"

又曰：成都王颖惮长沙王乂在内，遂与河间王颙表请诛。后父

羊玄之、左将军皇甫商等檄人使就第。乃与颙将张方伐京都，以平原内史陆机为前将军，假节。颙至朝歌，每夜矛戟有光若火，其垒井中皆有龙像。进军屯河南阻清水为垒，造浮桥以通河北，以大木函盛石沉之以(击)[系]桥，名曰石鳖。

崔鸿《后赵录》曰：河瑞元年，石勒下冀州郡县保壁百余，众至十余万。其衣冠人物集为君子营。

《宋书》曰：宗越善营立阵，每数万人正顿，自骑马前行，使军人随其后，马止营合，未尝参差。

《梁书》曰：王僧辩、陈霸先之破侯景也，耀军于张公洲。高旗巨舰，遏江蔽日，乘潮顺流。景登石头城而睹之，不悦曰"彼军(上)[士]有如是之气，不可易也。"因率铁骑万人，声鼓而进。霸先谓僧辩曰："善用兵者如常山之蛇，首尾相应。贼今送死欲为一战，我众彼寡，宜分其势。"僧辩然之。乃以强弩攻其前，轻锐蹂其后，径冲其中，景遂大溃，弃城而遁。

《后周书》曰：杨猛镇潼关，封邰阳伯邑七百户。俄而，潼关不守，猛于善渚谷立栅，收集义徒，授征东将军扬州刺史大都督武卫将军，仍镇善渚。大统三年，为窦泰新袭，猛脱身得免。太祖以众寡不敌，弗之责也，仍配兵千人守牛尾堡。

《唐书》曰：德宗幸奉天，李晟赴难。李怀光以朔方军屯咸阳，不欲晟独当一面以分功，乃奏请晟兵。诏令晟将兵合怀光军，晟领兵至陈陶斜，军垒未周，贼出兵来攻，晟乃出阵，且言于怀光曰："贼坚保宫苑，攻之未必克，今出穴而欲一战，此殆天以贼赐明公也。"怀光恐晟有功，乃曰："马未衔秣，士不素饱，不饱，不若敛兵俟时而发。"晟乃收军入垒。

又曰：高宗遣将军裴行俭讨突厥。军至单于都护府之北，际晚下营，壕堑方周，遽令移就崇冈。将士云众已就安堵，不可劳扰。行俭不从，更令徙之。此夜风雨暴至，前设营所水深丈余。将吏惊服，问行俭曰："何以知风雨也？"行俭笑曰："自今但依我节制，何须

问我所由知也。"

《三国典略》曰：萧纪兵次西陵，舻舳旌戈，翳川曜日。护军陆法和于峡两岸筑二垒，运石填江，铁锁断之。梁主令法和垒北断白雁城道，别立小栅。

《孟子》曰：天时不如地利，地利不如人和。三里之城，七里之郭，环而攻之而不胜。夫环而攻之必有得天时者矣，然而不胜者，是天时不如地利也。城非不高也，池非不深也，兵革非不坚利也，米粟非不多也，委而去之，是地利不如人和也。

《博物志》曰：处士东里愧责禹乱天下事。禹退作三城，强者攻，弱者守，敌者战。城盖禹始也。

《太公兵法》曰：张军处将必避七舍七殃。武王曰："何谓七舍七殃？"太公曰："张军勿居天舍，勿居地舍，勿居虚器，勿居宿死，勿居吞害，勿居蜚锋，勿居湖泉。"武王曰："何谓天社？"太公曰："地高而仰者也。""何谓地社？""卑而下者也。""何谓虚器？""故败邑人莫居之者也。""何谓宿死？""冢墓丘陵间也。""何谓湖泉？""枯泽无水者也。""何谓吞害？""即人所聚五谷处也。""何谓蜚锋？""地斥卤秃不生草木也。"所谓七舍七殃，不张军处将也。

《太白阴经》曰：偃月营形象偃月，皆背山冈面陂泽，轮逐山势，弦随面直，地窄山狭之所营。

又曰：偃月外营右置上弦门，中置偃月门，左置下弦门。

《文选》曰：夜薄休屠营。

卢思道《从军行》曰：平明偃月屯右地，薄暮鱼丽逐左贤。

烽 燧

《说文》曰：烽燧，候表也。边有警，则举火也。

《汉书音义》曰：高台上作桔槔头，置兜零，以薪草置其中，常悬之，有寇则火燃举之曰烽。下多积薪，寇至则燔之，望其烟曰燧。昼则燔燧，夜乃举烽。《广雅》曰：兜零，（笼）[箭]也。

《史记》曰：周幽王后褒姒好举烽火、叩贼鼓方喜。王欲后喜，辄诈为之。后犬戎兵至，举烽火，叩贼鼓，群臣不救，皆曰："王欲后喜耳。"遂杀幽王及褒姒。

又曰：魏王与信陵君博北境，举烽火言寇入界。信陵君曰："臣有客能知赵王阴事，言赵王猎，非寇也。"

《汉书》曰：单于立四岁，匈奴复绝和亲，大入上郡、云中，烽火通于甘泉。

《东观汉记》曰：郭伋为并州。伋知卢芳贼难卒以力制，常严烽候、明购赏以结寇心。

又曰：马成缮治障塞，自西河至渭桥、河上至安邑、於原至井陉、中山至郫皆筑保(壁)[垒]、起烽燧，十里一候。

《后汉书》曰：廉范为云中太守。会匈奴入塞，烽火日通。故事：虏入度五千人乃移书旁郡求助。吏(自)[白]"今虏兵度出五千人，请移檄。"范不听，遂选精兵自率士卒拒之。

又曰：遣骠骑大将军杜茂屯北边，筑亭候，修烽燧。

《后周书》曰：宇文贵性聪敏，过目辄记。尝道逢二人，谓其左右曰："此人是县党，何因辄行？"左右不识，贵便说其姓名，莫不(嗟)[叹]伏。白戟烽师为商人所烧，烽师纳货不言其罪。他日北师随例来参，贵乃问云："商人烽何因私放？"烽师愕然，遂自首伏。明察如此。

《隋书》曰：突厥染干为邻部战败，与长孙晟独以五骑，(逼)[连]夜南走。至旦，行百余里，收得数百骑。乃相与谋曰："今兵败入朝，一降人耳，大隋天子岂礼我乎。珞厥虽来，本无冤隙，若往投之，必相存济。"晟知其怀贰，乃密使从者入伏远镇，令速举烽。染干见四烽俱发，问晟曰："城上燃烽何也？"晟给之曰："城高地迥，必遥见贼来，我国家法，若贼少举二烽，来多举三烽，大逼举四烽，使见贼多而又近耳。"染干大惧，谓其众曰："追兵已逼，且可投城。"既入镇，晟留其达官执室以领其众，自将染干驰驿入朝。

《唐书》曰：元和中，京兆尹李鄘奏："三原、高陵、泾阳、兴平等四县共管烽二十八所，每年差烽子烽师九百七十五人。今远近无虞，畿内烽燧请停。"从之。

《玄女战经》曰：诸见举烽火传言虏且起，欲知审来不以言者，时所加之，得阳者不得阴者，为来法。

《晋令》曰：误举烽燧罚金一斤八两，故不举者弃市。

《甘氏天文占》曰：权举烽远近沉浮，权四星在辕尾西，边地惊，备烽候相望，虏至则举烽火，十丈如今之井桔槔，大锤其头，若警急燃火放之，权重本低则末仰，人见烽火。

吴时《缘江戍图》曰：每刺奸屯有五兵，贼曹一人，皆作烽火，有急以光传之。

黄帝《出军决法》曰：行军行兵，两敌相要，地形不便，望见烽火，不得为客。

《卫公兵法》曰：烽台于高山四顾险绝处置之，无山亦于孤迥道平地置，下筑羊马城，高下任便，常以三五为准，台高五丈，下阔一丈，形圆。

又曰：诸军马拟停三五日，即须去军一二百里以来安置爟烽。如有动静，举[烽]相报。其烽并于贼路左侧逐要置，每三十里置一烽应接，令遣到军。其游弈马骑，昼日游弈，候视。至暮速即作食吃，即移十里外止宿，虑防贼徒，暮间见烟火，夜间掩袭捉将。其贼路左右草中，着人宿止，以听贼徒，如觉来，报烽家，举烽递报军司。如觉(十)[五]骑以上(五)[十]骑以下，即放(火)[一]炬火，前锋应讫，即灭火；若百骑以上，二百以下，即放两炬火，准前应灭。贼若五百骑以上，五千骑以下，即同放三(拒)[炬]火，准前应灭。前锋应讫，即赴军。若虏走不到军，即且投山谷，逐空方可赴军。如以次烽候视不觉，其举火之烽即须差人急走告知。[贼路]既置爟烽，军内即须应接。又置一都烽，应接四山诸烽。其都烽如见烟火，急报大总管，云"某道烟火起"，大总管当须严备，收拾畜生，遣人远

(拓)[探]。每烽令别奏一人押,一道烽令折冲、果毅一人都押。

庾阐《杨都赋》注曰:烽火以置于孤山头,缘江相望,或百里、或五十里、或三十里,寇至则举以相告,一夕可行万里。孙权时,合暮举火于西陵,鼓三竟达吴郡。

南徐敬业《古意》曰:甘泉警烽候,上谷抵楼兰。

《北门行》曰:羽檄起边庭,烽火入咸阳。

张景阳《杂诗》曰:长铗鸣鞘中,烽火烈边庭。

蔡邕徙朔方,上书曰:既到徙所,乘塞守烽,职在候望。忧怖焦灼,无心复能操笔成草,致章阙庭。

蔡谟《与弟书》曰:军之耳目,当用烽鼓。烽可遥见,鼓可遥闻,须臾百里。

京 观

《左传》曰:丙辰,楚军于邲,遂次于衡雍。潘党曰:"君盍筑武军筑武军营以章武功。而收晋尸以为京观。臣闻克敌必视子孙,以无忘武功。"楚子曰:"非尔所知也。夫文,止戈为武。武王克商,作《颂》曰:"载戢干戈,载櫜弓矢。我求懿德,肆于时夏。"古者明王伐不敬,取其鲸鲵而封之,以为大戮,于是乎有京观,以惩淫慝。大鱼,喻不义吞食小国也。积尸,封土其上,谓之京观。

又曰:齐侯伐晋,取朝歌为二队,入孟门,登太行。张武军于荥庭,戍郫邵,封少水,封晋屍于少水,以为京观。以报平阴之役,乃还。

又曰:秦伯伐晋,济河焚舟,封殽尸而还,遂霸西戎。

崔鸿《夏录》曰:赫连勃勃大破南凉,杀众数万,以人头为京观,号曰"髑髅台"。

《梁书》曰:天舛丑类,宜为京观,用旌武功。

太平御览卷第三百三十六

兵部六十七

攻具上

《诗》曰：帝谓文王，询尔仇方。同尔弟兄，以尔钩援。与尔临冲，以伐崇墉。毛苌曰：仇，匹也。钩，钩梯，所以上城者也。临，临车也。冲，冲车也。墉，城也。

《左传》曰：晋使解杨如宋，使无降楚。郑人囚之以献于楚。楚子使反其言，三而后许。登诸楼车，所谓云梯。使呼宋人而告，遂致其君命。楚子舍之以归。

《春秋感精符》曰：齐晋并争，吴楚更谋，不守诸侯之节，竞行天子之事，作衝车，厉武将，轮有刃，衝着剑，以相振惧。宋均曰：衝，陷敌之车也。轮有刃，衝轮着刃也。衝，马轭也。

《后汉书》曰：王寻、王邑攻光武。严尤说王邑曰："昆阳城小而坚，今假号者在宛，亟进大兵，亟，急也。纪力切。彼必奔走，宛败，昆阳自服。"邑曰："吾昔以虎牙将军围翟义，坐不生得以见责让，翟义，字文仲，方进少子，为东郡太守。王莽居摄，义心恶之，乃立东平云子，义自号柱天大将军以诛莽。[莽]乃使孙建、王邑等将兵击义，破之。义亡自杀，故坐不得生。今将百万之众，遇城而不能下，何谓耶！"遇，或谓过也。遂围之数十重，列营百数，云车十余丈，云车，即楼车，称云，其高也，升之以望敌。犹墨子云般输为之梯之械。瞰临城中，俯视曰瞰。旗帜蔽野，《广雅》曰：帜，幡也。埃尘连天，钲鼓之声闻数百里。《说文》曰：钲，铙也。似(钲)[铃]。或为地道，冲辋撞城。冲，撞车也。《诗》：临冲闲闲。许慎曰：(辋)[辋]，楼车也。辋，步耕切。

又曰：黄巾贼起，卢植征之，连战破贼，张角等走保广宗。植筑

围凿堑，造作云梯，垂当拔之。帝遣小黄门左丰诣军，观贼形势。或劝植以赂送丰，植不肯。丰还，言于帝曰："广宗贼易破耳，卢中郎固垒息军以缓天诛。"帝怒，遂槛车征植。

袁山松《后汉书》曰：朱儁击黄巾贼赵弘于南阳，斩之。贼复以韩忠为师。儁兵力少不能急攻，乃先起土山以临之。因伪修攻具，曜兵于西南。儁身自披甲，将精卒，乘其东北，遂得入城，忠乞降。

《东观汉记》曰：初，王莽之遣王寻、王邑也，欲盛威武以震山东。甲卫、冲辎、干戈、旌旗，战攻之具甚盛。后寻、邑环昆阳城作营，围之数重，云车十余丈瞰城中。或为地突，或冲车撞城，积弩射城中，矢如雨下，城中负户而汲。

又曰：伯升作攻城斗车。上曰："兵法但有所图画者，不可用。"伯升遂作。后有司马犯军令当斩，坐斗车上。

又曰：隗嚣破后，有五溪六种寇侵，见便钞掠，退阻营堑。来歙乃大治攻具，冲车度堑，遂与五溪战，大破之。

又曰：吴汉常独厉吏士，治兵事。上时令人视吴公何（谓）[为]，还言方修攻具。上曰："吴公隐若一敌国矣。"

《魏志》曰：太祖战不利，复壁。袁绍为高橹，起土山，射营中。太祖乃为发石车，击绍楼皆破。绍为地道欲袭太祖营，太祖辄于内为长堑以拒之。

鱼豢《魏略》曰：郝昭字伯道，守陈仓城，为诸葛亮所围，起云梯冲车以临城。昭以火箭逆射其云梯，梯上之人皆烧死。

又曰：衡山王赐谋反，使枚赫、陈喜作辎车。

又曰：胶东康王寄作楼车战具以备淮南事。及汉治淮南事，连寄，寄发病死。

韦昭《吴书》曰：督将张异攻麻屯，败。使将王吉作临车、云梯，克日攻拔之。

又曰：魏遣曹真、夏尚等到江陵连屯围城，攻击甚急。真等起土山、凿地突、楼橹临城。征北将军朱然在城中晏然无恐，随形势

立备，巧不得施。

张勃《吴录》曰：黄武二年，曹休令臧霸以轻船敢死万人袭攻徐陵，烧攻城车，杀略数千人。

王隐《晋书》曰：宣帝讨公孙渊至襄平，遂围之。起土山地道，修橹钩橦，发石雨下，昼夜攻之，斩传其首。

又曰：诸葛诞反，淮南孟康王墓曰："宜作土山，敛诸侯材板簿橹，以为攻具。"

又曰：段匹磾所立代郡太守辟闾嵩，与刘琨雁门太守王处后军谋杀磾奉琨，密作攻具，欲夜袭磾。磾儿强取处女为妾，遂以攻具告磾。磾遂斩王处、辟闾嵩及其徒党。

王韶之《晋纪》曰：宋王围慕容超。张缨巧思绝人，使人为攻具，城上火石弓矢无所用之。超党震慑，城内知亡矣。

《晋起居注》曰：徐道覆蚁聚坚城，因山固守，令董率诸军围堑，四合高(撞)[橦]云梯，三方并攻，即日登城斩徐道覆以衅钲鼓。

萧方等《三十国春秋》曰：吴王皓闻师之将兴也，乃使刘恪守牛渚，使张悌造攻车于戏场。

又曰：刘裕攻南燕，得燕人张纲治攻具。既成，设飞桥悬梯，被以牛皮，火石不能害，攻城之士得肆力焉。

和苑《汉赵记》曰：麟嘉三年，太子粲讨赵同、郭默于洛阳。默使耿稚等夜北渡河袭太子营，飞梯腾栅而入，太子勒兵于东北，穿栅而出。

又曰：光初二年，石勒召幽冀之众十余万人，造攻车飞梯攻平阳小城。今上遣骑万五千曳柴扬尘噎于山谷，寻汾州向平阳内外击之，勒师溃。

高闾《燕志》曰：光始五年春，慕容熙与苻后征高丽，至辽东，为冲车驰道以攻之。

崔鸿《前凉录》曰：麻秋晋攻抱罕，围堑数重，云梯抛车，地突百道皆通。于内亦起云梯抛车，穿地以应之。秋众伤数万。

崔鸿《后凉录》曰：将军窦苟从吕光攻龟兹，每登云梯、入地道，坠落，苏而复上。

车频《秦书》曰：苟长围襄阳，作飞云车攻城，克之。

沈约《宋书》曰：竟陵王诞据广陵反，世祖使庆之塞堑造道，立行楼土山并诸攻具。时夏雨不得攻城，上使御史中丞庾徽之奏庆[之]官以激之。自四月至于七月，乃屠城斩诞。

又曰：元嘉二十七年，虏主佛狸遂攻围悬瓠，行汝南郡事，广陵陈宪婴城自守。虏多作高楼，施弩以射城内，飞矢雨下，城中负户以汲。又毁佛图取金像以为大钩，施之冲车端，以牵楼作蛤蟆车以填堑。宪督厉将士固女墙而战，贼死者尸与城等。

又曰：伪燕主慕容超尚书郎张纲乞师于姚兴，自长安返，太山守申宣执送之。纲有巧思，先是帝修攻具，城上人曰："汝不得张纲，何能为也。"及至，升诸楼车以示之，故城内莫不失色。超既求救不获，纲反见虏，乃求称藩，割大峴为界，献马千匹。不听。

又曰：十月，张纲修攻具成，设飞楼悬梯木(慢)[幔]板屋，冠以皮，弓矢无所用之。刘毅遣上党太守赵恢以千余人来援，帝夜潜遣军会之。明旦，恢众五千，方道而进。每晋使将到，辄复如之。六年二月丁亥，屠广固。

孙严《宋书》曰：柳元景等北讨诸军攻具进兵城下，伪弘农太守李初古拔婴城自固。诸军鼓噪陵城，冲车四临，数道俱攻，先登生擒李初古拔。

沈休文《宋书》曰：晋安王子勋反，以殷琰督豫州刺史。大宋遣辅国将军刘勔用草茅包土掷以塞堑，城内以火箭射之，草未及燃，后土续至，堑便欲满。队主赵法进计：以铁珠子灌之，珠子流滑，悉缘隙得入草，于是火然。勔乃作大蛤蟆车载(上)[土]，牛皮蒙之，三百人推以塞堑。琰户曹参军虞挹之造抛车，击之以石，车悉破坏。

宋《起居注》曰：刘道符露板曰："七月二十日部率众车虎士攻

城，钩车至城东南楼下。逆贼程天祚等道穷数迫，仍乞降附。”

《齐书》曰：殷琰反，帝遣辅国将军刘勔西讨之。筑长围、创攻道于东南角，并作大蛤蟆车载土，牛皮蒙之，百人推以塞堑。琰乃始降。

《三国典略》曰：侯景作尖项木驴攻城，石不能破也。羊侃作雉尾(矩)[炬]，灌以膏(腊)[蜡]，取掷焚之，乃退。

《梁书》曰：侯景作曲顶木驴攻城，矢石所不能制。羊侃作短尾炬施铁镞以油灌之，掷驴上焚之，俄尽。贼又东西起二土山以临城，城中震骇。侃命为地道潜引其土，山不能立。又作登城楼高十余丈，欲临射城中。侃曰：“车高堑虚，彼来必倒，可卧而观之。”及车动果倒，众皆服焉。贼既频攻不捷，乃筑长围。朱异、张绾议出击之，帝以问侃。侃曰：“不可，贼多日攻城既不能下，故立长围欲引城中降者耳。今击之，出人若少不足当贼，若多则一旦失利，门隘桥小必大致挫衄。”不从，遂使千余人出战，未及交锋，望风退走，果以争桥赴水，死者太半矣。

《隋书》曰：辽东之役，何稠摄右屯冲将军，领御营弩手三万人。时工部尚书宇文恺造辽水桥不成，师未得济。右屯冲大将军麦铁杖因而遇害。帝遣稠造桥，二日而就。初，稠制行殿及六合城，至是，帝于辽左与贼相对，夜中施之，其城周回八里，城及女垣各高十仞，上布甲士，立仗建旗，四隅置阙，面别一观，观下三门，迟明而毕。高丽望见，谓若神功。是岁加金紫光禄大夫。

《唐书》曰：姜確为交何道行军副总管，率众数千先大军出伊吾，趣柳城谷，依山采木，造攻城器械。其地有班超纪功碑，確磨去其文，刊颂国功而去。

《陶公故事》曰：臣侃言：“郭默狂狡，肆行凶虐，负阻城险，用稽天诛。臣土山陵其城，楼橹攻具备设。”

《宋先朝故事》曰：慕容超大将垣遵逾城归顺，高祖使遵等治攻城橦车，筑长围高三丈，外三重堑。

周迁《舆服杂事》曰：辒辐，今之橦车也。其下四轮，从中权之，至敌城下。

又曰：汉世祖造大战车，驾数牛，上设楼橹，置疆塞之外以拒匈奴。

郦善长《水经注》曰：交州刺史檀和之，军次区粟，进逼城。飞梯云桥，悬楼登垒，钲鼓大作，风烈火飏，城摧众陷，斩区(粟)[粟]王范扶龙首。十五已上，坑截无赦。

太公《六韬》曰：凡三军有大器攻[城]围邑，有(辒揖)[辒辐]临冲，城中则有云梯飞楼。

又曰：凡三军行师领众，旦则有云梯远望，夜则有云火万炬。

又曰：武王寝疾十日，太公负王，乃驾骐骥之车，周旦为御，至于孟津。大黄参连弩，大才扶胥车，并战具也。飞凫赤茎白羽，以铁为首。雷影，青茎赤羽，以铜为首，副也。昼则为光，夜则为星。方头铁鎚重八斤，亦军备也。大柯斧，重八斤，一名铁钺，军备也。行马广二丈，二十具。渡沟，飞桥广五尺，转关鹿卢八具。天舡，一名天潢，以济丈水也。鹰爪方凶铁把，柄长七尺。天阵日月斗柄杓，[此为]左一右一仰背天阵。地阵丘陵水泉，有左右前后之利。人阵，车马文武。积楹临冲，攻城国邑。云梯飞楼，视城中也。武冲大橹，三军所须。云火万炬，以防火也。吹鸣镝。威振万里也。

《太公金匮》曰：武王问太公："今民吏未安，贤者未定，何以安之？"太公曰："不须兵器，可以守国，耒耜是其弓弩，锄(杷)[耙]是其矛戟，箜笠是其兜鍪，锁斧是其攻具。"

《太公覆车拭法》曰：诸出军行将屯营置陈，必法天之圆，法北辰为上将，角为冲车，訾为铁钺。敌当冲车者，败；当铁钺者，乱。

又曰：诸出军行将屯守攻陈，设坛祠祷，戎器皿，涂金鼓，神攻具，必以斗加四季时令。朱雀所居神，与今日日上神王相而克。

《庄子》曰：梁丽可冲城，不可以窒穴，言殊器也。

《墨子》曰：备冲法：绞善麻长八丈，内有大树则击之，用斧长六尺，令有力者斩之。

又曰：墨子自齐至郢见楚王。楚王曰："公输般为我云梯取宋矣。"墨子乃见公输般，解带为城，以襟为械。公输九设攻城之具机变，墨子九拒之。械尽，墨子御有余。公输屈曰："吾知拒子矣。"墨子曰："子不过欲杀臣。臣之弟子禽滑釐三百人已持臣守御之器，在宋城上而待楚矣。"

又曰：禽子问："云梯既施，为之奈何？"墨子曰："云梯者，重器也。矢石沙炭以雨之，薪火汤水以济之，如此则云梯之功败。"《尸子》又载：般为蒙天之阶，阶成，将以攻宋。墨子请献十金。般曰：吾义固不杀人。墨子再拜。

傅子序马钧曰：钧石车敌人，于树边悬湿牛皮，中之，则堕石不能连(属)[续]，而欲作一轮悬大石数十，以机鼓轮为常。则悬石飞击敌城，使首尾电至。尝试以车轮悬瓠数十，飞之数百步矣。

曹植《(征东)[东征]赋》曰：循[戈]橹于清流[兮]，汜云梯而容与。禽元帅于中舟[兮]，振灵威于东野。

陈琳《武军赋》序曰：回天军于易水之阳，以讨瓒焉。鸿沟参周，鹿菰十里，荐之以棘，乃建修楯于青冥。窦深隧，下三泉，飞梯云冲神钧之具，不在吴孙之篇、《三略》《六韬》之术者凡数十事，秘莫得闻也。乃作《武军赋》曰："钧车辁辐九牛转，牵雷响激，折橹倒垣。其攻也，则飞梯行临，云阁虚构，上通紫霓，下过三垆。"

繁钦为史叔良作《移零陵檄》曰：金鼓震天，丹旗曜野，巨堙既设。

袁宏《祖逖碑》曰：逖为豫州刺史。甍时，君柩未旋，群寇围城。冲橹既附，城将降矣。勇士五百，抚戈同泣："非祖侯之为，吾谁为死？"并力齐赴，卷甲宵起，遂陷坚阵，负(才)[戈]而反。

太平御览卷第三百三十七

兵部六十八

攻具下　旌　鹿角　狼枪　戈

攻具下

《通典·卫公兵法·攻城战具篇》曰：作四轮车，上以绳为脊，生牛皮蒙之，下可藏十人，填隍推土回切。之，直抵城下，可以攻掘，金火木石所不能败。谓之辒辒车。凡力有余者，攻，先绝诸国之交，使无外救。粮多而人少，攻而勿围；粮少而人多，围而勿攻。

又曰：以大木为床，下置六轮，上立双牙，牙有检，梯节长丈二尺；有四桄，音光。桄相去三尺，势微曲，递互相检，飞于云间，以窥城中。有上城梯，首冠双辘轳，枕城而上。谓之飞云梯。

又曰：大木为床，下安四独轮。床上建双睥，间横括。中立独竿，首如桔槔状。其竿高下、长短、大小以城为准。竿首以窠盛石，大小多少随力所制。人挽其端投之。其[车]推转，逐便而用之。亦可埋脚著地而用。其旋风四脚，亦随事而用之。谓之抛车。

又曰：作转轴车，车上定十二石弩，以铁钩绳连转，车行轴转，引弩持满弦。挂牙上弩为七衢，中衢大箭一，镞刃长七寸，广五寸，箭竿长三尺，围五寸，以铁鍱音业。为羽。左右各三箭，次小于中箭。其牙一发，诸箭齐起，及七百步。所中城垒，无不摧陨，楼橹亦颠坠。谓之车弩。

又曰：以木为脊，长一丈，径一尺五寸，下安六脚，下阔而上尖，高七尺。内可容六人，以湿牛皮蒙之，人蔽其下。舁直抵城下，木石铁火所不能败。用攻其城，谓之尖头木驴。

又曰：于城外起土为山，乘城而上，古谓之土山，今之垒道。用

生牛皮作小屋，并四面蒙之，屋中置运土人，以防攻击者。土山，则孙子所谓拒闉。凿地为道，行于城下，用攻其城。往往建柱，积薪于柱间而烧之，柱折城摧，谓之地道。

又曰：以八轮车，上树高竿，竿上安辘轳，以绳挽板屋，上竿首，以窥城中。板屋方四尺，高五尺，有十二孔，四面列布。车可进退，圍城而行，于营中远视。亦谓之巢车。如鸟之巢，即今之版屋也。以版为幔，立桔槔于四轮车上，悬幔逼城堞间，使矫捷者《太白阴经》曰：使趋卒蔽之。蚁附而上，矢石所不能及，谓之木幔。

又《守城篇》曰：禽滑厘问墨翟守城之具，墨翟答以五六十事，皆烦冗不便于用。其后韦孝宽守晋州、羊侃守台城，皆约封胡子技巧之术，法古不妙，非合今之用也。今述所便于事者，如后渭浚湟、深也。增城修堞。悬门。悬板为重门也。

又曰：突门：于城中对敌营，自凿城内为暗门，多少临事，令五六寸勿穿。或于中夜，或于敌初来，营列未定，精骑从突门跃出，击其无备，袭其不意。

又曰：涂扇。以泥涂城门扇，厚可三寸，备火。

又曰：凿门，为敌所逼门，先自凿门扇为数十孔，出强弩射之，长矛刺之，则敌不得近门。

又曰：涂栈：以泥涂门上木栈，厚可五寸，备火。

又曰：转关桥：一梁为桥，梁端着横括，去其检，桥转，人马不得渡，皆倾水中。秦用此桥而杀燕丹。

又曰：积石。备抛石，大小随事。

又曰：楼橹却敌，上建候楼，以板为之，跳出为橹，笮篙战隔，于女墙上跳出椽，去墙三尺，内着横括，椽端安辖，以荆柳编为之，长一丈，阔五尺，悬椽端，用遮矢石。

又曰：布幔：以复布为幔，以弱竿悬挂于女墙外，去墙外七八尺，以折抛石之势，矢石不复及墙。

又曰：木弩：以黄连桑柘为弩，弓长一丈二尺，径七寸，两弭二

寸，以绞车张之。大矢一发，声如雷吼，败队之卒。

又曰：燕尾炬：缚苇草为炬，尾分为两歧，如燕尾状，以油蜡灌之，加火，从城坠下，便骑木驴而烧之。

又曰：松明：以木明烧之，夜以铁锁缒下，巡城，照敌人乘城而上。

又曰：油脂烛炬：燃灯秉烛于城中四衢、要路、门户，晨夜不得绝明，用备非常。

又曰：行炉：融铁汁炉，舁行于城上，以洒敌人。

又曰：游火：以铁筐盛火，加脂蜡铁锁悬缒下，烧穴中孔城人。

又曰：灰剫、糠粃：因风于城上掷之，以眯敌人目，因以铁汁洒之。

又曰：连棒：如打禾连枷状，用打女墙外上城敌人。

又曰：投竿：如枪，刃为两歧，用叉飞梯及人。

又曰：钩竿：如枪，刃两旁有曲刃，可以钩(塔)[搭]。

又曰：油囊，盛水，于城上。掷安火车中，囊败火盛。

又曰：天井，敌攻城为地道来，乃自于城道上直下穿井以邀之，积薪安井中，以火薰之，敌人自焦灼。

又曰：地听：于城内八方穿(凿)井，各二丈，令头覆戴新瓮于井中坐听，则城外百步之内有孔城地道者，井声闻瓮中而辨知方所近远矣。

又曰：铁夹杖：状如铁蒺藜，要路、水中置之，以刺人马。

又曰：陷马坑：坑长五尺，阔一尺，深三尺，坑中埋鹿角枪、竹签。其坑十字相交，状如钩锁，以覆刍草苇木，加之土种草实，令生苗蒙覆其上，军城、营垒、要路皆设之。《卫公兵法》曰：坑如亚字相连，以草及细尘覆其上。

又曰：拒马枪：以木径一尺，长短随事，十字凿孔，从横安枪，一作检。长一丈，锐其端，可以塞城门要路巷，人马不得奔驰。

又曰：木栅：为敌所逼，不及筑城垒，或因山河险势，多石少土，

不(住)[任]版堞,乃建立木栅,方圆高下随事。深埋木根,重复弥缝,其阙内重加短木为阁道,柱外重长出四尺为女墙,皆泥涂之。内七尺又立阁道,内柱上布板木为栈,立栏杆行于栅上。悬门、壅墙、壕堑、拒马防守,一如城垒法。

《太白阴经》曰:蜀镂,铁堑鏨。蜀镂,短柄镂也。铁鏨,凿井、鏨城也。

旅

许慎《说文》曰:旅,建大木,置石其上,发为机以拒敌也。从方,会声。一云:从衣,会声。

《左传》曰:周桓王伐郑,郑为三拒,命二拒曰旅,动而鼓。杜预注曰:旅,旗也。执以为号令。

《魏武本纪》曰:上与袁绍军于官渡,贼射于营中,行者皆被(田)[甲],众皆恐。上令传言旅动而鼓。《说文》曰:旅,发石机也。乃造发石车击绍橹,一日尽坏。绍众号之霹雳车。

沈怀文《宋侍中赵伦之碑》曰:君戮力以致诚,吐规以会机,一鼓则寇骑云彻,旅动则敌车雾消。

鹿角

袁晔《汉献帝春秋》曰:扬州刺史刘馥上言:"荆州牧刘表与会稽太守孙权谋袭京城。"遂堑许,作鹿角砦。

王沈《魏书》曰:李通拜汝南太守,刘备与周瑜围曹仁于江陵,与诸将击之。通亲下马入围拔鹿角,勇冠诸将军。

鱼豢《魏略》曰:夏侯霸,字仲权,为偏将军。大和中,在长安及子午之役,霸占为前锋。蜀人望知其是霸也,指下兵攻之,霸手战鹿角间,赖救然后解。

《魏志》曰:徐晃讨关羽于樊,羽自将步骑五千出战。晃击之,退走,遂追与俱入围破之,或自投沔水死。魏太祖令曰:"贼为堑鹿

角十里，将军致战全胜，遂陷贼围，将军之功逾孙武、穰苴。”

虞溥《江表传》曰：曹公出濡须，甘宁拔曹公鹿角，逾垒入，斩数十人。

王隐《晋书》曰：马隆为武威太守。之郡，作八阵图。地广则鹿角车营，进攻则木屋抱轮。并战并前，虏弗能逼。

干宝《晋纪》曰：曹爽留车驾宿伊水南，伐木为鹿角，发屯田兵数千人以为卫。

习凿齿《汉晋阳秋》曰：曹芳谒曹叡墓于大石山，曹爽兄弟皆从。于是，司马懿闭四城，遂与太尉蒋济俱屯洛水南浮桥。奏罢，爽兄弟不知所为，芳还宿伊水南，发屯田数千人，树鹿角为营。

《晋惠帝起居注》曰：王浚乘胜追石超军于斥丘，超持重不与战，以鹿角为营。一云以鹿角步安立营。

《晋起居注》曰：义熙六年，筑垒起城于祖浦石头城，施鹿角以御卢循。

司马彪《战略》曰：辽东太守公孙渊反，明帝召太尉司马公计之。军到襄平，公围之北面，东面有围不合，连车置水中，积石镇其上，以鹿角塞之。

《魏武帝表》曰：臣前遣讨河内，获嘉诸屯，获生口，辞云：“河内有一神人宋金生，令诸屯皆云鹿角不须守，吾使狗为汝守。不从其言者，即夜闻有军兵声，明日视屯下，但见虎迹。”臣辄部武猛都尉吕纳，将兵掩捉得生口，辄行军法。

诸葛亮《教》曰：前到武都一日，鹿角坏刀斧千余枚，赖贼已走。若未走，无所复用。

晋宣帝《教》曰：今日当将作四千人，东为三军作营垒垒，又当将斧三百枚，破树木作鹿角，塞诸邮漏处。

诸葛亮《军令》曰：敌以来进持鹿角，兵悉却在连冲后。敌已附鹿角里，兵但得进踞，以矛戟刺之，不得起住，起住妨弩。

《魏武军策令》曰：夏侯渊今月贼烧(都)[却]鹿角。鹿角去本

营十五里，渊将四百兵行鹿角，因使士(捕)[补]之。贼山上望见，从谷中卒出，渊使兵与斗，贼遂绕出其后，兵退而渊未至，甚可伤。渊本非能用兵也，军中呼为"白地将军"，为督帅尚不当亲战，况补鹿角乎！

王旷与扬州论讨孙敏计曰：贼今下屯固横江。

又云：复据乌江，皆堑垒，彭排鹿角，步安严峻以袭历阳诸军。

辛昞洛戍时与桓郎笺曰："桓振武(今)[令]下官将千二百人掩袭营，值天洪雨，器仗沾湿，堑广深丈余，鹿角五重，楼橹严设。自四更三唱攻，逼至小食时，不克。"

筻 枪

张揖《广雅》曰：筻，谓之筻枪。筻，音孤。

服虔《通俗文》曰：剡苇伤盗谓之枪。何承天纂文曰："筻，音就。筻枪也。"

谢灵运《自理表》曰：星言奔驰，归骨陛下。及经山阴，方卫彰赫，彭排马枪，断截衢巷。

《宋起居注》曰：泰始二年，有司奏贼帅刘胡等从南城兰道领马步万余人，树排枪陌山，从东五道直来攻营。

杜预《奏秦州军事》曰：臣尝闻边人说虏专以骑为寇，穿堑不如作马埳。马埳法，坑方三尺，错平穿之，虏骑非下马平治，则终不得入。又其外蹊要路，亦可随作坞，施枪著埳中讫，薄覆其上。如此则虏当筑地而行，不敢辄往来也。

蔡谟《与何骠骑书》曰：公失橹上人，吾亦具之矣。在深草中立橹，无故以橹自标，令贼见之而自不得见贼，贼不病痴，何故不来取耶？今令数百步内皆露见，布竹筻如猬毛，贼不能飞，何得卒至邪？

弋

张揖《埤苍》曰：拱，大弋也。

许慎《说文》曰：檄，弋也，廉，弋也。

太公《六韬》曰：委环铁弋长三丈千三百。

《左传》曰：齐人战获臧坚。[齐侯]使宿沙卫唁之，曰："无死。"坚曰："使刑臣礼于士。"以弋抉其伤而死。

司马彪《战略》曰：辽东太守公孙渊反，太尉司马公讨之。军至襄平，去城百步，穿重堑，坚连栅，安诸营，立楼橹，其近水沙地不得作围堑，而车轮以大弋掾穿[其]中，又坚轮障其前。

韦昭《吴书》曰：贺齐讨贼陈仆于林历山，山四面壁立不可攻。齐乃阴作铁弋，于贼不备处以弋拓山为道，夜潜上破贼。

太平御览卷第三百三十八

兵部六十九

角　金鼓　鞞　鞀　铙　铃　铎　刁斗　柝

角

徐广《车服仪制》曰：角，前世书记所不载。或云本出羌胡，吹以惊中国之马，或云本出吴越。

《晋书·安帝记》曰：桓玄制龙头角。或曰所谓亢龙角者也。

《晋中兴书》曰：大司马桓温屯中堂，夜吹警角。御史中丞司马恬奏劾大不敬，请治罪。明日，温见奏事，叹曰："此儿乃敢弹我，真可畏也。"

又庾翼《与燕王书》曰：今致画长鸣角一，双幡聃副。聃音饵。

《宋书》曰：张兴世父仲子，由兴世致位给事中，兴世欲将往襄阳，(受)[爱恋]乡里不肯去。尝谓兴世曰："我虽田舍老公，乐闻鼓角，汝可送一部，行田时(欲)吹之。"兴世素恭谨畏法，譬之曰："此是(天)[太]子鼓角，非田舍公所吹。"

《三国典略》曰：初，魏世山崩，得三石角藏于武库。至是齐主入库，赐从臣兵器，持此角赐平秦王归彦曰："尔事常山，不得反，事长广得反，反时将此角吓汉也。"

史苓《武昌记》曰：武昌有龙山，欲阴雨，上有声如吹角。

《辛氏三秦记》曰：河西有沙角山，山头颓沙则鼓角鸣。

《异苑》曰：晋孝武太元末，帝每闻手巾箱中有鼓吹鞞角(响)[声]。于是，请僧斋会。夜见一臂长三丈许，手长数尺，来摹经案。帝是岁崩，天下大乱。

《幽明录》曰：晋司空郗方回葬妇于离山，使会稽郡吏史泽治

墓，多平夷古坟。后坏一冢，构制甚伟，器物殊盛。冢发闻鼓角声，角声自是多如此。

陶侃表云：奉献金口角。

《石勒别传》曰：石勒永康中流宕山东，寄旅平原师劝家庸耕，耳恒闻鼓角鞞铎之音，勒私异之。

《世说》曰：乐令有数客，阔不复来。乐问所以。答曰："前在坐蒙赐酒，方欲饮，见杯中有蛇，意甚恶之，既饮而疾。"于时河南厅事上壁有角，角边漆画作蛇，乐而疑是角影入杯中。复令置杯酒于前处，谓曰："君更看酒中复有所见不？"答曰："所见如初。"乐乃告其所以，客豁然意解，沉疴顿消。又一本云角弓。

《语林》曰：陆士衡为河北督，已被间构，内怀忧懑。闻众军惊角鼓吹，谓其司马孙极曰："我今闻此不如华亭鹤鸣。"

谷俭《角赋》曰：夫角以类推之，盖黄帝会群臣于太山，作清角之音，似两凤之双鸣，若二龙之齐吟，如丹蛇之翘首，似雄蛇之带天。

《卫公兵法》曰：夫军城及野营行军在外，日出日没时，挝鼓一千搥：三百三十三（推）[椎]为[一]通。鼓音止，角音动，吹十二声为一叠；角音止，鼓音动。如此三角三鼓，而昏明毕。

又曰：诸大将置鼓四十面，子总管给鼓十面，营别给鼓一面，行即负随纛下，拟昼夜及在道有警，急击之传响。令诸军严警，兼用防备贼侵逼。如军行引之时，先军卒逢贼寇，先军即急击鼓救。中腰逢贼，即须击鼓，前军闻声便往后；[后]军闻声，须急向前赴救。后头逢贼即击鼓，前头中腰闻声，即须住，并量抽兵相救。如发引稍长，鼓声不彻，中腰支料更须置鼓传响，使前后得闻。其诸营自须著鼓一面，用防夜中；有贼犯营即急击，令诸军有警备。

又曰：诸行军立营数则万计，或逢泥溺，或阻山河，同听角声，俱共齐发。路狭难进，徒饿马驴，应发营。第一角声绝，右虞候捉马驴；第二角声绝，即被驾，右一军捉马驴；第三角声绝，右虞候即

发引，右一军被驾，右二军捉马驴；第四角声绝，右一军即发引，右二军被驾。以后诸军，每听角声，装束被驾准此。每营各出一战队，令取虞候进止，防有贼至，便用腾击。后如其路更细小，即须更有角声，仍令虞候及[当]营官人虞候子排比催督急过，不得停拥。过讫，以后军准前排比催迫急过。

金 鼓

《释名》曰：校，号也。将帅号令之所在也。节为号令、赏罚之节也。铎，度也。号令之限度也。金鼓，金，禁也，为进退之禁也。

《诗》曰：方叔率止，钲人伐鼓，陈师鞠旅。

又曰：显允方叔，伐鼓渊渊，振旅闐闐。

又曰：击鼓其镗，踊跃用兵。

《周礼》曰：鼓人掌教六鼓：以雷鼓鼓神祀，雷鼓，八面鼓也。以灵鼓鼓社祭，灵鼓，六面鼓也。社祭，祭地祇也。以路鼓鼓鬼享，路鼓，四面鼓也。享宗庙也。以贲鼓鼓军事，大鼓谓之贲鼓，长八尺。以鼛鼓鼓(军)[役]事，鼛，大鼓也。长丈二尺也。以晋鼓鼓金奏。晋鼓，长六尺六寸。调乐正击编钟也。

《左传》曰：凡师有钟鼓曰伐，无曰侵。

又曰：吴子使其弟蹶由犒师，犒，劳也。楚人执之，将以衅鼓。王使问曰："汝卜来吉乎？"对曰："吉。寡君闻君将治于敝邑，卜之以守龟，曰余亟使人犒师，请行以观，王怒之疾，徐而为之备，尚克知之。龟兆告吉，曰'克可知也'。君若欢好逆使臣，兹敝邑休怠而忘，其死亡无日矣。今君奋焉震电，凭怒虐执使臣，将以衅鼓，则吴知所备矣。"乃释之。

又曰：密须之鼓与其大辂，文王所以大蒐也。

又曰：简子曰："吴伏弢欧血，鼓音不衰，今日我上也。功为上也。

又曰：吴伐齐，将战，公孙夏命其徒歌虞殡，陈子行命其徒具含玉。陈书曰："此行也，吾闻鼓而已，不闻金矣。"鼓以进军，金以退军。不闻金，言将死以也。

《国语》曰：越甲至齐，雍门子狄请死之。齐王曰："鼓铎之声未闻，矢石未交，长兵未接，子何务死焉？"

《后汉书》曰：光武徇河内，韩歆议欲城守，岑彭止不听。既而光武至怀，歆迫急迎降，光武知其谋，大怒，收歆置鼓下，将斩之。中将军最尊，自执旗鼓。若置营，则立旗以为军门，并设鼓。戮人必于其下。召见彭，彭因进说，俱获免。

《东观汉记》曰：段颎起于徒中，为并州刺史，有功征还京师。颎乘轻车，介士鼓吹，曲盖朱旗，骑马殷天蔽日，铮铎金鼓，雷振动地，连骑继迹，弥数十里。

《齐地记》曰：城东有上祠山，上有石鼓。旧说云："将有寇难则鼓自鸣，所以豫警备也。"

《吴兴记》曰：长城县有夏架山，石鼓盘石为足。长老云："鸣声如金鼓，鸣则三吴有兵。"

《东方朔傳》曰：朔初上书曰："臣朔少失父母，长养兄嫂。年十三而学，三冬文史足用；十五学击剑；十六学诗书，诵二十二万言；十九学孙吴兵法战阵之事、钲鼓之教。"

《周髀》曰：十人之长执铜，百人之师执铎，千人之师执鼙，万人之将执大鼓。

《吴氏春秋》曰：金鼓所以一耳也，法令所以一心也。

又曰：周宅酆鄗近戎人，与诸侯约为高堡，置鼓其上，远近相闻，戎寇至传鼓相告，诸侯之兵皆至救天子，褒姒大悦，笑之。王欲褒姒之笑也，因数击鼓，诸侯兵数至而无寇。后戎寇真至，幽王击鼓，诸侯兵不至，幽王之身乃死骊山之下，为天下笑。

韩侯曰：吴使沮卫献虫蠹于荆师，荆师将杀之以衅鼓。卫曰："死者无知，则衅无益；若有知，战之时臣使鼓不鸣。"因不杀之。

孙子曰：是故军政曰："言不相闻，故为鼓铎；视不相见，故为旌旗。"故夜战多钟鼓，昼战多旌旗。夫金鼓旌旗所以一人之耳目也。人既专一则勇者不得独进，怯者不得独退，此用众之法也。

《抱朴子》曰：军始发，大风甚，雨起于后，旌旗前指，金鼓清鸣，大胜。

《黄帝出军决》曰：牙旗者，将军之精；金鼓者，将军之气，一军之形候也。

《唐子》曰：将勿离鼓旗。鼓旗，将之耳目也。

徐干《齐都赋》曰：王乃垂华玉之路，驾玄驳之骏。翠幄浮游，金光皓旰；公旦切。戎车云布，武骑星散；钲鼓雷动，旌旗虹乱。

陆云《南征赋》曰：戎士肃而启行，三军分而杂沓。长角哀吟以命旅，金鼓訇隐而砰磕。

孙惠《祭金鼓文》曰：赫矣皇威，用伐不庭。金鼓麾旗，以昭其声。

鞞

《释名》曰：鞞，裨也，裨助鼓节也。鞞，补弥(功)[切]。

《吕氏春秋》曰：倕作鞞鼓。

郑缉之《东阳记》曰：晋隆安中，孙恩遣偏师谢咸攻东阳。东阳岑山下民闻岭上有鼓鞞声，若数万人。咸破溃，而山上鼓鞞亦绝。

鞉

《鬻子》曰：禹之治天下也，悬五声以听之，曰："语寡人以狱讼者挥鞉。"音挑。

《吕氏春秋》曰：倕作鞉。

又曰：武王有诫慎之鞉。欲诫者，捶鞉鼓。

铙

《说文》曰：铙，小钲也。铙，女交切。

《周礼》曰：六鼓四金，以金錞和鼓，以金镯节鼓，以金铎通鼓。镯，音濁，钲也。军行鸣之，以为鼓节。

铃

《说文》曰：铃，丁也。从金，令声。

《左传》曰：扬鑾和铃，昭其声也。

《魏志》曰：安平太守宅老，铃下作怪为鸟鹊斗。盖公府阁有绳铃以传呼，铃下有吏者也。

《风俗通》曰：铃柄施悬鱼，鱼者，欲君臣沉静如鱼之入水，不可复得闻见耳。

《集异记》曰：广陵士甲市得一宅，但闻中有摇铃声，夜辄止。后遂见其真形，乃是其故人，问曰："何以常摇铃？"答曰："我典使君药物，故夜持时耳。"问曰："昼日何以不持时？"曰："白日是死道之夜。"因别而去。

铎

《三礼图》曰：铎，今之铃，其铸铜为之。木舌为木铎，金舌为金铎也。

《说文》曰：铎，大铃也。

《释文》曰：铎，度也。号令之限度也。

王隐《晋书》曰：荀勖逢赵郡商贾于路，悬铎于牛，识其声焉，及后为乐。勖曰："赵之牛铎则善谐矣。"于是，下郡悉送，果有谐者。世伏其才明。

《晋书·载记》曰：石勒少时，尝耕，每闻鞞铎之音，归以告其母。母曰："作劳耳鸣，非不祥也。"

《鬻子》曰：禹之治天下也，以五声听铭于簨簴，曰："教寡人以事者振铎。"

《文子》曰：老子云："鸣铎以声自毁，膏烛以明自消。

刁斗

《纂文》曰：刁斗，持时铃也。

《汉书》曰：李广行师，不击刁斗以自卫。孟康曰：以铜为铛器，受一斗，昼炊饮食，夜击持行夜。铭曰：刁斗在荥阳军。（谯）[铫]音谯，形如铛。铛，火玄切，即铫也。音俗呼铜铫。二音桃。

《汉名臣奏》曰：汉兴以来，深存古义，宫殿省闼至五六重，周卫刁斗。

柝

《说文》曰：檬，行夜所击木也。

《易·系辞》曰：重门击柝，以待暴客，盖取诸豫。

《周礼》曰：野卢氏宾客宿息则聚柝。

《汉书旧仪》曰：中宫卫宫城门击刁斗，传五夜，衡卫士周庐击木柝。

张衡《东京赋》曰：故亟谷击柝于东西。柝，守夜所击木也。

太平御览卷第三百三十九

兵部七十

叙兵器　牙

叙兵器

《礼记》曰：冕弁兵革藏于私家，是谓胁君。

《周礼》曰：司兵掌五兵。五兵者：戈、殳、戟、矛、牟夷。

《左传》曰：孔文子将攻太叔，访于仲尼。仲尼曰："胡簋之事则尝闻之矣，兵甲之事未之学也。"

《春秋佐[助]期》曰：太尉主甲卒，神名辩会曰："库兵动，鼓自鸣，诸侯得众也。"

《汉书》曰：兵不锐利与空手同，甲不坚密与(袒裼)[袒裼]同，弩不及远与短兵同，射不能中与亡矢同，中不能入与亡镞同：此将不省兵之祸也。

又曰：韩延寿在东郡试骑士，治饰兵车，画龙虎，建幢棨，植羽葆鼓车。又取官铜候月蚀铸作刀剑，仿效尚方。萧望之以为僭上不道，弃市。

又曰：李陵至浚稽山，与单于相值。围陵，陵军居两山间，以车为营。陵引士营外为陈，前行持戟楯，后行持弓弩。

《东观汉记》曰：盆子降，铠甲兵弩积城西门，高与熊耳山等。

又曰：王莽之遣王寻、王邑也，欲盛威以振山东，甲冲辎，干戈旌旗甚盛。

又曰：邓遵永初中，迁度辽将军，讨击羌虏，斩首八百余级，得铠弩刀矛戟楯匕首二三千枚。

又曰：吴汉性忠厚，笃于事上，自初征伐常在左右。兵有不利，

军营不如意，汉常独绪激扬吏士。

《吴志》曰：贺齐性奢侈，尤好军事。兵甲器械极为精好，干橹戈矛葩爪文画，弓弩矢箭咸取上材。

王隐《晋书》曰：羊祜表伐吴曰："劲弩长弓不如中国，长矛盾戟不如中国，马骑凌厉又不如中国，吴惟便水战，一入其地则长江非复吴有。"

《晋起居注》曰：成帝咸和元年四月乙丑诏曰："作琅邪王大车斧六十枚，侍臣剑八枚，将军手戟四枚。"

《三国典略》曰：梁邵陵王纶笃好书史，妙工草隶。为丹阳尹。擅造甲仗，梁武知之，□纶并沉于江中。及后出征，器械并阙，乃独叹曰："吾昔聚仗，本备非常，朝廷见疑，逼使分散，今日讨逆，卒无所资。"

太公《六韬》曰：春以长矛在前，夏以大戟在前，秋以弓弩在前，冬以刀楯在前：此四时应天之法也。

太公《金匮》曰：武王曰："五帝之时，无守战之具，国存者何？"太公曰："守战之具皆在民间：耒耜者是其弓弩也，锄(爬)[耙]者是其矛戟也，簦笠者是其兜鍪也，镰斧者是其攻战之具也，鸡狗者是其钲鼓也。"

《古司马兵法》曰：兵不杂则不利，长兵以卫，短兵以守。太长则犯，太短则不及，太轻则锐，锐则易乱，太犯则不齐。兵长短相卫，太短太轻者，皆不如法也。犯者，触柱也，故不齐。不及者远于利也。锐者不固则破，故奔北扰乱也。

又曰：弓矢围，殳矛守，戈戟助。凡五兵，当长以卫短，短以救长，迭战则久，皆战则强。李氏曰：迭，更也，言更战更息，则可堪久。悉举军战，众多者强。

《军令》曰：始出营，竖矛戟，舒幡旗，鸣鼓角；行三里，辟矛戟，结幡旗，鸣鼓角；未至营三里，复竖矛戟，舒幡旗，鸣鼓角；至营复结幡旗，止鼓角。违令者髡。

《吕氏春秋》曰：古之至兵，士民未合而威已谕矣，敌已服矣，岂必用枹鼓干戈哉！

《淮南子》曰：兵革锜摩，锜，棋名也。金鼓铁钺，所以饰怒也。锜，布均切。

又曰：所谓兼国有地者，伏尸数十万，破车以千百数，伤弓弩矛戟矢石之创者，扶舆于路。故世至枕人头、食人肉、菹人(旰)[肝]、饮人血，甘之于猫蒙牛羊。猫牛肉，蒙豕肉。故自三代以后者，天下未尝得安其情性而乐习俗，保其修命而不夭于人虐也。所以然者何？诸侯力政，天下不合为一家也。

又曰：齐桓公将欲征伐，甲兵不足。令有重罪者出犀甲一戟，犀甲，取其坚也。戟，车戟也。长丈六尺。犀或作三，直出三甲也。有轻罪者赎以金分，轻小以金分，出金匮随罪轻重有分两也。说而不胜者出一束箭。不胜犹不直也。箭十二为束。百姓皆悦，乃矫箭为矢，矢，箭之竿好者也。铸金为刃，刃，五刃也，刀、剑、矛、戟、矢也。以伐不义而征无道，遂霸天下。

崔寔《政论》曰：兵器精利，有蔡太仆之弩，龙亭之剑，至今擅名天下。

陆机《要览》曰：东弓、南矛、西戟、北剑、中鼓，亦曰"四兵"。

《盐铁论》曰：强楚劲郑有犀兕之甲，堂谿之犍，内据金城，外任利兵，是以威行诸夏，强伏敌国。故孟贲畜臂，众人轻之；怯夫有备，其气自倍。以吴楚之士舞利剑、蹶强弩，以与狼虏骋于中原，一人当百，不足道也。

《邯郸五经析疑驳》曰：矢绝于弦，不可追止，戟执在手，制之在人。

《山海经》曰：天地东西二万八千里，南北二万六千里。出铜之山四百六十七，出铁之山三千六百九十。此天下所分壤树谷也，戈矛之所发也，刀镞之所起也。能者有余，拙者不足。

干宝《搜神记》曰：晋元康中，妇人以金银象角琫瑁为斧钺戈戟而戴之以当笄，盖妖之大者也。

樊文渊《七经义纲格论》曰：车上五兵：戈、殳、车戟、酋矛、牟夷。步卒五兵：戈、殳、车戟、酋矛、矢。

魏文《典论》曰：昔周有雍孤之戟，屈卢之矛，狐父之戈，上世名器。

又曰：《抱朴子》曰："剑戟不皆于缝，佳馔不可击断牛马。"

又曰：陈吴之徒奋剑而大呼，刘项之伦挥戈而飚骇。

又曰：或问辟五兵之道，抱朴子答曰："吴大皇帝曾从介先生受要道，云：但知北斗姓字及日月名字，便不畏白刃。大皇帝以试告左右数十人，常为先登陷阵，皆不伤也。郑君云："但诵五兵名亦验矣。刀名大房，虚星主之；矢名防徨，荧惑主之；弓名曲张，角星主之；弩名远望，张星主之；戟名大将，参星主之。临战时尝细祝之，或以五月五日作赤灵符着心前，或丙午日日中作燕军龙虎三囊符，岁易之。岁符岁易，月符月易，日符日易，或佩西毒兵信符，或佩南极铄金符，或取牡荆以作六阴神将符指敌人，或以月蚀时刻三岁蟾蜍候下之有八字者血，以书所将之刀剑，或交锋之际，乘魁履刚呼四方之长，亦有明效也。

魏文帝《校猎赋》曰：抗冲天之素旄兮，靡格择之修循。旃雄戟趫音皇。而跃厉兮，黄钺扈而扬鲜。

又曰：千乘乱扰，万骑奔走。经营原隰，腾越峻岨。彤弓斯彀，戈(铤)[铤]具举。

徐干《齐都赋》曰：矢流镝绂，胡卦切。张罗箧作合切。飞，(铤)[铤]抱雄戈。

缪袭《籍田赋》曰：灵旂蔚以煮霁兮，雄戟偈以嵯峨。弯枉矢于狼狐兮，建黄钺于匏瓜。

繁钦《征天山赋》曰：有汉丞相武平侯曹公杖节东征，观六军于三江，浮五湖以曜武。左骈雄戟，右攒干将。彤弧朱矰，舟羽绛房。望之如火，映夺朝阳。

应璩诗曰：放戈释甲胄，乘轩入紫微。从容待帷幄，光辅日月

晖。

崔骃《安丰侯诗》曰：被兜甲兮跨良马，择长戟兮弛强弩。弛，音翟。

曹植诗曰：皇考建世业，余从征四方。栉风而沐雨，万里蒙露霜。剑戟不离手，铠甲为衣裳。

魏文帝《董桃行》曰：晨背大河南辕，跋涉遐路漫漫。师徒百万哗喧，戈矛若林成山，旌旗拂日蔽天。

应璩书曰：左执屈卢之劲矛，右秉干将之雄戟。高冠拂云，长剑耿介，箫管振音，厥声载路。冯轼虎视，清风震叠，可谓堂堂乎难与并为仁也。

《太白阴经》曰：工欲善其事，必先利其器。器之于事如影之随形，响之应声，其相须如左右手。故曰："器械不精不可言兵，五兵不利不可举事。"上古庖牺氏之时，弦木为弓，剡木为矢。神农氏之时，以石为兵。

[《尚书》曰：]砮石中矢镞。黄帝之时，以玉为兵。蚩尤之时，烁金为兵，割革为甲，始制五兵，建旗帜，树夔鼓。

又曰：鼓以佐军威。

又曰：纛六口，大将中营建，出引六军。（右）[古]者天子六军，诸侯三军。今天子十二，诸侯六军，故纛有六以主之。

又曰：门旗二口，色红八幅，大将牙门之旗，出引将军前列。

又曰：门枪二根，以豹尾为刃槌，出居红旗后，止居帐门前，左右安立。

又曰：五方旗五口，各具方色，大将中营建出六纛后，在营亦于纛后随方而建。

又曰：严警鼓一十二面，大将营前左右行列各六面，在纛后。

又曰：角十二具，于鼓左右后列各六具，以代金。

又曰：队旗二百五十面，尚色图禽与本阵同五幅。

又曰：（认）[刃]二百五十口，尚色图禽与诸阵不同，各自为志，

认旗出居队后，恐士卒交杂。

又曰：阵将门旗，各任所色，不得以红，恐杂大将军。

又曰：阵将鼓一百二十五面，恐设疑惊敌用。

又曰：甲六分，七千五百领。

又曰：战袍四分，五千领。

又曰：枪十分，一万二千五百，恐(杨)[伤]兵缚筏用。

又曰：牛筋牌二分，二千五百面，马军以团牌代四分支。

又曰：弩二分，弦三副，箭一百分，二千五百张弩，七千五百条弦，二十五万只箭。

又曰：弓十分，弦三副，箭一百五十分，一万二千五百张弓，三万七千五百条弦，三十七万五千只箭，射甲箭五万只。

又曰：生钍箭二万五千只，长箭垛箭。钍，匹梨切。

又曰：弓袋、胡鹿张弓袋，并一万二千五百副。

又曰：佩刀八分，一万口。

又曰：陌刀二分，二千五百口。

又曰：棓二分，二千五百张，马军及陌刀并以啄锥钺斧代各四支分。

又曰：搭索二分，二千五百条，马军用也。

牙

《兵书》曰：牙旗者，将军之精。凡始竖牙必以制日。制日者，谓上克下日也。立牙之日，吉气来应，大胜之徵；凶气先应，破军杀将。

《黄帝出军决》曰：始立牙之日，喜气来应，旗帜指敌或从风举，晖晖终日不绕竿，勇气奔逸，是谓堂堂之阵。此大胜之征。

又曰：有所攻伐，作五采牙旗。青牙旗引住东，赤牙旗引住南，白牙旗引住西，黑牙旗引住北，黄牙旗引住中。

又曰：始立牙之日，凶气先应，旗帜皆垂，或逆风滂浮，牙竿摧

折，旗幡绝烈，还绕缴竿，如此终日，势弱。

又曰：将军出兵有所讨伐，引兵出城门望见白云及白水者，举白牙旗。五色牙旗随天气四时也。

《真人水镜经》曰：凡军始出，立牙竿必令完坚，若有折，将军不利。牙旗竿，军之精也，即《周礼司常职》云，"军旅会同置旌门"是也。

《抱朴子》曰：军始举牙立旗，风气和调，幡校飘飘，终日不息者，其军有功。

《魏志》曰：典韦初为张邈士属，司马赵宠牙门长大莫能胜，典一手建之，宠异其才力。

《吴志》曰：陆逊为右部督，会丹阳贼帅费栈扇动山越，权遣逊讨栈。栈支党多所往，兵少。逊乃益施牙幢，分布鼓角，夜潜出谷间，鼓噪而前，应即破散。

又曰：黄武八年夏，黄龙见樊口，于是权称尊号，因瑞改元。又作黄龙大牙，常在中军，诸军进退视其所向。命胡综作赋。

《吴书》：曰贺齐从上讨合肥时，城中出战。徐盛失牙，齐别拒击得盛所失牙。

《晋书》曰：陆机始临戎而牙旗折，意甚恶之。后战，军果大败。

《后魏书》曰：奚斤，代人也。魏初大将行师，惟长孙嵩拒刘裕及斤征河南，独给漏刻及十二牙旗。

吴胡综《大牙赋》曰：狼狐垂曜，实惟兵精。圣人观法，是效是营。始作器械，爰求厥成。明明大吴，实天生德，乃律天时，制为神军。取象太一，五将三门。疾则如电，迟则如云。进止有度，约而不烦。四灵既布，黄龙处中。周制日月，实曰太常。桀然特立，六军所望。

后汉滕辅《祭牙文》曰：恭羞太牢，洁荐遐灵。惟毅之任，实讨不庭。天道助顺，正直聪明。

晋袁宏《祭牙文》曰：天生五才，治道所司。废一不可，静乱辅

时。赫赫晋德，乃武乃文。中世不竞，王度暂屯。戎狄猾夏，虔刘生民。蠢尔东胡，披发左袂。思我皇泽，稽首海裔。受爵纳贡，服膺累世。后嗣不恭，实叛实戾。侵我神畿，隔我嘉惠。哀彼黎民，婴以雕残。况荷大宠，任其艰难。慨然发愤，抚剑忘餐。敢建高牙，烈烈桓桓。

晋顾恺之《祭牙文》曰：维年月日，录尚书事豫章公裕，敢告黄帝蚩尤五岳之灵。两仪有正，四海有王。晋命在天，世德重光。烈烈高牙，阗阗伐鼓。白气经天，(衙杨)[阐扬]神武。

宋王诞《伐广固祭牙文》曰：敬建崇牙，显兹威灵。使鸣金辍衅，无战有宁。皇风幽被，凯旆归旌。

宋郑鲜《祭牙文》曰：洁牲先事，荐兹敬祭，崇牙既建，义绛增厉，人鬼一揆，三才同契。惟兹灵鉴，庶必有察，逆顺幽辩，忠孝显节。使凶丑时歼，主宁臣悦。振旅上京，凯归西蕃。神器增晖，四境永安。

唐陈子昂《祃牙文》曰：盖先王作兵以讨有罪，奸匿窃命，戎夷不(龚)[恭]，则必肆诸市朝，大戮原野。皇家子育万国，宠绥百蛮，青云干吕，自环入贡，久有年矣。契丹凶羯，敢乱天常，乃蜂聚丸山，豕食辽塞，宴安鸩毒，作为搀枪。天厌其凶，国用致讨。皇帝命我，肃将王诛，今大军已集，告辰叶应，旄头首建，羽旆前列。夷貊感威，将士听誓，方俟天命，为民殄灾。惟尔有神，尚歼乃丑，召太一，会雷公。翼白虎，乘青龙。星流彗扫，永清朔裔。使兵不血刃，戎夏大同，以昭我天子之德，允乃神之功，岂非正直克明。无纵大雠，以作神羞。

太平御览卷第三百四十

兵部七十一

常 旂 旃 物 旗 旐 旒 旌 旌

常

《释名》曰：九旗之名，日月为常。画日月于其端，天子所建，言常名也。

《尚书·君牙》曰：惟乃祖乃父，世笃忠贞，服劳王家，厥有成绩，纪于太常。

《周礼》曰：日月为常，十二旒。

《河图》曰：风后曰："予告汝帝之五旗：东方法青龙曰旗，南方法赤鸟曰鼠，西方法白虎曰典，北方法玄蛇曰旂，中央法黄龙曰常。

《国语》曰：吴王会晋于黄池。吴王白常白旂，赤常赤旗。

《文选》曰：建辰旒之太常。

又曰：建太常兮（裶裶）[裶裶]。

旂

《释名》曰：交龙为旂。旂，倚也。画作两龙相依倚也。通以一赤色为之，无文采。诸侯所建也。

《尔雅》曰：有铃曰旂。郭璞注曰：悬铃竿头，画交龙于旒。

《诗》曰：王锡韩侯，淑旗绥章。龙旂阳阳，和铃央央。

又曰：旂旐央央。

《礼记·月令》曰：天子春载青旂，夏载赤旂，秋载白旂，冬载玄旗。

《周礼》曰：交龙为九旂，诸侯所建。

《左传》曰：周分鲁大路大旂。

又曰：三辰旂旗，昭其明也。三辰：日、月、星也。

旃

《释名》曰：旃，战也。战战恭己而已。三孤所建，象无事也。

《说文》曰：旃，曲柄也。所以招士众也。

《世本》曰：黄帝作旃。

《尔雅》曰：因章曰旃。郭璞曰：以白练为疏，因其文章，不复画也。

《周礼》曰：通帛为旃。大赤也。周正赤无(游)[所]饰，孤卿所建也。

《左传》曰：城濮之战，亡大旆之左旃。旆旗名繁。旆曰旃。祁瞒奸命，当此之事而不治为(好)[事]，军令也。司马杀之以殉于诸侯。

《汉书》曰：田蚡前堂罗钟鼓，立曲旃。如淳曰：通白为旃，苏林曰：柄上曲也。

《孟子》曰：招庶人以旃。田也。

《西京赋》曰：虹旃蔚旄。

又曰：树修旃。

《上林赋》曰：立历天之旂，曳梢星之旃。

物

《释名》曰：杂帛为物，以杂色缀其边为翅尾也。将帅之所建也。

《礼含文嘉》曰：制度为科，物应以宜，明物以类感其方也。

《左传》曰：芳敖为宰，择楚之令典，军行，右辕，左追蓐，右者，佚为军备；左者，追革为宿备。前茅虑无，如今斥候持绛及白幡，见骑贼举绛幡，见步贼举白幡。备不虞，有无茅，明也。或以云：楚以茅为旗帜也。中权，后劲，中军制谋，后以精兵为殿耳。百官象物而动，军政不戒而备，能用兵矣。

旗

《释名》曰：熊虎为旗，期也。将军所建，象其猛如熊虎，与众期其下也。

《礼记》曰：龙旂九旒，天子之旍也。

又曰：行前朱鸟而后玄武，左青龙而右白虎。招摇在上，急劲其怒。注曰：以此四兽为军阵，象天也。画招摇星于旌旗上，以起居坚劲军之威怒。

《周礼》曰：司常掌九旗之物，名各有属，以待国事。日月为常，交龙为旂，通帛为旃，杂帛为物，熊虎为旗，鸟隼为旟，龟蛇为旐，金羽为旞，析羽为旌。《物名》曰：所画异物，则异名也。

又曰：龙旂九斿以象大火也。交龙为旗，诸侯所建也。大火仓龙，宿之心也，其属箕尾九星也。鸟旟七斿，以象鹑火也。鸟隼为旟，州里之所建也。鹑火朱鸟，宿之柳也，其属有七星也。熊旗六斿，以象参伐。熊虎为旗，师都之所建也。伐属白虎，宿与参连体而六星也。龟蛇四斿，以象营室也。龟蛇为旐，县鄙之所建营室立武宿也。与东壁连体而四星也。旒旌枉矢以象弧。《(勤)[觀]礼》曰：侯氏载龙旂弧韣，则旌旗之属皆有弧。弧以张缘之，帽有衣，谓之韣。又为设矢象弧星，有矢象妖星，有枉矢。枉史者，蛇行有尾。(田)[由]此云，枉矢，盖(尽)[画]之也。韣，音独。

《左传》曰：袀服振振，取虢之旗。袀，音均。

又曰：三辰旂旗，昭其明也。注：日、月、星也。

又曰：狄人伐卫，卫懿公战于荧泽。卫师败绩。灭卫。卫侯不去旗，是以甚败。

又曰：越伐吴。王孙弥庸见姑蔑之旗曰："吾父之旗也，不可以见雠而勿杀。"

又曰：郑人击简子中肩，毙于车中，获其蜂旗。蜂旗，旗名。

又曰：公孙庞以徒五百人宵攻郑师，取蜂旗于子姚之幕下。

又曰：郑伐许，颍考叔取郑伯之旗蝥弧以先登。子都自下射之，颠。

《史记》曰：李斯上书云："今陛下建翠凤之旗，树灵鼍之鼓。

《汉书·郊祀志》曰：武帝将伐南越，以班荆画幡日月北斗登龙，以象太一。

《东观汉记》曰：耿弇追张步，步奔平寿，乃肉袒负斧锧于军门。而弇勒兵入据其城，树下二郡旗鼓，令步兵各以部人诣旗下。众向

十余万，辎重七千余，而皆罢归乡里。

沈约《宋书·舆服志》曰：五旗者，五色各一旗。以木牛承其下，盖取负重而安稳也。五旗缠竿即礼记德车结旌不画饰也。戎事乃散之。又武车绥旌垂舒之也。

《北史》曰：卢贲尝事隋文，乃受禅命。贲清宫因典宿卫。贲乃奏改周伐旗帜，更为嘉名，其青龙、驺虞、朱雀、玄武、千秋万岁之旗，皆贲所创也。

《隋书》曰：凡旗：太常画三辰，日、月、五星。旂画青龙，皇帝（外）[升]龙，诸侯交龙。旐画朱雀，旌画黄麟，旗画白兽，旟画玄武，皆加云气。其旜物在军亦画其事号，加之以云气，徽帜亦如。通帛为旜，杂帛为物。在军亦画其人官与姓名之事号，徽帜亦书之，画其所书之例。旌节又画白兽，而折羽于其上。

又曰：司常掌旗物之藏，通帛之旗六以供郊丘之祀：一曰苍旗，二曰青旗，三曰朱旗，四曰黄旗，五曰白旗，六曰玄旗。画缋之旗六以充王路之等，一曰三辰之常，二曰青龙之旗，三曰朱鸟之旐，四曰黄麟之旌，五曰白兽之旗，六曰玄武之旟。皆左建旗而右建榻戟。榻，它腊切。

又曰：有继旗四以施军旅：一曰鹰以供军将，二曰燧以供师帅，三曰旟以供旅师，四曰旆以供倅长。

《唐书》曰：元和中，淮南节度使马总进吴元济旌旗七百三十九事。

《家语》曰：子路言志云："愿得旌旗缤纷，下蟠于地。"

《诗推度灾》曰：上出号令而化天下，震雷起而惊蛰，睹旗鼓，动三军，骇观其前，动化而天，情可见矣。

《战国策》曰：建七星之旗，天子之位也。

《穆天子传》曰：日月之旗，七星之文。今旟上画日月及北斗星也。

周迁《车服杂记》曰：晋元皇始制五牛之旗，设青在左，黄在中。

《六韬》曰：武王伐纣，悬纣之首于白旗。

《古司马兵法》曰：夏后氏玄首人之执也，殷曰白天之义也，周曰黄地之道也，旌首有铃曰旂。三王所以立，不失天地人之道也。章夏以日月上明也，殷以虎上威也，周以龙上文也。章，画饰也。三王画各有所法也。

《郝萌占》曰：旗上有光，人主大喜，延年益寿。

黄石公《三略》曰：欲知敌形色可胜之符，先战以二十八骑。角人青衣赤旗东方七人，徵人赤衣黄旗南方七人，商人白衣黑旗西方七人，羽人黑衣青旗北方七人。凡二十八骑，象二十八宿。

《军令》曰：闻雷鼓音举白幢绛旗，大小船皆进战，不进者斩。闻金音举青旗，船皆止，不止者斩。

《王孙子》曰：桀纣或放南巢，或头悬赤旗，斯无它，不节财而暴人也。

《孙子》曰：言不相闻故为鼓铎，视不相见故为旌旗，夫金鼓旌旗所以一民之耳目也。

又曰：无要正正之旗，无击堂堂之阵。

《列子》曰：黄帝与炎帝战，以雕鹗鹰鸢为旗帜。

《隋巢子》曰：天赐武王黄鸟之旗以代殷。

《淮南子》曰：凡国有难，君自宫召将诏之曰："社稷之命在将军身，今国有难，愿子将而应之。"将军受命，乃令祝史太卜斋三日，之太庙钻灵龟，卜吉日，以受鼓旗。

《楚辞》曰：驾龙辀兮乘雷，(斩)[辀]，车轩也。载云旗兮委蛇。

又曰：乘回风兮载云旗。

又曰：扬彗星以为旗。

又曰：乘赤豹兮狐从文狸，新夷车兮结(旌)桂旗。

宋玉《高唐赋》曰：眄兮若妖姬，(杨)[扬]袂郭日而望所思。忽兮若驾驷马，建羽旗。

相如《上林赋》曰：靡鱼须之撓旃，以鱼须为旗柄，驱驰逐战也。曳明月之珠旗。以明珠缀饰旃。

王沉《饯行赋》曰：曳招摇之修旗，若蜿虹之垂天。

崔骃《东巡颂》曰：升九龙之华旗。

《文选》曰：云旗拂霓。

又曰：牙纷缤。

又曰：旌旗拂天。

又曰：揭竿为旗。

又曰：曳彗星之飞旗。

又曰：朱旗所拂，九土破攘。

又曰：朱旗降天。

又曰：建祝姑。祝姑，旗名。

又曰：青霞杂桂旗。

旐

《释名》曰：鸟隼为旐。旐，誓也。军吏所建也。急疾趋事则有称誓也。

《尔雅》曰：错革鸟曰旐。郭璞注曰：此谓全剥鸟皮毛置之竿头也。旧说刻革鸟置竿首也。孙叔敖云：革，急也。言画急疾之鸟于旐也。《周官》鸟隼为旐也。按《礼记》郑玄云，戴之以示众，即此类也。《书》云：鸟战目革。《诗》云：如载鸣鸢鸟斯革。旌首鸟者，自是鸟之皮毛，明矣。

《诗》曰：孑孑干旐，在浚之都。

又曰：彼旐旐斯，胡不旆旆？旆，旐垂也。

《周礼》曰：鸟隼为旐，州里所建也。州长之属。

旐

《释名》曰：龟蛇为旐，兆也。龟知气兆之吉凶，建之于后，察度事宜之形兆也。

《尔雅》曰：缋广充幅，长寻曰旐。郭璞注曰：帛全幅，长八尺者也。

《诗》曰：设此旐矣。

又曰：建旐设旄，（薄）[搏]兽于敖。周宣王也。

《周礼》曰：龟蛇为旐，四斿，县鄙之所建也。

旞

《释名》曰：全羽为旞。旞犹隨。隨也，顺滑貌也。一作旞。

《说文》曰：旞者，导车所载，全羽[以为]允，允而进也。

《周礼》曰：全羽为旞，导车所进。车象路也。王以朝夕燕出入也。

旌

《释名》曰：折羽为旌。旌，精光也。绥有虞氏之旌也，注旄竿首，其形蕊蕊然也。绥夏后氏之旌也，其形褒也。白旆，殷旌也，以帛继旐末也。翿，陶也。其貌陶陶下垂也。

《尔雅》曰：旄首曰旌。郭璞注曰：载旌于竿头，如今之幢，亦有旄也。

《广雅》曰：天子之旌高九仞，诸侯七仞，大夫五仞，士三仞。

《诗》曰：孑孑干旌，在浚之城。

又曰：悠悠旆旌。

《礼记》曰：前有水则载青旌。郑玄注曰：载，所谓举于旌首，所以警众者也。郑记王赞问曰："举旌于首，当皆以皮邪画之(也)[耶]?"郑答曰："皆俱举皮置于首，不画羽为旌也。"

《周礼》曰：折羽为旌，游车所建。游车，木路也，王以田也。全羽、折羽，皆五色文也。

又曰：掌舍为帷宫设旌门。树旌以表门。

《左传》曰：鄢陵之役，栾锜见子重之旌，谓晋侯曰："楚人谓夫旌，子重之旌也。"

又曰：范宣子假羽毛于齐而弗归。折羽为旌，王者游车所建，齐私有之，因谓之羽毛。

又曰：楚灵王之为令尹也，为王旌。芋尹无字断之曰："一国两君，其谁堪之?"

又曰：卫宣公烝夷姜，与朔构急子。公使诸齐，使盗待诸莘而

杀之，寿子载其旌旗以先，盗杀之。急子后往，盗又杀焉。

又曰：许伯曰："吾闻致师者御靡旌摩垒而还。"靡旌，驱疾也。摩，近也。

《公羊[传]》曰：楚庄王伐郑，郑伯肉(袒)[袒]，左执茅旌，右执鸾刀以逆。何休曰：茅旌，宗庙所用也。为宗庙所用，求以宗庙归首也。

《史记》曰：秦并天下，以水德之始，旌旄节皆尚黑。

《汉书·文帝诏》曰：朝有进善之旌。应(邵)[劭]注：尧设五达之道，令人进善也。

又曰：高祖使韩信与楚战，信潜伏人于楚军之侧。方战，兵遂伪走，楚军逐之，乃令拔楚旌立汉旌，楚师望见奔走，遂败楚矣。

《后汉书》曰：世祖进师临河，连旌沿河千余里。

《战国策》曰：苏秦为赵合从于楚。威王曰："寡人西接秦，秦虎狼之国。卧不安席，食不甘味，心摇摇然如悬旌。"

《汉武故事》曰：栾大有方术，常于殿前树旌，数百人因令自相击庭中，去地十余丈，观者大骇。

《孟子》曰：齐景公招虞人以旌，不至，将杀之。非其招也，夫招虞人以皮冠，庶人以旃，士以旂，大夫以旌，况以不贤招贤人乎。

《管子》曰：舜有告善之旌，示不蔽也。

《庄子》曰：楚昭王使延屠羊说以三旌之位、万钟之禄也。

《抱朴子·军术》曰：军始出而旌旗绕竿者，急住。更待善时而出军。

《天文要集》曰：翼星明，旌旗用。

《赵氏兵法》曰：有鸟集将军旌上，将军增秩禄。

《文选》曰：蔽引高旌。

又曰：旌旗拂天。

又曰：霓为旌，翠为盖。

又曰：筌桡兮兰旌。筌，此缘切。桡，音饶。

又曰：建虹旍兮威夷。

太平御览卷第三百四十一

兵部七十二

旆 帜 幡 旗 旄 旄 毫 幢 节 钺

旆

《说文》曰：旆者，旆然垂也。

《尔雅》曰：续旒曰旆。帛续旒末为燕尾也。

《左传》曰：楚令尹南辕反旆。

又曰：拔旆投衡乃出。

又曰：晋楚战，子玉以若敖之六卒将中军，子玉，楚令尹也。子西将左，子上将右。子西，斗宜申。子上斗勃也。胥臣蒙马以虎皮，先犯陈蔡。陈蔡奔楚，右师溃。陈楚属楚之右师也。狐毛设二旆而退之。旆，大旗也。又建旗而退，若大将稍却也。

《东京赋》曰：通帛蒨旆。

帜

《史记》曰：沛公祠黄帝、蚩尤于沛庭，旗帜皆尚赤。

又曰：韩信伐赵，令轻骑二百人，人持一赤帜入赵壁，拔赵帜，立汉帜。

《东观汉记》曰：汉兵守成都，公孙述谓延岑曰："事当奈何？"岑曰："男儿当死中求生，可坐穷乎！财物易聚耳，不宜有爱。"述乃悉散金帛，募敢死士五千余人以配。岑于市桥伪建旗帜，鸣鼓挑战，而潜遣奇兵出吴汉军后，袭击破汉。汉堕水，缘马尾得出。

袁山松《后汉书》曰：赤眉复入长安，止桂宫。逢安将千余人攻延岑于杜阳。邓禹以赤眉精兵出在外，惟盆子羸弱在长安攻之。

与谢禄夜战栗街中，邓禹败走。逢安西与延牙、苏茂、李宝战于杜阳，大破之。宝、茂降，牙收散卒还战，宝、茂从内拔赤眉旗，自立其帜。赤眉还，惊乱走，自投川死者十余万人。

《墨子》曰：凡帜，帛长五丈，广半幅。

《太白经》曰：右一将行得水，黑幡旗帜，图熊；旗额白脚青。右二将行得火，赤幡旗帜，图鹗；旗额白脚青。右三将行得木，青幡旗帜，图熊；旗额白脚青。右四将行得金，白幡旗帜，图狼；旗额白脚青。右五将行得土，黄幡旗帜，图虎。旗额白脚青。左一将行得水，黑幡旗帜，图熊；旗额白脚黄。左二将行得火，赤幡旗帜，图鹗；旗额青脚白。左三将行得木，青幡旗帜，图熊；旗额青脚黄。左四将行得金，白幡旗帜，图狼；旗额青脚黑。左五将行得土，黄幡旗帜，图虎。旗额青脚赤。

幡

《释名》曰：幡也，其貌幡幡然也。

《说文》曰：幡，帜也。

《麟角》曰：信幡，古之麾号也。所以题表官号以为符信，故谓之信幡。乘舆则画为白虎，取其义而有威信之德也。魏朝有青龙、朱雀、玄武、白虎、黄龙等五幡以诏四方。诏东方郡国以青龙，信南朱雀、西白虎、北玄武，朝廷畿甸则以黄龙，亦以麒麟信幡。高贵乡公讨晋文，自秉黄龙幡以麾号令。晋朝惟用白虎书信，幡用鸟，取其飞腾轻疾。一曰鸿雁有去来之信也。

《汉书》曰：甘延寿出西域，部勒行阵，别为校尉。逾葱岭，入赤谷，至郅支城，望见单于城上五采幡帜。

又曰：武帝伐南越，祷太一，以牡荆书幡，名曰灵旗。

《献帝春秋》曰：董卓未诛，有书三尺布幡上作两口相衔之字，负之于道，歌曰："布乎！"及吕布杀卓，负布者不复见。

《吴志》曰：陆逊取宜都，获秭归、枝江，还屯夷陵，守峡口以备蜀。关羽还当阳，西保麦城。权使诱之，羽伪降，立幡旗为象人于

城上，因遁走。

王隐《晋书》曰：河间王伐齐王冏，火烧观阁及千秋、神虎二宫门。冏盗白虎幡，唱云："长沙王矫诏。"长沙更以白幡唱称："大司马谋反。"

《晋书》曰：长沙王乂攻齐王冏，冏令王胡悉盗驺虞幡。唱云："长沙王矫诏。"乂称"大司马谋反，助者诛五族"。

又《张华传》曰：楚王玮受密诏杀太宰汝南王亮，太保卫瓘等内外兵扰，朝廷大恐，计无所出。华白帝以玮矫诏擅害三公，将士仓卒，谓是国家意，故从之耳。今可遣驺虞幡使外军解严，理必风靡。上从之，玮兵果散。及玮诛，华以首谋有功，拜右光禄大夫。

又曰：卫瓘既诛，瓘女与国臣书曰："先公名谥未显，无异凡人。每怪一国蔑然无言，春秋之失，其咎安在？悲愤感慨，故以示意。"于是主簿刘繇等执黄幡，挝登闻鼓，上言论之。

又曰：楚王玮之诛二公也，守东掖门。会驺虞幡出，乂投弓流涕曰："楚王被诏，是以从之。"

《宋书》曰：元嘉四年，车驾出北堂，使三更竟开广莫门。南台云："应须白兽幡银字榮。"不肯开。尚书左丞羊玄保奏免御史中丞傅隆已下，昙首曰："既无异敕，又阙幡榮，虽称上旨，不异单刺，元嘉元年二月虽有开门例，此乃前事违令。今守旧未为非礼，其不请白兽幡银字榮致开门不时，由尚书相承之失，亦合纠正。"上特无问，更立科条。

《北史》曰：后魏元孚持白虎幡劳阿那瑰于柔玄、怀荒二镇之间。阿那瑰众号三十万，阴有异意，遂拘留孚，载以辒辐音汾。辐音温。车，日给酪一升，肉一段。每集其众，坐孚东厢，称为行台，甚加礼敬。

《晋起居注》曰：太阳佐伺承有母云："感老君生丞相。"中贵画作九龙幡，遂群聚奔市。

《晋诸公赞》曰：楚王玮矫诏害汝南王亮。其夜，帝临东堂，张

华唱议，乃遣左右以白虎幡麾之，然后众散。

《钟离意别传》曰：意为瑕兵。今立春遣户曹史擅建赍青帻幡白督邮，督邮不受，建留于家，还白意言受。他日，意见督邮，而督邮谢意，言所以不受青帻幡者，已自有也。意还，召建问状，建惶怖叩头。意曰："勿叩头使外闻也。"出因转署主记史假，遣无期。建归家，父问之曰："朝大士众贤能者多，子何功才既获显荣，假乃无期，宠厚将何谓也？无得有不信于贤主耶？"建长跪以青绩幡意语父。父嘿然，有顷，令妻设酒杀鸡与建相乐，谓建曰："吾闻有道之君，以义理杀人；无道之君，以血刃加人。长假无期，惟死不还，将何以自(裁)[裁]乎？"酒毕进药，建遂物故。

石虎《郢中记》曰：勒为石虎讳，呼白虎幡为天鹿幡。

《盐铁论》曰：发春之后悬青幡、筑土牛，殆非明主劝耕稼之意，春令之论也。

《军令》曰：五闻鼓声，举黄帛两半幡，合旗为三面，负阵。

庾肃之教曰：大赦荡然，万物更新。阳幡既建，事从宽简。羌可得询求民瘼，抚循物性。

旗

《周礼》曰：龙旂九斿，象大火也。鸟旟七斿，象鹑火也。熊旗六斿，以象伐也。龟旗四斿，以象营室也。大尾九星，朱鸟七星，参七星，营室四星。

又曰：全羽为旒。

《公羊传》曰：诸侯若赞旒。

《礼含文嘉》曰：天子之旗九仞十二旒，曳地。旗者，旌旗也。所以别尊卑、序贵贱也。诸侯七仞九旒，齐轵。轵，车后横木也。诸侯之旗齐于轵。卿大夫五仞五旒，齐轵。士三仞三旒，齐首。首，头也。

《广雅》曰：天子十二旒，至地。诸侯九旒，至轵。卿大夫七旒，至毂。士三旒，至肩。

《东京赋》曰：建神旗之太常。

旄

《尚书》曰：武王右秉白旄。孔安国注曰：手秉旄，有事施教也。

又曰：羽畎夏翟。雉名，可饰旄。

《毛诗》曰：建彼旄矣。

又曰：干旄美好，善也。卫文公之臣子多好善，贤者乐告以善道也。孑孑干旄，在浚之郊。

《左传》曰：晋人假羽旄于齐而不归，齐人始贰。

《汉书·武纪》曰：征和二年，更加节黄旄。应(邵)[劭]注曰：(戾)[时]太子[亦]发节[以战]，[故]加[黄]其上(黄)以(嗣)[别]之也。

《晋书》曰：王珣，字元琳。弱冠与陈郡谢玄为桓温掾，俱为温所重。尝谓之曰："谢掾年四十，必拥旄杖节。王掾当作黑头公，皆未易才也。"

《鬻子》曰：武王伐纣，乃命太公把旄以麾之，纣军反走。

《列仙传》曰：秦文公时有梓树化为牛，以骑击之，骑不胜。或坠髻(解)被发，牛畏之入河。故秦因致旄头骑使先驱。

《文选》曰：羽旄扫霓。

又曰：羽旄杨蕤。

又曰：素旄一麾，浑一区宇。

《洛神赋》曰：左倚彩旄，右荫桂旌。

《楚辞》曰：建修虹之采旄。

《甘泉赋》曰：流星旄以电烛。

又曰：建雄虹之采旄，(保缀缚旅)[缀系之]文，[相]纷错也。五色杂而炫耀。众彩杂厕而明朗。

旄

服虔《通俗文》曰：毛饰曰旄。音饵。

《汉魏故事》曰：与外国节皆二，赤旄一，黑旄十，异于常节。

《魏略》曰：诸葛亮见刘备。备性好旄，时适以旄牛尾与备者，备手自结之。亮曰："将军当复有远志耶！止结旄而已。"备知亮非常人，乃投旄而谓曰："以忘忧耳！"

《吴时外国传》曰：黑白旄出天竺国。

《陶公故事》曰：臣侃奉献金缮白旄四枚。

《续异记》曰：竟陵王诞在广陵，左右侍直。眠中梦人告之曰："官须发为稍眊。"觉则已失发矣。如此者数十人。

《俗说》曰：谢安小儿时便有名誉，流闻远国。慕容廆饷谢白狼眊一双，谢时年十三。一作慕容垂也。

魏武《与杨彪书》曰：今赠足下十铃眊一具。

诸葛亮《与瑾书》曰：兄嫌白帝兵非精练到所督，则先主帐下白眊西方上兵也。嫌其少者当复部分江州兵以广益之。

庾翼《与燕王书》曰：今致孔雀眊二枚。

诸葛亮《与吴王书》曰：所送白眊薄少，重见辞谢，益以（憎）[增]惭。

庾翼《与慕容皝书》曰：今致襦铠一领，兜牟白眊（自）[四]副。

又曰：今致朱漆镴镴，所谏切。二十张，绛碧画幡，黑眊（自）[四]副。

麾

《左传》曰：楚人谓"夫旍，子重之麾也"。

《谷梁》曰：日有食之，鼓用牲。于社用牲，非礼也。天子救日，置五麾，陈五兵，五鼓；诸侯置三麾，陈三兵，三鼓；大夫击门，士击柝。

《后汉书》曰：班超拜为将兵长史，假鼓吹幡麾。

王隐《晋书》曰：戴洋病亡，天神使为酒藏吏。授符持幡，麾将士蓬莱诸山，五日更生。

《华阳国志》曰：曹公察关羽不安，使张辽以情问之。羽叹曰："吾极知曹公待我厚，然吾受刘将军恩，誓以共死，不可背之，要当立效报公。"曹闻而义之。是岁绍征官渡，遣骁将军颜良攻东郡太守刘延于白马。公使辽、羽为先锋，羽望见良，麾策马刺良于万众中，斩其首还，遂解延围。公即表封羽汉寿亭侯，重加赏赐。羽尽封其物，拜书告辞而归先主也。

《晋令》曰：两头进战，视麾所指。闻三金音止，二金音还。

《军令》曰：凡战临阵，皆无喧哗。明听鼓音，谨视幡麾。麾前则前，麾后则后，麾左则左，麾右则右，麾不闻令而擅前后左右者斩。

《淮南子》曰：譬若军之持麾者也，妄指而乱矣。

幢

《释名》曰：幢，童也。其貌童童然也。

《晋公卿礼秩》曰：安平王孚、汝南王亮、太傅杨骏、义阳王望、齐王冏、鲁王贾充、河间王颙、梁王彤、秦王东、长沙王乂，皆给羽葆幢。

《后魏书》曰：韩茂膂力绝人，尤善骑射。太宗曾亲征丁零翟猛，茂为中军执幢。时大风，诸军旌旗皆偃仆，茂于马上持幢初不颠倒。太宗异而问之，徵茂所属，具以状对。太宗谓左右曰："记之。"寻征诣行在所，试以骑射。太宗深奇之，以茂为虎贲中郎将。

《兵书》曰：赤幢常在，大将不得动摇。赤者，火也。火，土之母，故军主长服赤幢。

节

《周礼》曰：守国者用玉节，守都鄙者用角节，掌邦国之使者用虎节。土国用人节，泽国用龙节，皆金为之。门户用符节，货贿用玺节。使用管节，道用旌节。以竹为之。

《汉书》曰：苏武在匈奴北海牧羊，起卧操节。节，麾也。

又曰：张骞使月支，匈奴得之。留骞五六年，汉节不失。

《东观汉记》曰：郑众谓匈奴曰："不忍将大汉节对毡裘也。"

《唐书》曰：颖王璥为蜀郡都督。璥性俭，率将渡绵州江。登舟见以彩缘席为籍者，顾曰："此可以为寝处，奈何践之？"命撤去之。璥初奉命之藩，卒遽不遑受节。绵州司马史贲进说曰："王，帝子也，且为节度大使。今之藩而不持节，单骑径进，人何所瞻。请建大槊，蒙之油囊为旌节状，先驱道路，足以威众。"璥笑曰："但为真王，何用假旌节乎！"

钺

《释名》曰：钺，豁也。所司莫敢当前，豁然破散也。

《宋林》曰：钺，王斧也。

《开元文字》云：斧也，或为钺。

《尚书·牧誓》曰：王左杖黄钺，右秉白旄以麾，曰："逖矣！西土之人。"

又《顾命》曰：一人冕，执刘立于东堂；一人冕，执钺立于西堂。云冕皆大夫也。钺，属也。立于东西厢之前堂。

《诗》曰：武王载旆，有虔秉钺。如火烈烈，则莫我敢遏。虔，固也。

《礼记》曰：天子赐诸侯乐则以柷将之，赐伯子男乐则以鼗将之。诸侯赐弓矢然后征，赐铁钺然后杀，赐圭瓒然后为鬯。

又曰：军旅铁钺，先王之所以饰怒也。

又曰：是故君子不赏而民劝，不怒而民威于铁钺。

《左传》曰：魏绛至，授仆人书，将伏剑。士魴、张老止之。公读其书曰："君合诸侯，臣敢不敬。君师不武，执事不敬，罪莫大焉。臣惧其死，以及扬干，无所逃罪。不能致训，至于用钺。臣之罪重，敢有不从，以怒君心，请归死于司寇也。"

又曰：将戮庆封，椒举曰："臣闻无瑕者可以戮人。庆封惟逆命，是以在此，其肯从于戮乎？播于诸侯。焉用之？"王弗听。负之斧钺，以徇于诸侯。

又曰：其后襄之二辂，铖钺秬鬯，彤弓虎贲，文公受之，以有南阳之田。晋文公也。

《史记·殷本纪》曰：当是时，桀为虐乱，嬉荒酗酗于酒，不修厥政，天下叛之。而诸侯昆吾氏为乱，汤乃兴师率诸侯。伊尹从汤，汤自把钺以伐昆吾，遂伐桀。

又曰：纣囚西伯于羑里。西伯之臣闳夭之徒求美女、奇物、善马以献纣，纣乃赦西伯。西伯出而献洛之地，以请除炮烙之刑，纣乃许之。赐弓矢斧钺使征伐。

又曰：《周本纪》曰："纣嬖妾二女皆经自杀。武王又射三发，击以剑，斩以玄钺。"

又曰：周公旦把大钺，毕公把小钺，以夹武王。

《汉书·刑法志》曰：大刑用甲兵，其次用斧钺；中刑用刀锯，其次用钻凿；薄刑用鞭朴。

《后汉书·郭躬传》曰：窦固出击匈奴，骑都尉秦彭为副。彭在别屯而辄以法斩人，固奏彭专擅，请诛之。显宗乃引公卿朝臣平其罪，科躬以明法律。召入，议者皆然固奏。躬独曰："于法，彭得斩之。"帝曰："毕征校尉一统于督，彭既无斧钺，何得专杀人乎？"躬对曰："一统于督者谓在部曲也，今彭专军别将，有异于此。兵事呼吸不容先关督帅，且汉制棨戟即为斧钺，于法不合罪。"帝从躬之议。

《吴志·陆逊传》曰：逊假节钺为大督，逆曹休，斩获万余。

《吴录》曰：假陆逊黄钺，吴主亲执鞭以见之。

《晋书·天文志》曰：天枪三星在北斗杓东。一曰天钺，天之武备也。

又曰：参十(里)[星]。一曰参伐，一曰大展，一曰天市，一曰铁钺，主斩刈。

又曰：青龙三年六月丁未，镇星犯井钺。占曰："为兵气也。"

又曰：甘露元年七月乙卯，荧惑犯井钺。占曰："并有兵事。"

《唐书》曰：天宝中制黄钺。古来以金为饰金者应五行之数，有肃杀之威。去金称黄，理合未当。其钺宜改为金钺，副威武之义焉。

《司马法》曰：夏执玄钺。

崔豹《古今舆服注》曰：玄钺，诸公主得建之。武王以黄钺斩纣，故王者以为戒。太公以玄钺斩妲已，故妇人以为戒。

《博物志》曰：武王伐纣，渡河，大风波。武王操钺(乘)[秉]麾麾之，风波立济。

《正部》曰：奔逃之士，不避斧钺。

张平子《西京赋》曰：于是，蚩尤秉钺，奋鬣被般，禁御不若，以知神奸。

张平子《东京赋》曰：总轻武于后陈，奏丽鼓之嘈嘈。戎士介而扬挥，载金钲而建黄钺。

又曰：方相秉钺，巫觋操苅，桃弧棘矢，所发无臬。

又曰：我光武忿之，乃龙飞白水，凤翔参墟，授钺四七，共工是除。

潘元茂《册魏公九锡文》曰：锡以二辂，虎贲铁钺。

陈孔章《檄吴将校部曲文》曰：丞相秉钺鹰扬，顺风烈火。元戎启行，未鼓而破。

又曰：伏铁斧钺，首腰分离。

范蔚宗《宦者传论》曰：梁冀受钺，迹罔公正，思固主心，故中外服从，上下屏气。

曹植《王仲宣诔》曰：我公奋钺，耀威南楚。荆人或违，陈戎讲武。

太平御览卷第三百四十二

兵部七十三

剑　上

《释名》曰：剑，检也。所以防检非常也。又敛也，以其在身拱时敛在臂内也。其旁鼻曰镡。音寻。镡，寻也。带所贯寻也。其末曰锋，末之言也。

《韵集》曰：镡，音覃。剑口也。《方言》曰：鞘，音肖。谓之室。

《说文》曰：韬，谓之衣。亦曰裹，裹音迭。《字林》曰：璏，直例反。剑鼻也。

《礼记》曰：武王克商后散军而郊射。左射狸首，右射驺虞，而贯革之射息也，裨冕搢笏，而虎贲之士脱剑。

又曰：进剑者左首。尊也。

又曰：受弓剑以袂。敬也。

《周礼》曰：周官桃氏为剑，腊广二寸有半寸。腊谓两刃，音（腊）[猎]。两从半之，剑脊两[面]杀趋锷者。以其腊广为之，茎围长倍之，茎谓剑（天）[夹]人之所握[镡]以上。中其茎设其后。谓从中以却稍大之。身长五，其茎长重九锊，音刷。谓之上制，上士服之。身长四，其茎长重七锊，谓之中制，中士服之。身长三，其茎长重五锊，谓之下制，下士服之。今之（上）[匕]首也，各以形貌大小带之。士，勇士也。

又曰：郑之刀，宋之斤，鲁之削，吴越之剑，迁乎其地而勿能为良，地气然也。

《左传》曰：初，虞叔有玉，虞叔，虞公之弟。虞公求旃。弗献，既而悔之，曰："周谚有之，匹夫无罪，怀璧其罪。吾焉用此以贾害也。"

乃献之。又求其宝剑。叔曰："是无厌。无厌，将及我。"遂伐虞，故虞公出奔洪池。洪池，地名。

又曰：莒子庚舆虐而好剑，苟铸剑必试诸人，国人患之。又将叛齐，乌存帅国人以逐之。乌存，莒大夫也。

又曰：吴公子光伏甲于掘室而享王，掘地为室。使甲坐于道。及其门，门阶户席皆王亲也，夹之以铍。羞者献体，改服于门外，进羞者献体解衣也。执羞者坐行而入，执铍者夹承之。承执羞者也。光伪足疾，入法掘室，恐难作王党杀，已预避之也。专诸寘剑鱼中以进，遂杀王。

又曰：吴将伐齐，越子率其众以朝。吴人皆喜，惟子胥惧曰："是豢吴也。"吴王闻之，使赐之属镂以死。属镂，剑也。

又曰：楚太子建为郑人杀之，其子胜在郑。晋人伐郑，楚救之，与之盟。胜怒曰："郑人在此，雠不远矣。"胜自厉剑，子平见之曰："王孙何以自厉也？"曰："将以杀汝父也。"

又曰：宋杀申再，楚子闻之，剑及寝门之外。怒也。

《家语》曰：子路戎服见孔子，拔剑舞之，曰："古之君子以剑自卫。"子曰："古之君子忠以为质，仁以为卫，不出环堵之室，而知千里之外，有不善则以忠化之，寇暴则以仁圉之，何必持剑？"子路曰："由乃得闻此言也，请摄齐以受教。"

又曰：颜回曰："愿铸剑戟为农器。"

《战国策》曰：韩卒之剑皆出于冥山棠溪。墨阳宛冯、龙泉、太阿皆陆断马牛，水击鸿雁，当敌于甲盾耳。此天下名器也。

《国语》曰：齐桓公问曰："齐国寡甲兵，为之若何？"管子曰："小罪谴以金，美金以铸剑戟，试诸狗马；恶金以铸钮夷，试诸壤土，乃甲兵大足也。"

《史记》曰：吴季札之初使，北过徐君，好季札剑，口弗敢言。季札知之，为使上国未献。还至徐，徐君已死，乃解其宝剑系徐冢树而去。从者曰："徐君已死，当谁予乎？"曰："不然。始吾心已许之，岂以死背吾心哉？"

又曰：平原君及毛遂与楚合从，言其利害。日出而言，日中不决。遂按剑而上请平原君曰："从者利害两言而决耳。今日出而言，日中不决，何也？"楚王谓平原君曰："客何为者也？"平原君曰："是胜之舍人也。"楚王叱之："胡不下？吾乃与君言，汝何为者也？"毛遂按剑而前曰："今十步之内，王不得恃楚国之众也，王之命悬于遂。且遂闻汤以七十里之地而王天下，文王以百里之壤而臣诸侯，今楚地方五千里，持戟百万，此霸王之资也。白起小竖子耳，率数万之众兴师以与楚战，一战而举鄢郢，再战而烧夷陵，三战而辱王之先人，此百世之怨而赵之所羞。而王弗知，恶合从者为楚非为赵也。吾君在前，叱者何也？"诸侯乃定从。

又曰：《范雎传》云：秦昭王临朝叹息。应侯进曰："臣闻主忧臣辱，主辱臣死，今大王中朝而忧，臣敢请其罪。"王曰："吾闻楚之铁剑利而倡优拙。夫铁剑利则士勇，倡优拙则思虑远。夫以远思虑而御勇士，恐楚之图秦也。"

又曰：李斯上书曰："今陛下服太阿之剑，乘纤离之马。此数宝者，秦不生一焉。"

又曰：陈平间行杖剑，亡渡河。船人见其美丈夫独行，疑其亡将，腰中当有金宝。目之，欲杀平。平恐，乃解衣裸而佐刺船，船人知无有，乃止。

又曰：邹阳上书梁王云："臣闻明月之珠，夜光之璧，以暗投人于道路，人无不按剑相眄者。何则？无因而至前也。"

又曰；高祖送徒骊山，夜经泽中，令一人行前。行前者还报曰："前有大蛇当径，愿还。"高祖曰："壮志行，何畏。"乃前，拔剑斩蛇。

又曰：高祖置酒雒阳宫。曰："吾有三杰而能用之，故吾以布衣提三尺剑取天下也。项羽有一范增而不能用，所以为吾擒也。"

又曰：高祖击英布时，为流矢所中。高祖问医曰："病可治於？"医曰："可治。"于是，高祖谩骂之曰："吾以布衣提三尺剑取天下，此非天命乎！命乃在天，虽扁鹊何益。"

又曰：伍员奔吴，船人济之。员感其德，解宝剑赐之。船人曰："子达吴勿相忘，剑则不敢以当。"

又曰：魏相为丞相，好武。（皆）令诸吏有奏事者带剑而前奏，或有不带剑者入奏事，乃借错剑而方敢入。

又曰：荆轲，卫人。之燕，燕人谓之轲卿。轲卿好读书，学击剑，以术说元君，元君不用。

又曰：司马相如好读书，学击剑。故母名曰"犬子"。

《汉书》曰：隽不疑，字曼倩，渤海人。治《春秋》，为郡文学，进退必以礼，名闻州郡。武帝末，暴胜之为直指使者，衣绣衣素。闻不疑贤，至渤海遣吏请与相见。不疑（衔）[冠]进贤冠，带擂具剑。应劭曰：擂具，擐首之。擂：磊落壮大之貌。

又曰：时中国初定，尉他平南越回，王之。高祖使中大夫陆贾赐他印为南越王。王赐贾橐中装千金。贾有五男，乃出所使橐中装，卖千金分其子，子二百金。贾常乘安车驷马、从歌鼓瑟、侍者十人、宝剑值百金。谓其子曰："与汝约：过汝，汝给人马酒食，极欢十日，而更约所。死家得宝剑。"其游汉庭，名声籍甚。言狼藉甚盛也。

又曰：朱博奏王莽为庶人，莽就国。南阳太守以莽贵重，选门下掾孔休守新都伯。休谒见莽，莽尽礼自纳，休亦闻其名。莽后疾，休候之。莽缘恩意进其玉具剑，欲以为好，休不肯受。莽因见诚："见君面有瘢，美玉可以灭瘢。"休复辞让。莽曰："君嫌其价耶。"遂椎碎自裹以进，休乃受之。

又曰：朱云曰："臣愿请上方斩马剑断佞臣一人首。"上问谁，对曰："安昌侯张禹。"上怒。

又曰：龚遂为渤海太守，务农。劝人卖剑买牛。曰："可为佩牛乎！"

又曰：沛公从百余骑，见羽于鸿门。羽因留沛公饮。范增数目羽击沛公，羽不应。范增起出，谓项庄曰："君王为人不忍，汝入，以剑舞，因击杀之。"庄入为寿，寿毕，曰："军中无以为乐，请以剑舞。"

因拔剑起舞。项伯亦起舞，常以身翼蔽沛公，获免。

又曰：孝景帝赐卫绾，[绾]曰："先帝赐臣剑凡六，不敢奉诏。"上曰："剑，人之所施，独亦至今乎！"绾曰："具在。"上使取六剑，尚盛未尝服之也。

又曰：质氏以治削而鼎食。注：治刀剑也。

又曰：王莽使武贲以斩马剑挫音到。董忠。

又曰：梁冀带剑入省，尚书张凌呵叱令出。冀跪谢，凌不应，因劾奏。诏以一岁俸赎罪。

《楚汉春秋》曰：上过陈留，郦生求见。使者入通，公方洗足，问如何人。曰："状类大儒。"上曰："吾方以天下为事，未暇见大儒也。"使者出告，郦生瞋目按剑入言："高阳酒徒，非儒者也。"

《后汉书》曰：韩稜为尚书令，与仆射郅寿、尚书陈宠同时俱以才能称。肃宗尝赐诸尚书剑，惟此三人，特以宠剑自手署其名曰："韩稜楚龙泉"、《晋太康记》曰："汝南西平县有龙泉，可淬刀剑，特坚利。"汝南即楚分野也。"郅寿蜀汉文"、"陈宠济南椎成。"椎，音直追切。《汉官[仪]》椎成作锻成。时论者为之说：以稜深有谋故得龙泉，寿明达有文章故得汉文，宠敦朴善不见外故得椎成。

谢承《后汉书》曰：延熹中，诏应奉曰："蛮夷叛逆作难，积恶放恣，镬中之鱼，火炽汤尽，当急焦烂，以刷国耻。朝廷以奉昔守南土，威名播越，故复式序重任，奉之兴废期在于今。赐奉钱十万，驳犀方具剑、金错把刃剑、革带各一，奉其勉之。"

又曰：吴郡张业，字仲叔，为郡门下掾。逐太守归乡里，至河内，遇贼，业拔剑与贼交战而死。子武，时幼不识父，伤父丧不还。每至节日，持业遗剑至河内，到业死处，酸祭悲哀，感动路人。

《东观汉记》曰：世祖十三年，王国有献名马、宝剑，直百金。马以驾鼓车，剑以赐骑士。

又曰：冯石袭母公主封获嘉[侯]亦为侍中，稍迁卫尉，能取悦当世，为安帝所宠。帝尝幸其府，留饮十数日，赐驳犀具剑、紫艾

绶、玉玦各一。

又曰：建武二年，遣冯异西击赤眉，平关中。上自河南赐异乘舆、七尺玉具剑。

又曰：光武有骇犀之剑，以赐陈遵。

《魏志》曰：文帝为太子时，与邓（展）[庶]饮酣，论及剑术，不决。时方食甘蔗，因以习之，下殿数交，三中其臂。

《魏略》曰：严翰，字公仲。器性重厚，笃好击剑。

《魏氏春秋》曰：魏武过城皋故人吕伯奢。伯奢不在，家人为供。王闻其食器声，疑其图己。夜手剑杀八人。既见食饮而凄怆曰："宁我负人，无令人负我。"

《吴书》曰：太史慈临亡叹息曰："丈夫生世当带七尺之剑，以升天子之阶。今所志未从，奈何而死乎！"权甚悼惜之。

《晋书》曰：上公九命，则剑履上殿。

又曰：张轨遣主簿令狐亚聘南阳王模，甚悦，遗轨以帝所赐剑。谓轨曰："自陇已西征伐断割悉以相委，如此剑矣。"

又曰：武库火，历代之宝孔子履、汉高斩白蛇剑、王莽头皆失所在。张华见龙剑排户而飞去。

又曰：何攀除兖州刺史，锡班剑、赤舄。

又曰：王如初聚众作逆，败。王敦弟稜爱骁武，请敦配麾下，稜甚加宠遇。如数与敦将角射斗争为过，稜杖之，如甚以为耻。初，敦有不臣之迹，稜每谏之，敦常怒异色。乃密使人激怒如，劝令杀稜。因稜闲晏，如请剑舞为劝，稜从之。如于是舞刀为戏，渐来前，稜恶而呵之，不止，遂直前斩稜。敦闻而佯惊，亦捕如诛之。

又曰：《张华传》：吴之未灭也，斗牛之间常有紫气。道术者皆以吴方强盛，未可图也。惟司空张华以为不然。及吴平之后，紫气愈明，华闻豫章人雷焕妙达纬象，乃要焕宿。屏人曰："可共寻天文，知将来吉凶。"因登楼仰观。焕曰："仆察之久矣，惟牛斗之间颇有异气。"华曰："是何祥也？"焕曰："宝剑之精，上彻于天耳。"华曰：

"君言得之。吾少时，有相者言吾年出六十，位登三事，当得宝剑佩之，斯言效欤?"因问曰："在何郡?"焕曰："在豫章丰城。"华曰："欲屈君为宰，密共寻之，可乎?"焕许之。华大喜，即补焕丰城令。焕到县，掘狱屋基，入地四丈余，得一石函，光华非常，中有双剑并刻题，一曰龙泉，一曰太阿。其夕，斗牛间气不复见焉。焕以南昌西山北崖下土以拭剑，光芒艳发，大盆盛水置剑其上，视之者精芒炫目。遣使送一剑并土与华，留一自佩。或谓焕曰："得两送一，张公岂可欺乎?"焕曰："大朝将乱，张公当受其祸，此剑当系徐君墓树耳！灵异之物，终当化去，不永为人服也。"华得剑，宝爱之，常置坐侧。华以南昌土不如华阴赤土，报焕书曰："详观剑文，乃干将也，莫邪以复不至。虽然，天生神物终当合耳。"因以华阴土一斤致焕，焕更以拭剑，倍益精明。华诛，失剑所在。焕子华为州从事，持剑行经延平津，剑忽于腰间跃出堕水，使人没水取之，不见剑，但见两龙各长数丈，蟠萦有文章。没者惧而返。须臾，光彩照水，波浪惊沸，于是失剑。华叹曰："先君化去之言，张公终合之论，此其验乎！"华之博物多此类。

又曰：《载记》云：刘曜自以形质异众，恐不容于俗，隐迹管涔山，以琴书为事。尝夜闲居，二童子入跪曰："管涔王使小臣奉谒赵皇帝，献剑一口。"置前再拜而去。以烛视之，剑长二尺，光泽非常，赤玉为室，背有铭云："神剑服御除众毒。"曜遂服之。剑随四时变为五色。

崔鸿《后赵录》曰：张宾阔达有大节，尝自谓昆弟曰："吾自言智算鉴识不后张子房，但不遇高祖耳。"勒与诸将下山东，宾曰："吾历览诸将，独胡将军可与共成大事者。"乃提剑军门，大呼请见。

《宋书》曰：初，世祖尝赐谢庄宝剑，庄以与豫州刺史鲁爽别。后爽反叛，世祖因宴集问剑所在。答曰："昔以与鲁爽别，窃为陛下杜邮之赐。"上甚悦，当时以为知言。

《梁书》曰：天监五年，卢陵太守王希聃于高昌县获铜瑞剑二

口。以闻曰："薄伐凶丑，而龙渊耀质；匈奴将灭，白旗表征。"

又曰：七年，会稽太守衡阳王元简上言，余姚县掘地得剑二口，又于县东江水中得剑一口，文漫若雌雄。

又曰：羊侃初为尚书郎，以勇闻。魏帝尝谓曰："郎官谓卿为虎，岂羊质虎皮乎？试作虎状。"侃因以手抉殿柱没指。魏帝壮之，赐以珠剑。

《三国典略》曰：侯景篡位，迁豫章王栋别宫。白虹贯日，三重；其夜，月入太微掩帝坐，景所带剑水精标无故坠落，景身自俯拾，心亟恶之。

《五代周史》曰：郑仁诲字日新，晋阳人。父霸累赠太子太师。仁诲幼事唐骁将陈绍光。绍光恃勇使酒，尝乘醉抽佩剑将剸刃于仁诲，左右无不奔避。惟仁诲端立以俟，略无惧色。绍光因掷剑于地谓仁诲曰："汝有此气度，必当享人间富贵。"

太平御览卷第三百四十三

兵部七十四

剑　中

《吴越春秋》曰：越王允常聘欧冶子作名剑五枚，三大二小，一曰纯钧，二曰湛卢，三曰豪曹，或曰盘郢，四曰鱼肠，五曰钜阙。秦客薛烛善相剑，王取豪曹示之，薛烛曰："非宝剑也，夫宝剑五色并见，今豪曹五色黯然无华，殒其光，亡其神矣。"王复取钜阙示之，烛曰："非宝剑也。夫宝剑金锡和同，气如云烟，今其光已离矣。"王复取鱼肠示之，薛烛曰："夫宝剑者，金精从理，至本不逆。今鱼肠倒本从末，逆理之剑也。服此者臣弑其君，子弑其父。"王取纯钧示之，薛烛(翟)[翼]然而望之曰："光乎如屈阳之华，沈沈如芙蓉始生于湘，观其文如列星之芒，观其光如水之溢塘，观其色焕如冰将释，见日之光，此纯钧者也。"王曰："是也。客有买此剑者，市之，乡三十、骏马千匹、千户之都二，其可与乎？"薛烛曰："不可。臣闻王初造此剑，赤堇之山破而出锡，若耶之溪涸而出铜，雨师洒道，雷公发鼓，蛟龙捧炉，天帝壮炭，太乙下观。于是，欧冶子曰：天地之精，悉其伎巧，造为此剑。吉者宜王，凶者可以遗人。凶者尚直万金，况纯钧者耶。"取湛卢，薛烛曰："善哉！衔金铁之英，吐银锡之精，奇气托灵，有游出之神。服此剑者，可以折冲伐敌。人君有逆谋则去之他国。"允常乃以湛卢献吴。吴公子光杀吴王僚，湛卢去如楚。昭王寤而得之，召风胡子问之。"此剑直几何？"对曰："赤堇之山已合，若耶之溪深而不测，群神上天，欧冶已死，虽有倾城量金珠玉不可与，况骏马万户之都乎！"

又曰：越王问范蠡用兵行阵。对曰："越有处女出于南林之中，愿君王问以手战之道，立可见也。"处女将见，道逢老人自称袁公，袁公曰："闻子善为剑，愿一观之。"女曰："妾不敢有隐。"袁公即跪拔林之竹，处女即捷其末，公操其本而刺处女，处女因举杖击之，袁公即飞上树变为白猿。女别去，见越王。越王大悦，乃命五校之队长高才习之以教军人。当此之时，皆称"越女剑"。

又曰：干将者，吴人。与欧冶同师，俱作剑。前献剑一（杖）[枚]，阖闾得而宝之。以故使干将造剑二枚，一曰干将，二曰莫邪。莫邪者，干将之妻名也。干将作剑采五山之精，合六合之英，候天伺地，阴阳同光，百神临观，天气下降，而金铁之精未流。莫邪曰："子以情为剑闻于王，王使子作剑三年不成者，其有意乎？"干将曰："吾不知其理。"莫邪曰："夫神物之化，须人而成，今夫子作剑得无当得人而后成？"干将曰："昔吾师之作冶也，金铁之颖不消，夫妻俱入冶炉之中。"莫邪曰："先师亲烁身以成物，妾何难也。"于是干将夫妻乃断发剪指投之炉中，使童女一作"子"。三百鼓橐装炭，金铁乃濡，遂以成剑。阳曰干将，而作龟文；阴曰莫邪，而作漫理。干将匿其阳出其阴而献之阖闾。阖闾甚惜之。

又曰"伍子胥过江，解剑与渔父曰："此剑中有七星北斗文，其直千金。"

《越绝书》曰：楚王召风胡子而问之曰："寡人闻吴有干将，越有欧冶子，此二人寡人愿赍邦之重宝，皆以奉。子因吴王请此二人为铁剑，可乎？"风胡子曰："善。"于是，乃令风胡子之吴见欧冶子、干将，使之为铁剑。欧冶子、干将凿茨山，泄其溪，取其铁英为剑三枚：一曰龙渊，二曰太阿，三曰工市。剑成，风胡子奏之楚王。楚王见之，精神太悦。见风胡之问之曰："此三剑其名为何？"风胡子曰："一曰龙渊，二曰太阿，三曰工市。"楚王曰："何为龙渊、太阿、工市？"风胡子曰："欲知龙渊，观其状如登高山，临深渊。欲知太阿，观其锷巍巍翼翼如流水之波。欲知工市，观其锷从文间起至脊而

止，如珠而不可枉，文若流而不绝。”晋郑闻此三剑而求之不得，兴师围楚之城，三年不解。仓谷尽，库无兵革，于是引太阿之剑，登城而麾之，三军破败，士卒迷惑，流血千里，晋郑之头毕白。楚王于是大悦，曰：“此剑威耶？寡人力也。”风胡子对曰：“剑之威也，因大王之神。”楚王曰：“夫剑，铁耳。固能有精神如此乎？”风胡子曰：“神农以石为兵，黄帝以玉为兵，禹以铜铁为兵，天下皆服，此亦铁之神也，王之德也。”

又曰：阖闾冢吴县昌门外，名曰白虎丘。磐郢、鱼肠之剑在焉。十万人治之，葬三日，白虎居上，号曰虎丘。

又曰：伍子胥走吴，至江上，见渔者曰：“来渡我。”渔者知其非恒人，即载入船。子胥即解其剑以与渔者曰：“吾人之剑，直百金，请以与子也。”渔者曰：“吾闻荆王有令曰：能得伍子胥者，购之千金。吾欲得荆王之千金，何以子百金之剑为？”渔者渡（千斧）[子胥]之津，曰：“亟餐而去，无令遣追者及子也。”子胥行，即覆船，伏匕首自刎而死。

《琴操》曰：聂政父为韩王冶剑，过期不成，王杀之。时政未生，壮问母，知之。乃上太山，遇仙人学鼓琴。漆身为厉，吞炭变音，七年琴成。入韩逢其妻，从置栉对妻而笑。妻泣曰：“君何似政齿？”政曰：“天下人齿相似。”反入山，援石击落其齿。以刀内琴中，刺韩王。

《列士传》曰：干将、莫耶为晋君作剑，三年而成。剑有雌雄，天下名器也。乃以雌剑献君，留其雄者。谓其妻曰：“吾藏剑在南山之阴，北山之阳，松生石上，剑在其中矣。君若觉，杀我，尔生男以告之。”及至，君觉，杀干将。妻后生男，名赤鼻，具以告之。赤鼻斫南山之松，不得剑，思于屋柱中得之。晋君梦一人眉广三寸，辞欲报仇。购求甚急。乃逃朱兴山中，遇客欲为之报，乃刎首。将以奉晋君，客令镬煮之头三日三日跳不烂。君往观之，客以雄剑倚拟君，君头堕镬中，客又自刎。三头悉烂，不可分别分葬之，名曰“三

王冢。"《列异传》曰：莫耶为楚王作剑，藏其雄者。《搜神记》亦曰：为楚王作剑。余悉同也。

《孝子传》曰：眉间赤名赤鼻，父干将，母莫耶。父为晋王作剑，藏雄送雌。母孕尺，父曰："男，当告之曰：出户望南山，松(上)[生]石上，剑在其巅。"及产，果男。母以告之。尺破柱得剑，欲报晋君。客有为报者，将尺首及剑见晋君。君怒，烹之，首不烂。王临之，客以拟王，王首堕汤中，客因自拟之。三首尽糜不分，乃为三冢，曰"三王冢"也。

《文士传》曰：魏文帝爱杨修才，修诛后追忆修。修曾以宝剑与文帝，文帝后佩之，告左右曰："此杨修剑也。"

周斐《先贤傳》曰：许嘉给县功曹仪小吏，常持剑侍臣功曹，月朔晨朝并持炬火。嘉于是忿然叹曰："男儿为吏，不免贱役。"即投火于地，以剑带槐树趋谒府门。

《南记》曰：魏应字尹伯，任城人。明鲁诗，章帝重之。数进见论难于前，特受赏赐剑玦衣服。

《先贤行状》曰：王烈字彦考，通识达道。时国中有盗牛者，牛主得之，盗者曰："我邂逅迷惑，从今已后将改过。子既已赦宥，幸无使王烈闻之。"人有以告烈者，烈以布一端遗之。或问："此人既有盗畏君闻之，反与布，何也？"烈曰："昔秦穆公人盗其骏马，食之，已而赐之酒。盗者不爱其死以救穆公之难。今此盗人能悔其过，惧闻之，知是耻恶则善心将生，故与布劝为善也。"一年之中，行路老父担重，人代担行数十里，欲至家，置而去。问姓字不以告。顷之，老父复行，失剑于路，有人行而遇之，欲置而去，惧后人得之，剑主永失所取，而购募或能差错，遂守之。至暮，剑主还，见之，前者代担人也。老父揽其袂曰："子前者代吾担，不得姓名，今子复守吾剑于路，未有若子之仁，子请告吾姓名，将以告王烈。"乃语之而去。老父以告烈，烈曰："世有仁人，吾未见之。"使人见之，乃昔时盗牛人也。

《雷焕别传》曰：焕字孔章，鄱阳人。善星历卜占。晋司空张华夜见异气起斗牛，华问焕"见之乎？"焕曰："此谓宝剑气。"华曰："时有相吾者云：君当贵绕身佩宝剑。此言欲效矣。"乃以焕为丰城令。焕至县，移狱掘入三十余尺，得青石(亟)[函]一枚，中有双剑，文采未甚明。焕取南昌西山黄白土用拭剑，光艳照耀。乃送一剑并少黄土与华，自留一剑。华得剑并土曰："此干将也，莫耶已复不至，而天生神物，终当合耳。"乃更以华阴赤土一斤送与焕。焕得磨剑，鲜光愈亮。及华诛，剑亡，玉匣莫知所在。后焕亡，焕子爽带剑经延平津，剑无故堕水。令人没水逐觅，见二龙长数丈盘交，须臾，光彩微发，曜日映川。

《说苑》曰：经侯往过魏太子，左带玉具剑，右带环佩，左光照右，右光照左。

又曰：西门过渡河而溺焉。能说诸侯，过曰："干将莫耶拂钟不铮，以之摄履，曾不如两钱之锥。"铮，楚庚切。

又曰：齐遣淳于髡到楚。髡为人头小，楚王甚薄之。谓曰："齐无人耶？而使子来，子何长也？"髡对曰："臣无所长，腰中七尺之剑，欲斩无状王。"王曰："止。吾但戏子耳。"即与髡共饮酒。

《盐铁论》曰：所谓利兵者，非谓吴楚之铤、干将之剑也。以道德为城，以仁义为郭，莫之敢攻，莫之敢入，文王是也。以道德为胄，仁义为剑，莫之敢当，莫之敢御，汤武是也。今不建不攻之城、不可当之兵，而任匹夫之役，而行三尺之刃，亦细矣。

魏文帝《典论》曰：余好击剑，善以短乘长。选兹良金，命彼国工，精而炼之，至于百辟。其始成也，五色骇炉，巨橐自鼓。

又曰：建安二十四年二月丙午，魏太子丕造百辟宝剑，长四尺二寸，重一斤十有五两，淬以清漳，厉以礛音监。礎，音诸。饬以文玉，表以通犀，光似流星，名曰"飞景"。礛礎，青砺石也。

《世说》曰：王子乔墓在金陵。战国时，人有盗发之者，睹无所见，惟有一剑停在室中。欲进取之，剑作龙鸣虎吼，遂不敢近，俄

而，径飞上天。

又曰：钟会是荀济北从舅，二人情好不协。荀有好宝剑，可直百万，常在母鍾太夫人许。会善书，学荀手迹作书与母取剑，仍窃去不还。荀深知是钟，无求得，求思所以报之。钟会兄弟共以千万起新宅，始成，甚精丽，未得移住。荀善画，于是潜往画钟门堂并作太傅形象，衣冠状貌如平生。二钟来入门，便大感恸。于是，宅遂空废。

陶弘景《刀剑录》曰：夏禹字高密，在位十年。以庚(戌)[戌]八年铸一剑，长三尺九寸，后藏于会稽秦望山。腹上刻二十八宿文，有背面，面记星辰，背记山水日月。

又曰：启子少康在位二十九年。岁次辛卯三年春，铸一铜剑，上有八方面，长三尺一寸，头方。

又曰：孔甲在位四十年。以九年岁次甲辰，采牛头山铁铸一剑，铭之曰“夹”，古文篆，长四尺一寸。

又曰：太田在位三十二年。以四年岁次甲子铸一剑，长二尺九寸，文曰“定光”，古文篆书。

又曰：武丁在位五十九年。岁次戊午铸一剑，长三尺，铭曰“照胆”，大篆书。

又曰周昭王瑕在位五十一年。二年岁次壬午，铸五剑，各投五岳镇方岳。大篆书，长五尺。

又曰：简王夷在位十四年。岁次癸酉铸一剑，铭曰“日骏”，长三尺，大篆书。

又曰：秦昭王在位五年。元年丙午铸一剑，长三尺。铭曰“诫”，大篆书。

又曰：始皇在位三十七年。三年丁巳采北祇铜铸二剑，铭曰“定秦”。李斯小篆书，李斯刻。一口埋在阿房阙下，一口埋在日观台。长六尺。

又曰：前汉刘季在位十二年。季以始皇三十四年于南山得一

铁剑，长三尺，小篆书铭曰“赤霄”。及贵，常服之。此即斩白蛇之剑也。

又曰：文帝恒在位二十三年。以初元十九年庚午铸三剑，各长三尺三寸，铭曰“神龟”，形以应大横之兆。帝崩，命入玄宫。

又曰：武帝彻在位五十四年。以元光五年乙巳铸八剑，各长三尺六寸，铭曰“八服”，小篆书。嵩霍衡华太山皆埋之。

又曰：宣帝询在位二十五年。太始四年铸两剑，各长三尺。一曰毛，二曰贵，以应足下毛之祥。皆小篆书。

又曰：平帝衍在位五年。元始元年辛酉掘得一剑，上有帝名，因服之。大篆书。

又曰：新室王莽在位十八年。建国五年庚午造威斗及神剑，皆炼五石为之。铭曰“神胜万国伏”。小篆书。长三尺六寸。

又曰：刘更始圣公在位二年。自选一剑，铭曰“更国”，小篆书，

又曰：后汉光武刘秀在位三十三年。未贵时，在南阳鄂水中得一剑，文曰“秀霸”，小篆书。帝服之。

又曰：汉明帝在位十八年，元和元年戊午铸一剑，上作龙形，沉之于洛水。洛水清，往往有人见。

又曰：章帝炟在位十三年。建初八年铸一金剑，投之伊水中以厌腺人之怪。弘景按：《水经》伊水有一物如人腺头，有人浴辄引之投水。

又曰：安帝祐在位十九年。永初七年铸一剑，藏峨嵋山，拟山王也。

又曰：顺帝宝在位十九年。永建元年铸一剑，长三尺四寸，小篆书，铭曰“安汉”。后遂为年号。

又曰：灵帝宏在位二十二年。以建和三年铸四剑，名曰“中兴”。一剑无故而失。

又曰：（曹）〔魏〕武帝曹操以建安二十年于谷中得一剑，三尺六寸，上有金字铭曰：“孟德王常服之。”

又曰：齐王芳正始六年造一剑，常服之。无故失其刃，但有空匣。

又曰：吴主孙权黄武五年采武昌山铜铁作十口剑、万口刀，各长三尺九寸。刀头方皆是南钢越炭作之，上有"大吴"篆字。

又曰：吴孙权赤乌中有人得淮阴侯韩信剑，帝赐周瑜。

又曰：孙亮建兴二年铸一剑，铭曰"流光"，小篆书。

又曰：孙皓建初元年铸一剑，铭曰"皇帝吴主"，小篆书。

又曰：蜀后主刘禅延熙二年造大金剑，长一丈二尺，镇剑口山。往往人见辉光，后人处处求觅不得。

又曰：宋刘昱元徽二年于蒋山顶造一剑，铭曰"永蜀"，小篆书。

又曰：蜀主刘备章武元年辛丑采金牛山铁铸八剑，各长三尺六寸。一备自佩，一与太子，一与梁王理，一与鲁王永，一与诸葛亮，二与张飞关羽，一与赵云。并是亮书作风角处所。

又曰：晋怀帝名炽，永嘉元年造一剑，长五尺，铭曰"步光"，篆字。

又曰：东晋司马衍咸和元年造剑十三口，铭曰"兴国"。

又曰：东晋司马昌明太元十年于金华山顶埋一剑，铭曰"神剑"。

又曰：后魏道武帝登国元年于阿理铸二剑，一铭曰"镇山"。一铭曰"沉水"，并隶书。

又曰：明元帝以太常元年造一剑，长四尺，铭背曰"太常"。

又曰：太武帝至真君元年，有道士继天师自为帝造剑，因改元为真君。剑长三尺六寸，隶书。

又曰：梁武帝萧衍天监元年即位，至普通中岁在庚申，命弘景造神剑十三口。用金、银、铜、铁、锡五色合为此剑。长短各依剑洞术法。一曰凝霜，道家三洞九真，剑上刻真人玉女名字。二曰宫仪，备斋六宫，有剑神名，无刃，刻宫宿星，皇后服之。三曰摛光，备非常御斩刺，长三尺六寸，上刻风伯雨师形名。四曰九天，出军行

师，君执授将，长五尺，金镂作蚩尤神形。五曰伐形，刻符箓道家登真图口诀，六甲神，长五尺。六曰四目，突宫闱茵披卧止小室帷帐中，长三尺五寸，七曰五威灵光，长二尺许，半身有刃，上刻星辰北斗天市天魁二十八宿，服此除百邪魑魅，去厌即伏用之。八曰风乌，有恶鸟鸣，起镇之；上有黄帝咒法，禹步形势用之。九曰司命，行刑煞罚者执之，赐万姓自裁者。十曰礼剑，生畜男子弧矢穀剑则用之。十二曰永昌，镇国安社用之，长七尺。十三曰闰剑，长六尺。所以作十三口象闰月故也。取上元甲子时加斗魁，加岁正月旦合，合之取风雷雨震，日止环偏，长八寸，文曰“服之者永治四方”，小篆文。

太平御览卷第三百四十四

兵部七十五

剑　下

《吕氏春秋》曰：伍员如吴。过于荆，至江上，欲涉，见一丈人刺小船方将渔，从而请焉。丈人(刺)度之。已绝江，问其名族则不肯告。解其剑以与丈人，曰："千金剑也，愿献之丈人。"丈人不受，曰："荆国之法得伍员者爵执圭，禄万石，金千镒。昔者子胥过吴，尚犹不取，今我何用子之千金剑为乎？"伍员过于吴，使人求之江上，则不从得。每食必祭之，祝曰："江上之丈人，天地至大矣！将奚不有，名不可得而闻，身不可得而见？"

又曰：相剑者曰："白所以为坚也，黄所以为纽也，黄白杂则坚且纽，良剑也。"难者曰："白所以不为纽也，黄所以为不坚也，黄白杂则不坚且不纽。又柔则铣，坚则折，剑折且铣，焉得为利剑？"剑之精未革，而或以为良，或以为恶，说使之也。故有以聪明听说，则妄说者止；无以聪明听说，则尧桀无别矣。此忠臣之所患，贤者之所以废也。

又曰：荆有次非者，一作攸。得宝剑于干遂。干遂，邑名。还反涉江至于中流，有两蛟夹绕其船。次非谓舟人曰："汝尝见两蛟夹舟而舟中之人有全活者乎？"舟人曰："未之见也。"次非曰："若如是，吾固江中腐肉朽骨耳，弃剑而已，余何爱焉。"遂攘臂祛衣，拔剑赴江刺蛟，杀之而复上，舟中之人皆获全。荆王闻之，仕以执圭。《周礼》："侯执信圭。"楚以次非为勇武侯。孔子闻之，曰："腐肉朽骨犹能除害，见几哉！"

又曰：剑不徒断，车不自行，或使之也。

又曰：楚(王)[人]有人涉江者，其剑自舟中坠于水，遽契其舟。曰："是吾剑之所从坠也。"舟止，从其所契者入水求之。舟已行矣，而剑不行，求剑若此，不亦惑乎。

《龙鱼河图》曰：流洲在西海中，地方三千里，上多山川，积石名为昆吾石。冶其石为铁作剑，光明照洞如水精，以割玉如土。

又曰：剑名飞杨。

《山海经》曰：蛟鱼皮有珠文而坚，可以饰刀剑口。

又曰：汲郡冢中得铜剑一枚，长三尺五寸。今所名干将剑。明古者通以锡铜为兵器。

又曰：有君子之国，其人衣冠带剑。

《广雅》曰：断蛇、鱼肠、纯钩、燕支、蔡偷、属镂、千胜、堂谿、墨阳，并剑名也。

周迁《舆服杂事》曰：剑所从来久矣，其后惟朝服带剑。晋朝代之以木，贵者玉饰首，贱者以蚌、金、银、玳瑁为雕饰。

张敞《晋东宫旧事》曰：太子仪饰有玉头剑。

《古今注》曰：吴大帝的宝剑六，一曰白虹，二曰紫电，三曰辟邪，四曰流星，五曰青冥，六曰百里。

《十洲记》曰：流洲在西海中，上有山川，积石为昆吾。冶其石成铁作剑，光明照如水精状，割玉如泥。

《汉武内传》曰：王母带分景之剑，上元夫人带流黄择精之剑。

《神仙传》曰：真人去世，多以剑代形。五百年后，剑亦能灵化。其验矣。

《西京杂记》曰：汉高祖斩蛇剑以七彩珠、九华玉为饰，五色瑠璃为匣，刃上常如霜雪，光景照外。开囊拔鞘，辄有风气射人。

《拾遗记》曰：颛顼高阳氏有画影剑、腾空剑，若四方有兵，此剑则飞赴指其方则克。未用时，在匣中常如龙虎吟。

又曰：越王勾践使工人以白牛白马祀昆吾山神，以成八剑。一

名掩日，以之指日则日光昼暗。金者阴物也，阴盛则阳灭。二曰断水，画水开即不合。三曰转魄，指月蟾兔为之倒转。四曰悬剪，飞鸟游遇触其刃如斩截焉。五曰惊鲵，以之沉海，鲸鲵为之深入。六曰灭魂，扶以之夜行，不遇魑魅。七曰却邪，有妖魅见之则止。八曰真刚，以之切玉断金，如刻削土木矣。以应八方之气也。

雷次宗《豫章记》曰：吴未亡，恒有紫气见于牛斗之间。占者以为吴方兴，惟张华以为不然。及平，此气逾明。张华闻雷孔章妙达纬象，乃要宿，屏人问天文将来吉凶。孔章曰："无他象，惟牛斗之间有异气，是宝物之精，上彻于天耳。""此气自正始嘉平至今日，众咸谓孙氏之祥，惟吾识其不然。今闻子言，乃玄与吾同。今在何郡？"曰："在豫章丰城。"张遂以孔章为丰城令。至县，移狱掘二丈得玉匣，长八九尺，开之得二剑，一龙渊，二即太阿。其夕牛斗气不复见。孔章乃留其一，匣龙渊而进之。剑至，张公于密[室]发之，光焰鞞锋，焕若电发。后张遇害，此剑飞入襄城水中。孔章临亡，诫其子恒以剑自随。后其子为建安从事，经浅濑，剑忽于腰中跃出。初出犹是剑，入水乃变为龙，逐而视之，见二龙相随而逝焉。孔章曾孙穆之犹有张公与其祖书反复，桑根纸古字。县后有掘剑窟，方广七八尺。

《搜神记》曰：东越门中有岭高数十里，下北隰中有大蛇，长七八丈，大十余围。常病都尉及长吏。下梦巫觋，欲得童女。常八月朝祭送，蛇辄吞之，已用九女。(季)[李]诞有小女名寄，应(募)[募]而行。乃请好剑、咋蛇(大)[犬]，作数斛(深)[米瓮]，(密)[蜜]灌之，以置穴口。蛇出，头大如(囷)[困]，目如二尺镜，先啖(深)[瓮](密)[蜜]。寄便放犬咋蛇，以剑斫杀。得九女髑髅。越王乃娉寄为后。

又曰：会稽贺瑀字彦琚，得疾不知人，惟心下温。二日苏，云："吏已将上天，入曲房，房中有层架，其上层有印，中层有剑，使瑀惟意所取。而短不及上层，取剑而出。门吏曰：'恨不得印，可策百

神，剑惟得使社公耳。'"

《异苑》曰：吏惠帝元康三年，武库火，烧孔子履、高祖斩白蛇剑、王莽头等三物。中书监张茂先惧难作，列兵陈卫，咸见此剑穿屋飞出，莫知所向。

《辛氏三秦记》曰：三月三日，秦昭王置酒河曲，有神人自泉而出，捧水心剑，曰："令君制有西夏。"

《老子》曰：服文彩，带利剑。

又曰：善摄生者兵无所容其刃。

《庄子·说剑篇》曰：昔赵文王喜剑，剑士侠门而客三千余人，日夜相击于前，死伤者岁百余人，好之不厌，如是三年国衰，诸侯谋之。太子悝患之，募左右曰："孰能说王之意，止剑士者奉千金。"左右曰："庄子(富)能。"太子使人奉千金，庄子弗受，与使者皆往见太子曰："闻太子欲用周者绝王之喜好也。"太子曰："然。吾王所见者惟剑士也。"庄子曰："诺。周善为剑。"太子曰："吾王所好剑士也，蓬头突鬓，垂冠缨胡之缨，短后之衣，瞋目而语难，王见说之。今夫子必儒服见王，事必大逆。"庄子请治剑服。三日，太子乃见王。王脱白刃待之。庄子入殿门不趋，见王不拜，王曰："子欲何以教寡人，使太子先焉？"曰："臣闻大王喜剑，故以剑见王。"王曰："子之剑何能禁制。"曰："臣之剑十步一人，千里不留行。"王大悦，曰："天下无敌矣。"庄子曰："夫为剑者，示之以虚，开之以利，后之以发，先之以至，愿得试之。"王曰："夫子休，就舍待命，设戏请夫子。"王乃校剑士，七日七夜死伤者六十余人，得五六人，使捧剑于殿下，乃召庄子。王曰："今日使剑士交剑。"庄子曰："望之以久矣。"王曰："夫子御杖长短如何？"庄子曰："臣之所奉皆可。臣有三剑，惟王所用，请先言而后试。"王曰："愿闻三剑。"曰："有天子之剑，有诸侯之剑，有庶人之剑。"王曰："天子之剑何如？"曰："天子之剑以燕溪石城为锋，齐岱为锷，晋卫为脊，周宋为镡，韩魏为铗，苞以四夷，裹以四时，统以渤海，带以常山，制以五行，论以刑德，开以阴阳，持以春

夏，行以秋冬。此剑直之无前，举之无上，按之无下，运之无旁，上决浮云，下绝地纪。此剑一用匡诸侯，天下服矣。此天子之剑也。"文王(芒)[茫]然自失，曰："诸侯之剑如何?"曰："诸侯之剑以智勇士为锋，以清廉士为锷，以贤良士为脊，以忠圣士为镡，以豪杰士为铗。此剑直之(以)[亦]无前，举之亦无上，按之亦无下，运之亦无旁。上法圆天以顺三光，下法方地以顺四时，中和人意以安四乡。此剑一用如雷电之震也，四封之内无不宾服而听从君命者。此诸侯之剑也。"王曰："庶人之剑如何?"曰："庶人之剑蓬头突鬓，垂冠缨胡之缨，短后之衣，瞋目而语难，相击于前，上斩颈颔，下决肝肺。此无异斗鸡，一旦命已绝矣，无所用于国事。今大王有天子之位，而好庶人之剑，臣窃为大王薄之。"王乃牵而上殿，宰人上食，王三环之。庄子曰："王安坐定气，剑事毕矣。"于是，文王不出宫三月，剑士皆伏毙其处矣。

又曰：干越之剑，匣而藏之，不敢轻用，宝之至也。

又曰：大冶铸金，金踊跃曰："我必为莫耶。"

《烈子》曰：魏黑卯以匿嫌杀(兵)[丘]邴章，匿嫌，私恨也。邴章之子来丹谋复父仇，而丹气甚猛，其形甚露。露，羸。耻假力于人，誓以手剑。而黑卯力抗百人，非人类也。其视来丹犹雏鷇也。来丹之友申抱曰："子怨黑卯至矣，黑卯之易子过矣，将奚谋焉?"来丹垂涕曰："愿子为我谋。"申抱曰："吾闻卫孔周其祖得殷之宝剑，(三)[一]童子服之，却三军之众。奚不请为?"来丹适卫，见孔周，执仆礼，请先纳妻子，后言所欲。周曰："吾有三剑，惟子所择，而皆不能杀人。且先言其状：一曰含光，视之不可见，运之不知[有]，其所触，泯然无际，经物而不觉。二曰承影，将旦昧爽之交，日夕昏明之际，北面察之，淡淡焉若有物存，莫(有)[识]其状。其触物也，窃然有声，经物而物不疾。三曰宵练，昼则见影而不见光，夜方见光而不见形。其触物，骋然而过，骋，音(休聘)[霍骋切]。随过随合，觉疾而不血刃。此三宝剑，传之十三世矣，而无施于事，不能害物。匣而

藏之，未尝启封。”来丹请其下者，孔周乃归其妻子，跪而授其下剑。丹再拜受之。执剑从黑卯。[黑卯]醉，偃卧牖下，自颈至腰三斩，黑卯不觉。丹以黑卯死，趣而退。遇卯子于门，又击之三下，如接虚。卯子方笑。丹知剑不能煞人也，叹而归。卯醒，怒妻子[曰]："醉而覆我，使我嗌疾而腰急。"其子曰："丹之来，过于门，三招我，亦使我体疾而支强。彼其厌我哉?"

又曰：宋有兰子者以数干宋元君，弄七剑迭跃之，五剑常在空中。元君大惊，立赐金帛。

又曰：周穆王征西戎，戎献昆吾之剑，赤刀切玉如切泥。

《管子》曰：昔葛大卢之山发而出金，蚩尤受而制之，以为剑铠，此剑之始也。

又曰：羽剑珠饰者，斩生之斧也。

《墨子》曰：良剑期乎利，不期乎莫耶。

《孙卿子》曰：干将莫耶，巨阙辟闾，皆古之良剑也。

《尉缭子》曰：吴越临战，左右进剑。

《吴子》曰：夫提鼓挥抒，临难决疑，接兵用刃，此将军也。一剑之任，非将军事也。

又曰：一贼铗剑击于市，万人无不触辟者。臣以为非一人独勇，一市万人皆不肖。

《尸子》曰：水试断鹄雁，陆试断牛马，所以观良剑也。

《燕丹子》曰：荆轲左手把秦王袖，右手椹音砧。其胸。秦王曰："今日之事从子计耳。乞听琴声而死。"召姬人鼓琴，声曰："罗縠单衣可裂(司徳状拜二)而绝，八尺屏风可超而越，鹿卢之剑可负而拔。"王于是奋袖超屏风而走，荆轲掷剑中铜柱焉。

《淮南万毕术》曰：拔剑倚户，儿不夜惊。

又曰：夫淳剑鱼肠之始，下夫击则不能断，刺则不能入。高诱注曰：鱼肠，文绕屈譬若鱼肠。

又曰：剑工或剑之似莫耶者，惟欧(治)[冶]能名其种。欧(治)

[冶]，良工也。玉工眩玉之似碧卢者，惟猗顿不失其情。碧卢，或作武夫。猗顿，鲁之富人，能知玉理，不失其情也。

《抱朴子》曰：欧(冶)[冶]不能铸铅锡为干将。

《符朗子》曰：符朗弃千金之剑，抱朴子趋曰："何夫子弃大而存小乎?"符朗不应。

《贾子》曰：古者天子二十而冠，带剑。诸侯三十而冠，带剑。大夫四十而冠，带剑。隶人不得冠，庶人不带剑。

《亢苍子》曰：蜚景之剑，威集白日，气成紫霓，以之封获，则与剿俱卫切。刃也无择，蜚景，神剑也。剿，镰也。神剑虽利，以之获(陷)[稻]，犹(司)[同]于镰刀者也。及夫凶邪流毒沸渭不靖，加之运掌之上，千里之内不留行矣。凶邪流毒，(温)[瘟]疫之气也。此神剑之能辟凶邪，故威光所行，千里之内未尝留止者也。

宋玉《大言赋》曰：长剑倚天外。

班固《幽通赋》注曰：卫灵太子蒯聩为无道，好带长剑，长一丈。公炼乃作短者，长一尺。公知不可以传国，乃逐之。

《魏都赋》曰：剑则流彩之珍，素质之宝，或虹蔚波映，或龟文龙藻，服之可以威百蛮，指麾可以开昏扰。

《古诗》曰：腰中鹿卢剑，可直千万余。《博物志》曰：剑后(击)鹿卢名曰属镂。

又曰：何意百炼钢，化为绕指柔。

班固诗曰：宝剑直千金。

又曰：延陵轻宝剑。

曹子建诗曰：拊剑西南望。

江文通诗曰：倚剑临八荒。

宋鲍昭诗曰：双剑将别离，先在匣中鸣。雌沉吴江里，雄飞入楚城。吴江深无底，楚关有崇扃。一为天地别，岂直限幽明。神物终不隔，千祀倘还并。

梁吴均《咏宝剑诗》曰：我有一宝剑，出自昆吾溪。照人如照水，切玉如切泥。锷边霜凛凛，匣上风凄凄。寄语张公子，何当来

见携。

梁崔鸿《咏剑诗》曰：宝剑出昆吾，龟龙夹采珠。五精初献术，千户竞论都。匣气冲牛斗，山形转鹿卢。欲知天下贵，持此问风胡。

曹植《七启》曰：步光之剑，越剑名。华藻繁缛。饰以文犀，雕以翠绿。缀以骊龙之珠，错以荆山之玉。陆断犀象，未足称隽。随波截鸿，水不渐刃。

张景阳《七命》曰：楚之阳剑，欧冶所营。阳，剑名也。耶溪之挺，赤山之精。销逾羊头，羊头骨销之也。镆以锻成。乃炼乃铄，万辟千灌。皆销练名。丰隆奋椎，飞廉扇炭。神气化成，阳文阴缦。既亦流绮星连，浮彩艳发，光如散电，质如曜雪，霜锷冰凝，水刃霜絜，形冠豪曹，名珍巨阙。指郑则三军白首，麾晋则千里流血。岂徒水截蛟鸿，陆洒奔驷。断浮翻以为三，绝重甲而称利。

又曰：若其形震薛烛，光骇风胡，价兼三乡，声贯两都。或驰名倾秦，或夜飞去吴，功冠万载，威曜无穷。挥之者无前，拥之者身雄。可以从服九国，横制八戎，爪牙景附，亟夏承风，此盖希代之神兵也。

《楚辞》曰：执棠溪棠溪，剑名。以拂蓬，秉干将以割肉。

又曰：抚长剑兮玉珥。珥，剑也(镡)。

又曰：余幼好此奇服，年既老而不衰。带长铗之陆离，冠青云之崔巍。高貌。

后汉公孙瑞《剑铭》曰：天生五才，金德惟刚。从革作辛，含景吐商。辨物利用，勋伐弥彰。暨彼良工，欧(治)[冶]干将。爰造宝剑，巨阙墨阳。精通皓灵，获兹休祥。剖山竭川，虹霓消亡。昭威耀武，震动遐荒。楚以定霸，越以取强。

晋裴景声《文身剑铭》曰：器以利显，实以名举。长剑耿介，体文经武。陆断玄犀，水截轻羽。九功斯像，七德是辅。

晋张协《太阿剑铭》曰：太阿之剑，世载其美。淬以清波，敛以

越砭。如玉斯曜，若景在水。不运自肃，率土从轨。

梁简文帝《谢敕赍方诸剑等启》曰：才发玉函，雕奇溢目。始开牙捡，丽饰交陈。已正丹霞之晖，乍比青云之制。身文且贵，器用惟宜。寒暑兼华，左右相照。

梁沈约《为东宫谢敕赐孟尝君剑启》曰：田文重气殉名，四豪莫及。宝剑雄身，故能威陵秦楚。人高事远，遗物足奇。谨加玩服，以深存古。

太平御览卷第三百四十五

兵部七十六

刀 上

《释名》曰：刀，到也。以斩伐到其所，乃击之也。其末曰锋，言若蜂刺之毒利也。其本曰环，形似环也。其室曰削，削，峭也。其形峭壳，裹刀体也。室口之饰曰琫，琫，捧也；捧来口也。下末之饰曰珌，珌，卑也；在下之言也。短刀曰拍髀，带时拍体旁也。

又曰：露拍，言露见也。佩刀，在佩旁之刀也。或曰容刀为刀形，而几刃，备容仪而已。剪刀，剪进前也。书刀，给书简札有所刊削之刀也。封刀、铰刀，皆随时名之也。

《说文》曰：刀，兵也，象形也。刓五各切。刀，剑刃也，削髀也。欹剔，曲刀也。髀，布顶切。欹，居绮切。剔，居卫切。

《字林》曰：琫，佩刀下饰也。天子以玉，诸侯以金。珌，佩刀饰也。

《太公兵法》曰：刀之神名曰脱光。

《尚书》曰：赤刀、大训、弘璧、琬琰，在西序。孔安国注曰：宝刀、赤刀，削也。大训，虞书也。

《诗》曰：执其鸾刀。

又曰：何以舟之？维玉及瑶，鞞琫容刀。舟，带也。

《礼记》曰：割刀之用，鸾刀之贵，贵其义也。

《左传》曰：子皮欲使尹何为宰，子产曰："犹未能操刀而使割也。"

《谷梁》曰：孟劳，鲁之宝刀也。

《论语》曰：孔子之武城，闻弦歌之声。夫子莞尔而笑曰："割鸡焉用牛刀。"

《春秋繁露》曰：礼之所为兴也。刀之在右，白虎之象也。

《春秋演孔图》曰：八政不中，则天雨刀。

《史记》曰：郭解姊子负解之势与人饮，使之酹，子削切。非其任，强灌之。人怒，拔刀刺杀解姊子，亡去。

《汉书》曰：昭帝遣李陵故人陇西任立政等三人俱至匈奴招陵。立政等至，单于置酒赐汉使者，李陵、卫律皆侍坐。立政等见陵未得私语，即目视陵而数自循其刀环握其足。阴谕之言可归汉也。

又曰：龚遂为渤海太守，民有带持刀剑者，使卖剑买牛，卖刀买犊。可为带牛而佩犊者也。

又曰：盖宽饶奏事，上以为怨谤，下吏。宽饶引佩刀自刭北阙下，众莫不怜之。

又曰：李广利为贰师将军，征大宛。军中无水，拔佩刀刺山，飞泉涌出。

又曰：王尊为东平王相。王曰："愿观相国佩刀。"尊前引刀视王。

《后汉书》班固与弟超书曰：窦侍中遗仲升楚腾陵错横刀玢皁音皂。削一枚，金错半垂刀一枚。

又曰：河南尹朱隽为董卓陈军事，卓折隽曰："我百战百胜，决之于心，卿勿妄说，且污我刀。"

《续汉书·舆服志》曰：佩刀乘舆，黄金通身，雕错半蛟，鱼鳞金染，错雌黄，室五色。诸侯黄金错环，狭半枚墨室。公卿百官皆淳墨不半（杖）[枚]。小黄郎雌黄室。中黄门郎朱室。童子皆虎爪文。虎贲黄室虎文。其将白虎文。皆以白珠蛟为标口之饰，乘舆加翡翠山纡缨其侧。

谢承《后汉书》曰：丹阳方储为郎中。章帝使文郎居左，武郎居右，储正住中曰："臣文武兼备，在所用施。"上嘉其才，以繁乱丝付

储使理之。储拔佩刀三断之，对曰："反经任势，临事宜然。"

又曰：应奉得赐金错把刀。

《东观汉记》曰：朱晖字文季，年十三，与舅母家属入宛城。道遇贼，欲夺妇女衣。晖拔刀曰："钱物可得，诸母衣不可夺。今日朱晖死也。"贼义之，笑曰："童子内刀。"遂放遣。

又曰：赐邓遵金对鲜卑缇带一具，金错刀五十，辟把刀、墨再屈环横刀、金错屈尺八佩刀各一。

又曰：祭遵袭略阳，遣护军王忠皆持卤刀斧伐树开道，至略阳，袭隗嚣。

又曰：班超曰："臣乘圣威神，出万死之志，冀立铅刀一割之用。"

又曰：马严为陈留太守。建初中，严病，遣功曹史李袭奉章诣阙。上亲召见袭，问疾病形状，以黄金十斤，佩刀、书刀、革带付袭赐严，遣太医送方药。

又曰：张步攻耿弇营，飞矢中弇股，以佩刀截之，左右无知者。

《献帝春秋》曰：越骑校尉汝南伍孚忿董卓无道，欲身自杀之，挟佩刀诣卓。孚语毕辞出，卓至阁执手，孚因引刀刺卓。卓多力，却不中。即杀孚。

《英雄记》曰：董卓谓袁绍曰："刘氏种不足复遗。"绍勃然曰："天下健者岂惟董公？"横刀长揖径出，悬节于上东门而奔冀州。

《汉魏春秋》曰：刘琮乞降，不敢告备，备亦不知。久而觉之，遣所亲问琮。琮令宋忠诣备宣白。是时曹公在宛，备乃惊骇，谓忠曰："卿诸人作事如此，不早相语，今祸至告我，不亦大剧乎！"引刀向忠曰："今断卿头，诚不足以解忿，亦耻大丈夫，临别复杀卿辈也。"

《魏志》曰：王祥事后母至孝。后母嫉之，伺祥卧以刀斫之，值祥出外，持刀斫着被。祥知，不言如故。

又曰：许褚从讨袁绍于官渡时，常从士徐他等谋为逆，以褚常侍左右，惮之不敢发。伺褚休下日，他等怀刀入。褚至下舍，心动

即还侍。他等不知，入帐见褚，大惊愕。他色变，褚觉之，即击杀他等。太祖益亲信之，出入同行，不离左右。

又曰：典韦，陈留人。形貌魁梧，(旅)[膂]力过人，好节侠。襄邑刘氏与睢阳李礼为仇，韦为报之。礼故富春长，备怨甚谨。韦乘车载鸡酒伪为候者，门开，怀匕首入杀礼，并杀其妻。徐出取车上刀戟步去。礼居近市，一市尽骇。追者数百，莫敢近之。

魏武帝令曰：往岁作百辟刀五枚，适成，先以一与五官将。其余四，吾诸子中有不好武而文学，将以次与之。

《吴志》曰：孙坚至钱塘，会海贼掠贾人。坚行操刀上岸，以手东西指麾，若分部人兵以逻遮收贼。贼望见以为官兵捕之，即委财物散走。

又曰：孙权以公孙渊称蕃，遣张弥、许晏至辽东拜渊为燕王。张昭谏切，权不能堪，按刀而怒曰："吴国士人入宫则拜孤，出宫则拜君。孤之敬君，亦为至矣。而数于众折孤，孤常恐失计。"昭熟视权曰："臣虽知言不见用，而每竭愚忠者，诚以太后临崩呼老臣于床下，遗诏顾命之言故耳。"因泣涕横流。权掷刀置地，与昭对泣。

《吴书》曰：凌统怨甘宁杀其父操。宁常备，统不得雠之。尝于吕蒙舍，会酒酣，统乃以刀舞。宁起曰："宁能双戟舞"。蒙曰："宁虽能，未若蒙之巧也。"因操刀持盾以身分之。后权知统意，因令宁将兵徙屯。

《江表传》曰：孙权拔刀斫前奏案曰："诸将吏敢复有言当迎曹操者，与此案同。"

《蜀志》曰：初，孙权以妹妻先主。妹才捷刚猛，有诸兄风。侍婢百余人，皆亲执刀侍立。先主每入，心常慄慄。

王隐《晋书》曰：卫瓘监军。护军钟会素与瓘至厚，坐则同床，行则同舆。会书板上欲杀胡烈等示瓘，瓘言不可。会自削弃，反问瓘何许闻消息，相疑益露。瓘厕上见烈，故给使令出语三军。会逼瓘不得议定。经宿不眠，各横刀膝上。

陆机《晋书》曰：王濬之在巴郡也，梦悬四刀于其上，甚恶之。濬主簿李毅拜贺曰："夫三刀为州，而见四刀为益，一也。明府其临益州乎？"后果为益州。

《晋中兴书》曰：初，魏徐州刺史任城吕虔有佩刀。工相之，以为必三公可服此刀，虔谓别驾王祥曰："苟非其人，刀或为害，卿有公辅之量，故以相与。"祥始辞之，固强乃受。祥为司空，祥死之日，以刀授弟览曰："吾儿皆凡，汝后必兴，足称此刀，故以相与。"览后奕世贤兴于江东。

又曰：孙恩者亦名灵秀，琅琊人。孙秀族也。世奉事北斗之道。恩叔泰，字敬远，师事钱塘杜子恭弟子。子恭有秘术，尝就人借瓜刀，其主求之，子恭曰："当送相还。"刀主行至嘉兴，有鱼跃入船中，破鱼得瓜刀。其为神效往往如此。

又曰：郭翻，武昌人，坠刀于水，路人为取。翻仍以与之。路人不取，至于三四，固辞。翻曰："尔尚不取，我岂能复得？"路人曰："我若取此，将为天地鬼神之所责矣！"翻知其终不受，复沉刀于水。路人怅然，乃复惊汲为取之。翻于是不逆其意，十倍刀价与之。其廉不受惠，皆此类矣。

《晋书》曰：元帝以刘琨为侍中太尉，其余如故，并赠名刀。琨答曰："谨当躬自执佩，馘截二虏。"

又《载记》曰：慕容翰北投宇文归，即而逃还，归乃遣劲骑百余追之。翰逼谓追者曰："吾既思恋而归，理无反面。吾之弓矢，汝曹足知，无为相逼自取死也。汝可百步竖刀，吾射中者，汝便宜反，不者可来前也。"归骑解刀竖之，翰一发便中刀环，追骑乃散。

又曰：赫连勃勃以叱干阿利领将作大匠，发岭北夷夏十万人，于朔方之北、黑水之南营起都城。勃勃自言："朕方统一天下，君临万邦，可以统万为名。"阿利性尤工巧，然残忍刻暴，乃蒸土筑城。锥入一寸即杀作者而并筑之。勃勃以为忠，故委营缮之任。又造五兵之器，精锐尤甚。既成呈之，工匠必有死者。射甲不入，即斩

弓人;如其入也,便斩铠匠。又造百炼钢刀,为龙雀大环,号曰"大夏龙雀",铭其背曰:"古之利器,吴楚湛卢。大夏龙雀,名冠神都。可以怀远,可以柔逋。如风靡草,威服九区。"世甚珍之。复铸铜为大鼓,飞廉,翁仲、铜驼、龙兽之属,皆以黄金饰之,列于宫殿之前。凡杀工匠数千,以是器物莫不精丽。

萧子显《齐书》曰:世祖武皇帝讳赜,字宣远。不豫,徙御延昌殿。乘舆始登阶,而殿屋鸣咤。上恶之,诏曰:"我识灭之后,身上着画天衣,纯乌犀导。常所服身刀长短二口铁环者,随我入梓宫。"

《北齐书》曰:綦毋怀文造宿铁刀,其法:烧生铁精以重柔铤,数宿则成钢。以柔(铤)[铁]为刀[脊,浴以五牲之溺,淬]以五特之脂,斩甲三十札。今襄国(治)[冶]家所铸宿铁柔铤,是其遗法也。[作]刀犹甚快利,但不能截[三十]札耳。

《梁书》曰:席阐文为西中郎中兵参军领城扃,梁武帝之将起兵,阐文劝颍曹同焉,仍遣客田祖恭私报帝,并献银装刀。帝报以金如意。

《梁书》曰:韩子高,会稽山阴人也。家本微贱。侯景之乱,寓都下。景平,陈文帝出守吴兴,子高年十六,为总角,容貌美丽,状似妇人,于淮渚附部伍寄载还乡里。文帝见而问曰:"能事我乎?"子高许诺。子高本名蛮子,帝改名之。性恭谨,恒执备身刀。

《唐书》曰:李嗣业,京兆高陵人也。身长七尺,壮勇绝伦。天宝初,随募至安西,频经战斗。于时诸军初用陌刀,业善用之,每为队头,所向必陷。

又曰:王及善,初除右千牛卫将军。高宗曰:"朕以卿忠谨,故与卿三品要职。他人非搜辟不得至朕所,卿佩大横刀在朕侧,知此官贵否?"

《河图》曰:怪目、勇敢、重瞳,天雨刀,楚之邦。宋均注曰:项羽。

《遁甲开山图》曰:神芝五色,生于名山之阴,五色云气覆之。其味甘苦,以铜刀收之。

又曰：霍山有玉石，芝生大石上。万人牵，终不拔，以竹刀割之即断。

太公《六韬》曰：大槍刀重一斤，长四尺，三百枚。

傅咸《奏事》曰：尚书旧奏给介士二百人，人给大铜口刀各一枚。

《博物志》曰：《周书》云："西域献火浣布，昆吾氏献切玉刀。"浣布汗，烧之则洁。切玉刀，切玉如泥。一云：切玉如蟹壳。布，汉魏世有献者，刀则未闻。

崔豹《舆服注》曰：吴大皇帝有宝刀三，一曰百炼，二曰青犊，三曰漏影。

《拾遗记》曰：帝解鸣鸿刀赐东方朔，朔曰："此刀，黄帝时采首阳之金铸为此刀。雄者已飞，雌者独在。"一出洞冥记。

《林邑记》曰：林邑王范文，先是夷奴。初，(收)[牧]牛洞中，得鲤鱼。私将还，欲食之。其主捡求，文恐。因曰："将砺石还，非鱼也。"主往看，果是石。文知异，看石有铁，铸石为两刀，咒曰："鱼为刀，若斫石入者，文当为此国王。"斫石即入，人情渐附之。

裴渊《广州记》曰：石林竹劲利，削为刀，切象皮如纤茅。

杨泉《物理论》曰：古有阮师之刀，天下之所宝贵也。阮之作刀，受法于金精之灵。七月庚辛，见金神于治监之门，其人光泽炜烁。向而再拜。神执其手曰："子可教也。"阮致之闲宴设馔而问焉。神教以水火之齐，五精之陶，用阴阳之候，取刚软之和。行其术三年，作刀千七百七十口，而丧其明。其刀平背、狭刃、方口、洪首，截轻微绝丝发之系，斫坚刚无变动之异。世不惜百金精求，不可得也。其次有苏家刀，虽不及阮家，亦一时之利器也。次有阳纪，赵、青间皆不能继。

虞喜《志林》曰：古人铸刀，以五月丙午取纯火精，以协其数也。

魏武帝《内戒令》曰：百炼利器，以辟不祥、摄服奸宄者也。

《搜神记》曰：宫亭湖孤石[庙]，有估客下都(径)[经]其下，见

二女子，云："可为买两量丝履，自厚相报。"估客至都，(有)[市]好丝履并箱盛之，自市一书刀亦在箱中。既还，以箱及香置庙中而去，忘取刀。湖中正汛，忽有鲤鱼跳入船中，破鱼得刀。

祖台[之]《志怪》曰：廷尉徐元礼嫁女，从祖与外兄孔正阳共诣徐家。道中有土墙，见一小儿裸身，正赤手持刀，长五六寸，坐墙上，磨甚驶，独语。因跳车上曲兰中坐，反复视刀，辄舐之。至徐家门前桑树下，又跳下坐灰中，复更磨刀。日晡，新妇就车中，见小儿持刀入室便刺新妇。新妇应刀而倒。扶还，解衣视心腹紫色如酒盘大，有顷便亡。鬼子出门舞，刀上有血，涂桑树，火燃，斯须烧尽。

《神异经》曰：南荒之中有如之何树，三百岁作华，九百岁作实。实有核，形如枣。子长五尺，金刀割之则饴，木刀割之则辛，食之得地仙。

《列仙传》曰：丁次卿者，不知何许人也。汉顺帝卖刀辽东市时，人名之丁氏次卿，有宝刀。

《神仙传》曰：蜀人李阿，传世不老。有古强者随阿入青城山，恐有虎狼，取父大刀。阿见而怒，取强刀以击石，刀折败。强窃忧刀败，阿复取刀，左右击地，刀复如故，还强也。

《列异传》曰：有神王方平降陈节方家，以刀一口长五尺，一长五尺三寸，名泰山环。语节方曰："此刀不能为余益，然独卧可使无鬼入，军不伤。勿以入厕溷，且不宜久服。三年后求者，急与。"果有戴卓以钱百万请刀。

《录异传》曰：有王更生者，为汉中太守。郡界有袁氏庙，灵响，更生过庙祭，去而遗其刀。而遣小吏李高还取刀。高见刀在庙床上，高进取去，仰见座上有一君着大冠袍衣，头鬓半白，谓高曰："可取还，勿道见我，后吾当佑汝。"高还如言不道。后高仕为郡守，当复迁为郡。高时年已六十余，祖高者百余人，高乃道昔为更生小吏，见遣至庙所取遗刀，见庙神，使吾莫道，至今不敢道，然心常以欺君为惭。"言毕，此刀立刺高心下，须臾死。

《庐江七贤传》曰：汉武帝出淮阳，到舒州不览城。问曰："此乡名何？"陈翼对曰："乡名不览。"上曰："万乘主所问不祥耶？"欲举燔之。翼曰："臣言不欺，佩刀当生毛；欺，则无毛也。"视之，刀有毛长寸，乃不燔。

《列士传》曰：专诸持一刚刀，置鱼腹中，以刺王僚。

《列女传》曰：庞娥亲者，酒泉庞子夏妻，赵君安女。君安为同县李寿所杀，三子遭疫而死，寿大喜。娥亲闻曰："李寿，汝莫喜。焉知娥亲不手刃汝耶？"乃阴市刀，志在杀寿。后于都亭奋力斫寿，刀折，拔寿佩刀断寿头。诣狱求死，诏赦之。

吴时《外国传》曰：扶南诸王杀其国人，以刀斫刺，往往有不入者。以汗露涂刀刃斫之，乃入。国人名之曰蝉也。

《蒲元传》曰：君性多奇思，得之天然。象类之事出若神，不尝见锻功，忽于斜谷为诸葛亮铸刀三千口。镕金造器，特异常法。刀成白言："汉水钝弱不任淬，用蜀江爽烈，是谓大金之元精，天分其野。"乃命人于成都取之。有一人前至，君以淬，乃言："杂涪水不可用。"取水者犹悍言不杂。君以刀画水云："杂八升，何故言不？"取水者方叩头首伏云："实于涪津渡负倒覆水，惧怖，遂以涪水八升益之。"于是咸共惊服，称为神妙。刀成，以竹筒密内铁珠满其中，举刀断之，应手(灵)[零]落若薙生刍，故称绝当世，因曰神刀。今之屈耳环者是其遗范也。

《费祎别传》曰：孙权以手中尝所执宝刀赠之。祎答曰："臣不才，何以堪明命。然刀所以讨不庭，禁暴乱也，但愿大王勉建功业，同奖汉室。臣虽阘弱，不负来顾。"

《桂阳先贤画赞》曰：成武丁以疾而终，殓毕。其友从临武县来至郡，道与武丁相逢。友曰："子欲何之？而不将人。"答曰："今吾南游，为过报小儿，善护大刀。"到其门，见其妻哭泣，问之，答曰："夫没。"友大惊，曰："吾适与相逢。"乃发棺视，了无所见。遂除缞绖，而心丧之。咸以武丁得神仙。

太平御览卷第三百四十六

兵部七十七

刀下　匕首　铁　镞

刀　下

陶弘景《刀剑录》曰：董卓少时，耕野得一刀，无文字，四面隐起作山云文，斫玉如木。及贵，示五官郎蔡邕，邕曰："此项羽刀也。"

又曰：袁绍在黎阳，梦有人授一宝刀。及觉，果在床前。铭曰："思绍。"思绍，字也。

又曰：郭璞于太原得一刀，文曰："宜为将。"后遂为将军。及与蜀战，败走，遂失此刀。

又曰：王双曾于市中买得一刀。卖人曰："得之者贵。"因之不见。双后佩之，果为将。将此刀与曹真，真以一刀换之。

又曰：钟会克蜀，于成都土中得一刀。文曰："太乙刀。"会死，入帐下王伯升。后渡浮江，刀遂飞入水。

又曰：邓艾年十二，曾读太山碑。碑下掘得一刀，黑如漆色，长三尺余。上常有风气冷凄凄然。时人以为神赐。

又曰：孙权遣张昭代周瑜为南郡太守。曾作一刀，背上有"荡寇将军"四字，八分书。

又曰：蒋钦拜别部司马，造一刀。文曰"司马"，古隶书。

又曰：周幼平击曹公胜，拜平虏将军。因造一刀，遂铭曰"幼平"。

又曰：董元代少果勇，自打铁作刀。后讨黄祖，蒙冲(侠)[狭]河，元代引刀断蒙冲缆，分为二流。大司马号刀曰"断蒙刀"。

又曰：潘文珪偏将军，为擒关羽，拜固陵太守。因刻刀曰"固

陵”。

又曰：朱理君少爱征讨，黄武中，累功拜安国将军。作佩刀，文曰“安国”。

又曰：关羽为先主所重，不惜身命，自采武都山铁为二刀，铭曰“万人”。及羽败，惜刀投于水。

又曰：张(益)[翼]德初受新亭侯，自命匠炼赤珠山铁为一刀。铭刃曰“新亭侯，蜀帝大将也。”后被范强将此刀入吴。

又曰：黄中从先主定南郡，得一刀，赤如血。于汉中击夏侯军，一日之中，手刃数百。

又曰：诸葛亮定黔中，从青石祠过，拔刀刺山没刃，不拔而去，行者莫测。

又曰：蜀主刘备令蒲元造刀五千口，皆连环及刃口，刻七十二炼，柄中通之，兼有二字。

又曰：西晋司马炎咸宁元年造刀八千口，铭曰“司马”。

又曰：东晋司马聃永和五年于房山造五口刀，铭曰“五方”。单符隶书。

又曰：前赵刘元海元熙二年造灭贼刀，长三尺九寸，隶字。

又曰：后蜀主李雄晏平元年造腾马刀五百口，隶字。

又曰：前凉张寔造刀一百口，无故尽生，文曰“霸”。

又曰：后赵石勒建平元年造一刀，用五金，工用万人，尖头，长三尺六寸，铭曰“建平”，隶书。

又曰：石勒未贵时，耕得一刀。铭曰“石氏昌”，篆书。

又曰：石季龙建武十四年造一刀，长五尺，铭曰“皇帝石勒氏”，隶书。

又曰：西凉李暠玄威元年造珠碧刀，铭曰“百胜”，隶书。

又曰：前秦苻坚甘露四年造一刀，用五千功，铭曰“神术”，隶书。

又曰：前燕慕容俊元年造二十八口刀，铭曰“二十八将”。

又曰：后燕慕容垂兴元元年于中山造刀一口，长三尺六寸，隶书。

又曰：后秦姚苌建初元年造二刀，长七尺，一铭曰“雄”，一曰“雌”，隶字。若叩即鸣。

又曰：西秦乞伏国仁建义三年造刀一口，铭曰“建义”，隶字。

又曰：后凉吕光麟嘉元年造一刀，铭曰“背麟”，长三尺六寸。

又曰：南凉秃发乌孤大初三年造一刀，狭小，长三尺五寸，青色。匠云“当作之时，梦见一人，披朱衣，云‘吾是太乙神，故看尔作此刀。有敌至，刀必鸣。’”后落突厥可汗处。

又曰：南凉慕容去明建平元年造刀四口，文曰“建平”，隶书。

又曰：北凉沮渠蒙逊永安三年造刀百口，铭曰“永安”，隶书。

又曰：夏赫连勃勃龙升二年造五刀，背上有龙雀环，兼金镂作一龙形，长三尺九寸。刘裕破长安得此刀，后入梁。

又曰：北燕冯跋太平八年造一刀，铭曰“太平”，隶书。

又曰：宋高祖刘裕永初元年造一刀，铭其背曰“定国”，小篆书，长八尺。后入梁。

又曰：宋刘义符景平元年造一刀，铭曰“五色”，小篆书。

又曰：刘淮升明元年掘得一刀，铭曰“上血”，其刀光照一室。帝奇之，常服。至二年七月，帝使杨玉夫候织女，玉夫候不得，惧死，因用弑帝，果如其铭。故知吉凶，其兆见矣。

又曰：齐高祖萧道成建元年克位造一刀，铭曰“定业”，长五尺，篆书。帝自制之。

又曰：明帝鸾建武二年造一刀，铭曰“朝仪刀”，小篆书，长四尺。

又曰：后魏宣武帝以景明元年于白鹿山造白鹿刀，隶书。

又曰：后魏元昭成帝建国元年于赤冶城铸刀十口，金镂“赤冶”二字，隶书。

《庄子》曰：庖丁为惠文君解牛。丁曰：“今臣之刀十九年矣，所

解数千牛矣，而刃若新发于硎。彼节者有间，而刀刃者无厚，以无厚入(无)[有]间，恢恢乎其游刃必有余地，是以十九年而刀刃如新发于硎。"

《列子》曰：周穆王征西戎，献赤刀，切玉如切泥。

《墨子》曰：墨子见齐王曰："有刀于此，试之人头，倅然断之，可谓利也。"王曰："利。"墨子曰："刀则利矣，孰将受其不祥？"王曰："刀受其利，试者受其不祥。"墨子曰："并国覆军，贼杀百姓，孰谓受其不祥？"王俯仰曰："我受其不祥。"

《孔丛子》曰：秦王得西戎利刀，以之割玉如割木。

《淮南子》曰：屠牛坦一朝解九牛，而刀可以剃毛。

又曰：铅不可以为刀，铜不可以为弩，铁不可以为弓，木不可以为斧。

又曰：金胜木者，非以一刀残林也。土胜水者，非以一塊塞江也。塊，块也。

《法言》曰：刀不利，笔不铦，宜加诸砺。

《阮子》曰：裁国无利器，犹铅刀而望其巧。

《抱朴子》曰：金丹以涂刀，辟兵万里。

《论衡》曰：世讳砺刀井上，恐刀堕井中。或说以为刑之字井与刀也，厉刀井上，井(刃)[刀]相见，恐被刑也。

《典论》曰：魏太子丕造百辟宝刀三，其一长四尺三寸六分，重三斤六两，文似灵龟，名曰"灵宝"。其二采似丹霞，名曰"含章"，长四尺四寸三分，重三斤十两。其三鉴似崩霜，刀身剑铗，名曰"素质"，长四尺三寸，重二斤九两。又造百辟露陌刀一，长三尺二寸，重二斤二两，状似龙文，名曰"龙鳞"。

《圣证论》曰：昔国家有优曰史利，汉氏旧优也。云梁冀有火浣布、切玉刀。一朝以为诞而不信也。正始初，得火浣布，乃信。

《楚辞》曰：师望在肆昌何识，师望谓太公也。昌，文王名也。言太公在市肆而屠，何(似)[以]知识之。鼓刀扬声后乃喜。后谓文王。

又曰：铅刀进御，违弃太阿。太阿，剑名。

张衡《西京赋》曰：吞刀吐火，云雾杳冥。画地成川，流渭通泾。

刘祯《瓜赋》曰：折以金刀，四剖三离。

曹植《宝刀赋》曰：建安中，家父魏王乃命有司造宝刀五枚，三年乃就，以龙、虎、熊、马、雀为识。太子得一，余及余弟饶阳侯各得一焉。其余二枚，家王自杖之。赋曰："有皇汉之明后，思潜达而玄通。飞文义以博致，扬武备以御凶。乃炽火炎炉，融铁挺英。乌获奋椎，欧冶是营。扇景风以激气，飞光鉴于天庭。爰告祠于太乙，乃感梦而通灵。然后砺以五方之石。凿以中黄之壤，规员景以定众，摅神思而造像。垂华纷之蔵蕤，流翠采之晃烁。陆斩犀象，水断龙舟；轻击浮截，刃不濑流。逾南越之巨阙，超有楚之太阿。实真人之攸御，永天禄而是荷。"

《乐府歌》曰：秦家有好女，自名曰女休。休年十四五，为宗行报仇。左执白阳刀，右据宛景矛。

张华诗曰：吴刀鸣手中，利剑严秋霜。

《古诗》曰：美人赠我金错刀，何以报之双琼瑶。

后汉马敬通《刀阳铭》曰：修尔甲兵，用戒不虞。见危授命，临事而惧。

又《刀阴铭》曰：温温穆穆，配天之威。苗裔无疆，福禄来绥。

后汉李元错《佩刀铭》曰：佩之有错，抑武扬文。岂为丽好，将戒其身。

又《金马书刀铭》曰：巧冶炼刚，金马托形。黄文错镂，兼勒工名。

魏文帝《露陌刀铭》曰：于铄良刀，胡炼亶时，譬诸麟角，靡所任兹。不逢不若，永世宝持。

曹植《宝刀铭》曰：造兹宝刀，既砻既砺。匪以尚武，予身是卫。麟角匪触，鸾距匪厥。

王粲《刀铭》曰：相时阴阳，制法利兵。陆刳犀兕，水截鲵鲸。

君子服之，式章威灵。

何晏《斫猛兽刀铭》曰：徒持不共，作戒宣丘。用造斯器，螭兽是刘。制禽允良，昏明亶时，永厘厥后，蠲民之灾。一作《斩虎刀铭》曰：螭虎是刘。

晋张协《把刀铭》曰：赫赫名金，昆吾遗璞。裁为把刀，利亚切玉。时文斯偃，含精内烛。威助虽化，武不可蹙。

裴景声《文身刀铭》曰：良金百炼，名工展巧。宝刀既成，穷理尽妙。文繁波回，流光霆一作"电"。照。在我皇世，戢而不耀。

张协《露陌刀铭》曰：露陌在服，威灵远振。遵养时晦，曜得崇信。

魏武《(策军)[军策]令》曰：孤先在襄邑，有起兵意，(兴)[与]工师共作卑手刀。时北海孙宾硕来候孤，讥孤曰："当慕其大者，乃与工师共作刀耶?"孤答曰："能小复能大，何(苦)[害]!"

曹植表曰：昔欧冶改视，铅刀易价；伯乐所(眄)[眄]，驽马百倍。

王濬表曰：孙皓出案行石头，还，左右兵皆跳刀大呼，云"要当为国家一死战决之胜。魏帝尚以千人定天下，况今有数万众，自足(辩)[办]事。"皓意大喜，便开库藏尽出金宝以赐与之。小人无状，得便持走。

陶侃表曰：伏承大官厨器损失，谨奉献狼炙刀槊二具。

张衡《与特进书》曰：以为铅刀，强可一割。

谢尚《与张凉州书》曰：今致五尺金断头刀一口。

班固《与窦笺》曰：今月中[舍]以令赐固刀[把]曰："此将军少小时所服，今赐固。"伏念大恩，且喜且惭。

谢尚《与杨征南书》曰：云今饷五尺金头刀、碧绫车中盾。

梁简文帝《谢敕赉善胜威胜刀启》曰：冰锷含采，雕琰表饰。名均素质，神号脱光。五宝初成，曹丕先荷其一；二胜今造，愚臣总被其恩。锡韩非之书，未足为比；给博山之笔，方此更轻。

梁刘孝仪为晋安王《谢东宫赐玉环刀启》曰：苗峰珍铤，利极铦铣。谨当拥以雄身，借而安体。

匕 首

《通俗文》曰：匕首，剑属。其头类匕，故曰匕首。短而便用。

《周礼·冬官(无)桃氏》曰：桃氏为剑，(广臇)[臇广]二寸有半寸，臇，谓两刃也。两从半之。郑司农云：谓剑脊两面杀趋鄂者也。以其臇广为之茎，围长倍之。郑司农云：茎谓剑夹，人所握，铤以上也。玄谓：茎在夹中者，茎长五寸也。参分其臇广，去一以为首，广而圆之。身长五其茎长，重九锊，音刷。谓之上制，上士服之。身长四其茎长，重七锊，谓之中制，中士服之。身长三其茎长，重五锊，谓之下制，下士服之。上制长三尺，重三斤十二两；中制长二尺，五寸，重二斤十四两三分(两分)；下制长二尺，重二斤一两三分，两之一。此今之匕首也。名以其形貌大小带之。此上谓国勇力之士，能用五兵者也。《乐记》：武(正)[王]克商，(碑)[裨]冕搢笏而虎贲之士，说剑也。

《史记》曰：燕丹使荆轲刺秦王，预求天下名匕首。赵人徐夫人匕首，取之百金，使工以药淬之。以试人，血濡缕无不亡死者。摘秦王不中，见诛。

《汉书》曰：王莽避火宣室，持虞帝匕首。

《东观汉记》曰：邓遵破匈奴，得剑、匕首二三千枚。

《魏志》曰：典韦好节侠。襄邑刘氏与睢阳李礼为雠，韦为报之，怀匕首入杀礼，徐步而去。

《后魏书》曰：叔孙俊字丑归少聪敏。十五内侍左右，以便弓马转猎郎。太宗初，以俊爪牙与磨浑等拾遗左右，迁卫将军，赐爵安城公。朱堤王悦怀刃入禁，欲为大逆，俊觉悦动有异，便引手于悦怀中，得两刃匕首，遂执悦杀之。太宗以俊功重，军国大计，皆委之。

《说苑》曰：秦王以五十里封鄢陵君，鄢陵君辞不受。使唐且谢秦王。秦王怒曰："尝见天子之怒乎？一怒，伏尸百万，流血千里。"

唐且曰："大王尝闻布衣韦带之士怒乎？一怒，伏尸二人，流血五步。"即案其匕首起曰："今将是矣！"王变色长跪曰："先生就坐，寡人喻矣。秦破韩灭魏，鄢陵独以五十里存者，徒用先生故乎！"

《零陵先贤传》曰：刘(章)[璋]请刘备。璋将杨怀数谏备误主人，请璋子祎及怀，酒酣，备见怀佩匕首，备出其匕首谓曰："将军匕首好，孤亦有，可得观之？"怀与之，备得匕首谓怀曰："汝小子何敢间我兄弟之好邪？"怀骂言未讫，备斩之。

《典论》曰：昔周鲁之宝赤刀孟劳，楚越称太阿，纯钧。余善击剑，能以短乘长，故选兹良金，命彼国工，精而炼之，至于百辟。其始成也，五色充炉，(臣)[巨](囊)[橐]自鼓，灵物仿佛，飞鸟翔舞，以为三剑三刀三匕首。因姿定名，以铭其拊，惜乎不遇薛烛青萍也。其三剑：一曰飞景，长四尺二寸；二曰流采，长四尺二寸；三曰华铤，色似彩虹，长四尺二寸。其三刀：一曰灵宝，长四尺二寸，似灵龟；二曰含章，采似丹霞，长四尺四寸；三曰素质，长四尺三寸，刀身而剑铗。其三匕首：一曰清刚，长二尺三寸，光似坚冰；二曰扬文，长二尺一寸，重一斤六两，曜似朝日；三曰龙鳞，状似龙文。

又曰：昔周鲁宝鹿狐之戟，屈卢之矛，狐父之戈，徐氏匕首，凡斯皆上世名器，(用)[君]子虽有文事，必有武备矣。

诸葛亮《教》曰：作部仲匕首五百枚，以给骑士。

《盐铁论》论：荆轲怀数年之谋，事不就者以尺八匕首不足恃也。

《神仙传》曰：有书生姓张，就李仲文学隐术，久无所得，患之。张怀匕首斫之，仲文笑曰："我宁可杀？"

《拾遗记》曰：汉太上皇微时，常佩一刀，长三尺，上有名字。虽难识，疑是殷高宗伐鬼方时物也。上皇游丰沛山中，寓居穷谷。里有冶铸，上皇息其旁，问曰："此铸何器？"工笑答曰："天子铸剑，慎勿泄。"上皇谓戏辞，无疑色。工人曰："今所铸刚砺，制器难成，若得翁腰间佩刀，杂而冶之，即成神器，可以克定天下。昴星为辅，以

歼三猾。木衰火盛，此为兴何。"上皇曰："吾此物为匕首，其利难俦。水断虬龙，陆斩虎豹。魑魅魍魉，莫能逢之。切玉镌金，其刃不卷。"工人曰："若不得此匕首以和铸，虽欧冶专精，越砺剑锷，终为鄙器。"上皇即解之以投炉中。俄而烟焰冲天，日为之晦。及乎剑成，杀三牲以衅祭。工问上皇曰："何时得此匕首？"答曰："秦昭襄王时，余时行，逢一野人于野，授余云是殷高宗初时物。此世世相传。上有古书字记其年月。"及成剑，工人视之，其铭尚存，叶前疑也。工人即持以授上皇。上皇赐高祖，高祖长佩于身，以歼三猾。天下已定，吕后藏于宝库之中。守藏者见白气如云，出户外如龙蛇。库名曰灵禽藏。及诸吕擅权，白气亦灭。案钩命决，萧何为昴星精，项羽、陈胜、胡亥，为之三猾。

晋张载《匕首铭》曰：先民造制，戒豫为谨。匕首之设，应速用近。既不忽备，亦无轻忿。利以形彰，功以道隐。

铗

《史记》曰：冯谖闻孟尝好客，见之。君置之传舍。五日，弹其剑铗而歌曰："长铗归来兮，食无鱼！"迁之幸舍。五日，弹其铗歌曰："长铗归来兮，出无舆！"又迁之代舍。五日，又弹其剑铗歌曰："长铗归来兮，无以为家！"一出《战国策》。

曹子建诗曰：长铗鸣鞘中。

晋张协《长铗铭》曰：五才并建，金作明威。长铗陆离，弭凶防违。素刃霜厉，溢景横飞。

又《短剑铭》曰：器用名品，诡制殊观，亦有短铗，清晖载烂。昔在光明，戢兵静乱。惟皇宝之，优而弗玩。

左思《吴都赋》曰：毛群以齿角为矛铗。刘渊林注曰：铗刀身剑锋有长有短也。

鈹

《说文》曰：鋵，鈹有镡也。鈹，普皮切。

《左传·昭(七)[二十七]年》曰：吴公子光伏甲于窟室而享王。门阶户席，皆王亲也，夹之以鈹。羞者荐体，抽剑刺王，鈹交于胸。

左思《吴都赋》曰：羽族以嘴距为刀鈹。鈹，两刃小刀也。

太平御览卷第三百四十七

兵部七十八

弓

《释名》曰：弓，穹也。张之穹隆然也。其末曰箫，言箫邪也。又谓之弭，以骨为之，滑弭弭也。中央曰弣。孚主切。一作拊。弣，抚也。所抚持也。箫弣之间曰渊。渊，宛也。言宛曲也。

《说文》曰：弓，近穷远，象形也。弹，音雕，又音敦。画弓也。弭，弓无缘，可以解骖觚也。弮，许缘切。角弓也。弧，木弓也。一曰往体寡来体多曰(孤)[弧]。弨，尺招切，又刺朝切。弓反也。彉，音权。弓曲也。弛，音遥。弓便利也。张，施弓弦也。(彊)[彊]，乌郭切。弓急张也。弼，拍生切。又鄙矜切。弓强貌也。弯，持弓关矢也。弤，一弧切。满弓有所向也。弘，弓声也。

又曰：韣音独。韔，音畅。弓衣也。

又曰：角觡，音瞰。兽状似豕，角善为弓，出胡尸国。一曰出休尸国。

《山海经》曰：少皞生般，始为弓矢。郭璞注曰：般音班。世本云：牟夷作矢，挥作弓。弓矢一器，作者两人，于义有疑。此言般作之，是也。帝后赐羿彤弓素矰，以扶下国。以射除患，扶助下国也。

《世本》曰：挥作弓。宋衷注曰：挥，黄帝臣也。

孙卿子曰：倕作弓。

《龙鱼河图》曰：弓之神名曰曲张。《太公兵法》又曰：弓神名曲张。

《方言》曰：弓藏谓之鞬。音独。箭衣也。

《墨子》曰：羿作弓。

《尔雅》曰：弓有缘者谓之弓，郭璞注曰：即今宛转弓也。无缘者谓之弭。今之弓角也。以金者谓之铣，以(辱)[蜃]者谓之珧，音遥。以玉者谓之圭。用金蚌玉饰弓两头，因以为名也。

《易》曰：弦木为弧，剡木为矢。弧矢之利。以威天下，盖取诸睽。

又曰：公用射隼于高墉之上，获之无不利。

又曰：先张之弧。

《尚书》曰：和之弓在东房。孔安国注曰：和，古之弓人。

又曰：平王锡晋文侯彤弓一，彤矢百，玈音卢。弓一，玈矢千。

又曰：备乃弓矢。

《诗》曰：彤弓，天子赐有功诸侯也。彤弓弨兮，受言藏之。弨，弛也。

又曰：骍骍角弓，翩其反矣。骍骍，调利也。

又曰：既张我弓。

又曰：弓矢斯张。

又曰：四(壮)[牡]翼翼，象弭鱼服。郑玄注：象弭，弓反未弩者，以象骨为之，以助御者。弩，必袂切。

《礼记》曰：男子生，桑弧蓬矢六，射天地四方。注云：天地四方，男子所有事也。

又曰：凡遭人弓者，张弓尚筋，弛弓尚角。弓有往来，体皆欲其下曲陳然。左手执簫，右手承拊，簫，弭头也。尊卑垂帨。帨，佩巾也。磬折则佩巾垂授之仪，尊卑一也。

又曰：越棘大弓，天子之戎器也。

又曰：良弓之子，必学为箕。

又曰：武王克商后，干戈弓矢包之以虎皮。

《周礼》曰：司弓矢：掌六弓四弩八矢之法，(辩)[辨]其名物，而掌其守藏与其出入。仲春献弓弩，仲秋献矢箙。弓弩成于和，矢箙成于坚也。箙，盛矢器也，以兽皮为之。及其颁之，王弓、弧弓，以授射甲革、椹音砧。质者；夹弓、庾弓，以授射豻音岸，又俄寒切。侯鸟兽者；唐弓、大

弓，以授学射者及使者、劳者。王、彊、夹、庾、唐、大兵者，弓异体之名。往体寡，来体多曰王、彊，往体多，来体寡曰夹、庾。天子之弓，合九而成规；诸侯，合七而成规；大夫，合五而成规；士，合三而成规。句者，谓之(敝)[弊]弓。凡祭祀，共射牲之弓矢。射牲者，示亲杀也。《国语》曰：郊之事，天子必自射其牲。泽，共射椹质之弓矢。郑司农云：泽，泽宫也。所以习射选士之处也。《射义》曰：天子将至，必先习射于泽者，所以择士也。大射、燕射，共弓矢如数。

又曰：庭氏：掌射国中之妖鸟。马融传曰：国中妖鸟，枭鸡，恶声之鸟也。若不见其鸟兽，则以救日之(方)[弓]与救月之矢夜射之。兽虎狼呼鸣也，救日食则伐鼓，北面射太阴。救月蚀则伐鼓，南面射太阳，以此弓矢射之。若其神也，则以太阴之弓与枉矢射之。枉，矢名也。

又曰：弓长六尺谓之庇轵，五尺谓之庇轮，四尺谓之庇轵。轵，毂木也。

又曰：弓人为弓，取六材必以其时。六材既聚，巧者和之。幹也者，以为远也；角也者，以为疾也；(筋)[筋]也者，以为深也；胶也者，以为和也；丝也者，以为固也；漆也者，以为受霜露也。六材之力，相得而足。凡取幹之道：七柘为上，檍音亿。次之，柔桑次之，山桑也。橘次之，木瓜次之，荆次之，竹为下。凡相幹欲赤黑而阳声，赤黑则响心，阴声则远根。阳犹清也。凡析幹射远者用势，射深者用直。凡为弓，冬析幹而春液角，夏治筋，秋合材，冬定体。为弓长六尺有六寸，谓之上制，上士服之；弓长六尺有三寸，谓之中制，中士服之；弓长六尺，谓之下制，下士服之。人各以其形貌大小用此弓也。

又曰：弓力有三均，谓之九和。安弓危矢，危弓安矢。

《仪礼》曰：射，告宾曰："弓矢既具，有司请射。"宾与大夫弓倚于西序，矢在弓下。

《左传》曰：王赐晋文公彤弓一，彤矢百；玈弓十，玈矢千。

又曰：武王克商，作颂曰："载櫜弓矢。"

又曰：楚子享公于新台，使长鬷者好以大屈。宴好之赐也。大屈，弓名。

又曰：舟坚射陈武子中手，舟坚，季氏之臣也。失弓而骂。武子骂也。

又曰：周公相王室以尹天下，于周为睦。分鲁公以大路大旂，夏后氏之璜，封父之繁弱，封父，古之诸侯也。繁弱，大弓名也。封之于少昊之墟。

又曰：鲁伐齐，士皆坐列。颜高之弓六钧，皆分取传而观之。颜高，鲁人也。三十斤为钧，六钧，一百八十斤也，故异之。

又曰：子荡以弓梏华弱于朝。

又曰：杨虎税甲如公宫，取宝玉大弓以出。

又曰：齐景公田于沛，招虞人以弓，不进。公使执之，辞曰："旌以招大夫，弓以招士，皮冠以招虞人。臣不见皮冠，故不敢进。"

又曰：晋楚战于鄢陵。郄至三遇楚子之卒，见楚子必下免胄而趋风。楚子使工尹襄问之以弓。杜预注曰：问，遗之也。

又曰：楚灵王次于乾谿，左尹子革夕，王与之语曰："昔我先王熊绎，辟在荆山，惟是桃弧棘矢，以供御王事。"

《谷梁》曰：八年，盗窃大弓。大弓者，武王之戎弓也。周公受赐藏之鲁。

崔赣《易林》曰：桃弓苇戟，除残去恶。

郭璞《毛诗拾遗》曰：象弭鱼腹，毛云："弭，弓反末弯者，以象骨为上，盖俗说文误也。"

《左传》曰：左执鞭弭。弭者，弓之别名，谓以象牙为弓。今西方有以犀角及鹿角为弓者。

《春秋佐助期》曰：天弓主司弓弩之张，神名推亡。

《史记》曰：上迎宝鼎于中山，有路弓乘矢集获坛下。

又曰：黄帝骑龙上天，小臣不得上，悉持龙髯，髯拔堕，堕黄帝之弓。百姓望帝抱其弓而号。后世因名其弓为乌号。

又曰：汉高祖擒韩信，信曰："高鸟尽，良弓藏；敌国灭，谋臣亡。天下已定，我固当烹。"

又曰：子贡说越王以兵从吴伐齐，越王乃使以秦屈卢之弓、步

光之剑以贺。

《续汉书》曰：鲜卑亦东胡之支也，禽兽异于中国者有野马、原羊、角端牛。以角为弓，世谓之角端弓者也。

《东观汉记》曰：祭(彤)[彤]为辽东太守。至则厉兵马，远斥候。(彤)[彤]有勇力，能贯三百斤弓。

又曰：盖延字巨卿，渔阳要阳人，以气[势]闻。身长八尺，弯弓三百斤。

谢承《后汉书》曰：朱穆为尚书，岁初百官朝贺，有虎贲当阶置弓于地，谓群僚曰："此天子弓，谁敢干越?"百僚皆避之。穆呵之曰："天子之弓当戴之于首上，何敢置地? 大不敬。"即收虎贲付狱治罪，皆肃然服之。

张璠《汉记》曰：陈球为零陵太守，州兵朱盖等反，与桂阳贼胡简数万人转攻零陵。球城守，弦大木为弓，羽矛为矢，引机发之，远射千余步，斩朱盖等。

《魏志》曰：句骊别种居小水，因名小水貊。出好弓，所谓貊弓也。挹娄弓长四尺，力如弩；矢用楛，长尺八寸；青石为镞。古肃慎国也。

《魏要略》曰：北方有橐离之国，其王侍婢有身。王欲杀之。婢云："有气如鸡子来下我，故有身。"后生子，王捐之于溷中，猪以喙嘘之；徙马闲，马以气嘘之。王疑以为太子，令其母收畜之，名曰东明。常令牧马。东明善射，王怒，夺其国，杀之。东明走，南至奄水，以弓击水，鱼鳖浮为桥，东明得渡。鱼鳖解散，追兵不得渡。东明因都王夫余之地。

王隐《晋书》曰：刘琨与丞相笺曰："不得进军者，实困无食，残民鸟散。"录召之，曰："皆披林而至，衣服蓝缕，木弓一张，荆矢十只。"

《晋中兴书》曰：符健凶暴，露刃张弓，推钳锯凿，杀人之具备置左右。

《晋令》曰：弓弩士习射者给竹弓、角弓，皆二人一张。

沈约《宋书》曰：萧思话为梁州，太祖赐以弓琴，手敕曰："丈人顷何所作，事务之暇，故以琴书为娱耳。并往桑弓一张，材理乃快，先所常用，既久废射，又多病，略当不能制之，便成老公，令人叹息。良材美器，宜在尽用之地，丈人真无所与让也。

《梁书》曰：羊侃膂力绝人，所用弓至二十石。马上用六石弓。

《三国典略》曰：齐綦连猛有勇力。梁使来聘，有武艺人求欲相角。猛带两鞬，左右驰射，并取四弓叠而挽之，梁人嗟服。

《后魏书》曰：傅融性豪爽，有三子灵庆、灵根、灵越，并有才力。融以此自负，谓足为一时之雄。尝谓人曰："吾昨夜梦有一骏马，无堪乘者。人曰何由得人乘之？有一人曰：惟有傅灵庆堪乘此马。又有一弓亦无人堪引，有一人曰：惟有傅灵根可以弯此弓。又有数纸文书，人皆读不能解此文。有一人曰：惟有傅灵越可以解之。"融意谓其三子文武才干堪以驾驭当世。常密谓乡人曰："汝闻之不？(鬲虫)[融]之子有三灵，此图讖之文也。"好事者然之。故豪勇之士多相归附。

《唐书》曰：太宗谓萧瑀曰："朕少好弓矢，自为能尽其妙。近得良弓十数，以示弓工，乃曰：'非良材也。'朕问其故，工曰：'木心不正，脉理皆斜，弓虽刚劲，而遣箭不直，非良弓也。朕始悟焉。'朕以弧矢定四方，使弓多矣，有天下之日，浅得为治之意，固未及于弓。弓犹失之，何况于治乎。"自是遂延耆老问之政术，京官五品以上更宿中书内省，上每延与语，询访外事，务知百姓疾苦、政教之得失焉。

《家语》曰：楚共王出游，亡其乌嗥之弓。乌(嗥)[嗥]，良弓名也。左右请求之，王曰："止也，楚人失弓，楚人得之，又何求焉。"孔子闻之曰："惜乎其不大也。宜曰：人遗弓，人得之而已。何必楚也。"

又曰：弓调而后求劲焉。

《国语》曰：周宣王时，有童谣"檿弧，箕音期。服，实亡周国"。

有夫妇鬻是器者，王执而戮之。乃弃褒，贾逵注曰：箕，木名，服，矢筒。得弃女子于野而养之，是为褒姒。卒以衰周。

又曰：更盈侍魏王，见一雁过，曰："臣能遥弓而落雁。"乃弯弓向雁，雁即落。

又曰：鄢之战，郄至三逐王卒。王使工尹襄问之以弓。郄至甲胄而见客，免胄而听命。

《韩诗外传》曰：齐景公使人为弓。弓人之妻曰："此弓者，泰山南乌号之(柘)[柘]、燕牛之角、荆麋之筋、河鱼之胶，四物者，天下之精材也。"

《战国策》曰：楚人有好以弱弓微缴加归雁之上者。顷襄王闻，召而问之。对曰："见六双，王何不以圣人为弓，以勇士为缴，时张而射之？此六双者，可得而囊载也。"

《越绝书》曰：麻林山勾践欲伐吴。种麻为弓弦，使齐人守之。

《典略》曰：苏秦说韩宣王曰："今韩地方九百里，带甲数十万，强弓劲弩皆射六百步之外。"

刘向《说苑》曰：齐攻鲁，子贡见哀公谓求救于吴。公曰："奚先君宝之用？"子贡曰："使吾宝而与我师，是不可恃也。"于是以杨干麻筋之弓六往。

《江表传》曰：高句丽王遣使贡孙权角弓。

吴时《外国传》曰：扶南之先，女人为主，名柳叶。有摸趺国人，字混慎，好事神，一心不懈，神感至意。夜梦人赐神弓一张，教载贾人舶入海。混慎晨入庙，于神树下得弓，便载大船入海。神回风令至扶南，柳叶欲劫取之，混慎举神弓而射焉。贯船通度，柳叶惧伏。混慎因至扶南。

《郫中记》曰：石虎女骑皆手持雌黄宛转角弓。

《遁甲开山图》曰：河东有独头山，多青檀，可以为良弓。

《括地图》曰：神弓在南山石泥渚中。

《三礼图》曰：彤弓天子所用，玈弓卿已下所用也。

崔豹《舆服注》曰：两汉京兆河南尹及执金吾司隶校尉，皆使人导引传呼，行者止，坐者起，四人持角弓，走者射之。有乘高窥者亦射之。晋魏设弓而不用焉。

《古史考》曰：乌号柘树枝长而乌集，将飞枝弹乌，乌乃号呼。以柘为弓，因名曰乌号。

《风俗通》曰：乌号弓者，柘桑之枝。枝条畅茂，乌登其上，垂下着地，乌适飞去，从后拔杀取以为弓，因名乌号耳。

又曰：白鹘，古弓名。出边崖类聚。

沈怀远《南越志》曰：宋昌县有棘竹，长十寻，俚人取以为弓。

又曰：沙麻竹人削以为弓，弓似弩，淮南所谓浮子弩也。

《南州异物志》曰：乌浒（人土）[国]有[弧]竹，皮厚寸余，破以作弓，长四尺，名曰弧弓。

《广志》曰：缘沉，古弓名。

《博物志》曰：徐偃王既治其国，仁义著闻。欲舟行上国，乃通沟陈蔡之间。得朱弓矢，以已得天瑞，遂因名为号，自称徐偃王。

《列女传》曰：晋平公使工人为弓，三年乃成。射不穿一扎，公怒，将杀工。其妻，繁人之女也。见公曰："妾之夫造此弓，亦劳矣。干生太山之阿，一日三睹阴，三睹阳，傅以燕牛之角，缠以荆麋之筋，糊以河鱼之胶，此四者，天下选也，而不穿一孔，是君不能射也，而反欲杀妾之夫，不亦谬乎。妾闻射之道，左手如拒，右手如附枝，右手发之，左手不知，此射之道也。"公以其言为仪而穿七孔。弓工立得出，赐金三镒。蔡母遽注曰：繁人，官名。孔，鲍孔也。燕角善楚筋[纫]（何）[河]胶粘也。

《管公明别传》曰：信都令家中妇女尽惊更牙疾病，使公明为占之卦。成语曰："君北室床西头当有两死男人，一鬼持矛，一鬼持弓箭。头在壁中，脚在壁外。持矛者主刺头，故头重痛，不得举；持弓箭者主射胸腹，故心中悬痛，不得饮食。昼则浮游，夜还病人，故惊恐。若徙其尸柩，便皆丁强。"于是令归室中，果得两楸棺，中有角

弓及数箭，物已久远，木消烂。徙骸埋之，合家皆愈。

《洞林》曰：曲阿令赵元瞻儿字虎舒，从吾学卜。自求蓍作卦，见吾有盛艾小陵龟，欲得之。不与，语之曰："当作卦相为致此物，令自来。"复数日，果有一龟入厩。虎舒后见吾言："偶有一物试可占之，若得，当再拜输一好角弓。"即便作卦，曰："案卦之是为龟。"虎舒奉弓起，再拜。

《老子》曰：天之道其犹张弓乎，高者抑之，下者举之。

《列子》曰：纪昌学射于飞卫。飞卫曰："尔先学不瞬而后能。又使学视小如大。纪昌蹇悬虱于牖，南面而望之。三年之后如轮，睹物皆丘山也。乃以燕角之弧，朔蓬之干射之，贯虱之心而悬不绝。

《孟子》曰：不仁不智，无礼无义，人役也。人役而耻为役，犹弓人而耻为弓。

《孔丛子》曰：楚王张繁弱之弓，载忘归之矢，射蛟兕于云梦。

《胡非子》曰：一人曰："吾弓良，无所用矢。"一人曰："吾矢善，无所用弓。"羿闻之，曰："非弓何以往矢，非矢何以中的。"令合弓矢而教之射。

《孙卿子》曰：繁弱、钜黍，古之良弓也。《广雅》又云。

又曰：天子雕弓，诸侯彤弓，大夫黑弓，礼也。

《鲁连子》曰：楚王成章华台酌诸侯酒。鲁君先至，楚王悦之，与大曲之弓。

《阙子》曰：宋景公谓弓人曰："为弓亦迟矣。"对曰："臣不得见公矣。"公曰："何也？""臣之精尽于弓矣。"献弓而归，三日而死。公张弓登虎圈之台，东面而射，矢逾西霜之山，集彭城之东，其余力逸劲，饮羽于石梁。夫尽精于一弓而身为夭死，况治天下，奈何其独也。

《尸子》曰：鸿鹤在上，扞弓鞞同彀。弩待之。若发若否，问二五弗知，非二五难计也。欲鸿之心乱也。

《抱朴子》曰：金弧(王)[玉]弦，无激矢之能。

又曰：农夫得彤弓以驱乌，南成得衮衣以负薪，犹世人得仙丹而不贵。

《淮南子》曰：射者扞乌号之弓，弯綦(御)[卫]之箭，扞，张也。弯，引也。綦，美箭所出地名也。卫，(利)[羽]也。乌号、柘桑，其材坚劲，乌跱其上，及飞立枝，必挽下劲而复起操乌随之，乌不敢飞，号呼其上，伐其材以为弓，因曰乌号之弓也。一说黄帝铸鼎钟于湖，得道而仙，乘龙上天，其臣援弓射龙，欲下黄帝，不能也。乌，於也。号，呼也。于是抱弓而号也。自以名其弓为乌号之弓也。重之羿逢蒙子之巧以要飞鸟，犹不能与罗者竞多，羿，古诸侯有穷之君也。逢蒙，羿弟子。皆攻射而百发百中，故曰之巧。要，取竞逐也。何则？以所持之小也。

又曰：淇卫箘路箘[路]，箭竹也。出于淇地。卫，箭羽也。饰以银，虽有薄缟，然独犹不能穿也。若假之筋角之力，弓弩之势，则贯兕甲而经于革楯矣。

又曰：曲张，弓名也。一名彷徨弓。

又曰：宛转弓，今之弭弓是也。

《吕氏春秋》曰：齐宣王好射，说人之谓己能用强弓也。其尝所用弓不过三石，以示左右，左右皆试引之，中间而止，至于一半而止。皆曰："此不下九石，非王孰能用是。"宣王所用不过三石，而终身自以为用九石，岂不悲哉。非直士其孰能不阿主。故乱国之主，患存乎用三石为九石。

又曰：万人操弓共射一招，招无不中。招，谓的也。

杜夷《幽求》曰：弓折由射者之数，剑缺因用之者多。

《新序》曰：楚熊渠子夜行，见寝石，阙弓射之，灭矢饮羽。下视知石也。却复射之，矢摧无迹。

谯子《法训》曰：善耕者足以谨地，待时而动；善射者调弓定准，见可而发。君子善养，其人足用。

韩杨《天子要集》曰：弧者，天弓备盗贼。

《楚辞》曰：带长剑兮挟秦弓。言死带剑、弓，示不舍武也。

刘邵《赵郡赋》曰：其器用则六弓四弩，缘沉、黄间、堂溪、鱼肠、丁令、角端。

陈琳《武库赋》曰：弓则乌号、越棘、繁弱、角端，象弭绣质，哲弭文身。

唐太宗《咏弓诗》曰：上弦明月半，激箭流星远。落雁带书惊，啼猿映枝转。

后梁宣帝《咏弓诗》曰：虞人招不进，繁氏久弥工。已悲轩主迹，复挹楚王风。

杨师道《奉和咏弓诗》曰：霜重麟胶劲，风高月影圆。乌飞随帝辇，雁落逐鸣弦。

齐王融《谢武陵王赐弓启》曰：殿下摛藻蕙楼，畅艺兰苑，敷积玉于风筵，叠连珠于月的。兔园掩秀，郢水惭奇。融揖让未工，滥陪升饮之赏；操弧反正，谬奉招贤之锡。文韬镂景，逸千梢云，玩溢百龄，佩流千载。

晋稽合《木弓铭》曰：乌号之（扑）[朴]，丰条足理。弦弧走栝，截飞骇止。射隼高墙，出必有拟。既用御武，亦以招士。

李尤《良弓铭》曰：弓矢之作，爰自曩时。乡射载礼，招命在诗。妙称颜高，巧发由基。不争之美，亦以办仪。

太平御览卷第三百四十八

兵部七十九

弩

《释名》曰：弩，怒也。有势怒也。其柄曰臂，似人臂也。钩弦者曰牙，似齿牙也。牙外曰郭，为牙之规郭也。下曰县刀，其形然也。合名之曰机，言如机之巧也，亦言如门户枢机开阖有节也。

《说文》曰：洛阳名弩曰弭。许缘切。彀，弩也。弓，满弓也。弓，音雷。

《古史考》曰：黄帝作弩。

《广雅》曰：钜黍弓，豁子弩。

《太公兵法》曰：弩之神名远望。

《尚书》曰：若虞机张往省括于度，则释。

《尚书帝命验》曰：玉弩发，惊天下。秦有往矢西流，往矢即弩星也。兵精主天下，见之而惊。西流，秦灭也。贱类出，高将下。（贼）[贱]类谓秦始皇也。吕不韦之妻（任）[孕]身而秦襄王纳之，生始皇。高，谓丞相赵高也。始皇出，赵高下，言天生之也。贱或为贼。

《史记》曰：庞涓追孙膑，音（牝）[鬓]。膑量其行，暮当至马陵。马陵道狭而旁多阻险，可伏兵，乃大（析）[斫]树白而书："庞涓死此下。"于是，令齐军善射者万弩夹道而伏，期日暮见火举而俱发。庞涓夜至（析）[斫]木下，见白书，乃钻火烛之。读书未毕，齐军万弩俱发，魏军大乱。庞涓自知智穷兵败，乃自刎曰："遂成竖子之名。"

又曰：高祖厄于冒顿平城。天下歌曰："平城之下亦诚苦，七日不食，不能彀弩。"彀，张也，音遘。

又曰：始皇葬骊山，令匠作机弩矢。有所穿近，辄射之。

又曰：苏秦说韩王曰："黏子、距黍射六百步之外。许慎曰：南方黏子蛮之弩皆善射。

又曰：苏代遗穰侯书曰："以天下攻齐，如以千钧之弩决溃痈也。"

又曰：汉王临广武，数项羽十罪。项羽大怒，令伏弩射，中汉王。汉王伤胸，乃扪足曰："虏中吾指。"

《汉书》曰：《李广传》曰："广为匈奴所击，广身自以大黄射其裨将。"服虔曰：大黄，肩弩也。

又曰：申屠嘉，梁人也。以材官蹶张，如淳曰：材官皆多能脚蹋强弩张之，故曰蹶张。律有蹶张生。从高帝击项籍。

又曰：李陵至浚稽与单于相值，骑二万围陵。陵军居两山间，以大车为营。陵引士出营外为阵，前行持戟盾，后行持弓弩。虏见汉军少，直前就营。陵搏战攻之，千弩俱发，应弦而倒。

又曰：司马相如为中郎，建节邛笮。至蜀，太守以下郊迎，县令负弩矢先驱，蜀人荣之。

又曰：霍去病为骠骑将军，过河东，河东太守郊迎，负弩先驱。

《续汉书》曰：虞诩为武都太守。虏来攻城，诩出战，使强弩射之，三发而三中，虏众溃。谢承《后汉[书]》云：羌攻城也。

《东观汉记》曰：耿恭在疏勒城，救兵不至。恭食尽穷困，士乃煮铠弩食其筋革。恭与士推诚同死生，故无贰心。

《后汉书》曰：宋则子年十岁，与苍头共弩射。苍头弦断，矢激误中之，即死。奴叩头就诛，则察而恕之。颍川荀爽深以为美，时人亦服焉。

又曰：中平中，黄巾贼起，郡县皆弃城而走。陈愍王宠有强弩数千张，出军都亭。置军营于国之都亭也。国人素闻王善射。不敢反叛，故陈独得完，百姓归之者众十余万人。

又曰：陈愍王宠善射，十发十中，中皆同处。

华峤《后汉书》曰：陈愍王宠射，善弩。其秘法以天覆地载，参连为奇，又有三微三小，三微为经，三小为纬，经纬相将，万胜之方，然要在机牙。其射至十发十中。

《魏氏春秋》曰：诸葛亮损益连弩，谓之元戎。以铁为矢，矢长八寸。一弩十矢俱发。

《吴志》曰：甘宁字兴霸。巴郡临江人也。《吴志》曰：宁本南阳人也。招合轻薄少年，为之渠帅。群聚相随，挟持弓弩，负毦音饵。带铃。民闻铃声，即知是宁也。

《吴录》曰：松梁山山石开处，容数十丈高竹。弩不及其上。在沣州。

《晋书》曰：《稽绍传》云："齐王冏被诛。初，兵交，绍奔散赴宫。有持弩在东阁下者，将射之。遇有殿中将兵萧隆见绍姿容长者，疑非凡人，趋前拔箭，于此得免。

又曰：刘聪将赵染冤杀其长史鲁徽。染寇北地，梦鲁徽大怒，引弓射之，染惊悸而寤。旦将攻城，中弩而死。

又曰：孟幹为吴人所获，将徙之临海。幹等志北归，虑东徙转远。以吴人爱蜀侧竹弩，言能作之。皓留付作部。后幹逃至京都。

又曰：崔洪荐郄诜自代。诜后驳奏。洪曰："我举郄诜而反奏我，是挽弩自射。"

《晋阳秋》曰：初，高祖勒兵阙下，经曹爽门。爽帐下督严世引弩将射高祖，孙谦止之曰："未可知。"三注三止。高祖车乃过。《世说》又载。

又曰：马隆讨凉州虏。隆募限腰引弩四十六钧、弓限四钧以上。隆捶擲悬弓弩，擲侧阅试，自旦至中，得三千五百人。

《唐书》曰：李希烈既陷汴州，乘胜东侵，连陷陈留、雍丘，顿军宁陵，期下宋州，会食浙西。节度韩滉命王栖曜将强弩数千，夜入宁陵，希烈不之知。晨朝弩矢及希烈坐帐，希烈惊曰："此江淮弩士，今入矣。"遂不敢东，希烈夜败。

《晋诸公赞》曰：都官从事程伟案状羊琇音酉。所犯狼藉，琇即遣家人持铜弩牙首入重法。时人皆谓琇有权智，世祖诏免琇官。

《英雄记》曰：王匡字公节，太山人，以任侠闻。辟大将军何进府使。匡于徐州发强弩五百，西诣京师。会进败，匡还乡。

又曰：袁绍击公孙瓒，先令麴义领精兵八百，强弩千张以为前登。

又曰：袁尚使审配守邺城，曹操进军攻邺，生获配。谓曰："吾近行围，弩何多也？"配曰："犹恨其少。"

《日南传》曰：南越王尉佗攻安阳。安阳王有神人罕音高。通为安阳王治神弩一张，一发万人死，三发杀三万人。（他）[佗]退，遣太子始降安阳。安阳不知通神人，遇无道理，通去。始有姿容端美，安阳王女眉珠悦其貌而通之。始与珠入库盗锯截神弩，亡归报佗。佗出其非意。安阳王弩折兵挫，浮海奔窜。

《华阳国志》曰：秦襄王时有一白虎，常从群游巴蜀，伤害千余人。昭王乃重募有能杀虎者，赏邑万家。阆中夷廖中能作白的之弩，乃登楼射杀白虎。昭王嘉之。以其夷不欲封，刻石盟要曰："秦犯夷输黄龙一双，夷犯秦输清酒一钟。"夷人安之。

又曰：邓芝征涪陵，见玄猿抱子在树上。引弩射之中猿母，其子为拔箭，以木叶塞疮。芝乃叹息曰："嘻！吾违物之性，其将死矣。"投弩水中，芝后果死。

《会稽典录》曰：钟离牧谓朱育曰："大皇帝以中国多骑，欲以当之。然吴神锋弩射三里贯洞，三四马骑敢近之乎？"

《南越志》曰：龙川有营涧，尝有铜弩牙流出水，皆以银黄雕镂。取之者，祀而后得。曾有取（比）[此]牙逢风雨举船沦没。父老云："越王弩营处也。"

《杂记》曰：事吴朝鸿胪卿张俨、议郎张纯、镇南将军朱异三人，共诣骠骑将军朱据。据曰："三贤屈顾老鄙，相闻含甘须之明，怀终贾之才，相饥渴久矣。各为赋一物，然后乃坐。"乃各赋所见。异赋

弩曰："南岳之干，钟山之铜。应机命中，射隼高墉。"

《吴越春秋》曰：陈音对越王曰："弩生于弓，弓生于弹，弹生于古之孝子。臣闻楚琴氏以弓矢之势，不足以威天下，遂乃横弓着臂，施机设郭，加之以力。郭为方城守臣子也，敖为人君命所起也，关为守御捡去止也，锜音奇，又音蚁。为侍从听人主也，辞为道路通所使也，弓为将军主重负也，弦为军师御战士也，矢为飞容主教使也，金为穿敌往不止也，卫为副使正道里也，骠为都尉执左右也。鸟不得飞，兽不得走，弩之所向，无不恐者。"王曰："善。子之说弩也。愿复闻正射之道。"陈音对曰："臣闻射之道，左足纵，右足横；左手若(附)[拊]枝，右手若抱儿；右手发，(右)[左]手不知。此正射持弩之道也。"

《战国策》曰：苏秦为楚合从，说韩王曰："天下之良弓、劲弩皆自韩出，射六百步之外。"

《文子》曰：狡兔得而猎犬烹，高鸟尽而强弩藏。

《尉缭子》曰：兵如(总)[植]木，弩如羊角。

《慎子》曰：弩弱而矰高者，乘于风也。身不肖而行合者，得助于众也。

《淮南子》曰：乌号之弓，駱子之弩，南方駱子蛮夷柘弩皆善射也。不能无弦而射。越舼渠容切。蜀艇，舼，小艇。船大皆一木。不能无水而浮。

又曰：铅不可以为刀，铜不可以为弩，铁不可以为弓，木不可以为釜。

又曰：万毕术云："牛翁十四，可以强弩。"取牛翁十四枚，曲蟮白颈者二七，以三尺新布裹之活涂布着之，无令人见，用之拭弩令温，引之校半力也。

《阮子》曰：世多善弩而拙于弓。弓无法准，故任巧由意；弩有法准，故易有善。

《抱朴子》曰：秋以弓弩在前。

太公《六韬》曰：陷坚阵，败强敌，以大黄参连弩，大扶月车三十

六乘，才士、强弩、矛戟为翼。

《太公兵法》曰：神后加四仲者以为明堂宫时。天一出游八极之外，行窈冥之中，日照其前，月照其后，当此之时，天一自持玉弩，执法承相刻不道者。

崔寔《政论》曰：永平，建初之际，去战未久，官兵劲利，有蔡太仆之弩，擅名天下。

《风俗通》曰：汲令应郴，一作"余祖父郴"。夏至日请主簿杜宣赐酒，时北壁上悬赤弩，照于杯中，见其形如蛇。宣恶之，然不敢不饮，因得胸腹病，攻治不差。郴后知之，过宣家问疾之由，以为蛇入腹中。郴绕厅事思惟良久，顾悬弩曰："此是乎？"乃扶宣来，于故处设酒，杯中致复有蛇。因谓宣曰："北壁上弩影耳，非有他怪。"宣意解，病即瘳。

又曰：臧文仲家欲炊，而失釜及弓、弩，自行。

《十洲记》曰：续弦胶或名连金泥，此胶能属连弓弩断弦，连刀剑断折之金。胶连，使人挽制，他处即断，此终不复脱。天汉二年，帝事北海，祠恒山，西国王使至献胶四两、吉光毛裘。武帝受以付库，不知胶裘二物之妙也。以上贡不奇，稽留使未遣之。帝幸华林苑，射虎而弩弦断。使者从驾，因上胶一分，使口濡以续弦。帝惊，乃使武士数人对掣，终日不断。胶青色如碧玉，吉光毛裘黄色，盖神马之类也。裘入水经月不沉，入火不焦，帝方重之。厚赂使者而遣之。

赵公王琚音居。《教射经》曰：弩古有黄连、百竹、八槽、双弓之号，今有绞车弩中，七百步攻城拔垒用之。擘张弩中，三百步步战用之。马弩中二百步马战用之。弩张迟，临敌不过三发，所以战阵不便于弩，非弩不利于战。而将不明于弩也。不可杂于短兵，当别为队，攒箭注射，则前无立兵，对无横阵。复以阵中张、阵外射，番次轮回，张而复出，射而复入，则弩不绝声，敌无薄我。夫置弩必处其高，争山夺水，守隘塞口，破骁陷果，非弩不克杀。《法令》曰："张

弩后，左厢丁字立，当弩八字立，高揎揎音宣。手，屈衫襟，左手承橦，右手迎上，当心看张。张有阔狭，左脞右膊，还复当心安箭。高举射敌，远抬弩头，敌近平身放敌在左右，回身放，敌在高上，挈脚放。放箭讫，唱杀，却制拗蝎尾覆弩还着地。"

《太白阴经·发弩图篇》曰：弩者，怒也。言其声势威响如怒，故以名其弩也。穿刚达坚，自近及远，守险塞口，破骁陷坚，非弩不克也。

后汉李尤《弩铭》曰：粤自近古，发意所睹。前圣制弓，后世造弩。机牙发矢，执破丑虏。克获虽屡，犹不可常。忘战者危，极武者伤。

魏陈琳《武军赋》曰：弩则幽都筋角，恒山柔干。通肌畅骨，直矢轻弦。当锋摧决，贯遐洞坚。

陆机《七导》曰：长角三倡，武士棋布。捺紫间之神机，审心中而后射。

《东观汉记》曰：朱勃理马援表曰："羌反杀吏，惟狄道为国坚守。然民饥饿，啖弩煮履，援救倒悬之急，存几亡之城。"

蔡邕《幽州刺史议》曰：幽州突骑，冀州强弩，为天下精兵。国家瞻 拔，四方有事，未尝不取办于二州。

《暨艳集·杂移》曰：角弩既调，射者又工，多获鹑鸟，能无悬伤？

《文选》曰：机不虚掎。

又曰：虞机发，留鸡鹊。

又曰：良将劲弩，守要害之处。

《射雉赋》曰：擎牙伭镞，心平望审。

又曰：黄间机张，镞折毫芒。俯贯鲂鲂，仰落双鸽，鱼不及窜，鸟不及翔。

又曰：毅金机驰，鸣镝剪爵，毫落劲翻。

太平御览卷第三百四十九

兵部八十

箭　上

《字林》曰：箭，矢竹也。

《字统》曰：箭者，竹之别形，大 身小叶曰竹，小身大叶曰箭。箭竹主为矢，因谓矢为箭。

《开元文字》曰：东南之美者，有会稽之竹箭焉。箭，箘也。自关而东谓之矢，自关而西谓之箭。箭者，竹名，因以为号也。三镰，谓今箭音同。射箭也。平题，今戏射箭也。镰，稜也。题，头也。

《说文》曰：箭，矢也。从竹，前声。

《释名》曰：矢，指也。言其所指向迅疾也。又谓之箭。箭，进也。其本曰足，矢形似木，木以下为本，以根为足。又谓之镝。镝，敌也。可以御敌也。齐人谓之鏃，言其所中皆族灭也。关西曰钜。钜铰，音校也。言有铰刃也。其体曰笴，言挺笴也。其旁曰羽，如鸟羽也。鸟须羽而飞，矢须羽而前也。齐人曰卫，所以导卫矢也。其末曰括。括，会也。与弦会也。括旁曰(义)[叉]，形如(义)[叉]也。

《方言》曰：箭自关而东谓之矢，江淮之间谓之鏃，音候。关西曰箭。郭璞注云：箭者，竹名，因以为号也。

扬雄《方言》曰：凡箭鏃三者谓之羊头。其广薄而长薄谓之鲜。音卑。

《尔雅》曰：东南之美者，会稽竹箭焉。注云：会稽，山名，今在山阴县南。竹箭，条也。

又曰：金镞剪羽谓之镞，骨镞不剪羽谓之志。郭璞注曰：金镞，今(㮚)[钟]箭也。骨镞，金骨骹。不剪，谓以鸟羽自然浅狭，不复剪[之，使齐]也。骹音敲。

《孙卿子》曰：浮游作矢。

《世本》曰：夷牟作矢。黄帝二臣。

《太公兵法》曰：箭之神名续长。

《赵氏兵书》曰：矢，一名信往。

《易》曰：得金矢，利艰，贞吉。

又曰：射雉，一矢亡，终以誉命。

《书》曰：周成王崩，垂之竹矢在东房。垂，舜共工所为也。

《诗》曰：周道如(砥)[砥]，其直如矢。

又曰：弓矢既同。

又曰：舍矢如破。

又曰：既张我弓，既挟我矢，发彼小豝，殪此大兕。

又曰：束矢其搜。搜，众意劲急也。五十矢为束。

《礼记》曰：故男子生，桑弧蓬矢六以射天地四方。天地四方者，男子之所有事也，故必先有志于其所有事。

又曰：《月令·仲冬》云："是月也，伐木取竹箭。"注云：此时坚成可伐取也。

又曰：后妃执弓挟矢于高禖之前。

又曰：乘丘之役，圉人浴马。有流矢在白肉。公曰："非其罪也，遂诛之。"

《周礼》曰：东南曰扬州，其山镇曰会稽，其泽薮曰具区，其川三江，其浸五湖，其利金、锡、竹、箭。

又曰：司弓矢：掌八矢之法。八矢：一曰枉，二曰絜，音结。三曰杀，四曰镞，五曰矰，六曰茀，七曰恒，八曰阵。音痺。凡枉矢、茀矢利火射，用诸守城车战；杀矢、镞矢用诸近射田猎；矰矢、茀矢，用诸弋射；恒矢、痺矢，用诸散射。此八矢者，弓弩各有四焉。盖枉、杀、

矰、恒，弓所用也；絜、镞、茀、瘅，弩所用也。

《左传》曰：鲁庄公以金仆姑射南宫长万。杜预曰：矢名也。

又曰：狄人伐卫，公与石祁子玦，与宁庄子矢使守，曰："以此赞国，择利而为之。"

又曰：祝聃射王中肩，王亦能军。

又曰：楚子与莫弭氏战于睪泮，睪泮，楚也。伯棼射王汰辀及鼓，跗着于丁宁，伯棼，越椒也。辀，车辕，汰过也。箭过车辕上也。丁宁，钲也。又射汰(舟)[辀]以贯笠毂。师惧退，王使巡师曰："吾先君文王克息，获三矢焉，伯棼窃其二，尽于是矣。"鼓而进之，遂灭(若)[莫]敖氏。

又曰：吕锜射恭王，中目。王召养由基与之两矢，使射吕锜，中项，伏韬而死。以一矢复命。

又曰：郤克伤，流血及屨，未绝鼓音。曰："余病矣。"张侯曰："自始合而矢贯予手及肘，余折以御。左轮朱殷，岂敢言病。吾子忍之。"

又曰：齐师遁，晋州绰及之。射殖绰中肩，两矢夹脰。胫颈。

又曰：楚君以郑故，亲集矢于目。鄢陵战，晋射中楚王目也。

又曰：齐子渊捷从泄声子射之中楯。凡繇朐音劬。汰辀，匕入者三寸。

又曰：孟之侧后入以为殿，抽矢策马曰："马不进也。"不欲伐善。

《谷梁》曰：偏弓镞矢不出境。偏，当为敦。镞矢，矢名，皆天子之器也。

《论语》曰：子曰："直哉史鱼！邦有道，如矢；邦无道，如矢。"

《家语》曰：子路见孔子，孔子曰："何好？"对曰："好长剑。"孔子曰："以子所能，加之以学，岂可及乎！"子路曰："南山有竹，不扶自直，斩而用射，达于犀革。以此言之，何学为？"孔子曰："括而羽之，镞而砺之，其入不益深乎！"子路再拜。

《国语》曰：吴晋会于黄池。吴王擐甲陈卒，赤旗赤羽之矰，望之如火。贾逵注曰：矢羽为矰。

又曰：仲尼在陈，有隼于陈侯之庭而死，楛矢贯之，石砮，矢长

尺有咫。陈惠公使人以隼如仲尼之馆问之，仲尼曰："隼之来也，远矣！此肃慎氏之矢也。昔武王克商，通道于九夷八蛮，注：《说苑》云：百蛮。使各以其方贿来贡，使无忘职业。于是肃慎氏贡楛矢、石砮，其长尺有咫。先王欲其令德之致远，以示后人，使永鉴焉，故铭其栝（舊）[镑]书（功）[切]名也。括，箭羽之间。曰"肃慎氏之贡矢。"以分大姬，配虞胡公而封诸陈。古者，分同姓以珍玉，展亲也；分异姓以远方之职贡，使无忘服也。故分陈以肃慎之矢。君若使有司求诸故府，其可得也。"使求，得之金椟，如言。椟，柜也。惠公使有司求之故府，得肃慎氏矢于金柜之中，如仲尼之所言也。

《史记》曰：魏公子无忌进兵击秦，秦军解去，遂救邯郸。赵王及平原君自迎公子，平原君负鞬音兰。矢为公子先引。注：吕忱《字林》曰：鞬，盛弩矢。

《汉书》曰：李陵击匈奴，一日五十万矢皆尽。虏攻急，陵叹曰："复得数十矢足以脱矣。"

又曰：匈奴右贤王围李广。广为圆阵外向，矢下如雨，汉兵死者过半。

又曰：娄烦射项羽，弓发矢欲到，羽怒目叱，矢乃坠地，烦亦恐死。

又曰：李广夜行，见石如虎，乃射之，其矢没羽。

《续汉书》曰：来歙击隗嚣。守略阳城，大战，登城相射，乃发屋断木为箭。

《东观汉记》曰：耿弇与张步战，矢中弇股，以佩刀截之，左右无知者。

又曰：上拜寇恂河内太守，恂移书属县，讲兵肄射，伐淇园之竹，治矢百余万。

又曰：匈奴破离后，王安得攻金城。耿恭以毒药傅矢，传语匈奴曰："汉家箭神，中其疮者必有异。"因发强弩射之，虏中矢者，视疮皆沸，并大惊。相谓曰："汉兵神，真可畏也。"遂解去。

《魏志》曰：挹娄在（失馆）[扶余]东北千余里，弓长四尺如弩，楛长八寸，青石为镞。

又曰：陈琳曰："矢在弦上，不可不发。"

《魏略》曰：孙权乘大船出濡须口来观魏军，曹公使弓弩乱发射之。矢着其船，船乃偏重箭坠，将倾。权因回船复以一面受矢。矢均船平，乃放船而走。

《蜀志》曰：关羽为流矢所中，贯其左臂。医者曰："矢镞有毒，当须破臂刮骨也。"

《晋书·石季龙载记》曰：石韬起堂于太尉府，号曰宣光殿。梁长九丈。石宣视而大怒，斩匠，载梁而去。韬怒，增之十丈。宣闻之，恚甚，使杨杯、牟皮、牟成、赵生等缘猕猴梯而入杀韬。置其刀箭而去。

又《毛宝传》曰：宝军县兵少，器仗滥恶，大为祖焕、桓抚所破。宝中箭，贯髀彻鞍，使人蹋鞍拔箭，血流满鞞。

又《桓玄传》曰：达枚、回恬、兴祐之迎击玄，矢下如雨。玄嬖人丁仙期、万盖等以身蔽玄，并中数十箭而死。

崔鸿《三十国春秋·西秦录》曰：白兰王吐谷浑阿柴临卒，呼子弟谓曰："汝等各奉吾一只箭，将玩之地下。"俄而命母弟慕延曰："取汝一只箭折之。"延折之，又曰："汝取十九只箭折之。"延不能折。柴曰："汝曹知：单者易折，众则难摧。戮力一心，然后社稷可固。"言终而卒。

又《后燕录》曰：慕容盛行至西乐，遇盗陕中。盛曰："我六尺之躯，入水不溺，在火不焦，尔欲当锋乎？试竖尔手中箭百步，我若中之，宜慎尔命；如其不中，当束身相授。"盗行竖箭，盛一发中之。盗曰："相试耳。"赍而遣之。

《宋书·朱龄石弟超石传》曰：阿薄干步骑十万屯河北岸，超石以软弓小箭射虏。

又曰：谢灵运《山居赋》云：其竹则二箭殊叶，四苦齐味。注云：

(三)[二]箭、一者苦箭大叶,一者竿箭细叶。

又曰:《朱修之传》曰:鲁秀击襄阳,修之发连弩射秀,秀亦发连弩应之。修之使军人缘水拾箭。

又曰:《谢庄传》云:时河南献舞马,诏群臣为赋,庄所上其辞曰:"迎调露于飞钟,赴承云于惊箭。"

《齐书》曰:《陈显达传》云:"显达杜姥莫补切。宅大战破贼,矢中左眼。拔箭而镞不出。地黄村潘妪善禁,先以钉钉柱,妪禹步作气,钉即时出。乃禁显达目中镞出之。"

《三国典略》曰:梁以护军将军陆法和为郢州刺史,封江乘县公。法和尝军次白帝,谓人曰:"诸葛孔明可谓名将,吾目见之。此城旁有埋弩箭镞一斛许。"因令掘之,果如其言。

《北齐书》曰:郎基字世业,迁海西镇将。梁吴明彻攻海西,基粮仗皆尽,乃削木为箭,纸为羽,得围解还朝。仆射杨暗劳之曰:"卿本文吏,遂有武略。削木箭纸羽,皆无故事。班墨之思,何以过之。"

《后魏书》曰:世宗幸邺,还于河内怀界,帝亲射矢一里五十余步。侍中高显等奏:"伏见御弧矢临原弋远,弦动羽驰,镞所遠三百五十余步。臣等伏惟陛下圣武自天,神艺夙茂。巧会骑虞之节,妙尽矍居约切。圃之仪。威稜攸叠,齮胡甘切。兕慑气;才猛所振,勍憝弭心。足以肃截九区,赫服八宇矣。盛事奇迹,必宜表述,勒铭射宫,永彰圣艺。"

《后周书》曰:王杰,魏恭帝元年从于谨围江陵,时栅内有人善用长矟,战士将登者,多为所毙。谨令杰射之,应弦而倒,登者乃得入,余众继进,遂拔之。谨喜曰:"济我大事者,在此箭也。"

又曰:贺拔岳既遇害于河曲,太祖乃率轻骑驰赴平凉。时齐神武遣长史侯景招引岳众,太祖至安定遇之,谓景曰。"贺拔公虽死,宇文泰尚存,卿何为也?"景失色对曰:"我犹箭也,随人所射,安能自裁。"景于此即还。

又曰：《庾信传》云："信常有乡关之思，作《哀江南赋》以致其意。云：两观当戟，千门受箭。白虹贯日，苍鹰击殿。"

又曰：《长孙晟传》云："晟与汝南公猎，见二雕飞而争肉，因以两箭与晟曰：射取之。晟弯弓驰往，遇雕相跃，一发双贯焉。"

《唐书》曰：太宗讨刘黑闼。闼常于肥乡列阵，太宗亲率左右击之。有一突将，勇壮绝人，直冲太宗，刃将接，太宗以天策上将大箭射之，中心洞背，应弦而毙。遂传此箭于北蕃。突厥见而惊叹。又常轻骑近出，遇三骑皆贼中骁勇有名者，举枪而进。左右请避之，太宗不从，待其将至，连发三矢，相次皆毙。敌人慑气焉。

又曰：贞元四年贡武举，并应百只箭及三十只箭等，今年权停。时谏议大夫田敦因蒙召对，奏言："兵部武举等每年常数百千人，持挟弓矢出入皇城间，恐非所宜。"上闻而瞿然，故命停之。其实武举者每岁不过十数人。时议恶敦贵，欲非短旧事，奏议不实。自是讫于贞元，更不复置。

太公《六韬》曰：陷坚阵强敌，大黄参连弩，飞鸟、电景矢自副。注云：飞鸟、电景，矢名。飞鸟，尺茎白羽，以[铜]为首。电景，青茎尺羽，以铜为首。铜一作铁。

《太公金匮》曰：武王伐殷，丁侯不朝。尚父乃画丁侯，三旬射之。丁侯病，遣使请臣。尚父乃以甲乙日拔其头箭，丙丁日拔其目箭，戊巳日拔其腹箭，庚辛日拔其股箭，癸亥日拔其足箭。丁侯病乃愈。四夷闻，皆惧。越常氏献白雉。

太平御览卷第三百五十

兵部八十一

箭下　箭筒　步叉　櫜鞬　射捍　弹

箭　下

《魏百官名》曰：三公拜赐鹈尾、鹘尾鞬许交切。箭十二枚。

《三齐略记》曰：富平城，孝明帝时改为厌次。此城东南五十里有蒲台，高丈八。秦始皇所顿处时，在台下萦蒲系马夹道数百步，到今蒲生犹萦马。蒲似水杨而劲堪为箭。

《博物志》曰：交州山夷名曰俚子，弓长数尺，箭长尺余。以燋铜为镝，涂毒药于镝锋，中人即死。不时敛藏，则胼胀沸烂，须臾燋煎都尽，惟骨在耳。其俗誓不以此药法语人。治之，饮妇人月水及粪汁，时有差者。惟射猪犬者无它，以其食粪故也。燋铜者有声，以物打之，徐听其声。得燋毒者，偏凿取以为箭镝。

焦贡《易林》曰：双凫俱飞，以归稻池。经涉其泽，为矢所射，伤我胸膺。

刘向《新序》曰：楚熊渠子夜行，见寝石似伏兽，射之饮羽。

《异苑》曰：乌伤黄蔡，义熙初于查溪岸照射，见水际有物，眼光彻，其间相去三尺许，形大如斗。引弩射之，应弦而中，便闻从流奔惊，波浪砰磕，苦盍切。不知所向。经年，与伴共至一处。名为竹落冈，(盍)[去]先所二十许里，有骨可长三丈余，见昔射箭贯在其中。因语伴云："此是我往年所射，物乃死于斯。"拔矢而归。其夕梦见一长人，责诮之曰："我在洲渚之间，无关人事，而横见杀害，怨苦莫申，连时觅汝，今始相得。"眠寤(仍)[乃]患腹疾而殒。

又曰：永阳李增行经大溪，见二蛟在水，引弓射之，中一即死。

增归，因复出市，有女子素服衔涕，捉所射箭。增怪而问焉，女答曰："何用问为！若是君许，便以相还。"授矢而灭。增恶而骤反，未达家，暴死于路。

《孟子》曰：矢人岂不仁于函人哉？矢人惟恐不伤人，函人惟恐伤人。

《列子》曰：逢蒙之弟子曰："鸿超怒其妻而怖之，引乌号之弓、綦卫之箭，射其目。矢未注，眸子瞬不睫，矢坠地而尘不扬。"

又曰：飞卫学射于甘蝇，诸法并善，惟啮法不教。卫密将矢以射蝇，蝇啮得镞矢射卫，卫绕树而走，矢亦绕树而射。

《鲁连子》曰：燕伐齐，取七十余城，惟莒与即墨不下。齐田单以即墨破燕军，杀燕将军骑劫，复齐城。惟聊城不下。燕将城守数月，鲁仲连乃为书，着之于矢以射城中遗燕将。燕将得书，泣三日，乃自杀。

《尉缭子》曰：夫杀人百步之外者，谁也？曰："矢也。"

《韩子》曰：矢来无向，则为铁室以备之。

又曰：智伯将伐赵，赵襄子召张孟谈问之曰："奈无箭何？"孟谈曰："董安于之治晋阳也，公宫之垣皆以荻蒿、楛楚廧音墻。之，其高至于丈。君发而用之，有余箭矣。"于是发而试之，坚，则菌干之劲不能过也。君曰："吾箭已足矣，奈无金何？"孟谈曰："董子之治晋阳，公宫令舍之堂，皆以炼铜为柱质，君发而用之，有余金矣。"《战国策》曰：公宫之垣皆以荻蒿，其坚则菌簬之劲不能过其余，何也？簬音路。

又曰："水激则悍，矢激则远。"

又曰：楚人有白猿，王自射之，则抟矢而熙。熙，戏也。使养由基射之，始调弓矫矢，未发而猿拥树号矣。由基，楚共王之臣养叔也。调，调张也。矫，直也。拥，抱也。

《诸葛子》曰：若能力兼三人，身与马如胶漆，手与箭如飞虹，诚宜宠异。

《亢仓子》曰：勾粤之干，镞以精金，鸷隼为之羽，以之掊筐，则

其与槁朴也无择。勾粤，东粤。干，似干也。鸷隼，鹰鹞之类。搏鑑，打击也。《尔雅》曰：东南之美，有会稽之竹箭焉。夫勾越之干以精金为镞，以隼翎羽之。打击则同于槁(朴)[科]也。无择，犹无异也。及夫蕩寇争虔，音衡。觀武决胜，加之强弩之上，则三百步之外不立敌矣。捧蕩寇敌，争衡决胜，如此勾粤之干于强弩之上，则不立敌也。

《楚辞》曰：举长矢兮射天狼。

陈琳《武库赋》曰：矢则申息肃育，音慎。箘簬空流，燋铜毒铁，箭镞鸣镞。

《子虚赋》曰：曳明月之珠旗，建干将之雄戟。左乌号之雕弓，右夏服之劲箭。

《射雉赋》曰：昔贾氏之如皋，始解颜于一箭。丑夫为之改貌，憾妻为之释怨。

《吴都赋》曰：其竹则筼于君切。筜都郎切。筱簜，音吟於。桂箭射筩，由梧有篁，箓筊音瓢劳。有丛。

后汉李尤《弧矢铭》曰：弦木为弧，剡木为矢。[四]大协并，八极同纪。

晋江统《弧矢铭》曰：幽都筋角，会稽竹矢。率土名珍，东南之美。易以获隼，诗以殪兕，伐叛柔服，用威不韪。

梁昭明太子《弓矢赞》曰：弓用筋角，矢制良工。亦以观德，非止临戎。杨叶命中，猿堕张空。

箭 筒

《释名》曰：箭(萁)[箕]受矢之器，以皮曰箙，扶福切。柔服用之也。织竹曰笮，音赜。相迫笮之名也。

《说文》曰：兰所以盛弩矢，人所负也。

《诗义问》曰：总所以覆矢也，谓箭筒盖也。

《周礼·夏官下·司弓矢》曰：仲秋献矢(服)[箙]。(服)[箙]，盛矢器也，兽皮为之也。

《左传》曰：公徒执冰而踞。杜预注曰：冰，箭筒盖也。

又曰：晋楚战，楚熊负羁囚智罃。智庄子以其族反之，负羁，楚大夫也。智罃，智庄子之子也。厨武子御，武子，魏锜。下军之士多从之。智庄子、下军大夫故也。每射，抽矢，菆，楚尤切纳诸厨子之房。抽，擢也。菆，好箭也。房，箭舍也。武子怒曰："非子之求而蒲之爱，蒲，杨柳，可以为箭也。董泽之蒲，可胜既乎？"董泽，地名，在东阿喜县。

《集异记》曰：丹阳张承先家有一鬼，为张偷得一箭筒，云："慎勿至新亭射，此三井陶家物。"张以借他，鬼骂欲烧屋，张驰取还乃止。

《杂诗》曰：象弧雕服。

《竹谱》曰：射筒竹薄肌而长，中着箭，因以为名。

步　叉又音钗，一作釵，音与上同。

《释名》曰：步叉，人所带，以箭叉其中。马上曰鞬，鞬，建也。弓矢并建立其中也。

《通俗文》曰：箭箙，谓之步釵。

《赵书》曰：石虎等破刘曜于上邽，获马二百匹，赤罽金银、步叉、弓鞬三十具。

櫜　鞬

《左传》曰：晋楚治兵，遇于中原。左执鞭弭，右执櫜鞬，以与君周旋。櫜，受箭也。

《后汉书》曰：董卓膂力过人，双带两鞬，左右驰射。《方言》曰：所以藏箭谓之箙，藏弓，谓之鞬。《左氏传》云：右属櫜鞬。

《魏百官名》曰：三公拜赐鱼皮步叉一，貔皮鞬一，琢菆金校步叉一，金校豹皮鞬一。

射　捍音汗。字与鞔同。射鞔以皮臂也。

《说文》曰：鞥，射臂搘也。

《三礼弓矢图》曰：撻者臂捍，以朱韦为之。谓之撻者，所以遂弦也。

《括地图》曰：羿年五岁，父母与入山。其母处之大树下，待蝉鸣，还，欲取之。群蝉俱鸣，遂捐去。羿为山间所养，年二十，能习弓矢。仰叹曰："我将射远方，矢至吾门止。"因捍即射，矢摩地截草，经至羿门，随矢去。

《管子》曰：桓公弋，管仲、隰朋朝，公望二子弛弓脱捍而迎之。

《鲁连子》曰：弦锲相第而矰矢得高焉。专诸刺王僚，阖庐乃名成焉。

弹

《广雅·释器》曰：彊谓之弹。彊音量。

《字林》曰：弹，行丸者，又栟也。栟使战动掉一作棹。弹也。栟，普耕切，与枰同。

《桂苑》曰：弹，行丸弓也，又作弓。音弹。

《开元文字》曰：引弹之谓行丸者也。又弹栟也。

《说文》曰：弹，行丸也。

《吴越春秋》曰：陈音对越王云："弩生于弓，弓生于弹，弹生于古之孝子。古者人民质朴，死则裹以白茅，投之中野，孝子不忍父母为禽兽所食，则作弹以守之。故古人歌之曰：'断竹属木，飞土逐肉。'遂令死者不犯鸟狐之残也。"

《周礼》曰：凡句兵欲无弹，刺兵欲无蜎。注云：句兵，戈戟属，弹为掉也。蜎，狂。

《左传》曰：晋灵公不君，从台上弹人，观其避丸者。

《谷梁》曰：灵公朝大夫而暴弹之也，观其避丸也。暴，戏暴之也。

《汉书》曰：长安中奸猾浸多。闾里多少年群辈杀吏受财报仇，相与探丸为弹，得赤丸者破武吏，黑者所文吏，白者主治丧。城中薄暮尘起，剽劫行者，死伤横道。

张璠《汉记》曰：班超使于阗，愿将三十六人以为蒿矢、弹丸之用。

《魏书》曰：齐王芳为帝，常喜以弹弹人。

《魏书传》曰：曹爽兄弟归家。敕洛阳县发民八百人，使尉部围爽第，四角作高楼，令人在上望视。爽计穷愁闷，持弹到后园中，楼上人便唱言："故大将军东行、南行。"爽还厅事上矣。

《晋安帝纪》曰：琅琊内史孙无终，贪横忍虐，妓妾有忤意者，辄弹其面。

萧子显《齐书》桓荣祖字华先，下邳人。荣祖善弹，弹鸟毛尽而鸟不死。海鹄群翔，荣祖登城西楼弹之，无不折翅而下。

崔鸿《西秦录》曰：辛进字国都，陇西人。建弘初，为散骑常侍，从乞伏炽盘游于后园。宵观弹鸟，丸伤暮末母之面。至是 末问母面伤之由。母曰："辛进弹鸟所伤。"末怒，故诛之。

《隋书》曰：长孙晟善弹。有鸢群飞，上曰："公为我取之。"晟十发俱中，并应丸而落。赐赉极多。

《韩诗外传》楚庄王将兴师伐晋，告大夫曰："有敢谏者，罪至死无赦。"孙叔敖进谏曰："臣之园中有榆，其上有蝉，蝉方奋翼悲鸣，欲饮清露，不知螳螂在后，曲其颈欲攫而食之也。螳螂方欲食蝉，不知黄雀在后，举头而欲[啄]食之。黄雀方欲食螳螂，不知童子挟弹丸在榆下，仰而欲弹之。童子方欲弹黄雀，不知前有深坑，后有掘株也。此皆贪前之利，不顾后害者也。非独昆虫众庶若此，人主亦然。"楚国不殆而晋国以宁，孙叔敖之力也。

《两京杂记》曰：韩嫣於骞武帝佞倖人也。作金丸，人皆逐之。长安为之语曰："苦饥寒，逐金丸。"

《异苑》曰：青溪小姑庙，云是蒋侯第三妹。庙中有大榖树，扶疏荫浚，乌常产育其上。太元中，陈郡谢庆执弹乘马激杀数头。至夜，梦一女子。衣裳楚楚，怒云："此鸟是我养，何故见侵？"经年而谢卒。庆名涣，灵运父也。

《幽明录》曰：元嘉初，散骑刘隽家在丹阳郡，后尝闲居。而天大骤雨，见门前有三小儿，皆可六七岁，相牵狡狯，音怡。而并不沾濡，隽疑非人。俄见共争一瓠壶子。隽引弹弹之正中壶。霍然不见。隽出，人问前得一壶，而泣曰："此是小儿物，不知何由在此？"隽具说之。

《东方朔记》曰：东方朔对骠骑难曰："以珠弹不如泥丸，各有所用也。"

《庄子》曰：庄周游乎雕陵之樊，睹一异鹊自南方来，翼广七尺，目大运寸，而进集于栗林。周曰："何鸟哉？"执弹而留之。睹一蝉方得美荫而忘其身，螳螂执翳而搏之，见得而忘其形，异鹊从而利之，见利而忘其真。庄周怵然曰："物固相累。二类相招也。"指弹而射之，虞人逐而讯之。以周为盗栗。

又曰：化予之左臂以为鸡，予因以求时夜；浸假而化右臂以为弹，余因以求鹯炙。

又曰：以随侯之珠，弹千仞之雀，以所用者重，所要者轻。

《大玄经》曰：明珠弹于飞，害其得不伤。

《潜夫论》曰：丁夫不傅犁锄，怀丸挟弹，或取好土作丸卖之。其弹外不可御盗，内不足禁鼠，妄弹鸟雀，百发不得一，反中人面目，此无用而有害也。

《世说》曰：前辈人忌日惟不饮酒作乐。王世将以忌日送客至新亭，别主人欲作音声，王便起去，持弹往卫洗马墓下弹鸟。

《梦书》曰：梦持弹者，得朋友。

赵壹《穷鸟赋》曰：有一穷鸟，戢翼原野。罪音必。网加上，机阱在下。前见苍隼，后见驱者。矰缴张右，羿弓彀左，飞丸缴矢，交集于我。思飞不得，欲鸣不可。举头畏触，摇足恐堕。内独怖急，乍水乍火。

夏侯孝若《缴弹赋》曰：张弱弓，理繁缴，望大群以送丸，审遣放而必获。

《古乐府歌》曰：鸟生八九子，秦氏桂树间。秦氏家有游荡子，立用睢阳强弹丸。

魏明帝《猛虎行》曰：双桐生空井，枝叶自相加。通泉浸其根，玄云润其柯。上有双栖鸟，交颈鸣相和。何意行路者，秉丸弹是窠。

桓玄《南林弹诗》曰：散带蹑[奔]驷，挥弹出长林。归翻赴旧栖，木末转翔禽。落羽寻绝响，屡中辄应心。

后汉李尤《弹铭》曰：昔之造弹，起意弦木。以丸为矢，合竹为朴。漆饰胶治，弗用筋镞。丸弹之利，以弋鳧鹜。晋灵(娇)[骄]悖，群臣是弹。乐其如厌，趋如避丸。

太平御览卷第三百五十一

兵部八十二

戈

《易》曰：离为戈兵。

又曰：投戈散地，则六亲不能相保。

《书》曰：武王至商郊，王左仗黄钺，右秉白旄以麾曰："逖矣！西土之人。称尔戈，比尔干，立尔矛，予其誓。"

又曰：武王伐纣，战于牧野。前徒倒戈，血流漂杵。

又曰：成王崩，太保命仲桓、南宫毛孔安国曰：二臣桓毛名。俾爰齐侯吕伋，以二千戈、虎贲百人，逆子钊于南门之外。

又曰：兑之戈，和之弓，垂之竹矢，在东房。兑、和，古之巧人。

又曰：四人綦弁，执戈上刃，夹两阶戺。一人冕，执戮，立于东垂；一人冕，执瞿，立于西垂。戮、瞿皆戟属。

又曰：惟干戈省厥躬。

又曰：鲁侯、伯禽宅曲阜，徐夷并兴，公曰："备乃弓矢，锻乃戈矛。"

《诗》曰：岂曰无衣，与子同袍。王于兴师，修我戈矛，与子同仇。岂曰无衣，与子同泽。王于兴师，修我矛戟，与子偕作。

又曰：彼候人兮，荷戈与祋。毛苌曰：候人，道路送迎宾客者也。荷，揭也。祋，殳也。祋，丁外切。

又曰：载戢干戈，载櫜弓矢。

《礼记》曰：进戈者前其鐏比，祖冈切。后其刃；进矛戟者，前其镦，音队。后其锐。郑玄曰：后刃，敬也。二兵镦鐏，虽在下犹为首。锐底曰鐏，取

其鐏(地)也。平底曰镦,取其镦(地)也。

又曰:春夏学干戈,秋冬学羽籥,皆于东序。干,盾也,戈句(子)[序]戟也。干戈万舞,象舞也。

又曰:能执干戈,以卫社稷。

又曰:宾牟贾侍坐于孔子。孔子与之言,及乐。子曰:"夫乐者,象成者也。总干而山立,武王之事也。发扬而蹈厉,太公之志也。《武》乱皆坐,周召之治也。武王克商,济河而西,倒载干戈,包以虎皮,将帅之士,使为诸侯,名之曰建櫜。"

又曰:大夫士既殡而君往焉,祝先升,君即位于阼,小臣二人,执戈立于前,一人立于后。

《周礼》曰:旅贲氏:掌执戈盾,夹王车而趋,左八人,右八人,车止则持轮。丧纪,则衰葛执戈盾。军旅,则介而趋。

又曰:节服氏:掌祭祀、朝觐衮冕,六人维王之太常。郊祀裘冕,二人执戈,送逆尸从车。郑玄曰:裘冕者,亦从尸服也。从尸车,送逆之往来也。

又曰:方相氏:掌蒙熊皮,执戈扬盾,帅百隶而时傩,以索室殴疫。及墓,入圹,以戈击四隅,殴方良。方良,罔(良)[两]也。

又曰:司戈盾:裝戈盾之物而颁之。祭祀,授故士戈。故士,王族,故士也与旅贲当事则卫王者也。军旅、会同,授贰车戈盾,建乘车戈盾,授旅贲及虎士戈盾。乘车,王所乘车也。旅则革路,会同则金路也。

又曰:车谓之六等之数:郑玄曰:六等之数法易之,三材六画也。车轸四尺,谓之二等;人长八尺,崇于戈四尺,谓之三等。殳长寻有四尺,崇于人四尺,谓之四等。车戟常,崇于殳四尺,谓之五等。酋矛常有四尺,崇于戟四尺,谓之六等。

又曰:金有六齐。四分其金而锡居一,谓之戈戟之齐。

又曰:戈广二寸,内倍之,胡三之,援四之。郑玄曰:戈,今勾子戟也。或谓之鸡鸣,或谓之拥颈也。已倨则不入,已勾则不决。长内则折前,短内则不疾。郑玄曰:戈,勾兵也。主于胡已倨,谓胡微直而邪多,以啄人则不入。已勾,谓胡曲多也。以啄人则创不决前谓援也。内长则援短,援短则曲于鬲折,而于鬲折

则引之与胡并钩。内短则援长，援长则倨于罄折，倨于罄折则引之不疾。

又曰：卢人为卢器。戈秘六尺六寸，殳长寻有(车)四尺。[车]戟常。酋矛常有四尺，矛夷三寻。郑玄曰：秘犹柄也。八尺曰寻，倍寻曰常。酋夷，长短名也。

《左传》曰：晋公子重耳及齐，齐桓公妻之，公子安之。姜曰："行也，怀与安，实败名。"公子不可，姜与子犯醉而遣之。醒以戈逐子犯。

又曰：秦伐晋。战之明日，晋襄公缚秦囚，使莱驹以戈斩之。囚呼，莱驹失戈。狼瞫取戈以斩囚，禽之以从公乘，遂以为右。

又曰：鲁败狄于鹹，获长狄侨如。富父终甥舂其喉，以戈杀之，舂，犹冲也。埋其首于子驹之北门。狄长三丈。

又曰：齐败于鞌。齐顷公既免，求逢田父，三入三出。入于狄，卒皆抽戈盾，冒之以入于卫，卫师免之，遂自徐关入。

又曰：晋楚战于鄢陵。范丐趋进丐，士燮子。曰："塞井夷灶，陈于军中，晋楚惟天所授，何患焉。"文子执戈逐之曰："国之存亡，天也！童子何知焉！"

又曰：晋胥童、夷羊五帅甲八百，将攻郄氏。长鱼矫请无用众。公使清沸魋助之，沸魋，嬖人也。抽戈结衽衽，裳(际)也。而伪讼者三。郄将谋于榭。榭，讲武堂也。矫以戈杀驹伯、苦成叔于其位。驹伯，郄锜苦成叔郄犨也。温季曰："逃，威也。"遂趋。郄至(本□)[未奉]君命而死，今矫等意欲辜□[命]，不以君命而来，故欲逃也。矫及其车，以戈杀之，皆尸诸朝。

又曰：晋中行献子将伐齐，梦与厉公讼，弗胜。厉公，献子所杀。公以戈击之，首坠于前，跪而戴之，奉之以走，见梗阳之巫皋。他日见诸道，与之言同。巫亦梦见献子与厉公讼。巫曰："今兹主必死，若有事于东方则可以逞。"

又曰：晋侯伐齐，范鞅门于雍门，其御追喜以戈杀犬于门中。杀犬示闲暇也。

又曰：齐庆封好田而嗜酒，与庆舍政。舍，庆封子。卢蒲癸臣子

之，子之舍也。与王何二人皆嬖，使执寝戈而先后之。寝戈，亲近兵仗也。尝于太公之庙，庆舍莅事。临祭事也。麻婴为尸，为祭尸也。卢蒲癸、王何执寝戈。庆氏以其甲环公宫。卢蒲癸自后刺子之，王何以戈击之，解其左肩。犹援庙桷，动于甍，以俎壶投，杀人而后死。言其力多。

又曰：郑徐吾犯之妹美，公孙楚聘之。楚子南也。公子黑又使强委禽焉。禽，雁也。纳彩内雁也。子南戎服入，左右射，超乘而出。女自房观之，适子南氏，子皙怒，既而橐甲以见子南，欲杀之而取其妻。子南知之，执戈逐之，及冲击之以戈，冲，交道也。子皙伤而归。告大夫曰："我好见之，不知其有异志，故伤。"

又曰：晋平公有疾。郑伯使公孙侨如晋聘，且问疾。叔向问曰："寡君之疾病，卜人曰：'实沈、台骀为祟。'此何神也？"子产曰："昔高辛氏有二子，伯曰阏伯，季曰实沈，不相能也。日寻干戈，以相征讨。后帝不臧，迁阏伯于商丘，主辰。迁实沈于大夏，主参。"

又曰：卫公孟縶狎齐豹，公孟，灵公兄也。齐豹，齐恶之子，为卫司寇也。夺之司寇与鄄，公孟恶北宫喜、褚师圃，欲去之。公子朝通于襄夫人宣姜，惧而欲以作乱。故齐豹，北宫喜、褚师圃、公子朝作乱。公孟有事于盖获之门外，有事，祭也。盖获，卫郭门也。齐氏帷于门外而伏甲焉。使祝蛙置戈于车，薪以当门。华齐御公孟，宗鲁骖乘。及闳，齐氏用戈击公孟，宗鲁以背蔽之，中公孟肩，杀之。

又曰：吴入郢，楚昭王涉睢，济江，入于(梦)[云]中。王寝，盗攻之，以戈击王。王孙由于以背受之，中肩。

又曰：吴伐越。越子句践御之，陈于檇李。灵姑浮以戈击阖闾，伤将指。

又曰：人输晋范氏粟。郑子姚子般送之，范吉射逆之，赵鞅御之。邮无恤御简子，卫太子为右，登铁上。郑人击赵简子，中肩，毙于车中，太子救之，以伐郑。师北，太子复伐之，郑师大败。

又曰：齐简公即位。与妇人饮酒于檀台。成子迁(诸)[居]寝，

徙公使居正寝。公执戈将击之。疑其欲作乱也。太史子余曰："非不利也，将除害也。"

又曰：晋荀瑶帅师伐郑。荀瑶，智伯也。郑驷弘请救于齐。弘，驷敝子陈成子救郑。及濮，雨，不涉。成子衣制杖戈，制雨衣也。立于阪上，马不出者，助之鞭之。智伯闻之，乃还。畏其得众心也。曰："我卜伐郑，不卜敌齐。"

又曰：卫良夫与太子蒯聩入，舍于孔氏之外圃。昏入，适伯姬氏。既食，孔伯姬仗戈而先，太子与五人(分)[介]舆碣从之，分被甲也。迫叔悝于厕，强盟之。孔氏专政，故劫孔(埋)[悝]，欲令逐辄。

《汉书》曰：宣帝时，美阳鼎献之。张敞好古文字，案鼎铭勒而上议曰："今鼎出于郊东，中有刻书，曰王 命尸臣，孟康曰：尸，主也。官此栒邑，赐尔鸾旂，黻琱戈尸，臣拜手稽首。窃以传记言之，鼎殆周之所以褒赐大臣也。"

又曰：武帝元鼎五年，南越相吕嘉反，遣归义侯严为戈船将军，张晏曰：严故越人，降(义)[为]归义侯。越人于水中负鑿鑿人船，又有蛟龙之害，故置戈于下，因以为名也。下离水。

《晋书》曰：《贾充传》云："高贵乡公之攻相府也，充率众拒战于南闕。军将败，骑督成倅弟太子舍人济问充曰："今日之事当如何?"充谓曰："公养汝等正拟今日，复何疑。"济于是抽戈犯跸。

崔鸿《前赵录》曰：李景年字延祐，前部人。长平之战，刘聪马中矢，几为晋军所获。景年以马授聪，挥戈前战。以功封梁邹侯。

《战国策》曰：中山君飨都大夫羊羹不遍，司马子期怒而走于楚，说楚王伐中山，中山君亡走。有二人挈戈而随，中山君顾谓二人："子奚为者也?"二人对曰："臣有父当饿将死，君下壶食铺臣之父，故来死君也。"中山君慨然仰天叹曰："吾以一杯羊羹亡国，以一壶食得士二人。"

《国语》曰：秦师侵晋，惠公令韩简挑战，曰："昔君之惠，寡人未敢忘。家人之众能合之不能离也。君若不还，寡人将无所避。"穆

公衡雕戈出见使者。

《庄子》曰：孔子穷于陈蔡，七日不食，弦歌鼓琴。子路仡然执戈而舞。

《韩子》曰：勾践入官于吴，执戈为吴王洗马，故能杀夫差于姑苏。

《吕氏春秋》曰：赵简子攻卫附郭，自将远立，郭远立，矢石不及也。又居于犀蔽犀橹之下，投枹而叹投，弃也。曰："乌呼，士之遬音速。弊，尽一若此乎！"遬犹化也，一犹皆也，言士之变化弊恶皆如此乎。行人烛过免胄横戈而进曰："亦有君不能耳，士又何弊之有！"简子乃去犀蔽犀橹，而立于矢石之所及，矢，箭也。石，弩也。一鼓而（士）[毕]乘之。毕，尽也。乘，凌也。简子曰："与吾得革车千乘也，不如闻行人烛过之一言。"

《淮南子》曰：阳虎为乱于鲁，鲁君令人闭城门而捕之，得者有赏，失者夷族。围三匝矣，阳虎将举剑而自刎颈，门者止之曰："我将出子。"阳虎左执剑，右提戈，赴围而走，门者出之。阳虎既出，顾出之者，以戈推之，攘袪薄腋。鲁君闻阳虎失，怒所出之门。以为伤者战斗者也，不伤者为纵之。伤者受厚赏，不伤者受重罪也。此所谓害之而反利之者也。

又曰：鲁阳公与韩构难，战酣。日暮，援戈而抟日，日反三舍。鲁阳，楚人也，（王）[文]之孙，司马期之子，所谓鲁阳文子也。楚僭号称王，其守县大夫皆称公，曰鲁阳公，今南阳鲁是也。

《五经要义》曰：国君及元率戎车将在中央当鼓，御者在左，勇力之士执戈在后。

陆景《典语》曰：戈刀虽备于执事，而无所扬其锋。

桓寬《盐铁论》曰：匈奴处沙漠之中，生不食之地，如中国之麋鹿耳。好事之臣，求其义，责之礼，使中国干戈至今未息。

《玄晏春秋》曰：七年，春王正月乙酉，予长七尺四寸矣，未通史书，与从姑子梁柳等击壤于路，或编荆为盾，执荻为戈，分陈相刺习

兵，共以为乐。

张骘《文士传·挚虞答策》曰：古之良臣受彤弓雕戈之锡，铭之彝器，贻之后昆，旷世历代以为宾荣。岂无其物，贵殊品也。

《抱朴子》曰：虎狼见逼，不挥戈奋剑而弹琴咏诗，吾未见其身之可保也。

又曰：荆卿、朱亥不示小勇于怯弱之间，孟贲、冯妇不奋戈戟于狸豺之群。

《山海经》曰：昆仑墟北，有人曰"太行伯"，把戈。

干宝《搜神记》曰：有崔文子者，学仙于子高。子高化为白霓而持药文子，文子惊怪，引戈击霓，中之，因堕其药。俯而视之，王子乔之尸也，置之室中，覆以弊筐，须臾而化为大鸟。开而视之，翻飞而去。

梅陶《在盆口与三公书》：苏峻勇而无谋，兵家所常弊也。长广人释锄犁，执干戈，何知战法。

《文选》曰：戈鋋彗云。

又曰：戈矛若林。

《离骚》曰：操吴戈兮披犀甲，车错毂兮短兵接。

繁钦《述征赋》曰：时三月之暮春，逼干戈之急难。

王粲《从军诗》曰：楼船凌洪波，寻戈刺群虏。

高贵乡公诗曰：干戈随风靡，武骑齐雁行。

魏明帝《堂上行》曰：武夫怀勇毅，勒马于中原。干戈森若林，长剑奋无前。

荀道雍《猛虎行》曰：诘朝弹竹冠，荷戈翦荒要。

应贞《华览》曰：万夫决拾，武骑齐足。乘夷长森，分行别属，弓不虚弯，戈不苟扑。

傅毅《西征颂》曰：愠昆夷之匪协，咸矫于戎事。干戈动而后戢，天将祚而隆化。

崔骃《北征颂》曰：人事协兮皇恩得，金精扬兮水灵伏，顺天机

兮把刑德，戈所指兮罔不克。

张协《七命》曰：举戈林竦，挥锋电灭。仰倾云巢，俯殚地穴。

孔欣《七诲》曰：携同好，命爪牙，摄乌号，杖雄戈，缘山结网，参云张罗。

殷融议曰：自顷多难，国度屡空。疋夫有重茧之劳，武（王）[士]有执戈之勋。

太平御览卷第三百五十二

兵部八十三

戟　上

《释名》曰：戟，格也。旁有枝格也。戈，勾矛戟也。戈，过也，所刺则决过，所勾引制之不得过也。车戟曰常，长丈六尺，车上所持也。八尺曰寻，倍寻曰常，故称常也。手戟，手所持擿之戟也。

《说文》曰：戈，平头戟也。从戈，一横之象形也。戟，有枝兵也。戟读若棘。镆耶，大戟也。

《方言》曰：戟，楚谓之孑。（郑）[郭]璞曰：取名于钩孑也。凡戟而无刃，秦晋之间谓之孑，或谓之镋。音寅。吴扬之间谓之戈。东齐秦晋之间谓其大者曰镘莫干切。胡，其典者谓之句孑镘胡。即今鸡鸣句孑戟也。南楚宛郢谓之匽戟。其柄，自关而西谓之秘，或谓之殳。音殊。

《广雅》曰：匽，谓之雄戟。

《太公兵法》曰：戟之神名大将。

《赵氏兵书》曰：戟，参星主之。

《周礼》曰：掌舍为坛，壝音遗。宫棘门。郑司农云：棘门，以戟为门也。

《左传》曰：郑伯将伐许，授兵于太宫。公孙阏与颍考叔争车，考叔挟辀以走，辀，车辕也。子都拔棘以逐之。棘，戟也。及大逵，不及，子都怒。都，阏字也。

又曰：庄公四年，楚武王荆尸授师孑焉，以伐随。尸，陈也。孑者戟。然则楚始于此参用戟为陈也。

又曰：郑公子归生受命于楚，伐宋。宋华元御之。战于大棘，

太平御览卷第三百五十二

兵部八十三

戟　上

《释名》曰：戟，格也。旁有枝格也。戈，勾矛戟也。戈，过也，所刺则决过，所勾引制之不得过也。车戟曰常，长丈六尺，车上所持也。八尺曰寻，倍寻曰常，故称常也。手戟，手所持擿之戟也。

《说文》曰：戈，平头戟也。从戈，一横之象形也。戟，有枝兵也。戟读若棘。镆耶，大戟也。

《方言》曰：戟，楚谓之孑。（郑）[郭]璞曰：取名于钩孑也。凡戟而无刃，秦晋之间谓之孑，或谓之镋。音寅。吴扬之间谓之戈。东齐秦晋之间谓其大者曰镘莫干切。胡，其典者谓之句孑镘胡。即今鸡鸣句孑戟也。南楚宛郢谓之匽戟。其柄，自关而西谓之秘，或谓之殳。音殊。

《广雅》曰：匽，谓之雄戟。

《太公兵法》曰：戟之神名大将。

《赵氏兵书》曰：戟，参星主之。

《周礼》曰：掌舍为坛，壝音遗。宫棘门。郑司农云：棘门，以戟为门也。

《左传》曰：郑伯将伐许，授兵于太宫。公孙阏与颍考叔争车，考叔挟辀以走，辀，车辕也。子都拔棘以逐之。棘，戟也。及大逵，不及，子都怒。都，阏字也。

又曰：庄公四年，楚武王荆尸授师孑焉，以伐随。尸，陈也。孑者戟。然则楚始于此参用戟为陈也。

又曰：郑公子归生受命于楚，伐宋。宋华元御之。战于大棘，

又曰：晁错上言曰："两阵相近，平地浅草，可前可后，此长戟之地也。剑盾三不当一。"

又曰：灌夫字仲孺，父孟死吴军。夫奋曰："愿取吴王若将军之头，以报父仇。"于是夫披甲持戟，募军中壮士所善愿从数十人。及出壁门，莫敢前，独两人及从奴十余骑驰入吴军，至戏音麾。下，所杀伤数十人。

又曰：扬雄位不过执戟。

又曰：八月，饮酎行祠孝昭庙。是时，霍氏外孙代郡太守任宣坐谋反诛。宣子章为公车丞，亡在渭城界中，夜，袨服入庙，执戟立庙门，待上至，欲为逆，发觉，伏诛。

《后汉书》曰：光武署铫期为贼曹掾。上略地向北，期从徇蓟。时王郎檄书到，蓟中起兵应郎。光武趋驾出，百姓聚观，喧呼满道，遮路不得行。期骑马奋戟，嗔目大呼，左右曰趋，《周礼》：隶仆掌趋宫中之事。郑众曰：止行清道也，若今警跸。《说文》：趋与跸同。众皆披靡。

《东观汉记》曰：吴汉与苏茂、周建战。汉躬披甲持戟，告诸部将曰："闻鼓声大呼，俱进，后至者斩。"遂鼓而进，贼兵大破。

又曰：建武四年，隗嚣遣马援奏课京师，因曰："臣与公孙述同县，少小相善。臣前往蜀，述陛戟乃见臣；今臣远从异方来，陛下何以知臣非刺客奸人，而简易若是？"上大笑。

又曰：田邑字伯玉，为上党太守，时更始遣鲍永、冯衍屯太原。永、衍恐其先降，说之曰："晏婴临盟，拟以曲戟，不易其辞。"

又曰：杨政字子行，师事博士范升。建武中，范升为太常丞，为去妻所诬告，坐事系狱，当伏重罪。政以车驾出时，伏道边，抱升子持车叩头。武骑虎贲恐惊马，引弓射之，不去，旄头以戟[叉]政伤胸前，政遂涕泣求哀，上即尺一出升。

又曰：孙程与王康等斩江京等迎立济阴王，是为顺帝。阎显弟景为卫尉，从省中还外府，收兵至盛德门。尚书郭镇率直宿羽林出，逢景。景因斫镇，不中，镇剑击景堕车。左右以戟叉其胸，禽

之，送廷尉。

谢承《后汉书》曰：彭循字子阳。太守秘君闻循义勇多谋，请循以守吴令。民歌之曰："时岁仓卒，盗贼纵横。大戟强弩不可当，赖遇贤令彭子阳。"

司马彪《续汉书》曰：杨仁字文义，巴郡人。显宗特诏补北宫卫士。及帝崩，时诸马贵盛，各争欲入宫。仁披甲持戟，严勒门卫，莫敢轻进者。肃宗既立，诸马共谮仁。上知其忠，愈善之。

张滢《汉南记》曰：陈蕃等欲除诸黄门，谋泄。阉寺之党于宫中诈称惊，云外有反者。蕃奔入宫，小黄门朱寓逆以戟刺蕃。

《魏志》曰：董卓恐人谋己，常以吕布自卫。尝失意拔手戟掷布，布拳捷之。由是，阴怨卓。《英雄记》又载：吕布诣董卓，卓尝拔戟掷之，言布乱其私室。

又曰：袁术遣将纪灵等步骑三万攻刘备。备求救于吕布，严步兵千、骑二百驰往赴备。布谓灵等曰："布性不喜合斗，但喜解斗耳。"布令门候于营门中举一只戟，布言："诸君观布射戟小枝，一发中者，诸君当解去；不中，可留斗。"布举弓射戟，正中小枝。诸将皆惊，言："将军天威也。"明日欢会，然后各罢。

又曰：张绣反，袭太祖营。太祖出战不利。典韦以长戟左右击之，一叉辄十余铘音矛。摧，左右死伤者略尽。韦被数十创，短兵接战，贼前搏之，韦双挟两戟击杀之，余贼不敢前。

又曰：典韦好持大双戟与长刀，军中为之语曰："帐下壮士有典(军)[君]，持一双戟八十斤。"

王沈《魏书》曰：太祖讨吕布于濮阳。布有别屯在濮西相持。太祖募(隐)[陷]陈，典韦先占，但持长矛擦战。时西面又急，韦左手持十余戟，大呼起，所抵无不应手倒者。

鱼豢《魏略》曰：徐庶字元直。少好任侠，为人报仇，白垩(乌)[乌]各切。突面，披发而走。为吏所得，乃感激弃其刀戟，更绢巾单衣，折节学问。

《吴志》曰：孙权拜诸葛恪丹阳太守，授荣戟武骑，作鼓吹，导引归家。

又曰：孙权乘马射虎虔虔，据腕切。亭，马为虎所伤。权投以双戟，虎遂却。

又曰：太史慈、刘繇使循骑，卒遇孙策。慈便前斗，正与策对。刺慈马，以掷慈项上手戟，慈亦得策兜鍪。

又曰：孙綝遣中书郎李崇夺孙亮玺绶，征立琅琊王休。奉书于休曰："綝以薄才，见授大任，不能辅导陛下。顷月以来，多所造立，亲近刘承，悦于美色，败坏藏中矛戟五千余枚，以为戏具。"

韦召《吴书》曰：凌统怨甘宁杀其父操。尝于吕蒙舍会，酒酣，统乃以刀舞。宁起曰："能双戟舞。"蒙曰："宁虽能，未若蒙之巧也。"因操刀持盾，以身分之。

张勃《吴录》曰：严白虎使弟舆诣长沙桓王请和，许之。舆请与王独会面约。既会，王引白削斫席，舆体动 。王知其无能，以手戟投之，立死。

《蜀志》曰：两镶音(缣)[缣]。是谓闭木户，持双戟是谓坐铁室也。

常璩《华阳国志》曰：荆邯记公孙述曰："昔汉祖败而复征，故能禽秦亡楚，以弱为强，况今地方数千，杖戟百万。"

《晋书》曰：贾后字南风。初为太子妃，性酷虐，尝手杀数人。或以戟掷孕妾，子随刃堕地。帝闻之大怒，欲废之。

又曰：杨骏字文长，为贾后所诛。初，温县有人如狂，造书曰："光光文长，大戟为墙。毒药虽行，戟还自伤。"及骏居内府，以戟为卫。至兵入骏府，逃于马厩，以戟杀之。

又曰：裴楷有知人之鉴，谓钟会如观武库，森森见矛戟在前。

王隐《晋书》曰：上闻贾妃酷妒，戟擿诸孕子者皆堕。已治[室]金镛城，[寻]当废之。赵粲救于内，荀勖请于外，故不废焉。

又曰：祖逖军大饥，进据食犬丘城。樊雅遣六十余人入逖营，拔戟盾大呼向逖，逖军人夜不知何贼多少，皆欲散走。

崔鸿《前赵录》曰：杜育字子光，濮阳人。少为贼，其母每怒。育曰："天下将乱，且以习胆。如意望封侯，不如意但不使他斫人头。"曾为贼围，衣甲三重，持戟蓬转而出。

又曰：刘聪猎上林，以愍帝行车骑将军，戎服执戟前导。观者指曰："此故长安天子。"

崔鸿《后赵录》曰：冉闵所乘赤马曰朱龙，日行千里。左杖双刃矛，右执钩戟，斩鲜卑三百余级。

《齐书》曰：宋升平三年，尤里封人于官高湖际得瑞戟苏合切。戟三枚，旁有古字。

《隋书》曰：柳彧为屯田侍郎，固让，弗许。时制三品以上门皆列戟，左仆射高颎子弘德封应国公，申牒请戟。彧判曰："仆射之子，更不异居。父之戟槊已列门外，尊有厌卑之义，子有避父之礼，岂容外门既设，内阁又施。"事竟不行，颎闻而叹伏。

《家语》曰：孔子北游，登于农山之上。子路、子贡、颜回侍侧。孔子曰："二三子各言其志，吾将择焉。"颜回曰："回愿得明王圣主而相之，敷其五教，导之礼乐，使城郭不修，沟池不越。铸剑戟为农器，放马牛于原薮。室家无离旷之思，千载无战斗之患。"夫子慨然曰："美哉！德也。"

陆贾《楚汉春秋》曰：沛公脱身鸿门，从间道至军。张良、韩信乃谒项王军门曰："沛公使臣奉白璧一只献大王足下，玉斗一只献大将军足下。"亚父受玉斗，置地，戟撞破之。

乐资《春秋后传》曰：聂政拔剑至韩，韩相方坐府上，持兵戟而卫，侍者甚众。聂政直入上陛，刺杀侠累。

《战国策》曰：苏秦说惠王曰："夫徒处而致利，安坐而广地，虽古五帝、三王、五伯、明主、贤君常欲坐而致之，其势不能，故以战续之。宽则两军相守，迫则杖戟相撞。"

又曰：齐王建入朝于秦，雍门司马横戟当马前曰："所为立王者为社稷，何以去社稷而入秦？"王不听，遂入秦。

《英雄记》曰：吕布白陈登，使诣曹操求徐州牧不得，登还，布怒拔戟斫机曰："不惟吾所求无获，但为卿父子所卖耳。"登不为动容，徐对曰："登见曹公，言养将军譬如养虎，当饱其肉，不饱则将噬人。公曰：'不如卿言，譬如养鹰，饥则为用，饱则飏去。'其言如此。"布意乃解。

王隆《汉官解诂》曰：卫尉宫阙周庐殿掖，屯陈夹道，当兵交戟。胡伯始曰：谓诸门郎阁陈屯，士夹其道旁，当兵以示威武，交戟以遮妄出入者。

应劭《汉官仪》曰：旧制太子食汤沐十县，家令领主自有宫置。周卫交戟，五日一朝，因坐东厢，省视膳食。

《东方朔传》曰：武帝坐未央前殿，天雨新止。朔执戟在殿陛遥指独语。上见，呼问之。朔对曰："殿后柏树上有鹊立枯枝上，东向鸣。"上遣侍中视之，如朔言。问何以知之。朔曰："风从东来，鹊尾旁风则倾，背风则蹶，必须顺风而立，故知东向鸣也。新雨生枝滑，故枝溜，故立枯枝上。"上大笑，赐帛十匹。

又曰："孝武元封三年，作柏梁台。召群臣有能为七言者，乃得上坐。卫尉曰："周卫交戟禁不时。"

陈寿《益部耆旧传》曰：张霸迁会稽太守。是后盗贼衰少，野无遗寇，童谣曰："弃若戟，弃若矛，盗贼尽，吏皆休。"

萧广济《孝子传》曰：魏阳不知何处人，独与父居。父有刀戟，市南少年求之，阳曰："老父所服，不敢相许。"少年怒，道逢阳父，打伤，叩头请罪。父没，阳断少年头以谢父冢前。

师觉授《孝子传》曰：仲子崔者仲由之子也。子路仕卫，赴蒯聩之乱，魏人于羆遂杀之。子崔既长，欲报父仇，羆知之曰："夫君子不掩人之不备，须后日于城西决战。"其日羆持蒲弓木戟，与崔战而死。

张敞《晋东宫旧事》曰：东列崇福门，门各羌盾十幡，鸡鸣戟十张。

太平御览卷第三百五十三

兵部八十四

戟下　殳　矛

戟　下

《世说》曰：旧制三公领兵入见，皆交戟叉颈而前。初，曹公将讨张绣，入见天子时始复此制，公自是不敢朝见。一出郭(颁)[颂]《世语》。

孙盛《异同难语》曰：太祖尝私入中常侍张让室，让觉之，乃舞手戟于庭前，逾垣而出。材力绝人，莫之能害。

干宝《搜神记》曰：汉武帝时，张宽为扬州刺史。先是有二老翁争山地，诣州讼，疆界连年不决。宽视事，复来。宽视二翁形状非人，令卒持戟将入，问"汝何等精?"翁欲走，宽呵格之，化为巨蛇。

又曰：成都王之攻长沙也，反军于鄄内外陈兵。是夜，戟锋皆有火，遥望如悬烛，就则亡焉。《三十国春秋》又载。

刘敬叔《异苑》曰：彭城刘黄雅以太元中为京口府佐，被使还都。路经竹里亭，多虎。刘极自防卫，牛马系于户前，手戟置于地上。宵中，士庶同睡，虎乘间跳入，跨越人畜，独取刘而去。

刘义庆《幽明录》曰：项县姚牛，十余岁，父为乡人所杀。牛常卖衣物市刀戟，图欲报仇。后在县门前相遇，手刃之于众中。

东阳无疑《齐谐记》曰：东阳郡朱子之，有一鬼恒来其家。子之儿病心痛，鬼语之曰："我为汝寻方。"云"烧虎丸饮则差。汝觅大戟与我，我为汝取也。"其家便持戟与鬼，鬼持戟去。须臾还，放戟中庭，掷虎丸着地，犹尚暖。

束皙《发蒙记》曰：师子五色，而食虎于巨木之岫，一噬则百人

仆，惟畏钩戟。

顾恺《启蒙记》曰：玉精名委，似美女而青衣见。以桃戟刺之，以其名呼之，可得也。

周处《风土记》曰：戟长一丈三尺，奋(杨)[扬]俯仰，乍跪乍立，兼五兵而能，乃谓名人。

又曰：教学讲武，戒远虑戎。首玄戈奋长雄，迎来送往，斫截横从。扶强顿弱，惟敌所从。首，先也。玄戈，北斗杓端招摇之内、贯索之外，独星也。戟为五兵之雄，盖取威奋振也。凡用戟法必先小振动之，陵上摄下，收功于中，恒在首(烦)[领]之间来迎去送，顺而不逆也。植则虎龙交牙，神变无常。去者厚饯，来者不攘。言用双戟之法，交(软)[戟]相向，左手为龙，右手为虎，更出更入，更上更下，上下无常，随变而改。颠倒入怀，转如回风，敌挠孤胜，摄戟徐反，可谓上下无常，非为邪也，进退无恒，非离群也。盖乃进足奋手欲及机也。如敌来(轻)[辎]去，疾进而送之；来重进疾，开而待之。

《南州八郡志》曰：宋昌郡西南三千里有剽国，以金为刀戟。

焦赣《易林》曰：桃弓苇戟，除残去恶。

又曰：倚锋据戟，伤我胸臆。

《春秋考异邮》曰：刘子单子折猛入城，天王奔走，尹氏立朝。国有三王，天下两主，周分为二，莫能救讨。强弩张于前，楴音梯。戟拔于后。

《管子》曰：黄帝问于伯高，伯高曰："雍狐之山发水出金，蚩尤受而制之，以为雍狐之戟。"

《晏子春秋》曰：景公饮酒，移于晏子。前驱款门，曰："君至。"晏子立于门曰："君何为非时而夜辱。"公曰："酒醴之味，金石之声，愿与夫子乐之。"晏子曰："夫铺荐席、陈簠簋者有人，臣不敢与焉。"又移司马穰苴介胄操戟立于门曰："铺荐席、陈簠簋者有人，臣不敢与焉。"

又曰：崔杼杀庄公，盟诸大夫。令有敢不盟者，戟钩其颈。

《孙卿子》曰：虽有戈矛之戟，不如恭俭之利。与人善言，暖于布帛；伤人以言，深于矛戟。

又曰：狐父戈以恶铜牛，愚莫甚焉。铜，徐五切。

又曰：钼扰棘矜，非铗音谈。于句戟长铩也。如淳曰：长刃矛也。又曰：矛，刃下有铁，上句曲。然而，成败异变，功业相反也。

《尉缭子》曰：夫杀之五十步之内者，谁也？曰："矛戟也。"

《韩子》曰：譬如剑戟，愚人行忿则祸生，圣人诛暴则福成。

《淮南子》曰：孟夏之月，南宫御女赤色，衣赤采，吹竽笙。其兵戟。高诱曰：有(拔)[枝]干，象阳布散也。

刘向《新序》曰：赵简子上羊肠之坂，群臣皆偏袒推车，而席会独担戟行歌。简子曰："寡人上坂，会独不推车而侮其主者，其罪何若？"会曰："人臣侮其主者，其罪死而又死。"简子曰："何谓死而又死？"席会对曰："身死妻子为戮，谓之死而又死。"

又曰：齐景公游海上，乐之，六月不归。令左右敢言归者死。颜歜谏曰："君乐治海上，不乐治国，倘有治国者，君且安得乐此海也？"公据戟将斫之，歜抚衣而待之曰："君奚不斫也？昔桀杀关龙逄，纣杀王子比干，君奚不斫以臣参此二人，不亦可乎！"公遂归。

《抱朴子》曰：太阿临项，长戟指心，而操不可夺也。

又曰：拙者得公输之斤斧，不能以成云梯；怯者得冯妇之刀戟，不能格兕虎。

《蒋子》曰：士有一餐而倒戟，义所驱也。

应璩诗曰：丈夫要雄戟，更来宿紫庭。今者宅四海，谁复有不并。

又曰：郡国贪嘉将，驰骋习弓戟。虽妙未更事，难用应卒迫。

司马相如《上林赋》曰：曳明月之珠旗，建干将之雄戟。干将，韩王剑师。雄戟，干将所造也。

左思《吴都赋》曰：吴钩越棘。越铁利，故称越棘也。

又曰：羽旄杨麾，雄戟耀芒。

繁钦《撰征赋》曰：左骑雄戟，右攒干将。

《两都赋》曰：郎将司阶，虎戟义铩。音杀。

又曰：周庐千列，陛戟百重。

陶侃《表》曰：伏维武库倾荡，宿卫有阙，辄简选其差可者，奉献金铃大戟五十张。

孙盛奏事曰：诸违令私作铠一领、角弩力七石以上一张，戟十枚以上皆弃市。

张载《剑阁铭》曰：一人荷戟，万夫趑趄。难行貌也。

李尤《戟铭》曰：鼓戟之设，以戒非常。秉执操持，邪暴是防。须臾之忿，终日为殃。山陵之祸，起于豪芒。

张协《手戟铭》曰：锬锬音谈。雄戟，清金练钢。名配越棘，用过干将。严锋劲枝，摛锷耀芒。

魏文帝《书》曰：汉中地形实为险固，四岳三涂皆不及也。张鲁有精钾数万，临高守要。一夫挥戟，千人不得进。而我军过之，若骇鲸之决网罟，奔兕之触鲁缟，未足以喻其易。

应玚《表》曰：长戟百万，胡马千群。

应贞《华览》曰：强弩连城，长戟指塞。

傅玄《朝会赋》曰：流苏槊槊，华盖重荫。羽林虎旅，长戟摎摻。上音萧，下音参。

贾谊《过秦论》曰：陈涉以戍卒散乱之众数百，奋臂大呼，不用弓戟之兵，钼扰音优。白挺，横行天下。秦人长戟不刺，强弩不射，楚师深入战于鸿门，曾无藩篱之艰。

殳

《释名》曰：殳，殊也。长丈二尺而无刃。有所撞直降切。挃陟降切。于车上，使殊离也。

《说文》曰：殳，以杖殊人也。《礼》，殳以积竹，八觚，长丈二尺。建于兵车，旅贲以先驱也。

《诗》曰：伯也执殳，为王前驱。

又曰：彼候人兮，荷戈与祋。候人，道路迎送宾客者也。荷，揭也。祋，殳

也。殺，丁外切。

《周礼》曰：车六等之数，殳长四尺，崇于人四尺谓之四等。

《左传》曰：宋张匄与子皮、臼任、郑翩杀华多僚。子皮，华貙也。任、翩，貙家臣。华氏居卢门，以南里叛。公子成以晋师至。成前奔晋，今还救宋也。会晋、齐、卫救宋，与华氏战于赭(立)[丘]。公子城射华豹，殪。张匄抽殳而下。殳长丈二，在车边。

又曰：莒子庚舆将出奔，闻乌存执殳而立于道左，惧，将止。苑羊牧之曰："君过之，乌存以力闻可矣，何必弑君成名？"遂奔齐。

《韩子》曰：楚国法：太子不得乘车至弟门。时天雨，王急召太子，庭中有水，太子遂驱车至弟门。廷尉举殳击马，遂败其驾。

焦赣《易林》曰：大过之讼，秉钺执殳，挑战先驱。

萧子良《古今蒙隶文体》曰：殳书者，伯氏之职也。古者文既记笏，武亦书殳也。

《司马兵法》曰：兵杂则不利，长兵以卫，短兵以守。太长则犯，太短则不及，太轻则阅，阅则易乱，太犯则不济。李氏曰：兵长短相为卫守，合同为用，太长太短太轻皆不如法度者也。犯者触推故不济不及者不还于利阅者，不固则破败，故奔北走，扰乱烦也。故初列即戟间焉，一弓一戟相间也。次列殳矛间焉。一殳一矛相间也。

又曰：周左执黄钺，右执白旄，所以不进者，审察斩杀之威也。有司皆执殳戈，示诸鞭扑之辱。欧使不行不进者也。

又曰：弓、矢(围)[御]，殳、矛守，戈、戟助，五兵长短各有所宜，因事而施。凡五兵当长以卫短，短以救长。(以)[迭](戟)[战]则久，皆战则(疆)[强]。

《淮南子》曰：武王执戈秉钺以胜殷，揩笏杖殳以临朝。

魏文帝诗曰：行行游且猎，且猎路南隅。弯我乌号弓，骋我纤骊驹。走者贯锋镝，伏者(饥)[惊]戈殳。白日未及移，手获三十余。

王粲《七释》曰：流锋四射，毕罕横厉。奋干殳而捎击，(弛)[驰]鹰犬以搏噬。

夏侯湛《猎兔赋》曰：拟以锐殳，规以良弓。都毫末而放镞兮，殪之于窟中。

左思《吴都赋》曰：于卤殳鋋，赐夷勃卢。殳鋋皆矛也。

谢惠连《从军行》曰：赵骑驰四牡，吴舟浮三翼。弓矛有恒用，殳鋋无蹔息。

太公《六韬》曰：方(凶)[胸]两枝，铁叉柄长三丈以上三百枝。

矛

《释名》曰：矛，冒也。刃下冒矜也。下头曰镈，徂冈切。镈入地也。松棱长三丈，其矜宜径以松作之，棱，速也。前速之言也。矛长丈八尺曰矟。马上所持，言其稍稍便杀也。

又曰：缴，矛缴也。可以缴截敌阵之矛也。仇矛，头为三叉，言以讨仇敌之矛也。矛戟，戟常也，其矜丈六尺，不言常而云夷者，言可夷灭敌也，亦车上所持也。务矛，长九尺，务，霍也，所中霍然即破裂也。

《方言》曰：五湖之间矛谓之镋，音施。或谓之鋋，或谓之鈋，音盗。其柄谓之矜。

又曰：矛骹音敲。细如鹤胫者，谓之鹤膝。

《世本》曰：杼作矛。

《太公兵法》曰：矛之神名趺跪。

《书》曰：鍛乃戈矛，砺乃锋刃。

又曰：门之内，一人冕，执锐，锐，矛也。立于阶侧。周成王崩，士卫宾也。

《诗》曰：清人在彭，驷介旁旁。笺云：清者，高克所军之邑也。驷介，四马也。二矛重英，河上乎翱翔；重英，矛之(英饰)[象也]。二矛重乔，河上乎逍遥。笺云：二矛，酋矛、夷矛也。

又曰：厹音求。矛鋈镦，三隅矛也。鋈，音沃。镦，音队。蒙伐有苑。蒙，郭羽也。伐，干也。苑，文貌也。

《礼记》曰：进矛戟者前其镦，后其刃。

《大戴礼》曰：武王践祚矛之铭曰："造予少闻，弗忍终身之羞。予一人所闻，以戒后世子孙。"

《左传》曰：齐伐鲁。冉有用矛于齐师，故能入其军。

《史记》曰：武王牧野誓曰："立尔矛。"

《汉书》曰：姑句家矛端生火光，其妻曰："矛端生火光，此兵器也。"

《魏志》曰：公孙瓒手执两头矛，杀鲜卑数十人。

《魏书》曰：议者多言关中兵强，习长矛，非精选前锋，则不可以当也。曹公谓诸将，战在我，非在贼，虽习长矛，将使不得以刺。诸君但观之。

《魏略》曰：阎行，金城人，后名艳，字彦明，少有健名。始为小将，随韩约。建安初，约与马腾相攻击，腾子超亦号为健。行尝刺超，矛折，因以矛挝超，几杀之。

《吴书》曰：孙策讨山越，斩其渠帅。悉令左右分行逐贼骑。与虞翻相随，翻喜用矛，谓在前得平地，劝策乘马，策曰："卿无马奈何？"答曰："翻能步，日可行三百里。"

《三国异同传》曰：公孙瓒为辽东属国长史，尝从数十骑出行塞，卒遇鲜卑百骑，以矛击，杀伤数十人。鲜卑由是畏之。

《蜀志》曰：先主为曹公所逐，弃妻子走。令张飞将二十骑拒后。据水断桥，瞋目横矛曰："我张翼德也，可来决死！"无敢进者。

《晋书·载记》曰：蜀李雄无事小出，丞相杨褒于后持矛驰马过雄。雄怪问之。对曰："夫统天下之重者，如乘恶马持矛也。急之则虑自伤，缓之则惧其失，是以马驰而不制也。"雄寤即还。

《晋太康起居注》：诏曰："诸王中尉及诸军皆典兵以备不虞，乃有着中战衣、木履持长矛者，此为儿戏而无相弹慑也。"

《赵书》曰：刘曜讨陈安于陇城，城陷，安死。乃谣曰："陇上健儿曰陈安，爱养将士同心肝。骒骆马铁镂鞍，丈八蛇矛左右盘。百

骑俱出如云浮，追者十万骑修修。战始三交失蛇矛，十骑俱荡九骑留。”

《吴越春秋》曰：越屈卢之矛，《越绝书》云：勃卢之矛。步光之剑，献吴王。

《六韬》曰：纣之卒握炭流汤者十八人，绾矛杀百步之外者千人。

《韩子》曰：人有鬻矛盾者，誉之曰：“吾盾之坚，物莫能陷也。”又誉其矛曰：“吾矛之利，于物无不陷也。”或曰：“以子之矛，陷子之盾，何如？”其人弗能应也。

刘向《说苑》曰：秦急围邯郸。邯郸传舍吏子李谈谓平原曰：“邯郸之民炊骨易子而食之，而君之后宫婢妾荷绮縠、余粱肉；士民兵尽或剡木为矛戟，而君之器物钟磬自恣。”

《吕氏春秋》曰：齐晋相与战，平阿余子亡戟得矛。退而不自决，谓路人曰：“亡戟得矛，可以归乎？”路人曰：“戟亦兵也，矛亦兵也，亡兵得兵，何为不可以归。”心犹不决，遇高唐之孤叔无孙，当其马前曰：“今者战，亡戟得矛，可以归乎？”叔无孙曰：“矛非戟也，戟非矛也，亡戟得矛，岂无责乎？”阿余子曰：“嘻！还反战。”死之。

《神仙传》曰：左慈见孙讨逆。讨逆使慈着马前，欲手刺杀之。讨逆着鞭驱马，操矛逐慈。慈着木履，策杖徐步，终不能及，乃止。

《列女传》曰：巴赵娥者，赵万之妻。郡县遭乱，万得足疾不能行，为贼所杀。贼欲杀娥，娥守丧不去。贼举矛指娥欲以怖之，娥知贼必劫略，乃以心赴矛，贯心达背而死。

刘敬叔《异苑》曰：河间沐坚字壁强。石勒时，监作水田。御下苛虐，百姓怨毒，为坚形以刃矛斫刺，呪令速毙。坚寻得病，若被捶割，于是遂殒。

《梦书》曰：矛戟为相待期蚤晚也。梦得矛戟者，忧相敕也。持矛待交友，见人持矛待于已也，持矛来倒却中止也。

魏文帝诗曰：戈矛成山林，玄甲曜日光。

《乐府》左延年《秦女休行》曰：始出上西门，遥望秦氏庐。秦氏有好女，自名为女休。女休十四五，为宗行报仇。左执白阳刀，右执宛景矛。

张奂《与崔子真书》曰：仆以元年到任，有见兵二百，马如羖羊，矛如锥铁，盾如榆叶。

《诸葛亮集》曰：敕作部皆作五折(刚)[钢]铠，十折矛以给之。

太平御览卷第三百五十四

兵部八十五

槊　枪　铤　钩镶

槊

《通俗文》曰：矛丈八者谓之矟。

《晋书》曰：刘迈，毅之兄也。迈字伯群，少有才干，为殷仲堪中兵参军。桓玄之在江陵，甚豪横，士庶畏之，过于仲堪。玄曾于仲堪厅事前戏马，以矟拟仲堪。迈时在坐，谓玄曰："马矟有余，精理不足。"玄自以才雄冠世而心知外物，不许之。仲堪为之失色。

《齐书》曰：长沙王晃。武帝尝幸钟山，晃从驾。以马矟刺道边枯蘖，上令左右数人引之，银缠皆卷聚而矟不出。乃令晃复驰马拔之，应手便去。每远州献骏马，上辄令晃于华林中调试之。高帝常曰："此我家任城也。"

《后魏书》曰：宋大千骁果善骑射，迁中散。至于朝贺之日，大千常着御铠盘马殿庭，莫不叹异。尝从太宗猎，见虎在高崖上，大千持矟直前刺之，应手而死。

又曰：于栗磾，音低。代人也，从太祖田于白登山，见熊将数子，顾谓栗磾曰："卿勇干如此，宁能搏之乎？"对曰："天地之性人为贵，若搏之不胜，岂不虚毙壮士也。自可驱致御前，坐而制之。"寻皆禽获。刘裕之伐姚泓也，栗磾虑其北扰，遂筑垒河上，亲自守焉。裕甚惮之，不敢前进。裕遗栗磾书，远引孙权求讨关羽之事，假道西上，题书曰："黑矟公麾下。"栗磾以状表闻，太宗许之，因授黑矟将军。栗磾好持黑矟，以自摽卫，裕望而异之，故有是号。累迁豫州刺史。

《续晋阳秋》曰：太尉伐羌，于济口入河。索虏遣将鹅青步骑十万于河北，声云救羌。太尉遣队主丁旿音五。以车百乘五，北岸为却月阵，相去一步。车置七人，授以长白耻槊。耻音饵。

《三国典略》曰：文育小字猛奴，到都见太子詹事周舍。舍命兄子弘让教之书计。文育谓弘让曰："谁能学(取)此，[取]富贵但有大槊耳。"弘让壮之，教之骑射。文育大悦。

又曰：羊侃字祖忻，尝从梁主宴乐游苑。时少府启两刃矟成，长二丈四尺三寸。梁主因赐侃河南国紫骝马令试之。侃执矟上马，左右击刺，特尽其妙，观者登树。梁主曰："此树必为侍中折矣。"俄而果斩，因号此矟为"折树矟"。

又曰：北齐安州刺史卢胄，入海岛得一人胫，可长二丈，以为矟，献于神武。诸将咸莫能用，惟彭乐举之。胄未几遇疾，痛声闻外，巫言海神为祟，因此而卒。

《邺城故事》曰：紫陌浮桥在城西北五里，案《邺中记》云，赵王虎时，于此济置紫陌宫。暨齐时，因修为济口，帝巡幸又向并州。百官相饯，莫不至此而决别。迄今犹以为渡口。齐文宣时西巡，百官辞于紫陌，使矟骑围之曰："我举鞭一时刺杀。"淹留半日，文宣醉不能起。黄门[侍]郎连子畅进曰："陛下如此，诸臣恐怖。"文宣曰："大怖耶？若然，不须杀。"乃命解围。

又曰：北齐文宣于台上以矟刺都督尉子辉，应手而死。

《灵鬼志》曰：河间王颙既败于关中，有给使安甚壮健，常乘一赤马，隽快非常，双持二刀，皆长七尺，驰马运刀，所向披靡。关西为之歌曰：垄上健儿字陈安，头小面狭腹中宽，丈八长槊左右盘。

《语林》曰：桓宣武与殷刘谈不如甚，唤左右取黄皮袴褶，音十。上马持矟，数回，或向刘，或拟殷，意气始得雄王。傅玄歌诗曰："弯我繁弱弓，弄我丈八矟。一举覆三军，再举殄戎貊。"

梁简文帝《马槊谱序》曰：马槊为用，虽非远法，近代相传，矟已成艺。邓蔗蔡魏后之庭，武而犹质；桓马入丹阳之寺，雄而未巧。

聊以余暇，复撰斯法。搜采抑扬，斟酌烦简。至如春亭落景，秋皋晚净，青霜旦尽，密雨初晴。纤骊沃若，天马半汉。盼金精而转态，交流汗血；爱连乾而息影，不畏衣春。镂衢与白刃争晖，翠耻与红尘俱动。足使武夫愤气，观者冲冠。巴童留玩，不待轻舟之楫；越女踟蹰，无假如皋之箭。

枪

《风俗通》曰：刻苇伤盗为枪。

《宋元嘉起居注》曰：谢灵运《自理表》云："及经山阴，防御彰赫。彭排马枪，断截衢巷。"

《卫公兵法》曰：听角声第一声绝，诸队即一时散立；第二声绝，诸队一时捺枪、卷幡、张弓、拔刀；第三声绝，诸队一时举枪；第四声绝，诸队一时笼枪，跪膝坐。

《唐书》曰：郯国公罗士信，容貌短小而骁勇绝伦。隋末贼起，士信始年十四，为通守张须陀执衣。遇翟让来寇，士信请自效。须陀小之曰："汝形容未胜衣甲，何可入阵？"士信怒，重着二甲，左右双鞬，跃而上马。须陀壮之，遂将其众击贼于滹水之上。阵才列，士信执长枪立于马上，驰至贼所，刺倒数人，斩一人首，掷于空中，用枪承之，戴以略阵。贼众愕然莫敢逼者。士信乃弃笑驰马，为十下而还。须陀因而奋击。兵始接，贼师大溃。士信逐北，每杀一人，辄剸其鼻怀之，每归而数其鼻，以表杀贼之多少也。须陀大悦之，引置左右。每战，须陀居前，士信为副，贼无敢当者。

又曰：太宗每当大阵，望贼中骁将、锐士炫耀人马、出入来去者，意颇怒之，辄命秦叔宝往取焉。叔宝应命跃马负枪而进，必刺之万众之中，人马俱倒。太宗因以是重之，叔宝亦以此颇自矜尚。贞观以后，恒多疾病，每谓人曰："吾少长戎马，所经二百余阵，屡中重疮，计吾前后出血亦数斛矣，何能不病乎！"及卒，太宗甚伤惜久之。赠徐州都督，陪葬于昭陵。令所司于其茔内立石人马，以旌战

之功焉。

又曰：哥舒翰为别将。时吐蕃大寇边，翰拒之于苦海。吐蕃之众三道从山相续而下，翰持半段枪当其锋逆击之，无不摧靡。又击其次军，复走之。又击其后军，皆大破。由是知名。天宝六载，擢受右武卫将军，仍充陇右节度使副都知、关西兵马使、河源军使。先是吐蕃每岁候麦秋即大掠，积石军前后不能御。至是翰使将王难德、杨景晖等潜领兵候蕃兵至，设伏以待之。吐蕃五千骑既至，放马脱甲，翰以城中率骁勇合伏兵驰击之，杀略尽。百余骑奔突得走，王难德追击之，匹马不还。翰(常)[尝]逐马惊坠于河，立于水中，吐蕃三人拟枪方刺之，翰大叱之，贼惊骇，俱废失枪而走。救骑至，贼便解散。翰有家臣曰左车，年十五，每随翰入阵。翰善使枪，追贼及，以枪搭其肩而遏之，贼惊顾，翰从而刺其喉，皆剔高三五丈而坠。左车辄下马斩其首，率以为常。

又曰：王难得有胆力，善骑射。天宝元年正月，吐蕃大寇河源军，难得以骑将为军锋。赞普有子曰琅支都，恃其趫悍，乘诸真马，宝钿装鞍，军前求较斗者，难得横枪突往，刺杀之，斩其首，以其马归。虏众无敢追者。军使以闻，玄宗召至御殿，问之。因令驰突作杀琅支都状，壮之。衣以锦袍，拜左金吾卫羽林将军。

《五代晋史》曰：梁将有王彦章者，勇力过人，常执铁枪(仅)[重]百斤。所向辟易，庄宗畏之。

铤

《释名》曰：铤，延也，达也。去此至彼之言也。

《方言》曰：矛，吴、扬、江淮、南楚、五湖之间，谓之铤，或谓之钐，其柄谓之矜。

《东都赋》曰：戈铤彗云。铤，小矛也。

钩　镶音穰，又音襄，又音孃。戎器也。

《释名》曰：钩镶，两头曰钩，中央曰镶。或推钩、推镶，或钩引，用之宜也。

《东观汉记》曰：诏令赐邓遵金蚩尤辟兵钩一。

又曰：桓帝永兴二年，光禄勋府吏舍夜壁下忽有气，掘之，得玉玦，各有钩长七寸三分，玦周五寸四分，身中皆有雕镂。

《汉名臣奏》曰：丞相薛宣奏：汉兴以求，深考古义，惟万变之备，于是制宫室出入之仪，正轻重之冠。故司马殿省门闼至五六重，周卫击刁斗。近臣侍侧尚不得着钩带入房。

《梁书》曰：吉士瞻初为荆府城扃参军，浚池得一金革带钩。隐起镂甚精巧，篆文曰："锡尔金钩，且公且侯。"士瞻取夏侯洋兄之女，女窃以与洋，洋喜佩之。及是革命，洋果封侯，而士瞻不锡茅土。

《列仙传》曰：钩（戈）[弋]夫人姓赵。病卧，左手拳。望气者云："东北有贵人气，推而得夫人。"武帝发手得玉钩，手亦舒，遂幸而生昭帝。后被害，殡之，尸不臭而香一月。

《三秦记》曰：藏钩因钩弋夫人，世人法之也。

《瑞应图》曰：汤都于亳，有神人牵白狼，口衔铜钩入汤庭。

《搜神记》曰：京兆长安有张氏者，昼独处室，有鸠自外入。张氏恶之，披怀而祝曰："鸠介来，为我祸耶，飞上受尘；为我福耶，来入我怀。"鸠翻入怀，以手探则不知鸠之所在，而得一金带钩焉。遂宝之。自是之后，子孙昌盛，有为必偶，资财万倍。蜀客贾至长安中闻之，乃厚赂内婢，婢窃钩以与蜀客。张氏失钩，渐渐[衰]耗，而蜀客数罹难厄，不为已利。或告之曰："天命也，不可以力求。"于是以钩反，张氏复昌。故关西称"张氏传钩"云。

《陈留风俗传》曰：浚仪，周时梁伯所居国都。多池沼，时池中出神带钩，到今其民象而作之，号曰"大梁氏钩"焉。

《吴越春秋》曰：阖闾作金钩，令曰："能为善钩者赏之百金。"而有人贪赏之重，[因]杀其两子，以血衅金，遂成二钩，献之阖闾，而诣宫门求赏。王曰："为钩者多，而子独求赏，何以异于众人之钩乎？"作者曰："吾之作钩者，贪王之赏，杀吾二子以成两钩。"以示之曰："何者是也？"时王钩甚众，形体相类，不知所在。于是钩师向钩而哭，呼其两子名曰："吴鸿、泥稽，我在此！王不知汝之神也。"声未绝于口，两钩俱飞着于父之胸。吴王大惊，乃赏之百金。

《梦书》曰：梦得钩带，忧约束也。钩带着身，约敕已也。持钩带脱，事决已也。

《庄子》曰：曲者中钩。

《吴都赋》曰：吴钩越棘。

魏文帝《与王朗书》曰：丕白：不爱江汉之珠，而爱巴蜀之钩，此言难得之贵宝，不若易有贱物。

魏文帝《答刘备》曰：获累纸之命，兼美之贶，他既备善，双钩尤妙。前后之惠，非贤兄之贡，则执事之贻也。来若川流，聚成山积，其充匮笥、填府藏者，固已无数矣。

太平御览卷第三百五十五

兵部八十六

甲 上

《释名》曰：铠犹垲，垲，坚重之言也。或谓之甲，似物孚甲以自御也。

《广雅》曰：函甲，介铠也。

《说文》曰：铠，甲也。钎，音汗。臂铠也。鋞，音良，音鸡，金遐颈铠也。

《世本》曰：杼作甲。宋衷曰：少康之子舆也。甲，铠也。《墨子》同。

《书》曰：惟口起羞，惟甲胄起戎。孔安国曰：甲，铠也，言不可轻教令，易用兵。

又曰：鲁侯伯禽宅曲阜，徐戎并兴。公曰："善。敷乃甲胄，矫乃干。"言当善简汝甲铠兜鍪，施汝盾，使可用也。

《易·说卦》曰：离为甲胄。

《诗》曰：《小戎》，美襄公也。备其兵甲以讨西戎。西戎方（疆）[彊]，而征伐不休。国人则矜其车甲，妇人能闵其君子焉。

又曰：《叔于田》，刺庄公也。叔处于京，缮甲治兵，以出于田。国人说而归之。

又曰：清人在彭，驷介旁旁。介，胄也。

又曰：岂曰无衣，与子同袠。王于兴师，修我甲兵，与子皆行。

《礼记》曰：介胄，则必有不可犯之色。

又曰：介者不拜。言失容也。

又曰：献甲者执胄。

又曰：甲若有以前之，则执以将命；无以前之，则袒橐奉胄。郑玄曰：甲，铠也。有以前之谓他贽弊也。橐，铠衣也。胄，兜鍪也。袒其衣出兜鍪以致命也。

又曰：国家靡弊，则车不雕几，甲不组滕，食器不刻镂，君子不履丝履，马不常秣。靡弊，赋税极也。雕，画也。几附缠为圻鄂也。组滕以组饰之也。组以铠，饰也。

又曰：宾牟贾侍坐于孔子，言及武乐，孔子曰："武王克殷，济河而西，车甲衅许新切。而藏之府库而弗复用，然后天下知武王不复用兵也。"

又曰：君子耻服其服而无其容，耻有其容而无其辞，耻有其辞而无其德，是故君子端冕则有敬色，甲胄则有不可辱之色。言色称其服也。

又曰：儒有忠信以为甲胄，礼义以为干橹，戴仁而行，抱义而处，虽有暴政，不更其所自立有如此者。甲，铠也。干橹者，(小大)[大小]盾也。

《周礼》曰：司甲：下大夫二人，中士八人。甲今时铠也，司兵甲戈盾官也。

又曰：燕之无函也，非无函也，夫人而能为函也。郑玄曰：言其丈夫人人皆能作是器，不须国工也。燕近强胡，胡习作甲胄也。

又曰：函人为甲，犀甲七属，兕甲六属，合甲五属。属读如瀌，注之谓(止)[上]旅下旅扎续之数也，革坚者扎长。郑司农云：合甲削革裹肉，但取其(裘)[表]合以为甲也。犀甲寿百年，兕甲寿二百年，合甲寿三百。郑玄(白)[曰]：革坚者，支久也。凡为甲必先为容，服者之形容。郑司农云：容谓象式也。然后制革。裁扎之广袤也。权其上旅与其下旅，而重若一，郑司农云：上旅谓要以上也，下旅谓要以下也。以其长为之围。围谓扎要广厚。凡甲锻不挚则不坚，已敝则挠。郑司农云：锻，锻革也。挚谓质也。锻革太熟则革弊，无强挠曲也。

《左传》曰：郑武公娶于申，曰武姜。生庄公及共叔段。庄公即位，使段居京，谓之京城太叔。后太叔治甲兵，具卒乘，将袭于郑。夫人将启，公闻其期，命子封帅车二百乘以伐京。

又曰：狄伐卫。卫懿公好鹤，鹤有乘轩者。将战，国人受甲者皆曰："使鹤，鹤实有禄位，余焉能战。"

又曰：楚成王欲黜太子商臣，其师潘崇曰："能行大事乎？"曰："能。"以宫甲围成王。杜预曰：太子宫甲也。

又曰：秦晋师于河曲，秦军掩晋上军，赵穿追之不及，返，怒曰："裹粮坐甲，固敌是求。敌至不击，将何俟焉！"乃以其属出。

又曰：宋华元获于郑，逃归。后宋城，华元为植，巡功。植，将主也。城者讴曰："睅其目，皤其腹，弃甲而复，睅，出目[大]。皤，大腹。弃甲，谓亡师也。于思于思，弃甲复来。"于思，须之貌。使其骖乘谓之曰："牛则有皮，犀兕尚多。弃甲则那？"那，犹何也。役人曰："纵有其皮，丹漆若何？"

又曰：晋侯饮赵盾酒，伏甲将攻之。其右提音时。弥明知之，趋登曰："臣侍宴过三爵，非礼也。"遂扶以下。公嗾夫獒焉，明搏而杀之。盾曰："弃人用犬，虽猛何为？"斗且出，提弥明死之。

又曰：晋楚战于邲。楚王乘左广以逐赵旃，赵旃弃车而走林。屈荡搏之，得其甲裳。下曰裳也。

又曰：齐晋陈于鞌。齐顷公曰："余姑剪灭此而朝食。"姑，且；剪，尽。不介马而驰之，(介)[晋]郤克伤于矢，曰："余病。"张侯曰："擐甲执兵，固即死也。擐，贯也。即，就也。病未及死。吾子勉之！"

又曰：使吕相绝秦曰："文公躬擐甲胄，跋履山川，征东之诸侯，虞夏商周之胤而朝诸秦。"

又曰：晋楚战于鄢陵。潘尪之子党与养由基蹲甲而射之，彻七札。蹲，聚也。一发达七札。以示王曰："君有二臣如此，何忧于战也。"

又曰：晋胥童、夷羊五帅甲八百将攻郤氏。长鱼矫请无用众。既杀三郤，胥童以甲劫栾书、中行偃于朝。矫曰："不杀二子，忧必及君。"公曰："一朝而尸三卿，吾不忍也。"

又曰：楚子重伐吴，为简之师，简，选练也。克鸠兹至于衡山，使邓廖帅组甲三百、被练三千马融曰：组甲，组为甲里，公族所服，被练为里，甲者

所服。杜预曰:组甲成组,文被练。练,袍也。以侵吴。吴人要而击之,获邓廖。其能免者组甲八十、被练三百而已。

又曰:宋灾,乐喜为司城以为政,使皇郧命校正出马,工正出车,备甲兵,庀武守。

又曰:诸侯会柤,遂伐偪阳。狄弥建大车之轮,而蒙之以甲以为櫓,杜预曰:狄弥,鲁人也。蒙,覆也。櫓,大盾也。左执之,右拔戟成一队。百人为队。

又曰:郑子孔之为政也专,国人患之,乃讨西宫之难。尉止等作难于西宫,子孔知而不言。子孔当罪。以其甲及子革、子良氏之甲守。以自守。子展、子西率国(子)[人]伐之,杀子孔而分其室。

又曰:栾盈帅曲沃之甲,因魏献子以昼入绛。

又曰:崔杼称疾不视事。庄公问崔子,问疾。遂从姜氏。侍人贾举止众从者,而入闭门。为崔子闭公也。甲兴,公登台而请,弗许。请自刃于庙,弗许。遂杀之。

又曰:楚芳掩为司马,子木使庀赋,庀,治。数甲兵,阅数也。赋车、籍马,籍,疏其毛色、岁齿,以备军用。赋车兵徒甲、步卒。甲盾之数。使器仗有常数。既成,以授子木,礼也。

又曰:郑伯有嗜酒,为窟室,而夜饮酒击钟焉。子晳以驷氏之甲,伐而焚之。伯有奔雍梁,雍梁,郑地。闻子皮之甲不与攻己,喜,曰:"子皮与我矣!"晨,自墓门之窦入。驷带率国人伐之。伯有死于羊肆。

又曰:诸侯将盟于宋西门之外。楚人衷甲,甲在衣中,欲因会击晋。伯州犁固请释甲。子木曰:"晋楚无信久矣。事利而已,苟得志焉,焉用有信。"太宰伯州犁也。告人曰:"令尹将死矣。"(为)明年,子木死。

又曰:郑徐吾犯之妹美,公孙楚聘之,楚子南也。公孙黑又使强委禽焉。禽,雁也。纳采用雁。子南戎服入,左右射,超乘而出。女自房观之曰:"抑子美夫!"言丈夫。适子南氏。子晳怒,既而橐甲以见子南,欲杀之而取其妻。子南击之以戈,晳伤而归。

又曰：楚灵王伏甲飨蔡灵侯，醉而杀之，刑其士七十人。公子弃疾帅师围蔡。传言楚无道也。

又曰：齐子尾卒，子旗欲治其室。子旗，栾施也。欲并治子尾之家政。杀梁嬰梁嬰，子尾家宰。而立子良氏之宰。子良，子尾之子高疆也。子旗为子良立宰。其臣曰："孺子长矣，孺子谓子良也。而相吾室，欲兼我也。"授甲将攻之。[陈]桓子善于子尾，亦授甲将助之。或告于子旗，子旗不信，则数人告。将往，又数人告于道，遂如陈氏。桓子将出矣，闻之而还，闻子旗至。游服而逆之，去戎备，著常游戏之服。请命。问桓子所至也。对曰："闻(疆)[彊]氏授甲将攻子，子闻诸乎？"曰："弗闻。"曰："子盍亦授甲，无宇请从。"无宇，桓子名也。

又曰：齐惠栾、高氏皆嗜酒，栾高二族，皆出于惠公也。信内多怨(疆)[彊]于陈鲍氏而恶之。夏，有告陈桓子曰："子旗、子良将攻陈、鲍。"[鲍]氏遭子良醉而骋，欲及子良醉，故驰告鲍文子也。遂见文子，文子国鲍也。则亦授甲矣。使视二子，二子，子旗、子良。则皆将饮酒。桓子曰："彼虽不信，彼传言也。闻我授甲，则必逐我。及其饮酒也，先伐诸？"陈、鲍方睦，遂伐栾、高氏。栾施、高强来奔。

又曰：晋荀跞如周，籍谈为介。王曰："阙巩之甲，武所以克商也。阙巩国所出甲。唐叔受之，以处参虚，匡有戎狄。"

又曰：鲁昭公伐季平子。叔孙氏之司马鬷戾言于其众曰："凡有季氏与无，于我孰利？"皆曰："无季氏，是无叔孙氏也。"鬷戾曰："然则救诸。"帅徒以往，陷西北隅以入。陷公囿也。公徒释甲执冰而踞，言无战心也。遂逐之。逐公徒也。公逊于齐。

又曰：吴子光伏甲于窟室而享王僚，掘地为室。王使甲坐于道。及其门，坐道边，至光门。门阶户席皆王亲也。

又曰：楚郄宛直而和，国人说之。令尹子常贿而谮郄宛焉。谓子常曰："子恶欲饮子酒。"子恶，郄宛。又谓子恶："令尹欲酒于子氏。"无极曰："令尹好甲兵，子出之，吾择焉。择取以进子常。取五甲五兵日寅诸门，令尹至必观之而从以酬之。"曰无极辞。及飨曰："惟

诸门左。"张帷张兵甲其中也。无极谓令尹曰："吾几祸子。子恶将为子不利，甲在门矣。子必无往。"令尹使视郄氏，则有甲焉，不往。遂令攻郄氏，尽灭郄氏之族党。

又曰：齐伐晋夷仪。东郭书让登，让众使后而己先登。书与王猛息，战迄，共止息也。猛曰："我先登。"书敛甲曰："曩者之难，今又难焉。"敛甲起，欲击猛。猛笑曰："吾从子，如骖之靳。"靳，车中马也。猛不敢与书争，言己从书(争言)，[若]骖马之相随靳也。

又曰：齐伐鲁，鲁孟孺子泄帅右师，孺子，孟懿子之子武伯也。颜羽御，邴泄为右；二子，孟氏臣。冉求帅左师，管周御，樊迟为右，季氏之甲七千，冉有以武城人三百为己徒卒，老幼守宫，次于雩门之外，南城门也。五右师从之。及齐师战于郊，师获甲首八十，冉求所得。齐人不能师。

又曰：哀公会吴子伐齐。甲戌，战于艾陵，展如败高子，国子败胥门，巢王卒助之，大败齐师，获革车八百乘，甲首三千，以献于公。公以兵从，故以劳公。

又曰：吴王夫差败越于夫椒，遂入越。越子以甲盾五千保于会稽。

又曰：卫孔文子将攻大叔氏，访于仲尼。仲尼曰："胡簋之事则尝闻之矣，甲兵之事未之闻也。"退，命驾而行。

又曰：侯犯以郈叛。武叔懿子围郈，弗克。驷赤谓侯犯曰："且盍多舍甲于子之门，以备不虞。"侯犯曰："诺。"乃命舍甲焉。侯犯请易于齐，齐有司观郈，将至。驷赤使周走而呼曰："齐师至矣。"郈人大骇，介侯犯之门甲，以围侯犯。

又曰：晋周绰射殖绰，殖绰齐中大夫肩，两矢夹脰，曰："止，将为三军，[获]；不止，将取其衷。"乃弛弓而缚郭最。皆衿甲面缚。

《公羊》曰：成元年，始作丘甲。何以书？讥。何讥尔？讥始丘使也。何休一解曰：四井为邑，四邑为丘。甲，铠也。讥始使丘民作田铠也。

《周书》曰：年不登，甲则缨縢宫室不容。甲不以组也。

《战国策》曰：陉山之事，赵且与秦伐齐。齐王惧，苏代为齐献书穰侯曰："臣闻往来者之言曰：秦且益起甲兵四万人以伐齐，臣窃必是之。弊邑之王曰：秦王明熟于计，穰侯智而习于事，必不益赵甲兵以伐齐也。"

《国语》曰：晋平公射鸮不死，使竖襄搏之，逸。公怒，拘将杀之。叔向闻之曰："君必杀之。昔吾先君唐叔射兕于徒林，殪，以为大甲。今君射鸮不死，搏之不得，是扬吾君之耻也。"贾逵注曰：以兕革为大甲。鸮音[晏]。

又曰：勾践云："今夫差衣水犀之甲者亿有三千，水犀，兽名。不患其志行之少耻也，而众之不足也。"

《史记》曰：晋赵鞅取晋阳之甲以逐荀寅与士吉，射君侧之恶人也。

《汉书》曰：甲不坚密，与袒裼音锡。同。此将不省兵之祸也。

又曰：周亚夫曰："介胄之士不拜，请以军礼见。天子为之动容。"

又曰：魏氏武卒衣三属之甲，操十二石之弩，负矢五十。

《后汉书》曰：朱浮被彭宠攻，怀惧，上疏曰："今秋稼已熟，复为渔阳所掠。张丰狂(勃)[悖]奸党日增，连年拒守，吏士疲劳，甲胄生虮虱，弓弩不可施。"

又曰：曹操攻袁谭。弟尚曰："我铠甲不精，故前为曹操所败。"

《东观汉记》曰：祭遵薨，赐朱轮容车，遣校尉教骑士四百人披玄甲。

又曰：将军刘尚击武陵，没。议复遣将。马援年六十二，自请曰："臣尚能披铠上马。"光武试焉。既上马，据鞍左右顾眄。上曰："矍铄哉！是翁也。"

又曰：刘盆子与丞相二十余万人诣宜阳降光武，积兵甲于宜阳城西，高与熊耳山等。

《魏志》曰：景元三年，肃慎国献皮骨铁杂铠二十领。

又《东夷传》曰：汉时扶余王葬用玉甲，常以付玄菟音兔。郡王死则迎取。公孙渊诛，得之玄菟库。

《晋书》曰：桓伊为江州刺史，卒。初，伊有马步铠六百领，预为表，令死乃上之。表曰："臣过蒙殊宠，受任西藩。淮南之捷，逆兵奔北，人马器铠随处放散。于时，收拾破败不足贯连，比年营缮并已修整。今六合虽一，余烬未灭，臣不以朽迈，犹欲输力效命，仰报皇恩，此志永绝，衔恨泉壤。谨奉输马具装百具，步铠五百领，并在寻阳，请勒所属领受。"诏曰："忠诚不遂，益以伤怀。"乃受其所上铠。

又曰：马隆讨凉州，或夹道累磁石。贼负铁铠，行不得前。隆卒悉被犀甲，无所留碍，贼咸以为神。转战千里，杀伤以千数。

又曰：杜曾，新野人。少骁勇绝人，能披甲游于水中。凡有战阵，勇冠三军。

《魏(宋)[末]传》曰：司马文王秉政，征诸葛诞。既被征，诣诸牙门，置酒饮宴，谓众人曰："前作千人铠仗始成，欲以击贼。今当还洛，不复得用，欲暂出，将见人游戏。须臾还耳，诸君且止。"乃严鼓将七百人出，遂杀乐绁。

《吴历》曰：魏文帝与 吴王明光铠。

王隐《晋书》曰：马隆为武威太守。之郡，恶虏窟局树机能等断道围隆。隆作八阵图，地广则鹿角车营并进，狭则木屋施轮，并战并前。智谋从横，出其不意，以磁石累夹道侧，贼铠不得过。隆兵着牛皮铠得过，贼以为神。

又曰：陶侃梦见司马与侃铠者，长史陈协以为：司马者，国姓也；铠者，扞国之器也；节下当进位。俄转都督湘(洲)[州]刺史。

崔鸿《后燕录》曰：苻丕遣石越讨慕容丰，皆劝丰逆击之。丰曰："我无兵仗，彼有锐钾，音甲。不如待暮一战而定之。"

《三十六国春秋》曰：太康之初，吴寇新殄，未盈一纪，干戈已寻。虮虱生乎甲胄，燕雀处于帷幄。

车频《秦书》曰：苻坚使熊邂造金银细镂铠，金为线以缥之。缥，音线。

《宋书》曰：四年，不期为虏所陷。沈文秀被围三载，外无援兵，士卒为之用命，无离叛者。日夜战斗，甲胄生虮虱。

《隋书》曰：长孙平为相州刺史，甚有能名，在州数年。会正月十五日百姓大献戏，画衣裳为鎧甲之象。上怒而觅之。俄而，念平镇淮南时事，进位大将军。

又曰：张奫於伦切。累破贼有功，征入朝，拜大将军。高祖命升御座而宴之。谓奫曰："卿可为朕儿，朕为卿父，今日聚集，示无外也。"其后赐绮罗千匹，绿沉甲兽文具装。

又曰：权武少果劲，勇力绝人，能重甲上马。尝倒投于井，未及泉，复跃而出。其拳捷如此。

《唐书》曰：元和中，以尚书左丞吕膺检校工部尚书，充东都留守。旧例，命留守必赐旗甲，与万镇略同。及元膺受任，竟无所赐。朝论以东有寇虞时用元膺，尤不当削其仪制，以沮威望。谏官上疏曰："华、汝、寿三州例赐戎械，居守之重固宜宠借。"上曰："此数处并不当与。"其后遂皆停。

《五代周史》曰：唐景思为偏将。显德初，河东刘崇帅众来寇，世宗亲总六师以御之。及阵于高平，景思于世宗马前距跃数四，且曰："愿赐臣坚甲一联，以观臣之效用。"世宗由是知其名。因以高平阵所得降军数千人署为效顺指挥，命景思董之，使屯于淮上。三年春，世宗亲征淮甸，景思继有战功。

太平御览卷第三百五十六

兵部八十七

甲下　兜鍪　盾上

甲　下

《吴越春秋》曰：勾践使大夫种于吴曰："窃闻大王兴大义，诛强救弱，越使贱臣种以先人藏器及甲二十领以贺君。"

又曰：公子光伏甲士于私室，具酒而请王僚。王僚乃被棠夷之甲三重，使兵卫至光家之门，夹陛带甲左右皆王僚之亲戚也。专诸置鱼肠剑炙鱼腹中而进之，刺王僚，贯达背，王僚立死。

《献帝春秋》曰：越骑校尉伍孚以董卓无道，欲身自杀之。内贯小铠拔佩刀诣卓。卓送出阁，执手告别。孚引刀刺卓。卓多力，却不中。即杀孚，夷其族。

《董卓传》曰：卓孙年七岁，爱以为己子。为作小铠胄，使骑驶音决骎音侵马，与玉甲一具。俱出入，以为麟驹凤雏，至杀人之子，如蚤虱耳。

《晋建武故事》曰：王敦死，秘不发丧。贼于水南北渡攻官垒栅，皆重铠浴铁。都督应詹等出精锐距之。

《宋元嘉起居注》曰：御史中丞刘损奏：前广州刺史韦朗于广州所部作犀皮铠六领，请免朗官也。

《邺中记》曰：石季龙左右置直卫万人，皆五色细铠，光曜夺目。

伏侯《古今注》曰：章帝建初三年，丹阳宛陵人掘地得甲一。

《述异记》曰：乩罗者，慕容廆之十一世祖也。着金银襦铠，骑白马，金银鞍勒，自天而坠，鲜卑神之，推为君长。

《家语》曰：孔子言于定公曰："家不藏甲，古之制也。今三家过

制，请皆损之。”

《管子》曰：葛庐之山，发而得黄金。蚩尤受之，制以为剑铠。言其始也。

《孟子》曰：矢人岂不仁于函人哉？矢人惟恐不伤人，函人惟恐伤人。巫匠亦然，故术不可不慎也。赵岐章句曰：矢，箭也。函，铠也。

《孙卿子》曰：楚人鲛革犀兕以为甲，坚如金石。

《慎子》曰：藏甲之国，必有兵道。

《盐铁论》曰：强楚劲郑，有犀兕之甲。

《吕氏春秋》曰：田赞补衣而见荆王，王曰：“先生之衣何其恶也？”赞曰：“衣又有恶于此者。”王曰：“可得而闻乎？”对曰：“甲恶于此。”王曰：“何谓也？”对曰：“甲冬日则寒，夏日则暑，衣无恶乎？恶乎甲者。赞也贫，贫故衣恶。今大王万乘之主，富厚无敌，而好衣民以甲，臣弗得也。意者为其义也。甲之事，兵之事也。刈人之颈，刳人之腹，堕人之城郭，刑人之父子，其名又甚不荣也。”

《吕氏春秋》曰：邾之故[法]，为甲裳以帛。以帛缀甲。公息忌谓邾君曰：“不若以组。凡甲之所以为固者，以满窍也。今窍满矣，而任力者半。组则不然，窍满则尽任力矣。”邾君以为然，曰：“将何所得组？”公息忌对曰：“上用之，则民为之矣。”邾君曰：“善。”下令，令官为甲必以组。公息忌知说之行也，因令其家皆为组。人有伤之者，曰：“公息忌之所以欲用组者，其家多为组也。”邾君不说，于是乎止官无以组，以用。邾君有所尤也。为甲以组而便，公息忌虽多为组何损？以组不便，公息忌虽无为组，亦何益？为组与不为组，不足以累公息忌之说。用组之心，不可不察。

又曰：赵攻中山。中山有多力者曰：“丘鸠衣铁甲，操杖，击无不碎，冲无不陷。以车投车，以人投人。”

《说苑》曰：孔子之匡，简子杀阳虎，孔子似之，甲士以围孔子之舍。子路怒，备戟将下斗，孔子止之，曰：“何仁义之不免俗也。夫诗书之不习，礼乐之不修，是吾之过也。若非阳虎而以为阳虎，则

非丘之罪也夫！由歌，方和汝。”子路歌，孔子和之，三终而甲罢。

崔寔《政论》曰：贪饕之吏，竞纳财用，狡猾之工，复盗窃之。至以麻枲被弓弩，铁淬醯中令脆易冶，铠孔又褊小不足容入。凡汉所以能制胡者，徒襦铠弩之利也，今铠则不坚，弩则不劲，永失所恃矣。

《抱朴子》曰：屠犀为甲，给乎专征之服；裂翠为华，集乎后妃之首。虽出于幽谷，迁于乔木，然为二物之计，未若栖窜于林薄，摄生乎榛薮。

《文选》曰：介胄被霑汗。

又曰：金练照海浦。注：练，甲也。

又曰：玄甲耀日。

陈林《武库赋》曰：铠则东胡阙巩，百炼精刚。函师震推，韦人制缝。玄羽缥甲，灼爚流光。

孔融《肉刑论》曰：古圣作犀兕革铠，今盆领铁铠，绝圣甚远。

魏武《军策令》曰：袁本初铠万领，吾大铠二十领；本初马铠三百具，吾不能有十具。见其少遂不施也。吾遂出奇破之，是时士卒精练，不与今时等也。

曹植表曰：先帝赐臣铠，黑光、明光各一具，两当铠一领，环锁铠一领，马铠一领，今世以升平，兵革无事，乞悉以付铠曹。

殷仲堪《相王笺》曰：奉所赐马铠，既足以奖厉懦心，又以光华远任。

庾翼《与燕王书》曰：今致襦铠一领，兜鍪一副。

又曰：邓百山昔送此犀皮两当铠一领，虽不能精好，复是异物，故复致之。

李尤《铠铭》曰：甲铠之施，扞御锋矢。尚其坚刚，或用犀兕。内以存身，外不伤害。有似仁人，厥道广大。好德者宁，好战者危。专智恃力，君子不为。

兜鍪

《广雅》曰：兜鍪谓之胄，锤锻谓之钲鍊。上音欧，下音侯。

《说文》曰：（胄）兜鍪，首铠也。

《易》曰：离为甲胄。

《诗》曰：公徒三万，贝胄朱绶。毛苌曰：贝胄，具饰也。朱绶，以朱绶缀之。绶，子林切。

《礼记》曰：献甲者执胄，献杖者执末。

又曰：临哀则必有哀色，执绋甫勿切。不笑，临乐不叹。甲胄则必有不可犯之色。貌与事宜相配也。

又曰：车则挽绥，执以将命。甲若有以前之，则执以将命，无以前之，则袒橐奉胄。郑玄注曰：袒其衣，出兜鍪以致命。橐，铠衣也。

《左传》曰：公及郳师战于（井）[升]陉，我师败绩。郳人获公胄，悬诸鱼门。杜预曰：胄，兜鍪也。鱼门，郳城门。

又曰：秦师袭郑，过周北门，左右免胄而下。

又曰：晋侯败狄于箕。先轸曰："匹夫逞志于君而无讨，敢不自讨乎！"免胄入狄师，死焉。狄人归其元，面如生。

又曰：晋楚战于鄢陵，郄至见楚子必下免胄而趋风。疾如风也。楚子使工尹襄问之以弓。问，遗也。郄至见客，免胄承命曰："君之外臣，从寡君之戎事，以君之灵，间蒙甲胄，间，尤近也。不敢拜命。"介者不拜。三肃使者而退。

又曰：楚白公乱，叶公亦至，及北门，或遇之，曰："君胡不胄？国人望君如望慈父母焉。盗贼之矢若伤君，是绝民望也。若之何不胄？"乃胄而进。又遇人曰："君胡胄？国人望君如望岁焉，（曰）日月以冀，若见君面，是得艾也。艾，安也。而又掩面以绝民望，不亦甚乎？"乃免胄而进。言叶公得民心也。

《谷梁传》曰：古者被甲婴胄，非以兴国也，则以征无道。岂曰以报其耻哉！

《汉书》曰:《王莽传》云:元始五年,策王莽加九命之锡,于是稽首拜受甲胄一具。

《后汉书》曰:刘虞积忿公孙瓒不已,自率兵十万攻瓒。将出,从事代郡程绪免胄而前曰:"公孙瓒虽有过恶,而罪名未正。明公不先告晓使得改行,以武临之,瓒必悔祸谢罪,所谓不战而服人也。"虞以绪临事沮议,斩之以徇,戒军士曰:"无伤余人,杀一伯珪而已。"虞遂大败,斩虞于蓟市。

《东观汉记》曰:祭遵薨,丧至河南。博士范升上疏曰:"遵为将军,虽在军旅,心存王室,不忘俎豆,可谓守死善道者也。"乃赠将军给侯印绶,遣校尉发骑士四百人被玄甲兜鍪,兵车军阵送葬。

又曰:建武六年,马武与众将上陇击隗嚣,身披甲兜鍪,持戟奔击,杀数十人。嚣追兵尽还,武中矢伤。

又曰:上征彭宠,朱浮上疏切谏曰:"连年距守,吏士疲劳,甲胄生虮虱,弓弩不得弛。上下相率焦心,大兵冀蒙救护生活之恩,陛下辍忘之于河北,诚不知所以然。"

《献帝春秋》曰:孙策获太史慈,谓曰:"孤昔与卿神亭之役,若为卿先如何?"慈谓曰:"不敢面欺,若兜鍪带不断,未可量也。"

《吴志》曰:太史慈与孙策战于神亭,策得慈兜鍪。

《吴历》曰:诸葛恪作东关遏,魏军距之。时寒雪,恪使丁奉等皆解铠,但着兜鍪,持刀缘遏上,北军见裸身缘遏,皆大笑,不即严兵。便乱斫,遂破北军。

《晋书·天文志》曰:魏文帝黄初六年十月,有星孛于少微,历轩辕,占曰:"兵丧,除旧布新之象。"时帝军广陵,辛丑,帝亲御甲胄观兵。

沈约《宋书》曰:元嘉二十七年,北讨至陕。虏多纵突骑,众军患之。薛安都怒甚,乃脱兜鍪,解所带铠,惟着绛纳两当,械马亦[去]具装驰奔,以入贼阵。猛气咆哮,所向无前。当其锋者,应刃而倒。贼忿之,夹射不能中。如是者数四,每一入,众无不披靡。

王琰《宋书》曰：晋康太守刘思道攻广州杀刺史羊希。龙骧将军陈伯绍讨之，思道迎击之，杀伤甚众。会绍誓解，兜鍪坠地，退走见禽。

车频《秦书》曰：苻登，坚族曾孙。坚死，登自立，皆刻兜鍪作"死休"字示士。以必死为度，故战所向无前。

崔鸿《前秦录》曰：苻坚末，慕容冲率众登城，坚身贯甲胄，飞矢满身。

《后周书》曰：突厥之先臣于茹茹，居金山之阳，为茹茹铁工。金山形似兜鍪，其俗谓兜鍪为突厥，因以为号。

《春秋繁露·服制象》曰：夫执介胄而后能距敌者，固非人之所贵也。

《孝经(威嬉拒)[援神契]》曰：欲去恶鬼，须具五刑，五人皆持大斧，着铁兜鍪，将之，常使去四五十步，不可令近人也。

《战国策》曰：苏秦说韩王曰："韩之剑，当敌则斩甲盾鞮鍪。"

《国语》曰：靡笄之役，郄献子伤，曰："余病矣。"张御曰："受命于庙，受服于社，甲胄而效死，戎之政也。"

又《晋语》曰：郄至甲胄而见客，免胄而听命。

乐资《春秋后传》曰：吴越令魏武侯厉众。五年，秦人兴师而临西河，魏士闻之，介胄不待令而奋击，杀秦人者万数。

《英雄记》曰：袁绍为公孙瓒所围，别驾田丰扶绍入空垣。绍脱兜鍪抵地云："丈夫当前斗死，而返逃入墙间，岂可得活。"一云：入匿墙间。

卢綝《晋四王起事》曰：建武元年，天子还洛阳。右将军张方启曰："陛下自邺来还，宜谒宗庙。"天子出，因便劫居邺切。启移都。其夜，方悉引兵从西明、广阳诸城门入，自领五千骑，皆捉铁缠矟击。兜鍪燋茸皆用凉州白鹍毛，望之若荼。

周迁《舆服杂事》曰：刺(校)[校]者，校人之执刺兵者也。首戴虎皮胄。

《传》曰：蒙皋貔以犯陈蔡，因是有虎皮胄焉。蜀队戴贝胄被犀角，此古制也。《诗》云：贝胄朱绶，谓以贝齿饰胄，朱缕缀之也。胄插以翟尾，垂以红絮，朱绶之象也。

《晋令》曰：军列营，步骑士以下，皆着兜鍪。

郭义恭《广志》曰：獠音老。在牂柯，兴古、郁林、交趾、苍梧，皆以朱漆皮为兜鍪。

《家语》曰：孔子对鲁哀公曰："介胄执戈者，无退懦之气，非体纯猛，服使之然。"

《孔丛子》曰：陈王曰："将居军之礼，胜败之变，如之何？"太师曰："介胄在身，执锐在列，虽君父不拜。"

又曰：子高曰："夫儒者居德行道，则兖冕之服；统师旅，则有介胄之服。"

《韩子》曰：天下无道，攻战不已，甲胄生虮虱，燕雀处帷幄。

虞喜《志林》曰：宋祭酒云："可以扞御者为械。谓铠甲兜鍪也。"

《抱朴子》曰：夫德教者，黼黻祭服也；刑罚者，扞刃之甲胄也。若以德教治狡暴，犹以黼黻御剡音琰。锋也。以刑罚施平世，是以甲胄升庙堂也。

又曰：忍痛苦之药石者，所以除伐命之疾；婴甲胄之重冷者，所以扞锋镝之集。

又曰：盘旋揖让，非御寇之容；掼甲缨胄，非庙堂之饰。

曹植表曰：两当铠二十领，兜鍪自副铠百领。（兜鍪自副。）

陶侃《答温峤书》曰：奉所送帐下得苏峻兜牟。兜牟作之巧劼，用功殊多，战器不事须此也。意谓不如三甲者，逆贼身所服，此是凶器，古人恶其名。得此兜牟者，犹以有功，今赏其细葛一端。

魏武帝《[破袁尚]上事》曰：臣前上言逆贼袁尚还，即厉精锐讨之。今尚人徒震荡，部曲丧守，引兵遁亡。臣陈军披坚执锐，朱旗震耀，虎士雷噪，望旗眩精，闻声丧气，投戈解甲，翕然沮坏。尚单

骑(进)[遁]走,捐弃伪节钺铁,大将军、邛乡侯印各一枚,兜鍪万九千六百二十枚,其矛盾弓戟,不可胜数。邛,苦浪切,又古衡切。

干宝《百志诗》曰:壮士禀杰资,气烈有自然。俯仰群众中,胡能救世艰?阅巩代缝掖,兜鍪易进贤。

扬雄《长杨赋》曰:高祖奉命顺斗极运,天关横钜,海漂昆仑,提剑而叱之。所过摩城拊邑,下将降旗,一日之战不可殚记。当此之勤,鞮鍪生虮虱,介胄被霑汗。

《文选》曰:朝食不免胄,夕息常负戈。

又曰:贝胄星离。

盾 上

《释名》曰:盾,遁也,跪其下避刃以隐遁也。大而平者曰吴魁,本出于吴,为魁师者所持也。隆者曰滇盾,本出于蜀,蜀滇所持也。或曰羌盾,言出于羌也。约胁而邹者曰陷虏,言可陷破虏敌,今谓之曰露是也。狭而长者曰步盾,步兵所持,与刀相配者也。狭而短者曰夹子盾,车上所持者也。子,小称也。以韬音逢。编板者,谓之木络盾,以犀皮作之曰犀盾,以木作之曰木盾,皆因所用为名也。

许慎《说文》曰:楯(猷)[戟]音伐。也。所以扞身、蔽目,[从目,]象形声也。楯,大楯也。

扬雄《方言》曰:楯,自关而东或谓之(猷)[戟],或谓之干,干者,杆也。关西谓之楯。

张揖《埤苍》曰:戟,盾也。

《广雅》曰:果科(于)[干](猷)[戟]掖戟,盾也。

《龙鱼河图》曰:盾名自障。

《礼记》曰:仲夏之月,命乐师修鞀音桃。鞞鼓,均琴瑟管箫,执干戚戈羽。

又曰:春秋学干戈,秋冬学羽籥,皆于东序。

又曰:季夏以禘礼祀周公于太庙,朱干三戚,冕而舞大武。郑玄

曰：朱干，亦大盾也。

《周礼》曰：旅贲氏掌执戈盾，夹王车而趋。丧纪则衰葛执戈盾。

又曰：方相氏掌蒙熊皮，黄金四目，衣朱裳，执戈杨盾，帅百隶而时傩。

又曰：司兵掌五兵五盾，各辨其物与之等，以待军事。郑玄曰：五盾，干櫓之属，其名未尽闻也。

又曰：司戈盾，掌戈盾之物而颁之。

又曰：鲁及齐战于炊鼻。杜预曰：炊鼻，鲁地。齐子泉捷从泄声子，声子，鲁大夫也。射之中盾瓦。瓦，盾脊也。繇钩音钩。汰辀匕，入者三寸。入盾瓦也。繇过汰矢激也。

又曰：宋乐祁献赵简子杨盾六十。

太平御览卷第三百五十七

兵部八十八

盾下　彭排　衔枚　棓　椎

盾　下

《春秋元命苞》曰：帝偕戴干，是谓清明。发节移度，盖象招摇。宋均曰：干，盾也。招摇为天戈，戈盾相副戴之者象见天中以为表者也。

《史记》曰：项羽在戏下，欲攻沛公。沛公从百余骑因项伯面见羽，谢无有闭关事。羽既飨军士，中酒，亚父谋欲杀沛公，令项庄拔剑舞，坐中欲击沛公。樊哙在营外闻事急，乃持剑盾入营，卫士止哙，哙直撞入，立帐下。羽目之，问为谁，良曰："沛公参乘樊哙。"羽曰："壮士，赐之卮酒、彘肩。"哙既饮酒，拔剑切而啗之。羽曰："能复饮乎？"曰："臣死且不辞，岂特卮酒乎！"

《汉书》曰：周亚夫子为父买尚方甲盾五百被，张晏曰：被，具也。可以葬者。取佣苦之不与钱。佣知其盗买县官[器]，怨而上变告。子事连于亚夫，亚夫(欧)[呕]血死。

又曰：晁错上言曰："曲道相伏，险厄相薄，此剑盾之地也，弓弩三不当一。"

谢承《后汉书》曰：孟政字子节。地皇六年，为府丞虞卿书佐。时太守缺，丞视事。毗陵有贼，丞讨之。未到县，道路逢贼，吏卒迸散。政操刀盾与贼相击，丞得免难，政遂死于路。

又曰：江汉字山甫，迁丹阳太守。是时，太江剧贼余来等劫击牛渚、丹阳、边水诸县居民，欧略良善，经岁为害。汉到郡，会集劲士，修整战具钩镶、刀、盾、大戟、长矛、弓弩，劲兵转送承接。余来亟战失利，遂见枭获。孝顺帝喜其功，赐以剑珮。

《后汉书》曰：袁绍为高橹，起土山射，曹操营中皆蒙盾而行。

《东观汉记》曰：逢萌字子康，北海人。少有大节。家贫，给事为县亭长。尉过，迎拜问事。尉去，举盾擿地叹曰："大丈夫安能为人后耶！"遂去学问。

《魏志》曰：建安五年，太祖军于官渡。袁绍进保武阳，稍前依沙堆为屯。合战不利，绍射营中雨下，行者皆蒙盾，众大惧。

又曰：太祖与吕布战，太祖募陷阵。典韦先将，应募者数十人，皆衣两铠，弃盾，但持长矛擦戟。

鱼豢《魏略》曰：鲍出字文才，京兆新丰人也。游侠。兴平中，三辅乱，出母为贼所略，出攘臂结衽，独持盾追之。行数里及贼，杀十余人，贼乃解还出母。

韦昭《吴书》曰：鲁肃欲渡江，众骑追肃。肃植盾引弓射之，矢贯洞骑。度不制，乃相率还。

《吴录》曰：交趾朱鸢县有槟榔。正直高六七丈，叶大如盾。

王隐《晋书》曰：朱伺字仲文，小为牙门将[陶丹给使]。[吴平，]内涉江夏，便鞍马弓弩，刀盾射猎。

干宝《晋记》曰：吴军师张悌帅众三万济江，与讨吴护军张翰、扬州刺史周凌成阵相对。沈莹领丹阳锐卒刀盾五千，号青巾兵，屡陷坚阵。

沈休文《宋书》曰：宗越南阳叶人也。为队主，蛮有为寇盗者，常使越讨伐，往辄有功。家贫无以市马刀盾，步出，单身挺战，众莫能当。每一捷，郡将辄赏钱五千，因此得买马。

《宋略》曰：宁朔将军、益州刺史刘豪，少工刀盾，勇冠三军。及在汉中，忽修长生之术，使道士合金丹饵之，咽而死。及就殓，尸[弱]如生。

《宋元嘉起居注》曰：御史中丞刘损奏："风闻前广州刺史韦朗莅任虐法，暴浊是彰，于州所造牙盾三十幡，朱画青绫盾三十五幡，请以见事追免朗前所居官。"

《南史》王洪轨随齐[高帝]镇新亭，常以身捍矢。高帝曰："我自有盾，卿可[自]防。"答曰："天下无洪轨何妨。苍生方乱，岂可一日无公。"帝甚赏之。

《齐书》曰：王宜兴，吴兴人也。形状短小而果劲，有胆力。少年时为劫不须伴。郡县讨逐，围绕数十重，终莫能禽。尝舞刀盾，使十余人以水交洒，不能着。

《北史》曰：后魏蠕蠕而兖切。犯塞，以任城王云为中军大都督，从献文讨之。过大碛，云曰："夷狄马初不见虎头盾，若令舞盾在前，破之必矣。"帝从之。于是相率而歌，方驾而前，大破之，获其凶酋。

《英雄记》曰：公孙伯圭追讨叛胡丘力居等于管子城。伯圭力战兵乏，食马尽，煮弩盾啖食之。

又曰：袁绍讨公孙瓒，先令麹义领精兵八百。强弩千张以为前登。瓒轻其兵少，纵骑腾之，义兵伏盾下，一时同发，瓒军大败。

蔡邕《月令章句》曰：洪范经云，兵革并起，兵谓金刃，革谓甲盾。

又曰：审五库之量，金铁皮革。注曰：去毛曰革。犀兕水牛之属以为甲盾鼓鞞。

张敞《晋东宫旧事》曰：东宫外崇福门，门各羌盾十幡，鸡鸣戟十张。

《陶公故事》曰：臣侃奉献金华大羌盾五十幡，青绫金华盾五十幡。

王琰《冥祥记》曰：东海何敬叔，少而奉佛。至泰始中随湘州刺史刘韫监营浦县，敬叔时遇有旃檀制以为像，像将就而未有光材。敬叔意愿甚恳而营索无处，凭几微睡，见沙门语敬叔云："县后何家有一桐盾甚堪像光。其人极惜之，苦求可得也。"敬叔寤，问县后果有何家，因求买盾。何氏云："实有此盾，甚爱惜之。明府何以得知？"敬叔具说所梦，何氏惊，奉以制(先)[光]。

《山海经》曰：羿与凿齿战于寿华之野。羿射杀之。羿持弓矢，凿齿持戟盾。郭璞曰：凿齿，人类，齿如凿，长五六尺。

又曰：开明北有凤鸟、鸾鸟，背戴瞂。瞂，音伐，盾也。

张华《博物志》曰：朝廷都许时上先人刀剑盾物及铜(犬)[大]盆，殿上四角鼎皆先侯所赐得也。

刘义庆《世说》曰：魏武征袁本初，治装余有数十斛竹片，咸长数寸。众并谓不堪用，正合烧除。太祖意甚惜，思所以用之。谓可以为竹甲盾，而未显其言。驰使以问杨主簿德祖，应声答与帝正同。众伏其辩悟。

《异苑》曰：河南褚裒字季野。将北伐，军士忽同时唱言可各持两盾。复相谓曰："一人焉用两为？"及败，悉而楯而退。

《国语》曰：桓公问曰："齐国寡甲兵，为之若何？"管子曰："轻过而移诸甲兵。"贾逵曰：轻过，轻罪也。移诸甲兵，以甲兵赎罪也。桓公曰："为之若何？"管子对曰："轻罪赎，一盾一戟。"

《潜夫论》曰：虏或持铜镜以象兵，或负板案以类盾。逮遽扰攘，未能相一，诚易制也。

《淮南子》曰：夫栝淇卫箘簬，音路。高诱曰：栝，剪栝也。淇卫箘簬，衡所出也。(戟)[戴]以银锡，戴，饰也。饰剪以银锡。虽有薄缟之襜，腐荷之橹，荷，莲草也。橹，大盾也。然犹不能独穿也。若假之筋角之力，弓弩之势，则贯兕甲而经革盾矣。经，犹达也。

杨泉《物理论》曰：古有阮师之刀，苏家之盾，皆为良工利器，时所宝贵也。夫刀者，身之宝也；盾者，身之卫也。御难之藩墙，守之城池也。

《梦书》曰：梦得镶盾，忧相负也。

《汉书·扬雄校猎赋》曰：贲育之伦，蒙盾负羽，杖镆邪而罗者以万计。

《吴都赋》曰：杭神龙之华殿，施荣盾而捷猎。勾践将伐吴，作荣盾要以白璧，镂以黄金，状若龙蛇，以献吴王。吴王受之，施于姑苏台。捷猎，例次貌也。

言今起神龙殿，亦施此物也。

又曰：干卤殳铤旸夷敦卢之施。

又曰：家有鹤脎，户有犀渠。鹤脎，矛也。犀渠，盾也。一曰铠，犀革为之。

李尤《盾铭》曰：吴旂鲁猷，戎兵特须也。

张奂《与崔子真书》曰：仆以元年到任，有见兵二百，马如牿古沓切。羊，矛如锥錟，盾如榆叶。錟，徒甘切。长牟也。

陶侃《答慕容瑰书》曰：当今杨淮锐勇，飞镰超骥，收屈卢必陷之矛，集鲛犀不入之盾。

庾阐《责伍员文》曰：自我来思，逾历中春。凄风跨月，芒雨积旬。地藉湿蓐，室无完幕。负盾传时，伏檐击柝。

谢尚《饷杨征南书》曰：五尺金斫头刀一口，碧绫车中盾一番。

又《与张凉州书》曰：今致碧绫车中盾一。

彭排

《释名》曰：彭排，旁也。在旁排敌御攻也。

《晋安帝纪》曰：刘裕大破孙恩于蒜山，恩以彭排自载，仅得还船。

诸葛亮《军令》曰：帐下及右阵各持彭排。

衔枚

《诗》曰：我东曰归，我心西悲。制彼裳衣，勿士行枚。郑玄曰：勿，犹无也。女制彼裳衣而束，谓兵服也。示初无行阵含枚之事也。

《礼记》曰：升正柩，诸侯执绋五百人，皆衔枚。

《周礼》曰：衔枚氏下士二人，徒八人。郑玄曰：枚状如箸，横含之。衔枚氏掌司器，察器欢者为其聒乱。国之大祭祀，令禁毋器。军旅田役令衔枚。为其言语以相误也。

《国语》曰：吴王起师，军于江北，越王军于江南。越王乃令左

军衔枚，泝江五里以须，亦令右军衔枚，逾江五里以须。贾逵曰：逆流而上曰泝，径渡曰逾。须，待也。夜中，乃令涉江鸣鼓中水以须。越王以其中军私率六千人衔枚以袭攻之，吴师大北。

《史记》曰：项梁率师攻秦，秦使章邯距梁。章邯夜衔枚击楚，杀项梁。

陆贾《楚汉春秋》曰：高祖向咸阳南趣宛，宛坚守不下。乃匿其旌旗，人衔枚，马束口，龙举而翼奋，鸡未鸣，围宛城三匝，宛城降。

《汉书》曰：秦将章邯围魏王咎于临济。田儋都甘切。将兵救魏，章邯夜衔枚击，大破齐军，煞儋于临济下。

又曰：赵充国击西羌，至金城，须兵满万骑，欲渡河，恐为虏所遮，即夜遣三校衔枚先渡，渡辄营阵，会明毕。

《东观汉记》曰：吴汉伐蜀，分营于水南水北。北营战不利，乃衔枚引兵往合水南营，大破公孙述。

梁祚《国统》曰：孙权尝赐甘宁酒米，宁以米赐帐下，乃以银碗酌酒自饮，次与其郡督，次酌其次，命衔枚出斫敌。

王隐《晋书》曰：毋丘俭、文钦反，遣邓艾进屯乐嘉。钦果夜衔枚袭艾等，昧爽至于城下。

又曰：王浚都督幽州诸军事。成都王使和演发兵杀浚，单于以演谋告浚。州府逼近，衔枚密严，夜与单于围演。演持白幡请降。

孙严《宋书》曰：柳元景总军北讨。元景至弘农，营于开方口，众军并造陕下。元景遣军副柳元怙简步骑二千，一宿而至，遂合战。元怙悉偃旗鼓，士马皆衔枚潜师伏甲而进。既出，贼不意，虏众大骇。

王智深《宋书》曰：刘诞作乱，孝武帝使沈攸等伐之。于是，龙骧将军卜天生推车塞堑，率敢死数百人衔枚先登。

习凿齿《汉晋阳秋》曰：初魏军始入蜀，刘禅分二千人付罗憲留守。吴闻蜀败，遂起兵，遣盛宪、谢询等水陆并到，说憲以合从之计。憲谓诸将曰："今处孤城，百姓无主。吴人因衅，公敢西过，宜

一决战以示众心。"遂衔枚出击破宪。

卢绲《晋四王起事》曰：天子自郫至洛，右将军张方逼帝幸长安。河间王率参佐到霸水上迎。人兵去路百余步，衔枚屯列。

崔鸿《后秦录》曰：永和二年，遣武卫姚鸾营于大路。晋将沈林子简其军中精锐朱远等衔枚夜袭鸾营，鸾死之。

又《前凉录》曰：张璩字元琰。年十四，拜奉车都尉，从梁肃征陇右，与王擢遇于邢岗，相距十日。璩衔枚密击，大破之，由是显名。

又《蜀录》曰：李特使弟骧屯军毗桥以备罗尚。尚遣将张兴伪降于骧，以观虚实。兴夜归白尚，尚遣精勇万人衔枚随兴夜袭骧营，骧及将士奔于流栅。

《越绝书》曰：吴王阖闾问伍子胥军法，子胥曰："王身将即疑船，旌麾兵戟与王舡等者七艘。将军疑船，兵戟与将军船等，三船皆居于大阵之左右，有敌即出就阵。吏卒皆衔枚，敖歌击鼓者斩。

《曹瞒传》曰：公将袭袁绍军，乃选精锐步骑皆衔枚缚马口，夜从间道出，人抱束薪至绍围屯，大放火，营中惊乱，大破之。

太公《六韬》曰：以少击众，必以日之暮。人操炬火，合则灭之。或鼓呼而行，或衔枚而止。

吴孙子《三十二垒经灵辅》曰：移车移旗，以顺其意，衔枚而陈，分师而伏。后至先击，以战则克。

魏文帝《兵书要略》曰：衔枚毋谯哗，惟令之从。

左思《吴都赋》曰：衔枚无声，悠悠旆旌。

棓 棓与棒通用。

服虔《通俗文》曰：大杖曰棓。步项切。

《魏志》曰：钟会反，囚将军胡烈等。与子疏云："会帐下督丘建密说消息，会以作大坑，白棓数千，欲呼外兵入以次棓杀，投置坑中。"外兵闻，乃杀会。

《曹瞒传》曰：操为洛阳北部尉。缮治四门，造五色棒悬门左右各数十枚。有犯禁者，不避豪强，辄棒杀之。

虞溥《江表传》曰：孙皓以张布女为美人。皓先报布，后问美人曰："尔父何在？"答曰："贼已杀之。"皓大怒，即棒杀美人。

沈约《宋书》曰：后废帝昱，或有忤意者，辄加以虐刑。有白棒数十枚，各有名号，铖凿锥锯之徒，不离左右。尝以铁锥椎人阴破。

《六韬》曰：方胥铁棓重十二斤，柄长五尺，千二百枚。一名天棓。许慎曰：大杖以桃为之。击杀羿，是以鬼畏桃人也。

《抱朴子》[曰]：吴遣贺将军讨山贼。中有善禁者，每交战，官军刀剑皆不得拔。将军乃多作劲木白棓击之，禁不复行，因而克贼。

又曰：余愿世人改其无检之行，除其骄简之失，则赵胜之门无去客，黄祖之棓无所用矣。

《晋宣帝教》曰：当教诸围上守士皆作棓，人一枚，轻重长短者，各各可守，皆当头施纫挂臂，贼破，死在旦夕。邂逅冲突围，当以棓棓之。

高堂隆《陈灾异表》曰：石氏星占曰："天棓五。五星，天之杖也，主挝棓乱兵。客星彗茀干犯棓，兵大起，二年消复之。宜罢省百役，勿使士卒怨于勤苦而为乱，足其廪食，度可劳然后用之，则士卒安而无乱兵矣。

椎

《史记》曰：张良为韩报仇，得力士为铁椎重一百二十斤，击始皇博浪沙中，误中副车。

又曰：朱亥袖四十斤铁椎，椎晋鄙。

《汉书》曰：淮南厉王长，高帝少子也。有才力，力扛鼎。乃往请辟阳侯出见之，即自袖金椎椎之，命从者刑之。

太平御览卷第三百五十八

兵部八十九

鞍 鬱 鞚 勒 镳

鞍

《说文》曰：鞍，马鞁具也。鞁，皮彼切。

《汉书》曰：孝宣许皇后，元帝母也。父广汉昌邑王侍郎，从武帝上甘泉，误取他郎鞍以被其马，发觉，吏劾从行而盗当死者。诏下蚕室，后为官者丞。

司马彪《汉书》曰：光武征赵喜，引见，赐鞍马，待诏公车。

《东观汉记》曰：景丹将兵诣上，上劳勉。丹出至城外兵所，下马坐鞍旗毾氈上。毾音塔。氈音登。

又曰：王莽诛，诸谋者季次元闻事发觉，被马欲亡。马驾在辕中，遑遽着鞍上马，出门顾车乃自觉止。

又曰：章帝曰："明德后时，广平钜鹿乐成王在邸入问起居。朕从上望见车骑鞍勒皆纯黑，无金银采饰，马不逾六尺。于是以白太后，即赐钱各五百万。"

《英雄记》曰：吕布刺杀董卓，与李傕战败，乃将数百骑以卓头系马鞍，走出武关。

《魏志》曰：许褚从讨韩遂、马超于潼关。太祖将北渡临济河，先渡兵，独与褚及虎士百余人留南岸断后。超将步骑万余人来奔太祖军，矢下如雨，褚乃扶太祖上船。贼战急，军争济，船重欲没，褚斩攀船者，左手举马鞍蔽太祖。船工为流矢所中，死，褚右手并棹船，仅乃得渡。是(曰)[日]微褚几危。

又曰：太祖马鞍在库为鼠所啮，库吏惧死，邓哀王冲以刀穿单

衣如鼠啮者，谬有愁色。太祖问之，冲曰："俗以鼠啮衣者其主不吉。"太祖曰："此妄言耳。"俄而，库吏以啮鞍闻，太祖笑曰："儿衣在侧而啮，况鞍悬柱乎。"

《魏略》曰：五官将知王忠昔尝啖人，时因从驾出行，令取家间髑髅著忠系马鞍，以为嬉笑。

《吴志》曰：曹公破走，鲁肃先还，权大请诸将。肃将入阁拜，权起礼之，谓曰："子敬，孤持鞍下马相迎，足以显卿未？"肃趋进曰："未也。"众人闻之，无不愕然。就坐，徐举鞭曰："愿至尊威加乎四海，总括九州，克成帝业，更以安车蒲轮征肃，始当显耳。"权拊掌欣笑。

又曰：孙权每田猎，乘马射虎，尝突前攀持马鞍。张昭变色而前曰："将军何有当耳！夫为人君者，谓能驾御英雄，驱使群臣，岂谓驰逐于原野，校勇于猛兽者乎？如有一旦之患，奈天下笑何？"

《后魏书》曰：傅永有气干，拳勇过人，能手执鞍桥倒立驰骋。

《江表传》曰：孙策讨祖郎，生获之。策谓郎曰："尔昔斫孤马鞍，今创军立事，除弃宿恨，汝莫怨怖。"郎叩头谢罪，即破械赐衣，署门下贼曹。

《魏百官名》曰：紫茸题头高桥鞍一具。

《三辅决录》曰：平陵士孙奋富闻京师。梁冀知奋俭吝，以镂衢鞍遗奋，从贷五十万。

《西京杂记》曰：武帝时，身毒国献白光琉璃鞍，鞍在暗室光照十丈。

又曰：武帝得贰师天马，造玫瑰石为鞍。

《异苑》曰：昔有人乘马山行，遥望岫里有二老公相对樗蒲，遂下骑造焉。以策柱地而观之，自谓俄顷，视其马鞭，灌然已烂，顾瞻其马鞍，体骸枯朽。既还至家，无复亲属，一恸而绝。

《六韬》曰：车骑之将，军马不具，鞍勒不备者诛。

陆景《典语》曰：周世以膏腴之沃壤，丰镐之宝地，大启封境以

封秦。释鞍授鞚，假骥他人，欲无陵已，其可得乎！

傅玄《马射赋》曰：百马齐兴，六骥孔闲。金衔玉羁，文防镂鞍。明珂景服，华鞻采鲜。

《古乐府》左延年《从军诗》曰：从军何等乐，一驱乘双驭。鞍马照人目，龙骧自动作。

谢惠连诗曰：挂鞍长林侧，饮马修川湄。

刘琨《扶风歌》曰：系马长松下，发鞍高岳头。

魏曹植《上银鞍表》曰：于光武皇帝(代)[世]，(效)[敕]此银鞍一具，初不敢乘，谨奉上。

宋刘义恭《谢金梁鞍启》曰：赐臣供御金梁桥鞍，制作精巧，宜副龙驷。圣慈下逮，猥垂光赐。

后汉李尤《鞍铭》曰：驱骛驰逐，腾跃覆跳。跳，丑世切。虽其捷习，亦有颠沛。井羸其瓶，罔不斯败。

辔

《释名》曰：辔，佛也。言牵引佛戾以制马也。

《诗》曰：我马维驹，六辔如濡。

又曰：我马维骆，六辔沃若。

又曰：驷铁孔阜，六辔在手。

《周礼》曰：挈壶氏挈辔以令舍。悬辔于当所舍止之处。

又曰：大驭掌驭(玉)[王]路以祀。及犯较，王自左驭，驭下祝，登受辔。犯较遂驱之。

《家语》曰：古者，天子以内史为左右手，以德法为衔勒，以百官为辔。善御马者，正衔勒，齐辔策，均马力，和马心，故口无声而马应辔，策不举而极千里。善御人者，一其德法，正其百官，均齐人力，和安人心，故令不再而人顺从，刑不用而天下理矣。

又曰：善御马者，正身以总辔。

又曰：闵子骞为费宰，问政于孔子。孔子曰："君者人也，吏者

辔也，刑者策也。人君之政，执其辔、策而已矣。"

又曰：孔子适卫，卫将军文子问曰："今齐之以刑而犹弗胜，何礼之齐也？"孔子云："礼，譬之于御则辔也。"

《汉春秋》曰：大仆公卿奉引，大仆执辔，大将军陪乘。光武东京郊祀，法驾则河南尹奉引，奉车都尉执辔，侍中参乘。

《孔丛子》曰：夫子云，夫政令者，人君之衔辔，所以制下也。

《管子》曰：凡赦者，小利而大害也，故久而不胜其祸。故赦者，马之委辔也；无赦者，痤疽之矿石也。痤，作和切。疽，七余切。

《列子》曰：凡御者得之于衔，应之于辔；得之手，应于心。

《淮南子》曰：权衡者，人主之车舆；爵禄者，人臣之衔辔矣。

又曰：王良造父御也，上车摄辔，马为齐整。

班固《东巡颂》曰：乘舆动色，群后屏气。万骑齐镳，千乘弭辔。

魏明帝《善哉行》曰：百马齐辔，御由造父。

后汉李尤《辔铭》曰：辔衔在手，急缓必时。赏罚在心，中和是思。马知良御，进取道里。人知善政，令行禁止。

鞚

张揖《埤苍》曰：靮，音的。马鞚也。鞚，马勒也。鞭、音缅。鞗，音雷。勒鞄也。鞄，音浙，柔皮也。

服虔《通俗文》曰：所以制马口曰鞚。

环济《吴纪》曰：大皇帝征合肥，未下，因撤军还兵。吕蒙等共留津北，魏将张辽奄至，围数重，蒙等死战。既破围上马出，外浮桥南已绝，丈余无板。谷利时为亲近监，白曰："至尊牢摄鞍缓鞚，利当着鞭以增马势。"于是得渡。

《晋书》曰：温峤字太真。王敦举兵内向，六军败绩。太子将自出战，峤制鞚谏，太子乃止。

《晋起居注》曰：冠军将军王浃表："臣以发许昌城内北人诸将孙凯等谋，欲逼臣留身躯遣南人。臣初出城门，乃相缠绕，牵臣马

鞚。臣手刃斩截，仅乃得出。”

应玚《驰射赋》曰：放鞚长骋，神足奔越。终节三驱，每不虚发。

陈林《武库赋》曰：马则飞云绝景，直髻骍骢，走骏惊飚，步象云浮。受衔斯游，敛鞚则止。

傅玄《良马赋》曰：奋鬣沛艾，虎踞麟跱。望云睇景，乘虚四起。纵衔则往，揽鞚则止。

成公绥《射兔赋》曰：收辅车之双辔，舍良马之长鞚。禽迅羽之轻鼓，截逸足之狡弄。盈得获于后乘，充庖厨之所贡。

夏侯湛《征迈辞》曰：上伊阙兮临川，拊骏马兮授鞍。中衢兮载叹，(敛)[敛]鞚兮盘桓。

闵鸿《与刘子雅书》曰：若能(控)[鞚]奔骥以接驾乘，则力追者万群；倾修翅以顾短翻，则归飞者如云。

勒

刘芳《毛诗笺音义证》曰：辔是御者所执者也，不得以辔为勒。且旧语云：“马勒不云辔。”以勒为辔者，盖是北人避石勒名也。今南人皆云马勒，而以鞚为辔。反复推之，此为明证。又《诗》称“执辔如组”，又曰“六辔在手”。以所执为辔，审矣。今俗儒咸以辔为勒，而曾无寤者。

《家语》曰：闵子问政于孔子。孔子曰：“不能御民者，弃其德法，专用刑辟。譬犹御马，弃其衔勒，而专用箠策，马必伤，车必败。无德法而用刑，民必流，国必亡。”

《汉书》曰：呼韩耶单于，甘露三年正月，朝天子于甘泉宫，赐以冠带衣裳、玉具剑、鞍勒一具，马十五匹。

王隐《晋书》曰：愍怀太子好卑鸡、小马、小牛，令左右骑，断羁勒使堕地。

萧方等《三十国春秋》曰：凉州胡安据盗发张骏墓，得珊瑚马鞭、马瑙钟、黄金勒。

《郯中记》曰：虎讳勒，呼马勒曰辔，罗勒曰香菜。

《永昌记》曰：哀牢王出入射猎，骑马金银鞍勒加翠毛之饰。

《淮南子》曰：雁门之北狄不谷食，戏长贵壮，各上气力，人不弛弓，马不解勒，便之也。高诱曰：不谷曰不谷食□酪而已。北狄，鲜卑也。弛，舍也。便，习也。

《说苑》曰：田子方度西河造翟黄。翟黄乘轩车，载华盖，黄金之勒，约镇簟席，如此者具驷八十乘。子方望以为人君。翟黄至而子方曰："子，人臣也，将何以至此？"对曰："此皆君之赐也。臣进五大夫，禄爵倍，以故至于此。"

韩阳《天文要集》曰：造父五星在传舍南，造父洗马辔勒衔镳。

枣据诗曰：麒骥伏吴坂，不与伯乐俱。驽马同衔勒，岂得独卓殊。

魏文帝《马脑勒赋》曰：马脑，玉属也，出自西域。文理交错，有似马脑，故其方人因以名之。或以系颈，或以饰勒。余有斯勒，美而赋之。命陈琳、王粲并作。词曰："天珍物，寄钟山之崇冈。禀金德之灵施，含白虎之华章。扇朔方之玄气，喜南离之焱阳。翕中区之黄采，曜东夏之纯苍。苞五色之明丽，配皎日之流光。内炤音照。浮景，外鲜文繁。奇章异采，的皪其间。尔乃藉彼朱蹢，华勒用成。骈居列跱，焕若罗星。"

应玚《驰射赋》曰：群骏笼茸于衡首，咸皆腰衮与飞兔。拢修勒而容与，并轩翥而厉怒。

陈琳《马脑勒赋》曰：五官将得马脑以为宝勒，美其英绿之光艳也，使琳赋之。"尔乃他山为错，荆和为理，制为宝勒，以御君子。"

王粲《马脑勒赋》曰：因姿象形，匪雕匪刻。厥容应规，厥性顺德。御世嗣之骏服兮，表骒骥之仪式。

王沉《马脑勒赋》曰：厥象伊何，如规之盈。鲛鳞纤郁，白黑殊形。如(水)[冰]之洁，如玉之贞。固乾坤之所育兮，匪雕镂而自成。尔乃施饰龙首，加服鸾镳。和铃锵锵，回景逍遥。

镳

《释名》曰：镳，包也。所以在傍苞敛其口也。

《说文》曰：镳，马衔也。衔马勒口中也。

《尔雅》曰：镳谓之镈。郭璞曰：勒也，许揭切，又鱼列切。

《诗》曰：游于北园，四马既闲。辎车鸾镳，载险歇骄。毛苌曰：辎，轩也。（敛）[险]歇骄，田犬也。郑玄曰：轩（卑）[车]，驱逆之车也。置鸾于镳者，异于乘车也。

释智匠《古今乐录》曰：明帝休成之乐歌曰："玉镳息节，金辂怀音。"

《文士传》曰：山巨源为吏部郎，欲举嵇康自代。康闻，与之书曰："譬犹禽鹿，少见驯育，则服教从制，长而见羁。虽饰以金镳，飨以嘉肴，愈思长林，而志在丰草。"

《鲁国先贤志》曰：黄伯仁《龙马颂》曰："扬鸾镳兮挥红沫之幡飘。"

《盐铁论》曰：古者庶人贱骑绳控，草鞮音低。皮荐而已。及其后，革鞍攻成，铁镳不饰。

又曰：古者樵车无轮，栈车无轭，其后木轸不衣，长毂数辐。今富者银黄华左，搔以结绣。错镳涂朱，珥勒飞轸。

《楚辞》曰：绝镳衔以驰骛兮，暮着次而敢止。路荡荡其无人兮，远不御兮千里。

枣据诗曰：真伪各有分，驽骥不齐镳。

陶琬之诗曰：我服既晖，我驷既闲，扬镳警路，哀箫清绵。《桓玄集》载：琬之为江州主簿。

宋文帝《登景阳楼诗》曰：士女炫街里，轩冕曜都城。万轨扬金镳，千舳树兰旌。

袁淑《游新亭曲水诗序》曰：离榭修幕，陵墀弥阜。镳容旆彩，裒野丽云。

鲍照诗曰：飞镳出荆路，骛服入秦川。

王沉《践行赋》曰：六龙齐镳，鸾声振振。景动波回，天行星陈。

张协《玄武馆赋》曰：天子翱翔郊甸，顺时巡省。龙驷腾镳，羽骑游骋。顾流光以按辔，回鸾旗而时幸。

李充《穆天子赋》曰：其马则赤骥盗骊，骅骝绿耳，杨和齐镳，一瞬千里。

董子晓《乘舆驳马赋》曰：躯观若斯，气势云披。衔金镳，着玉羁。

颜延之《七绎》曰：梓工饰雕簟之舆，涓人进龙图之马。轶驾则眩夺凤盖，振镳则圈促函夏，故动轫驰光，举策流赭。

张委《九慜》曰：映金箱之羽盖，鸣玉衡之鸾镳。望天路以振策，指万里于崇朝。

殷淡《宣贵妃诔》曰：严位服于旗容，尚徽谥于铭策。节哀路于萧钟，齐行镳于辒翟。

应琚《与刘文达书》(出)[曰]：仆顷倦游谈之事，欲修无为之术，不能与足下齐镳骋辔、争千里之表也。

桓温《与慕容皝书》曰：自沧流以北，幽朔以东，将军皆以羁落而总率之矣。首尾唇齿，左右力用，鸣镝扬镳，动数十万。

太平御览卷第三百五十九

兵部九十

羁　珂　辔　障泥　防汗　当胸　鞘尾　鞭　柳

羁

许慎《说文》曰：羁，马络头也。

《左传》曰：晋公子重耳之及难也，秦伯纳之。及河，子犯以璧授公子曰："臣负羁绁从君巡于天下，杜预曰：羁，马羁，(细)[绁]马(彊)[糒]也。臣之罪甚多矣。请由此亡。"

又曰：初，晋侯之竖头须，守藏者[也]。其出也，窃藏以逃，文公出时也。尽用以求纳之。及入，求见，公辞以(沭)[沐]。谓仆人曰："居者为社稷之守，行者为羁绁之仆，其亦可也，何必罪居者。"

《汉书》曰：今汉承衰周、暴秦极弊之后，流俗已薄于三代，而行尧舜之刑，是犹以軝羁而御骅马。如淳曰：軝，音机，以绳系马颔曰軝。骅，奕之马也。骅，音汗。

《东观汉记》曰：光武皇帝虽发师旁县，人马席荐鞍鞯皆有成贾，而贵不侵民，[民]乐与官市。鞍，音羁。鞯，音半。

康泰《吴时外国传》曰：加营国王好马，月支贾人常以舶载马到加营国。国王悉为售之。若于路失鞍鞯，但将头皮示王，王亦售其半价。

郭颂《晋世语》曰：愍怀太子好卑鸡、小马、小牛，置田舍，令左右骑，断羁勒令堕马。

《韩诗外传》曰：昔卫献公走，反国及郊，将班邑于从者而后入。太史柳庄曰："如皆守社稷，则孰负羁靮音的。而从？如皆从，则孰守社稷？君反国而复为私也，无乃不可乎？"

释智匠《古今乐录》曰:《襄阳铜蹄(哥)[歌]》曰:"龙马紫金鞍,翠毛白玉羁。照耀双阙下,知是襄阳儿。

杜夷《幽求》曰:羁蚊绊蚤,禁其非法。刳蚬屠虱,求其肝胆。非至精,谁能知之?

又曰:衔羁之马,伏枥之驹,莫不思平原旷泽,翘尾而驰陆也。

又曰:琱羁镂绊,呼名翘陆,不可化也。

《梦书》曰:羁缰为相要制也。梦得羁缰要约士也。羁结语言缰往来也。羁结缰竖结敕疆也。弊绝不用,难俯仰也。

挚虞《逸骥诗》曰:逸骥无镳辔,腾陆从长川。剪落就羁靮,飞轩蹑云烟。

孙绰诗曰:野马闲于羁,泽雉屈于樊。神王自有所,何为人事间?

傅玄《驰射马赋》曰:百鸟齐兴,六骥孔闲。金衔玉羁,文防镂鞍。明珂景朗,华鞞采鲜。

傅玄《良马赋》曰:金羁在首,发以明珂。镂鞍采鞞,织防含华。鞞,音茸。

傅玄《难良马赋》曰:饰以金羁,申以玉缨,结以轻轩,节以和铃。

曹植《游侠篇》曰:白马饰金羁,连翩西北驰。借问谁家子?幽并游侠儿。

孙惠《三马哀辞序》曰:余于物特所留心,而所服三马,一时离羁,感田子之爱,遂作哀文云耳。

珂

服虔《通俗文》曰:勒饰曰珂。

郭义恭《广志》曰:期调国出金银、白珠、琉璃、水精器、五色珠、马珂。

又曰:剽刃国出桐华布、珂、珠贝、艾香、鸡舌香。

傅玄《乐府豫章行》曰：轻裘缀孔翠，明珂耀珊瑚。

张华《轻薄篇》曰：文轩树羽盖，乘马佩玉珂。

鞯

《隋书》曰：宇文述素好着奇服，炫耀时人。云定兴为制马鞯，于后角上缺方三寸，以露白色。世轻薄者争(放)[效]学之，谓为许公缺势。又遇天寒，定兴曰："宿卫必当耳冷。"述曰："然。"乃制裌头巾，令深裌音陌。耳。又学之，名为许公(栢)[裌]势。述大悦曰："云兄所作，必能变俗。我闻作事可法，故不虚也。"

障泥

王隐《晋书》曰：韩友字景先，庐江舒人。舒县廷掾王睦卒病死，已呼魄，家人就友卜。令以丹画板作日月置尸头，前及卧虎皮马(彰)[障]泥，登时大愈。

萧方等《三十国春秋》曰：高句骊以千里马、生黑皮障泥献于南燕。燕王超大悦，答以水牛、能言鸟。

《世说》曰：王武子善解马性。尝乘一马着连乾(彰)[障]泥，前有水，终不肯渡。王云："此必是惜(彰)[障]泥。"使人解去，便径渡。

防汗

《东观[汉]记》曰：和帝永元三年，西竭园陵，桓郁兼羽林中郎将，从。赐马二匹，并鞍勒、防汗。

《魏百官名》曰：黄地金镂织成万岁障泥一具，又织成防汗一具。

桓宽《盐铁论》曰：古者庶人贱骑，绳控草鞮皮荐而已。及其后革鞍攻成，铁镳不饰。今富者黄金琅勒，蜀绣弇汗。弇音奄。

司马彪《(战)[魏]略》曰：孟达将蜀兵数百降魏。魏文帝以达

为新城太守。太和元年，诸葛亮从成都到汉中，达又欲应亮。遗亮玉玦、织成、障汗、苏合香。亮使郭摸诈降过魏兴。太守申仪与达有隙，摸语仪亮言：玉玦者，已决；织成者，言谋已成；苏合香者，言事已合。

当胸

《后汉书》曰：太守赵兴署鲍永功曹。时有矫称侍中止传舍者，兴欲谒之。永疑其诈，谏不听，出。兴遂驾往，永乃拔佩刀截马当胸，乃止。当胸以韦为之也。后数日，莽诏书果下，捕矫称者。永由是知名。

鞙尾

服虔《通俗文》曰：马鞙音楼。尾曰鞙。胡畎切。

《魏百官名》曰：赤茸鍮石鞙尾一具。

鞭

《礼记》曰：献车马者执筴绥。

又曰：君车将驾，则仆执策立于马前。已驾，仆展轭，郑玄曰：展轭具视。效驾，自己驾也。奋衣由右上，取贰绥，奋振去尘也。贰，副也。执筴分辔，驱之五步而立。

《左传》曰：晋公子重耳之及于难也，及楚，楚子享之曰："公子若反晋国，则何以报不谷？"对曰："若以君之灵，得反晋国，晋楚治兵，遇于中原，其避君三舍。若不获命，其左执鞭弭，右属櫜鞬，以与君周旋。"

又曰：宋告急于晋，伯宗曰："不可。虽鞭之长，不及马腹。"

又曰：楚灵王使(圉)[围]徐以惧吴。楚子次于乾溪，以为之援。雨雪，王皮冠、秦复陶、翠被、豹舄，执鞭以出。执鞭以教令。右尹子革夕，子革，郑丹也。夕，暮也。王见之，去冠被舍鞭，与之语。

又曰：晋荀瑶帅师伐郑，郑驷弘请救于齐。陈成子救郑。及濮，雨，不涉。成子衣制杖戈，制，雨衣也。立于阪上。马不出者，助之，鞭之。

《公羊传》曰：阳虎将杀季孙于蒲圃，使临南御之。至孟衢，临南投策，使阳越下取策。

陆机《毛诗草木虫鱼疏》曰：据枝叶似桢松。《尔雅》曰："据，柜也。"去匮切。节似扶老，即金灵寿是也。今人以为马鞭及杖。

《孔丛子》曰：刑以齐民，譬之于御则鞭策也。

《汉书》曰：娄敬云："太王以狄伐故去豳，杖马箠，去居岐。"

又曰：石庆为太仆御。出，上问车中几马。庆以策数马毕，举手曰："六马。"

又曰：李广击匈奴，匈奴兵多，破广军，生得广。广时伤，置络间而卧行十余里，广佯死，睨其傍有一胡儿骑，广腾而上胡儿马，因鞭马南驰数十里，得其余军。

又曰：大司空士夜过奉常亭，亭长呵之。告以官名，亭长醉曰："宁有符传耶？"士以马箠击亭长。

《汉献帝起居注》曰：李傕性喜鬼怪左道之术，又于朝廷省门为董卓设神坐，数以羊祠之。祠毕，过省阁问帝起居，求入见。傕带三刀，手复与鞭合持一刀。侍中侍郎见傕带仗，皆惶恐，亦带剑持刀，先入在帝侧。

张勃《吴录》曰：大皇帝大会饮宴，下马迎鲁肃。肃入拜，起，礼之。谓言："子敬，孤持鞍下马相迎，足以显未？"肃趋进曰："未也。"众咸愕然。既坐，徐举鞭曰："愿麾下威德加于四海，然后以安车软轮征肃，始当显耳。"帝拊掌欢笑。

又曰：大皇帝潜军于皖口，命陆逊为大都督，假钺。大皇帝亲执鞭以见之。

虞溥《江表传》曰：孙权攻合肥不能下，彻军将退兵。已上道，权与吕蒙、蒋欽、陵统等在后张（慢）[幔]饮食毕，垂当发。魏将张

辽帅六七千人奄至，围遮数重。权乘骏马上津桥，南已见彻丈余无板。谷利附在马后，使持鞍缓鞚，利于后著鞭以助马势，遂得超度。

王隐《晋书》曰：上党鲍瑗家多丧病，贫苦。淳于叔平曰："君舍东北有桑树。径至市，入门数十步，当有一人持新马鞭，便就买还，以悬北桑树，三年当暴得财也。"瑗遂承其言，诣市，果得马鞭，悬之正三年，浚井得钱数十万，铜铁杂器复可二十余万。于是，家业用展，病者亦愈。

干宝《晋记》曰：晋永嘉初，有神见兖州甄城民家，免奴为主簿，自号为樊道基。有妪号成夫人。欲迎致，便载车行，当得此免奴主簿从行为译，以宜所宜。汝南梅迹字仲真，去邺来经兖州，闻其然，因结羊世茂、阮士公诸宾往观之。成夫人便遣主簿出当与贵客语，主簿死不肯避，成夫人因大嗔，索士公马鞭，脱主簿鞭之。

何法盛《晋中兴书》曰：祖逖与刘琨中夜而坐，相谓曰："若四海鼎沸，豪杰并起，吾与足下相避于中原。"后琨与亲旧书曰："吾枕戈待旦，志枭逆虏，常恐祖生先人着鞭耳。"

沈约《宋书》曰：胡蕃字道序。义旗起，桓玄战败，将出奔，藩于南掖门捉玄马鞚曰："今羽林射手犹有八百，皆是义故西人，一旦舍此欲归，可复得乎？"玄直以马鞭指天而已，于是奔散。

萧方等《三十国春秋》曰：石勒遣石虎率精骑五千掩李矩营。生执矩外甥郭谓之弟元教。元作书与谓说云："去年东平曹嶷，西宾猗卢，矩如牛角，何不归命？"勒与谓书："悃虚尾马鞭说宾礼，贤弟想同断金，往物为信。"矩所领将士并欲归勒。矩知众之去已，乃率众来归。

又曰：成都王颖诛黄门孟玖。于是，东海王越、高密王简皆惧，奔国，琅邪王睿又将出焉。而徼禁甚密，颖又先下诸津，禁止诸贵人王至河阳，乃见构焉？宋典后至，以鞭拂之曰："舍长官，禁贵人，而尔见止耶？"因大笑之。吏乃放遣，因得奔国。

崔鸿《前秦录》曰：苻坚起教武堂于渭城，命太学生明阴阳兵法

教为将士。朱彤谏曰："虎将之士受教学生，强干之术，乃弱本之方。夫养将之法，譬之养马，秣以高枥，习以战驭。长鞭策后，金勒制前，折旋规矩，任知进退。"

又曰：苻坚引群臣议伐晋。太子左率石越曰："今岁镇守斗，福德在吴，弗可犯。且国有长江之险，朝无昏政之臣，愿保境养民，伺其虚隙。"坚曰："武王伐纣，逆岁犯星。夫差威陵上国，为勾践所灭。虽有长江，其能固乎？吾之众投鞭于江，足断其流。吾当内断其心矣。"

又曰：苻坚时，关中谣曰："长鞘马鞭击左股，太岁南行当避虏。"秦呼鲜卑为白虏。慕容垂起关东，岁在癸未。

崔鸿《后梁录》曰：咸宁二年，盗发张骏墓，得珠帘、琉璃、珊瑚马鞭。

乐资《春秋后传》曰：鲁仲连曰："齐闵王将之鲁，夷维子为执鞭而从之。"

袁希之《汉表传》曰：费祎领汉节，诱纳降附越巂太守。张嶷笺诫祎曰："昔岑彭率师，来歙杖节，咸皆见害刺客，不镇重也。今明公位尊权重，宜览前事。"后岁首，祎持节行酒，郭循以马鞭中小刀刺祎，祎数日薨。

《魏百官名》曰：驼马鞭二枚。

《异苑》曰：长山张舒，以元嘉九年二月二十四日奄见一人，着朱衣，平上帻，手捉青柄马鞭，云："汝何可教，便随我去。"见素丝绳系长梯来下，舒上梯，仍造大城，绮堂洞室，地如黄金。有一人，长大，不巾(蹟)[帻]独坐绛纱帐中，语舒曰："主者误取汝，赐汝秘术占卜，勿贪钱贿。"舒亦不觉受时。

刘义庆《幽明录》曰：余杭人沈纵，家素贫。与父同入山，还，未至家，见一人左右导从四百许，前车辎重马鞭，夹道卤簿如二千石。遥见纵父子，使唤住，就纵手中燃火。纵因问是何贵人，答曰："是斗山王在余杭南。"纵知是神，叩头云："愿见祐助。"后入山得一王

狍，从此如意。

又曰：桓玄既肆无君之心，使御史害太傅道子于安城。玄在南州坐，忽见一平上帻人持马鞭通云："蒋侯来。"玄惊愕然。便见阶下奴子御帷车，见一士在夫自云是蒋子文。"君何以害太傅？与为伯仲。"顾视之间，便不复见。

又曰：广陵韩晷，字兴彦。陈敏反时，与敏弟恢战于寻阳，还营下马，觉鞭重，见有绿锦囊中有短卷书，着鞘皆不知所从来。开视之，故谷纸佛神咒经。

《谢氏鬼神列传》曰：下邳陈超为鬼君弼所逐，改名何规，从余杭步道还家求福，绝不敢出入五年。后意渐替懈，与亲旧临水戏。酒酣，共说往事，超云"不复畏此鬼也。"小俯首乃见鬼影在水中，超惊怖。时亦有乘马者，超借马骑之，下鞭奔驱。此鬼去超远近常如初。微闻鬼云："汝何规耶？急急就死。"

吴会《分地记》曰：六山者，勾践于此山铸铜。铜不铄，则埋之。上生马箠，勾践遣使者移于南社种之。饰治以为马箠，献于吴。

刘欣期《交州记》曰：兕出九德，有一角，角长二尺余，形如马鞭柄。

阚骃《十三州志》曰：山桑县人俗贪伪，好持马鞭行邑，故语曰："沛国龙冗至山桑，诈托旅使若奔丧，道遇寇抄失资粮。"

《太公阴谋》曰：武王曰："吾欲造起居之诫，随之以身，箠书曰马不可极，民不可剧。马极则蹶，民剧则败。"

《庄子》曰：庄子使楚，见髑髅然，司马彪曰：髑曰骨貌。檄以马箠而问之曰："夫子贪生理而为此乎？将有亡国之事、斧钺之诛乎？"语卒，援髑髅枕而寝。

又曰：马蹄可以践霜雪，毛可以御风寒，龁草饮水，翘足而陆，此马之真性也。及至伯乐曰："我善治之，烧剔之、刻之，雒之，连之以羁马，编之以皂栈，马之死者十二三矣。饥之、渴之、驰之、骤之、齐之，前有橛饰之患，后有鞭策之威，而马之死者已过半矣。"

《淮南子》曰：昔者王良造父御也，投足调均，劳逸若一。安劳乐进，驰骛若灭。左右若鞭，周旋若环。世皆以为巧，然未见其贵也。若夫钳具，太丙之御也。除辔舍衔，去鞭弃策，军车莫动而自举，马莫使而自走。

又曰：大丈夫恬然无思，淡然无虑。以天为盖，以地为舆。四时为马，阴阳为驺。电以为鞭策，雷以为车轮。

《盐铁论》曰：无鞭策，虽造父不能以调四马。无势位，虽舜禹不能以治万民。

又曰：秦摄利衔以御宇内，执修箠以笞八极。

杜夷《幽求》曰：召渴者以临河，不待鞭策而自至。

《说苑》曰：默无过言，悉无过事。木马不能行，亦不费食；骐骥日驰千里，鞭箠不去其背。

杨伟《时务论》曰：辔策鞦挚之具设，虽刚怒、粗戾、蹄齧之马，若足构鞦挚，口衔辔勒，箠策必至，则蹑蹈循轨。蹈，驰录切。

《世说》曰：王敦在姑熟。晋帝出看敦营，敦觉，追帝。帝以金马鞭与客舍姥，莫补切。姥以水浇马屎。令追者问姥，姥云："去已久矣。"追者乃止也。

又曰：王澄字平子，从荆州下过王敦，敦谋欲害之。而平子左右二十八人，悉捉铁马鞭为卫，敦不敢近。

《梦书》曰：鞭箠为所使，有敕趋也。梦得鞭箠，欲有使也。持以鞭马，使朋友也，鞭使马疾，服诺喜也。

曹植《九咏》曰：乘逸响兮执电鞭，忽而往兮恍而旋。

曹植《陌上桑》曰：望云际，有真人。安得轻举继清尘。执电鞭，骋飞麟。

张华《轻薄篇》曰：文轩树羽盖，乘马佩玉珂。横辔列瑁琦，长鞭施象牙。

扬雄《河东赋》曰：奋电鞭，骖雷辎。鸣洪钟，建五旗。

魏文帝《临涡赋》曰：建安十八年，终谯，余兄弟从上拜坟墓，遂

乘马游观，经东园，遵涡水，相佯乎高树之下，乃驻马书鞭为涡赋。

傅玄《良马赋》曰：鞭不得摇，手不及动。忽然增逝，肉飞骨踊。

傅玄《驰射马赋》曰：倨如革，戾如胶。鞭裁向腹，奋尾跳尻。

曹植表曰：愿得策马执鞭，首当尘路。撮风后之奇，接吴孙之要。追慕卜商，起矛左右。

李尤《马箠铭》曰：御者箠策，示有威怒。东野之败，督责过度。

温峤《与陶公书》曰：奉惠赤角一具及靴鼓马鞭。鼓角既周军用，马鞭服以周旋。玩之于手，与之偕老也。偃武之日，乃当藏之箧笥耳。

谢艾《密令与杨初》曰：今遣舍人孔章，特口谕要密，将军可差腹心人旨致珊瑚马勒香瓔於盈切。一具遗王擢。王擢狐疑于将军父子，事得施矣。

袁宏《与范曾书》曰：四海鼎沸，天辔将移。杖策以晨征，登重镇以吐奇。指六合以倒戈，望昆仑而举麾。

柳

鱼豢《魏略》曰：献帝露布益州曰："马系柳而不暇解，贯胄延颈，以待白刃。"柳，五刚切。又五浪切。

《蜀志》曰：灵帝末，先主从校尉邹靖讨贼有功，除安喜尉。督邮以公事到县，先主求谒，不通，乃直入(传)[府]缚督邮，杖二百，解绶系其颈，着马柳，弃官亡命。

常璩《华阳国志》曰：建宁郡同濮县、存马县雍闿反时，结垒于县山系马，马柳柱生成林。今夷言无梁林。无梁，夷言马也。

萧子云《晋史草》曰：姚略时有贺僧者，不知何人，自云游历五郡，时人号为贺五郡。斋戒奉道，为百姓说吉凶。略死泓立，僧谓泓曰："宜洁扫一马厩，开屋设大柳，有异马，其大非常，自远来，天所送矣。"

《赵书》曰：徐光字秀武，顿丘人。父以牛医为业。光年十四

五，为将军王阳秣马。光但书马柳屋柱，为诗颂，不亲马事。

《异苑》曰：丹阳甘卓字季思。照镜无头，乃见在马柳。

荀氏《灵鬼志》曰：泰元中，有道人从外国来，多有术法。自说所受术师，曰："衣非沙门也。"尝行见一人担上有小笼子，可受斗余，语担人云："吾步疲极，欲暂寄居君担上。"人甚怪之，虑是狂人。便语"君欲何许自居耶？"答云："君若见许，正欲入君此笼子中。"担人愈怪其奇。"君能入笼中，便是神人也。"即入笼中，笼亦不更大，担亦不觉重。至国中，一家大富而性悭惜，不行仁义。语担人："吾试为君破奴悭囊。"即至其家，有一快马甚惜之。在柳下系，忽失去，寻求不知处。明日见马在五斗粟中，终不可破取，不知何方得取之。便往语，言："君作百人厨食，周恤穷困者，马当得出耳。"主人即狼狈作之。既毕，马还在柱。

《淮南万毕术》曰：马柳生腐芽者，取马柳生芽，可以为药，（食煞鬼矣）。

责任编辑　王治明
　　杨琴琴
封面设计　张　欣